様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6 年　 6 月　 26 日

千葉県知事
熊谷　俊人　　殿

提出者

住　所　千葉県市原市五井南海岸５０－５

氏　名　第三化成株式会社

常務取締役　武田　幸一

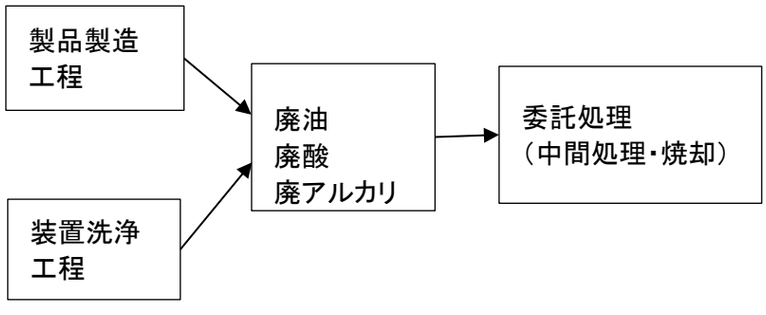
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　０４３６－２２－３１５５

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	第三化成株式会社
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸５０－５
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

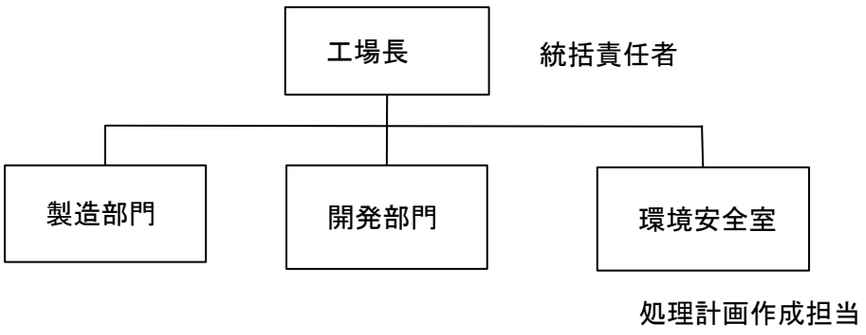
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類；製造業　　中分類；化学工業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額　13.7億円
③ 従業員数	60人　　（正社員　57人　常勤嘱託　3人）
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　Ａ列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　令和5　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃アルカリ	廃酸
排　出　量	385.7	108.6t	132.2t

（これまでに実施した取組）
平成２８年度から廃油の一部を売却に転じ、削減しました。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃アルカリ	廃酸
排　出　量	250t	105t	130t

（今後実施する予定の取組）
製造工程を見直し、廃棄物の排出抑制を行う。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃油；製造工程で発生している廃油は、売却できるものを分別している。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃油；継続して、売却可能な廃油を分別する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（　令和5　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃アルカリ	廃酸
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0t	0t	0t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃アルカリ	廃酸
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	0t	0t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（　令和5　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃アルカリ	廃酸
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0t	0t	0t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃アルカリ	廃酸
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0t	0t	0t

（今後実施する予定の取組 ）

自ら再生利用はしていない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（　令和5　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃アルカリ	廃酸
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0t	0t	0t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃アルカリ	廃酸
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	0t	0t

（今後実施する予定の取組）

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和5　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃アルカリ	廃酸
全処理委託量	385.7	108.6t	132.2t
優良認定処理業者への処理委託量	385.7	108.6t	132.2t
再生利用業者への処理委託量	0t	0t	0t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t

（これまでに実施した取組）

優良認定処理業者への委託を継続する。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="4">【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>引火性廃油</td><td>廃アルカリ</td><td>廃酸</td></tr>
<tr><td colspan="2">全　処　理　委　託　量</td><td>250t</td><td>105t</td><td>130t</td></tr>
<tr><td></td><td>優良認定処理業者への処　理　委　託　量</td><td>250t</td><td>105t</td><td>130t</td></tr>
<tr><td></td><td>再生利用業者への処　理　委　託　量</td><td>0t</td><td>0t</td><td>0t</td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者への処　理　委　託　量</td><td>0t</td><td>0t</td><td>0t</td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処　理　委　託　量</td><td>0t</td><td>0t</td><td>0t</td></tr>
</table>（今後実施する予定の取組）
優良認定処理業者への委託を継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（　令和5　年度）実績】
<table>
<tr><td>特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td>643.7　t</td></tr>
</table>（今後実施する予定の取組等）
平成３１年４月より電子マニフェストに移行しました。今後も電子マニフェスト運用を継続します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	有害廃油	有害引火性廃油						
		排　　出　　量	12.4　t	4.8　t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	有害廃油	有害引火性廃油						
		排　　出　　量	10　t	5　t	t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	有害廃油	有害引火性廃油						
		自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	有害廃油	有害引火性廃油						
		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	有害廃油	有害引火性廃油						
		自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	有害廃油	有害引火性廃油						
		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項										
①現状	【前年度（令和５年度）実績】									
	特別管理産業廃棄物の種類	有害廃油	有害引火性廃油							
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	特別管理産業廃棄物の種類	有害廃油	有害引火性廃油							
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t	

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状	【前年度（令和５年度）実績】									
	特別管理産業廃棄物の種類	有害廃油	有害引火性廃油							
	全処理委託量	12.4 t	4.8 t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	12.4 t	4.8 t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	特別管理産業廃棄物の種類	有害廃油	有害引火性廃油							
	全処理委託量	12.4 t	4.8 t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	12.4 t	4.8 t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t	

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月　　26日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住　所　千葉県市原市五井南海岸50－5
氏　名　第三化成株式会社
　　常務取締役　武田　幸一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0436－22－3155

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	第三化成株式会社　五井工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸50－5
事業の種類	大分類;製造業　中分類;化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	515.0t	全処理委託量	515.0t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0t	優良認定処理業者への処理委託量	515.0t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0t	再生利用業者への処理委託量	0.0t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	607.0 t
	前 年 度	643.7 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

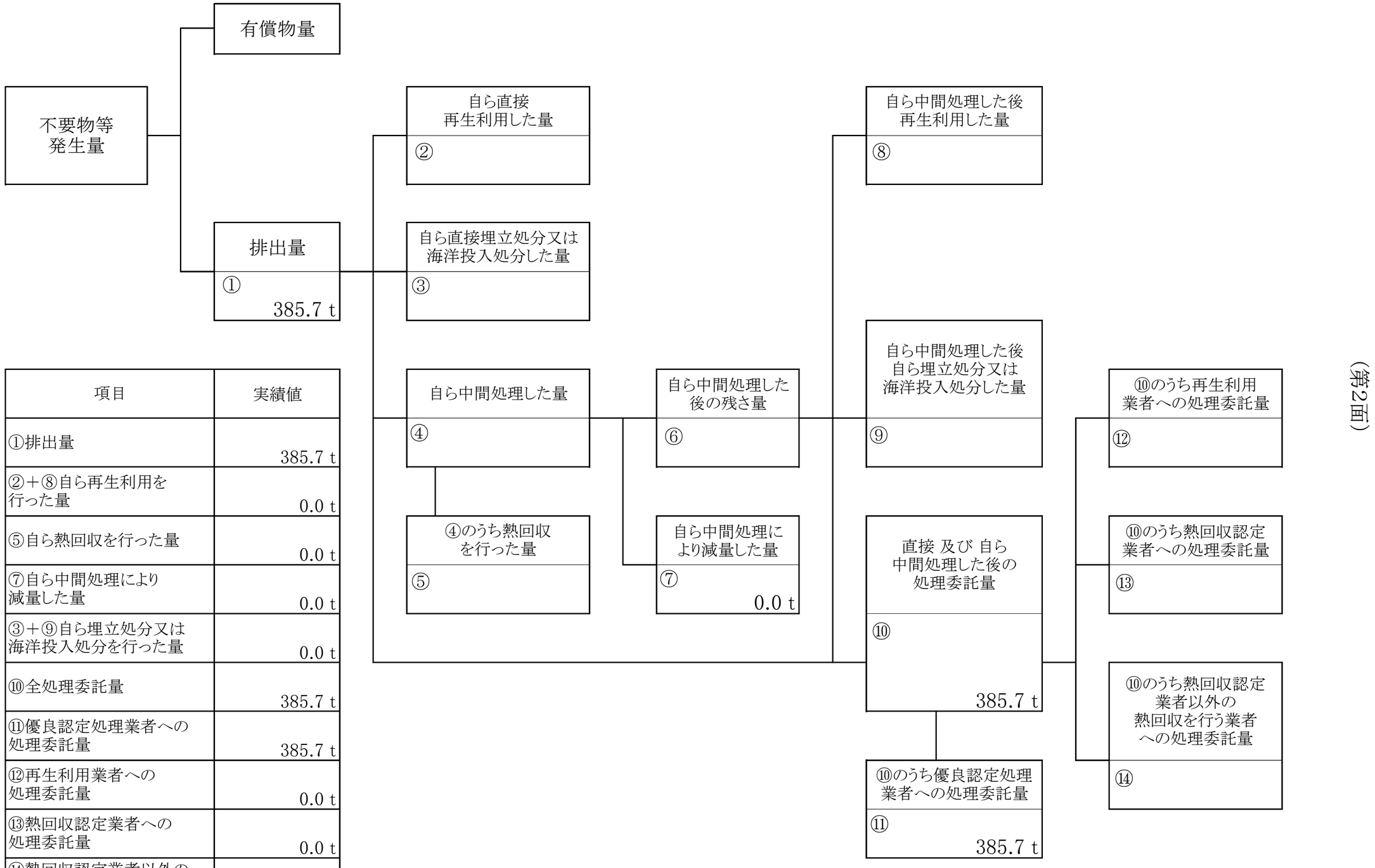
平成31年4月より電子マニフェストに移行しました。今後も電子マニフェスト運用を継続します。

]]

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**廃油（引火性）**　）

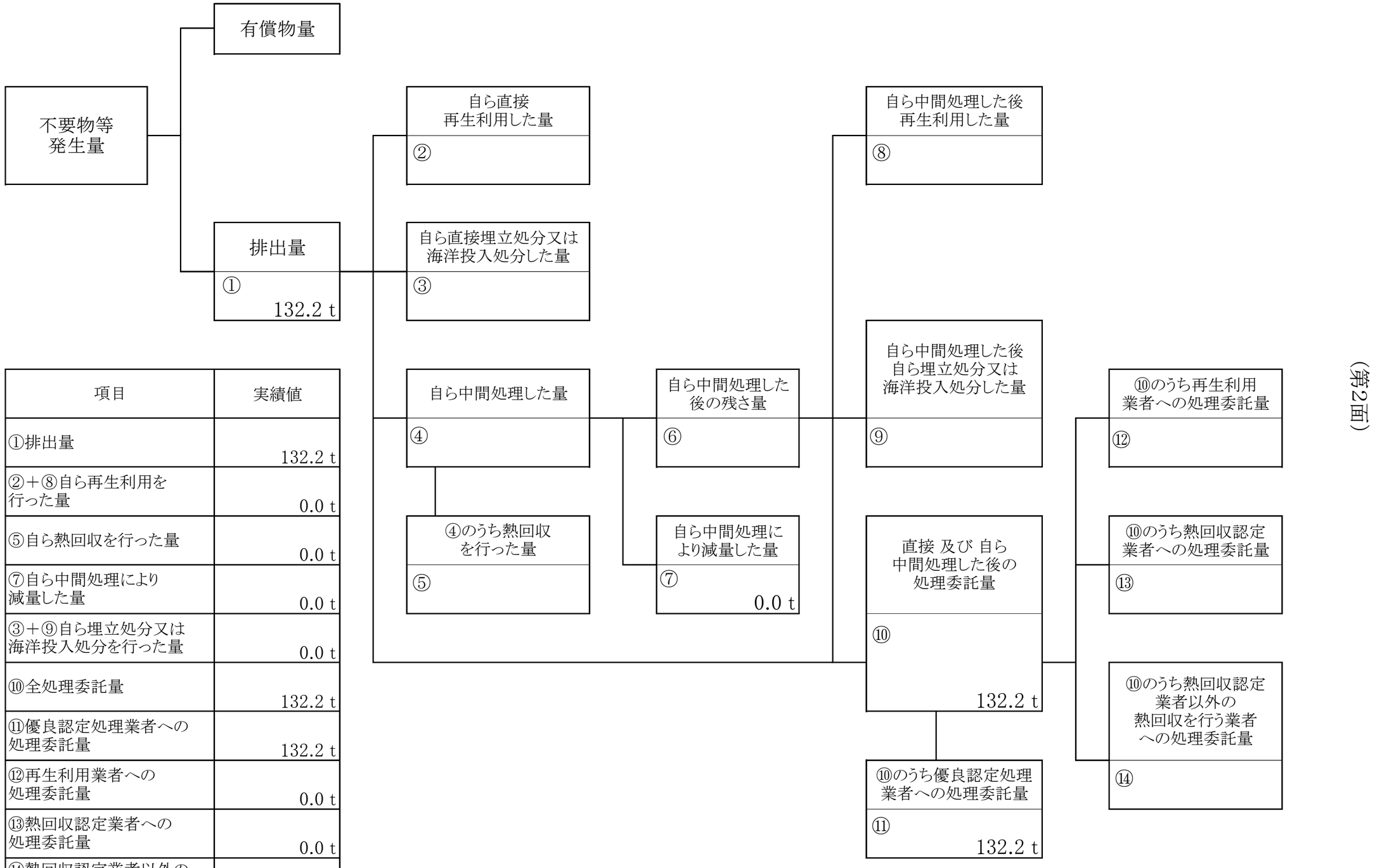


項目	実績値
①排出量	385.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	385.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	385.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**廃酸（強酸）**　）

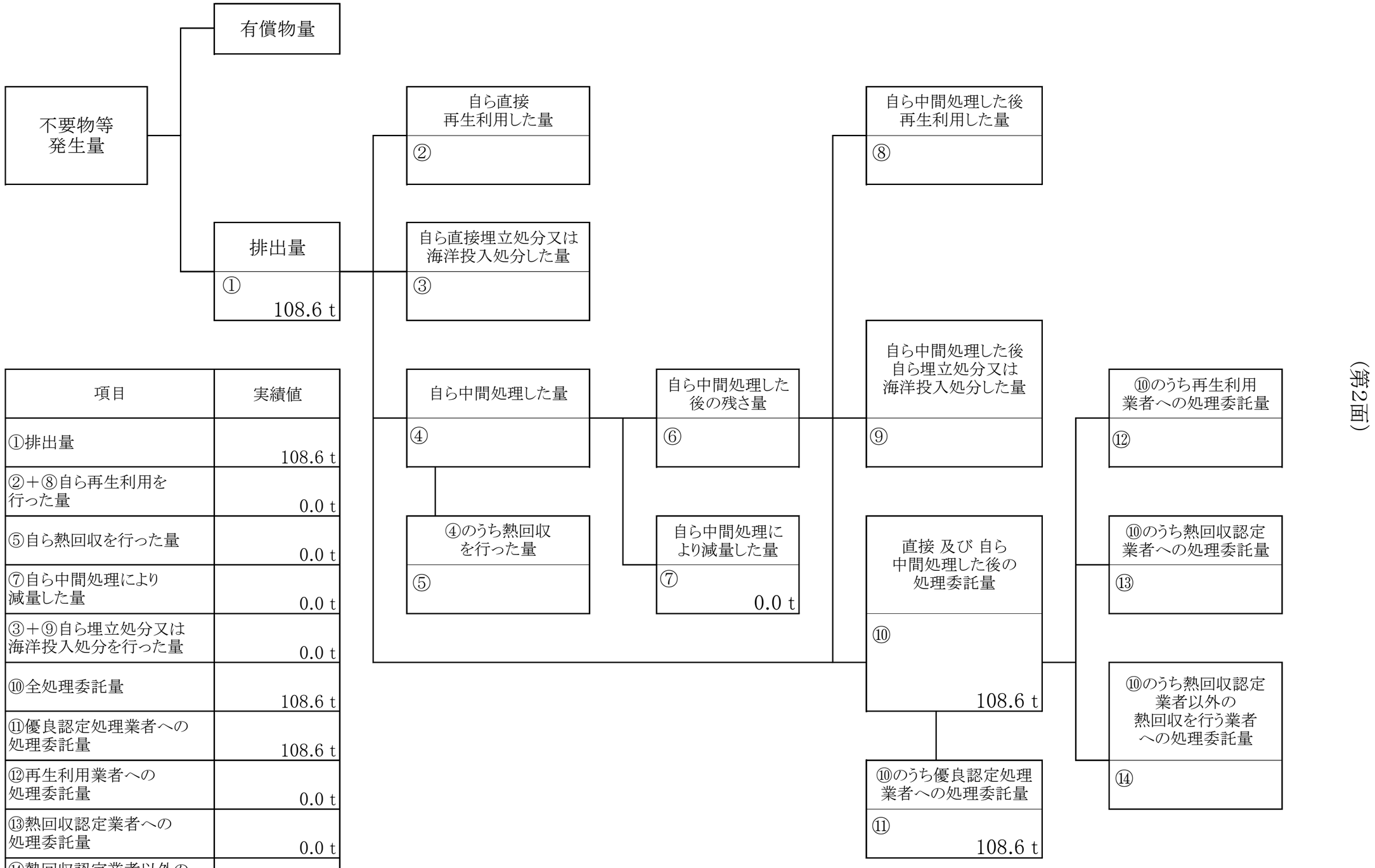


項目	実績値
①排出量	132.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	132.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	132.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**廃アルカリ（強アルカリ）**　）

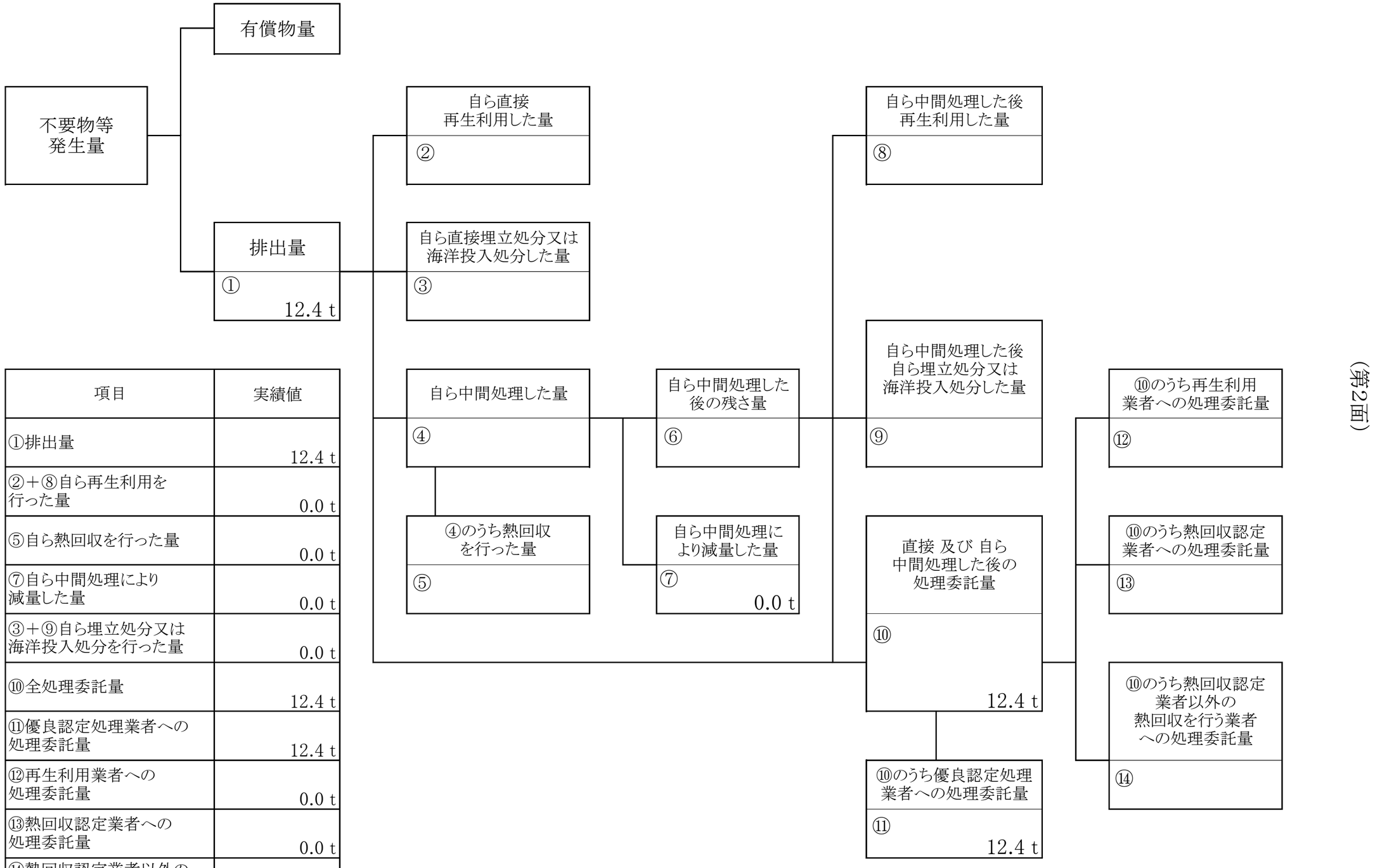


項目	実績値
①排出量	108.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	108.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	108.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**廃油（有害）**　）

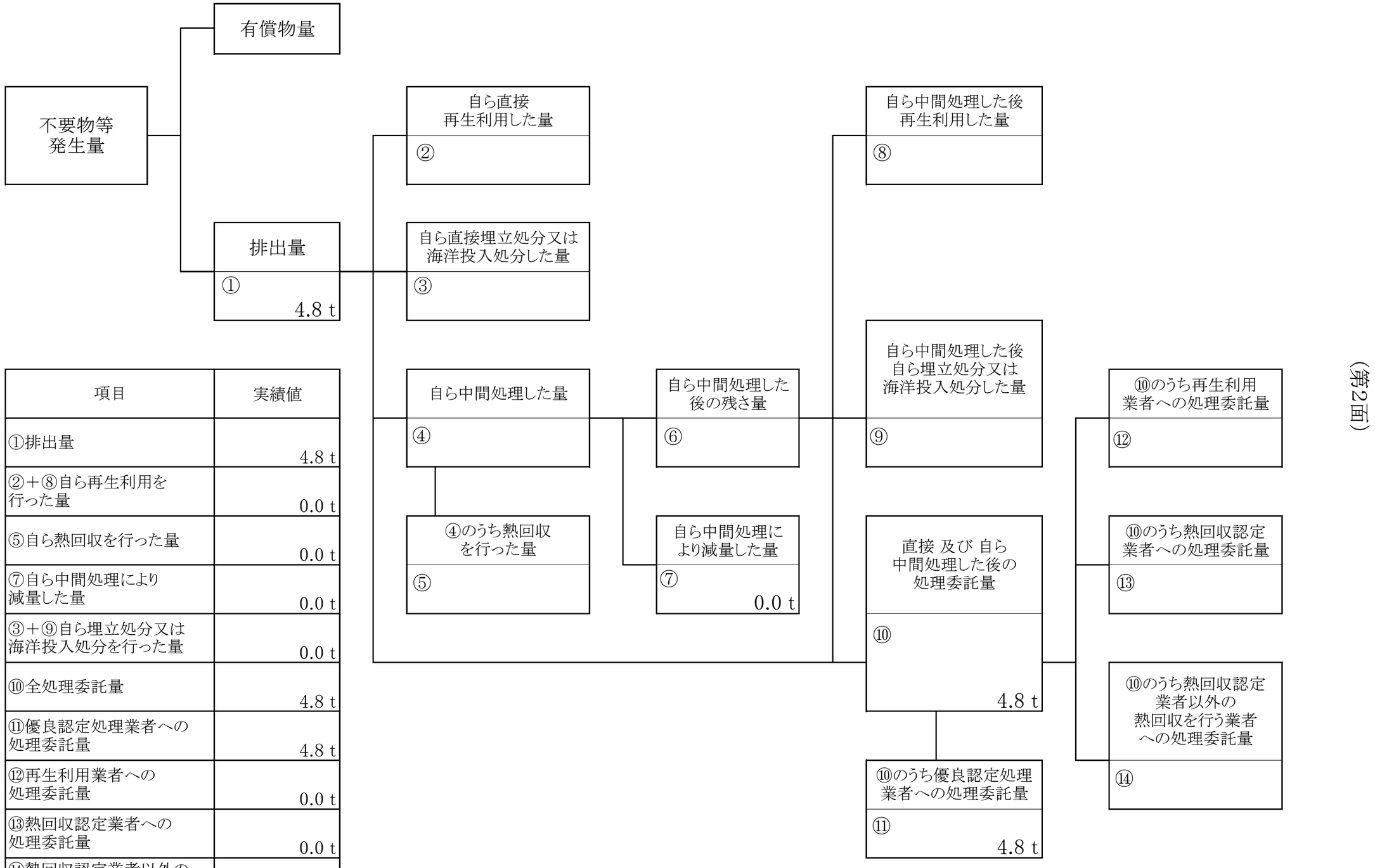


項目	実績値
①排出量	12.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	12.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**引火性廃油（有害）**　）



項目	実績値
①排出量	4.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月28日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　285-8655

住　所　千葉県佐倉市大作２－４－２

法人名　太平洋セメント株式会社　中央研究所

代表者　執行役員 中央研究所長 平尾 宙

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-498-3811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	太平洋セメント株式会社　中央研究所
事業場の所在地	千葉県佐倉市大作２－４－２
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　中分類：　窯業・土石製品製造業
②事業の規模	研究所につき製造品出荷等なし
③従業員数	483名（自社167名、関係会社・協力会社316名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	※別紙（処理工程）参照

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

※別紙（管理体制）参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ
排出量	143.74 t	50.55 t

（これまでに実施した取組）

研究開発活動によって発生した、試験サンプル、使用済み材料、余剰材料等を産業廃棄物として排出している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ
排出量	136.55 t	48.02 t

（今後実施する予定の取組）

・他工場の研究開発設備から排出された試験サンプルや材料について、積極的に原料として回収することで、排出量を抑制する。
・実証試験設備の生産体制を整備することで、余剰材等の産業廃棄物排出を抑制する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

分別に関するマニュアルを所内に展開し、廃棄物ごとの置き場を厳格に定めている。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

引き続き、廃棄物分別に関するルールを遵守する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		汚泥	廃アルカリ
全処理委託量		143.74 t	50.55 t
	優良認定処理業者への処理委託量	143.74 t	50.55 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	4.57 t	9.42 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

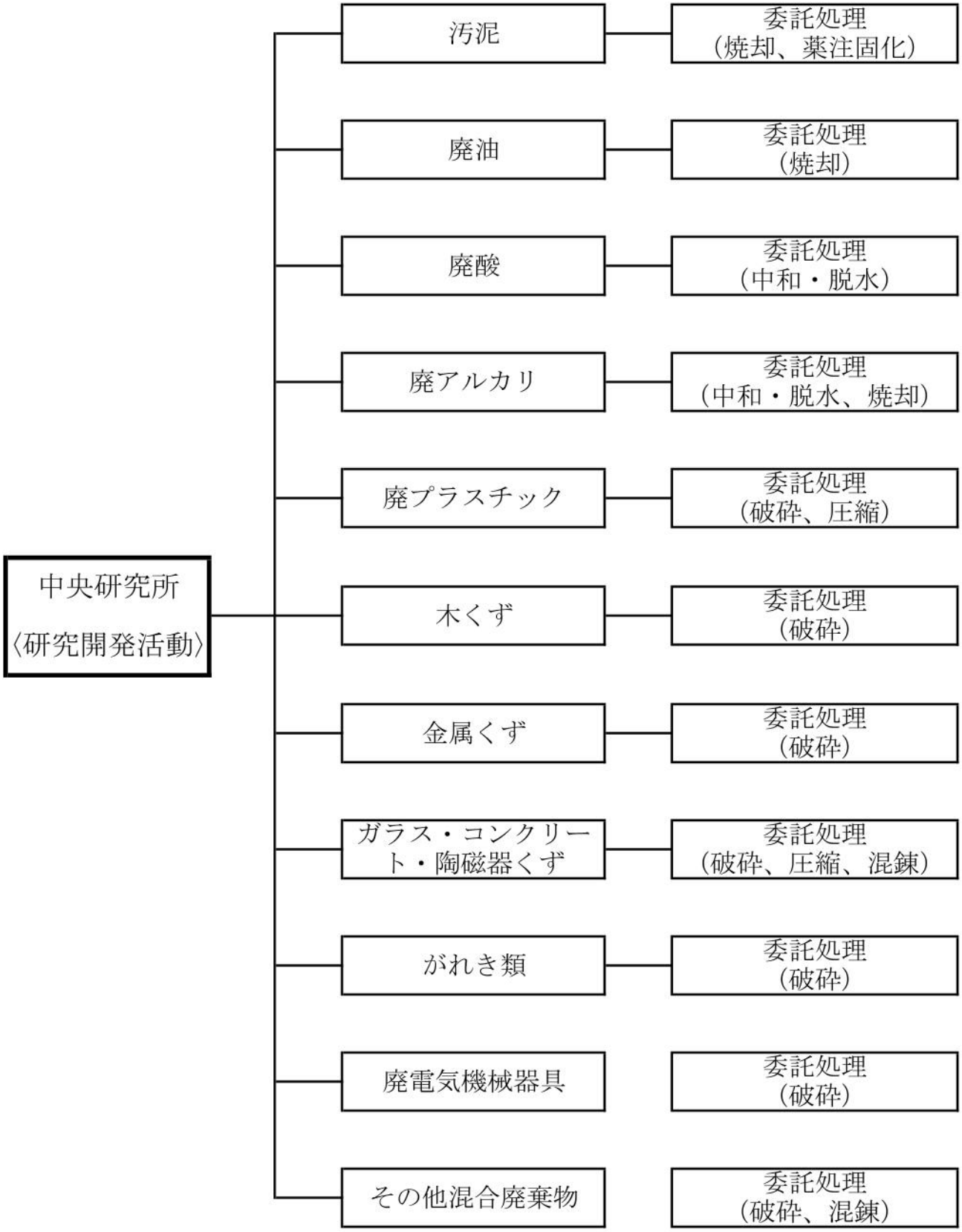
（これまでに実施した取組）

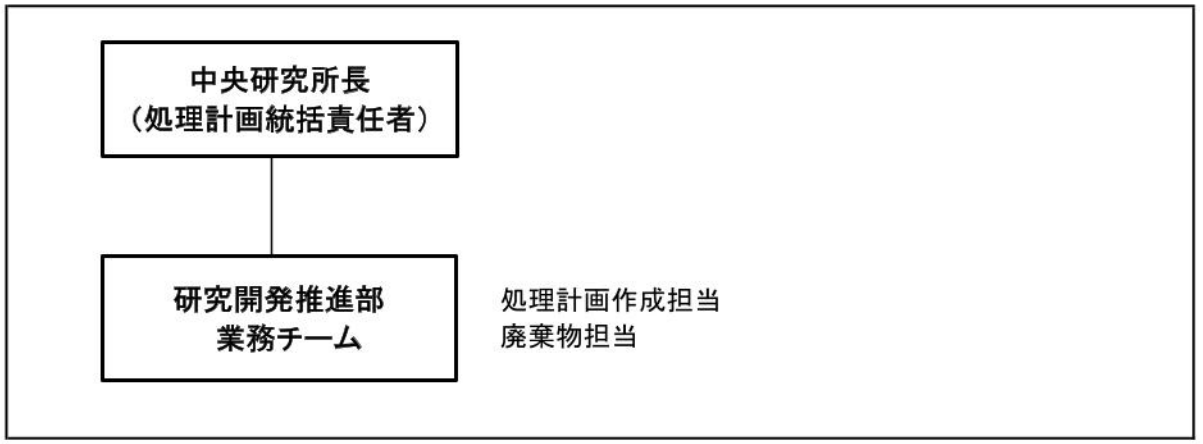
排出された産業廃棄物の種類や性質ごとに委託業者を定めて、処理委託を行っている。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>136.55 t</td><td>48.02 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>136.55 t</td><td>48.02 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>4.34 t</td><td>8.95 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
引き続き、産業廃棄物の分類を適切に行い、優良認定処理業者への委託を継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

【別紙1　産業廃棄物の一連の処理の工程】




中央研究所長
（処理計画統括責任者）
研究開発推進部
業務チーム
処理計画作成担当
廃棄物担当

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	がれき類	その他混合廃棄物	廃電気機械器具
		排　出　量	1.645 t	0.391 t	89.090 t	22.805 t	5.535 t	44.000 t	598.440 t	218.270 t	0.400 t
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	がれき類	その他混合廃棄物	廃電気機械器具
		排　出　量	1.571 t	0.371 t	84.636 t	21.665 t	5.258 t	41.800 t	568.518 t	207.357 t	0.380 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項											
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	がれき類	その他混合廃棄物	廃電気機械器具
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	がれき類	その他混合廃棄物	廃電気機械器具
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	がれき類	その他混合廃棄物	廃電気機械器具
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	がれき類	その他混合廃棄物	廃電気機械器具
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器	がれき類	その他混合廃棄物	廃電気機械器具
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器	がれき類	その他混合廃棄物	廃電気機械器具
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器	がれき類	その他混合廃棄物	廃電気機械器具
全処理委託量	1.645 t	0.391 t	89.09 t	22.805 t	5.535 t	44.000 t	598.440 t	218.270 t	0.400 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.842 t	0.141 t	89.09 t	22.805 t	0.805 t	4.000 t	533.000 t	151.600 t	0.400 t
再生利用業者への処理委託量	t	t	89.09 t	22.805 t	0.805 t	4.000 t	533.000 t	151.600 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.842 t	0.141 t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器	がれき類	その他混合廃棄物	廃電気機械器具
全処理委託量	1.571 t	0.371 t	84.636 t	21.665 t	5.258 t	41.800 t	568.518 t	207.357 t	0.380 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.800 t	0.134 t	84.636 t	21.665 t	0.765 t	3.800 t	506.350 t	144.020 t	0.380 t
再生利用業者への処理委託量	t	t	84.636 t	21.665 t	0.765 t	3.800 t	506.350 t	144.020 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.800 t	0.134 t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月28日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　285-8655

住所 千葉県佐倉市大作2－4－2

法人名 太平洋セメント株式会社 中央研究所

代表者 執行役員 中央研究所長 平尾 宙

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-498-3811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	太平洋セメント株式会社 中央研究所
事業場の所在地	千葉県佐倉市大作2－4－2
事業の種類	大分類　製造業　中分類 窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

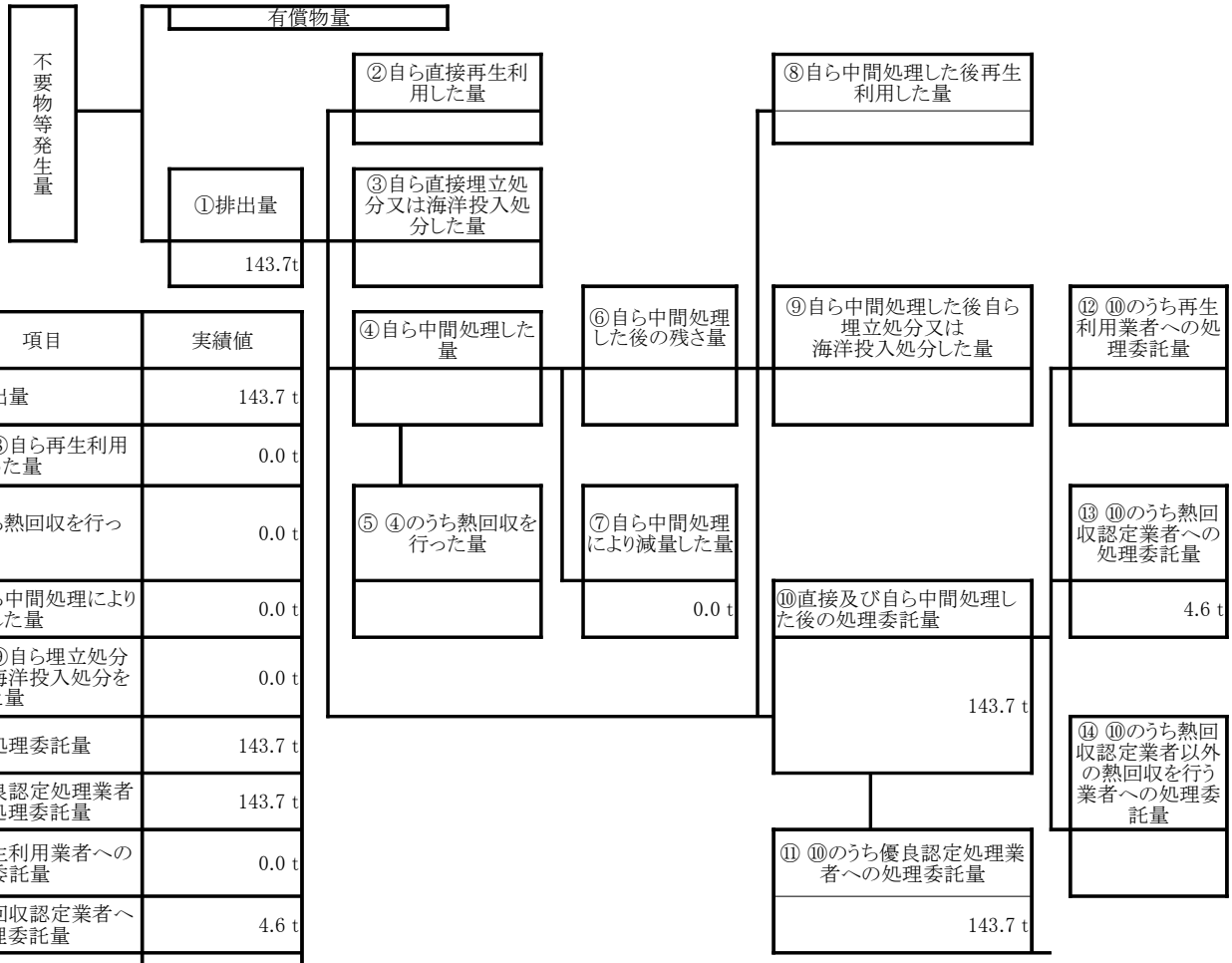
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1135.53 t	全処理委託量	1135.53 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	935.53 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

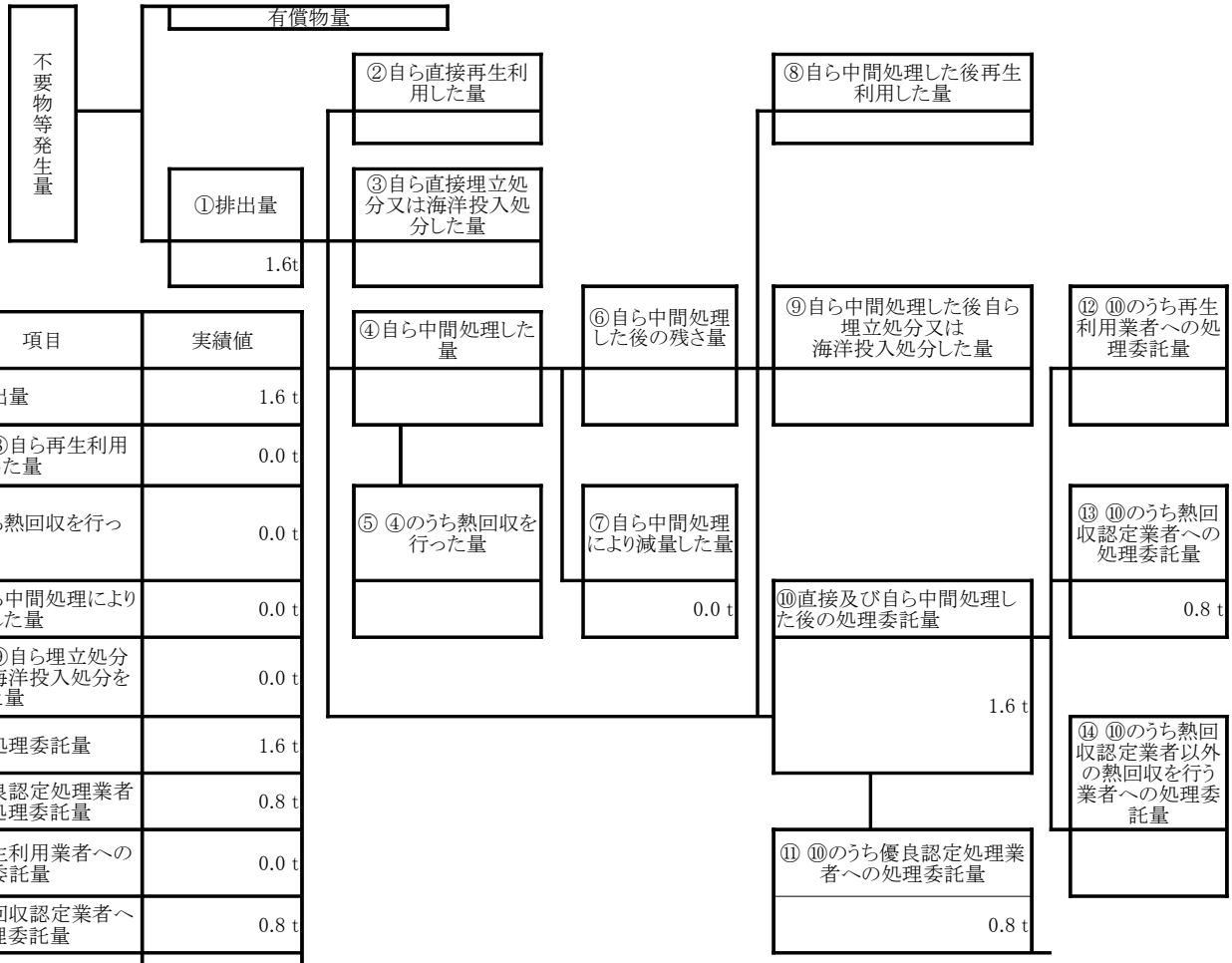


項目	実績値
①排出量	143.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	143.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	143.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	4.6 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**廃油**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

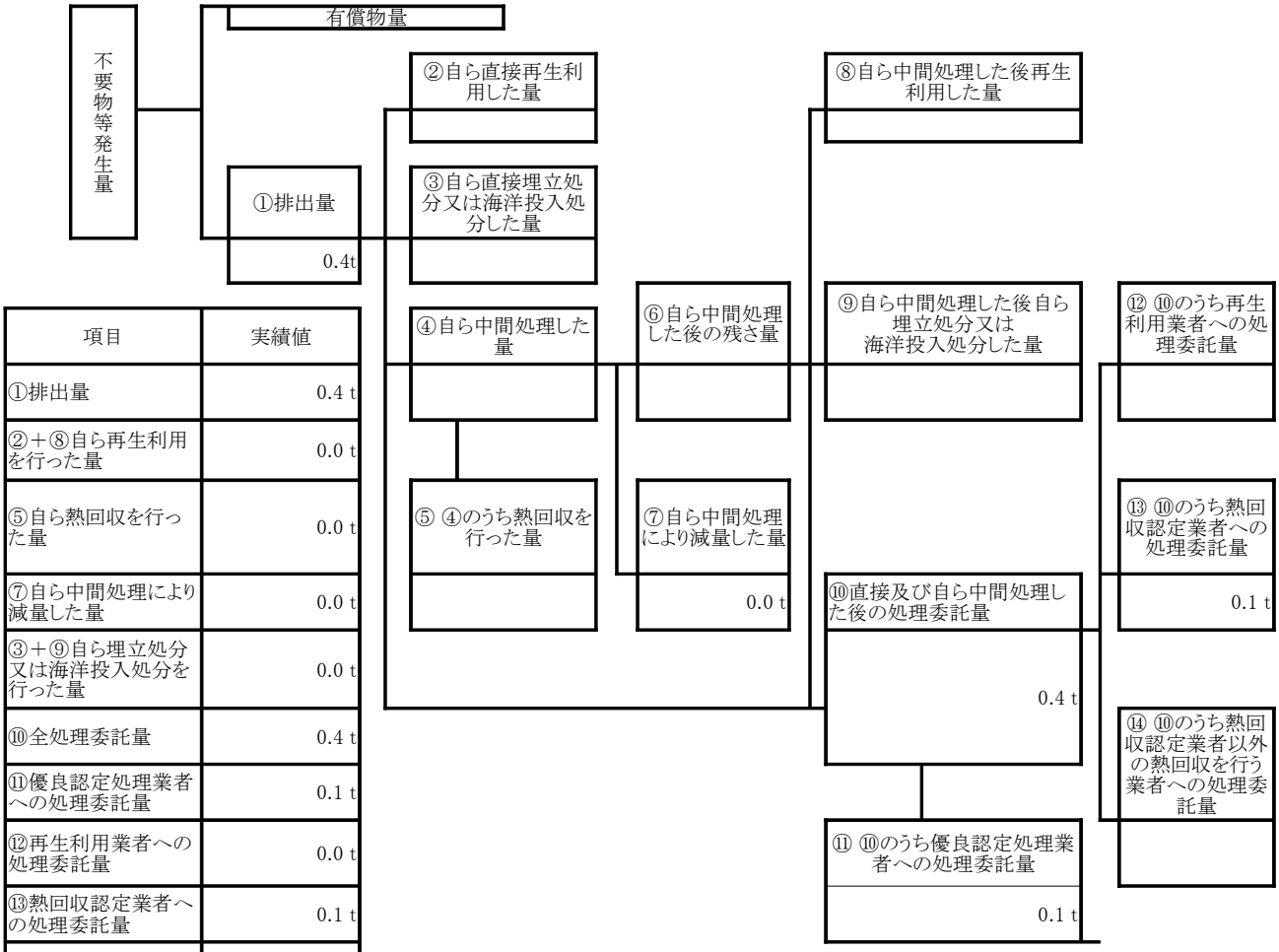


項目	実績値
①排出量	1.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.8 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃酸**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

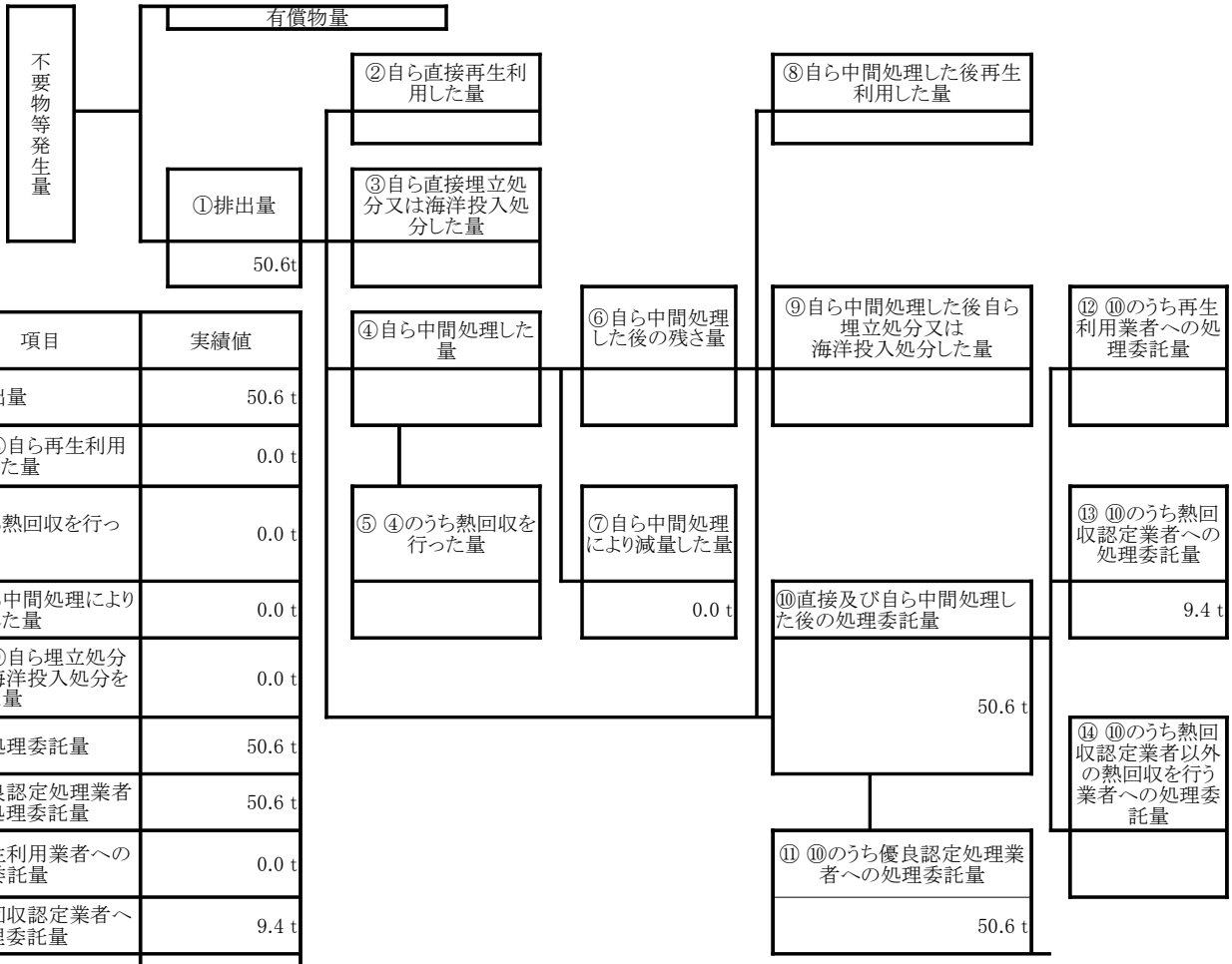


項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.1 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　廃アルカリ　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

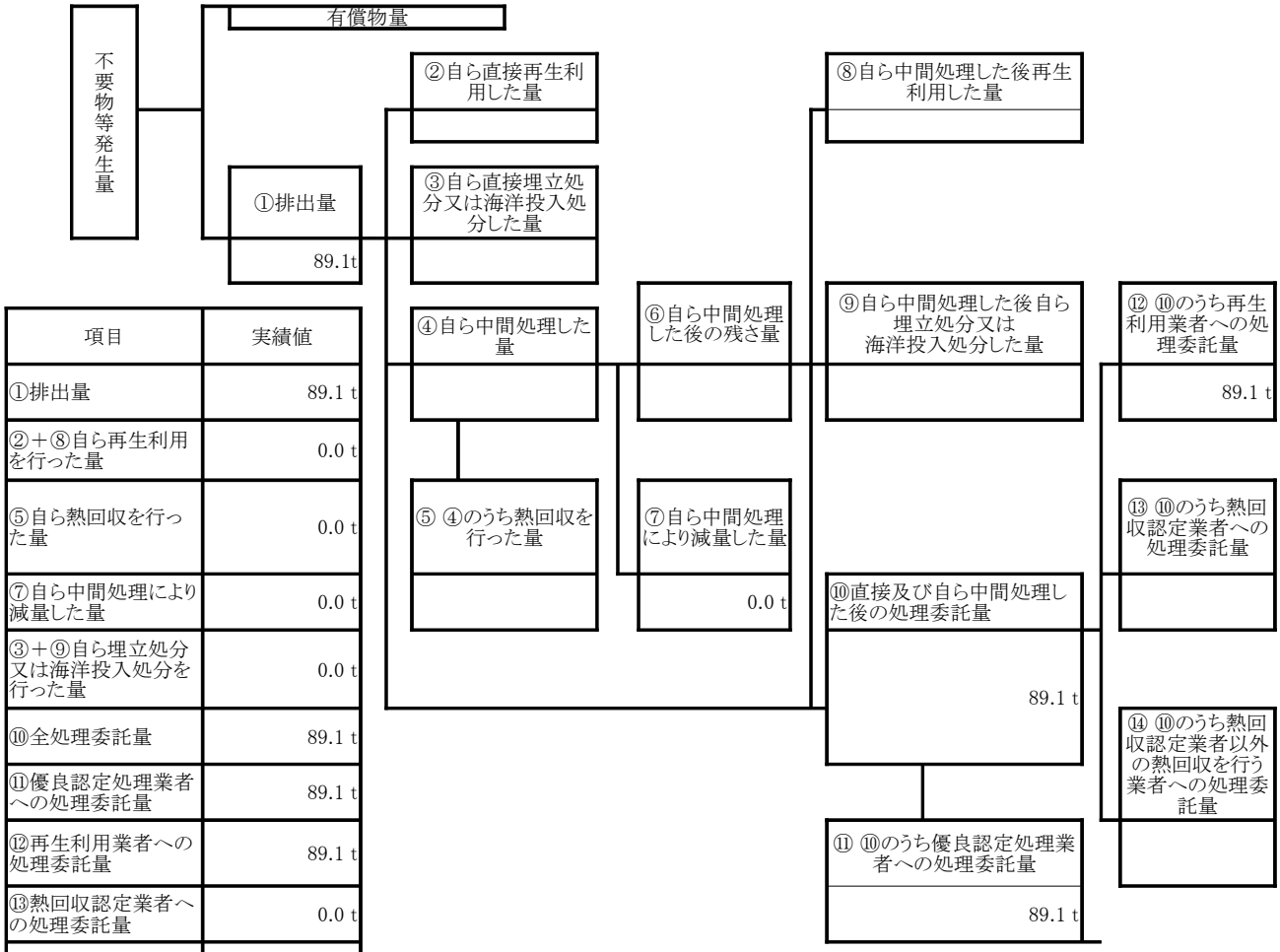


項目	実績値
①排出量	50.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	50.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	50.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	9.4 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

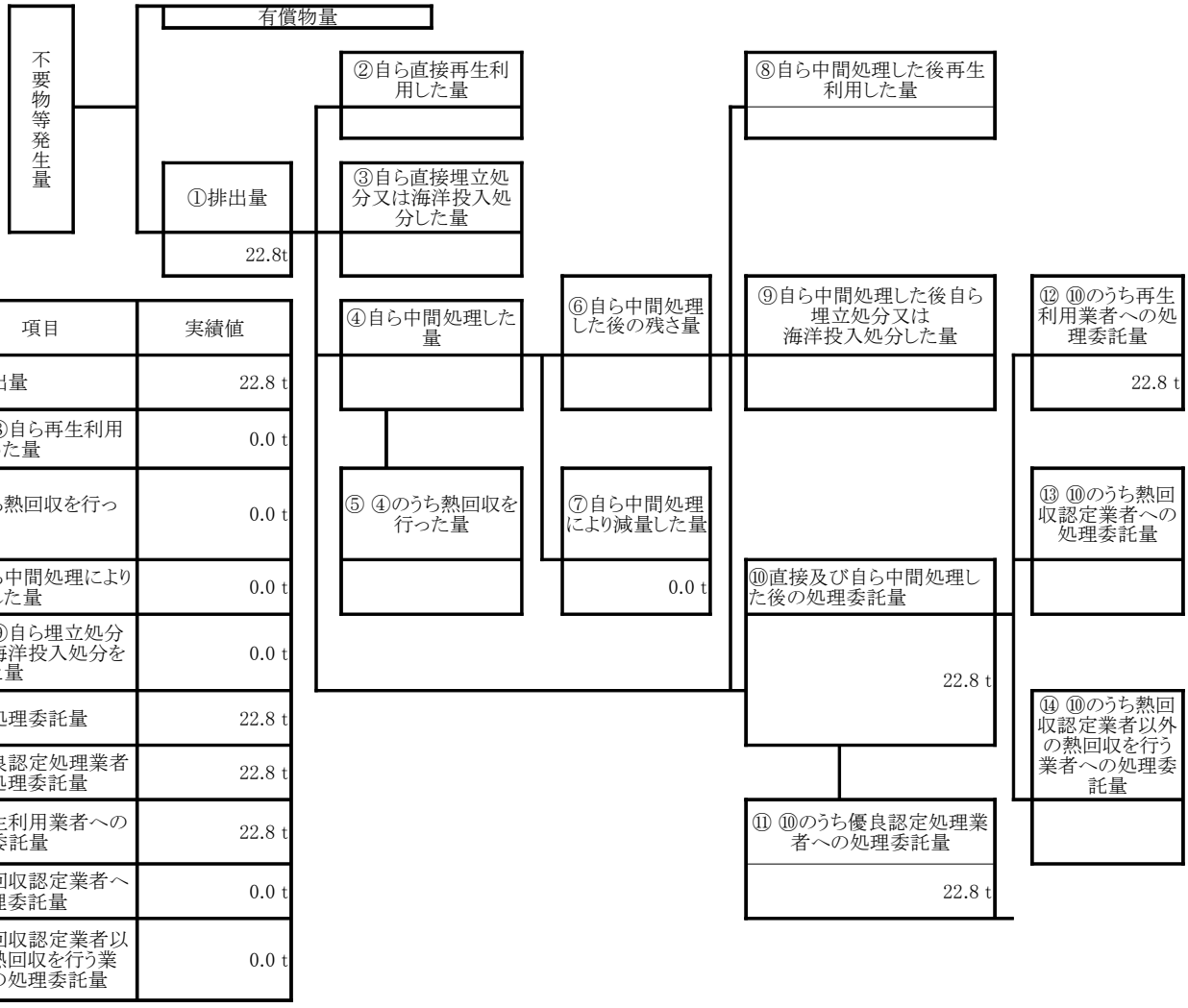


項目	実績値
①排出量	89.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	89.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	89.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	89.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

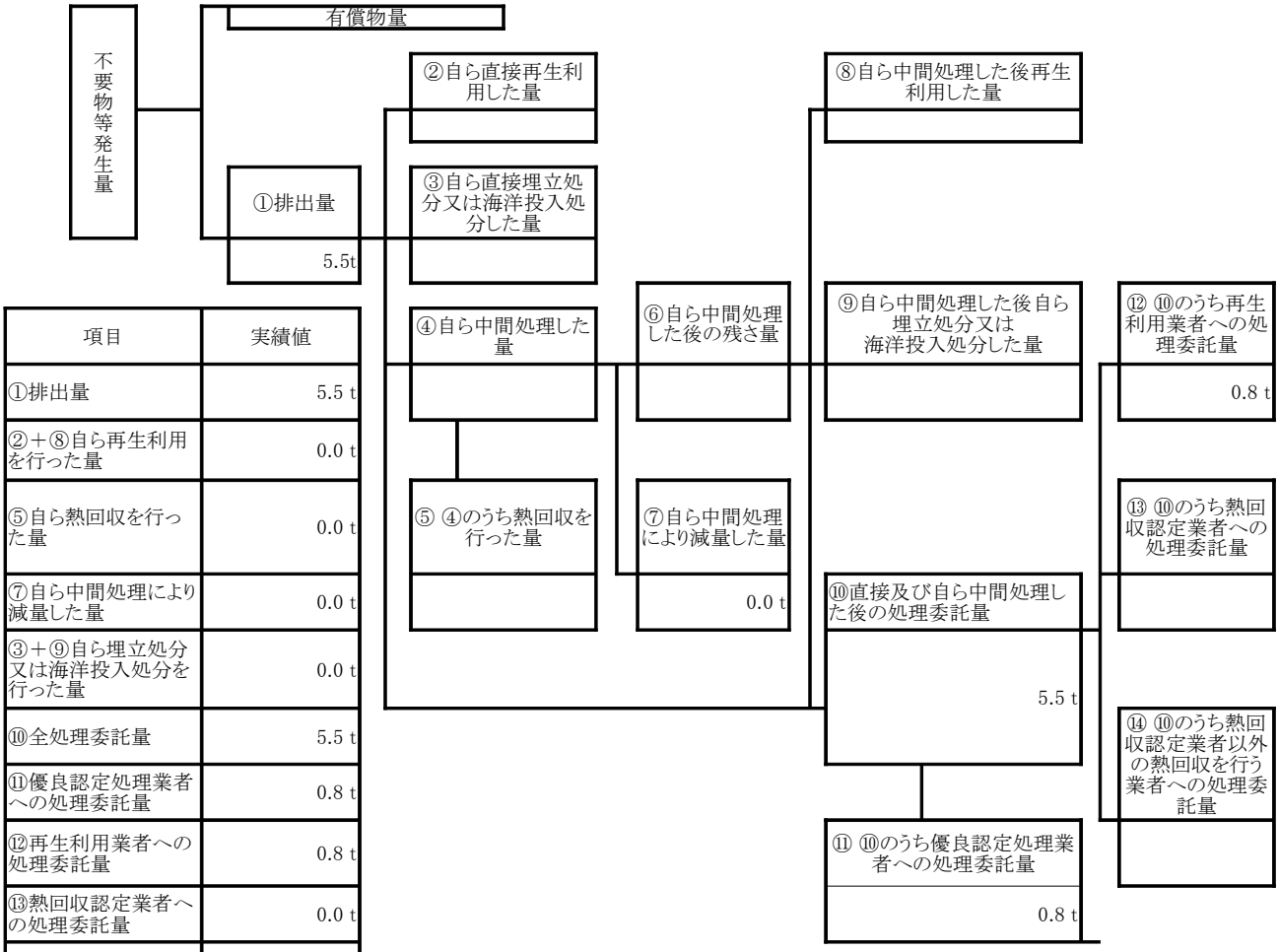


項目	実績値
①排出量	22.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	22.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**金属くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

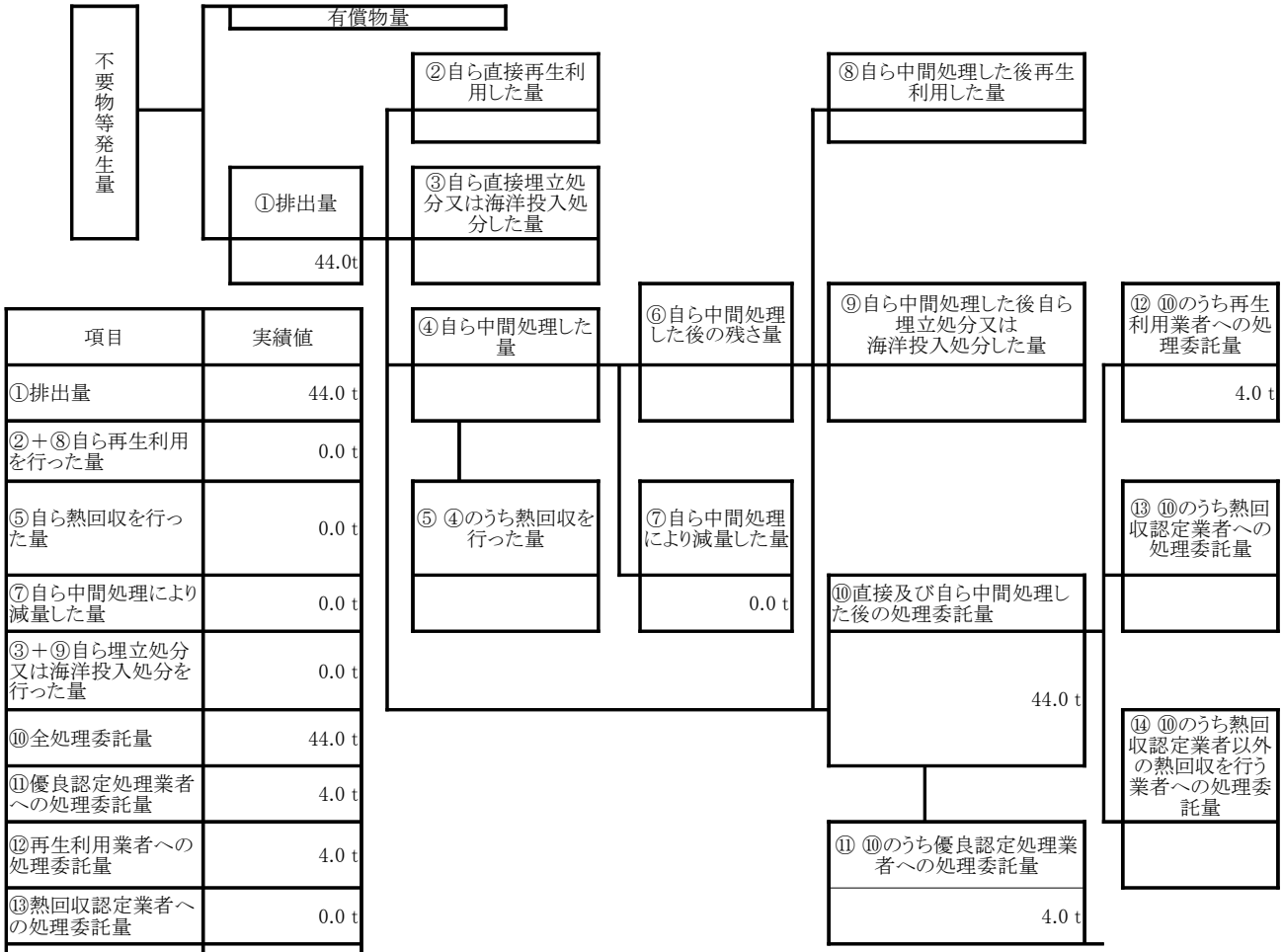


項目	実績値
①排出量	5.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

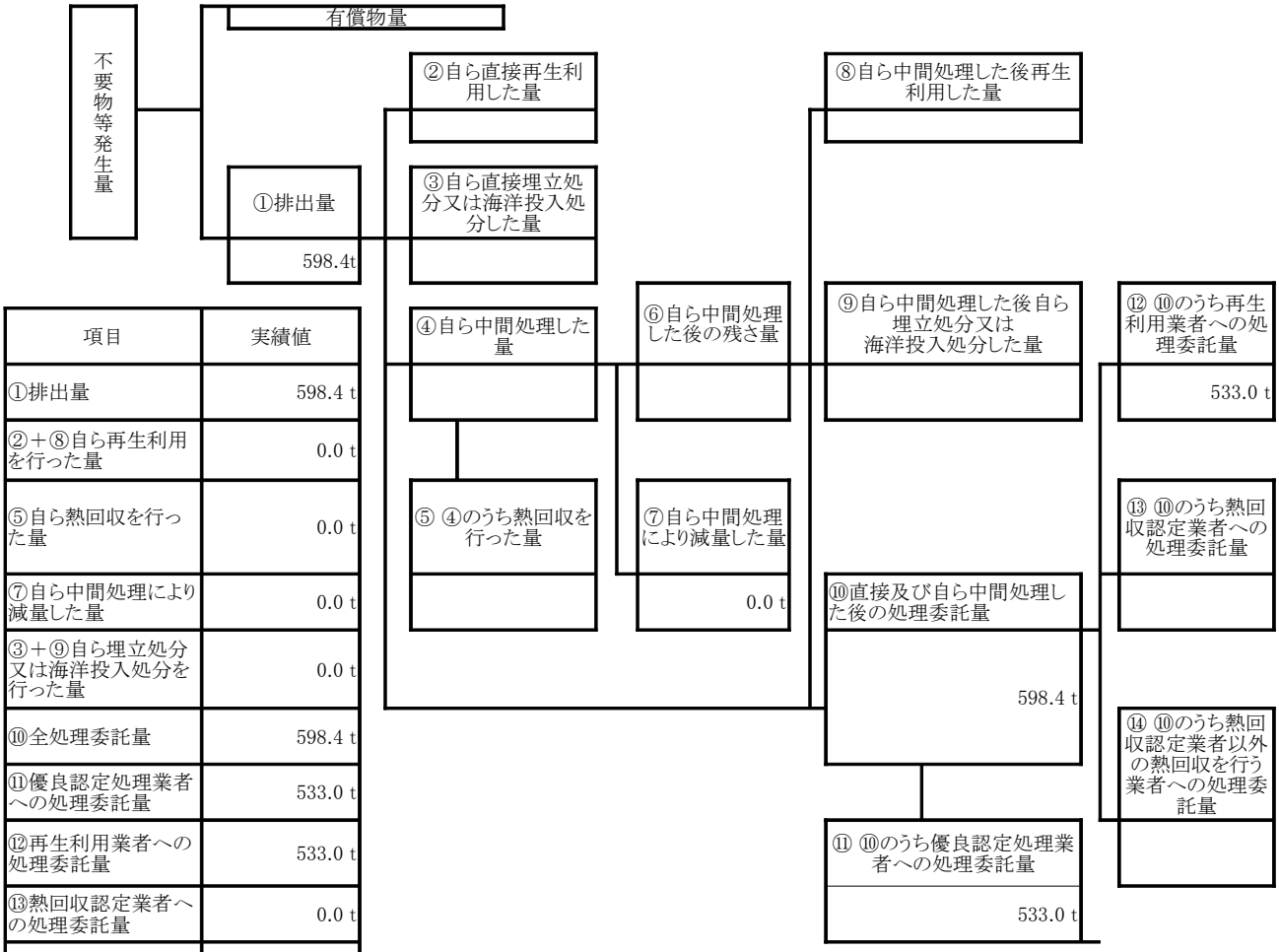


項目	実績値
①排出量	44.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	44.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



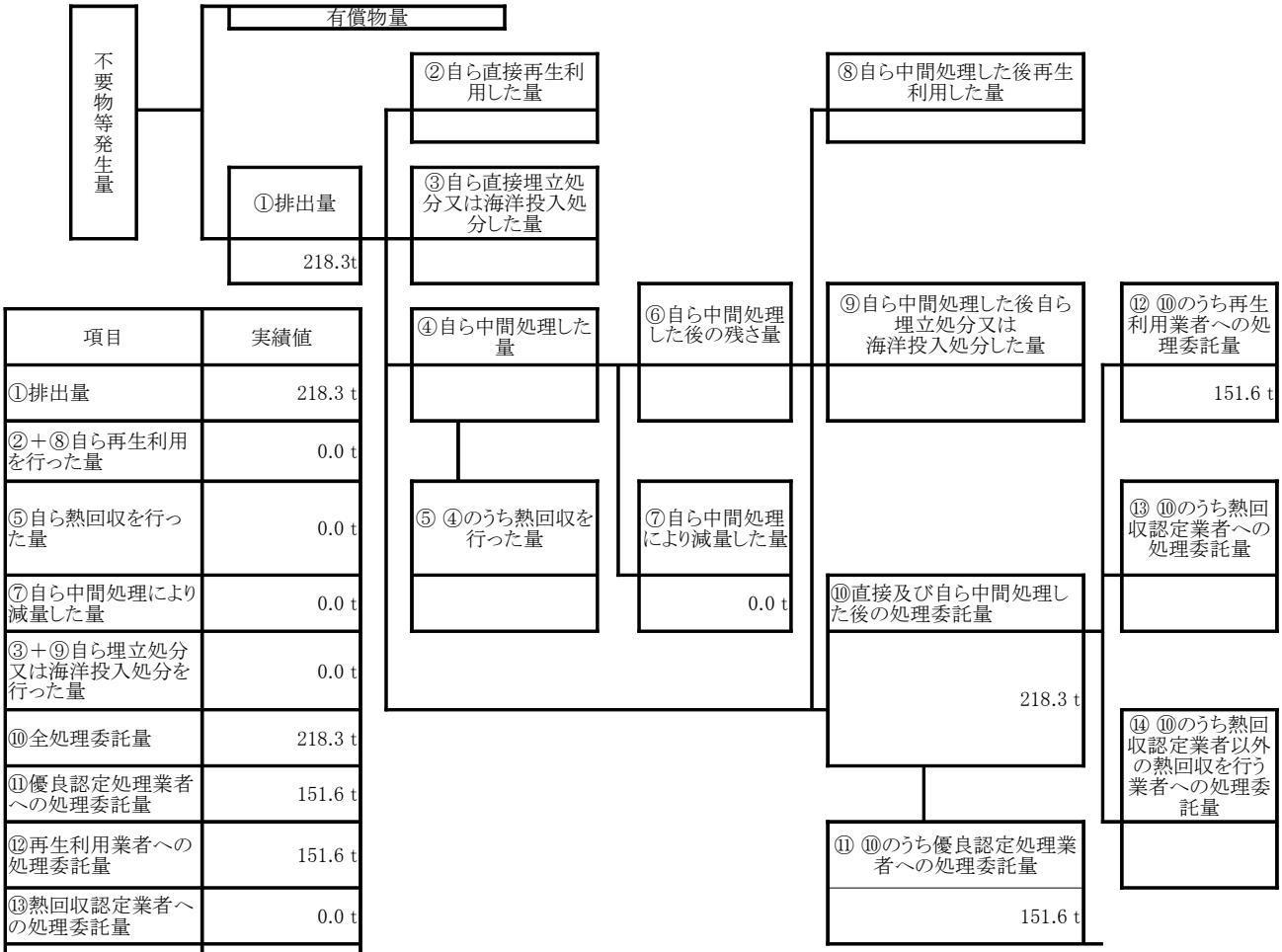
項目	実績値
①排出量	598.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	598.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	533.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	533.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

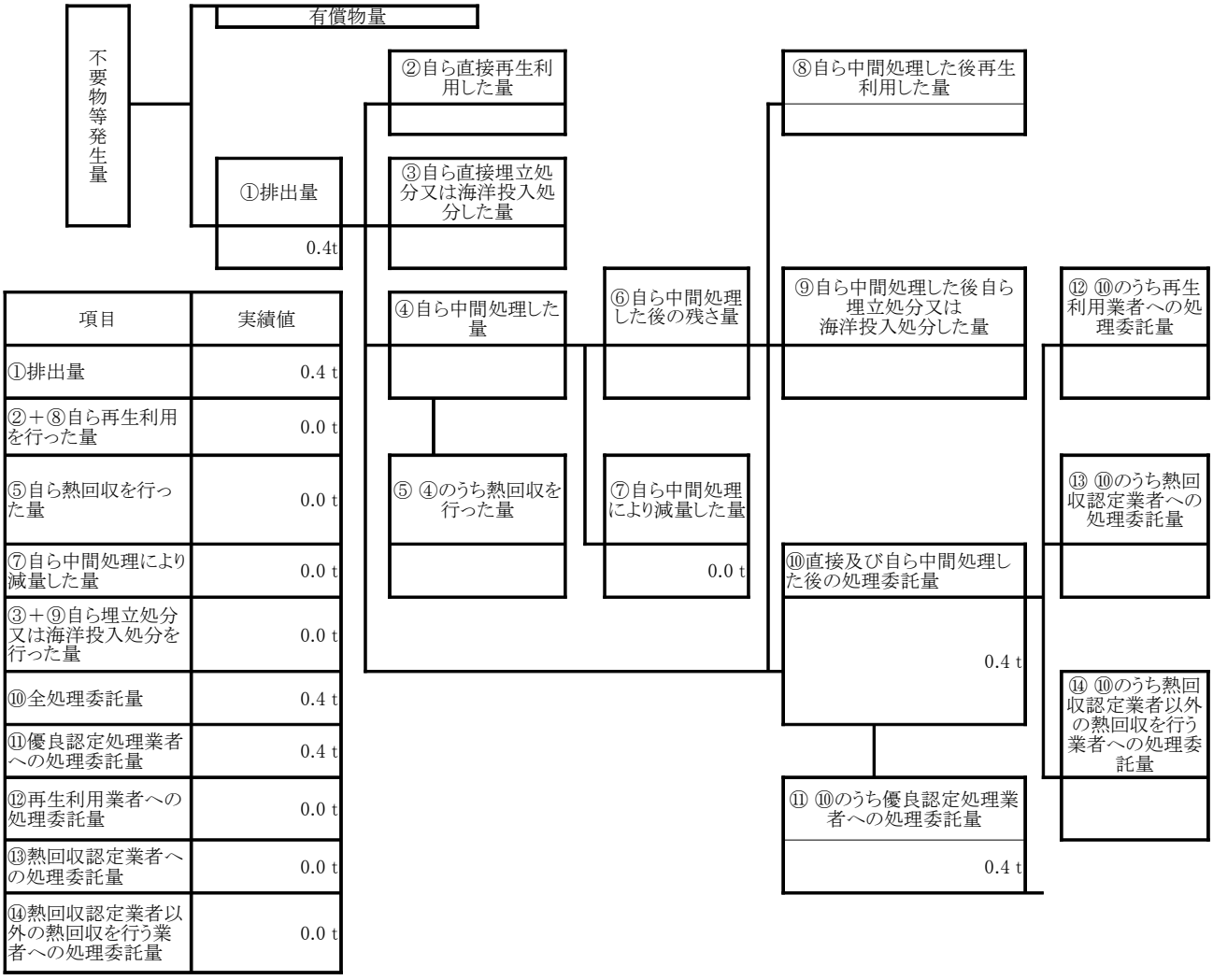


項目	実績値
①排出量	218.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	218.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	151.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	151.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**廃電気機械器具**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



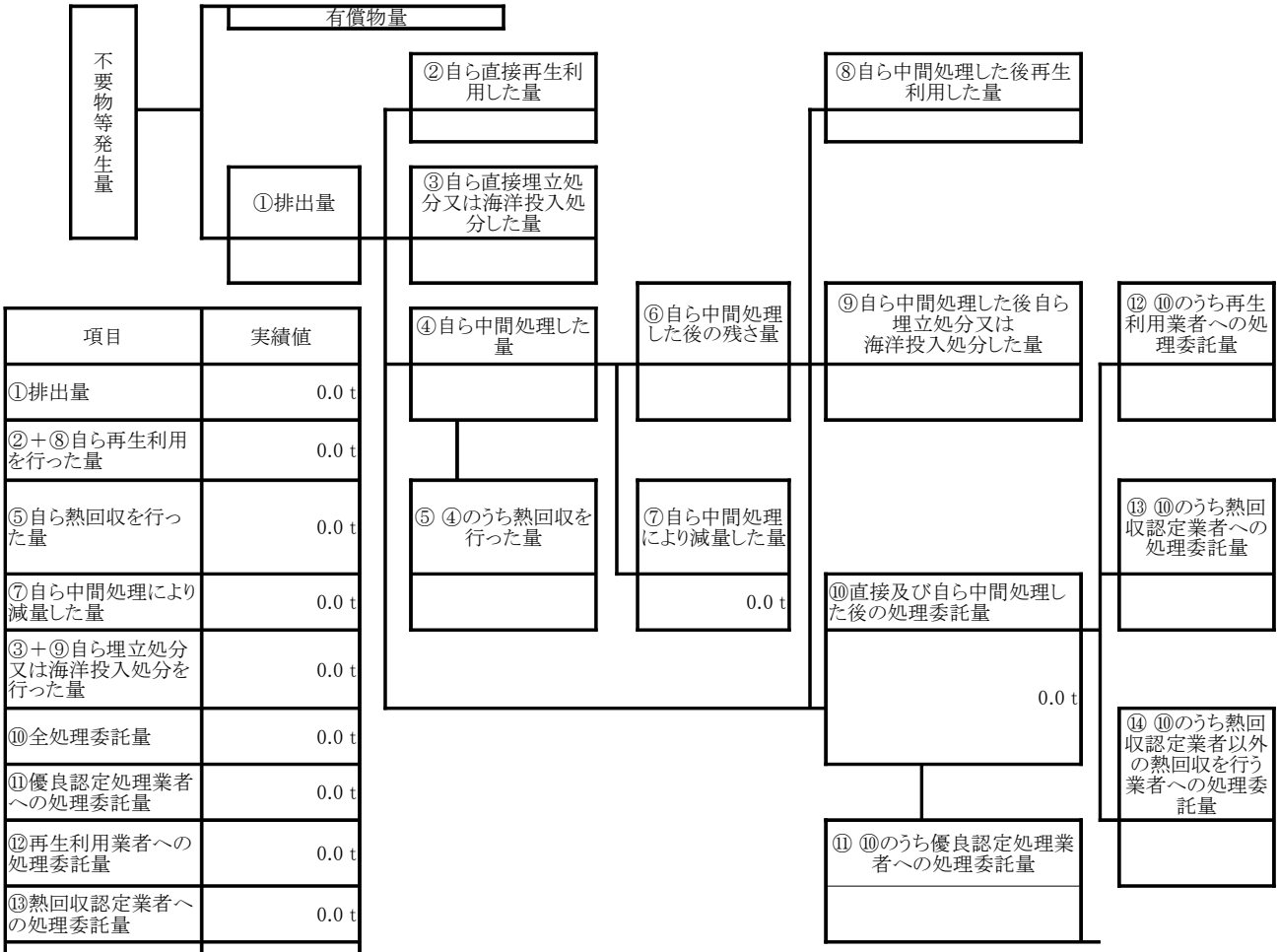
項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



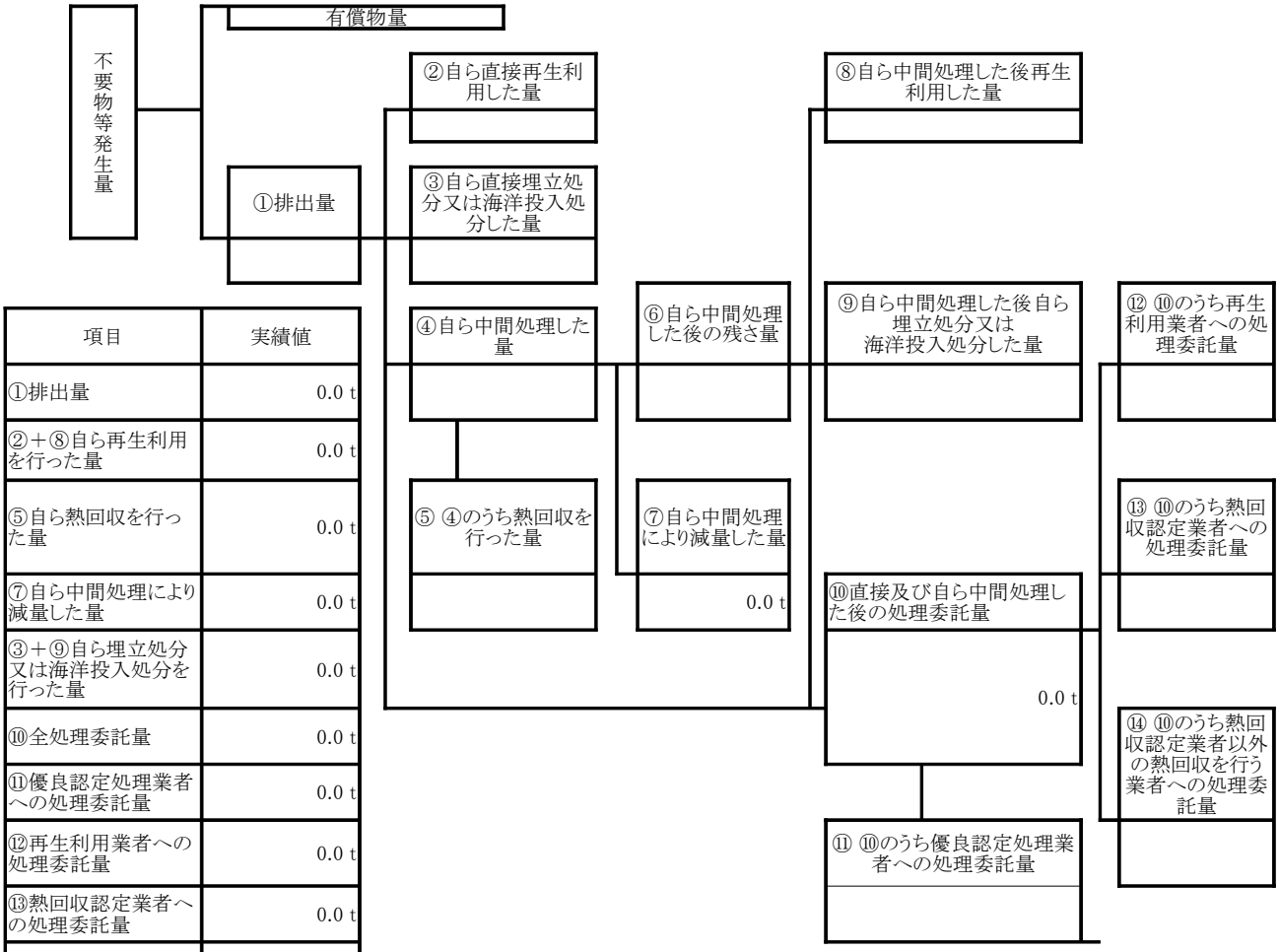
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

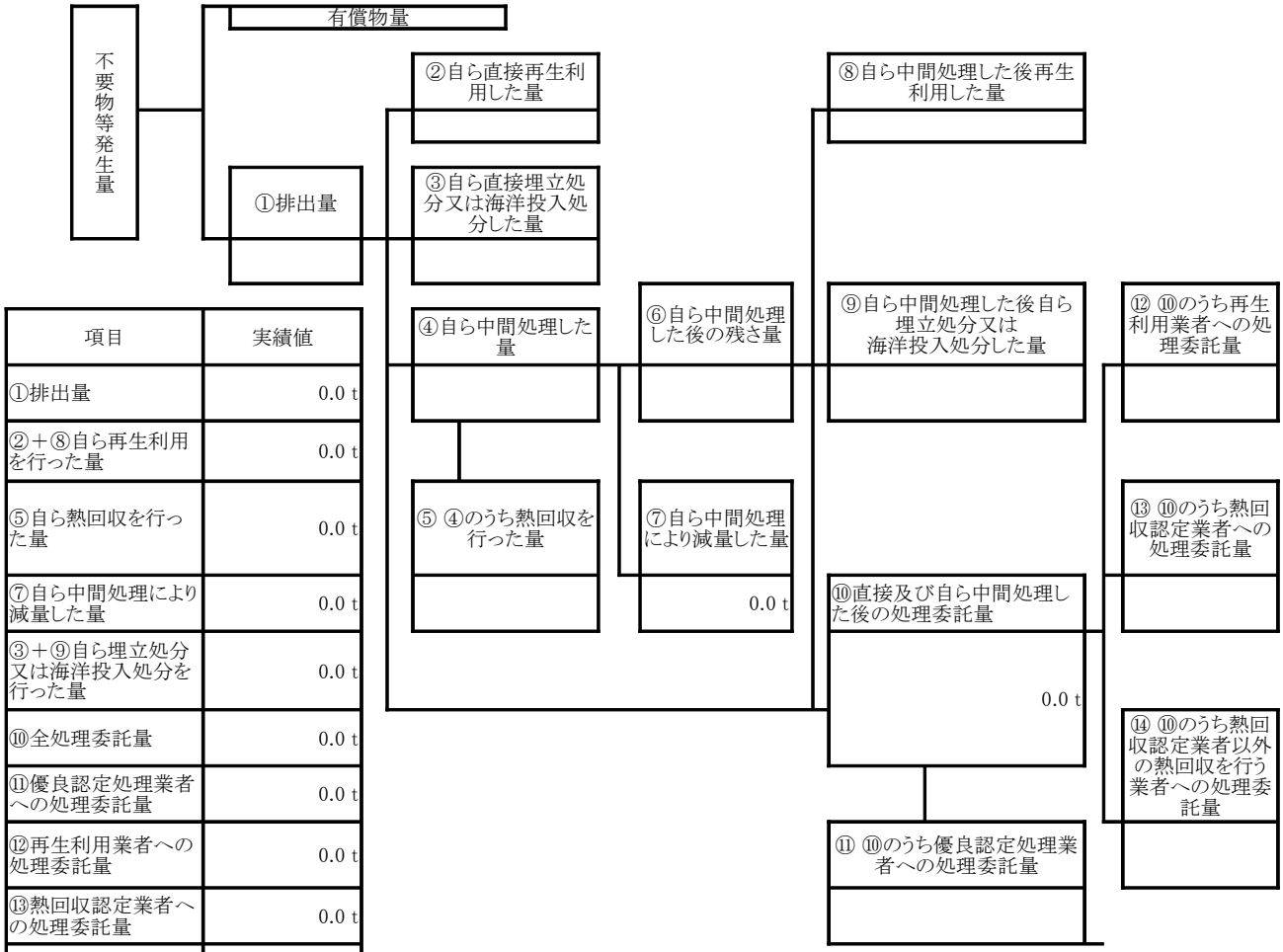


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



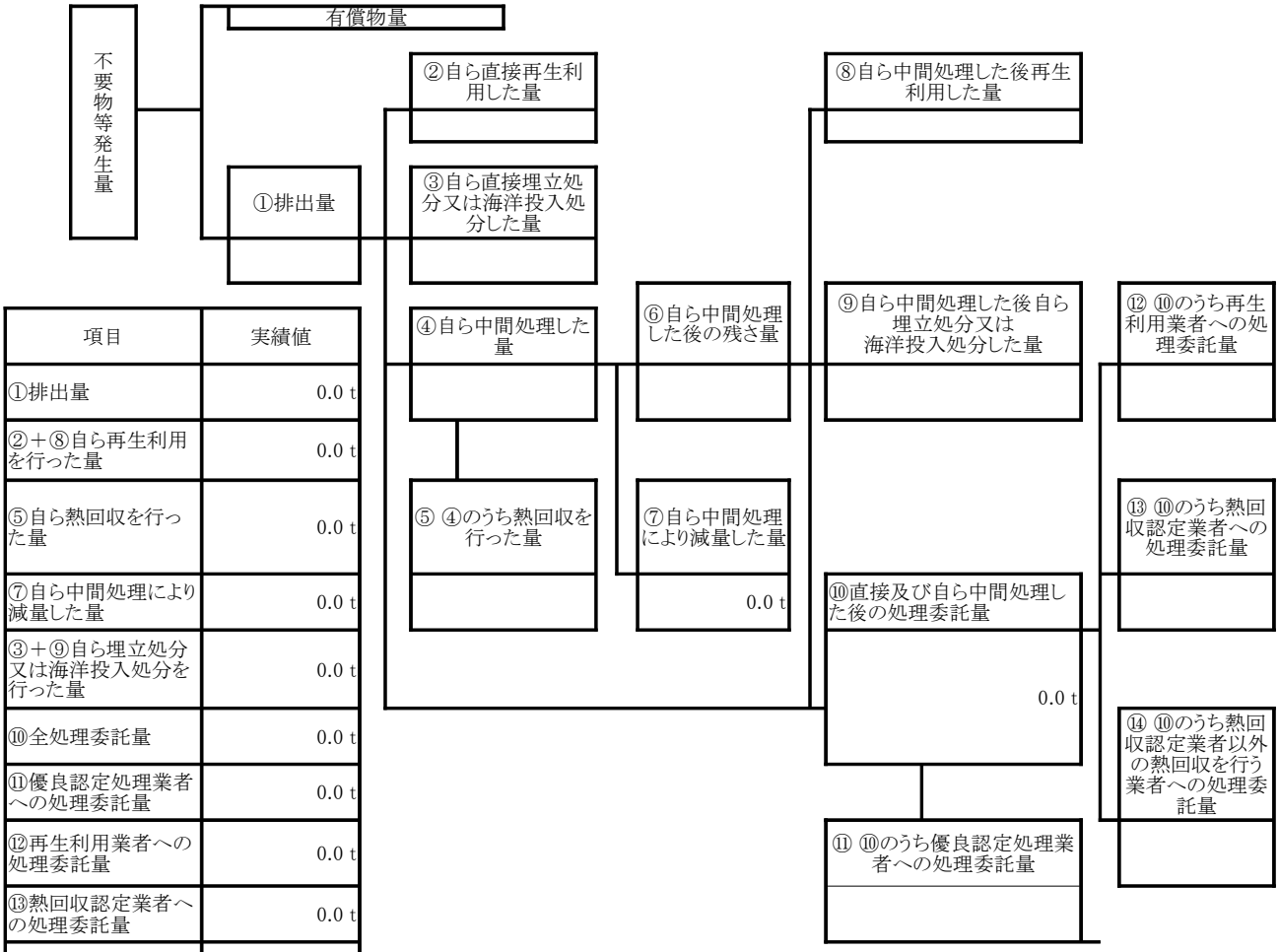
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

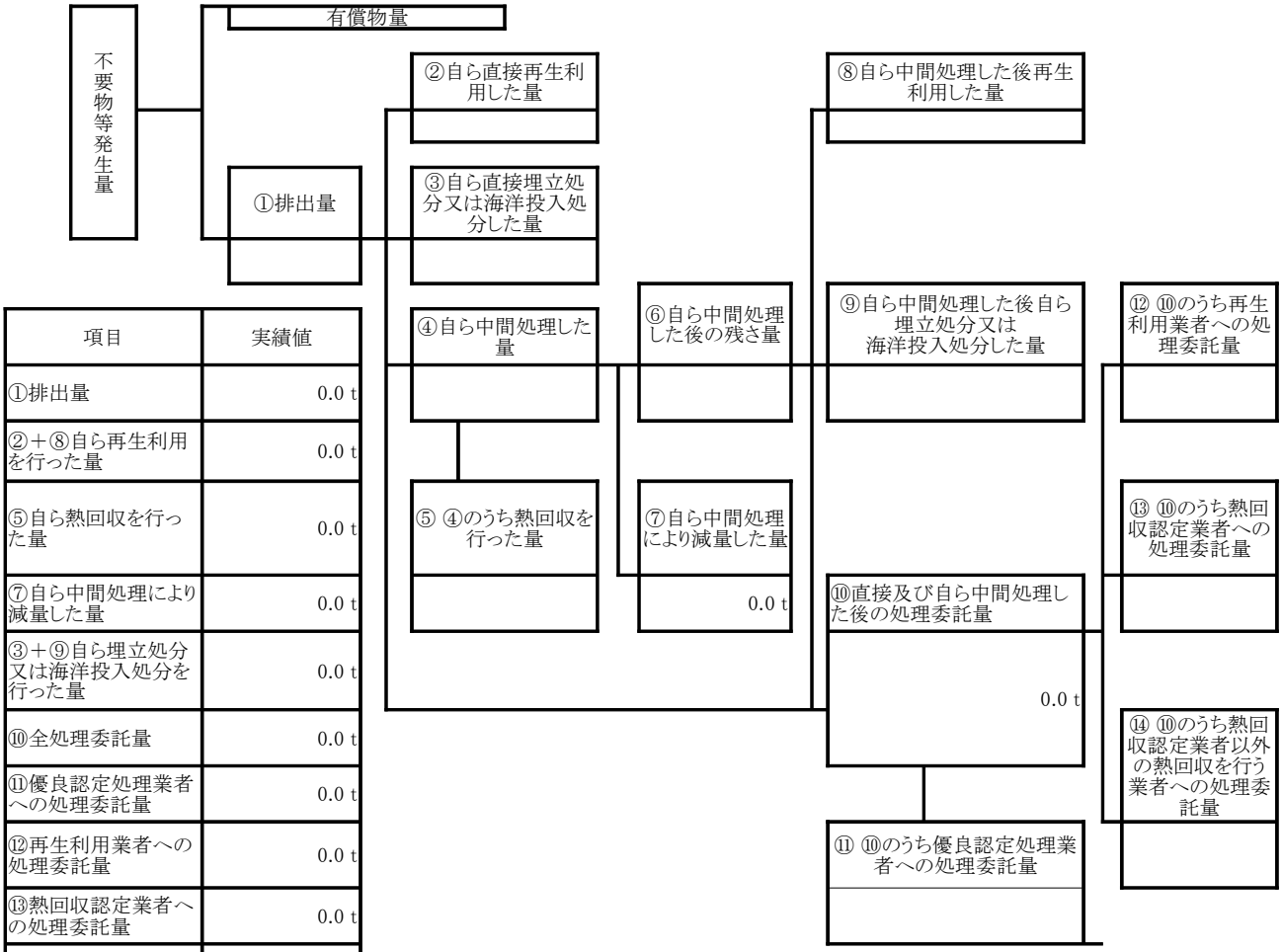


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

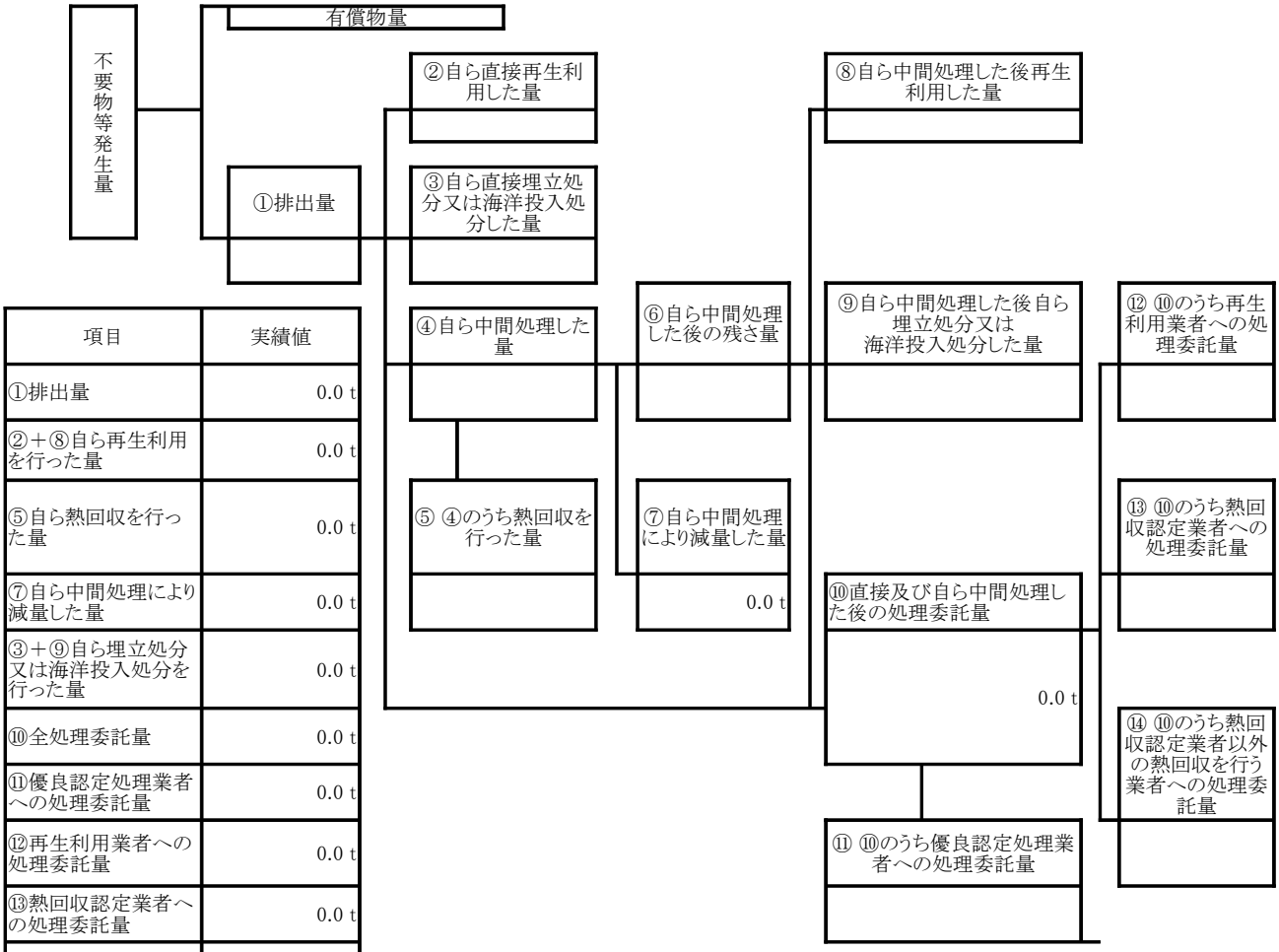


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



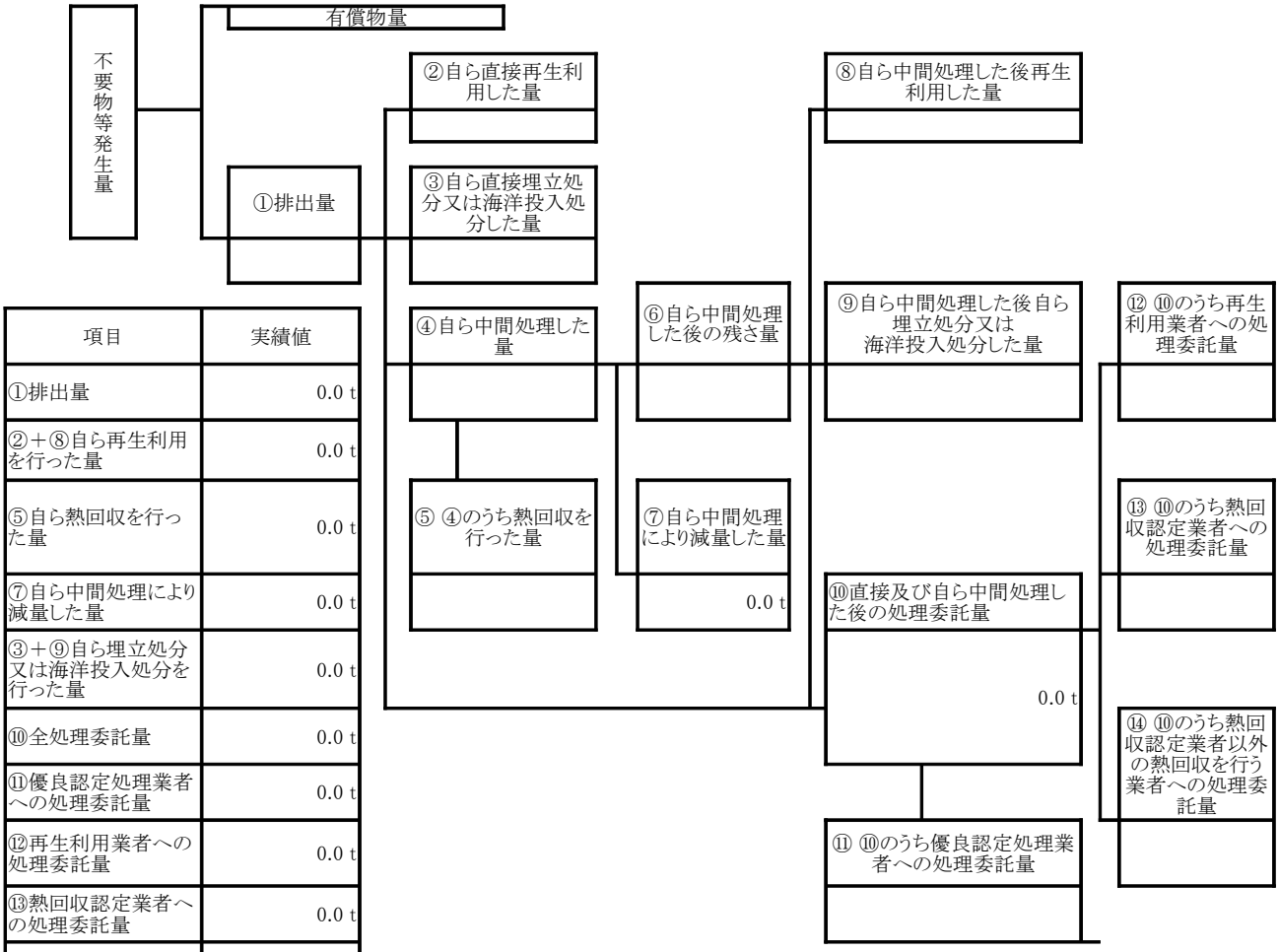
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

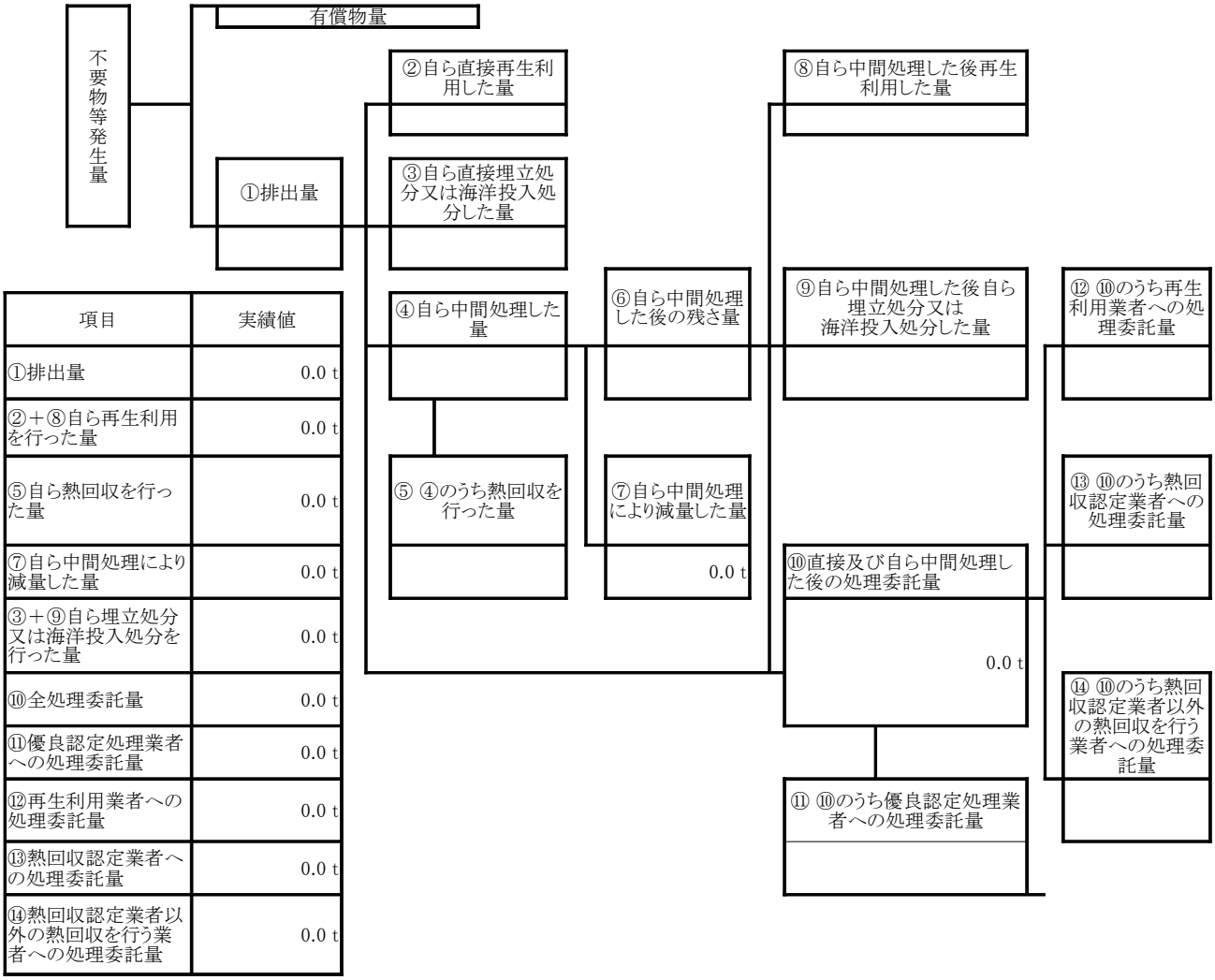


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

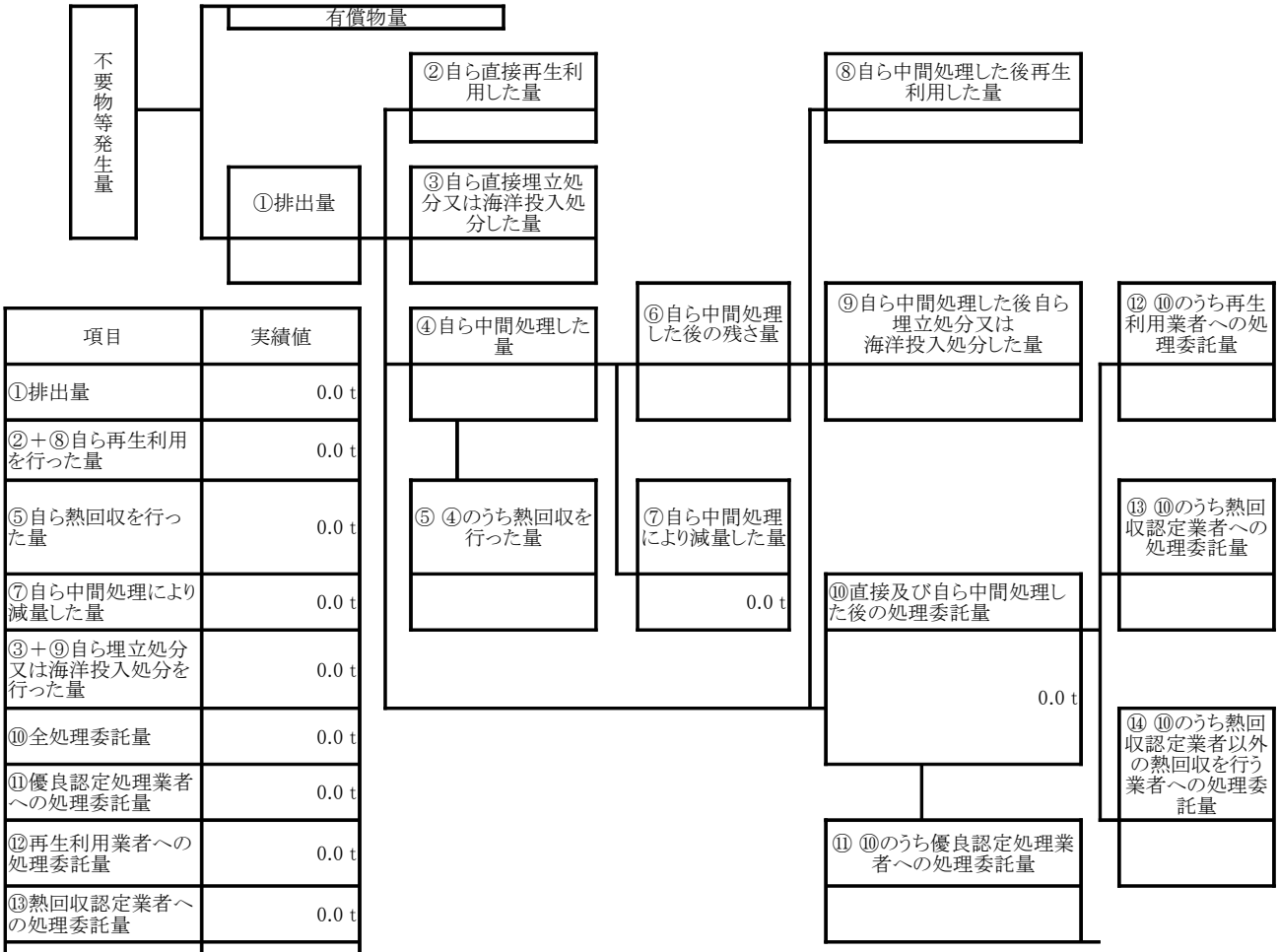


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月28日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　285-8655

住所 千葉県佐倉市大作2－4－2

法人名 太平洋セメント株式会社 中央研究所

代表者 執行役員 中央研究所長 平尾 宙

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 043-498-3811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	太平洋セメント株式会社 中央研究所
事業場の所在地	千葉県佐倉市大作2－4－2
事業の種類	大分類　製造業　中分類 窯業・土石製品製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	0.59 t	全処理委託量	0.59 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	0.59 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	全前年度（令和4年度）	56.68 t
	前年度（令和5年度）	0.09 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

特別管理産業廃棄物については、処理委託業者と調整し、電子マニフェストを導入した。（2024年度 利用開始）

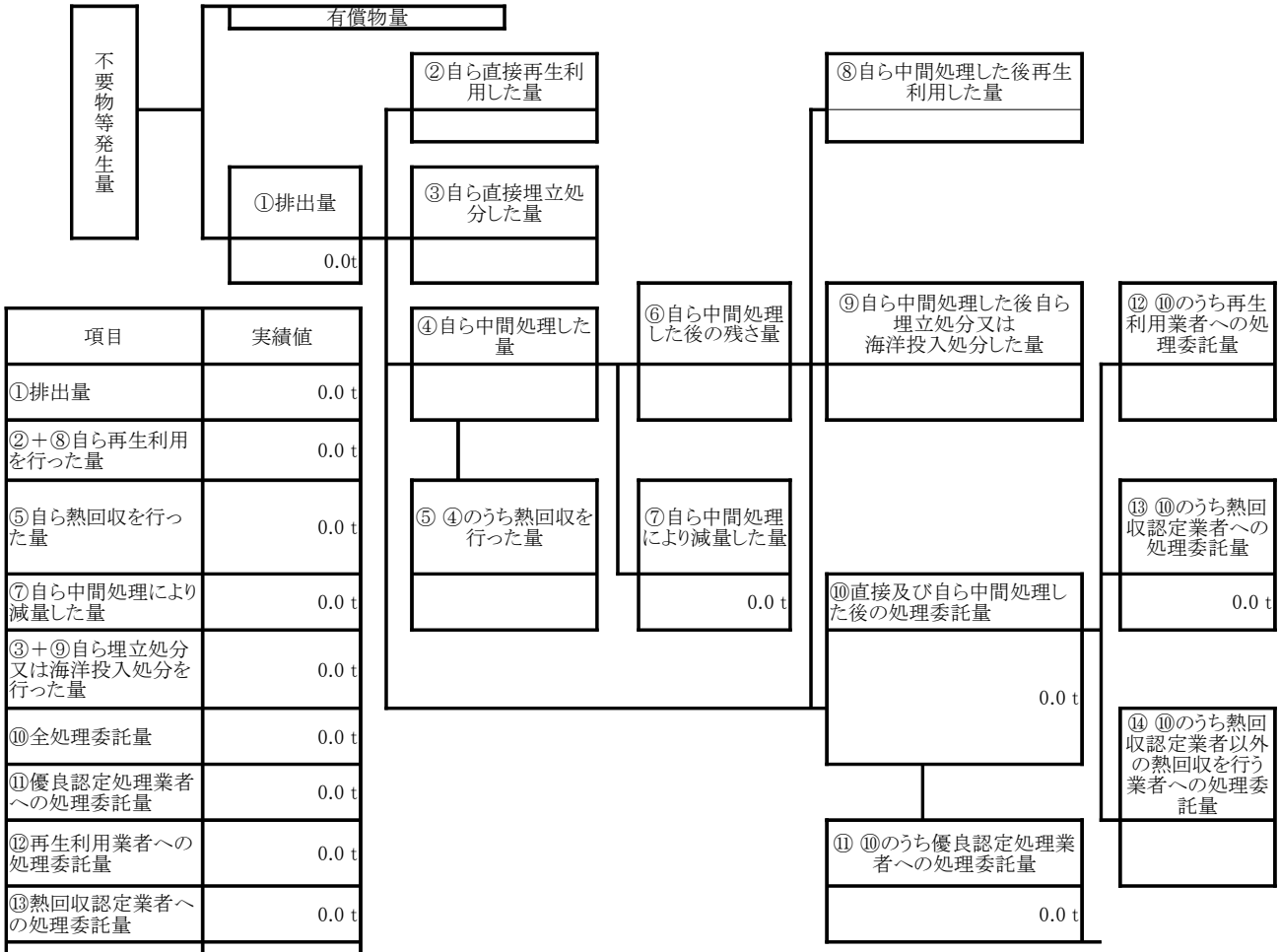
（日本産業規格　A列4番）

N0.1

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　汚泥　）



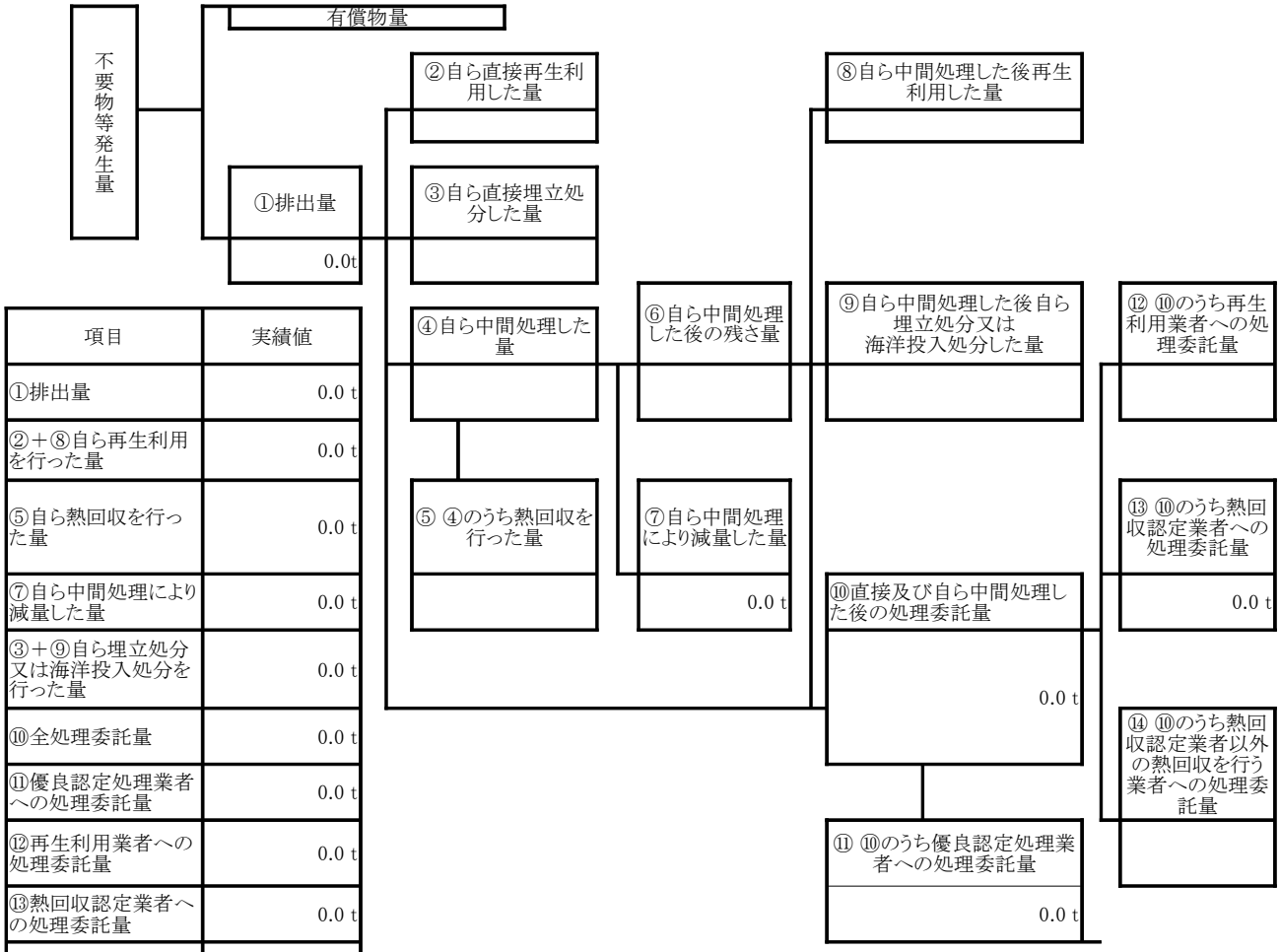
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　廃油　）

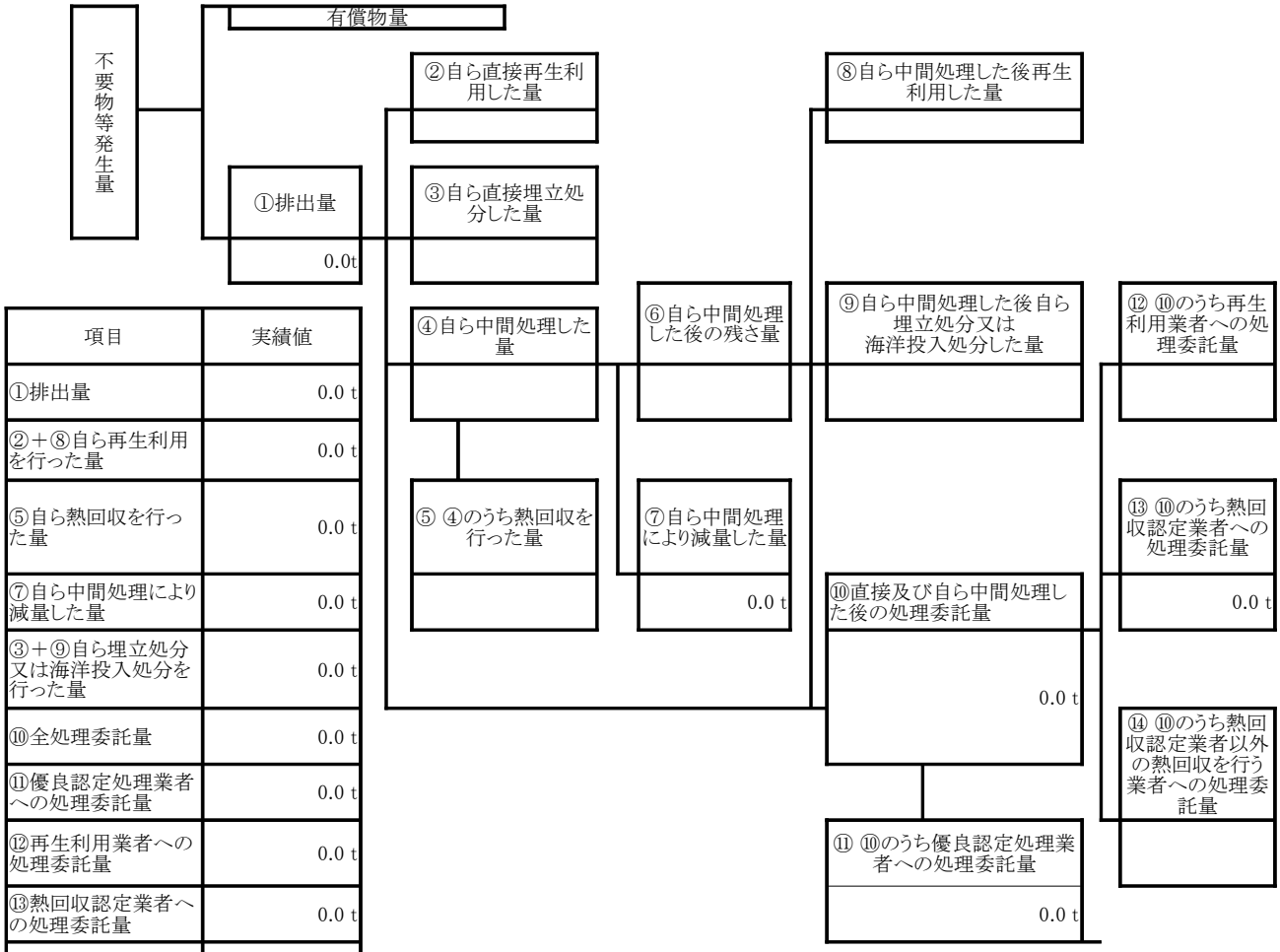


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

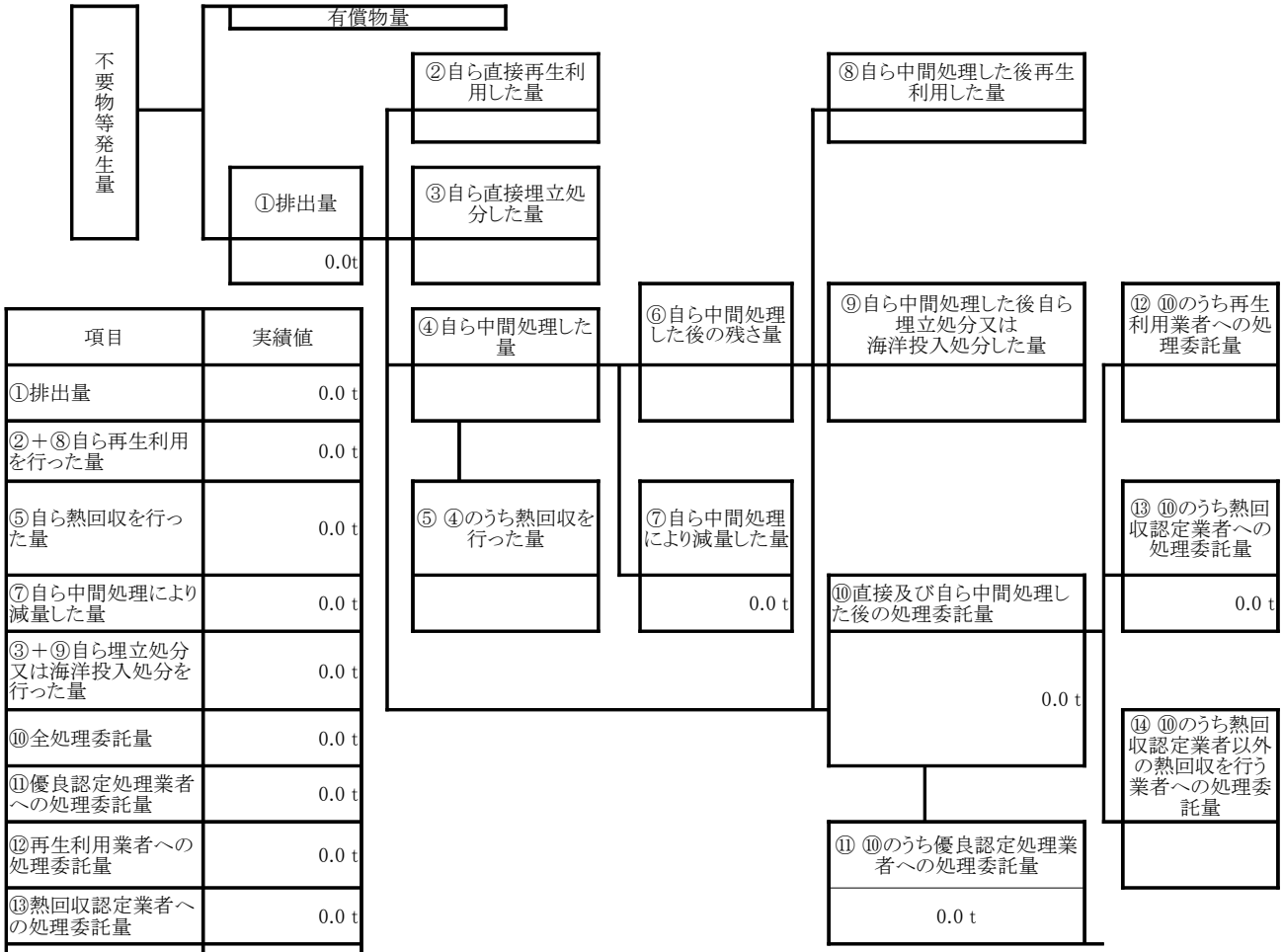
計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　廃酸　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　廃アルカリ　）

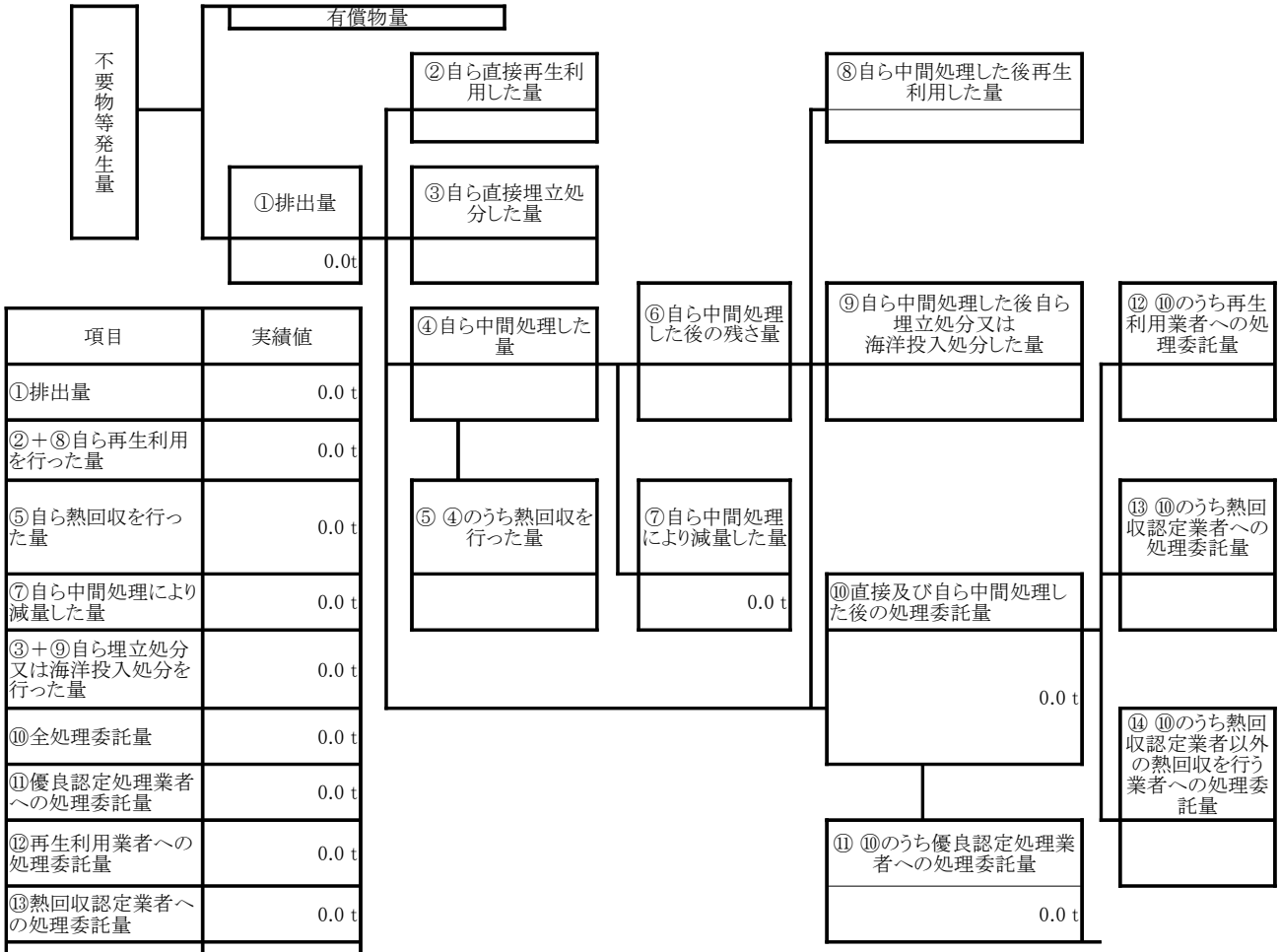


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　廃水銀等　）

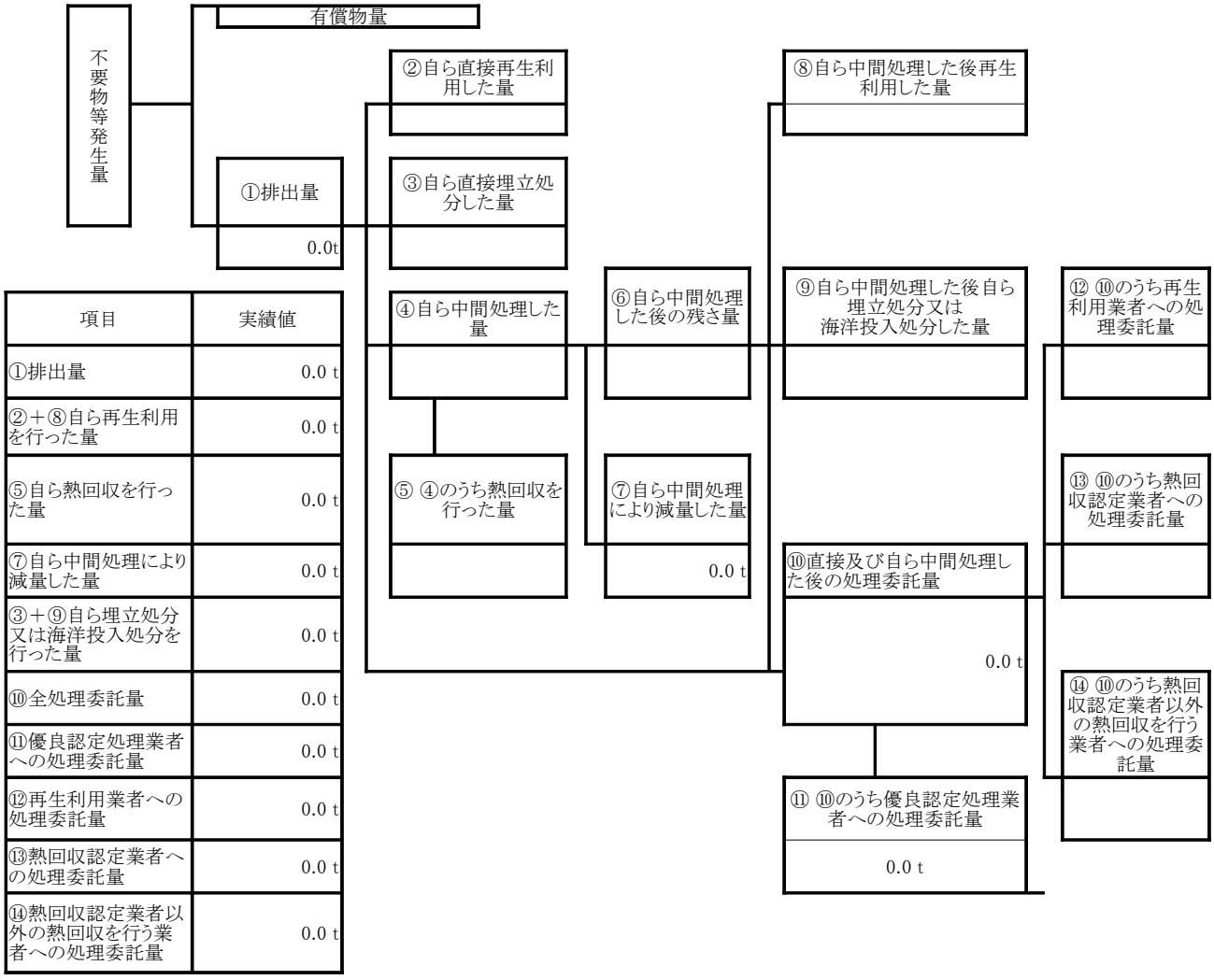


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　**感染症廃棄物**　）



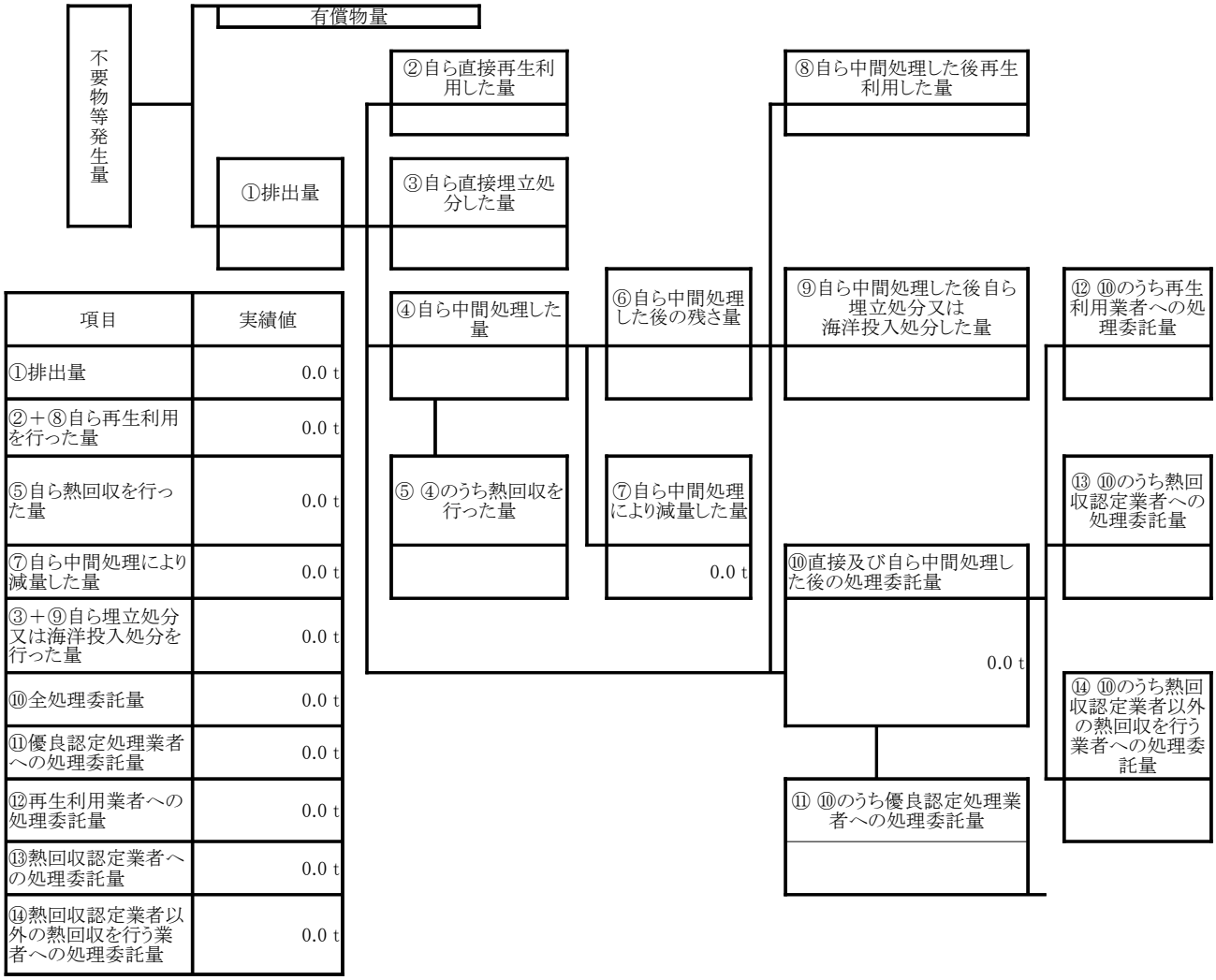
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

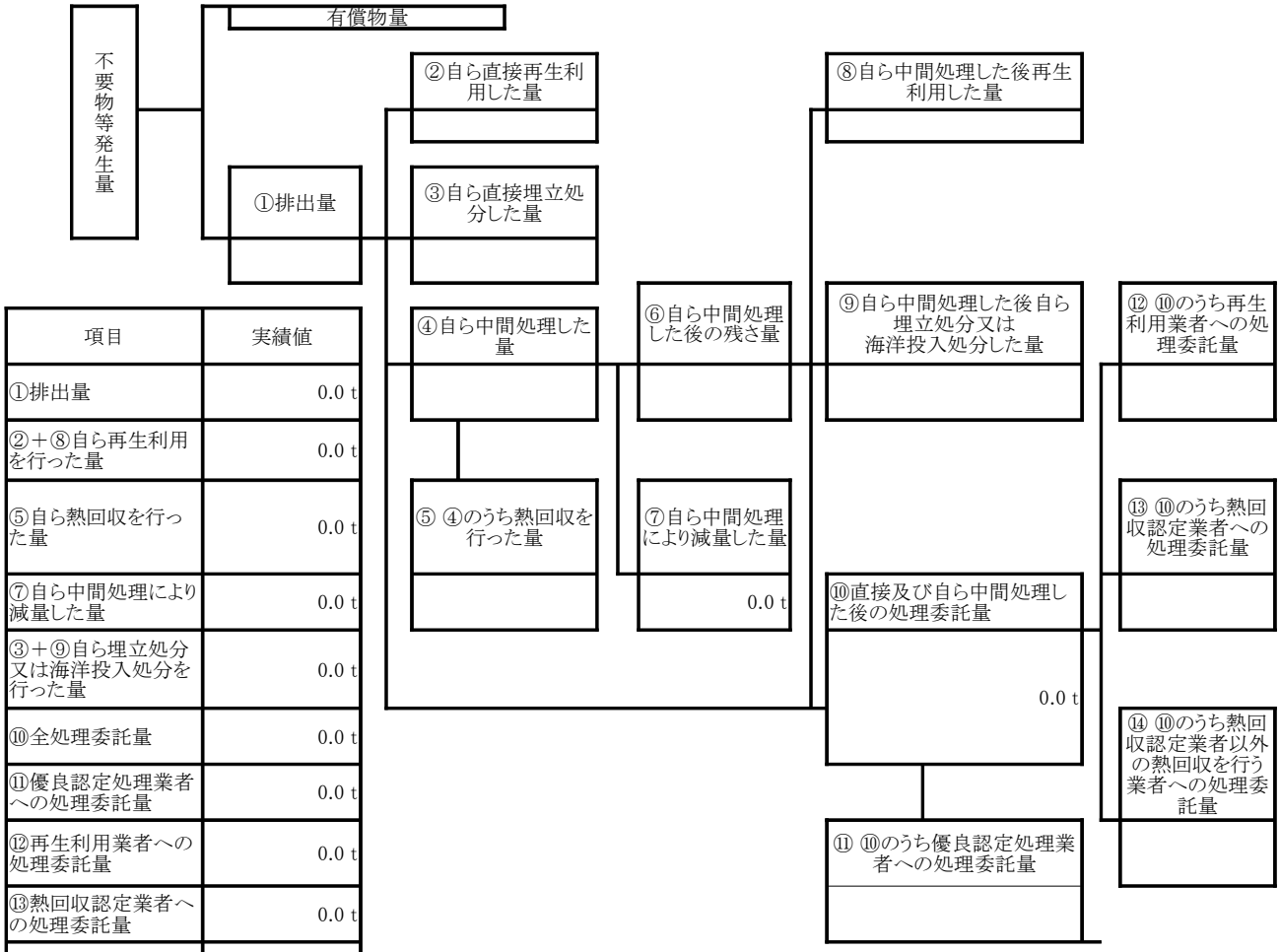


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

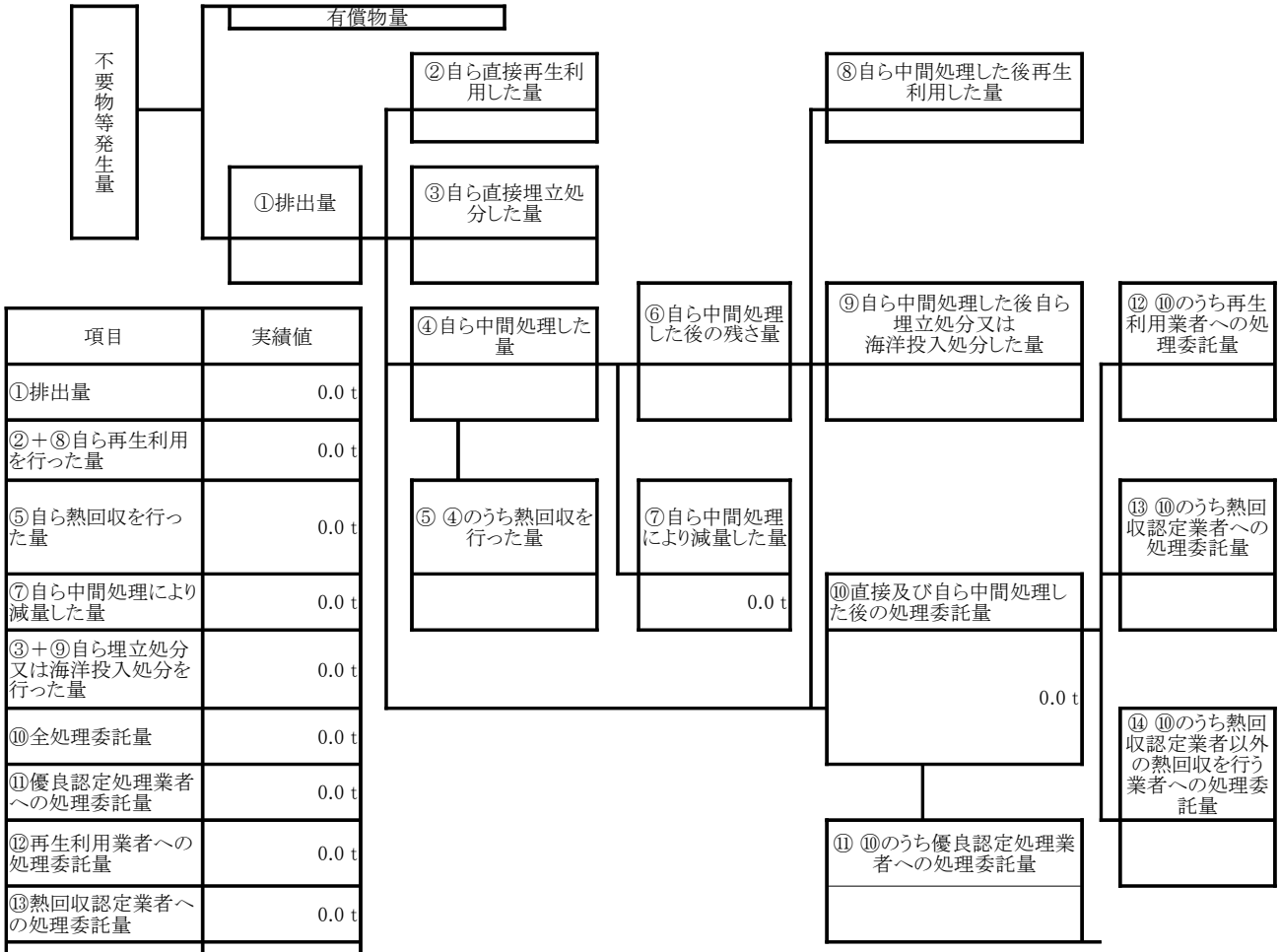


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

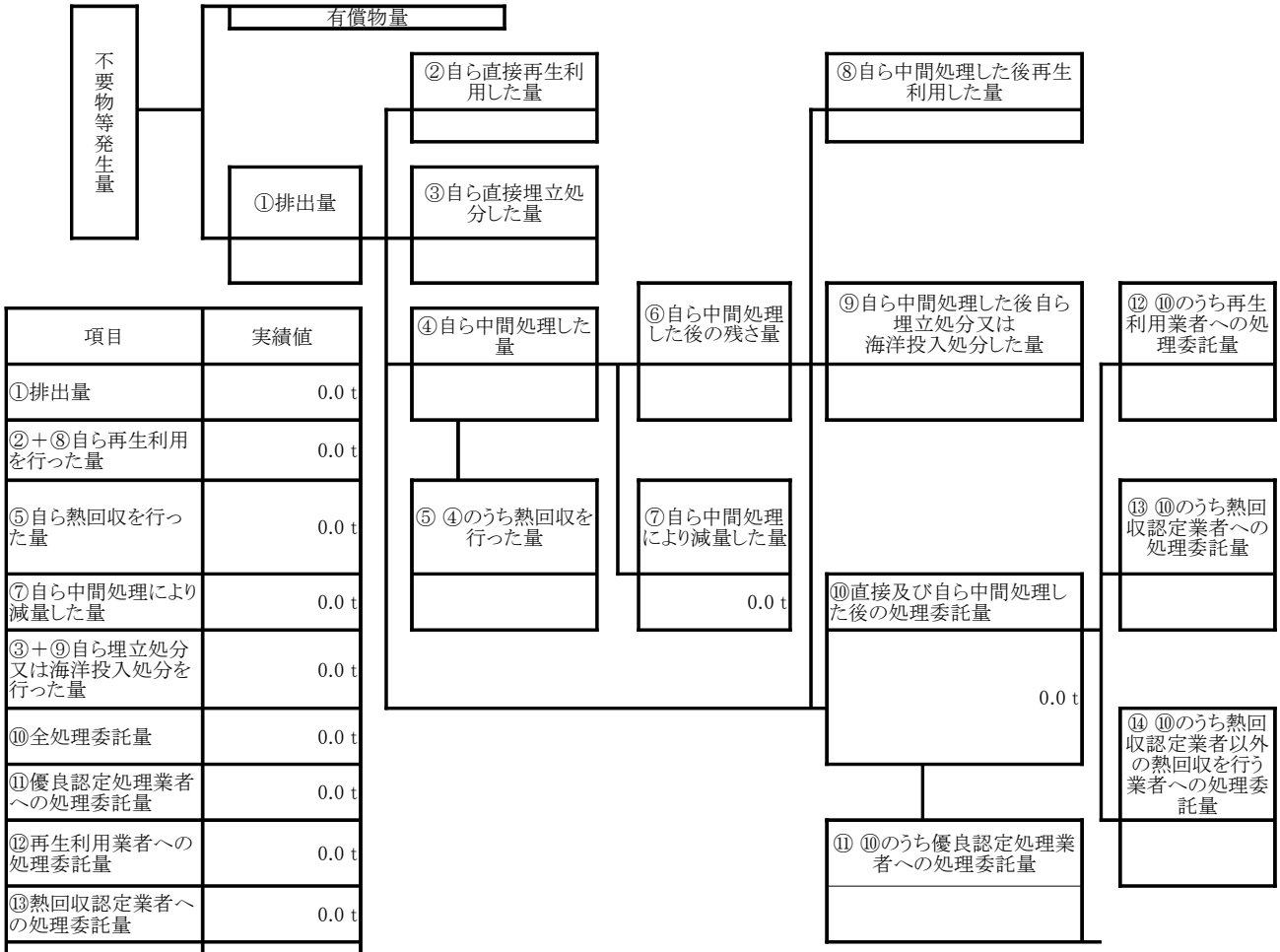


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



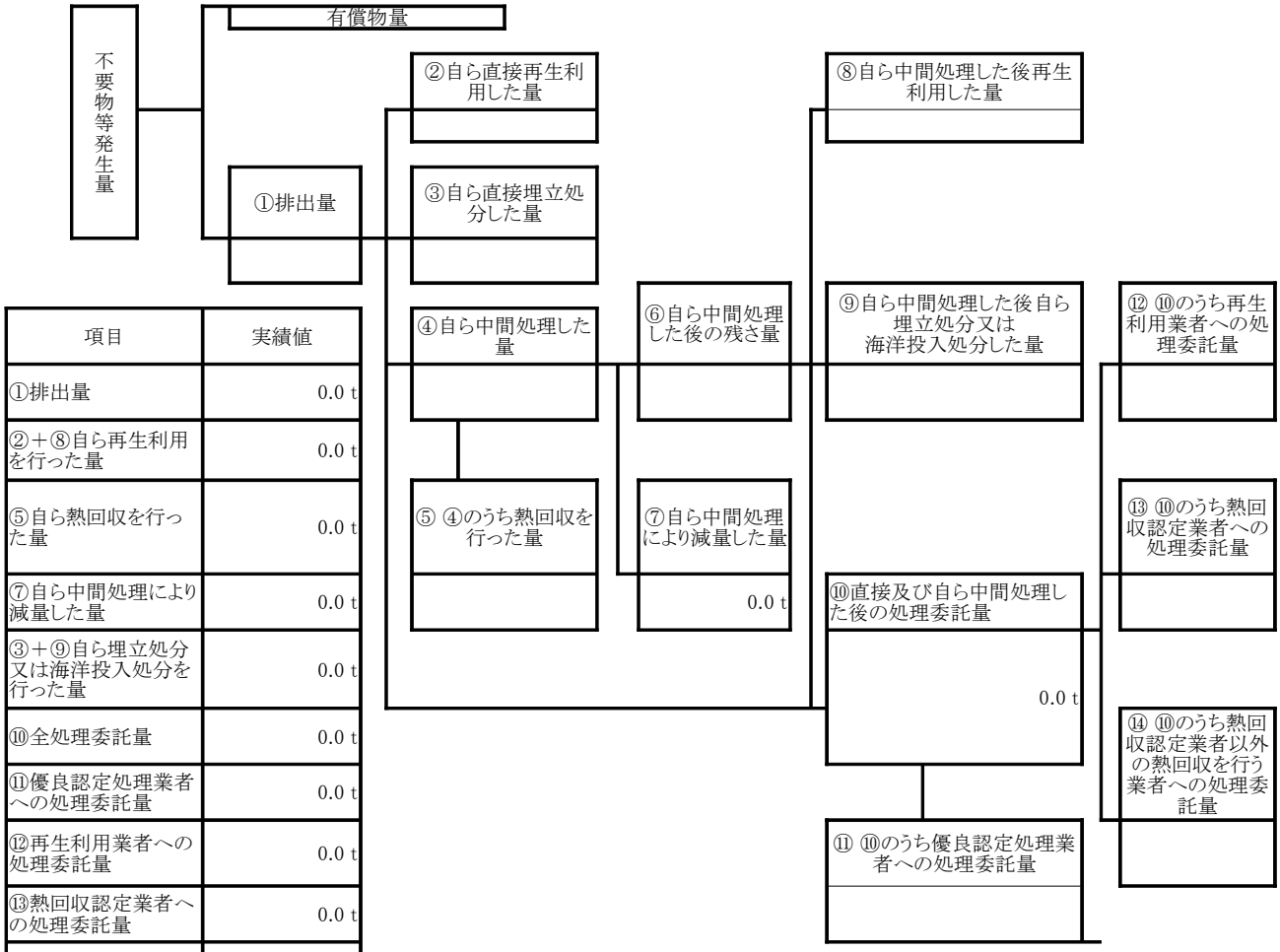
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

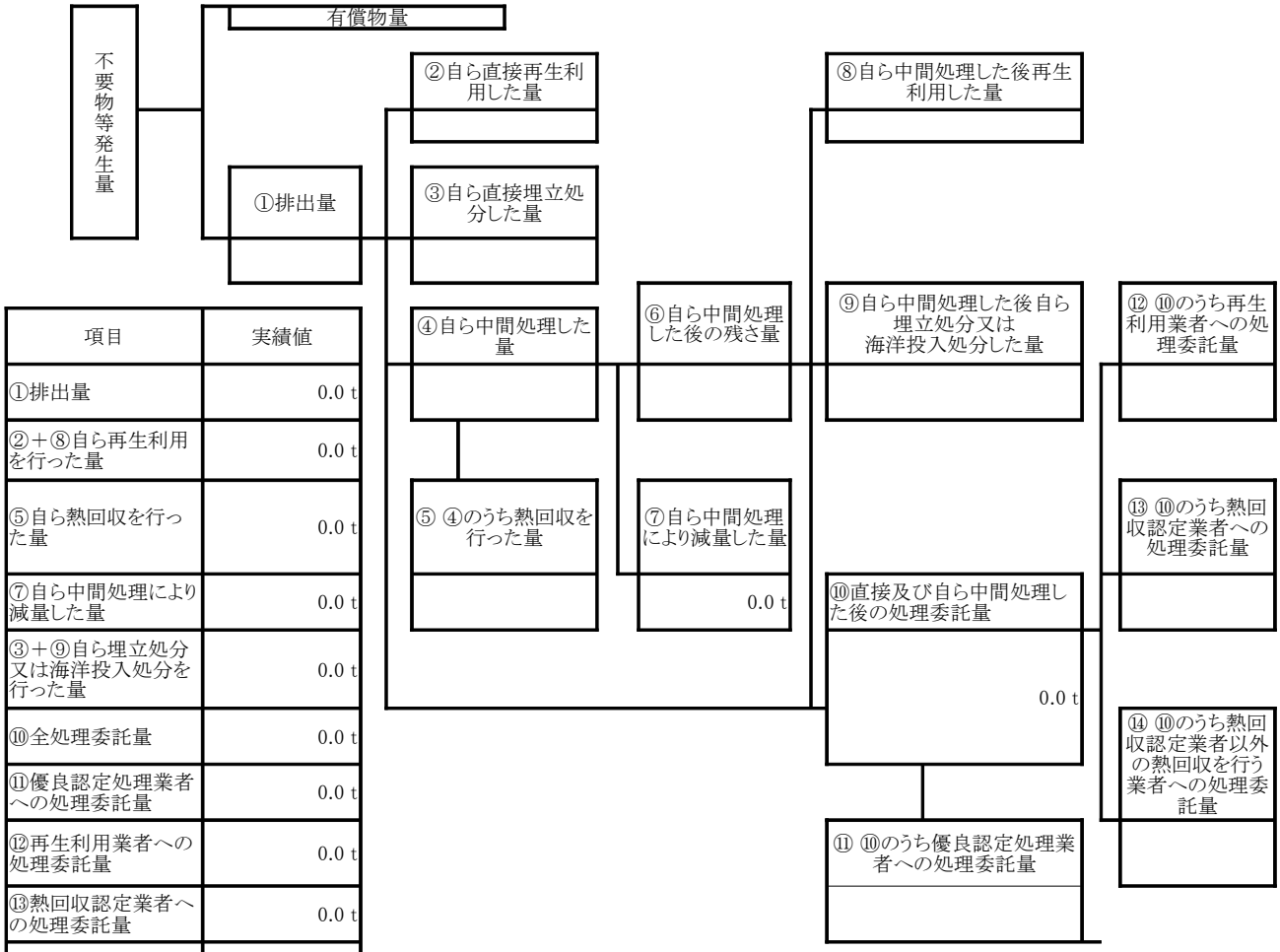


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

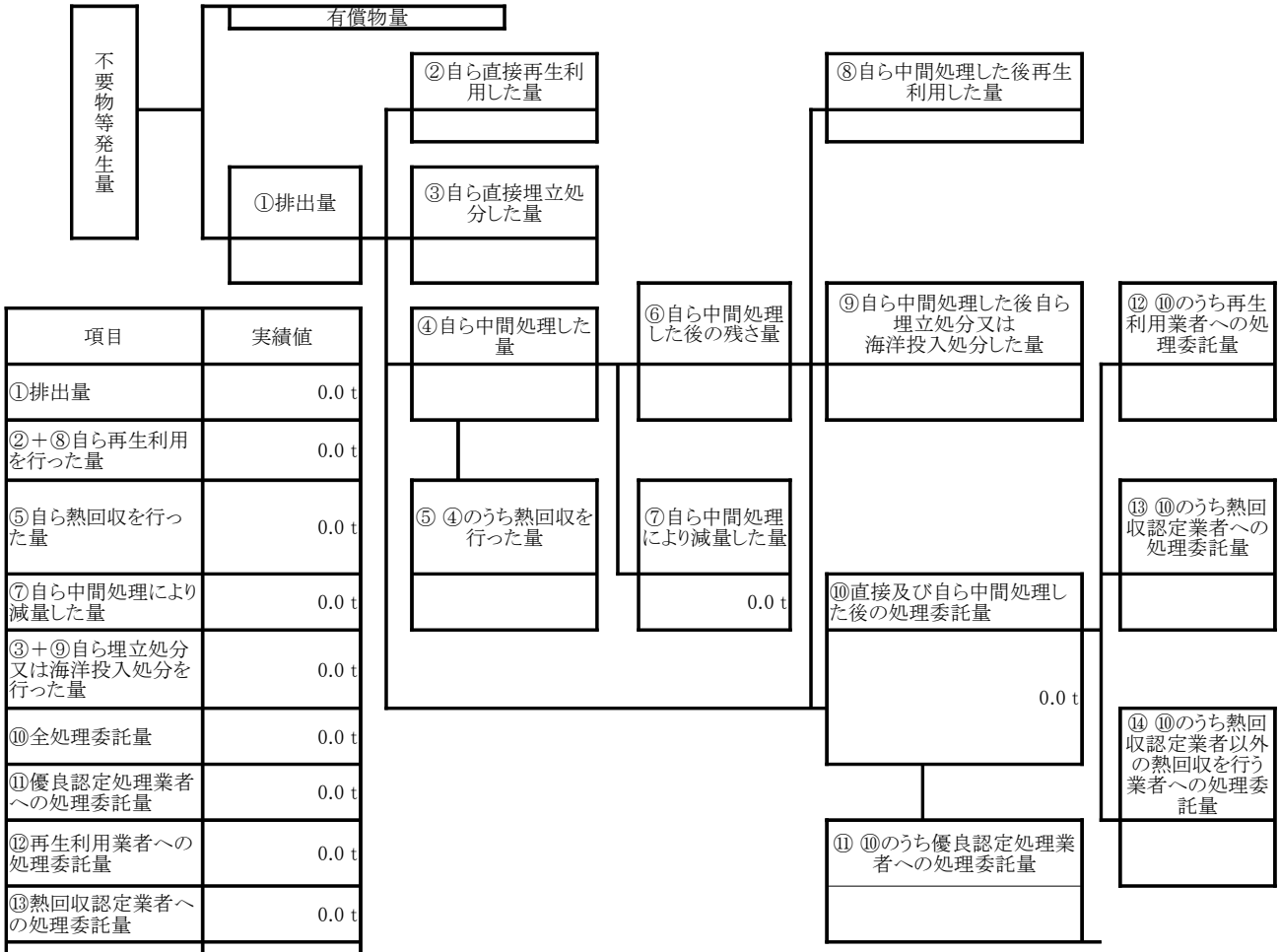


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

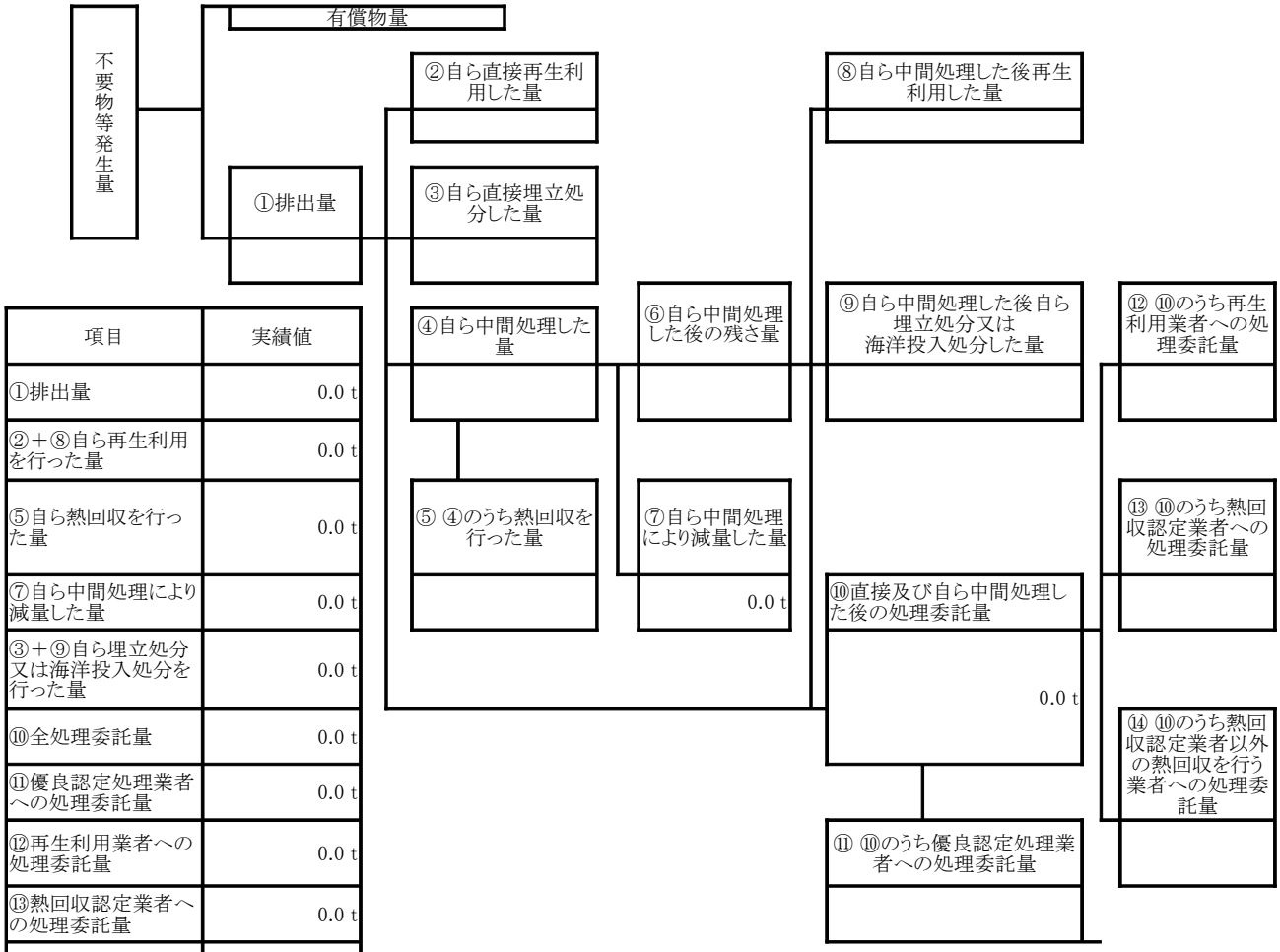


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



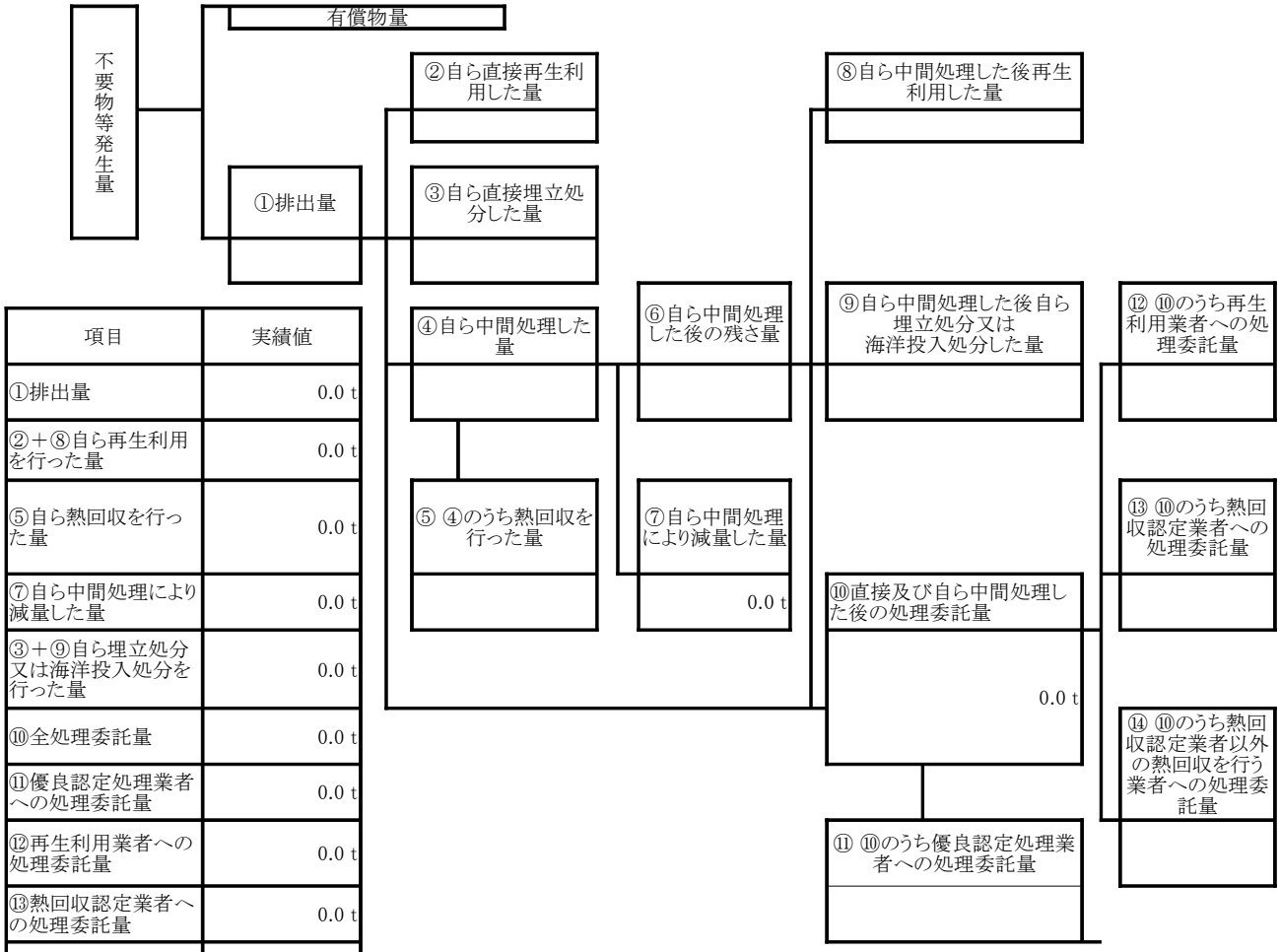
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



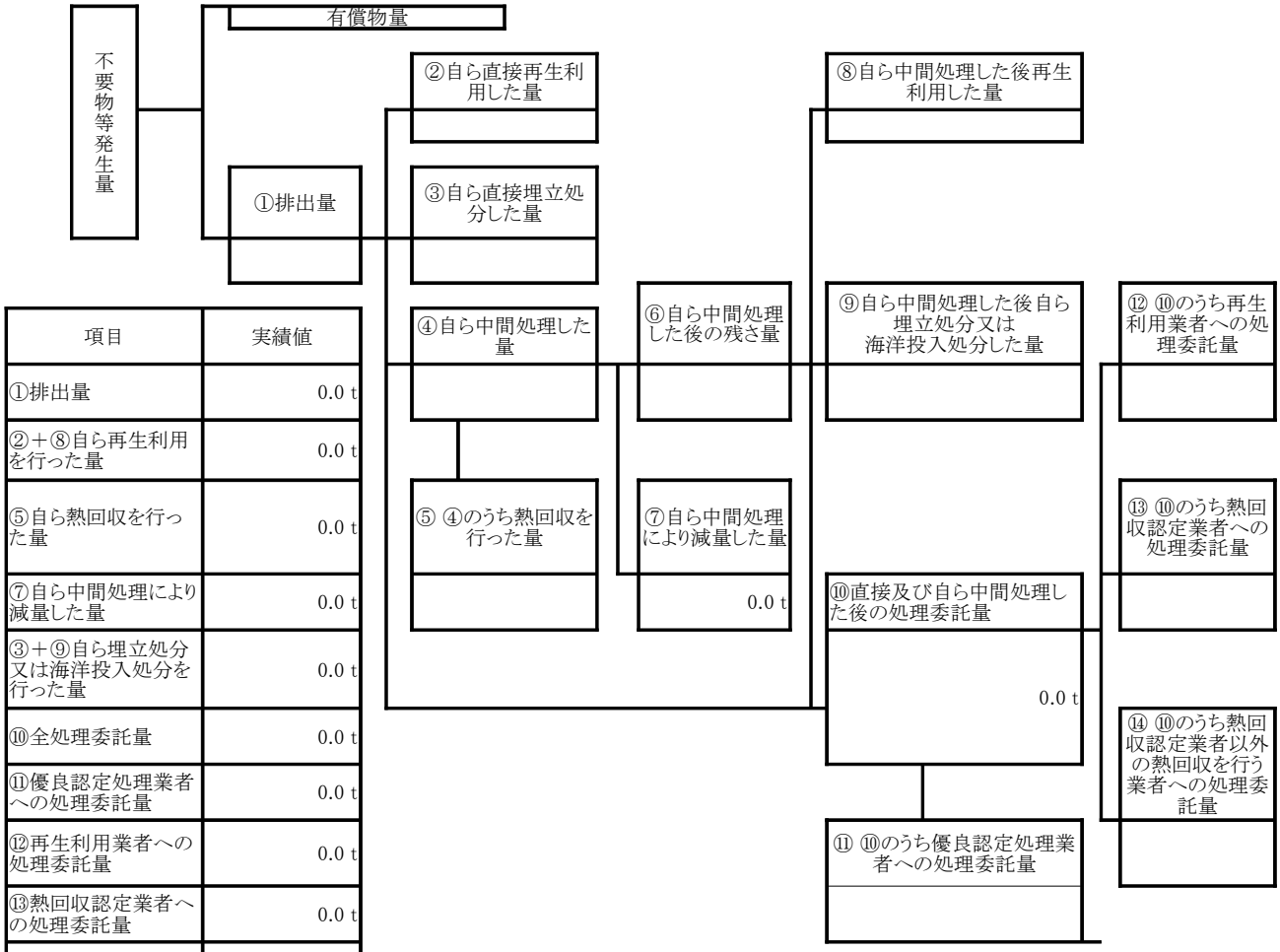
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

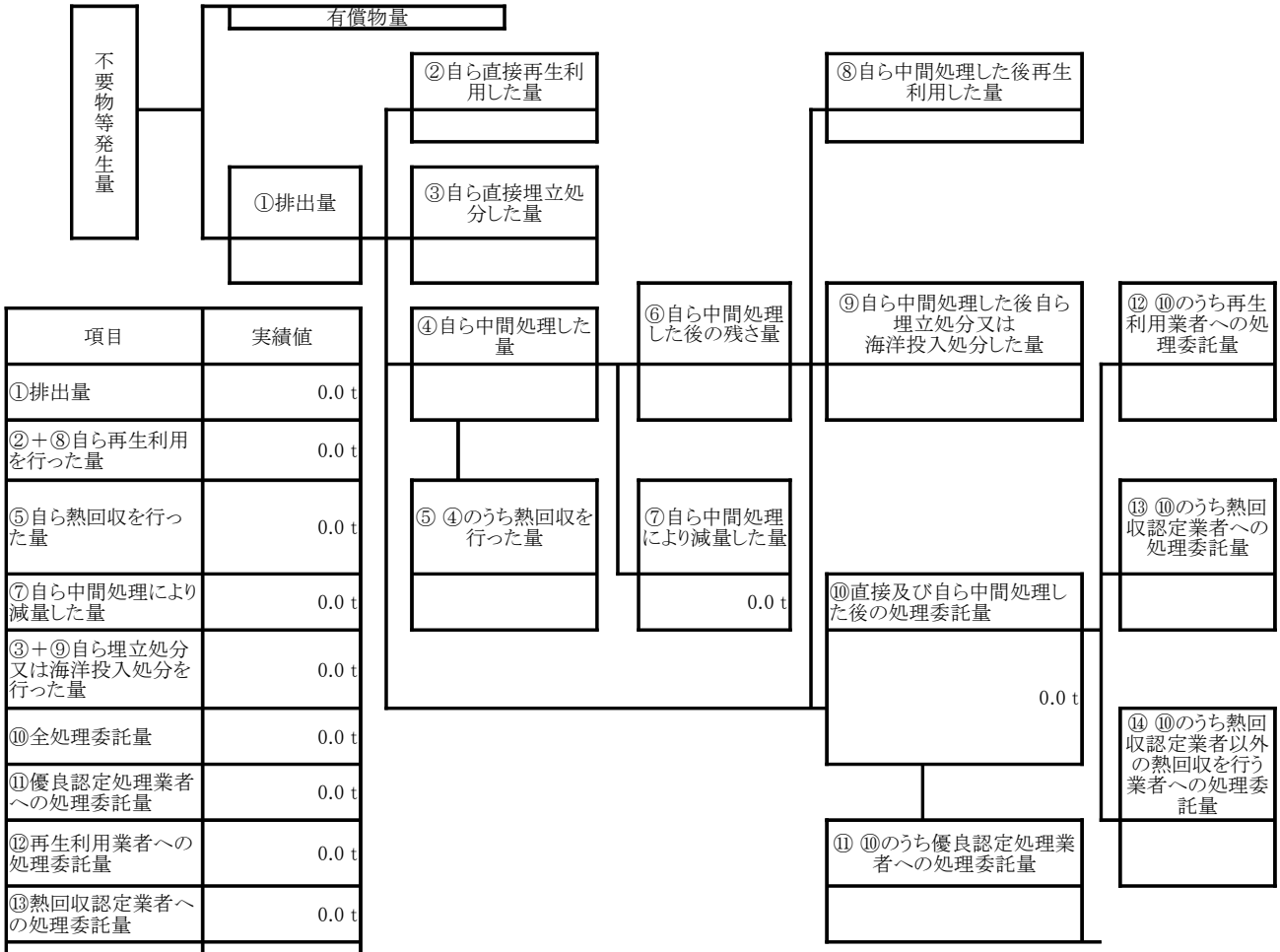


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

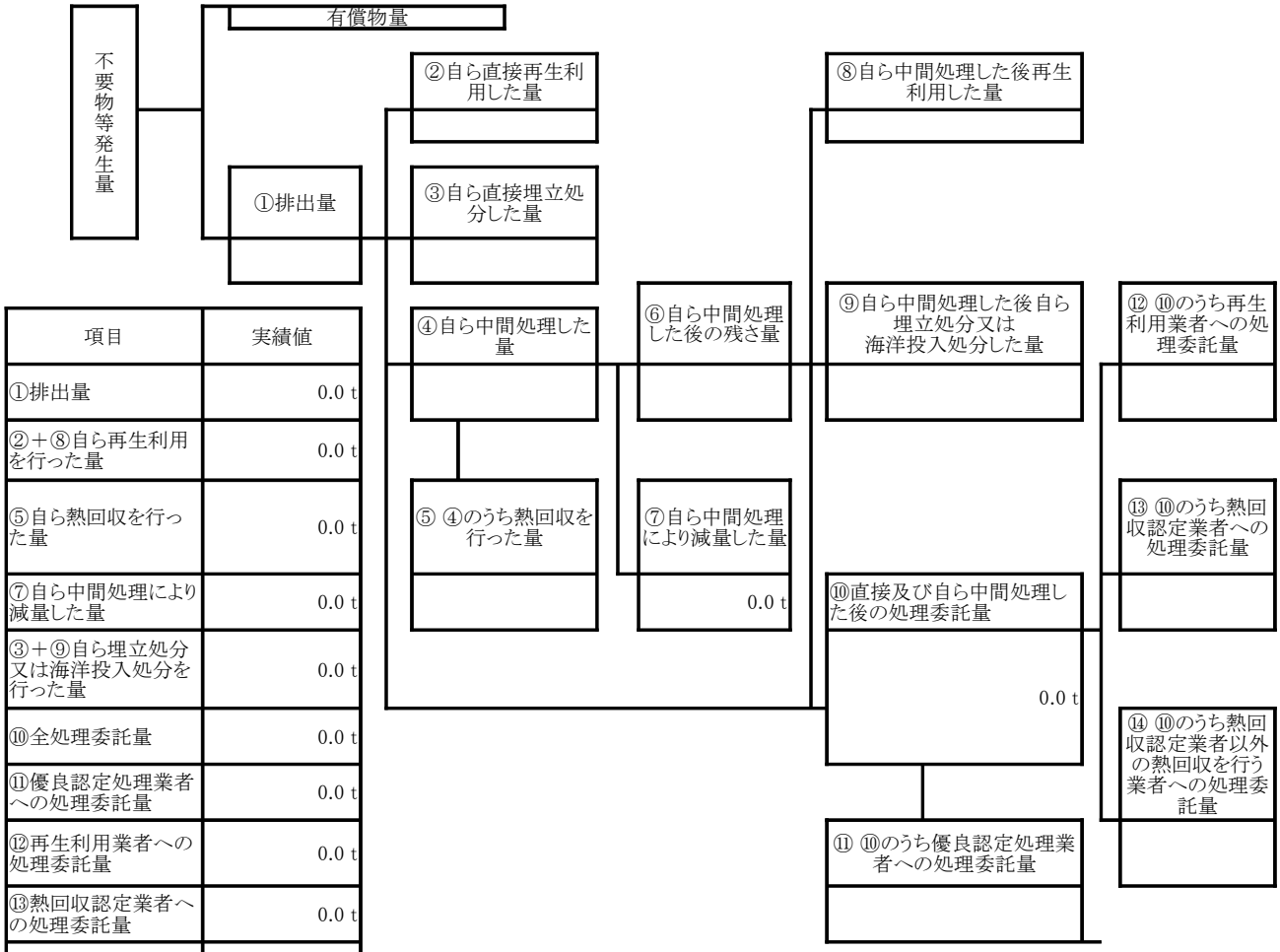


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

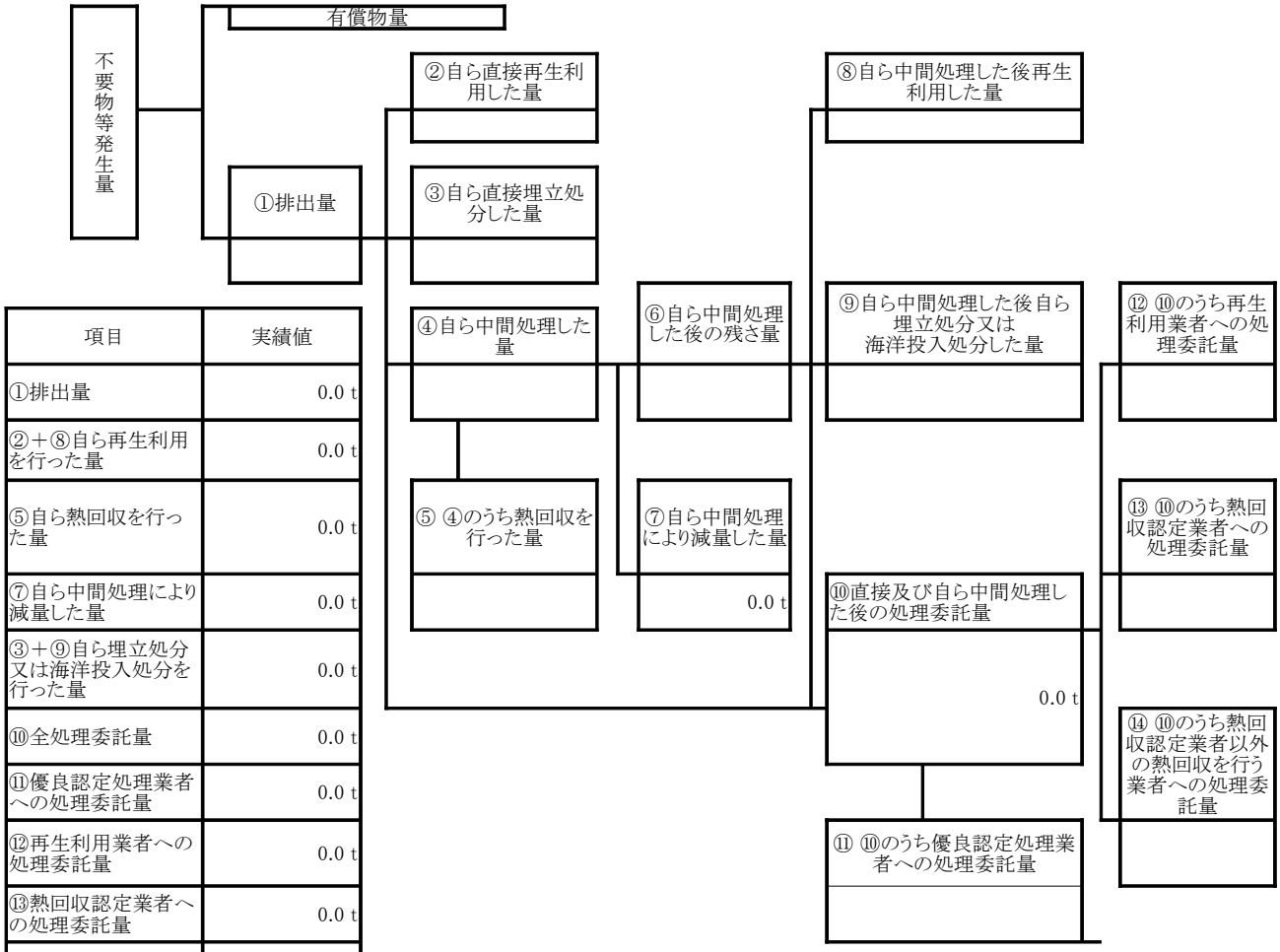


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

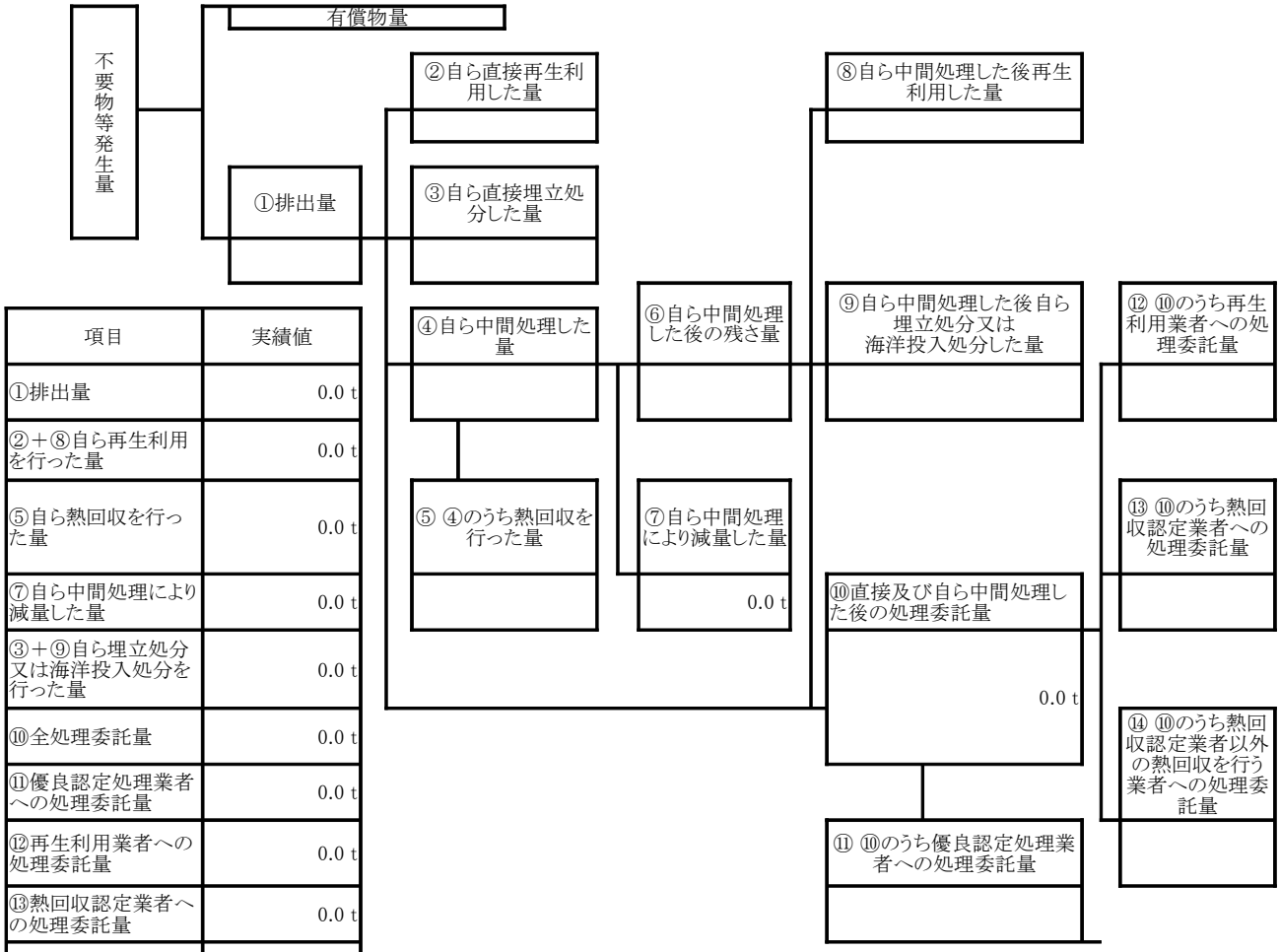


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　　6 年　 6 月　 28 日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒290-0067

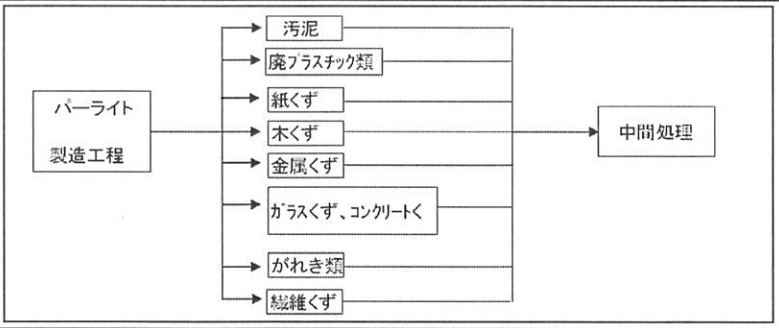
住　所　千葉県市原市八幡海岸通75番地2

氏　名　代表取締役社長　小林　敦

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0436-41-3181

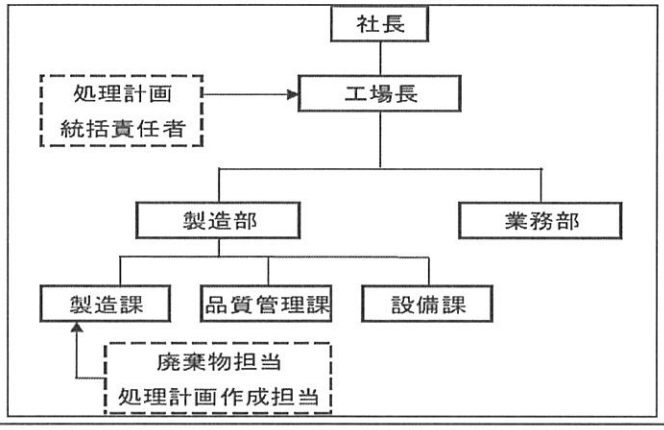
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	太平洋パーライト株式会社
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通75番地2
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	大分類：製造業　中分類：窯業・土石製品製造業
②　事業の規模	令和5年度製品出荷額　617,662千円
③　従業員数	28名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物
排　　出　　量_	1428.24　t	別紙(任意様式)参照　t

（これまでに実施した取組）

汚泥については、一部は有償物として有効利用し、可能なものは工程に戻し再利用を図った。

廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物については別紙参照。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物
排　　出　　量_	1500　t	別紙(任意様式)参照　t

（今後実施する予定の取組）

汚泥については、製造工程の見直しを継続して発生量低減を図り、製品化率の向上を図る。

廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物については別紙参照。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

汚泥については、現状の分別を継続する。

廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物については別紙参照。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

汚泥については、現状の分別を継続する。

廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物については別紙参照。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（ 令和　5 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>汚泥</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>0　t</td><td>別紙(任意様式)参照　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
汚泥については、製造工程の見直しを図り、発生したものについて有効利用、再利用を図った。
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物については別紙参照。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>汚泥</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>0　t</td><td>別紙(任意様式)参照　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
汚泥については、製造工程の見直しを継続して発生量低減を図り、発生したものについて更なる製品化率の向上を図る。
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物については別紙参照。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（ 令和　5 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>汚泥</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>0　t</td><td>別紙(任意様式)参照　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>0　t</td><td>別紙(任意様式)参照　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
汚泥については、特記事項なし。
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物については別紙参照。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>汚泥</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>0　t</td><td>別紙(任意様式)参照　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>0　t</td><td>別紙(任意様式)参照　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
汚泥については、特記事項なし。
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物については別紙参照。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0　t	別紙(任意様式)参照　t

（これまでに実施した取組）

汚泥については、特記事項なし。
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物については別紙参照。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0　t	別紙(任意様式)参照　t

（今後実施する予定の取組）

汚泥については、特記事項なし。
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物については別紙参照。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物
全処理委託量_	1428.24　t	別紙(任意様式)参照　t
優良認定処理業者への処理委託量	t	別紙(任意様式)参照　t
再生利用業者への処理委託量	1428.24　t	別紙(任意様式)参照　t
認定熱回収業者への処理委託量	0　t	別紙(任意様式)参照　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	別紙(任意様式)参照　t

（これまでに実施した取組）

汚泥については、セメント工場への処理委託を実施している。
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物については別紙参照。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">産業廃棄物の種類＿</td><td>汚泥</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">全処理委託量＿</td><td>1500　t</td><td>別紙（任意様式）参照　t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>0　t</td><td>別紙（任意様式）参照　t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>1500　t</td><td>別紙（任意様式）参照　t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0　t</td><td>別紙（任意様式）参照　t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0　t</td><td>別紙（任意様式）参照　t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
汚泥については、セメント工場への処理委託を継続実施する。
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、その他廃棄物については別紙参照。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	その他混合廃棄物	廃油			
		排　出　量	46.8　t	0　t	24.8　t	6.8　t	0.2　t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	その他混合廃棄物	廃油			
		排　出　量	50　t	5　t	30　t	10　t	0.5　t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	その他混合廃棄物	廃油			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	その他混合廃棄物	廃油			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	その他混合廃棄物	廃油			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	その他混合廃棄物	廃油			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）									
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	その他混合廃棄物	廃油				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	その他混合廃棄物	廃油				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）									
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	その他混合廃棄物	廃油				
	全処理委託量	46.8 t	0 t	24.8 t	6.8 t	0.2 t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	46.8 t	0 t	24.8 t	6.8 t	0.2 t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	その他混合廃棄物	廃油				
	全処理委託量	50 t	4 t	30 t	10 t	0.5 t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	50 t	4 t	30 t	10 t	0.5 t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 28日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒290-0067
住 所　千葉県市原市八幡海岸通75番地2
氏 名　太平洋パーライト株式会社
代表取締役社長 小林 敦
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0436-41-3181

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	太平洋パーライト株式会社
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通75番地2
事業の種類	大分類:製造業　中分類:窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

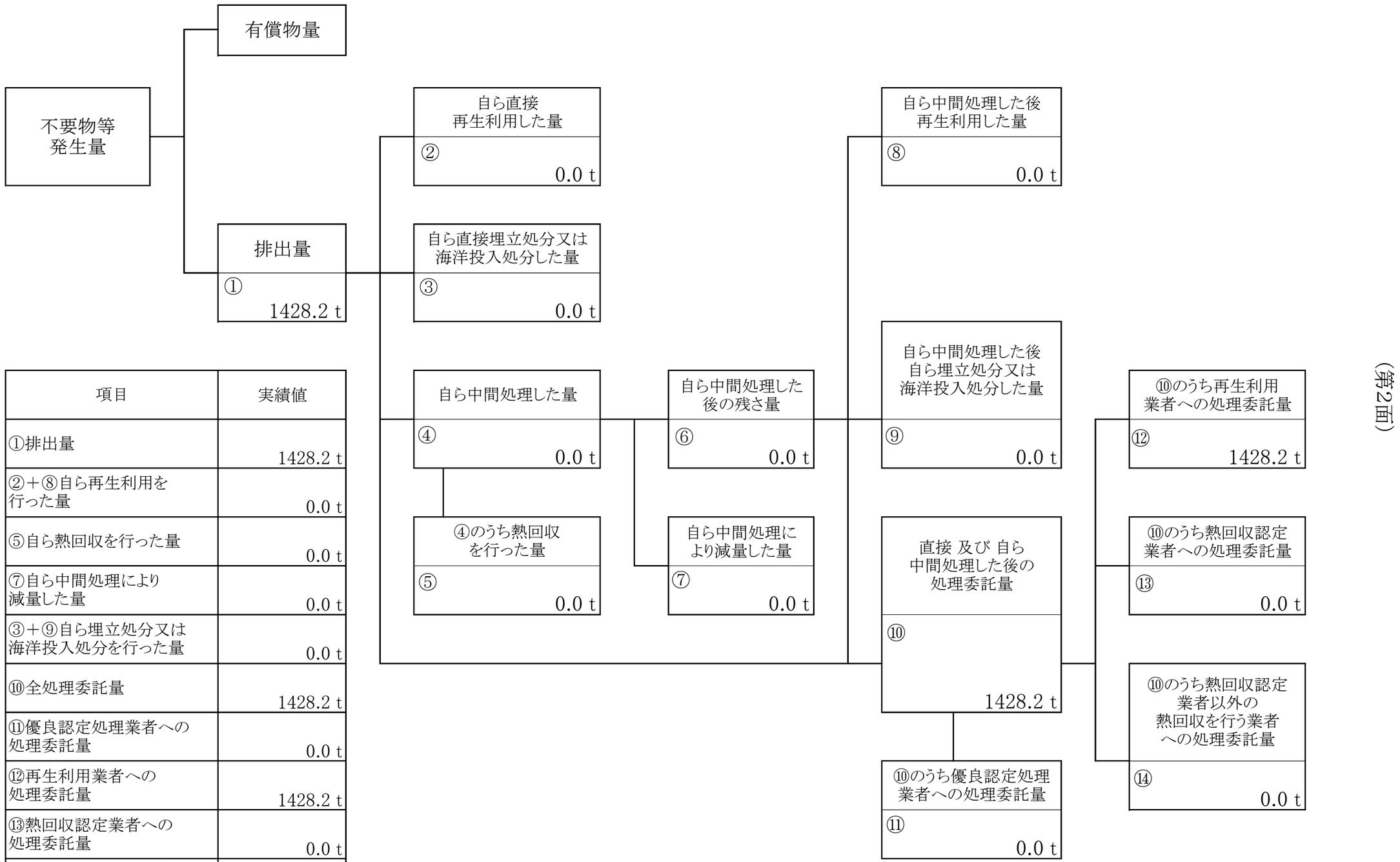
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2857.5 t	全処理委託量	2857.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	2857.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**汚泥**　）

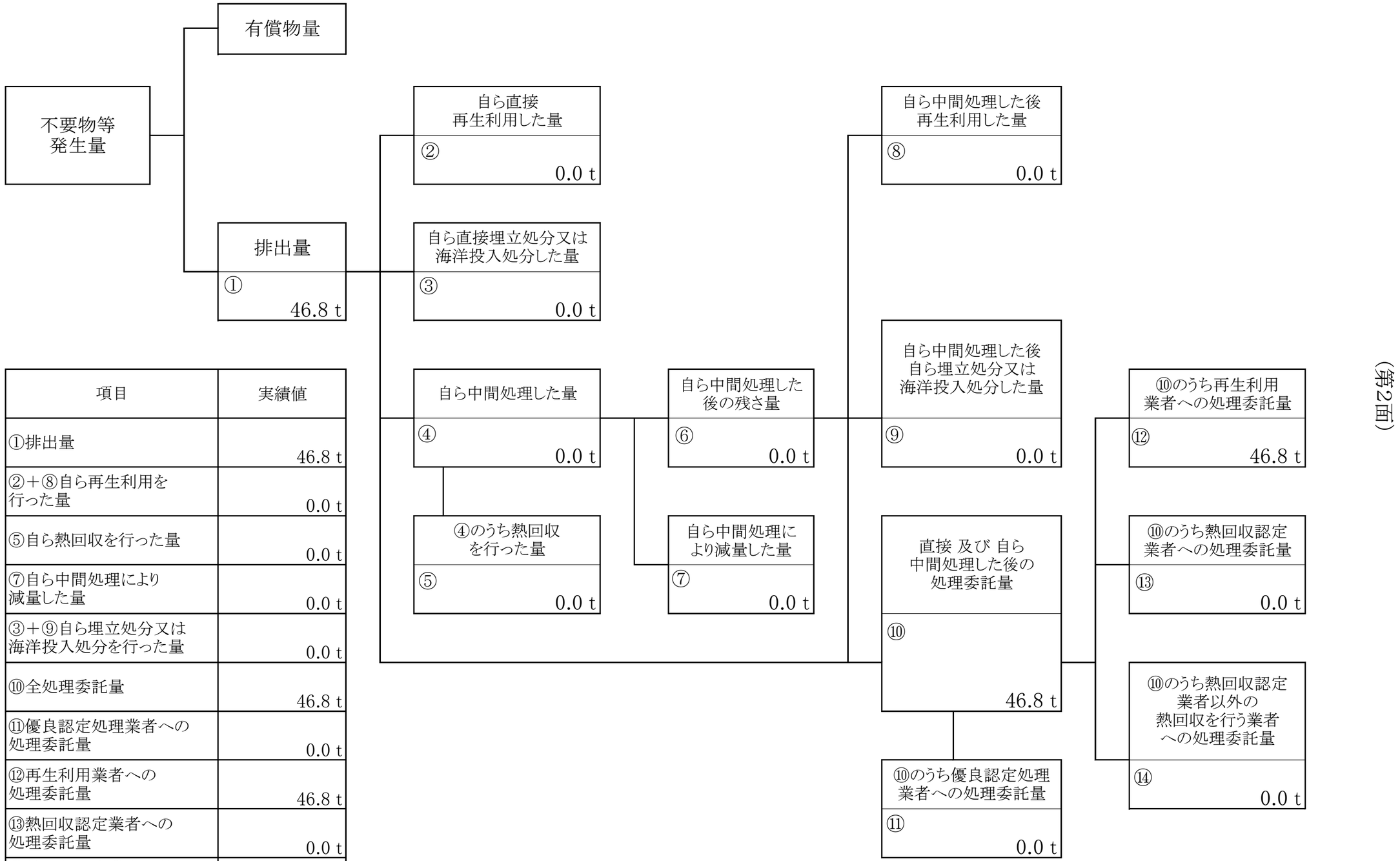


項目	実績値
①排出量	1428.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1428.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1428.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃プラスチック類**　）

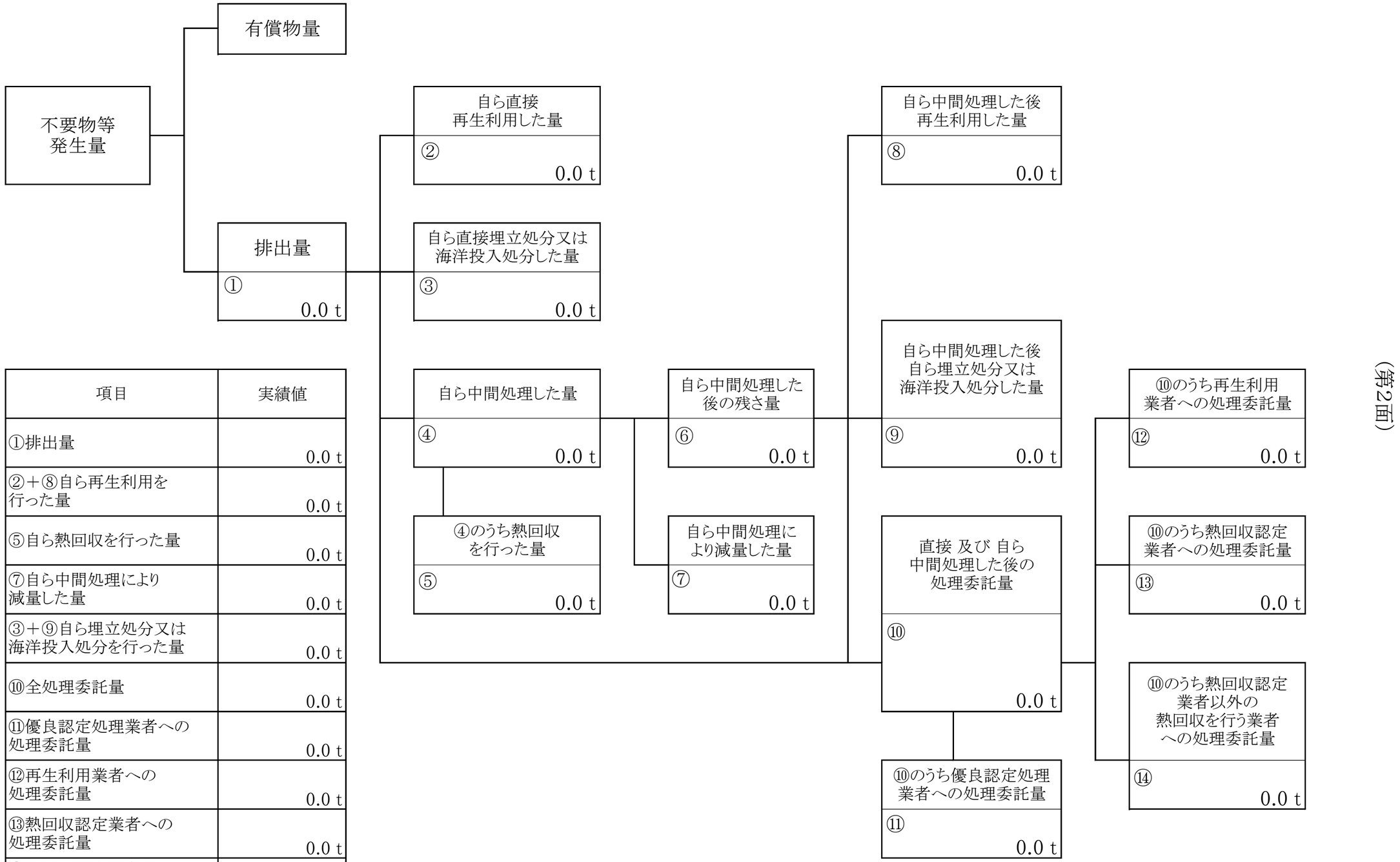


項目	実績値
①排出量	46.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	46.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	46.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　紙くず　）

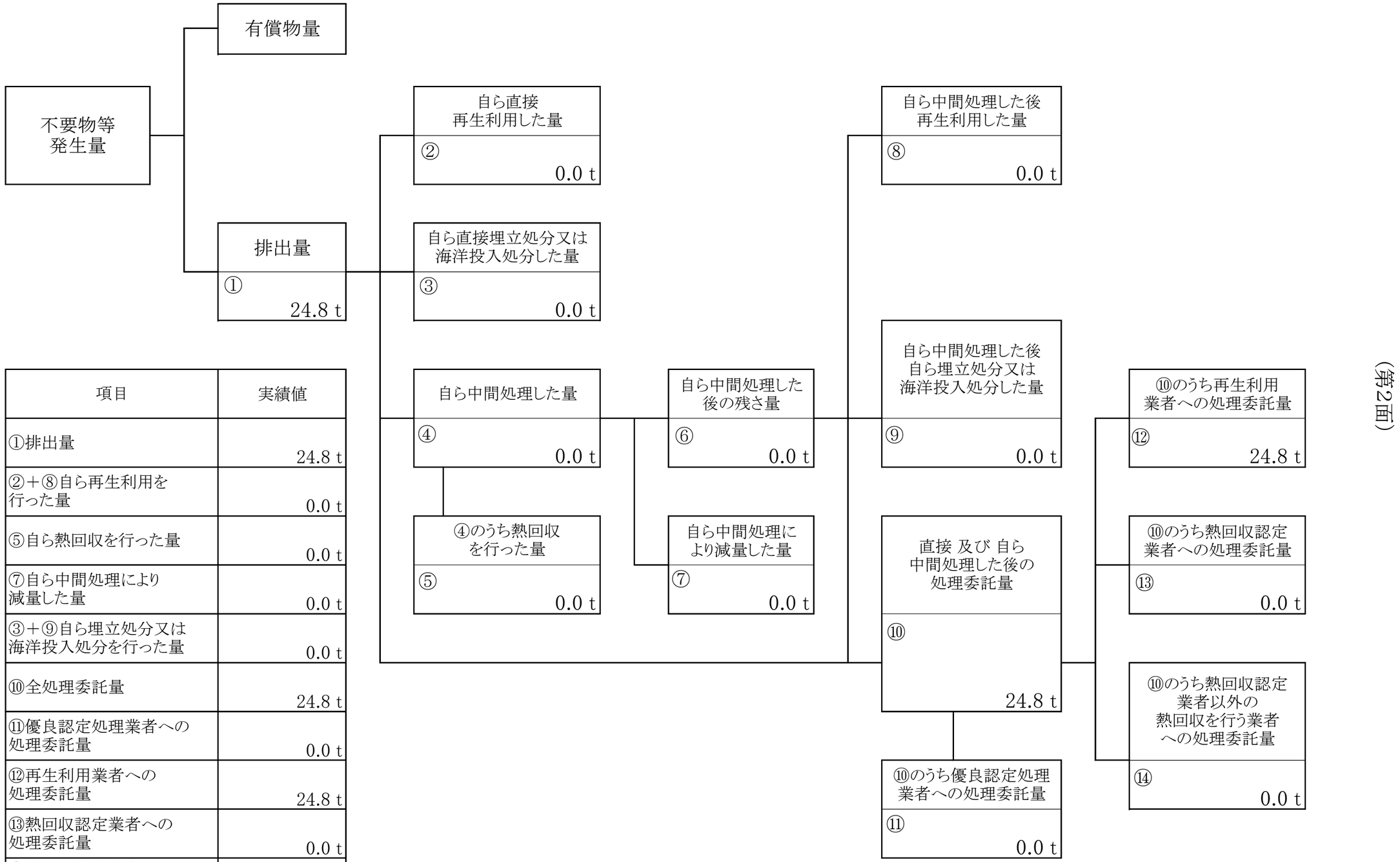


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

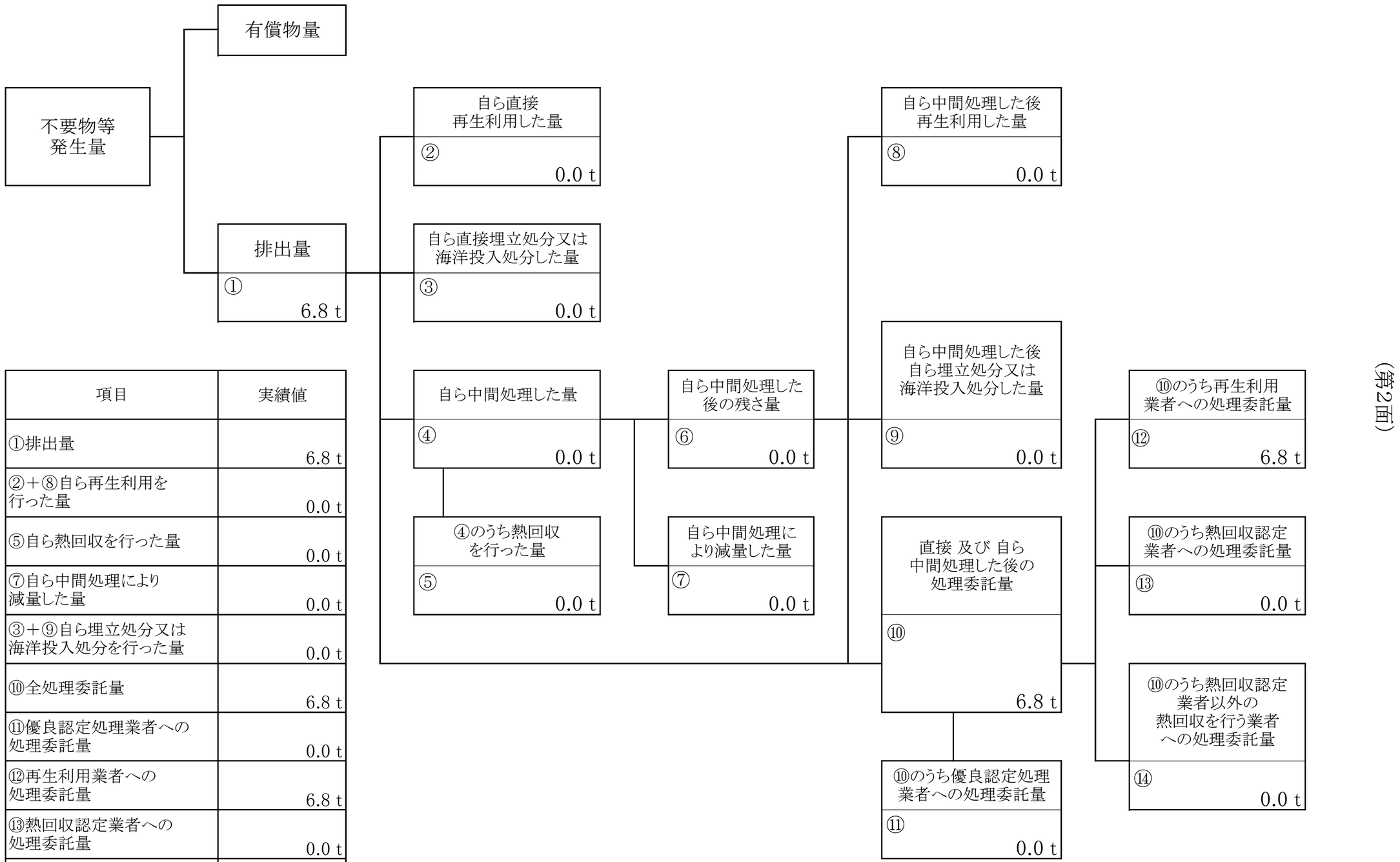


項目	実績値
①排出量	24.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	24.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	24.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**その他混合廃棄物**　）

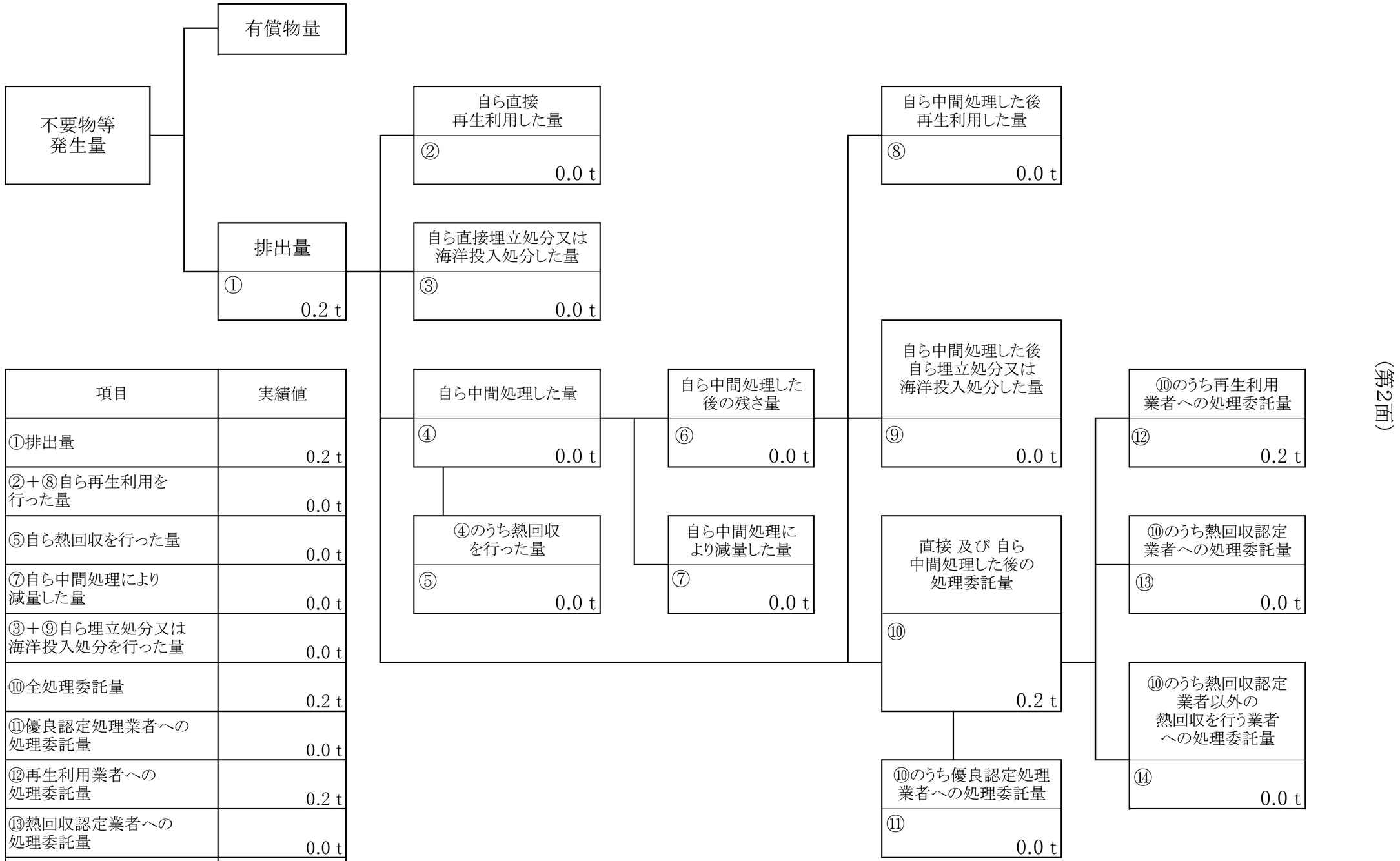


項目	実績値
①排出量	6.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃油**　）



項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月27日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　299-0108

住　所　千葉県市原市千種海岸2-2

法人名　ダウ・東レ株式会社　千葉工場

代表者　手島 厚志

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0436-21-3101

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ダウ・東レ株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸2-2
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　化学工業
②事業の規模	前年度の製品出荷額　211億円
③従業員数	320人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	添付ファイル参照

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
添付ファイル参照

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）
排出量	344.47 t	20.86 t

（これまでに実施した取組）
廃油の有価転換をした。（焼却炉の助燃剤として利用）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）
排出量	350 t	20 t

（今後実施する予定の取組）
工場の各工程の排出量を抽出して、排出量が特に多い工程では、
過度な引火性廃油になり得る使用がないかを見極め、最適化をはかる。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
通常発生するものは、手順書に廃棄物名称と処理方法を明確にしている。
非定期に発生するものは、専門のサポーターにてSDS等の情報を解析して
廃棄物名称と処理方法を指示している。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現状と同様の取組を継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

自社で再生利用を行ったことはない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

引き続き再生利用をする予定はない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

自社に中間処理を行う施設はない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

中間処理施設の設置予定はない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

自社で埋立処分を行ったことはない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）
自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

引き続き埋立をする予定はない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		燃えやすい廃油	廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）
全処理委託量		344.47 t	20.86 t
	優良認定処理業者への処理委託量	286.65 t	20.86 t
	再生利用業者への処理委託量	242.36 t	20.86 t
	認定熱回収業者への処理委託量	90.32 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.23 t	0 t

（これまでに実施した取組）

廃油の分別をし、オイル再生利用業者及び熱回収焼却業者へ転換している。

<table>
<tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>燃えやすい廃油</td><td>廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>350 t</td><td>20 t</td></tr>
<tr><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>250 t</td><td>20 t</td></tr>
<tr><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>200 t</td><td>20 t</td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>100 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>5 t</td><td>0.1 t</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
低濃PCBの対象拡大を受けて、効果のある分離・減容化を終えた。
先ずは、今年度中に、高濃度PCBの中間貯蔵・環境安全事業（株）へ処理委託を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）　371.11 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
電子マニフェストの義務化を遵守した100%使用</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

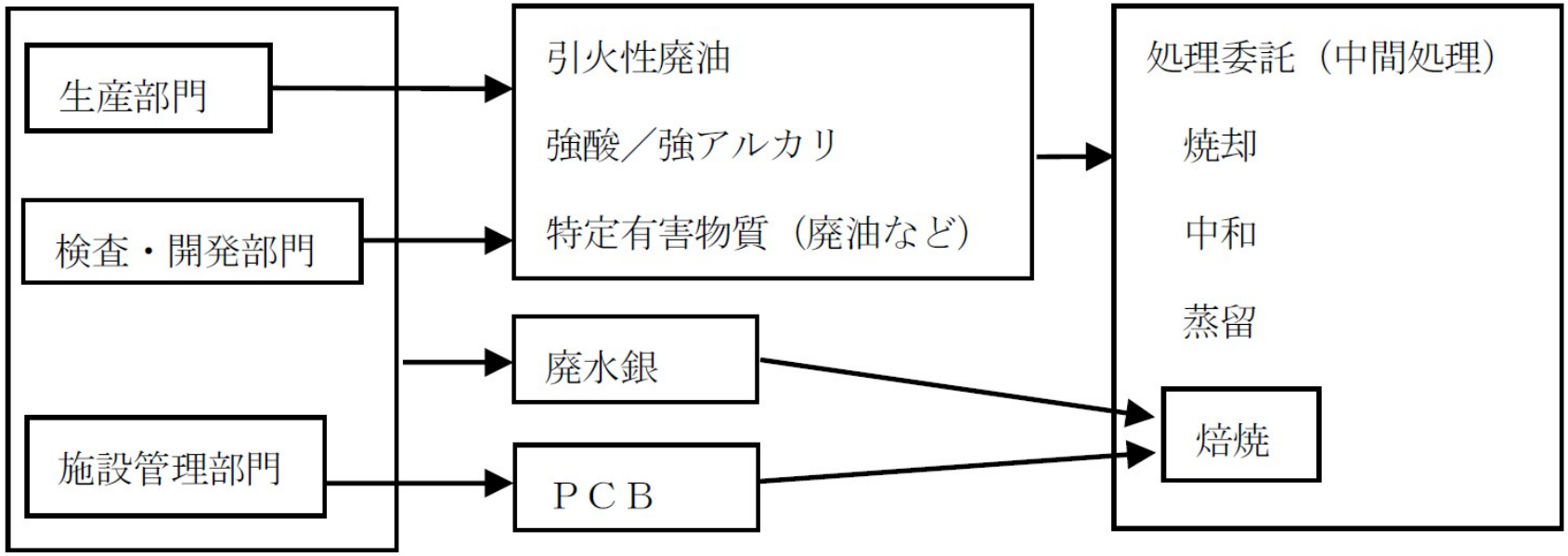
４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

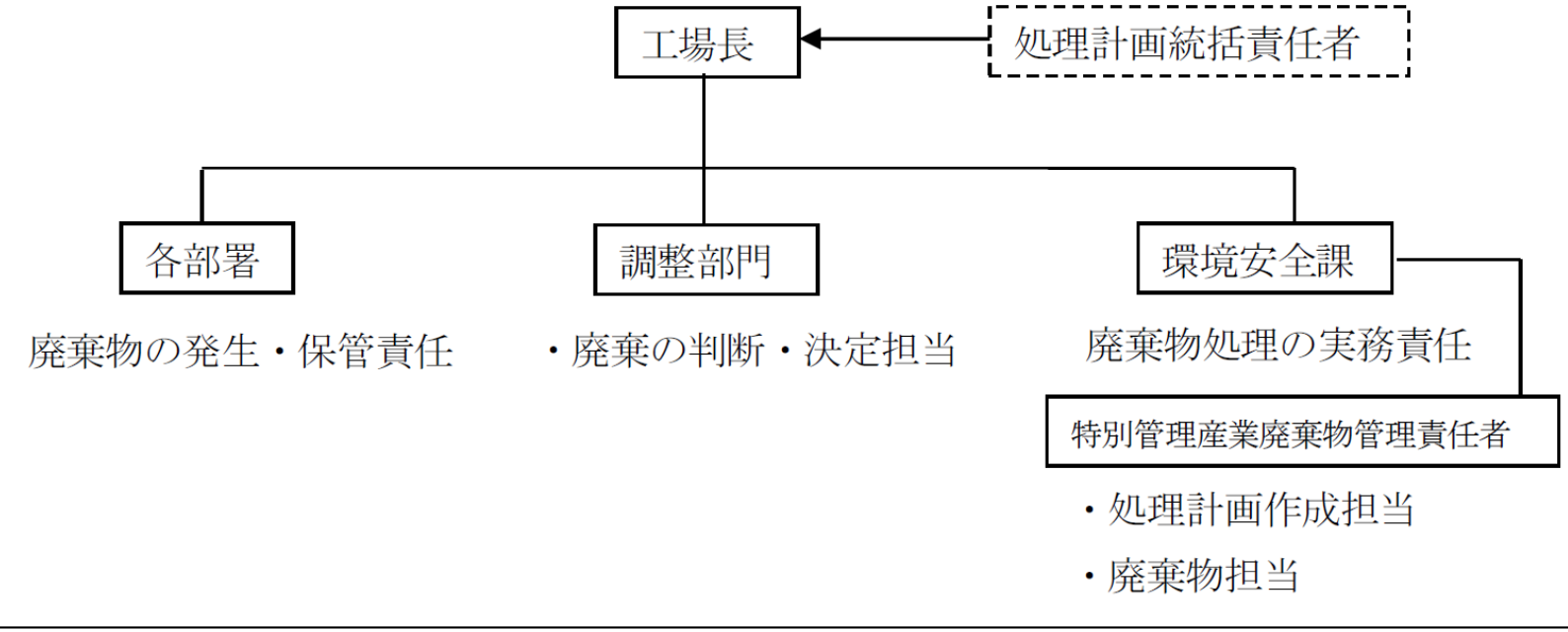
７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。


生産部門
検査・開発部門
施設管理部門
引火性廃油
強酸／強アルカリ
特定有害物質（廃油など）
廃水銀
ＰＣＢ
処理委託（中間処理）
焼却
中和
蒸留
焙焼

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和　5 年度）実績】）

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）	ｐＨ２．０以下の廃酸	ｐＨ１２．５以上の廃アルカリ	廃ＰＣＢ等	ＰＣＢ汚染物	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	廃酸（基準値を超える有害物質を含むもの）	
排　出　量	5.378 t	0.341 t	0.001 t	0.256 t	0.575 t	0.05 t	0.009 t	t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）	ｐＨ２．０以下の廃酸	ｐＨ１２．５以上の廃アルカリ	廃ＰＣＢ等	ＰＣＢ汚染物	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	廃酸（基準値を超える有害物質を含むもの）	
排　出　量	10 t	0.5 t	0.1 t	0 t	2.1534 t	0.1 t	0.1 t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和　5 年度）実績】）

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）	ｐＨ２．０以下の廃酸	ｐＨ１２．５以上の廃アルカリ	廃ＰＣＢ等	ＰＣＢ汚染物	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	廃酸（基準値を超える有害物質を含むもの）	
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）	ｐＨ２．０以下の廃酸	ｐＨ１２．５以上の廃アルカリ	廃ＰＣＢ等	ＰＣＢ汚染物	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	廃酸（基準値を超える有害物質を含むもの）	
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和　5 年度）実績】）

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）	ｐＨ２．０以下の廃酸	ｐＨ１２．５以上の廃アルカリ	廃ＰＣＢ等	ＰＣＢ汚染物	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	廃酸（基準値を超える有害物質を含むもの）	
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）	ｐＨ２．０以下の廃酸	ｐＨ１２．５以上の廃アルカリ	廃ＰＣＢ等	ＰＣＢ汚染物	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	廃酸（基準値を超える有害物質を含むもの）	
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和　5 年度）実績】）

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）	ｐＨ２．０以下の廃酸	ｐＨ１２．５以上の廃アルカリ	廃ＰＣＢ等	ＰＣＢ汚染物	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	廃酸（基準値を超える有害物質を含むもの）	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）	ｐＨ２．０以下の廃酸	ｐＨ１２．５以上の廃アルカリ	廃ＰＣＢ等	ＰＣＢ汚染物	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	廃酸（基準値を超える有害物質を含むもの）	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和　5 年度）実績】）

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）	ｐＨ２．０以下の廃酸	ｐＨ１２．５以上の廃アルカリ	廃ＰＣＢ等	ＰＣＢ汚染物	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	廃酸（基準値を超える有害物質を含むもの）	
全処理委託量	5.378 t	0.341 t	0.001 t	0.256 t	0.575 t	0.05 t	0.009 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0.043 t	0.341 t	0.001 t	0.256 t	0.575 t	0.05 t	0.009 t	t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0.008 t	0.001 t	0 t	0 t	0.05 t	0.009 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.043 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0.333 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油（基準値を超える有害物質を含むもの）	ｐＨ２．０以下の廃酸	ｐＨ１２．５以上の廃アルカリ	廃ＰＣＢ等	ＰＣＢ汚染物	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	廃酸（基準値を超える有害物質を含むもの）	
全処理委託量	10 t	0.5 t	0.1 t	0 t	2.1534 t	0.1 t	0.1 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t	0.5 t	0.1 t	0 t	0.3492 t	0.1 t	0.1 t	t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0.05 t	0.05 t	0 t	0 t	0.05 t	0.05 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.5 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	9.5 t	0.45 t	0.05 t	0 t	0 t	0.05 t	0.05 t	t

DOW RESTRICTED
General Business

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月27日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　299-0108

住所 千葉県市原市千種海岸2-2

法人名 ダウ・東レ株式会社 千葉工場

代表者 手島 厚志

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0436-21-3101

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ダウ・東レ株式会社 千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸2-2
事業の種類	大分類　製造業　中分類 化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	439 t	全処理委託量	439 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	162 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	235 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	100 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	13 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	全前年度(令和4年度)	381.54 t
	前年度(令和5年度)	371.11 t

(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)
多量排出事業者の義務により、使用率は100%

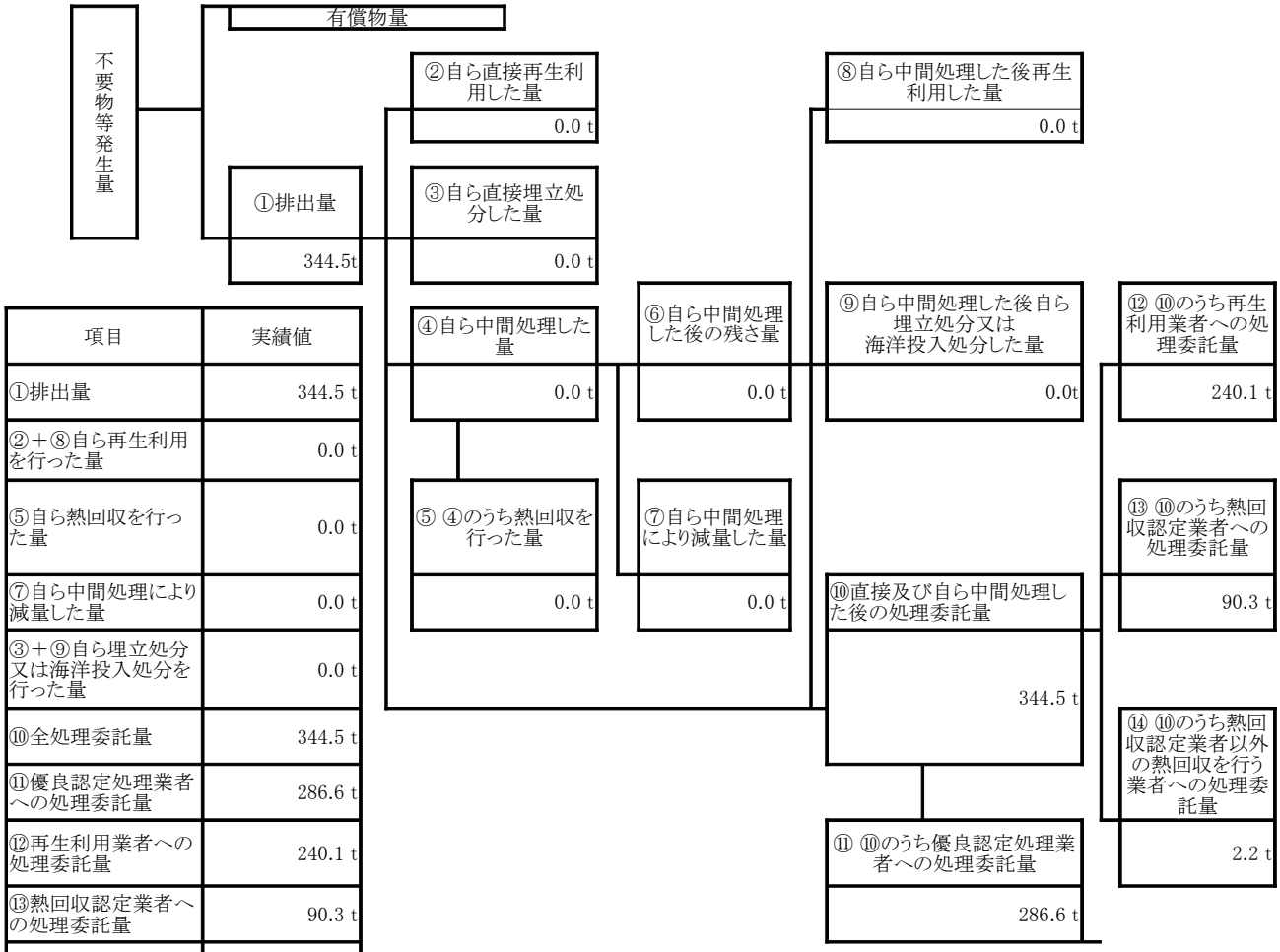
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　燃えやすい廃油　）

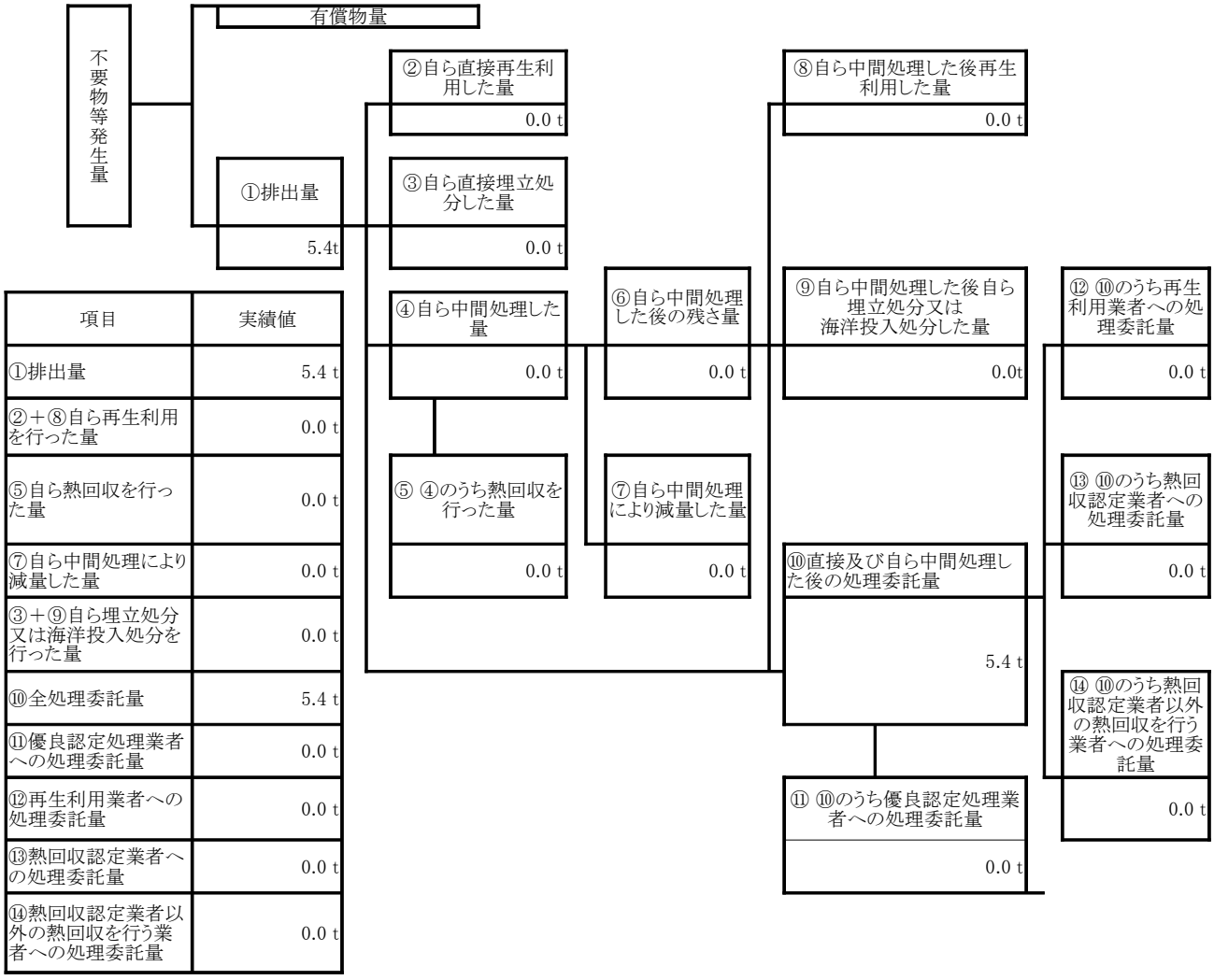


項目	実績値
①排出量	344.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	344.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	286.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	240.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	90.3 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.2 t

N0.2

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**廃油（基準値を超える有害物質）**）



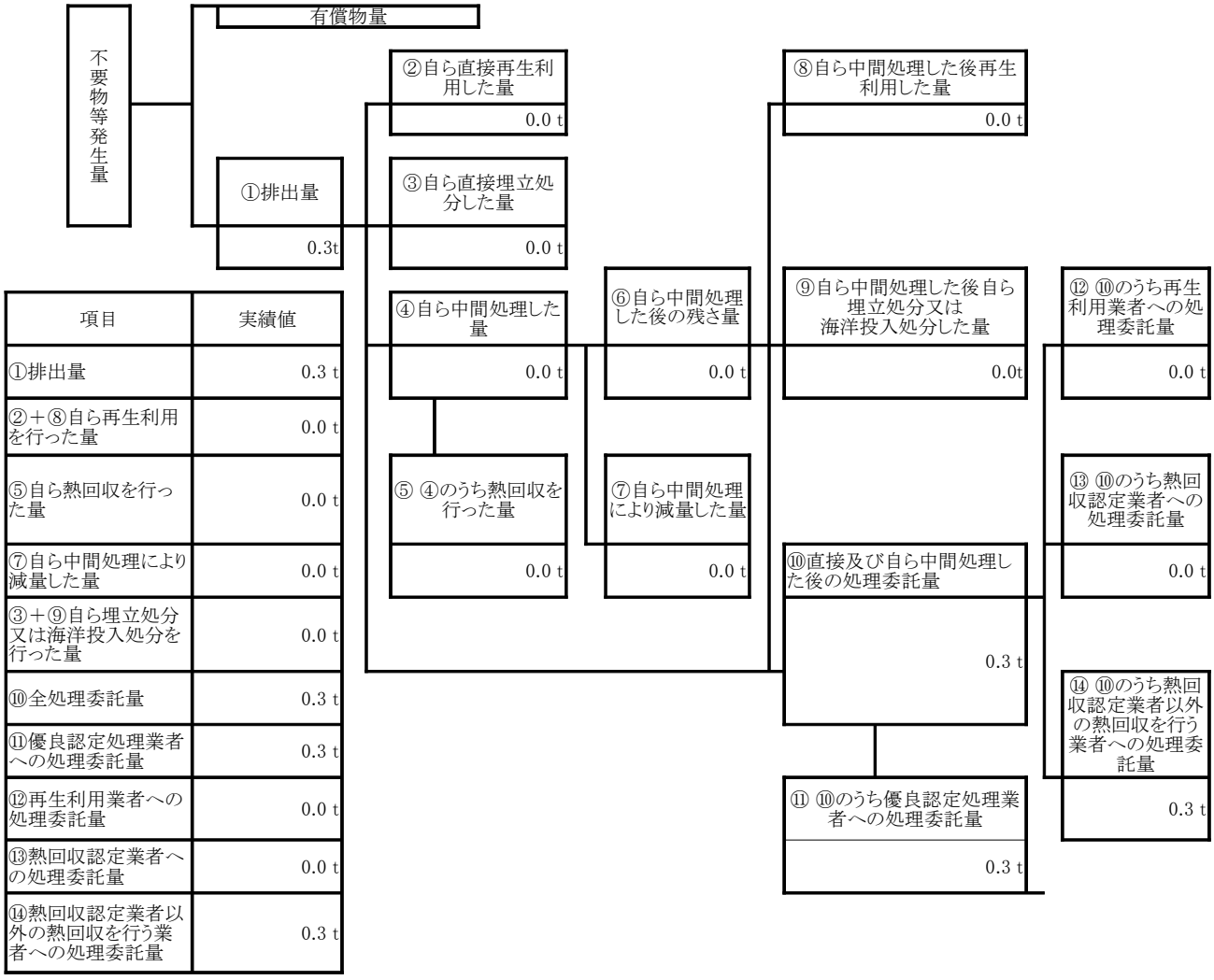
項目	実績値
①排出量	5.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　pH2．0以下の廃酸　）



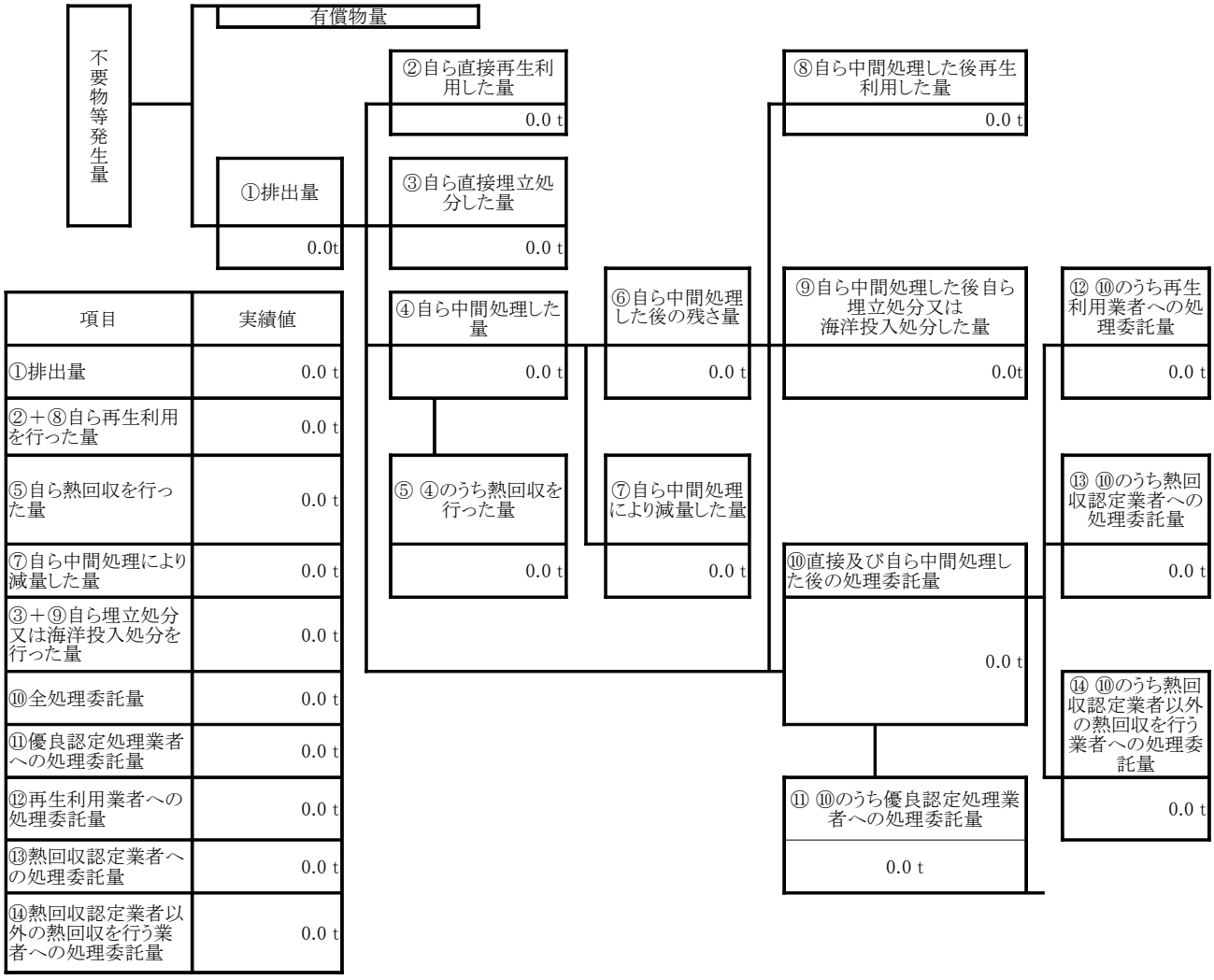
項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.3 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　pH12．5以上の廃アルカリ　）



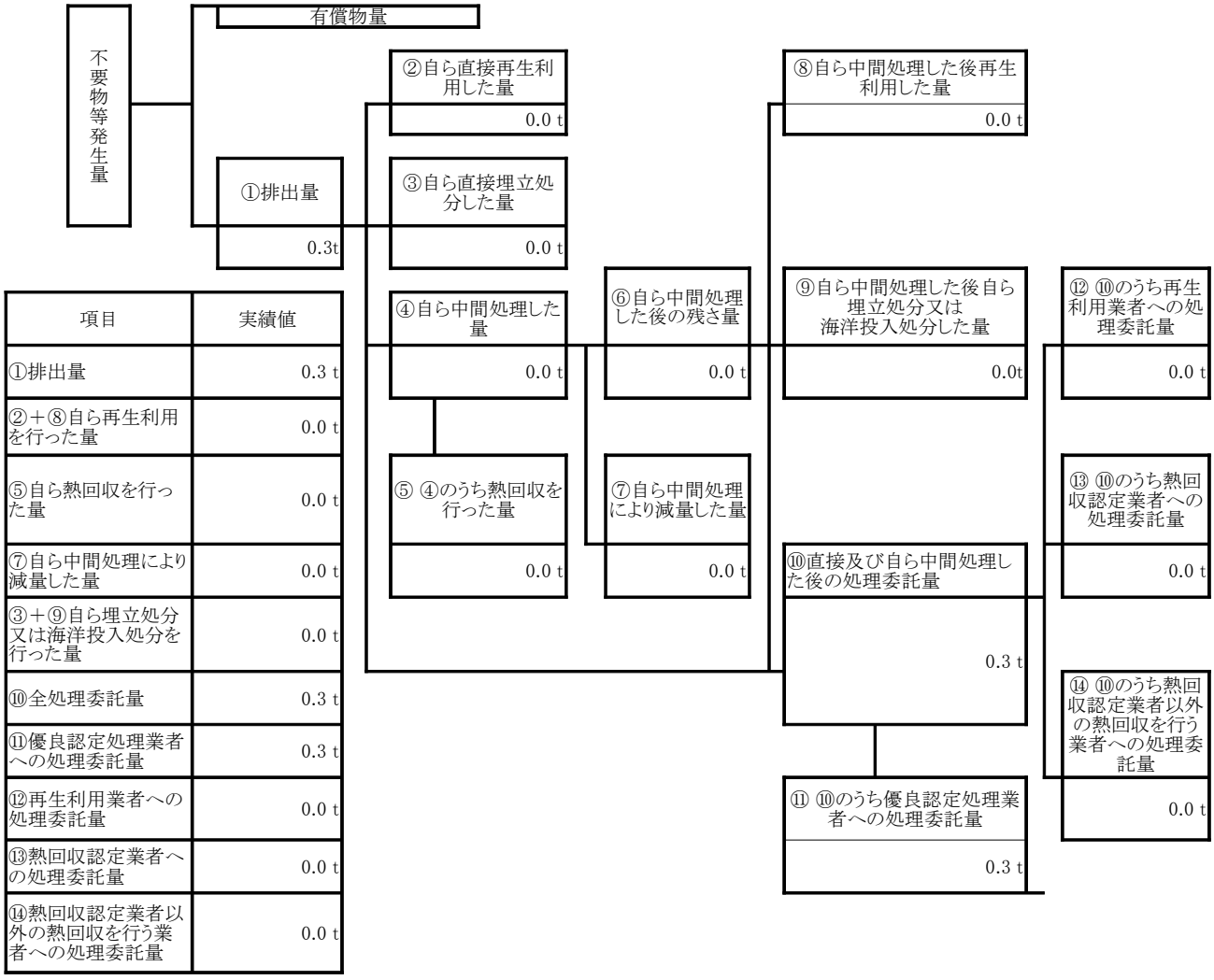
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　廃PCB等　）

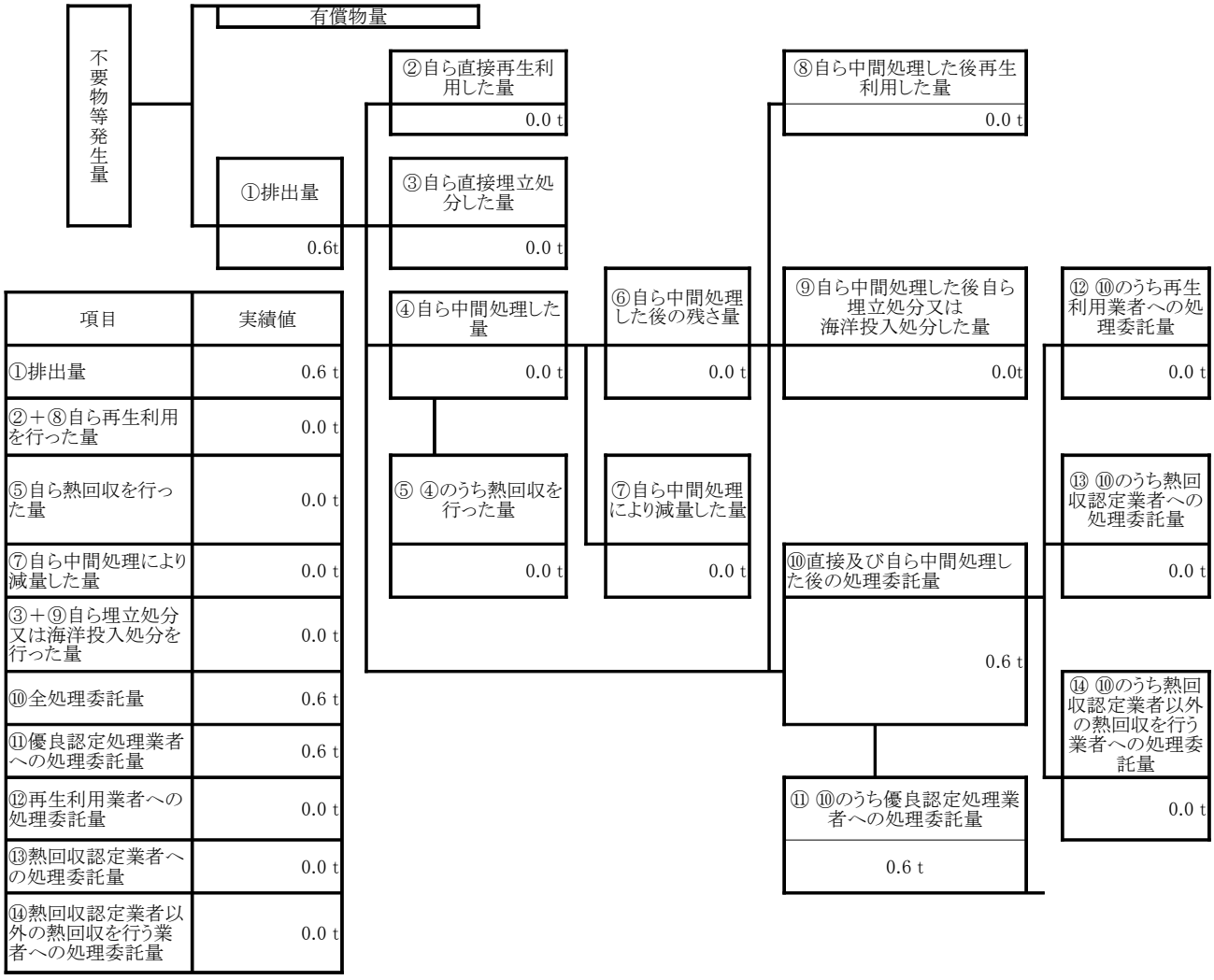


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　PCB汚染物　）



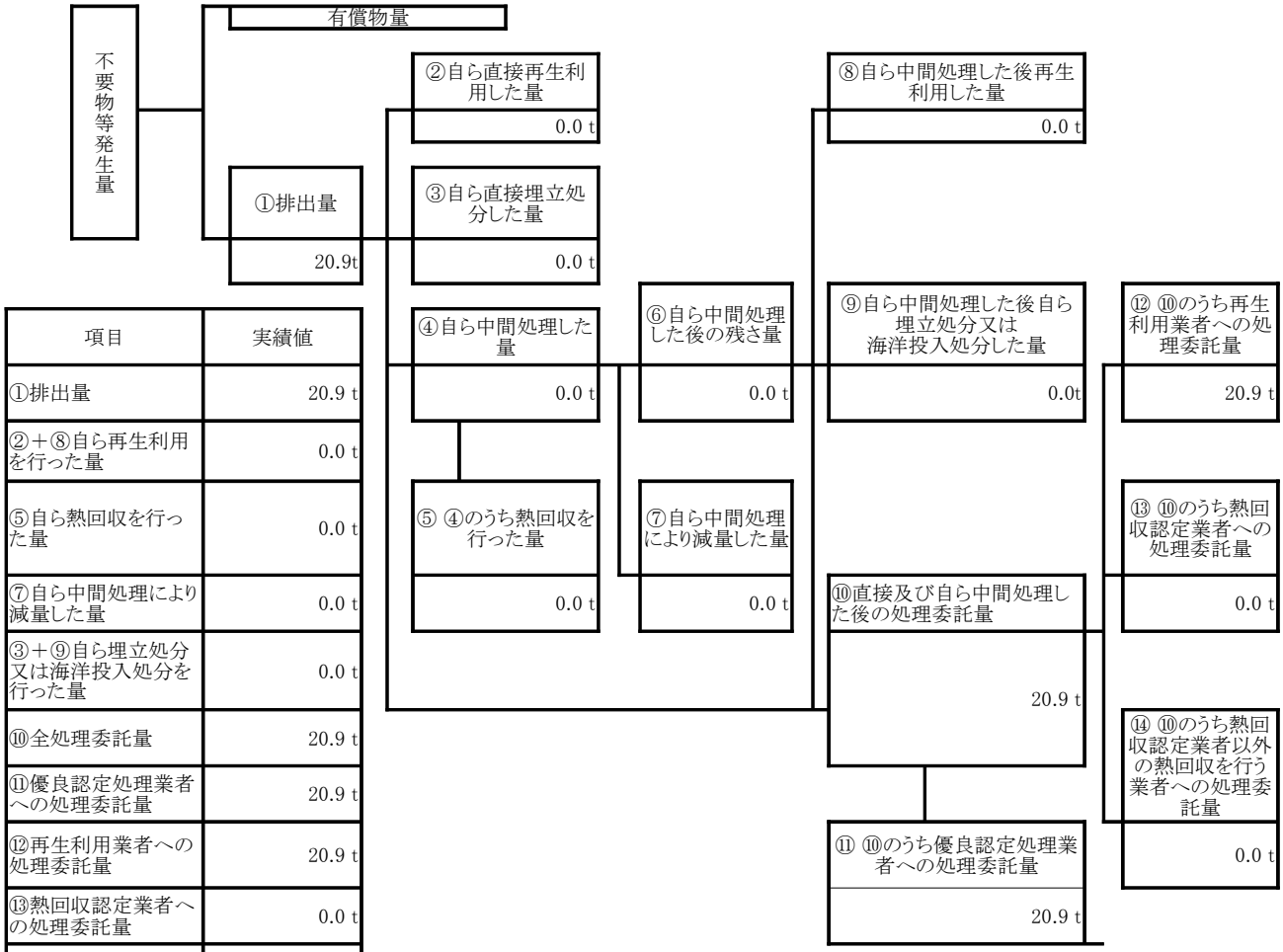
項目	実績値
①排出量	0.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**基準値を超える有害物質を含む**）

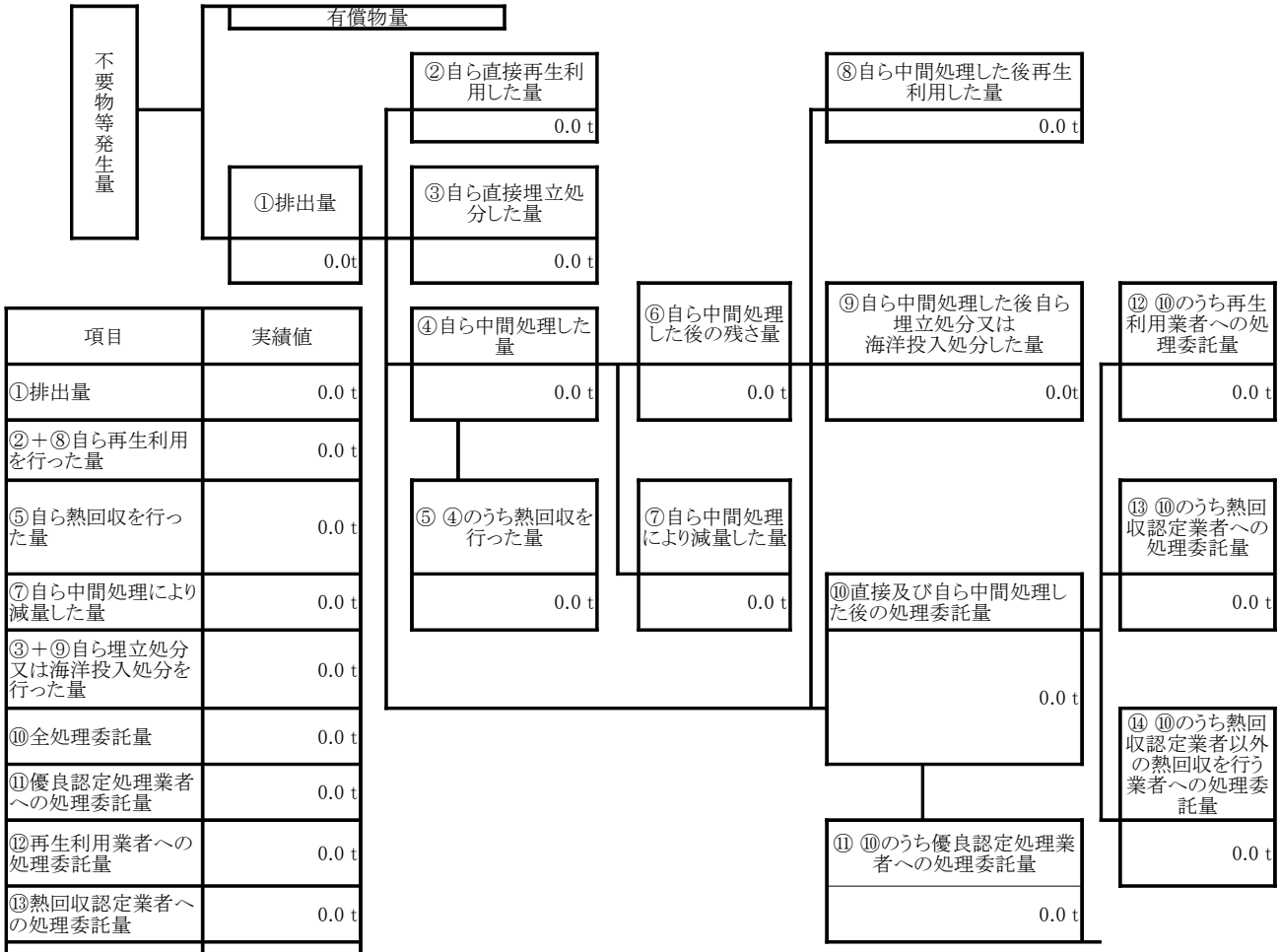


項目	実績値
①排出量	20.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	20.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	20.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**基準値を超える有害物質を含む**）

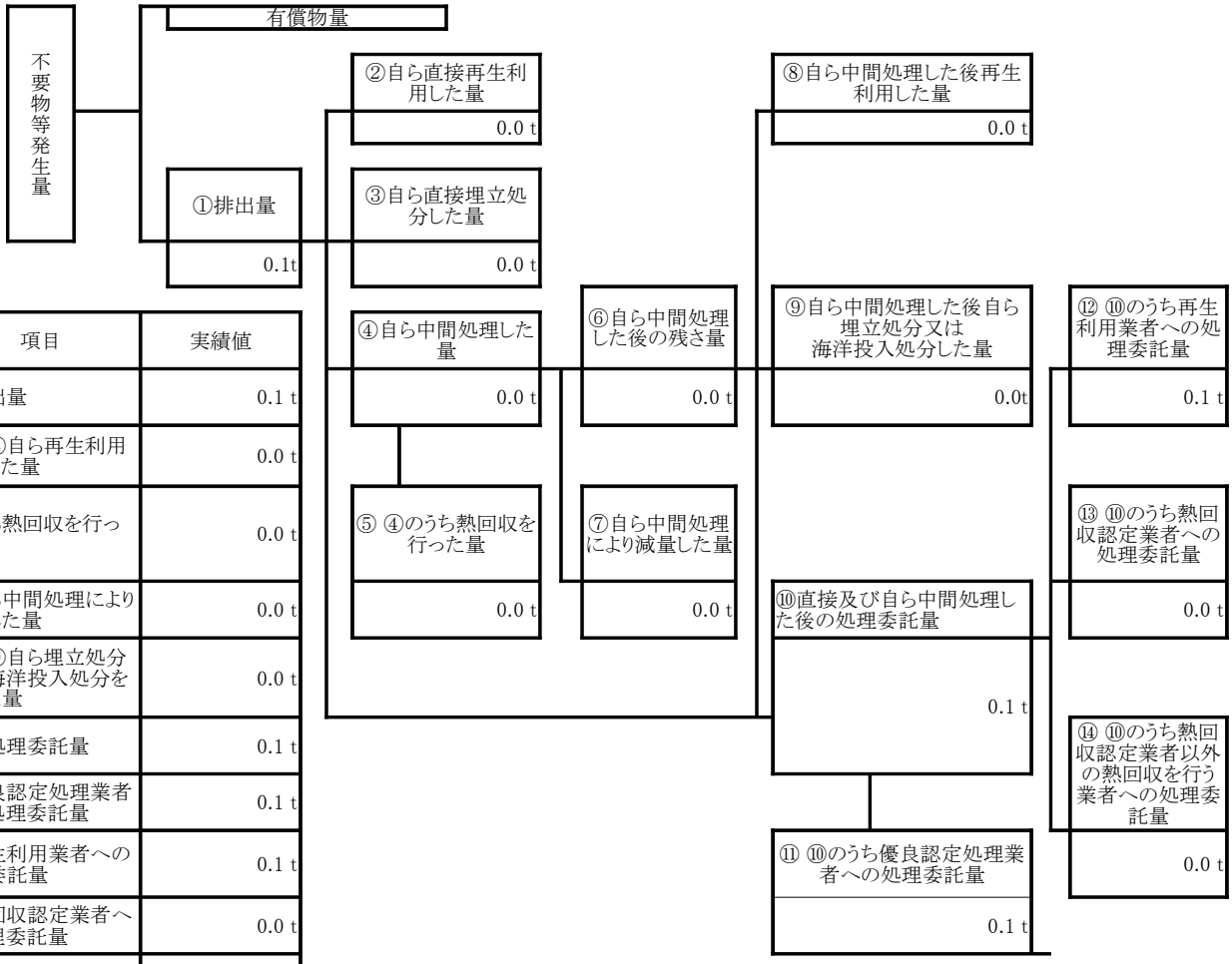


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**基準値を超える有害物質を含む**）

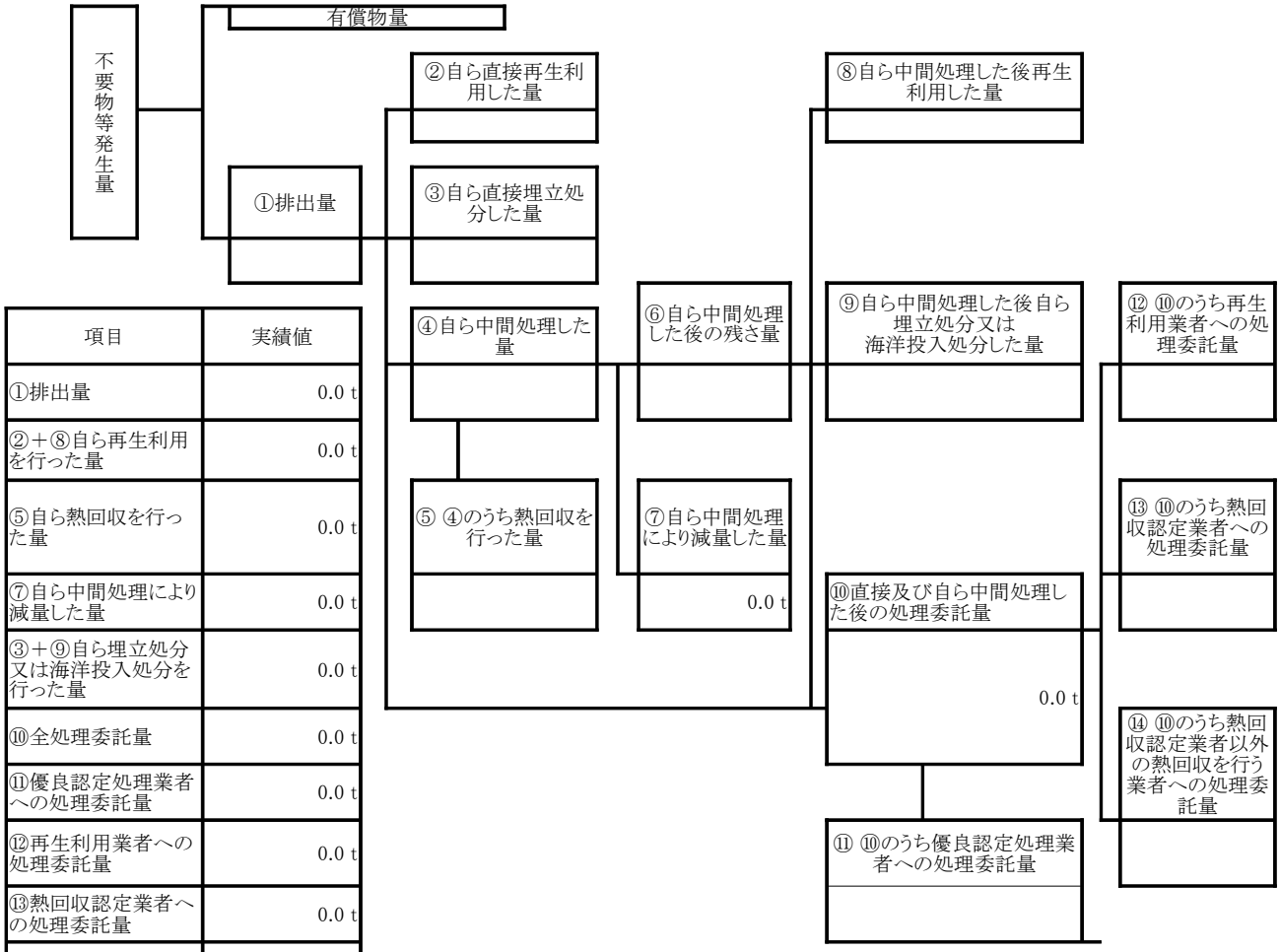


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



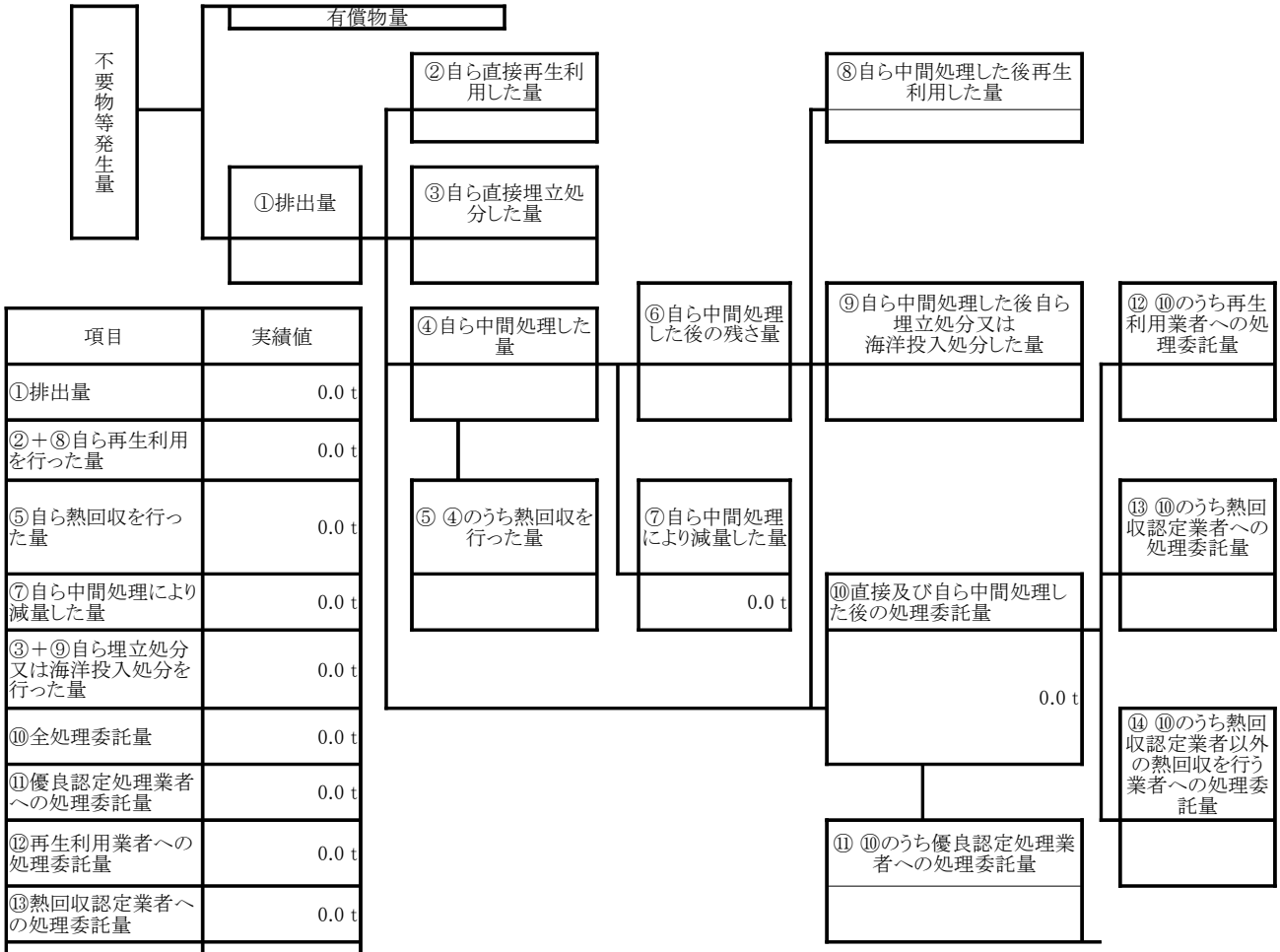
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

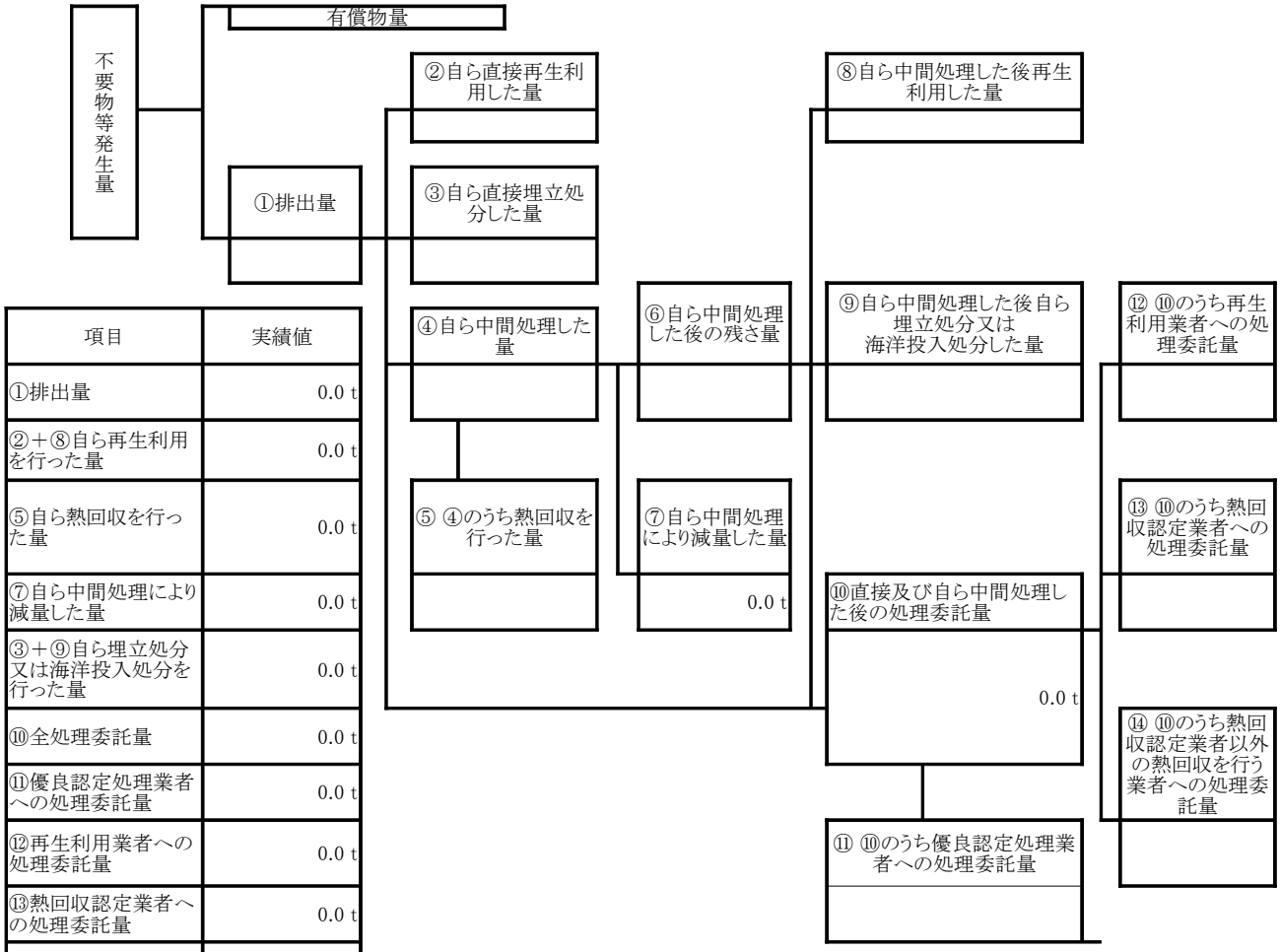


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

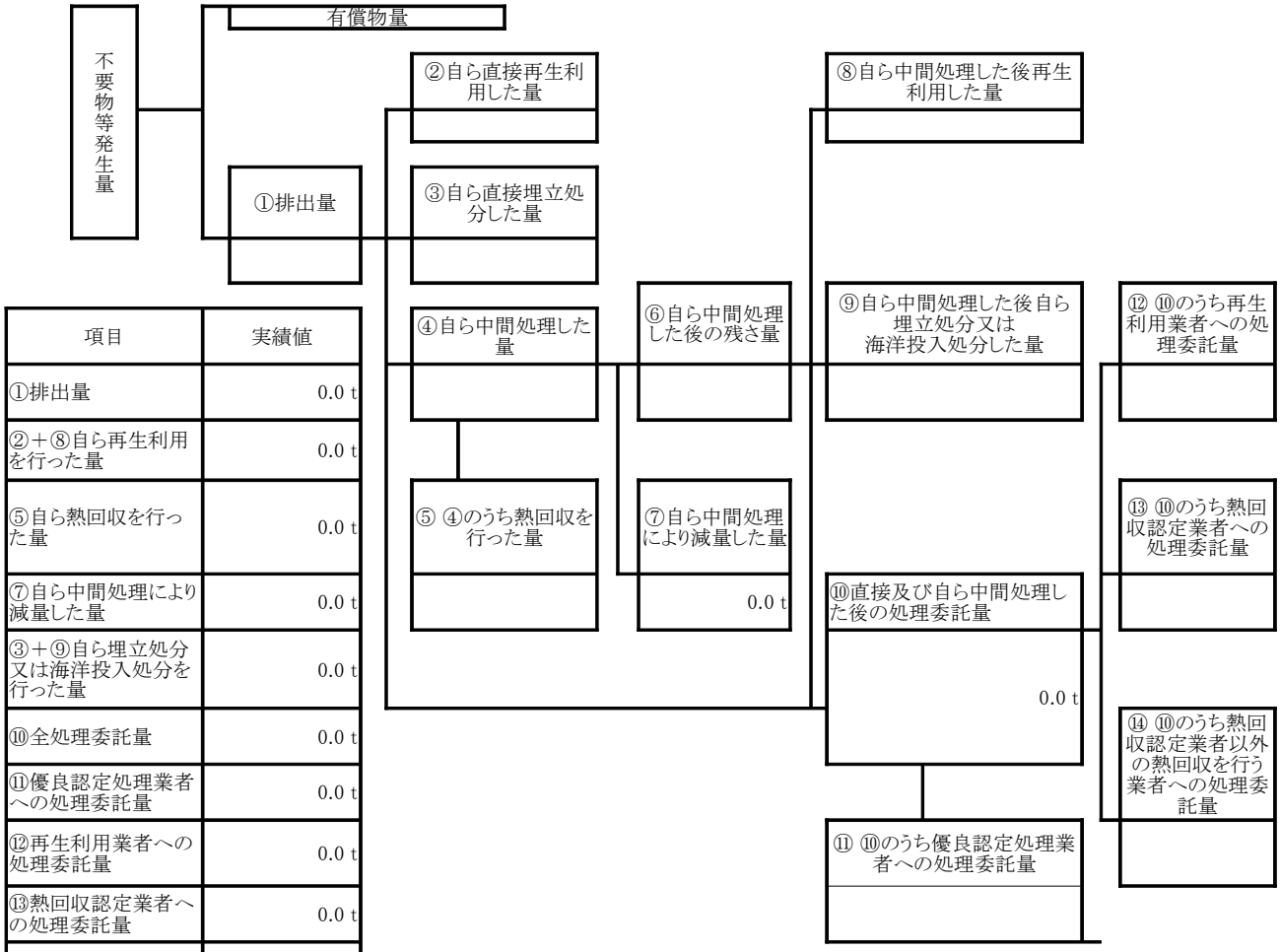


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

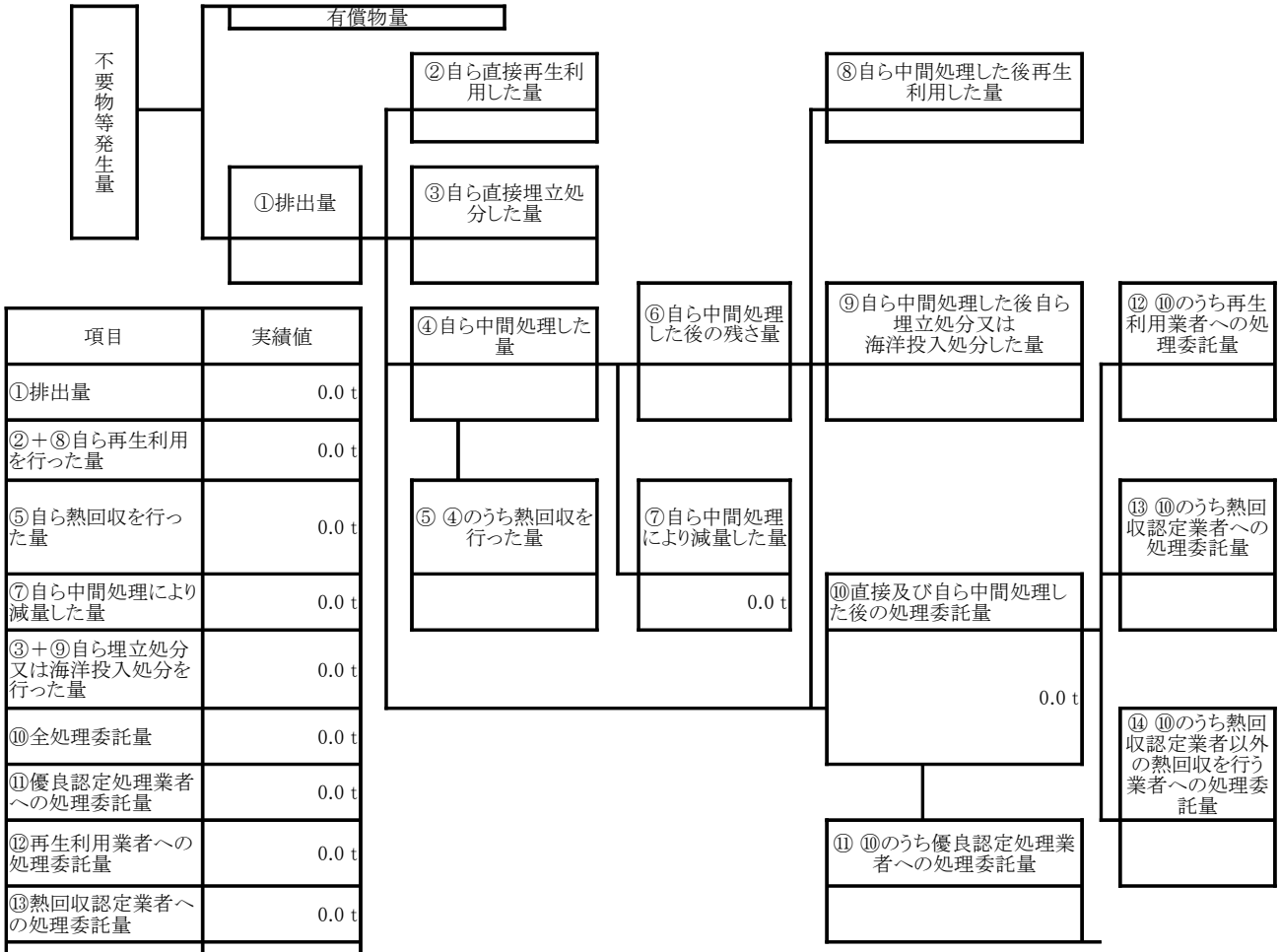


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



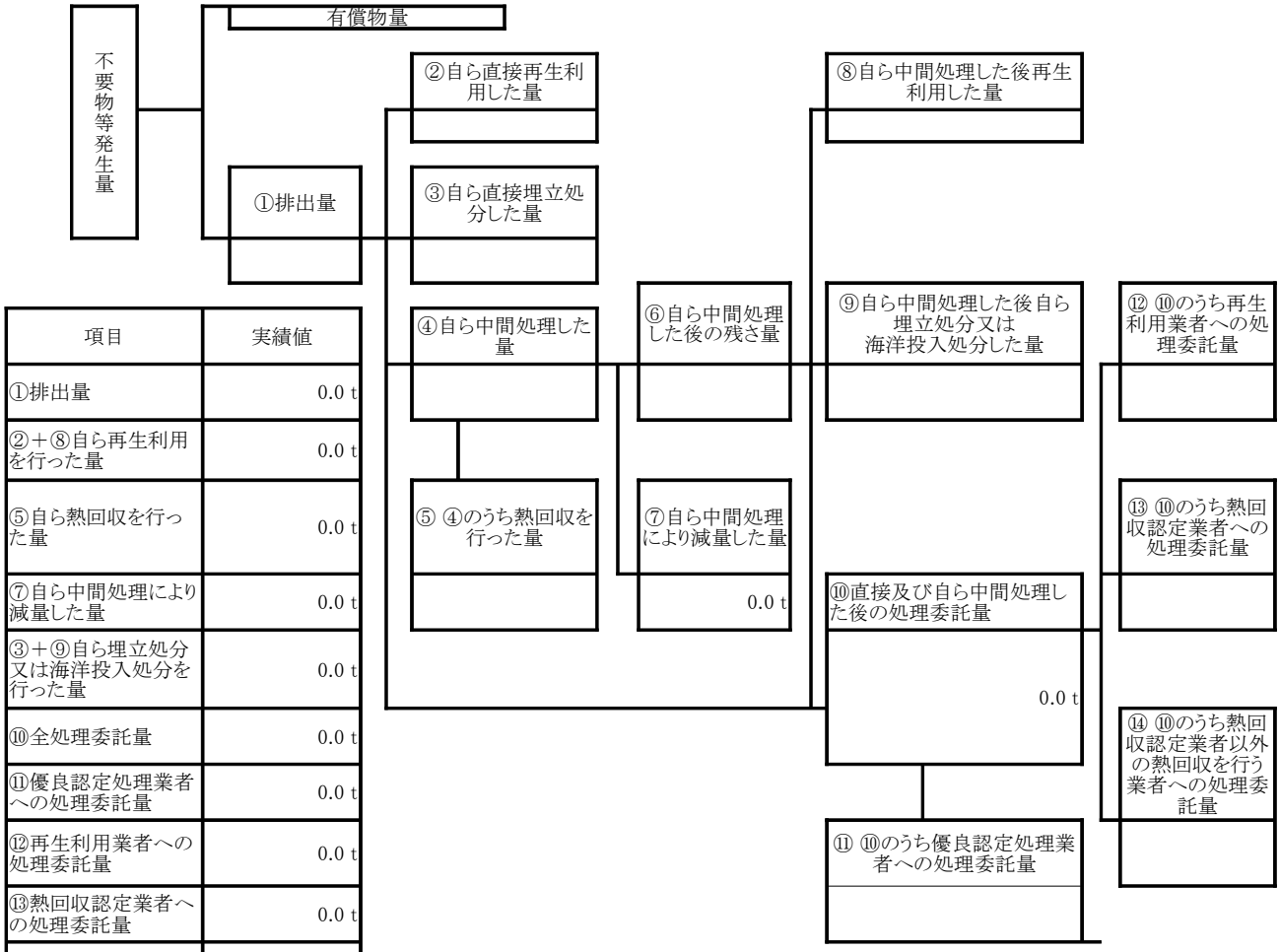
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



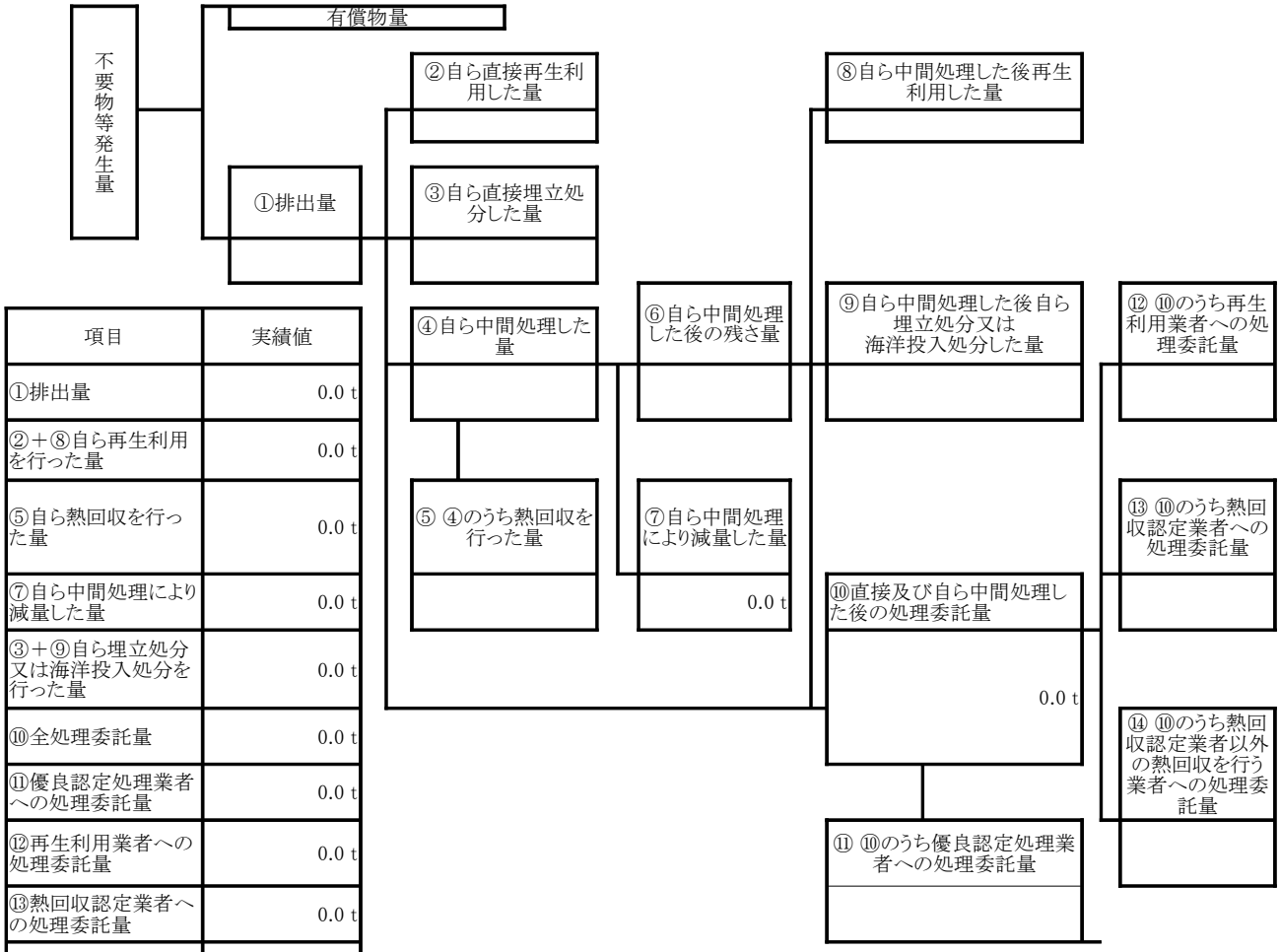
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

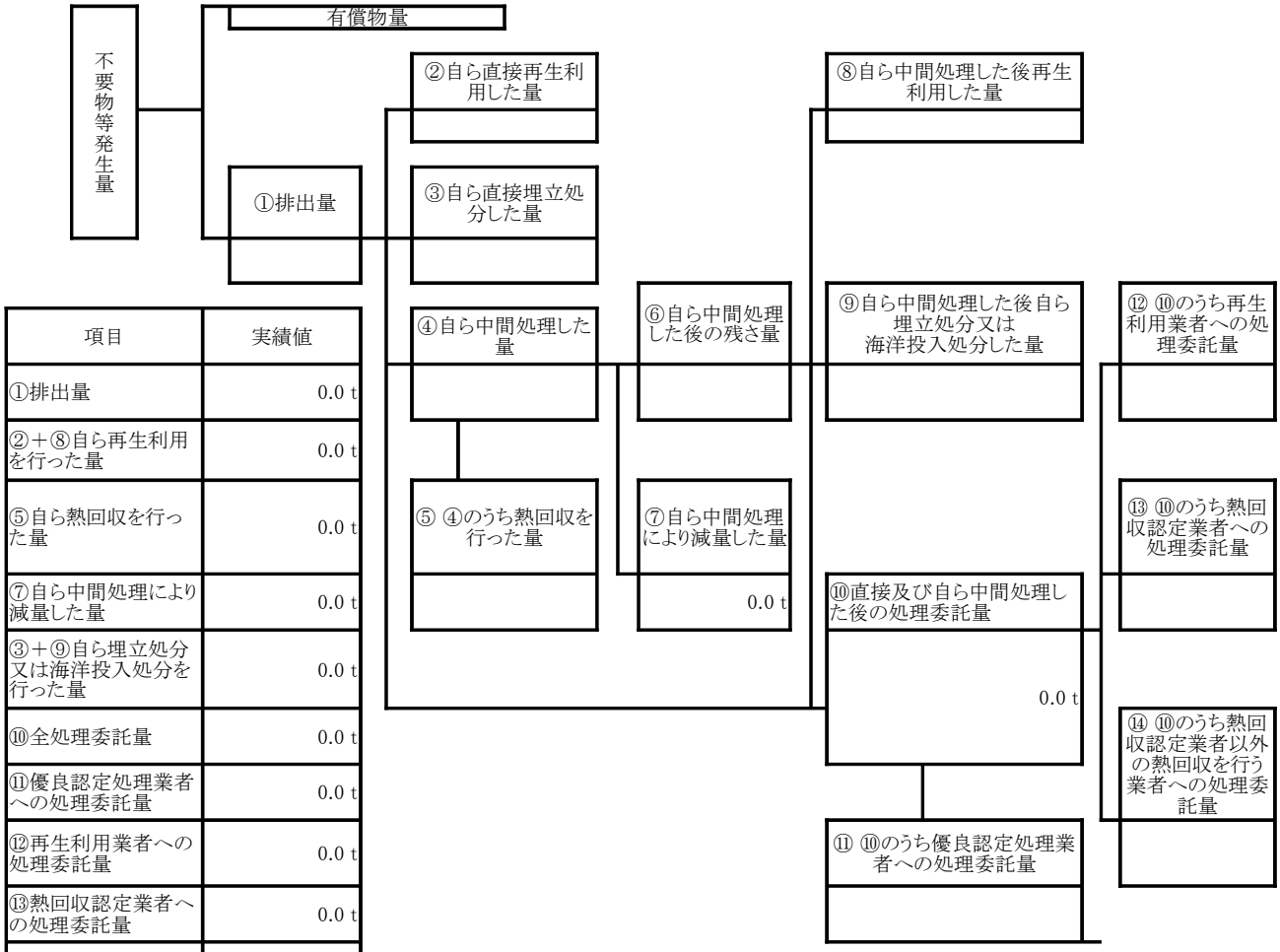


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

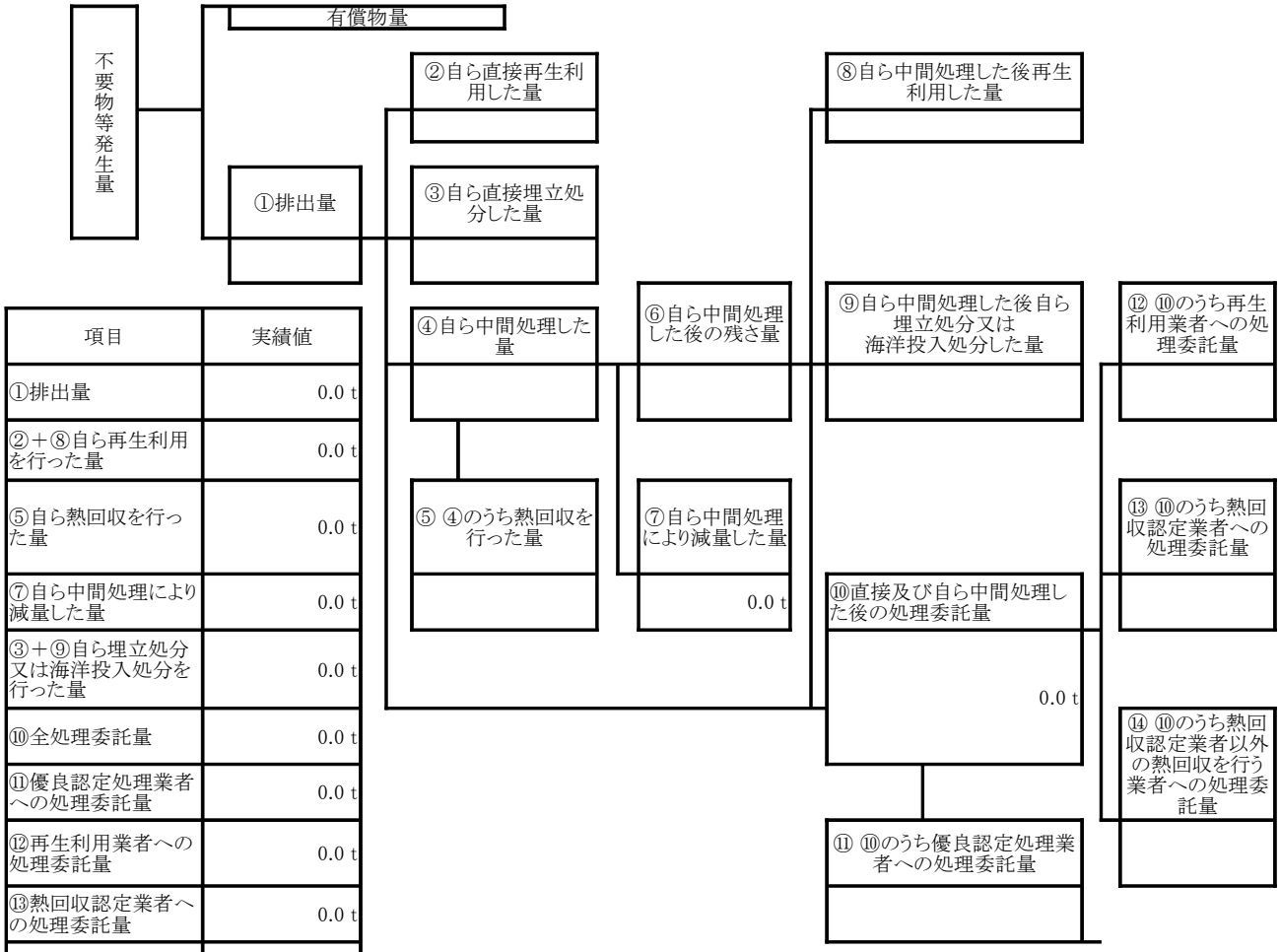


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

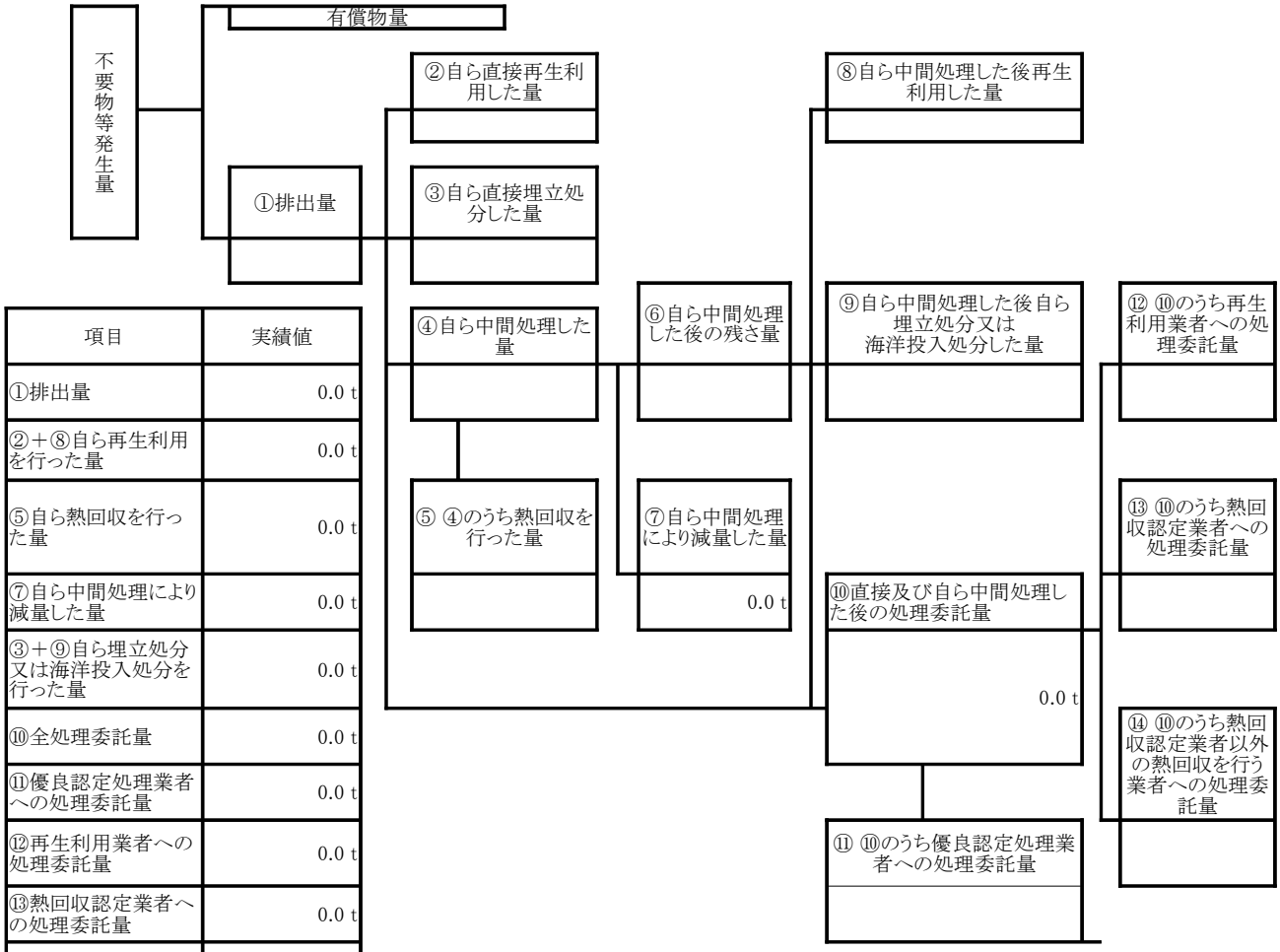


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

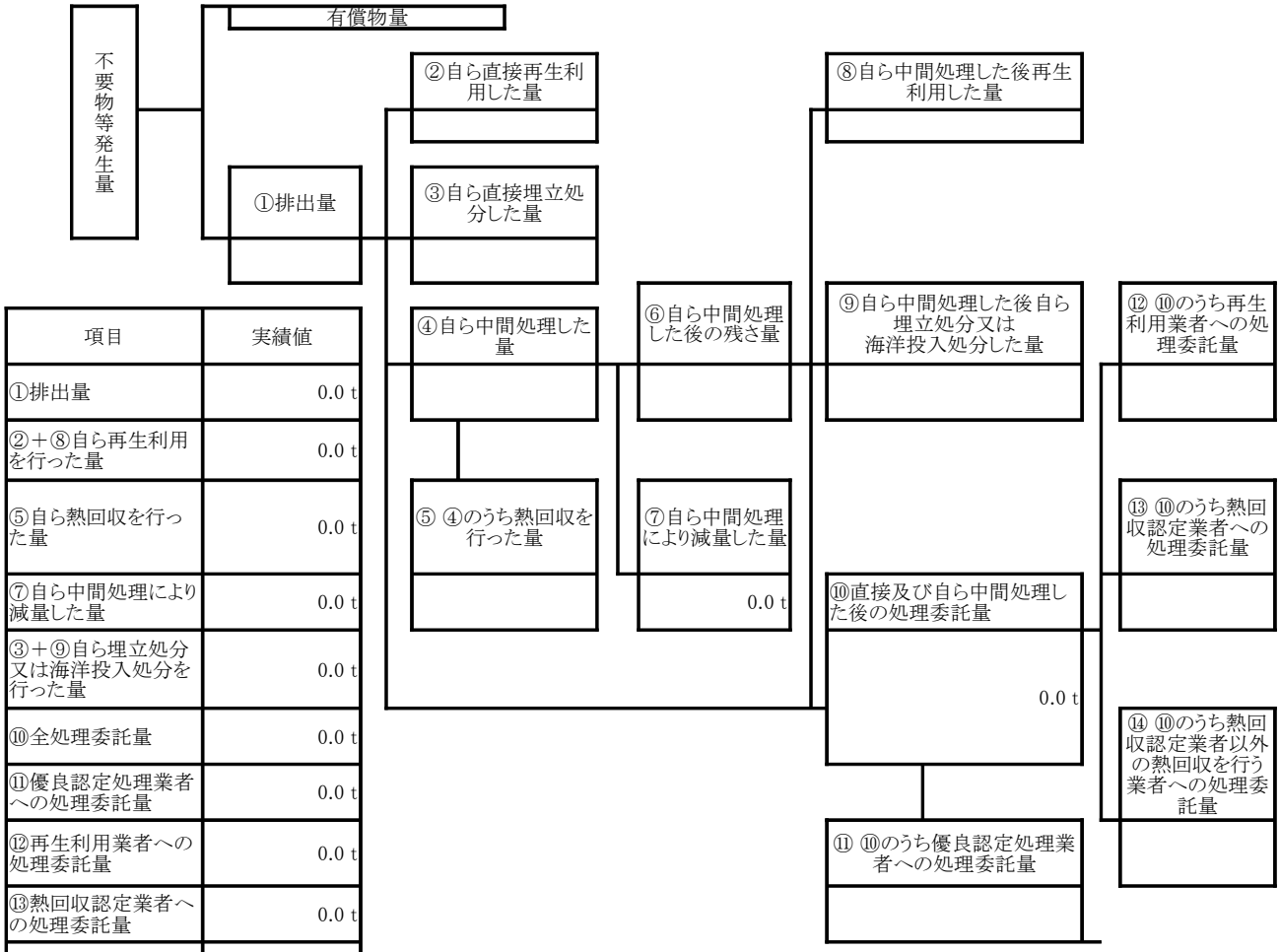


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年６月26日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者　〒297-0033
住　所　千葉県茂原市大芝４５２番地
氏　名　妙中鉱業株式会社
代表取締役社長　妙中信太郎
電話番号　0475-24-0140

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	妙中鉱業株式会社
事業場の所在地	千葉県茂原市大芝４５２番地
計画期間	令和６年４月１日から令和７年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類:製造業　中分類:非鉄金属製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額４５２億円
③従業員数	１８８人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１のとおり

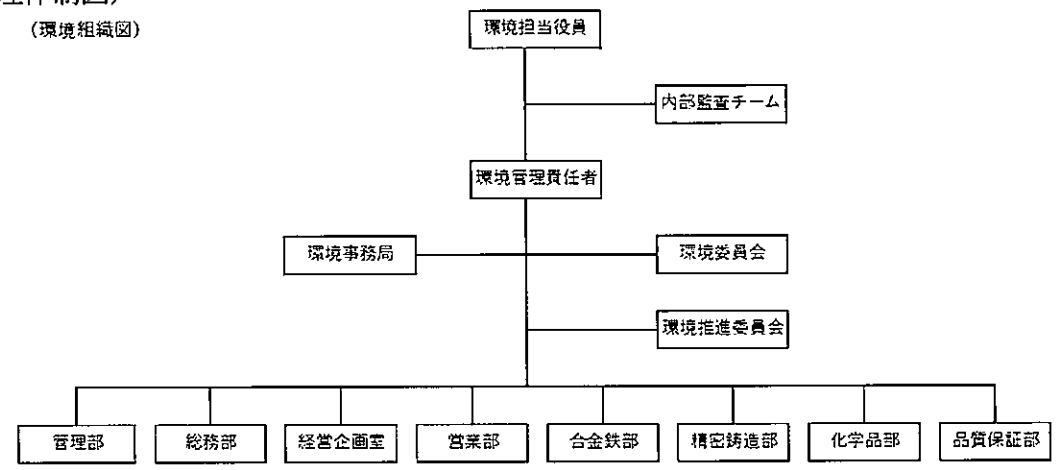
千葉県 長生地域振興事務所 -6.6.26 地域環境保全課 収受

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

（環境組織図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（　５年度　）実績】	
	産業廃棄物の種類 排　出　量	別紙２のとおり
	（これまでに実施した取組） 耐火物の回収利用、空ドラム・廃パレットの再利用、廃フレコンの回収、製品不良率の削減、原料の小口購入から大口購入による容器の削減、試薬の必要最小限の購入。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類 排　出　量	別紙２のとおり
	（今後実施する予定の取組） 引き続き現状の取組を行いながら、より一層の排出削減に努める。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 鉱さい、汚泥、がれき類、廃油、廃酸、廃ｱﾙｶﾘ、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、動物性残渣、金属くず、ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず、木くず ⇩ 廃棄物ごとに分別管理している
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 鉱さい、汚泥、がれき類、廃油、廃酸、廃ｱﾙｶﾘ、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、動物性残渣、金属くず、ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず、木くず ⇩ 分別化率の向上

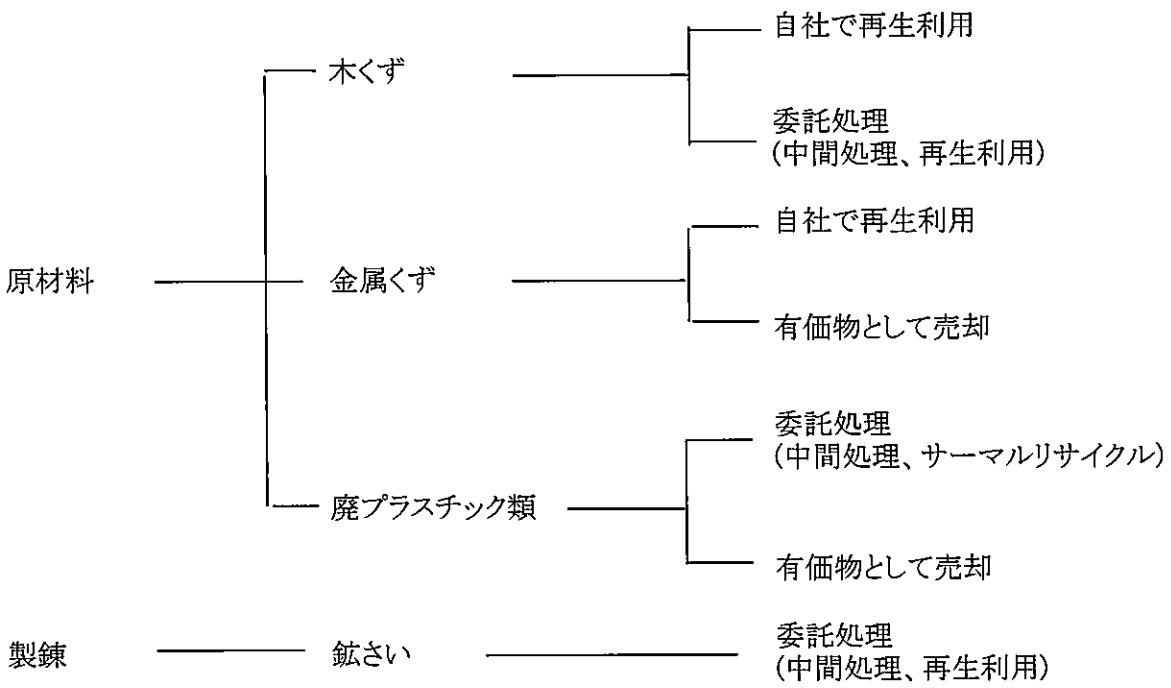
<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="2">【前年度（　５年度　）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td rowspan="2">別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
空ドラム、廃パレットの再利用</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td rowspan="2">別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）
引き続き、空ドラム、廃パレットの再利用</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="2">【前年度（　５年度　）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td rowspan="3">別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
廃酸と廃アルカリを中和処理することによる廃棄物の削減</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td rowspan="3">別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）
引き続き、廃酸と廃アルカリを中和処理することによる廃棄物の削減</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="2">【前年度（　５年度　）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td rowspan="2">別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
自社で埋立処分又は海洋投入処分を行っていない</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td rowspan="2">別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）
引き続き、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">① 現状</td><td colspan="2">【前年度（　５年度　）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td rowspan="6">別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
自社で発生する廃棄物は可能な限り再生利用、又は熱回収ができる委託業者に処理委託している</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td rowspan="6">別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き、自社で発生する廃棄物は可能な限り再生利用、又は熱回収ができる委託業者に処理委託をする</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

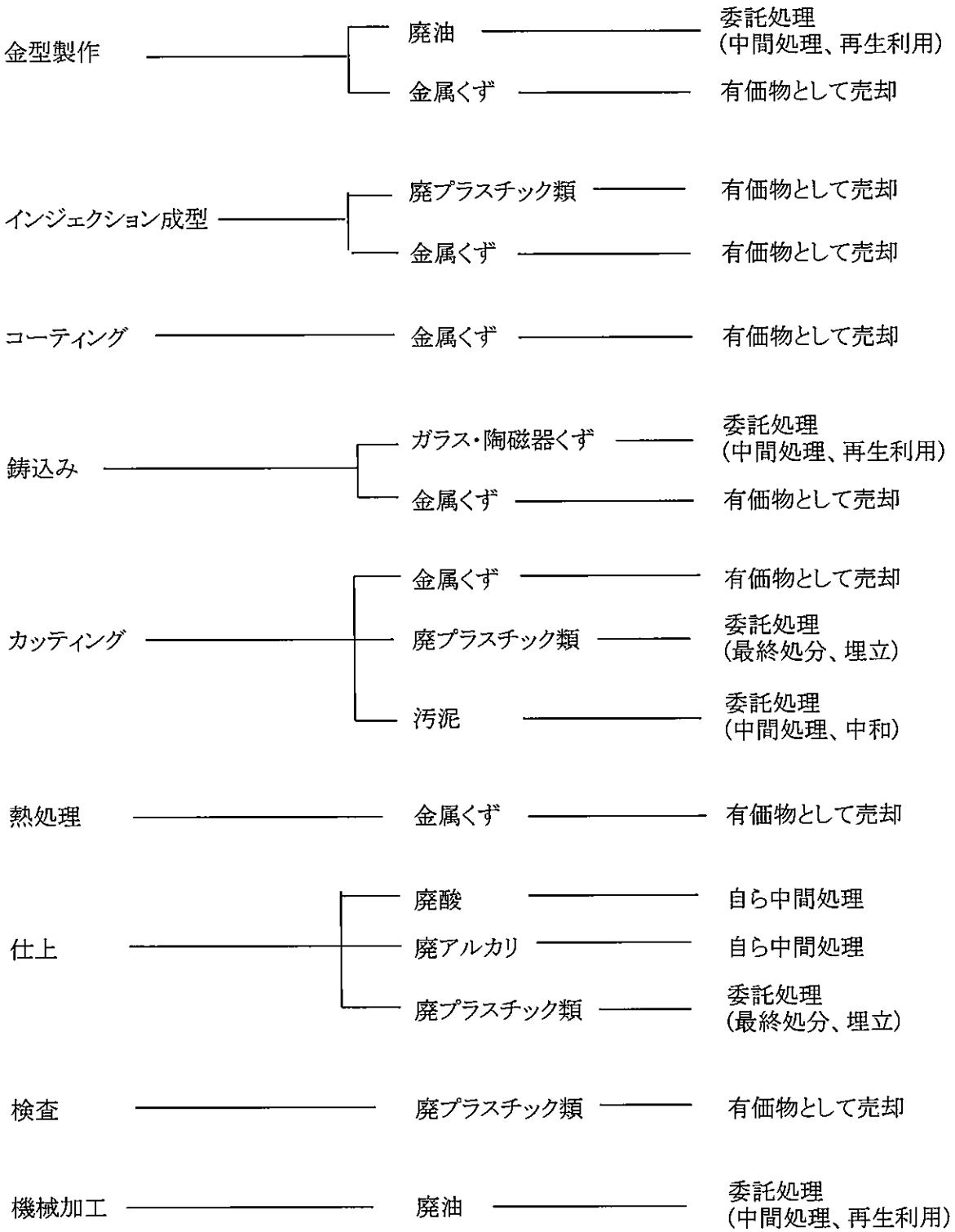
産業廃棄物処理工程:別紙1

フェロモリブデン、三酸化ブリケット製造



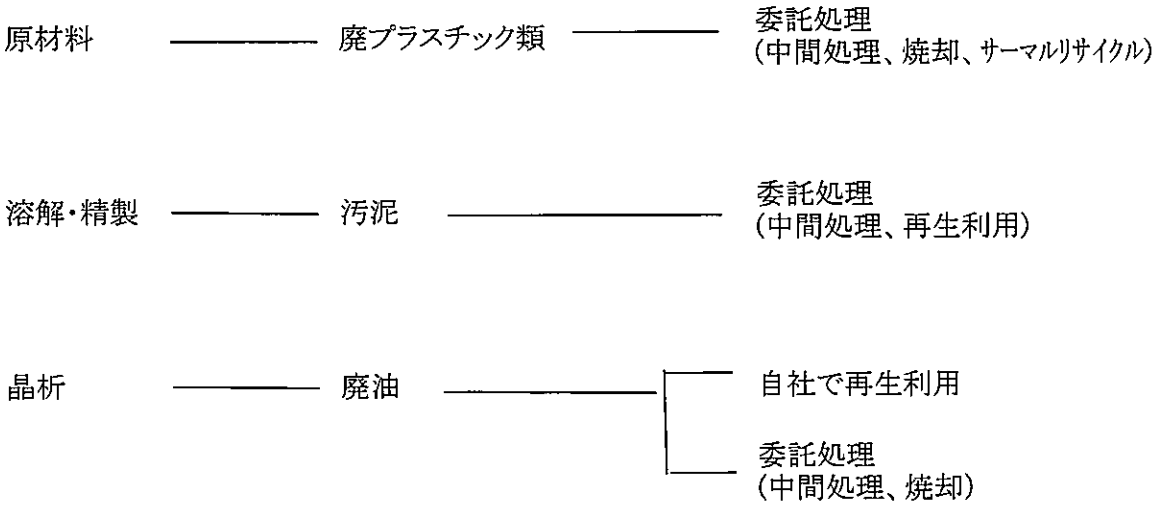
産業廃棄物処理工程:別紙1

鋳造品製造



産業廃棄物処理工程:別紙1

医薬品原末、食品添加物製造



産業廃棄物処理工程:別紙1

試験、分析作業

原材料 ―――― ガラスくず ―――― 委託処理
(最終処分、埋立)

試験、分析 ―――― 動物性残さ ―――― 委託処理
(中間処理、焼却、サーマルリサイクル)

産業廃棄物処理工程:別紙1

保全作業

鋼材 ―――― 鉄くず ―――― 有価物として売却

機械修理 ―――― 廃油 ―――― 有価物として売却

産業廃棄物処理計画書:別紙2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(5年度)実績】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	排　出　量	2330.65t	182.615t	27.291t	21.51t	1.7712t	4.37t	27.34t	14.88t	0.22t	31.8t	266.8975t	72.856t
②計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	排　出　量	2600t	100t	20t	20t	2t	4t	25t	14t	0t	30t	260t	70t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(5年度)実績】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	8.71t	0t	23.766t
②計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	8t	0t	23t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(5年度)実績】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	4.35t	10t	0t	0t	0t	0t	0t
②計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	4t	10t	0t	0t	0t	0t	0t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(5年度)実績】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
②計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(5年度)実績】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	全処理委託量	2330.65t	182.615t	27.291t	21.51t	1.7712t	0.02t	17.34t	14.88t	0.22t	23.09t	266.8975t	49.09t
	優良認定処理業者への処理委託量	1304.13t	22.815t	27.291t	0t	0t	0.02t	17.34t	3.31t	0.22t	0t	0.8275t	33.65t
	再生利用業者への処理委託量	2330.65t	182.615t	27.291t	0t	1.7712t	0.02t	17.34t	3.31t	0t	23.09t	262.6575t	49.09t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	9.27t	0.22t	0t	0t	0t
②計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	鉱さい	有機性汚泥	無機性汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	動物性残渣	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	全処理委託量	2600t	100t	20t	20t	2t	0t	15t	14t	0t	22t	260t	47t
	優良認定処理業者への処理委託量	1300t	7t	20t	0t	0t	0t	15t	3t	0t	0t	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	2600t	100t	20t	0t	2t	0t	15t	3t	0t	22t	260t	47t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	9t	0t	0t	0t	0t

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和６年６月26日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者　〒297-0033
住　所　千葉県茂原市大芝４５２番地
氏　名　妙中鉱業株式会社
代表取締役社長　妙中信太郎
電話番号　0475-24-0140

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	妙中鉱業株式会社
事業場の所在地	千葉県茂原市大芝４５２番地
事業の種類	大分類:製造業　　中分類:非鉄金属製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和５年４月～令和６年３月

産業廃棄物処理計画における目標値

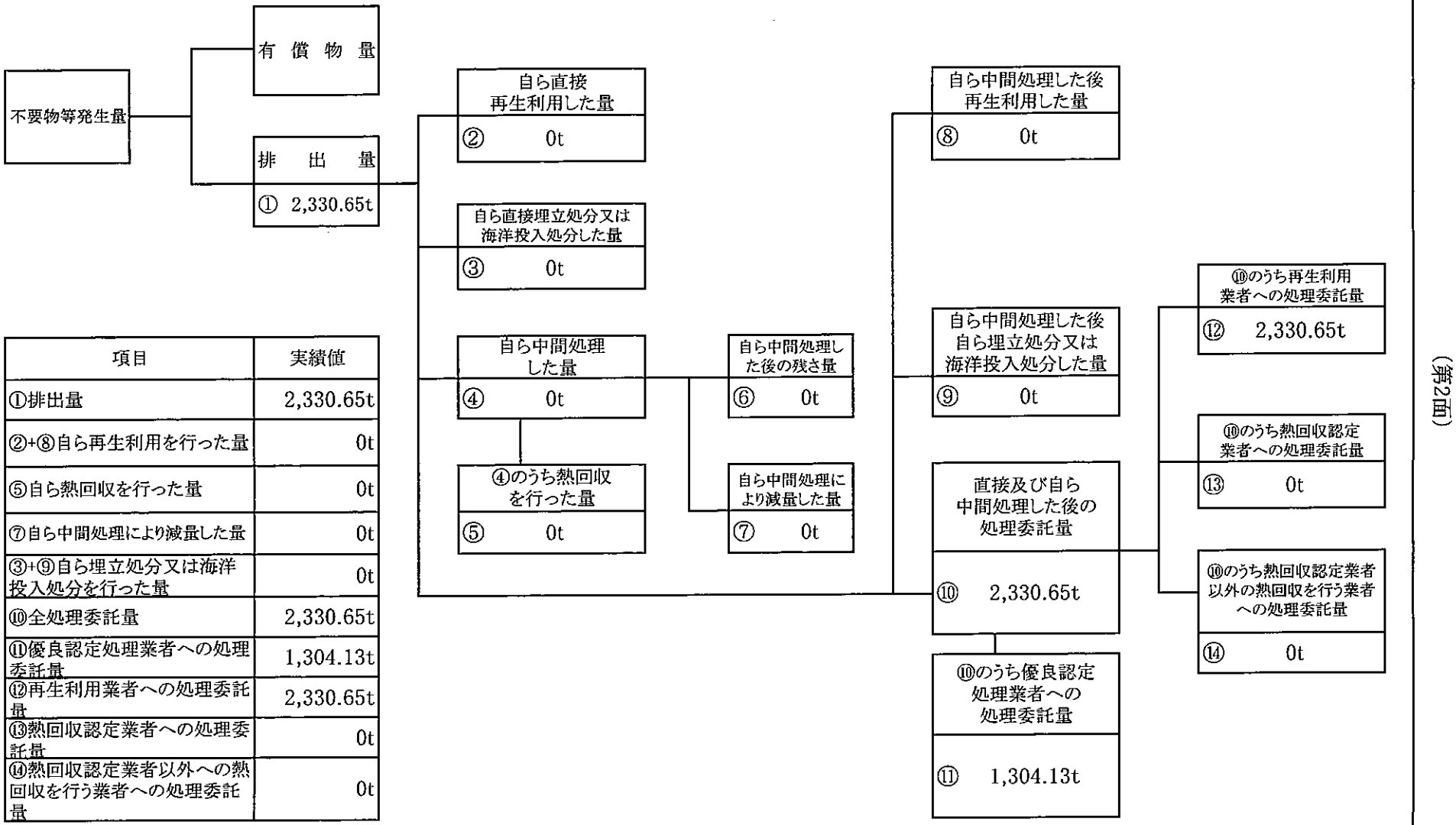
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,195.0ｔ	全処理委託量	3,140.0ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	35.0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	1,328.0t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	再生利用業者への処理委託量	3,101.0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	20.0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	11.0ｔ

※事務処理欄

千葉県 長生地域振興事務所 -6.6.26 地域環境保全課 収受

（日本工業規格　A列４番）

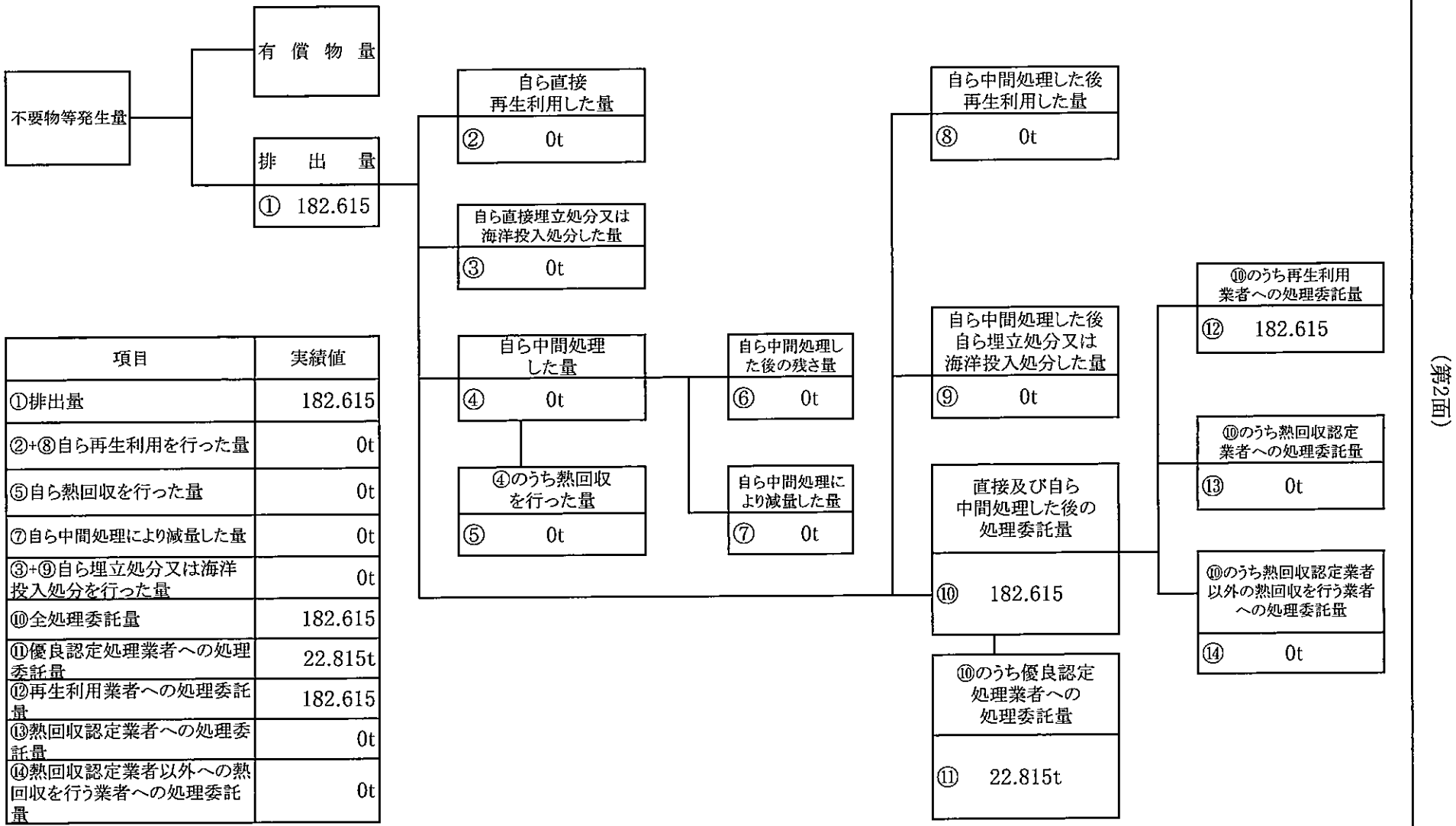
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：鉱さい　　）



項目	実績値
①排出量	2,330.65t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	2,330.65t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,304.13t
⑫再生利用業者への処理委託量	2,330.65t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0t

（第2面）

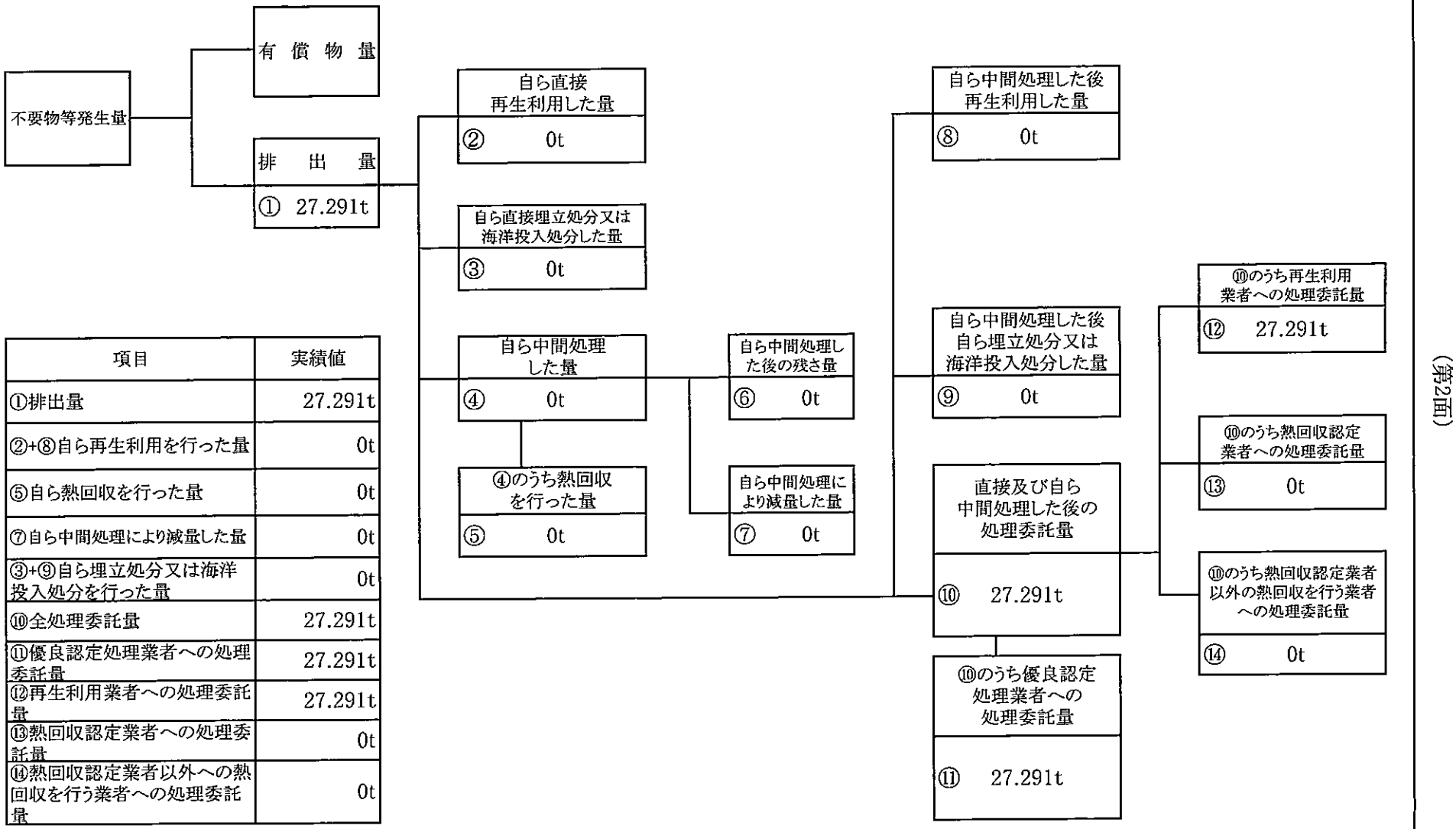
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：有機性汚泥　　）



項目	実績値
①排出量	182.615
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	182.615
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.815t
⑫再生利用業者への処理委託量	182.615
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0t

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：無機性汚泥　　）

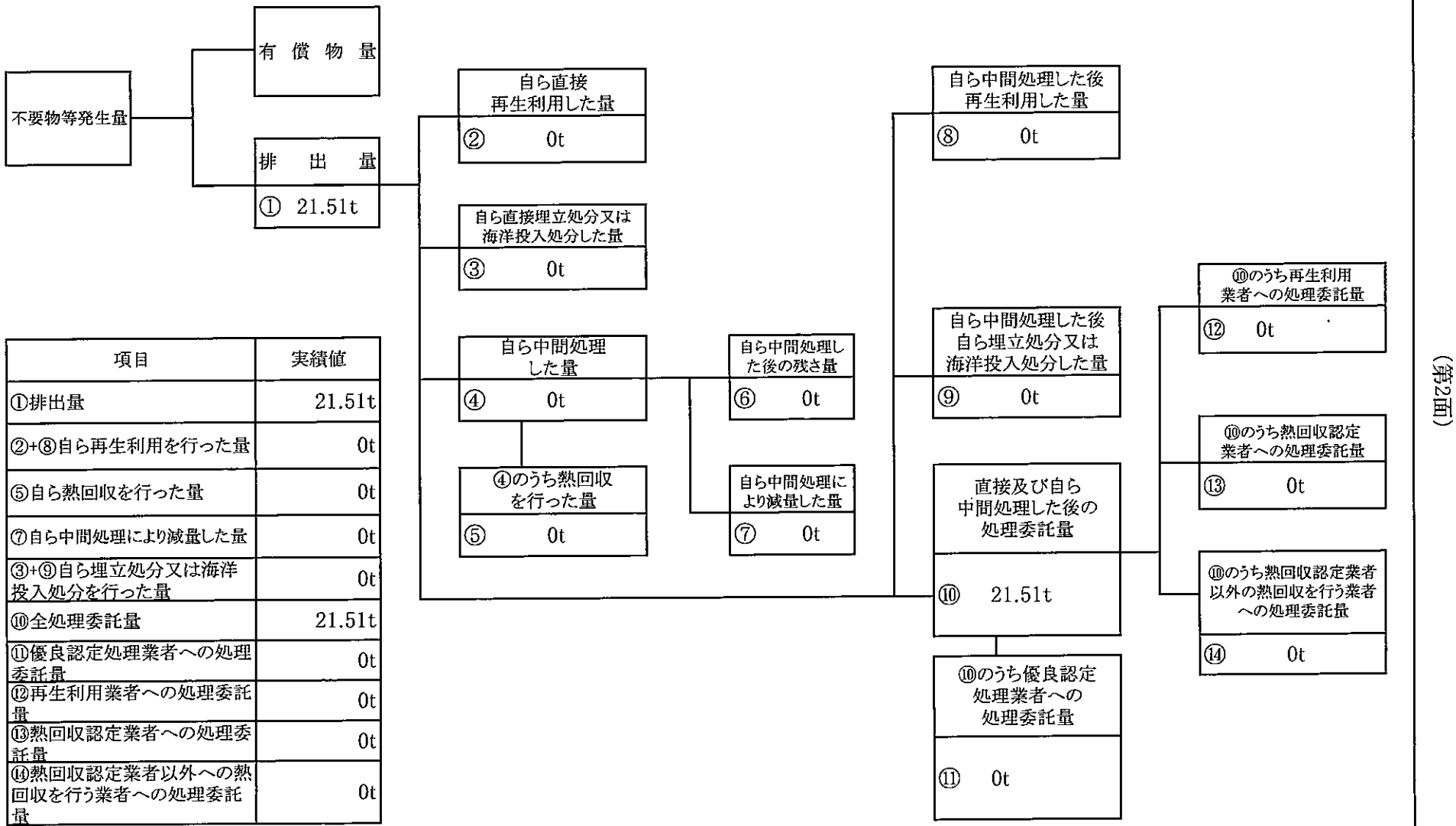


項目	実績値
①排出量	27.291t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	27.291t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	27.291t
⑫再生利用業者への処理委託量	27.291t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：がれき類　　）

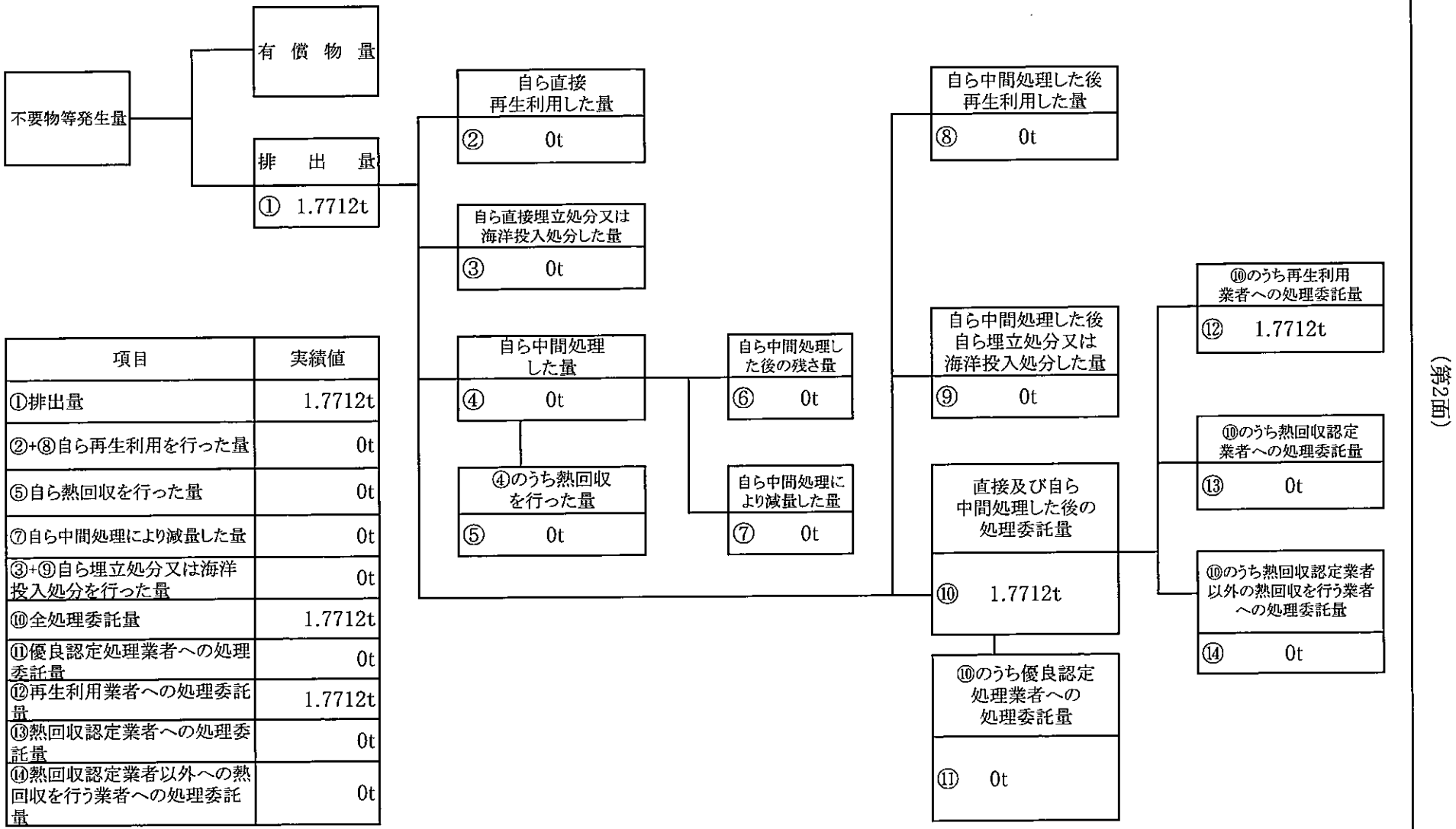


項目	実績値
①排出量	21.51t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	21.51t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃油　　）

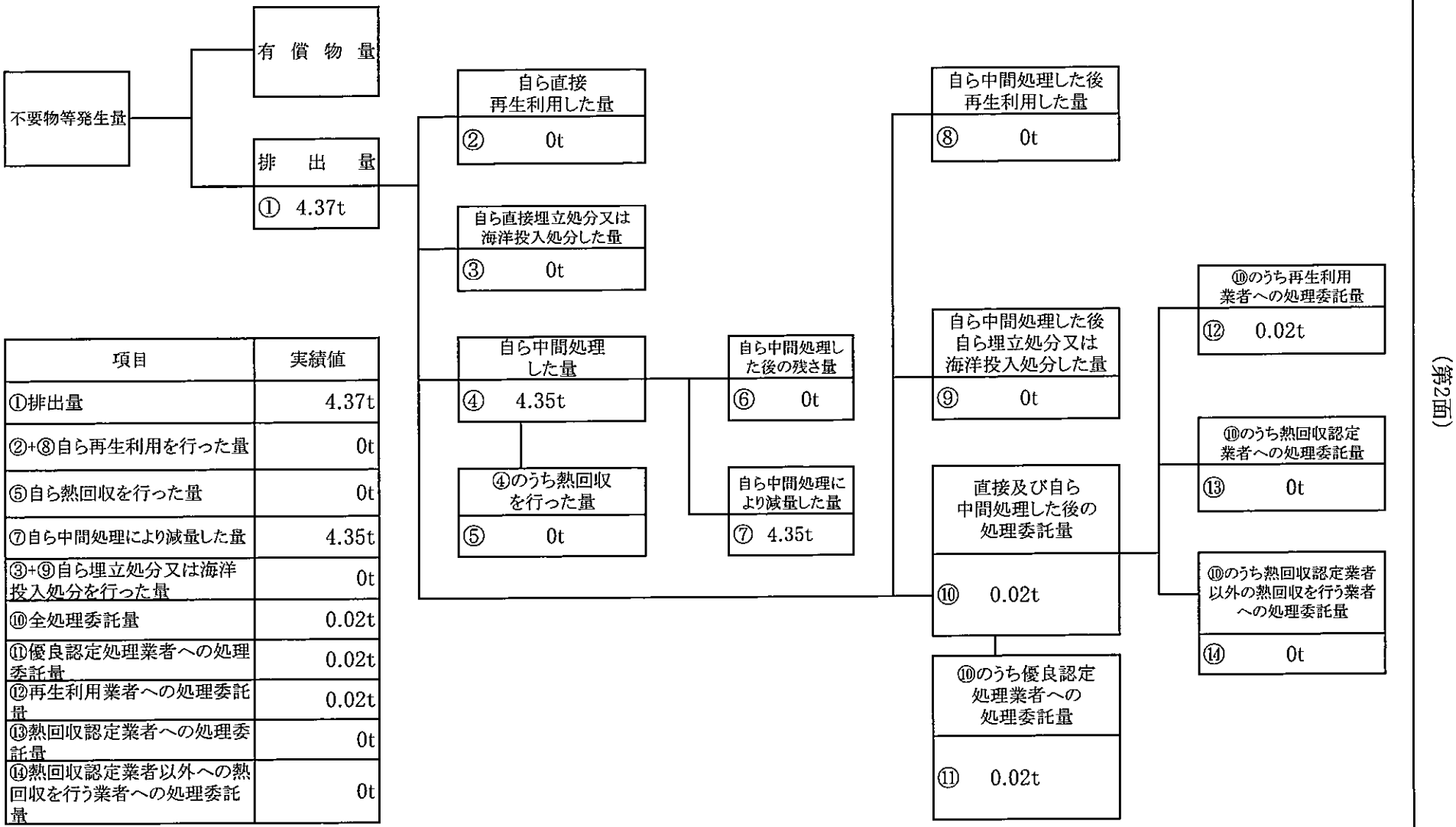


項目	実績値
①排出量	1.7712t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	1.7712t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.7712t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃酸　　）

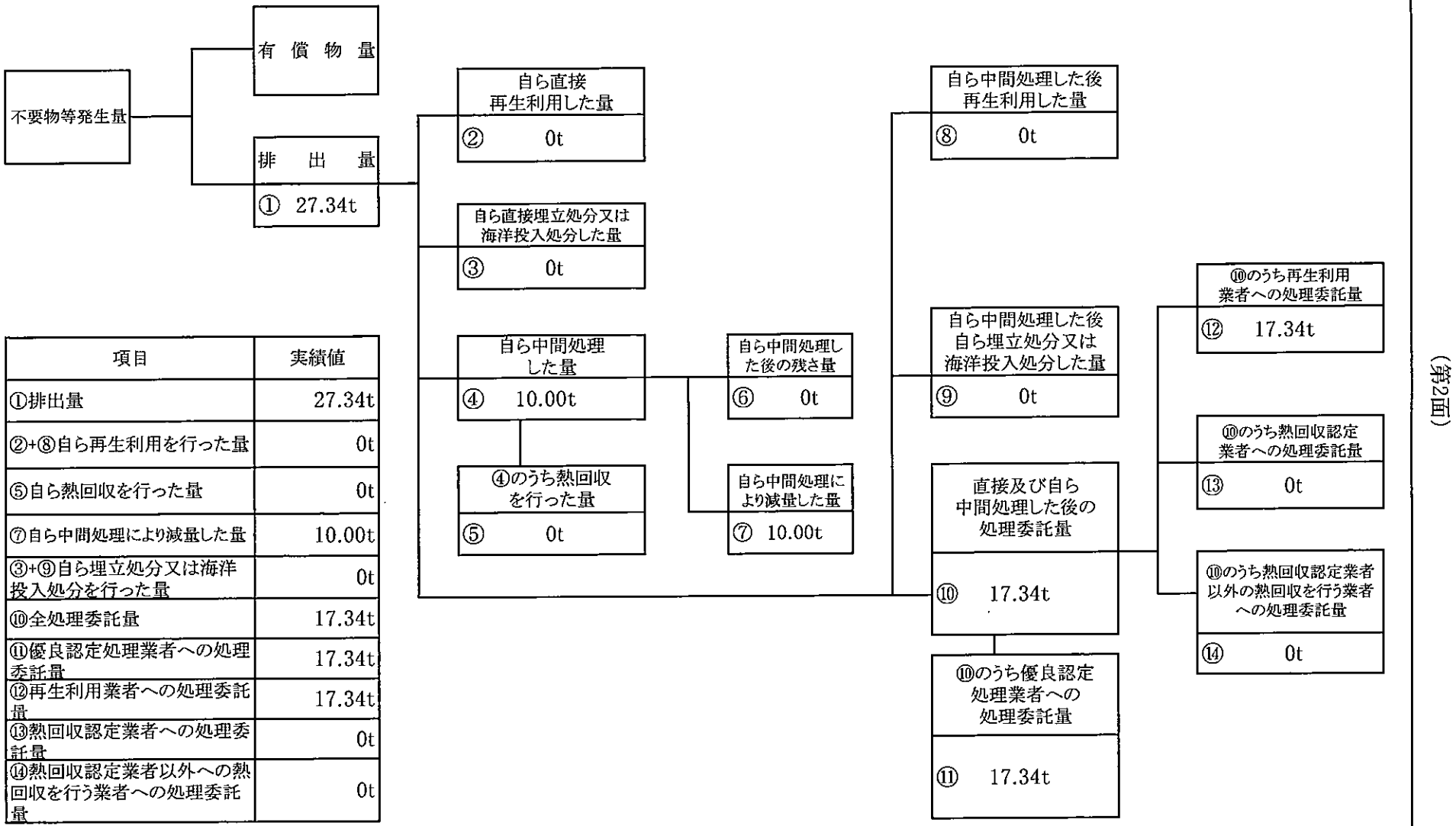


項目	実績値
①排出量	4.37t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	4.35t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	0.02t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.02t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.02t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0t

（第2面）

計画の実施状況

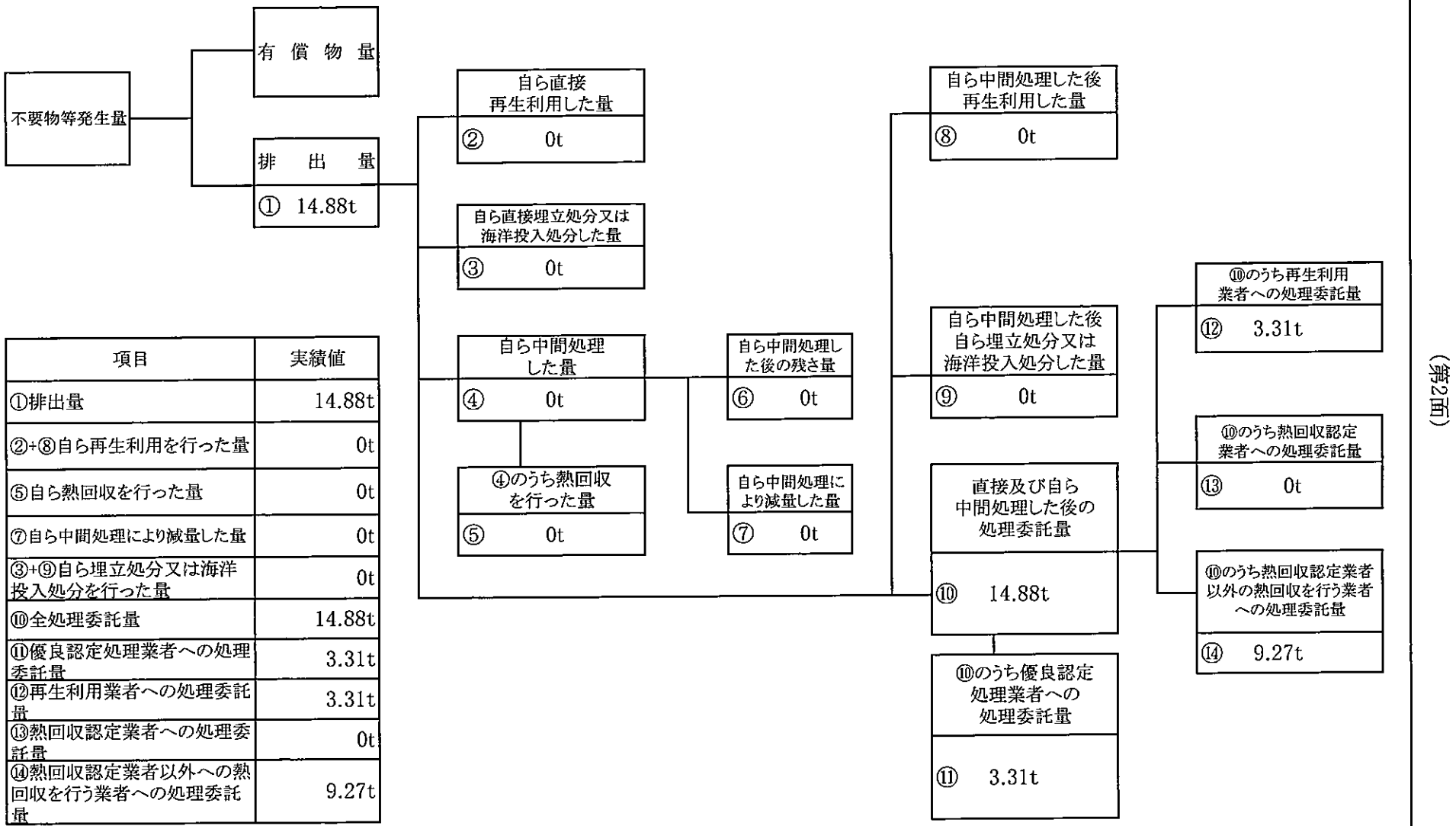
（産業廃棄物の種類：廃アルカリ　　）



項目	実績値
①排出量	27.34t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	10.00t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	17.34t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.34t
⑫再生利用業者への処理委託量	17.34t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0t

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：廃プラスチック　　）

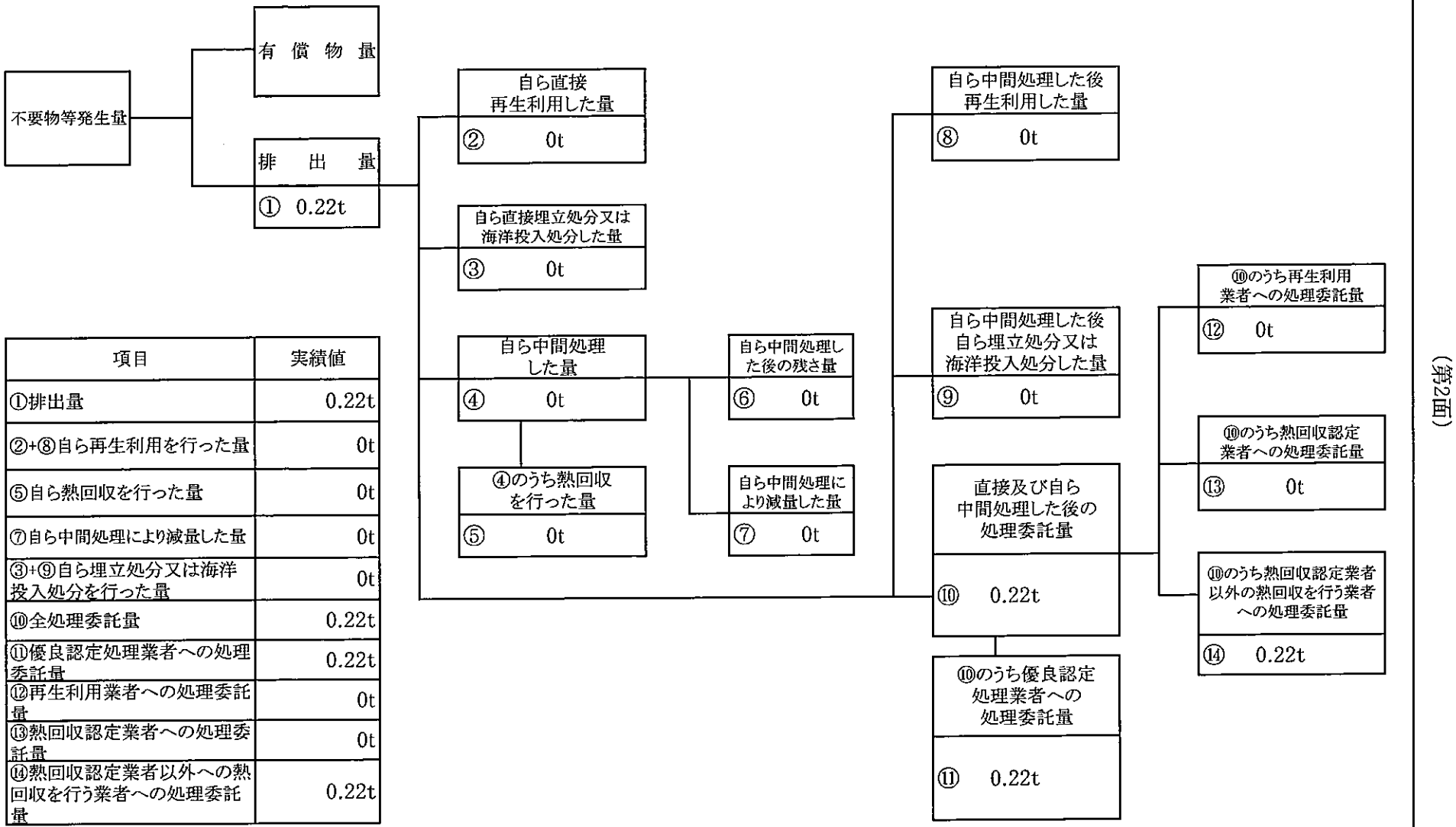


項目	実績値
①排出量	14.88t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	14.88t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.31t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.31t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	9.27t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：動物性残さ　　）

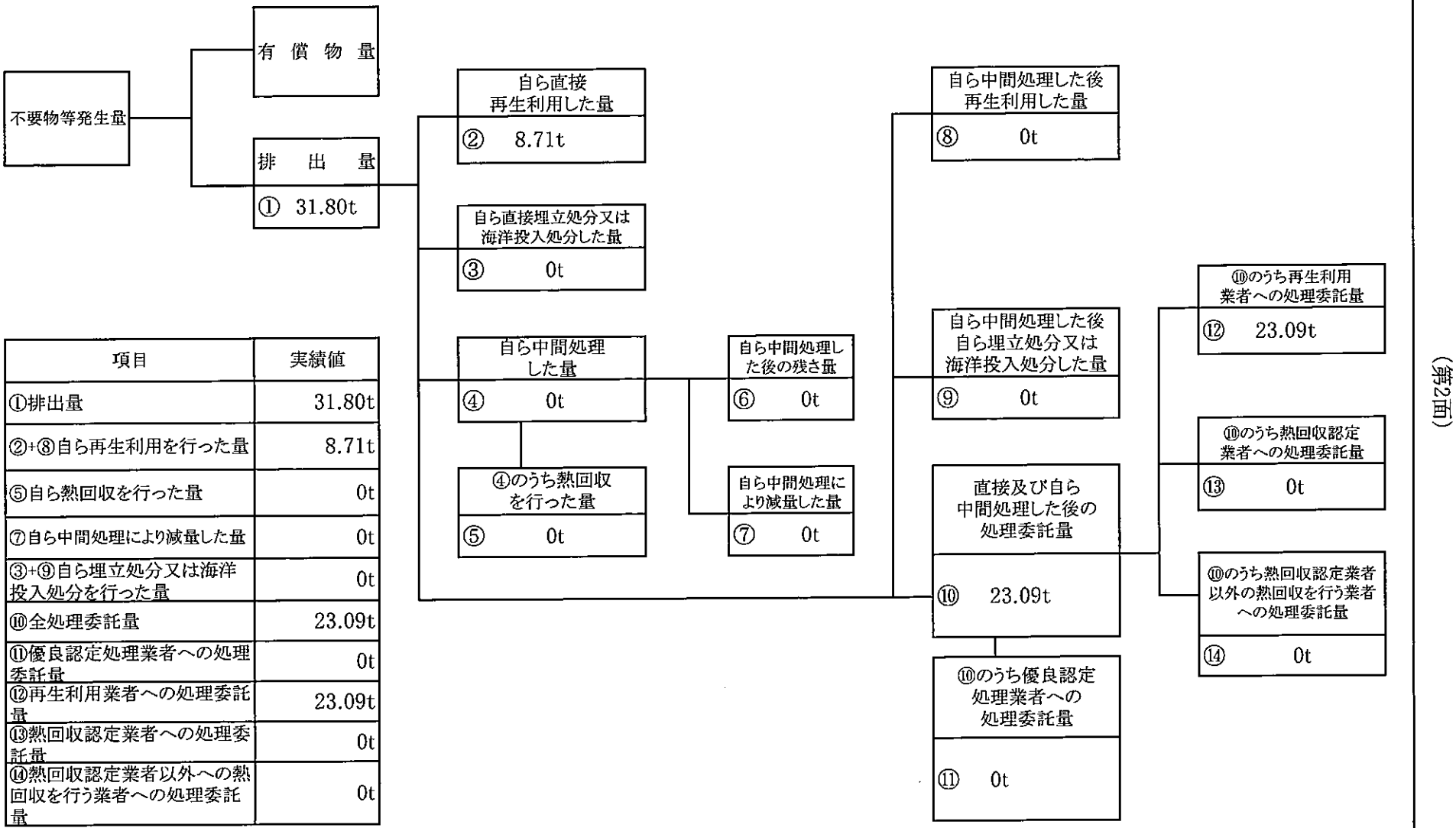


項目	実績値
①排出量	0.22t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	0.22t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.22t
⑫再生利用業者への処理委託量	0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0.22t

（第2面）

計画の実施状況

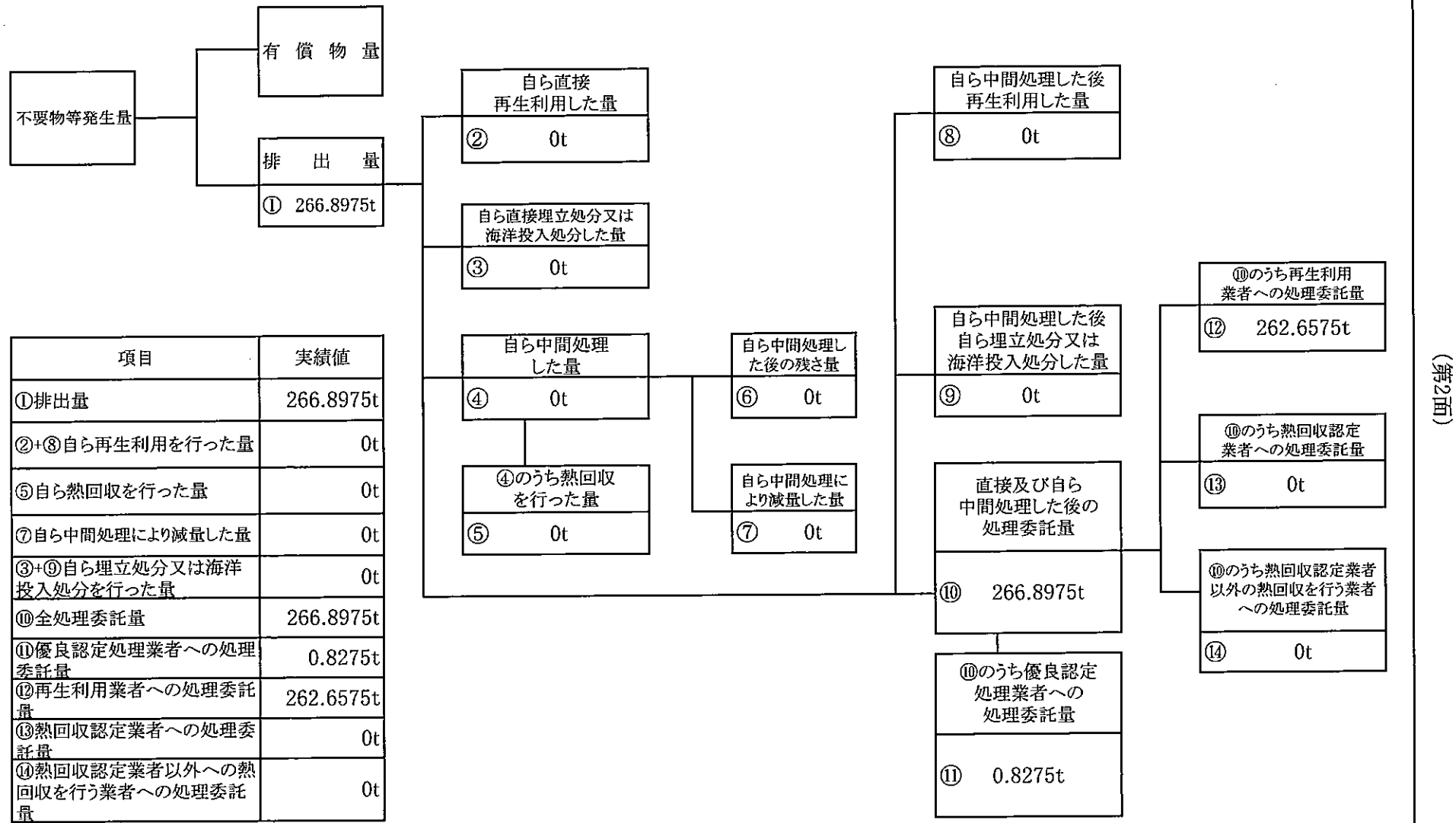
（産業廃棄物の種類：金属くず　　）



項目	実績値
①排出量	31.80t
②+⑧自ら再生利用を行った量	8.71t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	23.09t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	23.09t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0t

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器くず　　）

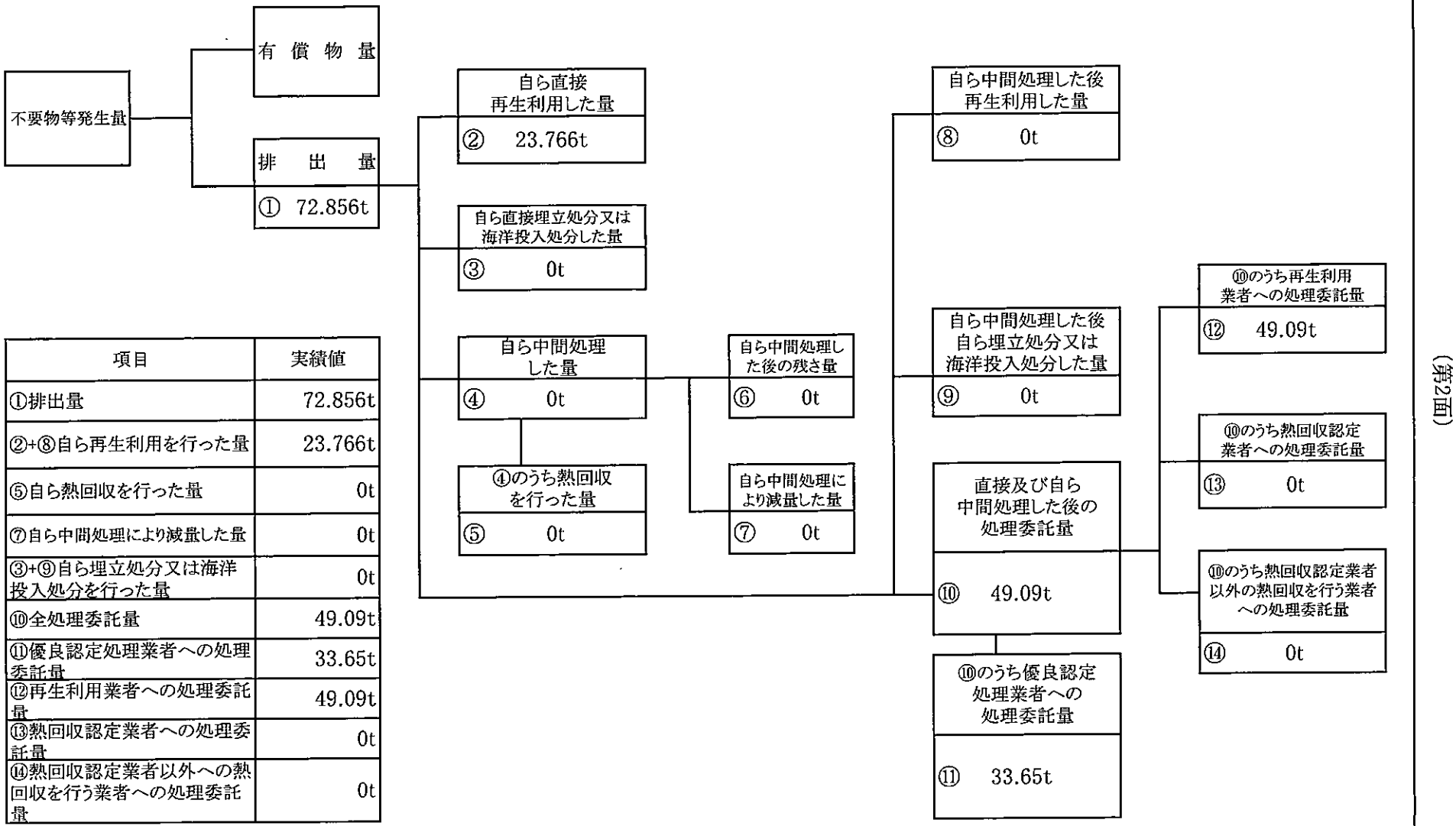


項目	実績値
①排出量	266.8975t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	266.8975t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.8275t
⑫再生利用業者への処理委託量	262.6575t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず　　）



項目	実績値
①排出量	72.856t
②+⑧自ら再生利用を行った量	23.766t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	49.09t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	33.65t
⑫再生利用業者への処理委託量	49.09t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和　６年　６月 26 日

千葉県知事
熊谷　俊人　　殿

提出者 〒297-0033

住　所　千葉県茂原市大芝452番地

氏　名　妙中鉱業株式会社
代表取締役社長　妙中信太郎

電話番号　0475-24-0140

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	妙中鉱業株式会社
事業場の所在地	千葉県茂原市大芝452番地
計画期間	令和６年４月１日から令和７年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

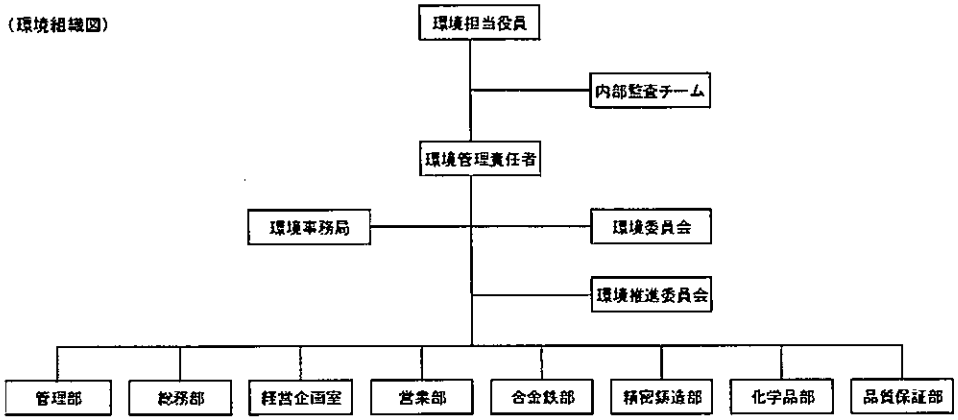
①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：非鉄金属製錬業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額４５２億円
③従業員数	１８８人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	◆医薬品源末他製造：晶析・分離・洗浄―廃油―①自社で再生利用、②委託処理（中間処理、焼却） ◆鋳造品製造：検査（金属洗浄）―廃油―委託処理（中間処理、蒸留、油水分離） ◆試験分析作業：試験・分析―廃油―委託処理（中間処理、焼却）、試験・分析―汚泥―委託処理（中間処理、脱水）、試験・分析―廃酸/廃アルカリ―委託処理（中間処理、中和）

千葉県 衛生地域保全事務所 -6.6.26 地域環境保全課 収受

（日本工業規格　Ａ列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排　　出　　量	
	（これまでに実施した取組） 廃油は自社蒸留設備により可能な限り自社で再生利用。再生利用不可能な数量を委託処理。その他の廃棄物は、試験法変更、購入試薬削減及び在庫管理を徹底し削減に務めている。	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排　　出　　量	
	（今後実施する予定の取組） 引き続き現状の取組を行いながら、より一層の排出削減に努める。	

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物ごとに分別管理している。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き分別管理を継続する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="3">①現状</td><td colspan="2">【前年度（ 令和　5 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
廃油は可能な限り自社で再生利用。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="2">【目標】
特別管理産業廃棄物の種類
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量
別紙のとおり
（今後実施する予定の取組）
引き続き現状の取組を行いながら、より一層の排出削減に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="3">①現状</td><td colspan="2">【前年度（ 令和　5 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
実績なし。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="2">【目標】
特別管理産業廃棄物の種類
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量
別紙のとおり
（今後実施する予定の取組 ）
今後も予定なし。</td></tr>
</table>

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	

（これまでに実施した取組）
実績なし。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	

（今後実施する予定の取組）
今後も予定なし。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
全処理委託量	
優良認定処理業者への処理委託量	
再生利用業者への処理委託量	
認定熱回収業者への処理委託量	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（これまでに実施した取組）
廃油は可能な限り自社で再生利用。また、優良認定業者、認定熱回収業者への委託を心掛けている。

	②計画	【目標】 特別管理産業廃棄物の種類 / 全処理委託量 / 優良認定処理業者への処理委託量 / 再生利用業者への処理委託量 / 認定熱回収業者への処理委託量 / 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量：別紙のとおり （今後実施する予定の取組） 引き続き現状の取組を行いながら、より一層の処理委託量削減に努める。
電子情報処理組織の使用に関する事項		【前年度（令和　5年度）実績】 特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）：340.84 t （今後実施する予定の取組等） 2023年4月から導入済
※事務処理欄		

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油							
		排　出　量	340.84 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油							
		排　出　量	526.4 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油							
		自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	307.8 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油							
		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	452.4 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油							
		自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油							
		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油							
	全処理委託量	33.04 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.59 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	32.45 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油							
	全処理委託量	74 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	20 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	20 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	54 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月26日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒297-0033
住 所　千葉県茂原市大芝452番地
氏 名　妙中鉱業株式会社
代表取締役社長　妙中信太郎
電話番号 0475-24-0140

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	妙中鉱業株式会社
事業場の所在地	千葉県茂原市大芝452番地
事業の種類	大分類:製造業　中分類:非鉄金属製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月～令和6年3月

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	428.0 t	全処理委託量	61.0 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	367.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	20.0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	21.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	40.0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	311.14	t
	前年度	340.84	t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

令和5年4月より導入済み

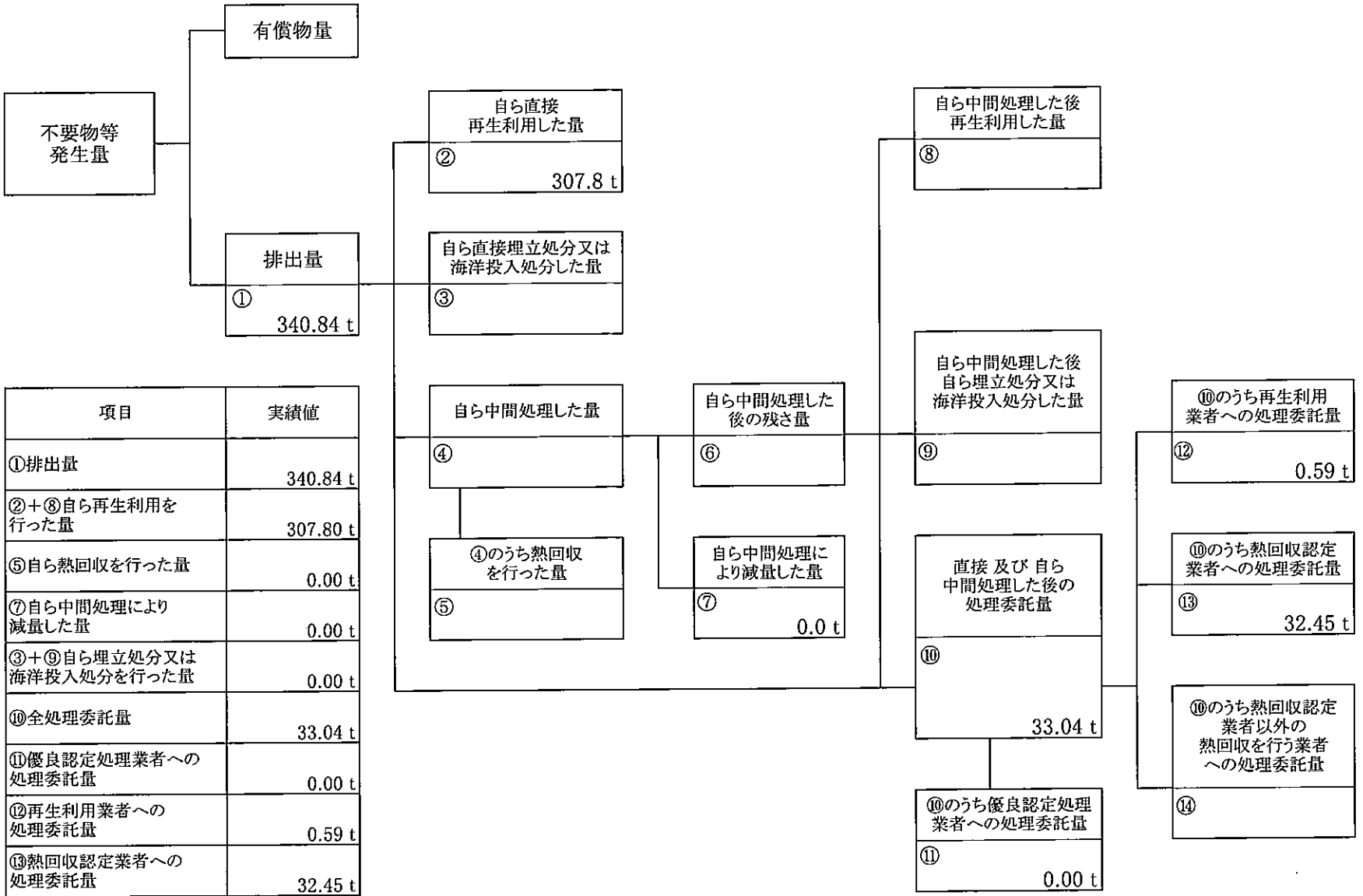
※事務処理欄

千葉県 廃棄物指導課 -6.6.26 地域環境保全課 収受

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**廃油**　　）



項目	実績値
①排出量	340.84 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	307.80 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	33.04 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.59 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	32.45 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2024年 6 月 10 日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒271-0052

住　所　千葉県松戸市新作字高田１１１番地

氏　名　宝酒造株式会社 松戸工場

工場長　藤波　俊輔

電話番号　０４７-３６２-０２６１

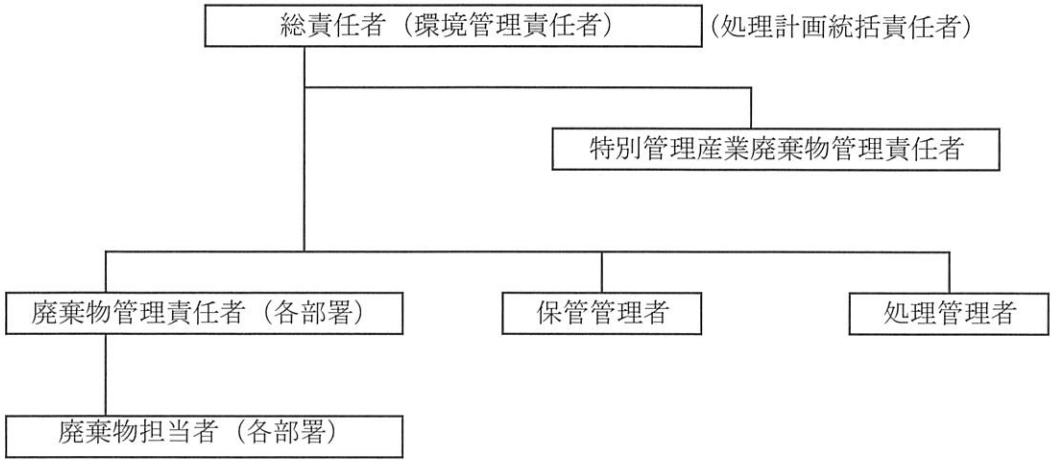
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	宝酒造株式会社 松戸工場
事業場の所在地	松戸市新作字高田１１１番地
計画期間	2024(R6)年4月1日～ 2025(R7)年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業　中分類：飲料・たばこ・飼料製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額：670億円
③従業員数	187人（正社員147人、常勤関係職員40人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別図１、２参照

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 2023(R5) 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥
排出量	92.0 t	24239.7 t

（これまでに実施した取組）

・排水処理脱水汚泥の乾燥肥料化による産業廃棄物量削減
・廃酸の自家再利用の実施による削減
・廃ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸの分別教育による発生削減
・廃プラスチックの有価物化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥
排出量	96 t	23460 t

（今後実施する予定の取組）

・さらなる廃棄物分別教育による削減
・自ら中間処理する量の増加を図り、廃棄物減量化
・木くずの有価物化実施

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・現状に即した分別基準を作成し適正な分別を継続

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・廃棄物分別の継続的教育と複合物の分別減量・有価物化への取組み

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2023(R5) 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・廃酸をボイラにて燃焼させ、再生利用を行っている		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・廃酸の再生利用継続		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2023(R5) 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	23160.8 t
	（これまでに実施した取組） ・排水余剰汚泥の脱水及び乾燥肥料化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	22420 t
	（今後実施する予定の取組） ・排水余剰汚泥の継続的な脱水及び乾燥肥料化		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 2023(R5) 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 2023(R5) 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥
全処理委託量	92.0 t	1078.9 t
優良認定処理業者への処理委託量	92.0 t	66.2 t
再生利用業者への処理委託量	34.8 t	936.2 t
認定熱回収業者への処理委託量	33.2 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	16.1 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

・適正な委託先との契約継続と電子マニフェストによる管理の徹底
・委託先視察の実施

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="5">
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類＿</td><td>廃プラスチック類</td><td></td><td>汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量＿</td><td>96</td><td>t</td><td>910</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>96</td><td>t</td><td>70</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>40</td><td>t</td><td>910</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>40</td><td>t</td><td>0</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>16</td><td>t</td><td>0</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
・廃棄物分別によるさらなる減量と再利用及び有償化の検討
・委託先視察の継続的実施
</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（2023(R5)年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	木くず	廃油	廃酸	水銀使用製品		
		排　出　量	20.0 t	0.0 t	0.0 t	0.5 t	122.8 t	0.3 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	木くず	廃油	廃酸	水銀使用製品		
		排　出　量	20	0	0 t	1 t	120 t	1 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（2023(R5)年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	木くず	廃油	廃酸	水銀使用製品		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	122.8 t	0.0 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	木くず	廃油	廃酸	水銀使用製品		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	120 t	0 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（2023(R5)年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	木くず	廃油	廃酸	水銀使用製品		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	木くず	廃油	廃酸	水銀使用製品		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

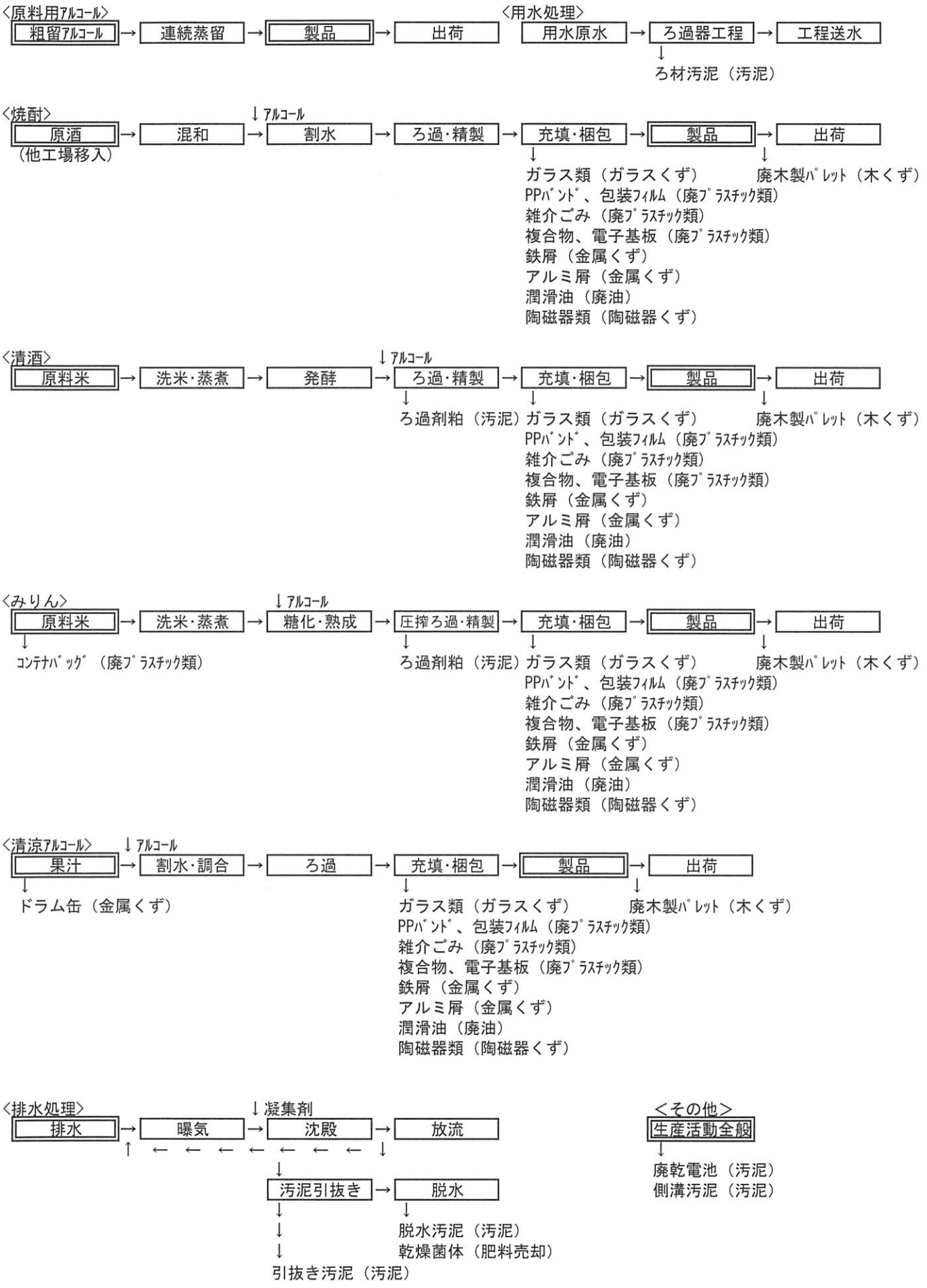
①現状	【前年度（2023(R5)年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	木くず	廃油	廃酸	水銀使用製品		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	木くず	廃油	廃酸	水銀使用製品		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023(R5)年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	木くず	廃油	廃酸	水銀使用製品		
	全処理委託量	20.0 t	0.0 t	0.0 t	0.5 t	0.0 t	0.3 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.5 t	0.0 t	0.3 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	19.8 t	0.0 t	0.0 t	0.5 t	0.0 t	0.0 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	木くず	廃油	廃酸	水銀使用製品		
	全処理委託量	20 t	0 t	0 t	1 t	0 t	1 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	1 t	0 t	1 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	20 t	0 t	0 t	1 t	0 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

別図１

◆産業廃棄物の一連の処理の工程（１）



別図２

◆産業廃棄物の一連の処理の工程（２）

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

正

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年 6 月 10 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒271-0052
住 所　千葉県松戸市新作字高田111番地
氏 名　宝酒造株式会社 松戸工場
工場長 藤波 俊輔
電話番号　047-362-0261

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023(令和5) 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	宝酒造株式会社 松戸工場
事業場の所在地	千葉県松戸市新作字高田111番地
事業の種類	大分類:製造業　中分類:飲料・たばこ・飼料製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023(令和5)年4月1日～ 2024(令和6)年3月31日

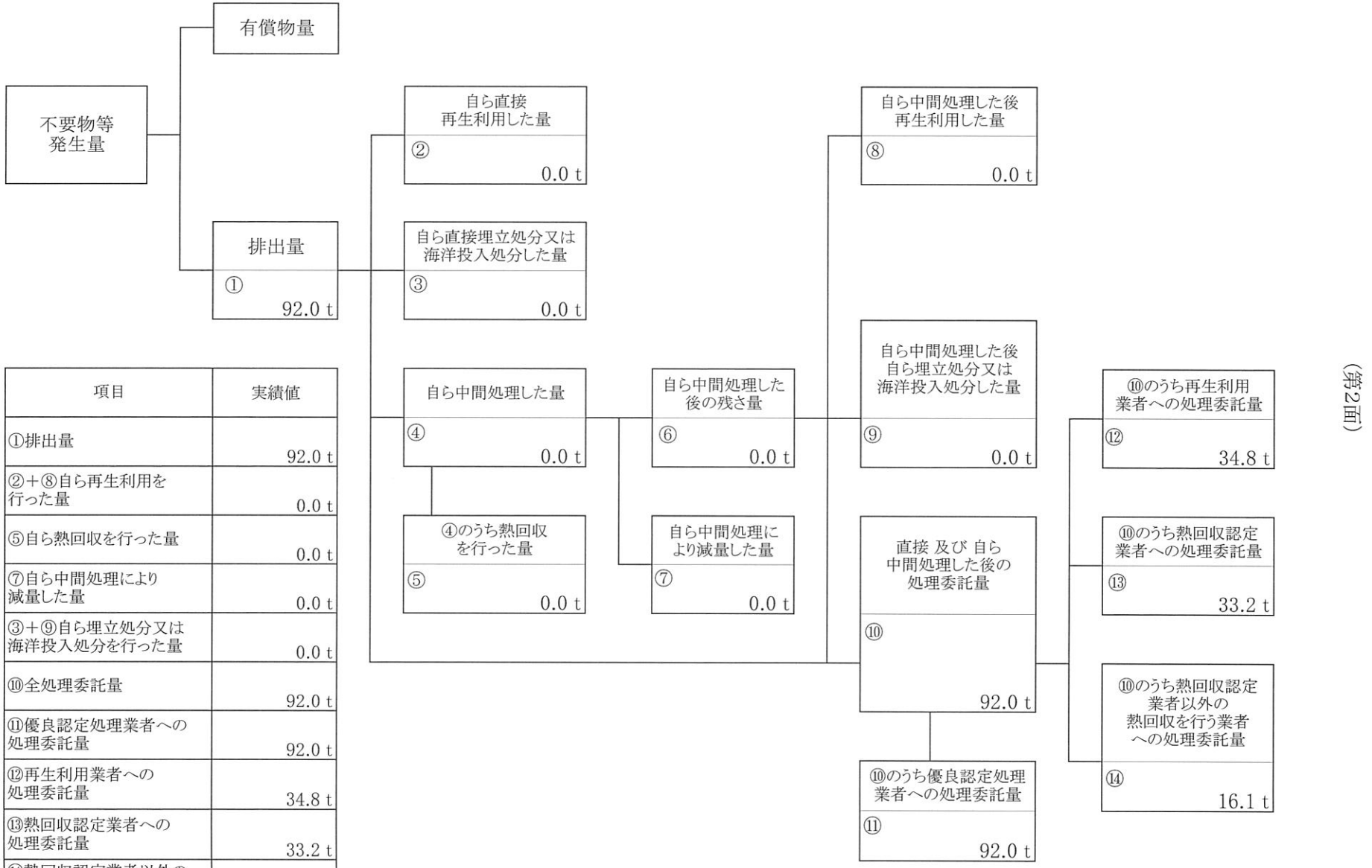
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	16497.0 t	全処理委託量	538.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	359.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	168.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	322.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	15600.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	40.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	14.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック類　）

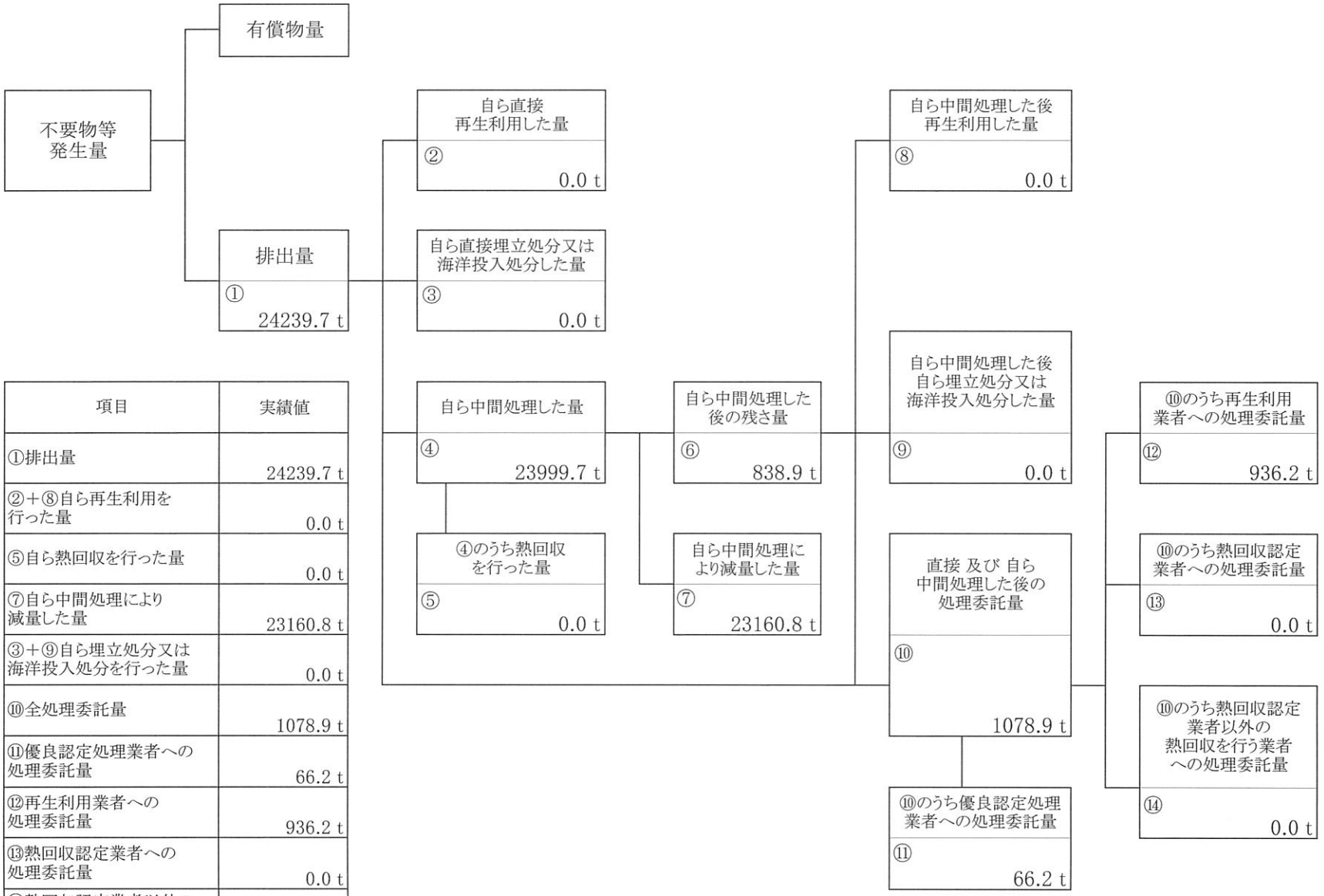


項目	実績値
①排出量	92.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	92.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	92.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	34.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	33.2 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	16.1 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

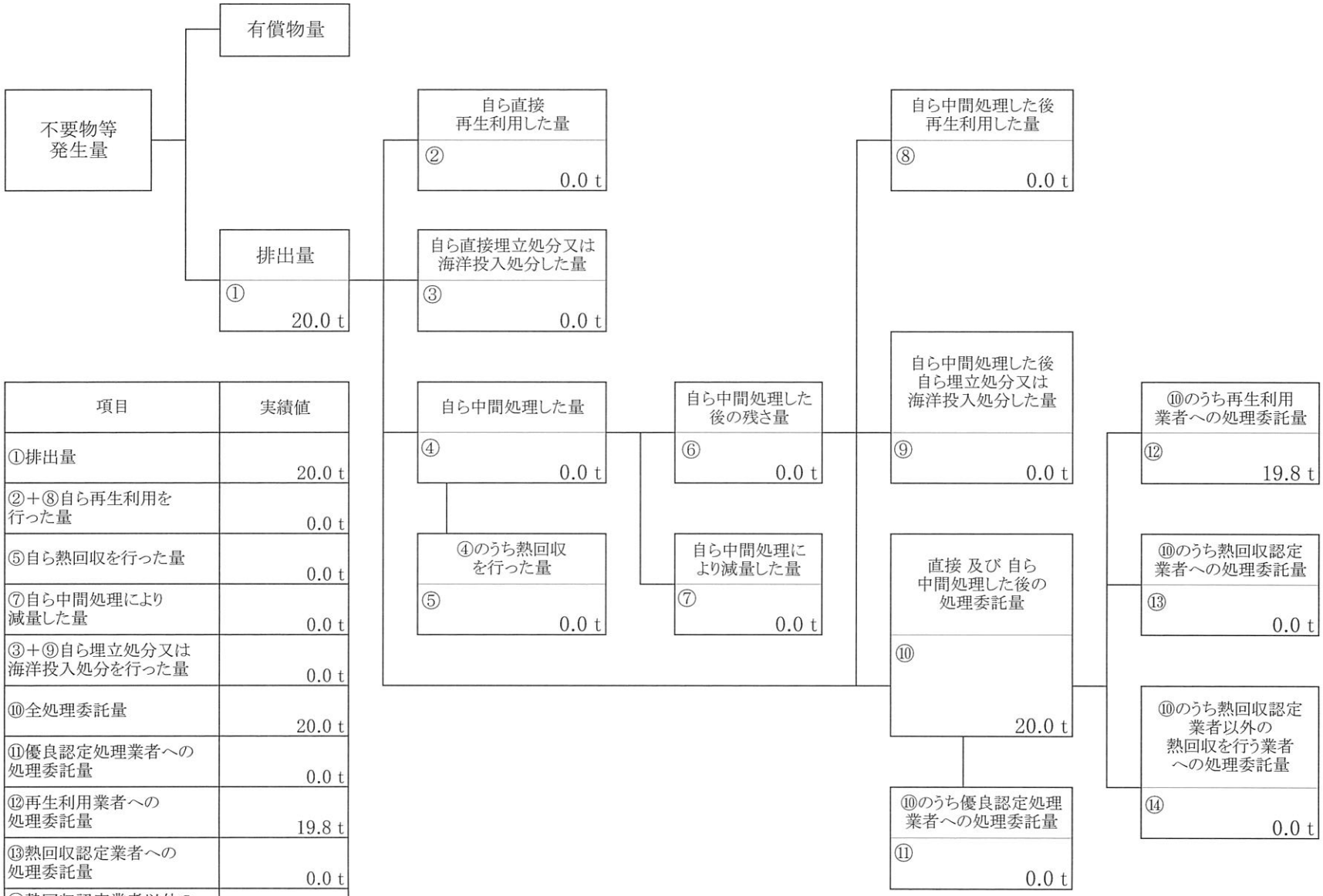


項目	実績値
①排出量	24239.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	23160.8 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1078.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	66.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	936.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・コンクリート・陶磁器くず　）

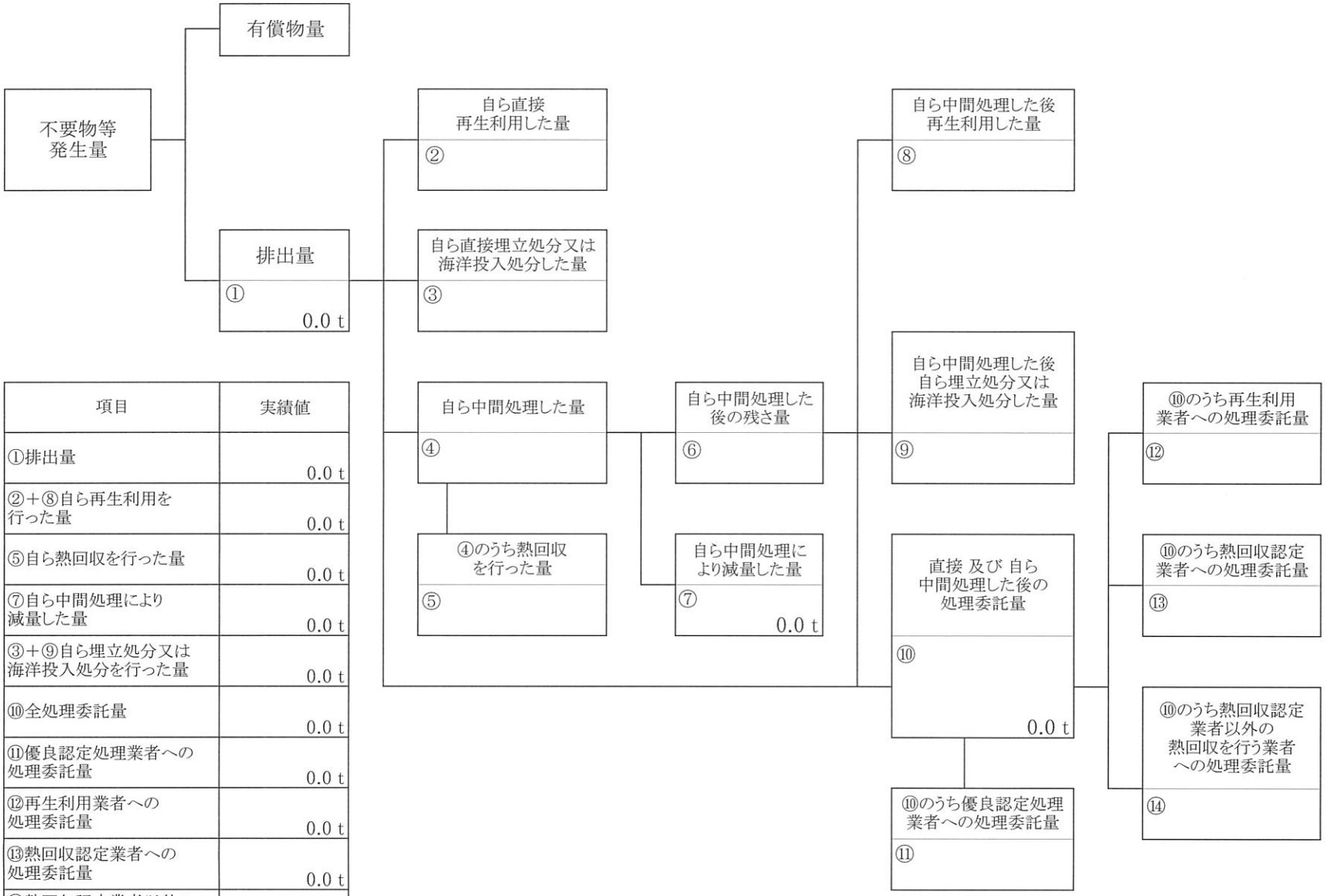


項目	実績値
①排出量	20.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	20.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	19.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属くず　）

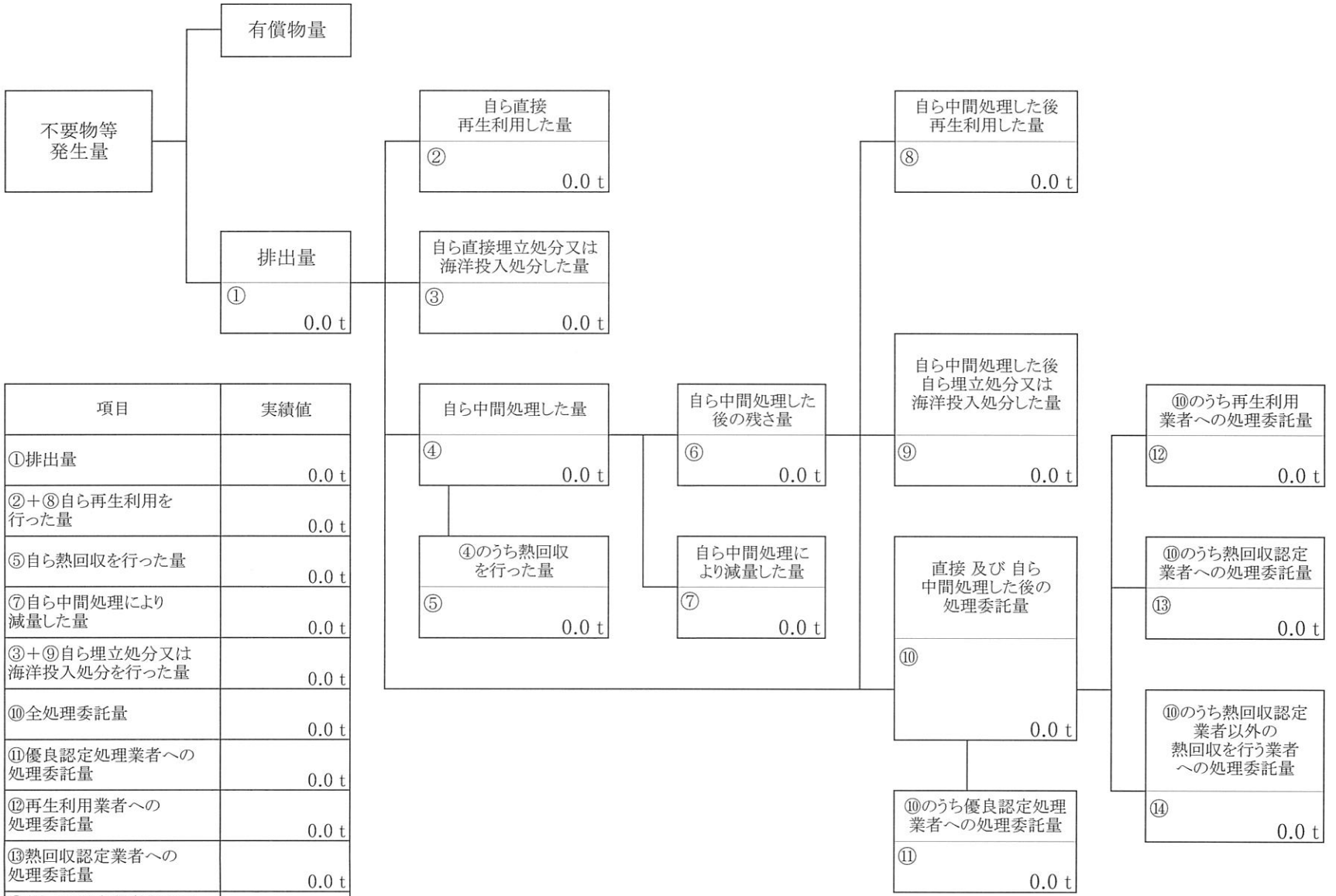


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

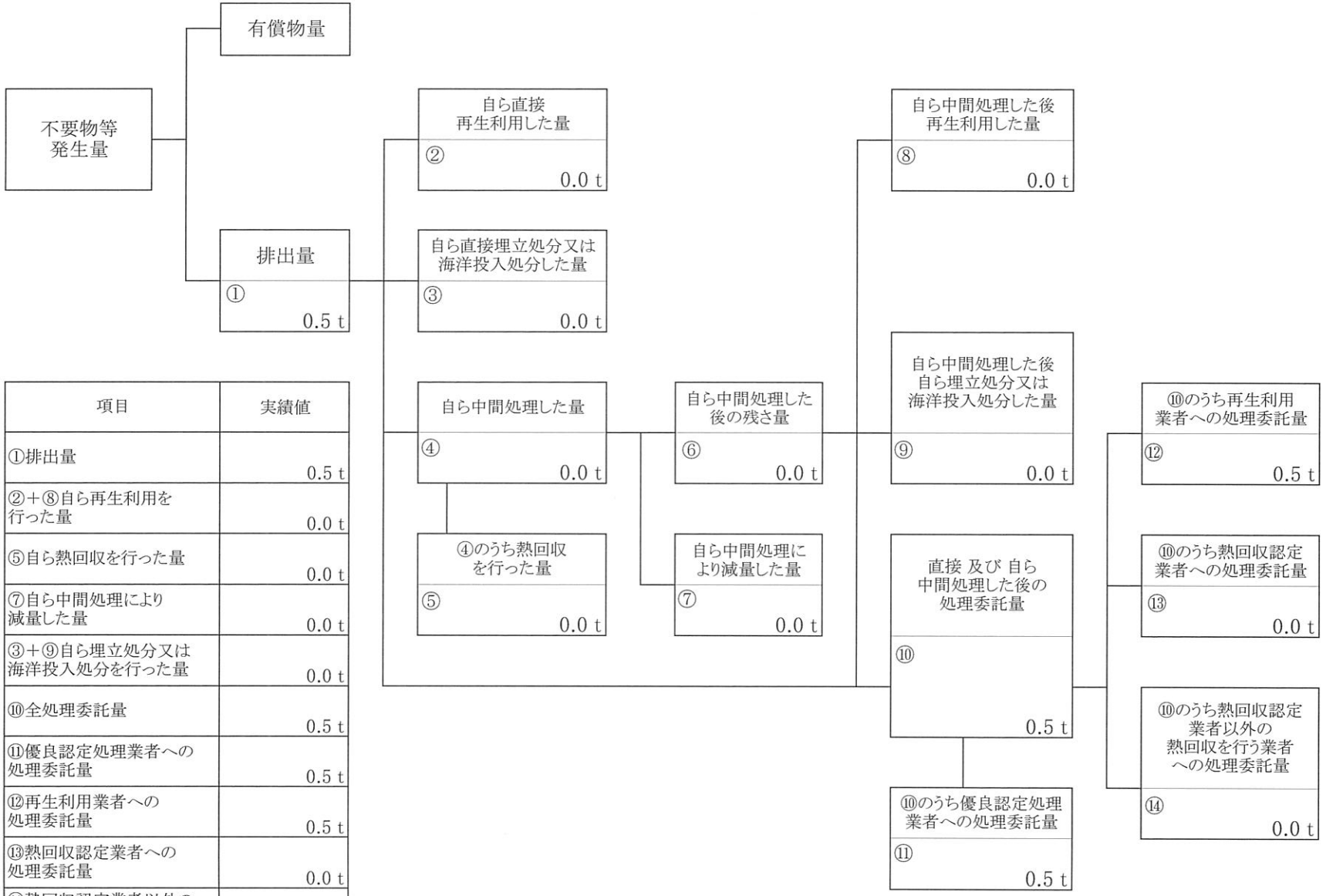


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃油　）

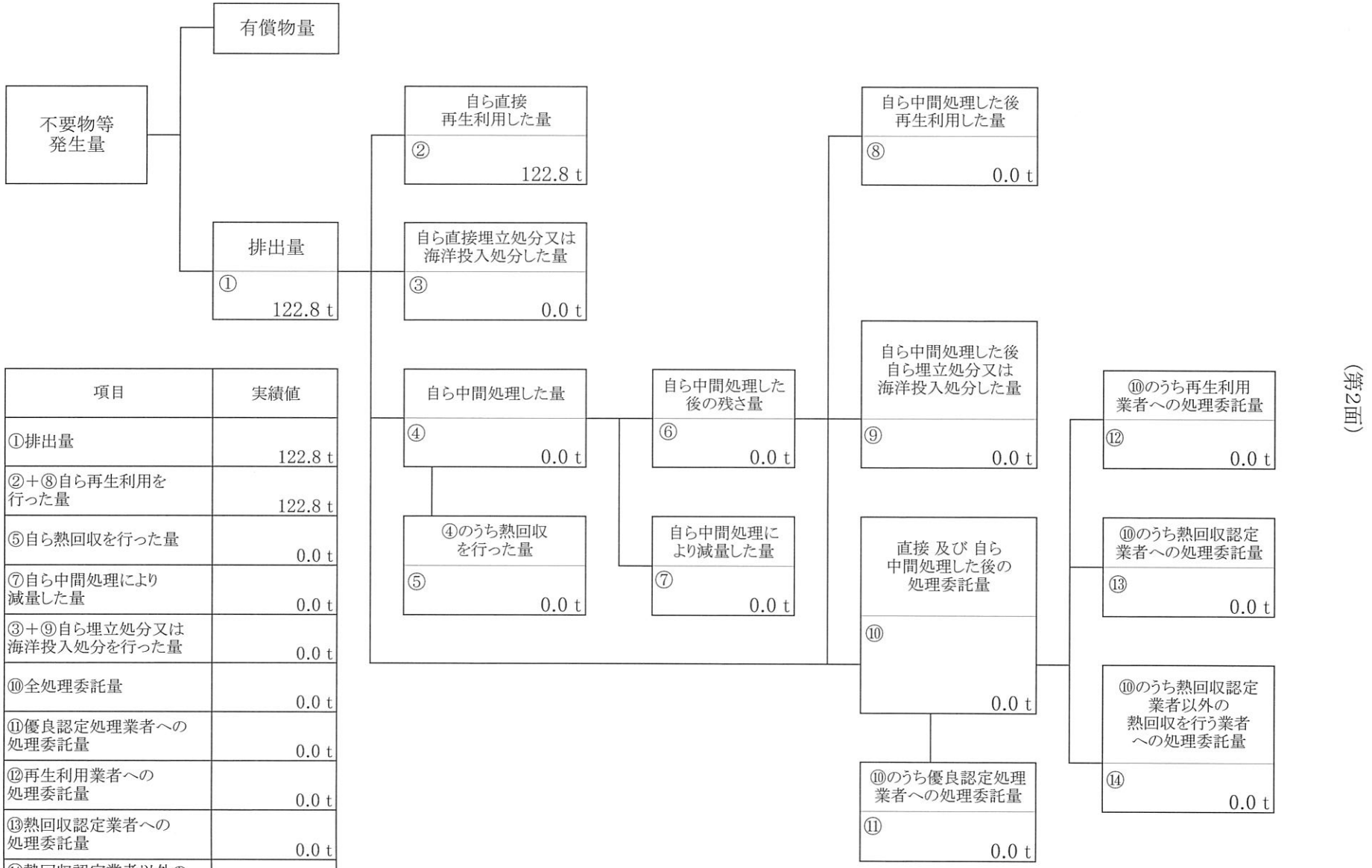


項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃酸　　）

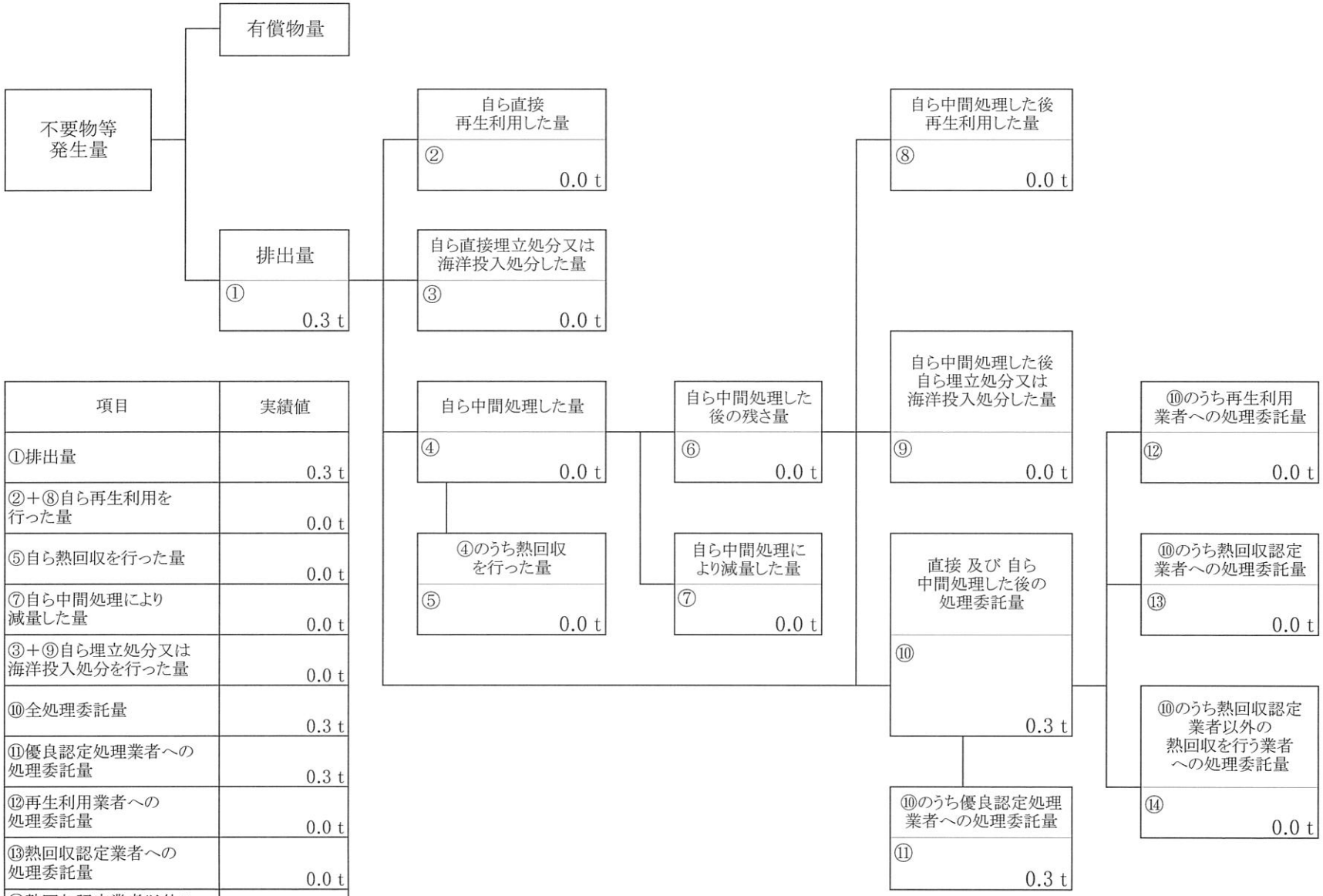


項目	実績値
①排出量	122.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	122.8 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　水銀使用製品　）



項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月17日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　276-0022

住　所　千葉県八千代市上高野1807-4

法人名　タカラスタンダード株式会社　関東工場　工場長

代表者　肥塚 弘一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　047-482-7171

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	タカラスタンダード株式会社　関東第一工場
事業場の所在地	千葉県八千代市上高野1807-4
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　化学工業
②事業の規模	前年度製品出荷額：28.2億円
③従業員数	98人(正社員67人、常勤関係職員31人)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙(処理工程)

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙(管理体制)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	排出量	127.8 t	t
	（これまでに実施した取組） 使用の殆どは、タンクから被洗浄容器、洗浄後の廃液タンクと密閉した状態で使用。出来る限り蒸発を少なくするよう対策済みである。廃油は産廃処理業者により、蒸留再生された物を、購入している		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	排出量	125 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・洗浄１回に対する使用量の削減実施。更に検討中。 ・根本的にｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝの代替品を検討中		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃油（ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ）分別済み
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	全処理委託量	127.8 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	127.8 t	t
	再生利用業者への処理委託量	127.8 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・リサイクル業者に再生処理を委託している。 ・特別管理産業廃棄物ではない代替品を検討している。		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油(ジクロロメタン)</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>125 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>125 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>125 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・リサイクル業者に再生処理を委託している。
・特別管理産業廃棄物ではない代替品の検討。
・一回の洗浄に使用する量を少なくする。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。） 127.8 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
2020年4月より実施開始済み</td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

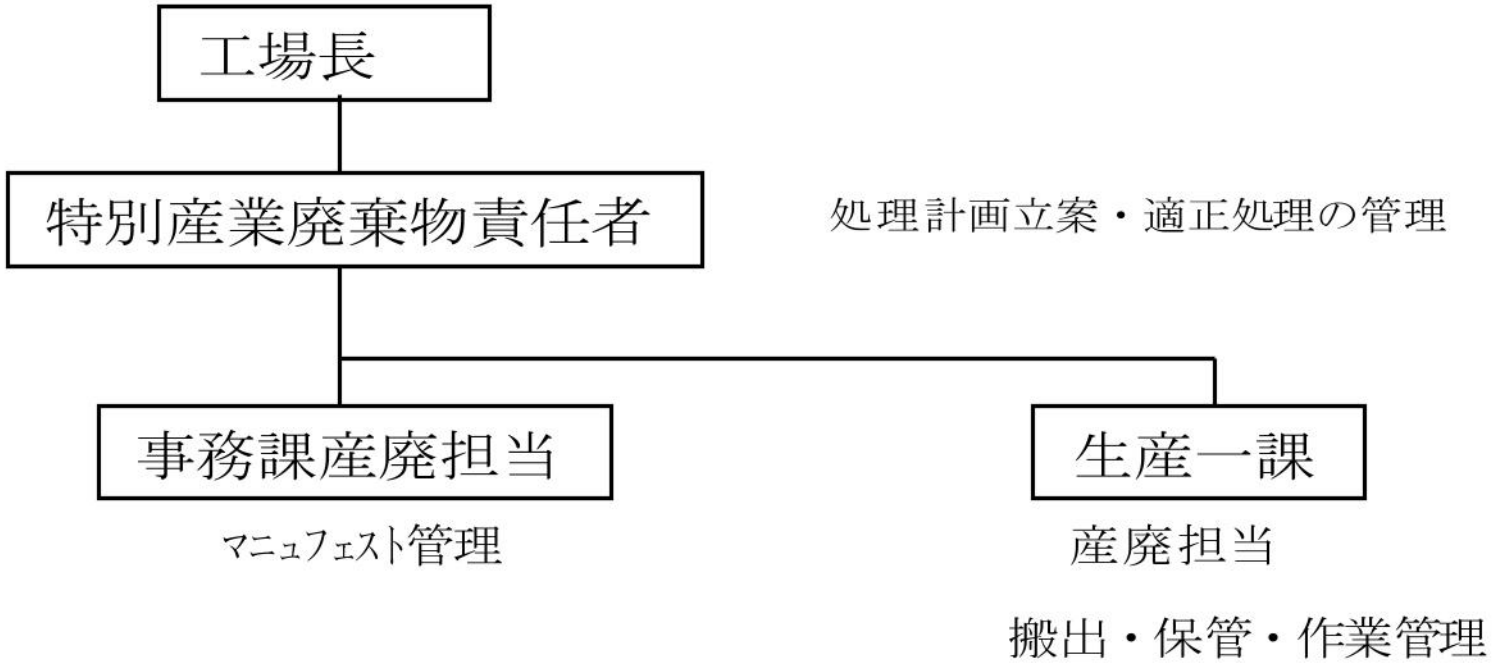
６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

浴槽・カウンター製造工程

材料容器洗浄
↓
使用済ジクロロメタン回収
↓
再生処理業者へ再生依頼
↓
再生　→　再生品を購入


工場長
特別産業廃棄物責任者
処理計画立案・適正処理の管理
事務課産廃担当
マニュフェスト管理
生産一課
産廃担当
搬出・保管・作業管理

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月17日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　276-0022

住所 千葉県八千代市上高野1807-4

法人名 タカラスタンダード株式会社 関東工場 工場長

代表者 肥塚 弘一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 047-482-7171

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	タカラスタンダード株式会社 関東第一工場
事業場の所在地	千葉県八千代市上高野1807-4
事業の種類	大分類　製造業　中分類 化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	130 t	全処理委託量	130 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	130 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	130 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	全前年度（令和4年度）	136.3 t
	前年度（令和5年度）	127.8 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）
2020年4月より実施開始済み

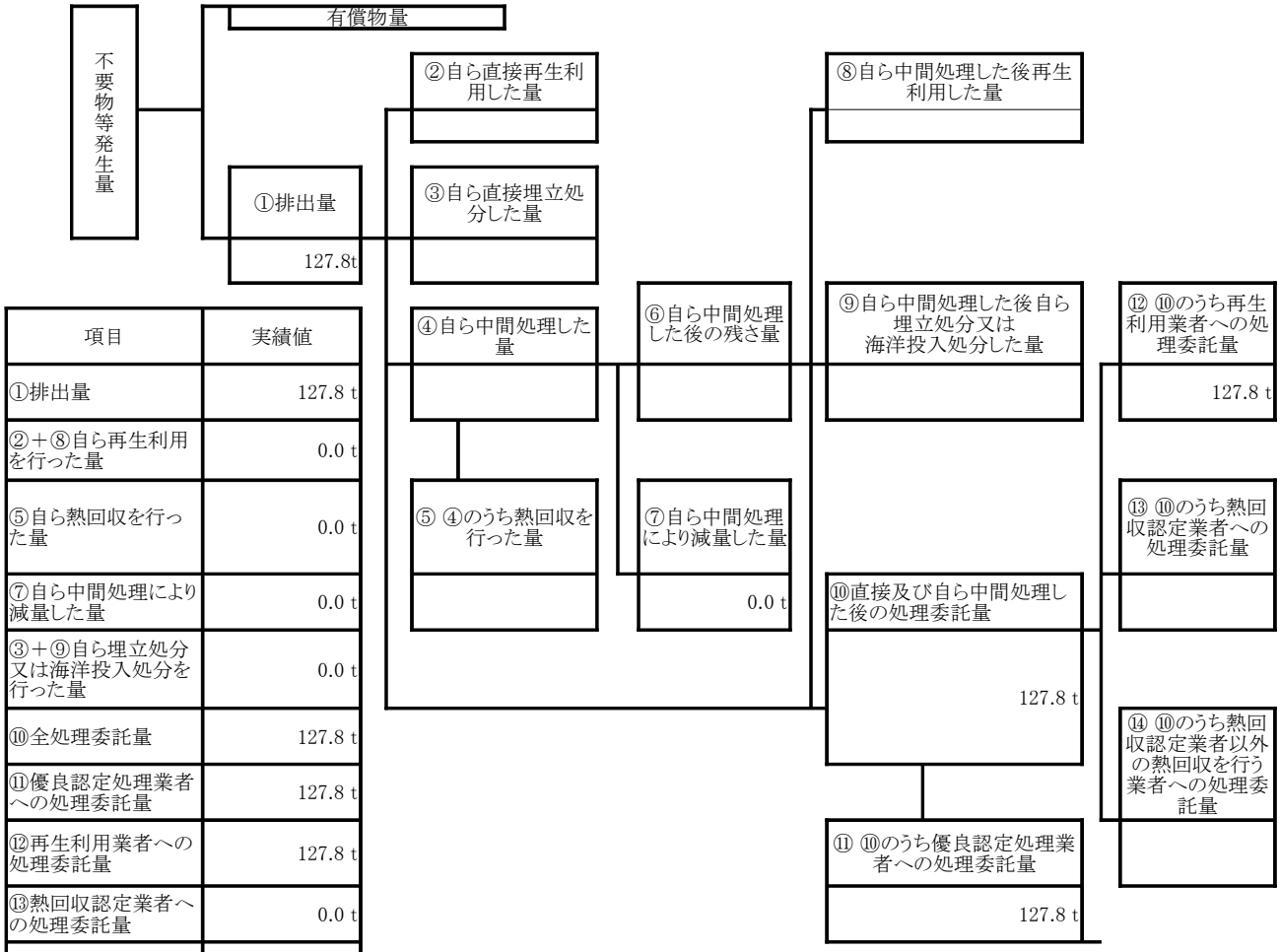
（日本産業規格　A列4番）

N0.1

（第2面）

計画の実施状況

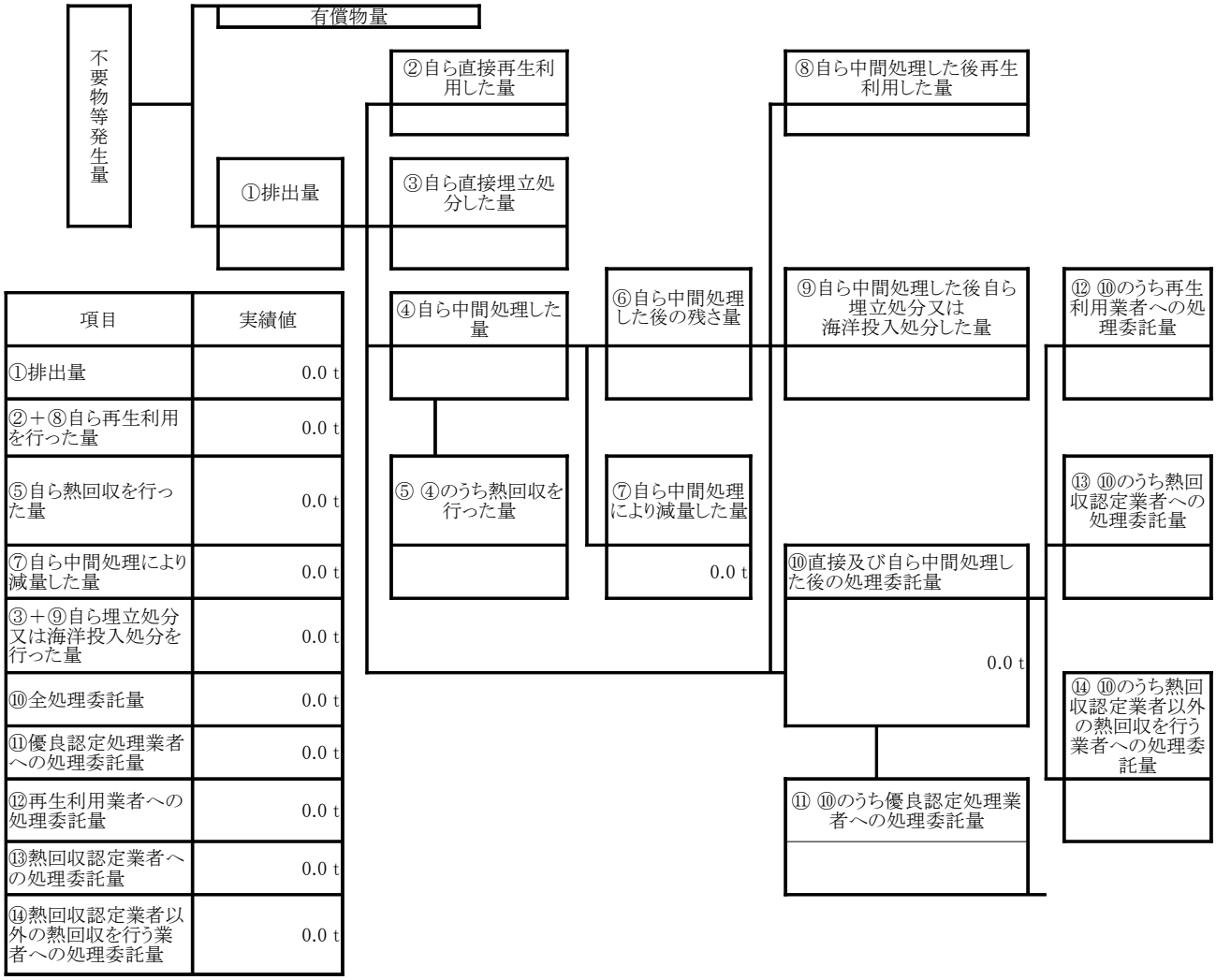
（特別管理産業廃棄物の種類:　ジクロロメタン　）



項目	実績値
①排出量	127.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	127.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	127.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	127.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

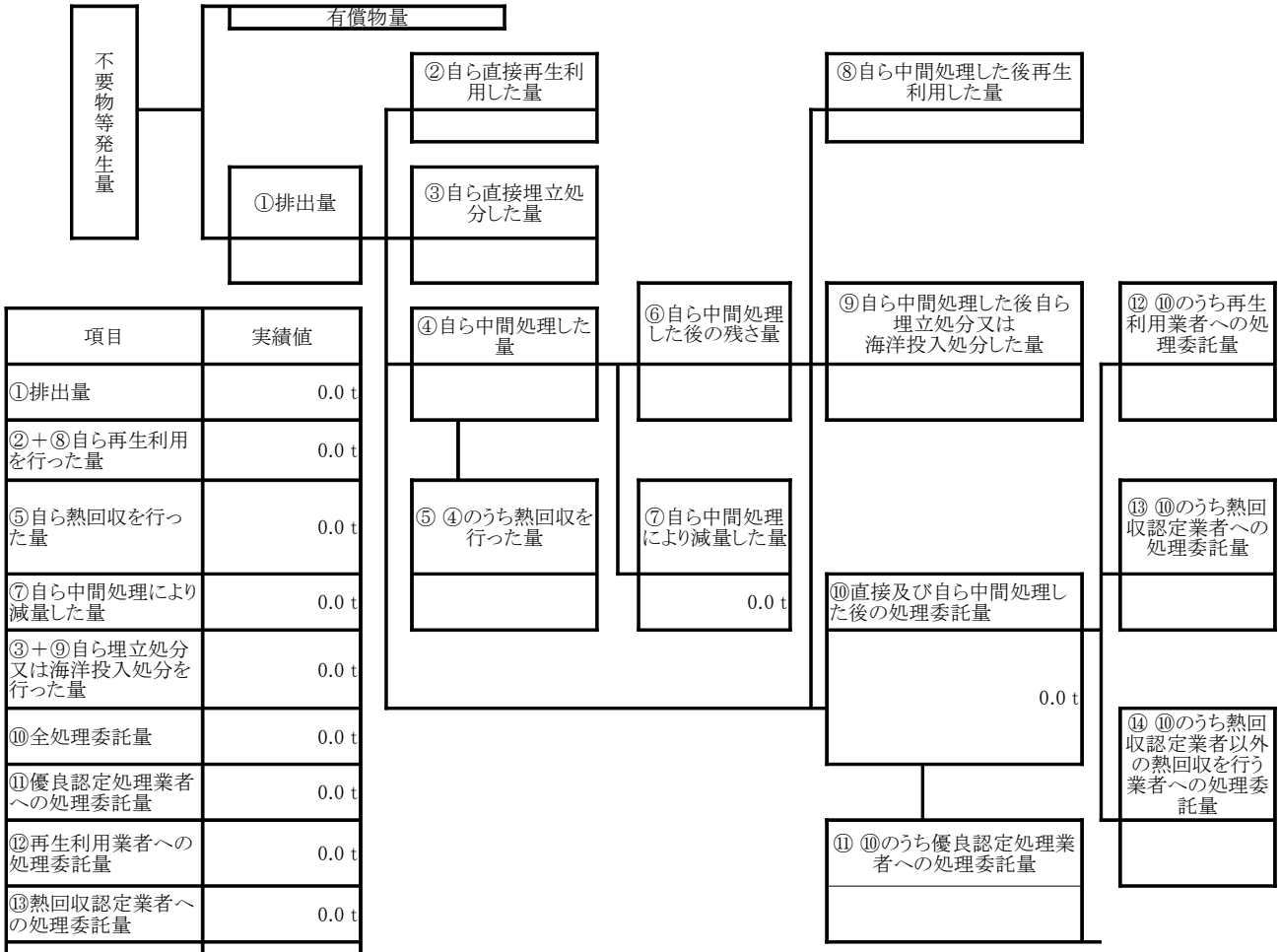


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



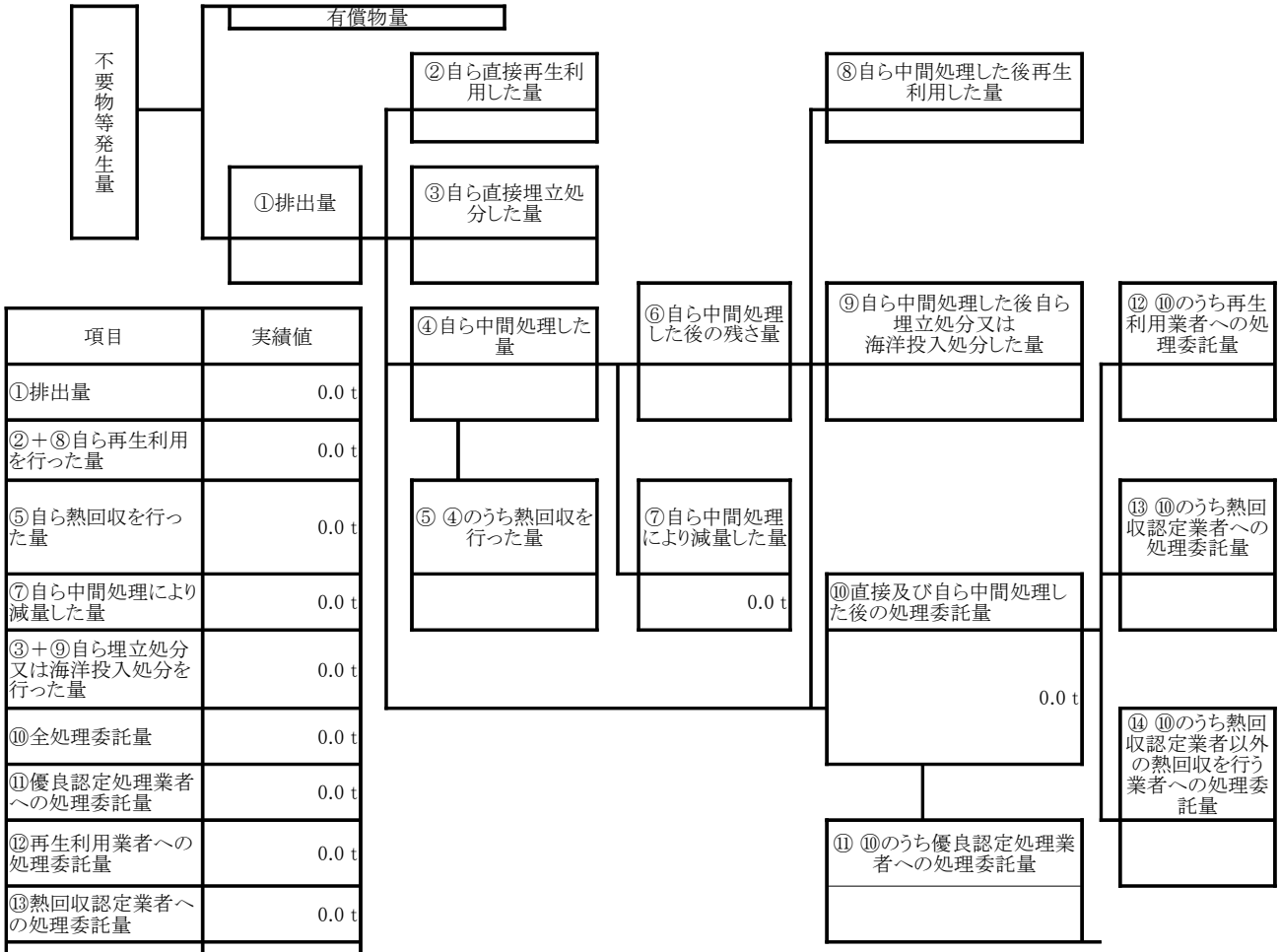
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

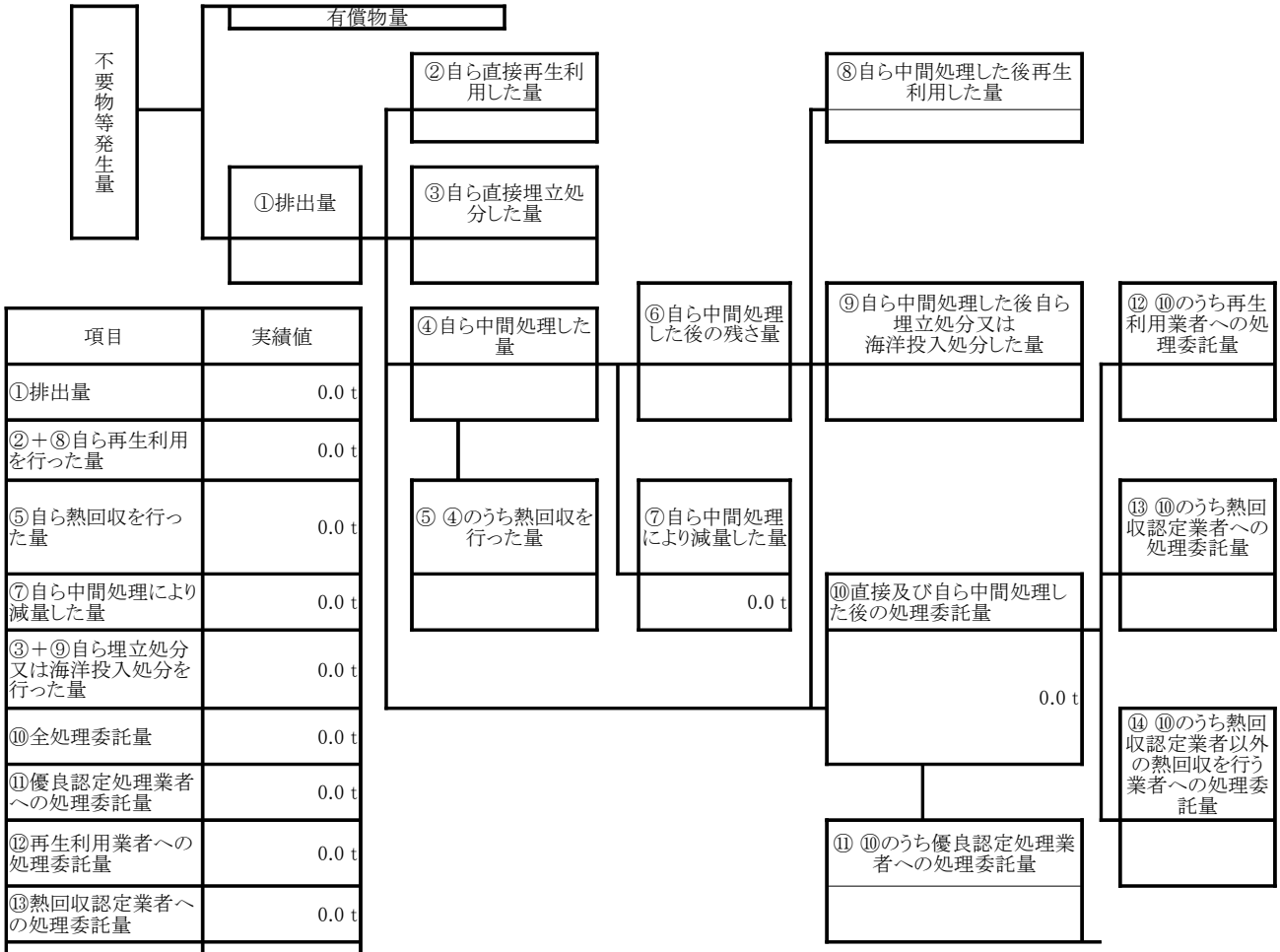


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

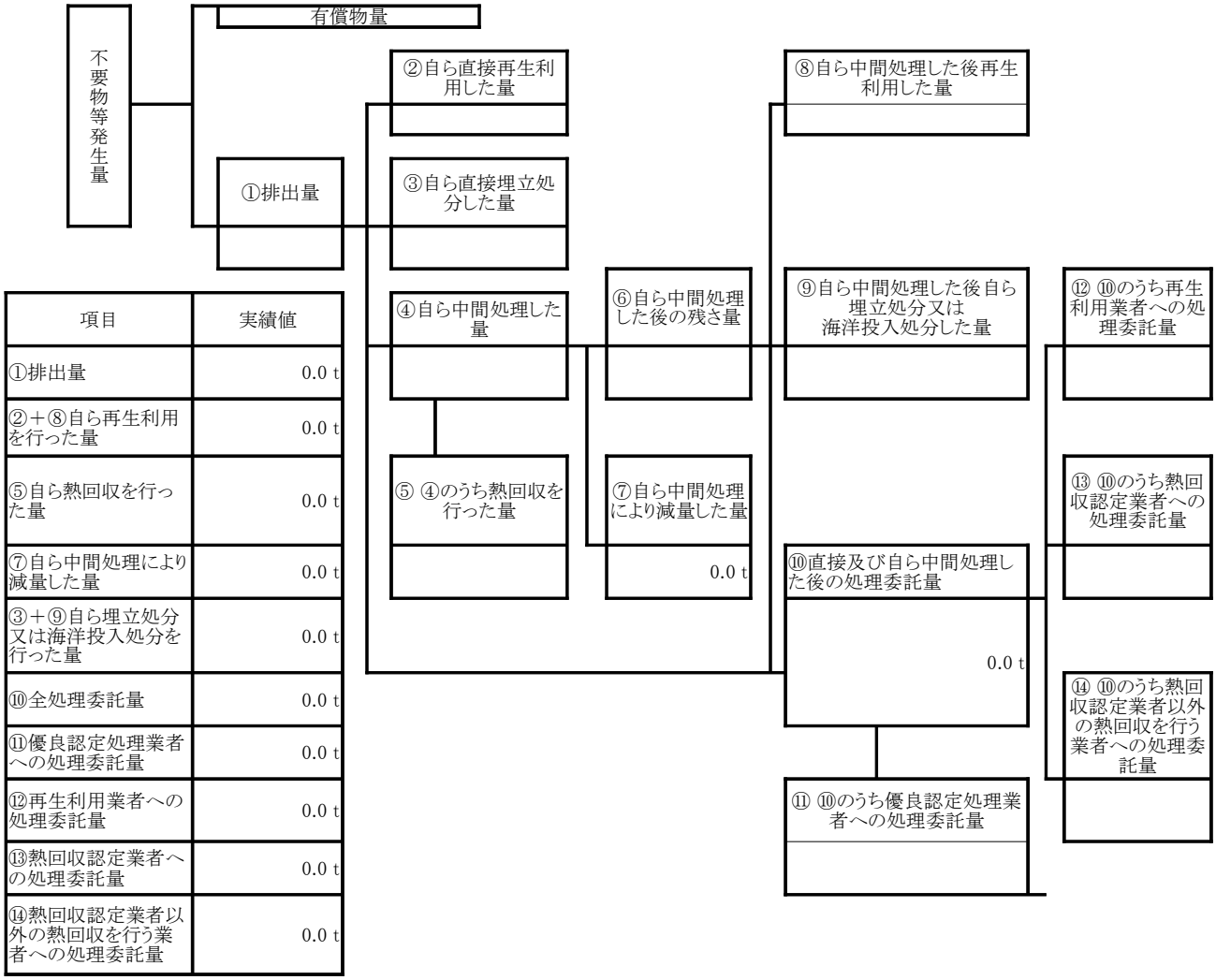


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

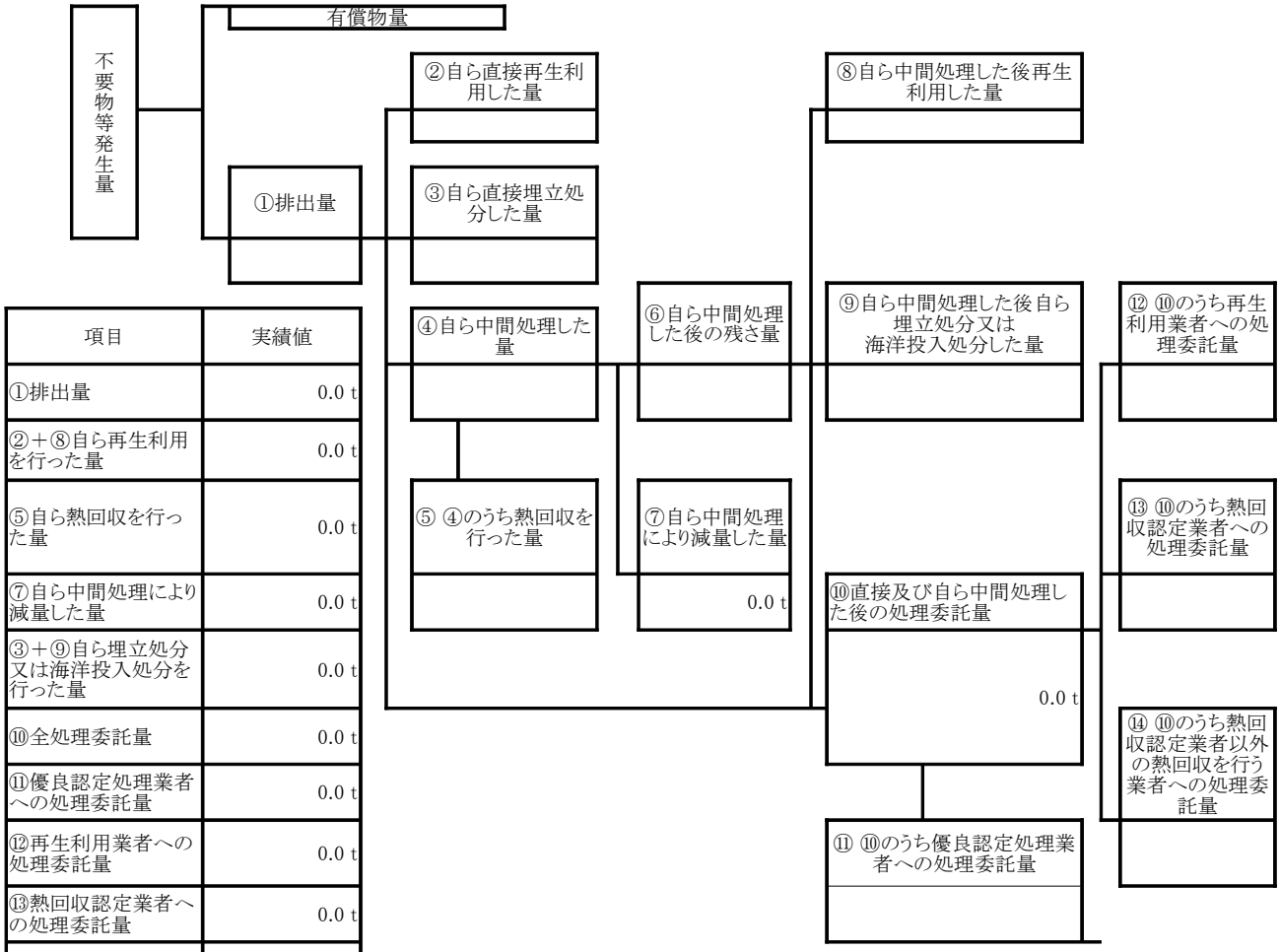


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

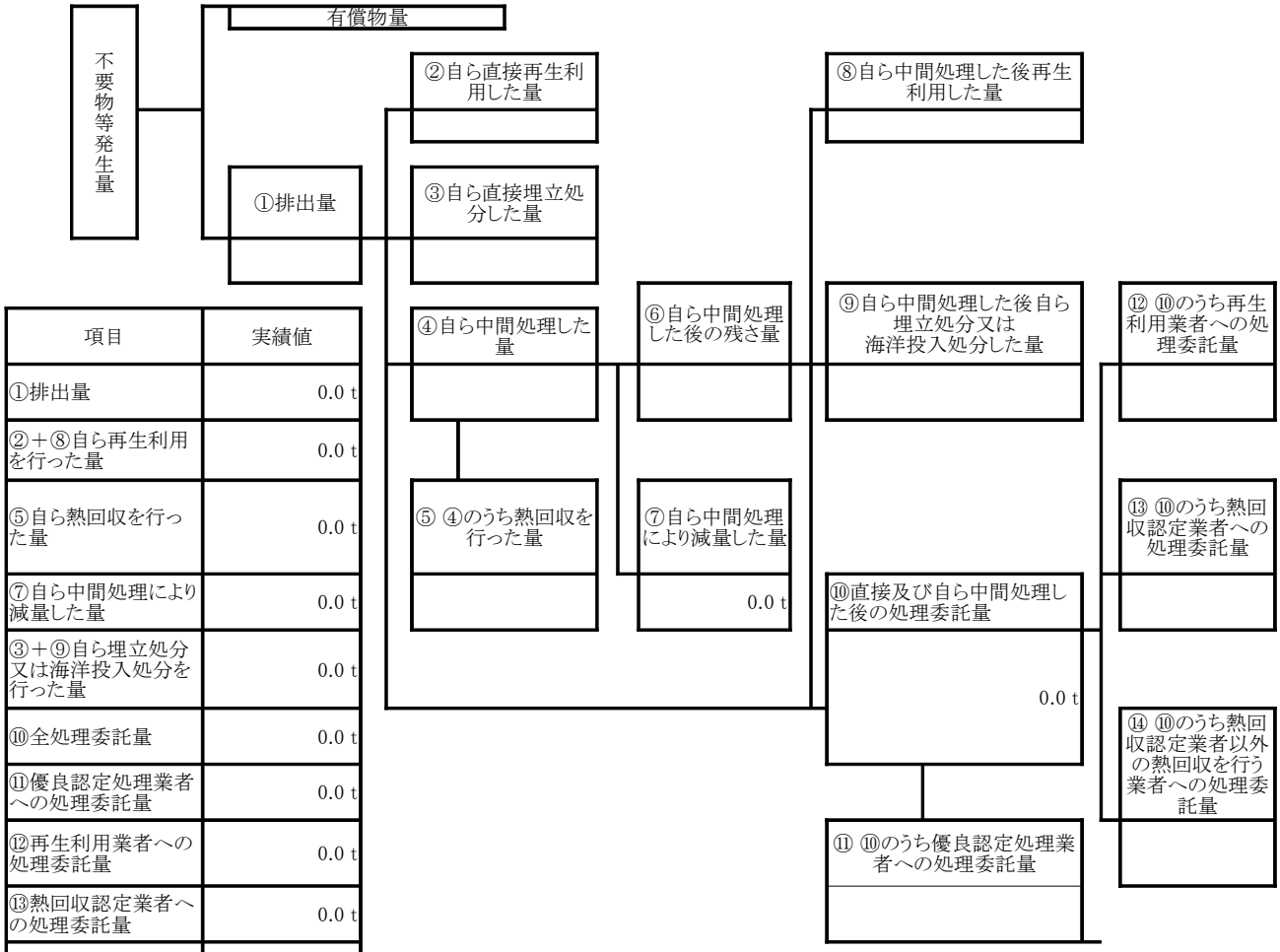


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

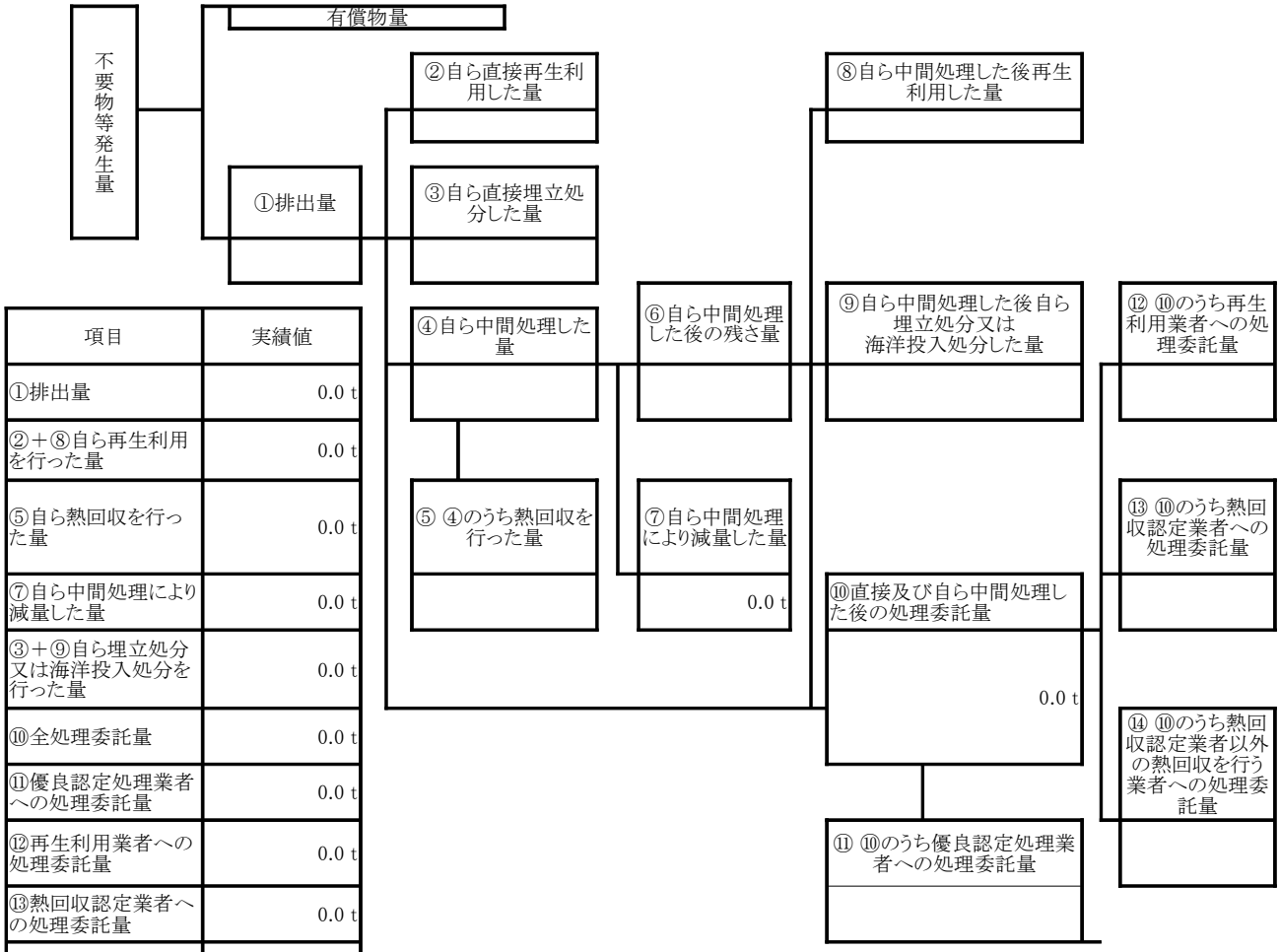


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

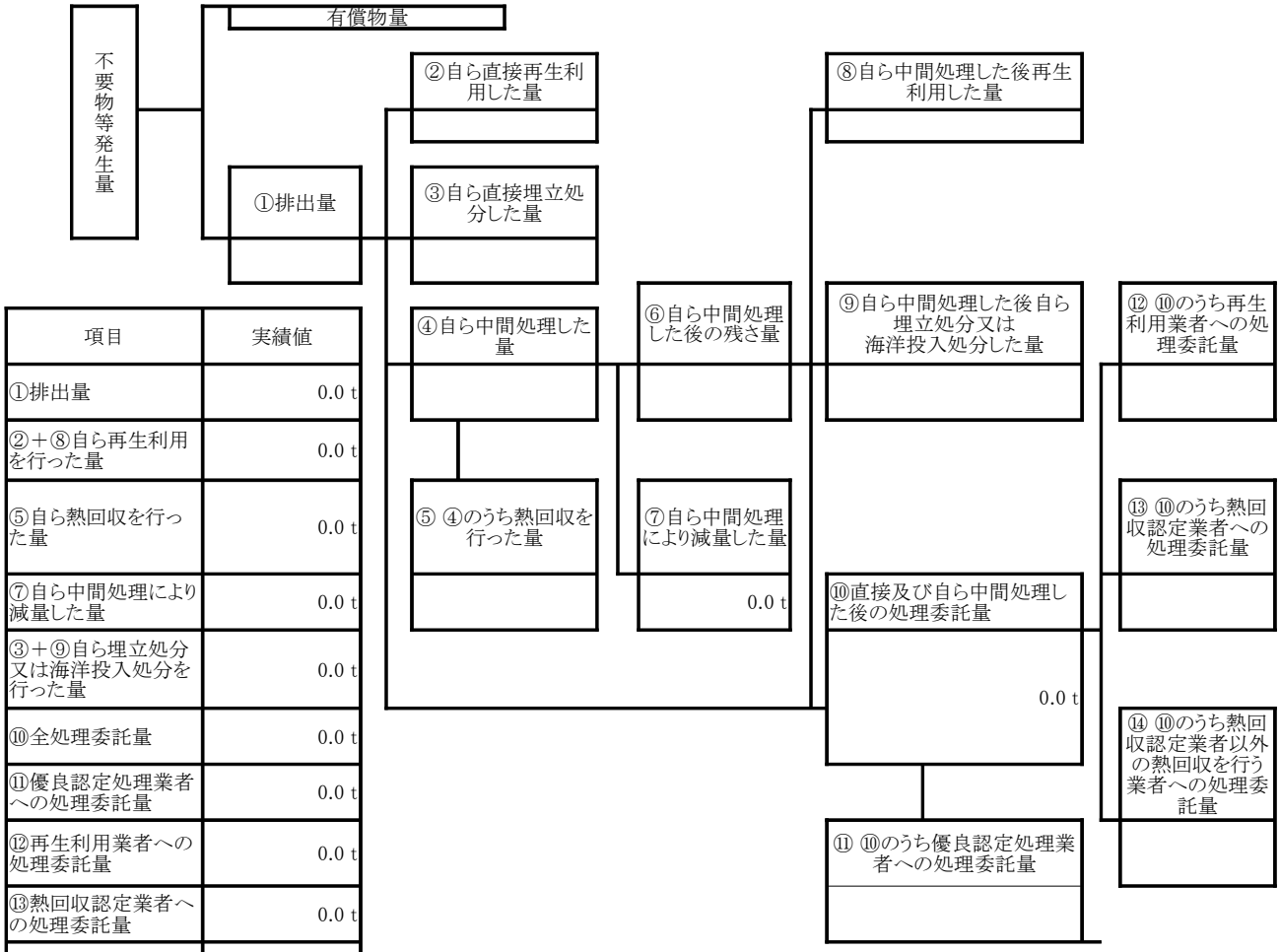


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



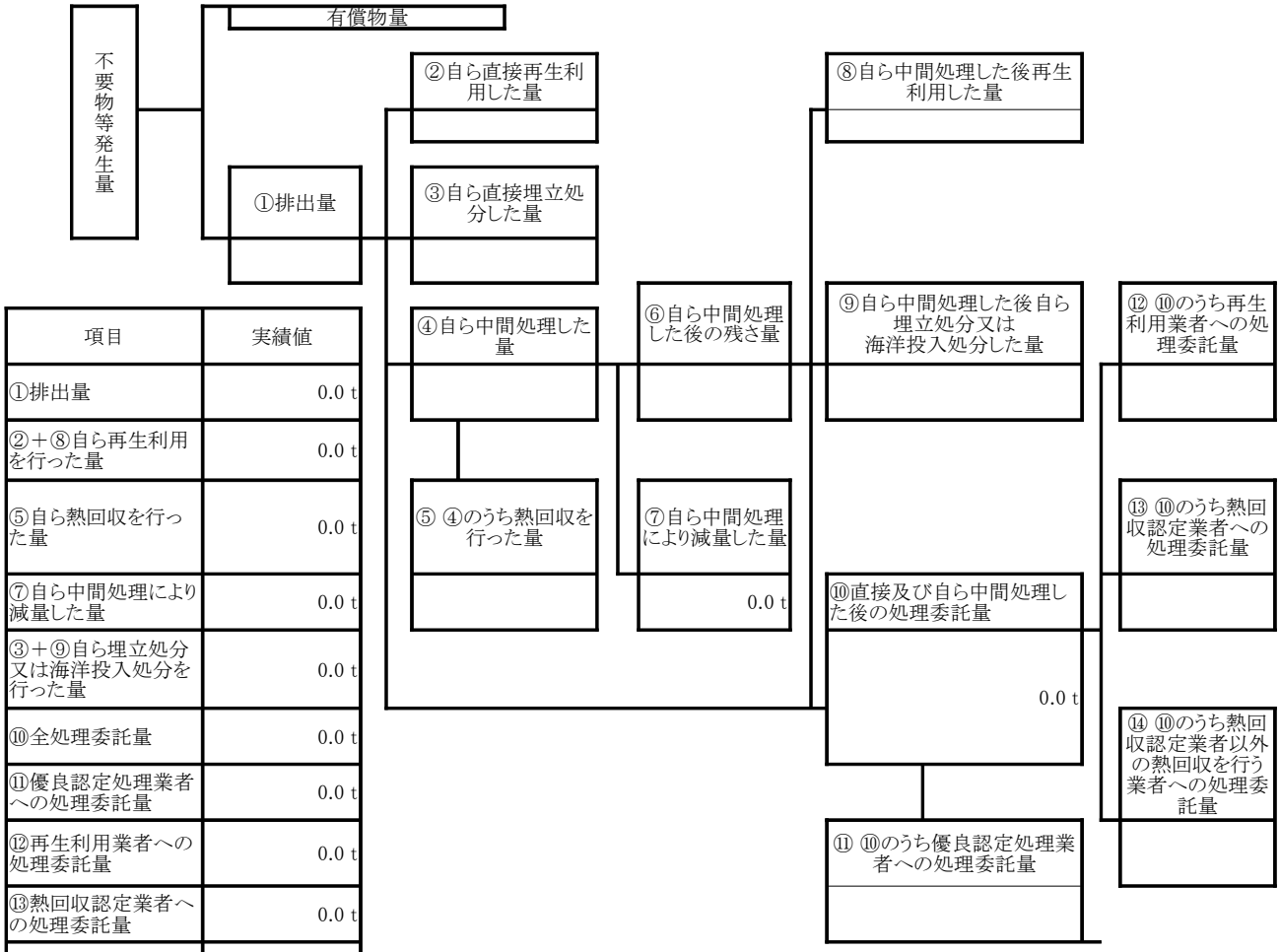
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

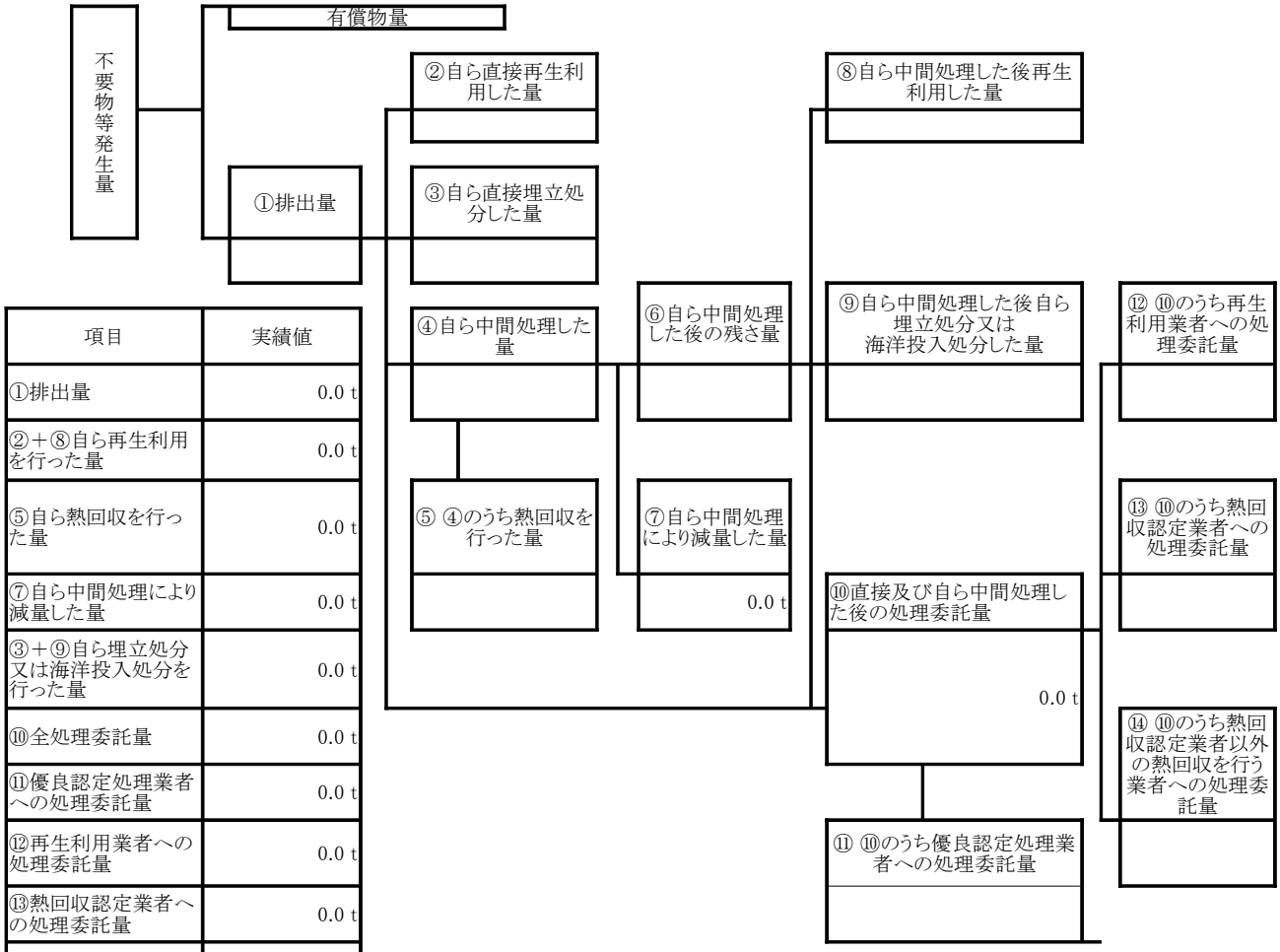


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

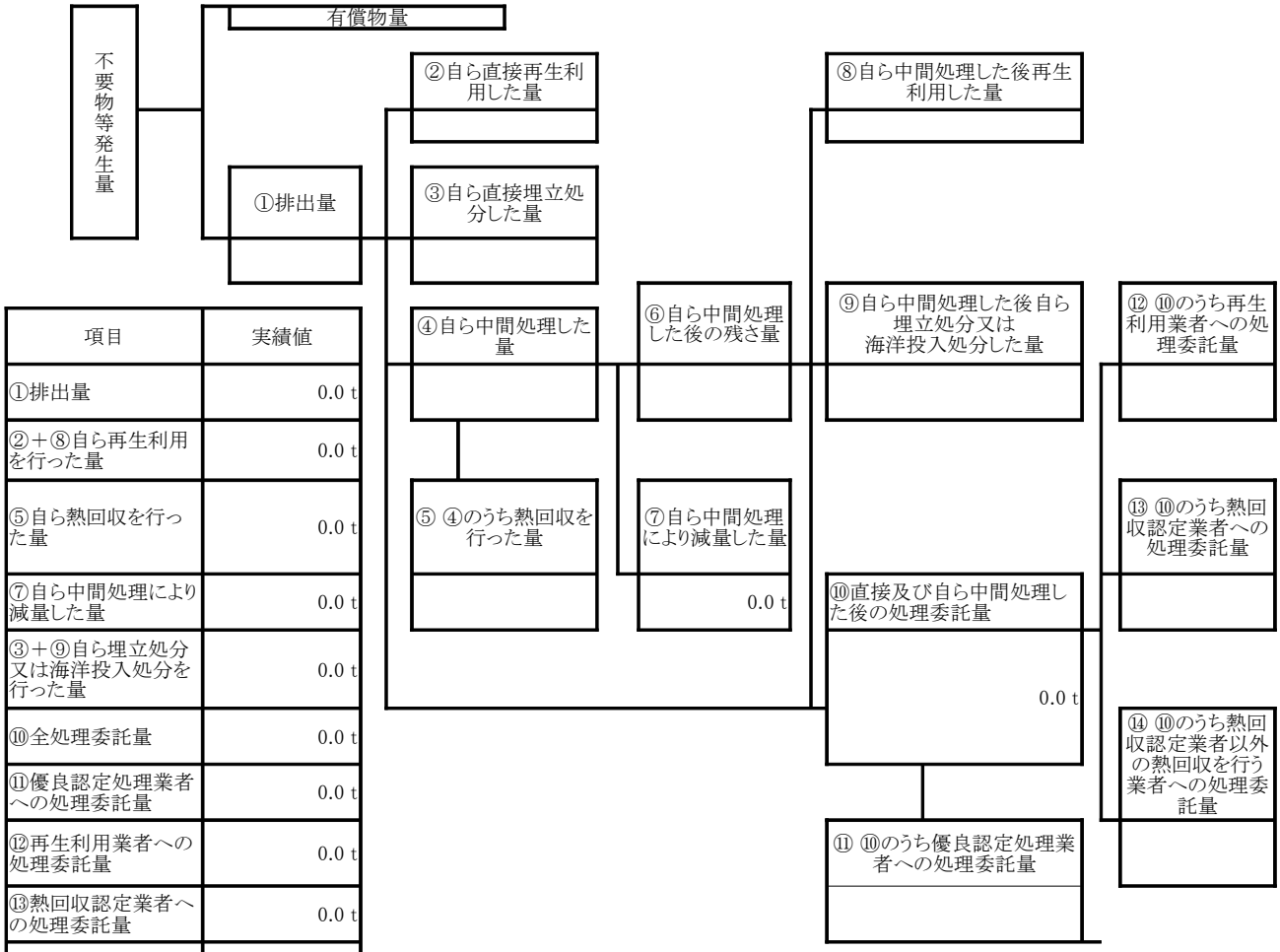


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

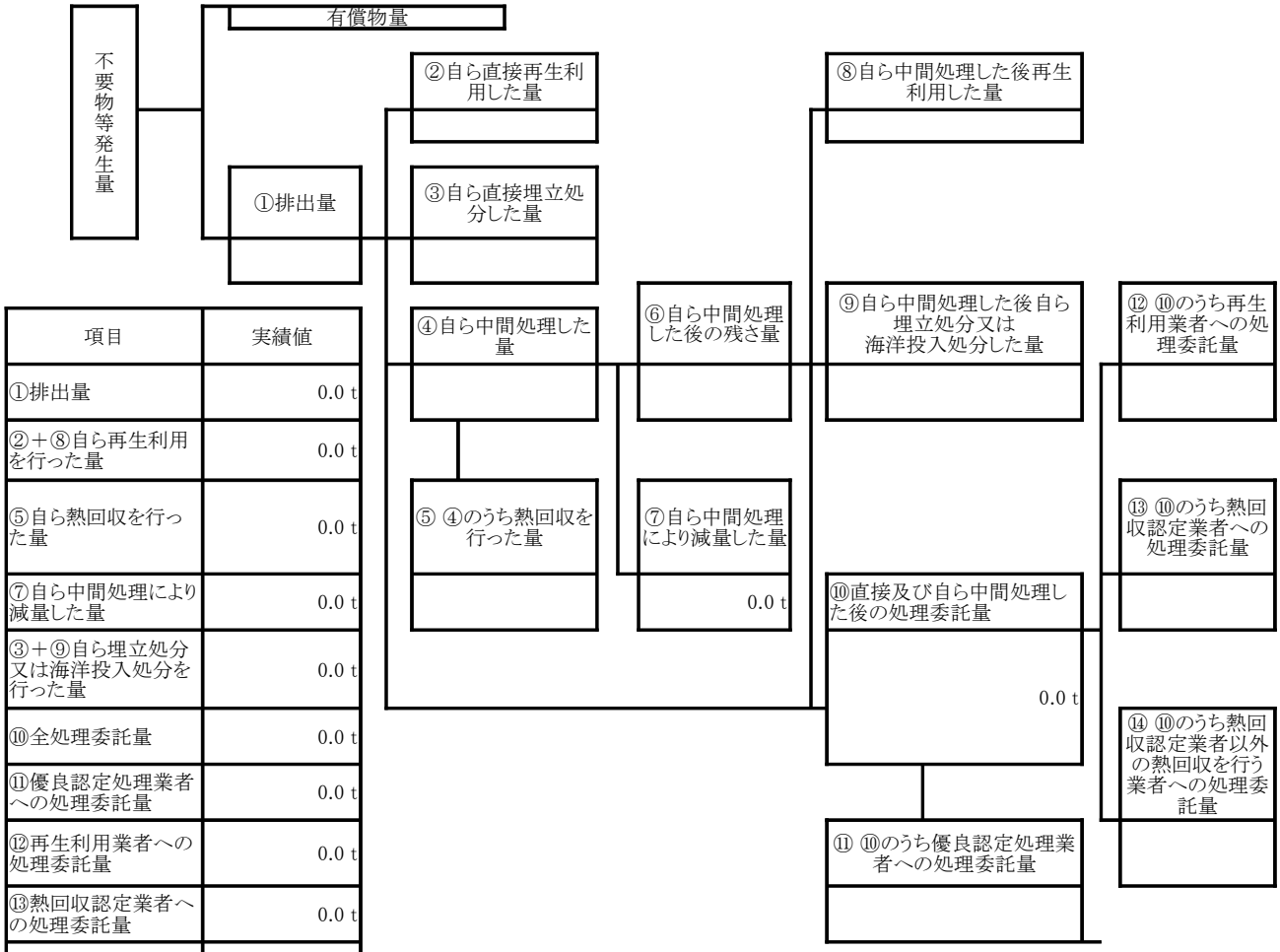


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



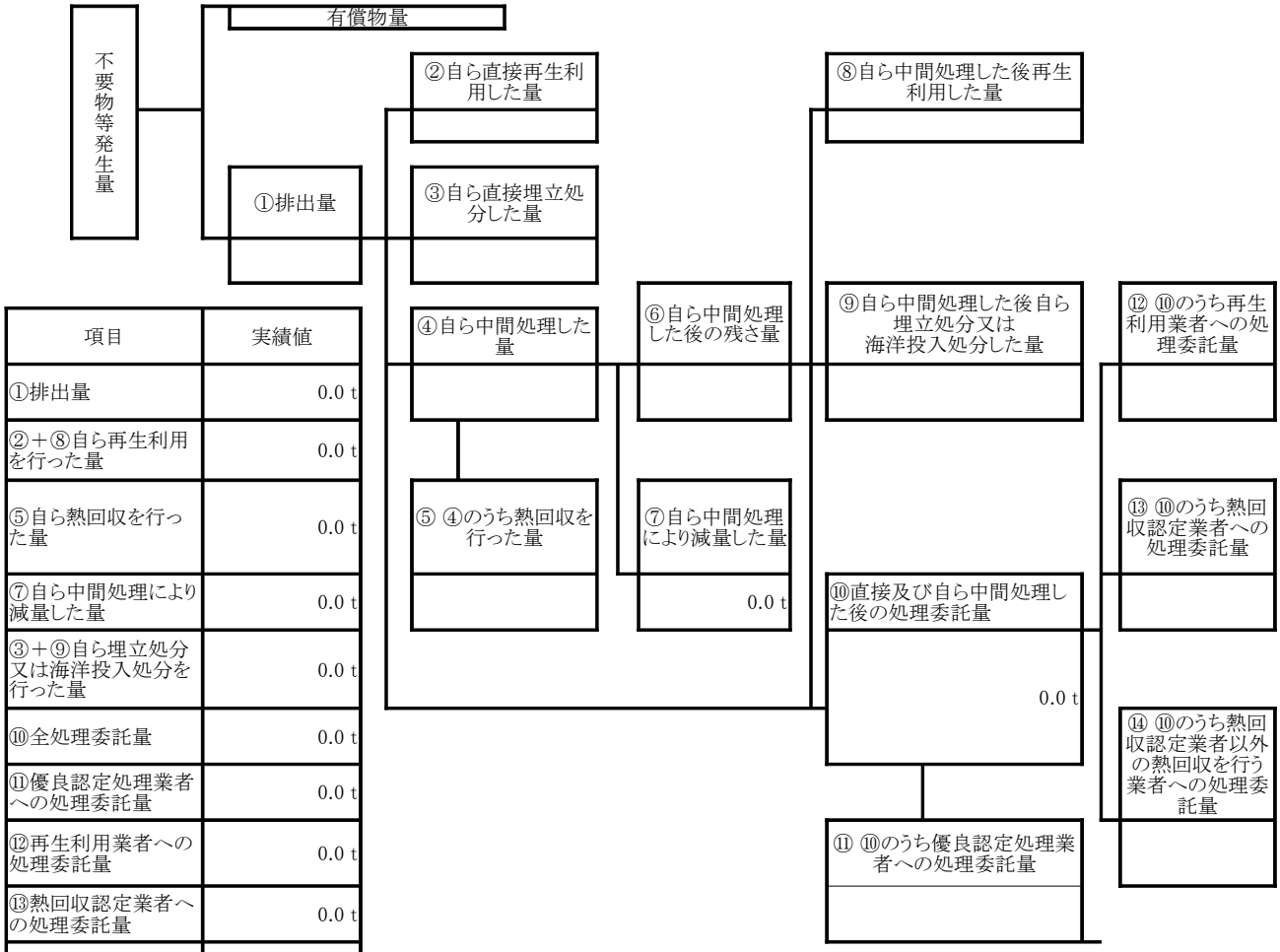
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



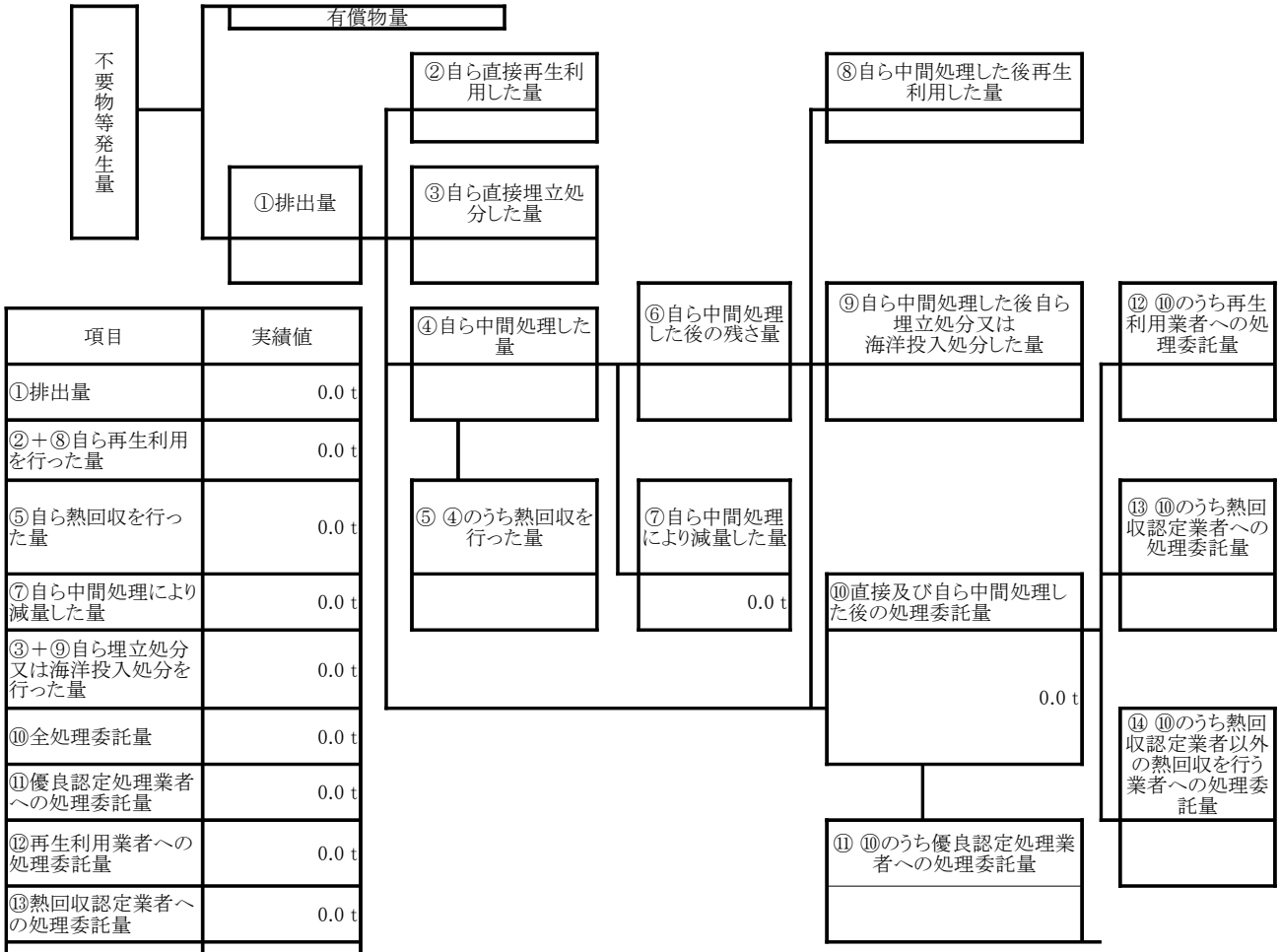
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

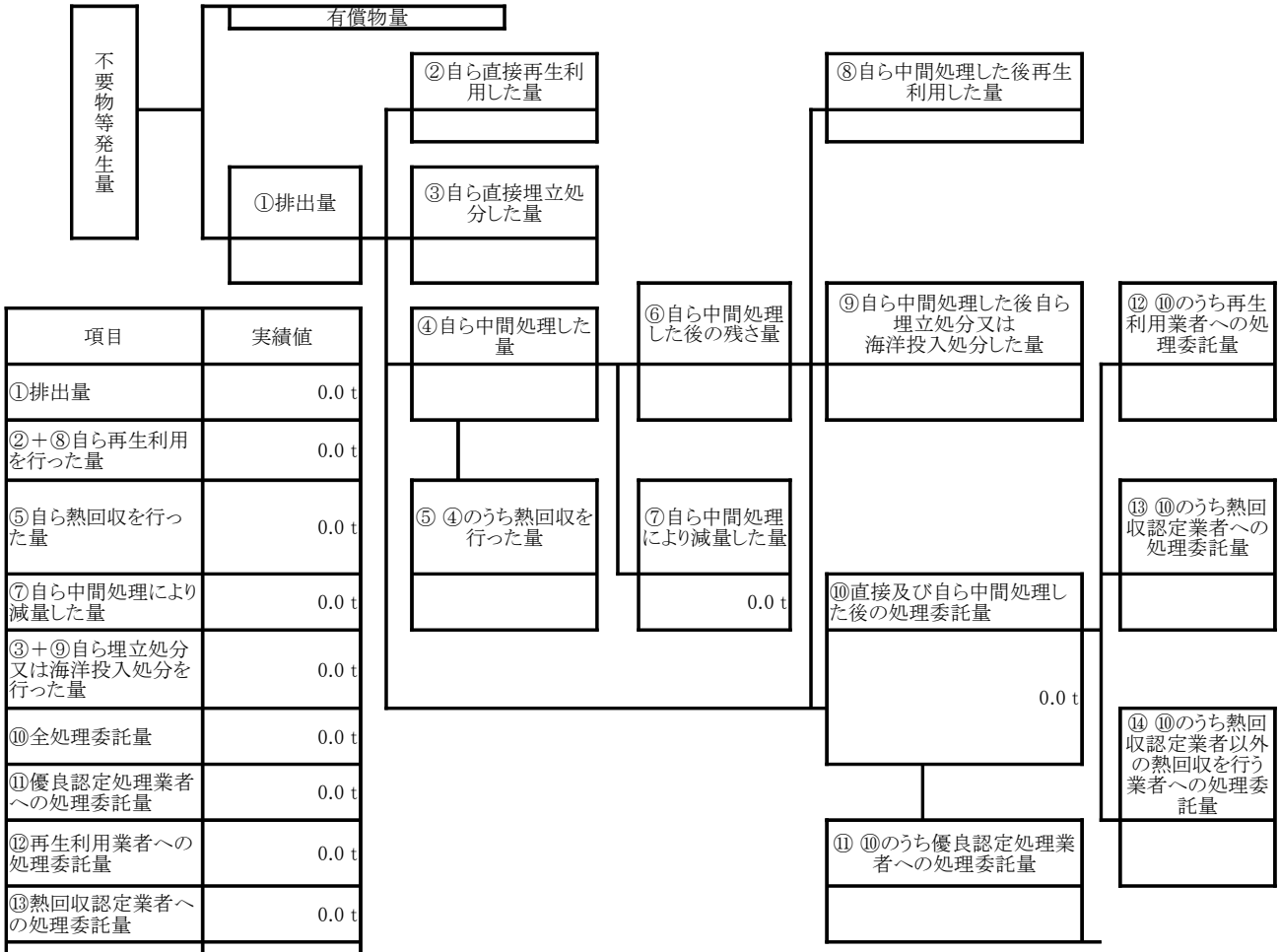


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

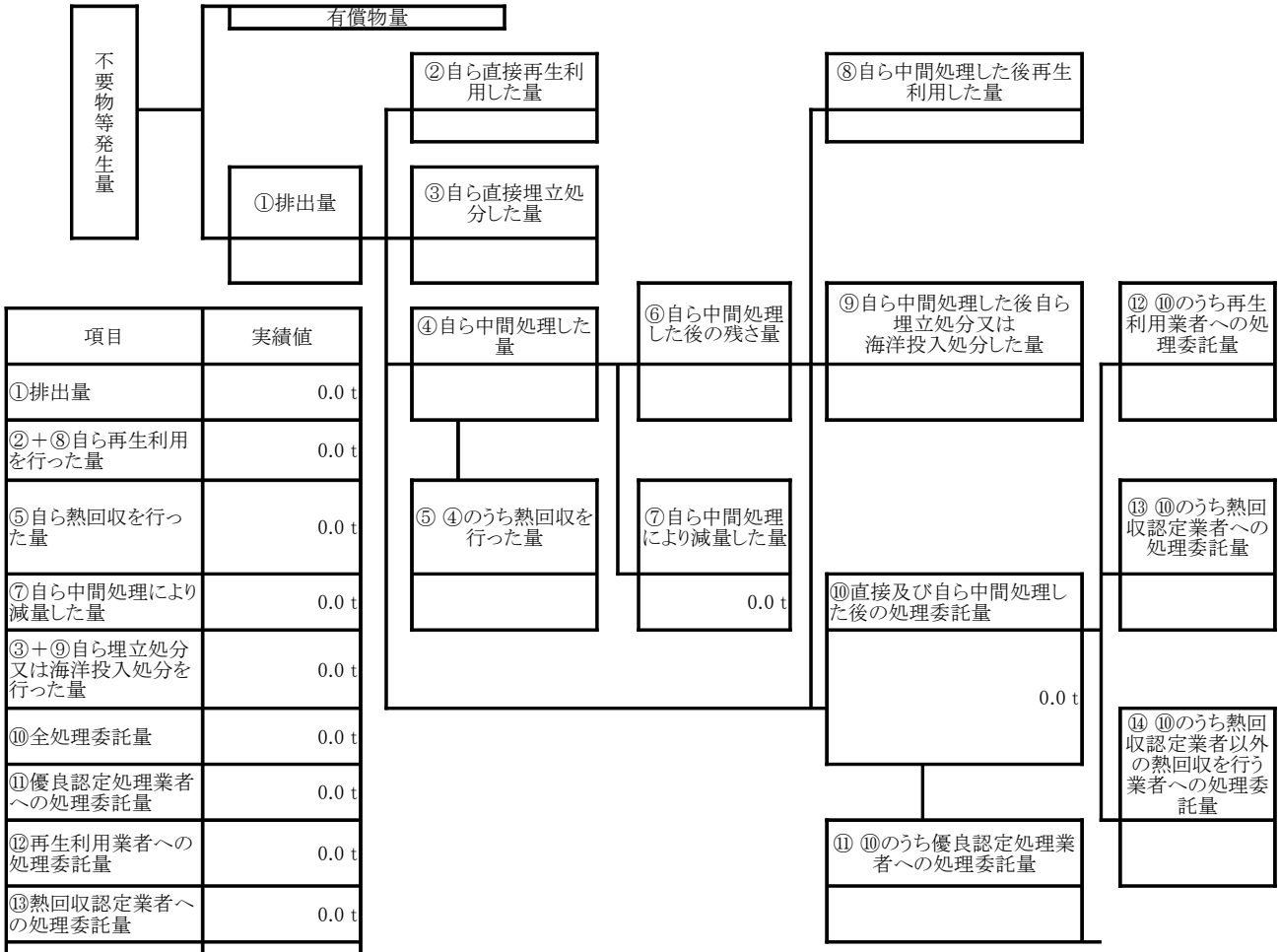


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

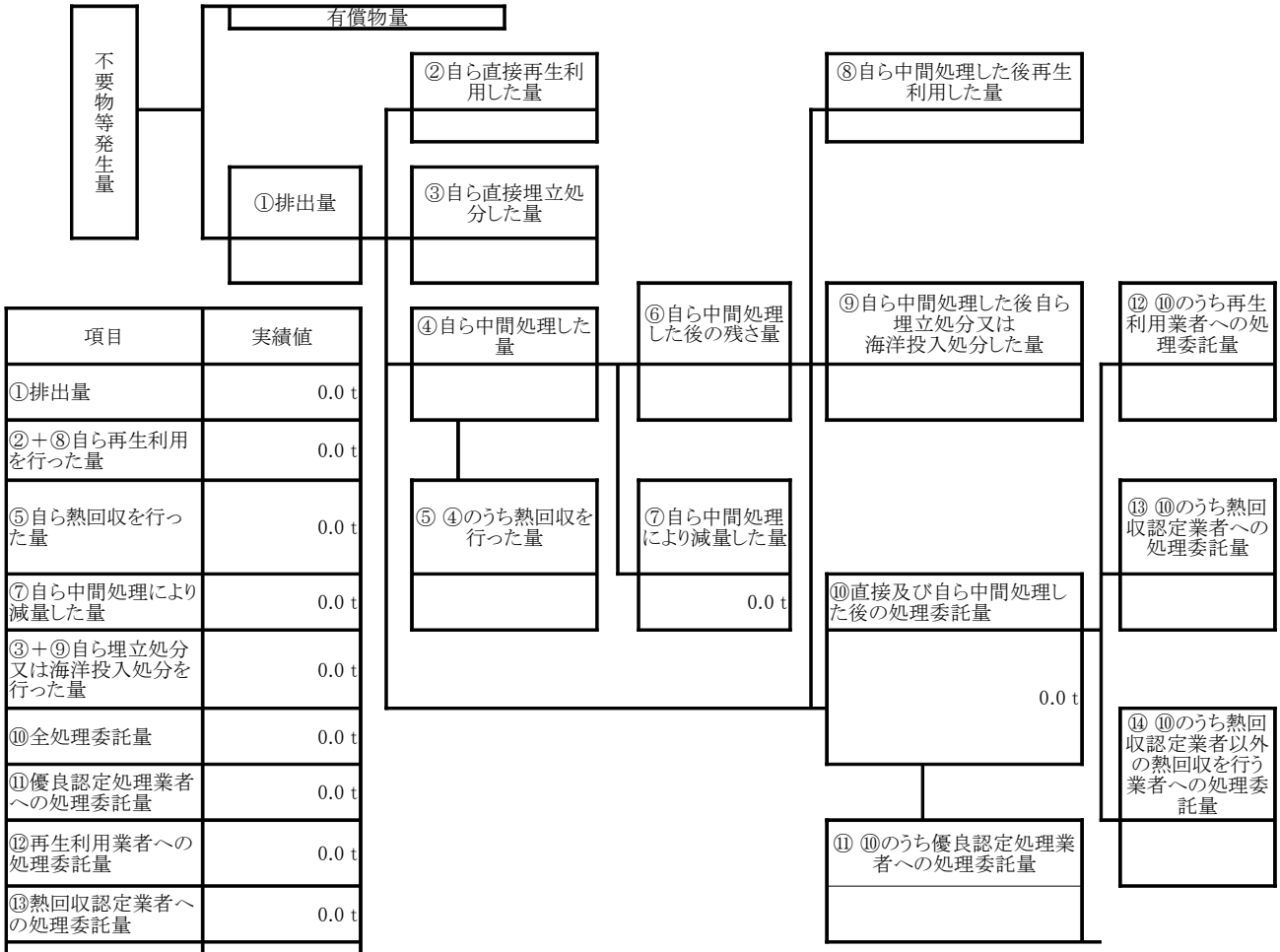


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

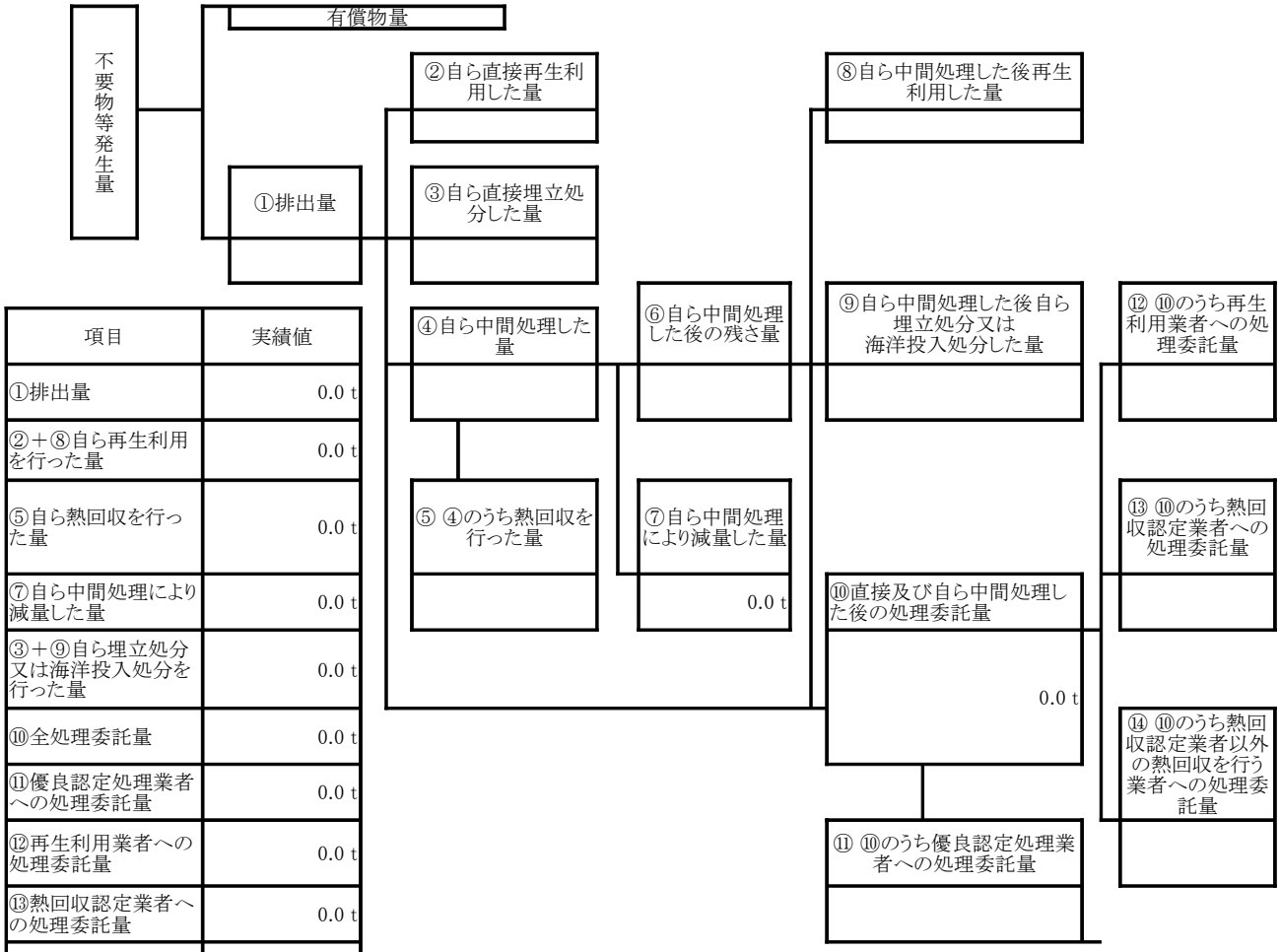


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月17日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　276-0022

住　所　千葉県八千代市上高野1807-4

法人名　タカラスタンダード株式会社　関東工場　工場長

代表者　肥塚 弘一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　047-482-7171

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	タカラスタンダード株式会社　関東第二工場
事業場の所在地	千葉県八千代市上高野1979-3
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　中分類：　化学工業
②事業の規模	前年度製品出荷額：85.1億円
③従業員数	330人(正社員176人、常勤関係職員154人)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙(管理体制)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
排出量	2624 t	99.3 t

（これまでに実施した取組）

「廃プラスチック」
安定型廃棄物の中に、人工大理石の端材、粉等が多く入っており、広域認定取得の日本人工大理石リサイクル協会に委託し、廃プラスチックとしてリサイクル活用している。
各種類の廃棄物混合品に関しては、リサイクル可能な物の分別を実施してい

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
排出量	2600 t	95 t

（今後実施する予定の取組）

「廃プラスチック」
人工大理石(廃プラスチック)を広域認定制度のリサイクル使用の増加を行う予定。人工大理石の廃材を再加工し、小物品、生活用品（麺打ち台等）への販売により、廃材減を進めている。また、リサイクル可能な樹脂及び金属を区分し、産廃量を減らす。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
分別はしているがまだ分別の余地がある。（リサイクル可能品）

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
周知徹底して分別を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		廃プラスチック類	木くず
全処理委託量		2624 t	99.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1570.1 t	83.3 t
	再生利用業者への処理委託量	1085.2 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

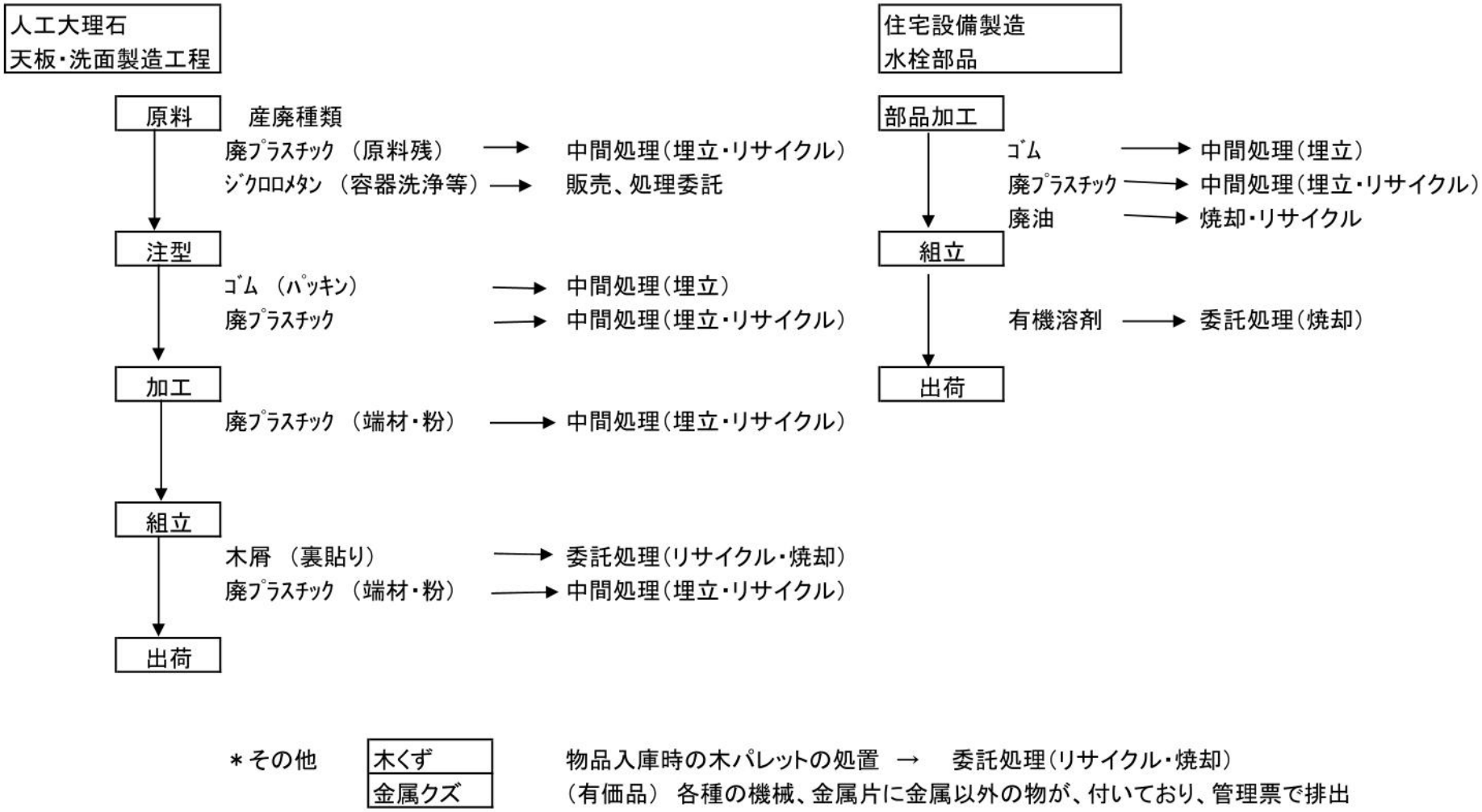
（これまでに実施した取組）

リサイクルできる業者（広域認定）への処理を増加し、安定型混合廃棄物を減少させている。
分別も、周知徹底をしているがまだ余地あり。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>2600 t</td><td>95 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>1500 t</td><td>80 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>1080 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
安定型、管理型とも分別をしっかりしているが、より分別を厳しく行いリサイクル量の増加を行っていく。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

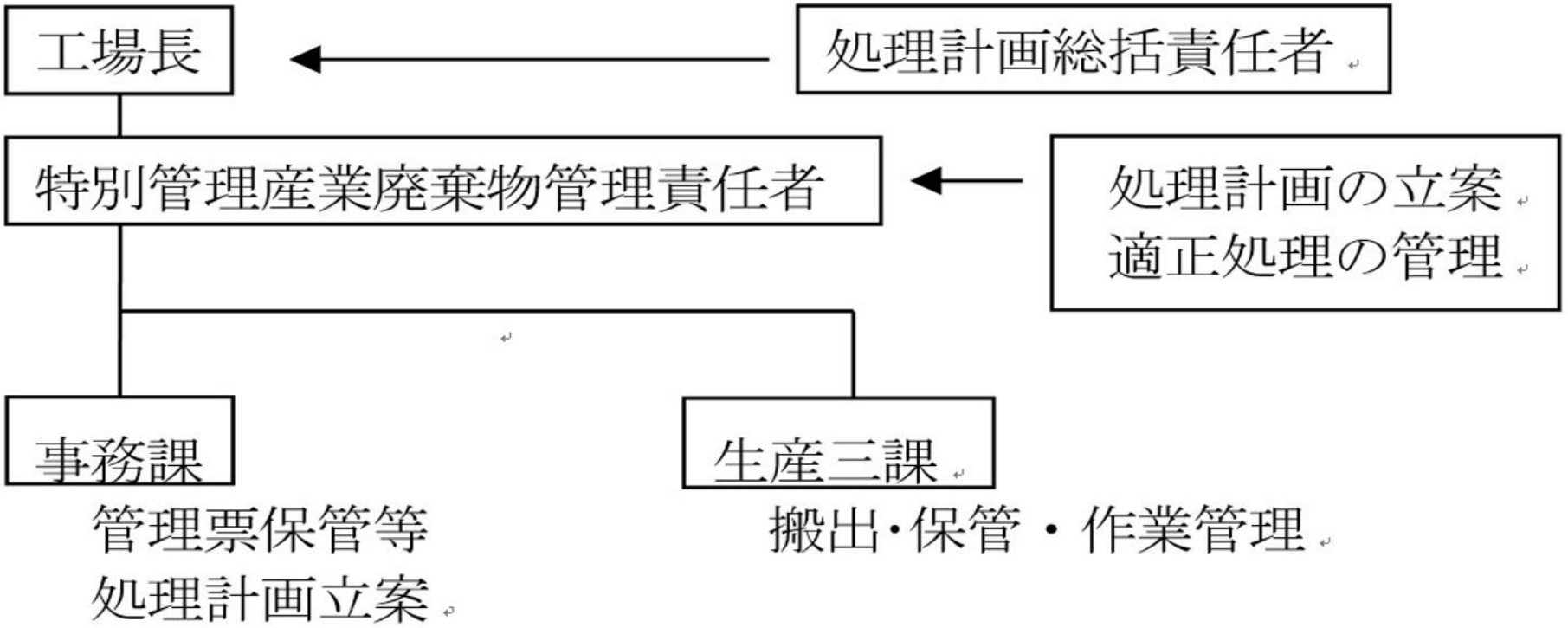
備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別紙①　**産業廃棄物一連の処理工程**



＊その他　木くず　物品入庫時の木パレットの処置　→　委託処理（リサイクル・焼却）

金属クズ　（有価品）　各種の機械、金属片に金属以外の物が、付いており、管理票で排出


工場長
処理計画総括責任者
特別管理産業廃棄物管理責任者
処理計画の立案
適正処理の管理
事務課
管理票保管等
処理計画立案
生産三課
搬出･保管・作業管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃油						
		排　出　量	127.5 t	1.4 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃油						
		排　出　量	120 t	1 t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃油						
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃油						
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃油						
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃油						
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃油						
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃油						
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃油						
		全処理委託量	127.5 t	1.4 t	t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	127.5 t	1.4 t	t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	127.5 t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃油						
		全処理委託量	125 t	1.4 t	t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	125 t	1.4 t	t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	125 t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月17日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　276-0022

住所 千葉県八千代市上高野1807-4

法人名 タカラスタンダード株式会社 関東工場 工場長

代表者 肥塚 弘一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-482-7171

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	タカラスタンダード株式会社 関東第二工場
事業場の所在地	千葉県八千代市上高野1979-3
事業の種類	大分類　製造業　中分類 化学工業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

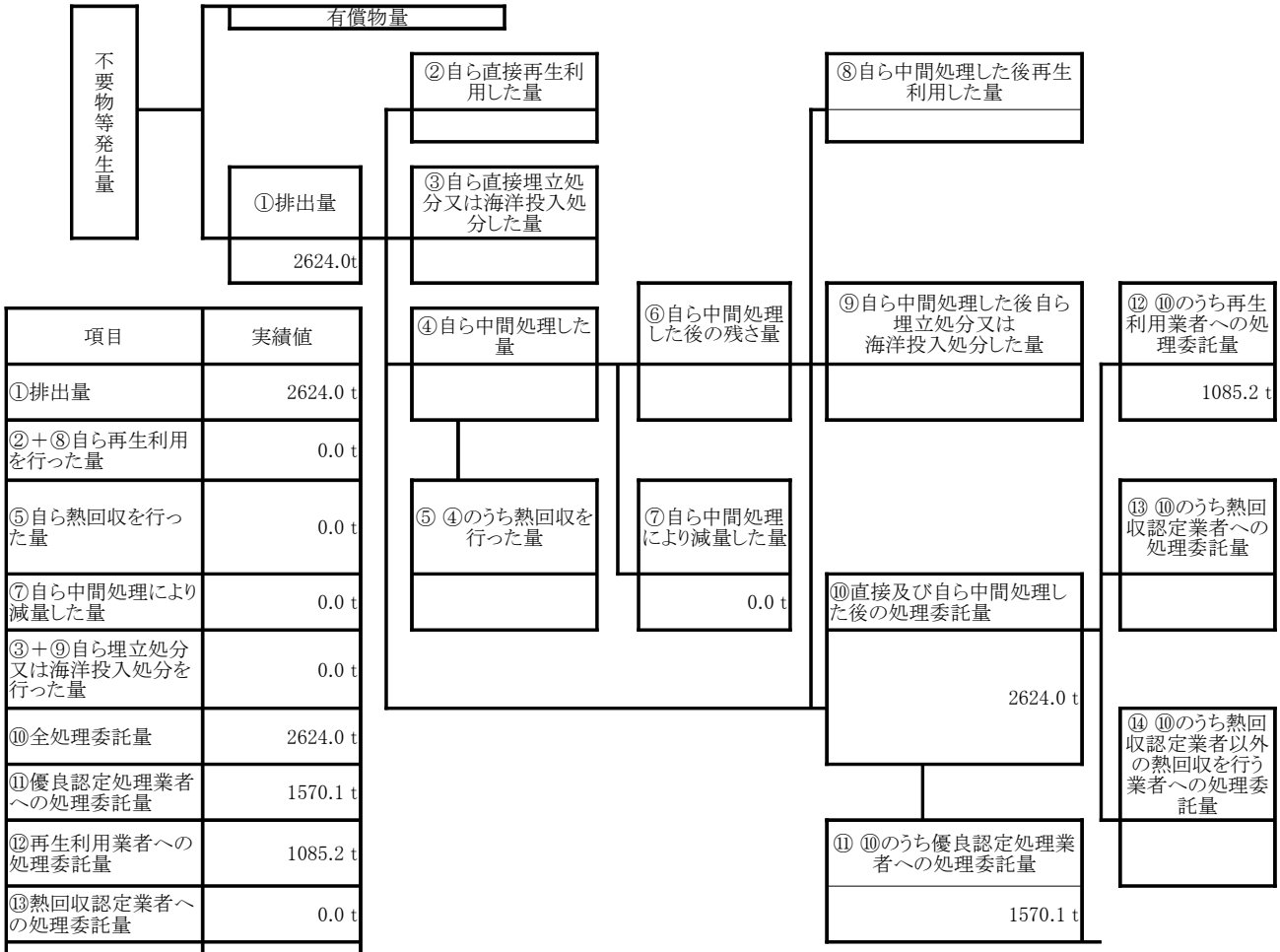
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2800 t	全処理委託量	2800 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1650 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2500 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

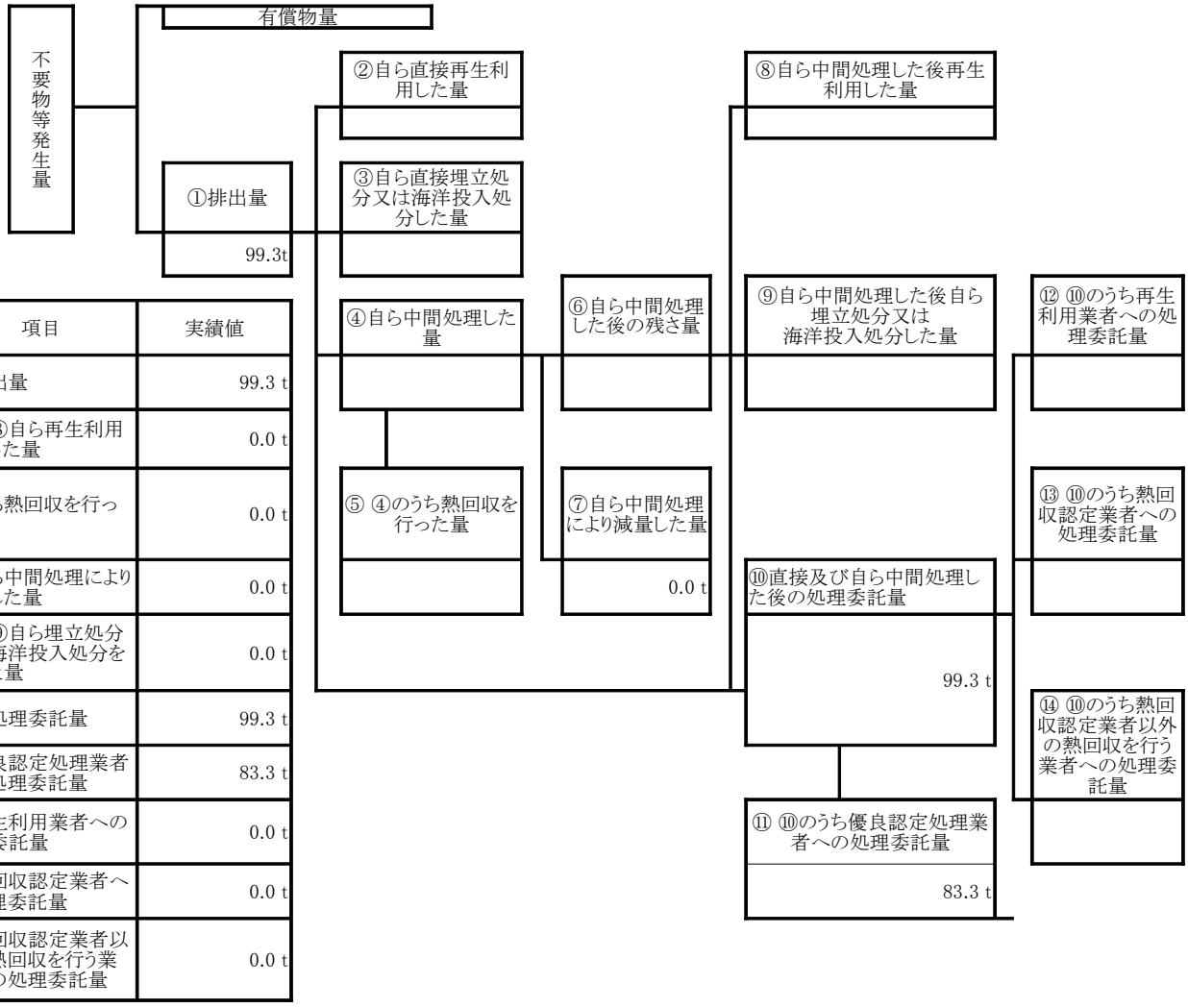


項目	実績値
①排出量	2624.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2624.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1570.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1085.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



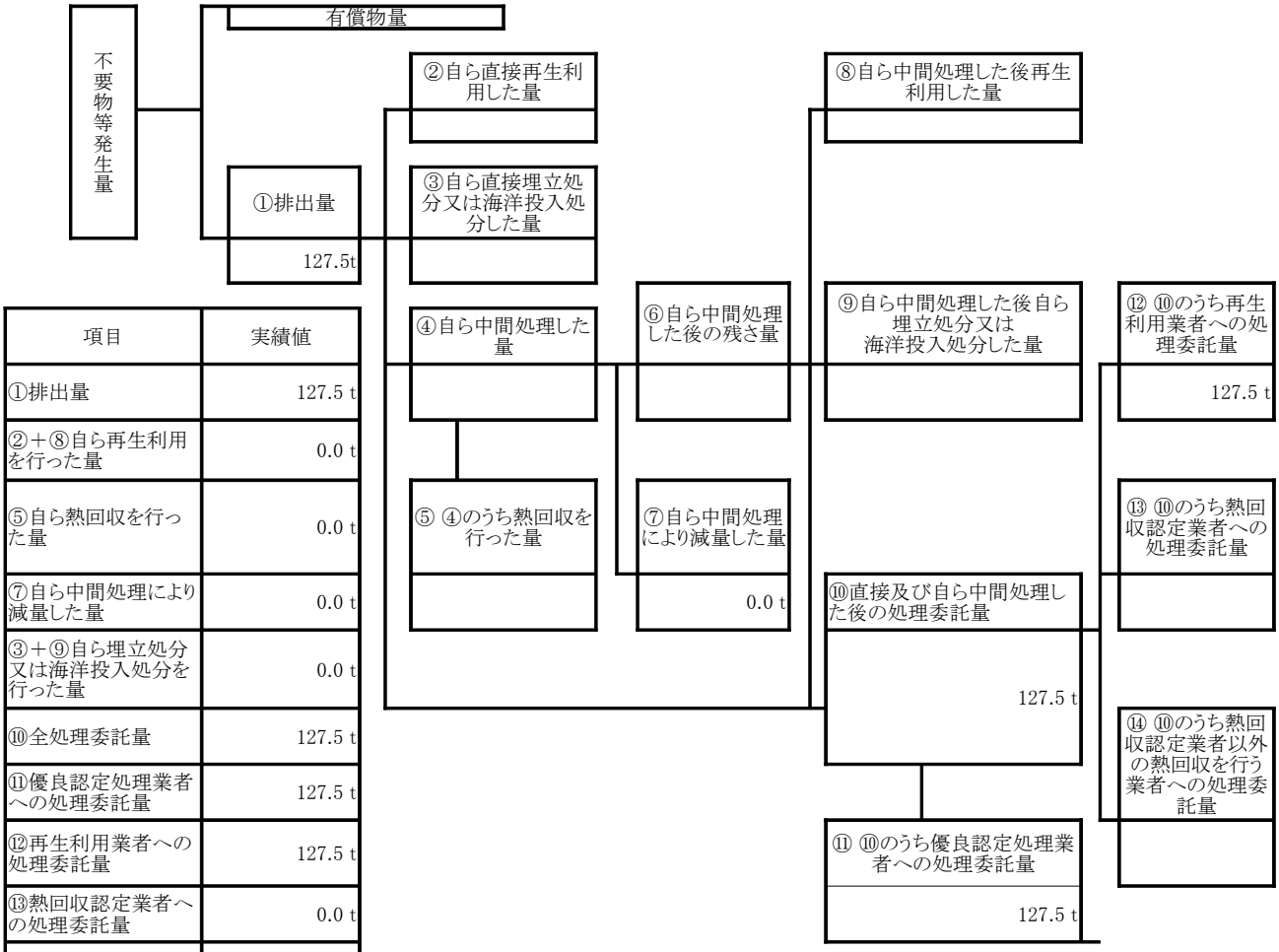
項目	実績値
①排出量	99.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	99.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	83.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　金属くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

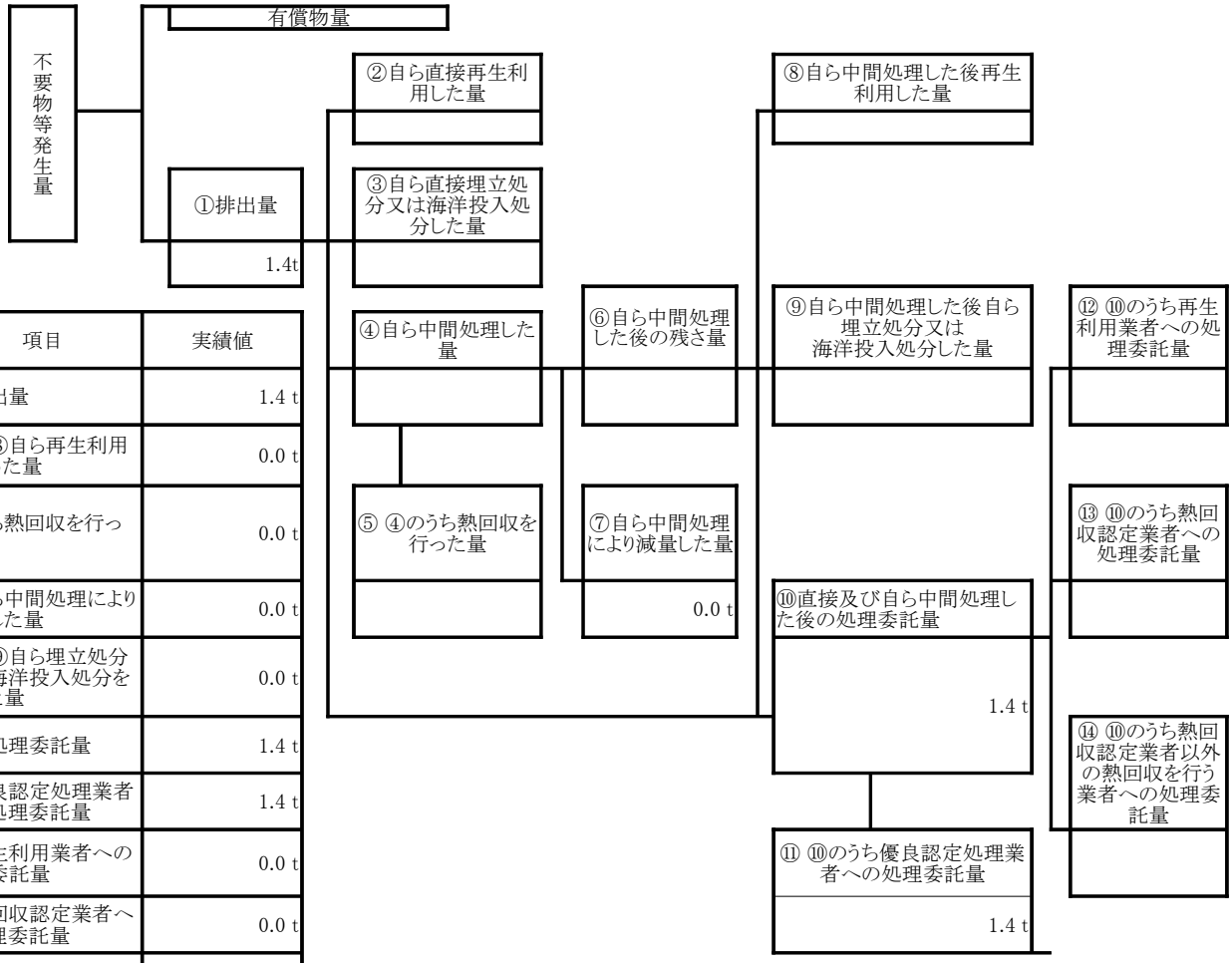


項目	実績値
①排出量	127.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	127.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	127.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	127.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**廃油**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

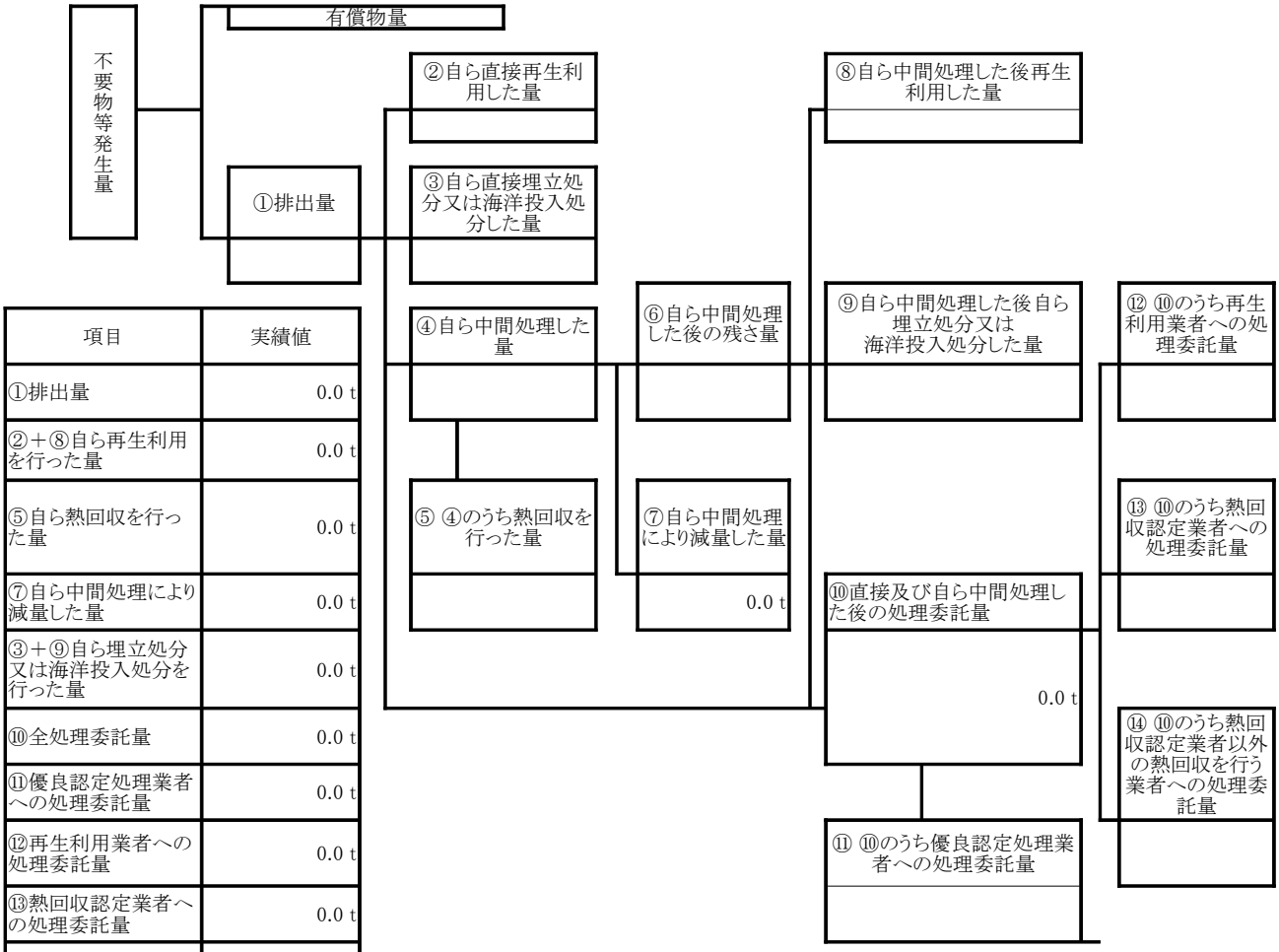


項目	実績値
①排出量	1.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

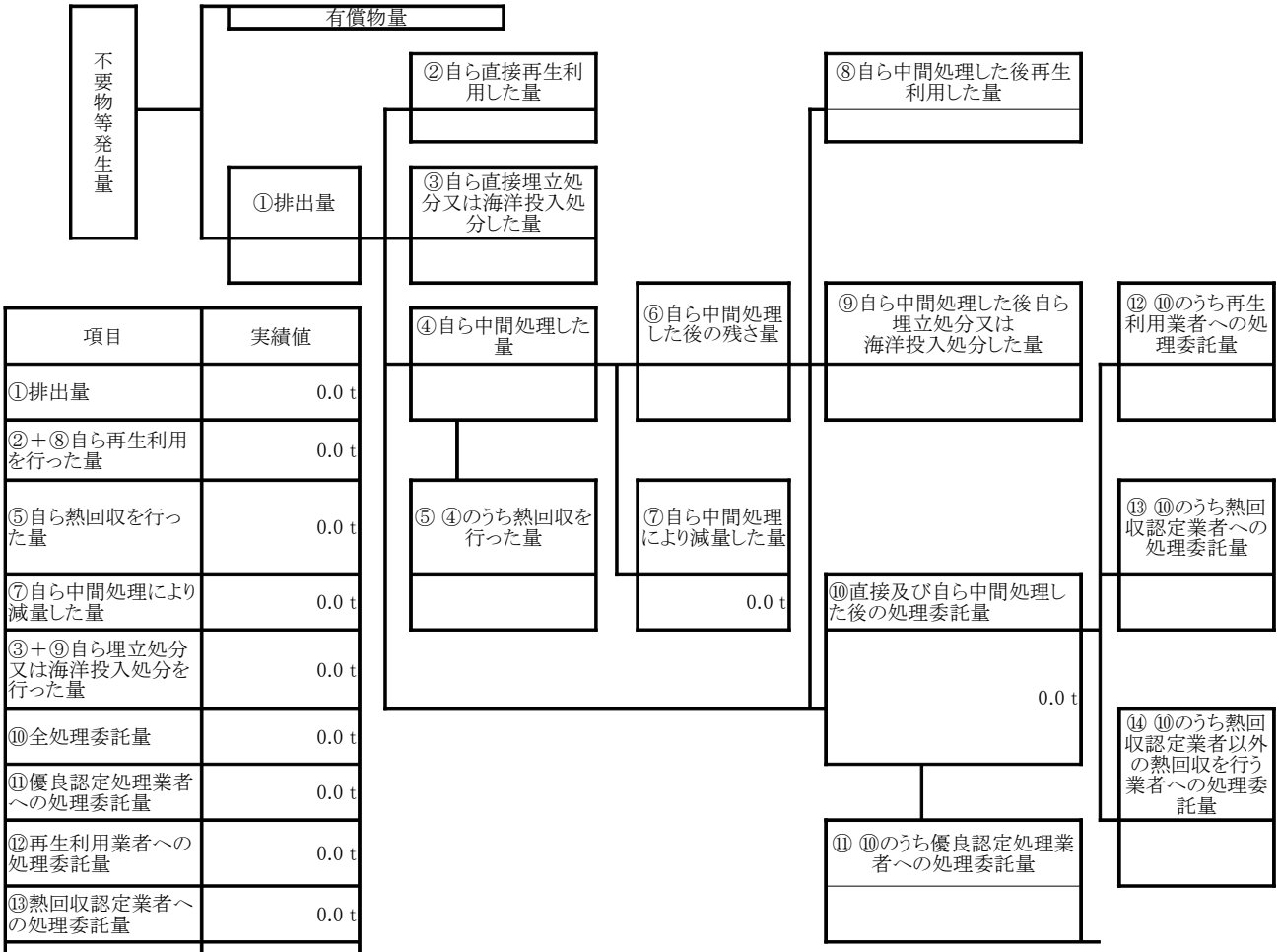


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



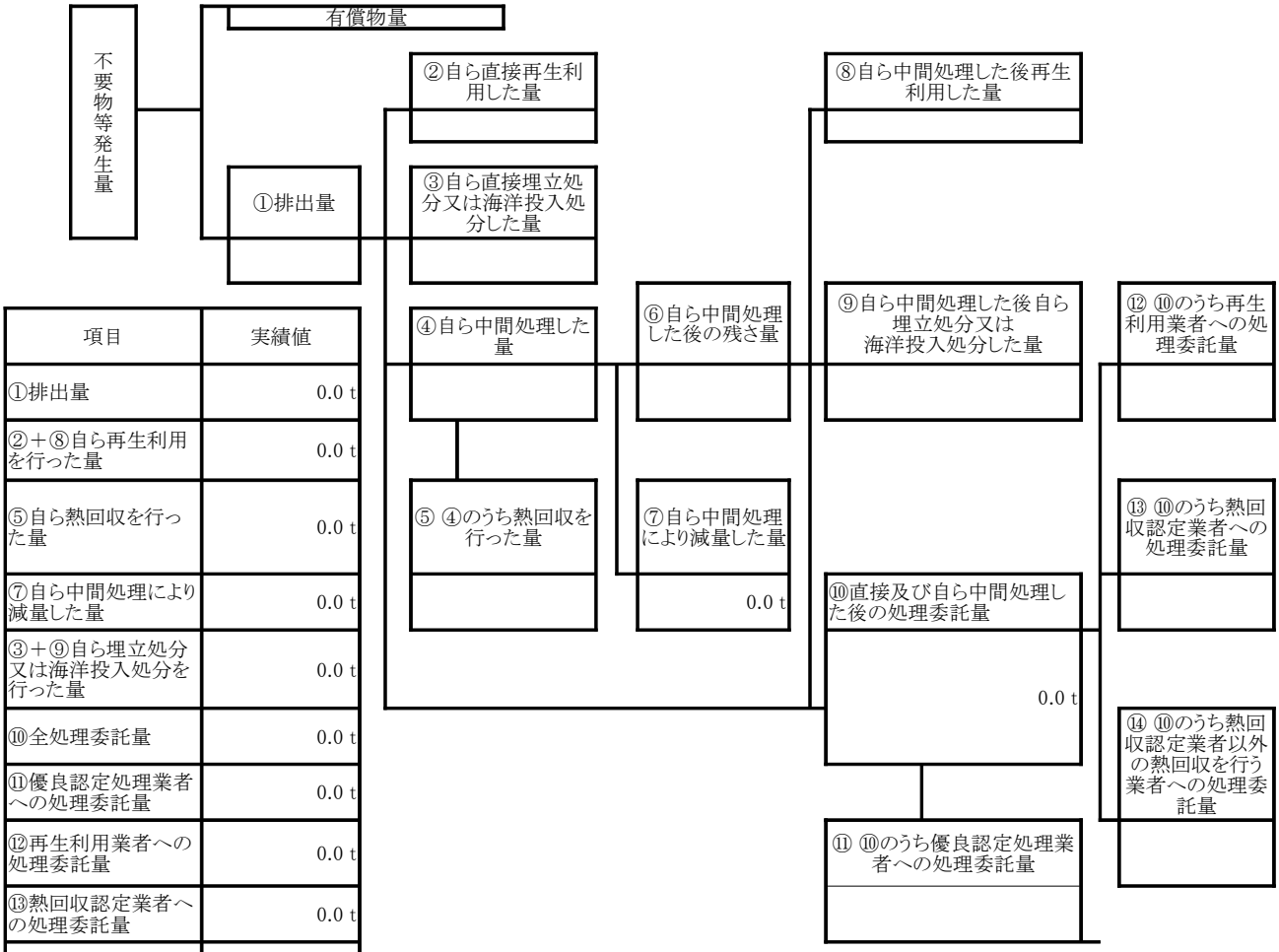
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

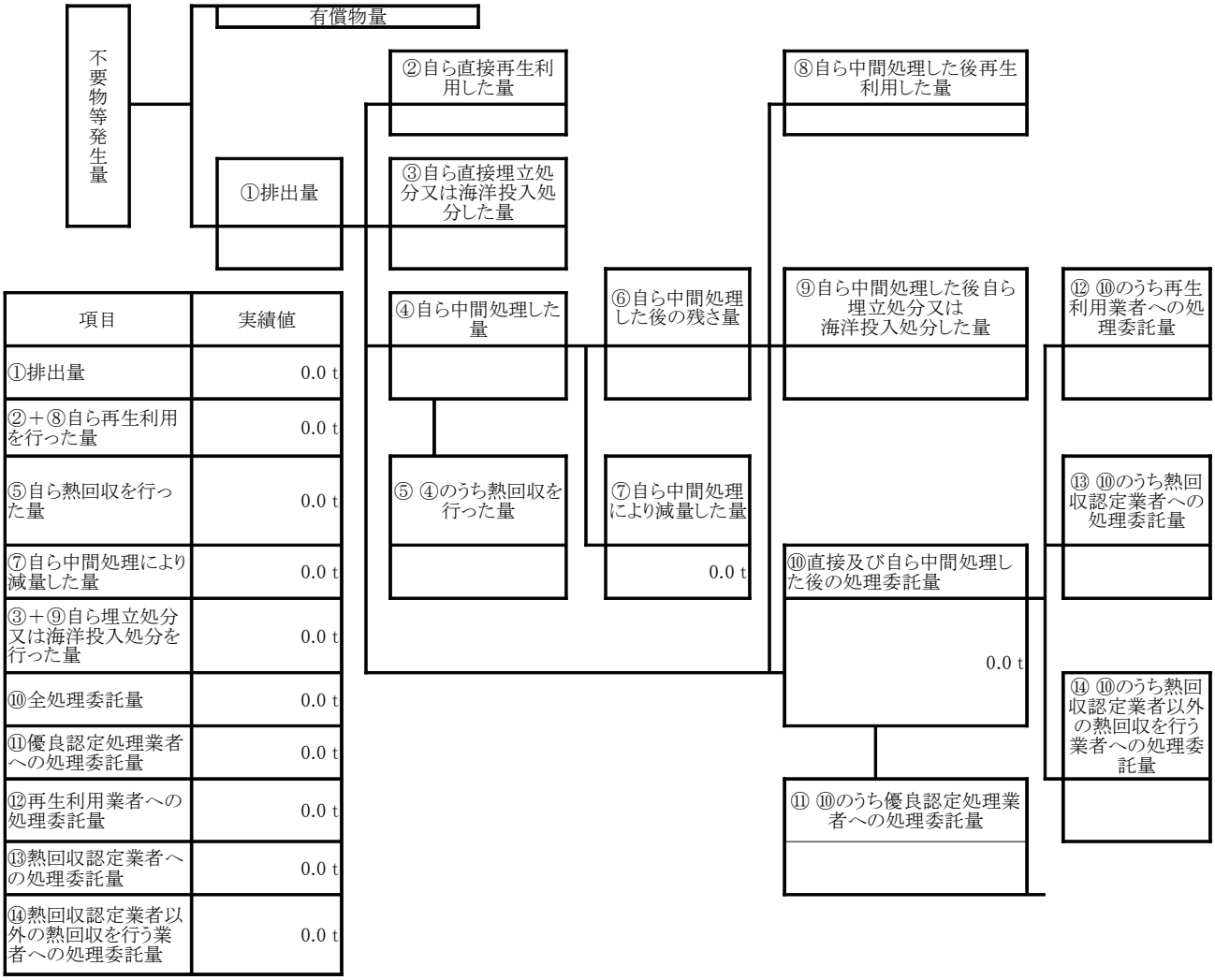


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

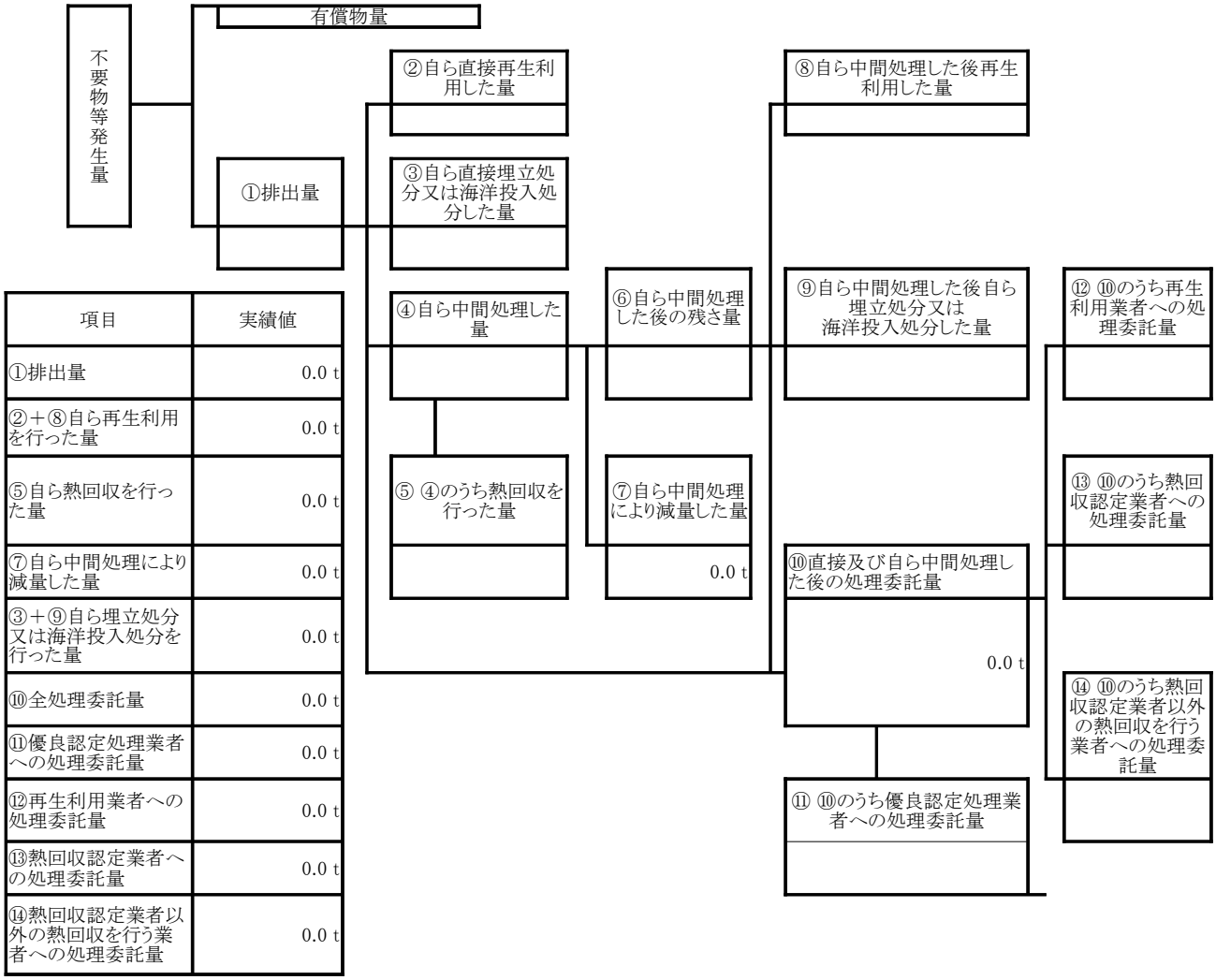


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



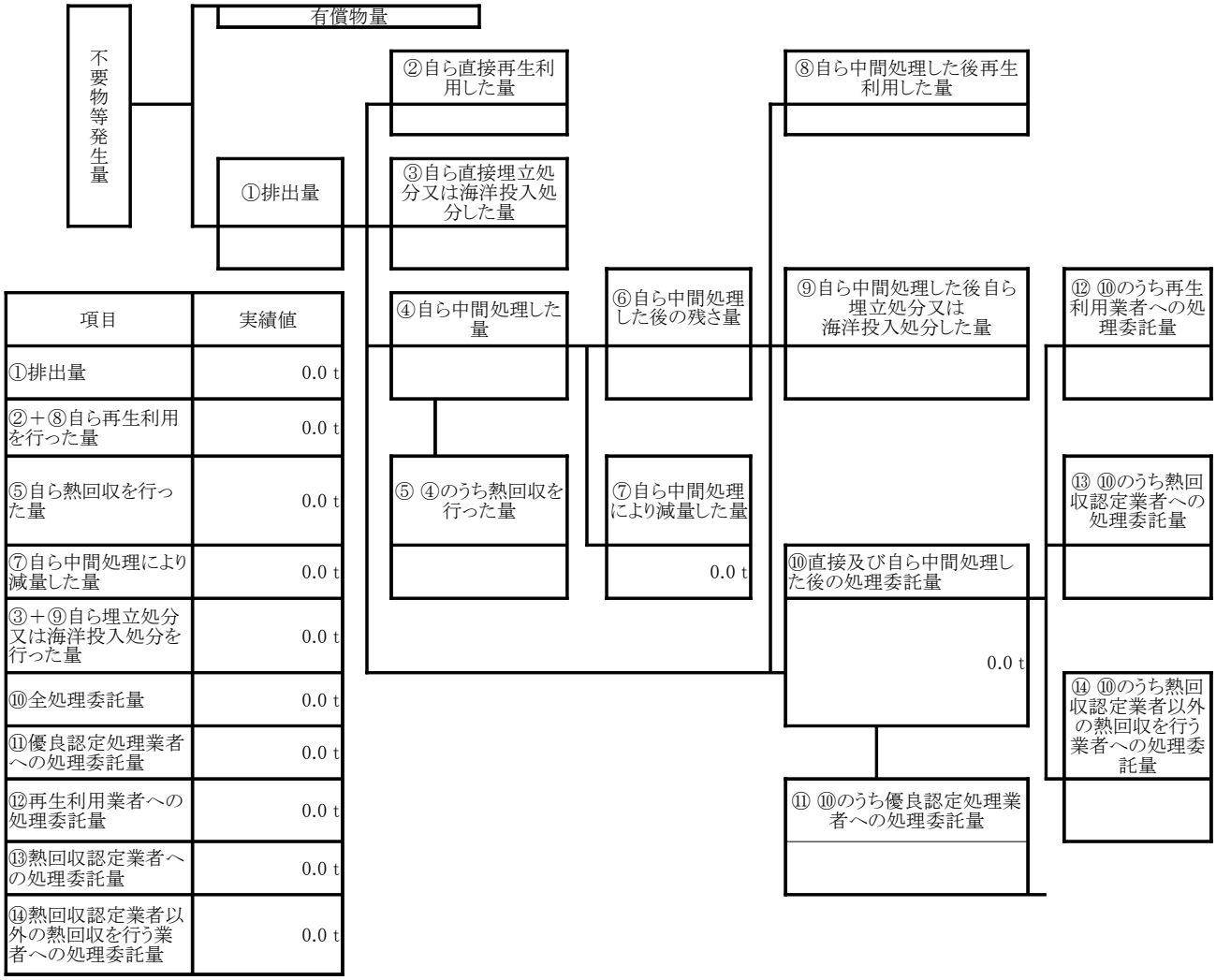
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

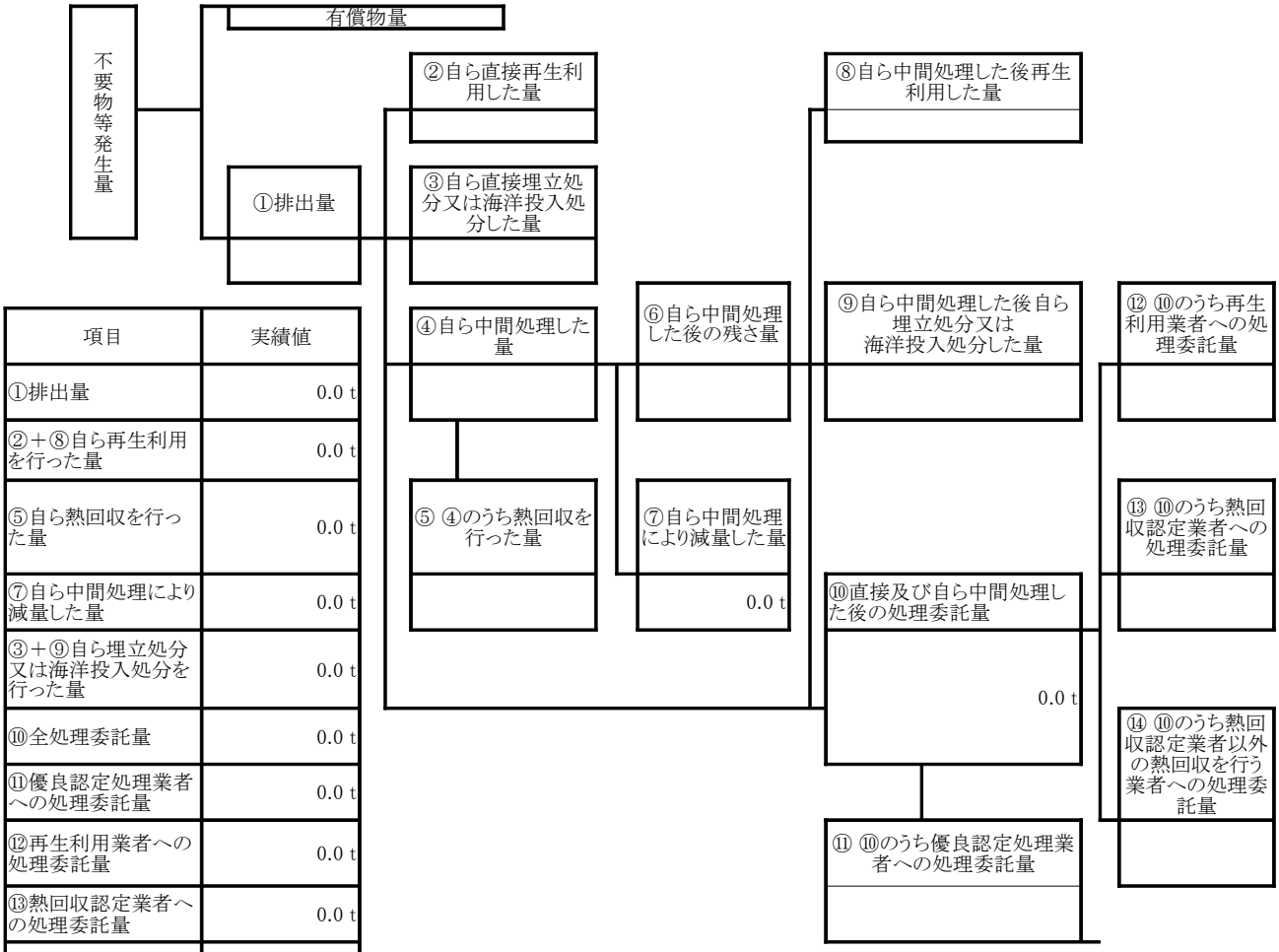


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



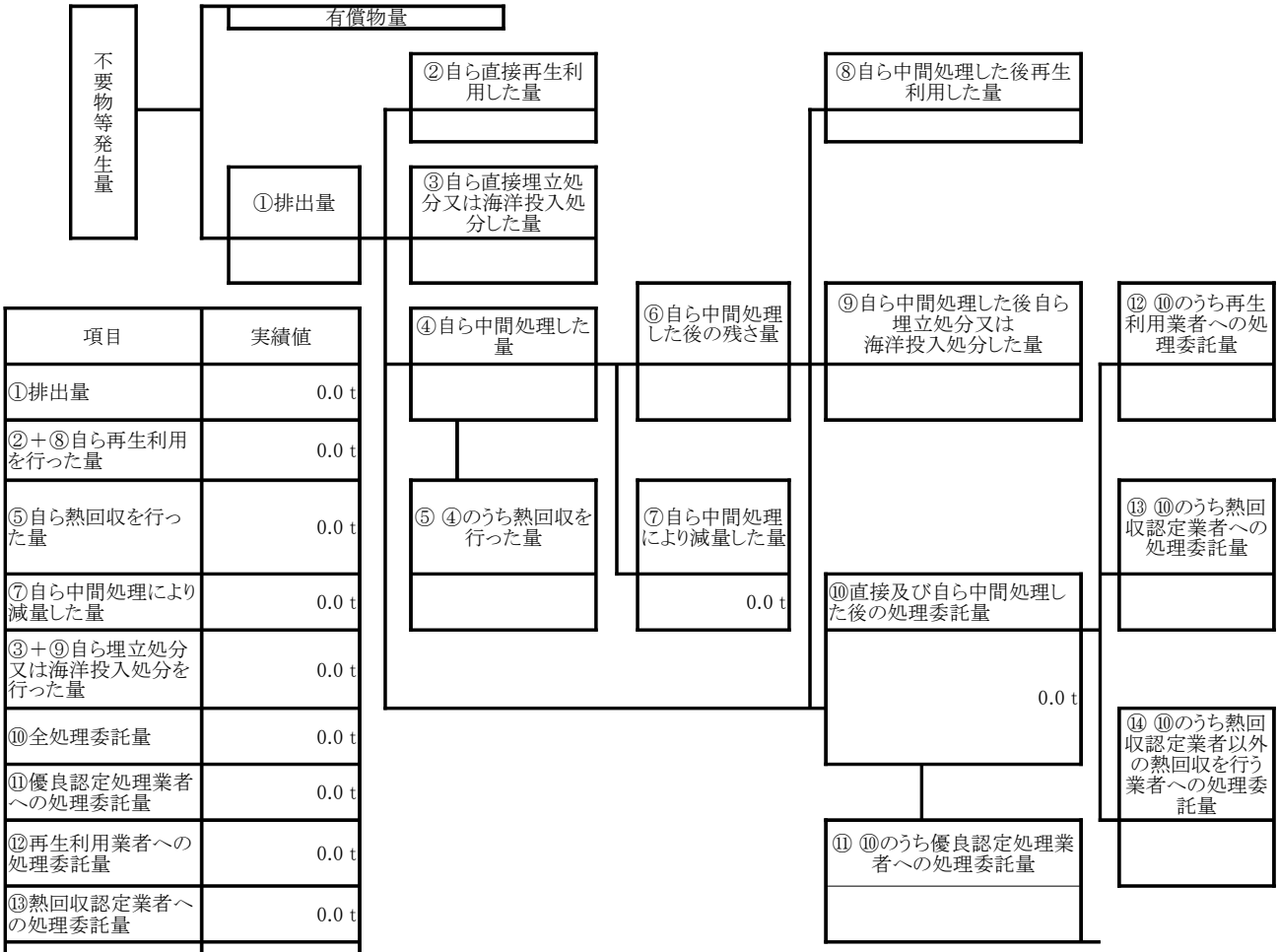
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



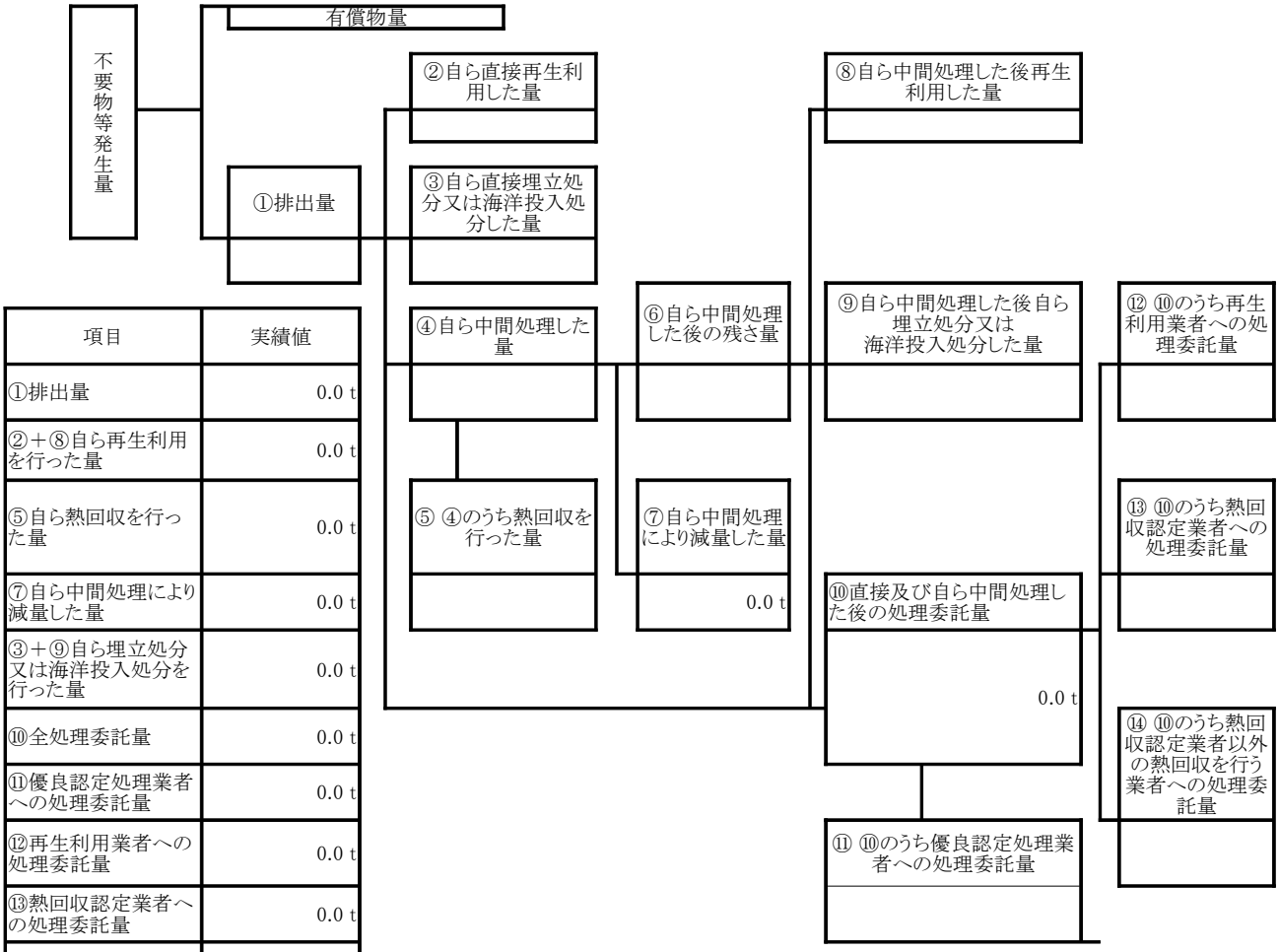
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

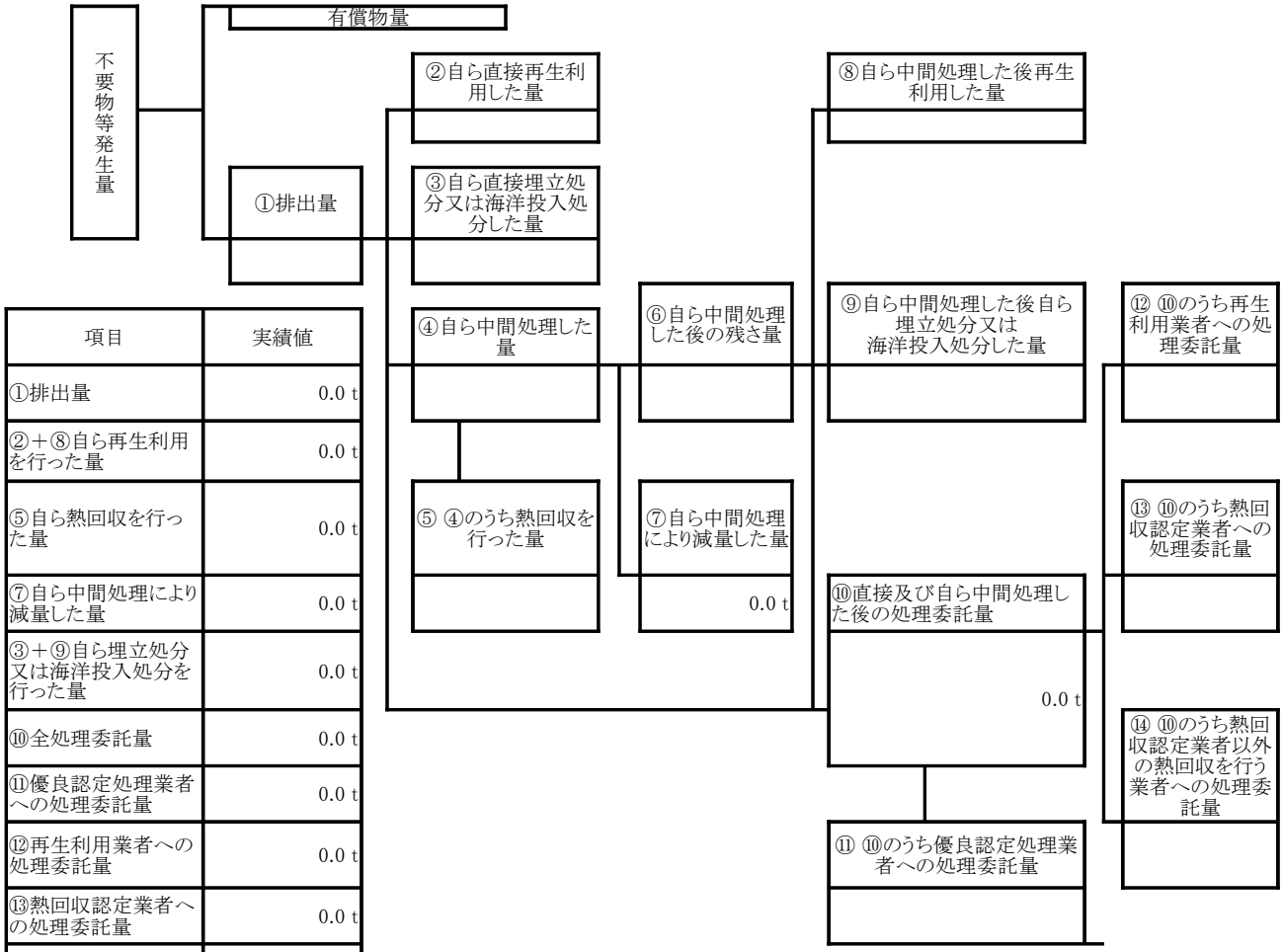


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



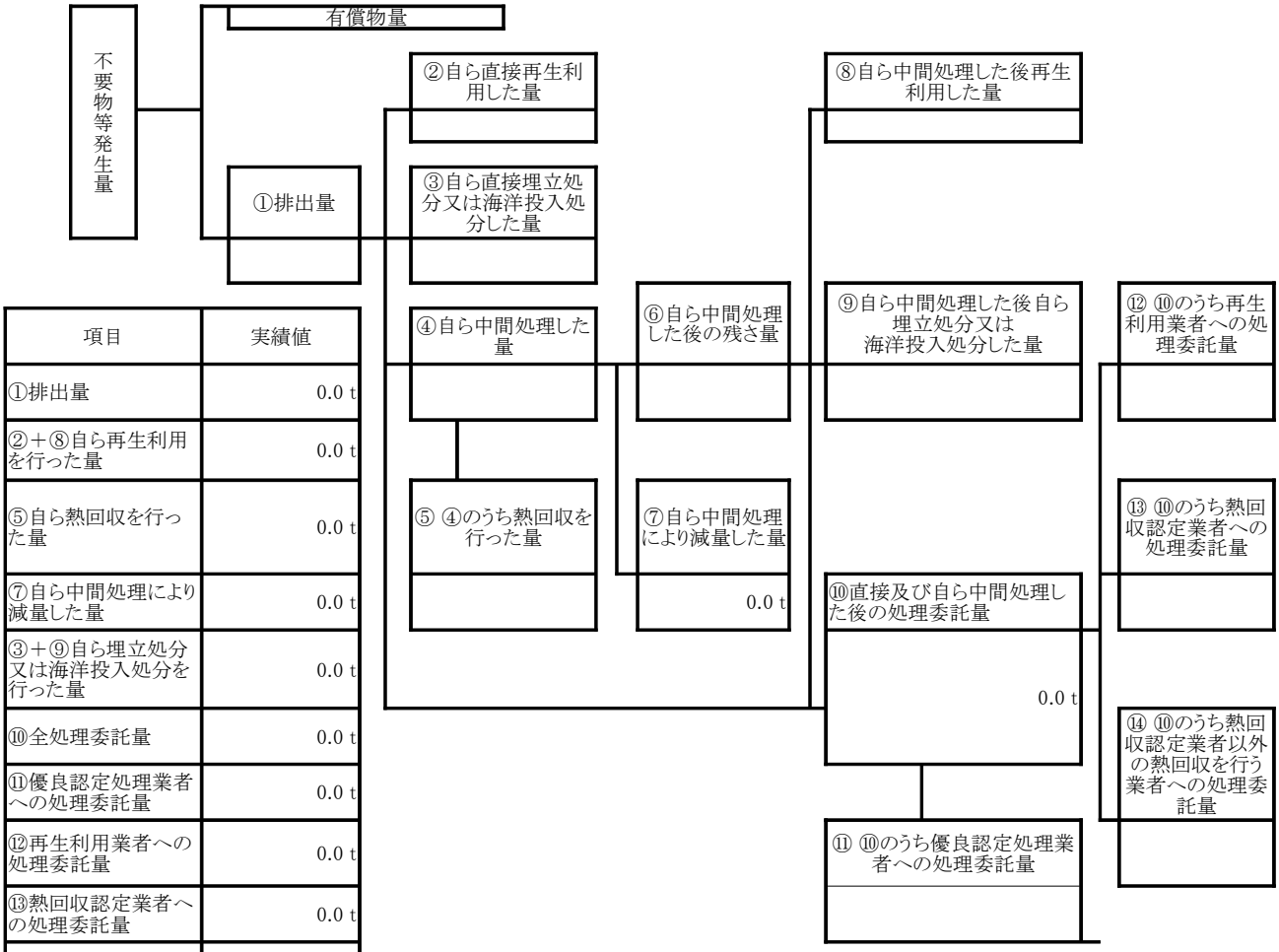
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

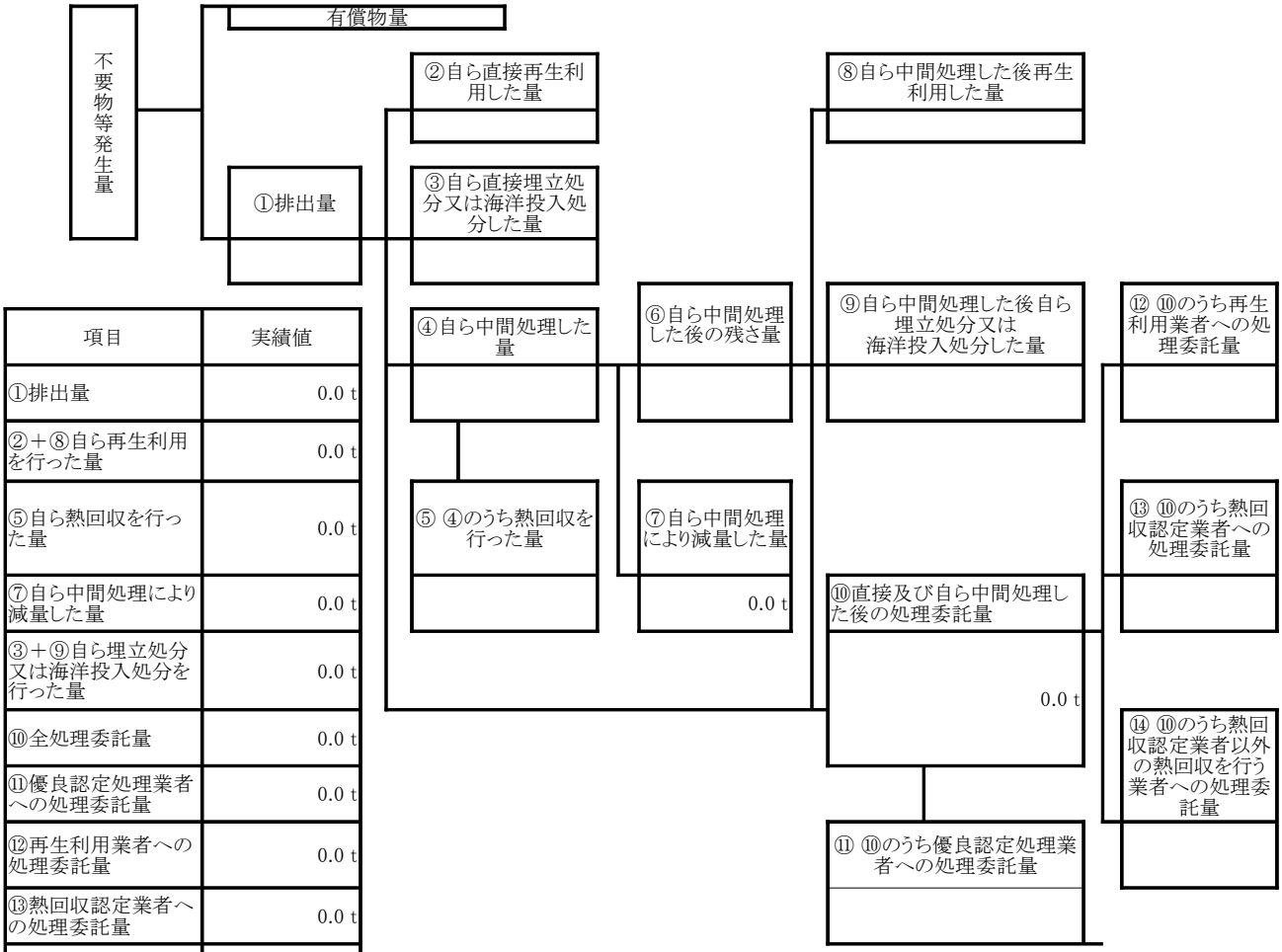


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

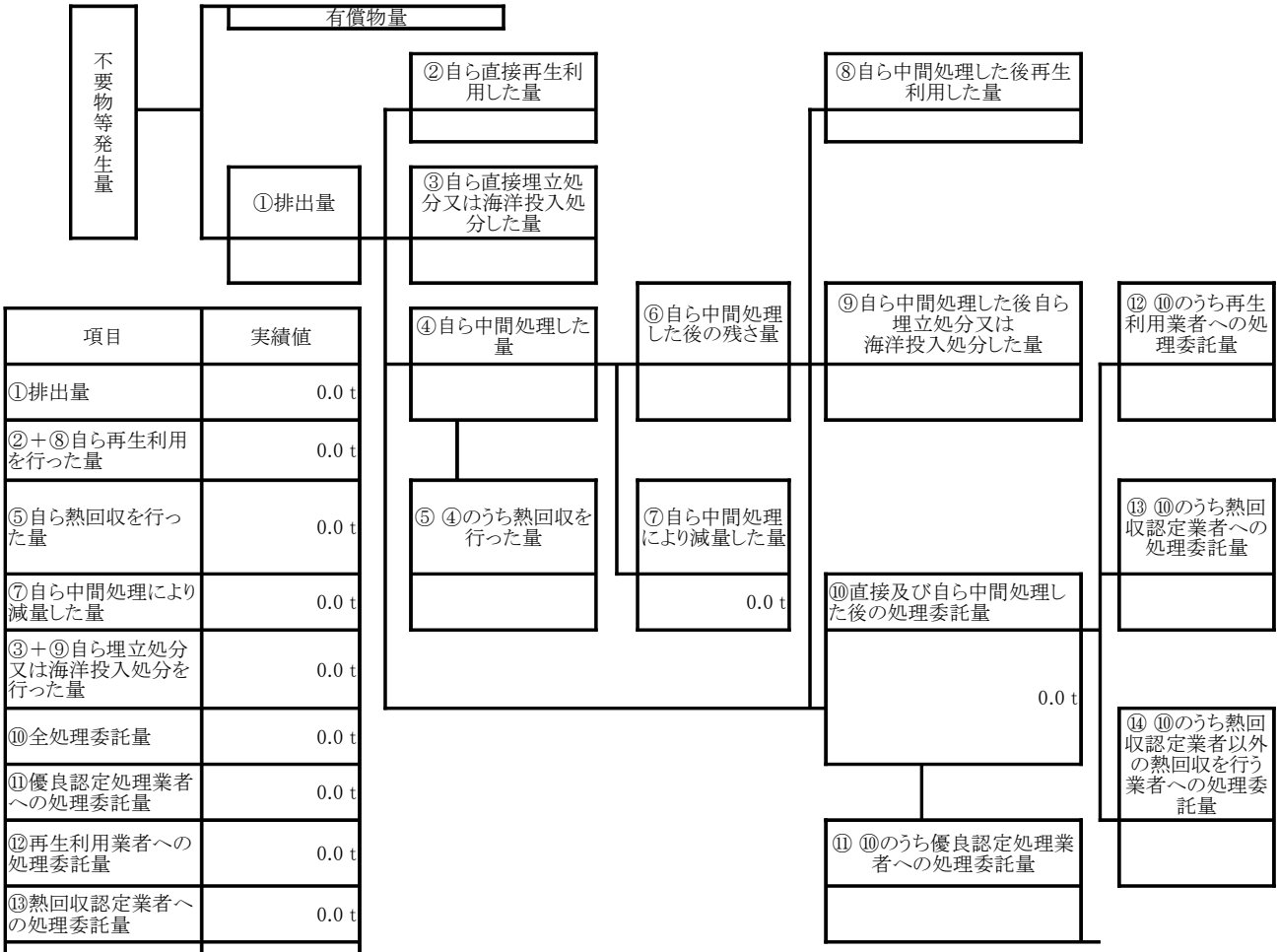


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



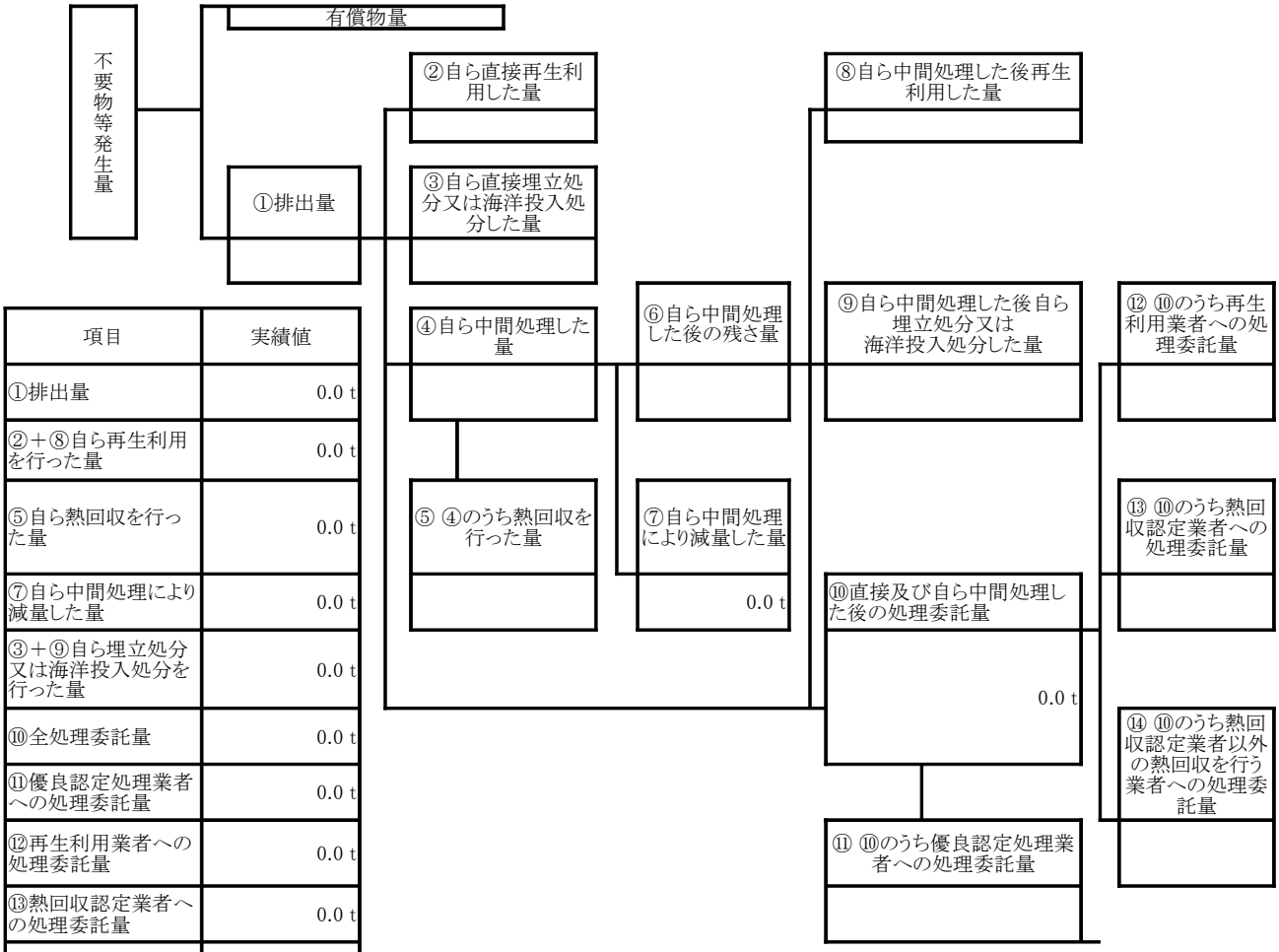
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

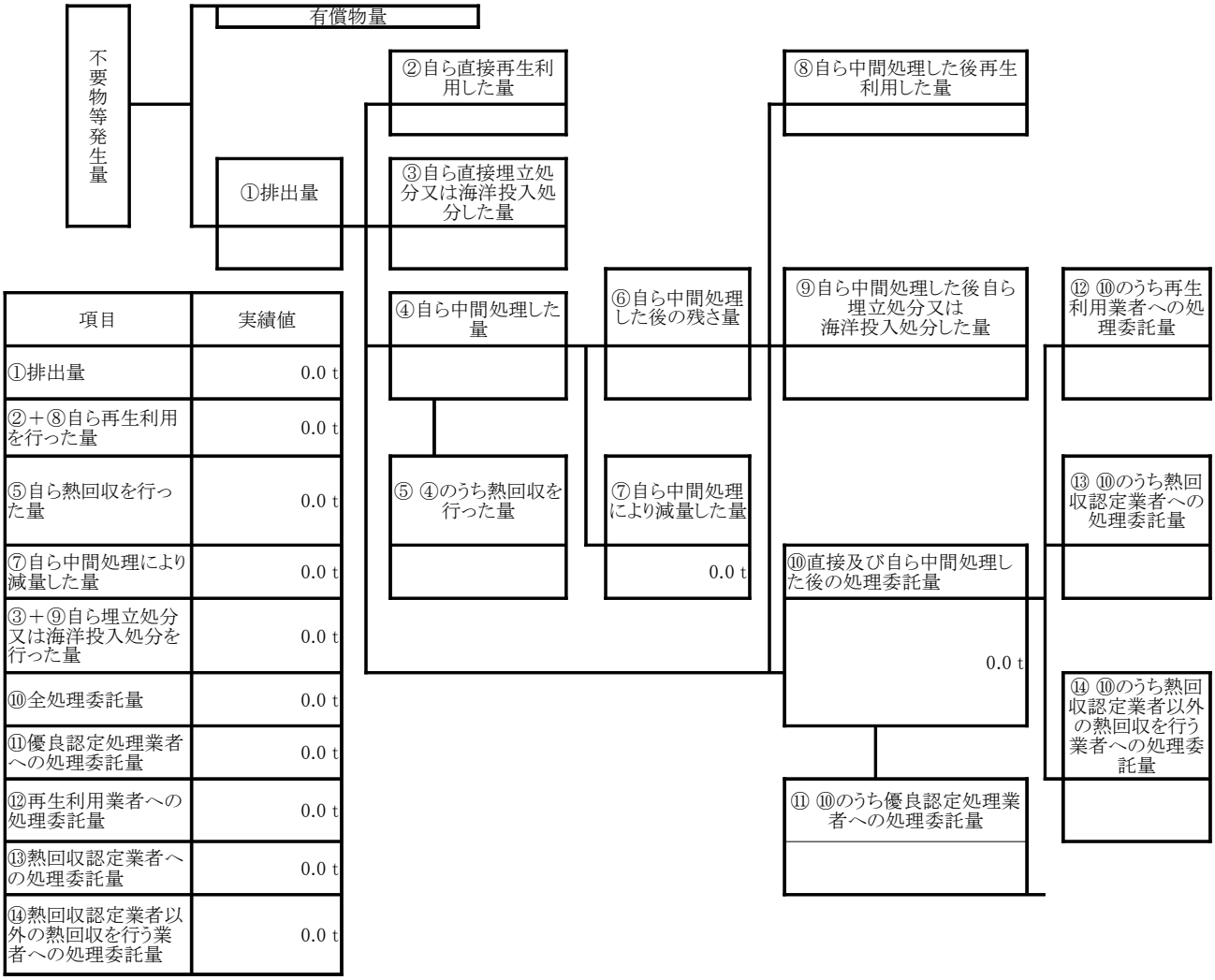


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

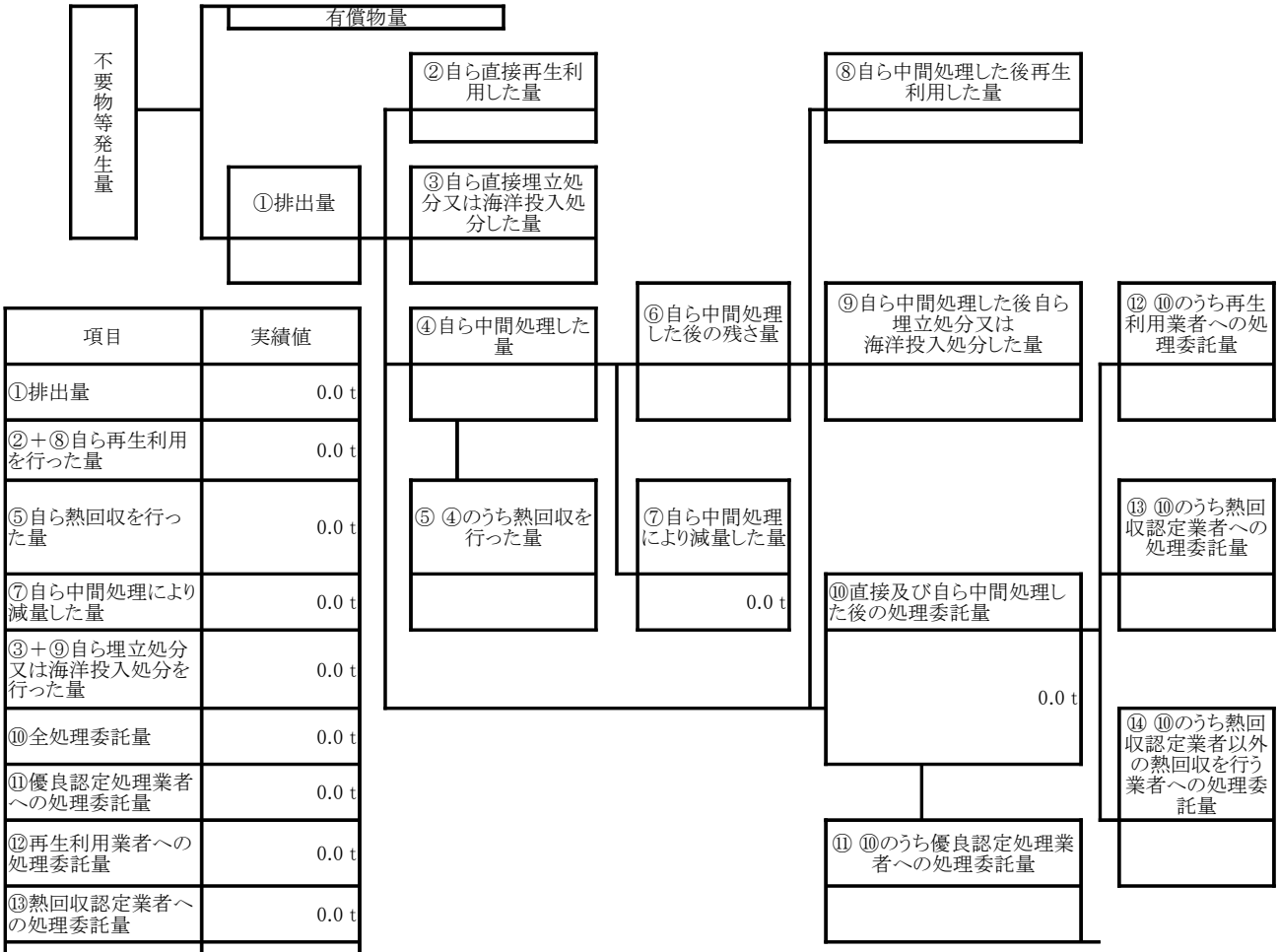


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月17日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　276-0022

住　所　千葉県八千代市上高野1807-4

法人名　タカラスタンダード株式会社　関東工場　工場長

代表者　肥塚 弘一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　047-482-7171

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	タカラスタンダード株式会社　関東第二工場
事業場の所在地	千葉県八千代市上高野1979-3
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　化学工業
②事業の規模	前年度製品出荷額：85.1億円
③従業員数	330人(正社員176人、常勤関係職員154人)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙(処理工程)

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙(管理体制)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	排出量	352.3 t	t
	（これまでに実施した取組） 使用の殆どは、タンクから被洗浄容器、洗浄後の廃液タンクと密閉した状態で使用。出来る限り蒸発を少なくするよう対策済みである。廃油は産廃処理業者により、蒸留再生された物を、購入している。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	排出量	350 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・洗浄１回に対する使用量の削減実施。更に検討中。 ・根本的にｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝの代替品を検討中		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃油（ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ）分別済み
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ジクロロメタン)	
	全処理委託量	352.3 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	352.3 t	t
	再生利用業者への処理委託量	352.3 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・リサイクル業者に再生処理を委託している。 ・特別管理産業廃棄物ではない代替品を検討している。		

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油(ジクロロメタン)</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>350 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>350 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>350 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・リサイクル業者に再生処理を委託している。
・特別管理産業廃棄物ではない代替品の検討。
・一回の洗浄に使用する量を少なくする。</td></tr>
<tr><td rowspan="3" colspan="2">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）　352.3 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
2020年4月より実施開始済み</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

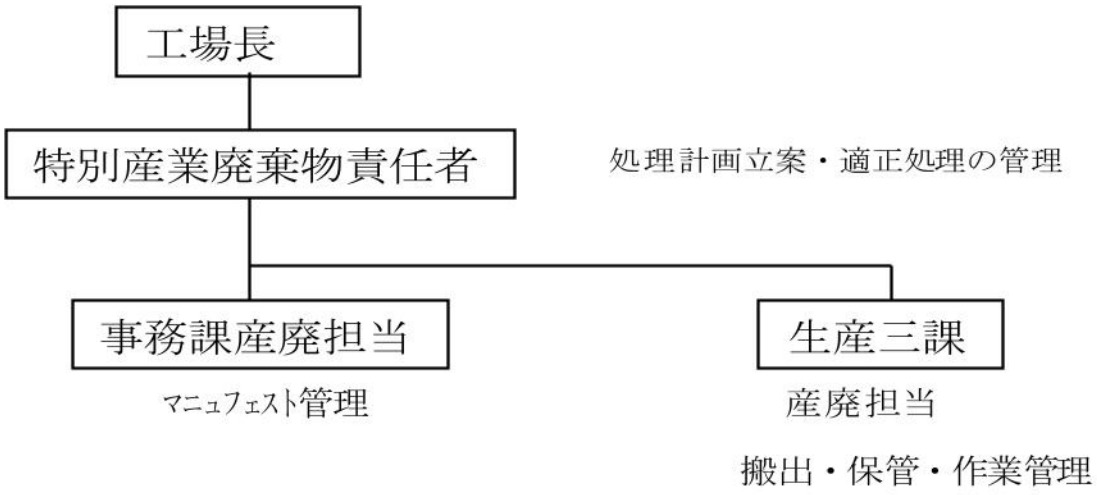
６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

天板・シンク製造工程

材料容器洗浄
↓
使用済ジクロロメタン回収
↓
再生処理業者へ再生依頼
↓
再生　→　再生品を購入


工場長
特別産業廃棄物責任者
処理計画立案・適正処理の管理
事務課産廃担当
マニュフェスト管理
生産三課
産廃担当
搬出・保管・作業管理

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月17日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　276-0022

住所 千葉県八千代市上高野1807-4

法人名 タカラスタンダード株式会社 関東工場 工場長

代表者 肥塚 弘一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-482-7171

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	タカラスタンダード株式会社 関東第二工場
事業場の所在地	千葉県八千代市上高野1979-3
事業の種類	大分類　製造業　中分類 化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	330 t	全処理委託量	330 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	330 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	330 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	全前年度(令和4年度)	334.3 t
	前年度(令和5年度)	352.3 t

(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)
2020年4月より実施開始済み

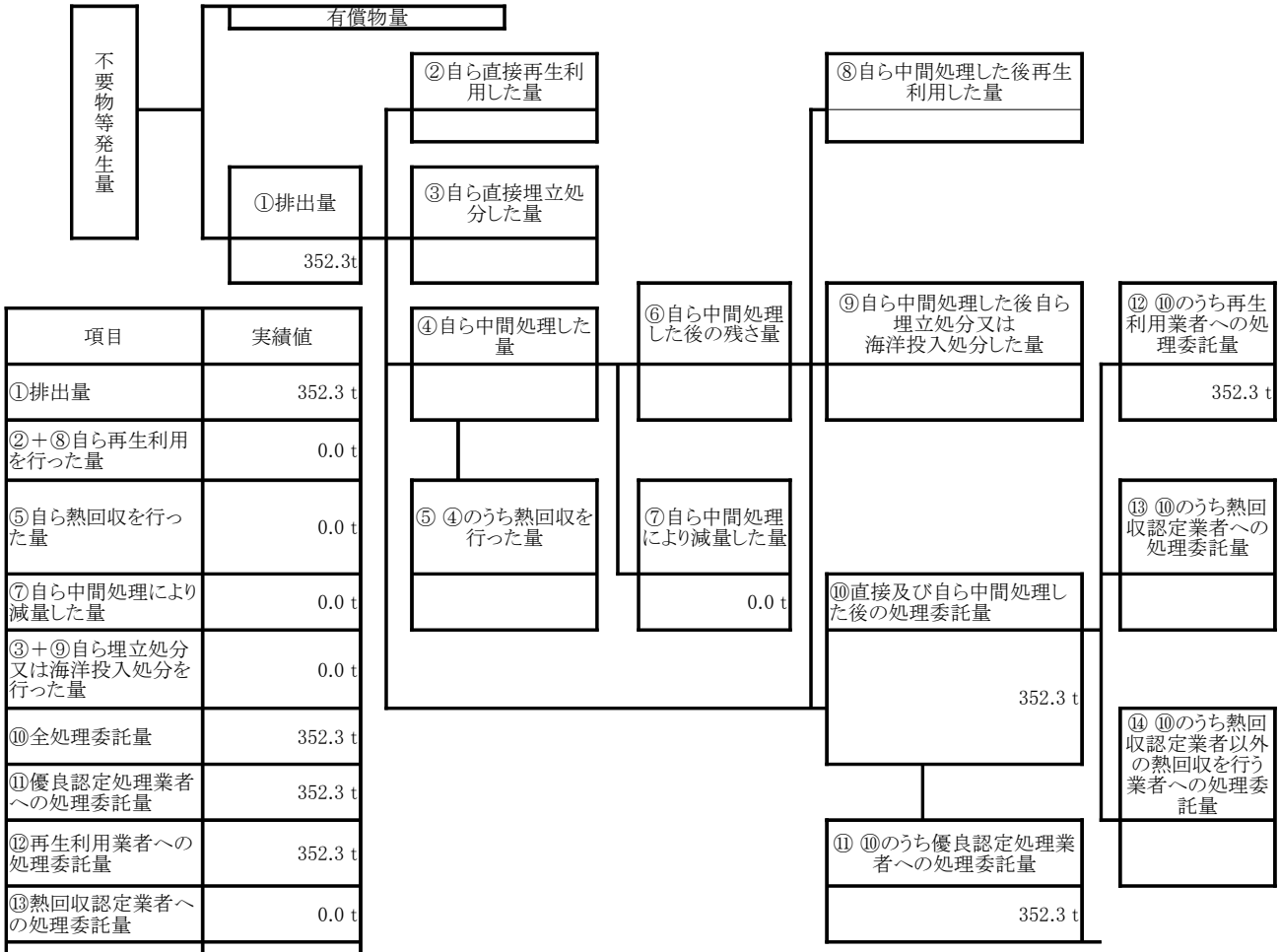
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況

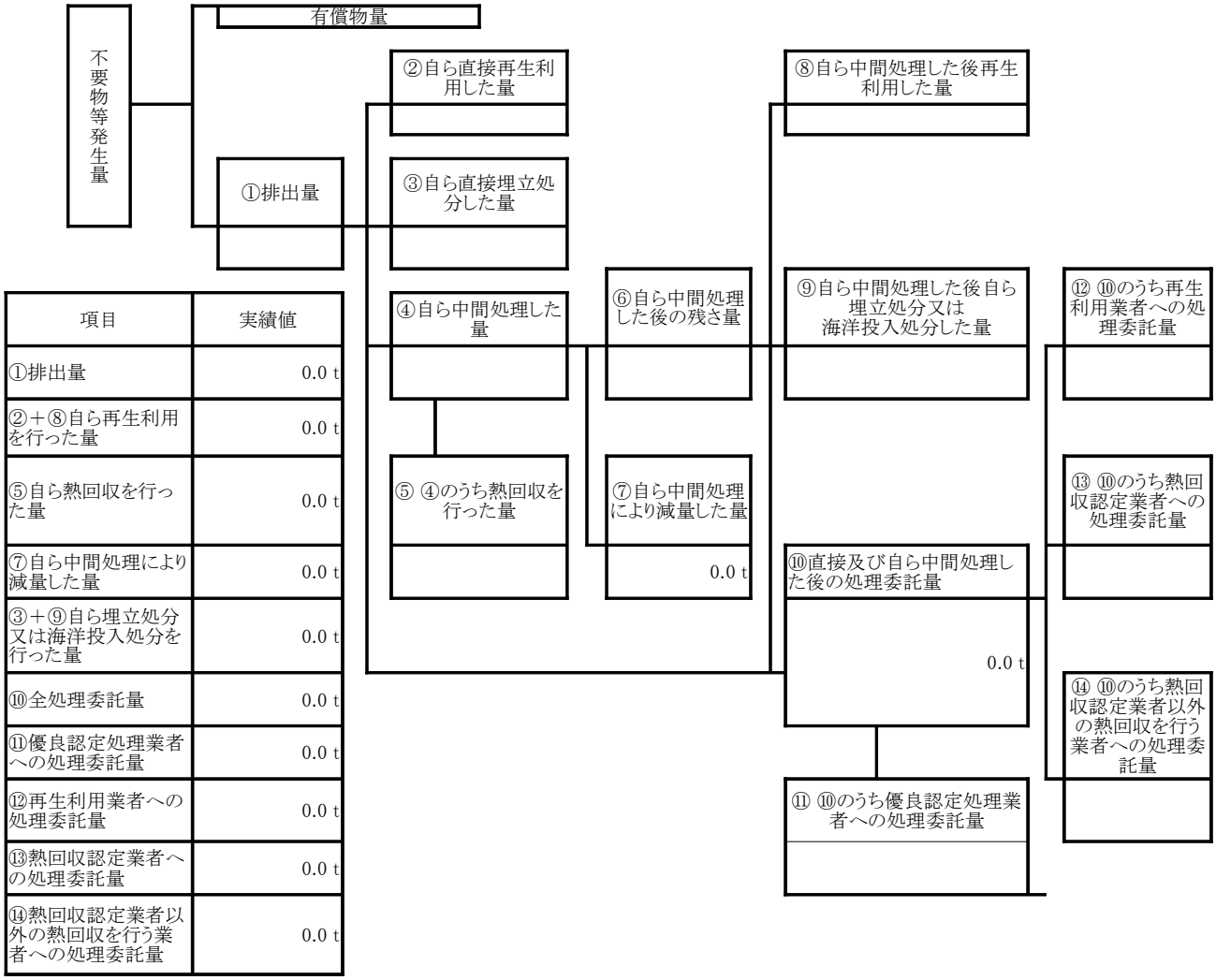
（特別管理産業廃棄物の種類:　ジクロロメタン　）



項目	実績値
①排出量	352.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	352.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	352.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	352.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

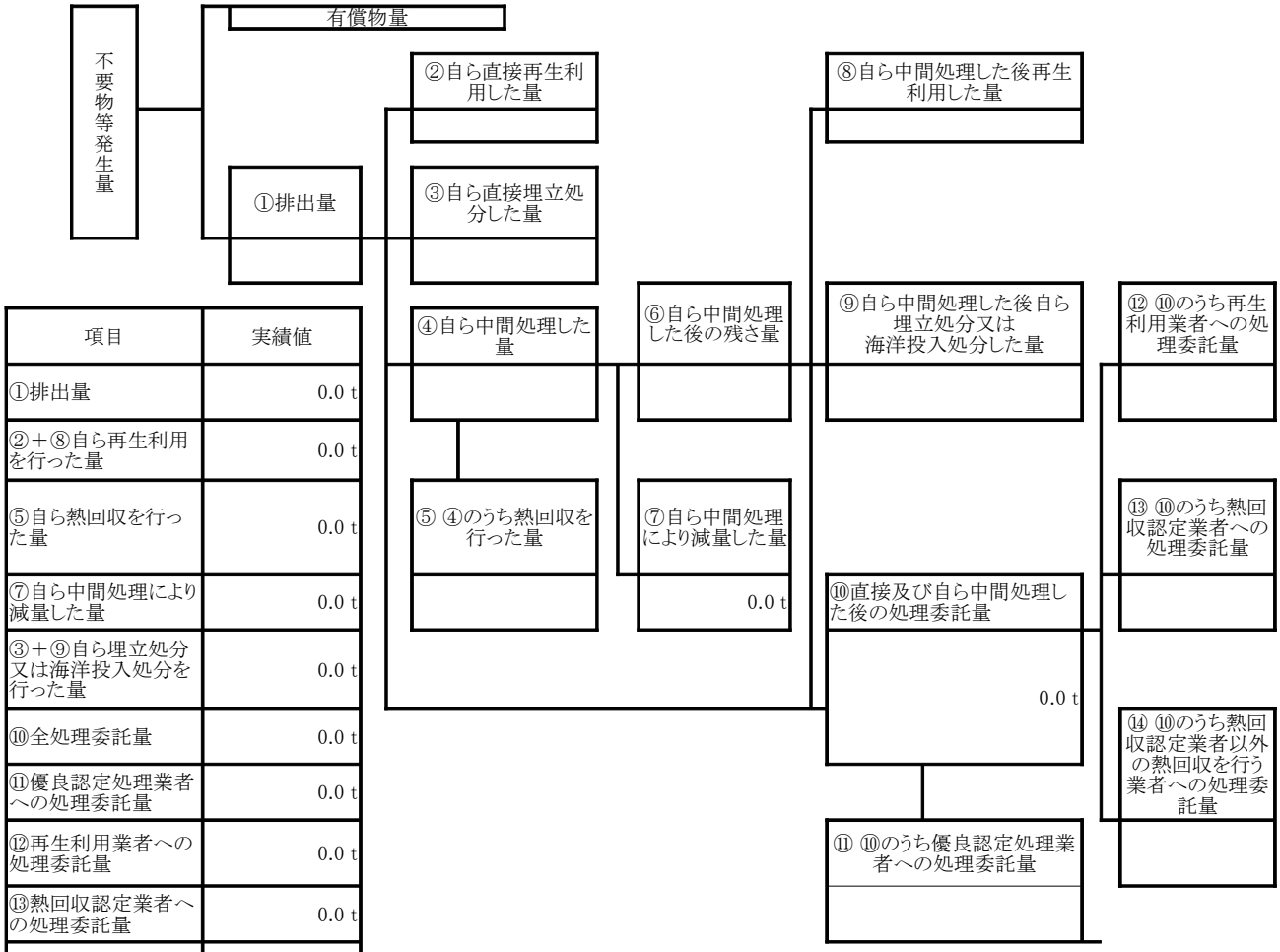


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



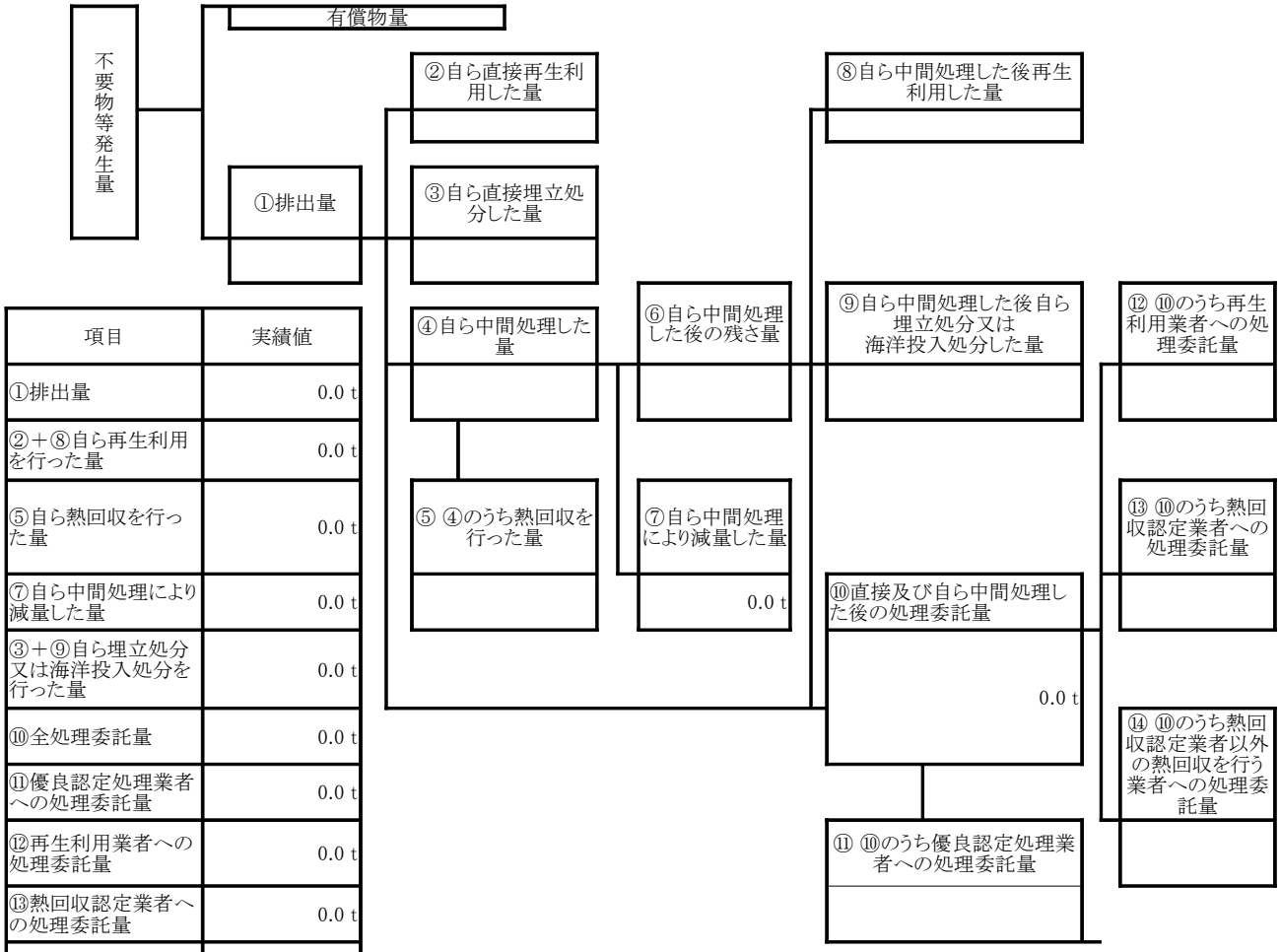
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

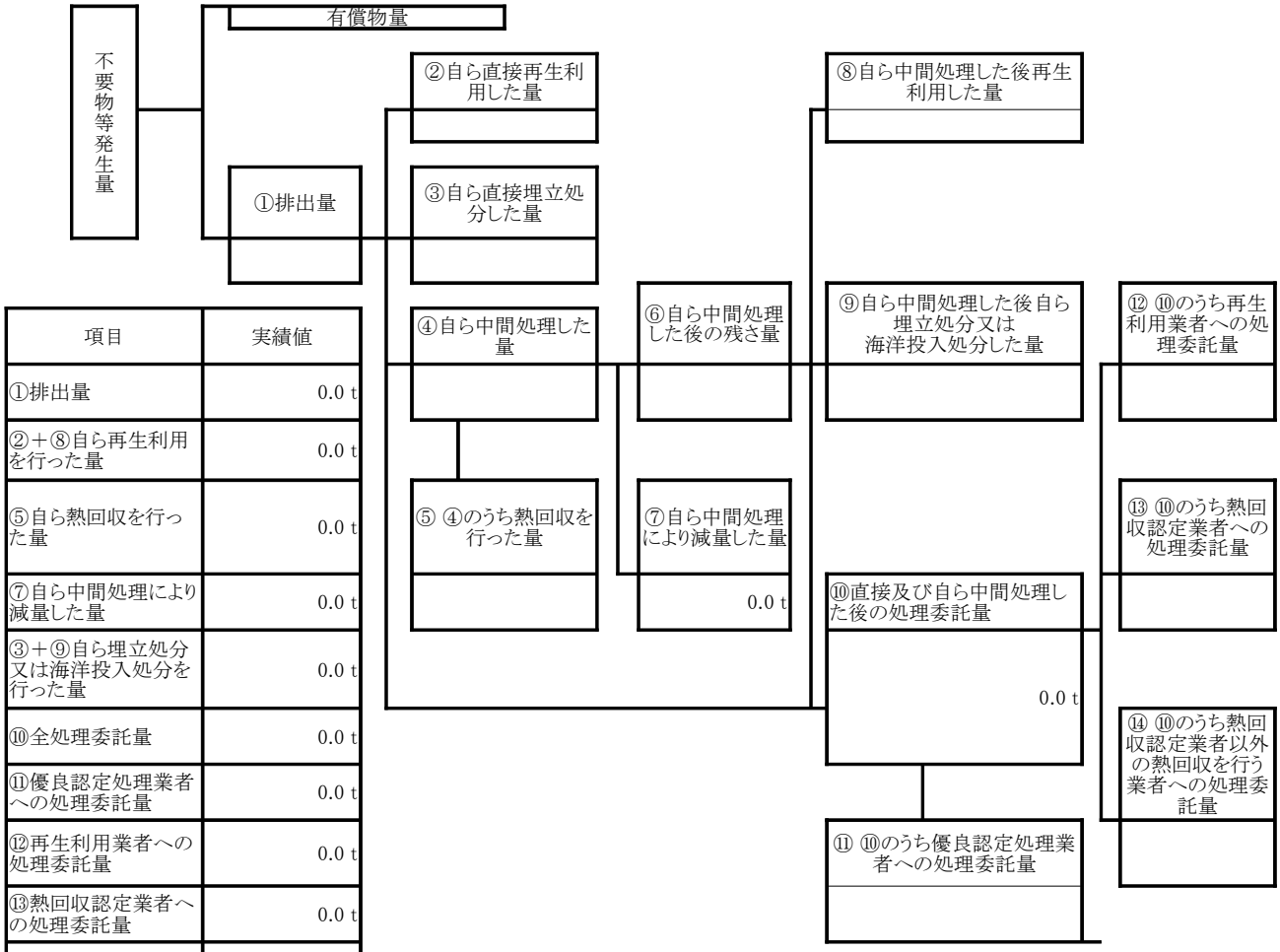


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

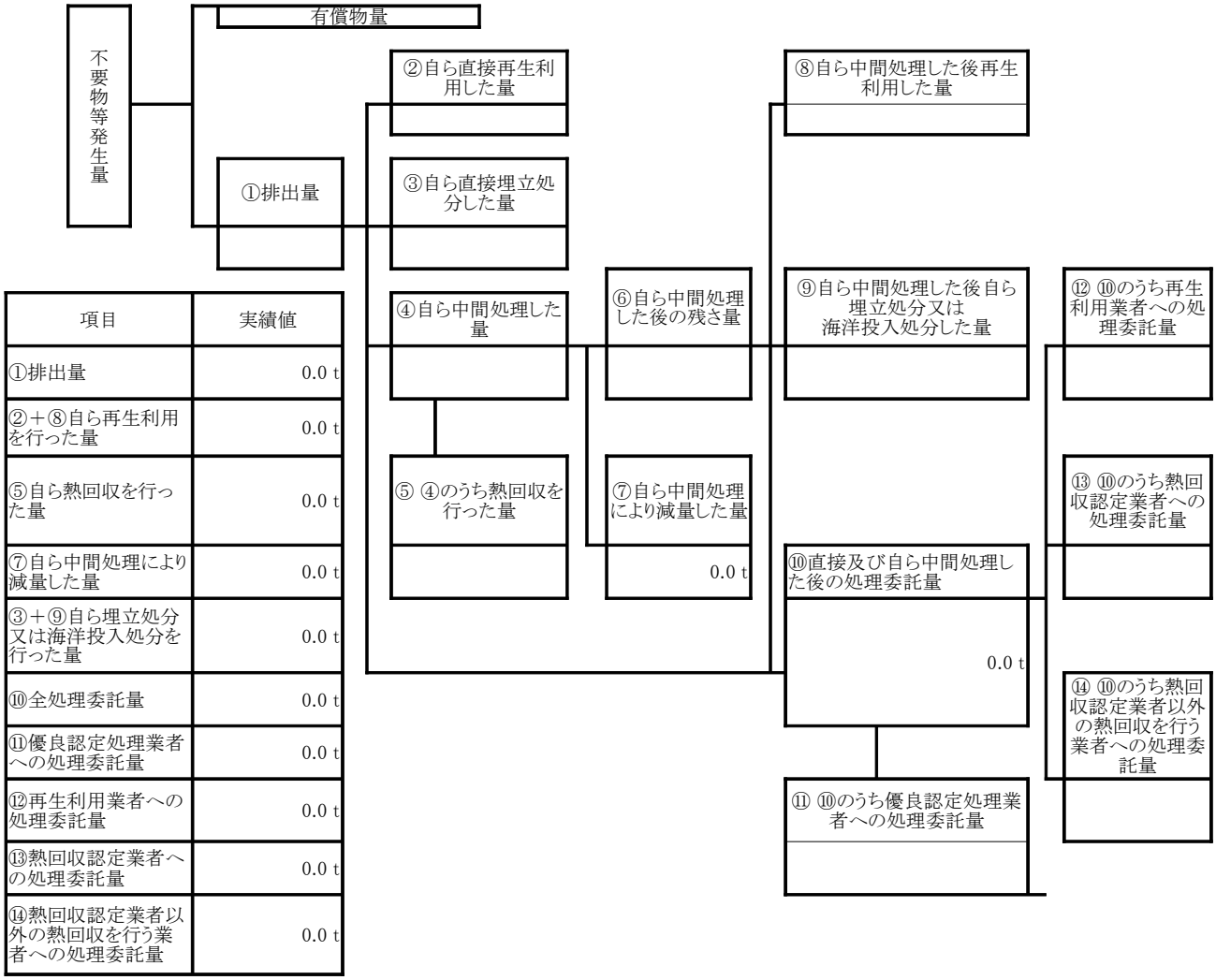


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

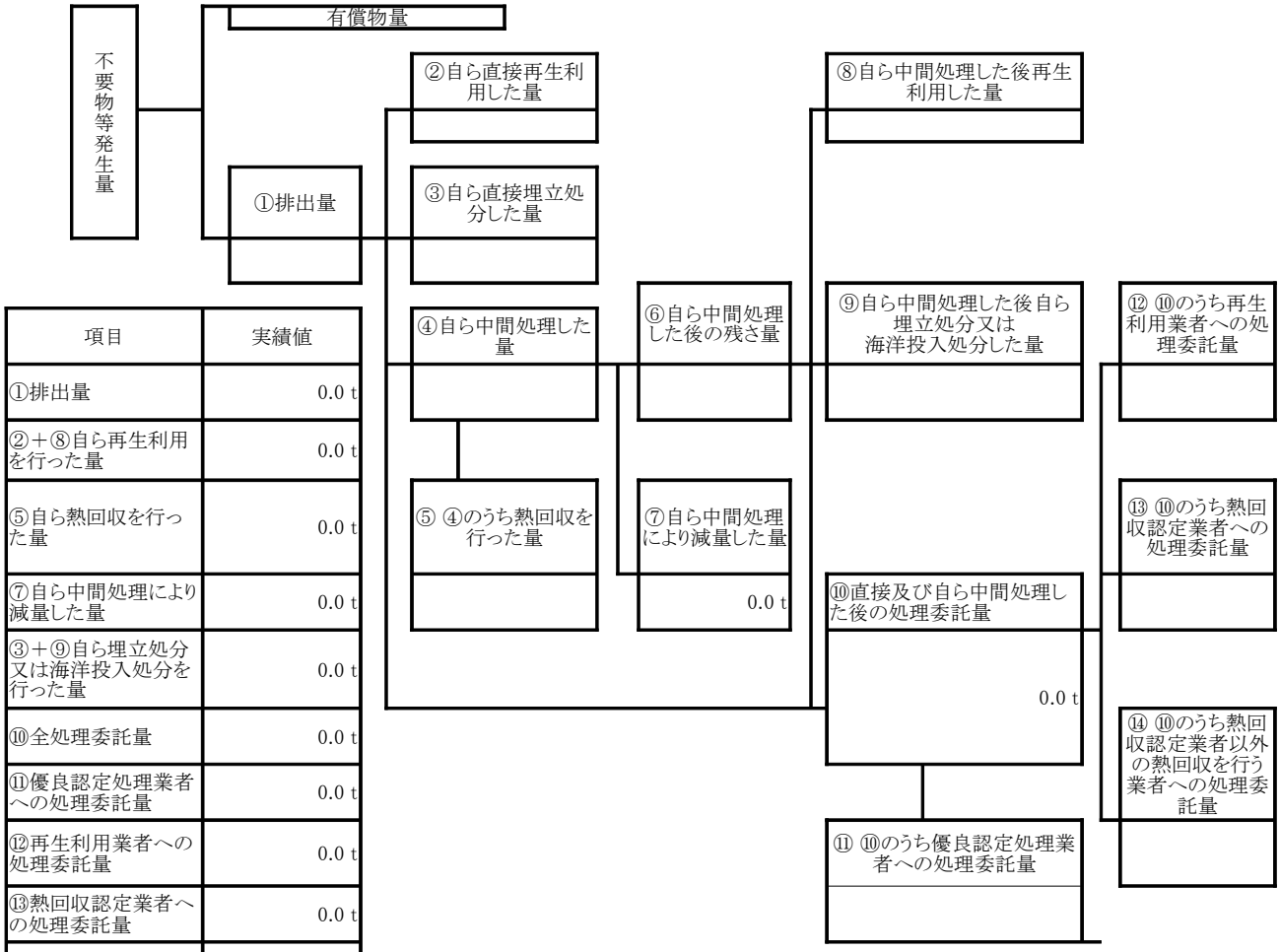


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

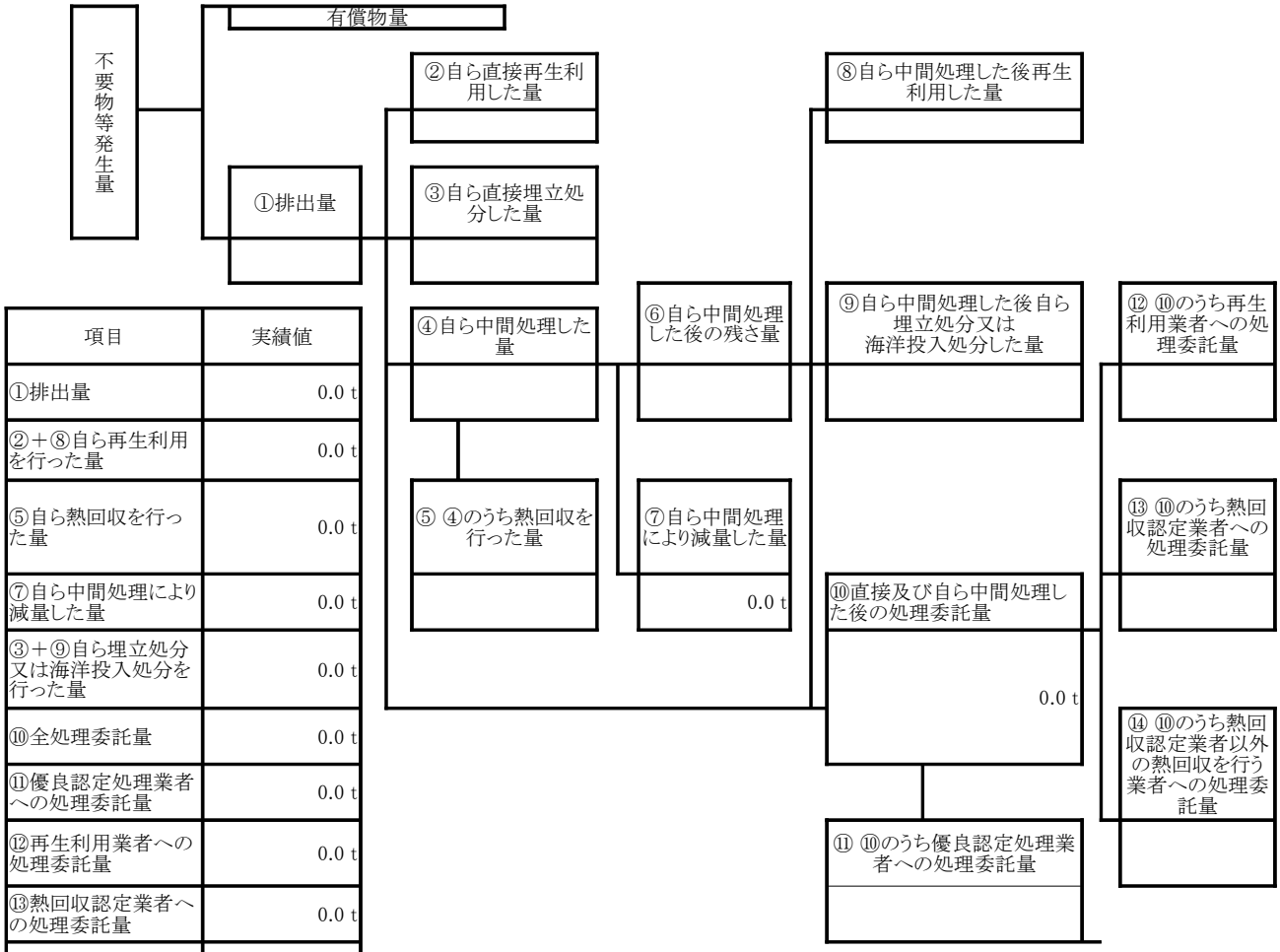


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

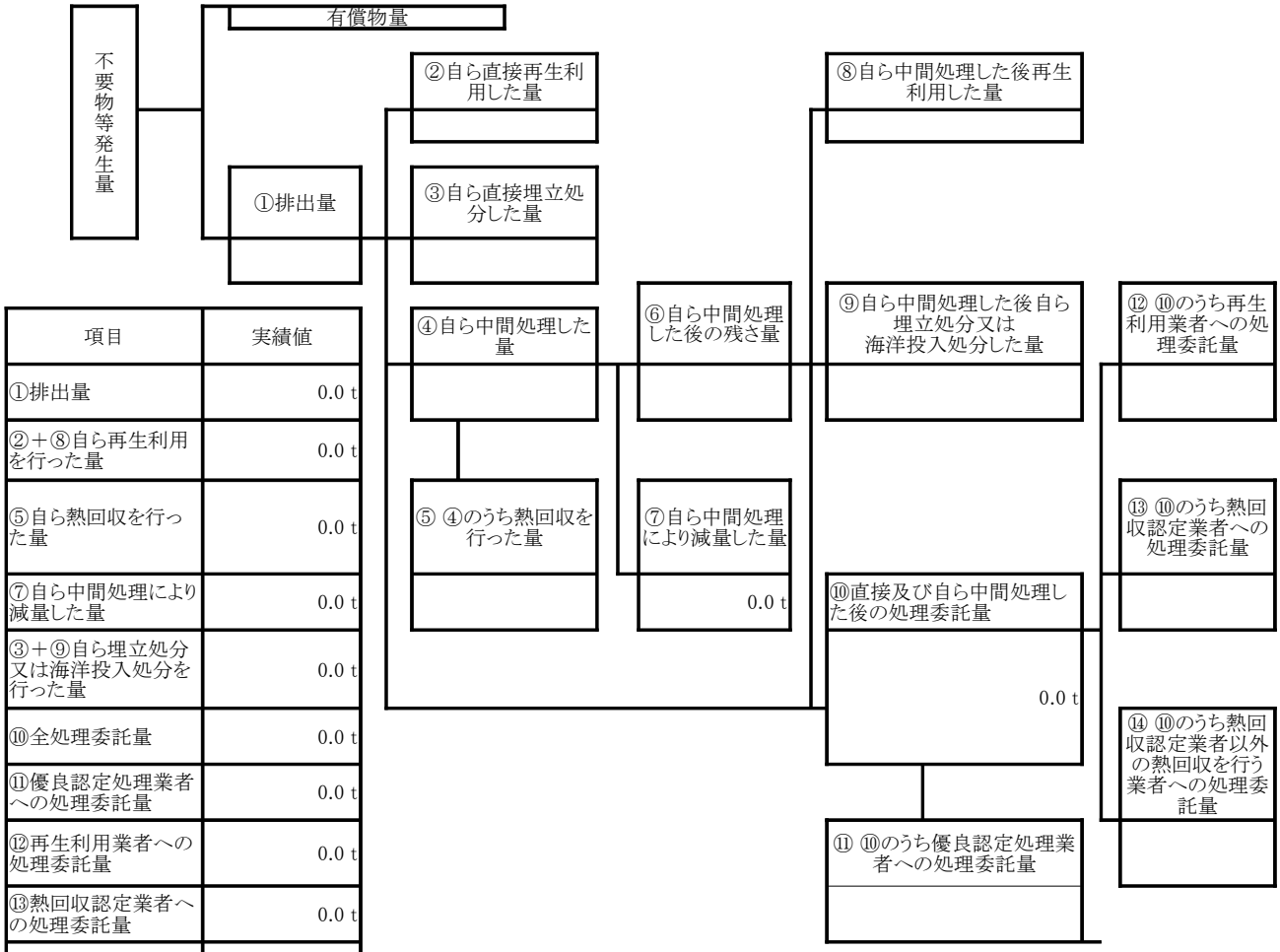


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

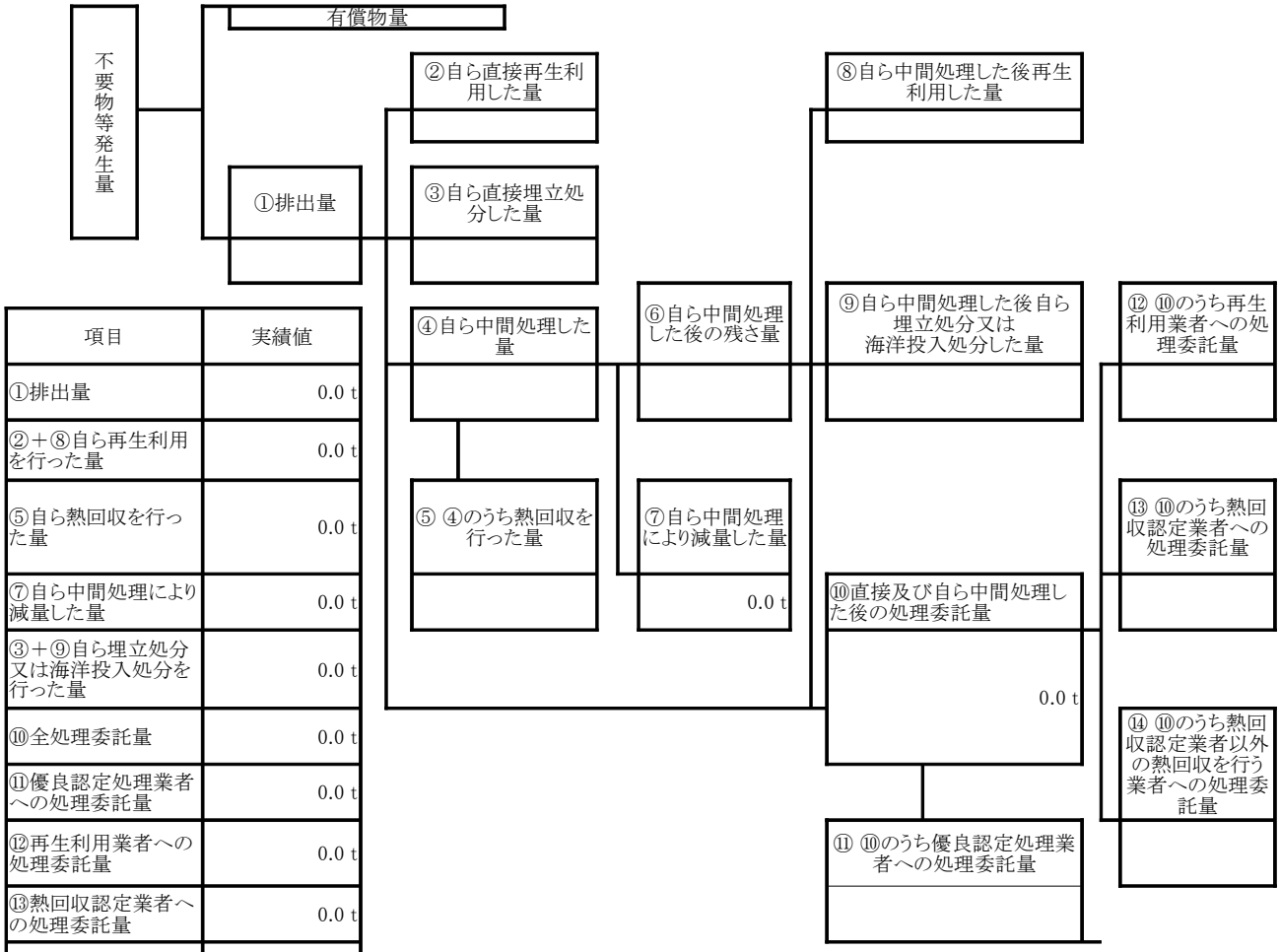


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



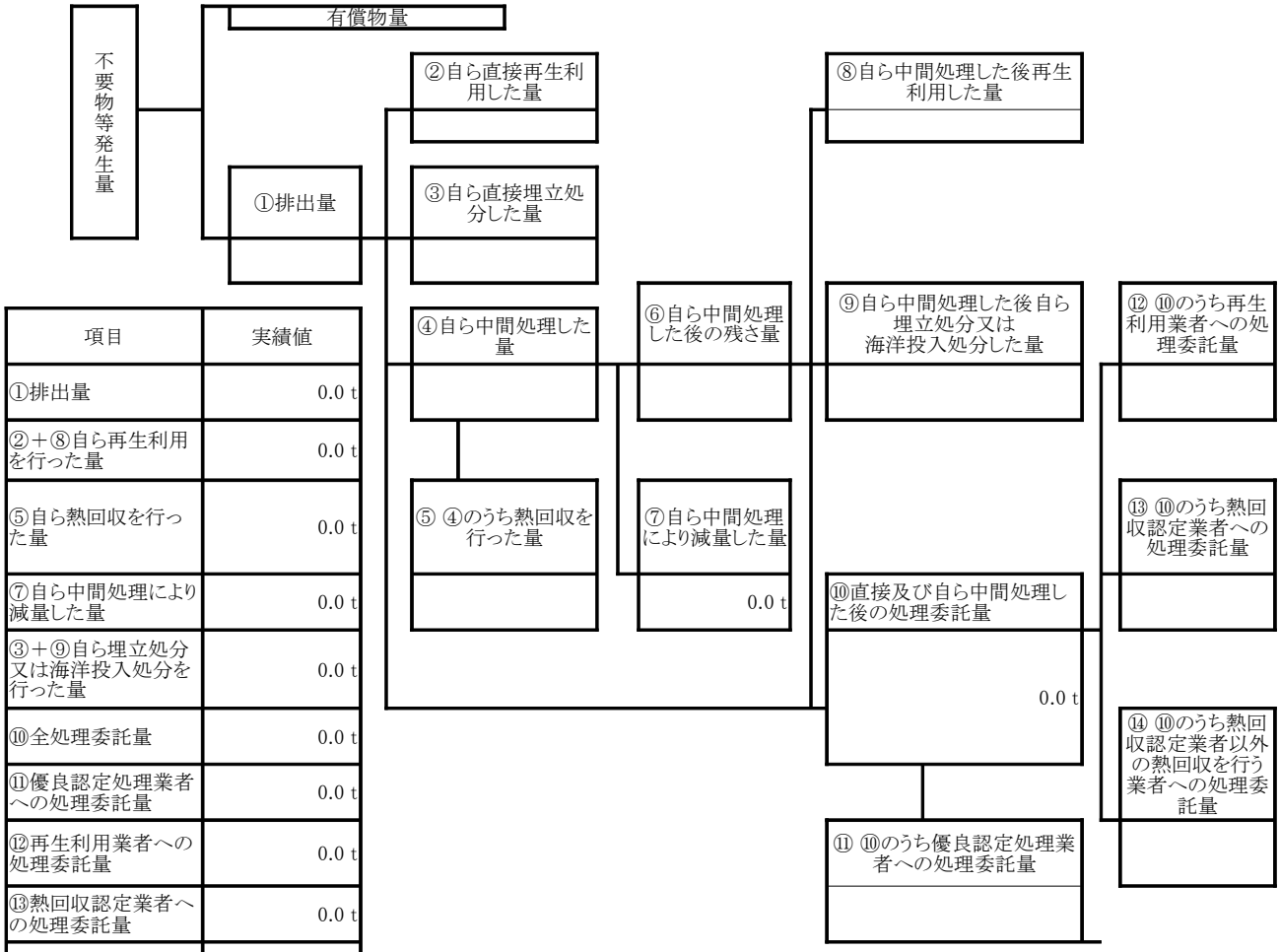
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

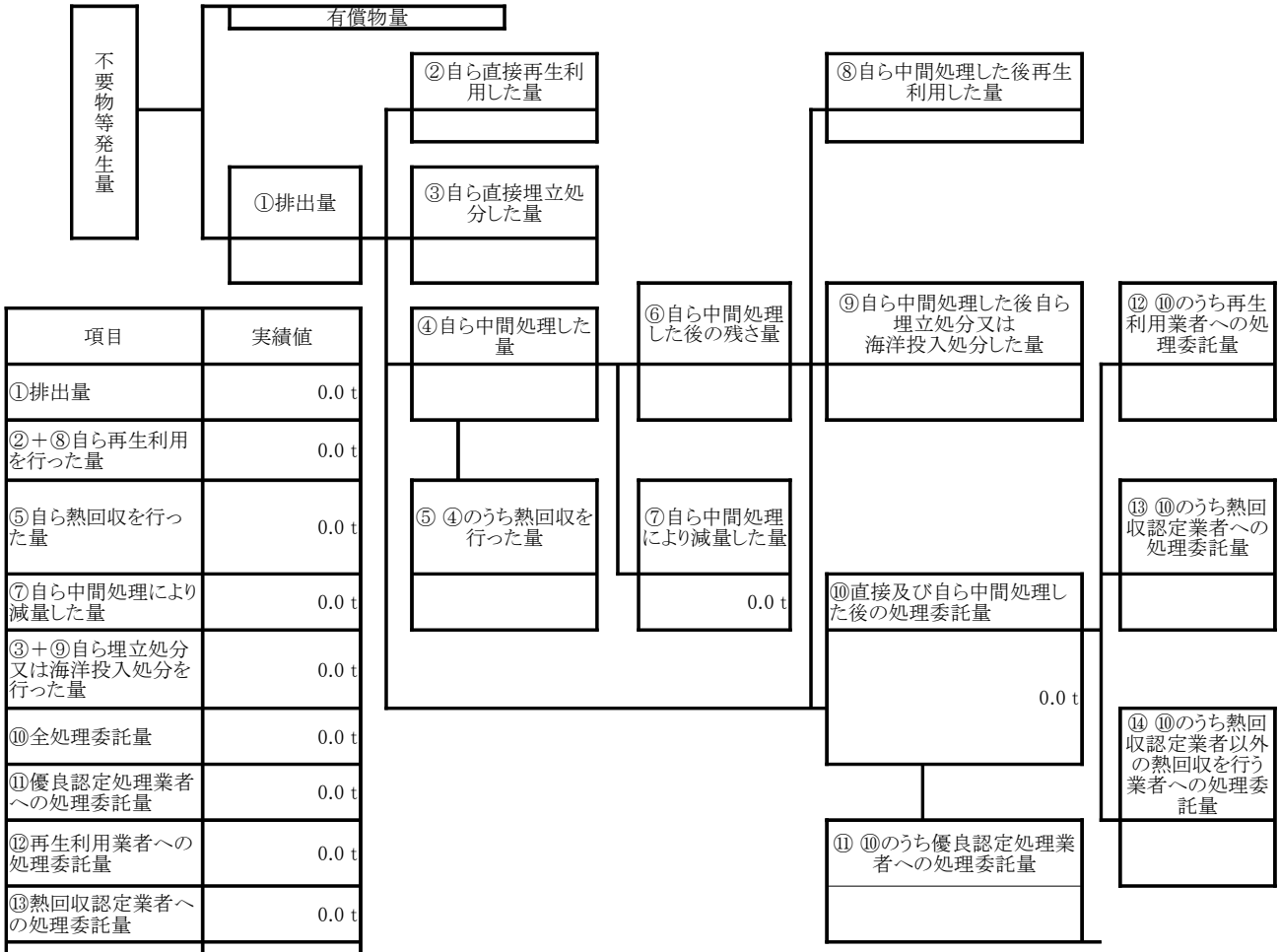


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

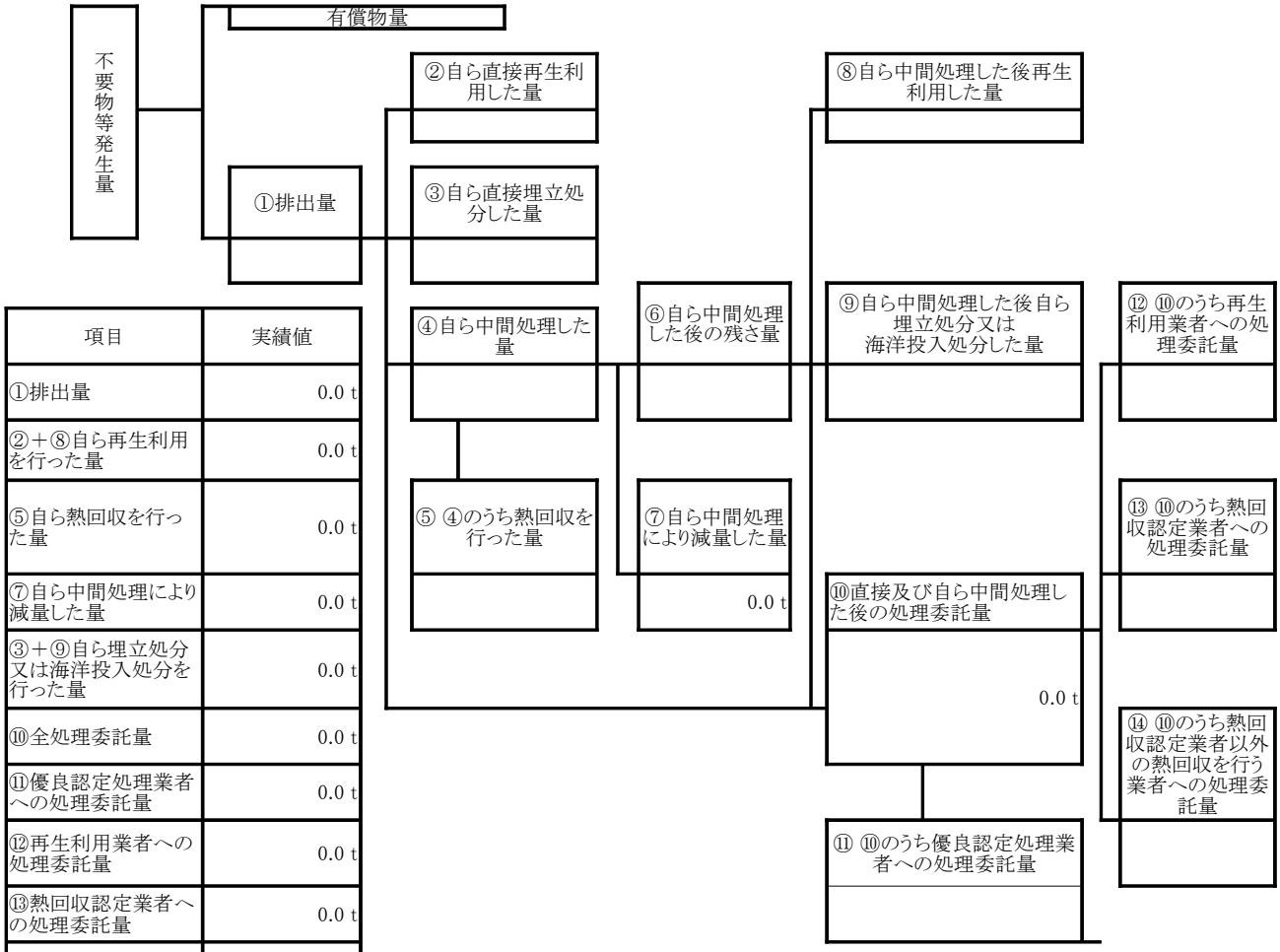


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

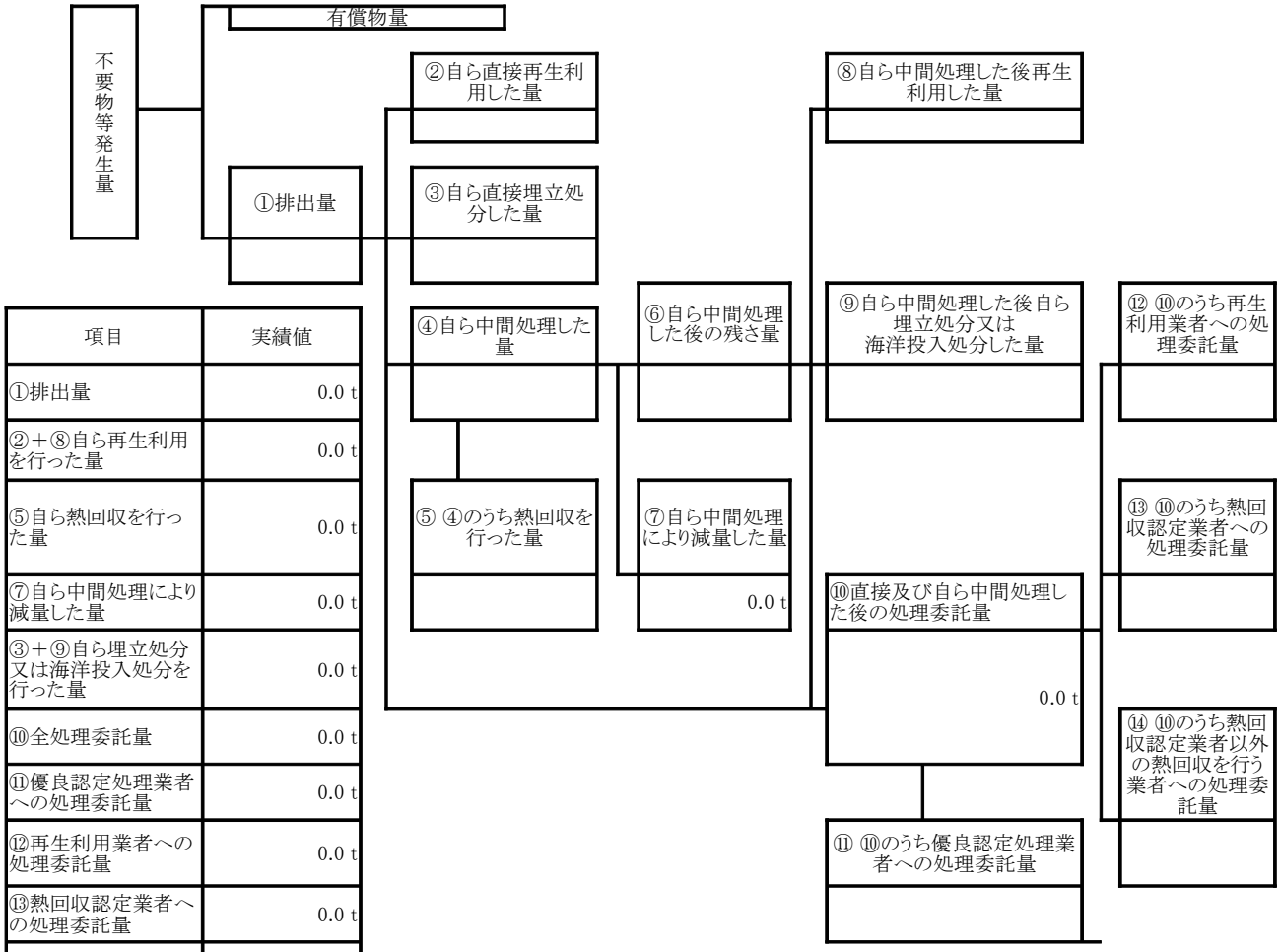


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



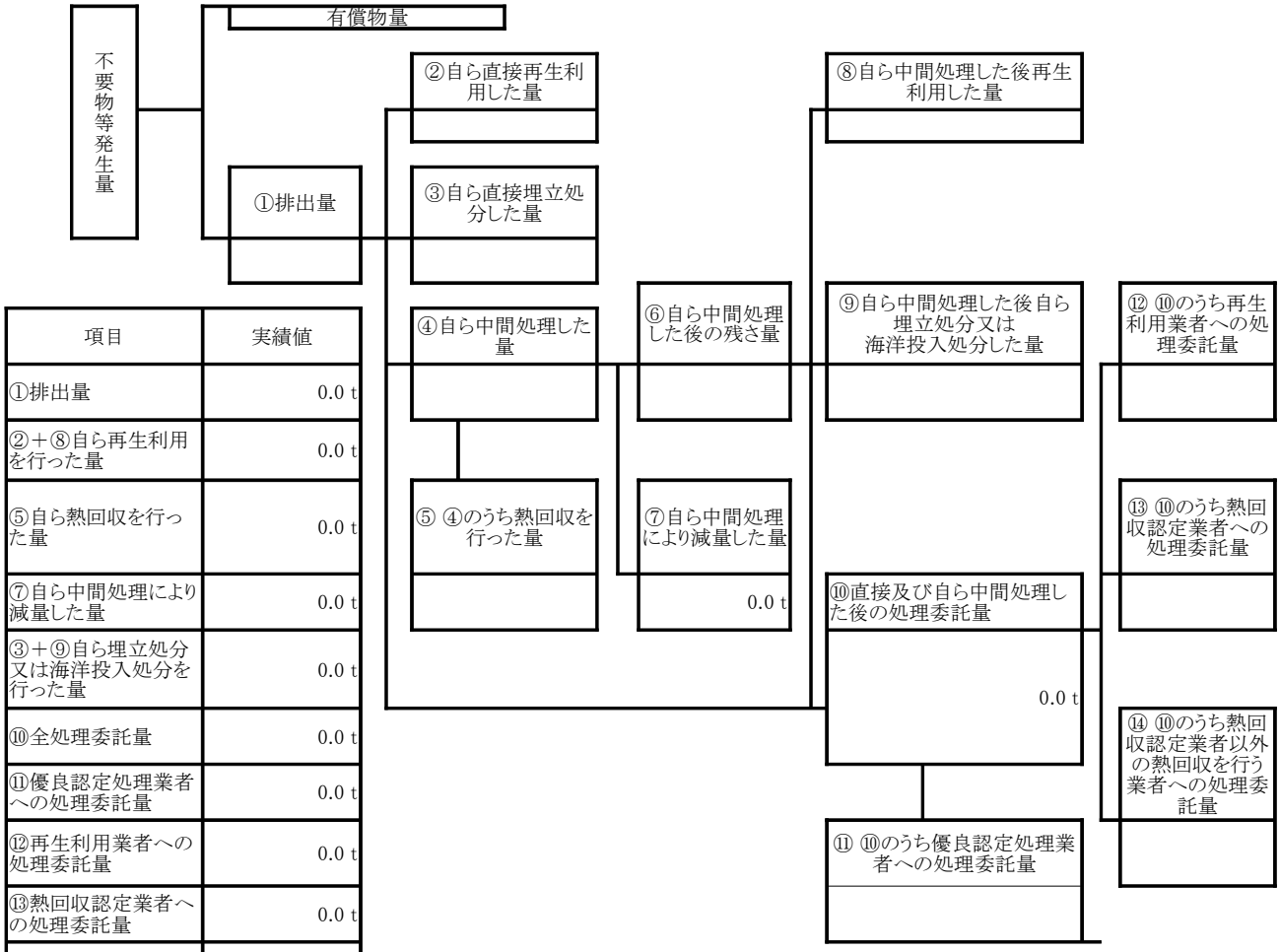
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



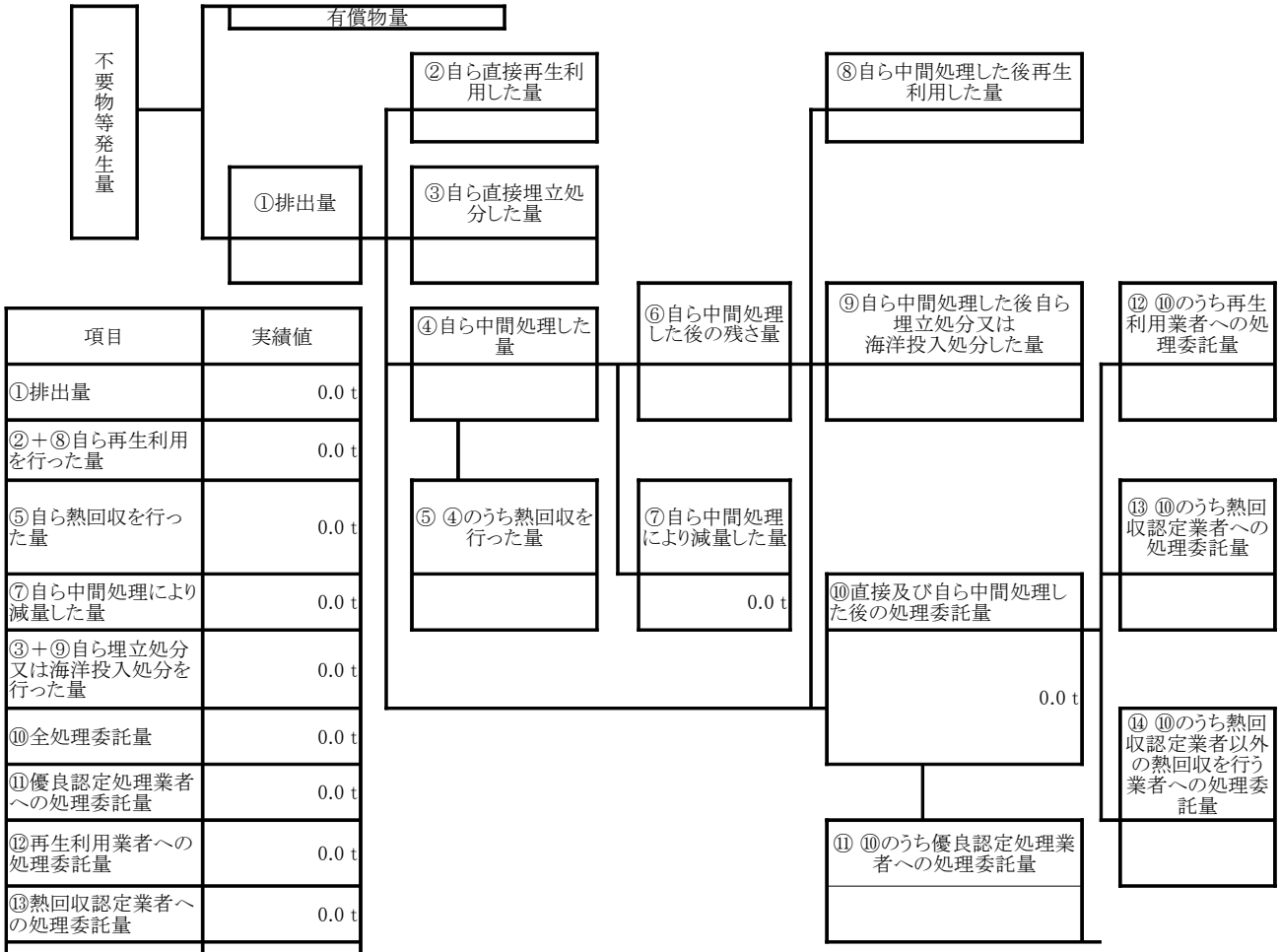
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

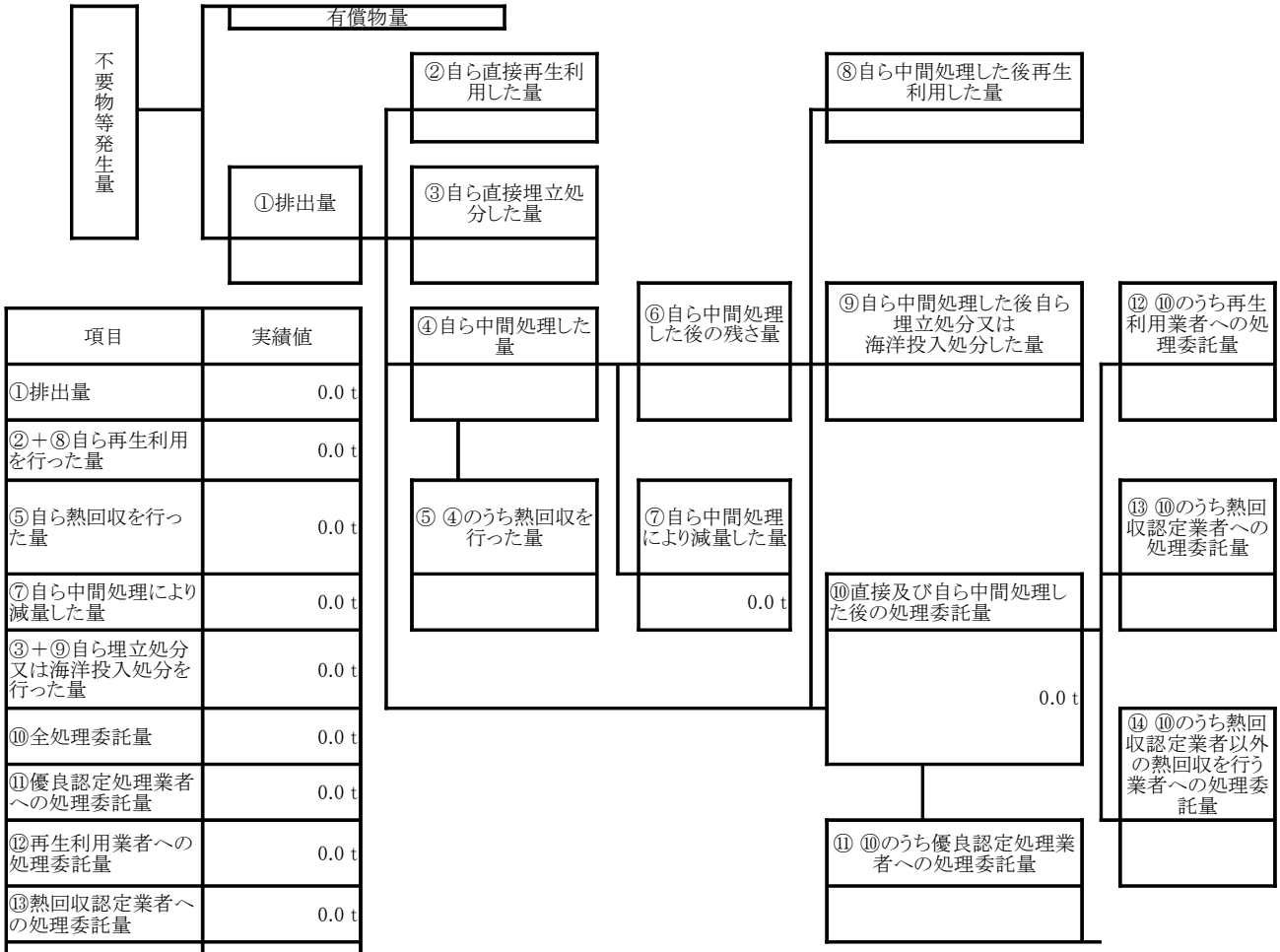


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

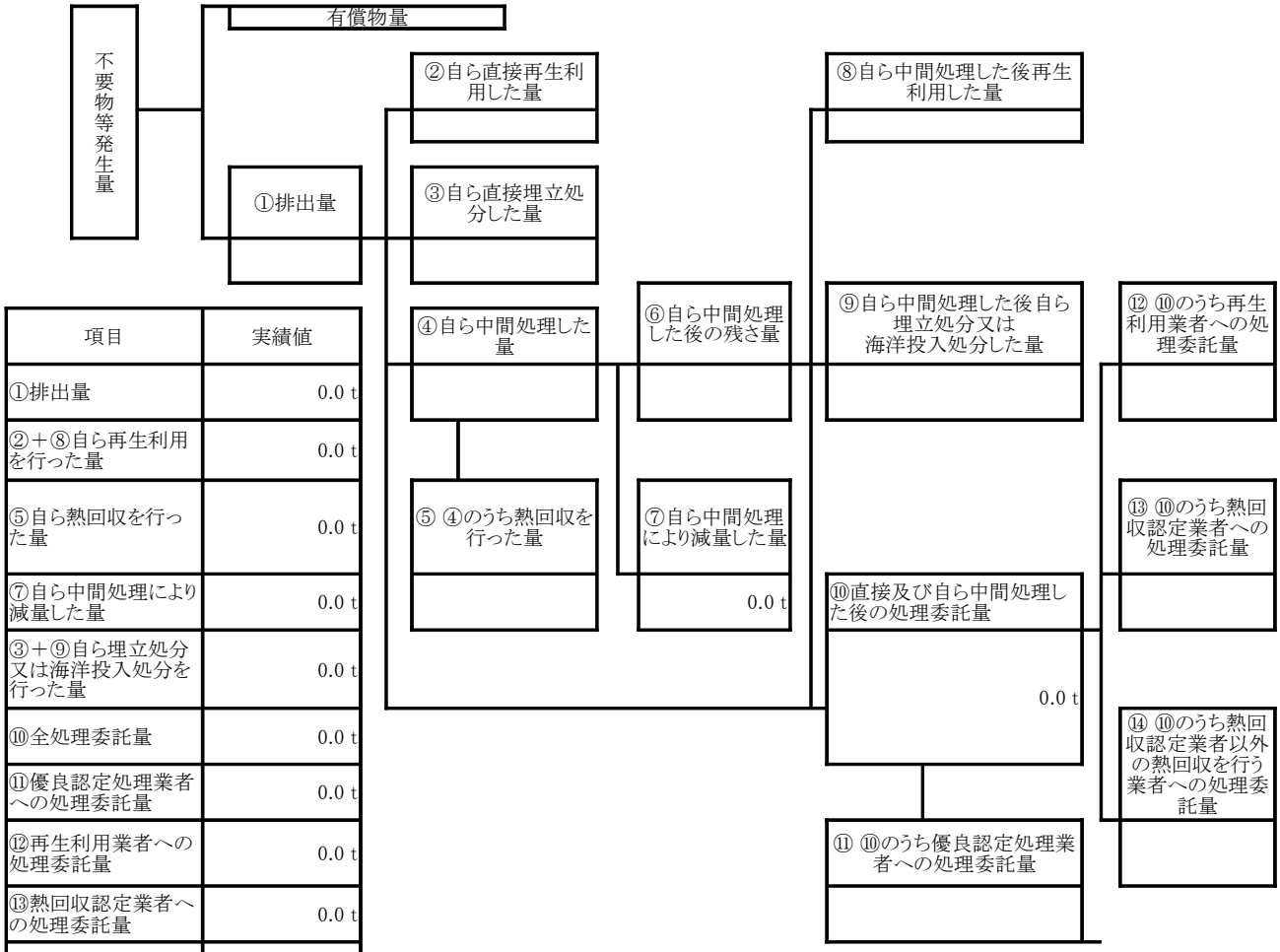


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

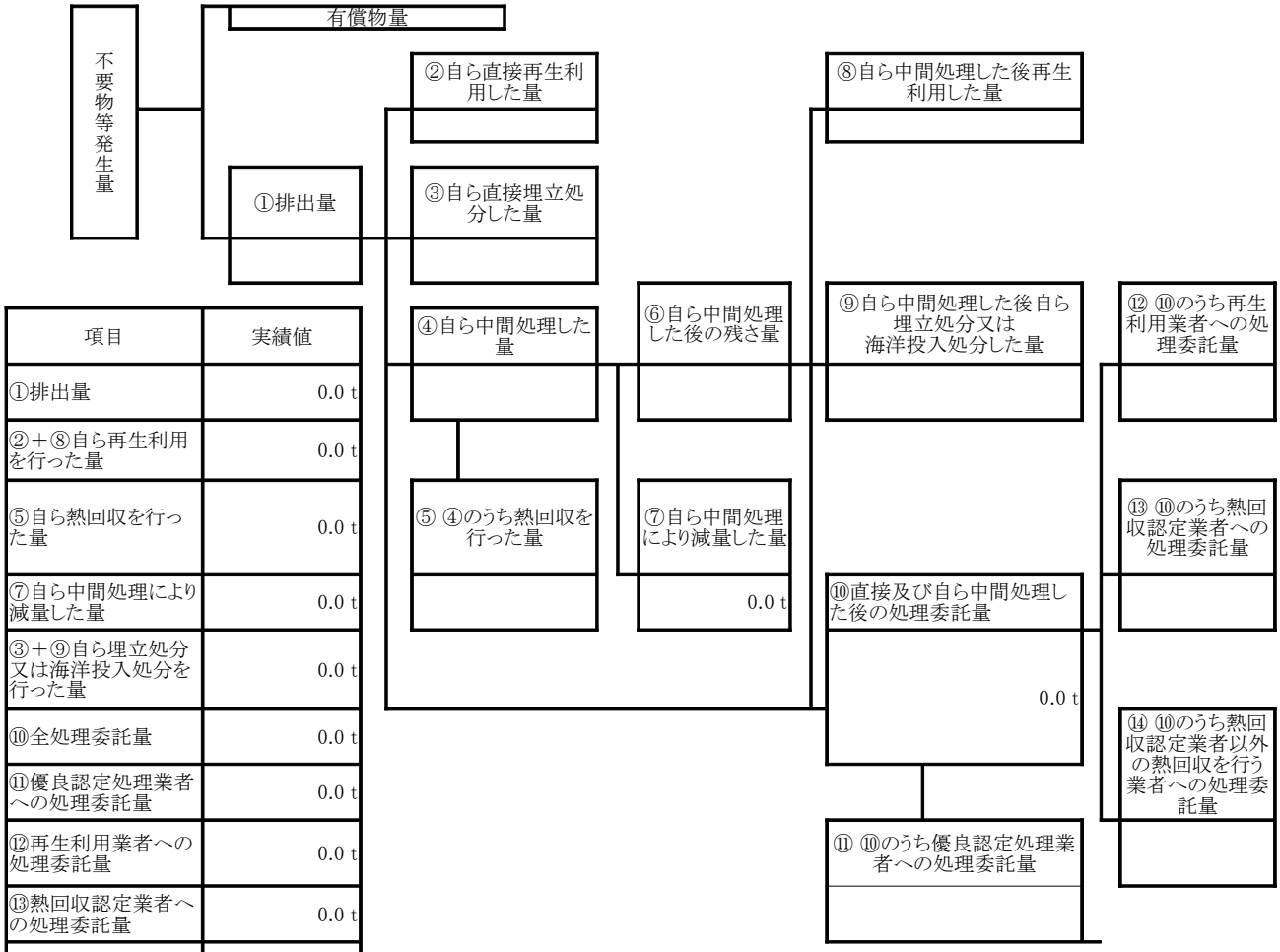


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

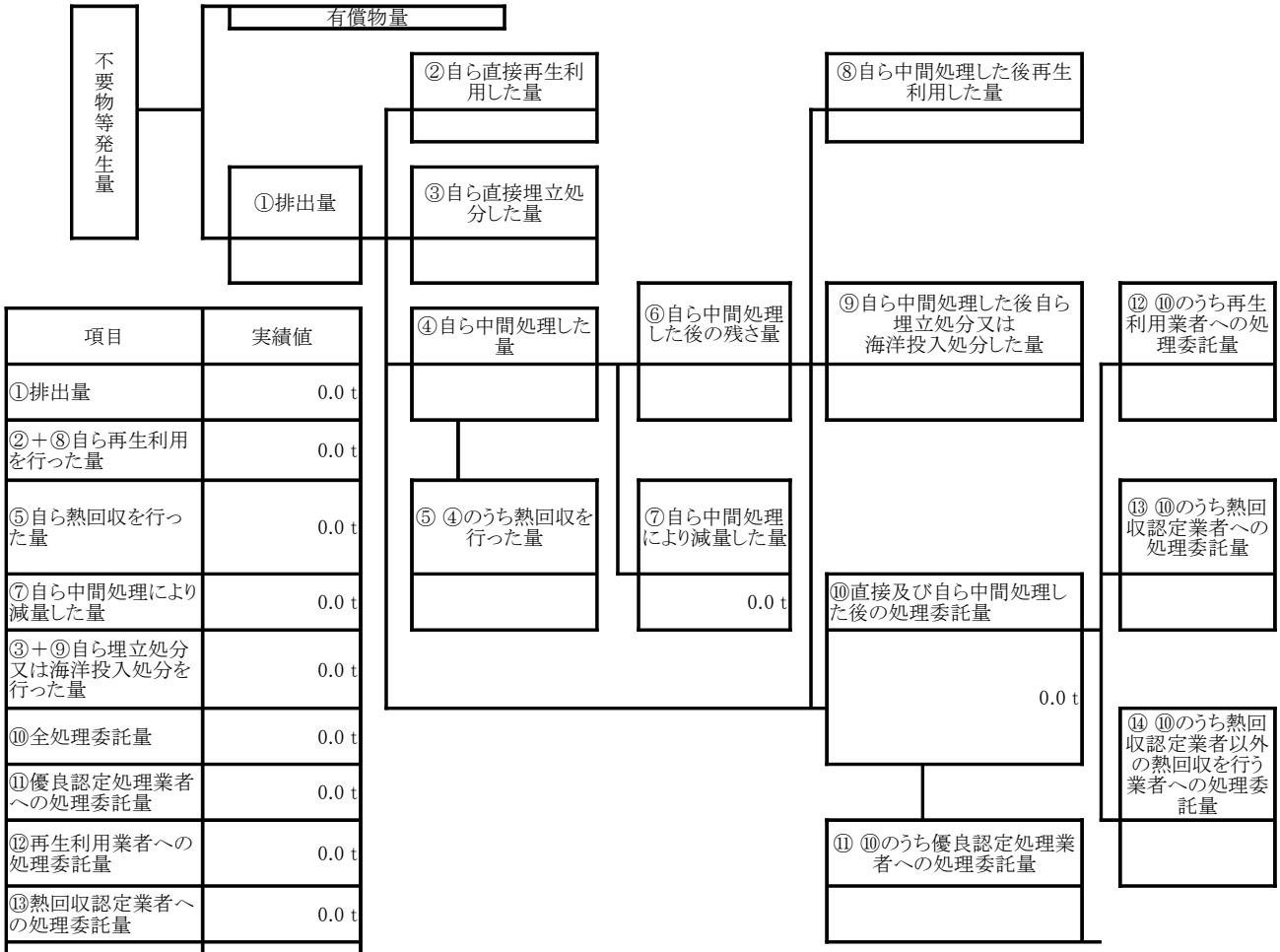


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月27日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　286-0825

住　所　千葉県成田市新泉３番地の１

法人名　武田薬品工業株式会社 成田工場

代表者　道岡 武春

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0476-36-1225

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	武田薬品工業株式会社 成田工場
事業場の所在地	千葉県成田市新泉３番地の１
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　製造業　中分類：　化学工業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額：120億円
③従業員数	221名（社員180名　・派遣社員41名）　2024年3月末
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	別紙（処理工程）参照

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙（管理体制）参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
排出量	990.1 t	t

（これまでに実施した取組）
・ドラムドライヤーの乾燥処理による廃油発生量の削減

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
排出量	t	t

（今後実施する予定の取組）
・ドラムドライヤーによる乾燥処理を増やし、廃油発生量を削減する。
・精製工程を見直し、廃油の発生量削減を図る。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・分別に関する注意事項の教育を実施している

②計画

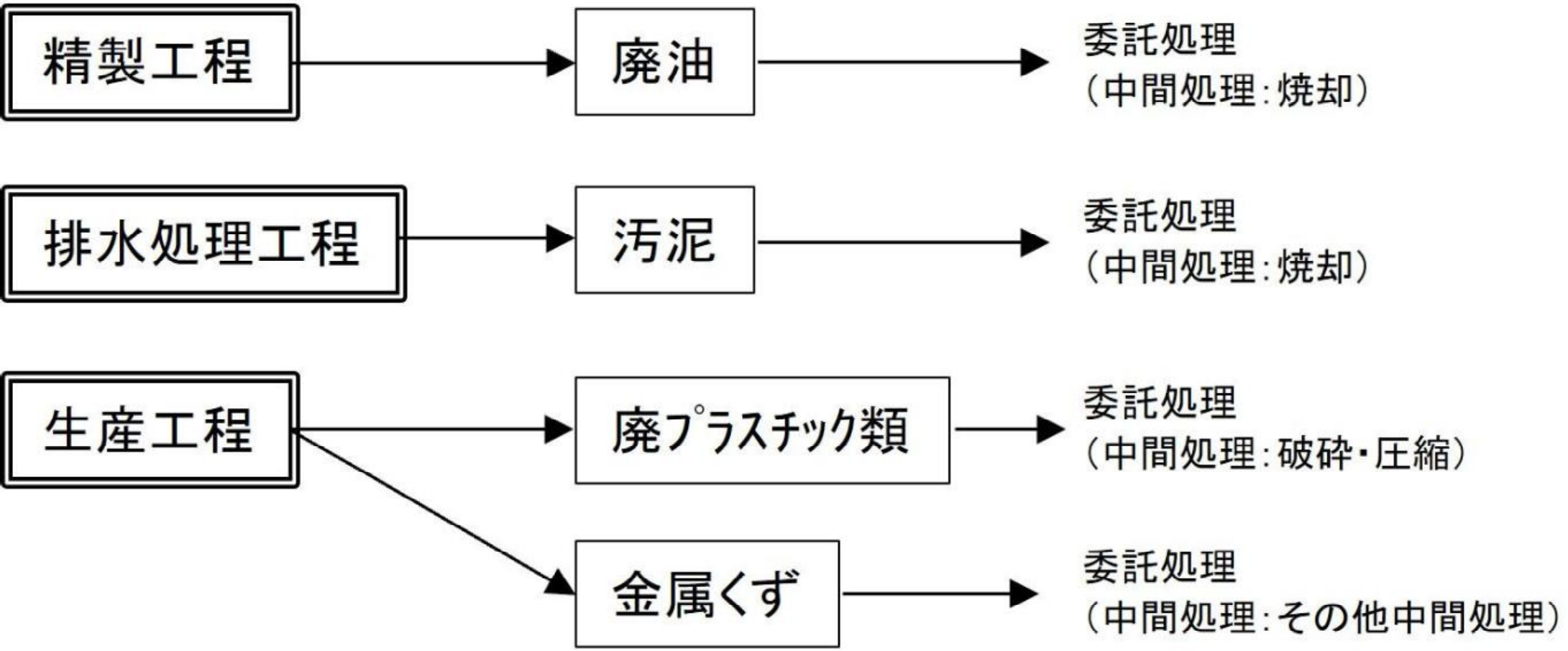
（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・今後も継続して教育を行い、再生利用可能な廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類は分け可能な限り最終処分（埋立処理）でない処分先に処理委託する

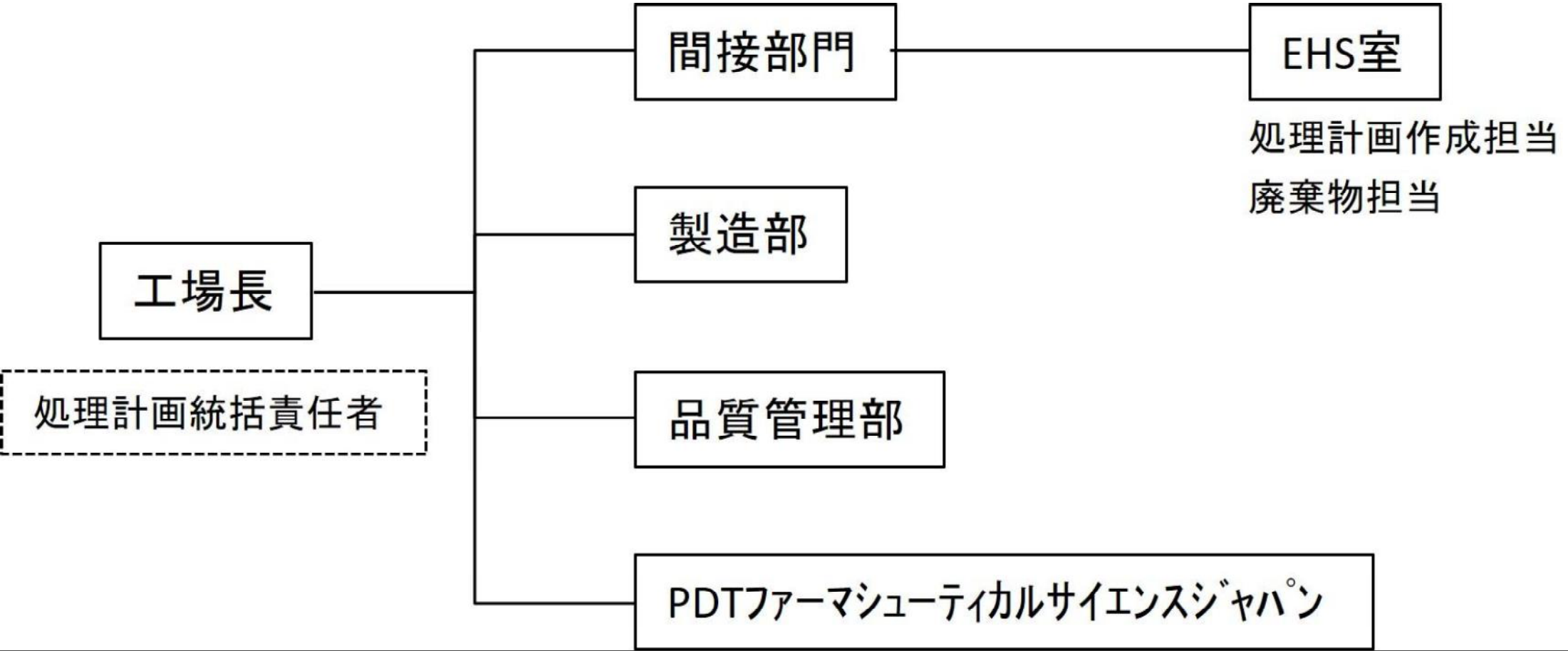
<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに実績はない</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も実施しない</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに実績はない</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も実施しない</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに実績はない</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も実施しない</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
埋立処理ができる限り少なくなるよう、汚れの少ないﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類に関しては分別を徹底し、RPF原料として再利用している業者への委託を行っている。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後は廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類の埋立処分を行っている業者の委託を見直し、再生利用ができる処理業者への委託を目指す。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。


精製工程
廃油
委託処理
（中間処理：焼却）
排水処理工程
汚泥
委託処理
（中間処理：焼却）
生産工程
廃プラスチック類
委託処理
（中間処理：破砕・圧縮）
金属くず
委託処理
（中間処理：その他中間処理）


工場長
処理計画統括責任者
間接部門
製造部
品質管理部
PDTファーマシューティカルサイエンスジャパン
EHS室
処理計画作成担当
廃棄物担当

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	廃ｱﾙｶﾘ	金属くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	水銀使用製品	廃酸	その他混合廃棄物
	排　出　量	884 t	60 t	13 t	9 t	4 t	0.1 t	0.01 t	20 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	廃ｱﾙｶﾘ	金属くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	水銀使用製品	廃酸	その他混合廃棄物
	排　出　量	880 t	60 t	10 t	8 t	4 t	0.1 t	0.01 t	20 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	廃ｱﾙｶﾘ	金属くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	水銀使用製品	廃酸	その他混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	廃ｱﾙｶﾘ	金属くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	水銀使用製品	廃酸	その他混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	廃ｱﾙｶﾘ	金属くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	水銀使用製品	廃酸	その他混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	廃ｱﾙｶﾘ	金属くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	水銀使用製品	廃酸	その他混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	廃ｱﾙｶﾘ	金属くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	水銀使用製品	廃酸	その他混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	廃ｱﾙｶﾘ	金属くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	水銀使用製品	廃酸	その他混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	廃ｱﾙｶﾘ	金属くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	水銀使用製品	廃酸	その他混合廃棄物
	全処理委託量	884 t	60 t	13 t	9 t	4 t	0.1 t	0.01 t	20 t
	優良認定処理業者への処理委託量	16 t	0.7 t	13 t	0 t	0.2 t	0.1 t	0.01 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	廃ｱﾙｶﾘ	金属くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	水銀使用製品	廃酸	その他混合廃棄物
	全処理委託量	880 t	60 t	10 t	8 t	4 t	0.1 t	0.01 t	20 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t	0.7 t	10 t	0 t	0.5 t	0.1 t	0.01 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月27日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　286-0825

住所 千葉県成田市新泉3番地の1

法人名 武田薬品工業株式会社 成田工場

代表者 道岡 武春

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0476-36-1225

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	武田薬品工業株式会社 成田工場
事業場の所在地	千葉県成田市新泉3番地の1
事業の種類	大分類　製造業　中分類 化学工業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

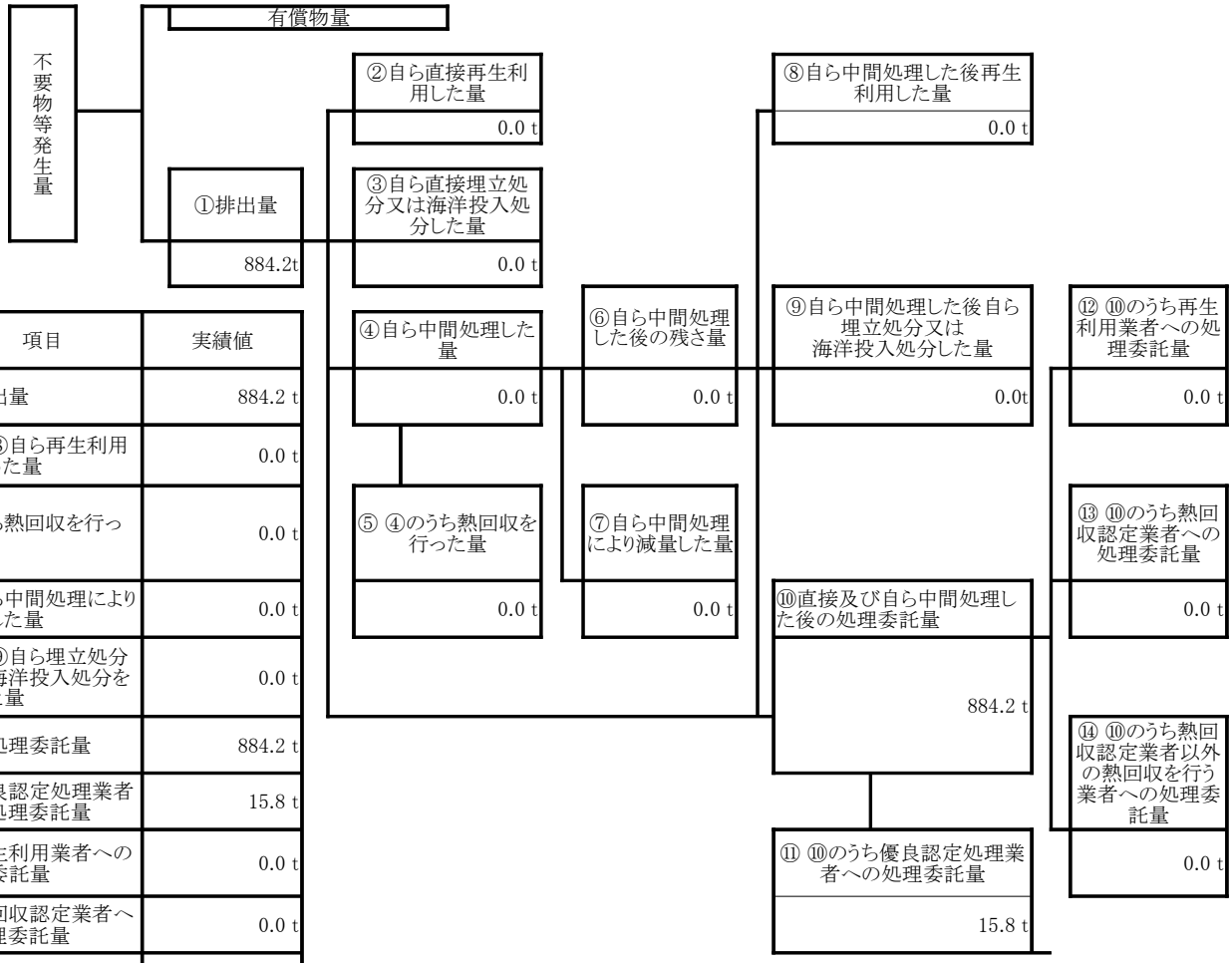
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1058.1 t	全処理委託量	1058.1 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	202.1 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	4 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃油**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

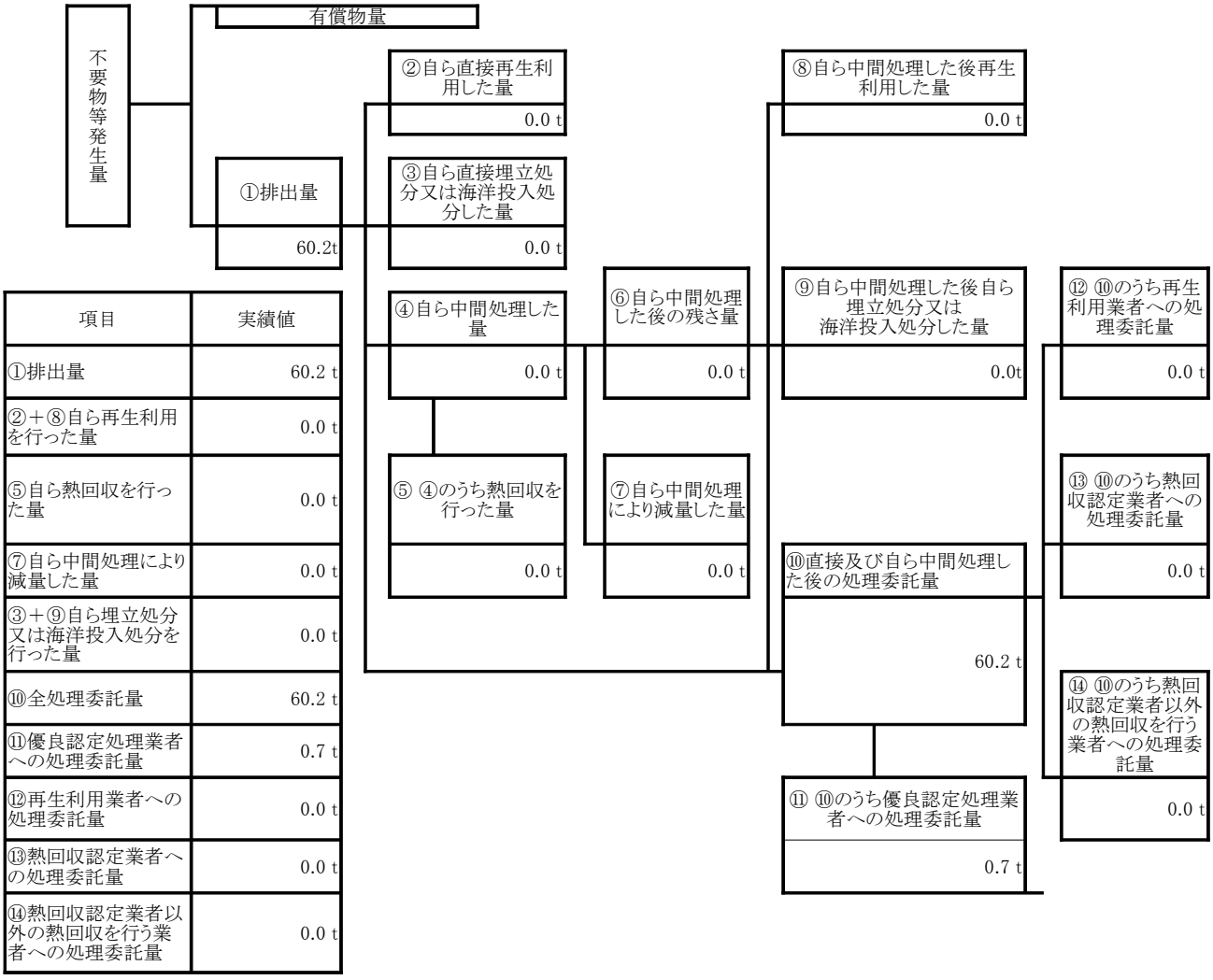


項目	実績値
①排出量	884.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	884.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

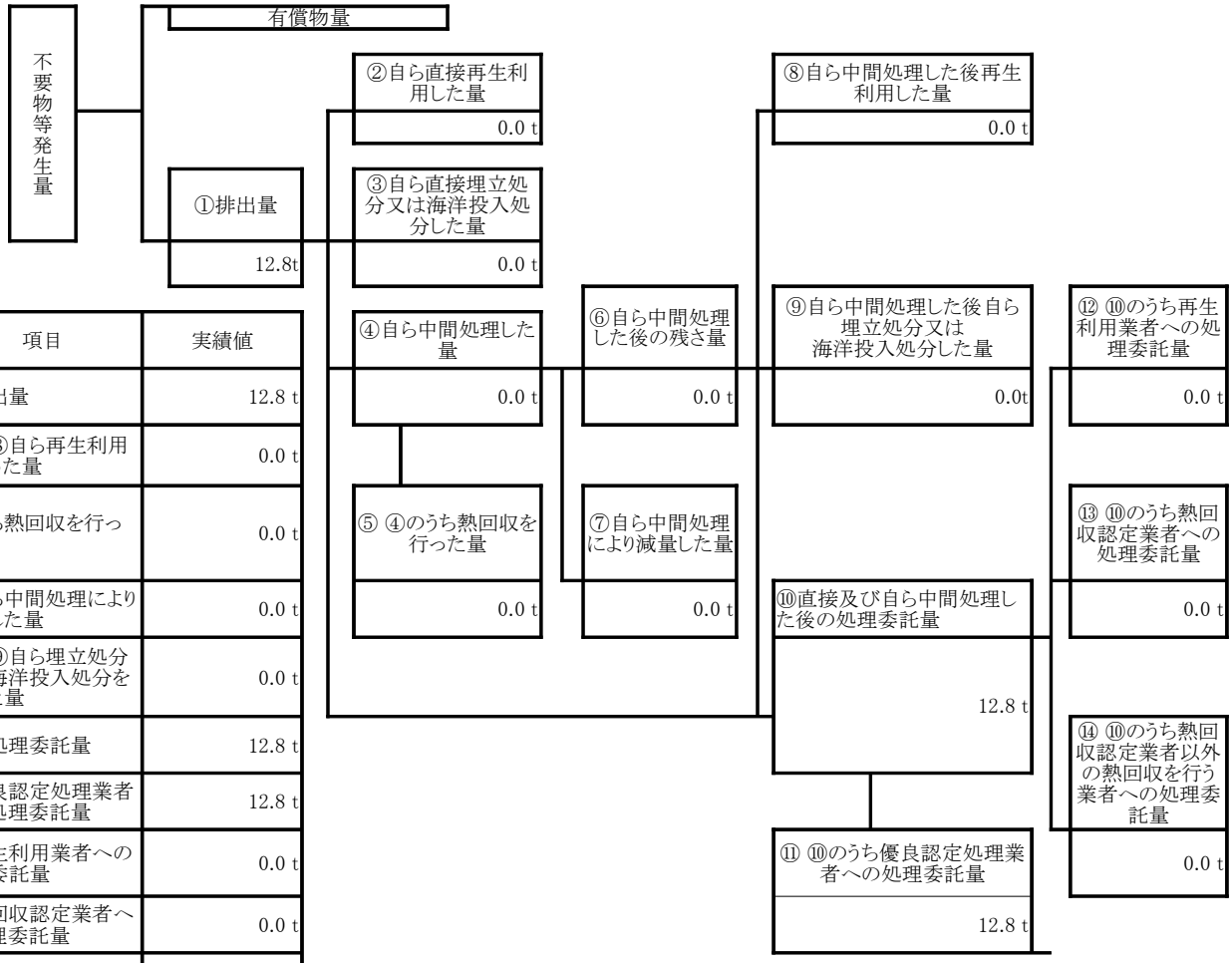


項目	実績値
①排出量	60.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	60.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃アルカリ　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

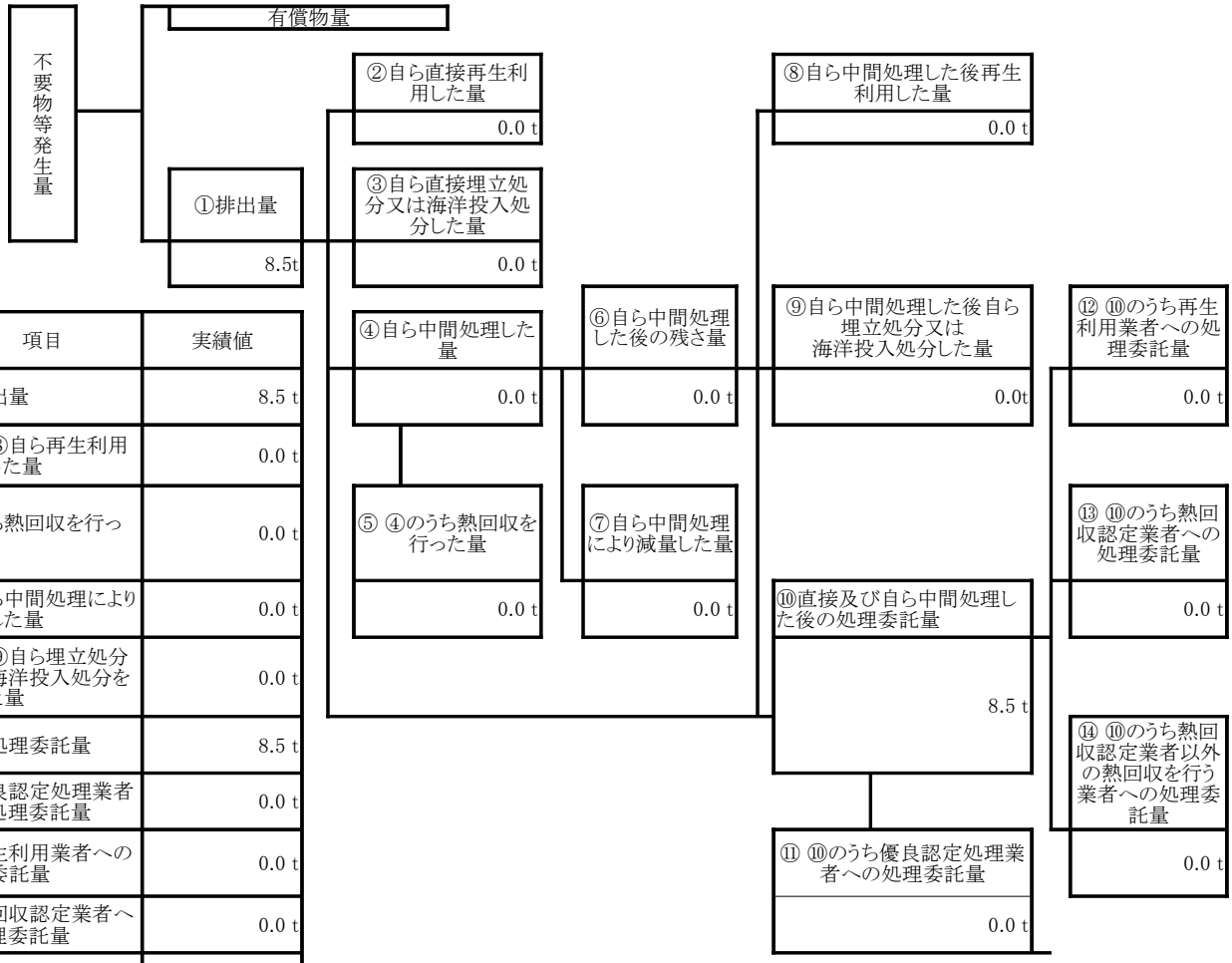


項目	実績値
①排出量	12.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	12.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



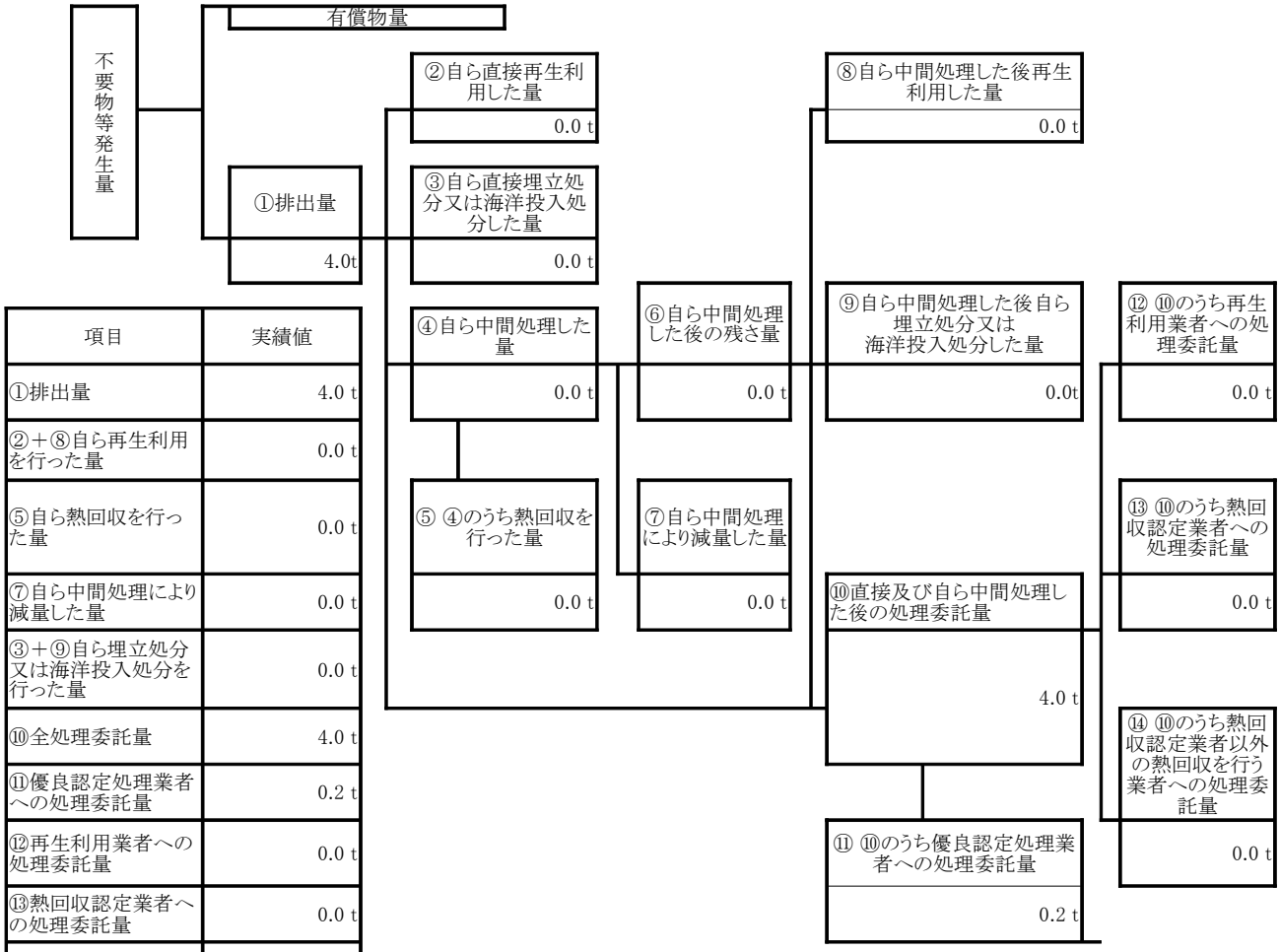
項目	実績値
①排出量	8.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

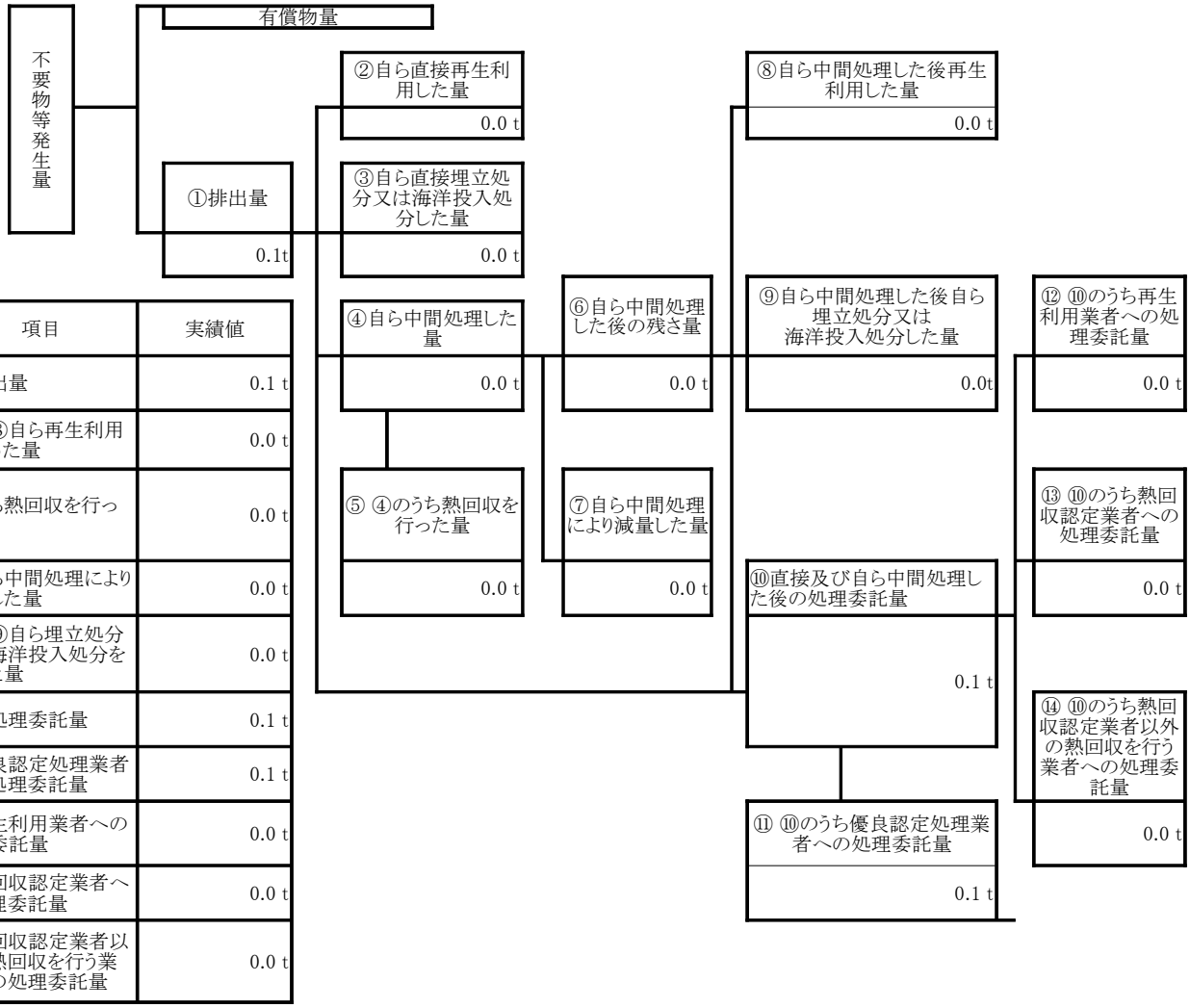


項目	実績値
①排出量	4.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**水銀使用製品産業廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

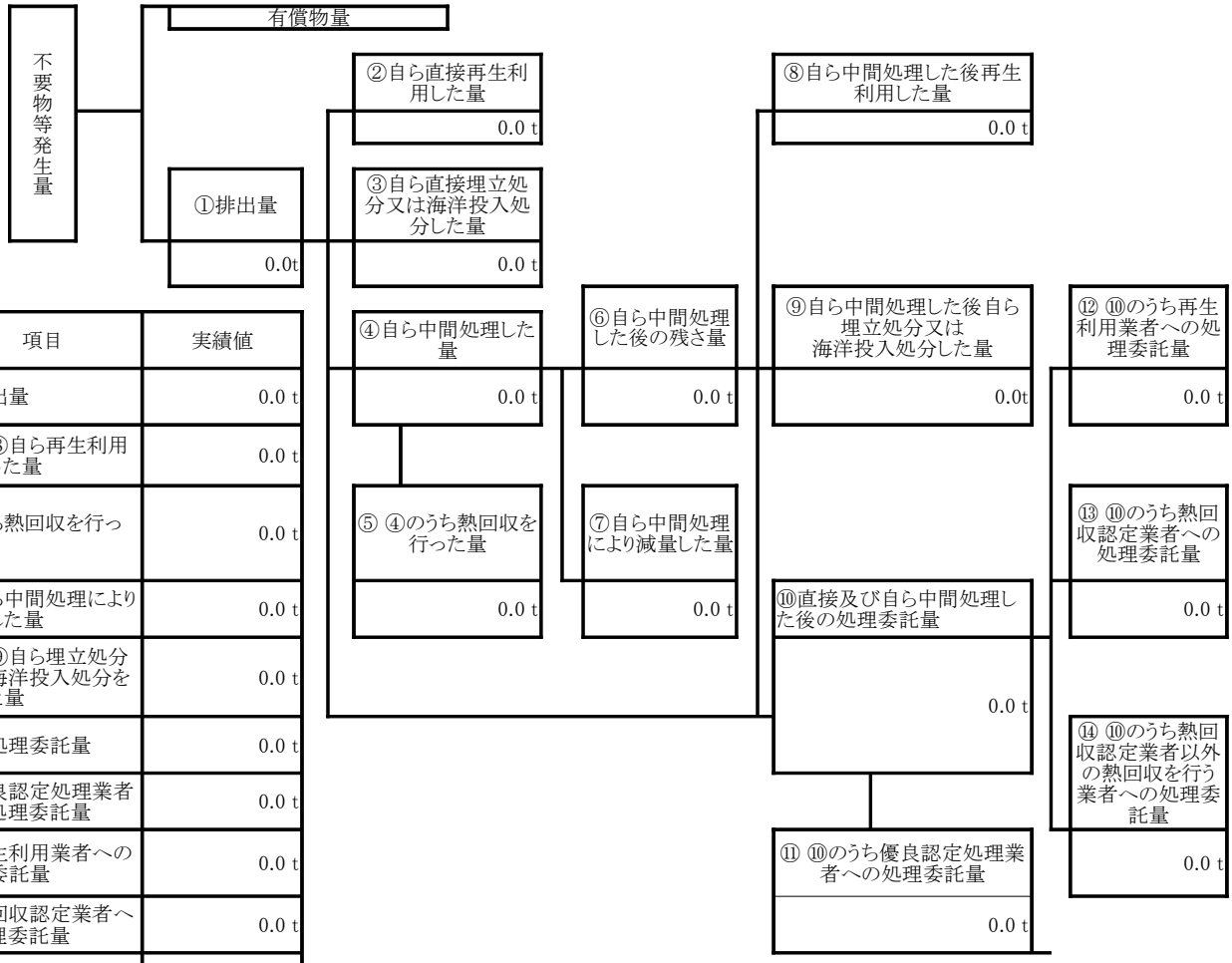


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃酸**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

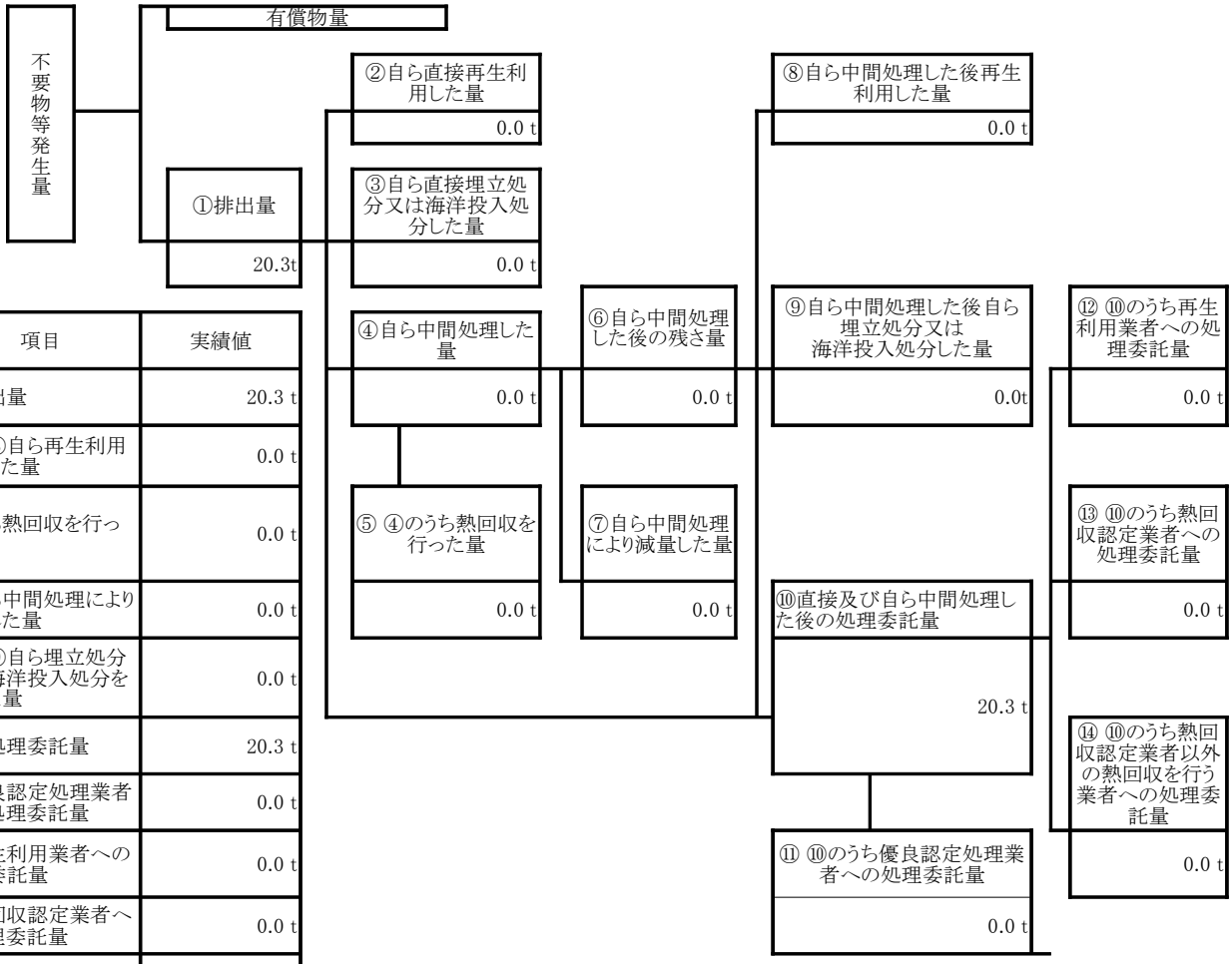


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

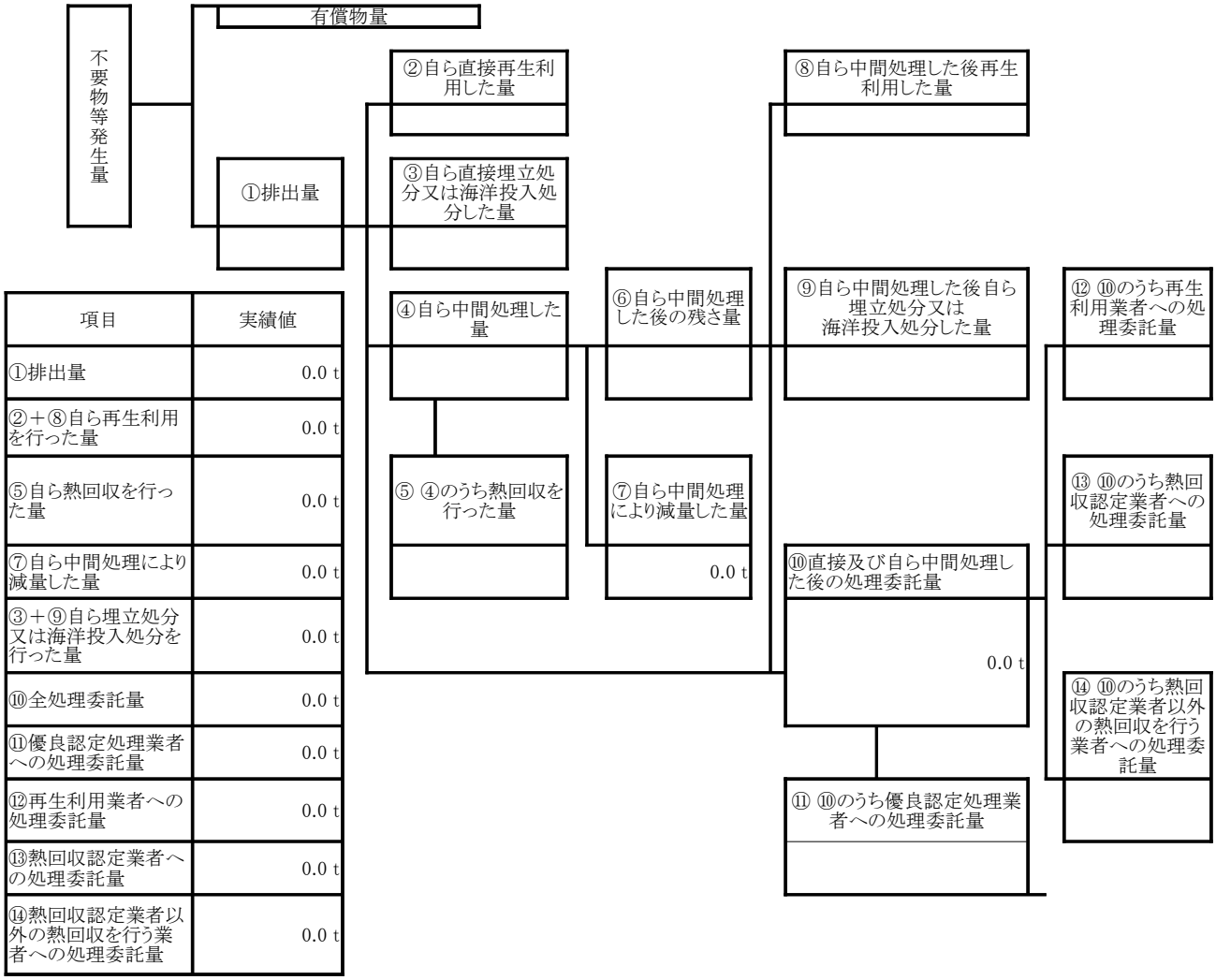


項目	実績値
①排出量	20.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	20.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



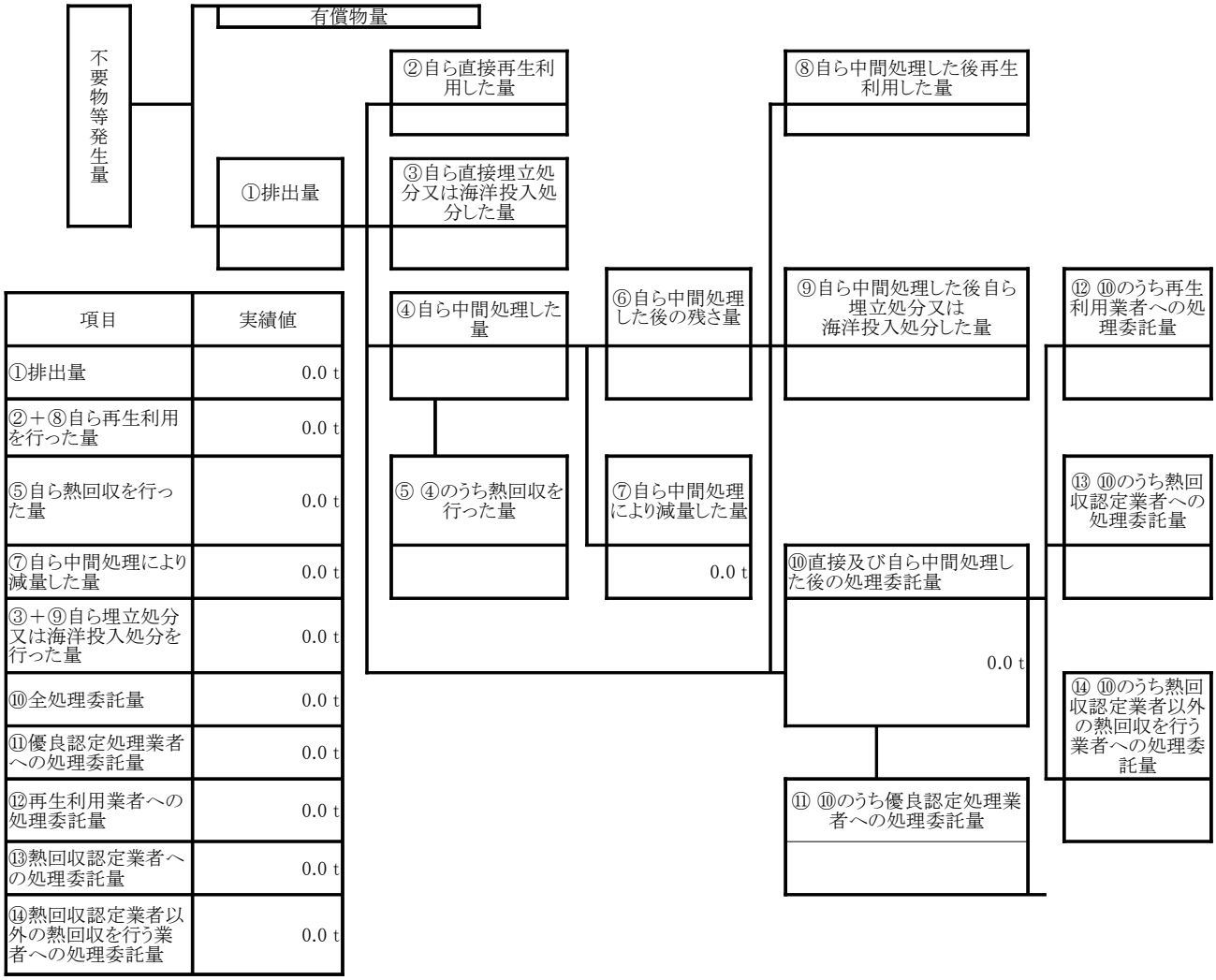
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

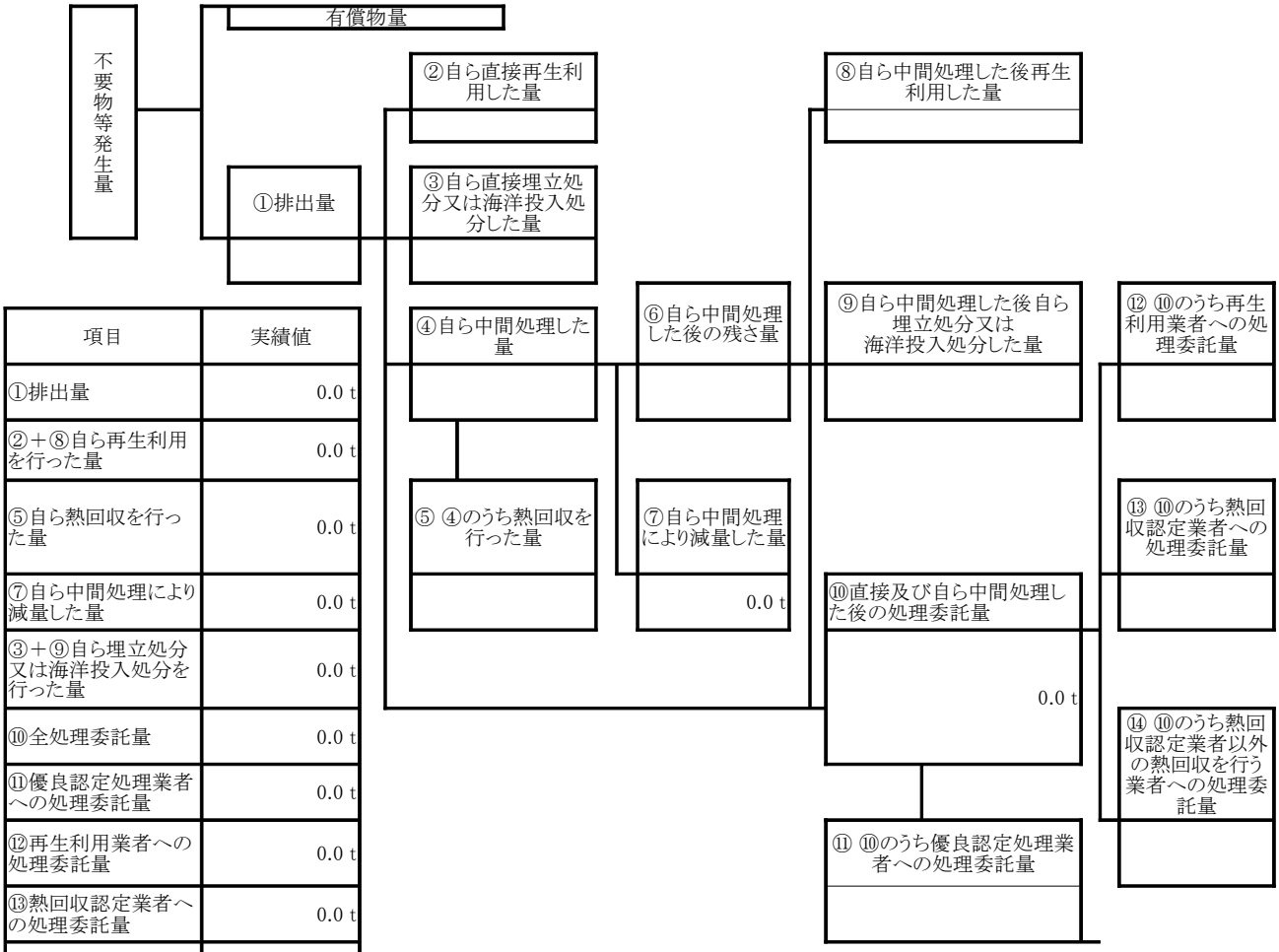


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



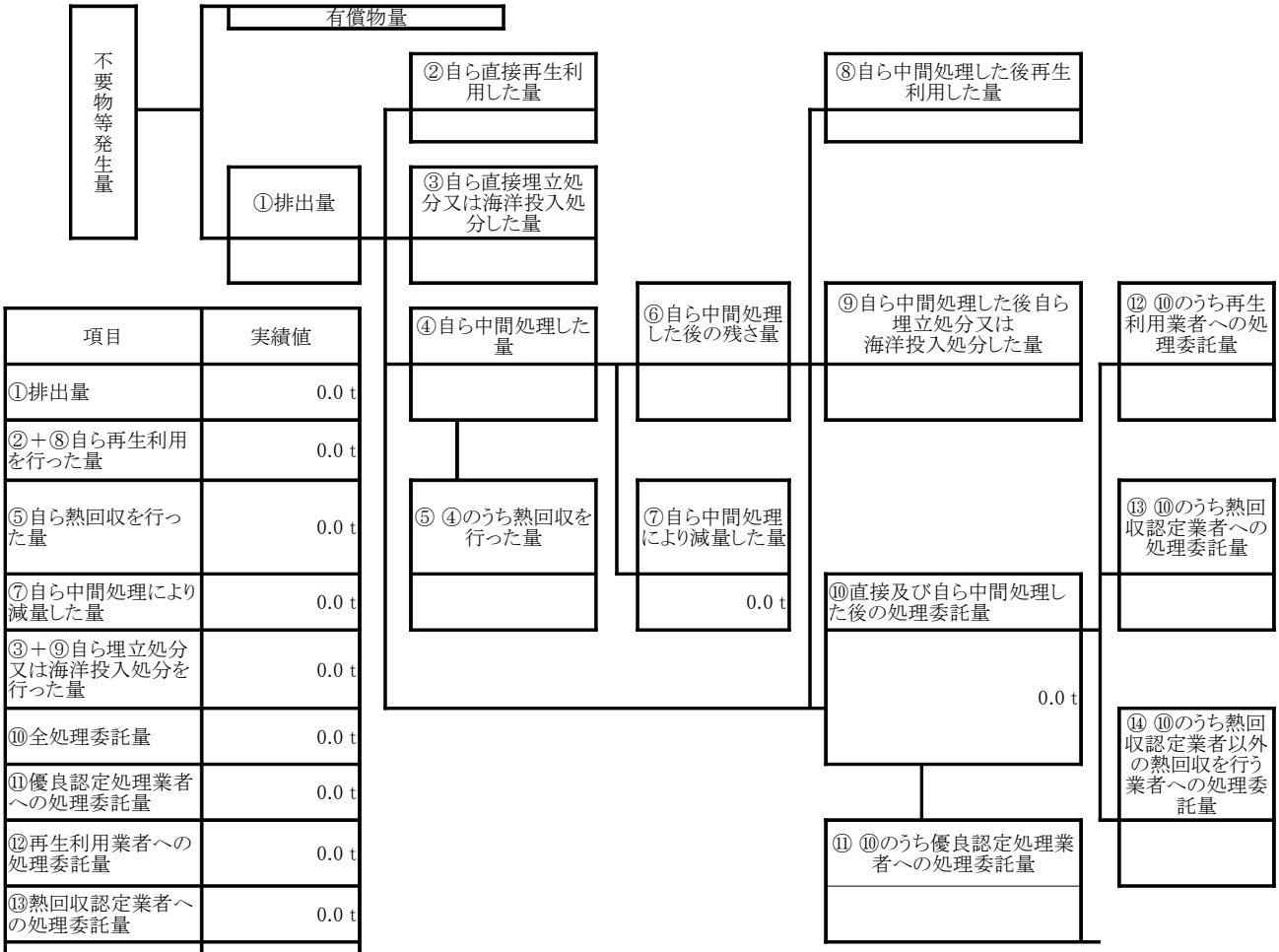
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



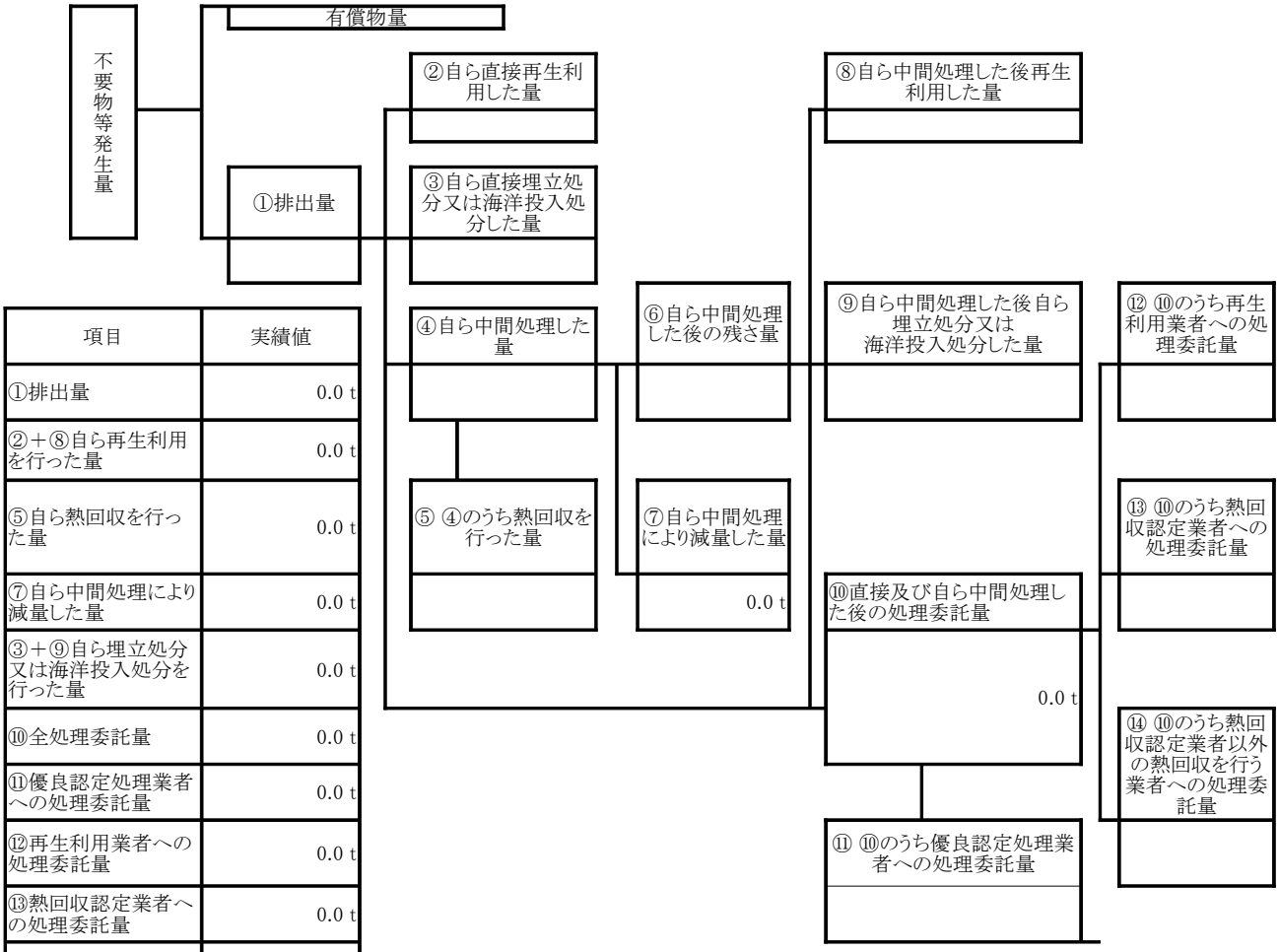
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

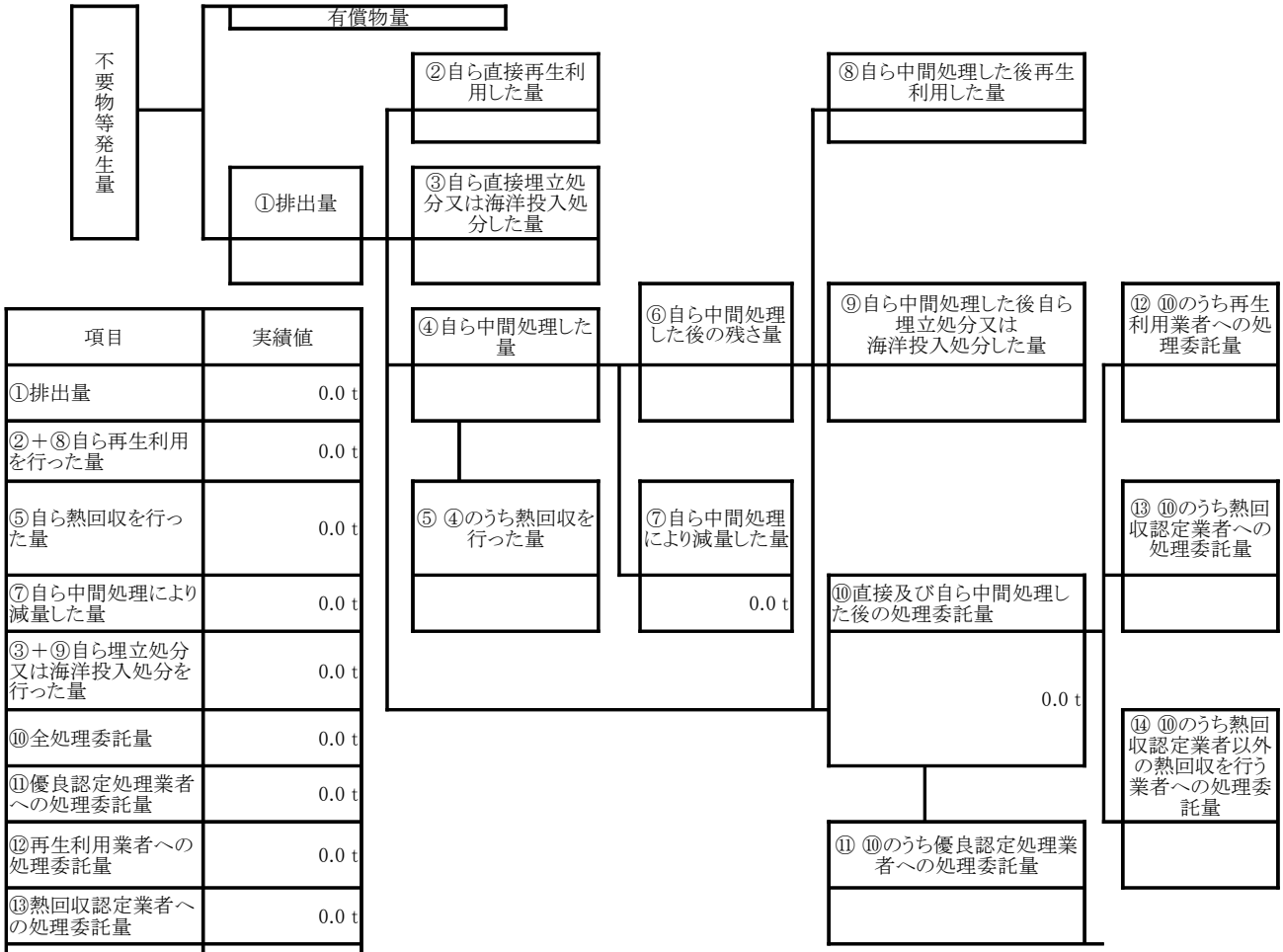


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



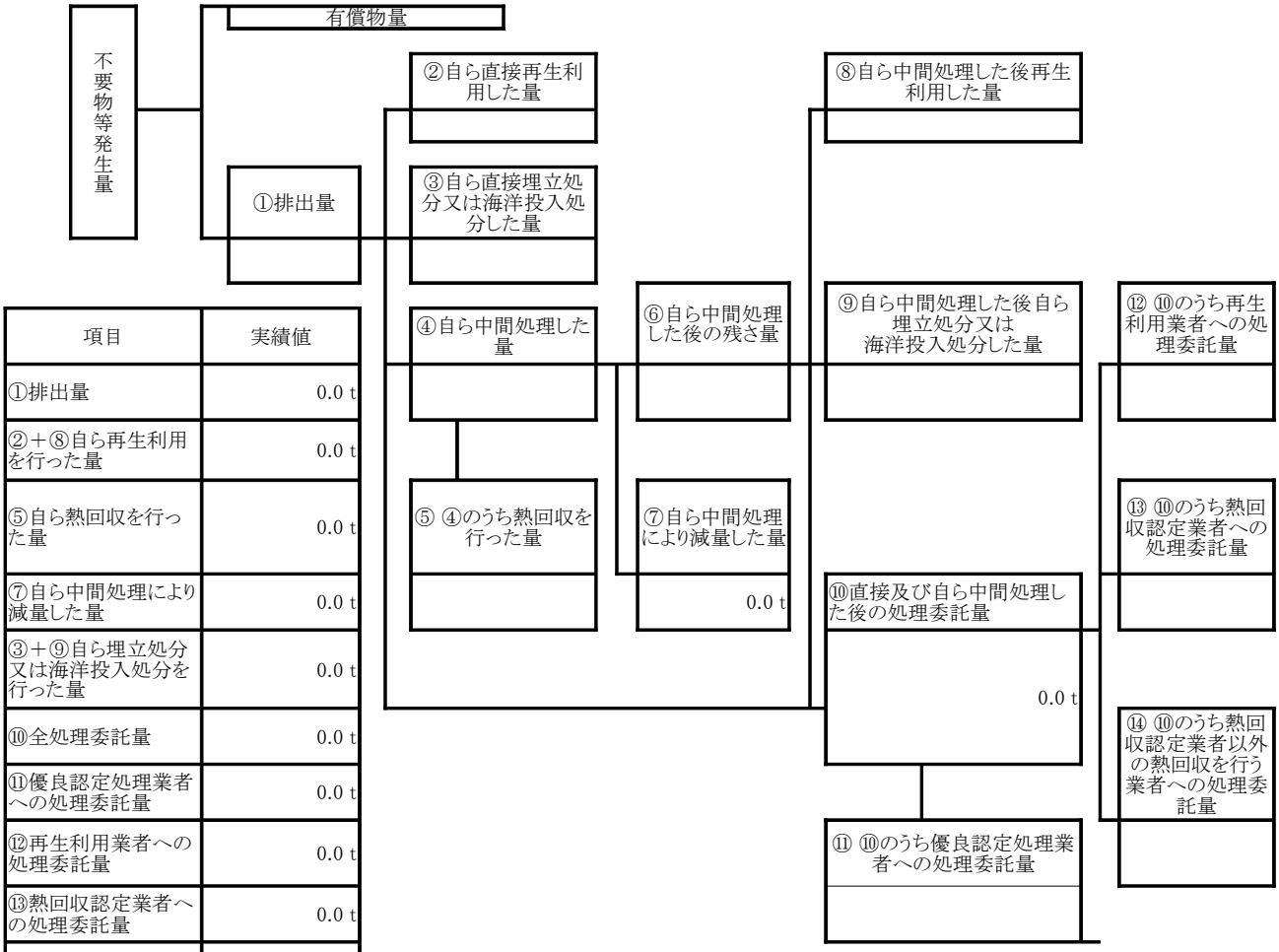
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

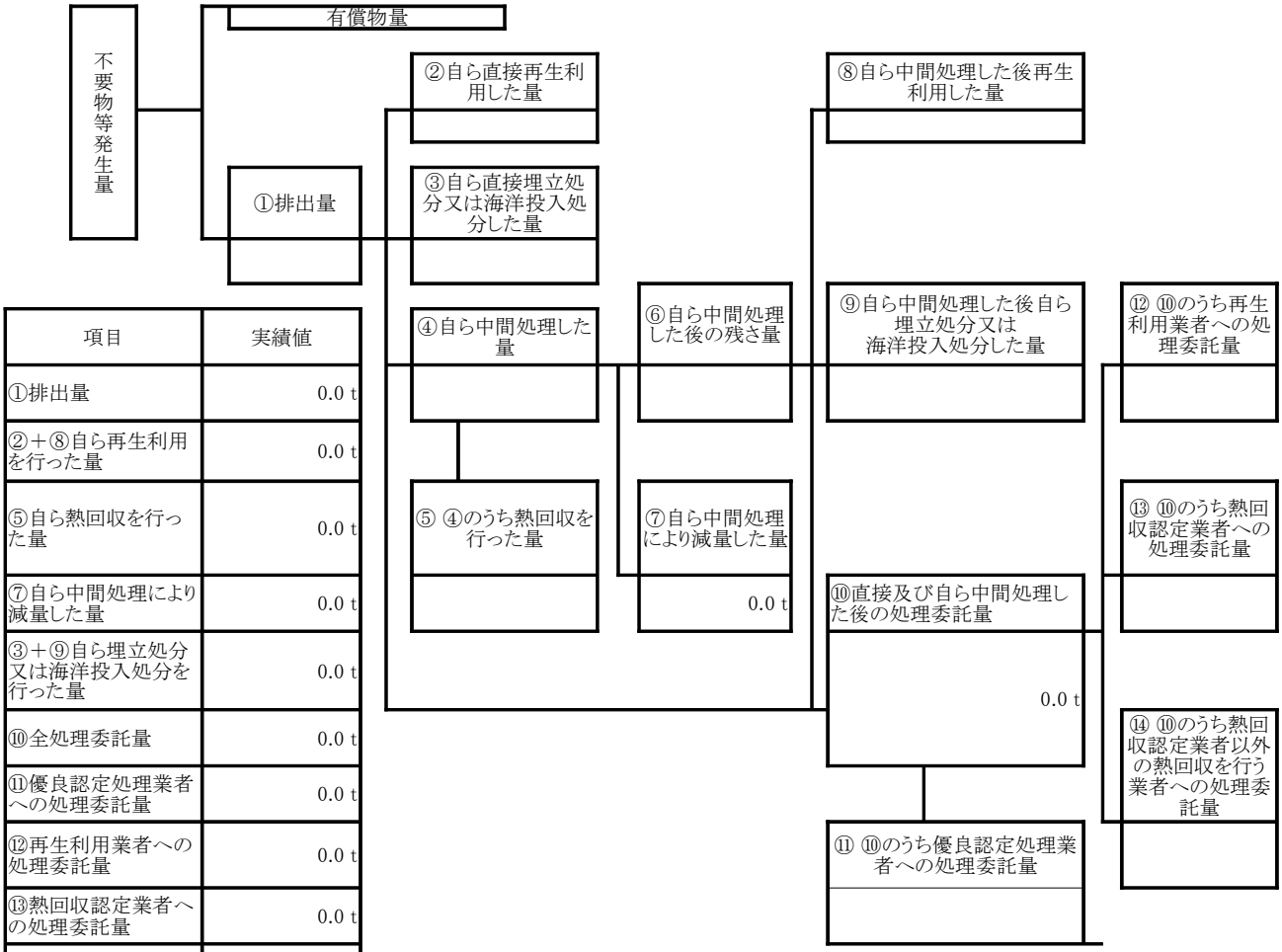


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

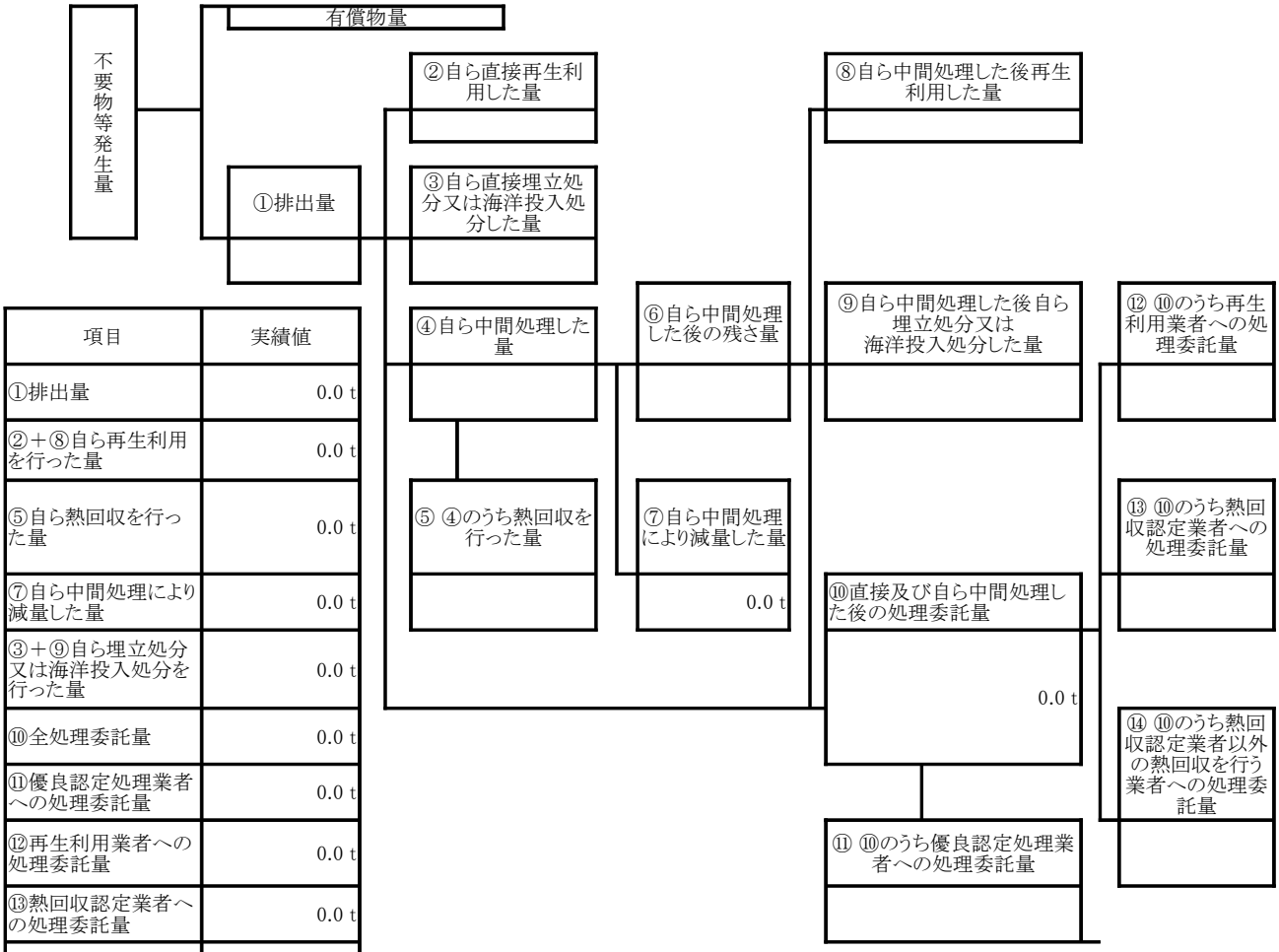


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



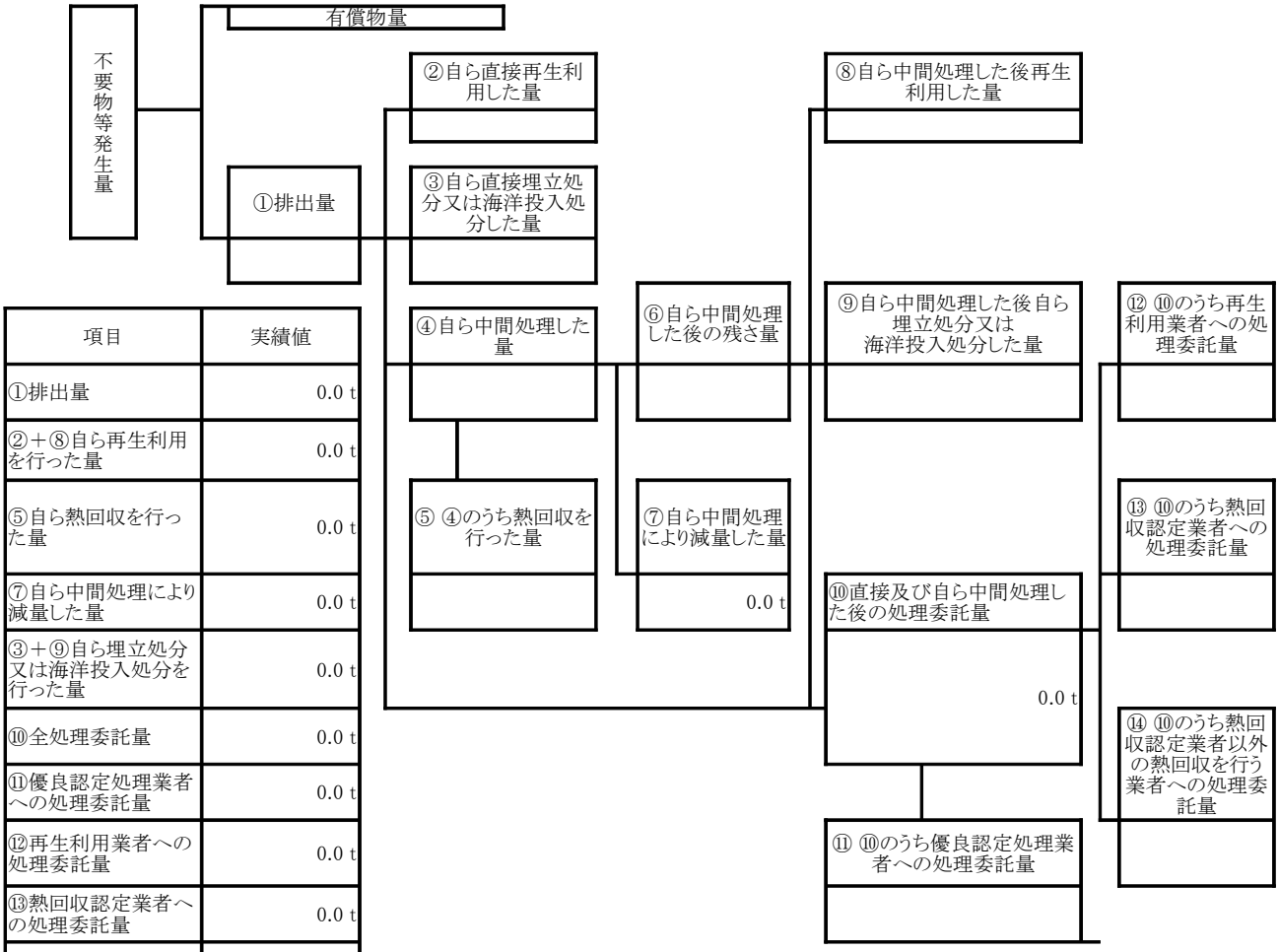
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

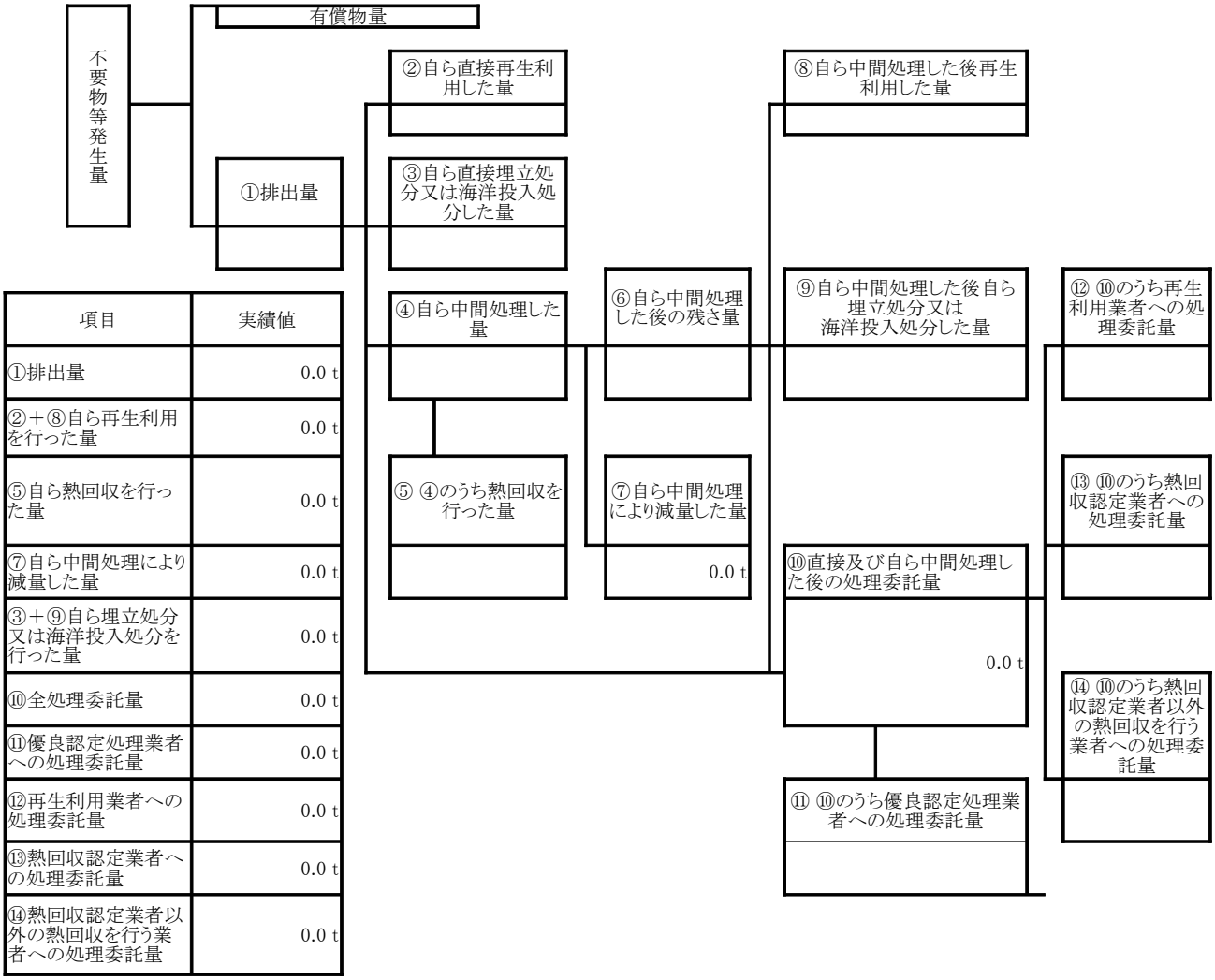


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

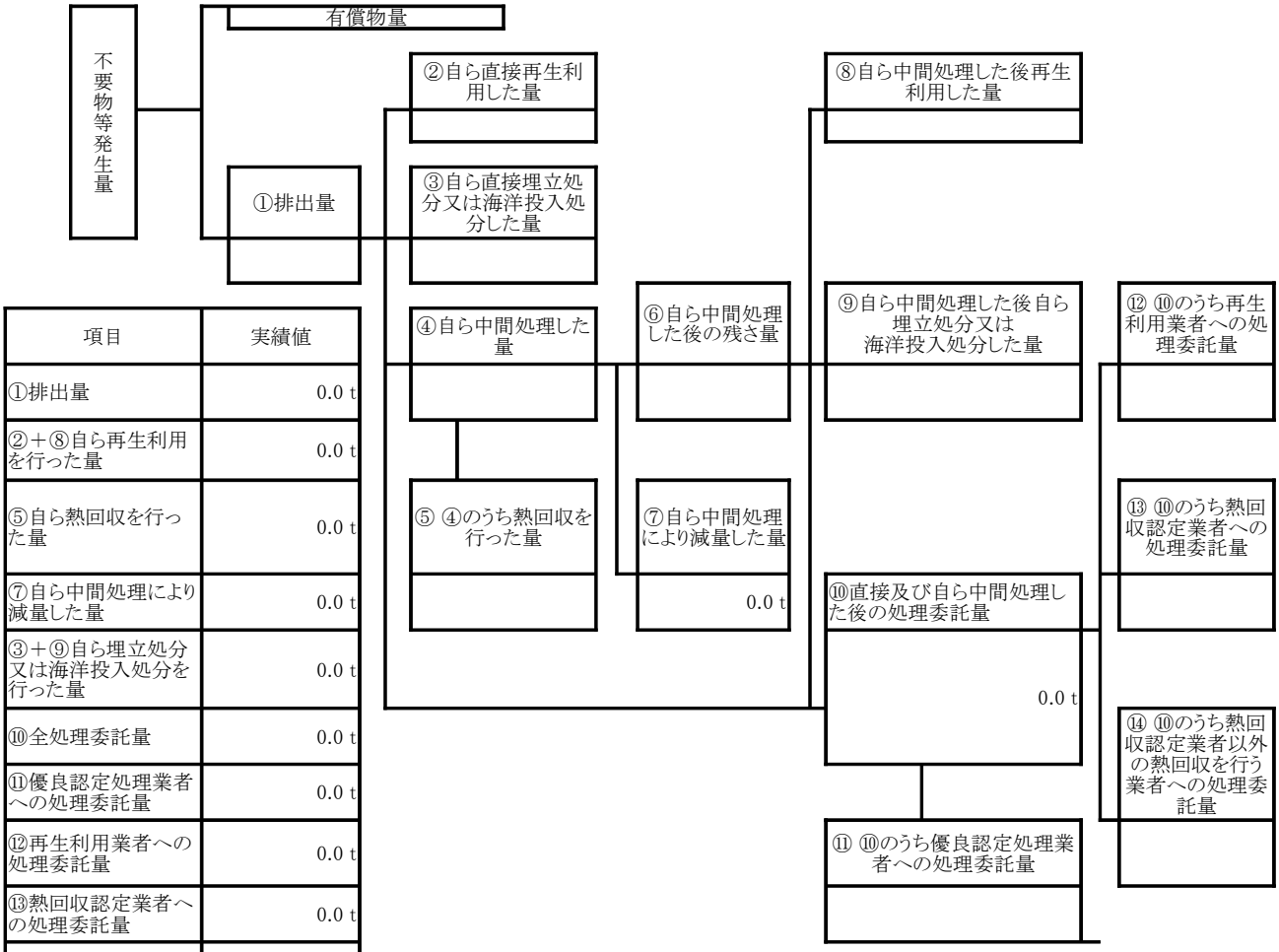


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月27日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　286-0825

住　所　千葉県成田市新泉３番地の１

法人名　武田薬品工業株式会社 成田工場

代表者　道岡 武春

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0476-36-1225

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	武田薬品工業株式会社 成田工場
事業場の所在地	千葉県成田市新泉３番地の１
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　化学工業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額：120億円
③従業員数	221名（社員180名　・派遣社員41名）　2024年3月末
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	製造工程 → 感染性廃棄物 → 焼却 → 管理型埋立 引火性廃油 → 焼却 → 埋立または再生利用 製品試験 → 廃酸・廃ｱﾙｶﾘ → 中和

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）参照

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
排出量	438 t	t

（これまでに実施した取組）

感染性廃棄物の分別及び、製造工程の見直しによる削減
生産計画による生産量増加の影響あり。
逸脱処理品による廃棄物増加の影響あり。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
排出量	t	t

（今後実施する予定の取組）

製造工程の見直しによる試験材料、フィルター使用本数の削減
作業効率化・原料精製工程削減による、感染性廃棄物削減

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

感染性廃棄物の種類　汚泥・廃プラスチック・ガラス類
特別管理産業廃棄物としての廃試薬
感染性廃棄物の分別及び液量確認の自動化による使用量削減
廃棄物の品目ごとに堅牢な容器で保管している。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

感染性廃棄物の種類　汚泥・廃プラスチック・ガラス類
特別管理産業廃棄物としての廃試薬
感染性廃棄物の分別及び液量確認の自動化による使用量削減
引き続き、分別保管を継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 発生する廃棄物は再生利用できる品目ではないため、実績はない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、再生利用は行わない。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） これまでに実績はない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も実施しない。		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに実績はない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
これまでに実績はない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
優良認定事業者への委託を心掛けている。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
別紙に記載
可能な限り優良認定事業者への委託を行っていく。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。） 438 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
既に、電子マニフェストを導入済</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

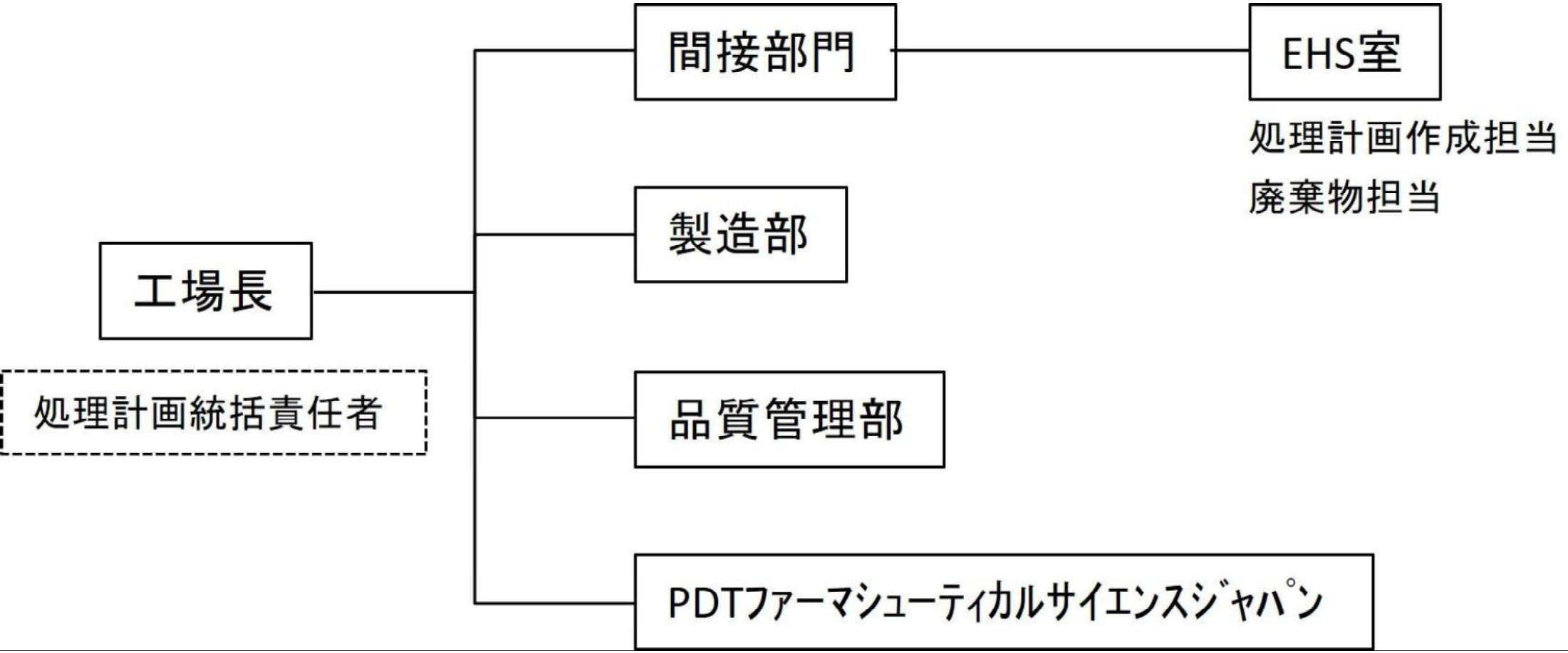
４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。


工場長
処理計画統括責任者
間接部門
製造部
品質管理部
PDTファーマシューティカルサイエンスジャパン
EHS室
処理計画作成担当
廃棄物担当

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	pH2.0以下の廃酸	pH12.5以上の廃ｱﾙ	廃酸（基準値を超	汚泥（基準値を超		
	排　出　量	282　t	148　t	8　t	0.01　t	0.01　t	0.01　t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	pH2.0以下の廃酸	pH12.5以上の廃ｱﾙ	廃酸（基準値を超	汚泥（基準値を超		
	排　出　量	280　t	140　t	8　t	0.01　t	0.01　t	0.01　t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	pH2.0以下の廃酸	pH12.5以上の廃ｱﾙ	廃酸（基準値を超	汚泥（基準値を超		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	pH2.0以下の廃酸	pH12.5以上の廃ｱﾙ	廃酸（基準値を超	汚泥（基準値を超		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	pH2.0以下の廃酸	pH12.5以上の廃ｱﾙ	廃酸（基準値を超	汚泥（基準値を超		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	pH2.0以下の廃酸	pH12.5以上の廃ｱﾙ	廃酸（基準値を超	汚泥（基準値を超		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	pH2.0以下の廃酸	H12.5以上の廃ｱﾙｶ	廃酸（基準値を超	汚泥（基準値を超		
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	pH2.0以下の廃酸	H12.5以上の廃ｱﾙｶ	廃酸（基準値を超	汚泥（基準値を超		
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	pH2.0以下の廃酸	H12.5以上の廃ｱﾙｶ	廃酸（基準値を超	汚泥（基準値を超		
全処理委託量	282 t	148 t	8 t	0.01 t	0.01 t	0.01 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	282 t	148 t	8 t	0.01 t	0.01 t	0.01 t	t	t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	pH2.0以下の廃酸	H12.5以上の廃ｱﾙｶ	廃酸（基準値を超	汚泥（基準値を超		
全処理委託量	280 t	140 t	8 t	0.01 t	0.01 t	0.01 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	280 t	140 t	8 t	0.01 t	0.01 t	0.01 t	t	t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月27日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　286-0825

住所 千葉県成田市新泉3番地の1

法人名 武田薬品工業株式会社 成田工場

代表者 道岡 武春

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0476-36-1225

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	武田薬品工業株式会社 成田工場
事業場の所在地	千葉県成田市新泉3番地の1
事業の種類	大分類　製造業　中分類 化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	300.1 t	全処理委託量	300.1 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	300.1 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	全前年度（令和4年度）	306 t
	前年度（令和5年度）	437.9 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）
電子マニュフェスト登録済み

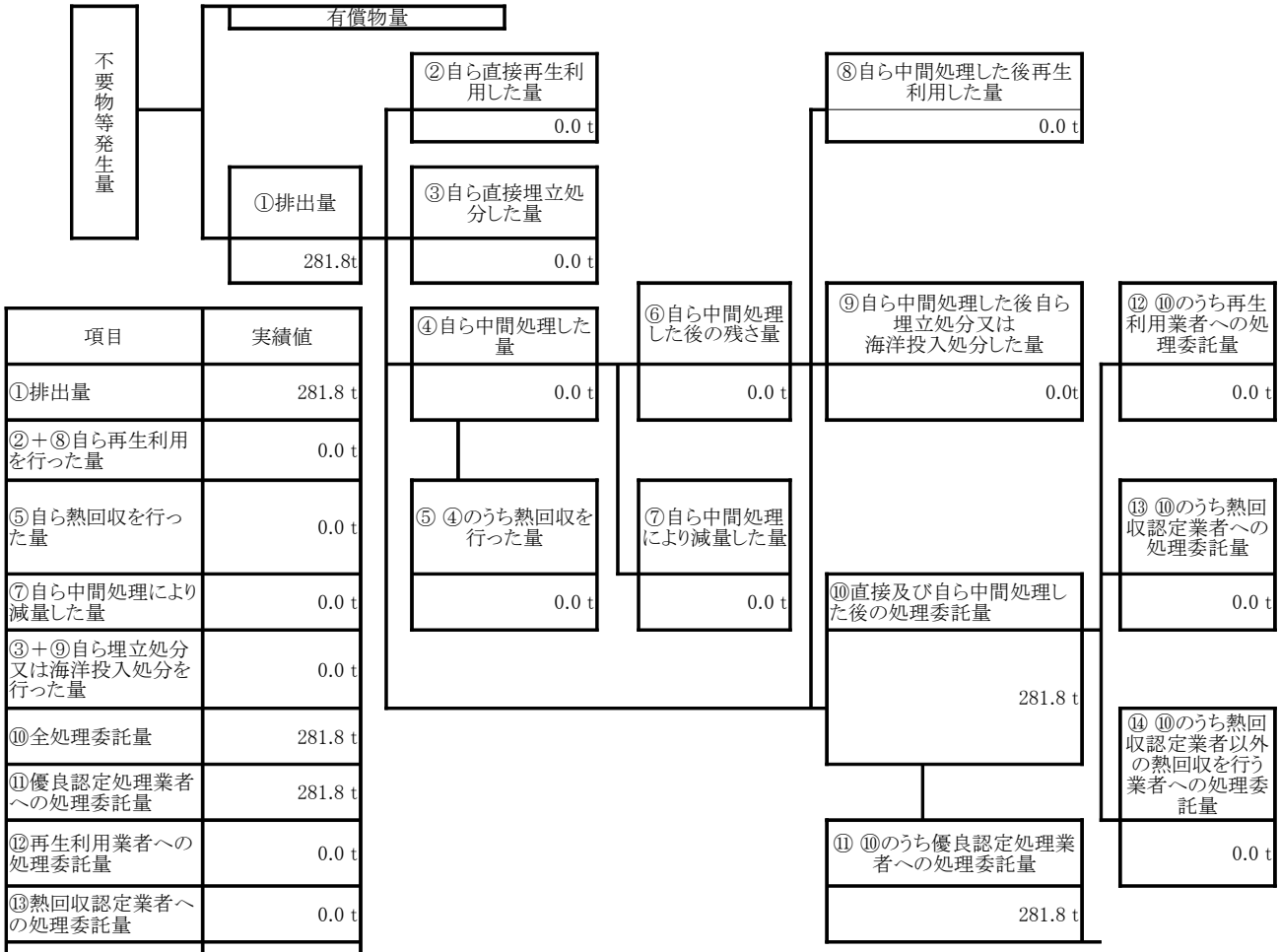
（日本産業規格　A列4番）

N0.1

（第2面）

計画の実施状況

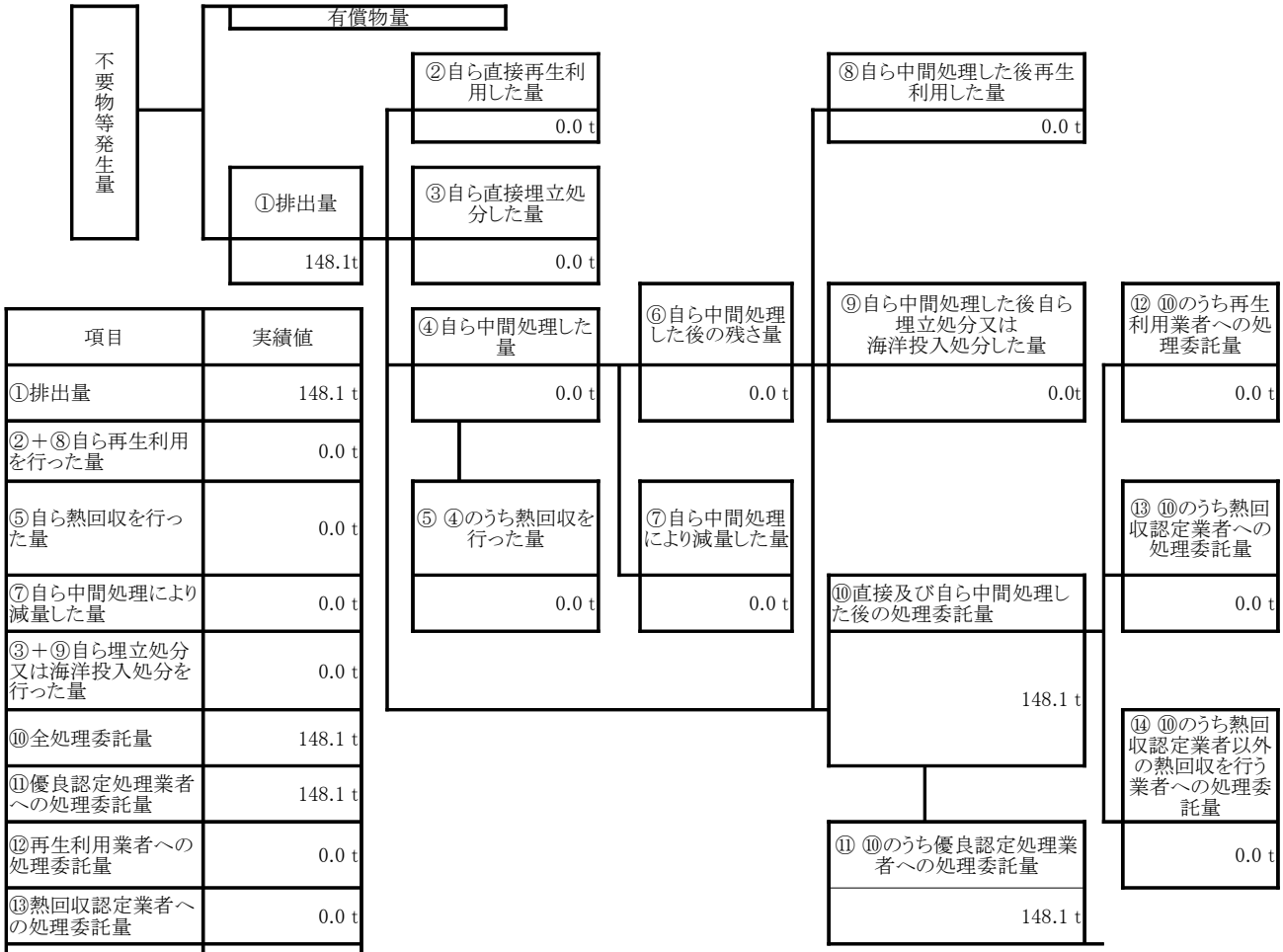
（特別管理産業廃棄物の種類:　**感染性廃棄物**　）



項目	実績値
①排出量	281.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	281.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	281.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　引火性廃油　）

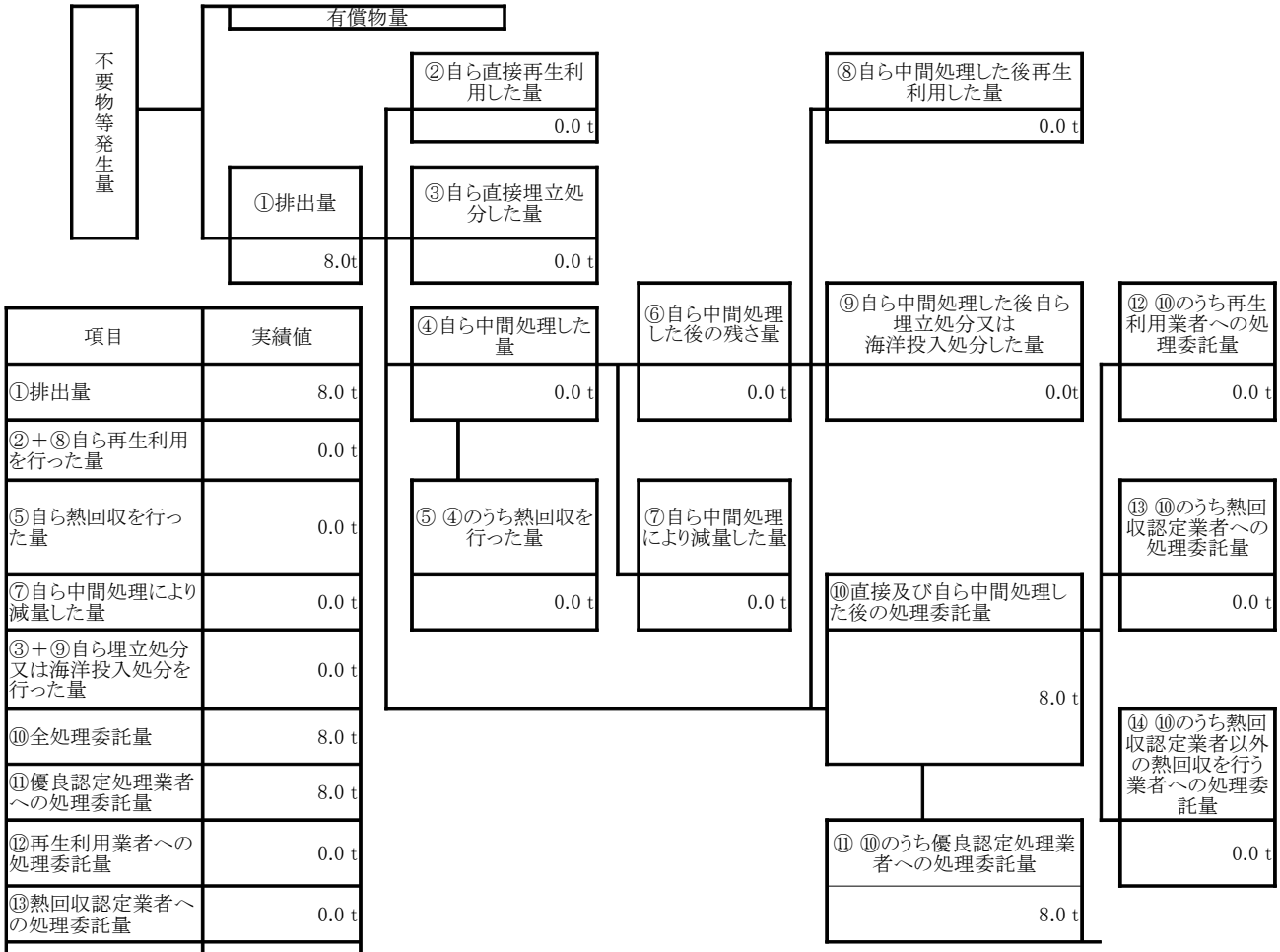


項目	実績値
①排出量	148.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	148.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	148.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　pH2.0以下の廃酸　）



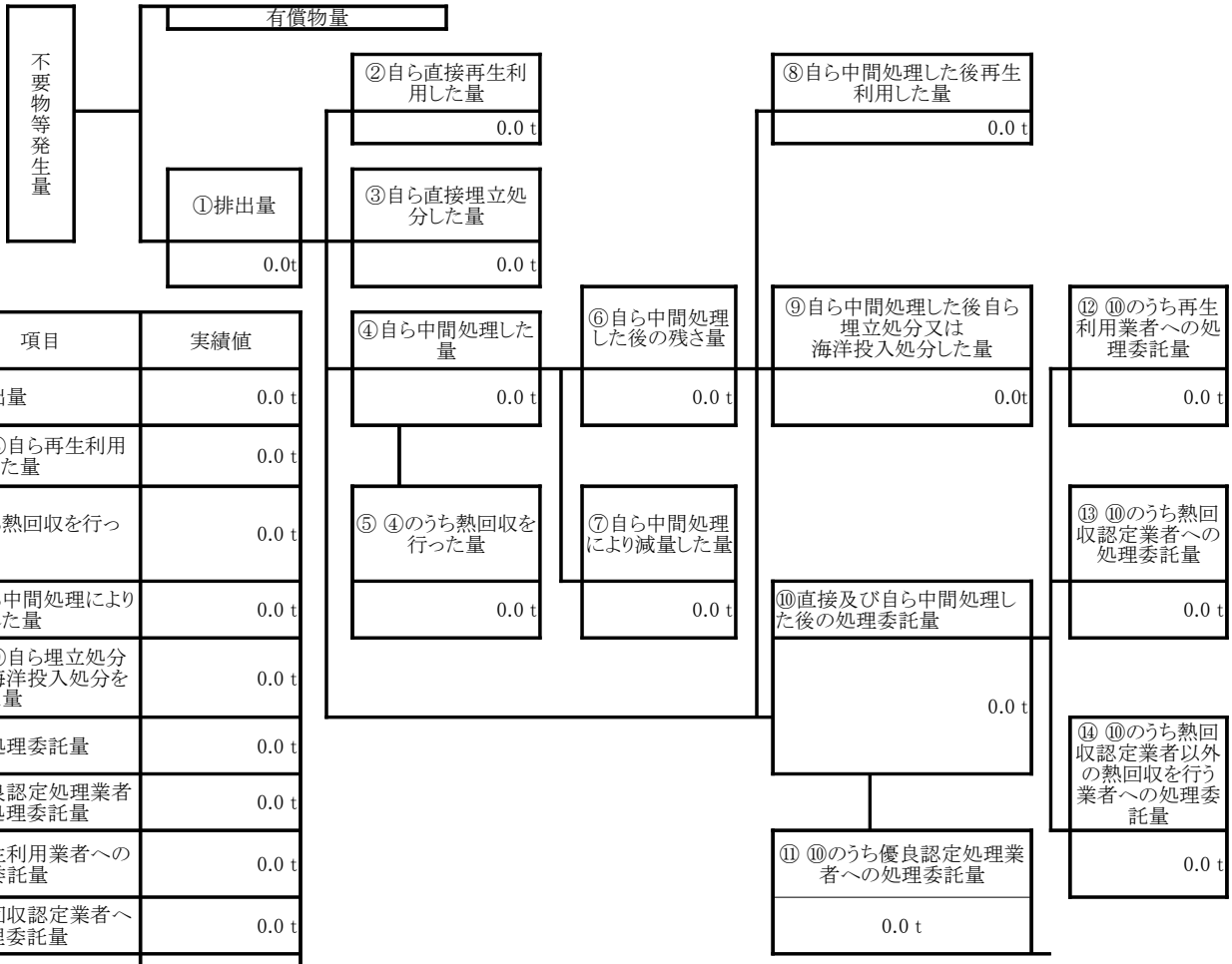
項目	実績値
①排出量	8.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　pH12.5以上の廃ｱﾙｶﾘ　）



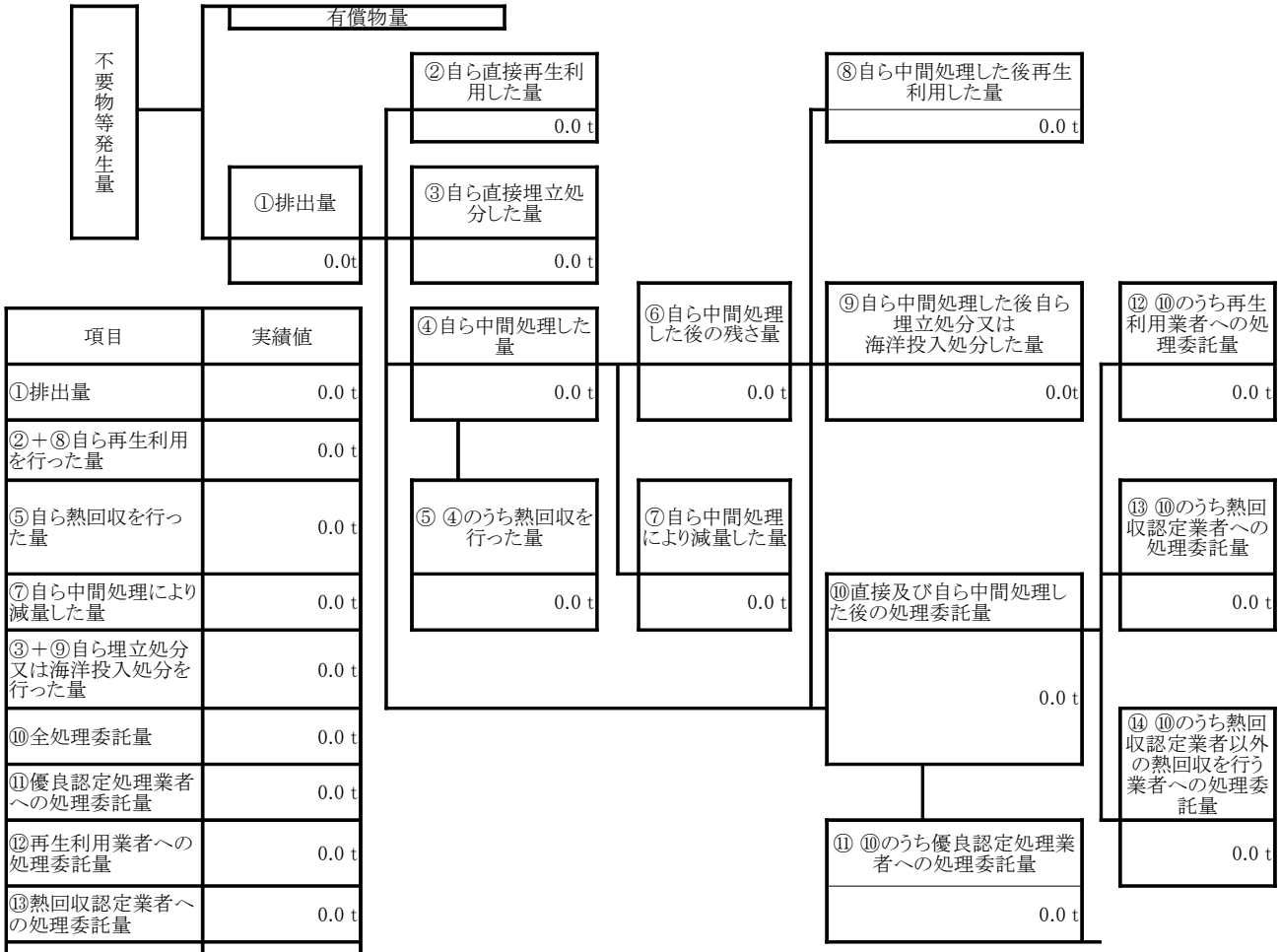
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　**廃酸（基準値を超える**　）



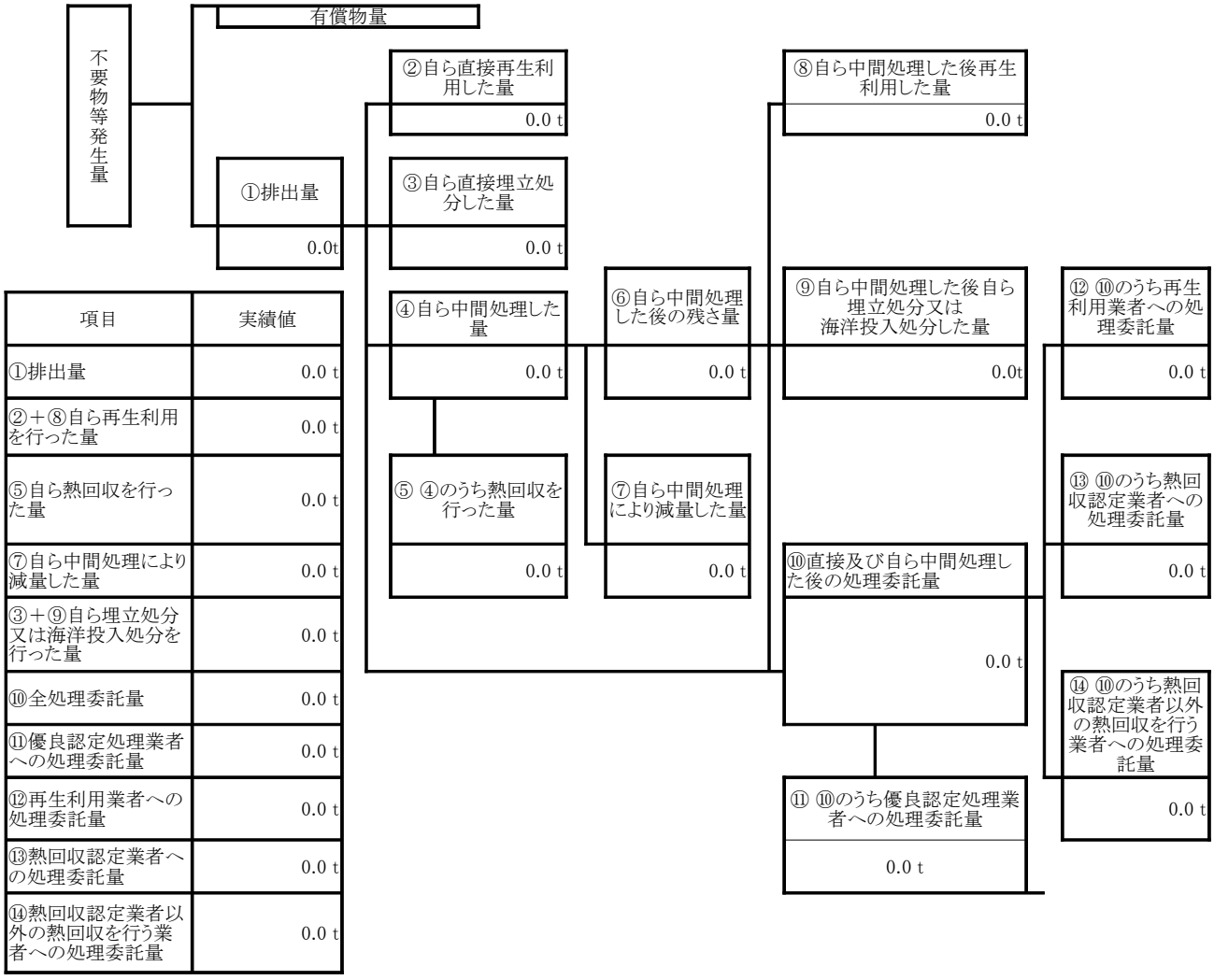
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**基準値を超える有害物質を含む**）

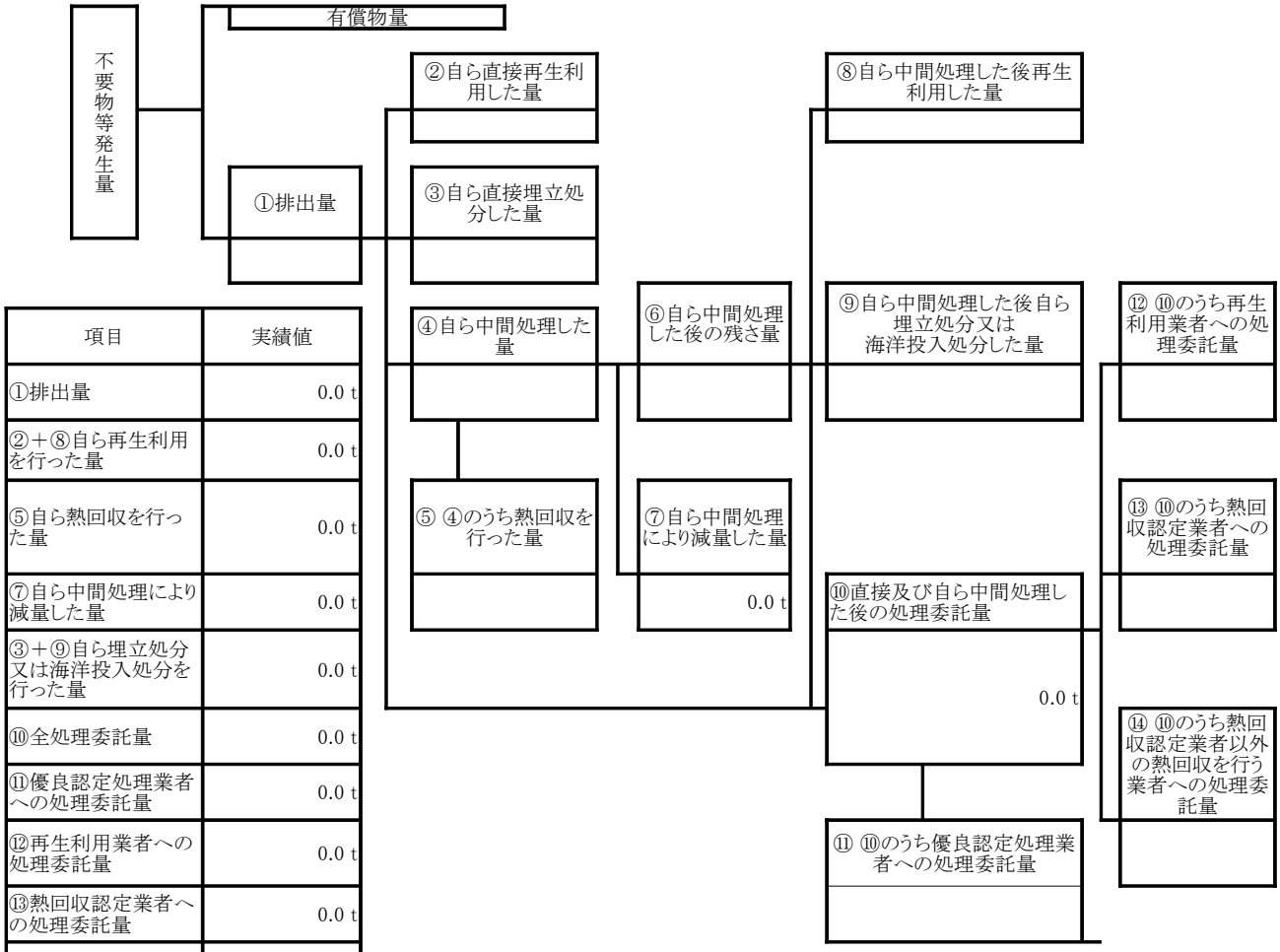


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

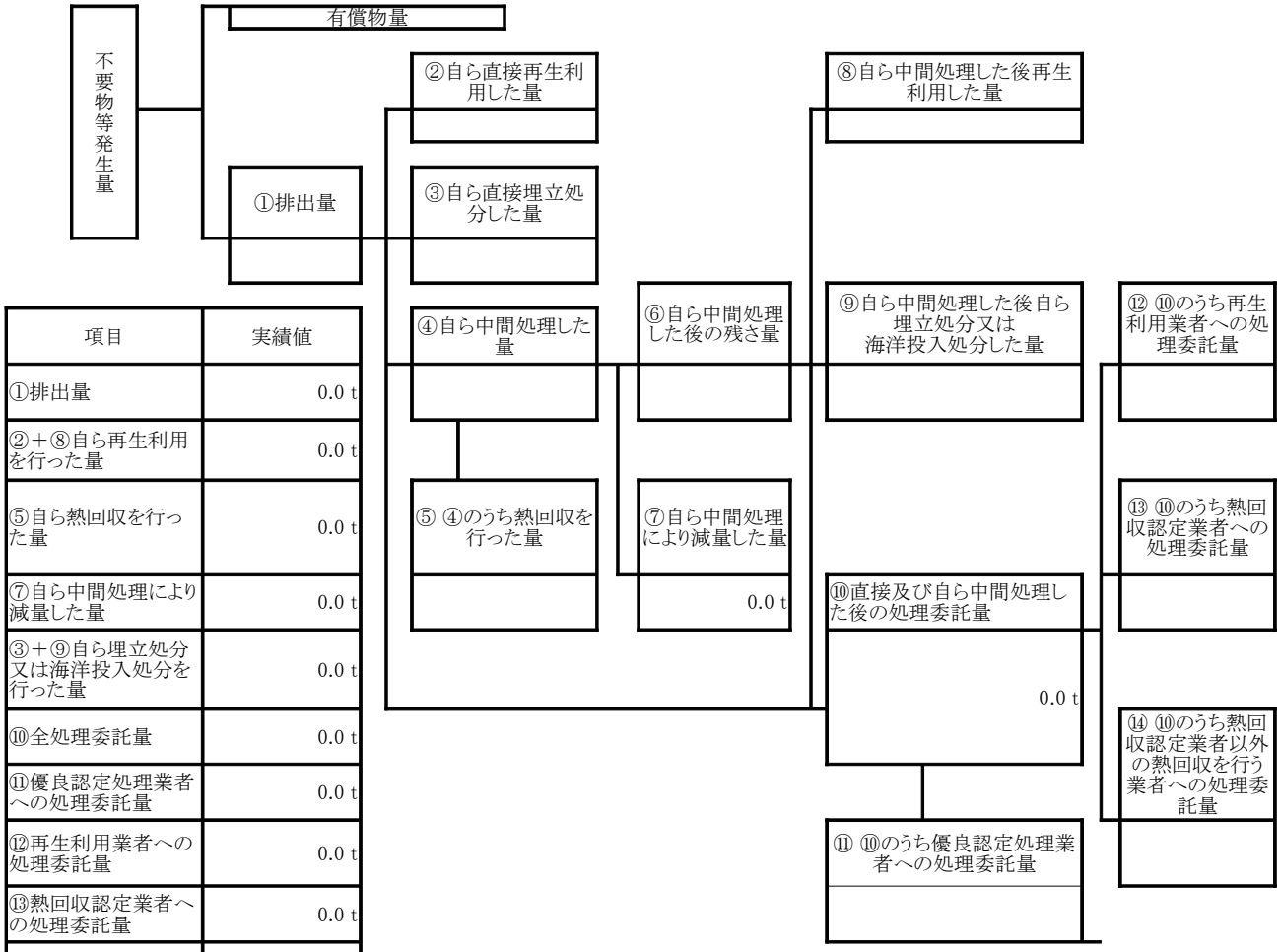


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

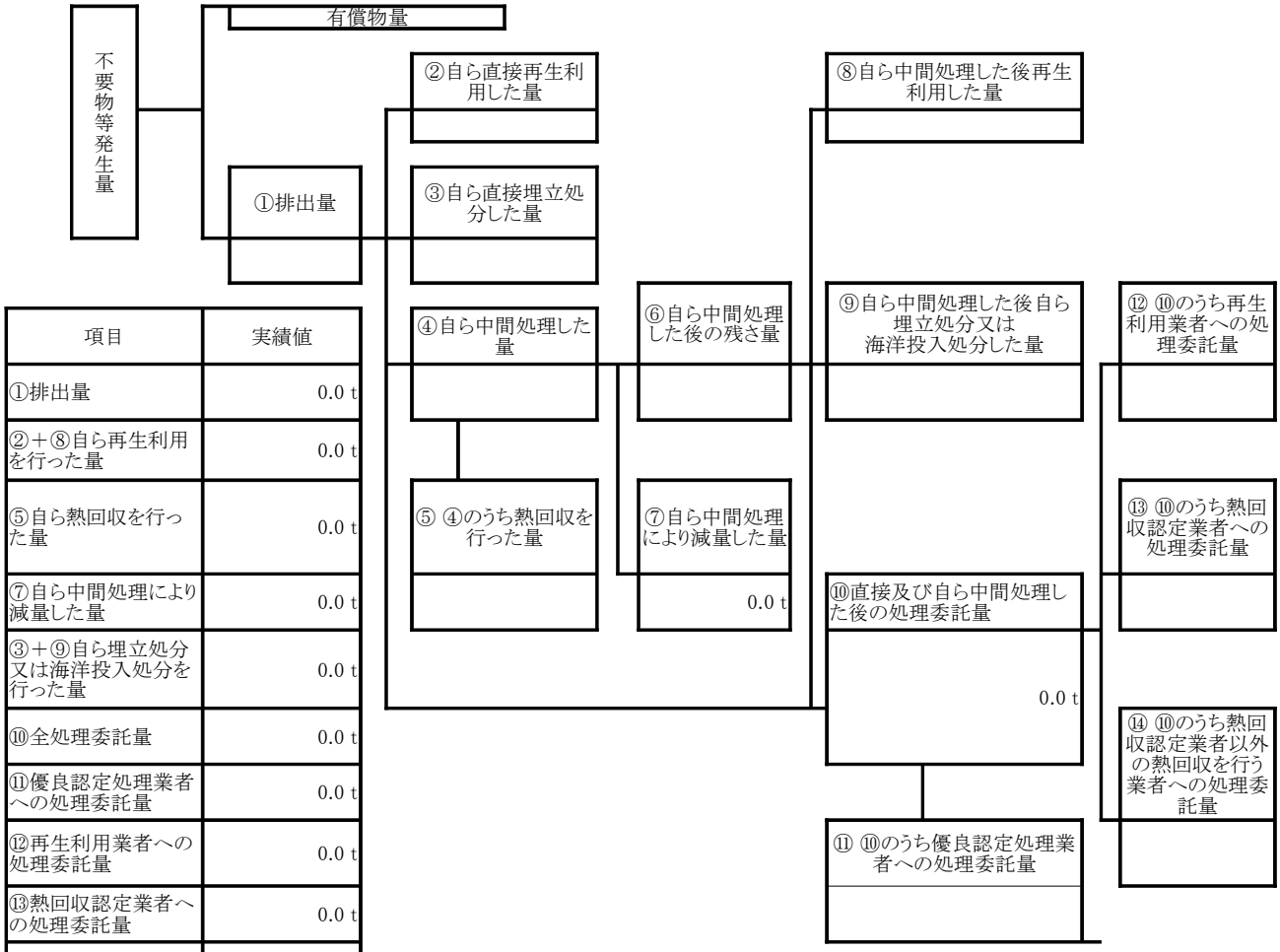


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

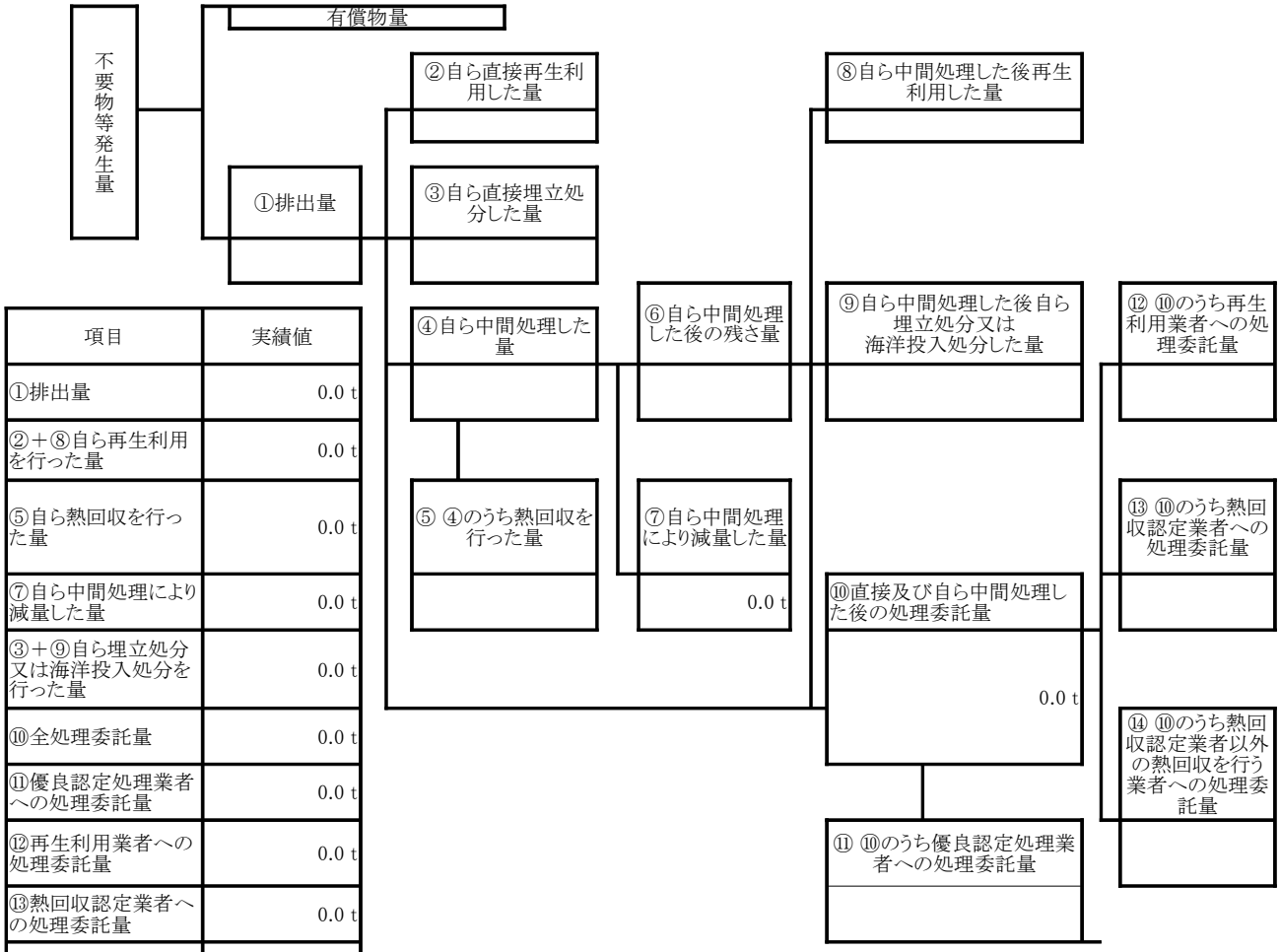


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



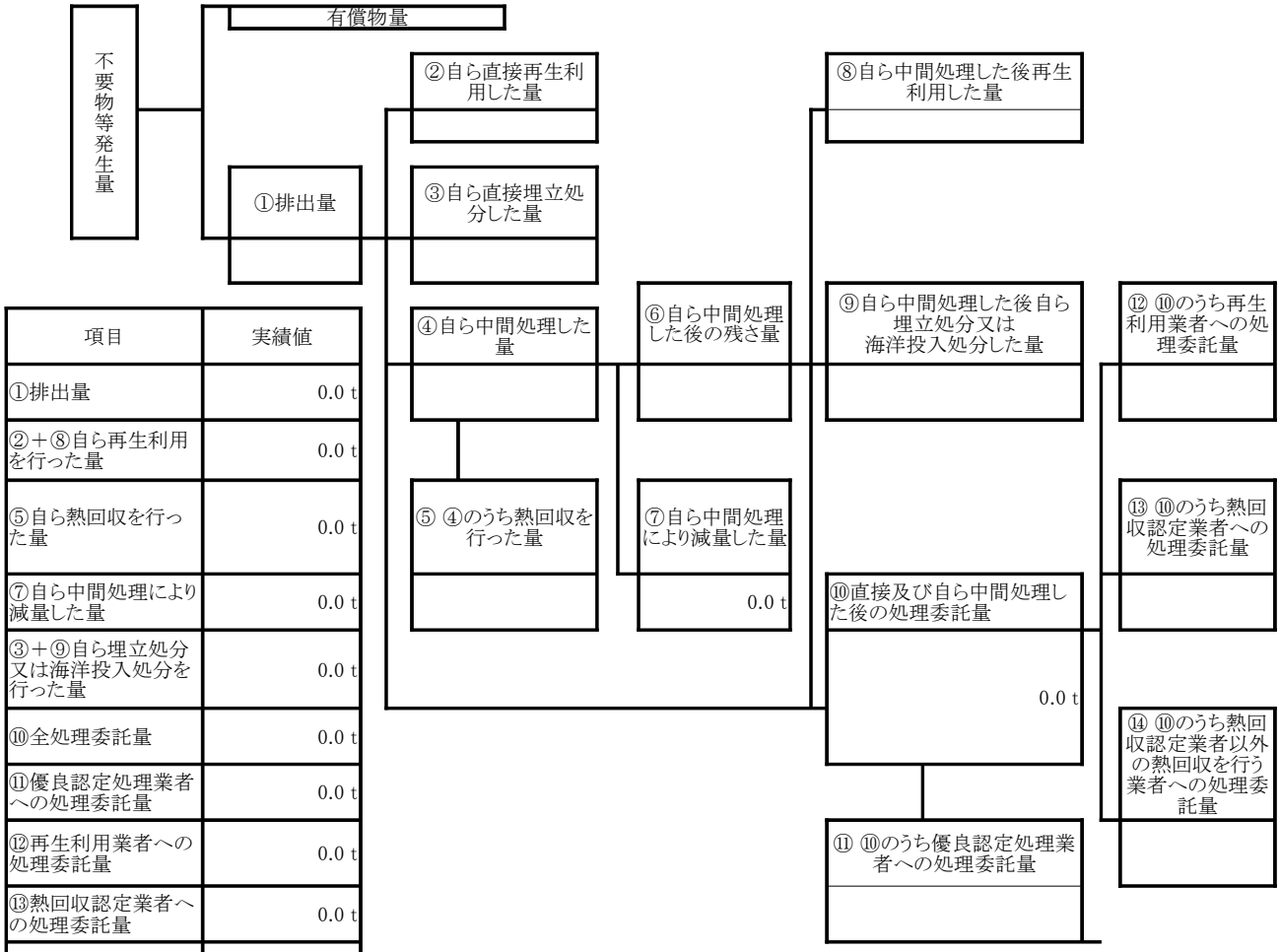
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

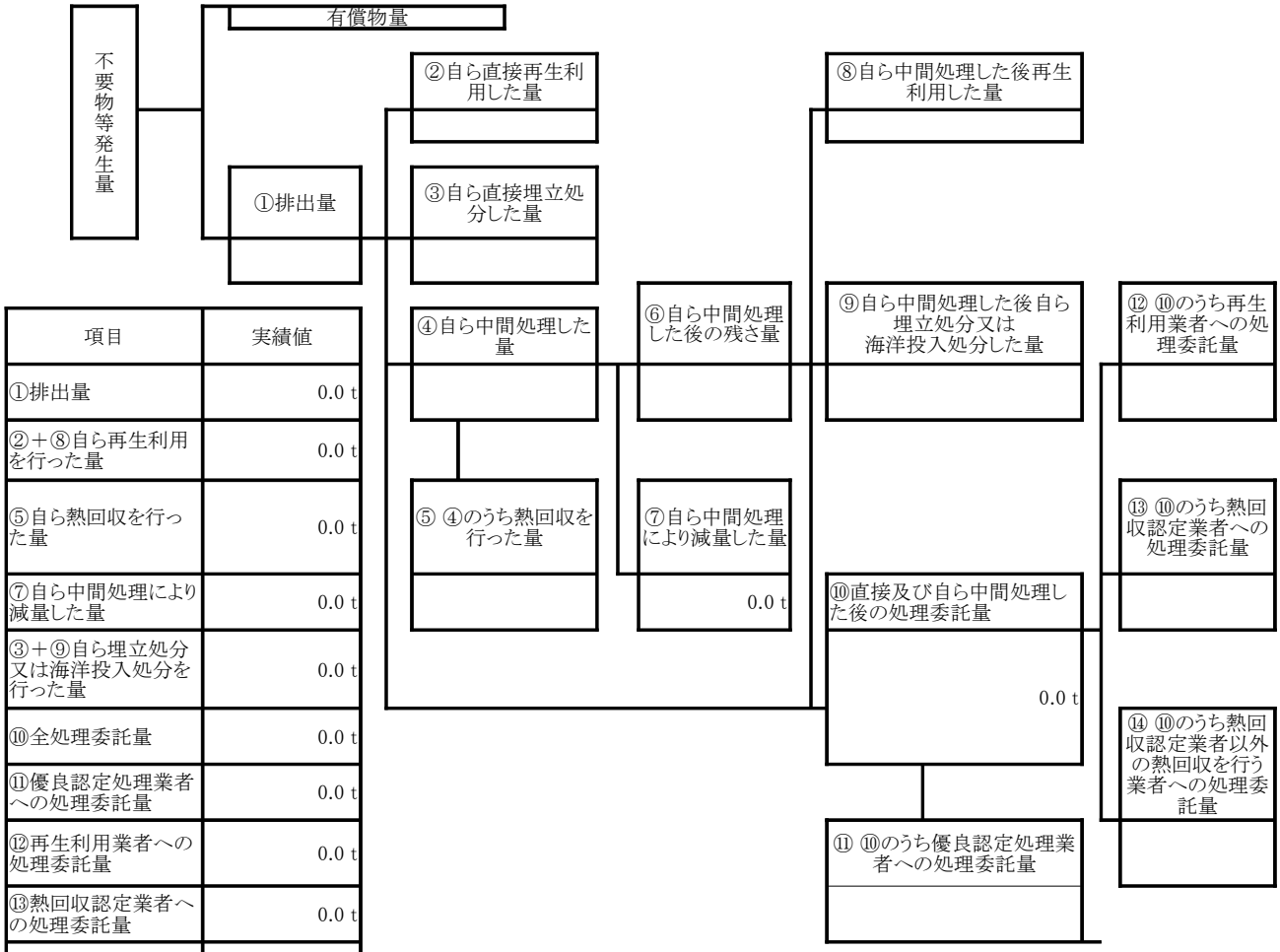


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

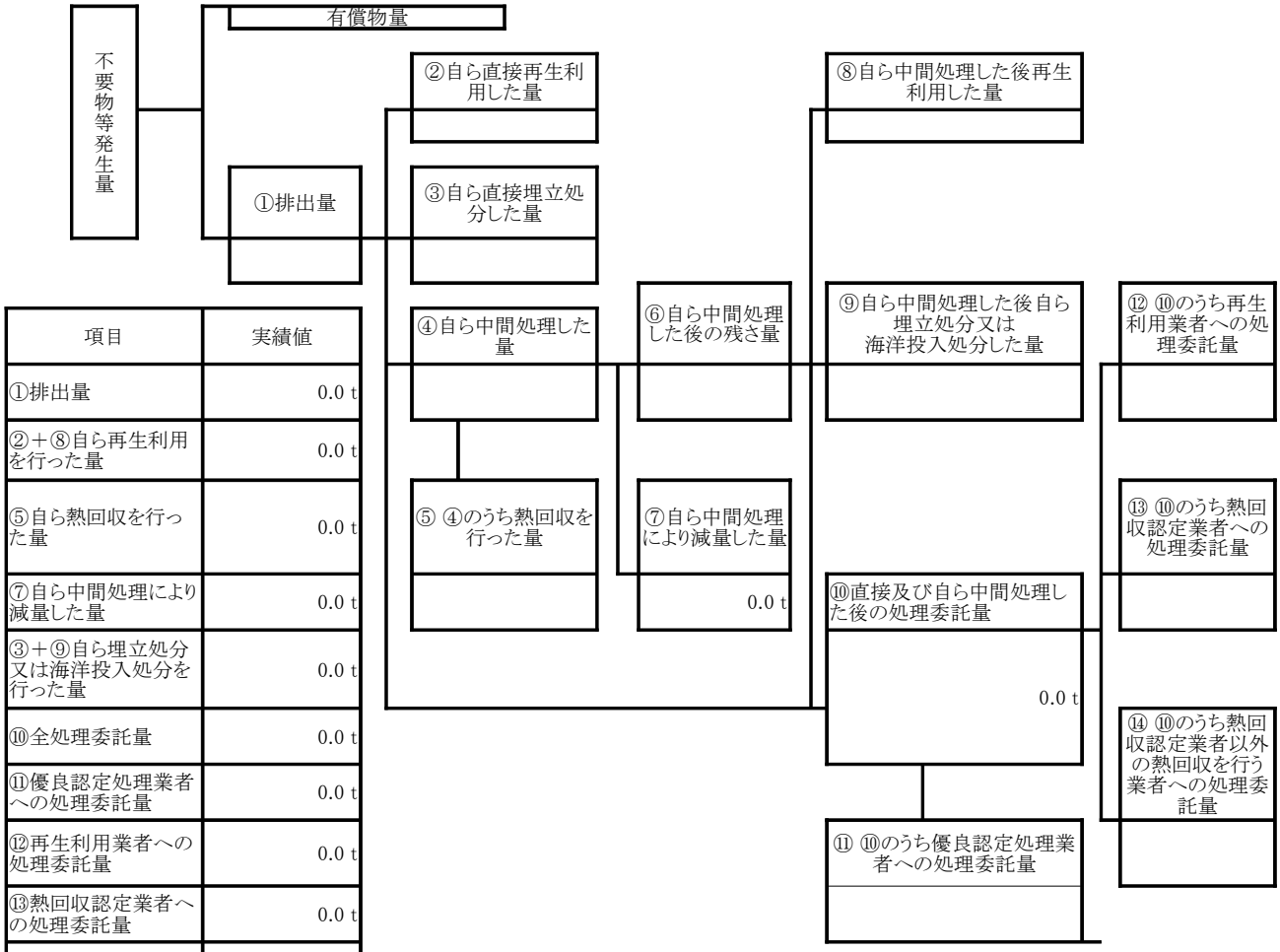


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

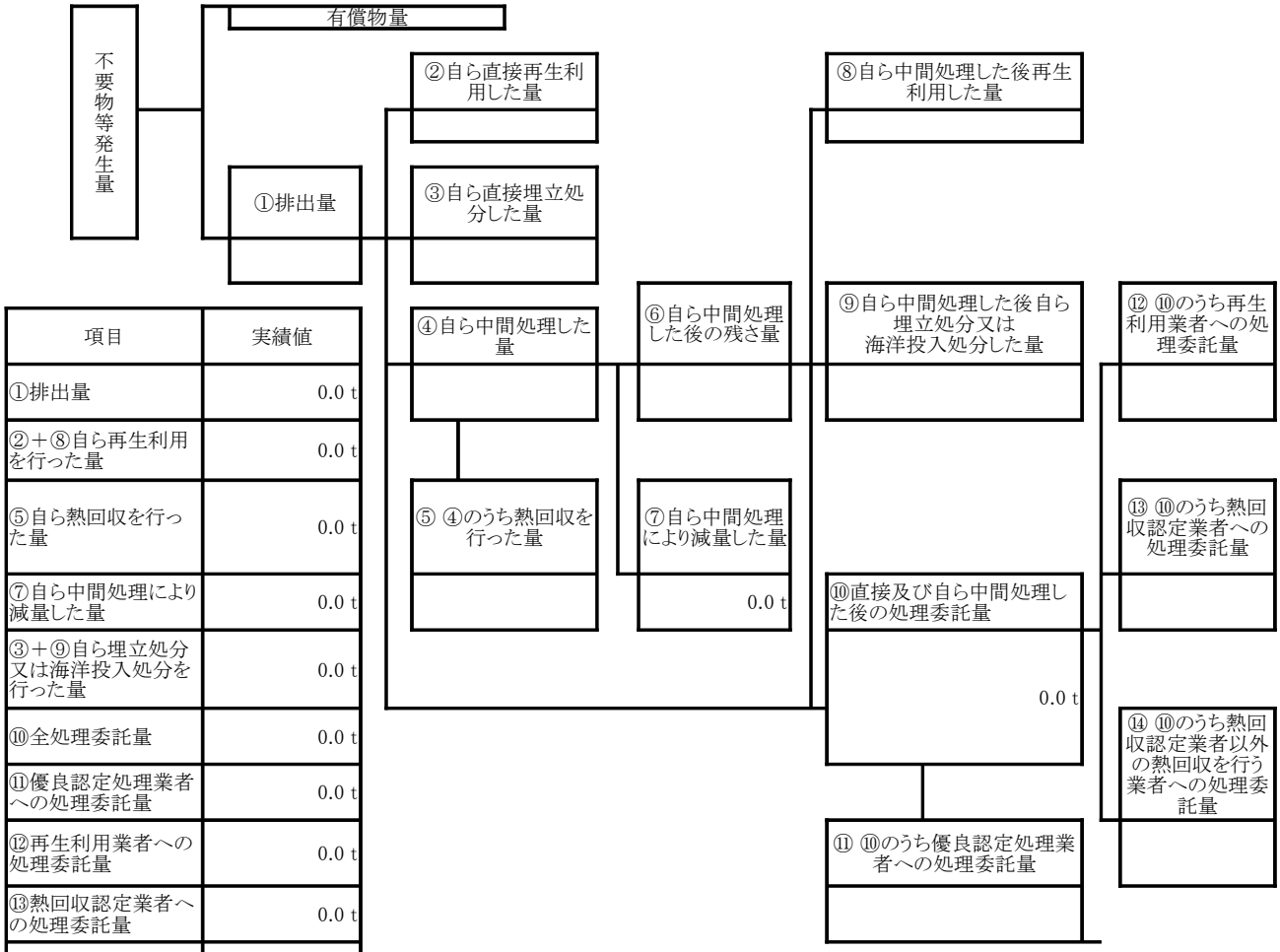


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



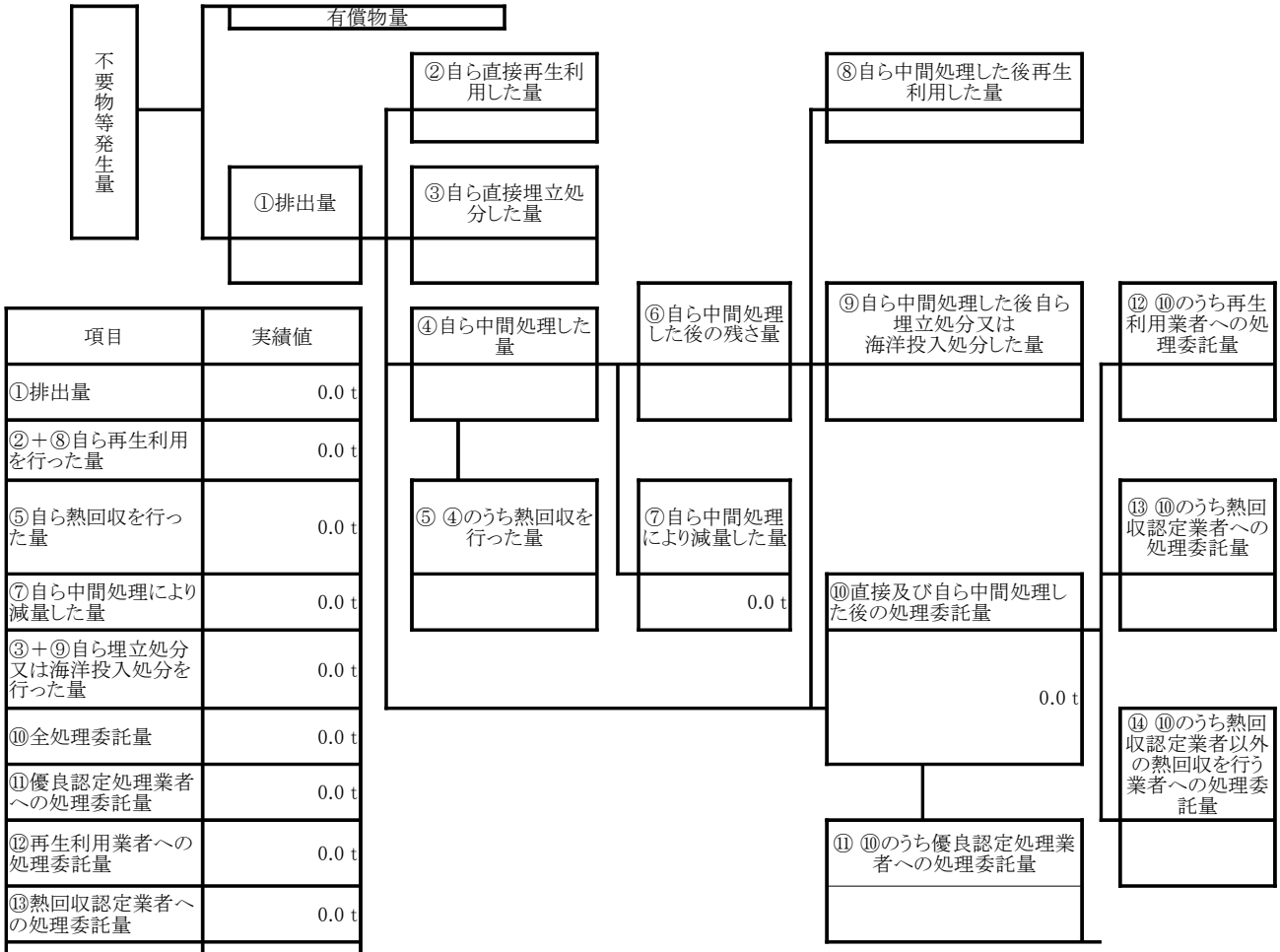
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



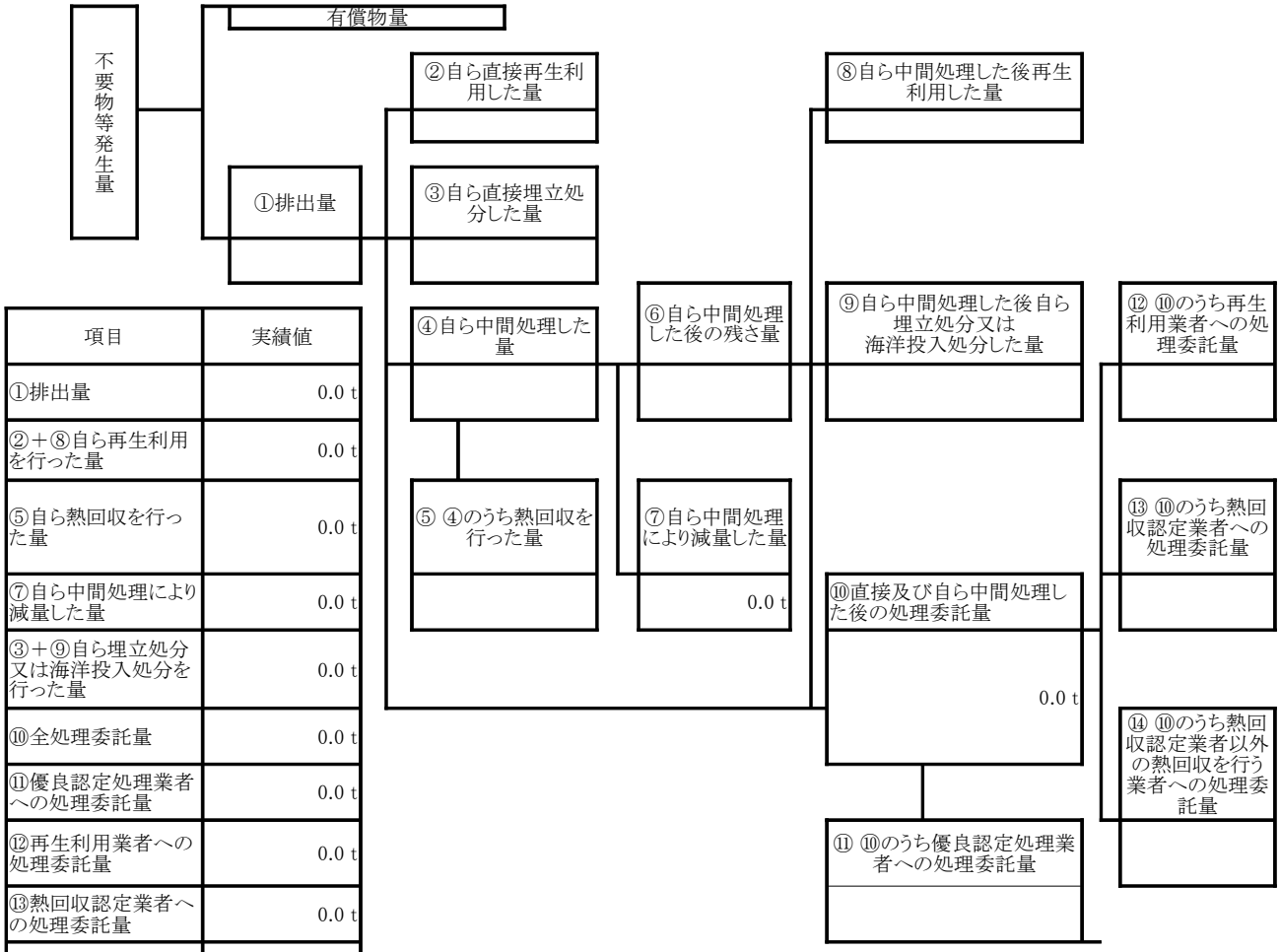
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

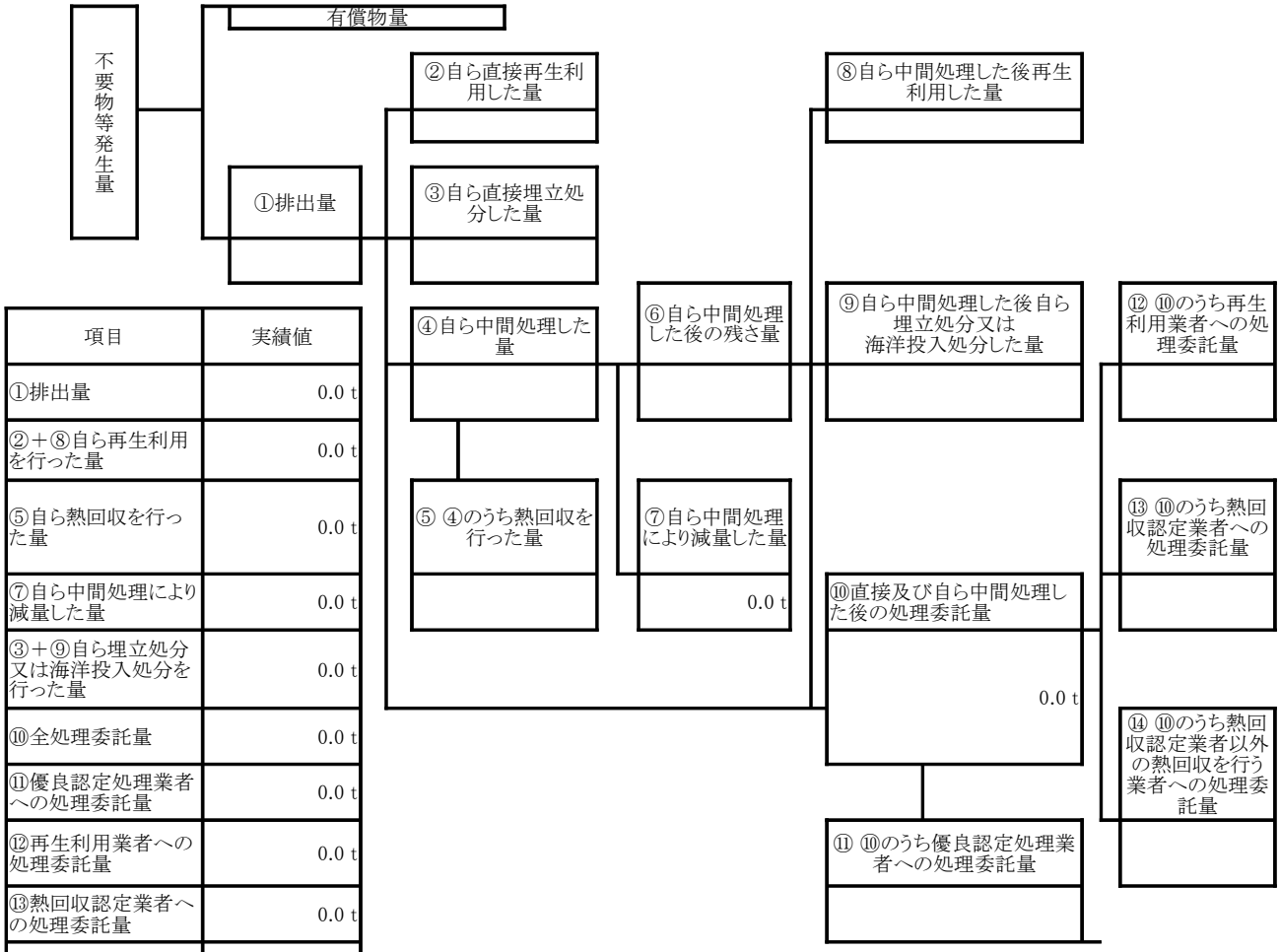


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

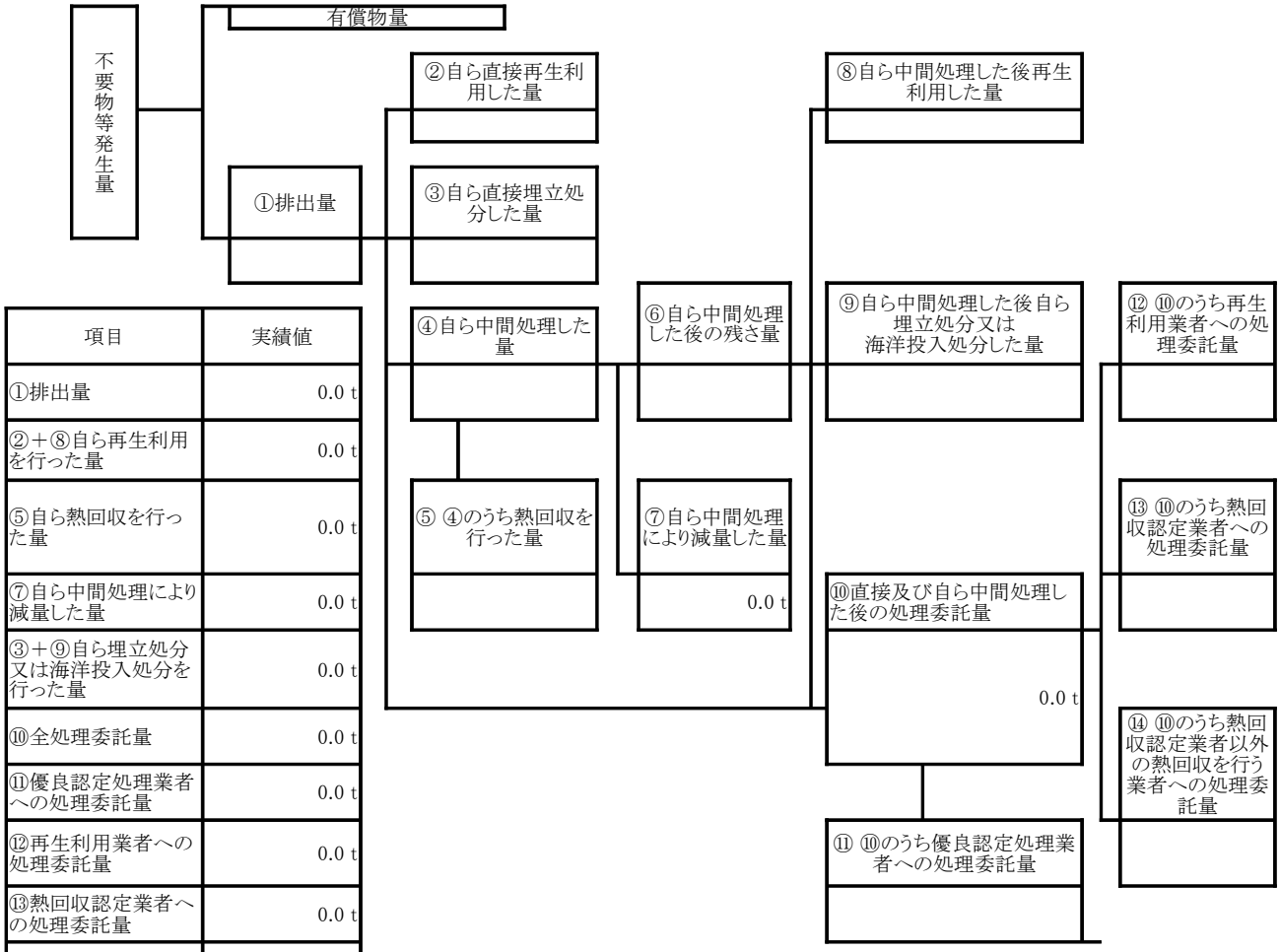


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

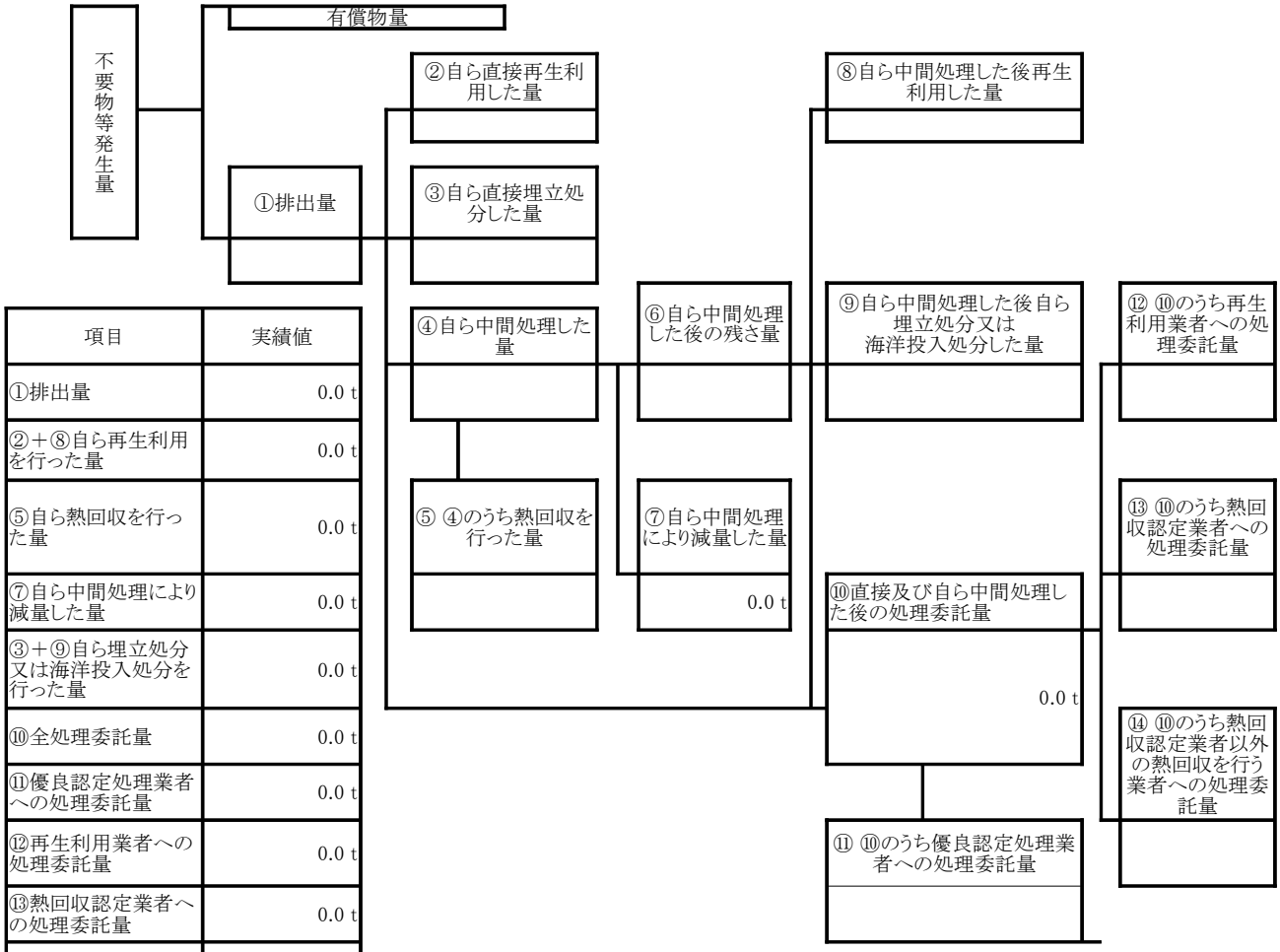


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

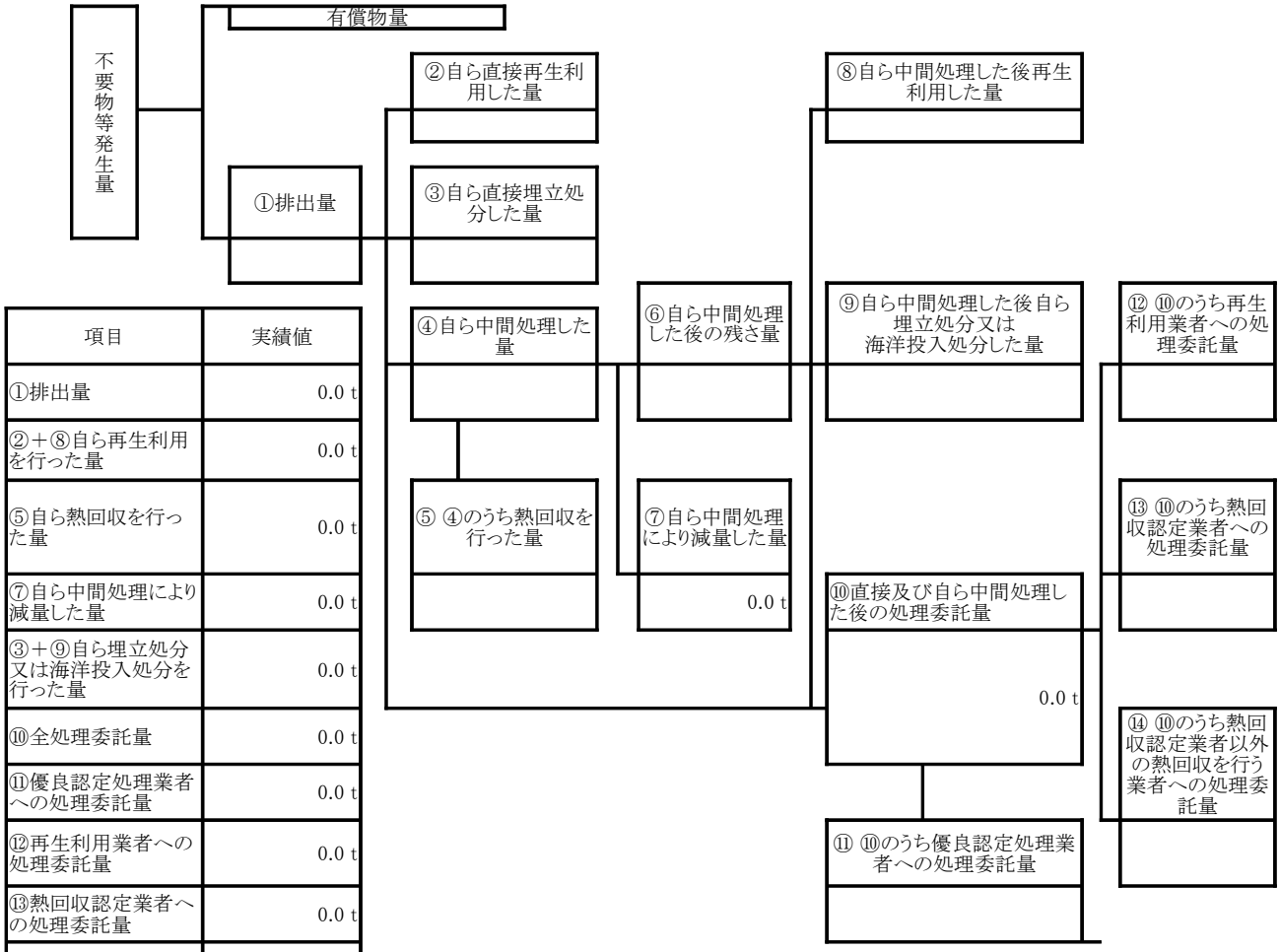


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月2日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　294-0027

住　所　千葉県館山市西長田字洞口971番地1

法人名　館山生コン株式会社

代表者　石井 裕

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0470-28-1311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	館山生コン株式会社
事業場の所在地	千葉県館山市西長田971-1
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　製造業　中分類：　窯業・土石製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額6.1億円
③従業員数	19名（正社員16名　非常勤関係職員3名）
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	生コン製造→残コン→場内硬化→自社で一部再利用 ↓ 収集運搬会社 ↓ 処分会社

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	
排出量	2501 t	t

（これまでに実施した取組）

・分級機にて砂、砕石に分け一般顧客に販売。
・3種類のコンクリートブロック製作をして一般顧客に販売。
・残コンは現場にて処理してもらえる様要請する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	
排出量	900 t	t

（今後実施する予定の取組）

・生コン納入現場と密に連絡を取り、正確な数量の発注を呼びかける。
・分級機の稼働とコンクリートブロック製作を継続する。
・戻りコンクリートの有償化を検討し、購入者に対して残コンの低減に向けて呼びかける。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

コンクリート　残コン過程で生じる生コンはブロック型枠に入れ硬化させ、残りは分級機にて、砂、砕石に選別する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・残コンは分級機にて、砂、砕石に選別し再利用できる様に検討する。
・回収骨材として利用できる様検討する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	330 t	t

（これまでに実施した取組）

・残コン過程で生じる生コンは、ブロック型枠に使用し、残りを分級機にて、砂、砕石に再生している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	500 t	t

（今後実施する予定の取組）

・残コン過程で生じる生コンは、ブロック型枠に使用し、残りを盤級機にて、砂、砕石に再生している。
・コンクリートブロック型枠の増加。
・従来にも増し、コンクリートブロック製作を作成する。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

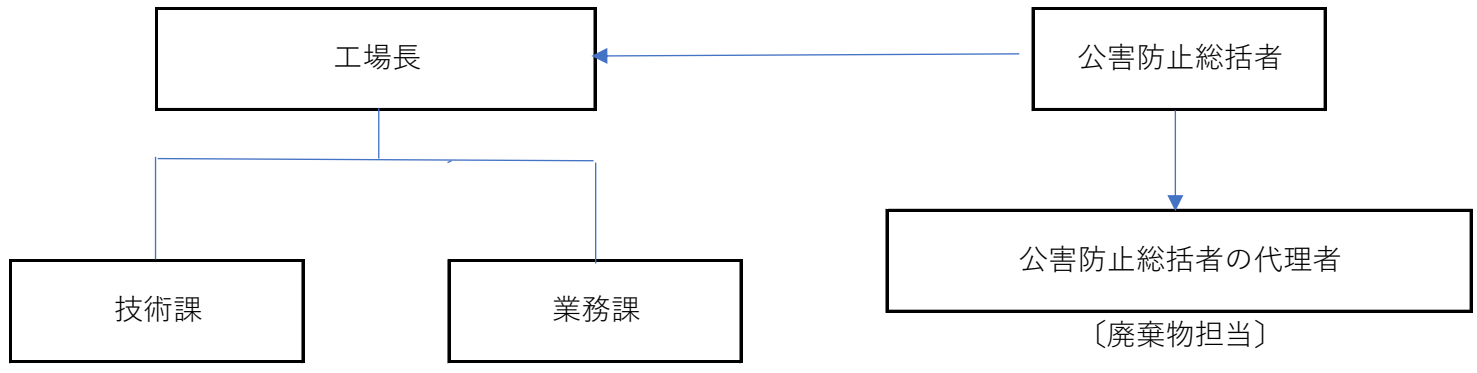
産業廃棄物の種類		ガラス陶磁器等くず	
全処理委託量		2501 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

・残コンの発生を低減する為、納入現場との連絡を密にする。
・契約先の収集運搬業者の業務縮小により運搬能力低下を受けて新規業者と契約した。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>ガラス陶磁器等くず</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>900 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>0 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>900 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・発注業者に対して余剰コンクリートの発生が少なくなる様、発注量を細かく計算してもらえる様要請する。
・処分業者の受入れ状況及び運搬費用の高騰により厳しい状況を伝えて理解を得る。
・引き続き新規契約先を検討しておく。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。


工場長
公害防止総括者
技術課
業務課
公害防止総括者の代理者
〔廃棄物担当〕

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6 年　6 月 21 日

千葉県知事
熊谷　俊人　　殿

提出者

住　所　〒272-0013 千葉県市川市高谷2015-7

氏　名　田中貴金属株式会社　市川工場

工場長　中谷高昭

電話番号　047-327-1101（代表）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	田中貴金属工業株式会社　市川工場
事業場の所在地	千葉県市川市高谷2015-7
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類:製造業　中分類:非鉄貴金属製造業
②事業の規模	令和5年度加工料　8,369　百万円
③従業員数	158名　（派遣社員23名含む）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	最終ページに添付しました。

（日本工業規格　A列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

（統括責任者）　工場長
（廃棄物取扱部署）　環境設備グループ
（処理計画担当）　廃棄物管理者

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　令和5　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強アルカリ）	廃油（引火性）
排出量	388.6 t	30.7 t	0.9 t

（これまでに実施した取組）
廃酸（特管）として産廃排出した一部の製造廃液を自社の排水処理に切り替えた。
廃アルカリ（特管）として産廃排出していた洗浄塔廃液を薬剤として有効利用する取り組みを継続している。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強アルカリ）	廃油（引火性）
排出量	349.7 t	27.7 t	0.8 t

（今後実施する予定の取組）
廃アルカリ（特管）については、薬剤として再利用する取り組みを継続実施する。廃酸に関しても再利用可能か検討している。
また、製造工程の見直しを実施し廃棄物の排出抑制の検討を行う。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃アルカリ（特管）のうち、薬剤として有効利用できる洗浄塔廃液を分別している。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現状の取り組みを継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（　令和5　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強アルカリ）	廃油（引火性）
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自ら再生利用を行ったことはない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強アルカリ）	廃油（引火性）
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
今後も予定はない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（　令和5　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強アルカリ）	廃油（引火性）
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自ら熱回収及び中間処理により減量したことはない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強アルカリ）	廃油（引火性）
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組 ）
今後も予定はない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（　令和5　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強アルカリ）	廃油（引火性）
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自ら埋立処分を行ったことはない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強アルカリ）	廃油（引火性）
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
今後も予定はない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和5　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強アルカリ）	廃油（引火性）
全処理委託量	388.6 t	30.7 t	0.9 t
優良認定処理業者への処理委託量	388.6 t	30.7 t	0.9 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	375.6 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
優良認定処理業者への委託をすすめてきた。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類		廃酸（強酸）	廃アルカリ（強アルカリ）	廃油（引火性）
全処理委託量		349.7 t	27.7 t	0.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	349.7 t	27.7 t	0.8 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	338.0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
引き続き優良認定業者への委託を継続する。

【前年度（　令和5　年度）実績】

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	420.2 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

（今後実施する予定の取組等）
既に電子マニフェストを導入しております。

※事務処理欄

備考

1　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

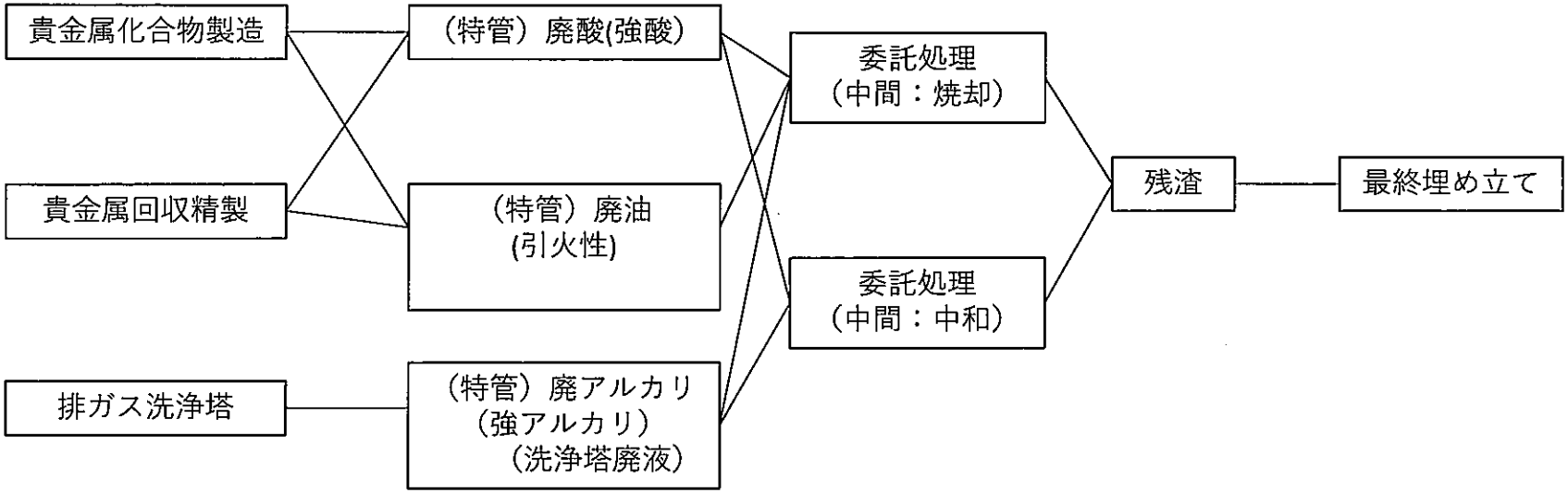
6　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

7　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

8　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

9　※欄は記入しないこと。

特別産業廃棄物の一連の処理工程



様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年 6月 21日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住 所　〒272-0013 千葉県市川市高谷2015-7
氏 名　田中貴金属工業株式会社 市川工場
工場長 中谷 高昭

電話番号 047-327-1101(代表)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、 令和 5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	田中貴金属工業株式会社 市川工場
事業場の所在地	千葉県市川市高谷2015-7
事業の種類	大分類:製造業 中分類:非鉄金属製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	672.5 t	全処理委託量	672.5 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0t	優良認定処理業者への処理委託量	257.4t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0t	再生利用業者への処理委託量	0.0t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	415.1 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	747.3 t
	前年度	420.2 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

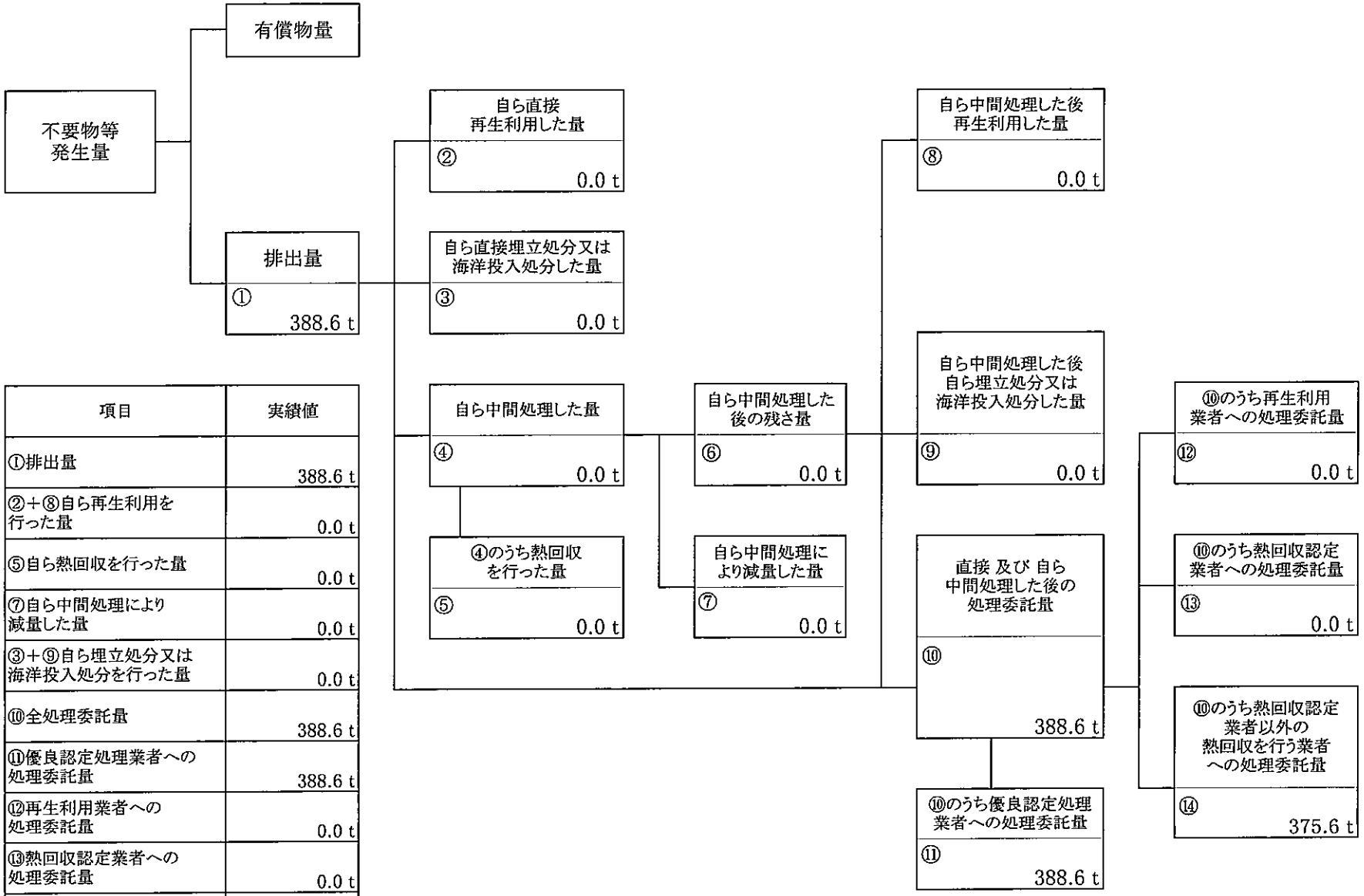
電子マニフェストを既に導入済です。

※事務処理欄	

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃酸（強酸）　）

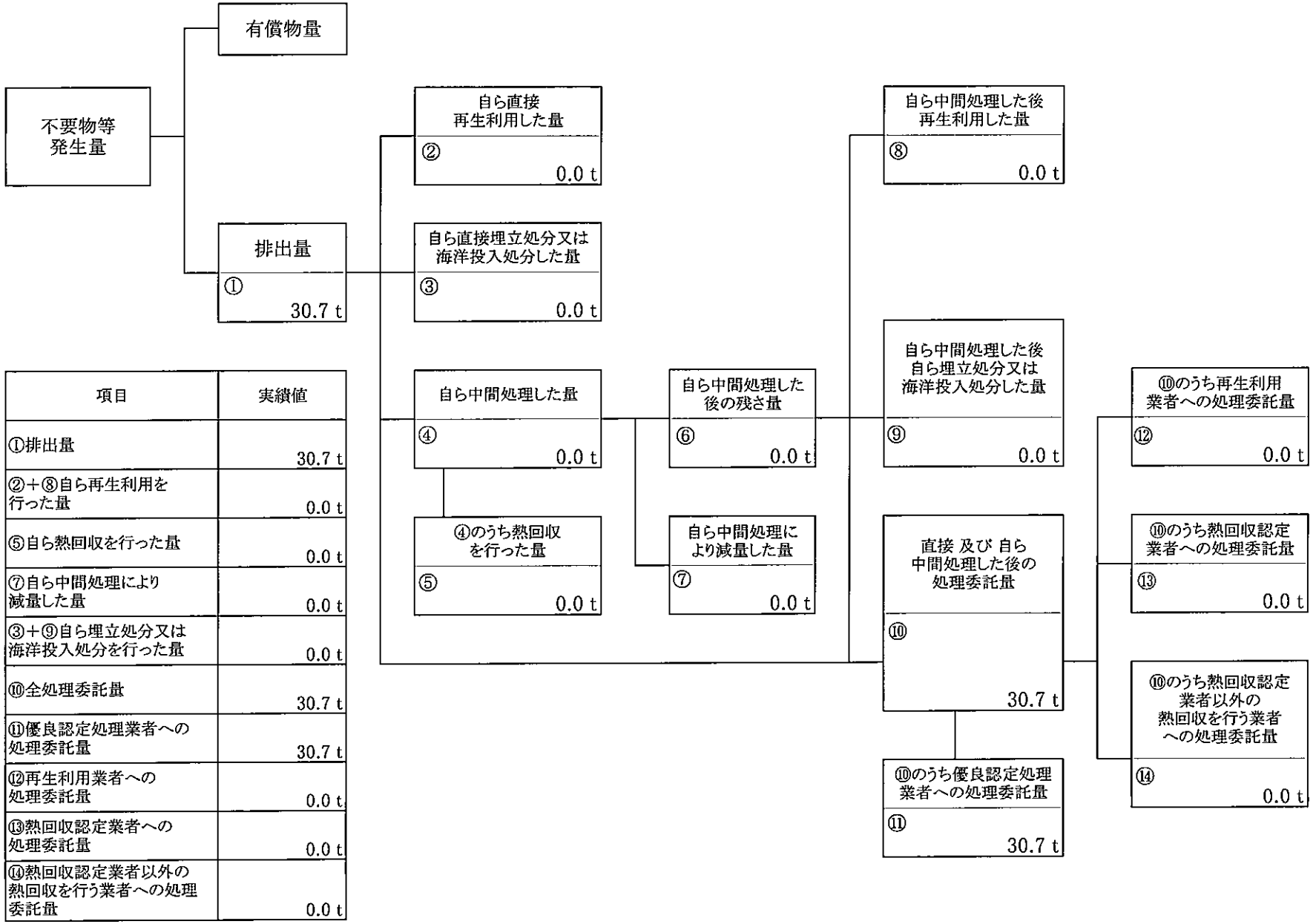


項目	実績値
①排出量	388.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	388.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	388.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	375.6 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　　廃アルカリ（強アルカリ）　　）

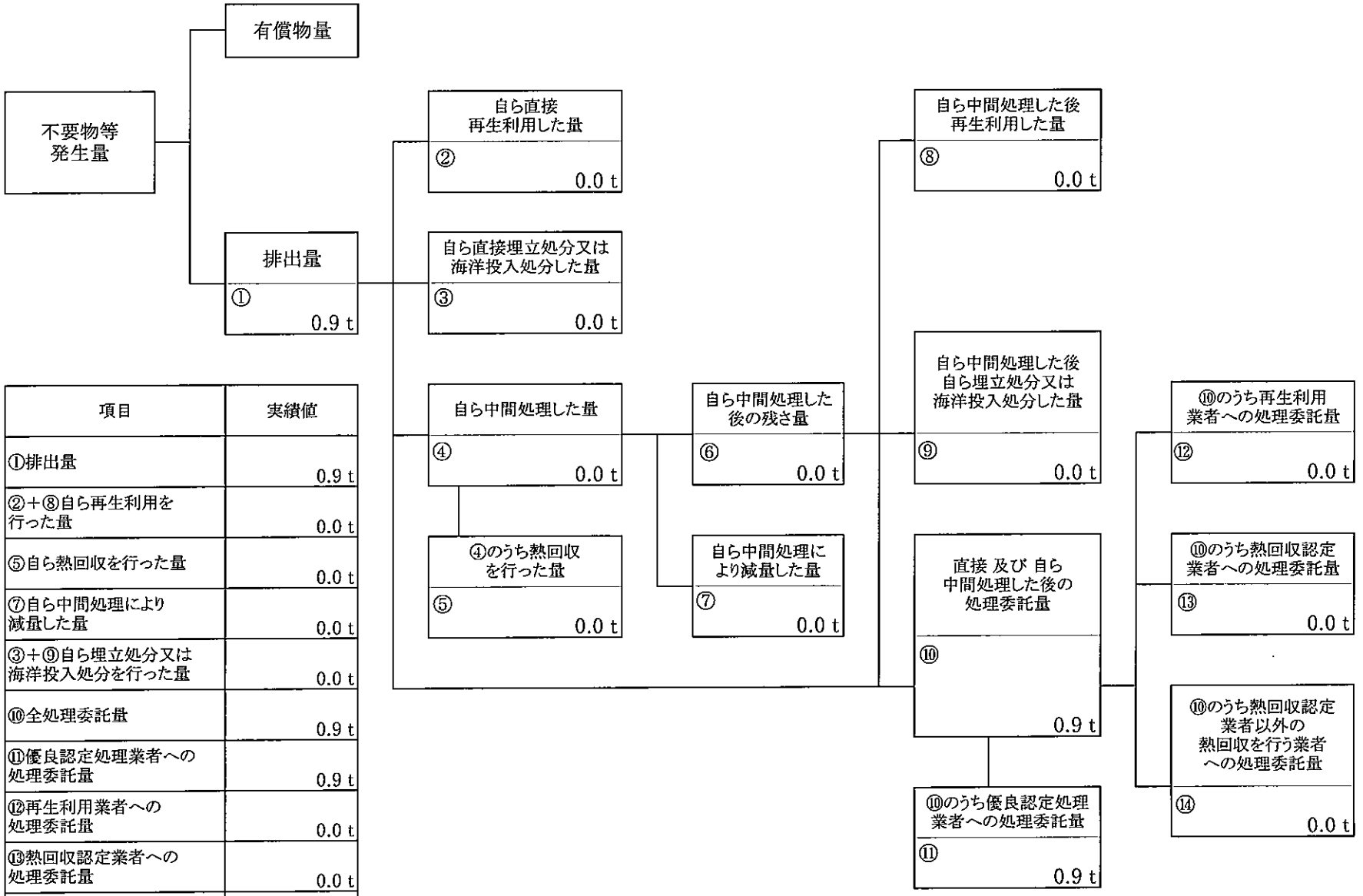


項目	実績値
①排出量	30.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	30.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	30.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃油（引火性）　）



項目	実績値
①排出量	0.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和６年　6月　21日

千葉県知事
　熊谷　俊人　　殿

提出者 〒272-0013
住　所　千葉県市川市高谷2015-7
氏　名　田中貴金属工業株式会社　市川工場
　　工場長　中谷　高昭
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　047-327-1101

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

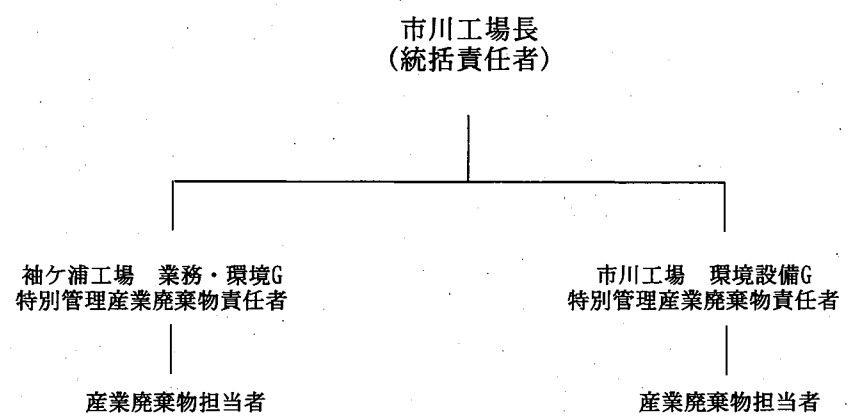
事業場の名称	田中貴金属工業株式会社　袖ケ浦工場
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市椎の森385-17
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E23－非鉄金属製造業
②事業の規模	3,940百万円（2023年度加工料実績）
③従業員数	40人（袖ケ浦工場のみ）
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１参照

（日本産業規格　Ａ列４番）

君津地域振興事務所
-6.6.21
収受

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
排　出　量	172.5　t	808.6　t

（これまでに実施した取組）
廃酸、廃アルカリの場内処理検討
製造条件の見直し、工程改善による排出抑制の検討

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
排　出　量	150　t	700　t

（今後実施する予定の取組）
廃酸、廃アルカリの場内処理検討
製造条件の見直し、工程改善による排出抑制の検討

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
配管および排出ルートの見直し

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
製造条件の見直し、工程改善による分別の検討
実績に合わせた排出ルートの見直し

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自ら再生利用を行ったことはない

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
廃酸、廃アルカリを社内で再生利用出来ないか検討する

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自ら熱回収および中間処理により減量したことはない

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組 ）
廃酸、廃アルカリを社内で中間処理出来ないか検討する

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自ら埋め立て処分を行ったことはない

②計画

【自標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
今後も自ら埋め立て処分を行う予定はない

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
全処理委託量	172.5 t	808.6 t
優良認定処理業者への処理委託量	172.5 t	808.6 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
優良認定処理業者への委託を進めてきた

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類		廃酸	廃アルカリ
全処理委託量		150 t	700 t
	優良認定処理業者への処理委託量	150 t	700 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
今後も優良認定処理業者への委託を進める

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	981.1 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

（今後実施する予定の取組等）
今後も全て電子マニフェストにて対応予定

※事務処理欄

備考

1　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

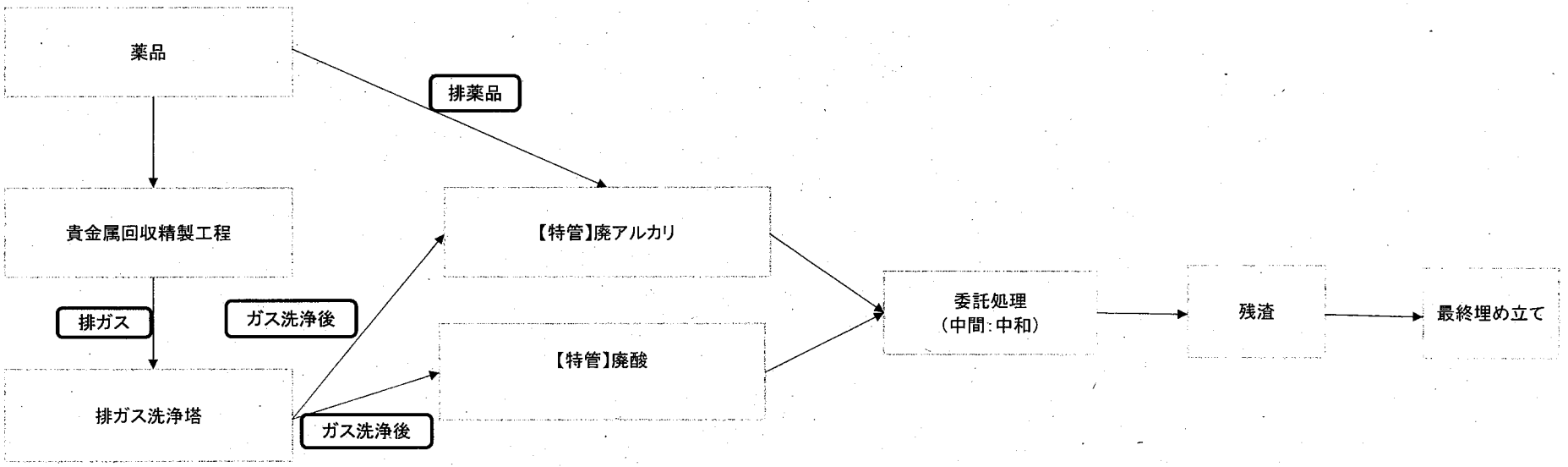
6　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

7　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

8　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

9　※欄は記入しないこと。

別紙1　　産業廃棄物一連の処理工程



様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 21日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒272-0013
住 所　千葉県市川市高谷2015-7
氏 名　田中貴金属工業株式会社　市川工場
工場長　中谷　高昭
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 047-327-1101

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	田中貴金属工業株式会社 袖ケ浦工場
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市椎の森385-17
事業の種類	非鉄金属製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年 4月 1日 ～ 令和6年 3月 31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	700.15 t	全処理委託量	700.15 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	700.15 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度 1030.26	t
	前年度 981.16	t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

全て電子マニフェストにて対応

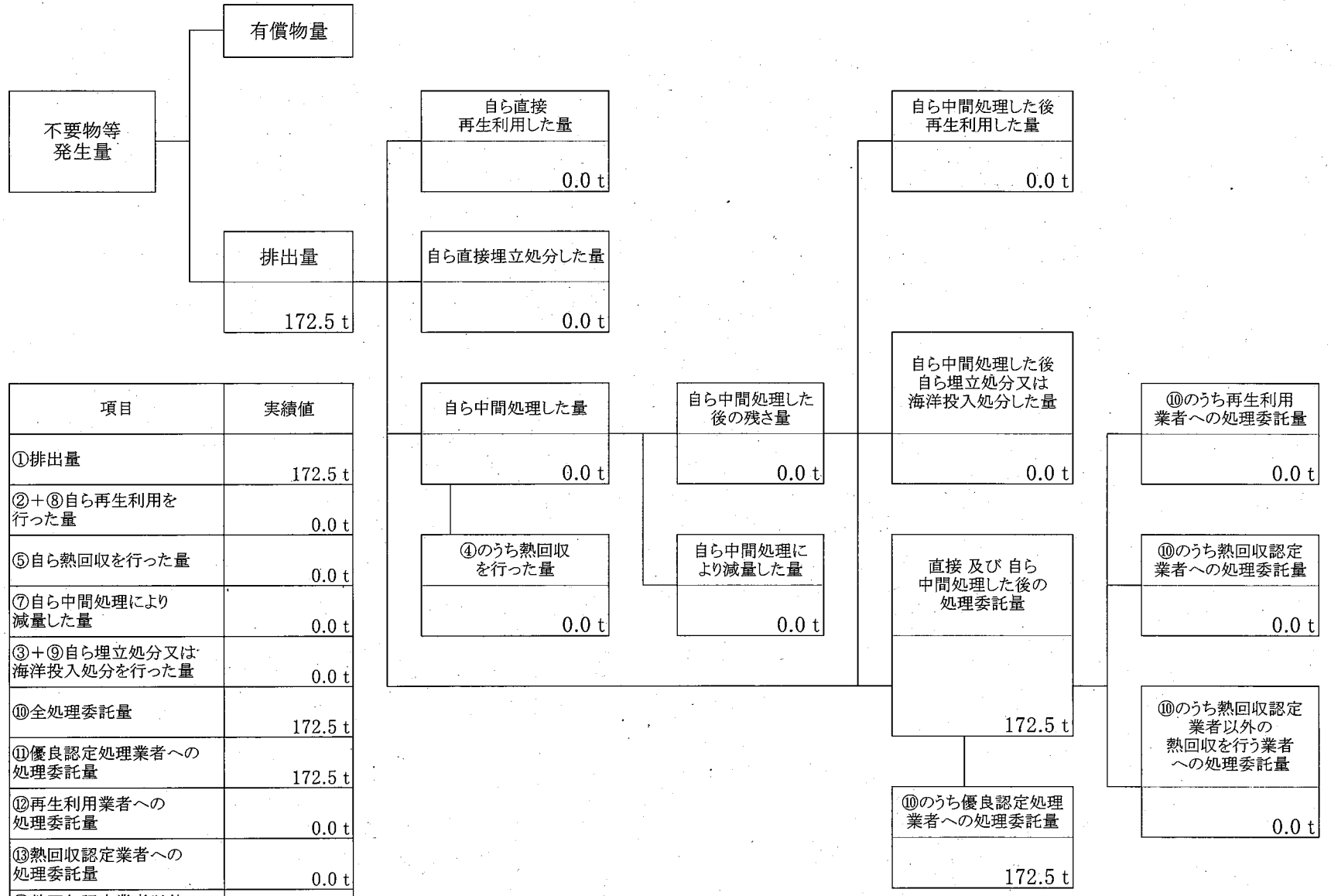
※事務処理欄	

君津地域振興事務所 -6.6.21 収受

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

【特管】廃酸　　）

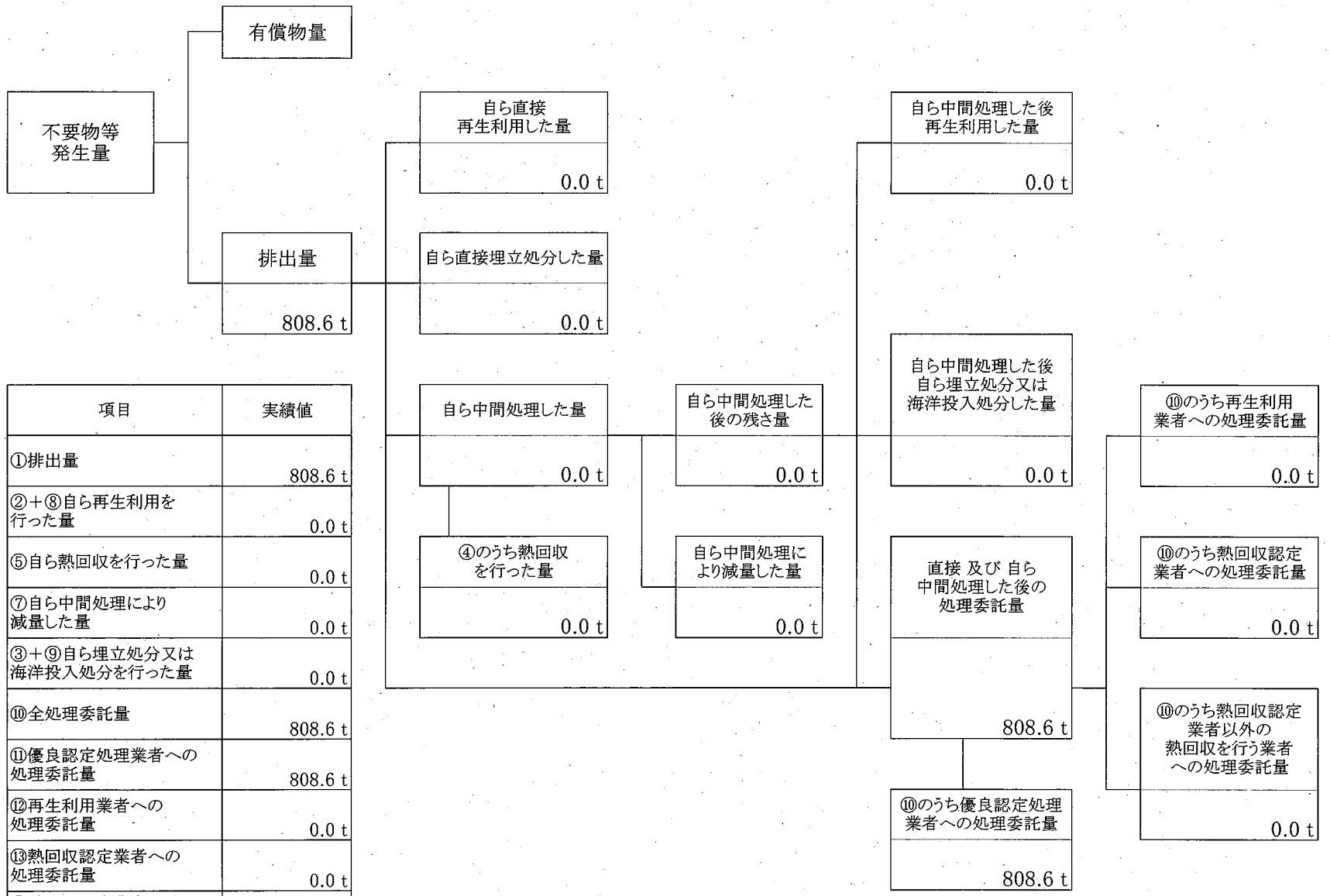


項目	実績値
①排出量	172.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	172.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	172.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

【特管】廃アルカリ　　）

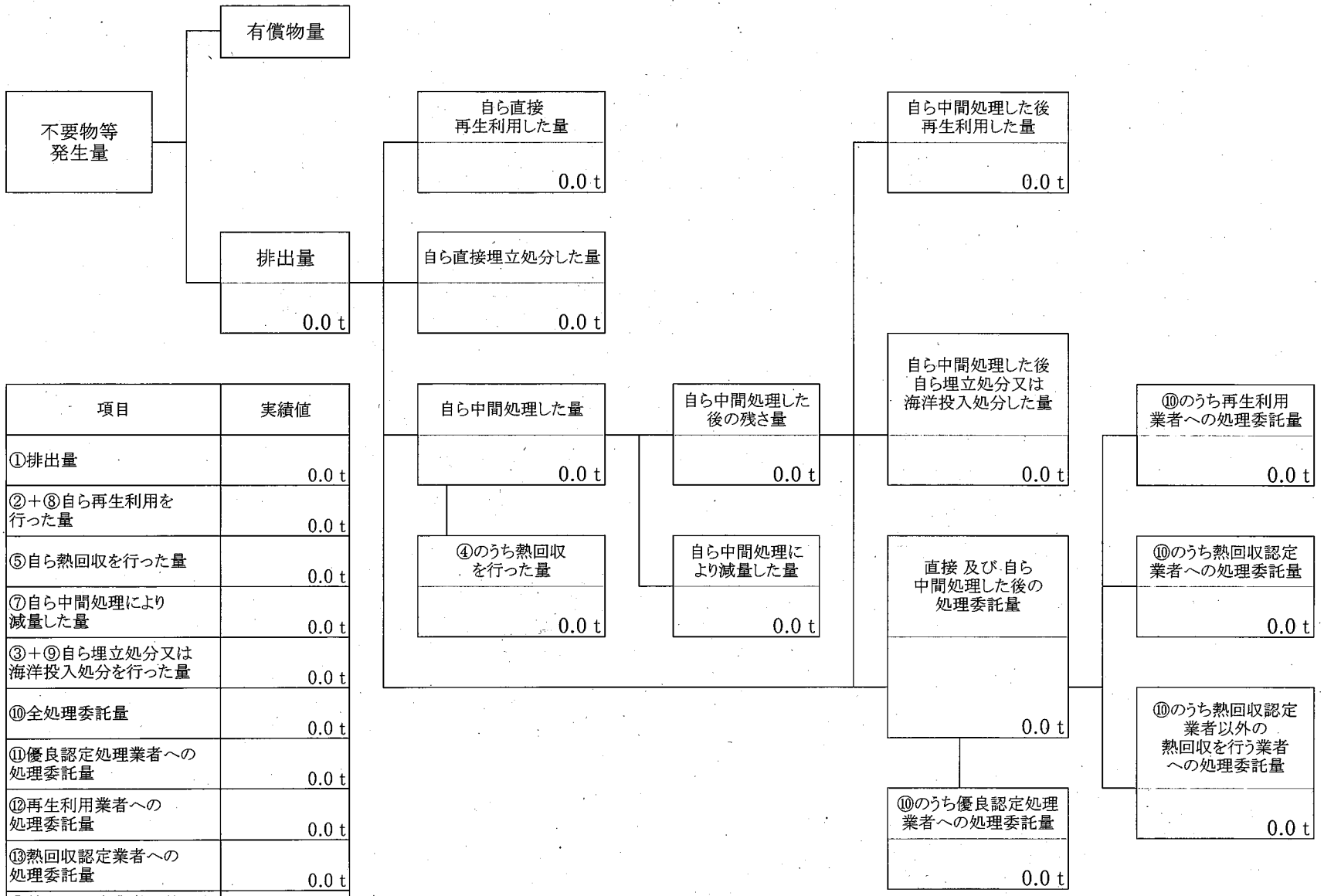


項目	実績値
①排出量	808.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	808.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	808.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

【特管】廃油　　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年　3月　6日

都道府県知事
（市長）　　熊谷　俊人　殿

提出者　　株式会社　多　摩
住　所　　神奈川県川崎市高津区久地2丁目6番10号
氏　名　　代表取締役　百武　博之
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0476－93－2171

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社　多摩　成田工場
事業場の所在地	千葉県富里市七栄　649番地
事業の種類	大分類：製造業　　中分類：窯業・土石製造業 小分類：セメント・同製品製造業（生コンクリート製造業）
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年　4月　1日　～　2024年　3月　31日

産業廃棄物処理計画における目標値

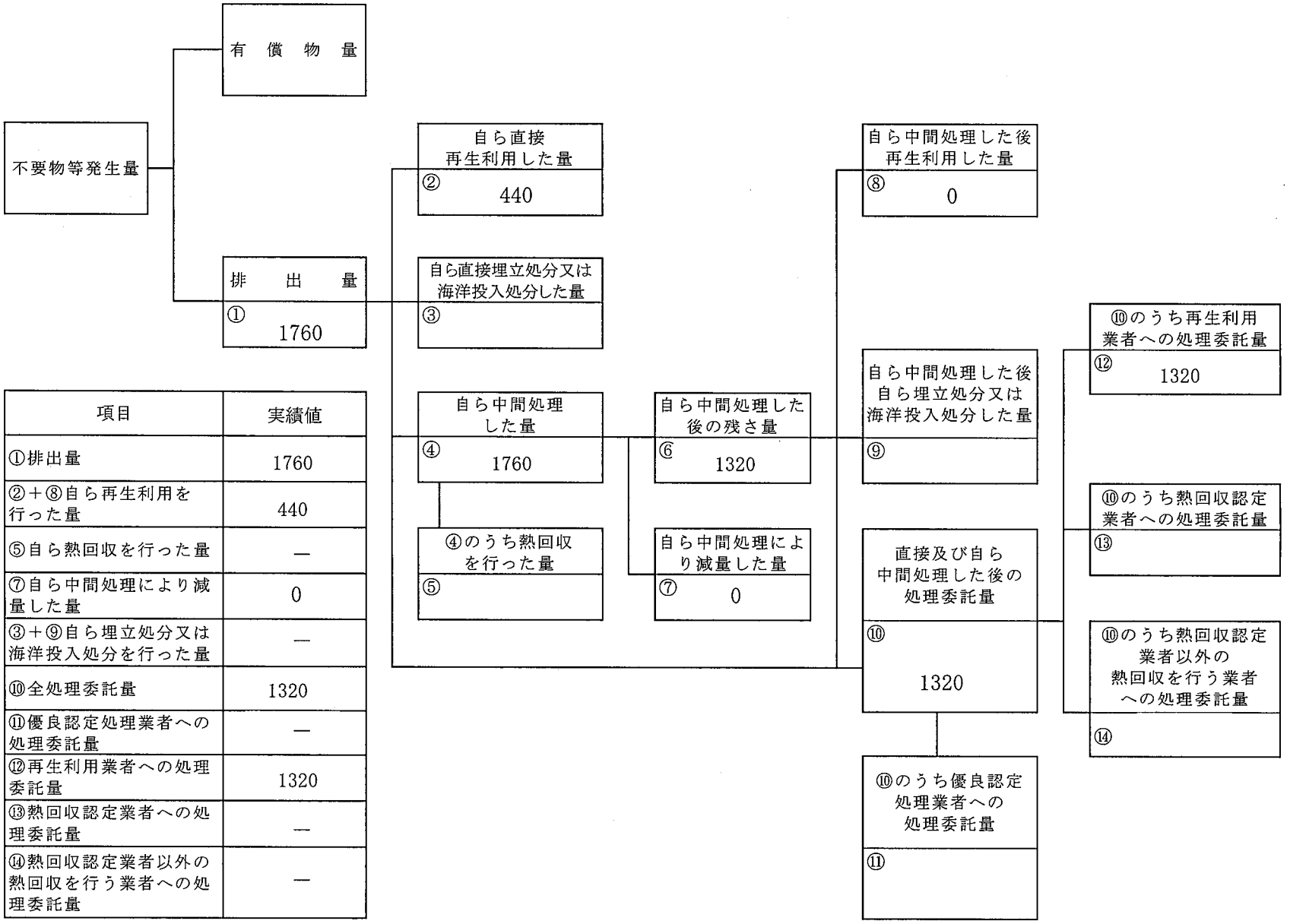
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1000ｔ	全処理委託量	200ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	800ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	－ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ｔ	再生利用業者への処理委託量	200ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	－ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ｔ

※事務処理欄	

（日本工業規格　Ａ列４番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類　ｶﾞﾗｽ･陶磁器くず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず）



項目	実績値
①排出量	1760
②＋⑧自ら再生利用を行った量	440
⑤自ら熱回収を行った量	—
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	—
⑩全処理委託量	1320
⑪優良認定処理業者への処理委託量	—
⑫再生利用業者への処理委託量	1320
⑬熱回収認定業者への処理委託量	—
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—

（第２面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第１面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和7年　3月21日

千葉県知事
　熊谷　俊人　　殿

提出者 〒290-0045

住　所　千葉県市原市五井南海岸2番地

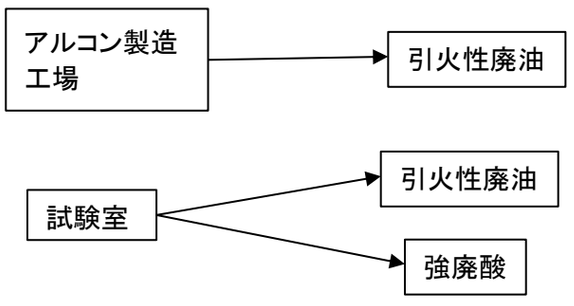
氏　名　千葉アルコン製造株式会社
代表取締役社長　田原　勝彦
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0436-25-3556

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	製造業：千葉アルコン製造株式会社
事業場の所在地	製造業：千葉県市原市五井南海岸2番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

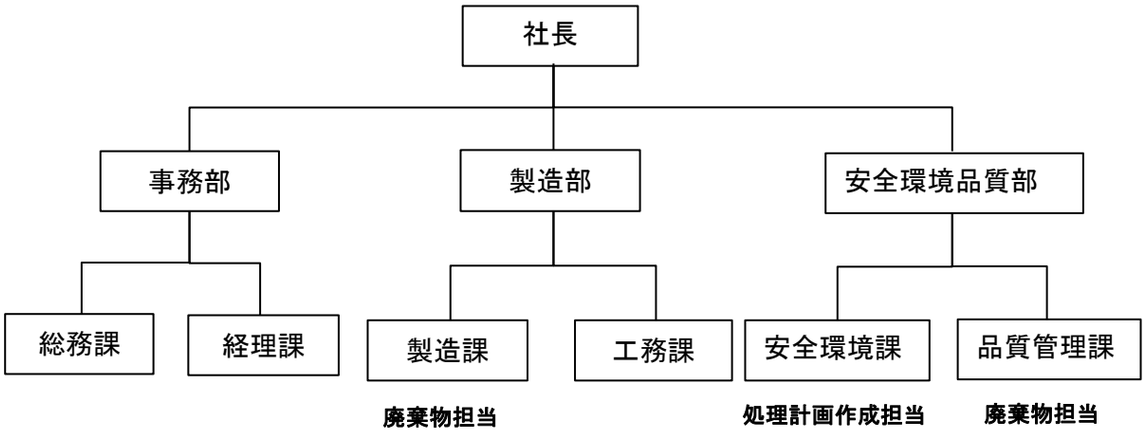
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E16－化学工業
②事業の規模	98百万円
③従業員数	49
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本産業規格　Ａ列４番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強廃酸
排　　出　　量	60.8　　t	0.0046　　t

（これまでに実施した取組）
・生産設備の故障頻度を低減する。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強廃酸
排　　出　　量	100　　t	0.01　　t

（今後実施する予定の取組）
・生産設備の故障頻度を低減する。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃棄物の品目ごとに堅牢な容器で保管する。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
引き続き、分別保管を継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強廃酸
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
発生する廃棄物は再生利用できる品目ではないため、実績はない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強廃酸
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
引き続き、再生利用は行わない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強廃酸
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
実施した取り組みはなし。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強廃酸
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組 ）
実施する予定なし。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強廃酸
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
これまでに実績はない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強廃酸
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
これまでに実績はない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強廃酸
全処理委託量	60.8 t	0.0046 t
優良認定処理業者への処理委託量	60.8 t	0.0046 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	39.82 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
優良事業者への排出をこころがけている。

	②計画	【目標】

特別管理産業廃棄物の種類		引火性廃油	強廃酸
全処理委託量		100 t	0.01 t
	優良認定処理業者への処理委託量	100 t	0.01 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	20 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
今後も優良事業者への排出をこころがける。

電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	60.8046 t

（今後実施する予定の取組等）
令和７年度より電子マニュフェストを導入する。

※事務処理欄	

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月24日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　299-0266

住　所　千葉県袖ケ浦市北袖17

法人名　株式会社千葉サンソセンター　袖ケ浦工場

代表者　寺本 憲治

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0438-62-0161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社千葉サンソセンター　袖ケ浦工場
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市北袖17
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　中分類：　化学工業
②事業の規模	高圧ガス総処理能力　14,201,699立米/日
③従業員数	22人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙(処理工程)

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙(管理体制)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
排出量	1,200.41 t	1.6 t

（これまでに実施した取組）
・廃棄物種類ごとに分別する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
排出量	0 t	2 t

（今後実施する予定の取組）
・廃棄物種類ごとに分別する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・廃棄物種類ごとに分別する。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
・廃棄物種類ごとに分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		がれき類	汚泥
全処理委託量		1,200.41ｔ	1.6ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	再生利用業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

・廃棄物種類ごとに分別する。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>汚泥</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>０ｔ</td><td>２ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・廃棄物種類ごとに分別する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年６月24日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒299-0266

住　所　千葉県袖ケ浦市北袖17

氏　名　株式会社千葉サンソセンター
袖ケ浦工場　工場長　寺本　憲治

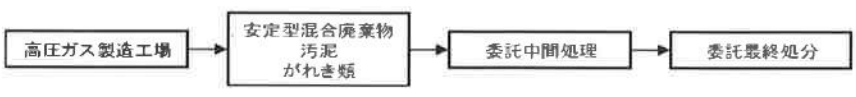
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0438-62-0161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社千葉サンソセンター　袖ケ浦工場
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市北袖17
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

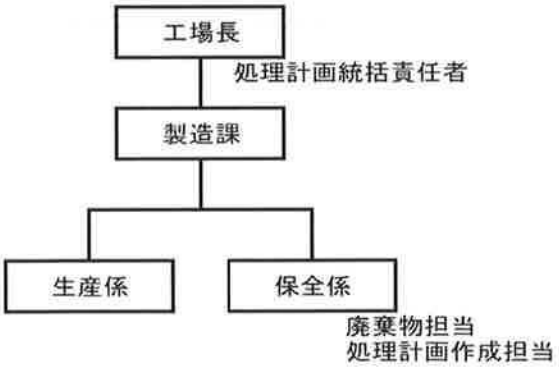
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	E16－化学工業
②　事業の規模	高圧ガス総処理能力　14,201,699㎥／日
③　従業員数	22人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
排出量	1,200.41 t	1.60 t

（これまでに実施した取組）
・廃棄物種類ごとに分別する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
排出量	0.00 t	2.00 t

（今後実施する予定の取組）
・廃棄物種類ごとに分別する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・廃棄物種類ごとに分別する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・廃棄物種類ごとに分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
全処理委託量	1,200.41 t	1.60 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t

（これまでに実施した取組）

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		がれき類	汚泥
		全処理委託量		0.00 t	2.00 t
			優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
			再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
			認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
		（今後実施する予定の取組）			
※事務処理欄					

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具						
		排　出　量	0.84 t	0.04 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具						
		排　出　量	1.00 t	0.50 t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具						
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具						
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具						
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具						
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
①現状	【前年度（令和5年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状	【前年度（令和5年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具							
	全処理委託量	0.84 t	0.04 t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具							
	全処理委託量	1.00 t	0.50 t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t	

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月19日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　299-0266

住　所　千葉県袖ケ浦市北袖12-1

法人名　チヨダウーテ株式会社

代表者　平田 芳久

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0438-63-2511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	製造業：チヨダウーテ株式会社　千葉工場
事業場の所在地	製造業：袖ヶ浦市北袖１２－１
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　製造業　　中分類：　窯業・土石製品製造業
②事業の規模	前年度の製品出荷額：８０億円
③従業員数	８０名（正社員　６０名、協力会社２０名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃えがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
排出量	3667.9 t	76 t

（これまでに実施した取組）

燃え殻に関しては、木屑ボイラーから発生する燃え殻の色や形を確認し、未燃分があるか判断し、燃焼空気量を管理している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃えがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
排出量	3400 t	70 t

（今後実施する予定の取組）

・木屑の品質向上を販売元に求める。
・ボイラー用耐熱レンガの再利用
・ゴミの分別の強化
・無駄の排除、廃棄物を出さない取組

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

産業廃棄物種類は、燃え殻・一般ごみ・廃プラスチック・がれき類・廃油・ガラス・コンクリート陶磁器に分類し再生資源化に努めている。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

引き続き分別を適正に行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃えがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

自ら再生利用を行った実績はない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃えがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

実施する予定はない。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃えがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

実績はない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃えがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

実施する予定はない。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃えがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

実績はない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃えがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

実施する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		燃えがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
全処理委託量		3667.9ｔ	76ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	再生利用業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

優良認定処理業者への処理委託を探している。

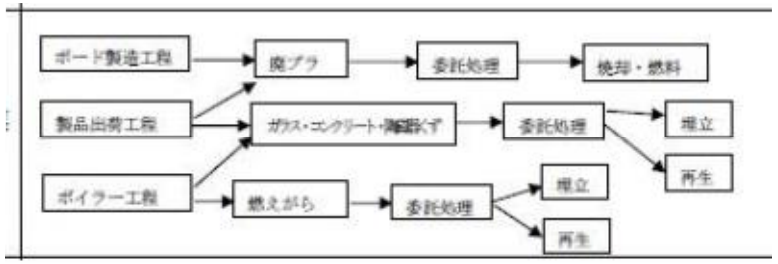
<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>燃えがら</td><td>ガラス・コンクリート・陶磁器くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>3400 t</td><td>70 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>3400 t</td><td>70 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
木屑チップ販売元への品質向上を要請する、
ボイラー用レンガの再利用
廃プラスチックの分別
無駄の排除、廃棄物を発生させない取組み。
ごみの分別強化</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

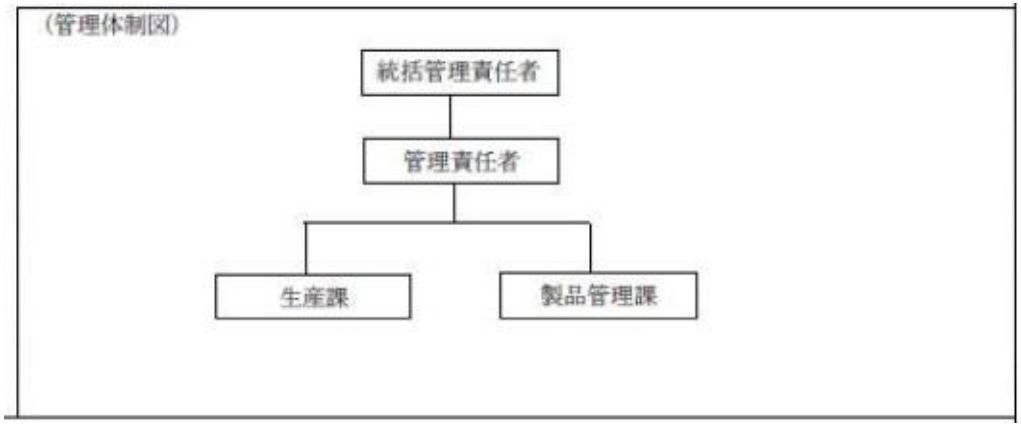
セルが足りない場合は右側に追加をお願いします。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	築、改築又は除去に						
		排　出　量	93.8　t	69.8　t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	築、改築又は除去に						
		排　出　量	80　t	60　t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	築、改築又は除去に						
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	築、改築又は除去に						
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	築、改築又は除去に						
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	築、改築又は除去に						
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
		【前年度（令和5年度）実績】								

①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、改築又は除去に							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、改築又は除去に							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、改築又は除去に							
	全処理委託量	93.8 t	69.8 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、改築又は除去に							
	全処理委託量	80 t	60 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	80 t	60 t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t


ボード製造工程
廃プラ
委託処理
焼却・燃料
製品出荷工程
ガラス・コンクリート・陶器くず
委託処理
埋立
再生
ボイラー工程
燃えがら
委託処理
埋立
再生

（管理体制図）



様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月10日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　299-0266

住所 千葉県袖ケ浦市北袖12-1

法人名 チヨダウーテ株式会社

代表者 平田 芳久

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0438-63-2511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	製造業:チヨダウーテ株式会社　千葉工場
事業場の所在地	製造業:千葉県袖ケ浦市北袖12－1
事業の種類	大分類　製造業　中分類 窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

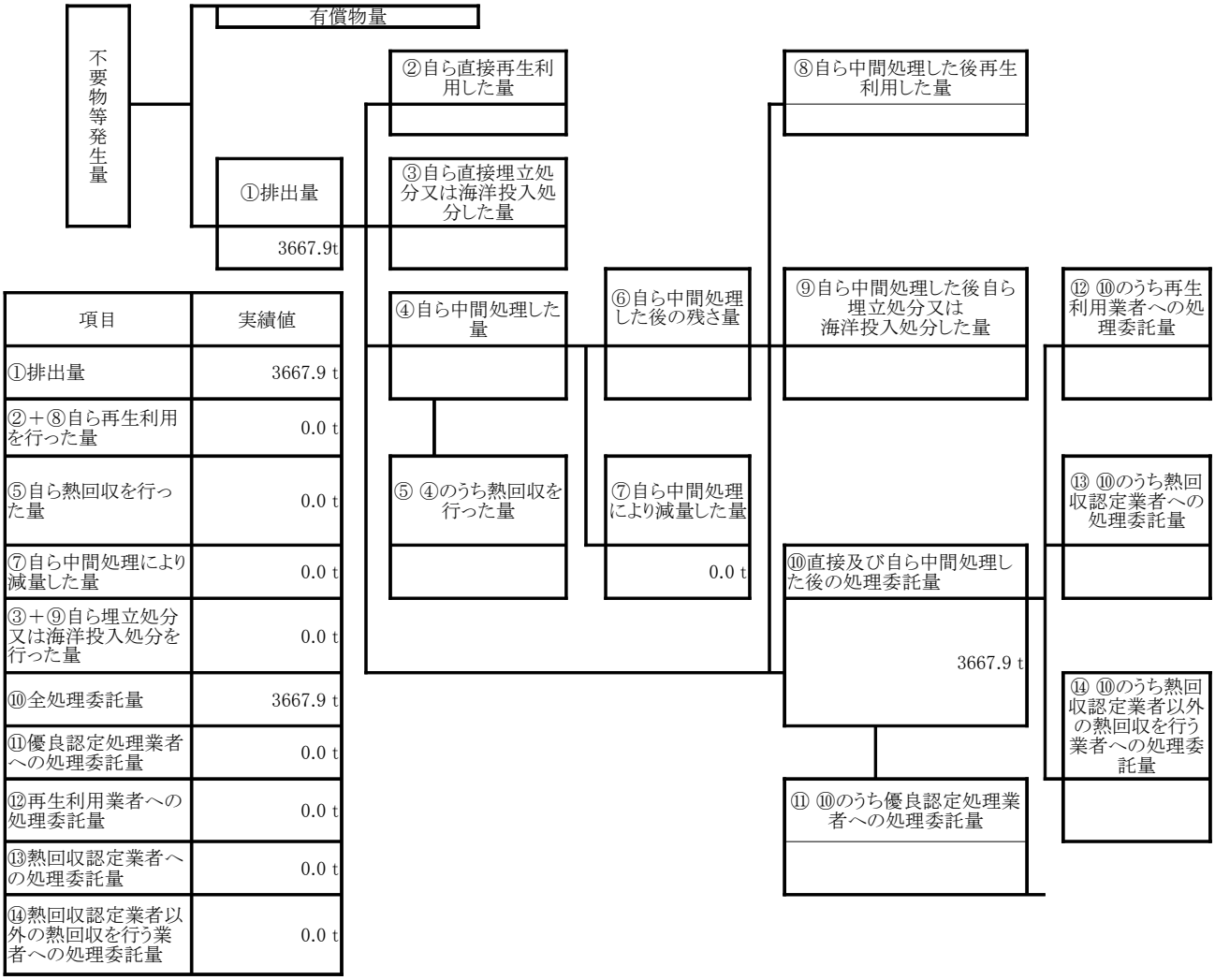
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3090 t	全処理委託量	3090 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	3090 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　燃えがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

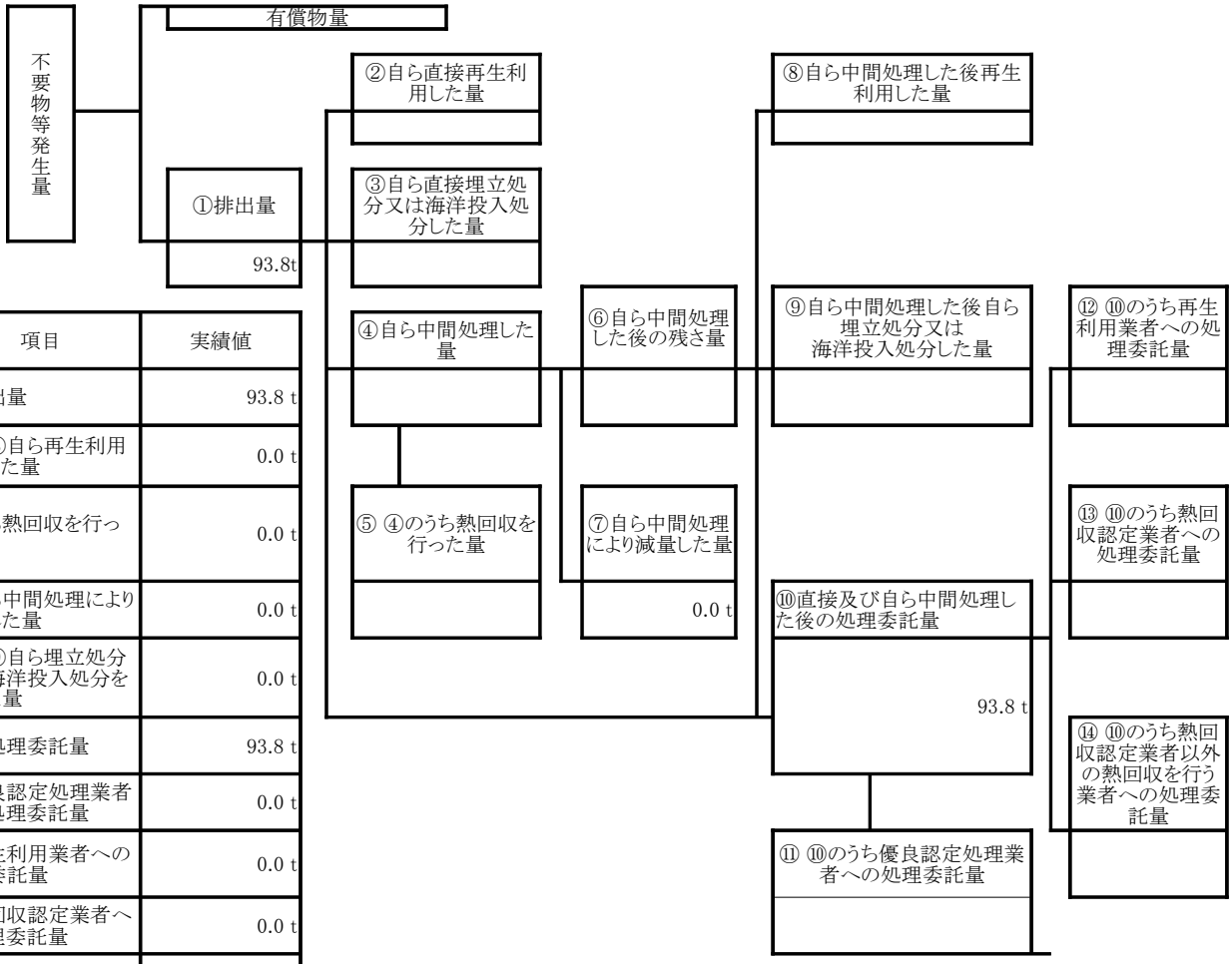


項目	実績値
①排出量	3667.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3667.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

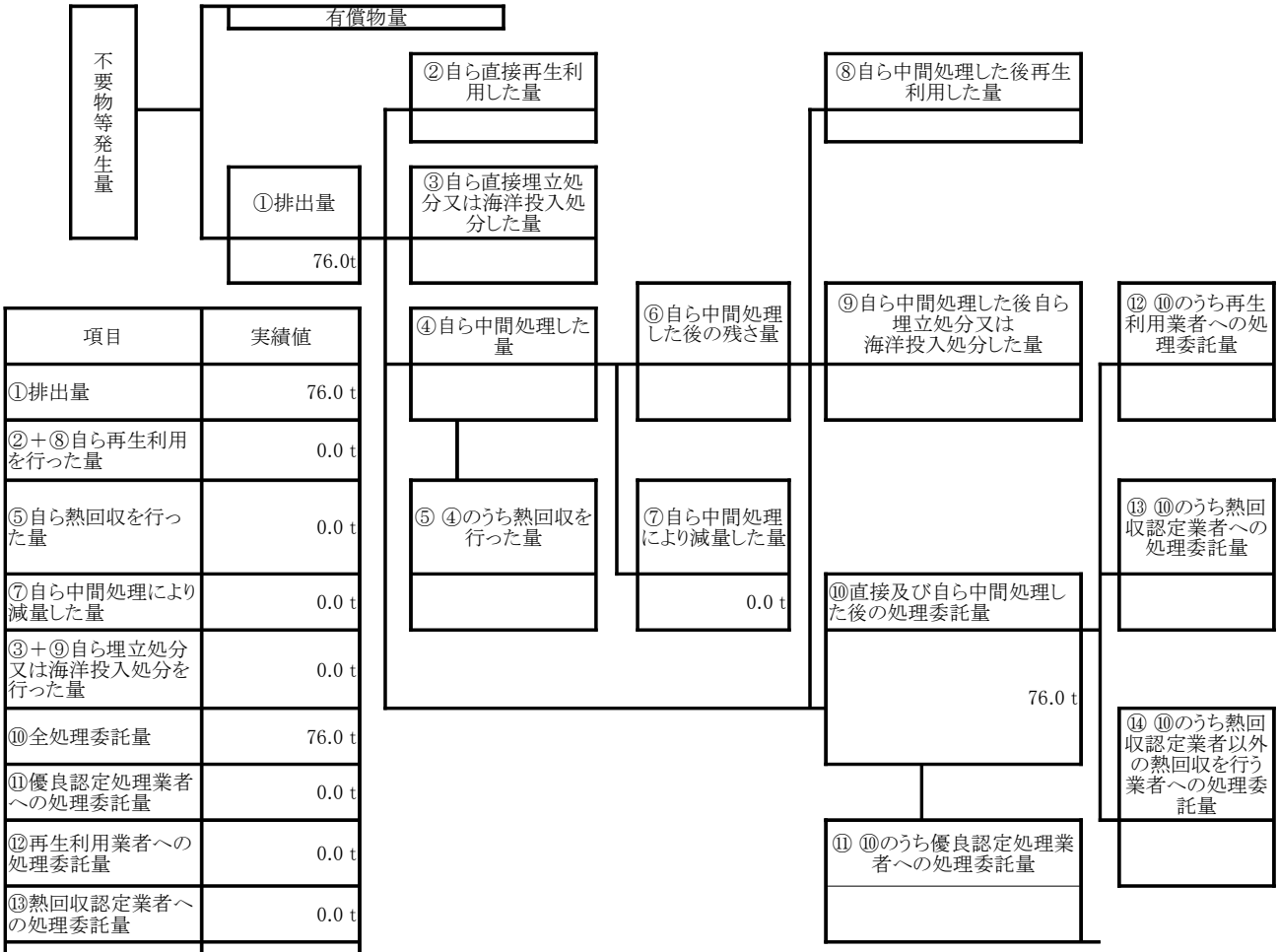


項目	実績値
①排出量	93.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	93.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　くず、コンクリートくず及び陶磁器）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



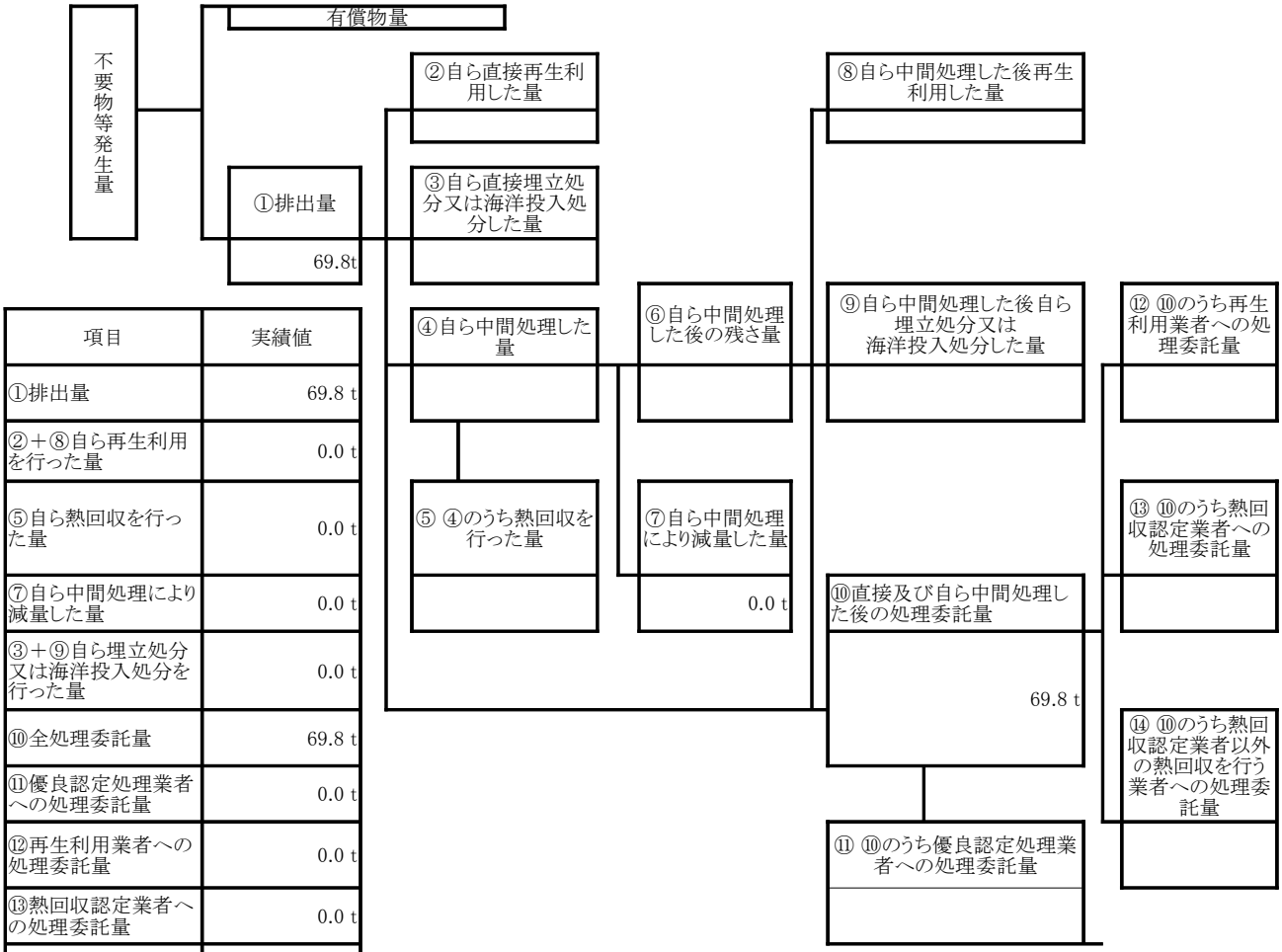
項目	実績値
①排出量	76.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	76.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　物の新築、改築又は除去に伴って）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

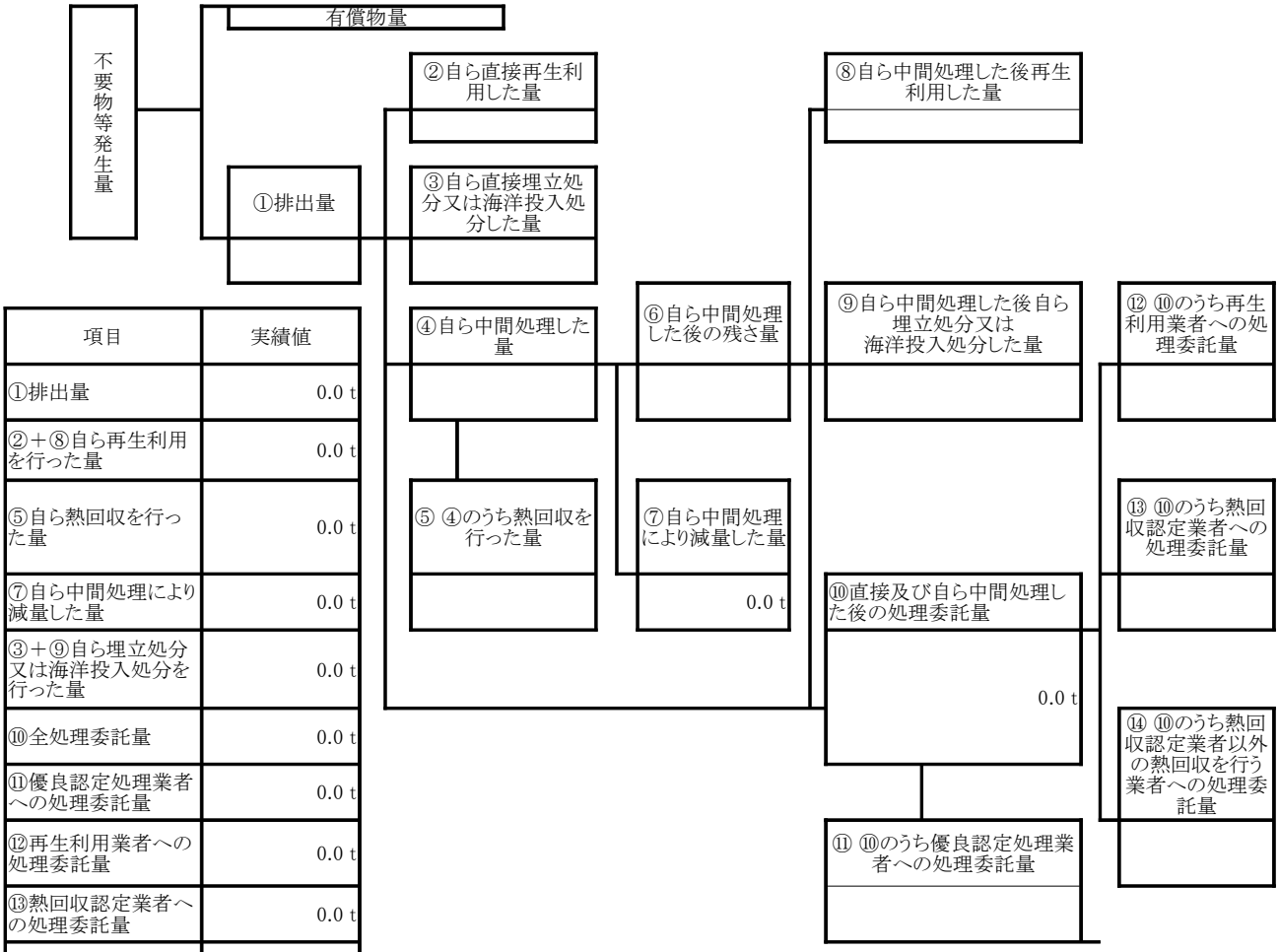


項目	実績値
①排出量	69.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	69.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

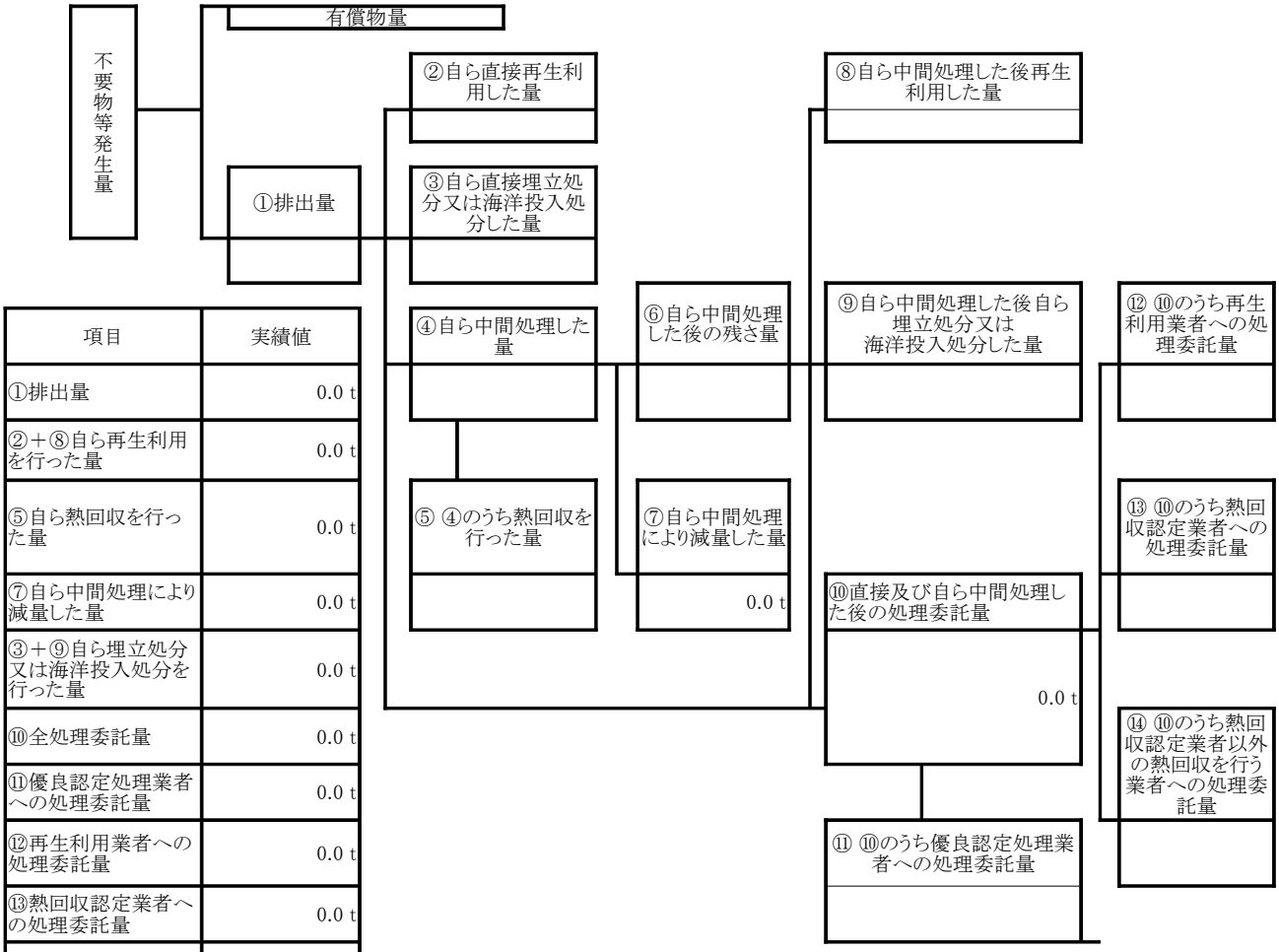


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



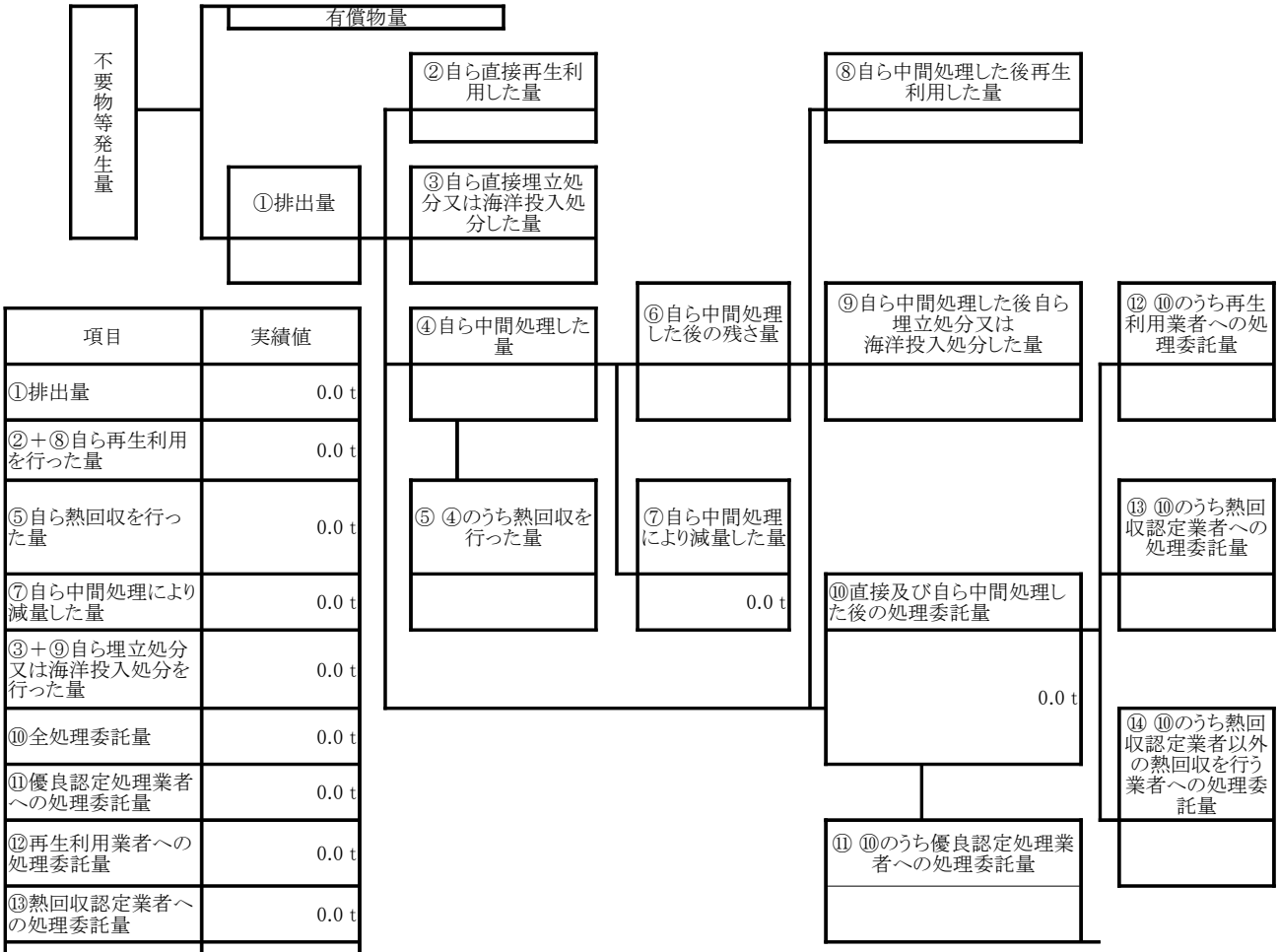
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

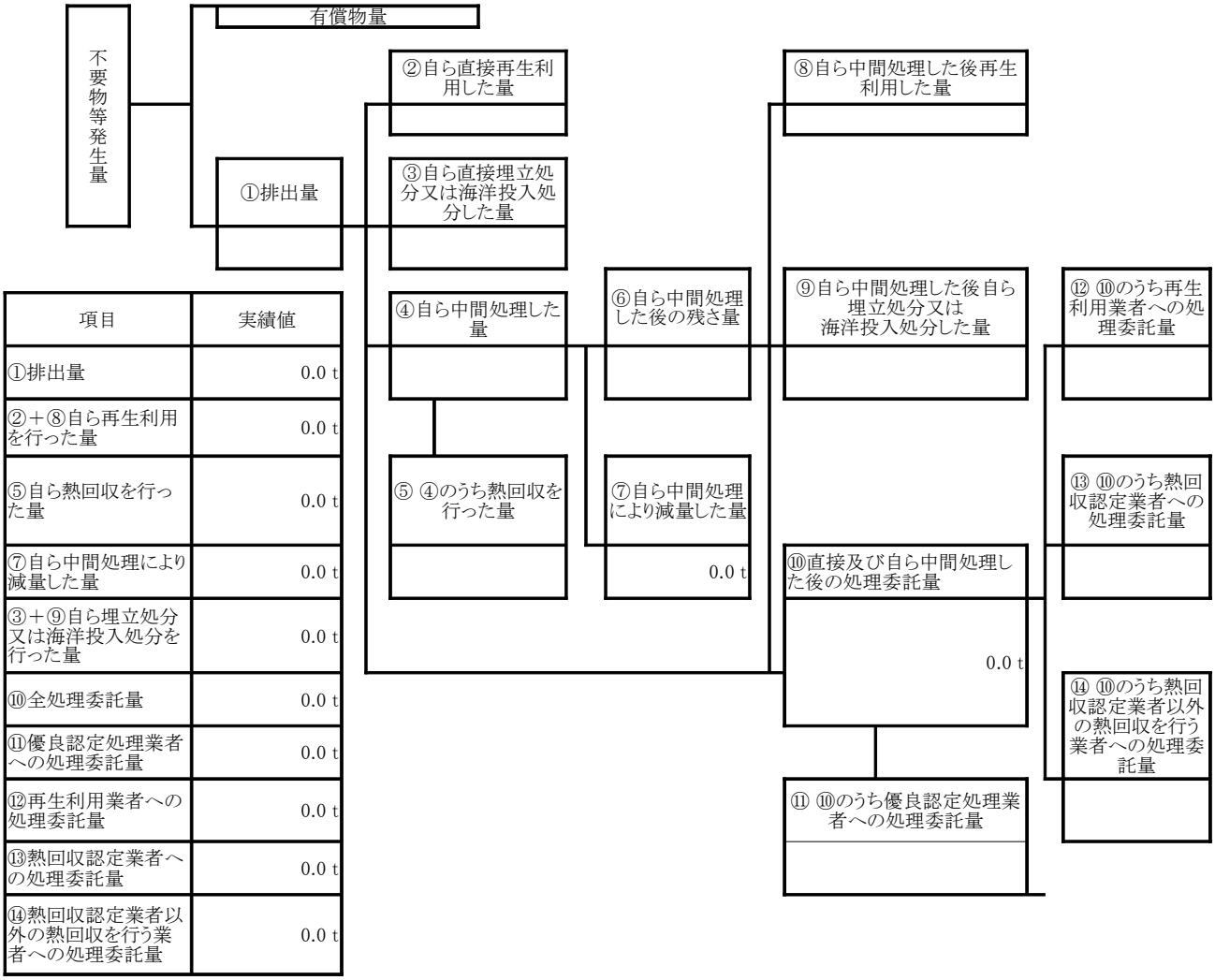


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

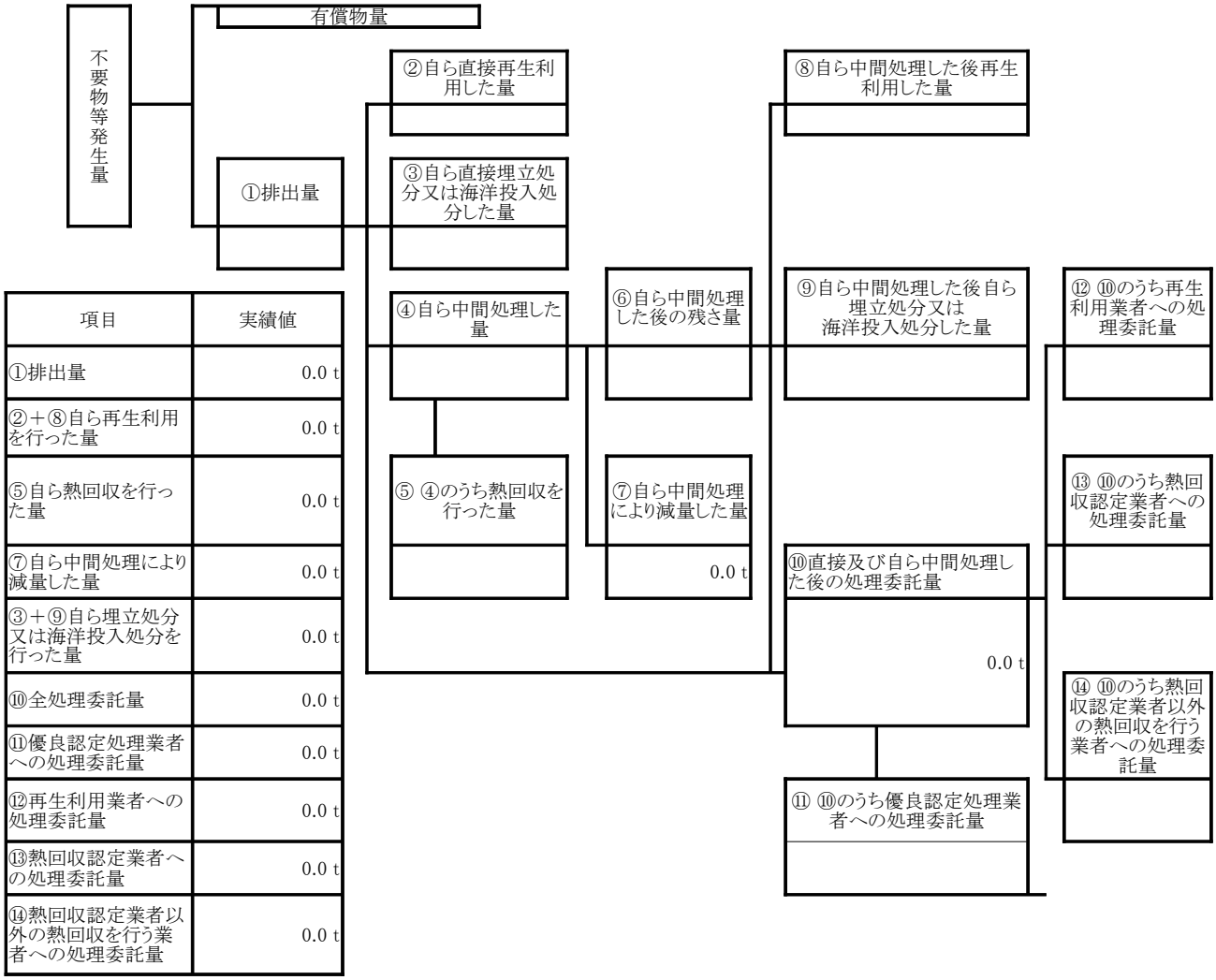


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



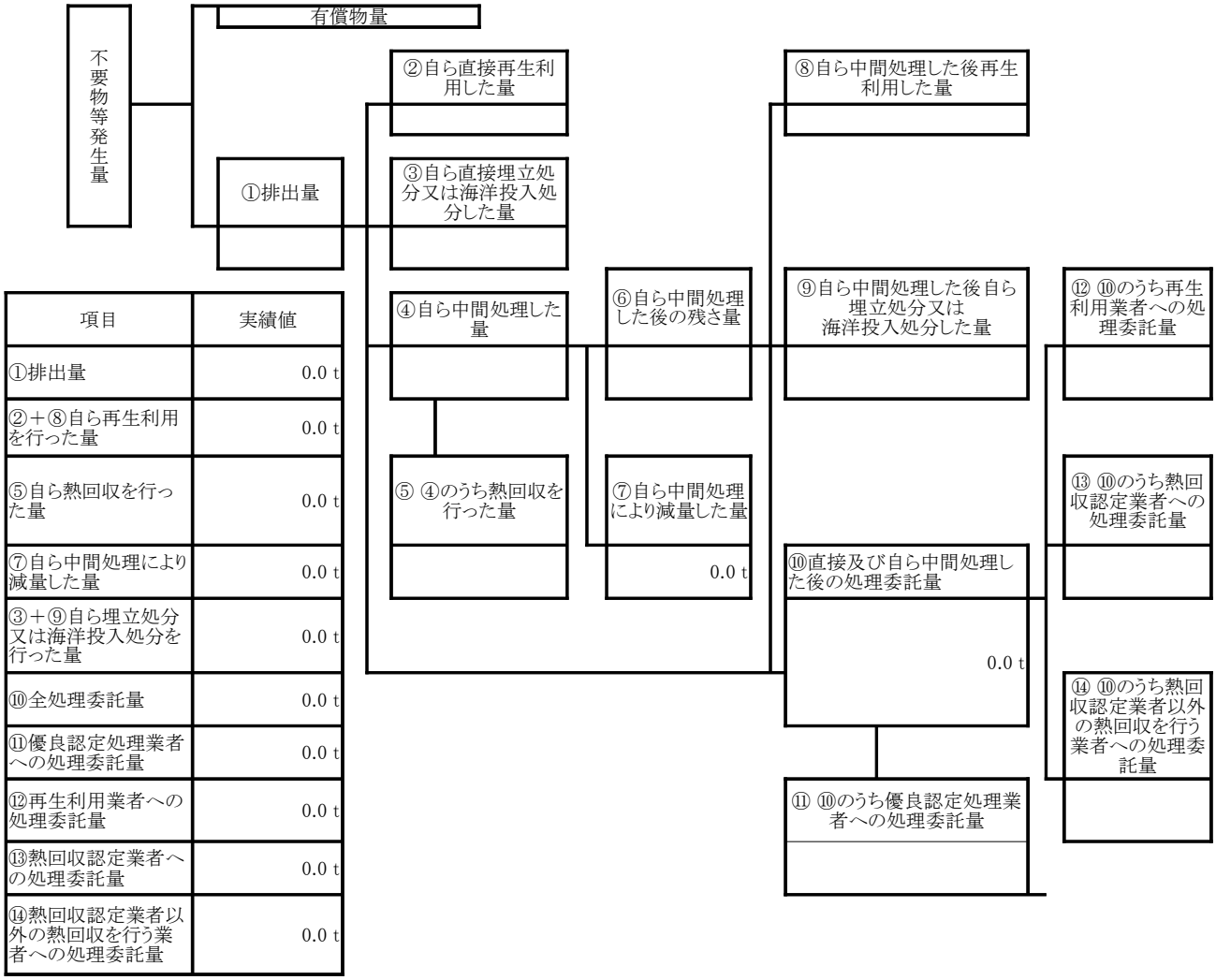
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

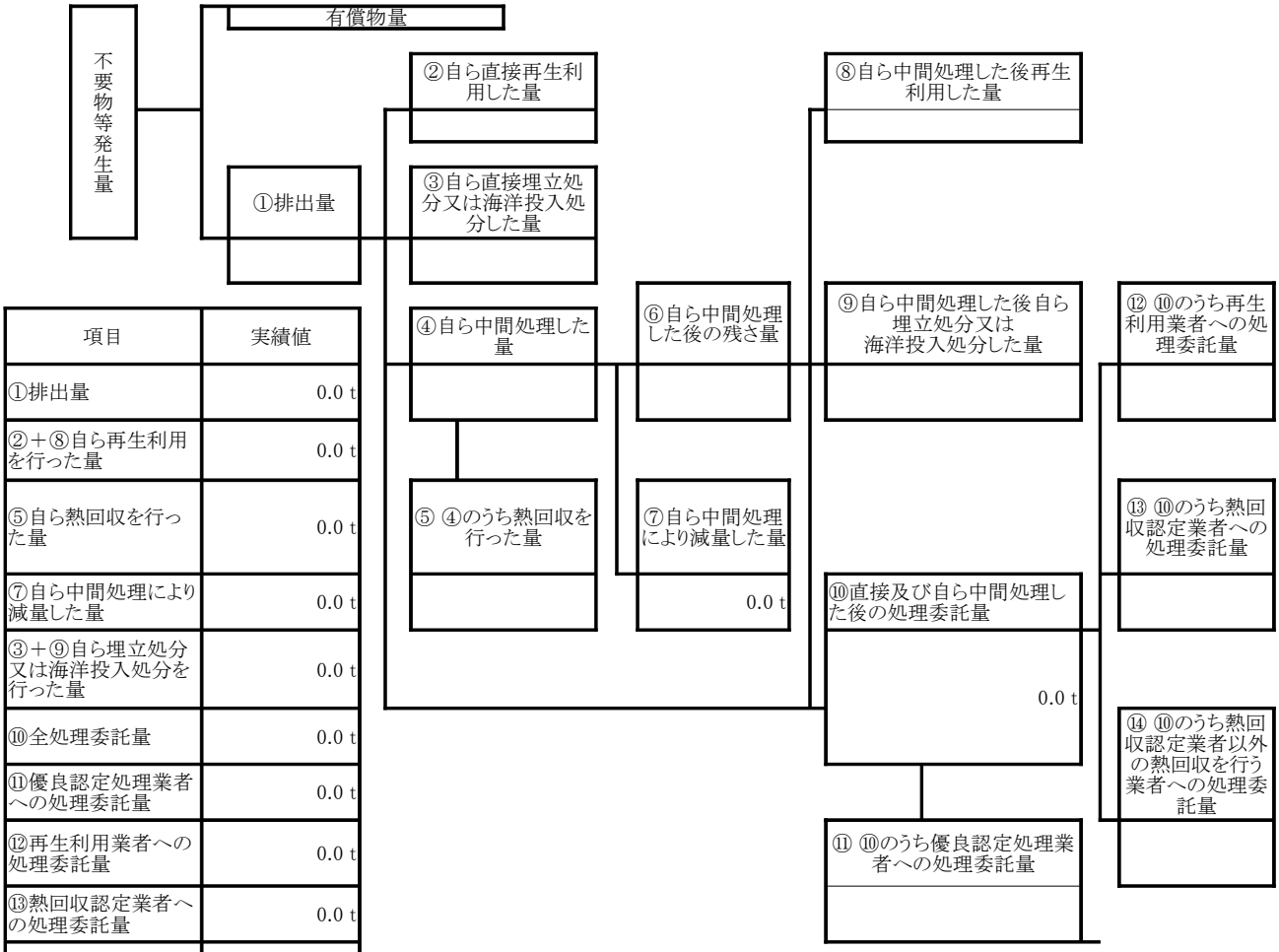


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



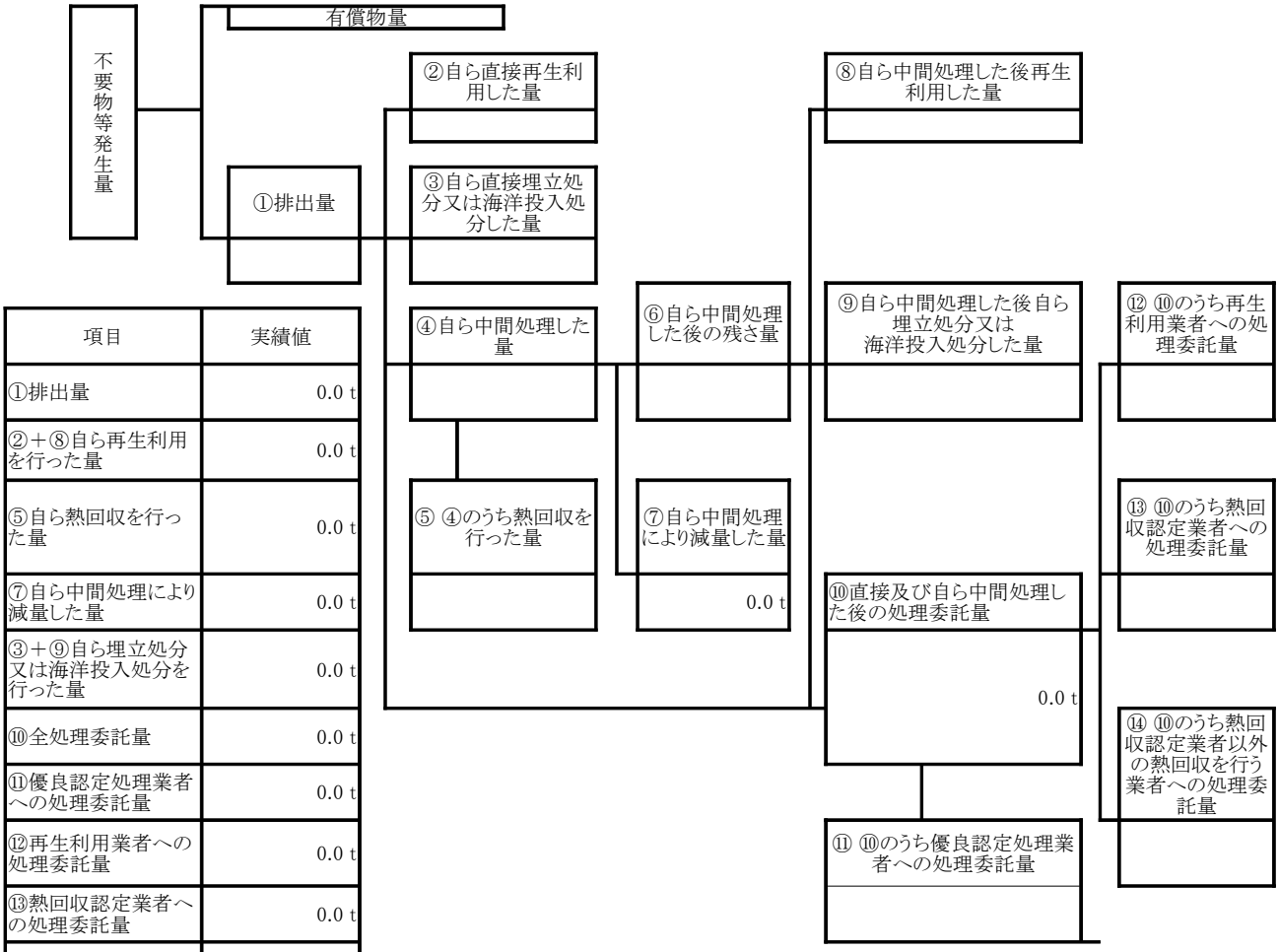
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



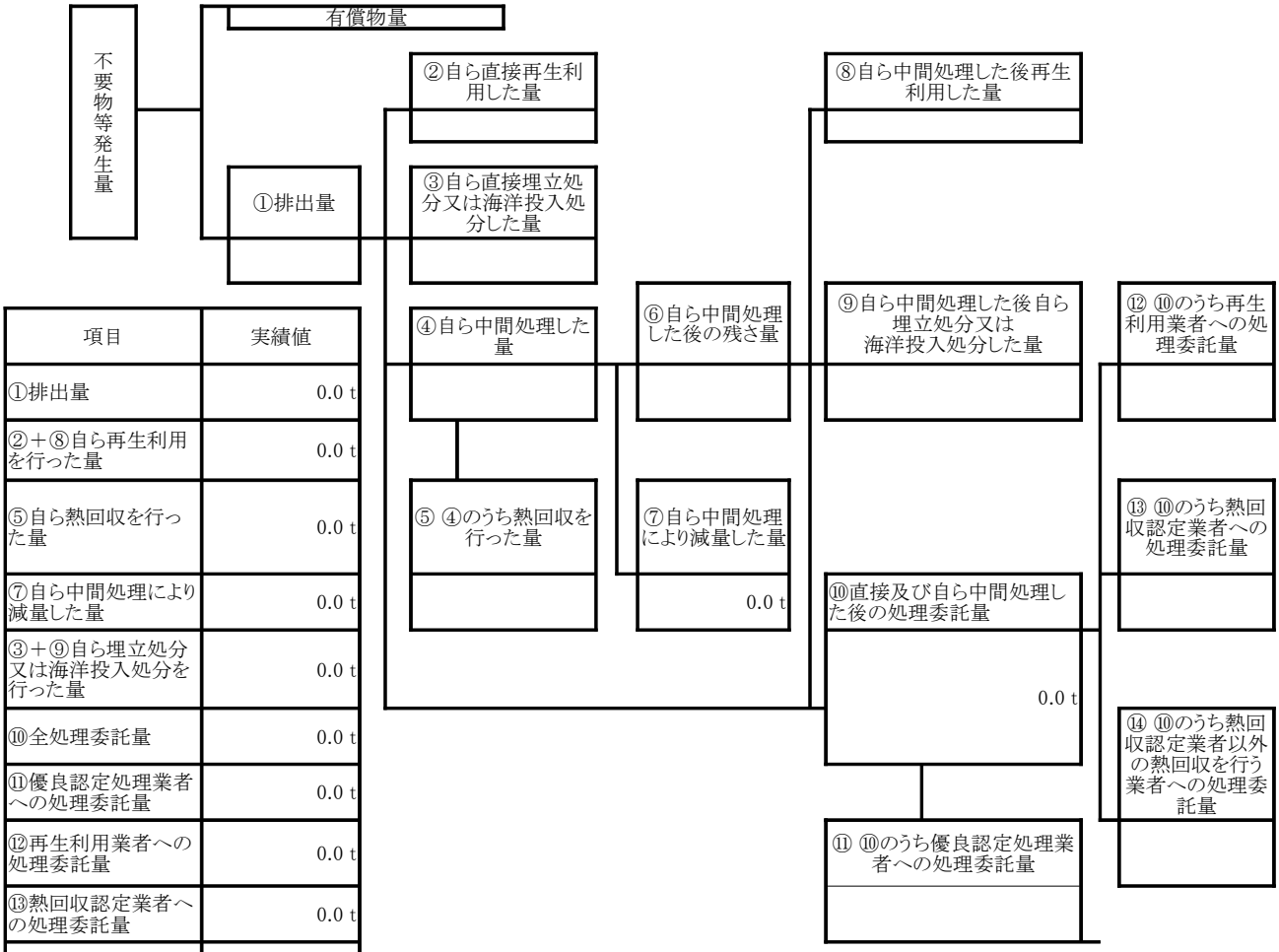
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

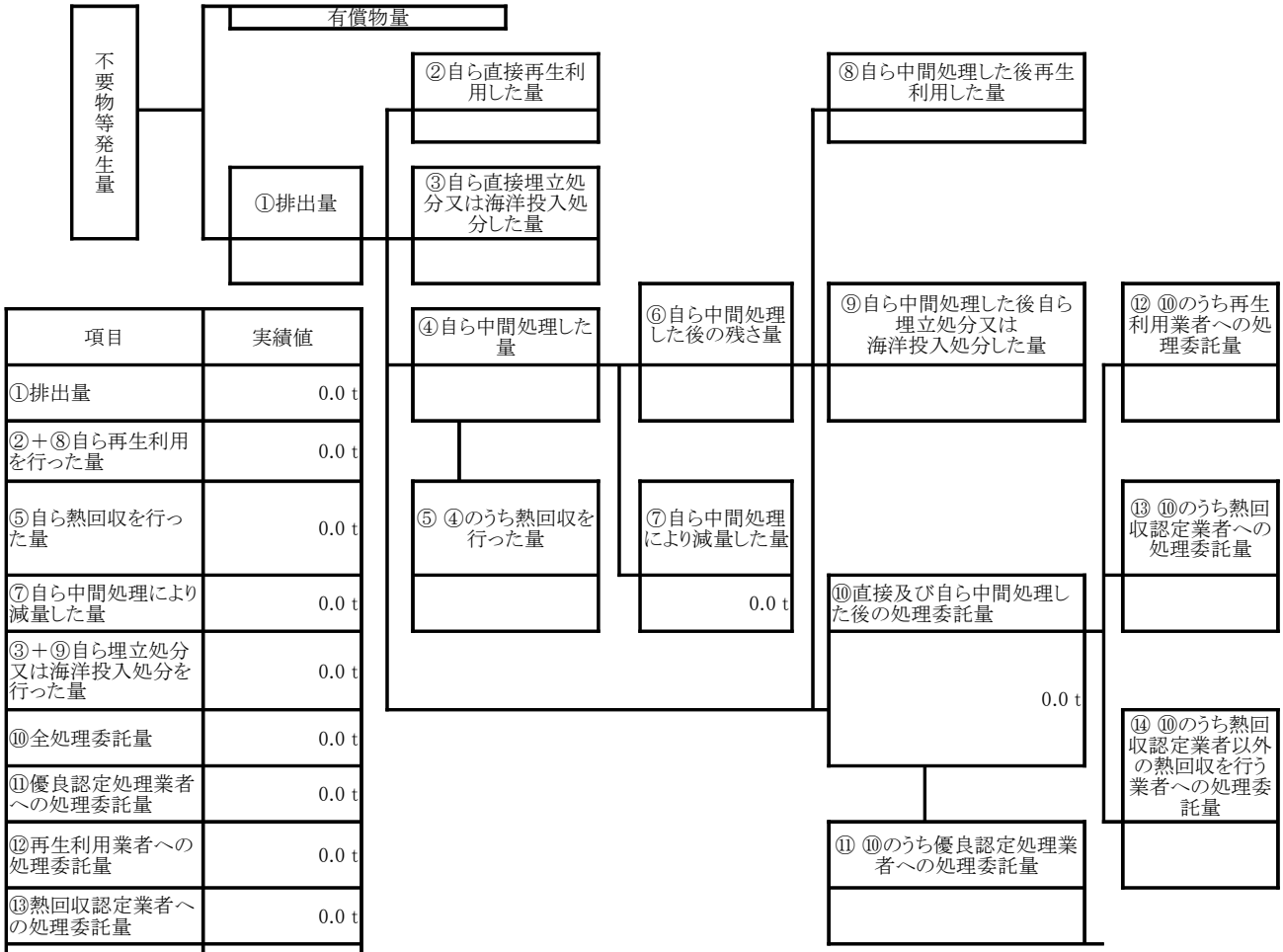


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



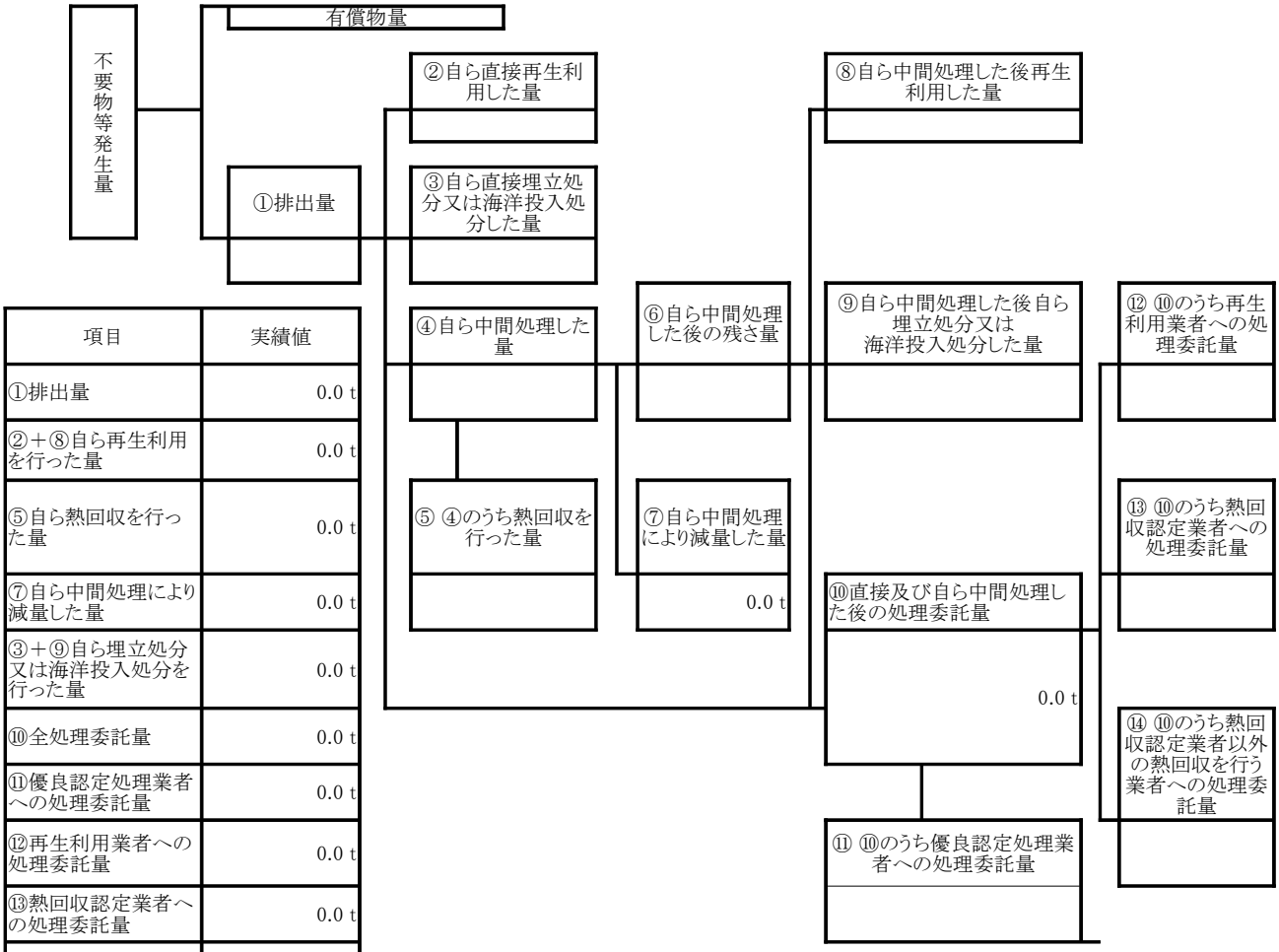
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

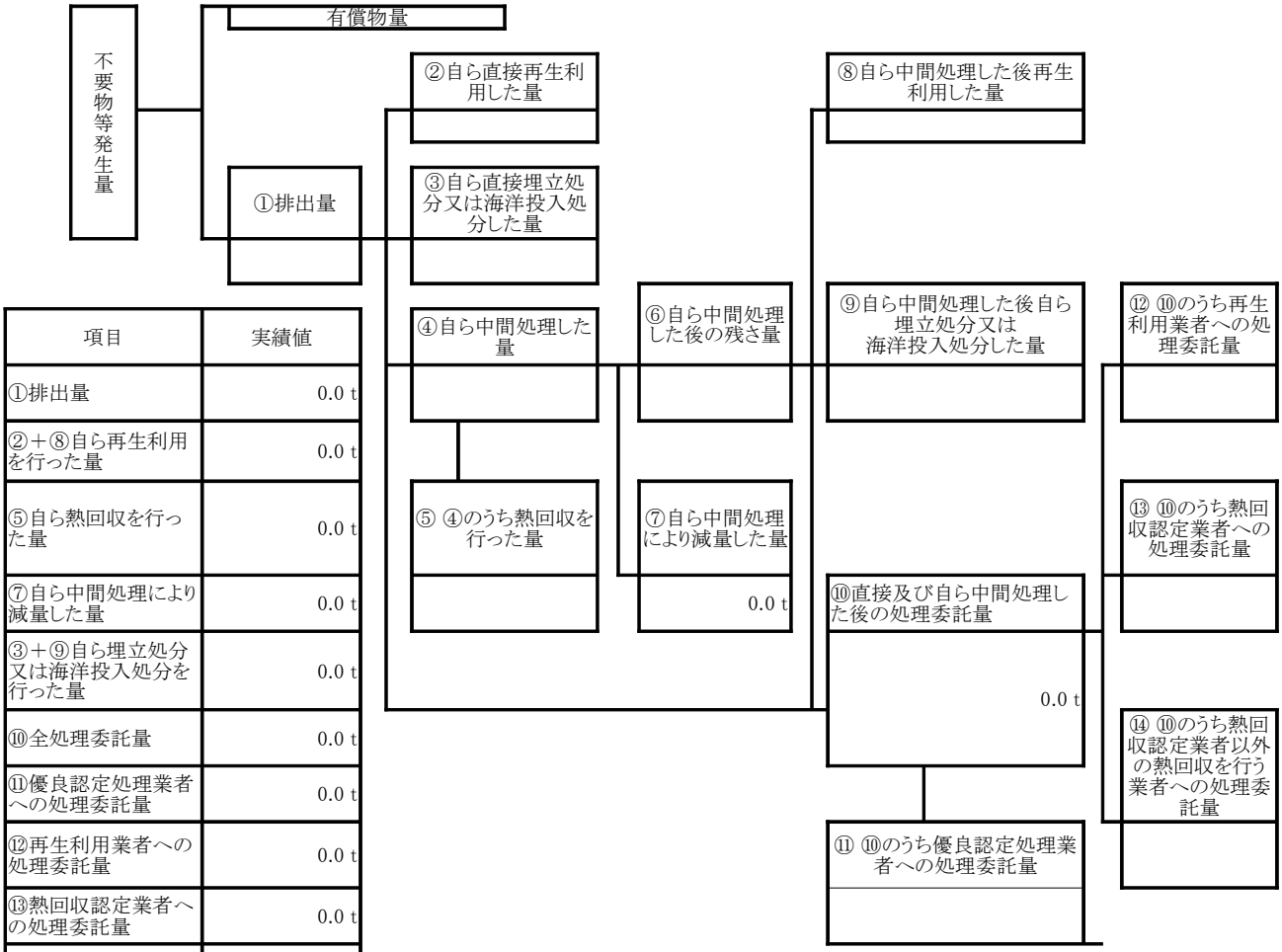


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

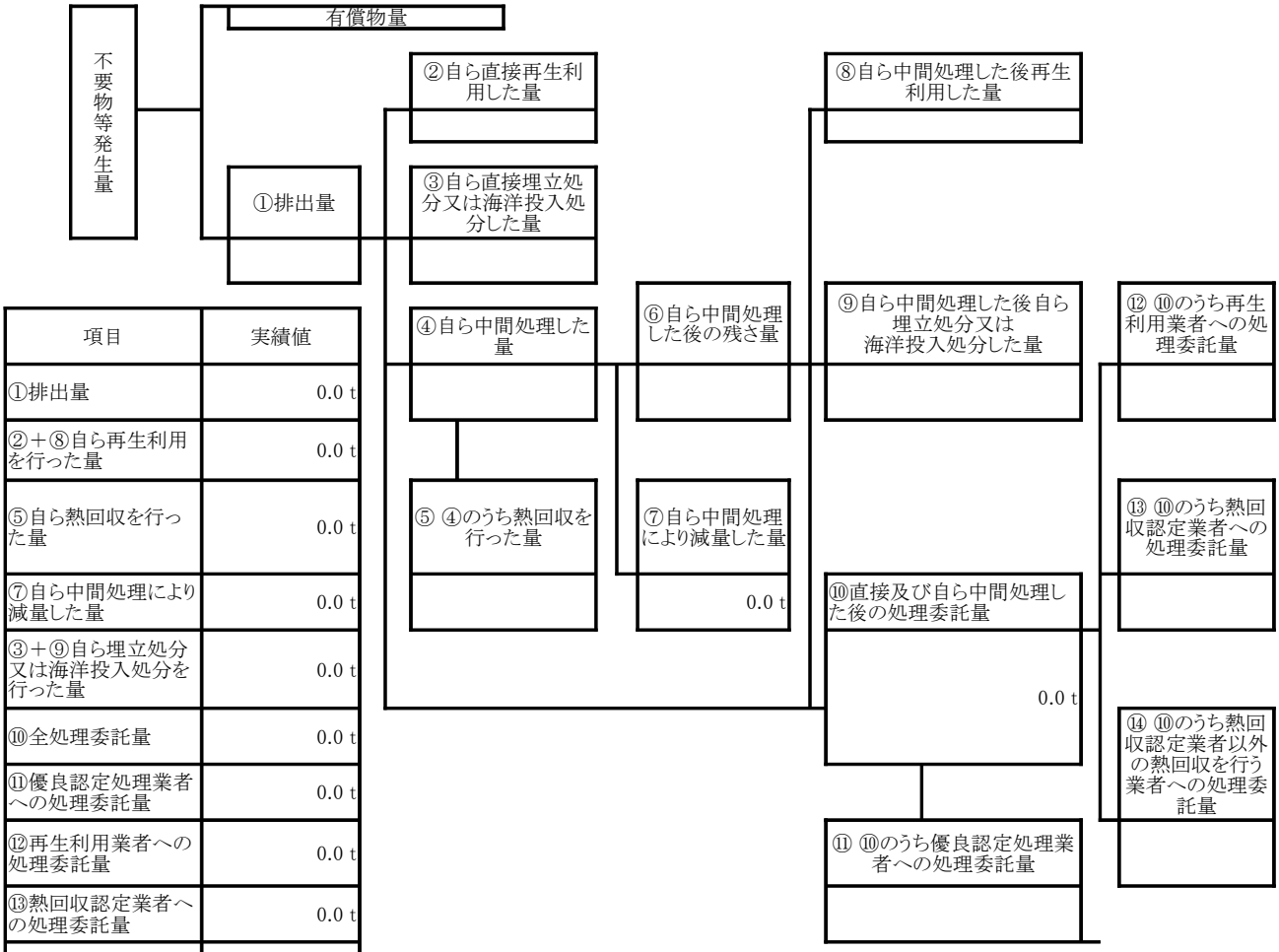


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



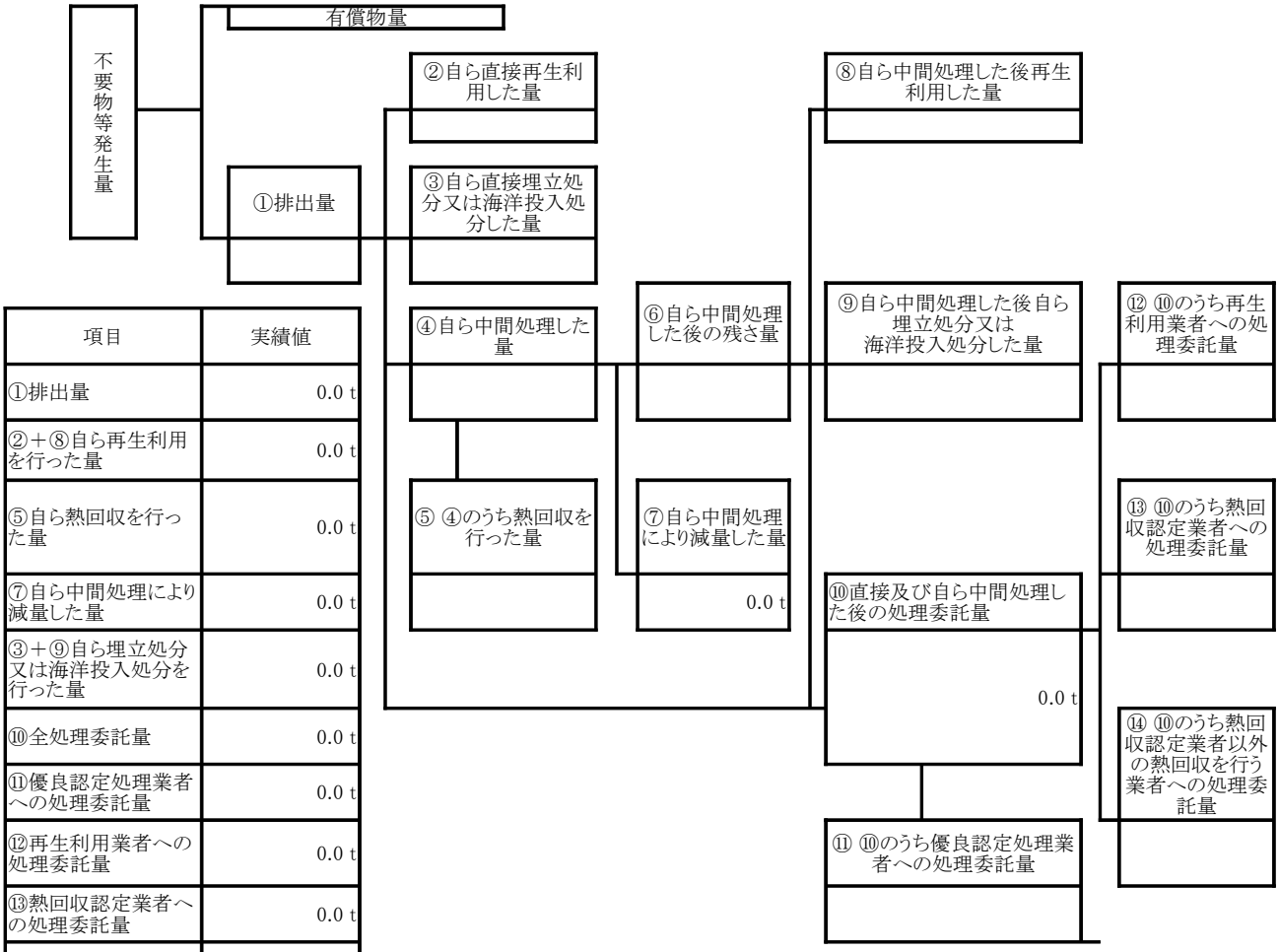
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

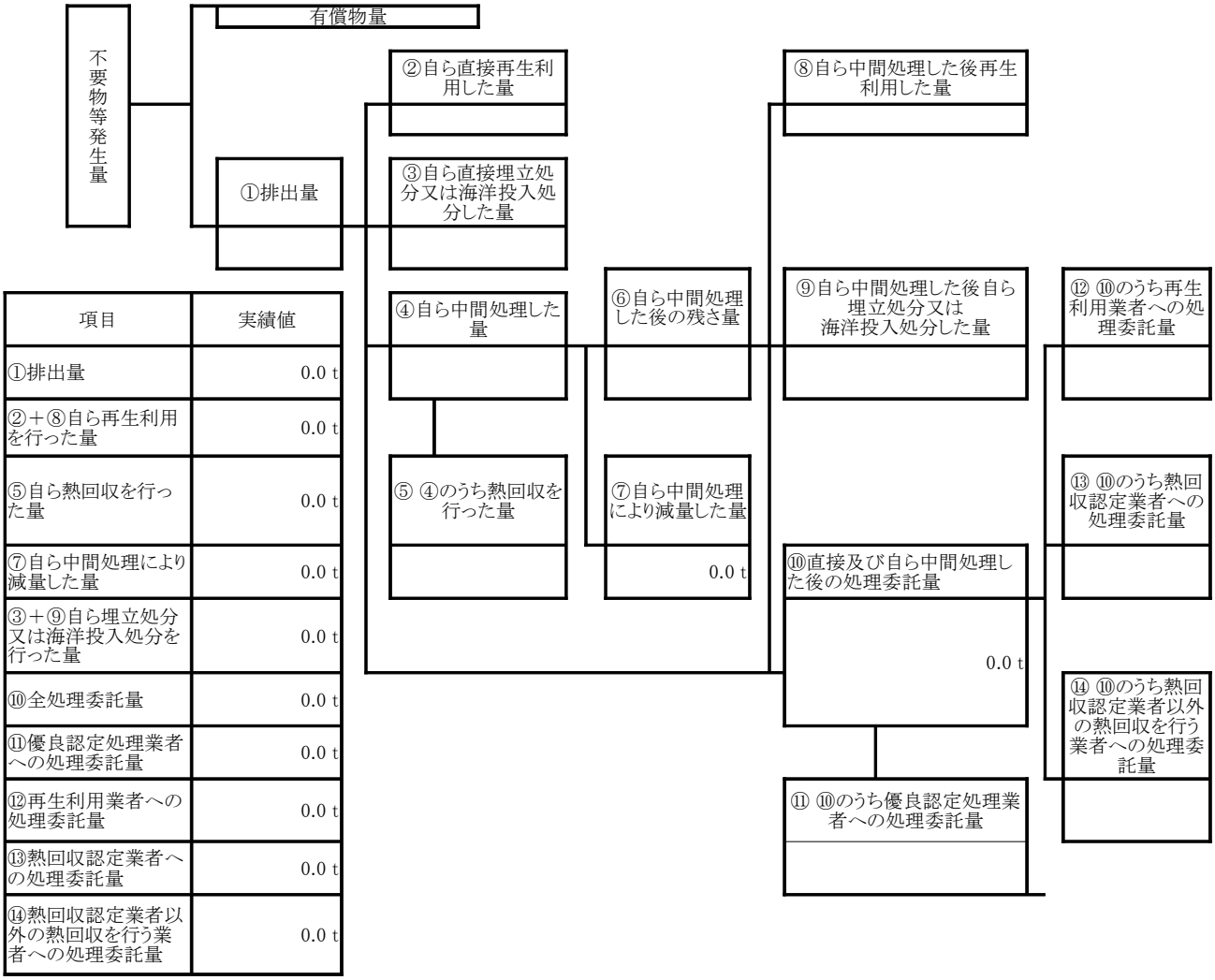


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

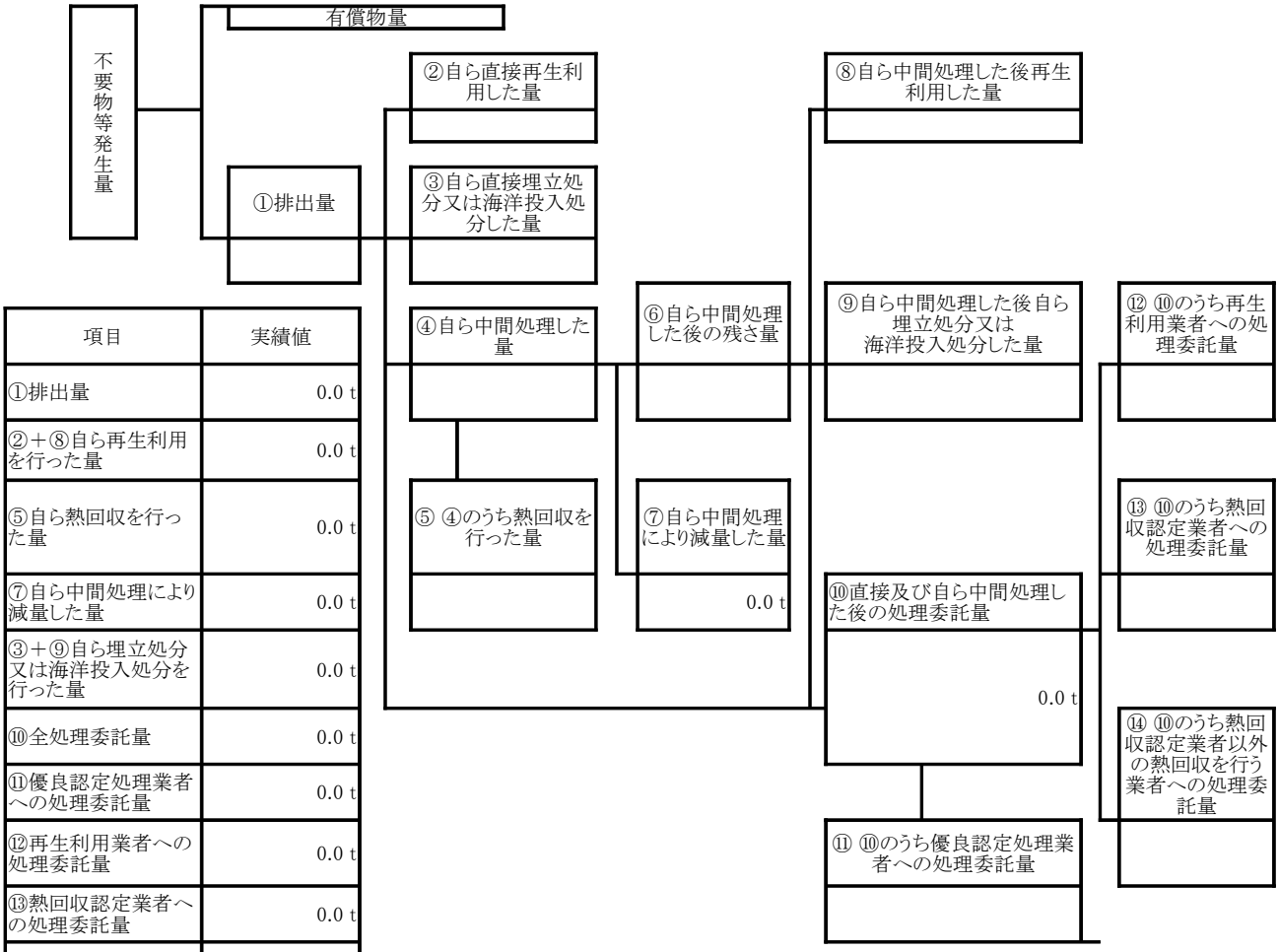


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月19日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　299-0266

住　所　千葉県袖ケ浦市北袖12-1

法人名　チヨダウーテ株式会社

代表者　平田　芳久

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0438-63-2511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	製造業：チヨダウーテ株式会社　千葉工場
事業場の所在地	製造業：千葉県袖ケ浦市北袖１２－１
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　窯業・土石製品製造業
②事業の規模	前年度の製品出荷額：80億円
③従業員数	８０名　（正社員　６０名、協力会社20名）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	ばいじん（基準値を超える有害物質を含）→不要化・固化→埋め立て

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん（基準値を超える有害物質を含）	
排出量	201.8 t	t

（これまでに実施した取組）

燃料の木屑チップの品質向上を販売先に求めている。品質の良い木屑チップの販売先を探している。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん（基準値を超える有害物質を含）	
排出量	400 t	t

（今後実施する予定の取組）

燃料の木屑チップの品質向上を販売先に求める。品質の良い木屑チップの販売先をs探す。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

廃棄物の品目ごとに高耐久のフレコンバッグで保管している。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

引き続き、分別保管を継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん（基準値を超える有害物質を含）	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 実績はない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん（基準値を超える有害物質を含）	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、予定はない。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん（基準値を超える有害物質を含）	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 実績はない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん（基準値を超える有害物質を含）	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、予定はない。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん（基準値を超える有害物質を含）	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 実績はない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん（基準値を超える有害物質を含）	
	自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も予定はない。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん（基準値を超える有害物質を含）	
	全処理委託量	201.8 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 優良認定処理業者への処分委託を計画している。		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>ばいじん（基準値を超える有害物質を含）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>400 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>400 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
優良認定処理業者への処分委託を計画している。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。） 201.8 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
既に、電子マニフェストを導入済み。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

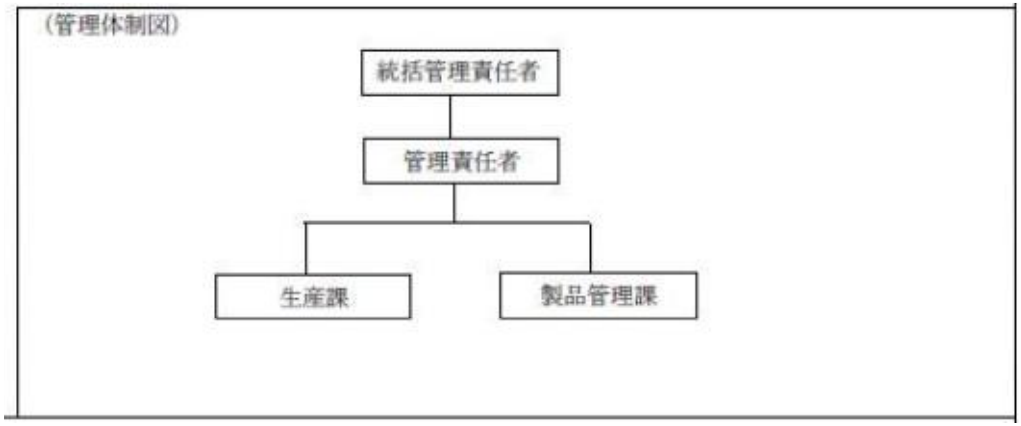
５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

（管理体制図）



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　6　月　17　日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒290-8585

住　所　千葉県市原市八幡海岸通１２

氏　名　代表取締役社長執行役員　池田　尚志

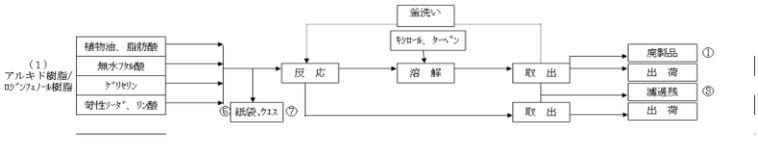
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0436-41-4115

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ＤＩＣ株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通１２
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

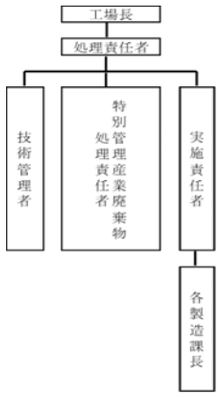
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	E16－化学工業
②　事業の規模	製品出荷額：：３００億円程度
③　従業員数	約９００名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	アルキド樹脂工程　※その他の工程は、別紙『工程図』を参照 

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙の通り	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 有価販売の促進による廃棄物発生の抑制		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙の通り	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 同上		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物ステーション設置により、分別方法を明確化。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現行分別方法の維持と徹底。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	非該当	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	予定なし	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	別紙の通り	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 有価販売の促進による廃棄物発生の抑制		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別紙の通り	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 同上		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類＿	非該当	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	予定なし	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類＿	別紙の通り	
		全処理委託量＿	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（これまでに実施した取組） 有価販売の促進による廃棄物発生の抑制		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別紙の通り	
		全処理委託量_	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 同上		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

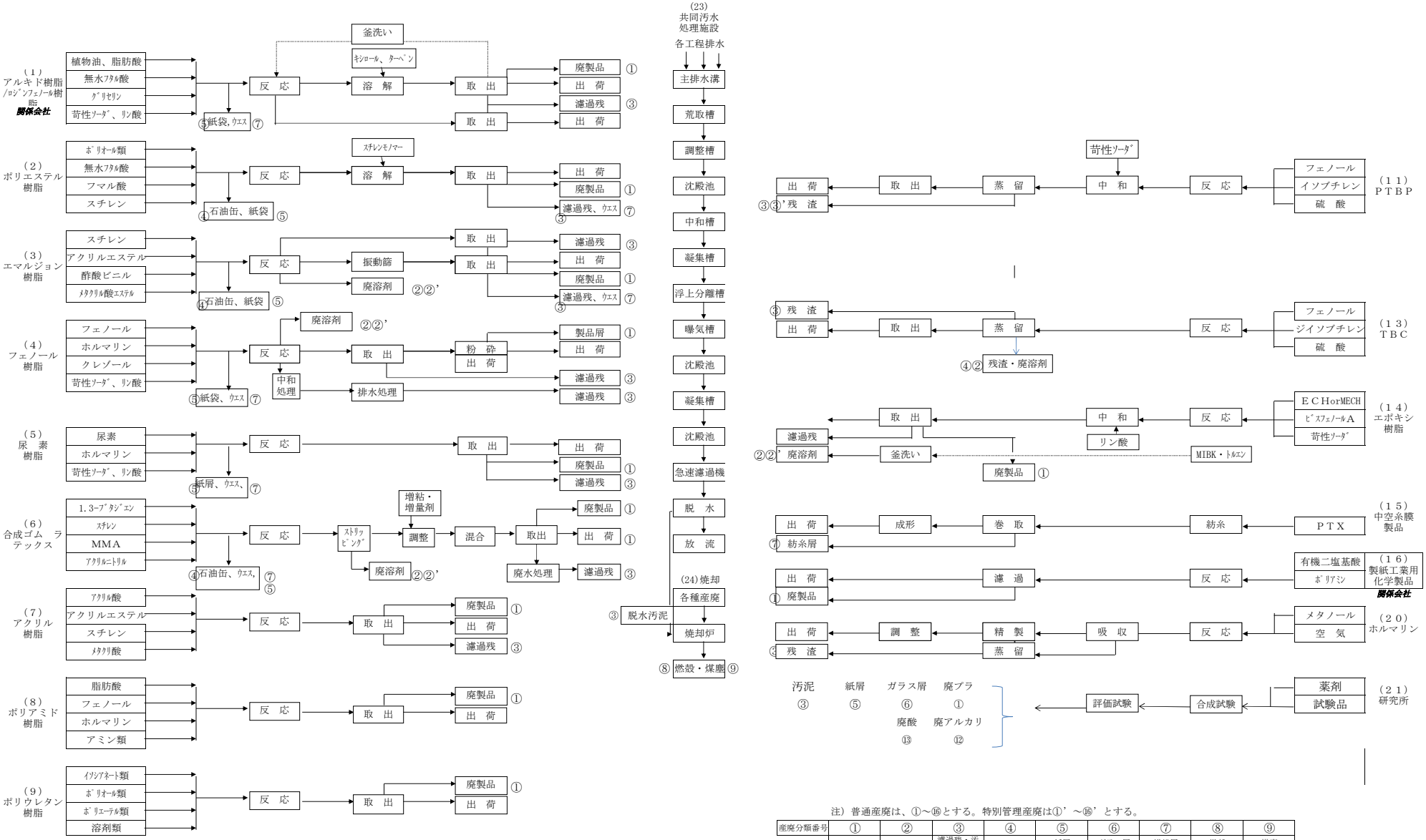
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

製造業
４．　製造工程図



注１．製造品目、廃棄物の種類毎に工程図を記入すること。
注２．発生する廃棄物に番号をつけ、５．及び６．の廃棄物の番号と連動させること

注）普通産廃は、①～⑯とする。特別管理産廃は①’～⑯’とする。

産廃分類番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	廃プラ・廃製品	廃溶剤・廃油	濾過残・汚泥・脱水汚泥・残渣	金属缶・金属屑・鉄骨	紙屑	ガラス屑	繊維屑	燃殻	煤塵
産廃分類番号	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑱’	
	廃石綿	ｺﾝｸﾘｰﾄｶﾞﾗ	廃アルカリ	廃酸	保温屑	陶磁屑	木屑	感染性	

現状 or計画	種別区分	実績状況報告書の通しナンバー 報告書記載名称	① 排出量 【ton】	④ 自ら中間処理した量 【ton】	⑤ ④のうち熱回収を行った量 【ton】	⑦ 自ら中間処理により減量した量 【ton】	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 【ton】	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 【ton】	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
①現状	1_産廃	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0
①現状	1_産廃	混合廃棄物	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0
①現状	1_産廃	汚泥	1791.1	64.0	64.0	59.5	1731.6	1536.4	1536.6	195.0	0.0
①現状	1_産廃	燃え殻	203.8	0.0	0.0	0.0	203.8	203.8	203.8	0.0	0.0
①現状	1_産廃	廃アルカリ	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	0.5	0.3	0.0
①現状	1_産廃	廃プラスチック類	2587.5	2538.0	2538.0	2359.4	228.1	199.8	228.0	0.1	0.0
①現状	1_産廃	廃酸	111.0	0.0	0.0	0.0	111.0	111.0	111.0	0.0	0.0
①現状	1_産廃	廃油	1525.9	1424.1	1424.1	1323.9	202.0	121.0	202.0	0.0	0.0
①現状	1_産廃	木くず	31.7	0.0	0.0	0.0	31.7	31.7	31.7	0.0	0.0
①現状	1_産廃	電池	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0
①現状	1_産廃	水銀使用製品	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0
①現状	1_産廃	金属くず	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00
①現状	1_産廃 集計		6262.1	4026.1	4026.1	3742.9	2519.2	2213.9	2323.0	196.2	0.0
①現状	2_特管	ばいじん（有害）	80.2	0.0	0.0	0.0	80.2	80.2	80.2	0.0	0.0
①現状	2_特管	特定有害産業廃棄物(PCB汚染物質)	18.9	0.0	0.0	0.0	18.9	18.9	18.9	0.0	0.0
①現状	2_特管	特定有害産業廃棄物(廃酸)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
①現状	2_特管	廃油(引火性)	856.9	9.6	9.6	8.9	848.0	568.3	568.6	279.4	0.0
①現状	2_特管	廃石綿等(飛散性)	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0
①現状	2_特管 集計		956.2	9.6	9.6	8.9	947.3	667.6	668.0	279.4	0.0
②計画	1_産廃	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0
②計画	1_産廃	混合廃棄物	8.1	0.0	0.0	0.0	8.1	8.1	8.1	0.0	0.0
②計画	1_産廃	汚泥	1737.4	62.1	62.1	57.7	1679.7	1490.3	1490.5	189.2	0.0
②計画	1_産廃	燃え殻	197.6	0.0	0.0	0.0	197.6	197.6	197.6	0.0	0.0
②計画	1_産廃	廃アルカリ	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.5	0.3	0.0
②計画	1_産廃	廃プラスチック類	2509.9	2461.9	2461.9	2288.6	221.2	193.8	221.2	0.1	0.0
②計画	1_産廃	廃酸	107.7	0.0	0.0	0.0	107.7	107.7	107.7	0.0	0.0
②計画	1_産廃	廃油	1480.2	1381.4	1381.4	1284.2	195.9	117.4	195.9	0.0	0.0
②計画	1_産廃	木くず	30.8	0.0	0.0	0.0	30.8	30.8	30.8	0.0	0.0
②計画	1_産廃	電池	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0
②計画	1_産廃	水銀使用製品	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0
②計画	1_産廃	金属くず	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00
②計画	1_産廃 集計		6074.2	3905.4	3905.4	3630.6	2443.6	2147.5	2253.3	190.3	0.0
②計画	2_特管	ばいじん（有害）	77.8	0.0	0.0	0.0	77.8	77.8	77.8	0.0	0.0
②計画	2_特管	特定有害産業廃棄物(PCB汚染物質)	18.3	0.0	0.0	0.0	18.3	18.3	18.3	0.0	0.0
②計画	2_特管	特定有害産業廃棄物(廃酸)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②計画	2_特管	廃油(引火性)	831.2	9.3	9.3	8.6	822.6	551.3	551.6	271.0	0.0
②計画	2_特管	廃石綿等(飛散性)	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0
②計画	2_特管 集計		927.5	9.3	9.3	8.6	918.9	647.6	647.9	271.0	0.0

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6 月 10 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒290-8585
住 所　千葉県市原市八幡海岸通り12
氏 名　DIC株式会社 代表取締役 池田 尚志
上記代理者 DIC株式会社 千葉工場
工場長 井上 唯之
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0436-41-4115

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	DIC株式会社 千葉工場
事業場の所在地	市原市八幡海岸通12
事業の種類	大分類:製造業、中分類:化学工業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

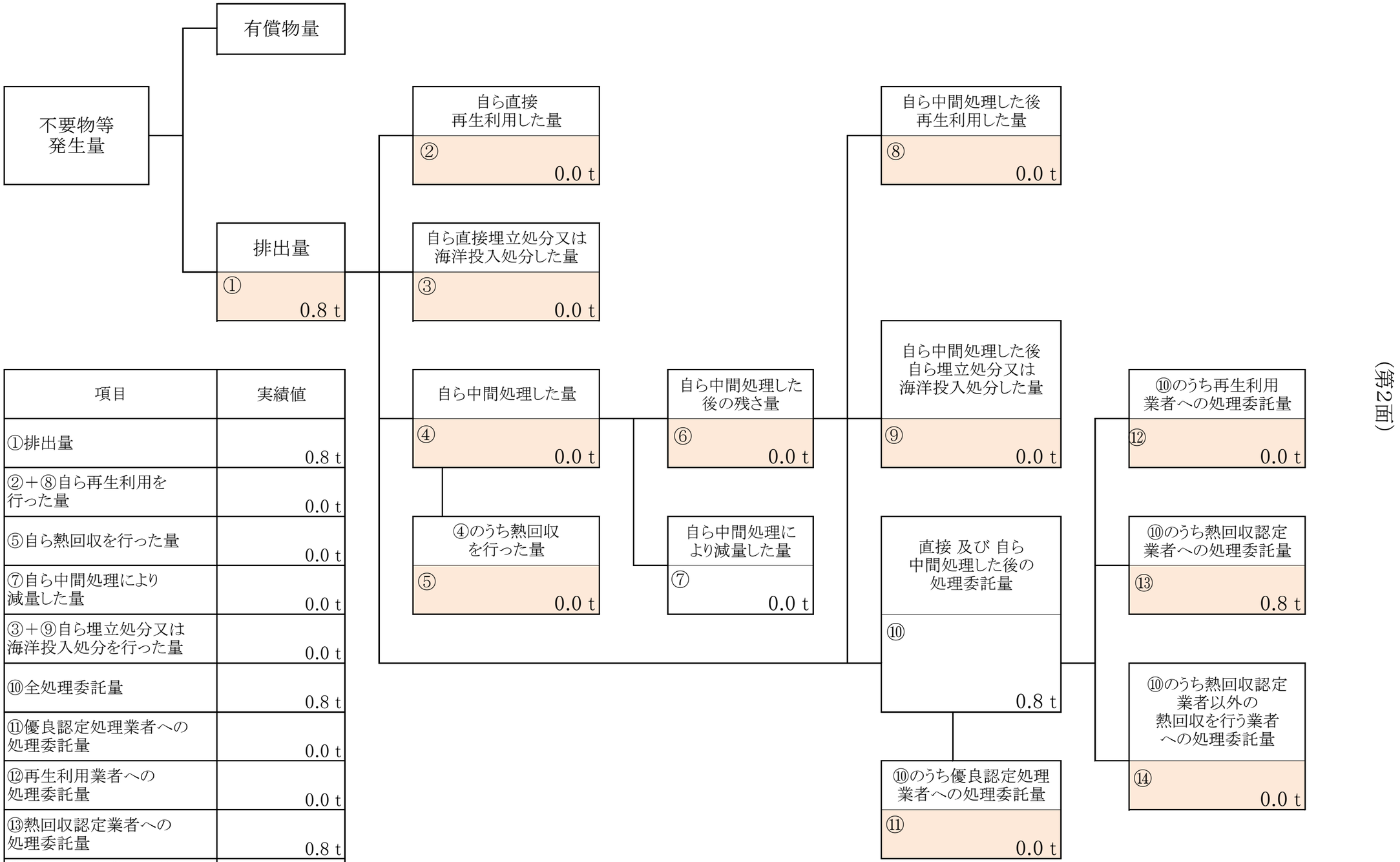
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	7454.8 t	全処理委託量	2890.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	2454.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	4950.2 t	再生利用業者への処理委託量	2552.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	4564.9 t	認定熱回収業者への処理委託量	337.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず**）

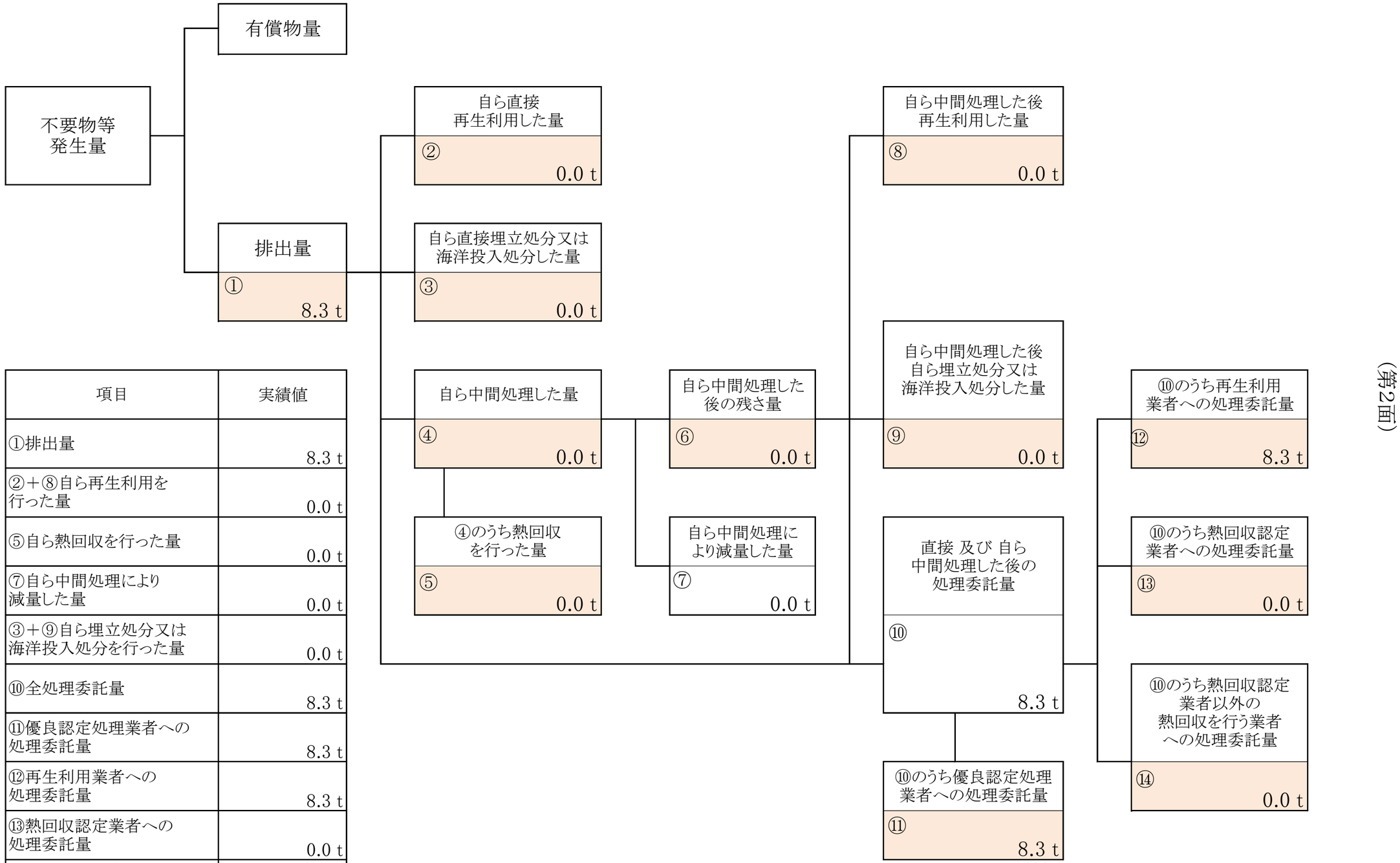


項目	実績値
①排出量	0.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.8 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）

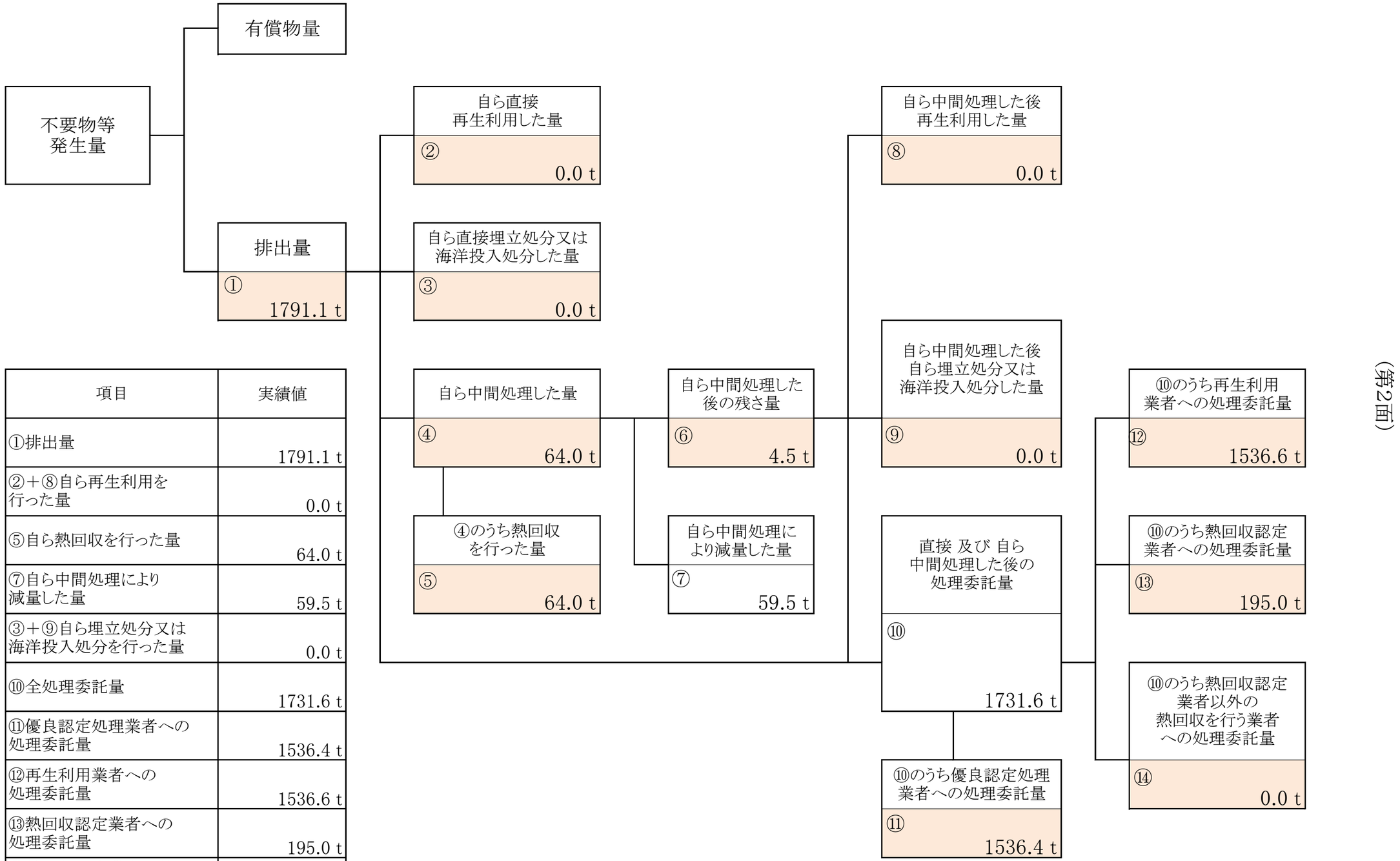


項目	実績値
①排出量	8.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

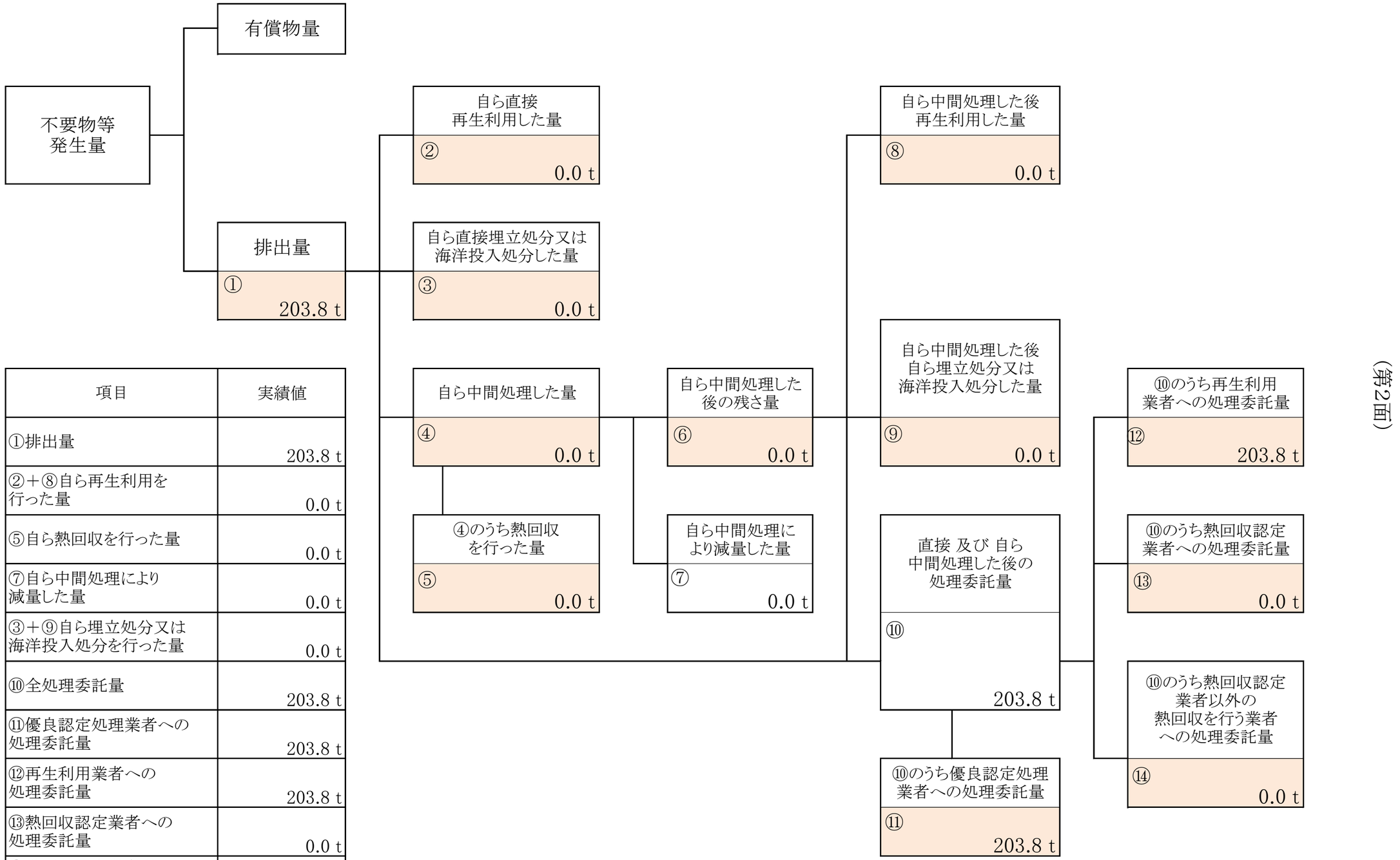


項目	実績値
①排出量	1791.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	64.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	59.5 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1731.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1536.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1536.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	195.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**燃え殻**）

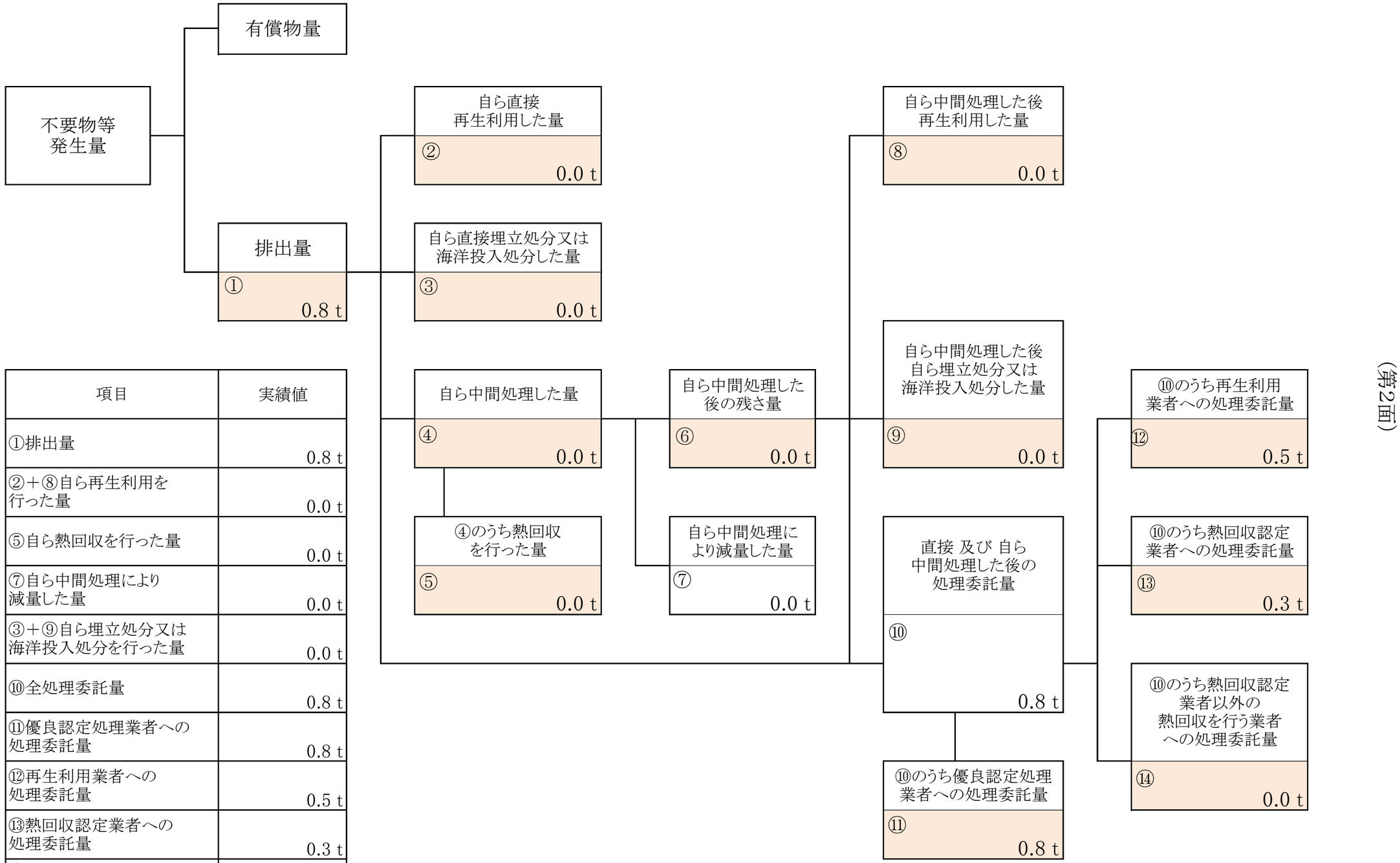


項目	実績値
①排出量	203.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	203.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	203.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	203.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃アルカリ**）

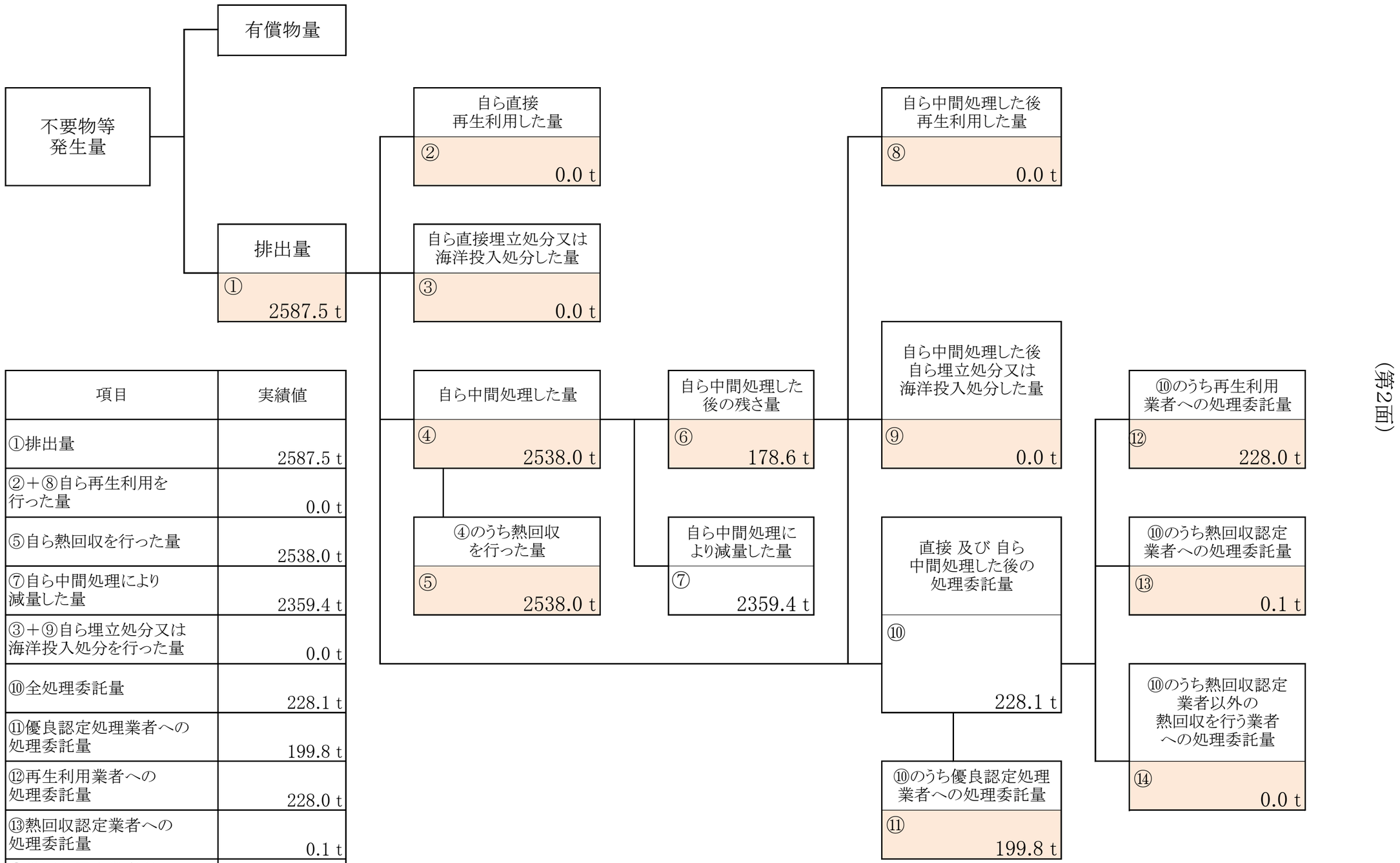


項目	実績値
①排出量	0.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.3 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

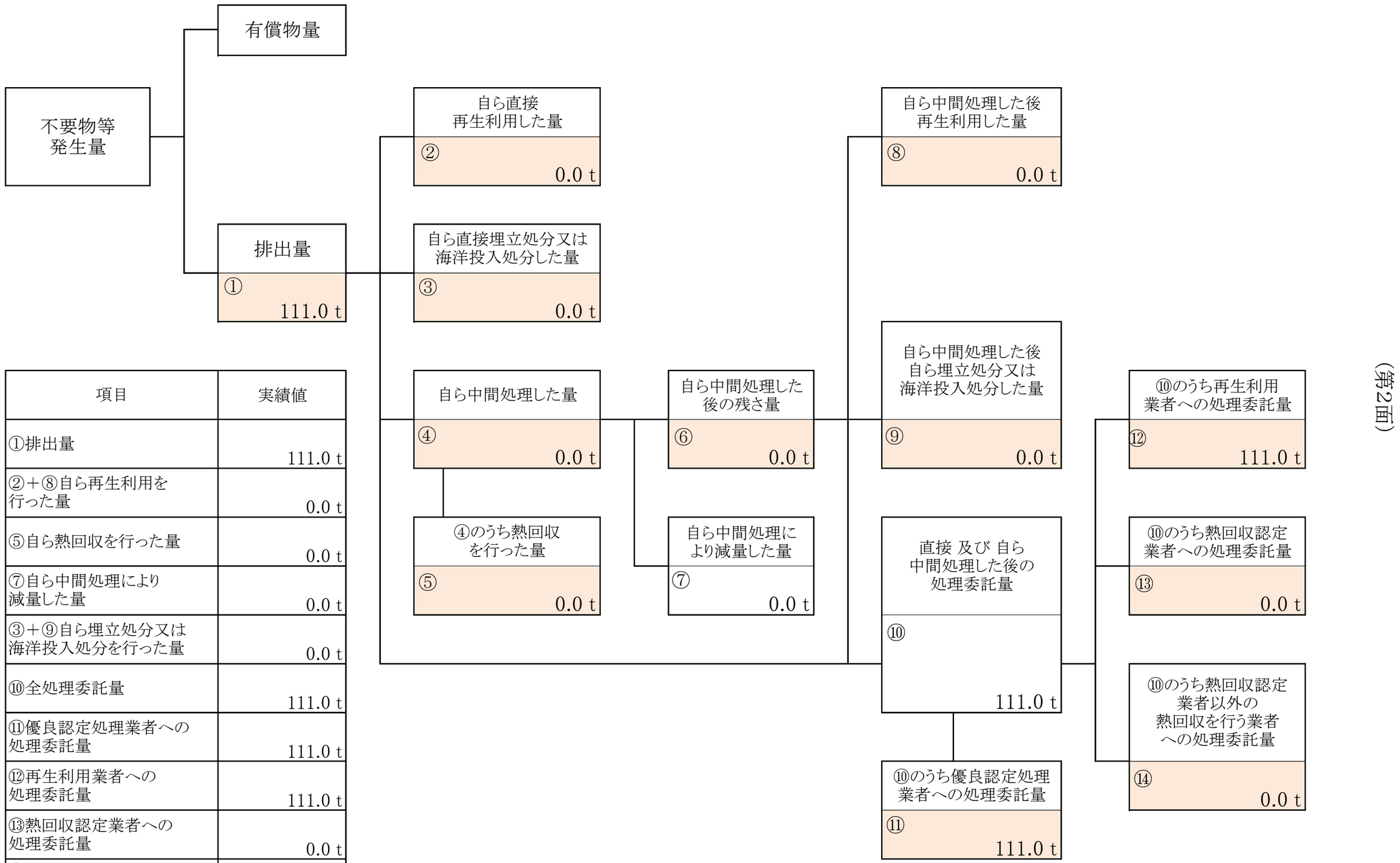


項目	実績値
①排出量	2587.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	2538.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	2359.4 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	228.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	199.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	228.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.1 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃酸**）

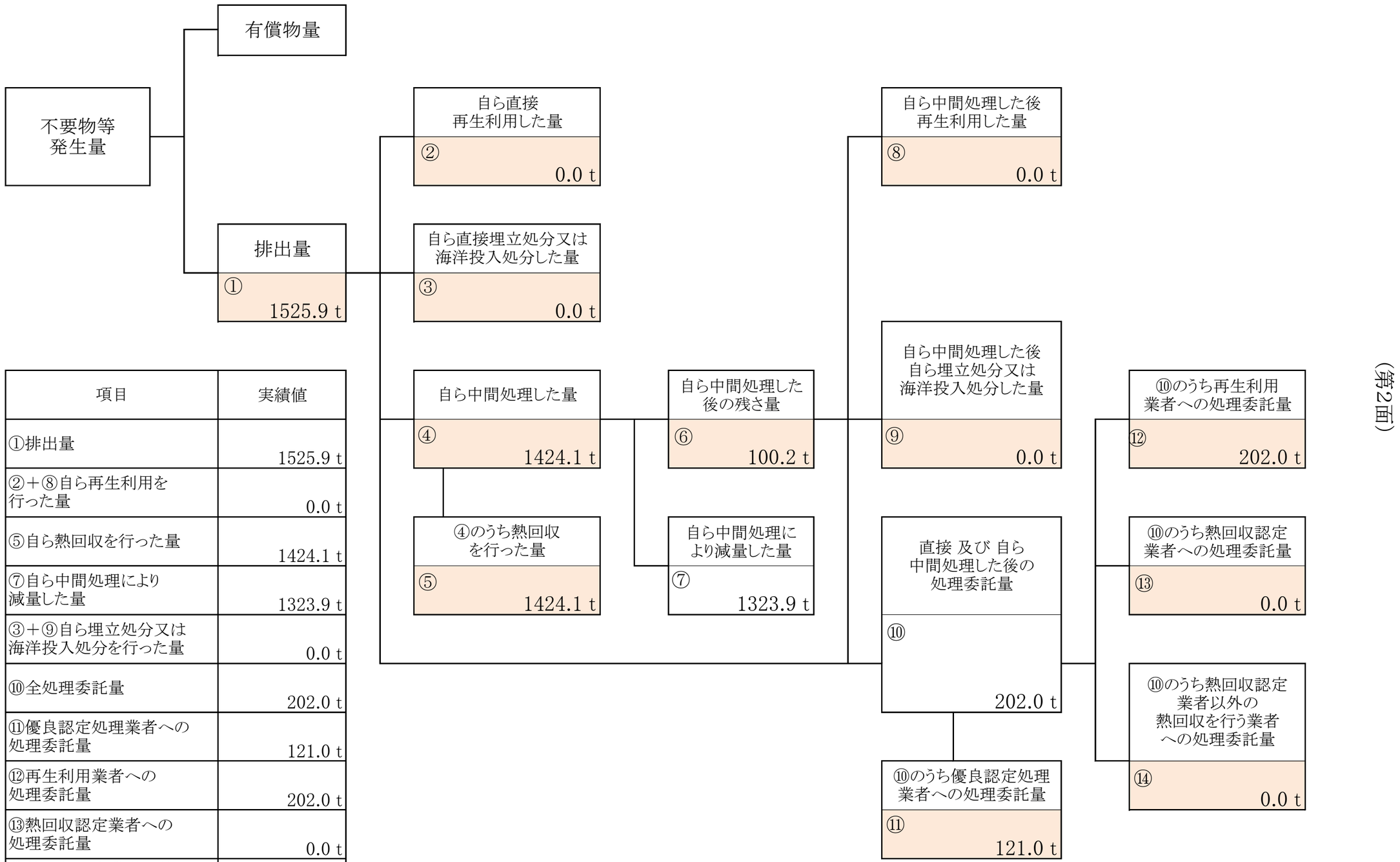


項目	実績値
①排出量	111.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	111.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	111.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	111.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃油**）

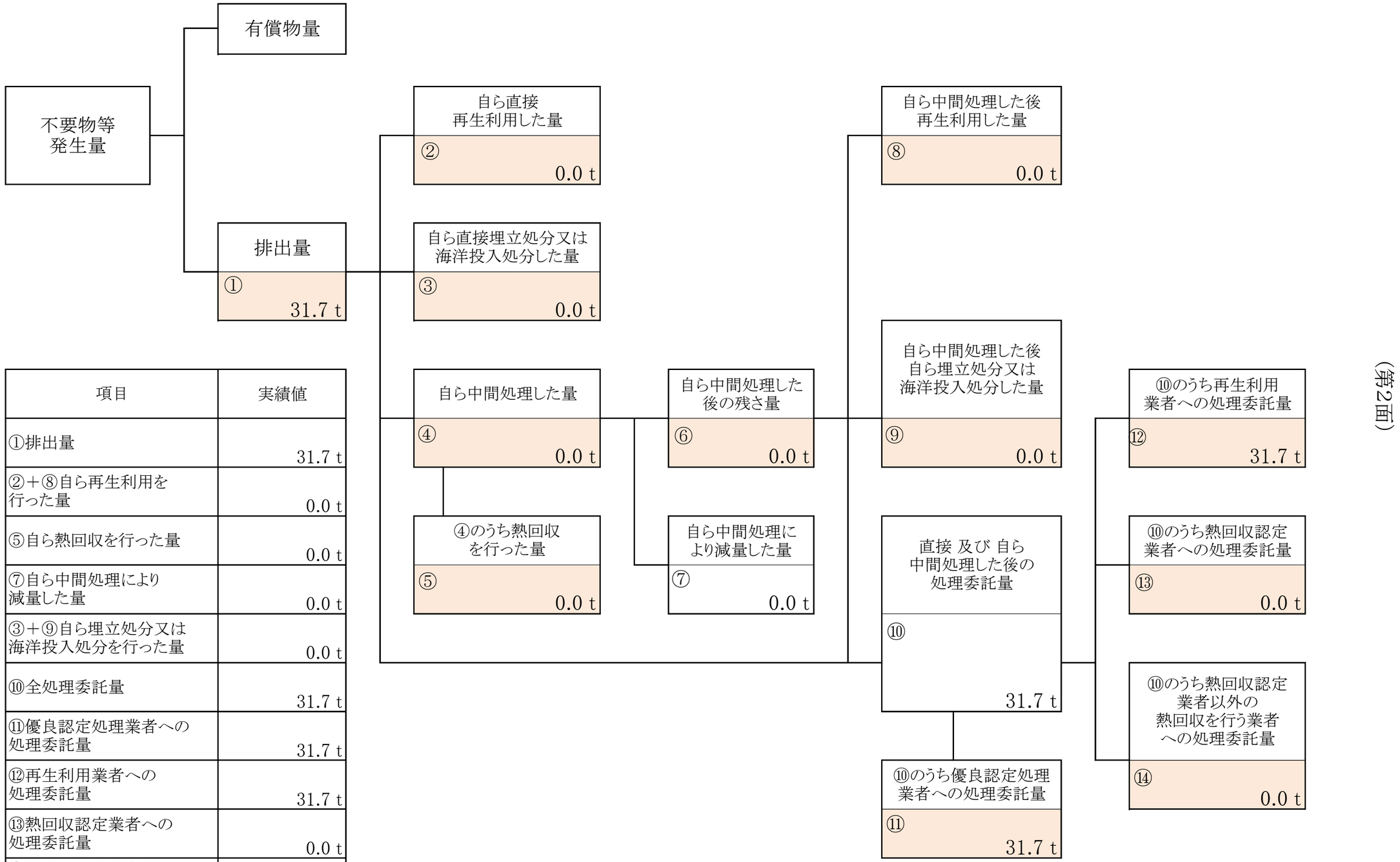


項目	実績値
①排出量	1525.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	1424.1 t
⑦自ら中間処理により減量した量	1323.9 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	202.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	121.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	202.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

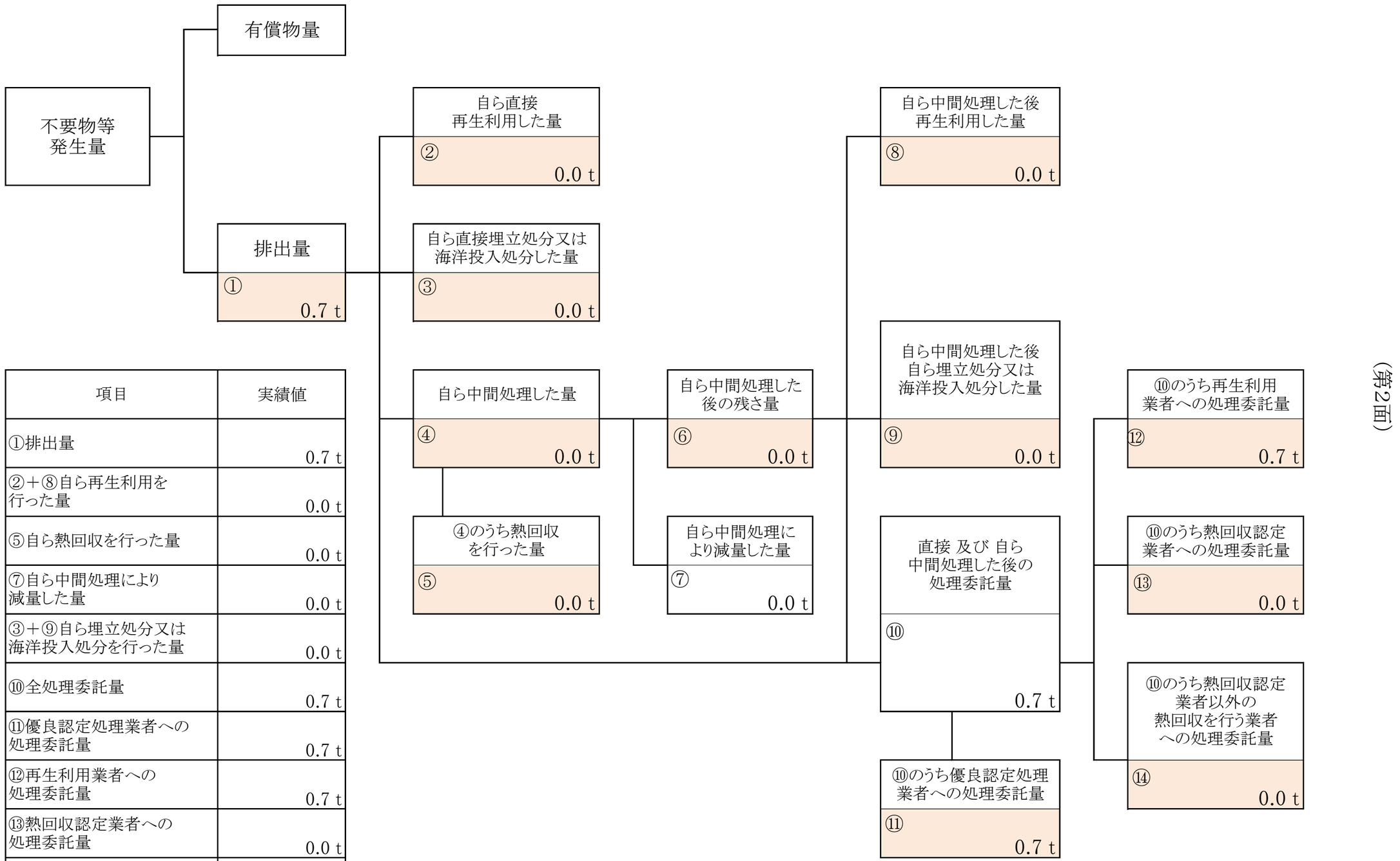


項目	実績値
①排出量	31.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	31.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	31.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	31.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**電池**）

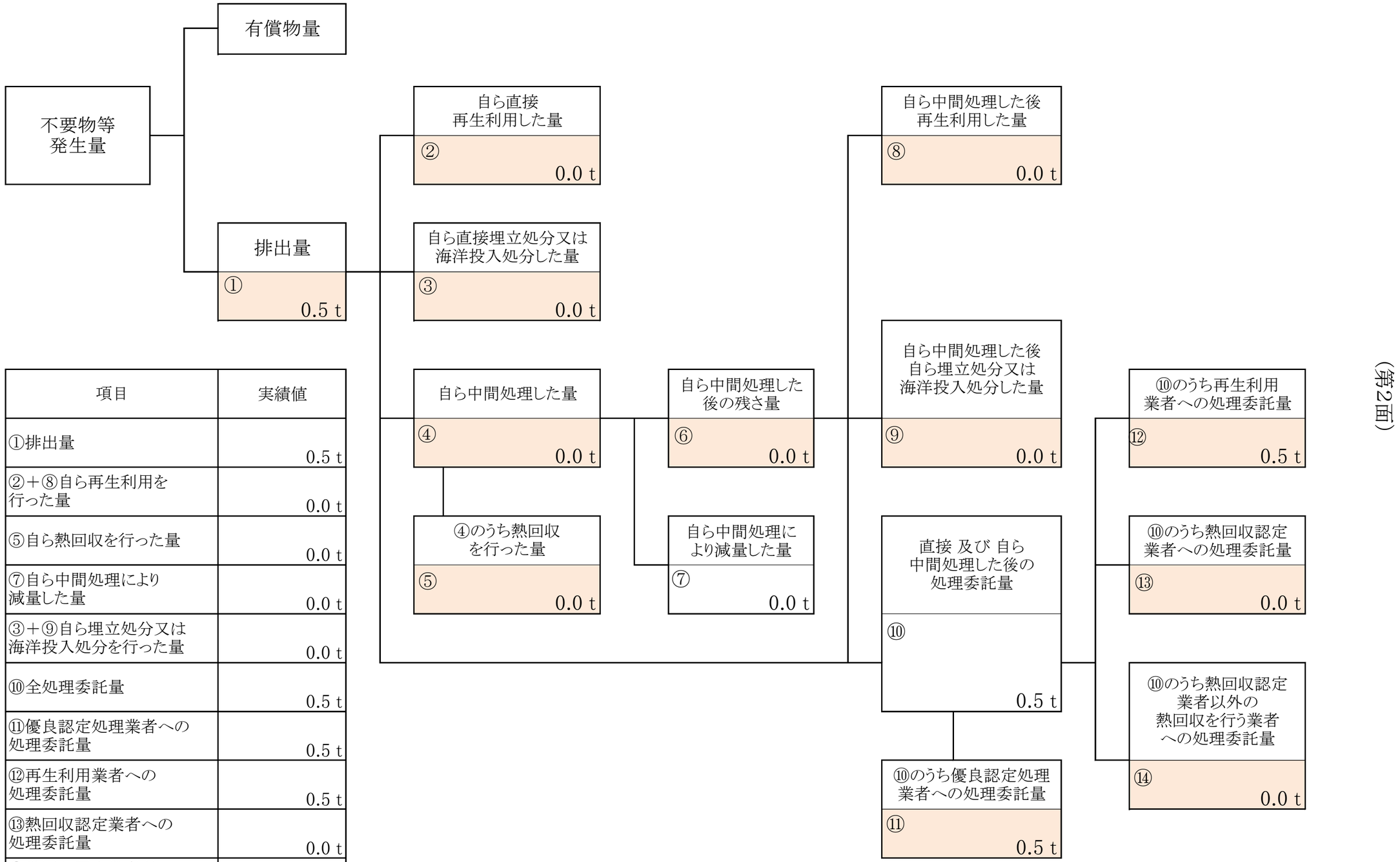


項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**水銀使用製品**）

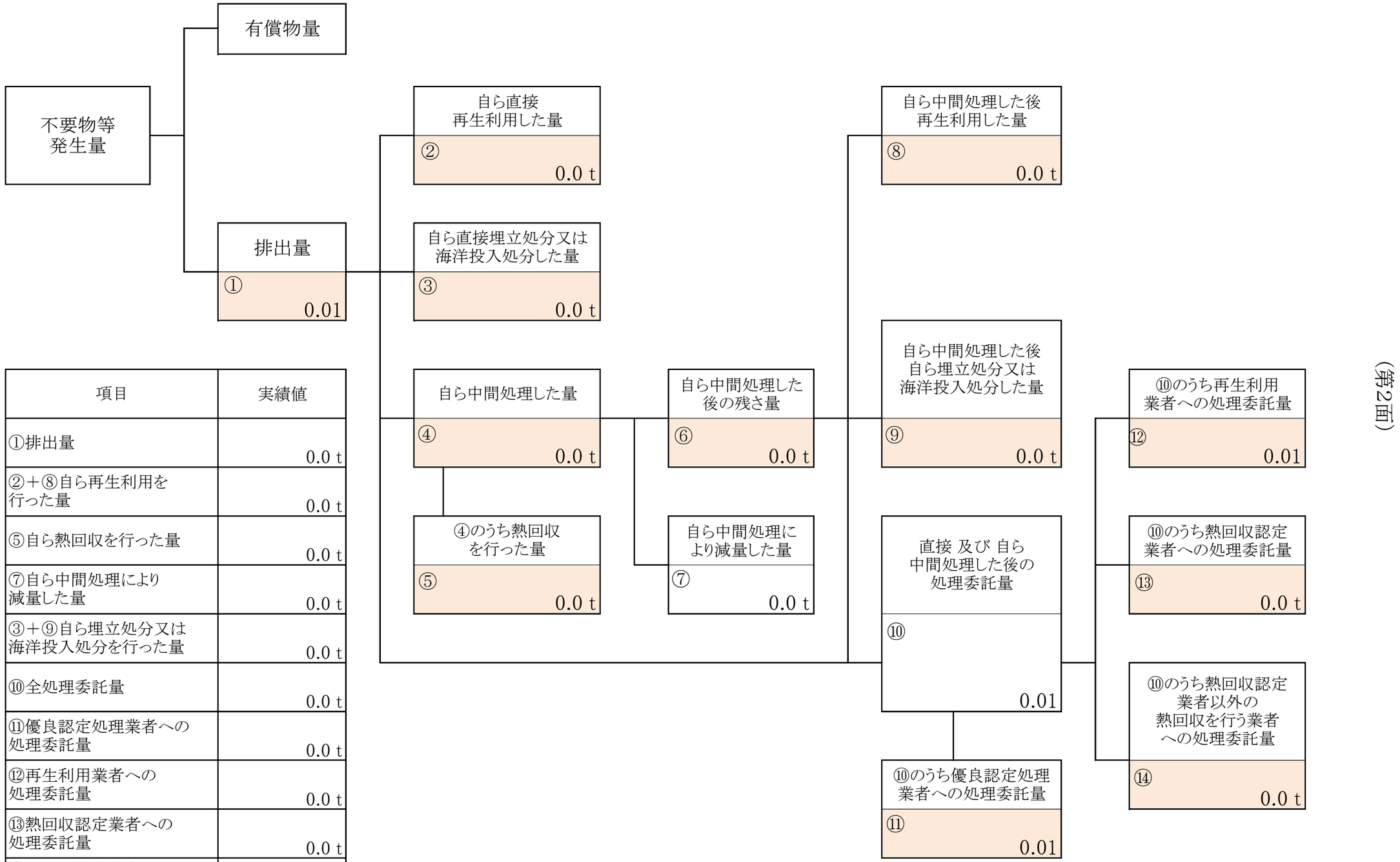


項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第２面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第１面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和６年6　月　17日

千葉県知事
　熊谷　俊人　　殿

提出者〒290-8585

住　所　千葉県市原市八幡海岸通１２

氏　名　代表取締役社長執行役員　池田　尚

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

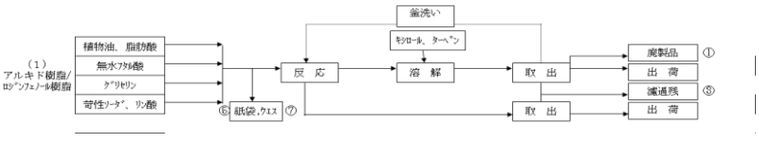
電話番号　0436-41-4115

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ＤＩＣ株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通１２
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E16－化学工業
②事業の規模	製品出荷額：：３００億円程度
③従業員数	約９００名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	アルキド樹脂工程　※その他の工程は、別紙『工程図』を参照



(日本産業規格　Ａ列４番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排　　出　　量	t	t
	（これまでに実施した取組） 有価販売の促進による廃棄物発生の抑制		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排　　出　　量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 同上		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物ステーション設置により、分別方法を明確化。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現行分別方法の維持と徹底。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物の種類	非該当	
		自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類	予定なし	
		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
		自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 有価販売の促進による廃棄物発生の抑制		
	②計画	【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組 ） 同上		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項				
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物の種類	非該当	
		自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類	予定なし	
		自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（これまでに実施した取組） 有価販売の促進による廃棄物発生の抑制		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
同上</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td>937.3</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組等）
実務関係者に対する教育によって、円滑な廃棄物処理運用の維持</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

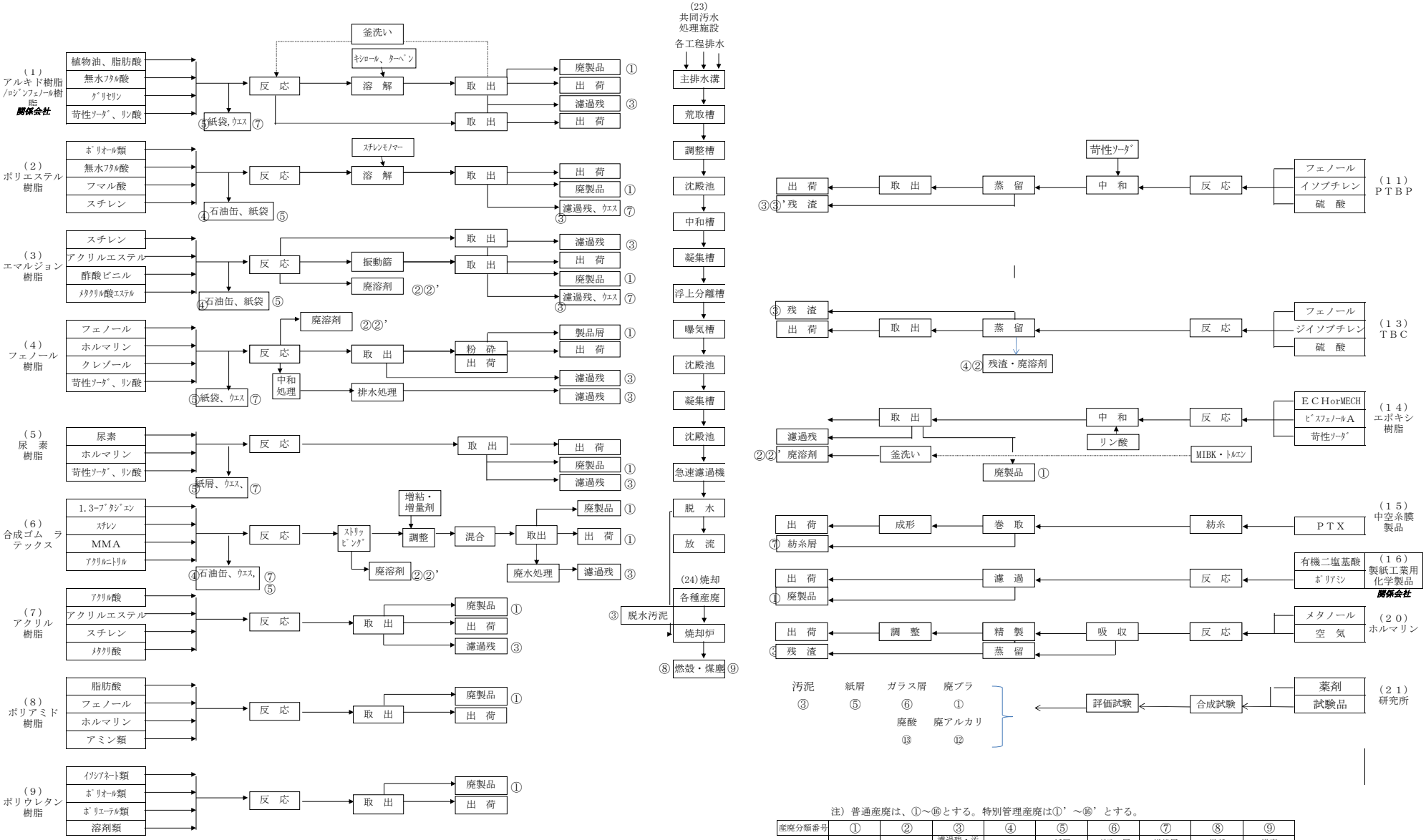
６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

製造業
４．　製造工程図



注１．製造品目、廃棄物の種類毎に工程図を記入すること。
注２．発生する廃棄物に番号をつけ、５．及び６．の廃棄物の番号と連動させること

注）普通産廃は、①～⑯とする。特別管理産廃は①’～⑯’とする。

産廃分類番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	廃プラ・廃製品	廃溶剤・廃油	濾過残・汚泥・脱水汚泥・残渣	金属缶・金属屑・鉄骨	紙屑	ガラス屑	繊維屑	燃殻	煤塵
産廃分類番号	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑱’	
	廃石綿	ｺﾝｸﾘｰﾄｶﾞﾗ	廃アルカリ	廃酸	保温屑	陶磁屑	木屑	感染性	

現状 or計画	種別区分	実績状況報告書の通しナンバー 報告書記載名称	① 排出量 【ton】	④ 自ら中間処理した量 【ton】	⑤ ④のうち熱回収を行った量 【ton】	⑦ 自ら中間処理により減量した量 【ton】	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 【ton】	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 【ton】	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
①現状	1_産廃	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0
①現状	1_産廃	混合廃棄物	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0
①現状	1_産廃	汚泥	1791.1	64.0	64.0	59.5	1731.6	1536.4	1536.6	195.0	0.0
①現状	1_産廃	燃え殻	203.8	0.0	0.0	0.0	203.8	203.8	203.8	0.0	0.0
①現状	1_産廃	廃アルカリ	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	0.5	0.3	0.0
①現状	1_産廃	廃プラスチック類	2587.5	2538.0	2538.0	2359.4	228.1	199.8	228.0	0.1	0.0
①現状	1_産廃	廃酸	111.0	0.0	0.0	0.0	111.0	111.0	111.0	0.0	0.0
①現状	1_産廃	廃油	1525.9	1424.1	1424.1	1323.9	202.0	121.0	202.0	0.0	0.0
①現状	1_産廃	木くず	31.7	0.0	0.0	0.0	31.7	31.7	31.7	0.0	0.0
①現状	1_産廃	電池	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0
①現状	1_産廃	水銀使用製品	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0
①現状	1_産廃	金属くず	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00
①現状	1_産廃 集計		6262.1	4026.1	4026.1	3742.9	2519.2	2213.9	2323.0	196.2	0.0
①現状	2_特管	ばいじん（有害）	80.2	0.0	0.0	0.0	80.2	80.2	80.2	0.0	0.0
①現状	2_特管	特定有害産業廃棄物(PCB汚染物質)	18.9	0.0	0.0	0.0	18.9	18.9	18.9	0.0	0.0
①現状	2_特管	特定有害産業廃棄物(廃酸)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
①現状	2_特管	廃油(引火性)	856.9	9.6	9.6	8.9	848.0	568.3	568.6	279.4	0.0
①現状	2_特管	廃石綿等(飛散性)	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0
①現状	2_特管 集計		956.2	9.6	9.6	8.9	947.3	667.6	668.0	279.4	0.0
②計画	1_産廃	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0
②計画	1_産廃	混合廃棄物	8.1	0.0	0.0	0.0	8.1	8.1	8.1	0.0	0.0
②計画	1_産廃	汚泥	1737.4	62.1	62.1	57.7	1679.7	1490.3	1490.5	189.2	0.0
②計画	1_産廃	燃え殻	197.6	0.0	0.0	0.0	197.6	197.6	197.6	0.0	0.0
②計画	1_産廃	廃アルカリ	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.5	0.3	0.0
②計画	1_産廃	廃プラスチック類	2509.9	2461.9	2461.9	2288.6	221.2	193.8	221.2	0.1	0.0
②計画	1_産廃	廃酸	107.7	0.0	0.0	0.0	107.7	107.7	107.7	0.0	0.0
②計画	1_産廃	廃油	1480.2	1381.4	1381.4	1284.2	195.9	117.4	195.9	0.0	0.0
②計画	1_産廃	木くず	30.8	0.0	0.0	0.0	30.8	30.8	30.8	0.0	0.0
②計画	1_産廃	電池	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0
②計画	1_産廃	水銀使用製品	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0
②計画	1_産廃	金属くず	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00
②計画	1_産廃 集計		6074.2	3905.4	3905.4	3630.6	2443.6	2147.5	2253.3	190.3	0.0
②計画	2_特管	ばいじん（有害）	77.8	0.0	0.0	0.0	77.8	77.8	77.8	0.0	0.0
②計画	2_特管	特定有害産業廃棄物(PCB汚染物質)	18.3	0.0	0.0	0.0	18.3	18.3	18.3	0.0	0.0
②計画	2_特管	特定有害産業廃棄物(廃酸)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②計画	2_特管	廃油(引火性)	831.2	9.3	9.3	8.6	822.6	551.3	551.6	271.0	0.0
②計画	2_特管	廃石綿等(飛散性)	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0
②計画	2_特管 集計		927.5	9.3	9.3	8.6	918.9	647.6	647.9	271.0	0.0

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6 月 10 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒290-8585
住 所　千葉県市原市八幡海岸通り12
氏 名　DIC株式会社 代表取締役 池田 尚志
上記代理者 DIC株式会社 千葉工場 工場長 井上 唯之
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0436-41-4115

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	DIC株式会社 千葉工場
事業場の所在地	市原市八幡海岸通12
事業の種類	E16－化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	607.4 t	全処理委託量	600.9 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	420.5 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	7.6 t	再生利用業者への処理委託量	418.8 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	6.9 t	認定熱回収業者への処理委託量	182.1 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	631.6
	前年度	937.3

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

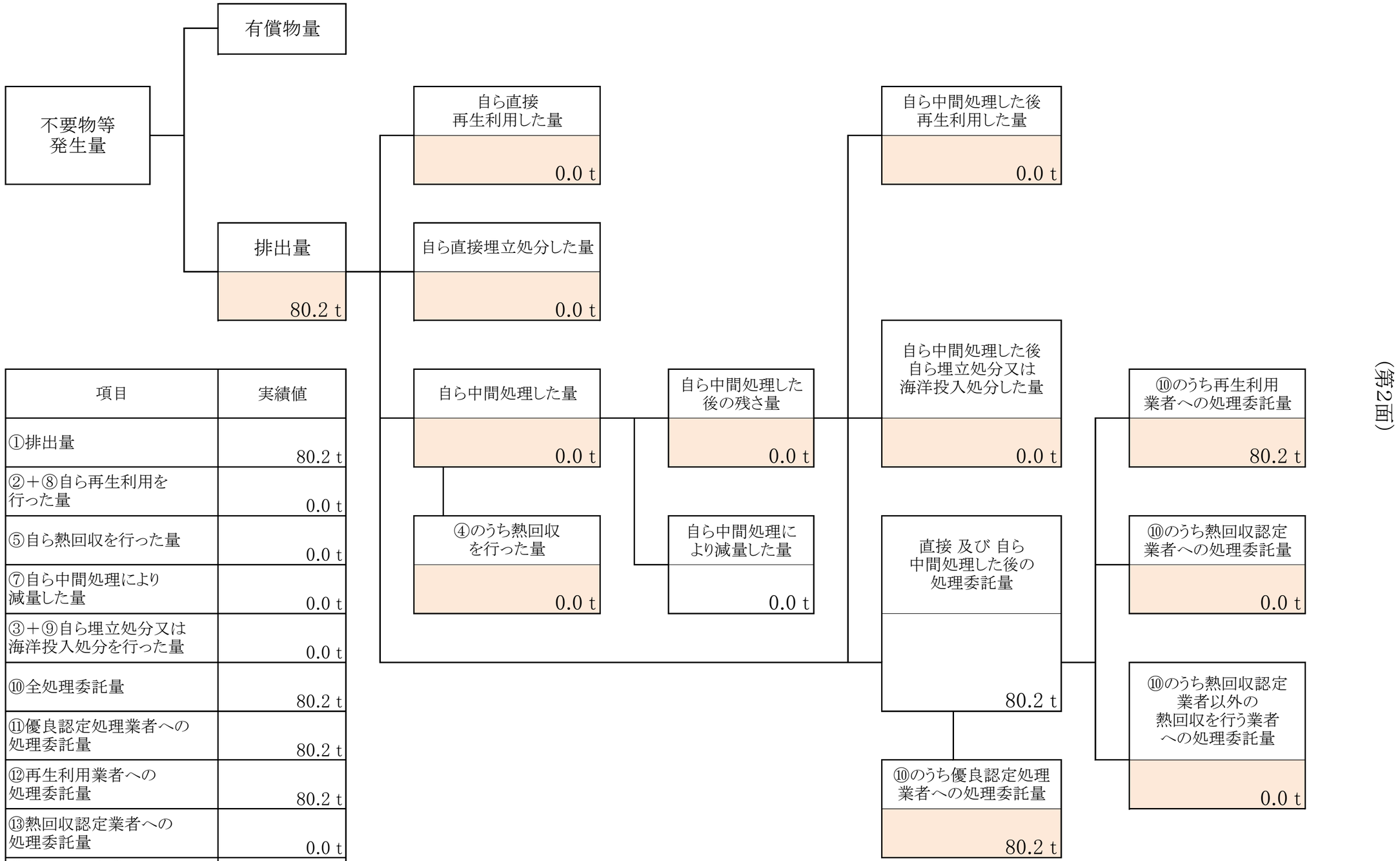
実務関係者に対する教育によって、円滑な廃棄物処理運用の維持

※事務処理欄	

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：ばいじん（有害））

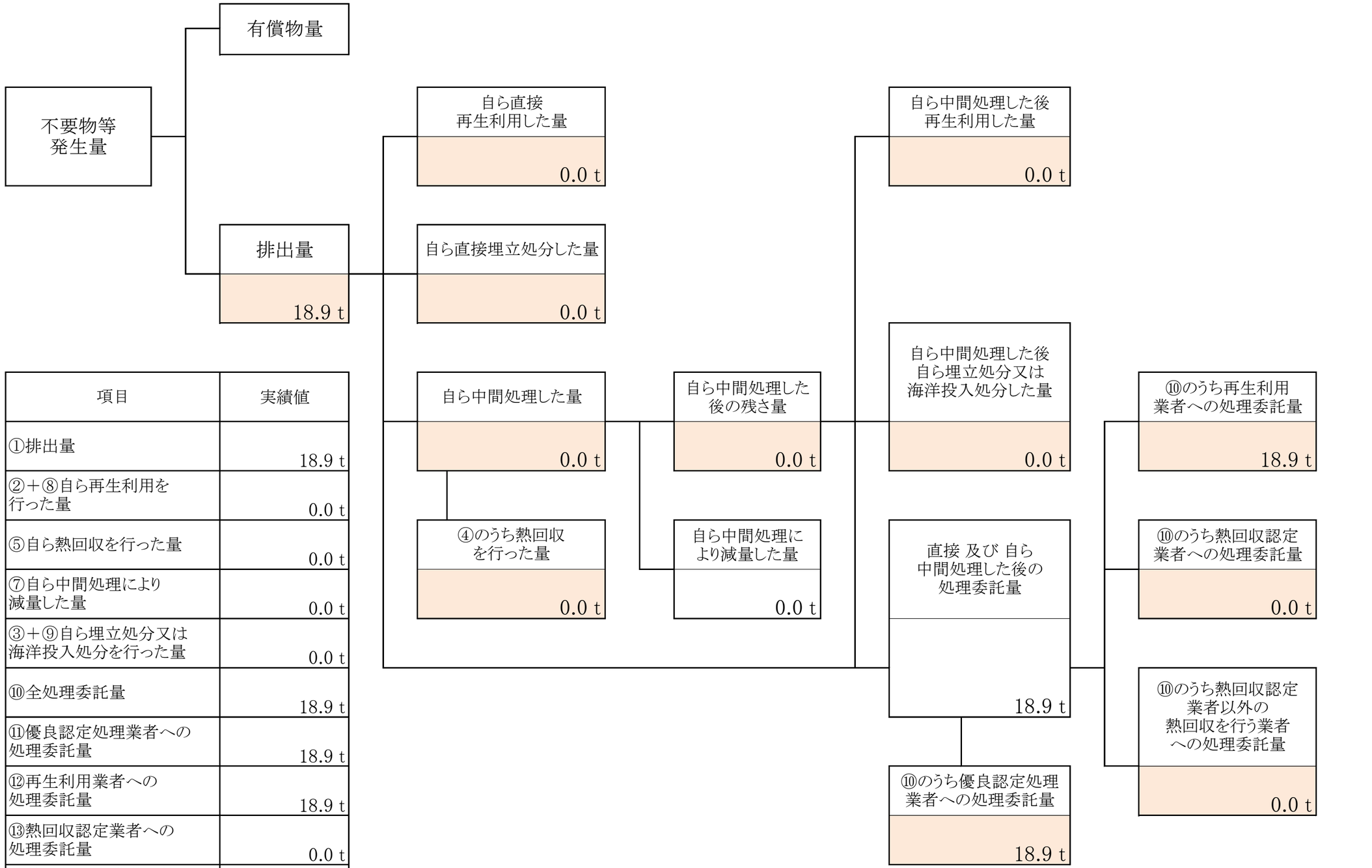


項目	実績値
①排出量	80.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	80.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	80.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	80.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**特定有害産業廃棄物(PCB汚染物質)**）

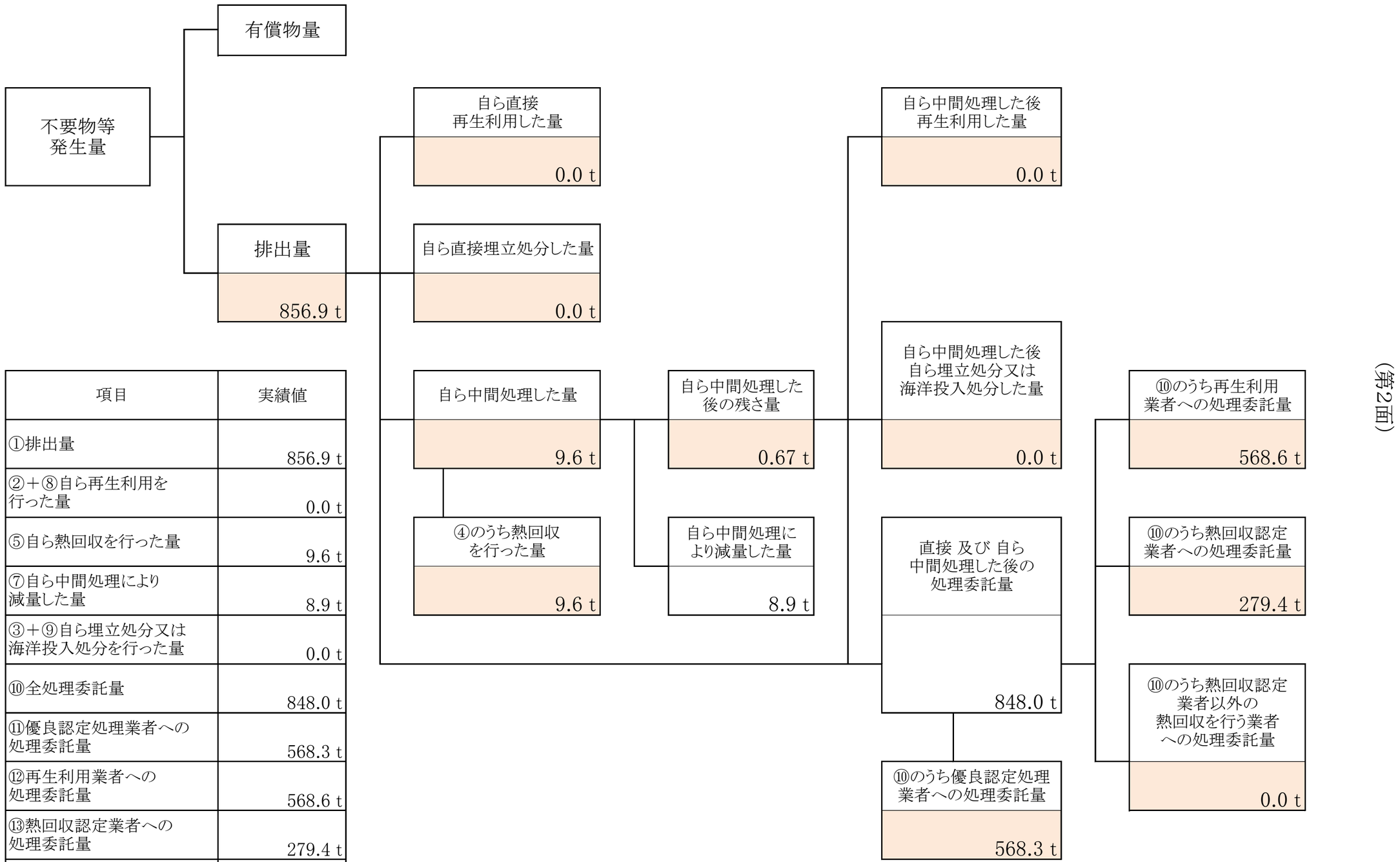


項目	実績値
①排出量	18.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	18.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	18.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**廃油(引火性)**）

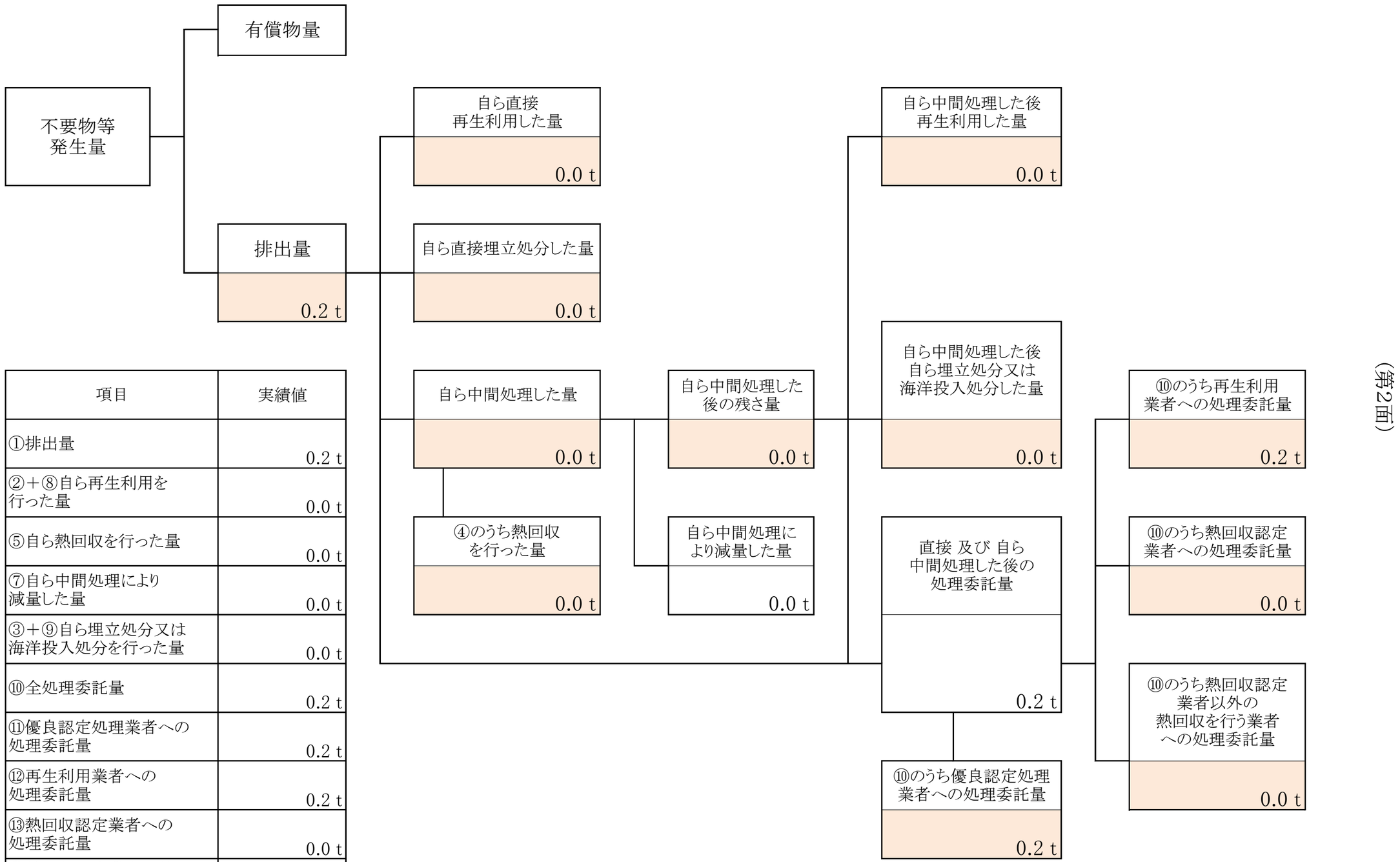


項目	実績値
①排出量	856.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	9.6 t
⑦自ら中間処理により減量した量	8.9 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	848.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	568.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	568.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	279.4 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**廃石綿等(飛散性)**）



項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

正

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和６年　6月　28日

千葉県知事
　熊谷　俊人　　殿

提出者〒299-0266

住　所　千葉県袖ケ浦市北袖１１－５

氏　名　ＤＩＣ　ＥＰ株式会社

代表取締役社長　川端　隆広

電話番号　0438-63-0070

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

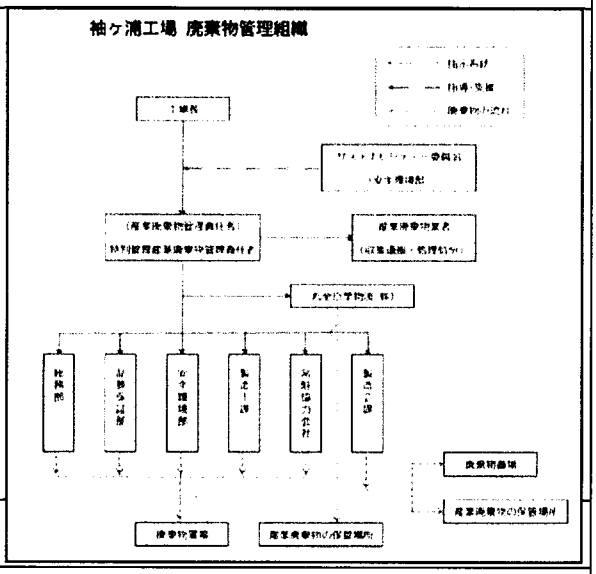
事業場の名称	ＤＩＣ　ＥＰ株式会社 袖ヶ浦工場
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市北袖１１－５
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E16－化学工業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　24億7千万
③従業員数	47人（令和6年4月1日現在）
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	廃アルカリ（強アルカリ）：中間処理業者、再生処理業者等に委託して、再生利用または焼却処理する。

（日本産業規格　Ａ列４番）

君津地域振興事務所
-6.6.28
収受

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（強アルカリ）	—
	排　出　量	195.9　t	—　t
	（これまでに実施した取組） 廃アルカリの回収・再利用		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（強アルカリ）	—
	排　出　量	230　t	—　t
	（今後実施する予定の取組） 廃アルカリの有価化検討 廃アルカリの回収・再利用促進		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別を継続し、生産工程での回収、再利用、熱回収を実施している。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別を継続し、生産工程での回収、再利用、熱回収の推進を図る。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項				
①現状	【前年度（令和５年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（強アルカリ）		—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t	— t
	（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（強アルカリ）		—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0	t	— t
	（今後実施する予定の取組）			

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度（令和５年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（強アルカリ）		—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0	t	— t
	（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（強アルカリ）		—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0	t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0	t	— t
	（今後実施する予定の取組 ）			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（強アルカリ）	—
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	— t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（強アルカリ）	—
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	— t

（今後実施する予定の取組）

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（強アルカリ）	—
全処理委託量	195.9 t	— t
優良認定処理業者への処理委託量	195.9 t	— t
再生利用業者への処理委託量	78.3 t	— t
認定熱回収業者への処理委託量	117.6 t	— t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	— t

（これまでに実施した取組）

委託業者は優良認定及びマテリアルリサイクルを行う委託業者を選定している。

	②計画	【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（強アルカリ）	—
		全処理委託量	230 t	— t
		優良認定処理業者への処理委託量	230 t	— t
		再生利用業者への処理委託量	90 t	— t
		認定熱回収業者への処理委託量	140 t	— t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	— t
		（今後実施する予定の取組） 生産工程の改良等により、廃アルカリの回収を推進し、処理委託量の更なる削減を図る。		
	電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和５年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物排出量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	195.9 t	
		（今後実施する予定の取組等） 既に、電子マニフェストを導入済。		
	※事務処理欄			

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

正

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月　28日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒299-0266
住　所　千葉県袖ケ浦市北袖11－5
氏　名　DIC EP株式会社
代表取締役社長　川端　隆広
電話番号 0438-63-0070

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	DIC EP株式会社 袖ヶ浦工場
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市北袖11－5
事業の種類	E16－化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	230.0 t	全処理委託量	230.0 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	130.0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	130.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	100.0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	238.6 t
	前年度	195.9 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

既に電子マニフェストは導入済。

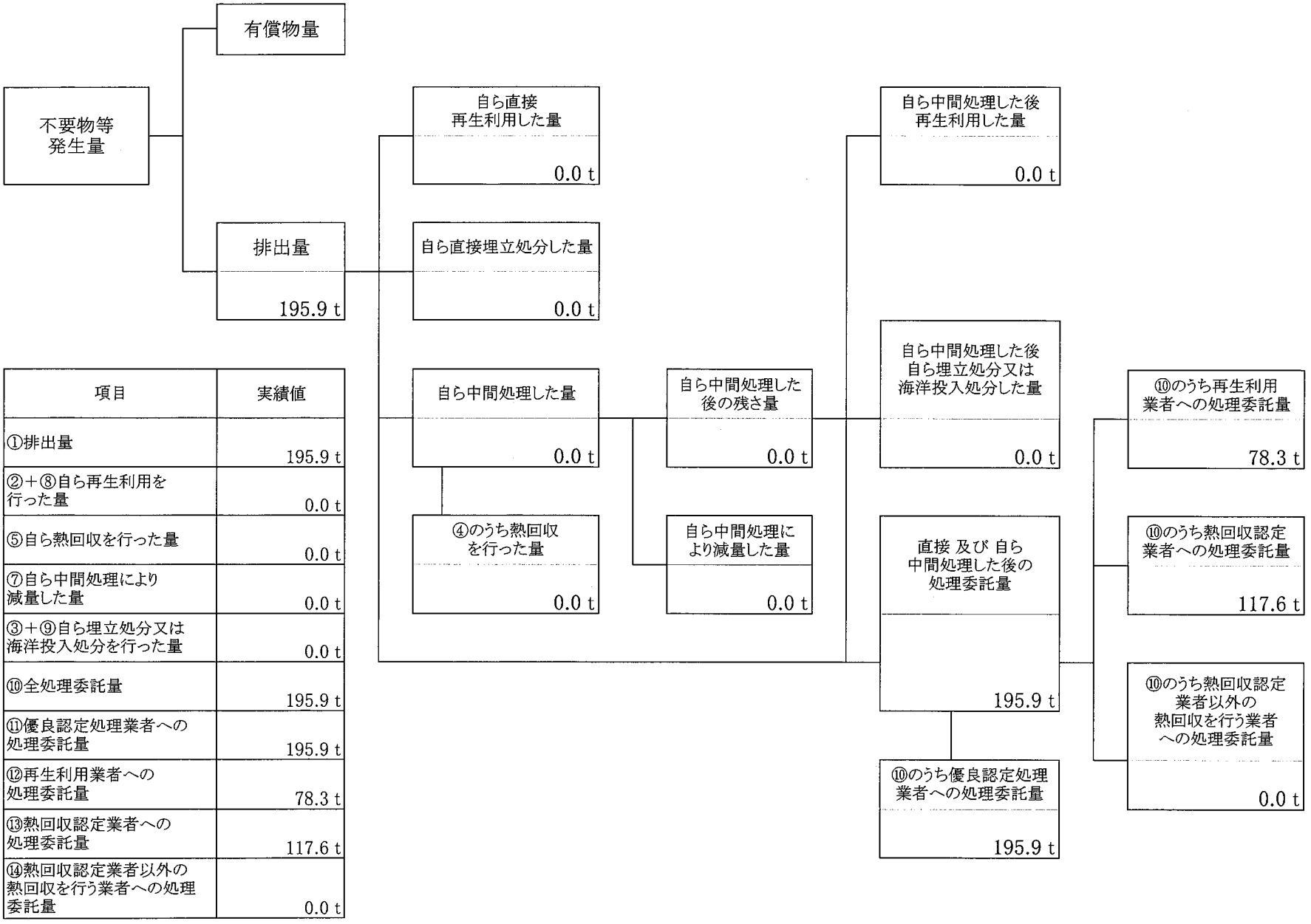
※事務処理欄	

君津地域振興事務所 -6.6.28 収受

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　pH 12.5以上の廃アルカリ　）



項目	実績値
①排出量	195.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	195.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	195.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	78.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	117.6 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

2024年　6月　25日

千葉県知事
熊谷　俊人　殿

提出者　千葉県市原市八幡海岸通2-16
住所　DM三井製糖株式会社　千葉工場
氏名　千葉工場長　　寺田　智明
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　0436-44-0321

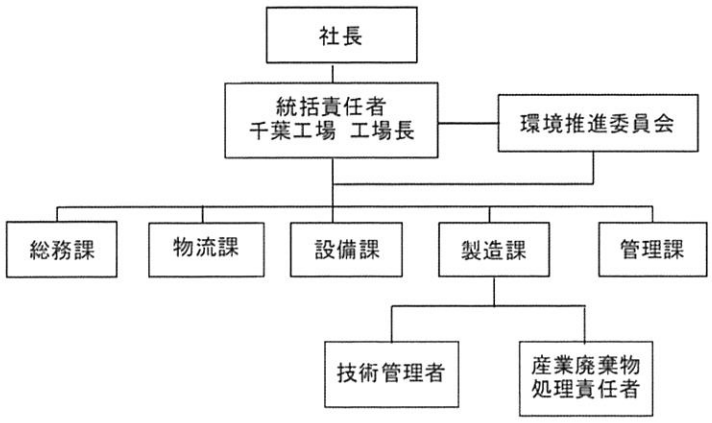
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	DM三井製糖株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通2-16
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業　中分類：食品製造業　小分類：糖類製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　　322億円
③従業員数	187人（正社員　59人、常勤関係職員　128人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1添付

(日本工業規格　Ａ列４番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	排　出　量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	排　出　量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） クラフト紙、ポリ袋、紙、ダンボール、蛍光灯、電池はそれぞれ分別し、再生紙、再生プラスチック、再生燃料等としてリサイクルしている。
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き廃棄物の分別を徹底し、リサイクルに努めるとともに、社内ペーパーレス化推進など、排出量を減らす取り組みを実施していく。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　2023　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>—</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>—　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②　計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>—</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>—　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　2023　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙3のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②　計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙3のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="5">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　2023　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>—</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>—　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>—</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>—</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き埋立又は海洋投入処分する予定はない。</td></tr>
<tr><td colspan="5">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　2023　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙4のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙5のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

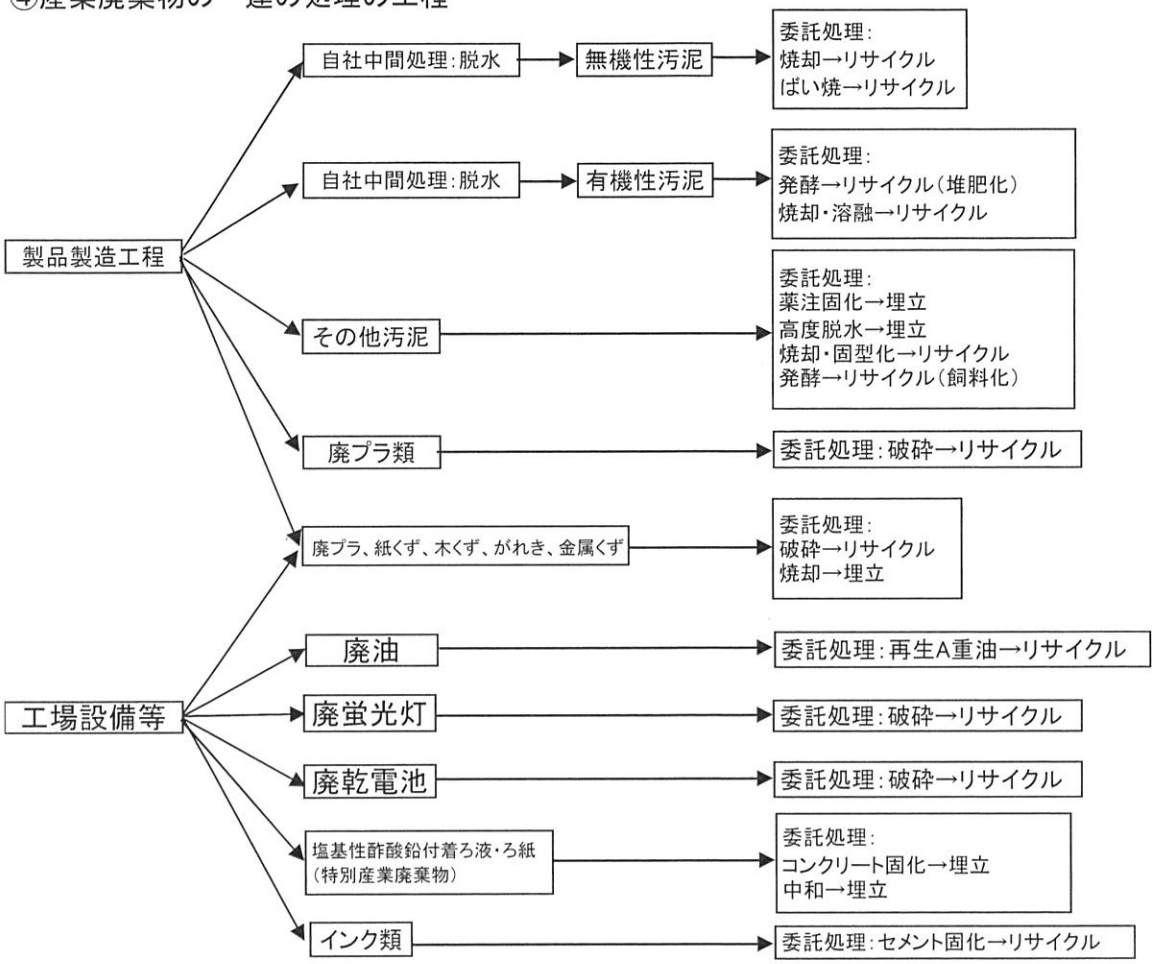
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙1

④産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　2023　年度）実績】

産業廃棄物の種類	無機性汚泥	有機性汚泥	その他汚泥	廃プラスチック類	廃プラ、紙くず、木くず、がれき、金属くず	廃油	廃蛍光灯	廃乾電池
排出量	95,170.0	4,672.3	394.2	17.9	17.0	1.6	0.00	0.00

（これまでに実施した取組）
無機性汚泥：セメント材料への再利用
有機性汚泥：肥料化
廃プラ、紙くず、木くず、がれき、廃油：製造工程の運転管理の更なる徹底
廃蛍光灯：寿命の長い蛍光管の購入やLED化による排出量削減

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	無機性汚泥	有機性汚泥	その他汚泥	廃プラスチック類	廃プラ、紙くず、木くず、がれき、金属くず	廃油	廃蛍光灯	廃乾電池
排出量	97,707.8	4,796.8	332.8	17.7	16.8	1.6	0.32	0.12

（今後実施する予定の取組）

無機性汚泥：操業日数や生産量、原料糖の品質に依存するが、工程で使用する濾過助剤の使用量の削減を目指す事で、生産量あたりの廃棄物量の削減を行う。

有機性汚泥：操業日数や生産量で、廃棄物の量は変化するが、排水処理に関する凝集剤の見直しや、脱水の改善による含水率の削減の検討を続け、生産量あたりの廃棄物量の削減を目指す。

廃プラ、紙くず、木くず、がれき、廃油：分別の徹底により、排出量を減らす。

廃蛍光灯：蛍光灯のLED化を更に進め、排出量を減らす。

別紙3

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（　2023　年度）実績】

産業廃棄物の種類	無機性汚泥	有機性汚泥	その他汚泥	廃プラスチック類	廃プラ、紙くず、木くず、がれき、金属くず	廃油	廃蛍光灯	廃乾電池
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	91,974.5	4,241.7	0	0	0	0	0	0

（これまでに実施した取組）
無機性汚泥：プレスフィルターの運転管理を行い、脱水効率を高めることにより排出量削減を図っている。
有機性汚泥：定期的な脱水機ろ布の薬液洗浄を行い、脱水効率を高めることにより排出量削減を図っている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	無機性汚泥	有機性汚泥	その他汚泥	廃プラスチック類	廃プラ、紙くず、木くず、がれき、金属くず	廃油	廃蛍光灯	廃乾電池
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	94,427.1	4,354.7	0	0	0	0	0	0

（今後実施する予定の取組）
無機性汚泥：今後もプレスフィルターの運転管理を継続していく。
有機性汚泥：乾燥機による含水率の低減など、減量に向けた検討を継続していく。

別紙4

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　2023　年度）実績】

産業廃棄物の種類	無機性汚泥	有機性汚泥	その他汚泥	廃プラスチック類	廃プラ、紙くず、木くず、がれき、金属くず	廃油	廃蛍光灯	廃乾電池
全処理委託量	3,195.5	430.6	394.2	17.9	17.0	1.6	0.0	0.0
優良認定処理業者への処理委託量	3,195.5	424.6	100.4	17.9	17.0	1.6	0.0	0.0
再生利用業者への処理委託量	3,187.1	360.5	131.8	13.0	0.0	1.6	0.00	0.00
認定熱回収業者への処理委託量	0	64	0	4.9	17.0	0.0	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.00

（これまでに実施した取組）
無機性汚泥、有機性汚泥、その他汚泥：サーマルリサイクルや再資源化など、再生利用に心掛けた。
廃プラ、紙くず、木くず、がれき、金属くず、廃油：分別を徹底し再生利用率を高めている。また、認定熱回収業者への処理委託量を増やした。
廃蛍光灯：全量、再生利用業者へ処理委託してきた。

別紙5

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	無機性汚泥	有機性汚泥	その他汚泥	廃プラスチック類	廃プラ、紙くず、木くず、がれき、金属くず	廃油	廃蛍光灯	廃乾電池
全処理委託量	3,280.7	442.1	332.8	17.70	16.80	1.60	0.32	0.12
優良認定処理業者への処理委託量	3,280.7	442.1	166.4	0	0	1.60	0	0
再生利用業者への処理委託量	3,280.7	331.6	166.4	0	0	1.60	0.32	0.12
認定熱回収業者への処理委託量	0	110.5	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0

（今後実施する予定の取組）
優良認定業者への委託量を増やす予定。
今後も再生利用業者へ処理委託するとともに、LED化により排出量を減らしていく。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年 6月 25日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　DM三井製糖株式会社 千葉工場
住 所　千葉県市原市八幡海岸通2-16
氏 名　千葉工場長　　寺田 智明
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0436-44-0321

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	DM三井製糖株式会社 千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通2-16
事業の種類	大分類:製造業 中分類:食料品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月1日から2024年3月31日

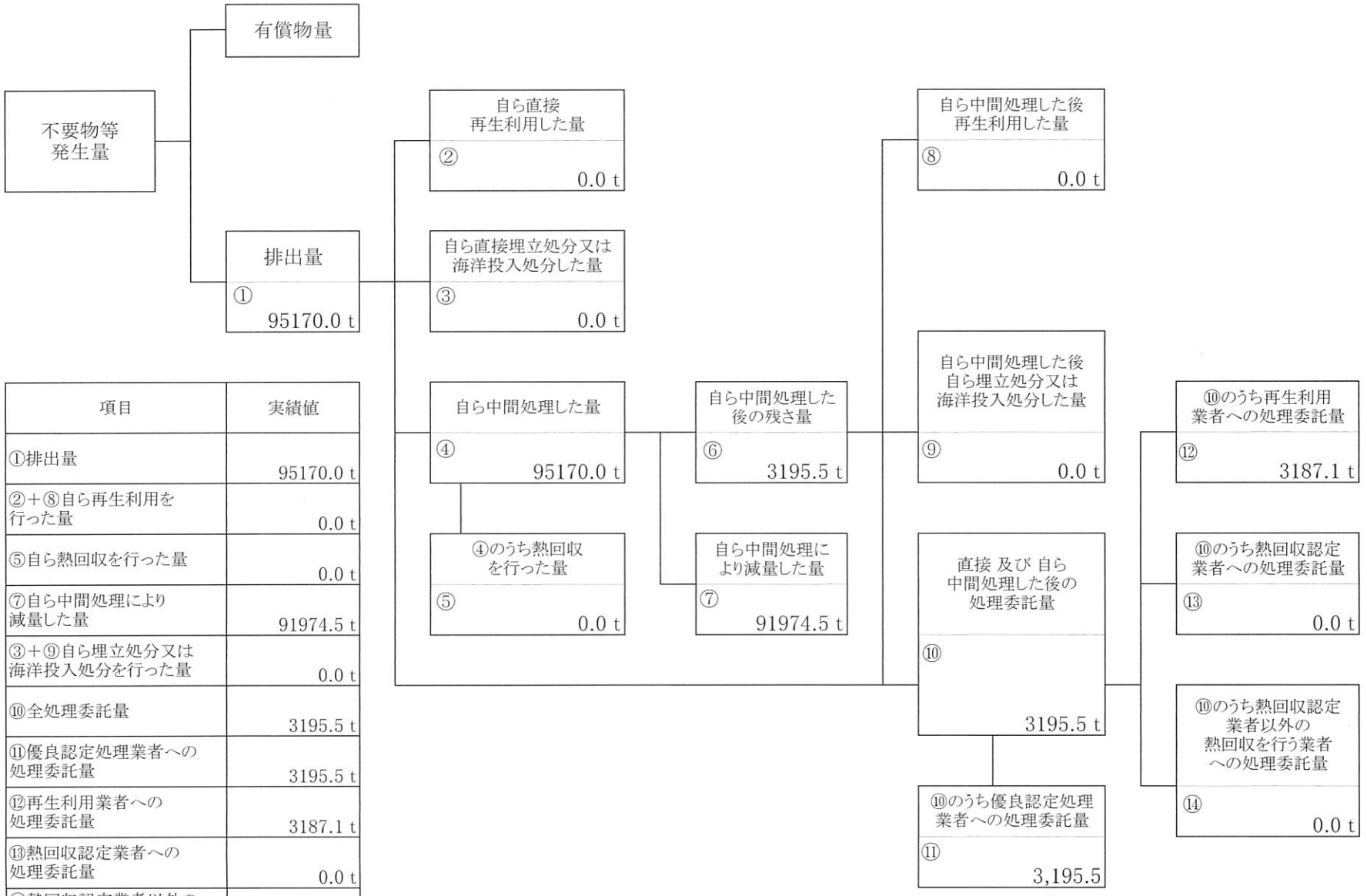
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	110885.9 t	全処理委託量	4636.7 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	4425.6 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	4425.8 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	106249.2 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　無機性汚泥　）

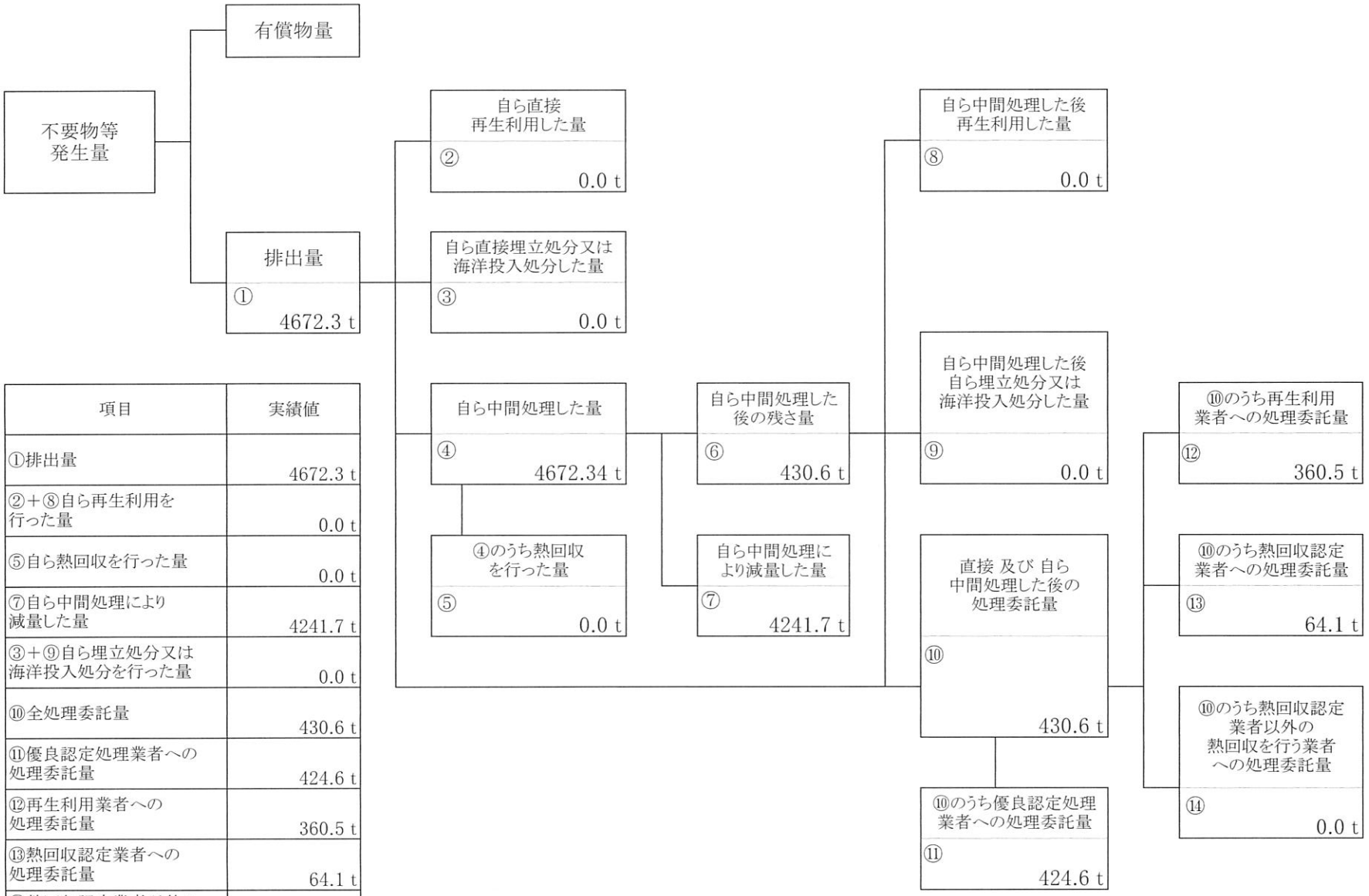


項目	実績値
①排出量	95170.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	91974.5 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3195.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3195.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3187.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　有機性汚泥　）

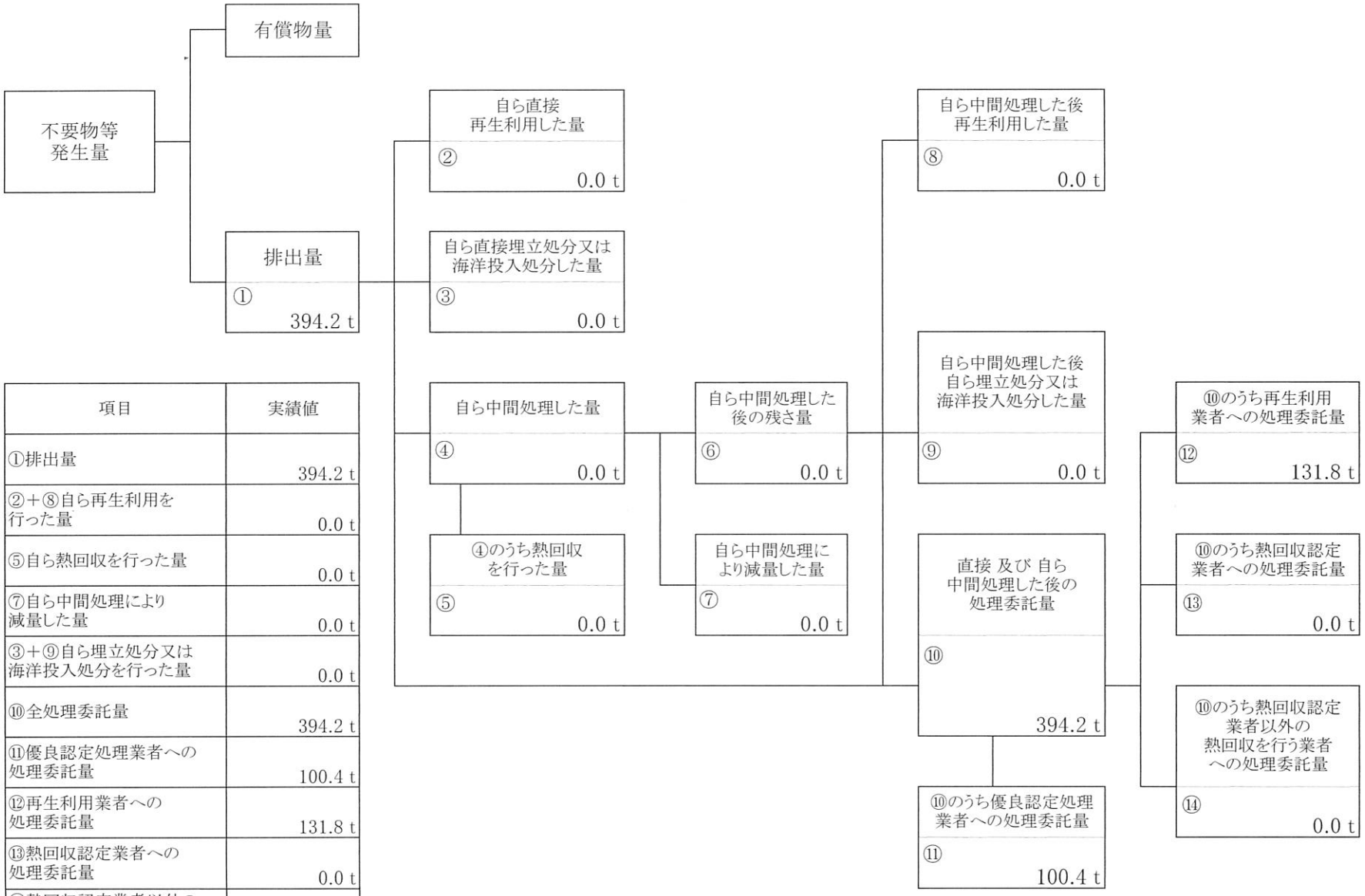


項目	実績値
①排出量	4672.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	4241.7 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	430.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	424.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	360.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	64.1 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　その他汚泥　）

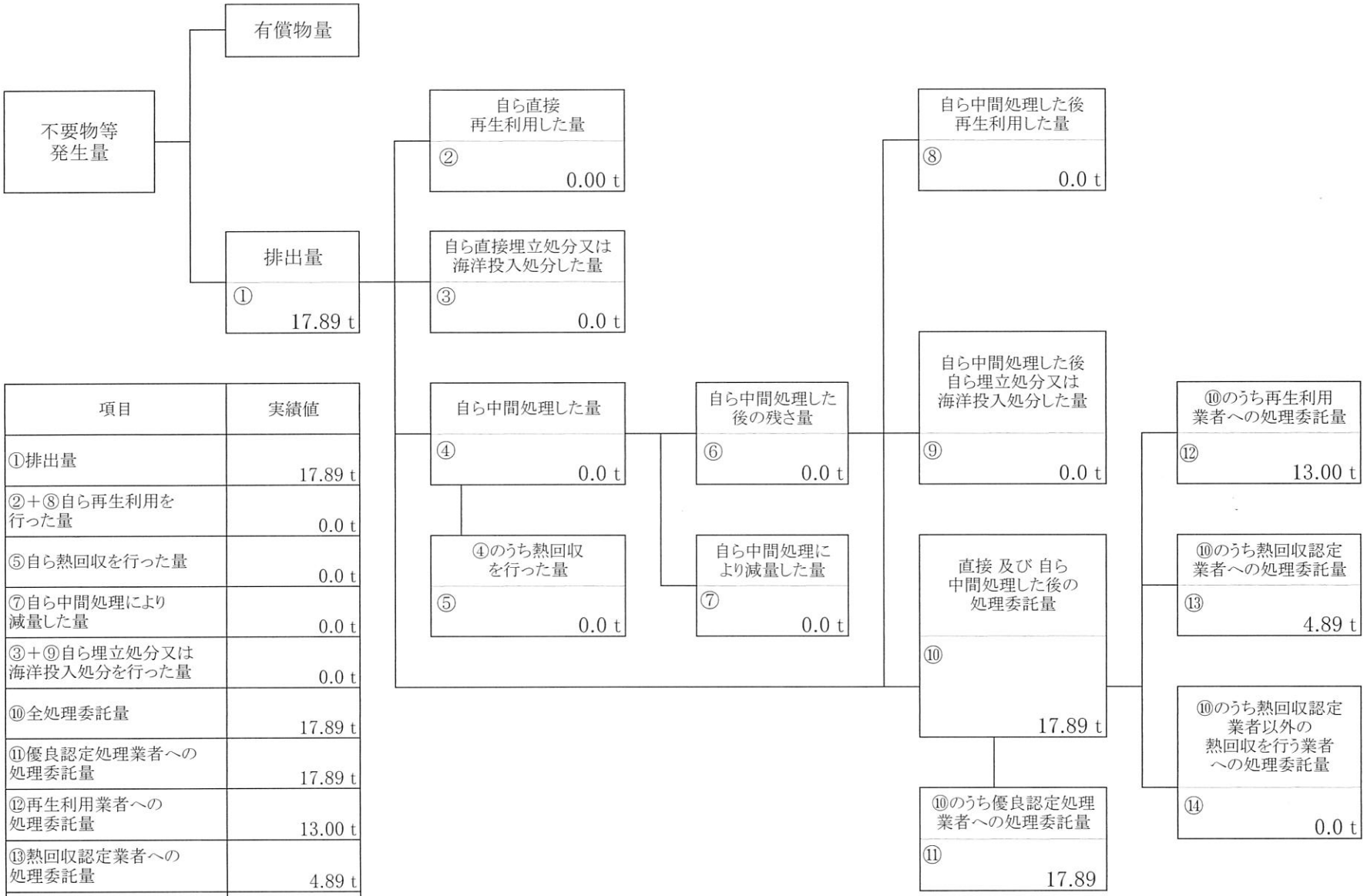


項目	実績値
①排出量	394.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	394.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	100.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	131.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　廃プラスチック類　　）

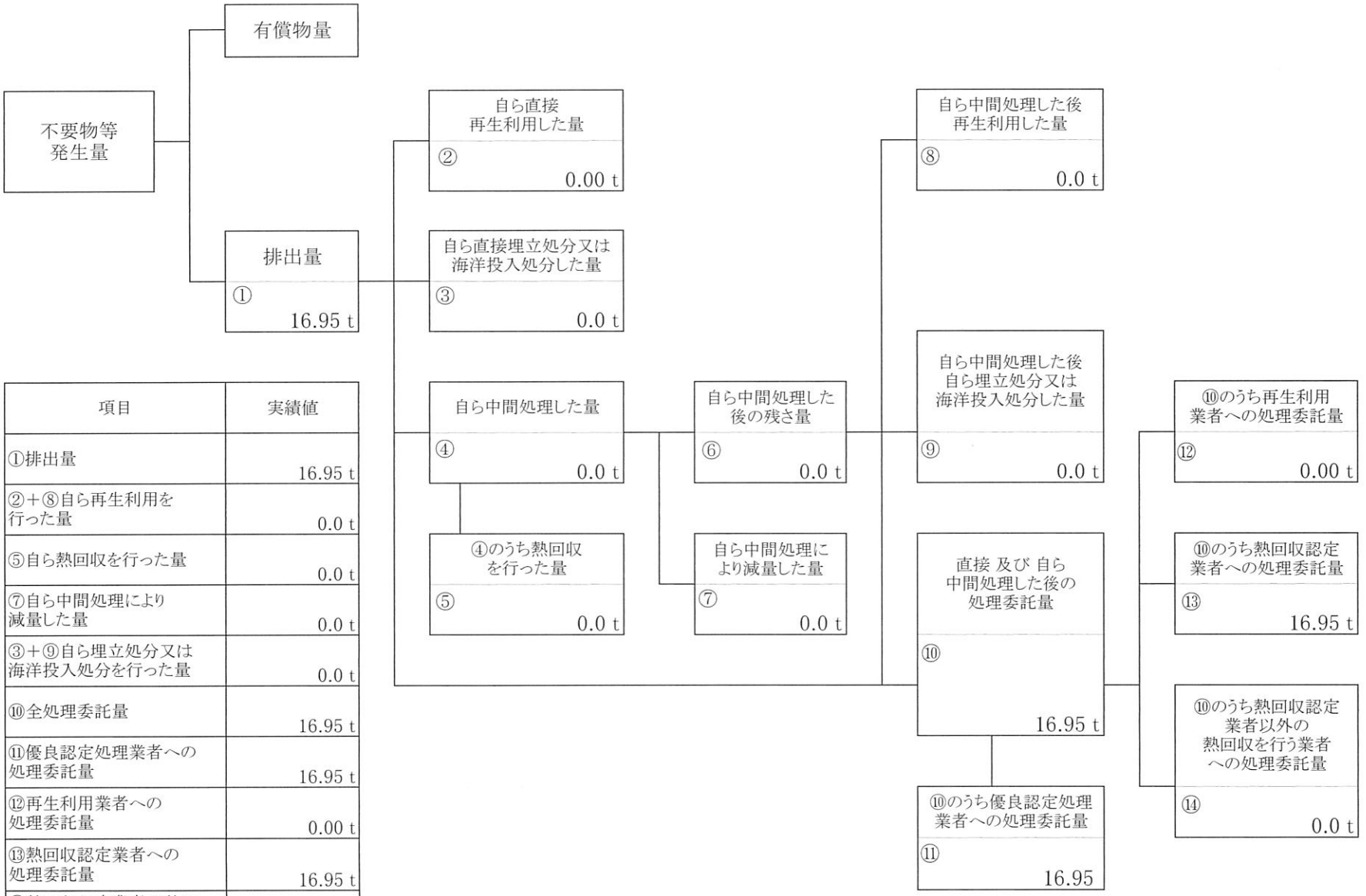


項目	実績値
①排出量	17.89 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	17.89 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.89 t
⑫再生利用業者への処理委託量	13.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	4.89 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃プラスチック類、紙くず、木くず、がれき、金属くず ）

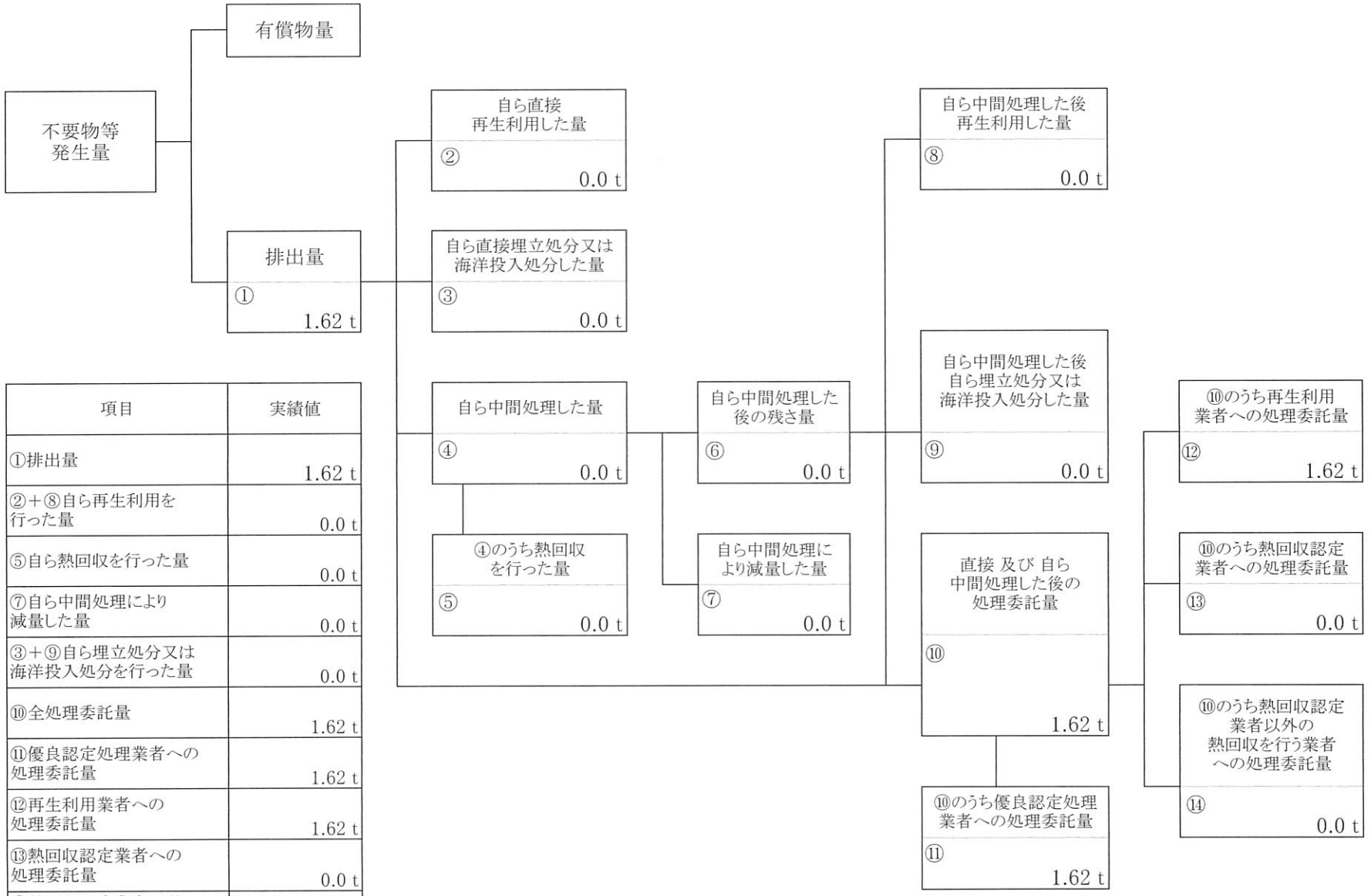


項目	実績値
①排出量	16.95 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	16.95 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.95 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	16.95 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃油　）

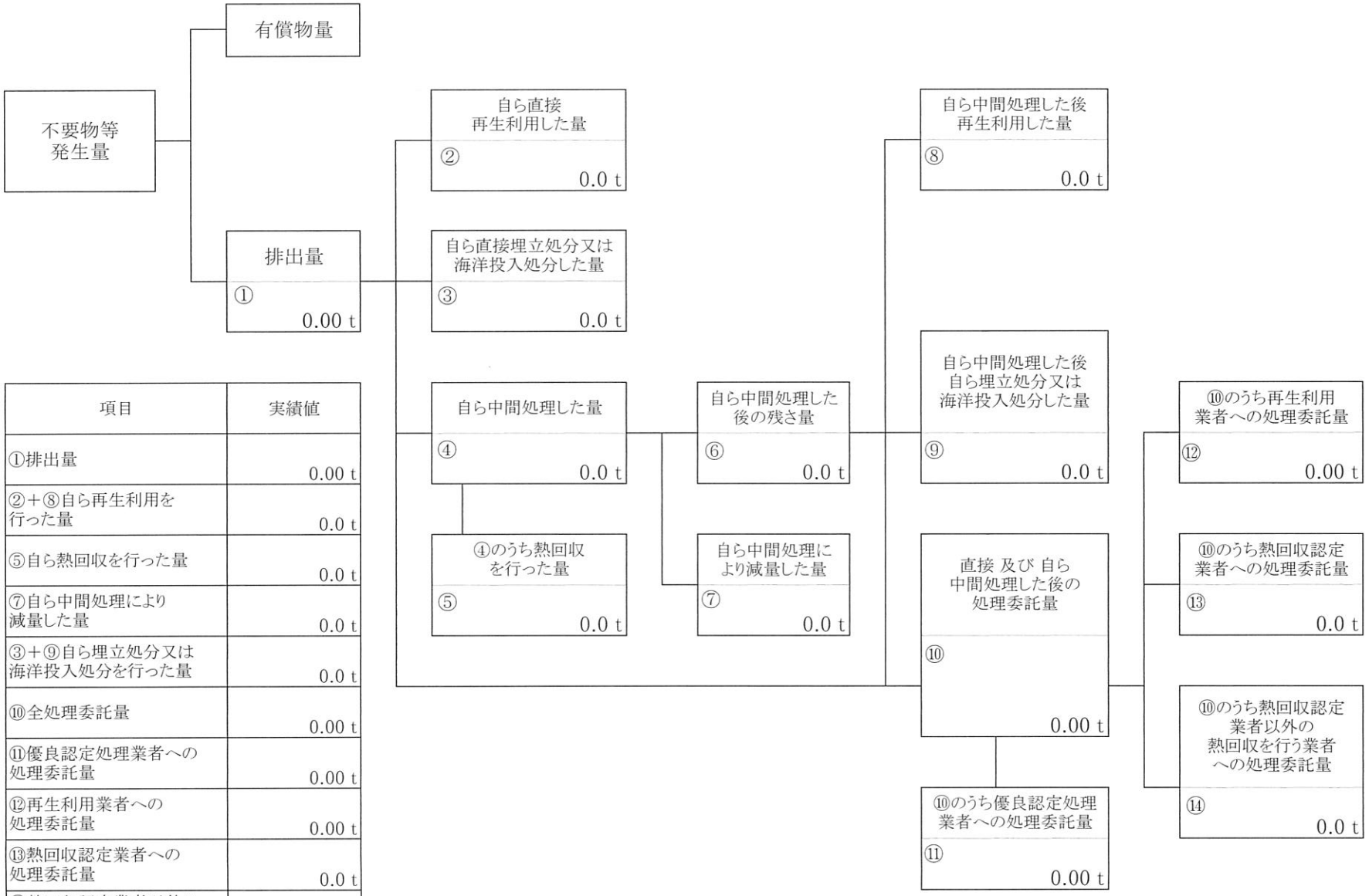


項目	実績値
①排出量	1.62 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.62 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.62 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.62 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃蛍光灯　）

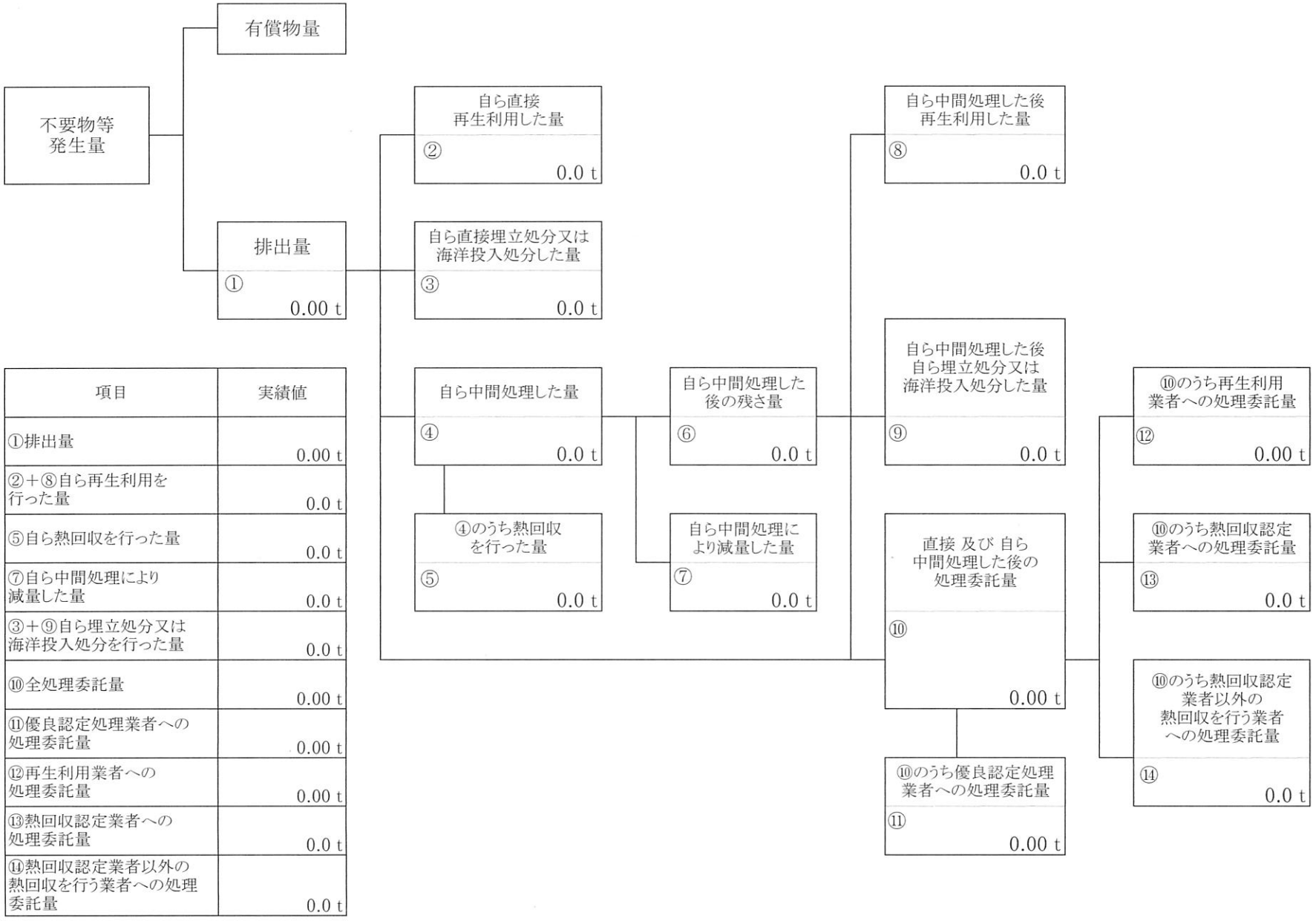


項目	実績値
①排出量	0.00 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃乾電池　）



項目	実績値
①排出量	0.00 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月17日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　290-0044

住所 千葉県市原市玉前西2-8-3

法人名 ディップソール株式会社

代表者 高橋 和重

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0436-22-2155

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ディップソール株式会社 製造管理本部 市原工場
事業場の所在地	千葉県市原市玉前西二丁目8番3
事業の種類	大分類　製造業　中分類 化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	56.8 t	全処理委託量	56.8 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	48.2 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	全前年度(令和4年度)	59.77 t
	前年度(令和5年度)	34.86 t

(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)

弊事業所が排出する産業廃棄物は、すべて、電子情報処理組織を使用している。

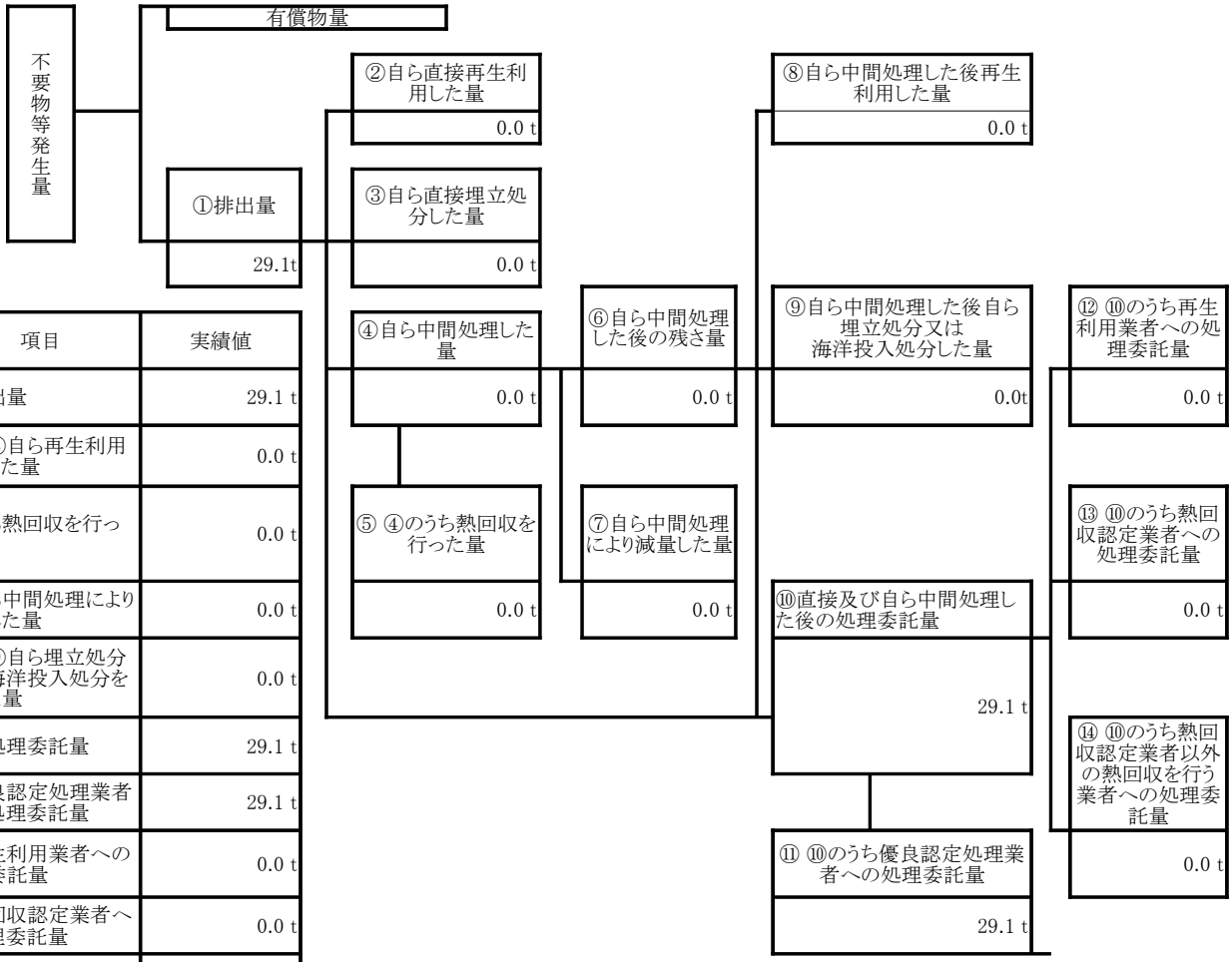
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　pH2.0以下の廃酸　）

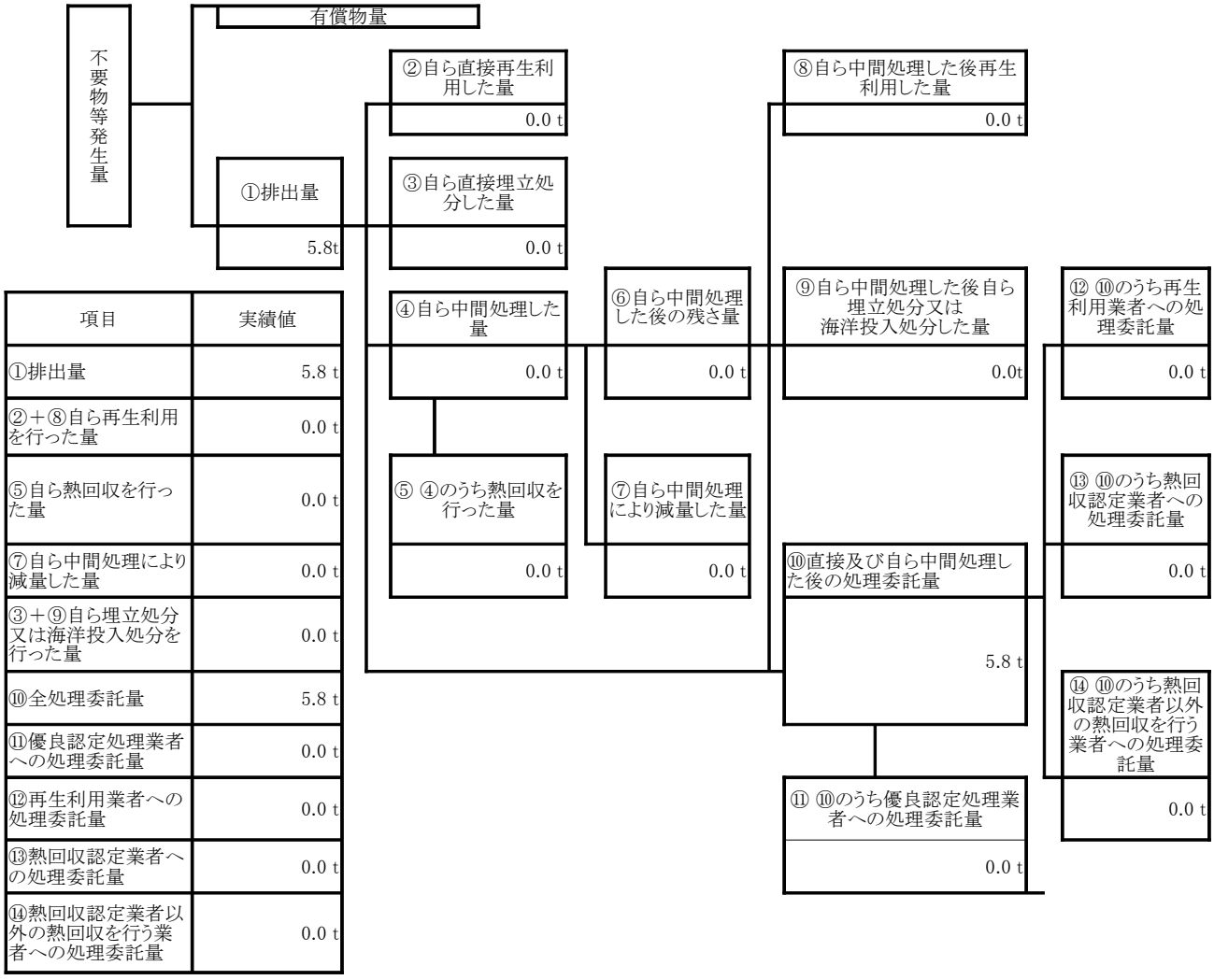


項目	実績値
①排出量	29.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	29.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	29.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　pH12.5以上の廃アルカリ　）

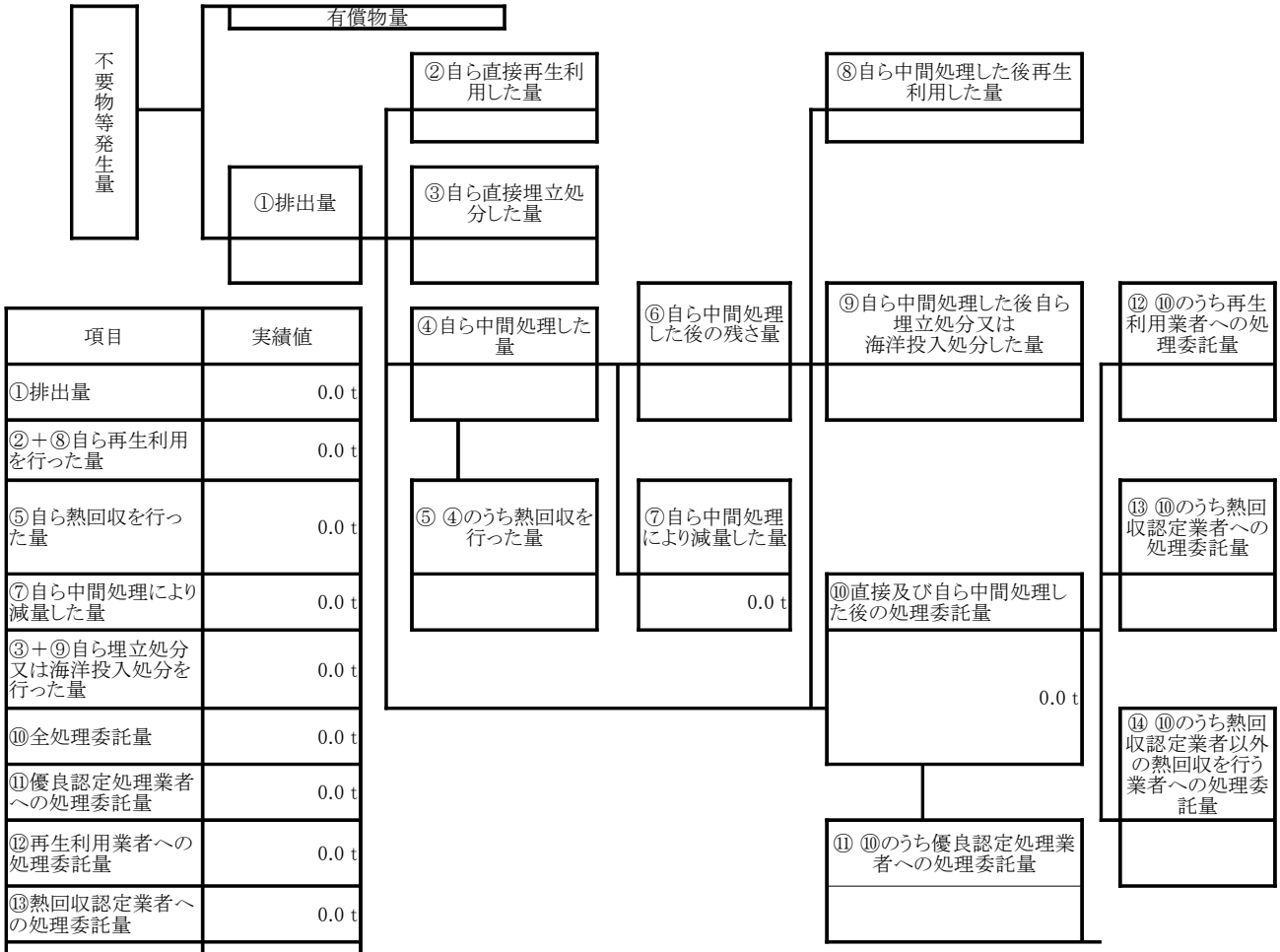


項目	実績値
①排出量	5.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



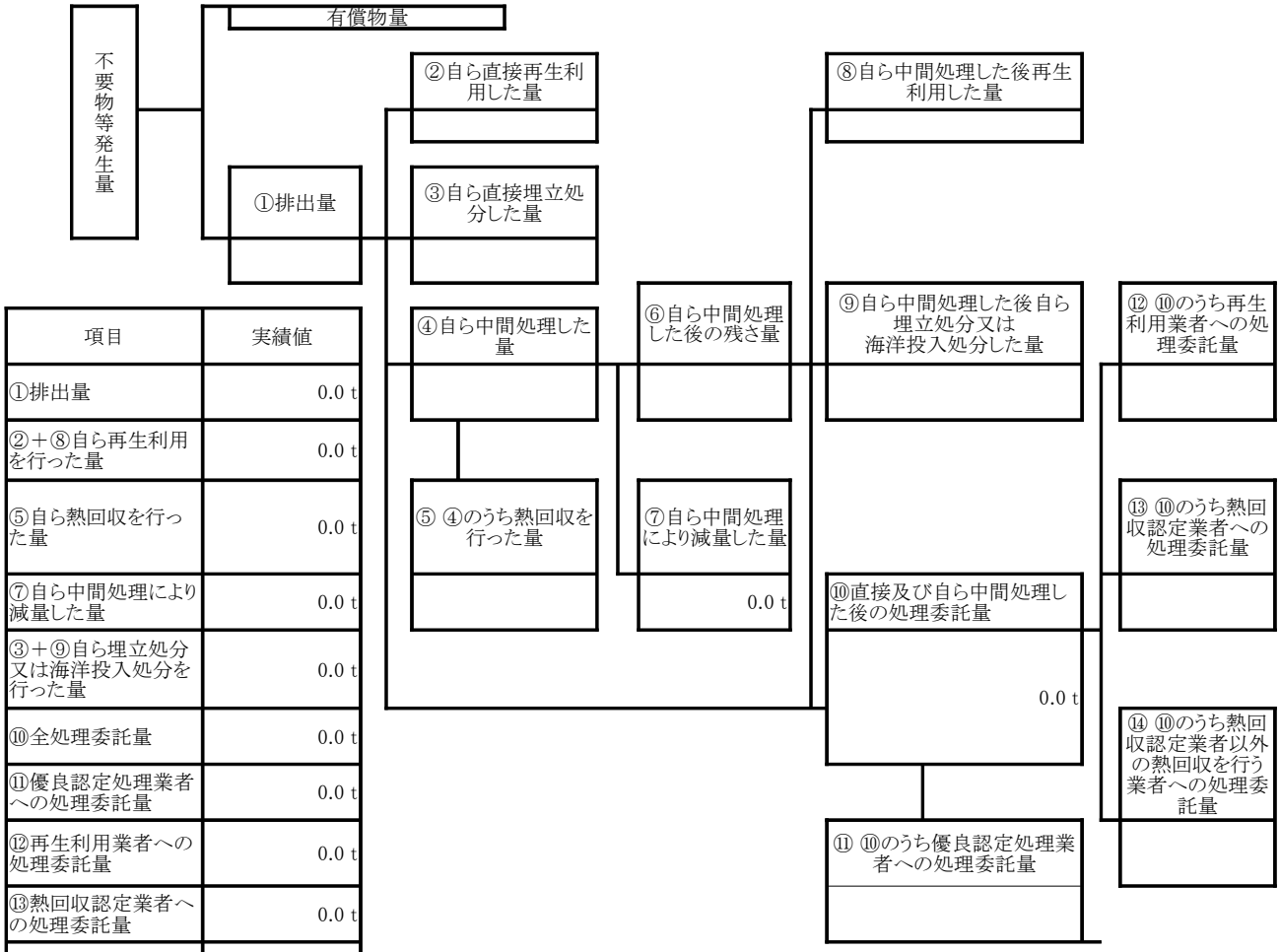
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

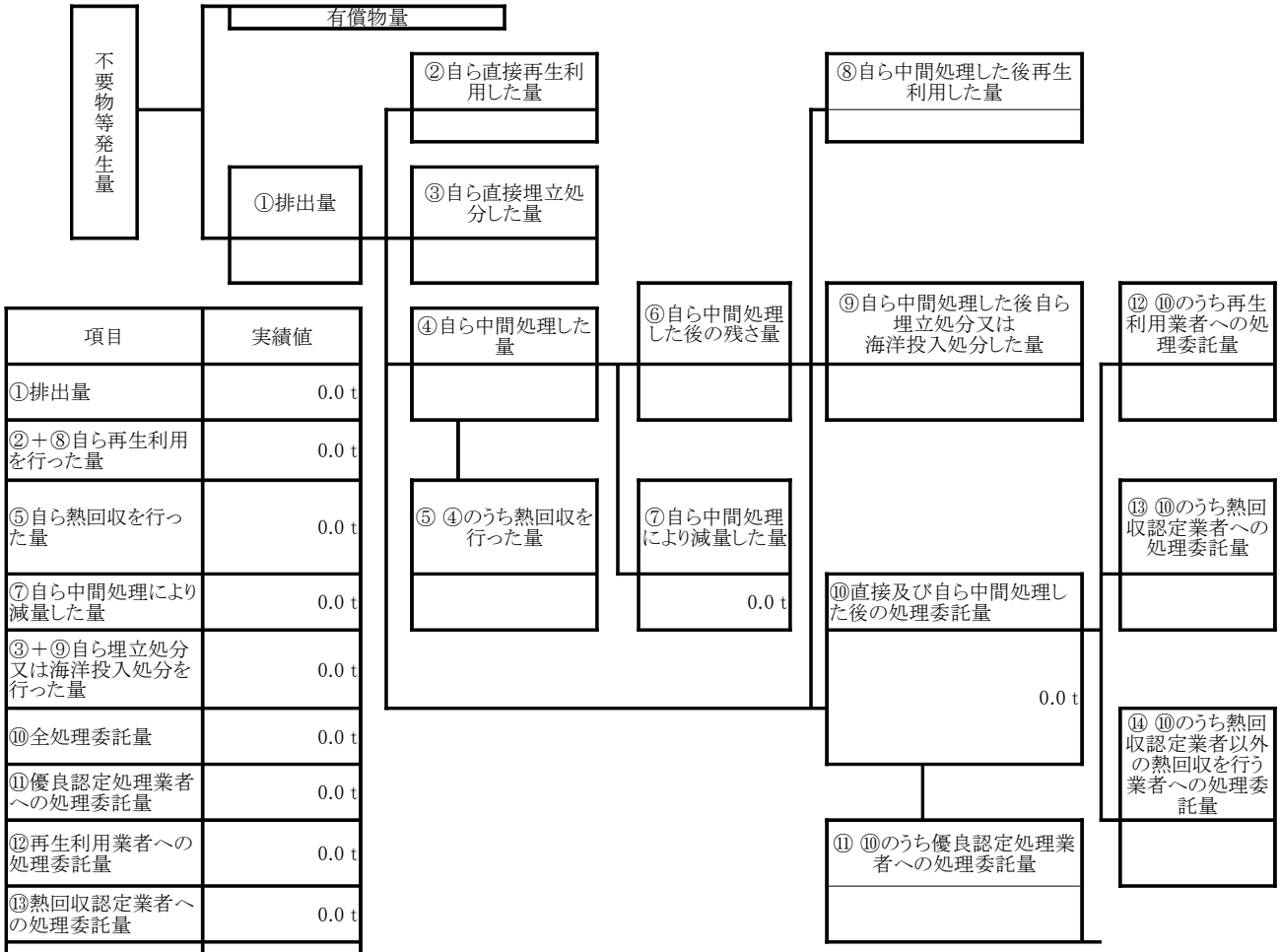


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

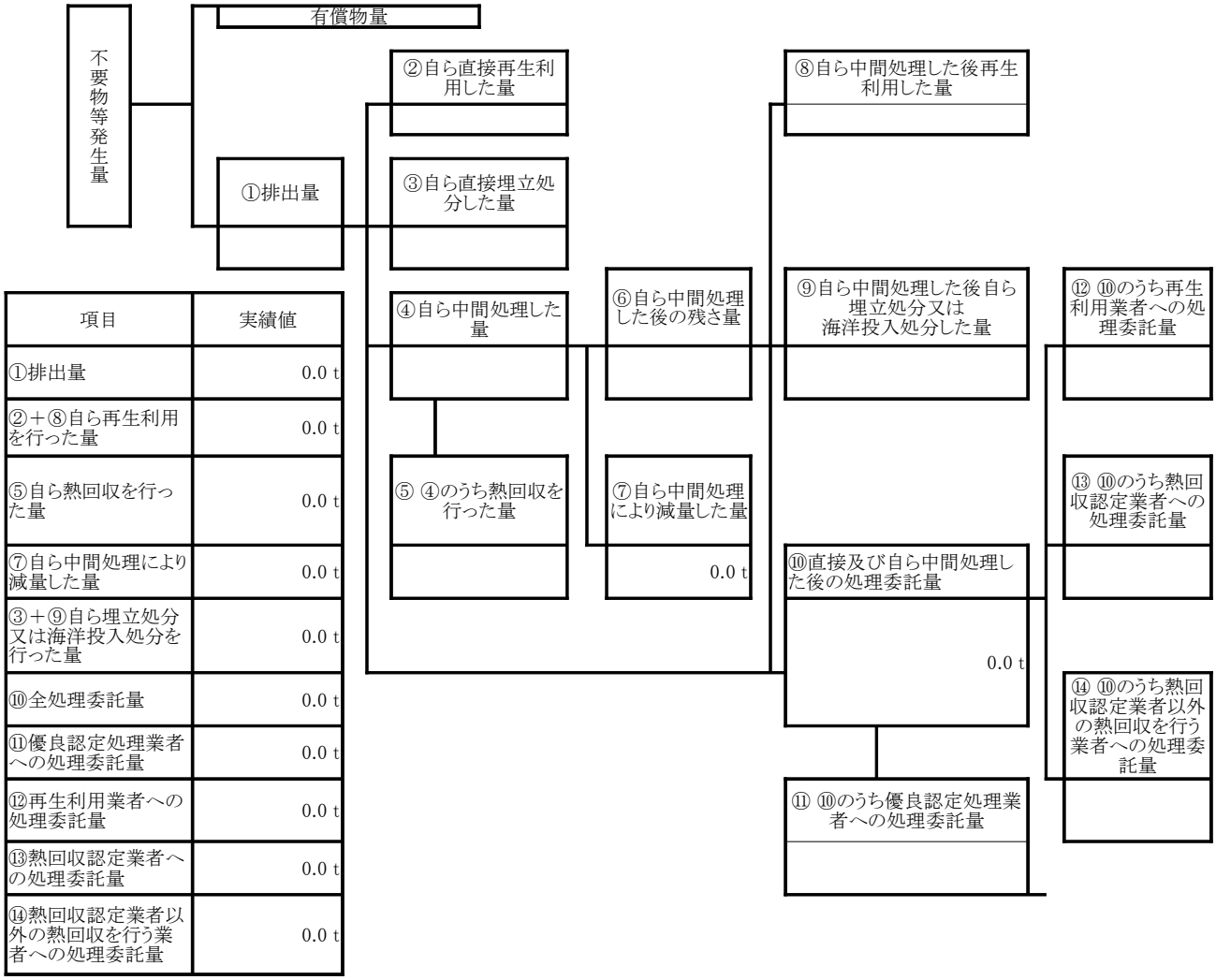


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

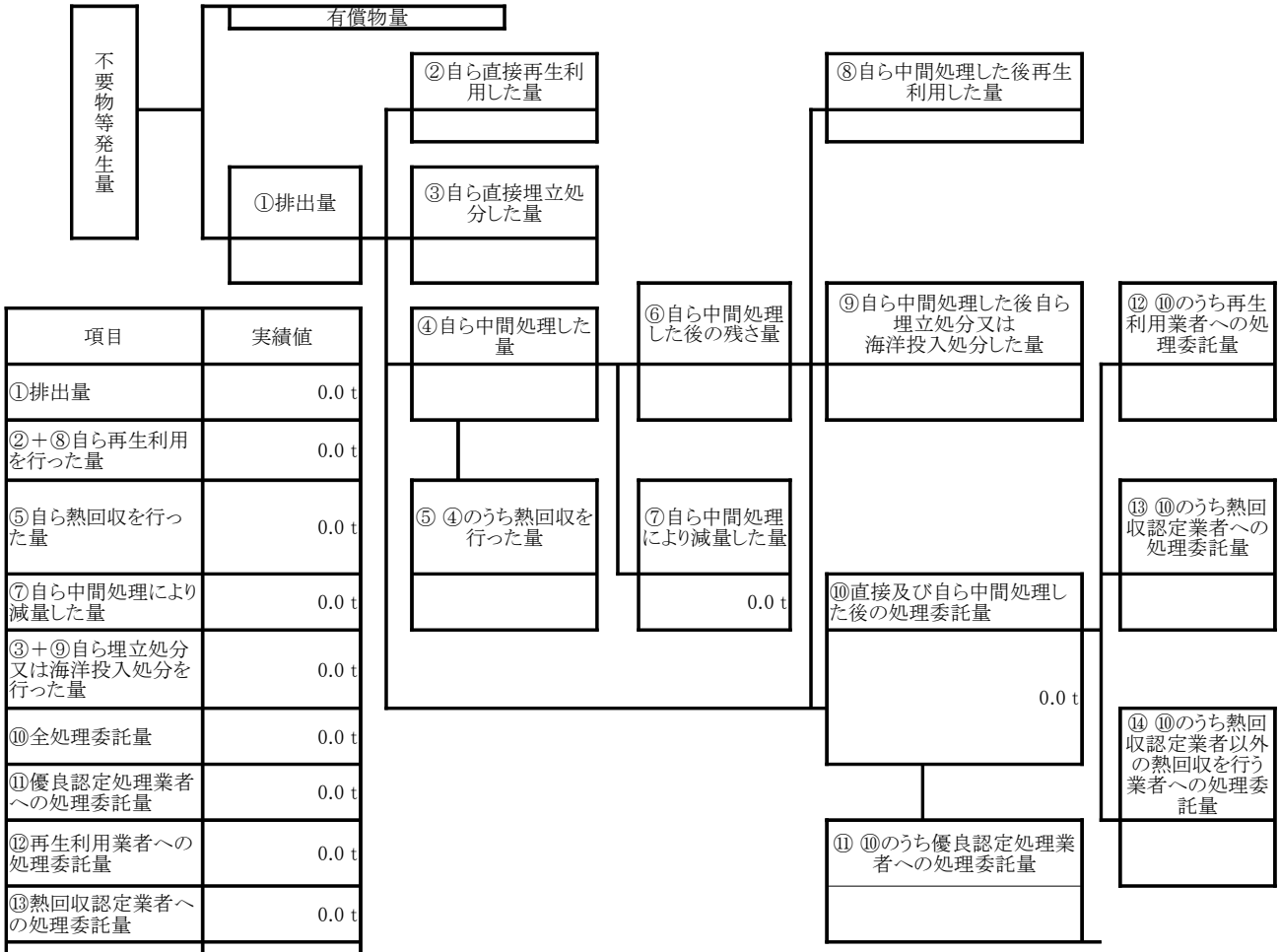


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

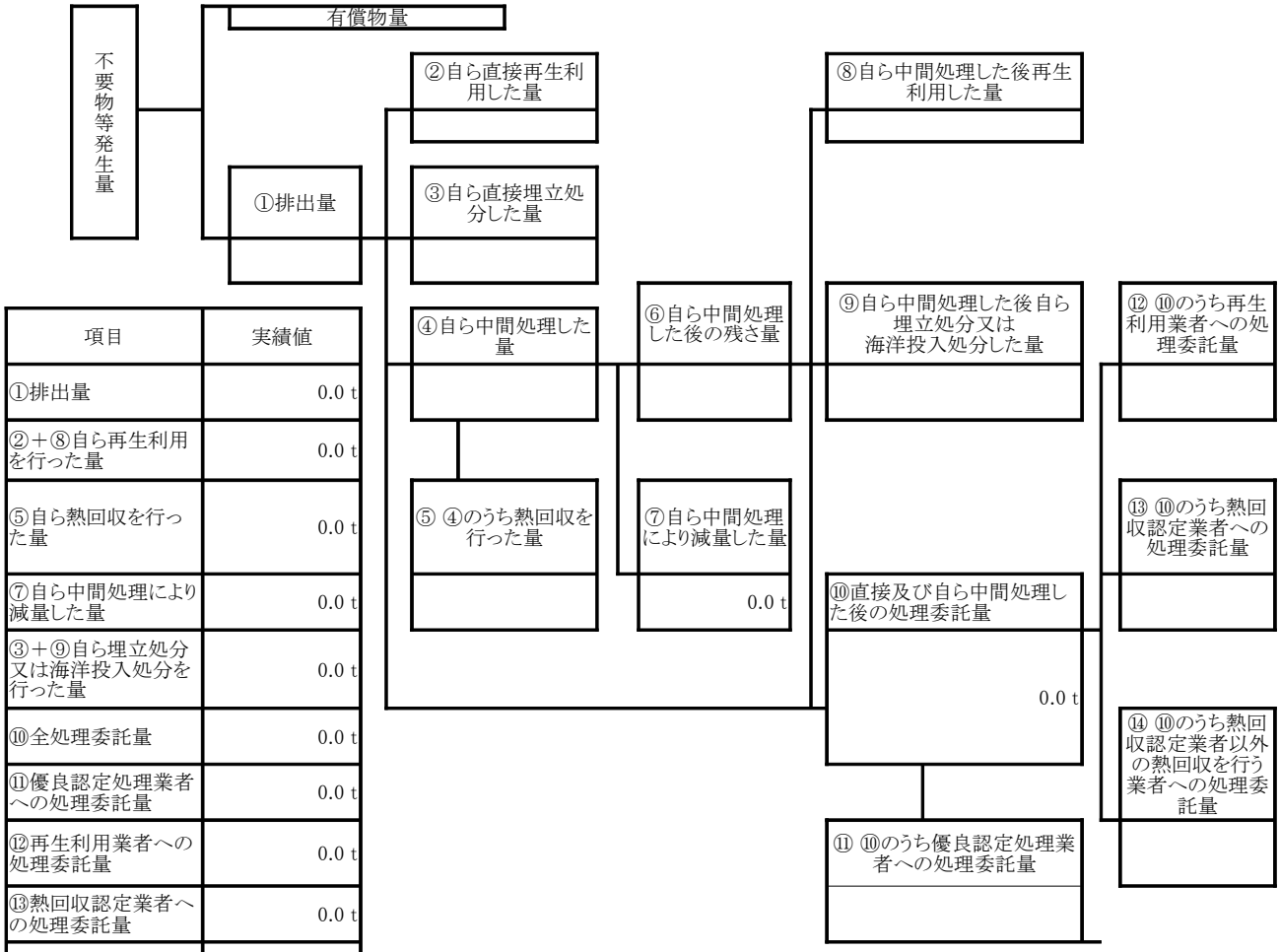


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

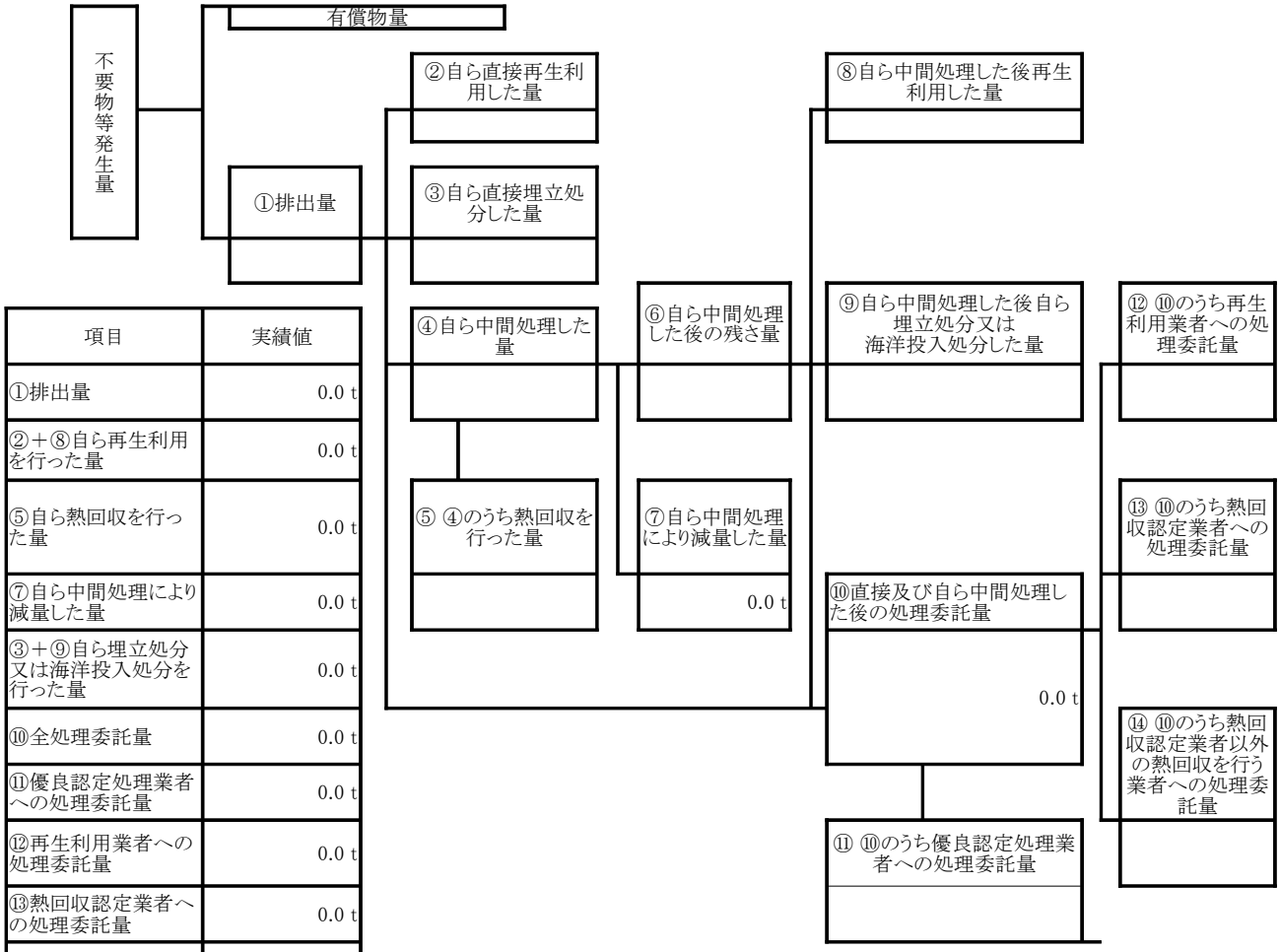


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

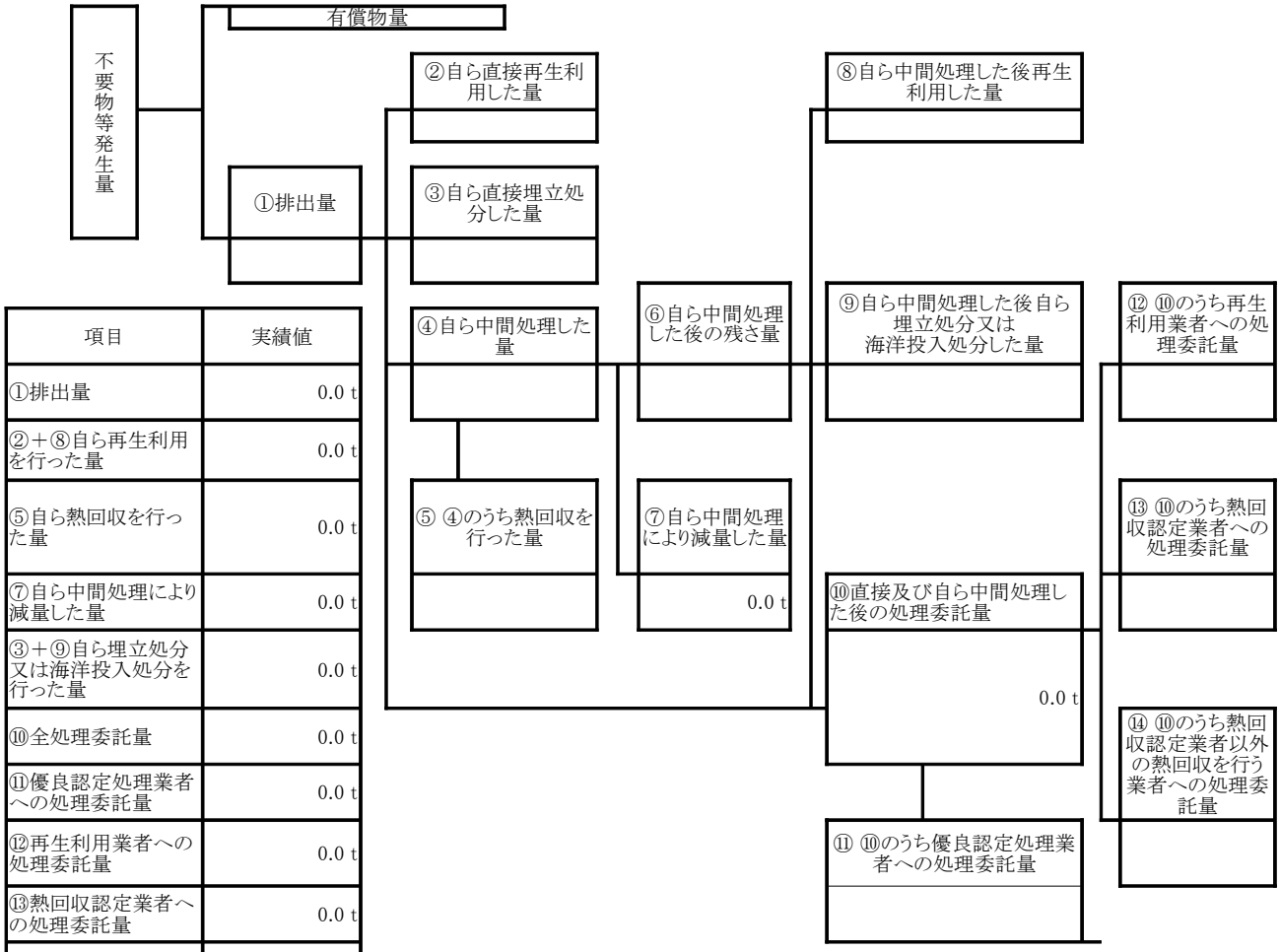


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



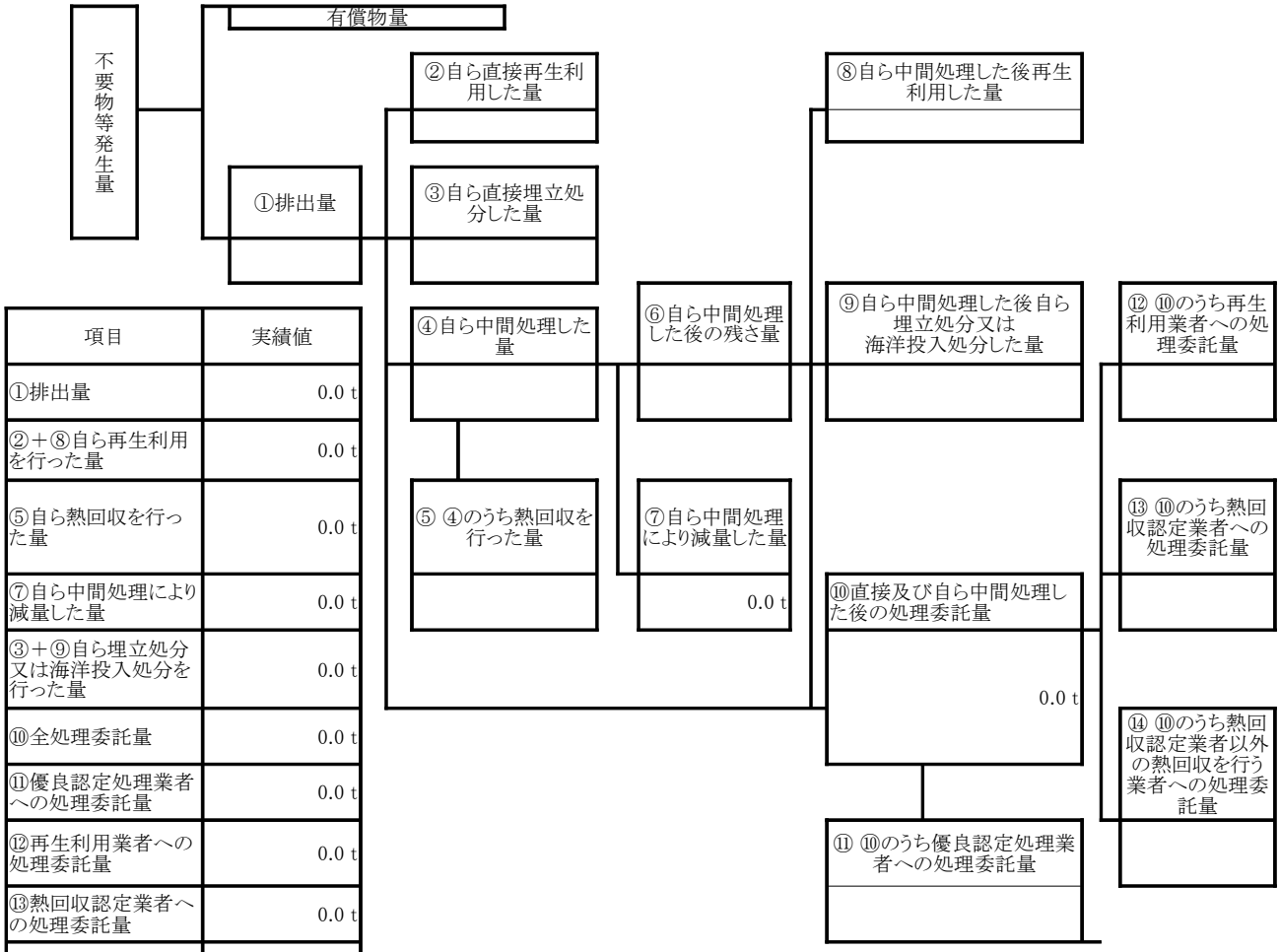
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

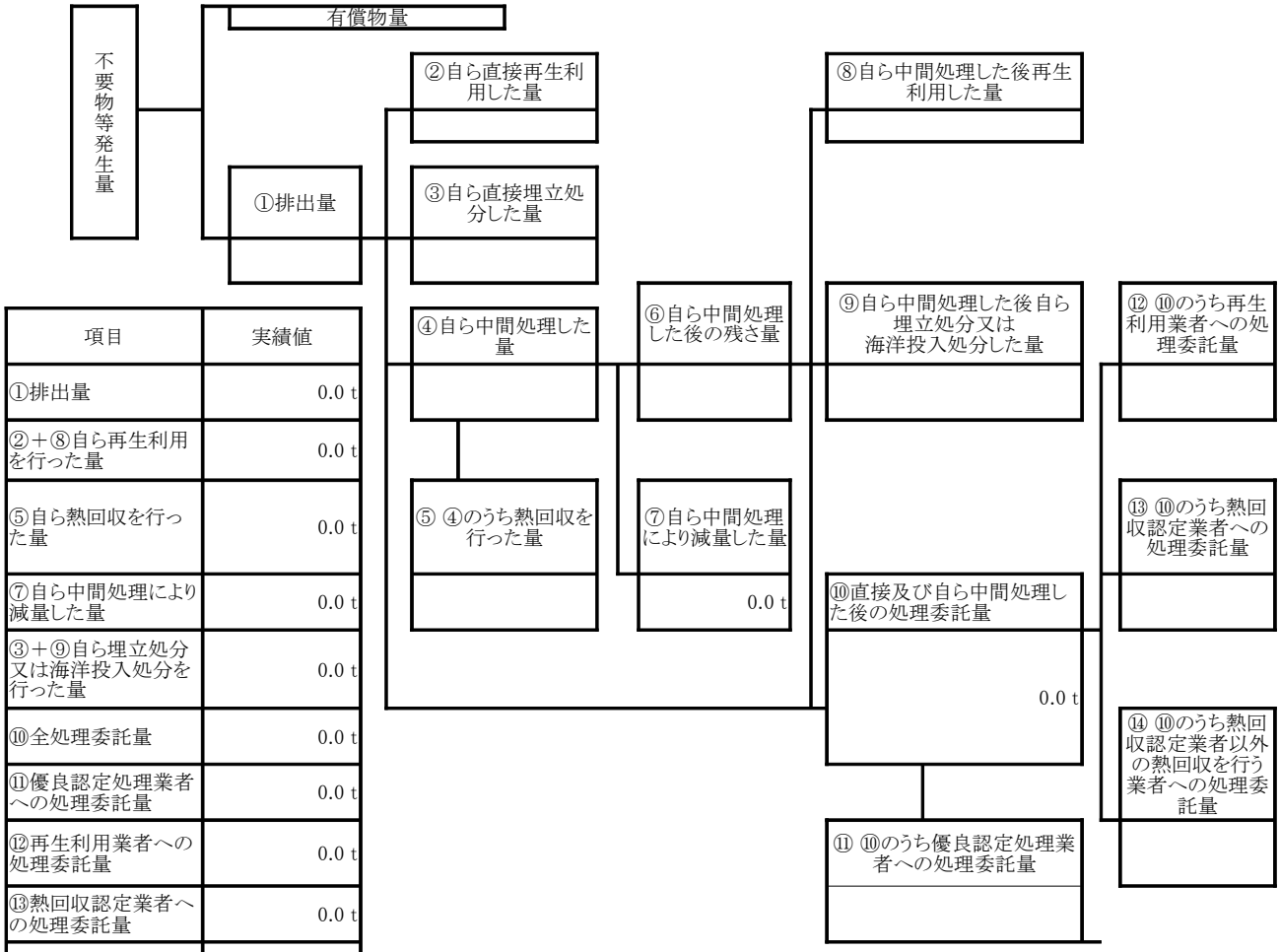


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

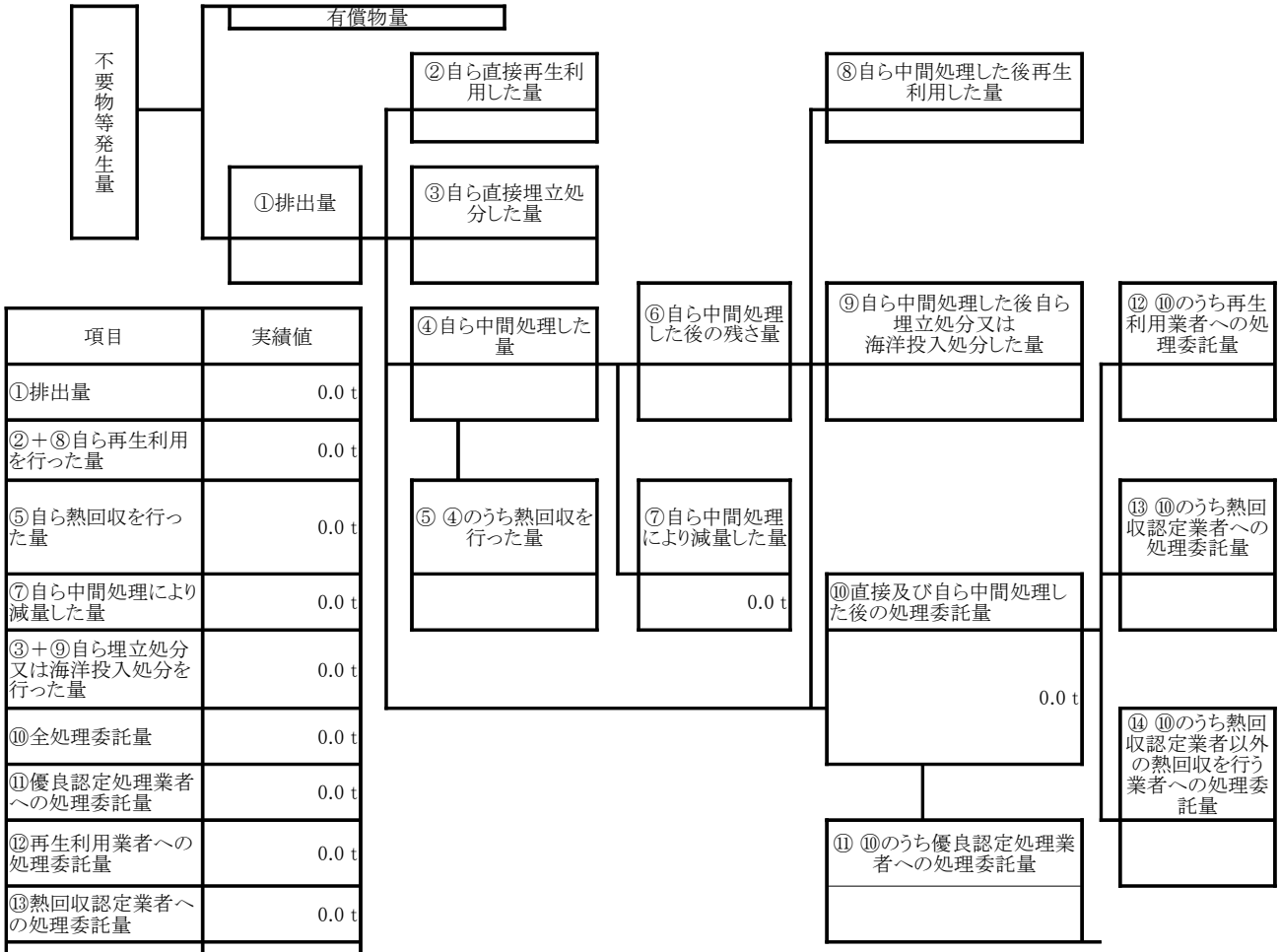


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

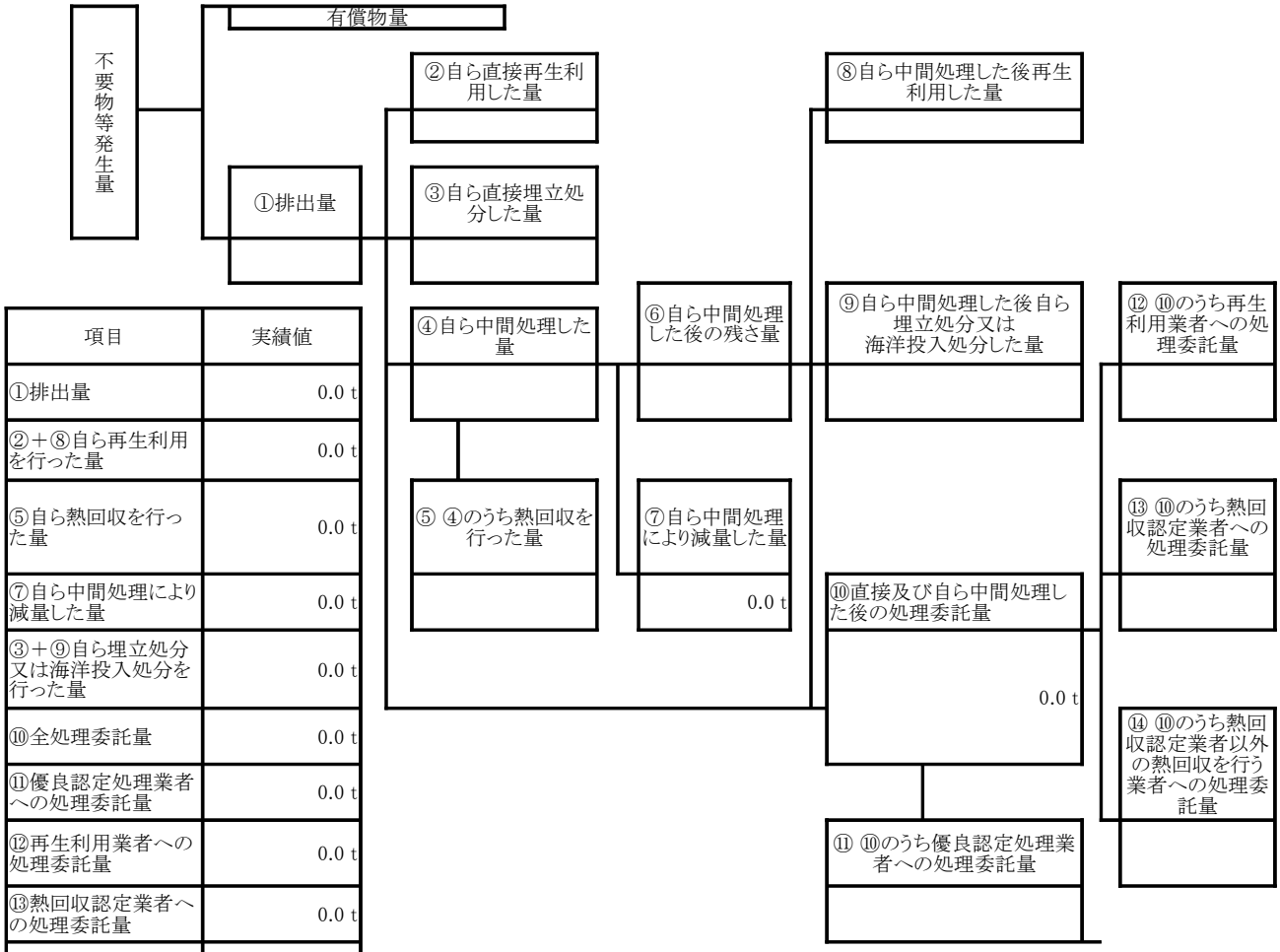


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



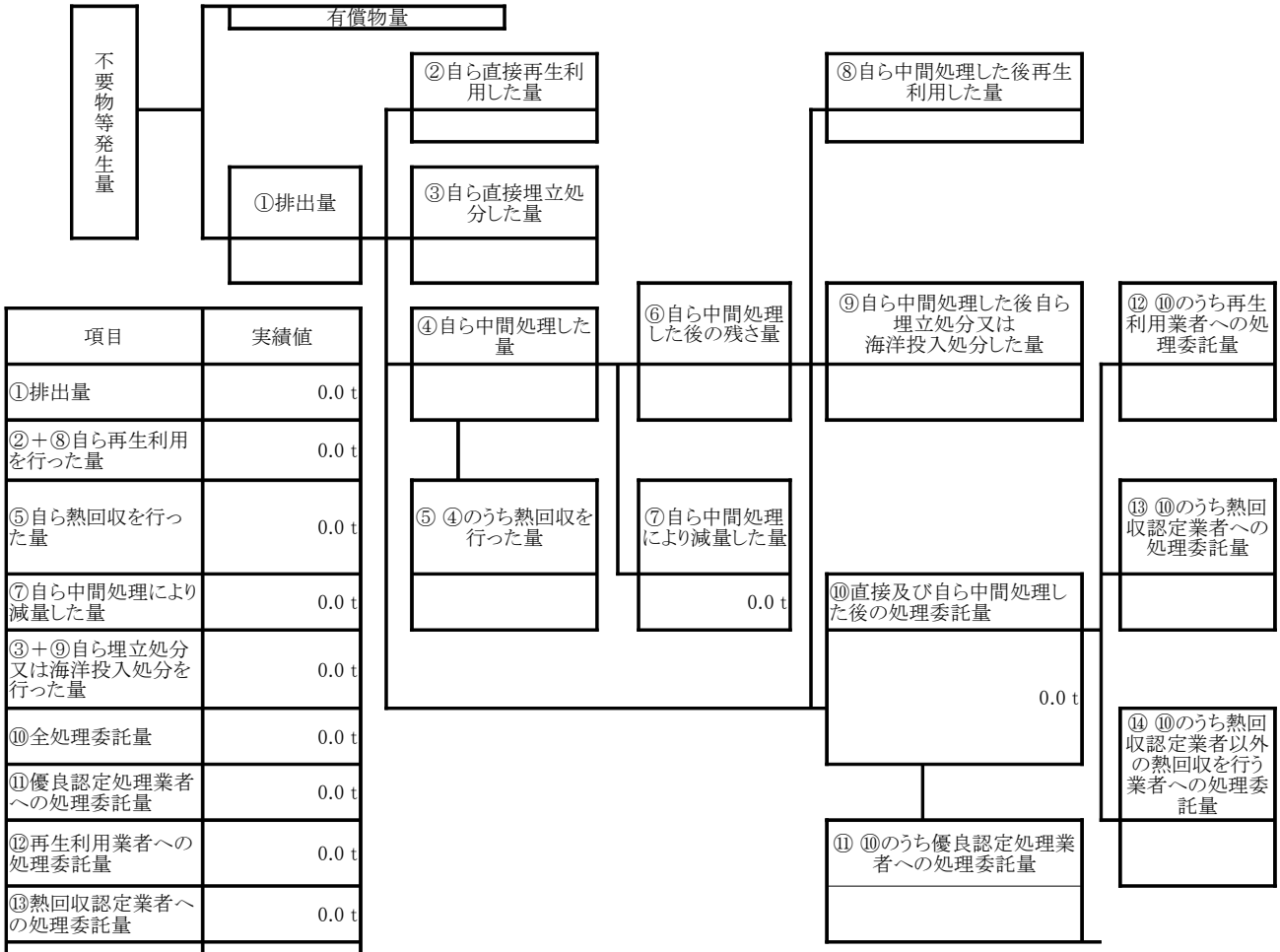
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



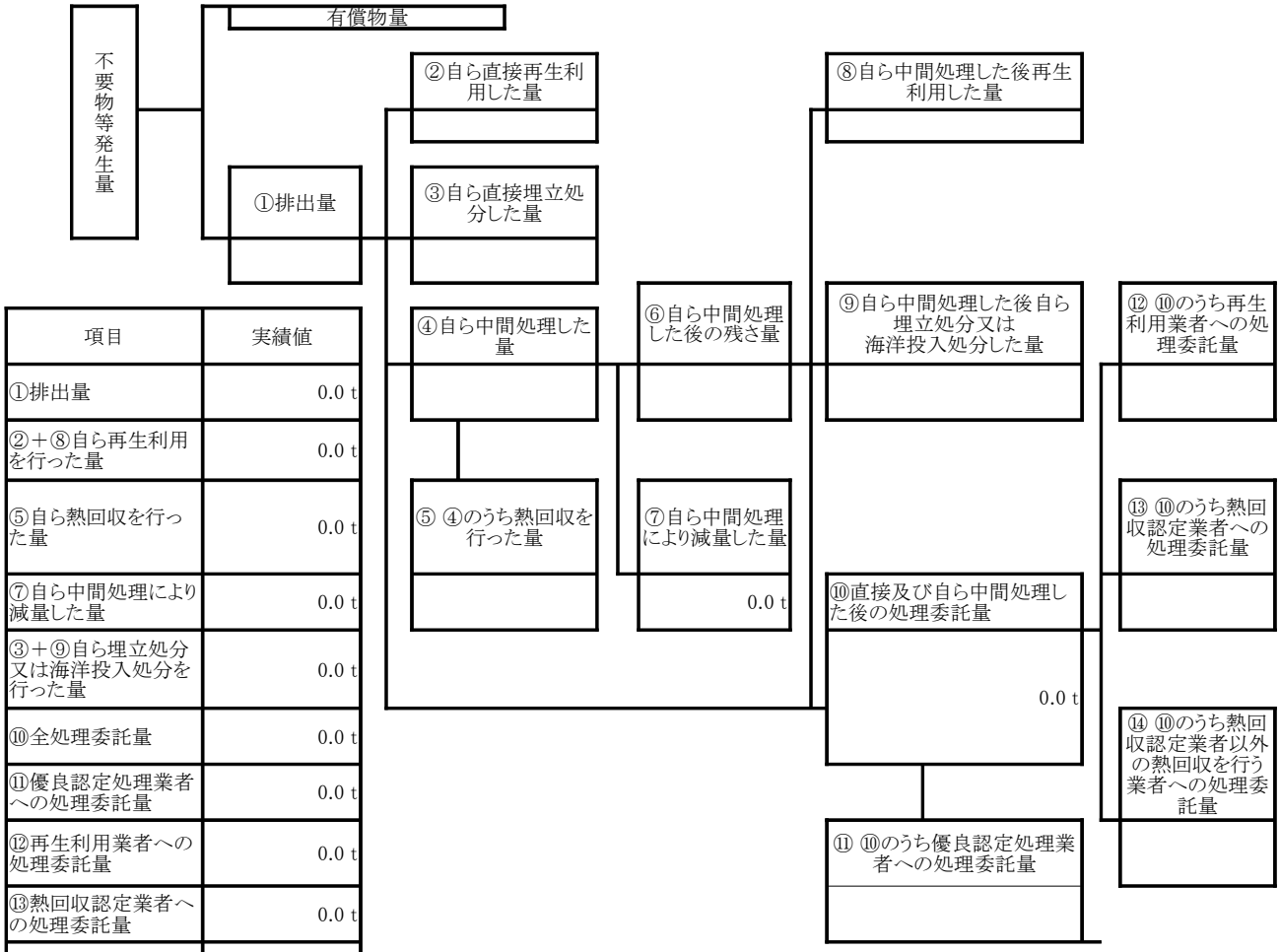
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

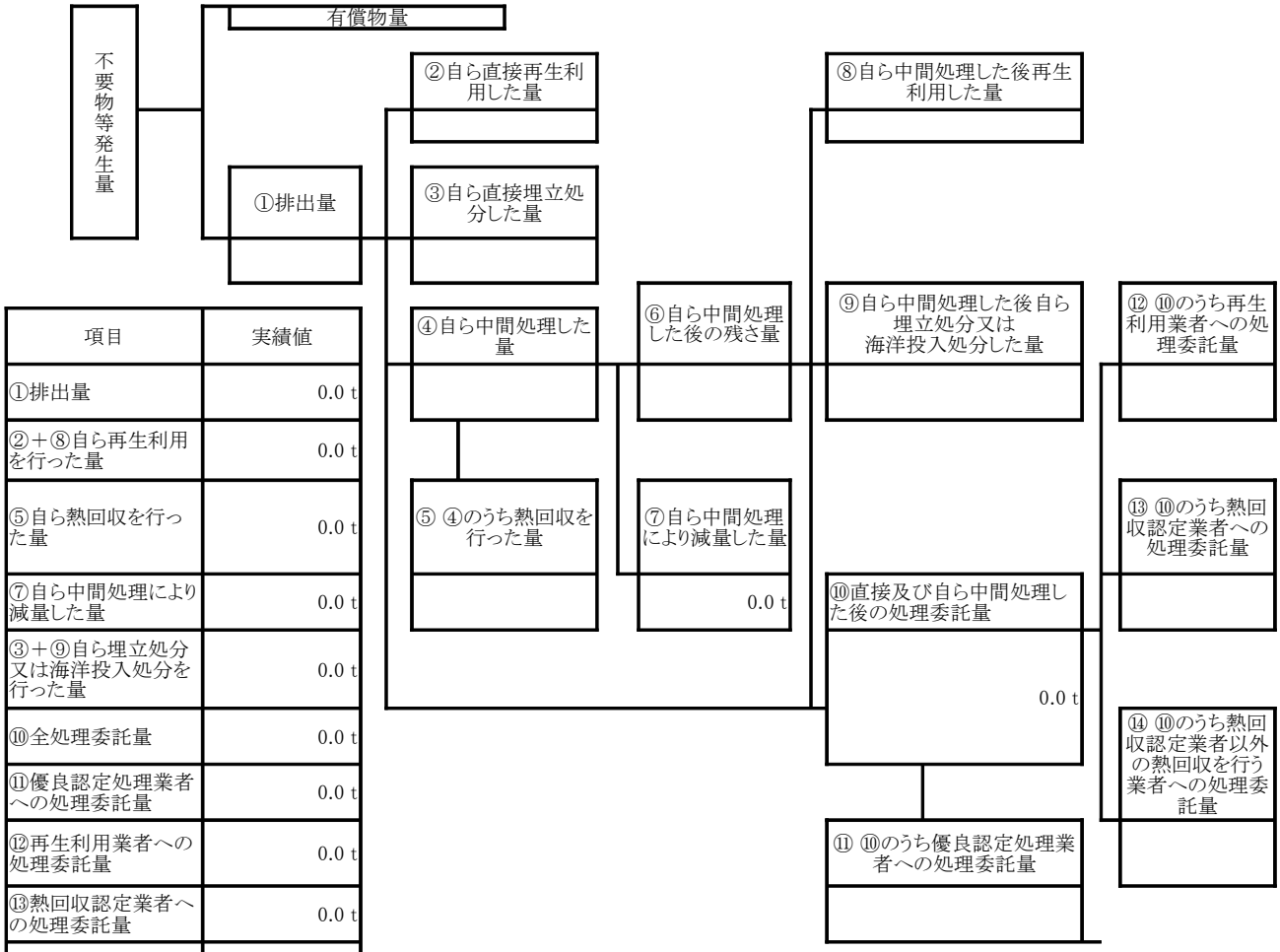


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

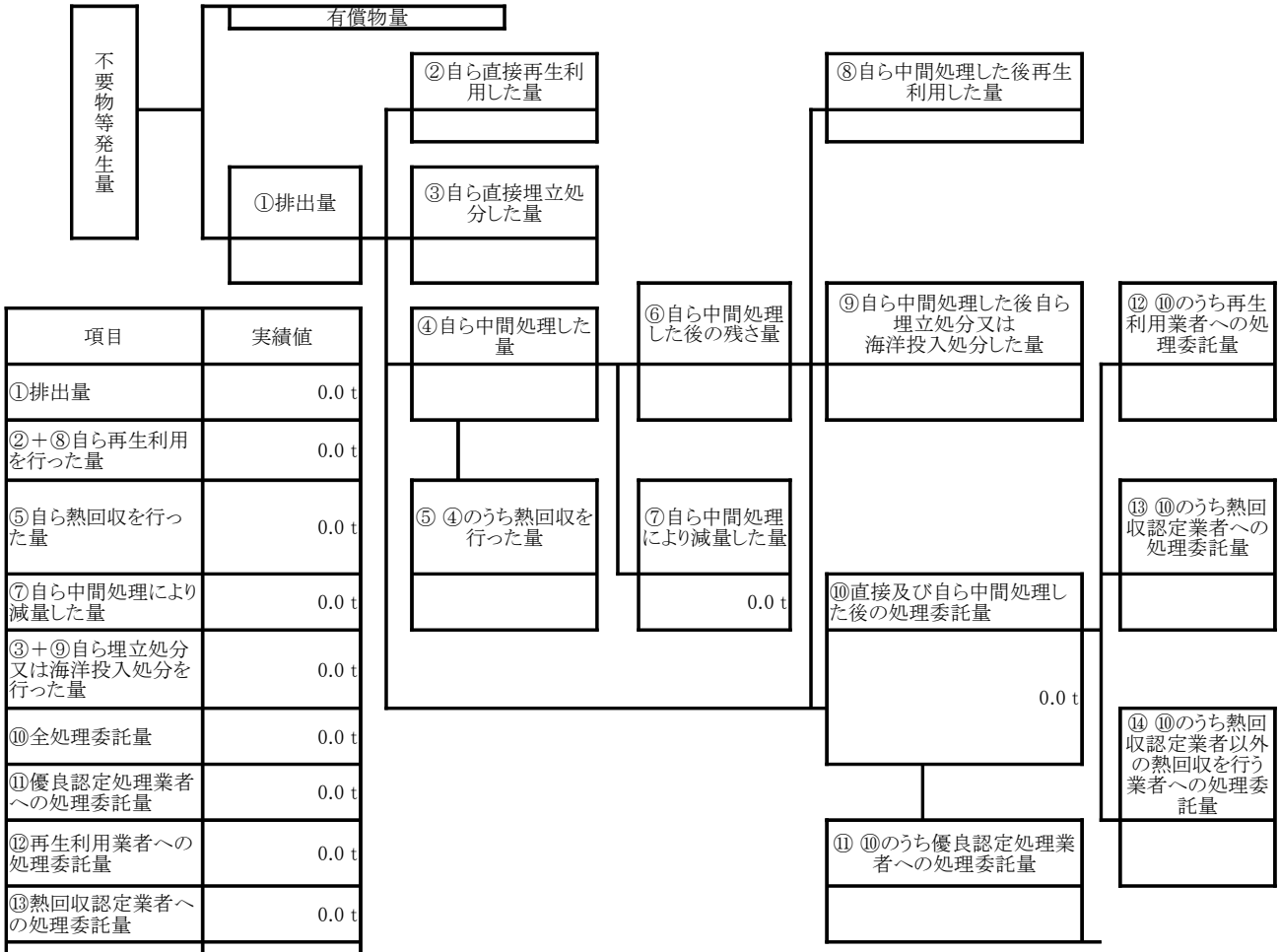


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

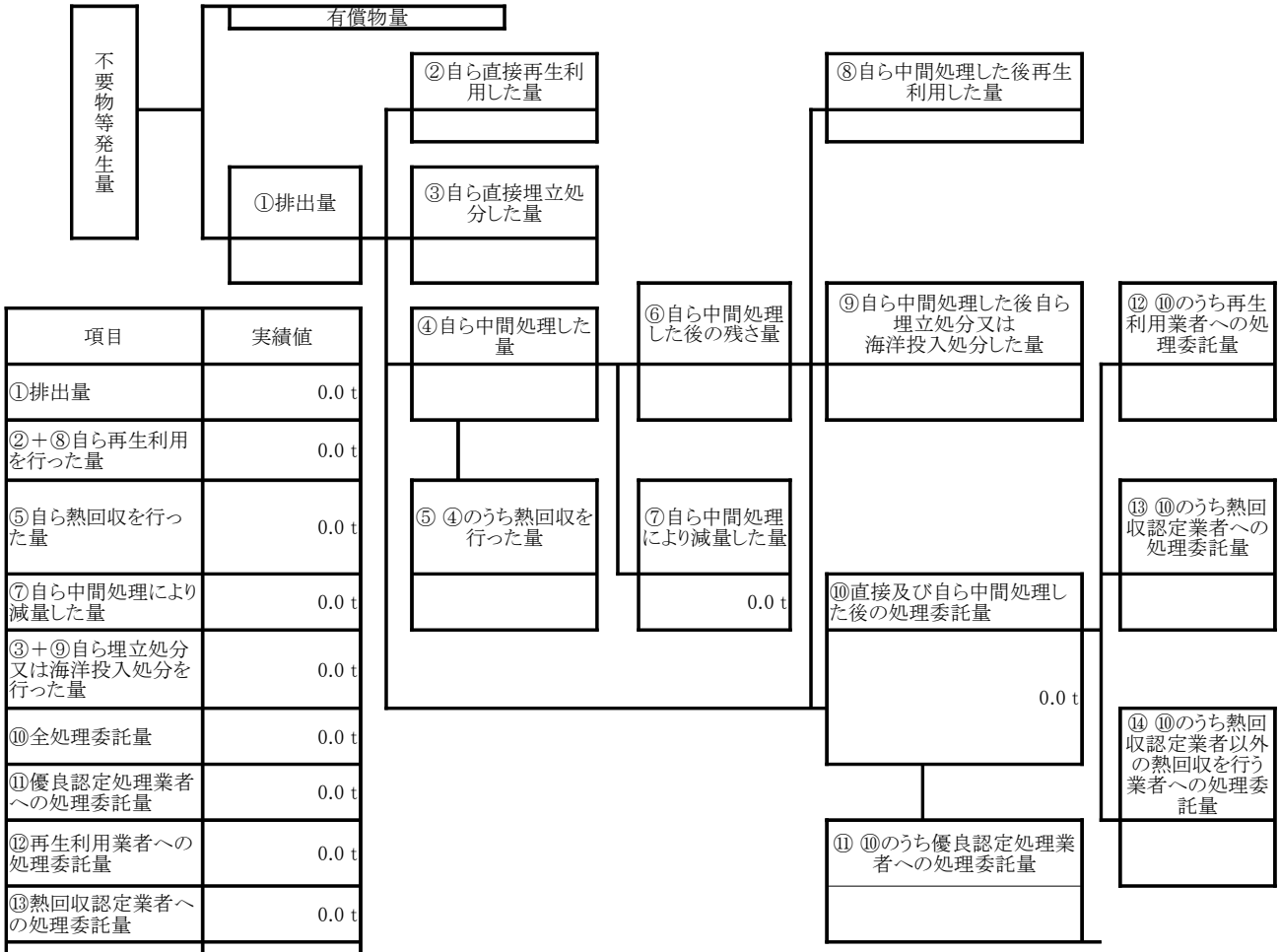


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

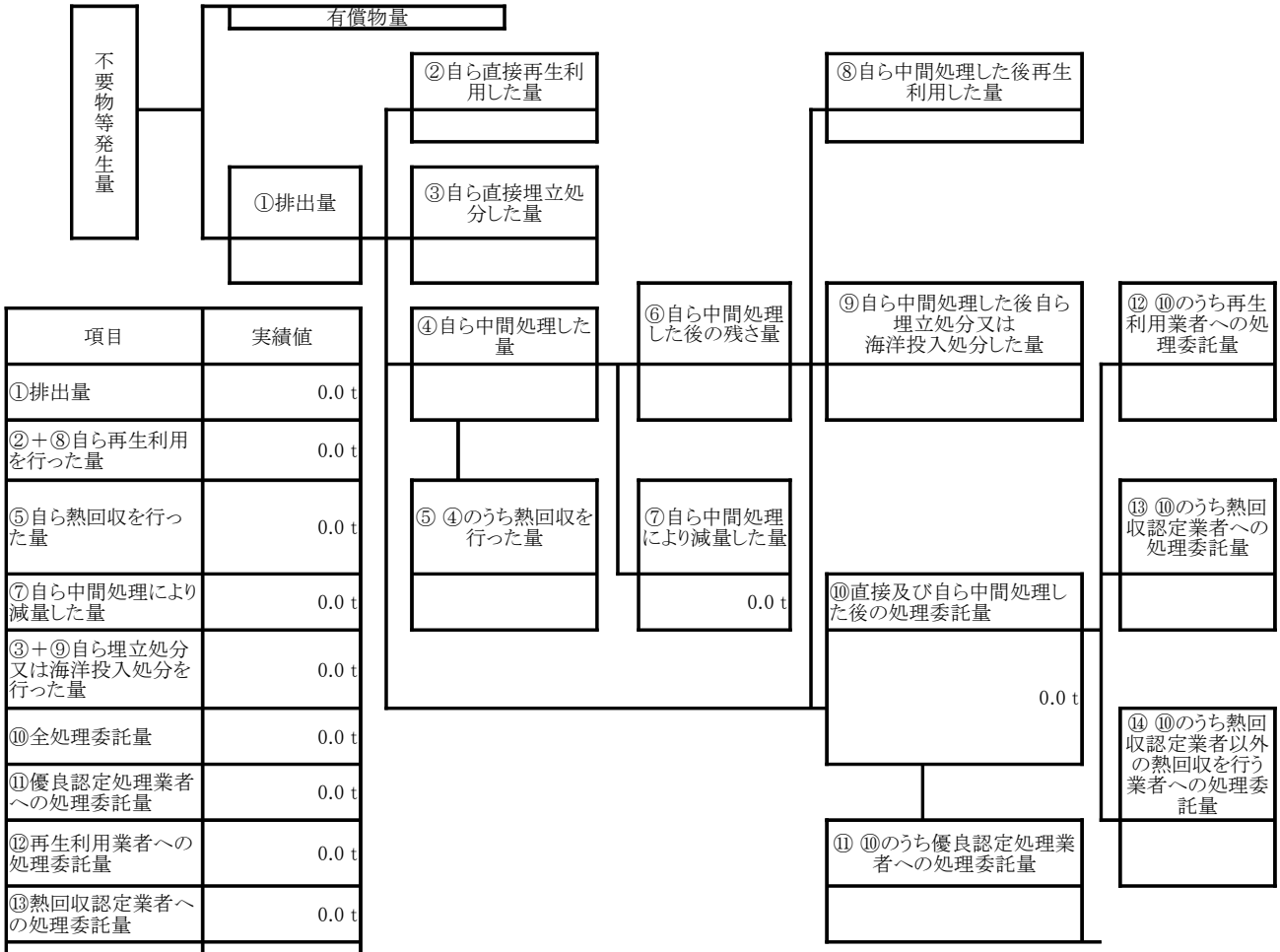


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 ６ 年　６月２４日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者
住　所　　千葉県市原市五井南海岸６番地
氏　名　　デンカ株式会社　千葉工場
　　執行役員工場長　　河合　正洋
電話番号　０４３６－２６－３２１１

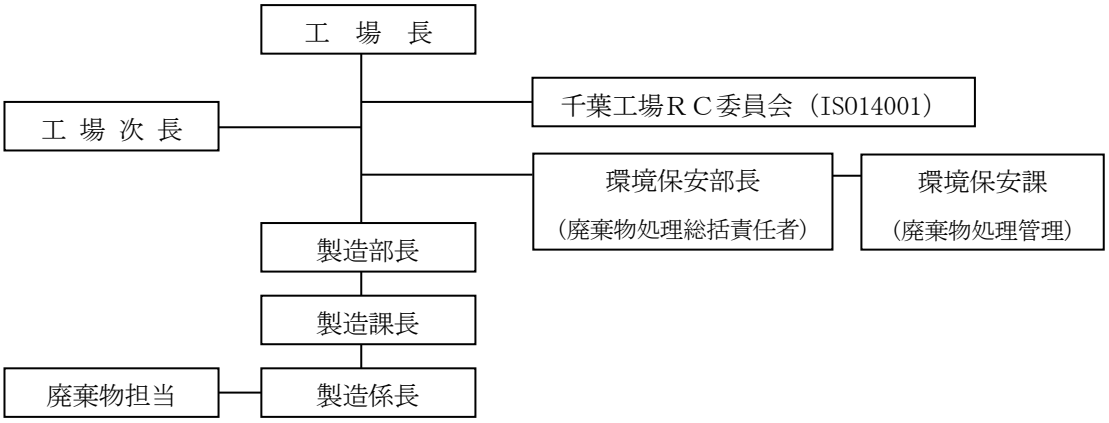
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	デンカ株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸６番地
計画期間	令和６年４月１日　～　令和７年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：化学工業
②事業の規模	製造品出荷額　７５，０００百万円
③従業員数	８３８人（正社員５５３人、常勤関係職員２８５人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙－１のとおり

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙－２のとおり	
	排　　出　　量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙－２のとおり	
	排　　出　　量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 金属くずについて、金属部分と他部材部分の分別を強化し、できるだけ有価物（鉄くず）として売却している。 ・ 廃プラスチック類について、種類・形状毎に分類し、可能な限り有価物として売却している（プラパレット、プラペール缶、ペットボトルなど実績化）。 ・ 研究部門にて、試験後に余った各種樹脂ペレット、薬剤等について、種類ごとに分別し可能な限り有価物として売却している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 引続き上記取組みを行っていく。 ・ 廃プラスチック類については、種類ごとに分別すれば売却（逆有償含む）できる可能性があり、取り組みを強化する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>該当無し</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・　自社で産業廃棄物の再生利用は行っていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>該当無し</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・　自社で産業廃棄物の再生利用を実施する計画はない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚　泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>３８，５００ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・　排水処理工程から出る余剰汚泥について、脱水機を最新鋭のものに更新し、脱水率を向上させ、汚泥排出量を減らしている。
・　余剰汚泥の脱水性が良くなるように、高分子凝集剤の種類や添加量を調整している。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚　泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>４３，８００ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・　引き続き、これまでの取組みを継続する。

※生産設備の稼働率向上により、余剰汚泥発生量は増加を見込む。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>該当無し</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・　自社で産業廃棄物の埋立処分や海洋投入処分は行っていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>該当無し</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・　自社で産業廃棄物の埋立処分や海洋投入処分を実施する計画はない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td colspan="2">別紙－３（１）のとおり</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙－３（２）のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

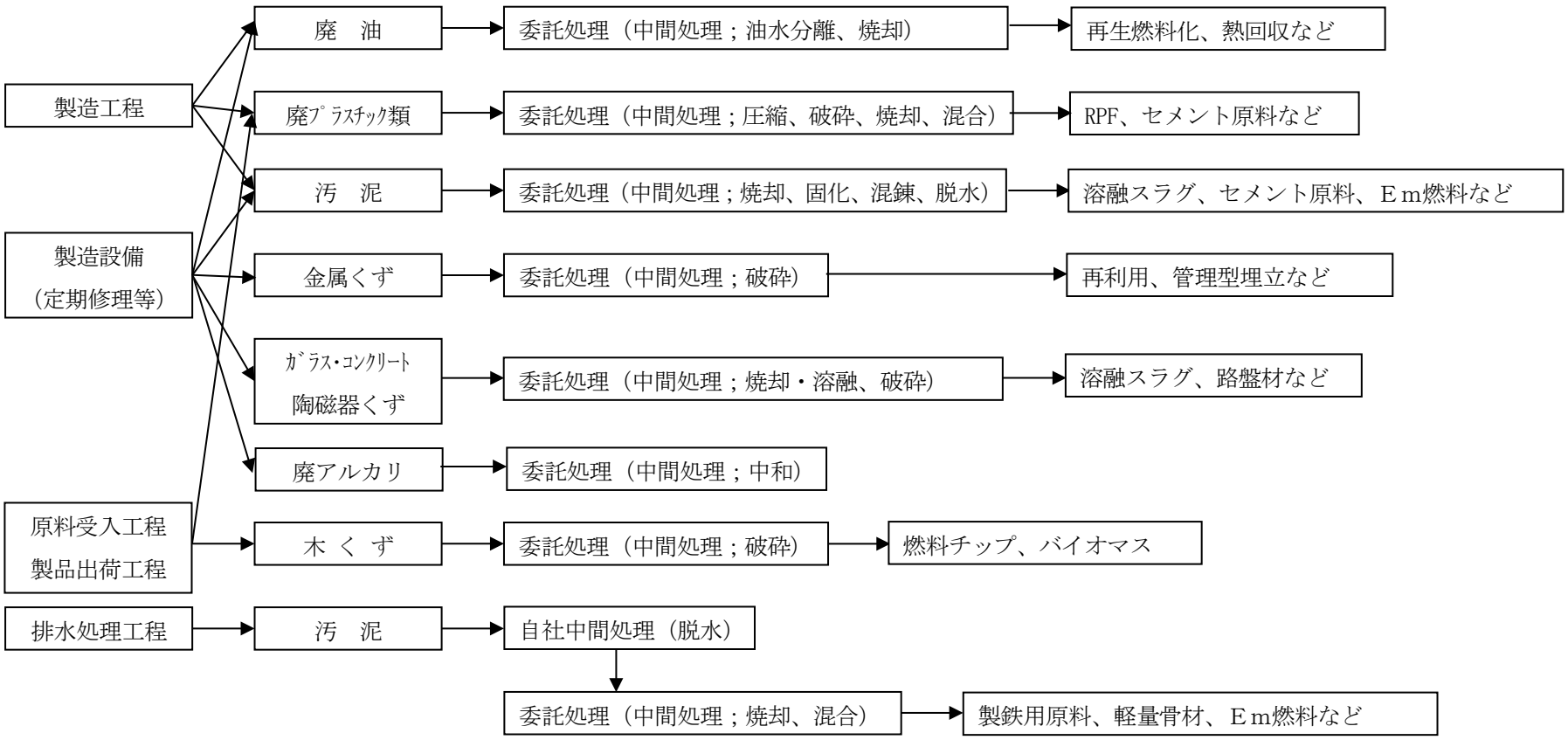
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙－１

④産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙－２

<table>
<tr><td colspan="3">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td>①現状</td><td>
【前年度（令和５年度）実績】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚　泥</td><td>廃　油</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類</td><td>木くず</td><td>金属くず</td><td>ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ
陶磁器くず</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td>排　出　量</td><td>４０，００１ｔ</td><td>６１ｔ</td><td>３８４ｔ</td><td>７８ｔ</td><td>８ｔ</td><td>５ｔ</td><td>１１ｔ</td></tr>
</table>
（これまでに実施した取組）
・ 汚泥の６割を占める排水処理設備からの余剰汚泥については、新規導入した凝集沈殿設備の運転最適化（薬剤使用量の削減等）を進め、排出量を削減している。
・ IP樹脂の端切れブロック品や切粉については、有価売却先を見つけ、廃棄物（廃プラスチック類）としての排出を無くした。（約30t／年削減）　※これまで逆有償であったが、完全有価売却先と新たに契約し、今年度から実績化する予定。
・ 樹脂製パレットについては、有価売却先を見つけ、廃棄物（廃プラスチック類）としての排出を無くした。（約5～10t/年削減）
・ 廃油については、場内（ボイラー、加熱炉）で可能な限り副生燃料として有効利用することで、排出量を削減している。
・ 一時期、産廃となっていたテープスクラップ（廃プラスチック類）については、新たな売却先を見つけ全量リサイクルが可能となり、排出量の大きく削減した。（約300t～400t／年削減）
・ 木くずについては、木製パレットの一部を逆有償ではあるが、有価売却している。（約50t／年削減）
・ 研究部門にて余った各種樹脂ペレット等について、種類ごとに分別し、可能な限り有価売却している。
</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td>
【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚　泥</td><td>廃　油</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類</td><td>木くず</td><td>金属くず</td><td>ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ
陶磁器くず</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td>排　出　量</td><td>４５，６５０ｔ</td><td>７０ｔ</td><td>５００ｔ</td><td>８０ｔ</td><td>１０ｔ</td><td>５ｔ</td><td>１０ｔ</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
・ 引き続き、これまでの取組みを継続する。
・ 樹脂生産施設では、品種切り替え時に廃棄物（廃プラスチック類）が多く発生することから、生産計画の最適化を進める。
・ テープスクラップのリサイクル時に紙管屑が発生している（約30t／年）。従来は有価売却できており、売却先の調査を継続する。
・ フレキシブルコンテナ（廃プラスチック類）については、単純焼却からリサイクル（再生ペレット化）に変更したが、引き続き、有価売却できないか、調査を進める。
・ 景気の動向により、有価売却品が再度、廃棄物化することがあるため、有価売却先の複数化も進める。
※各種取組みにより廃棄物の削減に努めているが、生産設備の稼働率向上により廃棄物発生量は全般に増加する計画となっている。
</td></tr>
</table>

別紙－３（１）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚　泥	廃　油	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず	廃アルカリ
全処理委託量	１，５０１ｔ	６１ｔ	３８４ｔ	７８ｔ	８ｔ	５ｔ	１１ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	１，５０１ｔ	６１ｔ	２４２ｔ	２６ｔ	８ｔ	０ｔ	１１ｔ
再生利用業者への処理委託量	４２ｔ	３６ｔ	１９９ｔ	７８ｔ	８ｔ	５ｔ	０ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	４０５ｔ	４ｔ	１３ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

- 排水処理設備からの余剰汚泥については、その発生量の３～５割を自社青海工場（新潟県糸魚川市）のセメントキルンにて原材料としてリサイクルしていたが、セメント事業撤退のため、やむを得ず運用を停止した。
- その他の汚泥についても、可能な限りリサイクルし、直接リサイクル困難な場合は焼却による減容化後にリサイクルできる業者に処理を依頼している。(埋立てはしない)
- 廃油については、６割程度を再生燃料油等としてリサイクルできる業者に処理を委託している。性状により、再生燃料化が困難な廃油については、単純焼却ではなく、できるだけ熱回収できる業者で焼却処理をしている。
- 廃プラスチック類については、第一にRPF燃料化等によりリサイクルできる業者に処理を委託し、困難な場合、焼却による減容処理（可能ならば熱回収）できる業者に処理を委託している。
- 特に、廃プラスチック類のRPF化については、専用の置場を設置する等、特に力を入れて進めている。
- ガラスくず等については、保温材は従来、全量を埋立て処分していたが、種類ごと（ｸﾞﾗｽｳｰﾙ、ﾛｯｸｳｰﾙ等）に分別することで、全量、溶融スラグ等としてリサイクルしている。

別紙－３（２）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚　泥	廃　油	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず	廃アルカリ
全処理委託量	１，８５０ｔ	７０ｔ	５００ｔ	８０ｔ	１０ｔ	5ｔ	１０ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	１，８５０ｔ	７０ｔ	３００ｔ	３０ｔ	１０ｔ	5ｔ	１０ｔ
再生利用業者への処理委託量	５０ｔ	５０ｔ	２５０ｔ	８０ｔ	１０ｔ	5ｔ	０ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	５００ｔ	１０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

- 引き続き、これまでの取組みを継続し、第一に再生利用、次いで焼却処理（可能な限り熱回収）できる業者へ処理を委託し、埋立てはしない。
- 廃プラスチック類のRPF化については、さらに推し進めるため、業者を工場に招き、説明会を開催する計画である。
- 新規契約する場合は、原則、優良認定受けた業者と契約をする。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 ６ 年　６月２４日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者
住　所　　千葉県市原市五井南海岸６番地
氏　名　　デンカ株式会社　千葉工場
　　執行役員工場長　　河合　正洋
電話番号　０４３６－２６－３２１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	デンカ株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸６番地
事業の種類	大分類：製造業　　中分類：化学工業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和５年４月１日　～　令和６年３月３１日

産業廃棄物処理計画における目標値

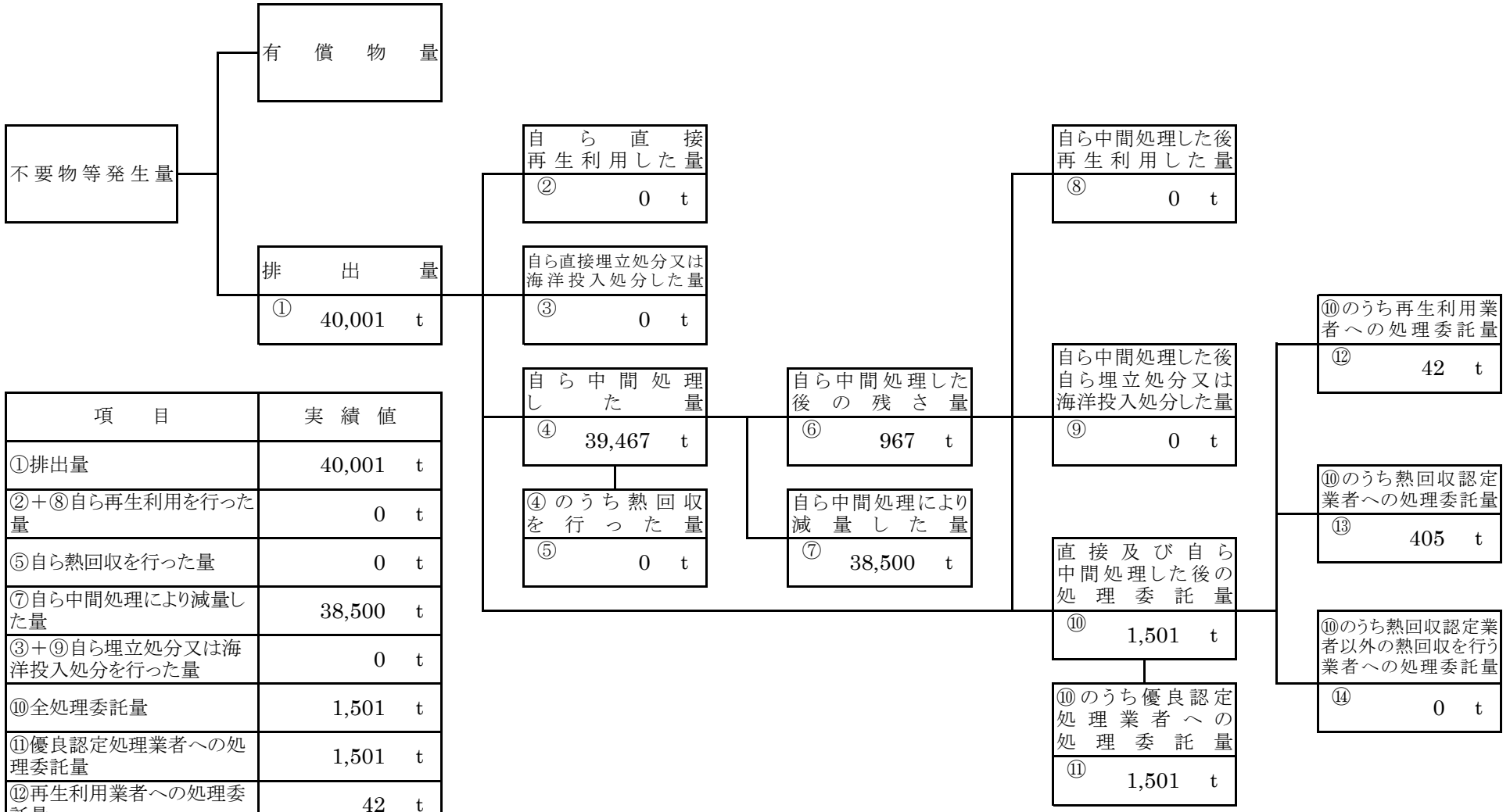
項目	目標値	項目	目標値
排出量	５０，５７３ｔ	全処理委託量	２，８７３ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	２，４２３ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	再生利用業者への処理委託量	４２０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	４７，７００ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	５１０ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列４番）

計 画 の 実 施 状 況

（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

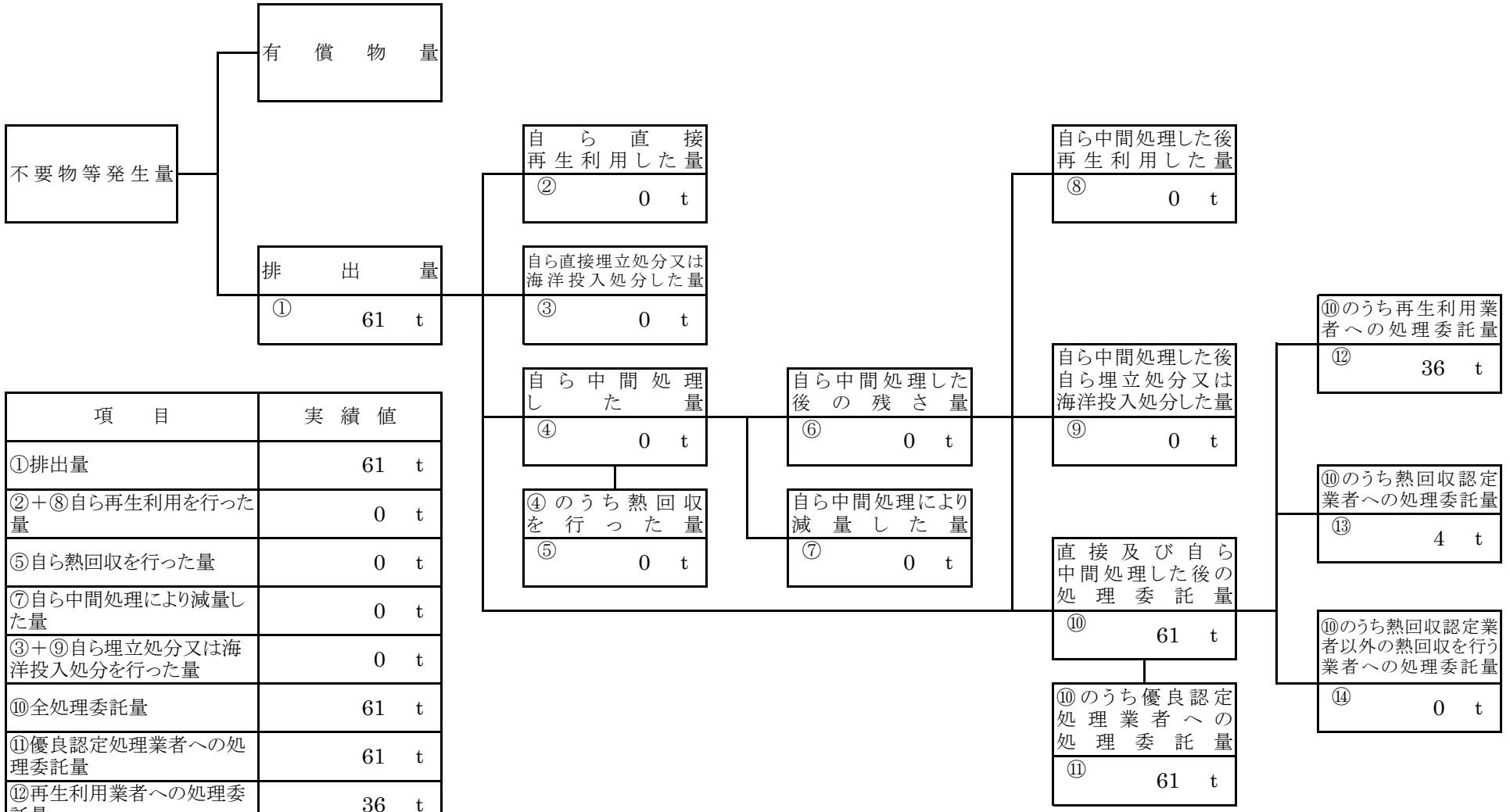


項　目	実 績 値
①排出量	40,001 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	38,500 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	1,501 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,501 t
⑫再生利用業者への処理委託量	42 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	405 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第2面）

計 画 の 実 施 状 況

（産業廃棄物の種類:　廃油　）

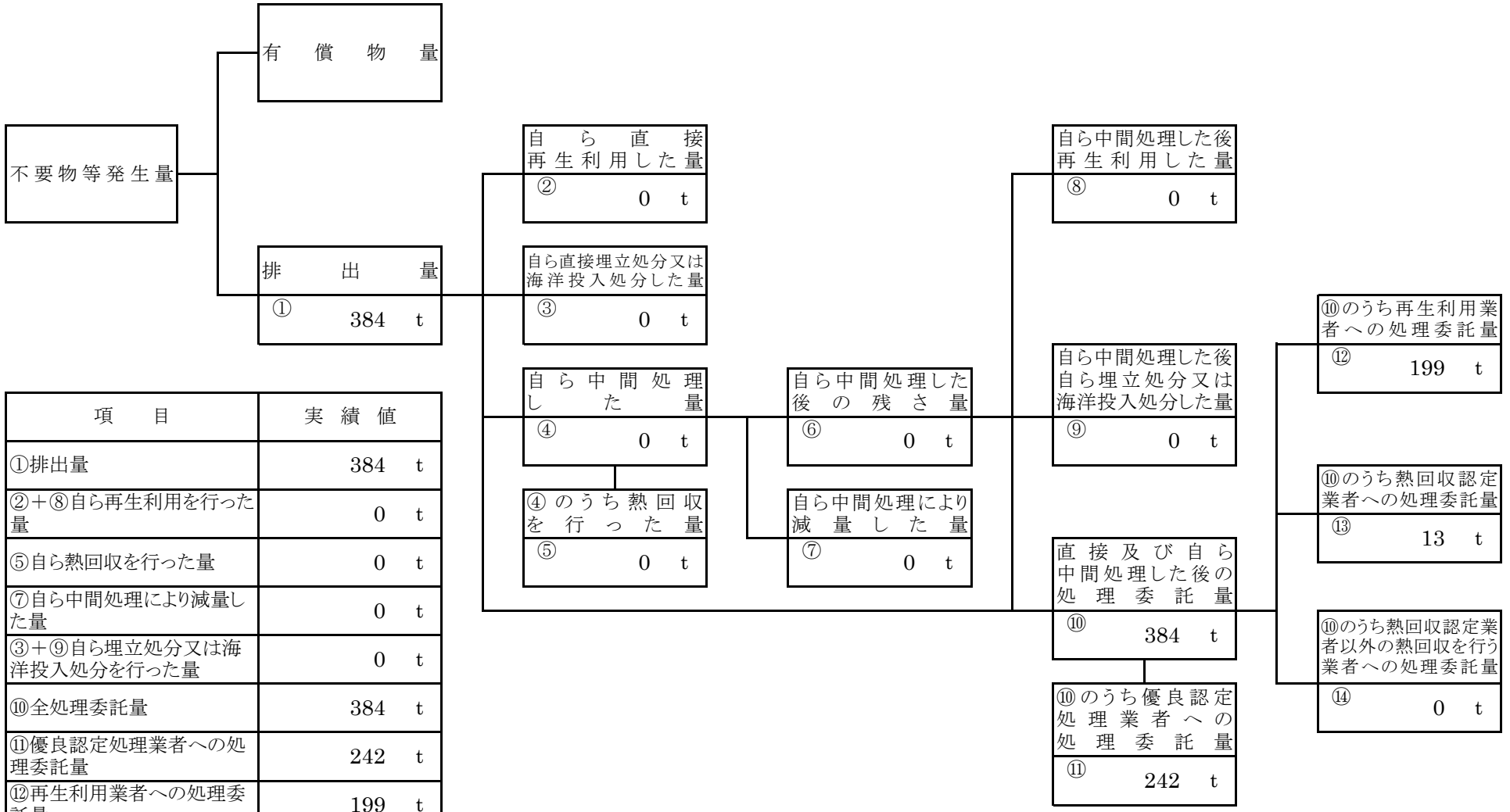


項　目	実績値
①排出量	61 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	61 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	61 t
⑫再生利用業者への処理委託量	36 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	4 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第2面）

計 画 の 実 施 状 況

（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック類　）

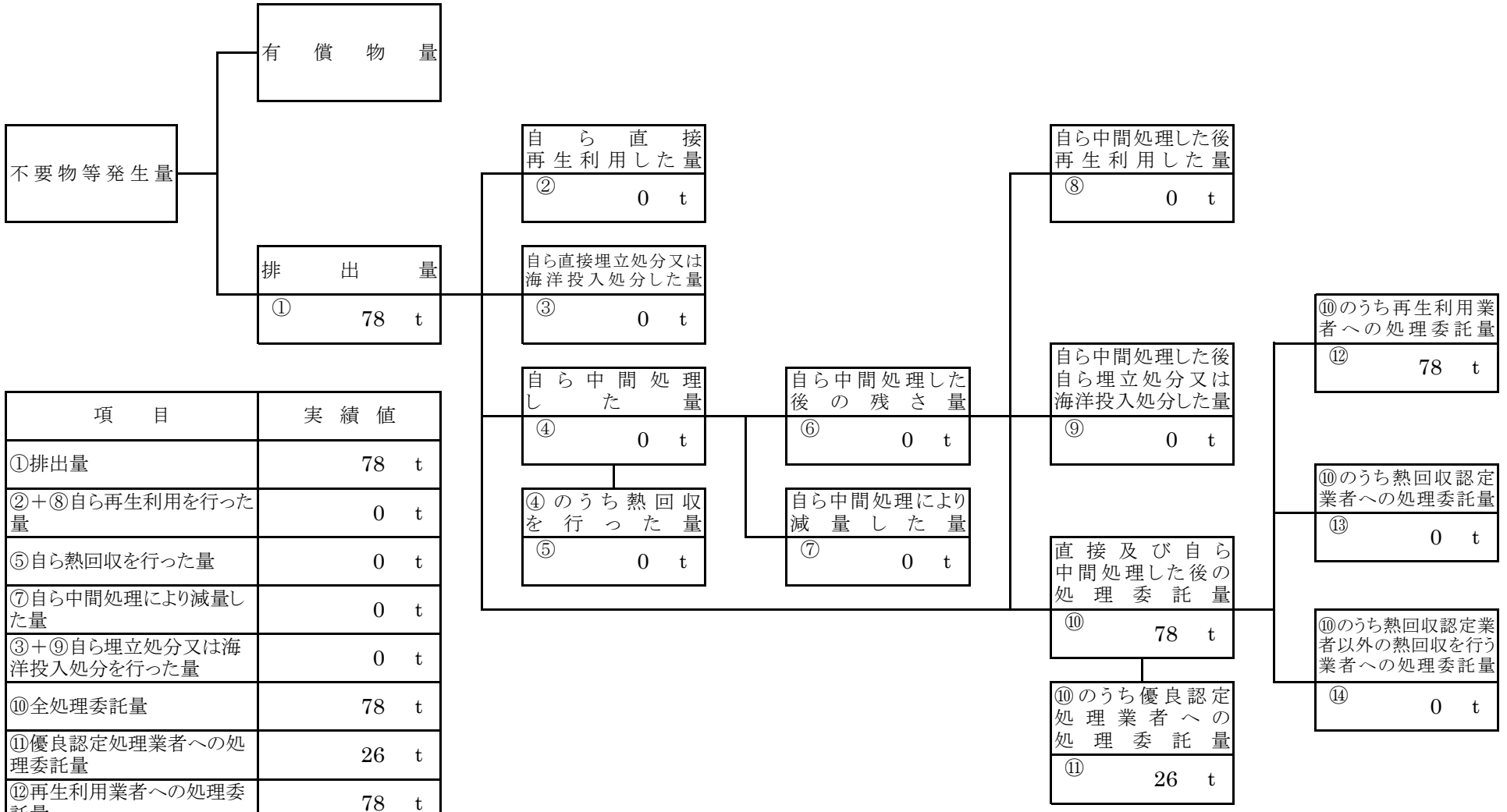


項　目	実績値
①排出量	384 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	384 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	242 t
⑫再生利用業者への処理委託量	199 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	13 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第2面）

計 画 の 実 施 状 況

（産業廃棄物の種類:　木くず　）

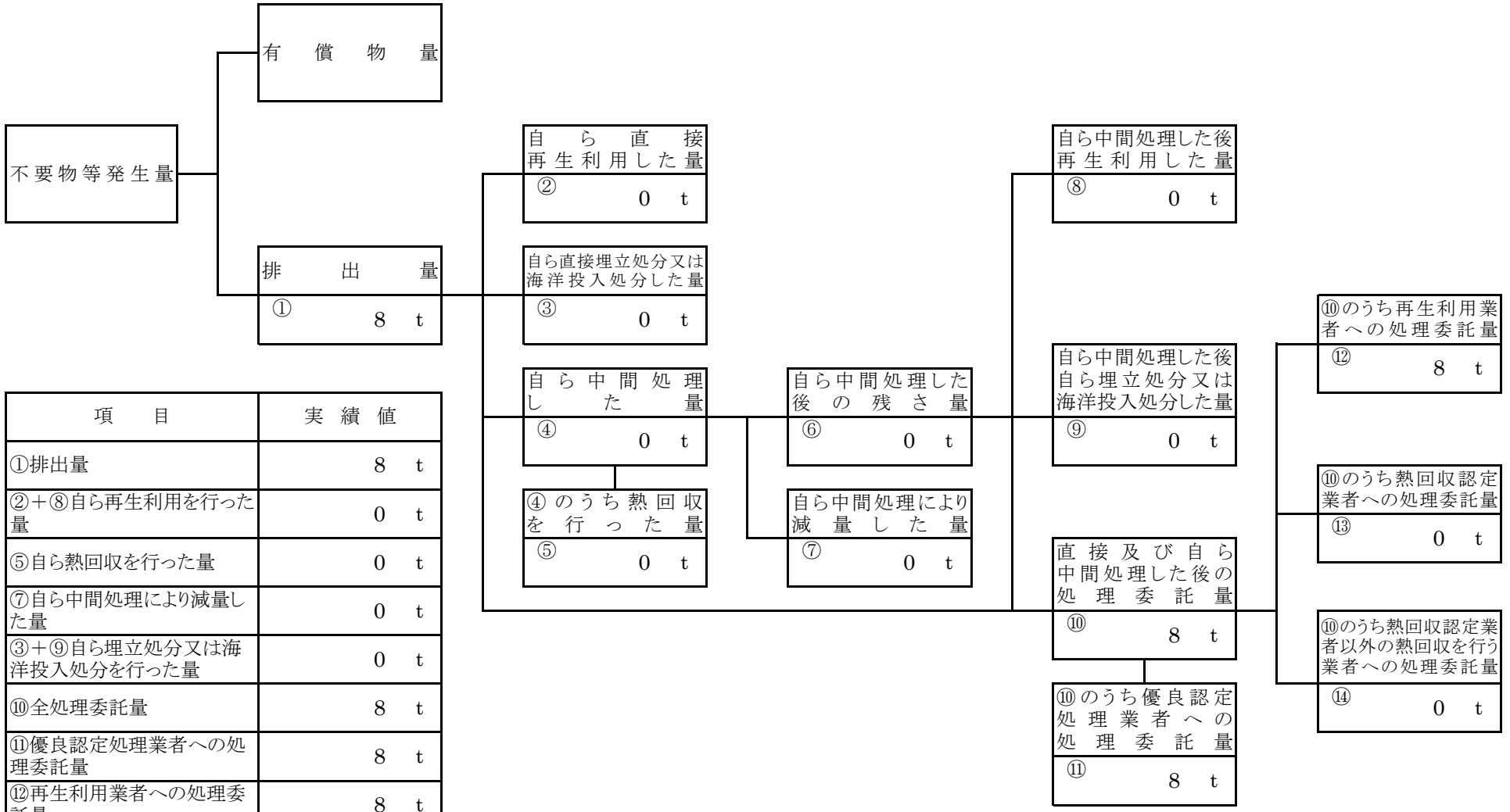


項　目	実績値
①排出量	78 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	78 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26 t
⑫再生利用業者への処理委託量	78 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第2面）

計 画 の 実 施 状 況

（産業廃棄物の種類:　金属くず　）

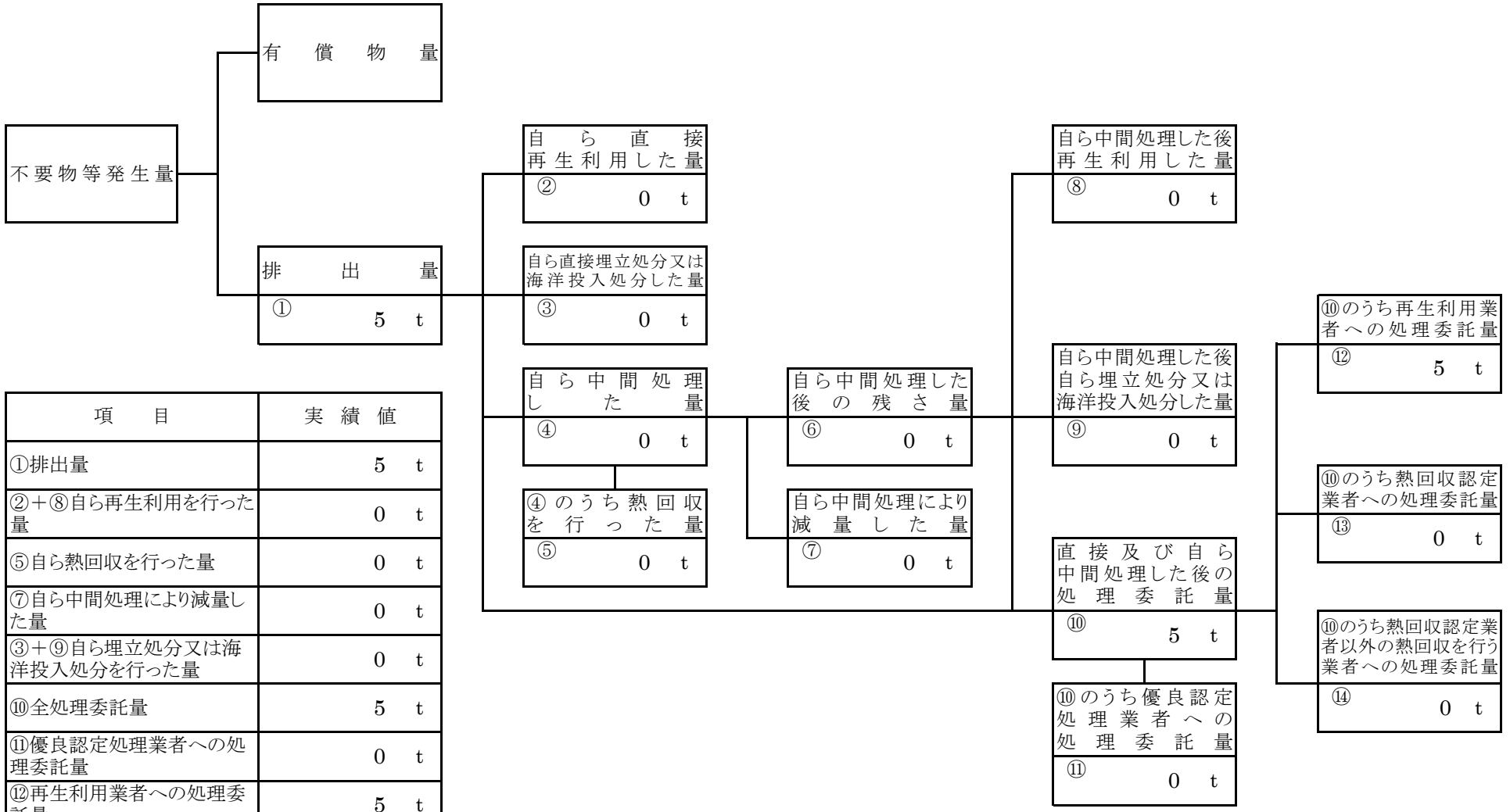


項　目	実績値
①排出量	8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第2面）

計 画 の 実 施 状 況

（産業廃棄物の種類:　　ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず ）

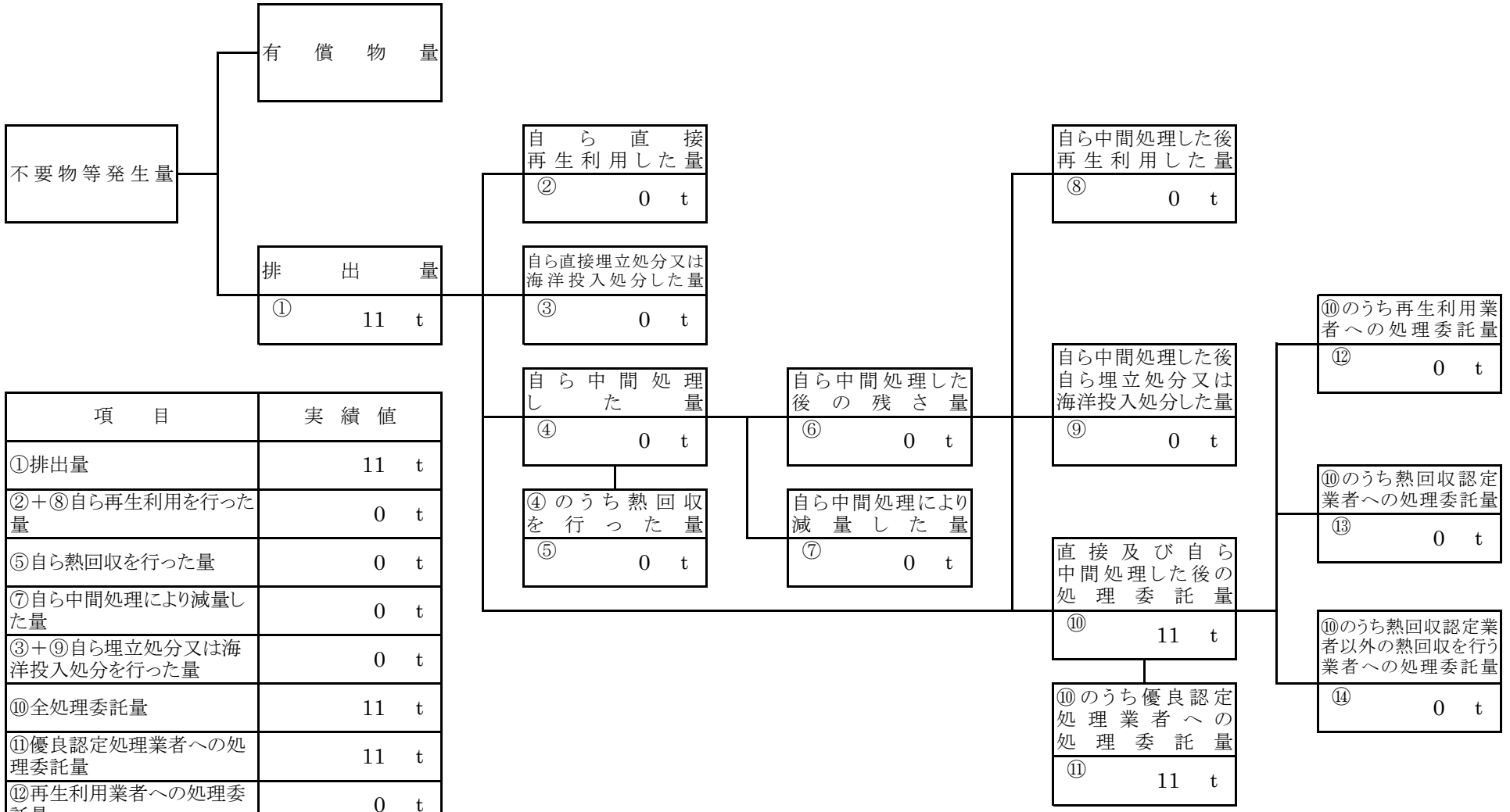


項　　目	実 績 値
①排出量	5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第2面）

計 画 の 実 施 状 況

（産業廃棄物の種類:　廃アルカリ　）



項　目	実績値
①排出量	11 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	11 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 ６ 年　６月２４日

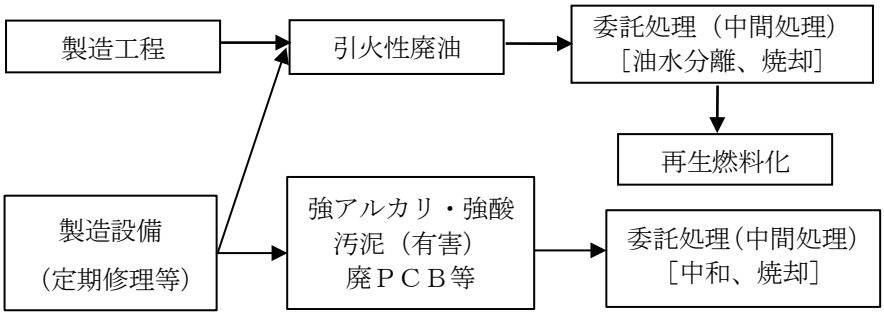
千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者
住　所　　千葉県市原市五井南海岸６番地
氏　名　　デンカ株式会社　千葉工場
執行役員工場長　　河合　正洋
電話番号　０４３６－２６－３２１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条の 2 第 10 項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	デンカ株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸６番地
計画期間	令和６年４月１日　～　令和７年３月３１日

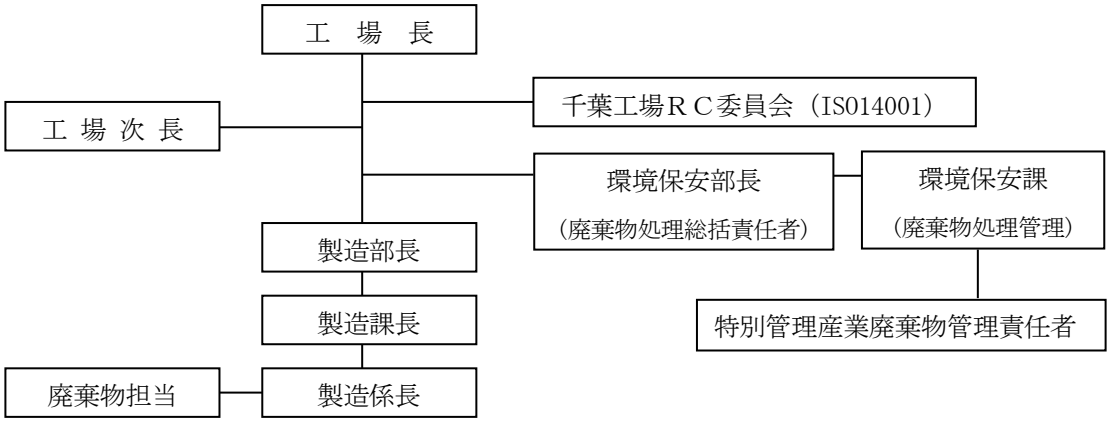
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：化学工業
②事業の規模	製造品出荷額　７５，０００百万円
③従業員数	８３８人（正社員５５３人、常勤関係職員２８５人）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強ｱﾙｶﾘ	強酸	汚泥（有害）	廃PCB等
排　出　量	３４３t	2t	２８t	0.01t	0.4t

（これまでに実施した取組）
- 引火性廃油については、製造工程、精製工程の改善（収率アップ）により、発生量を抑制している。
- 一部の引火性廃油について、溶剤蒸留再生メーカーにて精製し、重合溶媒として再使用する検討をしている。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強アルカリ	廃ＰＣＢ等
排　出　量	４２０t	１０t	０．１t

（今後実施する予定の取組）
- 引き続き、これまでの取組みを継続する。
- 引火性廃油の再使用について、調査を継続する。
- 強アルカリは、タンクの開放点検のため定期的に発生することから、在庫管理を強化し、排出量を抑制する。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
- 引火性廃油：前述の引火性廃油については、専用タンクに分別貯蔵している。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
- 引き続き、これまでの取組みを継続する。

<table>
<tr><td colspan="3">自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td>【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>
<table>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>該当無し</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>（これまでに実施した取組）
・　自社で特別管理産業廃棄物の再生利用は行っていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td>【目標】</td></tr>
<tr><td>
<table>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>該当無し</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>（今後実施する予定の取組）
・　自社で特別管理産業廃棄物を再生利用する計画はない。</td></tr>
<tr><td colspan="3">自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td>【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>
<table>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>該当なし</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>（これまでに実施した取組）
・　酢酸ビニル製造設備から排出される引火性廃油について、工場内の廃油焼却炉にて焼却処理をしていたが、製造設備の廃止により、廃油焼却炉も廃止した。（平成28年）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td>【目標】</td></tr>
<tr><td>
<table>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>該当なし</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>（今後実施する予定の取組）
・　自社で特別管理産業廃棄物を中間処理する計画は無い。</td></tr>
</table>

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	該当無し		
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t

（これまでに実施した取組）
・ 自社で特別管理産業廃棄物の埋立処分は行っていない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	該当無し		
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t

（今後実施する予定の取組）
・ 自社で特別管理産業廃棄物の埋立処分を行う計画はない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強ｱﾙｶﾘ	強酸	汚泥（有害）	廃PCB等
全処理委託量	３４３t	2t	２８t	0.01t	0.4t
優良認定処理業者への処理委託量	３４３t	2t	２８t	0.01t	0t
再生利用業者への処理委託量	２３２t	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者への処理委託量	５５t	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	２１t	0t	0t	0t	0t

（これまでに実施した取組）
・ 引火性廃油については、可能な限り、再生燃料油等として再生利用できる業者に処理を委託しているが、一部、性状により再生困難な廃油については、やむなく焼却処理している。
・ 再生燃料化は１社に頼っていたが、新たに再生燃料化できる業者と契約締結し、複数社で対応できるようにした。（BCP対応）
・ 特別管理産業廃棄物は、高濃度ＰＣＢ（JESCO処理）を除き、全量を優良認定処理業者へ処理を委託した。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="4">【目標】
<table><tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>引火性廃油</td><td>強アルカリ</td><td>廃ＰＣＢ等</td></tr><tr><td>全処理委託量</td><td>４２０ｔ</td><td>１０ｔ</td><td>０．１ｔ</td></tr><tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>４２０ｔ</td><td>１０ｔ</td><td>０．１ｔ</td></tr><tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>３００ｔ</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr><tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>６０ｔ</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr><tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr></table>（今後実施する予定の取組）
・ 引火性廃油については、可能な限り再生燃料油等として再生利用できる業者に処理を委託する。
・ 特別管理産業廃棄物については、全量を優良認定処理業者へ処理委託する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和５年度）実績】
<table><tr><td>特別管理産業廃棄物
排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td>３７３ｔ</td></tr></table>（今後実施する予定の取組等）
・既存処理先については、全処理先で電子化済み。
・新規処理先についても、電子化可能な業者のみと契約する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 ６ 年　６月２４日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者

住　所　　千葉県市原市五井南海岸６番地

氏　名　　デンカ株式会社　千葉工場

執行役員工場長　　河合　正洋

電話番号　０４３６－２６－３２１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和５年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	デンカ株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸６番地
事業の種類	大分類：製造業　　中分類：化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和５年４月１日　～　令和６年３月３１日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	４５８ｔ	全処理委託量	４５８ｔ
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	４５７ｔ
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	再生利用業者への処理委託量	４００ｔ
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	３０ｔ
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	１０ｔ

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度　４５１　ｔ 前年度　３７３　ｔ

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

・特別管理産業廃棄物のマニフェストは全て電子化済み。

・産業廃棄物全体では、一部（２社）を除き、マニフェストは電子化済み。
（未対応の１社については、電子化できないか調整中。）

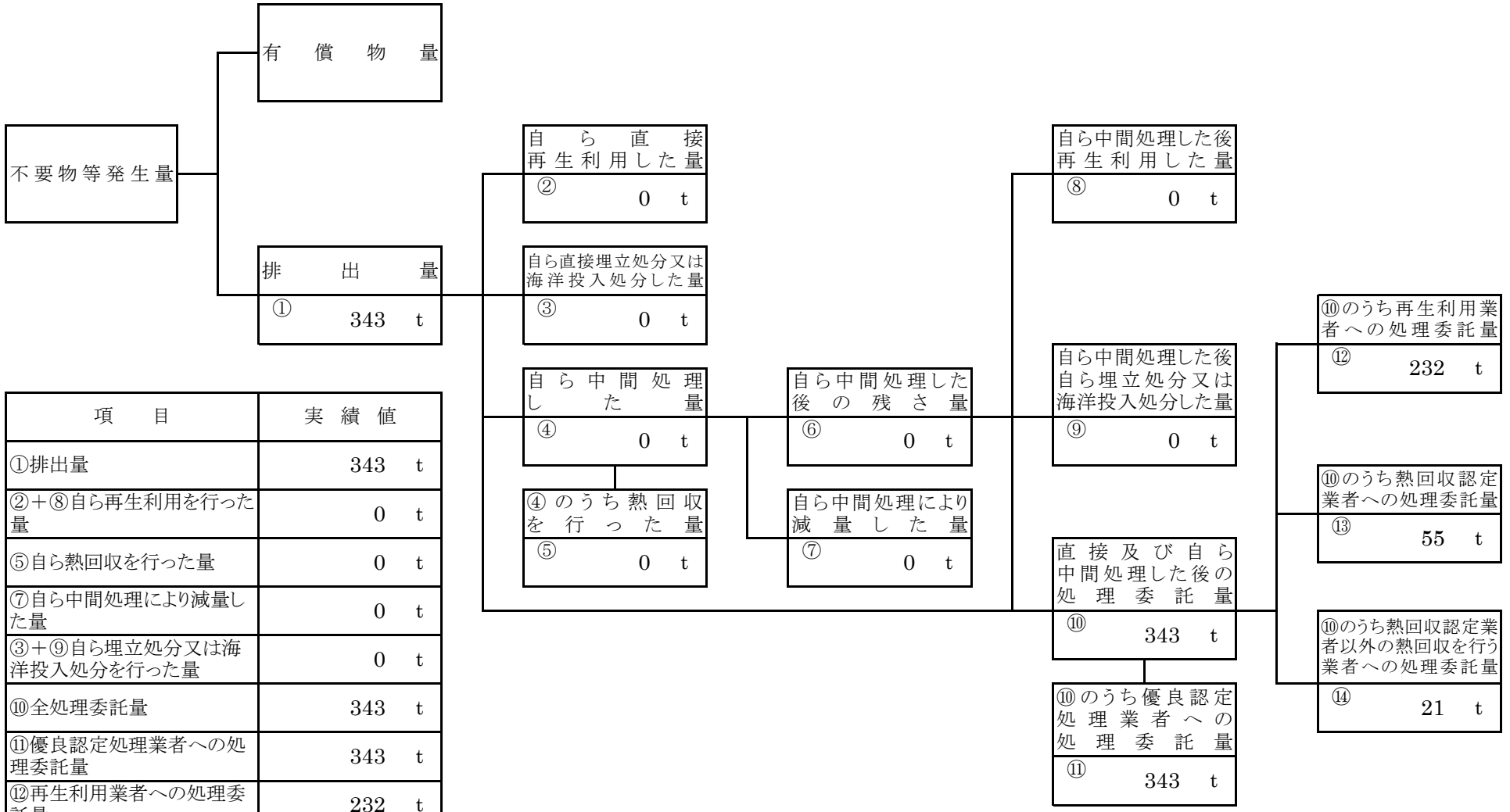
・電子マニフェストに対応できない業者とは新規に契約しない。

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列４番）

計 画 の 実 施 状 況

（特別管理産業廃棄物の種類： 引火性廃油 ）

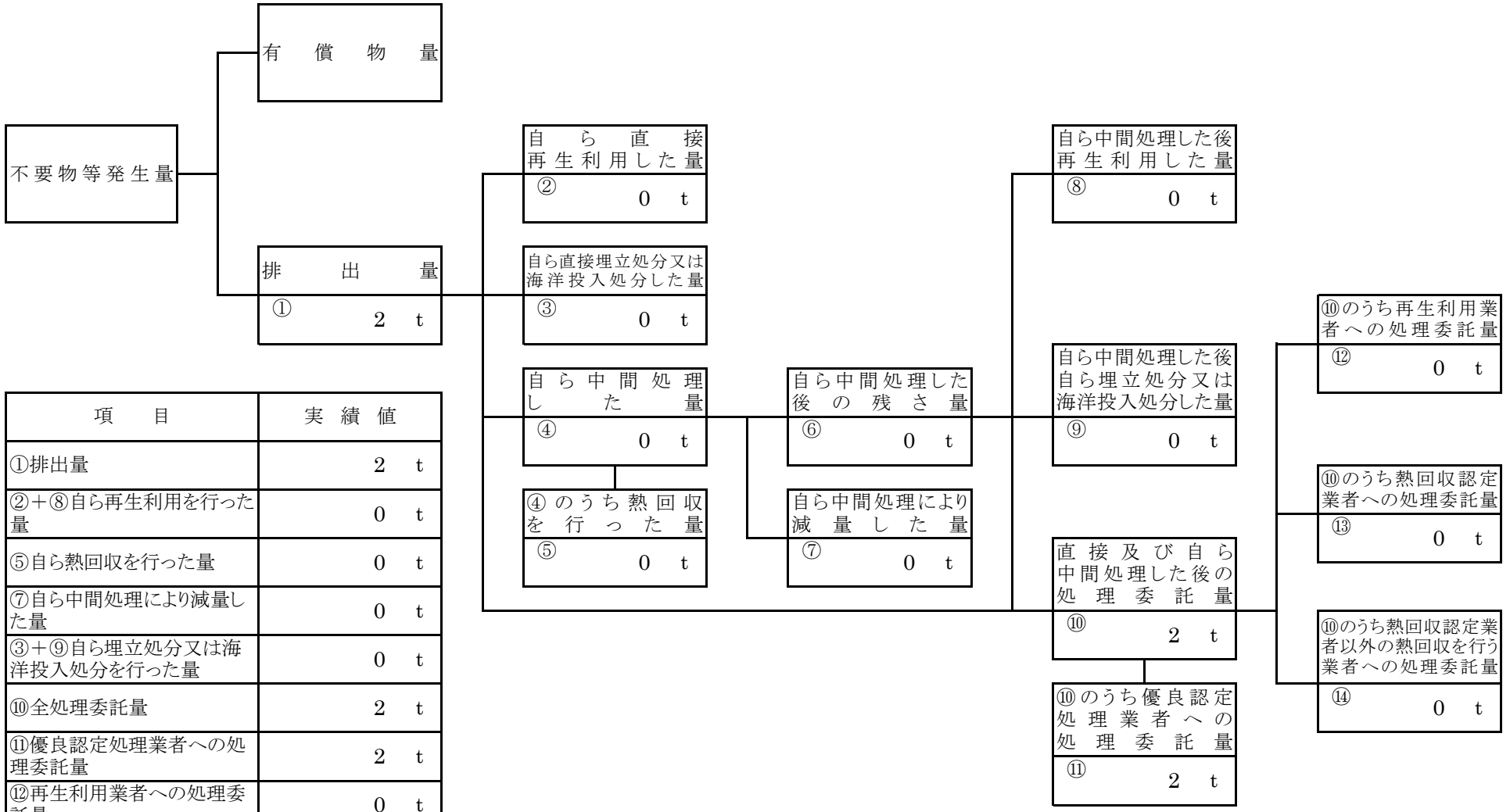


項 目	実 績 値
①排出量	343 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	343 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	343 t
⑫再生利用業者への処理委託量	232 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	55 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	21 t

（第2面）

計 画 の 実 施 状 況

（特別管理産業廃棄物の種類:　強アルカリ　　）

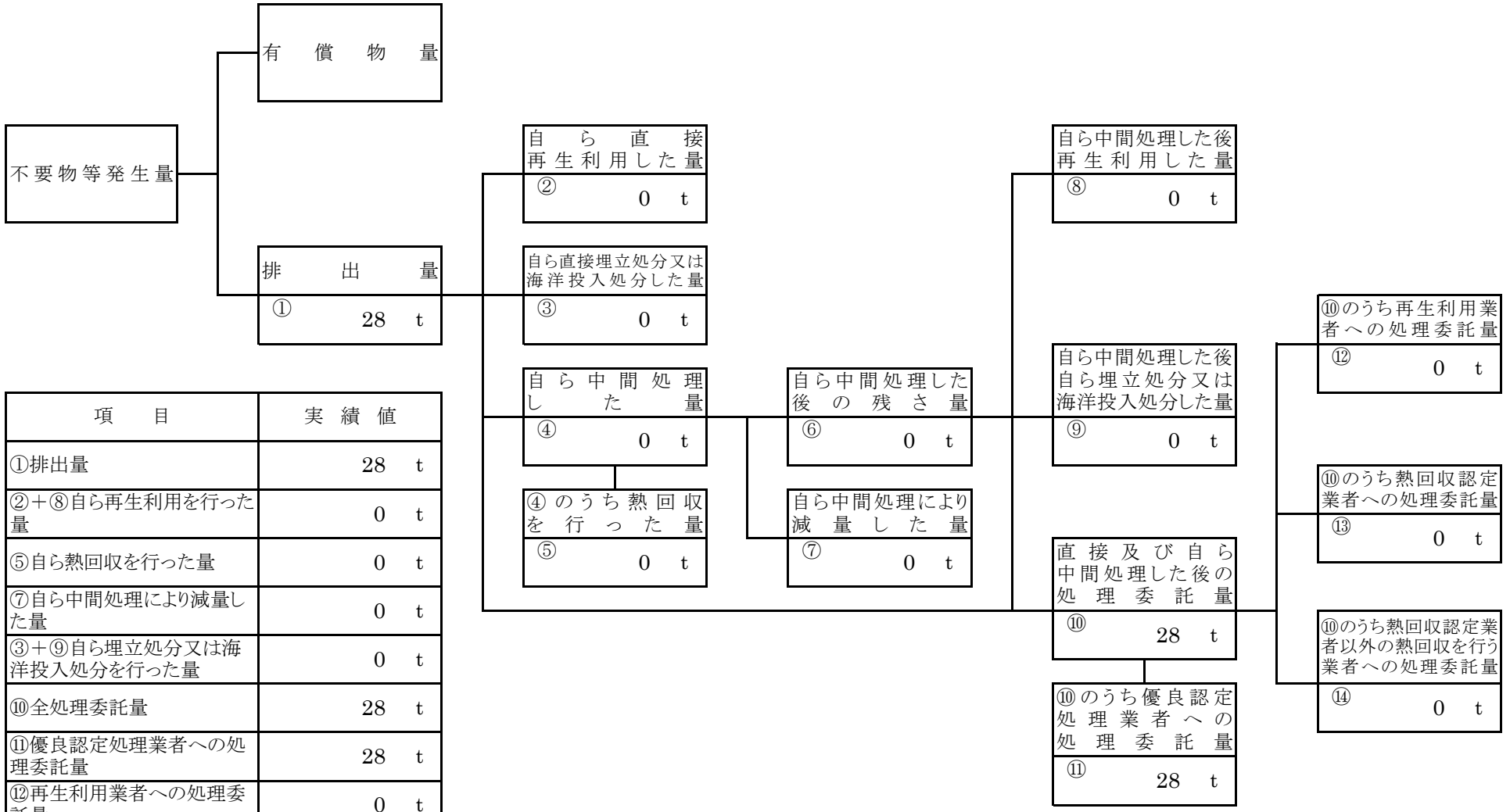


項　目	実績値
①排出量	2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第2面）

計 画 の 実 施 状 況

（特別管理産業廃棄物の種類:　強酸　　）

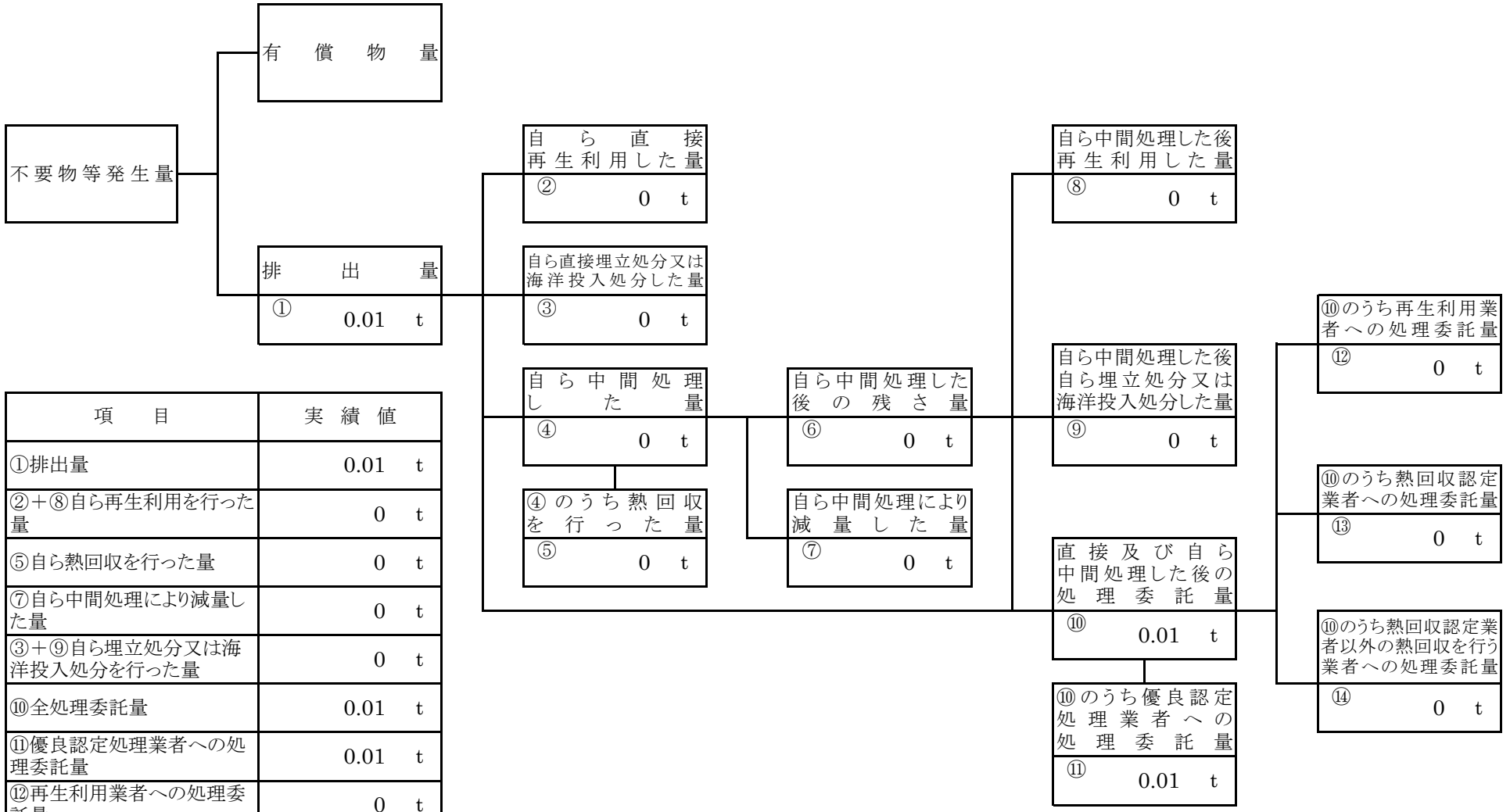


項　目	実績値
①排出量	28 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	28 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	28 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第2面）

計 画 の 実 施 状 況

（特別管理産業廃棄物の種類： 汚泥(有害)　　）

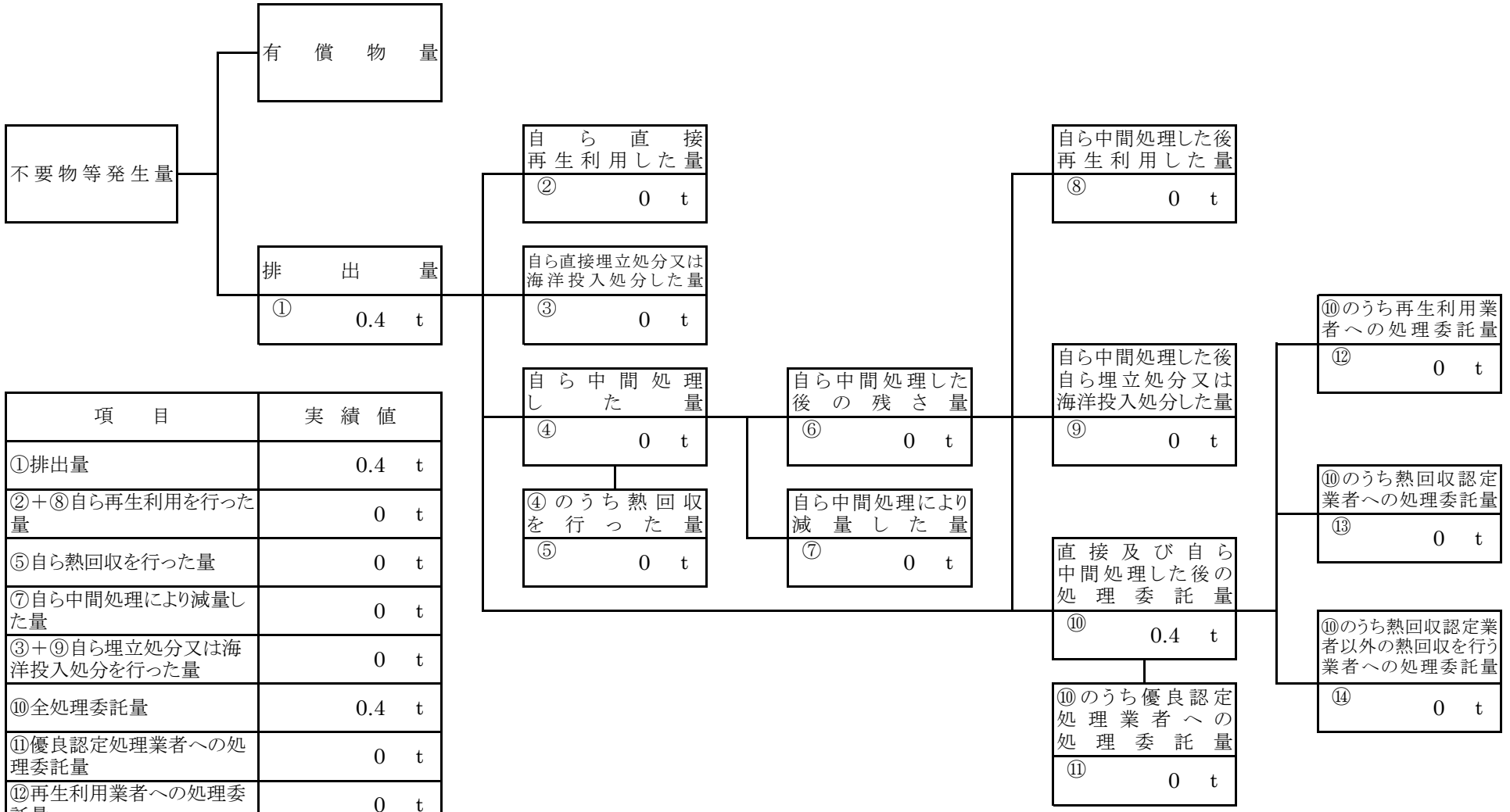


項　目	実績値
①排出量	0.01 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	0.01 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.01 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第2面）

計 画 の 実 施 状 況

（特別管理産業廃棄物の種類： 廃PCB等 ）



項 目	実 績 値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2024 年 7 月 9 日

千葉県知事
熊谷　俊人　殿

提出者
〒　２７２－０００２
住　所　千葉県市川市二俣新町２２番地
氏　名　東京エスオーシー株式会社 市川工場
工場長　大見川　隆治
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０４７－３２８－４１７１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東京エスオーシー株式会社　市川工場
事業場の所在地	千葉県市川市二俣新町２２番地
計画期間	2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日迄

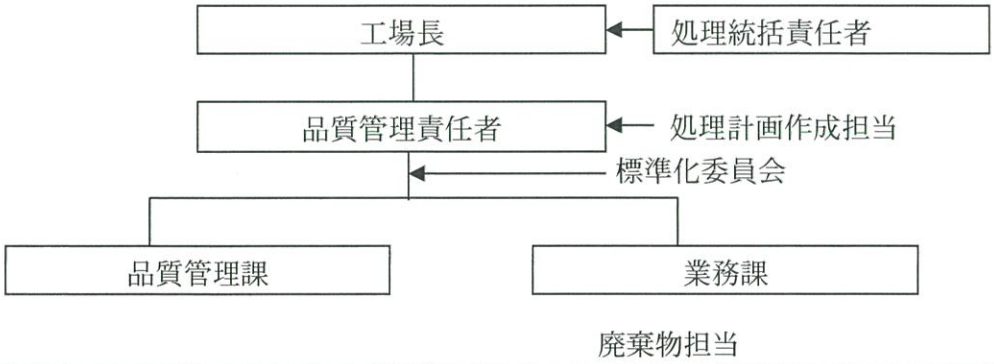
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類　製造業　中分類　窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	2023年度製造品出荷額　　９００　百万円
③ 従業員数	10 人（正社員 8 名　常勤関係職員 2 名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙による

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　2023　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	① 汚泥(スラッジ水)	
	排　　出　　量	８５２４．０ｔ	
	（これまでに実施した取組） 現場との連絡を密にし、残コンの減少を図る。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	① 汚泥(スラッジ水)	
	排　　出　　量	９０００．０ｔ	
	（今後実施する予定の取組） 業界にて戻りコンの削減対策を引き続き継続しており、 当社も積極的に推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・汚泥・ガラス・コンクリートくずの表示看板を設け、識別を明確にしている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後も適正処理を行う。

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（ 2023 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>②コンクリートくず</td><td>③汚泥（不養生ｺﾝｸﾘｰﾄ）</td></tr>
<tr><td>排　出　量</td><td>２１９２．９ｔ</td><td>９４６．９ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・現場との連絡を密にし、残コン戻りコンの発生抑制に努めている。
・コンクリート出荷製品の不適合（不合格品）を発生させないため、品質管理の徹底と人的ミスの抑制に努めている。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>②コンクリートくず</td><td>③汚泥（不養生ｺﾝｸﾘｰﾄ）</td></tr>
<tr><td>排　出　量</td><td>２２００．０ｔ</td><td>１０００．０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・今後も現場との打ち合わせ、数量確認を密に行い、残コン・戻りコンの低減に努める。
・安定した製品の出荷に努める。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="6">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="5">【前年度（ 2023 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>①汚泥（スラッジ）</td><td>②コンクリートくず</td><td>③汚泥（不養生コンクリート）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）
該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>①汚泥（スラッジ）</td><td>②コンクリートくず</td><td>③汚泥（不養生コンクリート）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）
該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="6">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="5">【前年度（ 2023 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td colspan="2">①汚泥(スラッジ水)</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td colspan="2">０ｔ</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td colspan="2">７２４５．４ｔ</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）
・コンクリート処理及び洗浄等にて発生した汚泥（スラッジ水）を中間処理（分級処理及び脱水処理）にて、回収水（上澄水）として再利用している</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td colspan="2">①汚泥(スラッジ水)</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td colspan="2">０ｔ</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td colspan="2">７６５０．０ｔ</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）
・今後も現場との打ち合わせ、数量確認を密に行う。
・引き続きコンクリート処理及び洗浄等にて発生した汚泥（スラッジ水）を中間処理（分級処理及び脱水処理）にて、回収水（上澄水）として再利用する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（ 2023 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>②コンクリートくず</td><td>③汚泥（不養生ｺﾝｸﾘｰﾄ）</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="5">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>②コンクリートくず</td><td>③汚泥（不養生ｺﾝｸﾘｰﾄ）</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
該当なし</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状

【前年度（ 2023 年度）実績】

産業廃棄物の種類	①汚泥（スラッジ）	②コンクリートくず	③汚泥（不養生コンクリート）	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	

（これまでに実施した取組）
該当なし

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	①汚泥（スラッジ）	②コンクリートくず	③汚泥（不養生コンクリート）	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	

（今後実施する予定の取組）
該当なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（ 2023 年度）実績】

産業廃棄物の種類	①汚泥(スラッジ水)	
全処理委託量	１２７８．６ｔ	
優良認定処理業者への処理委託量	０ｔ	
再生利用業者への処理委託量	１２７８．６ｔ	
認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	

（これまでに実施した取組）
現場との連絡を密にし、残コンの減少を図る。
・脱水処理したガラス・コンクリート・陶磁器くずの状態で産業廃棄物の再利用ができる委託業者に依頼している。

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（ 2023 年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>② コンクリートくず</td><td>③汚泥（不養生ｺﾝｸﾘｰﾄ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>２１９２．９ｔ</td><td>９４６．９ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>２１９２．９ｔ</td><td>９４６．９ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・産業廃棄物の有効利用を図るべく、再生路盤材として再利用できる委託業者に処理を依頼している。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>① 汚泥（スラッジ水）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>１３５０．０ｔ</td><td></td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>１３５０．０ｔ</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・引き続き脱水処理したガラス・コンクリート・陶磁器くずの状態で産業廃棄物の再利用ができる委託業者に依頼する。
・汚泥の中間処理施設（脱水施設）の維持管理を徹底し、故障・老朽化の防止に努め安定稼働させる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>②コンクリートくず</td><td>③汚泥（不養生ｺﾝｸﾘｰﾄ）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>２２００．０ｔ</td><td>１０００．０ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>２２００．０ｔ</td><td>１０００．０ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・今後も産業廃棄物の有効利用を図るべく、再生路盤材として再利用できる委託業者に処理を依頼する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

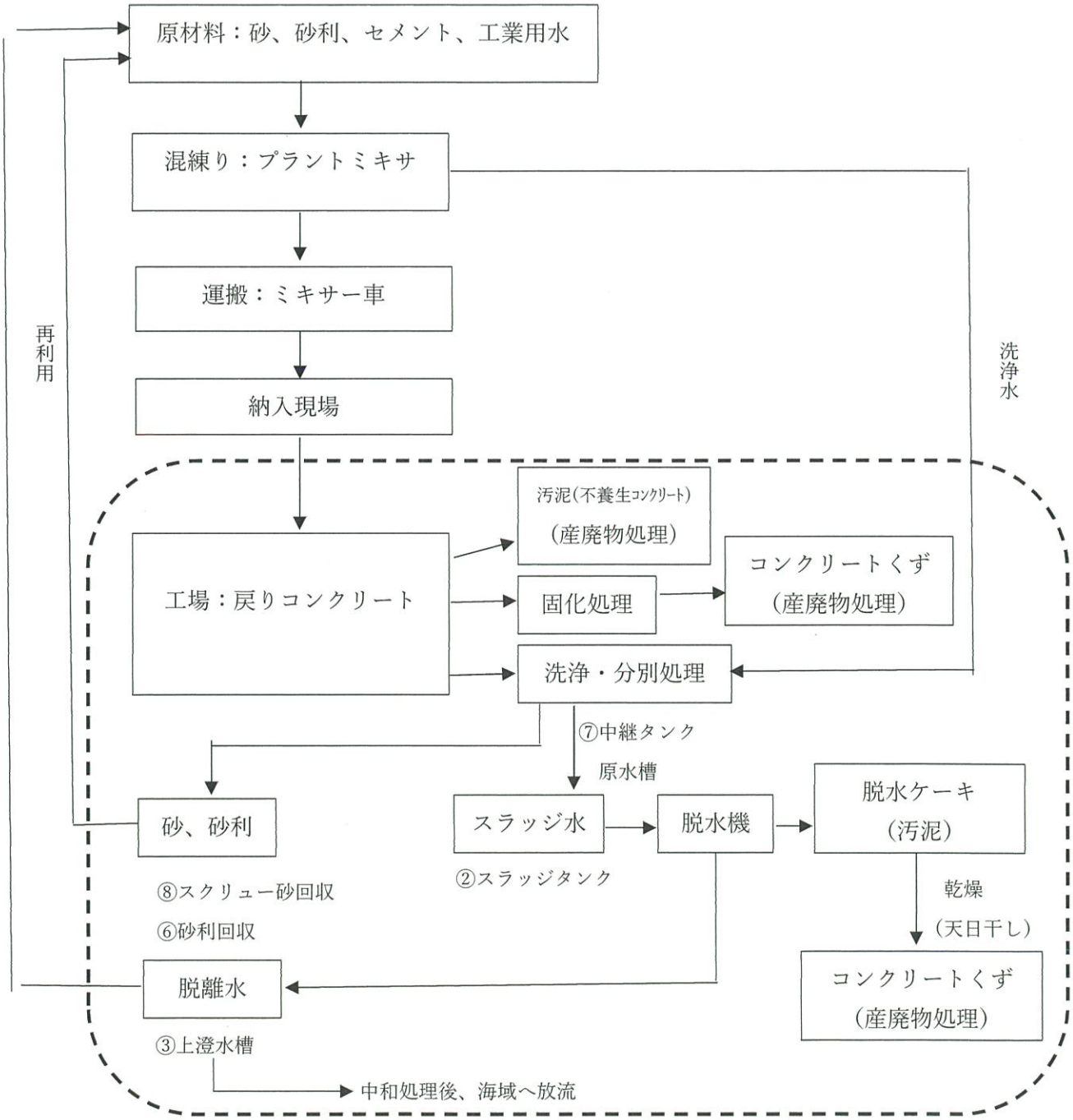
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理工程



様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024 年 6 月 17 日

千葉県知事
　熊谷　俊人　殿

提出者
〒　２７２－０００２
住　所　千葉県市川市二俣新町２２番地
氏　名　東京エスオーシー株式会社 市川工場
　　工場長　大見川　隆治
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０４７－３２８－４１７１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、 2023 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東京エスオーシー株式会社市川工場
事業場の所在地	市川市二俣新町２２番地
事業の種類	大分類：製造業　中分類：窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日

産業廃棄物処理計画における目標値

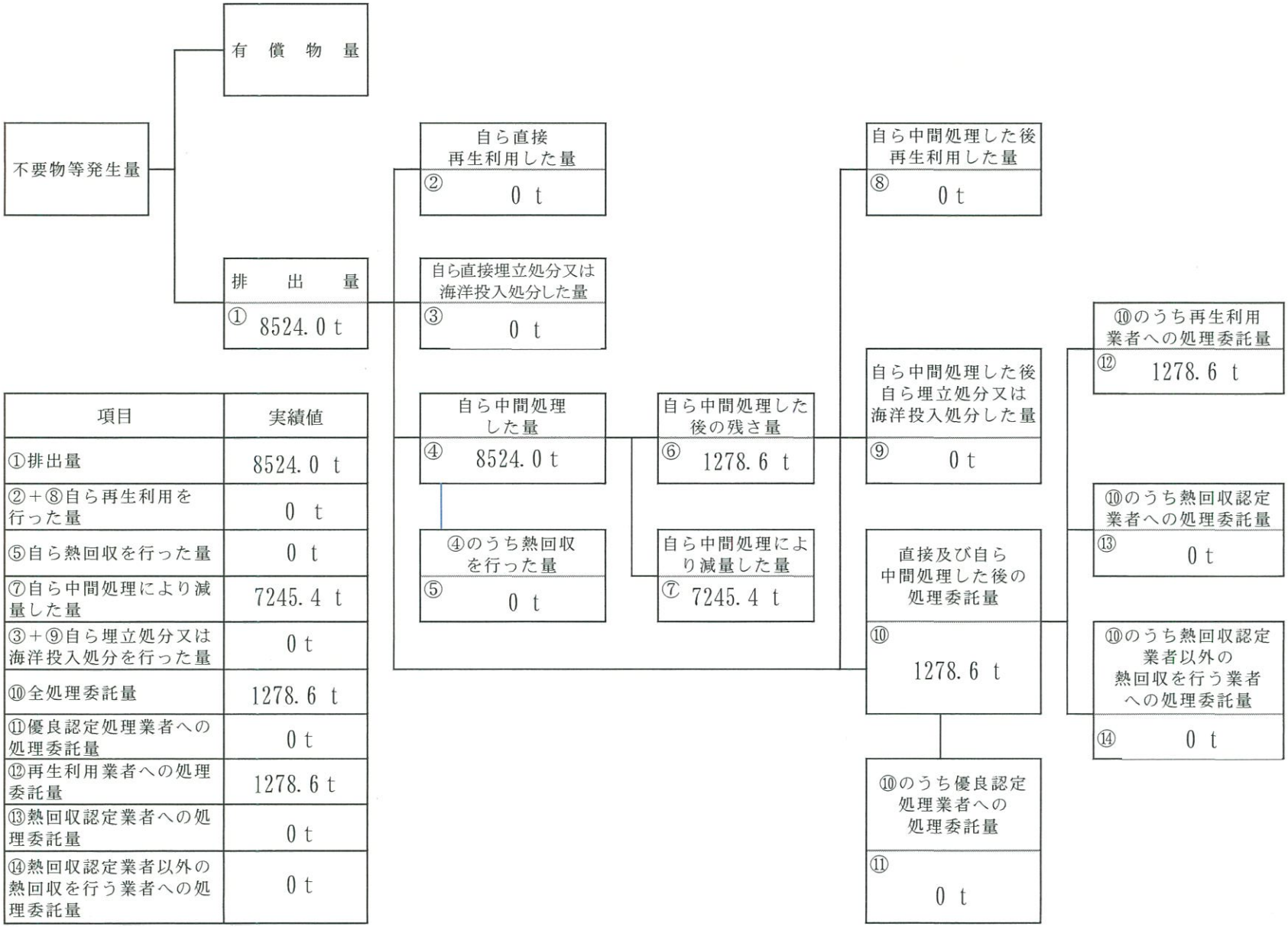
項目	目標値	項目	目標値
排出量	10773.7 t	全処理委託量	3550.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	3550.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	7223.7 t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列４番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥（スラッジ）　　）

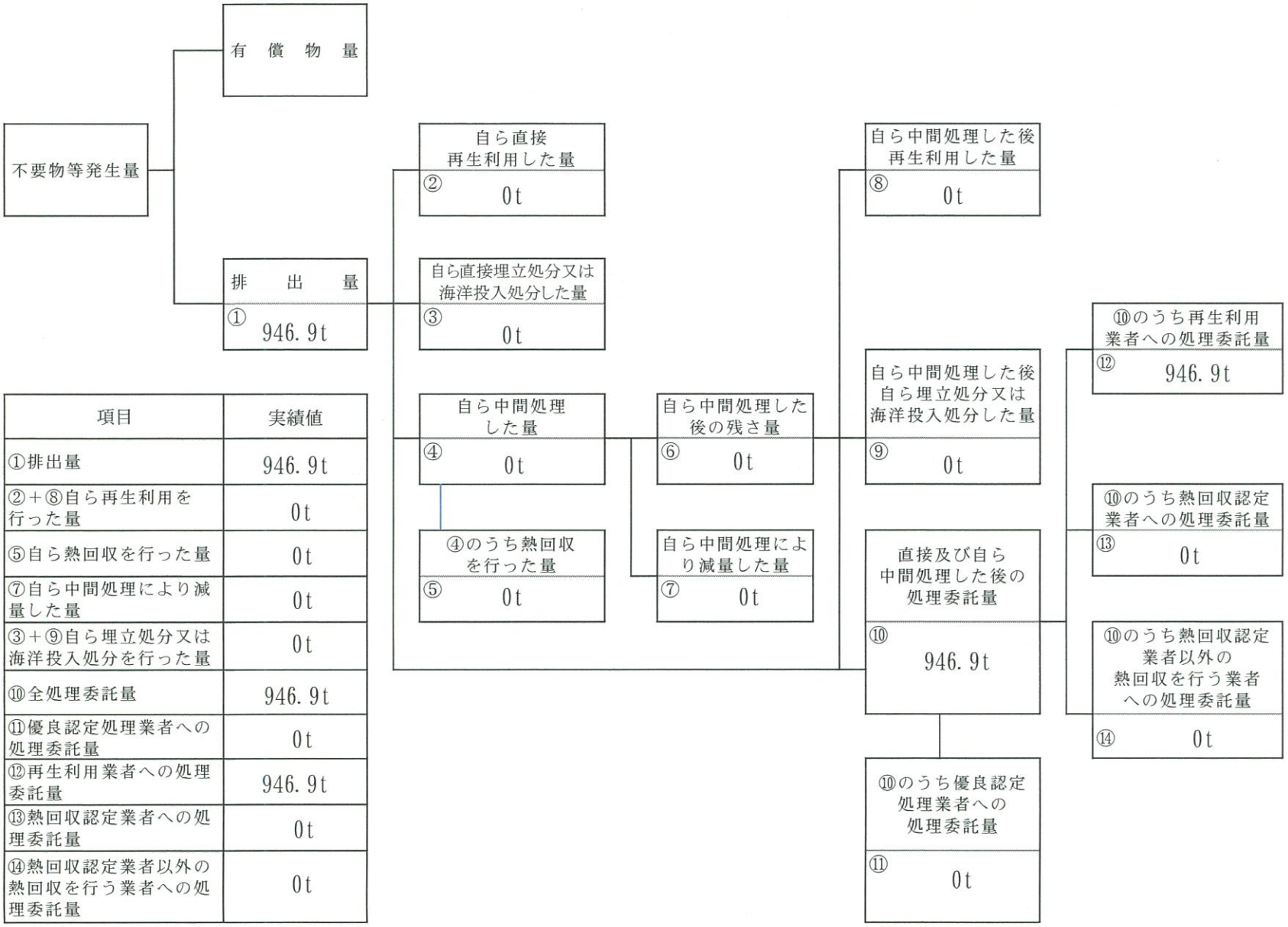


項目	実績値
①排出量	8524.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	7245.4 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	1278.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1278.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：汚泥（不養生コンクリート））

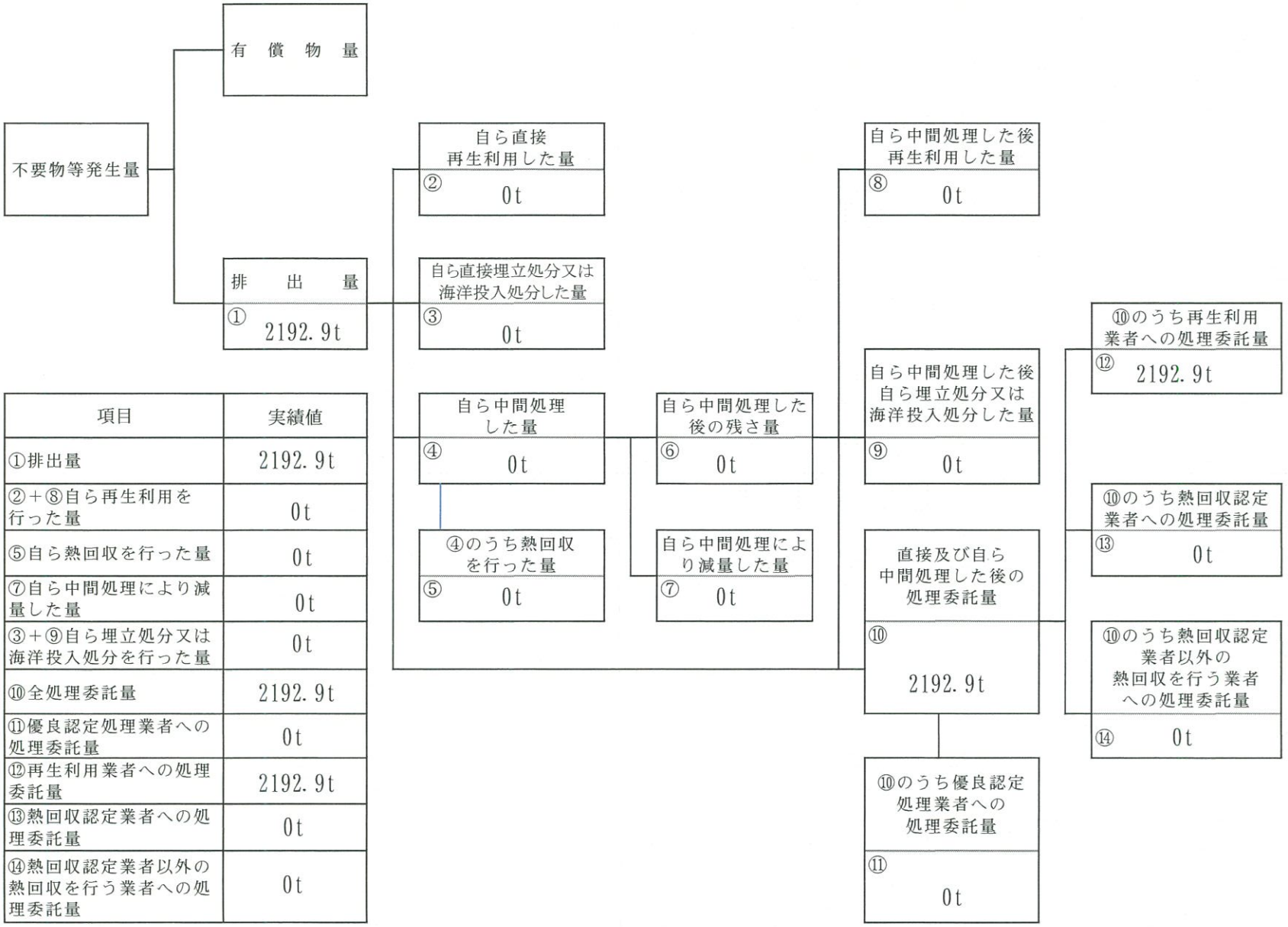


項目	実績値
①排出量	946.9t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	946.9t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	946.9t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　コンクリートくず　　）



項目	実績値
①排出量	2192.9t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	2192.9t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	2192.9t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

（第２面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月6日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　272-0011

住　所　千葉県市川市高谷新町9-5

法人名　東京製線株式会社

代表者　松任 建樹

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　047-327-1131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東京製線株式会社
事業場の所在地	千葉県市川市高谷新町9-5
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　鉄鋼業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額：27.6億円
③従業員数	29
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙2参照

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
排出量	731.53 t	t

（これまでに実施した取組）

・硫酸濃度の液管理を徹底する事により、使用寿命を1日でも長く伸ばし排出量を少しでも抑える。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
排出量	720 t	t

（今後実施する予定の取組）

・上記同様の取組を実施する。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・強酸類において、廃硫酸・廃ボンデ・廃塩化第二鉄液を、それぞれ分別している。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・現状と同じ

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	44.9 t	t

（これまでに実施した取組）

・排水処理でのスラッジ沈殿バランスを保つため、廃硫酸を利用している。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	50 t	t

（今後実施する予定の取組）

・上記同様の取組を実施する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

・自ら熱回収、及び中間処理を行った事が無い。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

・今後も、自ら熱回収、及び中間処理を行う予定は無い。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） ・自ら埋立処分を行った事が無い。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
	自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・今後も、自ら埋立処分を行う予定は無い。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
	全処理委託量	686.63 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	45.93 t	t
	再生利用業者への処理委託量	640.7 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） ・廃硫酸においては、全量再生利用業者へ委託。 ・廃ボンデ、及び廃塩化第二鉄液は優良認定業者へ全量委託。		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>強酸</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>670 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>30 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>640 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・引続き、同様の取組を実施する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）　731.53 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
・電子マニフェスト導入済み。</td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

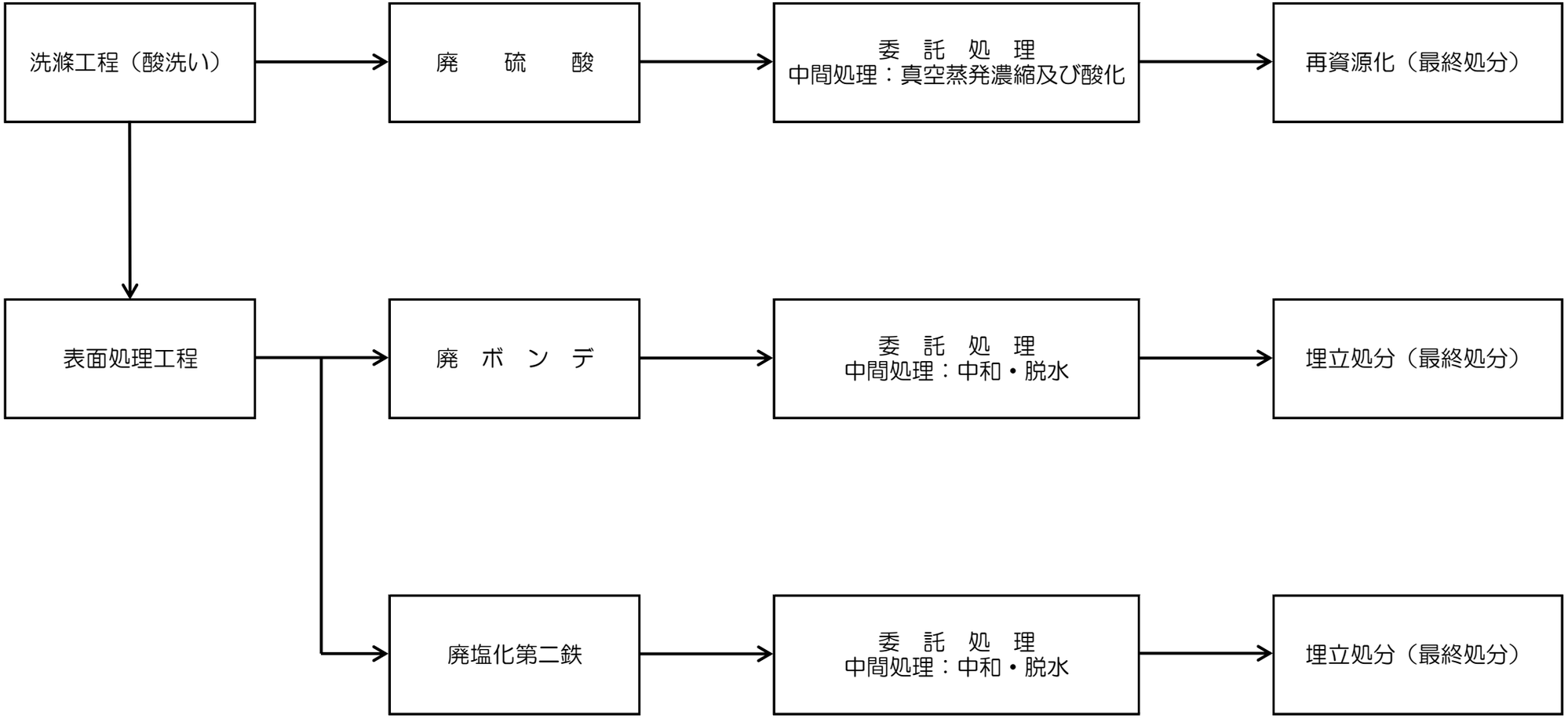
５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

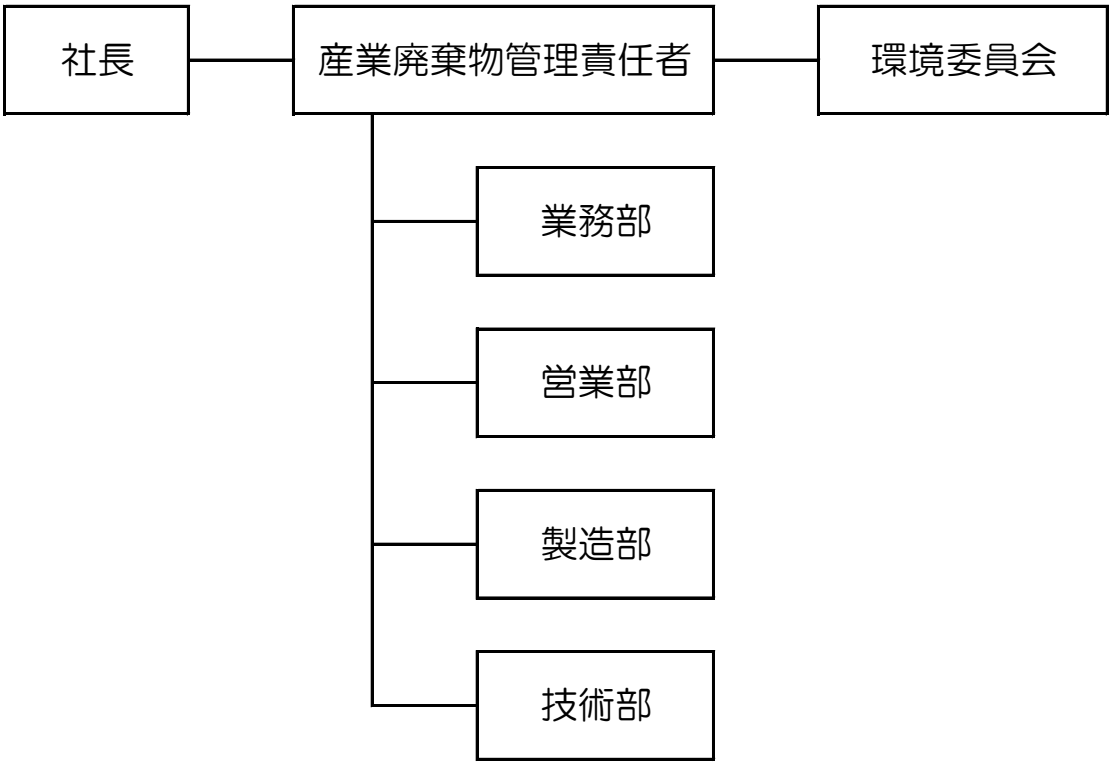
７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

別紙1　特別管理産業廃棄物の一連の処理工程



別紙2　特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油							
		排　出　量	0.18　t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油							
		排　出　量	0.4　t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油							
		自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油							
		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油							
		自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油							
		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油							
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油							
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油							
	全処理委託量	0.18 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.18 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油							
	全処理委託量	0.4 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月6日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　272-0011

住所 千葉県市川市高谷新町9-5

法人名 東京製線株式会社

代表者 松任 建樹

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-327-1131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東京製線株式会社
事業場の所在地	千葉県市川市高谷新町9-5
事業の種類	大分類　製造業　中分類 鉄鋼業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	600 t	全処理委託量	600 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	45 t	優良認定処理業者への処理委託量	30 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	570 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

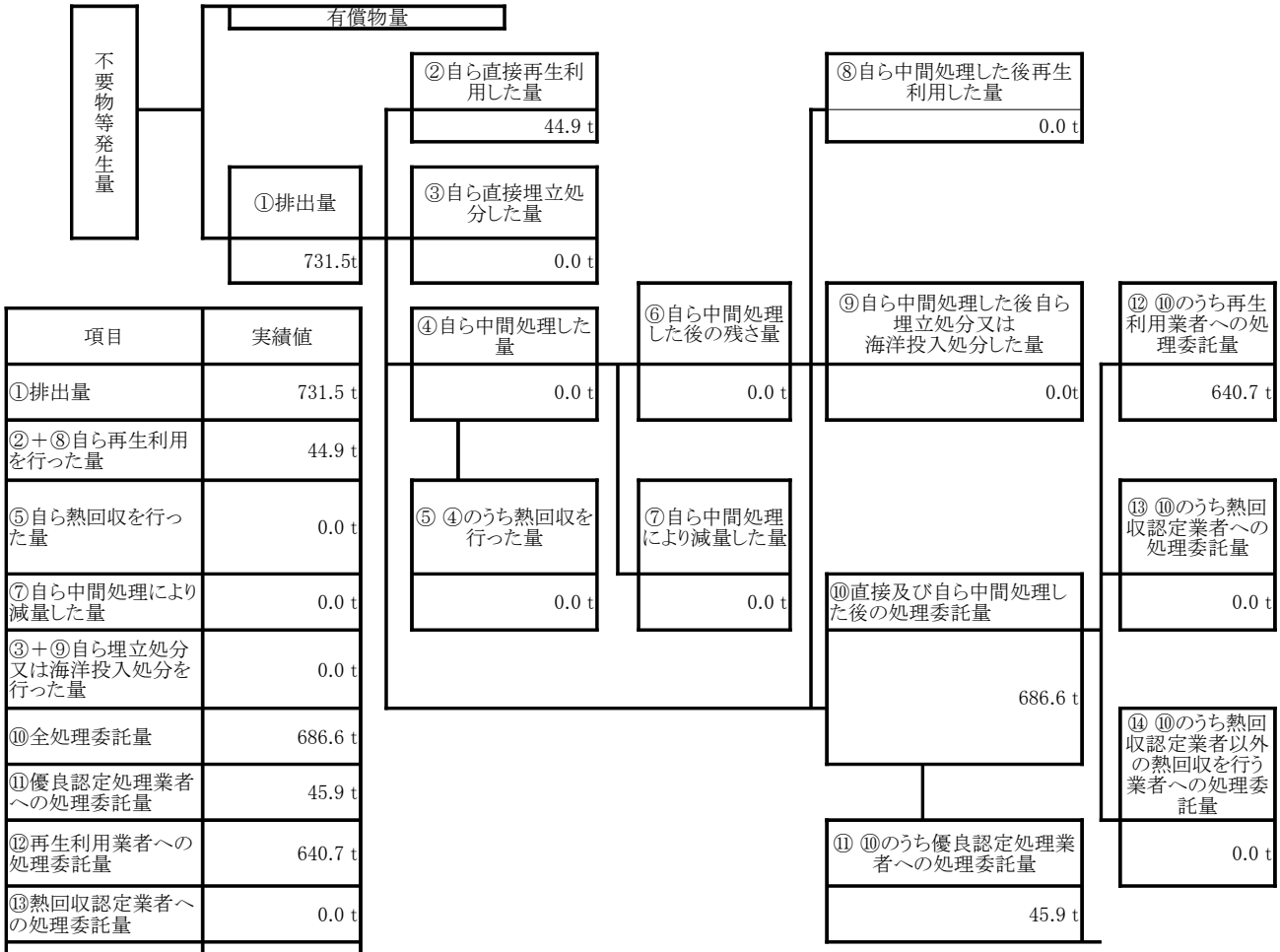
特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	全前年度(令和4年度)	617.59 t
	前年度(令和5年度)	731.53 t

(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)
2018年度より電子マニフェストを運用している。

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

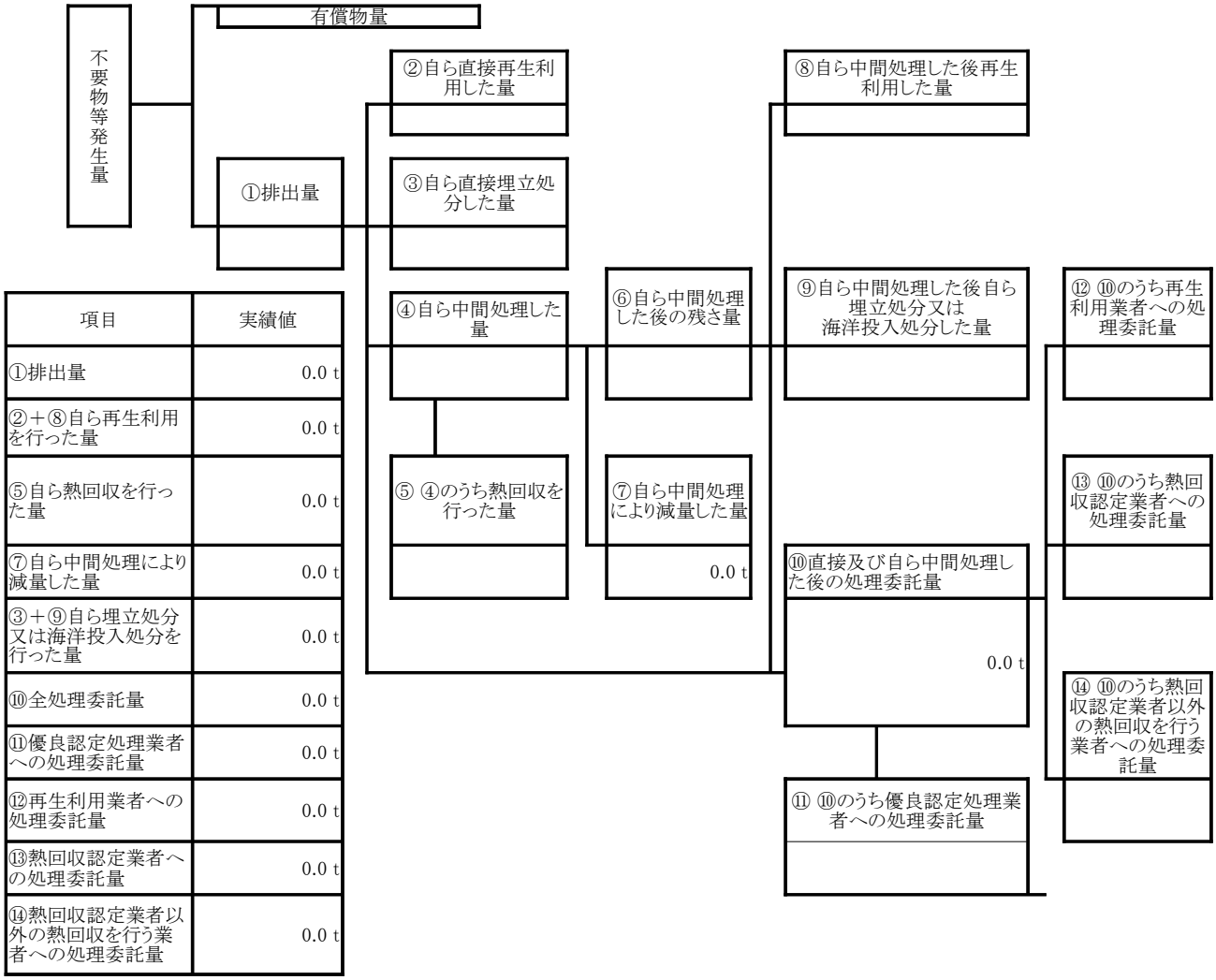
計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　**廃酸(強酸)**　）



項目	実績値
①排出量	731.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	44.9 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	686.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	45.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	640.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

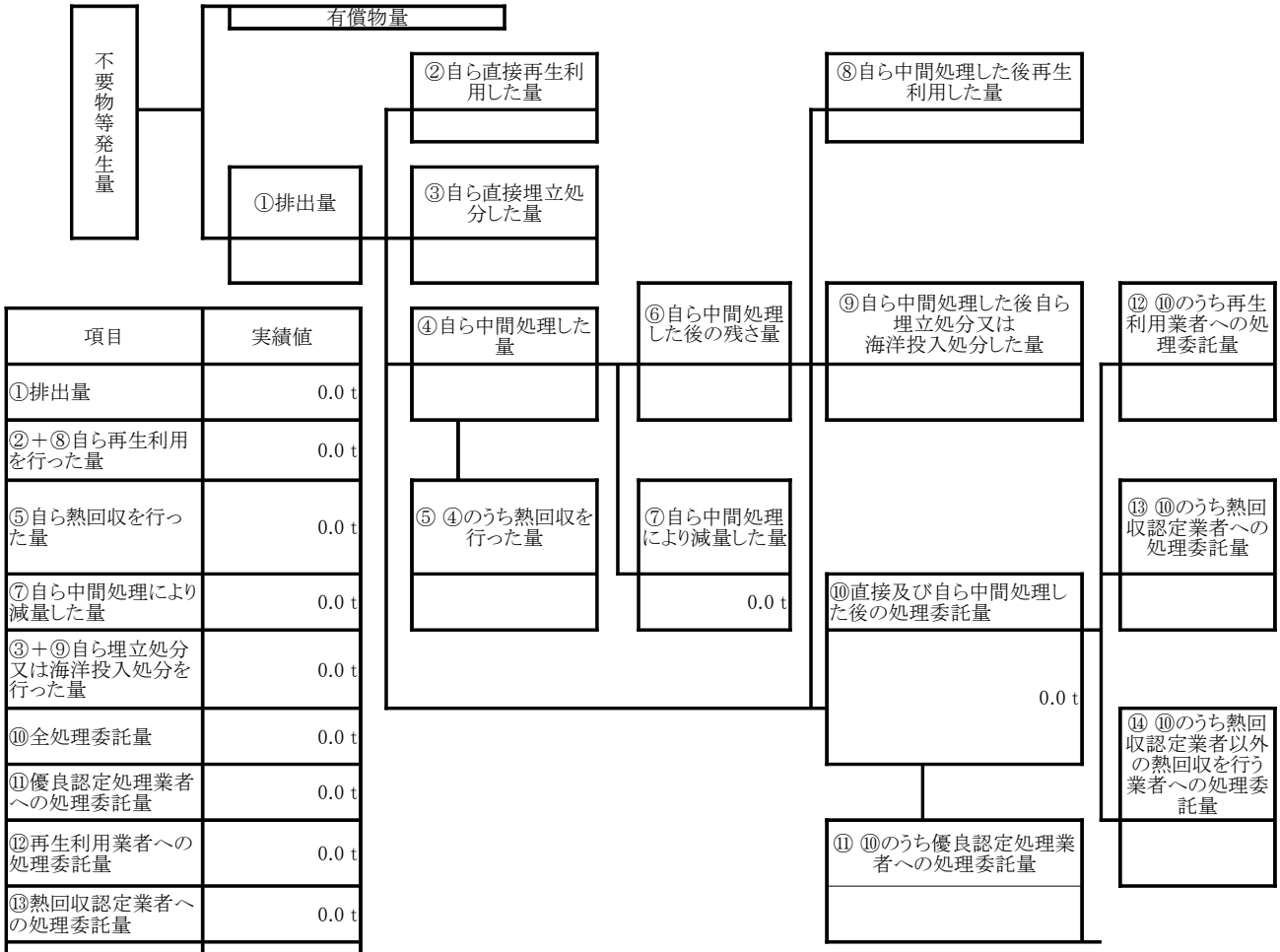


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



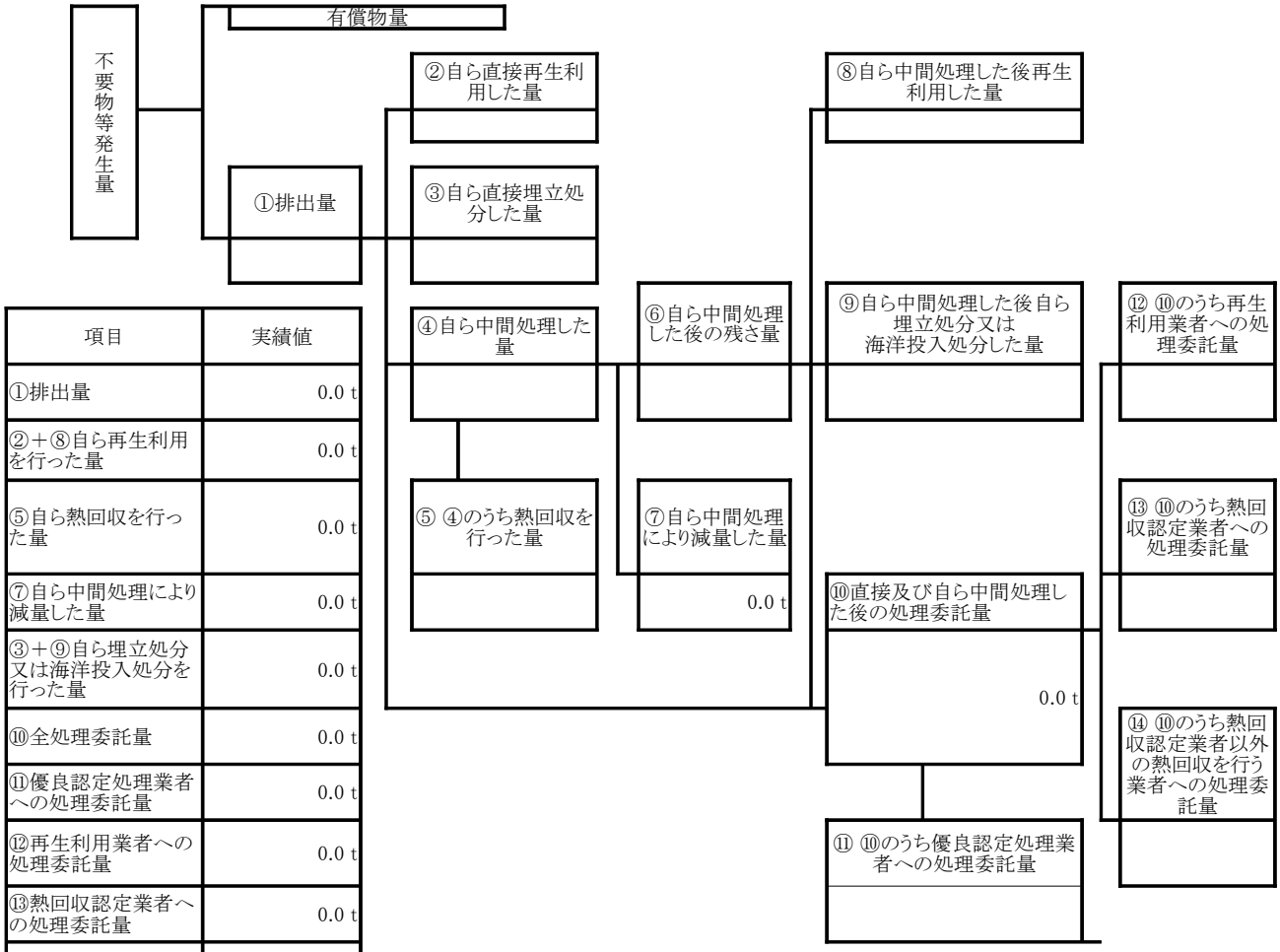
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

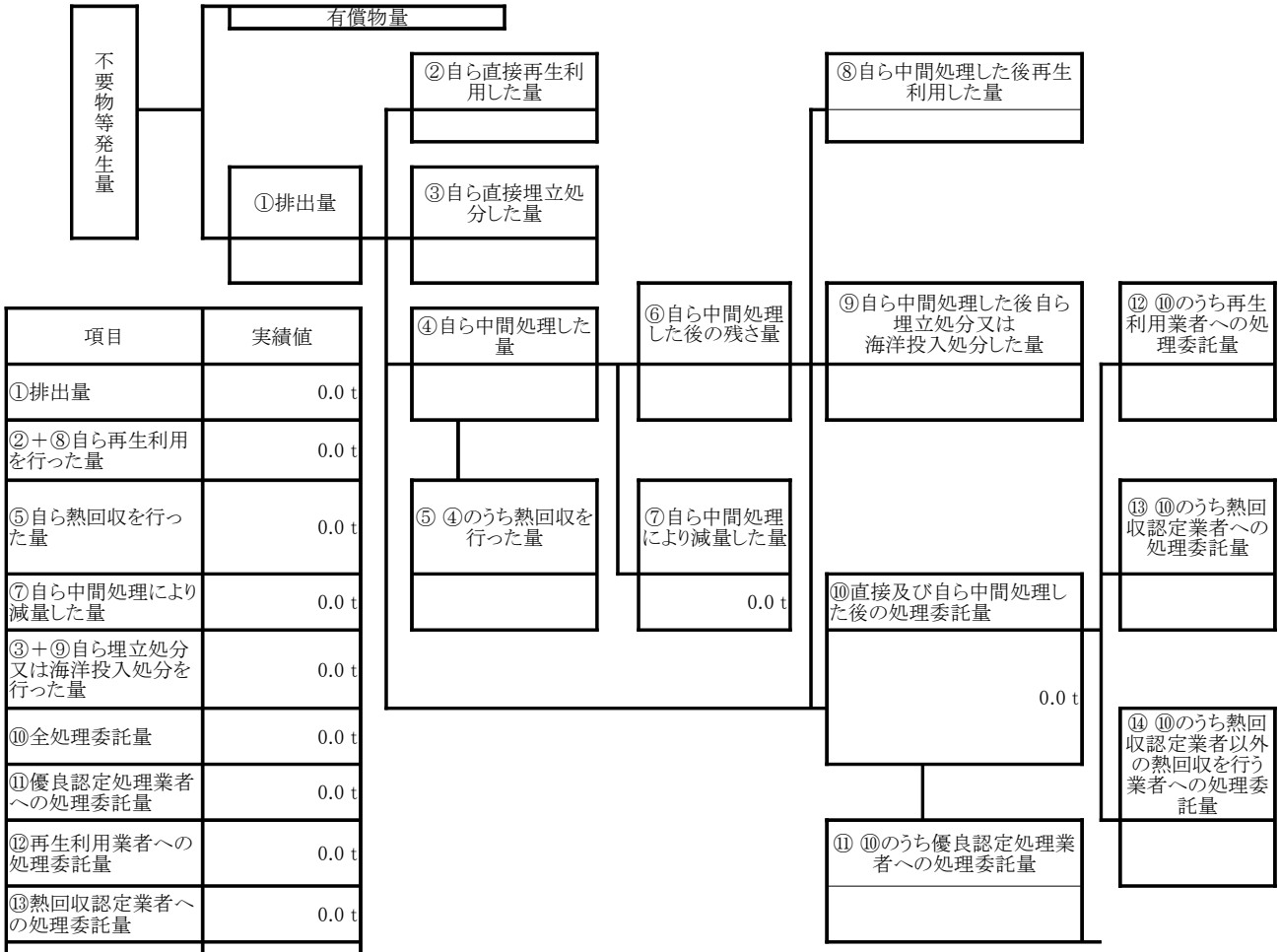


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

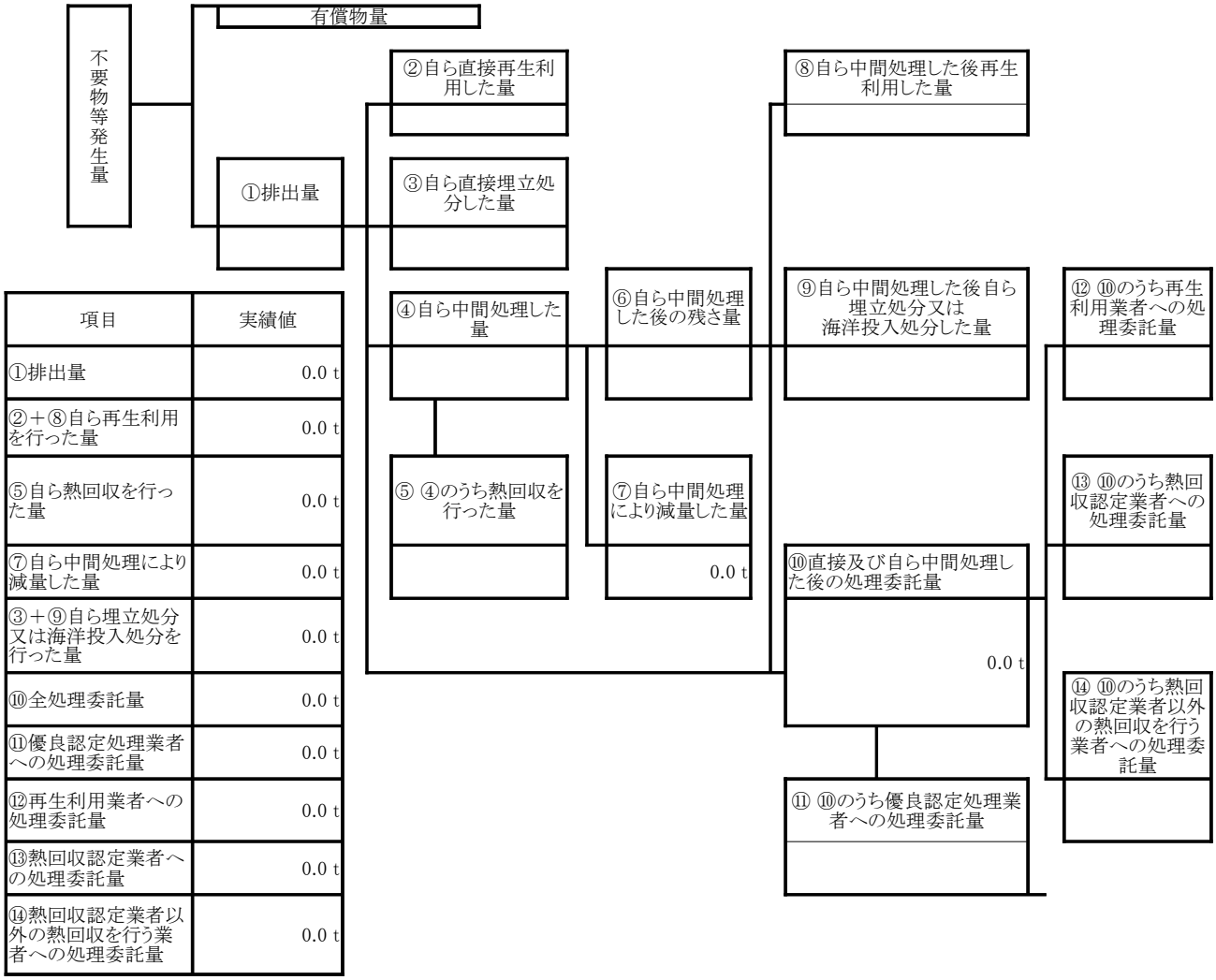


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

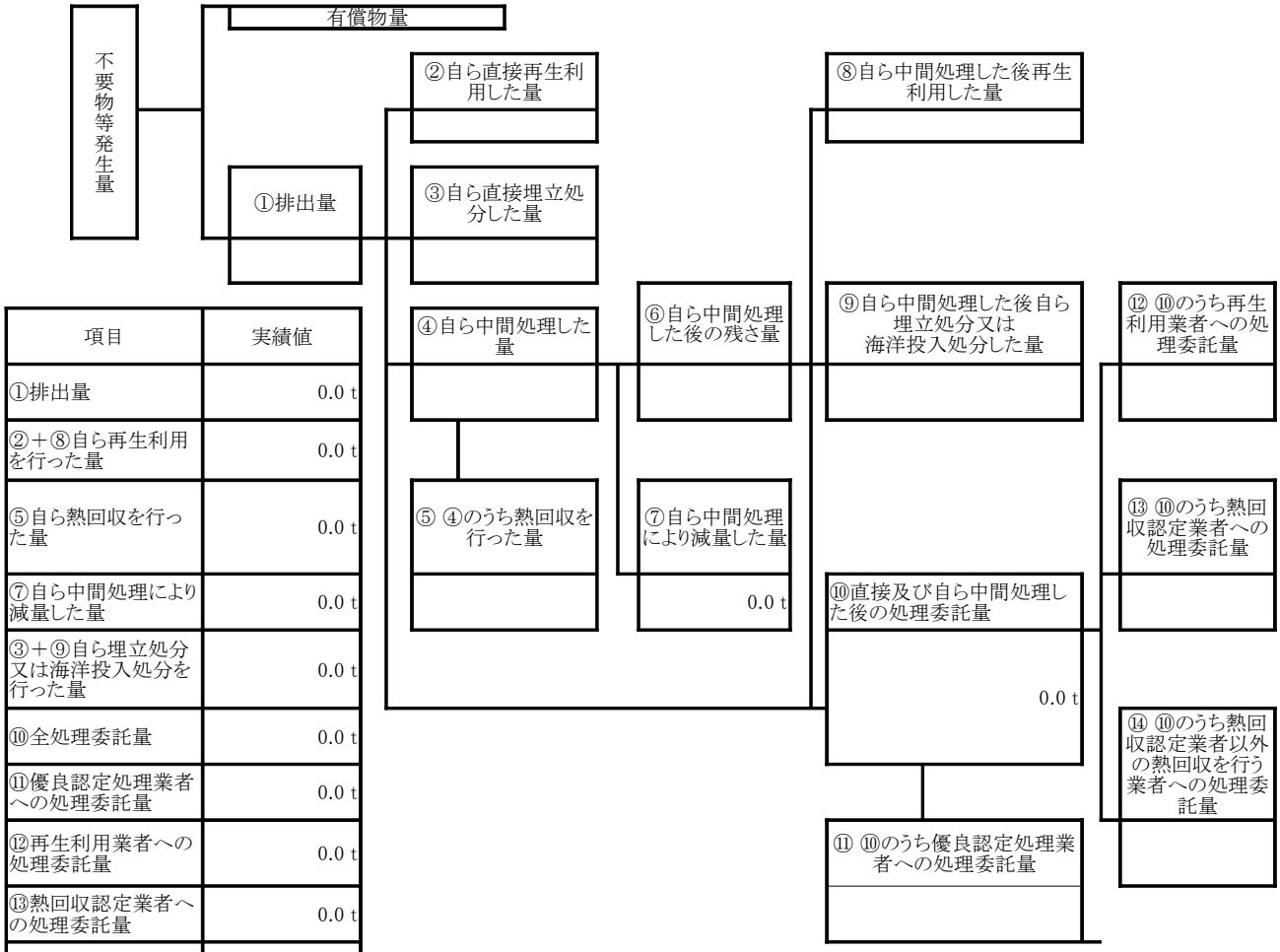


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

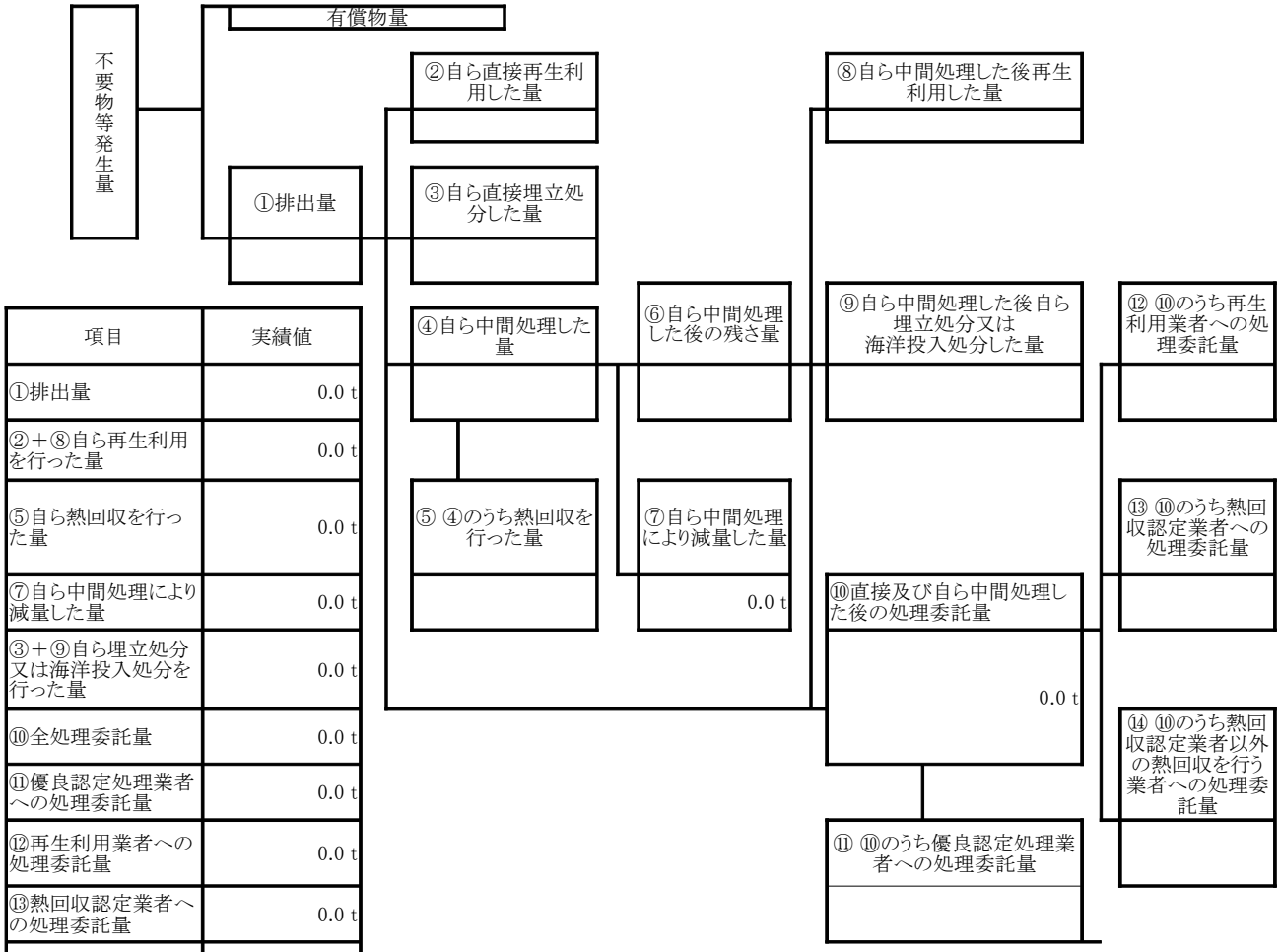


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

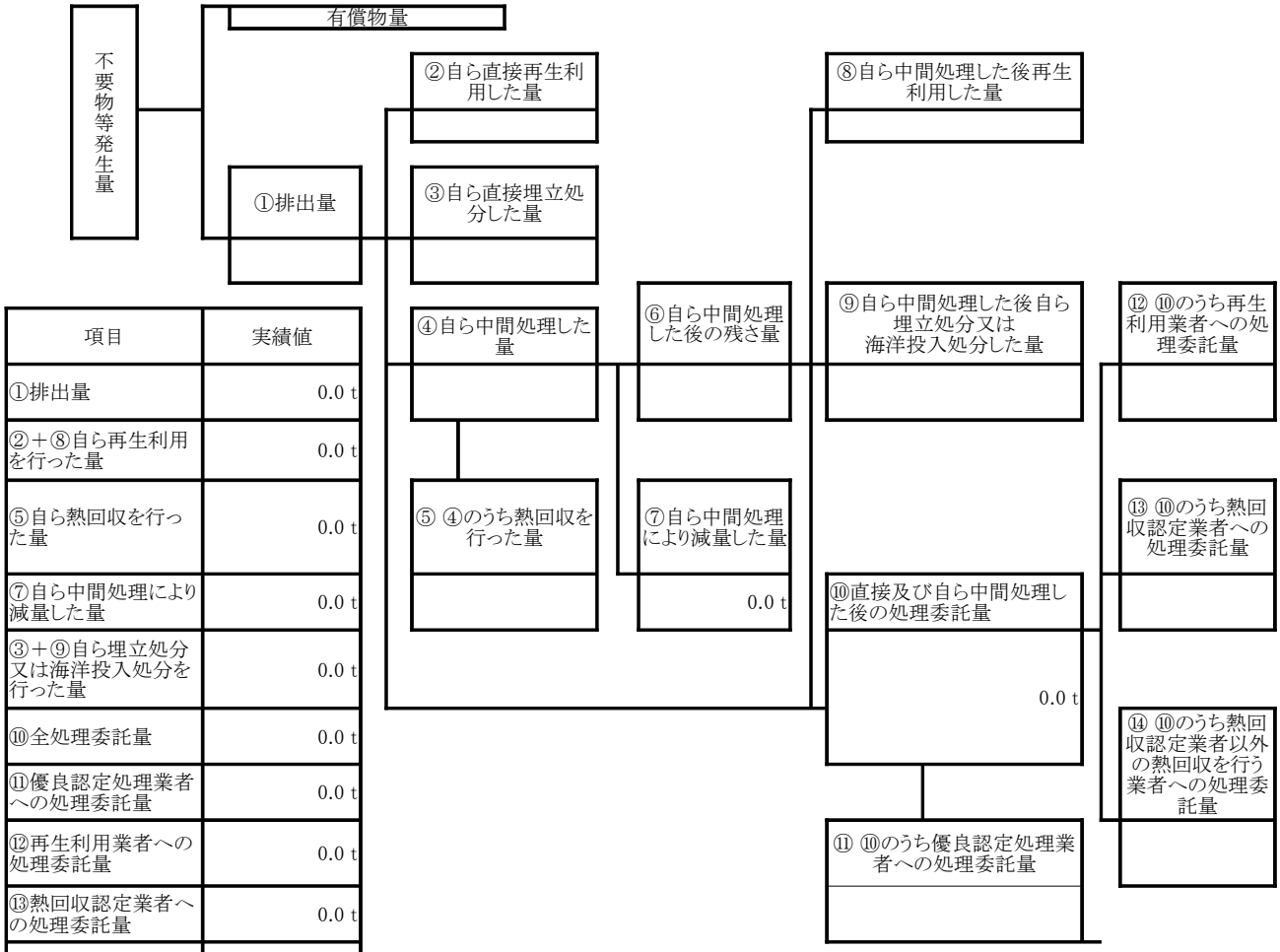


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

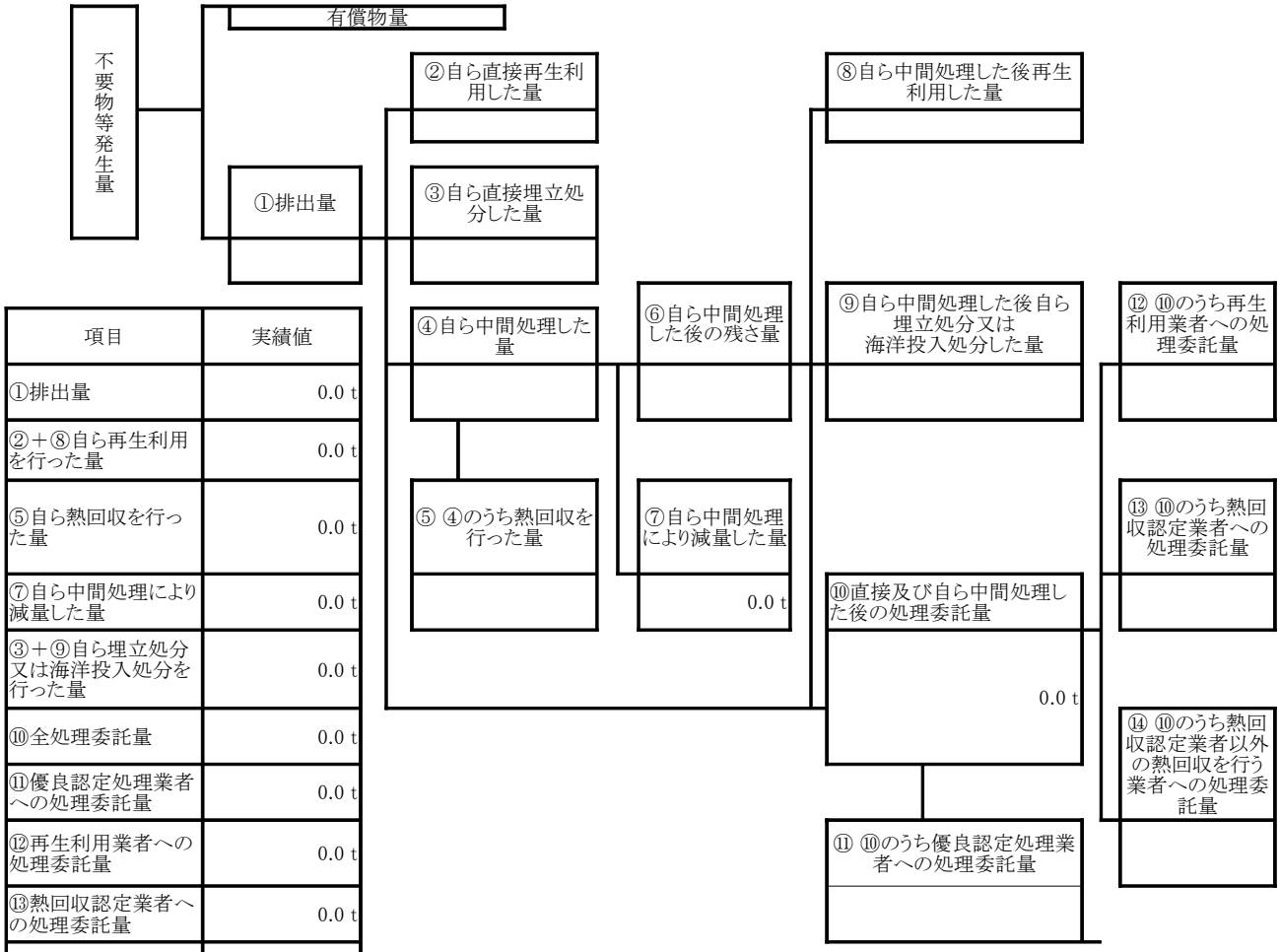


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



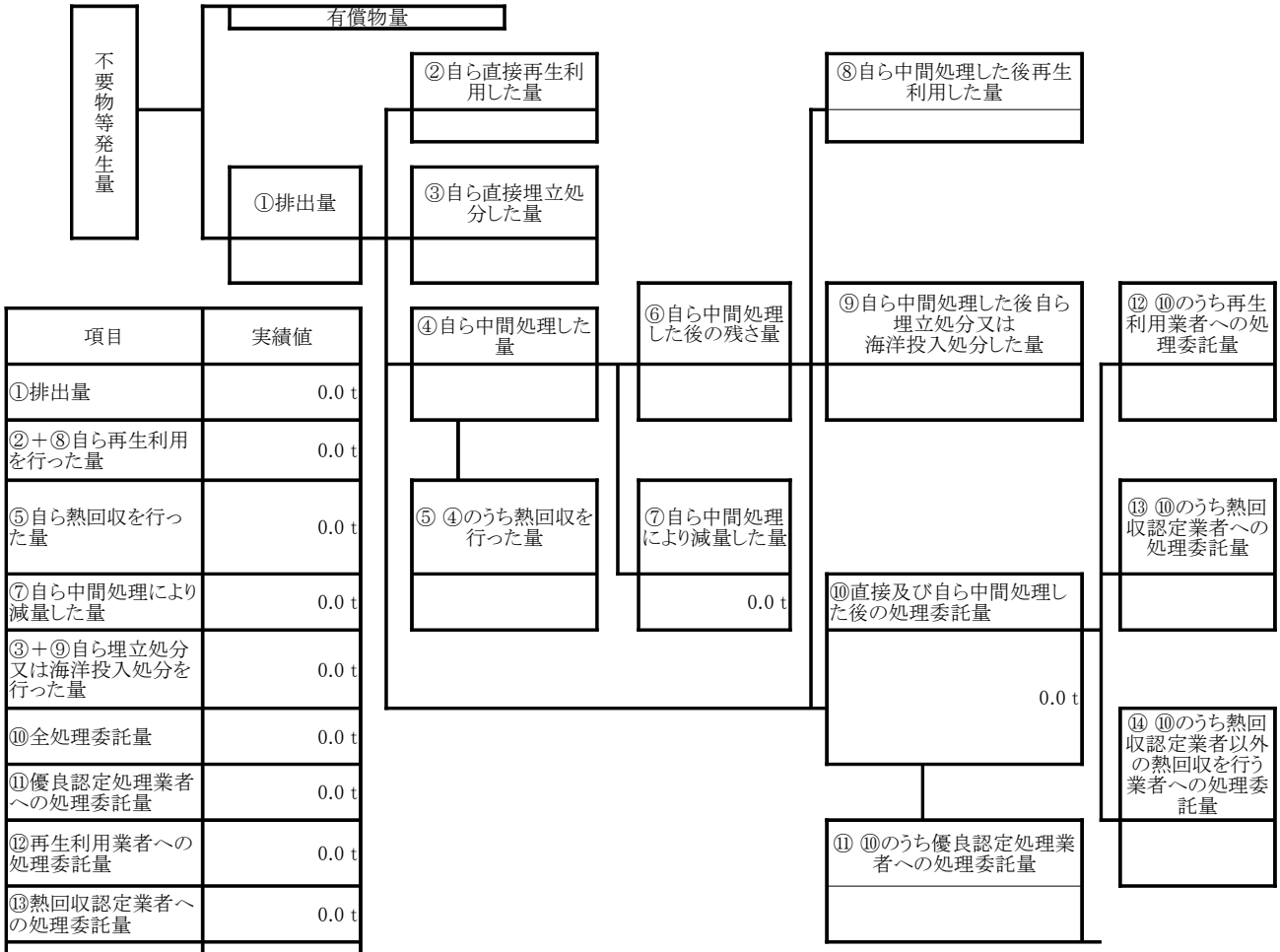
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

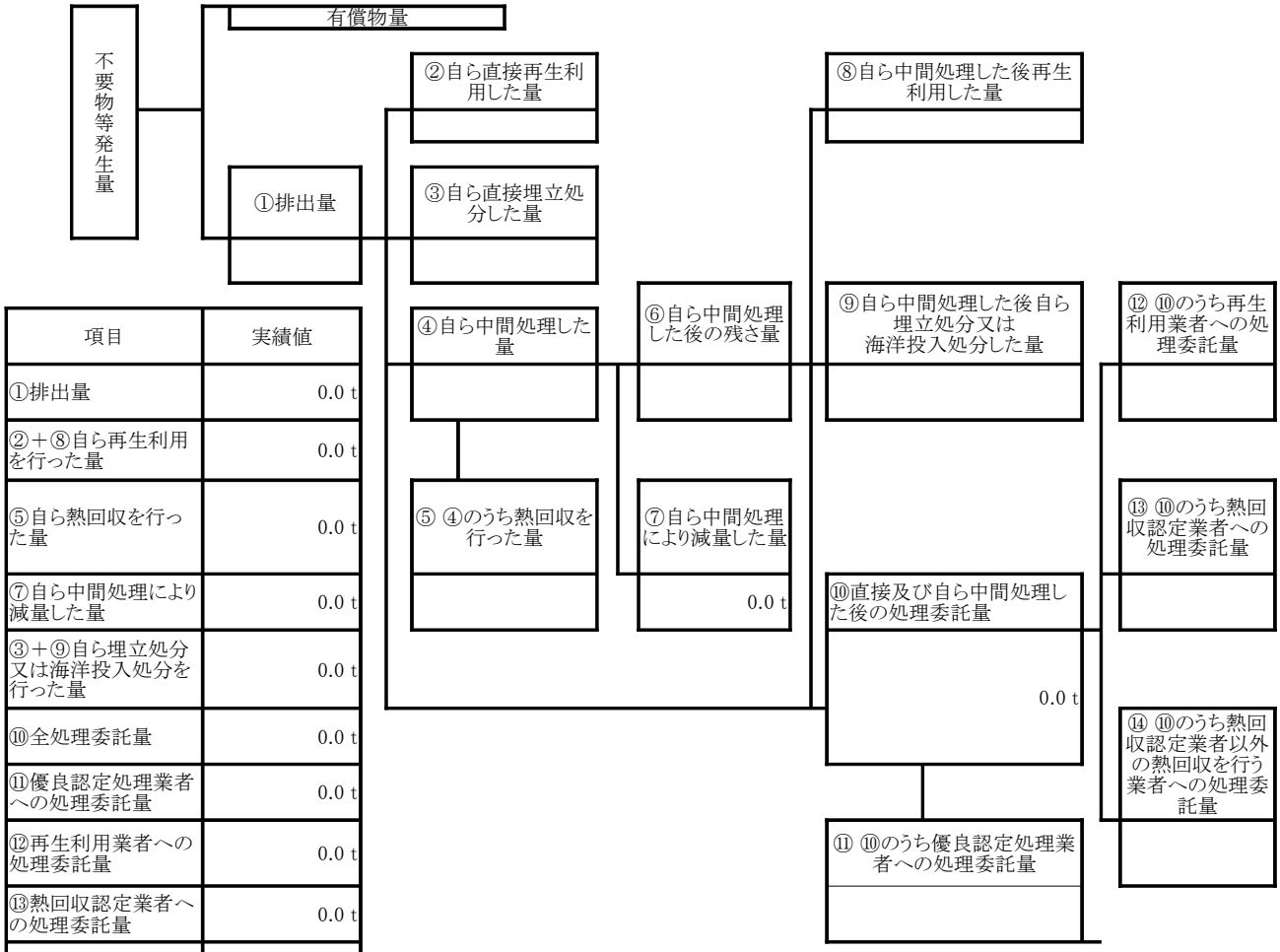


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

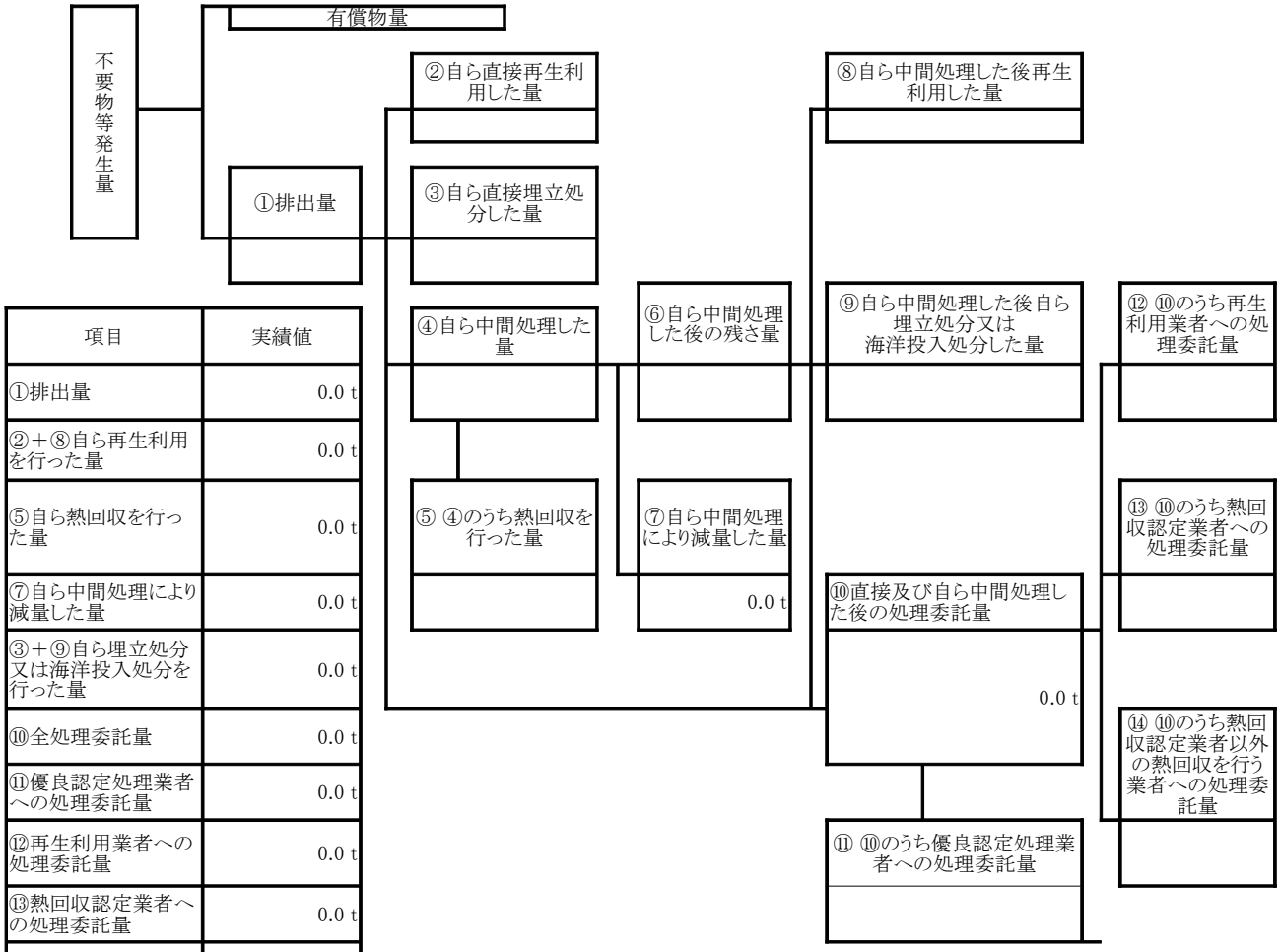


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

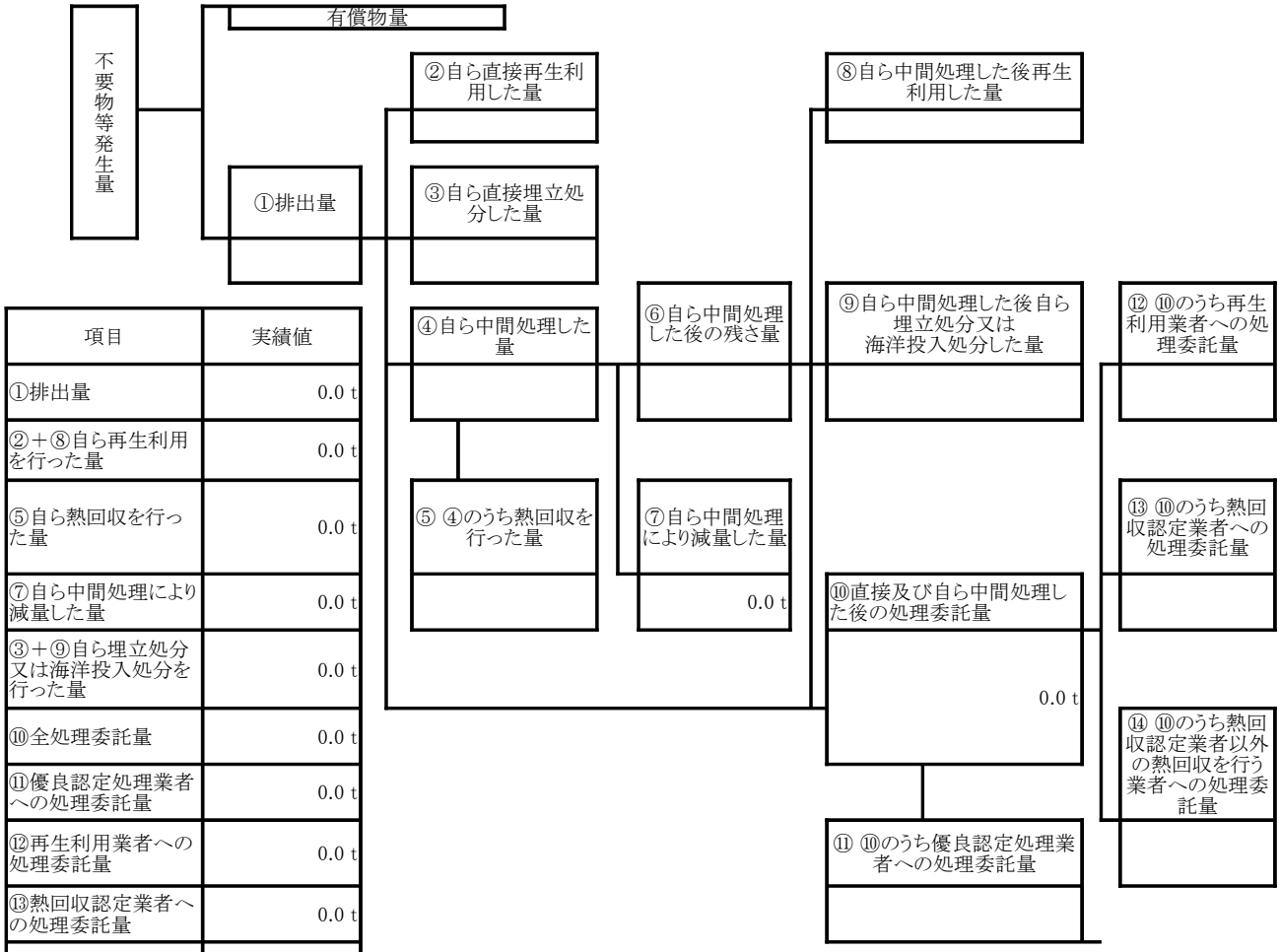


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



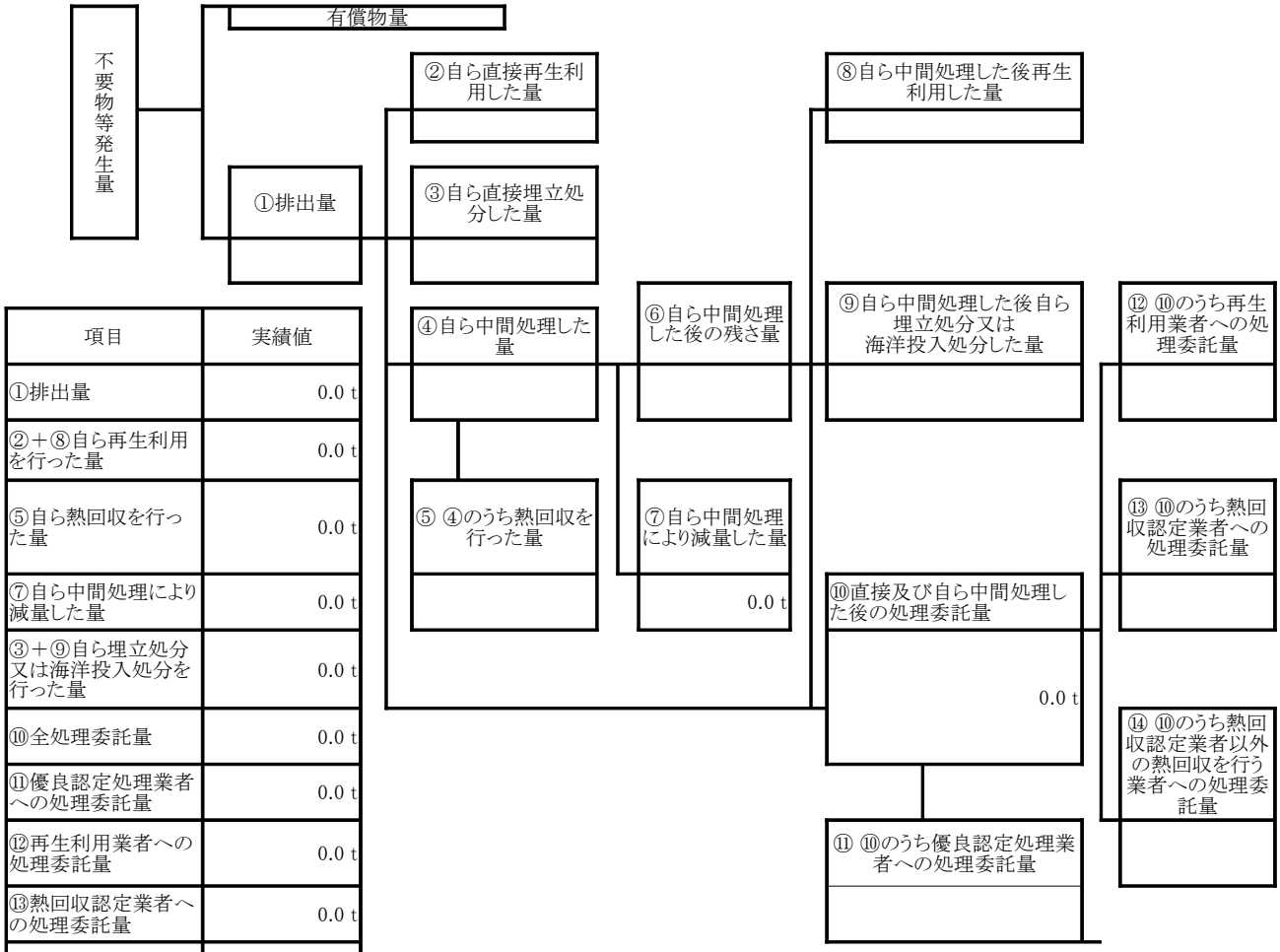
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



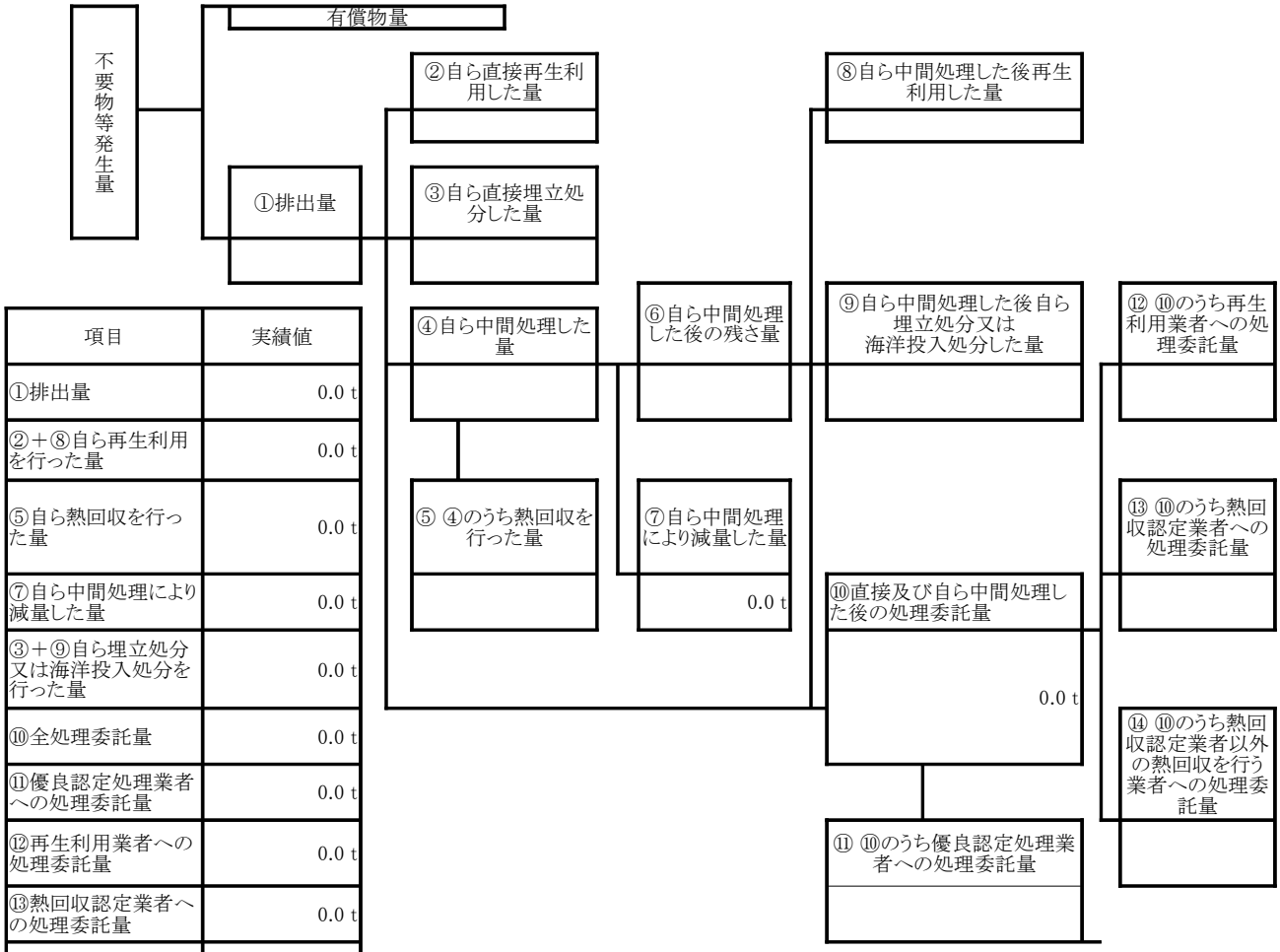
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

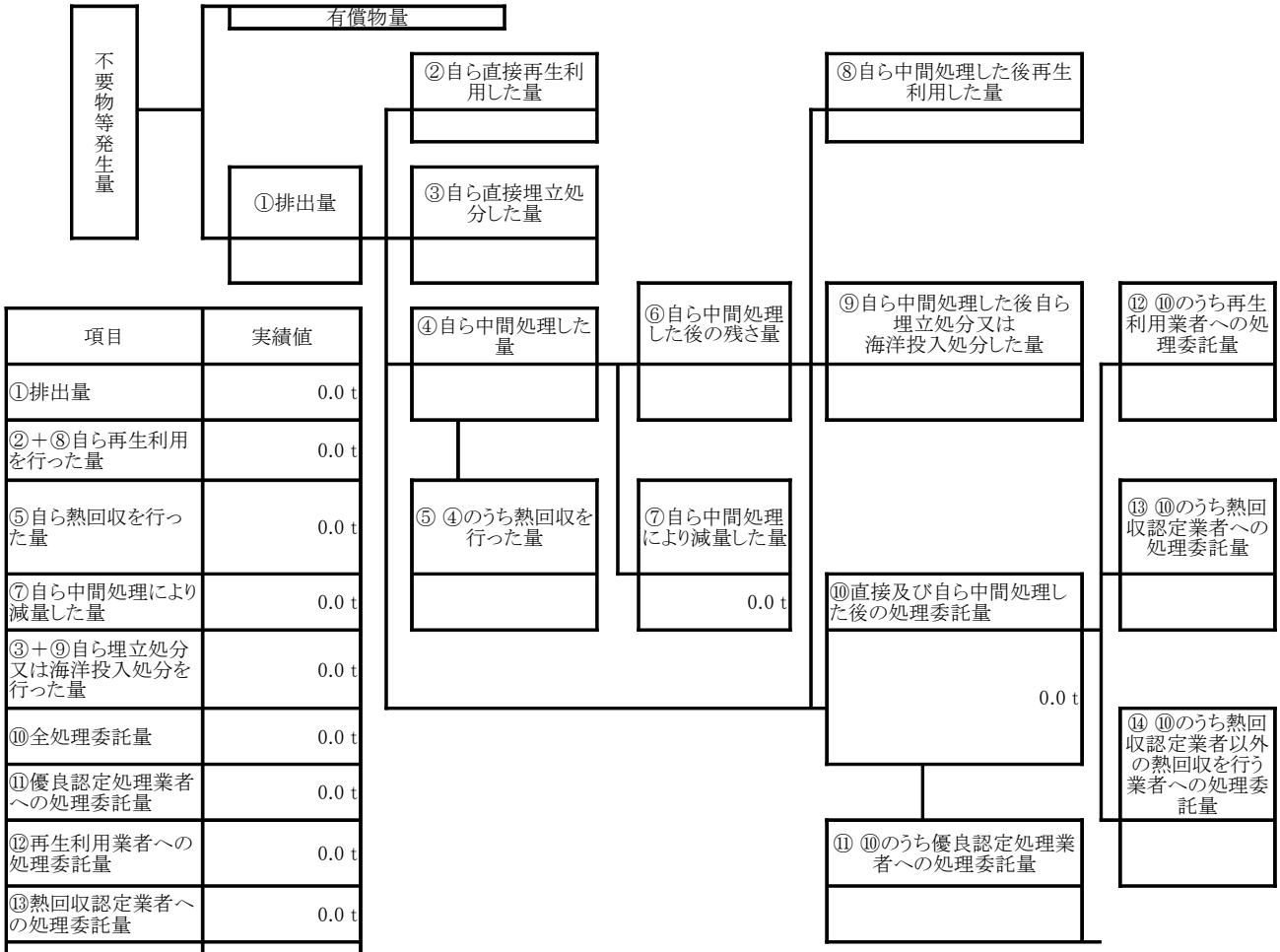


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

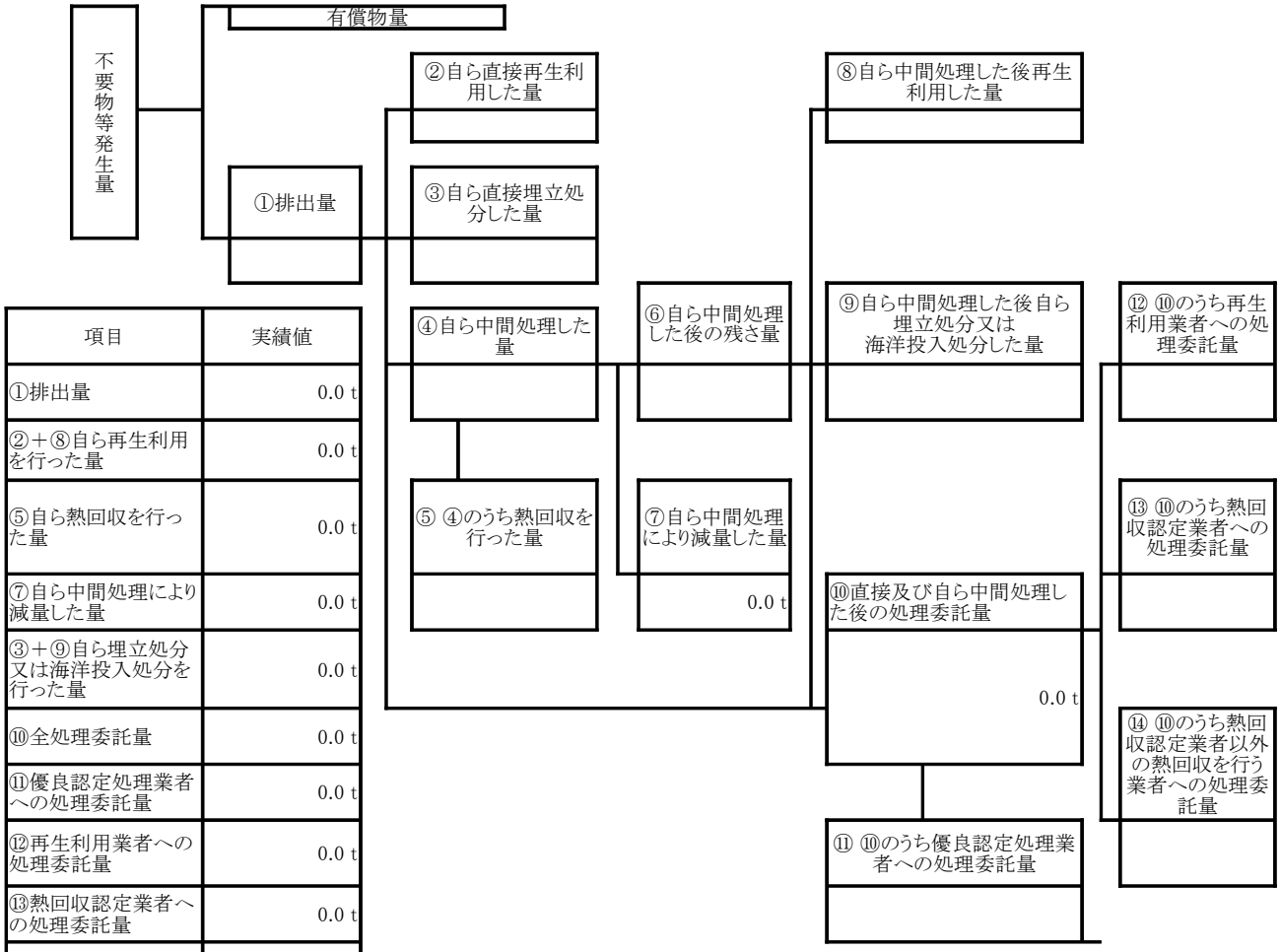


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

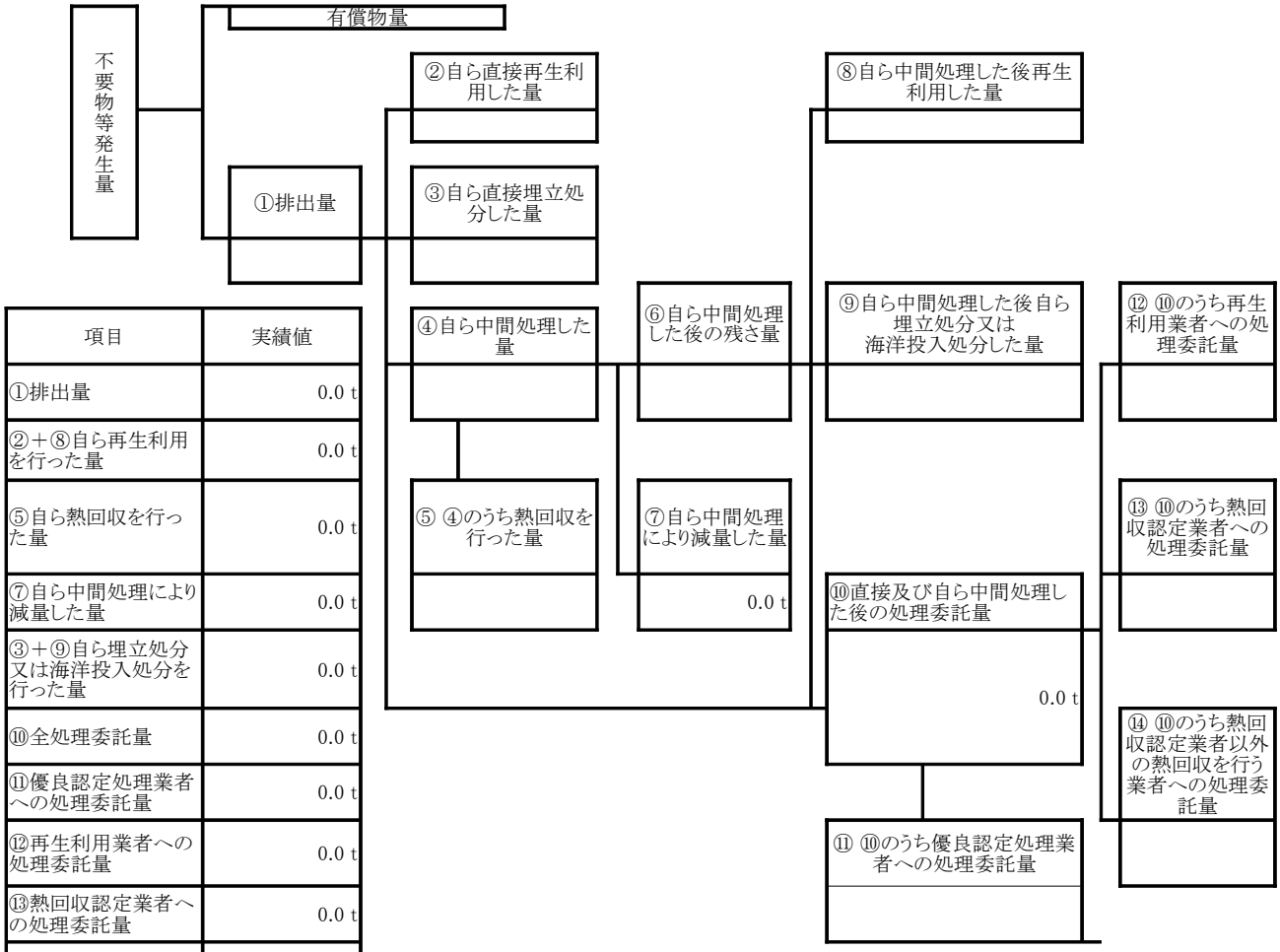


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

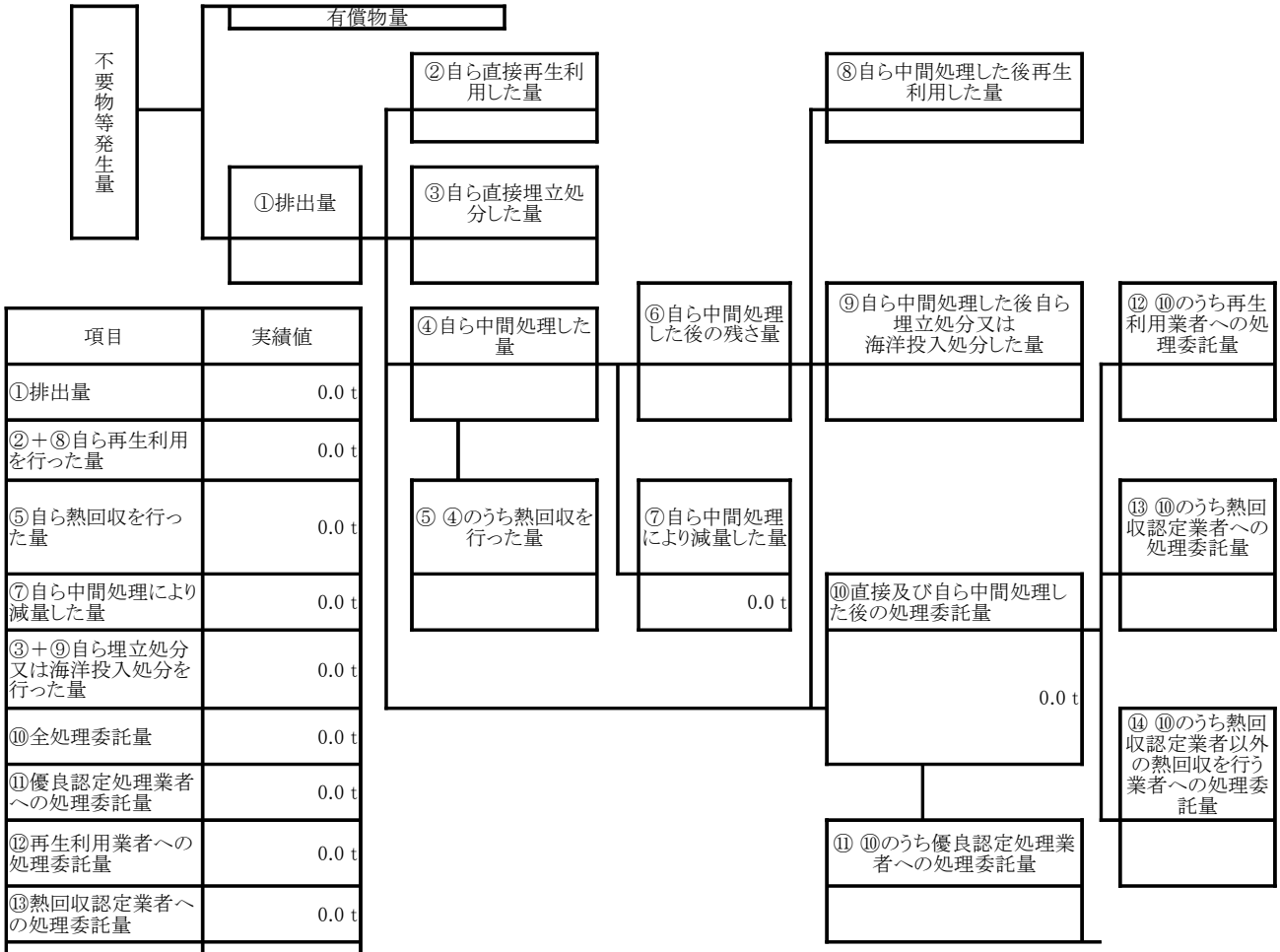


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　　６年　　６月　　19 日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒299-0266

住　所　袖ケ浦市北袖１０番地

氏　名　東邦化学工業㈱　千葉工場
工場長　越坂　誠一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0438-62-3211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東邦化学工業㈱　千葉工場
事業場の所在地	袖ケ浦市北袖１０番地
計画期間	令和　６年　４月　１日から令和　７年　３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

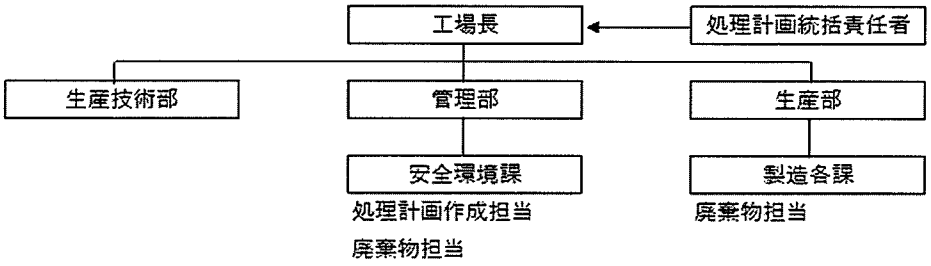
① 事業の種類	大分類：製造業　中分類：化学工業
② 事業の規模	前年度の製品出荷額　１９，９７０百万円
③ 従業員数	２８０人（正社員　２４９人、常勤関係職員　３１人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	界面活性剤製造工程 → 廃アルカリ、廃酸 → 委託処理（中間処理：焼却、中和、混合エマルジョン） → 汚泥 → 委託処理（中間処理：焼却） → 自社中間処理（自社設備で焼却） → 燃え殻 → 委託処理 スラグ化 → 廃油 → 委託処理（中間処理：焼却、混合エマルジョン） → 廃プラ → 委託処理（中間処理：焼却、再生） → 木くず → 委託処理（中間処理：粉砕燃料化） → 紙くず → 委託処理（中間処理：焼却） → 自社中間処理（自社設備で焼却） → 燃え殻 → 委託処理 スラグ化 製品性能試験、建設 → コンクリガラ → 委託処理（中間処理：粉砕） → 金属くず → 委託処理（中間処理：焼却） → 水銀使用製品産業廃棄物 → 委託処理（中間処理：破砕）

（日本工業規格　A列4番）

君津地域振興事務所
-6.6.19
収受

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
排出量	13226.2 t	274.4 t

（これまでに実施した取組）
生産計画を効率よく計画し、製品切り替え時の洗浄廃水の削減をしている。
製造量のスケールアップを検討し、生産回数の削減、洗浄回数の削減を行う。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
排出量	12000 t	200 t

（今後実施する予定の取組）
廃水処理施設を設置、稼動し産業廃棄物の排出の削減を図る。
更なる生産計画の効率化を図り、製品切り替え時で発生する廃水の削減を図る。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
種類別に分別回収している

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃溶剤を分別回収し、更なる有価販売を検討する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	廃アルカリ	廃油
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

輸入原料購入時に付いてくる木製パレットを構内で再使用できるものを分別し
利用する。また、運送業者へ積極的に提供する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	廃アルカリ	廃油
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	廃アルカリ	廃油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

製造工程で発生する汚泥の一部を一般廃棄物（紙くず）と共に自社
小型焼却炉で焼却処理している

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	廃アルカリ	廃油
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自社処理は最小限とし、熱回収処理業者へ処理を委託する。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
引続き埋立処分又は海洋投棄処分する予定はない

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
全処理委託量	13226.2 t	274.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	13226.2 t	274.4 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	19.3 t
認定熱回収業者への処理委託量	11081.2 t	0.9 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2145 t	254.2 t

（これまでに実施した取組）
優良認定業者へ優先処理委託

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ		廃油	
		全処理委託量	12000	t	200	t
		優良認定処理業者への処理委託量	12000	t	200	t
		再生利用業者への処理委託量	100	t	50	t
		認定熱回収業者への処理委託量	9900	t	10	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2000	t	140	t
		（今後実施する予定の取組） 「廃アルカリ」、「汚泥」等焼却処理する産業廃棄物を排出する先は熱回収の認定を受けた処理御者へ委託を行う				
※事務処理欄						

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	燃え殻	金属くず	廃プラスチック	紙くず	水銀使用製品	
		排　出　量	546.1 t	25.2 t	0 t	6 t	9.5 t	21.3 t	0 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	燃え殻	金属くず	廃プラスチック	紙くず	水銀使用製品	
		排　出　量	500 t	20 t	8 t	5 t	8 t	20 t	0 t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	燃え殻	金属くず	廃プラスチック	紙くず	水銀使用製品	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	燃え殻	金属くず	廃プラスチック	紙くず	水銀使用製品	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	燃え殻	金属くず	廃プラスチック	紙くず	水銀使用製品	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	14 t	0 t	0 t	0 t	0 t	5.7 t	0 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	燃え殻	金属くず	廃プラスチック	紙くず	水銀使用製品	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	20 t	0 t	0 t	0 t	0 t	5 t	0 t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和　5 年度）実績】）

産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	燃え殻	金属くず	廃プラスチック	紙くず	水銀使用製品	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	燃え殻	金属くず	廃プラスチック	紙くず	水銀使用製品	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和　5 年度）実績】）

産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	燃え殻	金属くず	廃プラスチック	紙くず	水銀使用製品	
全処理委託量	532.1 t	25.2 t	0 t	6 t	9.5 t	15.6 t	0 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	527.3 t	25.2 t	0 t	0 t	8.6 t	0 t	0 t	t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	2 t	15.6 t	0 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	284.8 t	25.2 t	0 t	0 t	6.6 t	0 t	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	247.3 t	0 t	0 t	6 t	0.9 t	0 t	0 t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	燃え殻	金属くず	廃プラスチック	紙くず	水銀使用製品	
全処理委託量	480 t	20 t	8 t	5 t	8 t	15 t	0 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	480 t	20 t	8 t	5 t	8 t	0 t	0 t	t
再生利用業者への処理委託量	20 t	0 t	8 t	0 t	4 t	15 t	0 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	400 t	20 t	0 t	5 t	4 t	0 t	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	60 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月19日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒299-0266
住 所　袖ケ浦市北袖10番地
氏 名　東邦化学工業㈱ 千葉工場
工場長 越坂 誠一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0438-62-3211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東邦化学工業㈱ 千葉工場
事業場の所在地	袖ケ浦市北袖10番地
事業の種類	大分類;製造業　中分類;化学工業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 5年 4月から令和 6年 3月

産業廃棄物処理計画における目標値

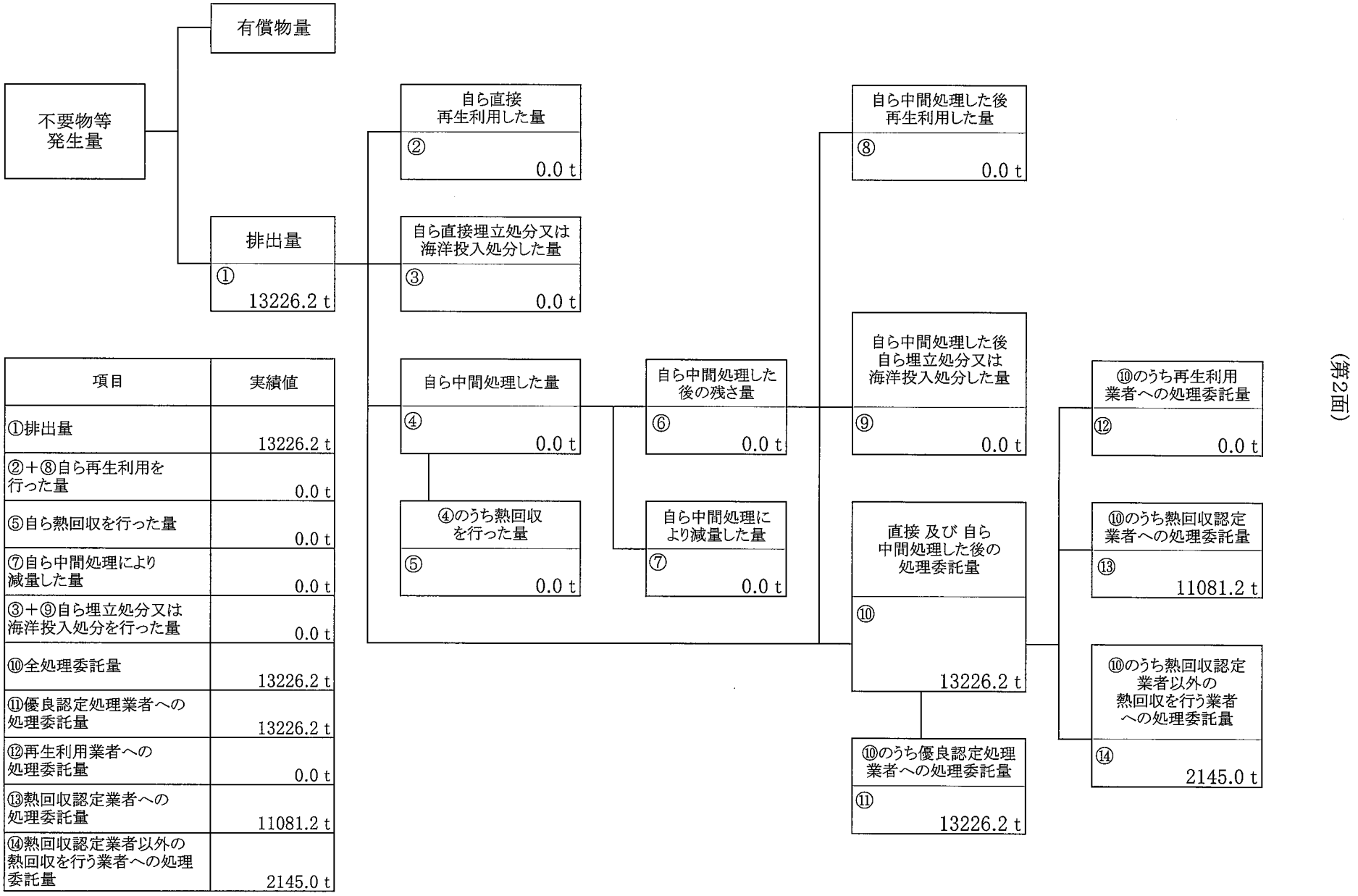
項目	目標値	項目	目標値
排出量	14313.0 t	全処理委託量	14223.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	14203.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	343.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	90.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	10320.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3560.0 t
※事務処理欄			

君津地域振興事務所 -6.6.19 収受

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　廃アルカリ　）

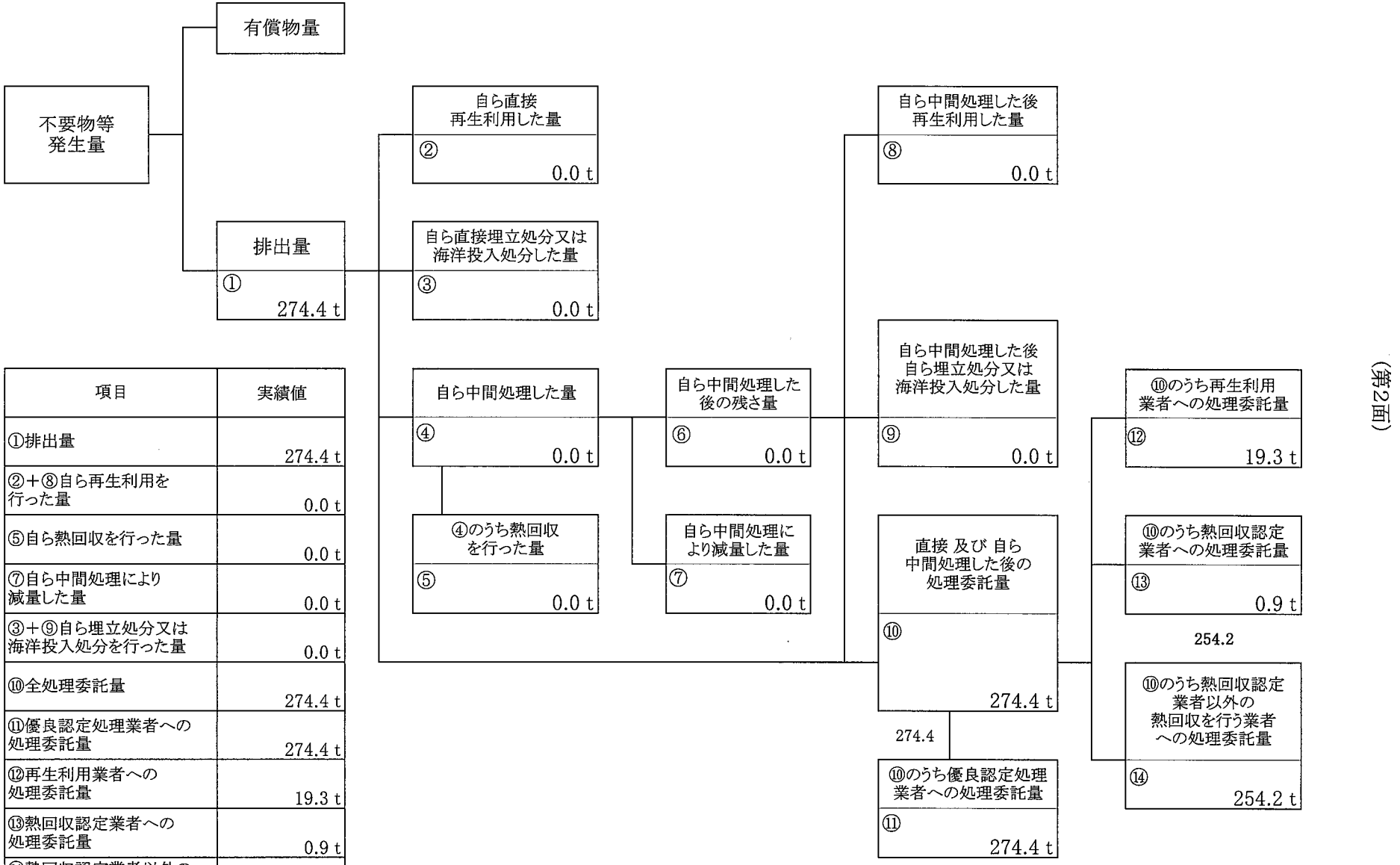


項目	実績値
①排出量	13226.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13226.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13226.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	11081.2 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2145.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃油　）

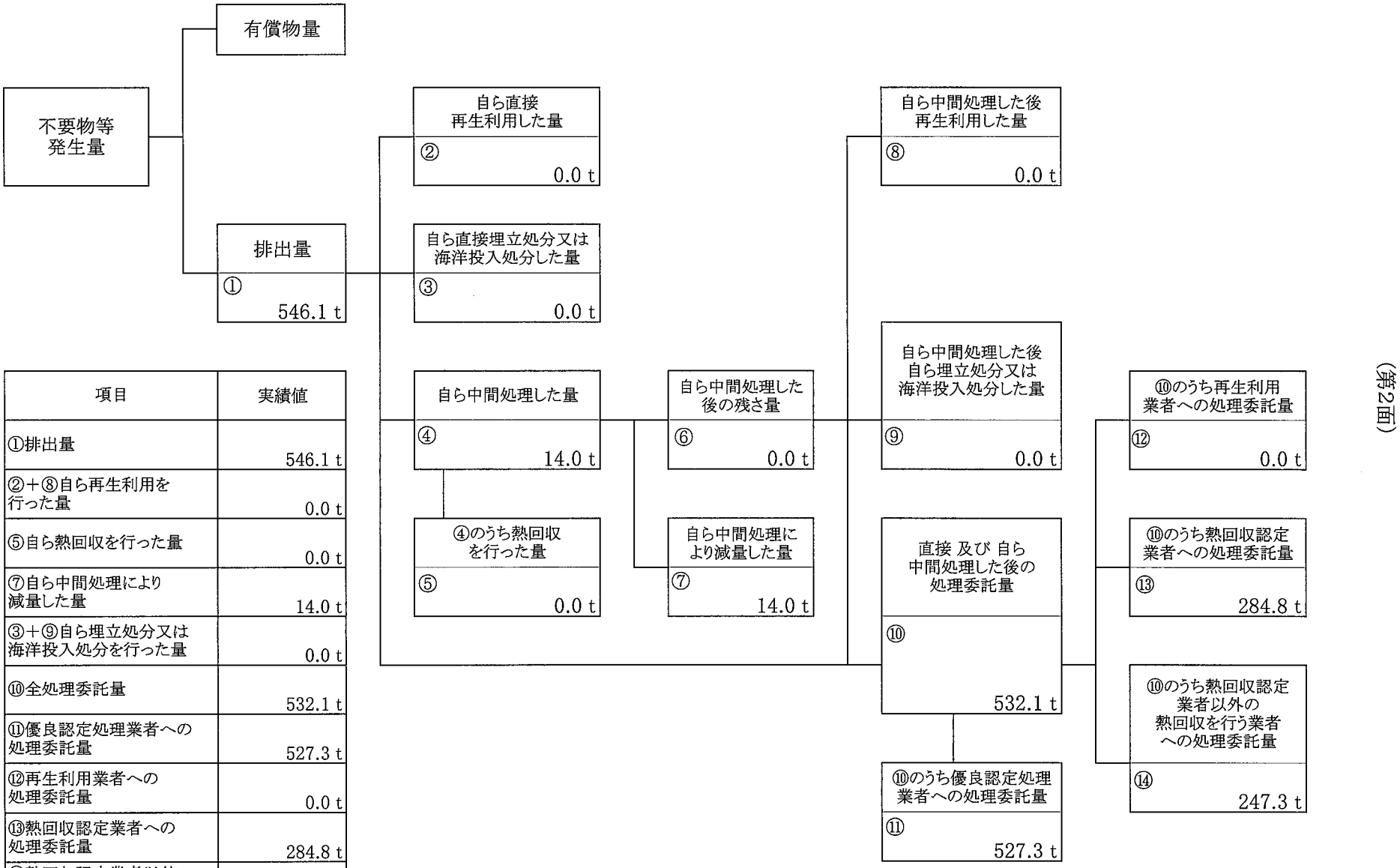


項目	実績値
①排出量	274.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	274.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	274.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	19.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.9 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	254.2 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

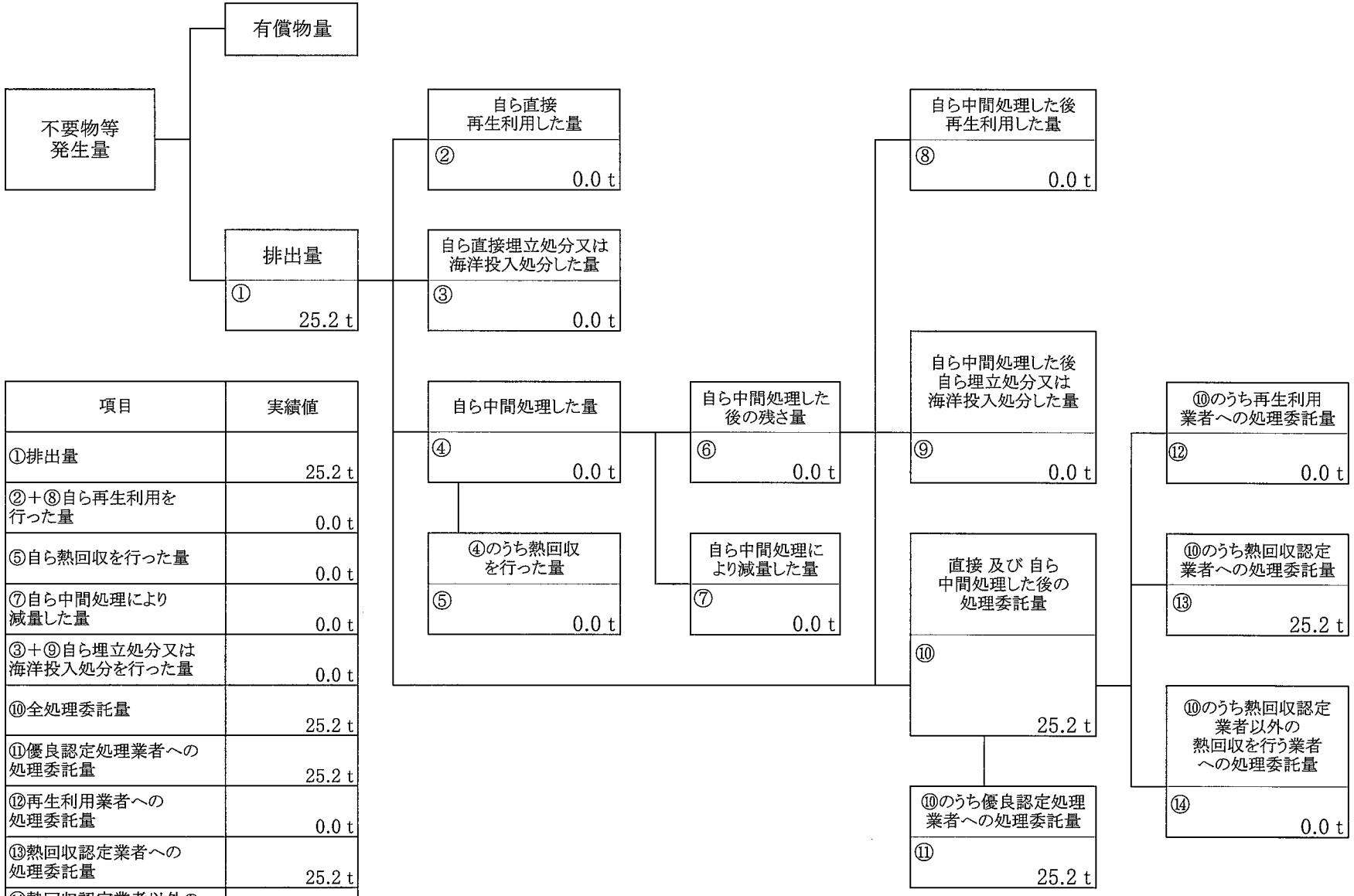


項目	実績値
①排出量	546.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	14.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	532.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	527.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	284.8 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	247.3 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃酸　　）

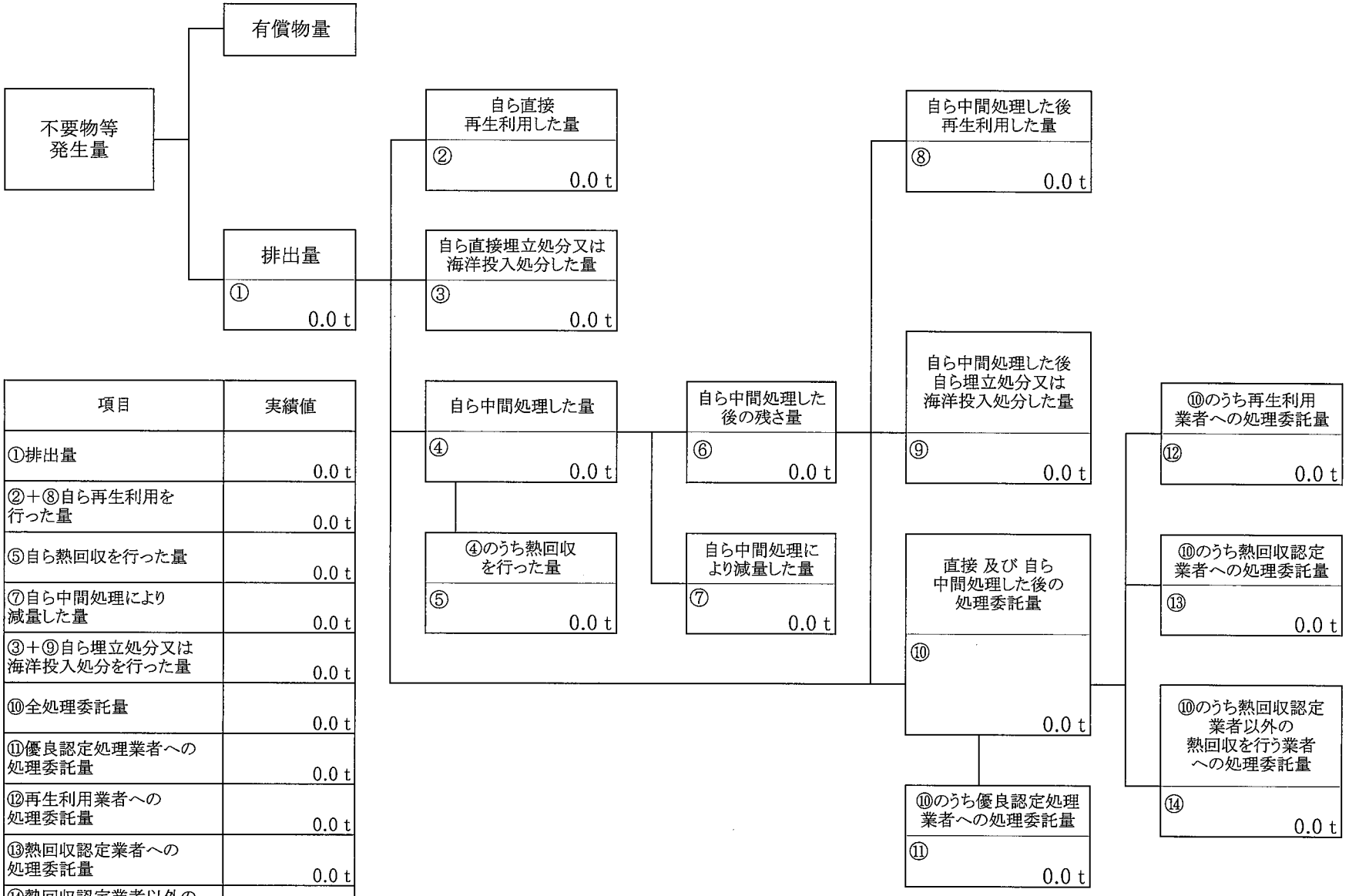


項目	実績値
①排出量	25.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	25.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	25.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	25.2 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　燃え殻　）

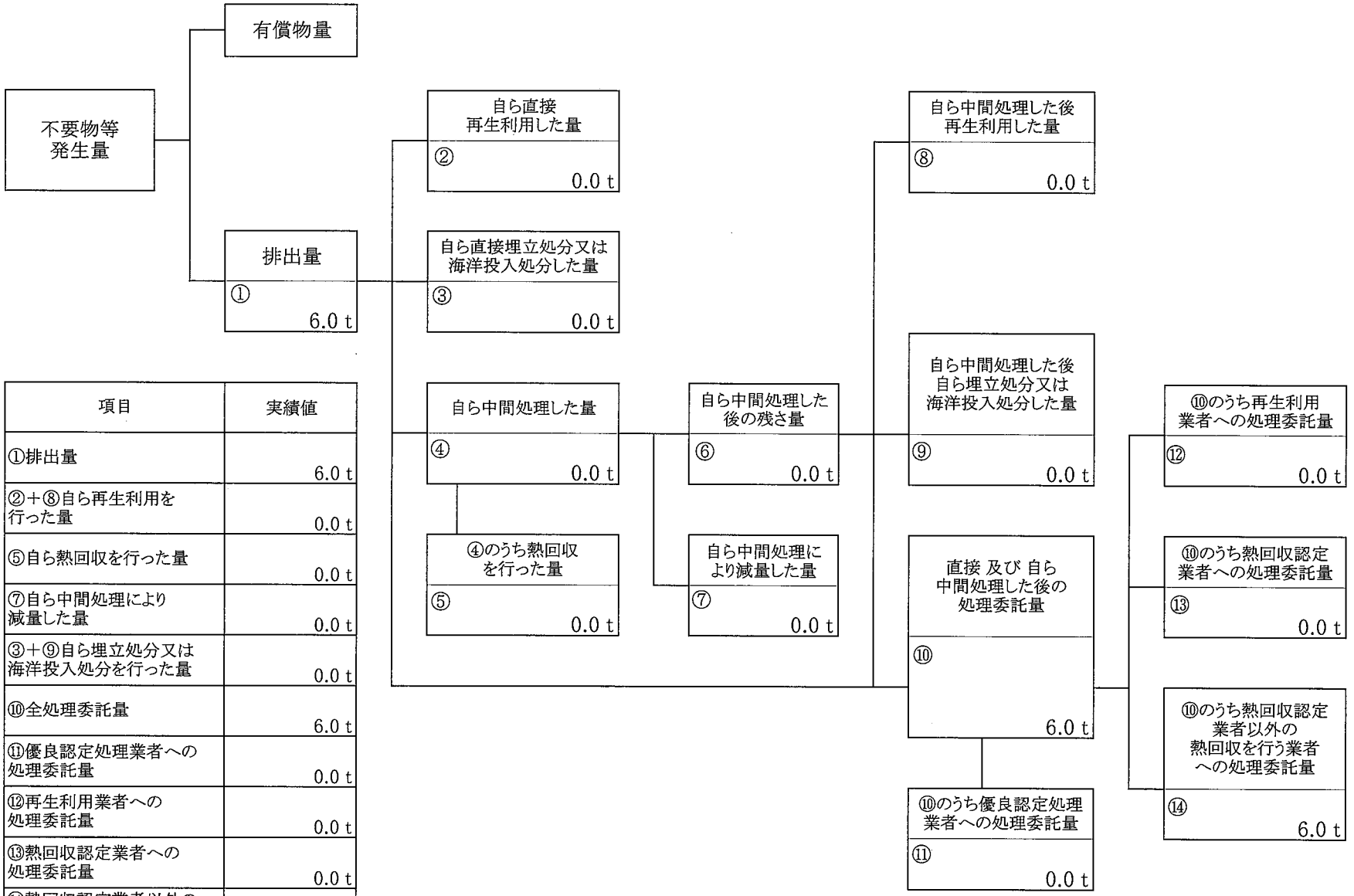


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属くず　）

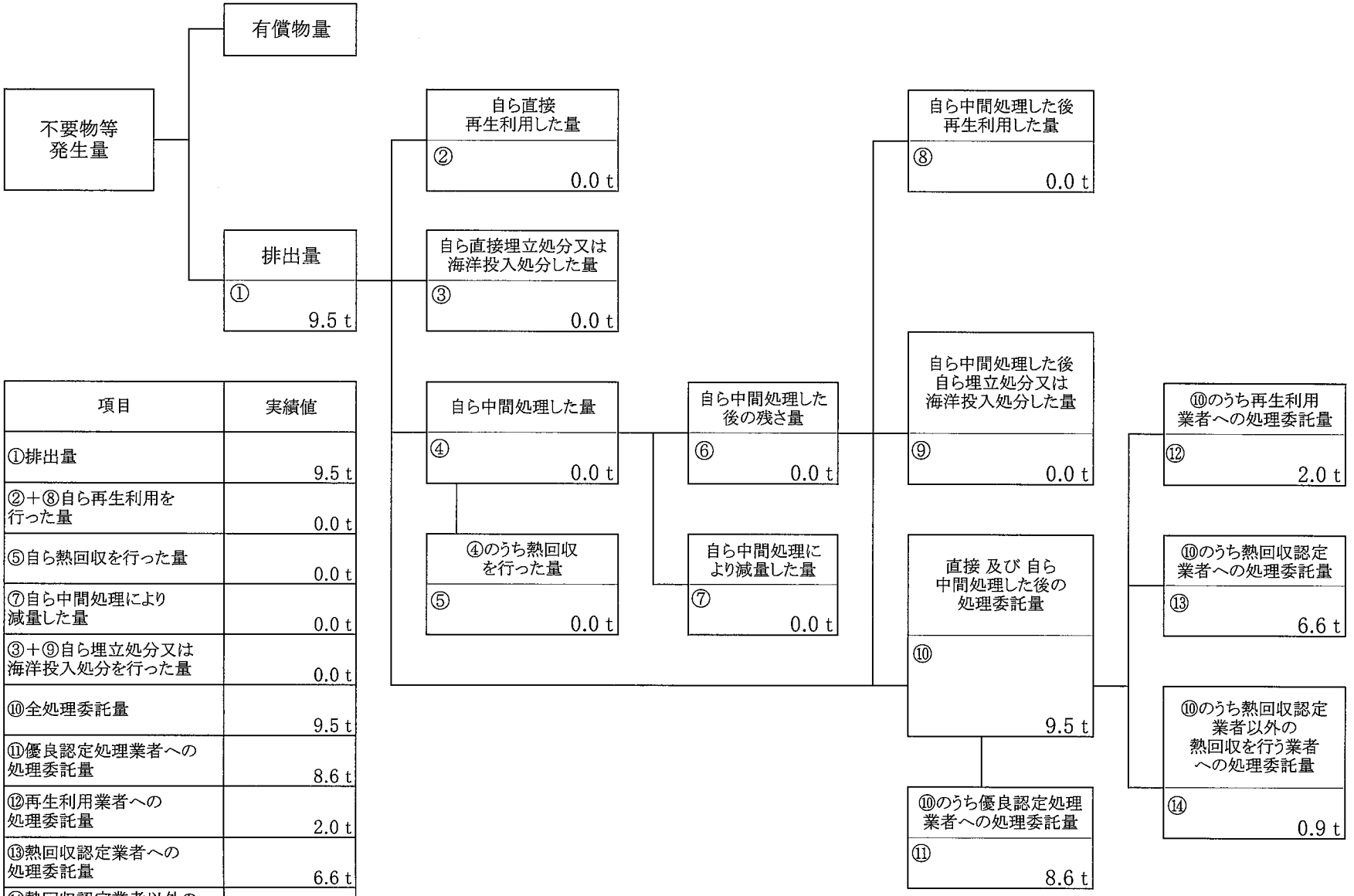


項目	実績値
①排出量	6.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	6.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃プラスチック類　）

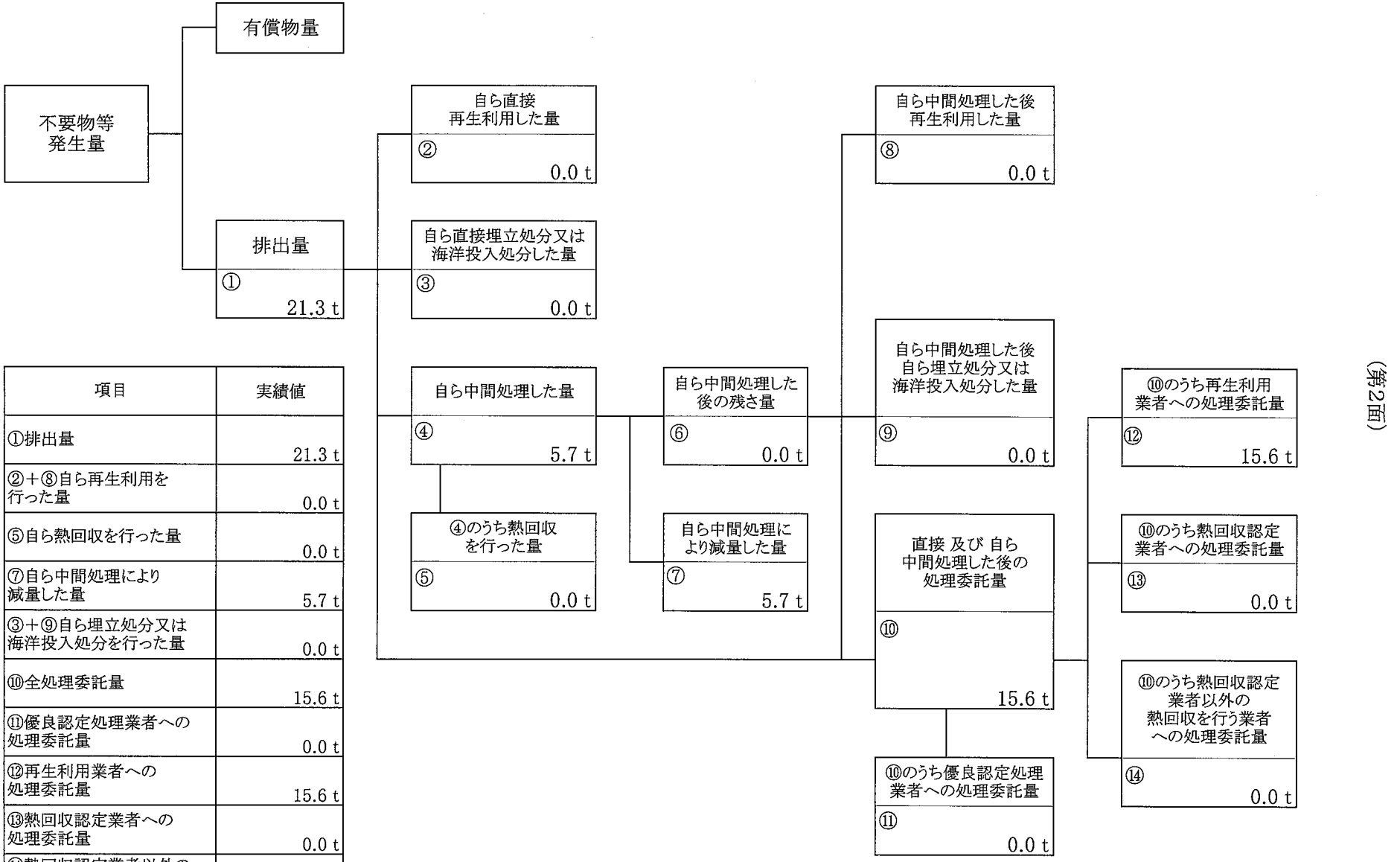


項目	実績値
①排出量	9.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	6.6 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.9 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　紙くず　）

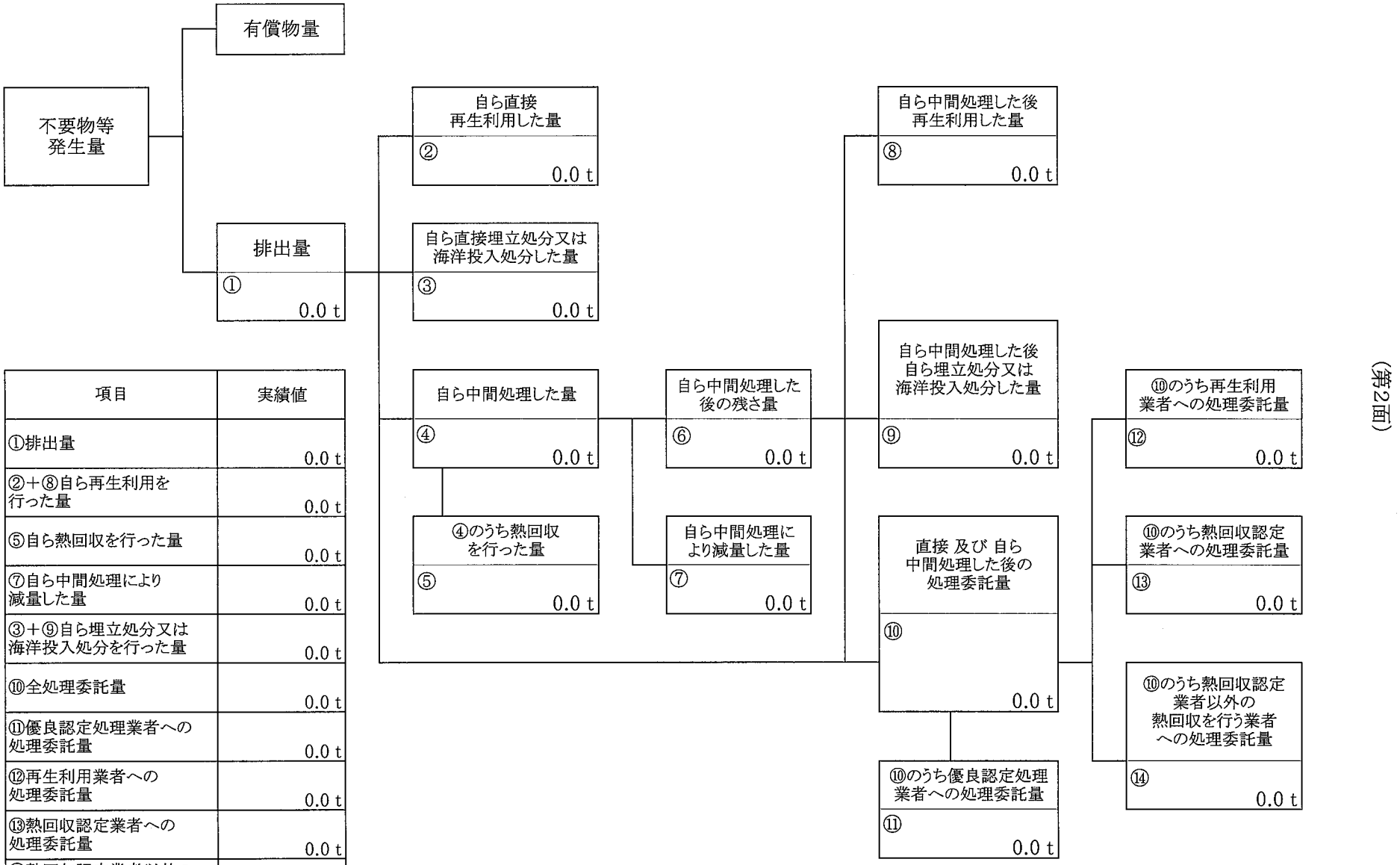


項目	実績値
①排出量	21.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	5.7 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	15.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	15.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　水銀使用製品　　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和　　6年　6月　19日

千葉県知事
熊谷　俊人　　殿

提出者 〒299-~~0206~~-0266

住　所　袖ケ浦市北袖１０番地

氏　名　東邦化学工業㈱　千葉工場
工場長　越坂　誠一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0438-62-3211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東邦化学工業㈱　千葉工場
事業場の所在地	袖ケ浦市北袖１０番地
計画期間	令和　6年　4月　1日から令和　7年　3月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

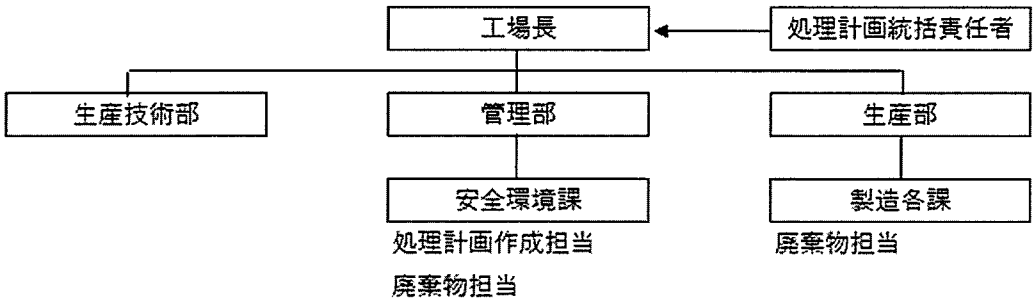
①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：化学工業
②事業の規模	前年度の製品出荷額　　１９，９７０百万円
③従業員数	２８０人（正社員　２４９人、常勤関係職員　３１人）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	界面活性剤製造工程 → 強アルカリ → 委託処理（中間処理：焼却、混合エマルジョン） 廃酸(強酸) → 委託処理（中間処理：焼却、中和） 引火性廃油 → 委託処理（中間処理：焼却、混合エマルジョン）

（日本工業規格　A列４番）

君津地域振興事務所
-6.6.19
収受

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃酸(強酸)
排　出　量	337.8　t	357.4　t

（これまでに実施した取組）
洗浄用廃油をリサイクル使用し、排出量を削減する

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃酸(強酸)
排　出　量	300　t	300　t

（今後実施する予定の取組）
引き続き、洗浄用廃油の再利用を継続する

廃油の有価販売先を開拓し、廃棄物を削減する

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃油を分別し、燃料化業者へ委託している

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
今後も廃油を分別し、燃料化業者へ委託を継続する

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃酸（強酸）
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
特になし

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃酸（強酸）
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
特になし

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃酸（強酸）
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
中間処理できるものはない

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃酸（強酸）
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組 ）
中間処理できるものはない

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃酸(強酸)
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で埋立処分を行ったことはない

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃酸(強酸)
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
引続き埋立処分する予定はない

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃酸(強酸)
全処理委託量	337.8 t	357.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	337.8 t	357.4 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	81 t	144.9 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	256.8 t	212.5 t

（これまでに実施した取組）
廃油の内、分別回収できたものを、燃料化業者へ委託している。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類		強アルカリ	廃酸(強酸)
全処理委託量		300 t	300 t
	優良認定処理業者への処理委託量	300 t	300 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	200 t	200 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	100 t	100 t

（今後実施する予定の取組）
「強アルカリ」、「強酸」等焼却処理する特別産業廃棄物を排出する先は、優良認定処理業者へ委託を行う。

電子情報処理組織の使用に関する事項

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	879 t

（今後実施する予定の取組等）
今後も３日以内の登録を心掛ける。

※事務処理欄

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)							
		排　出　量	183.8 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)							
		排　出　量	150 t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)							
		自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)							
		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)							
		自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)							
		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の種類	0 t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)							
	全処理委託量	183.8 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	183.8 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	96 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	62.6 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	25.2 t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)							
	全処理委託量	150 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	150 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	100 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	40 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	10 t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月19日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒299-0266
住 所　袖ケ浦市北袖10番地
氏 名　東邦化学工業㈱ 千葉工場
工場長 越坂 誠一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0438-62-3211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東邦化学工業㈱ 千葉工場
事業場の所在地	袖ケ浦市北袖10番地
事業の種類	大分類:製造業　中分類:化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 5年 4月から令和 6年3月

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	680.0 t	全処理委託量	680.0 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	680.0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	160.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	380.0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	140.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	845.3 t
	前年度	879.0 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

電子マニフェスト導入済み

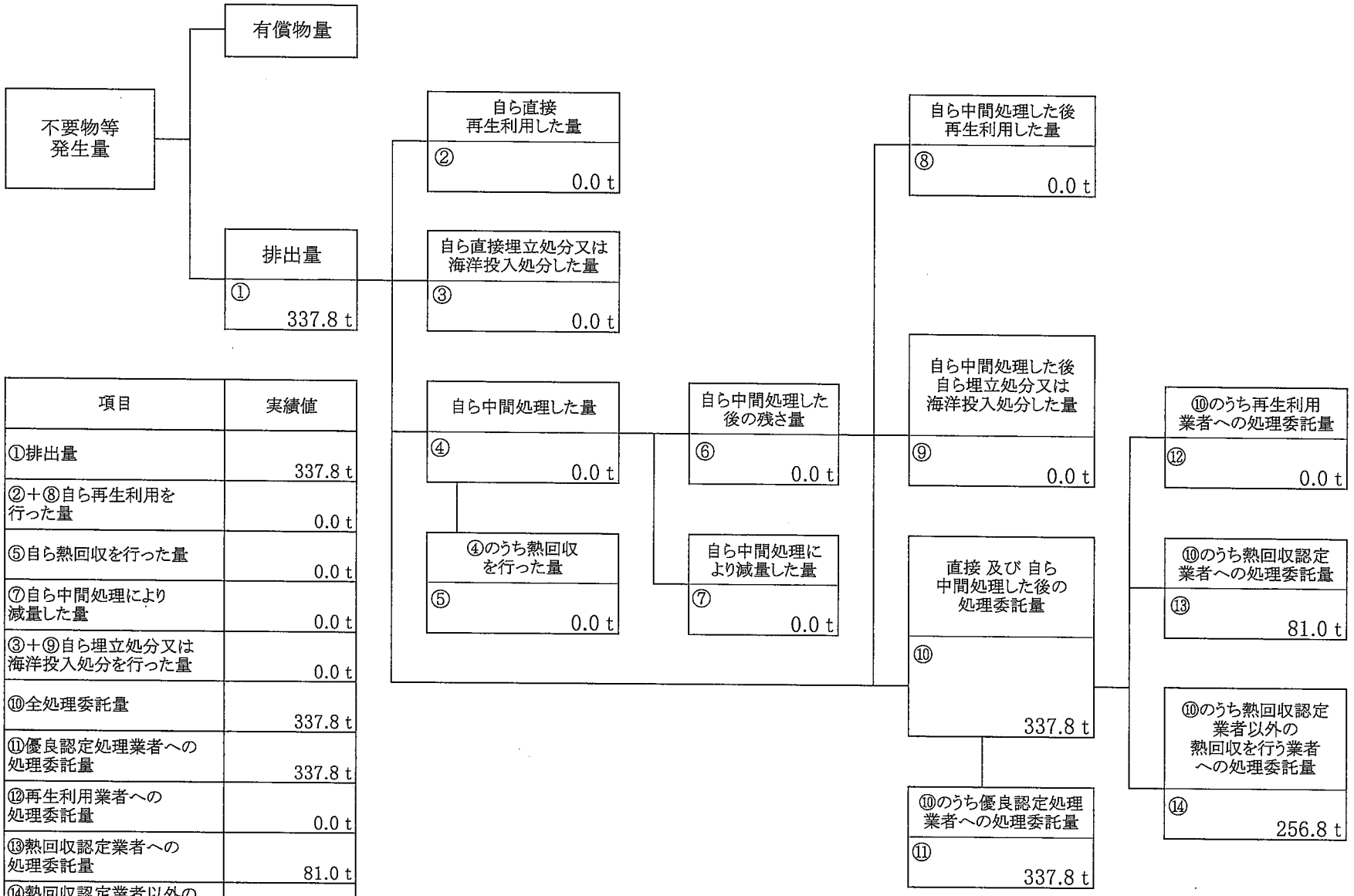
※事務処理欄	

君津地域振興事務所 -6.6.19 収受

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃アルカリ(強アルカリ)　）

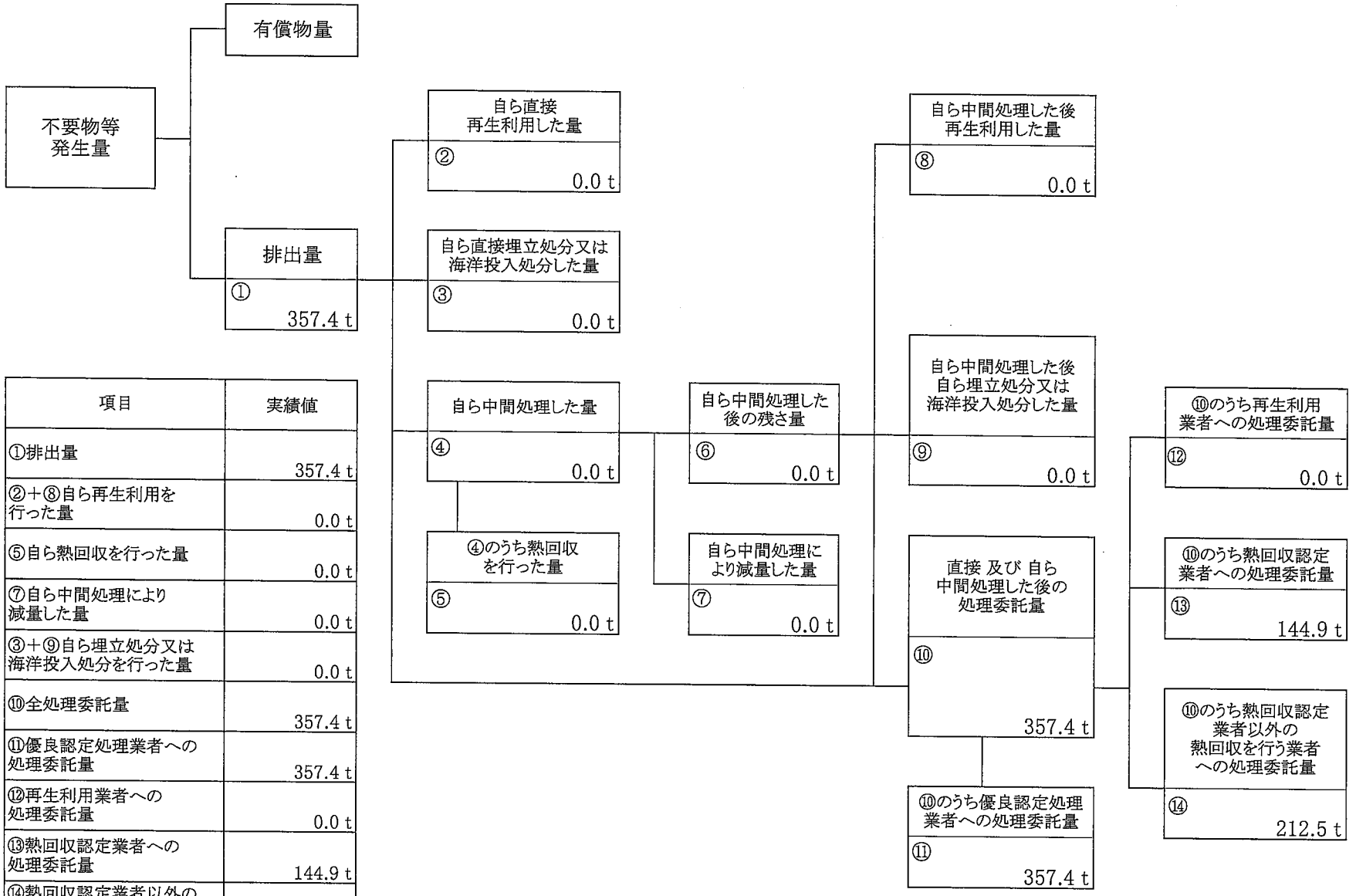


項目	実績値
①排出量	337.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	337.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	337.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	81.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	256.8 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃酸(強酸)　）

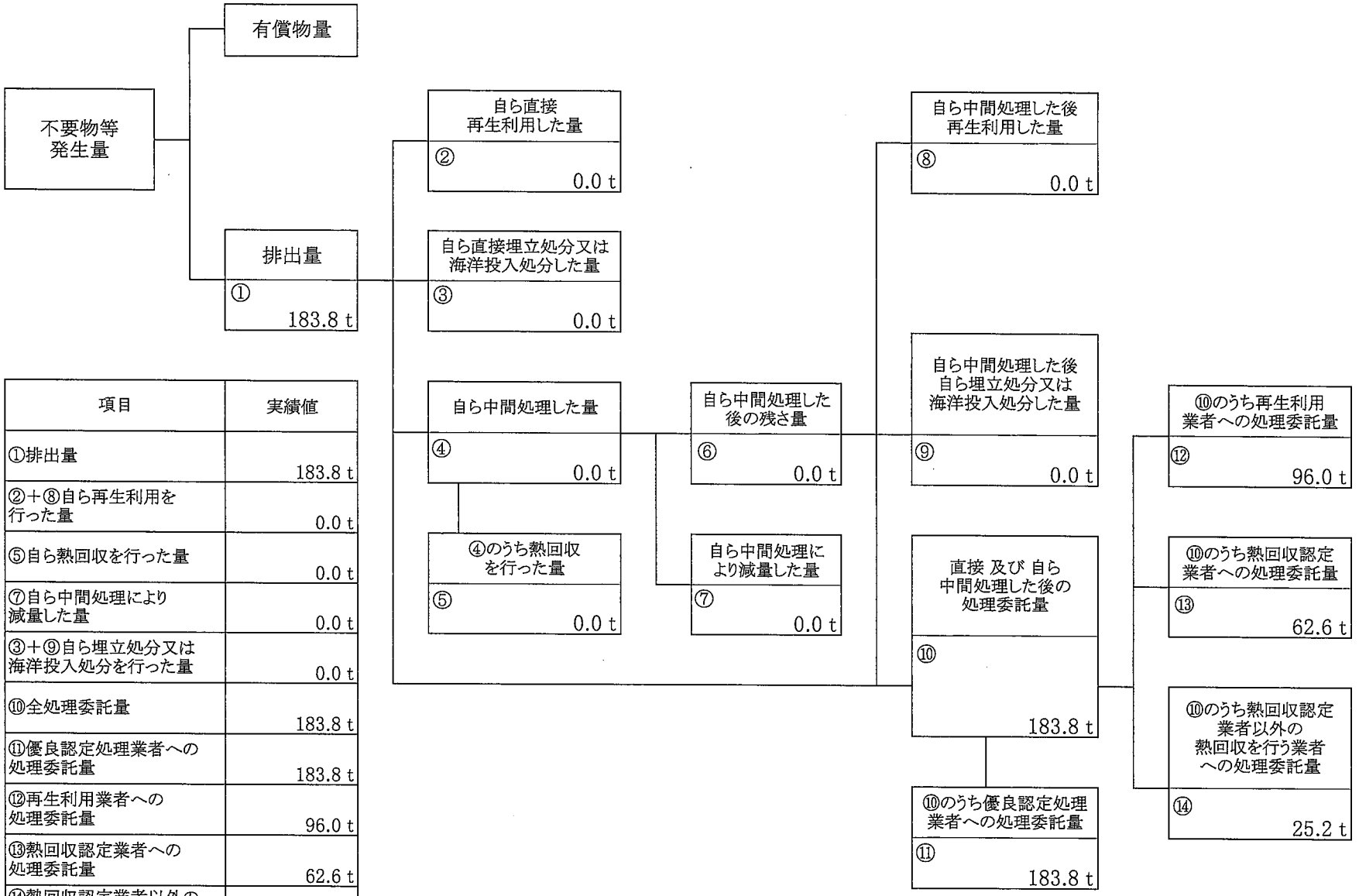


項目	実績値
①排出量	357.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	357.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	357.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	144.9 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	212.5 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃油(引火性)　）



項目	実績値
①排出量	183.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	183.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	183.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	96.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	62.6 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	25.2 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　　6年　　6月　26日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒272-0012

住　所　千葉県市川市上妙典1603番地

氏　名　東洋合成工業株式会社　市川工場

工場長　木村　純

電話番号　047-327-2121

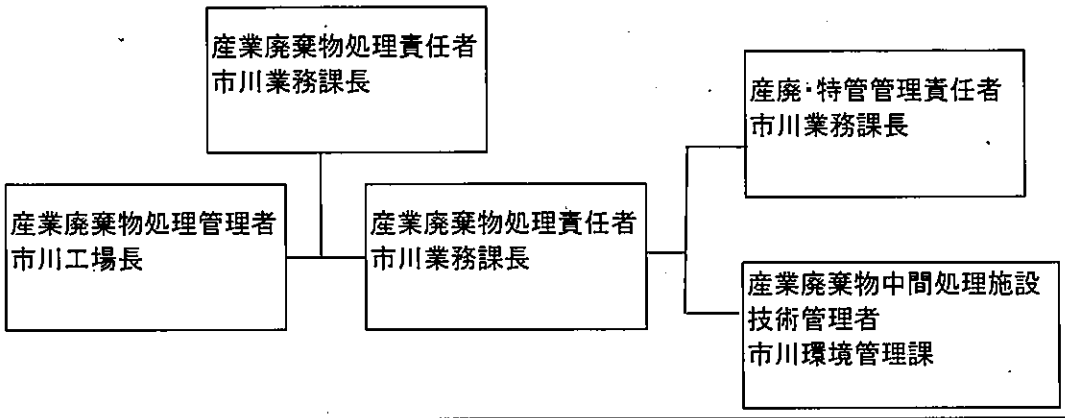
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東洋合成工業株式会社　市川工場
事業場の所在地	千葉県市川市上妙典1603番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	大分類：製造業　　中分類：化学工業
②　事業の規模	前年度の製造品出荷額約51億円
③　従業員数	145人（正社員124人、常勤関係社員21人）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１参照

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】　別紙2参照		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	4450.10 t	t
	（これまでに実施した取組） 産業廃棄物の削減を図るため、副生油を燃料として工場内で消費した。 生産効率の向上にロスを減らした。		
②計画	【目標】　別紙2参照		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	4245.85 t	t
	（今後実施する予定の取組） 工程の改善など生産性の向上によりロスをなくす。 廃水の自社処理、副生油の工場内消費を継続して行なう。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃木材・廃プラスチック・金属くずについては分別を徹底的に行ない、再利用につなげた。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記の分別は継続して行ない、環境負荷低減に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	廃油	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	821.62　t	t

（これまでに実施した取組）
工場内で発生した副生油を燃料として消費した。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	廃油	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	805.19　t	t

（今後実施する予定の取組）
引き続き、副生油を燃料として消費する。
廃油の発生自体も削減していきたい。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	汚泥	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2153.71　t	t

（これまでに実施した取組）
脱水処理施設の稼働により、上記量を削減した。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	汚泥	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2046.03　t	t

（今後実施する予定の取組）
今後も脱水処理施設の稼働により廃棄物量を削減する。
一年を通じて安定した脱水処理施設の運営を行なう。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） これまでに実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】　別紙3参照		
	産業廃棄物の種類_		
	全処理委託量_	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 優良認定を受けている産廃処理場のほうが望ましいが、処理会社とコミュニケーションを取り、適正に処分をできる処理会社を選択した。		

	②計画	【目標】　別紙3参照		
		産業廃棄物の種類_		
		全処理委託量_	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 日常から処理会社と密なコミュニケーションを取り、現状をきちんと把握しておく。優良認定を受けている処理会社を中心に考えるが、そうでない会社でも事業が適正にできるかを見極める力を持って取り組む。		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

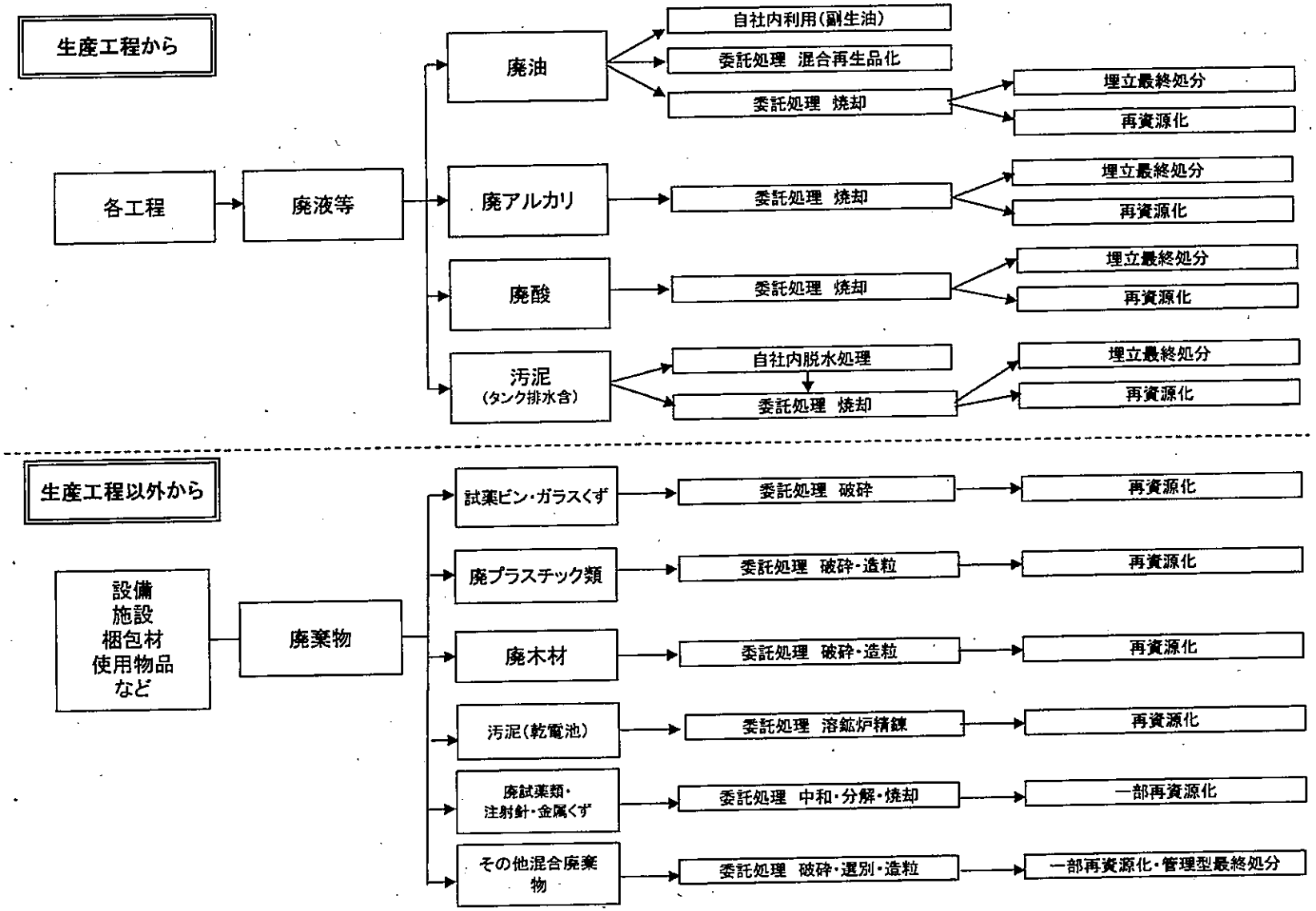
5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

【別紙1】④産業廃棄物の一連の処理の工程

別紙1



(別紙2) 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙2

【前年度（5年度）実績】

①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	廃酸	廃アルカリ	廃油	汚泥	金属くず	水銀使用製品	複合材
	排出量	1.95t	1.16t	6.20t	0.01t	997.45t	916.55t	2524.53t	0.00t	0.00t	2.24t

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	廃酸	廃アルカリ	廃油	汚泥	金属くず	水銀使用製品	複合材
	排出量	1.85t	1.10t	5.89t	0.01t	947.58t	888.99t	2398.31t	0.00t	0.00t	2.13t

(別紙3) 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙3

【前年度（5年度）実績】

	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	廃酸	廃アルカリ	廃油	汚泥	金属くず	水銀使用製品	複合材
①現状	全処理委託量	1.95t	1.16t	6.20t	0.01t	997.45t	94.93t	370.82t	0.00t	0.00t	2.24t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.95t	1.16t	0.25t	0.01t	997.45t	94.93t	370.82t	0.00t	0.00t	2.24t
	再生利用業者への処理委託量	1.95t	1.16t	6.20t	0.00t	0.00t	94.79t	0.00t	0.00t	0.00t	2.24t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.80t	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.01t	925.27t	0.14t	370.02t	0.00t	0.00t	0.00t

【目標】

	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	廃酸	廃アルカリ	廃油	汚泥	金属くず	水銀使用製品	複合材
②計画	全処理委託量	1.85t	1.10t	5.89t	0.01t	947.58t	83.80t	352.28t	0.00t	0.00t	2.13t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.85t	1.10t	0.24t	0.01t	947.58t	83.80t	352.28t	0.00t	0.00t	2.13t
	再生利用業者への処理委託量	1.85t	1.10t	5.89t	0.00t	0.00t	83.80t	0.00t	0.00t	0.00t	2.13t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.76t	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.01t	879.01t	0.00t	351.52t	0.00t	0.00t	0.00t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月26日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒272-0012
住　所　千葉県市川市上妙典1603番地
氏　名　東洋合成工業株式会社　市川工場
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
工場長　木村　純
電話番号　047-327-2121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東洋合成工業株式会社　市川工場
事業場の所在地	千葉県市川市上妙典1603番地
事業の種類	大分類:製造業　中分類:化学工業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月から令和6年3月

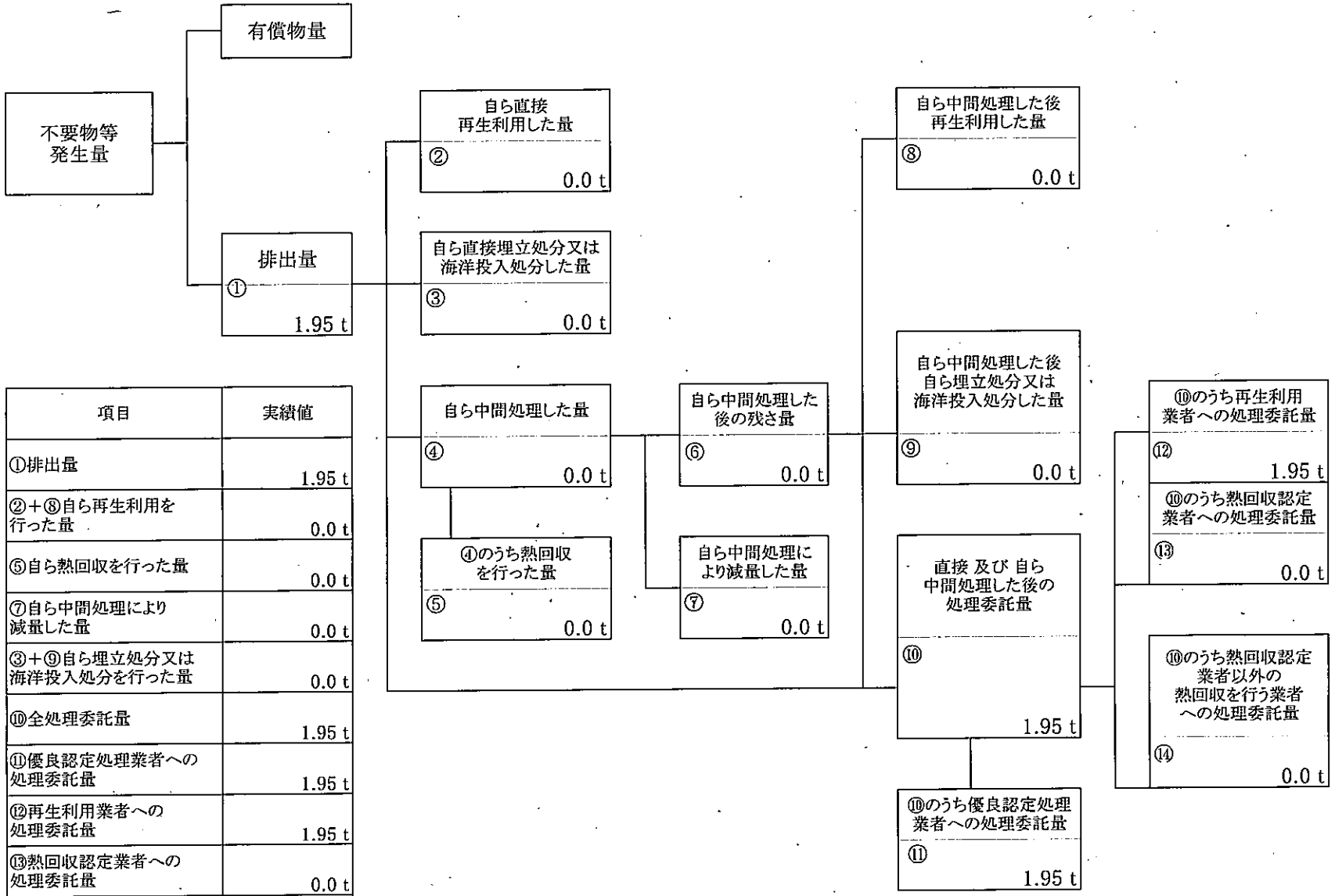
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	6646.81 t	全処理委託量	2107.54 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1194.67 t	優良認定処理業者への処理委託量	792.07 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	180.53 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3344.60 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1287.46 t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック類　　）

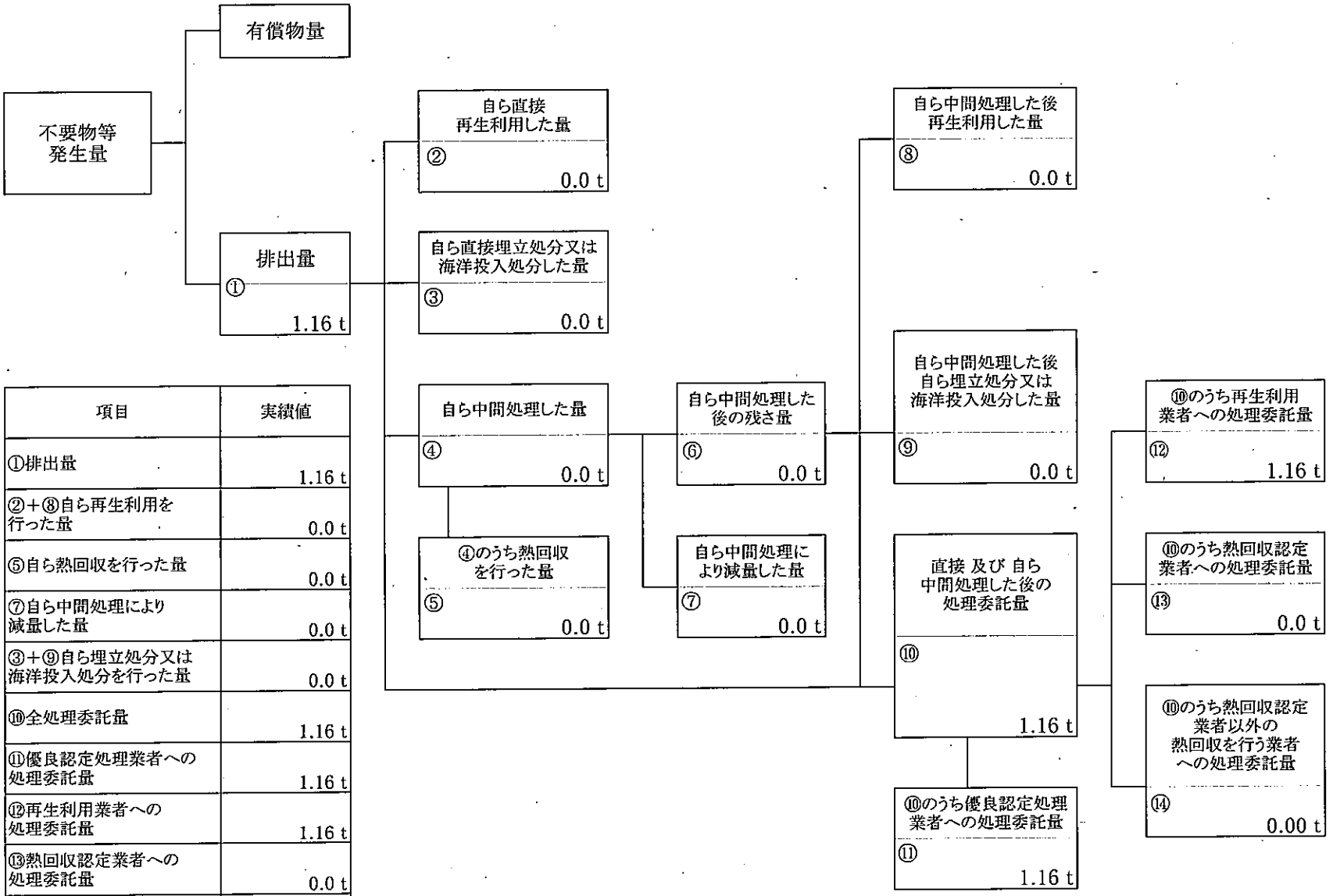


項目	実績値
①排出量	1.95 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.95 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.95 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.95 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・コンクリート・陶磁器くず　）

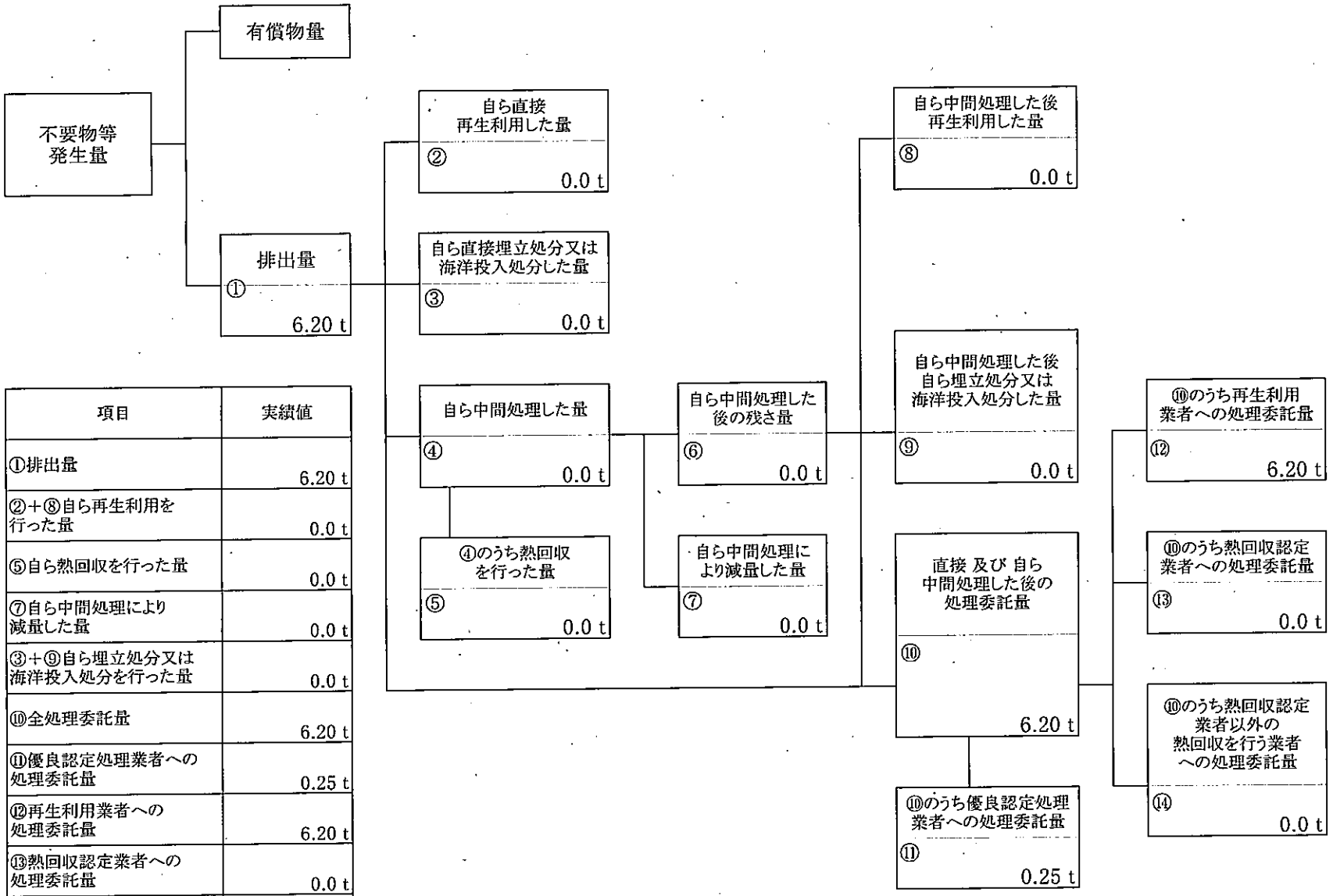


項目	実績値
①排出量	1.16 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.16 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.16 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.16 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　木くず　　）

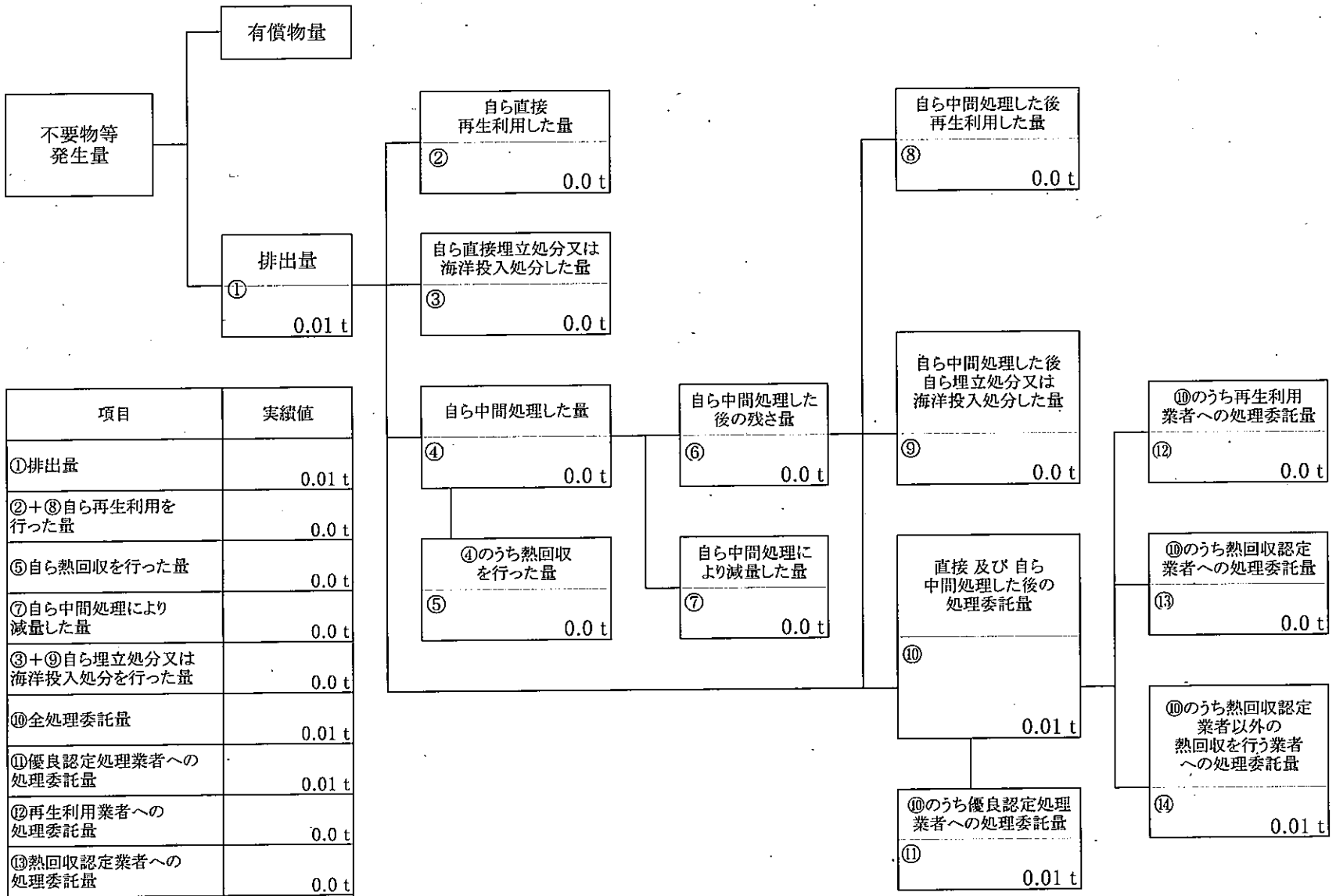


項目	実績値
①排出量	6.20 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.20 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.25 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.20 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃酸　　）

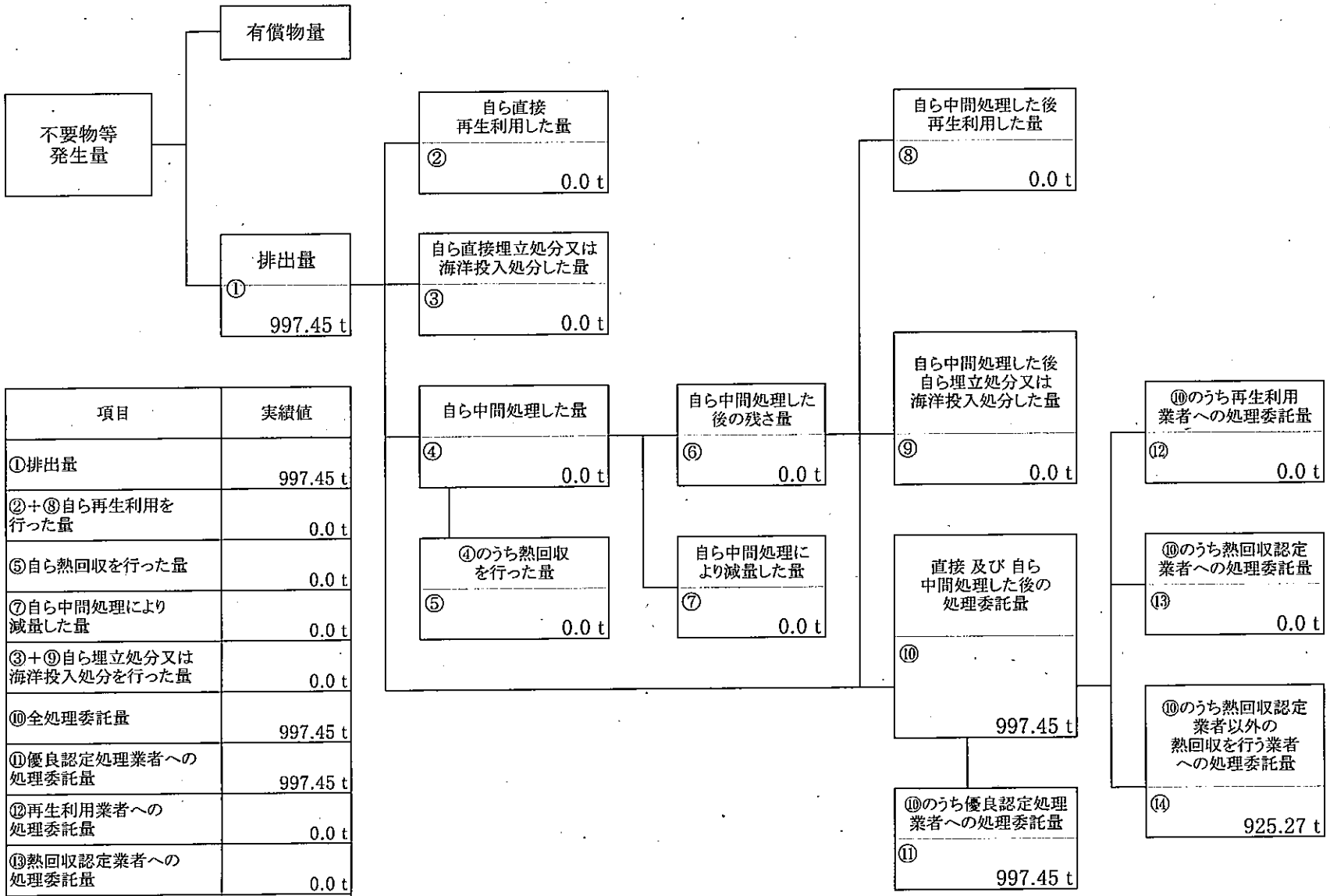


項目	実績値
①排出量	0.01 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.01 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.01 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.01 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃アルカリ　　）

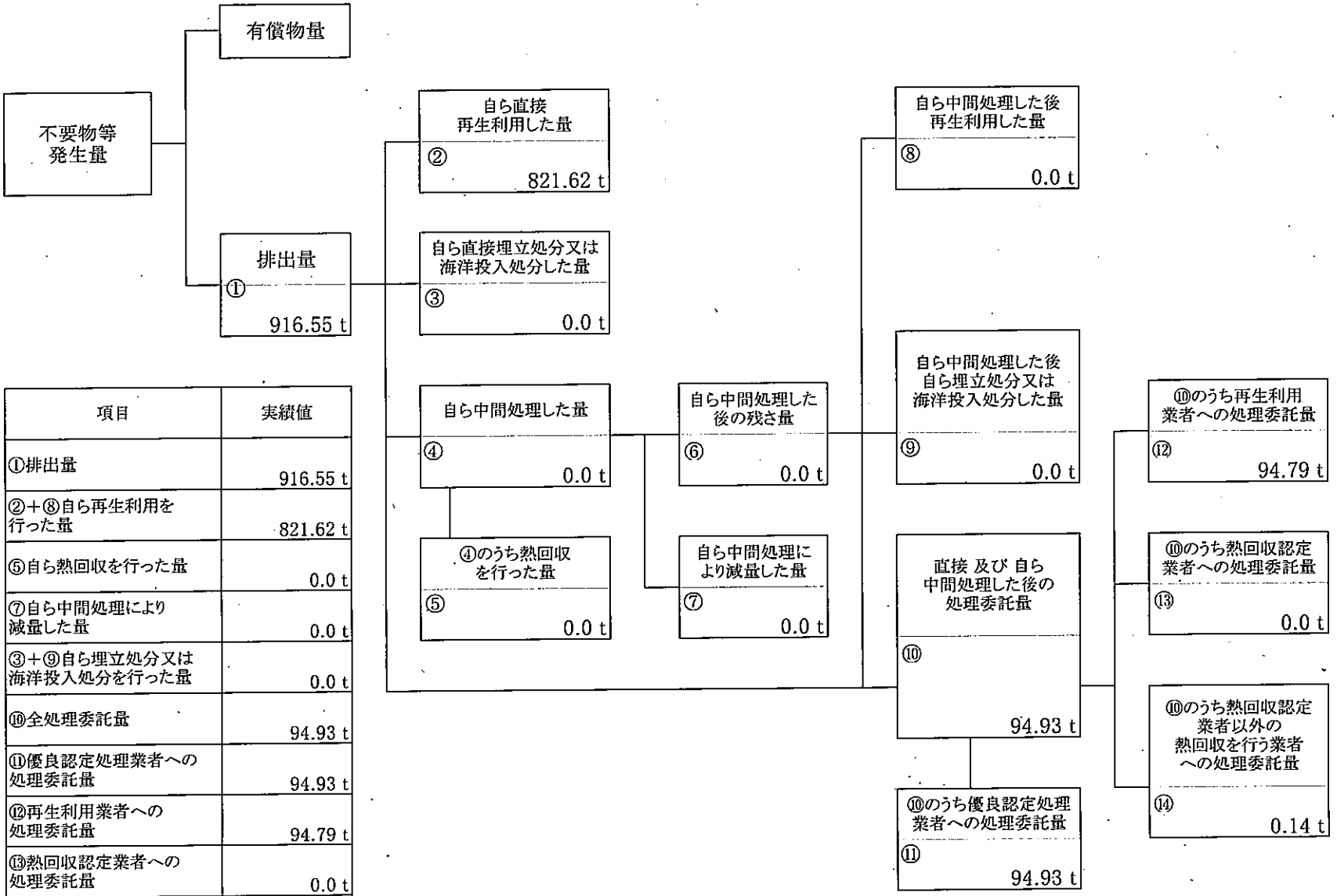


項目	実績値
①排出量	997.45 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	997.45 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	997.45 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	925.27 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　廃油　）

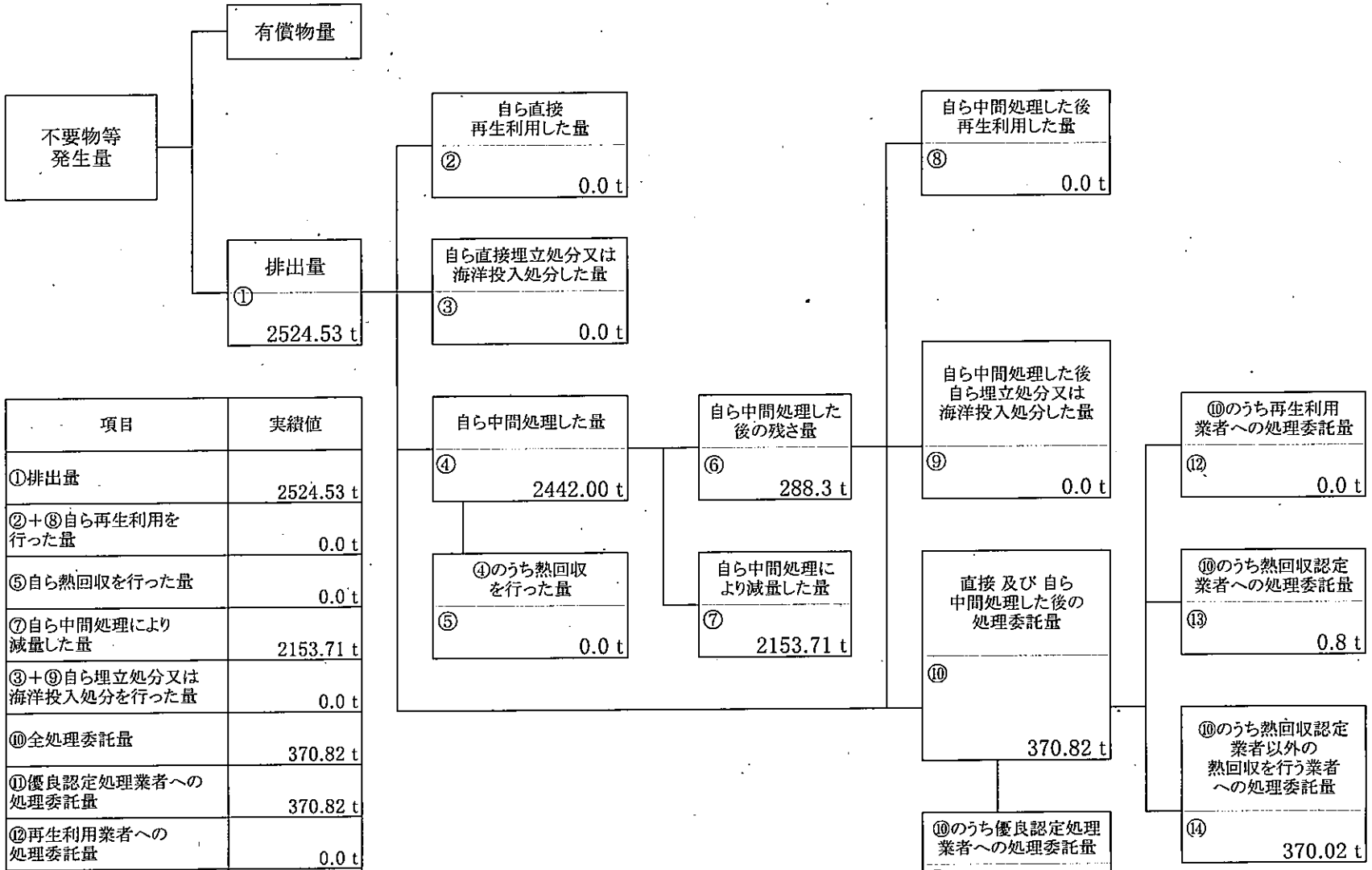


項目	実績値
①排出量	916.55 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	821.62 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	94.93 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	94.93 t
⑫再生利用業者への処理委託量	94.79 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.14 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　汚泥　　）

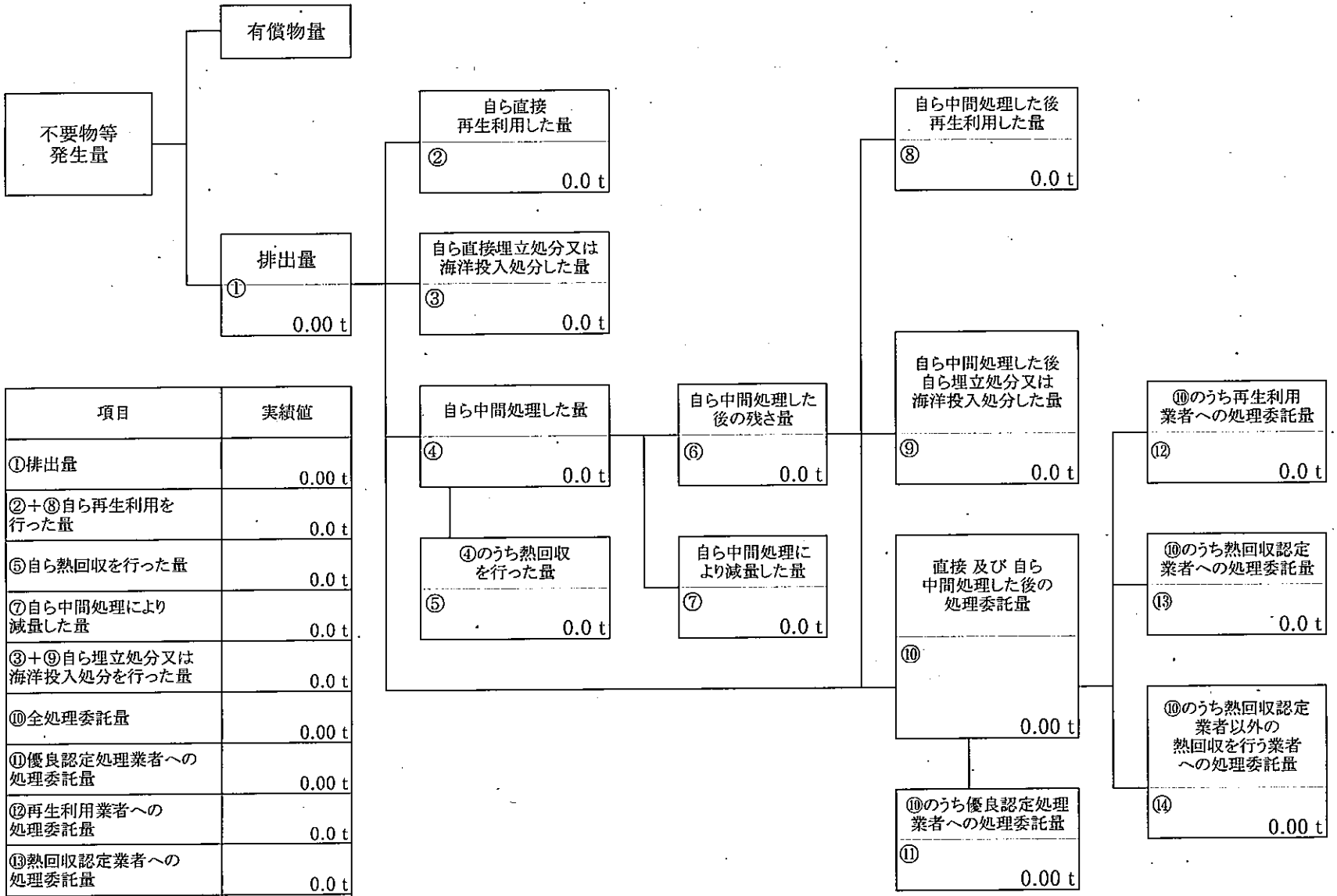


項目	実績値
①排出量	2524.53 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	2153.71 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	370.82 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	370.82 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.8 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	370.02 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属くず　）

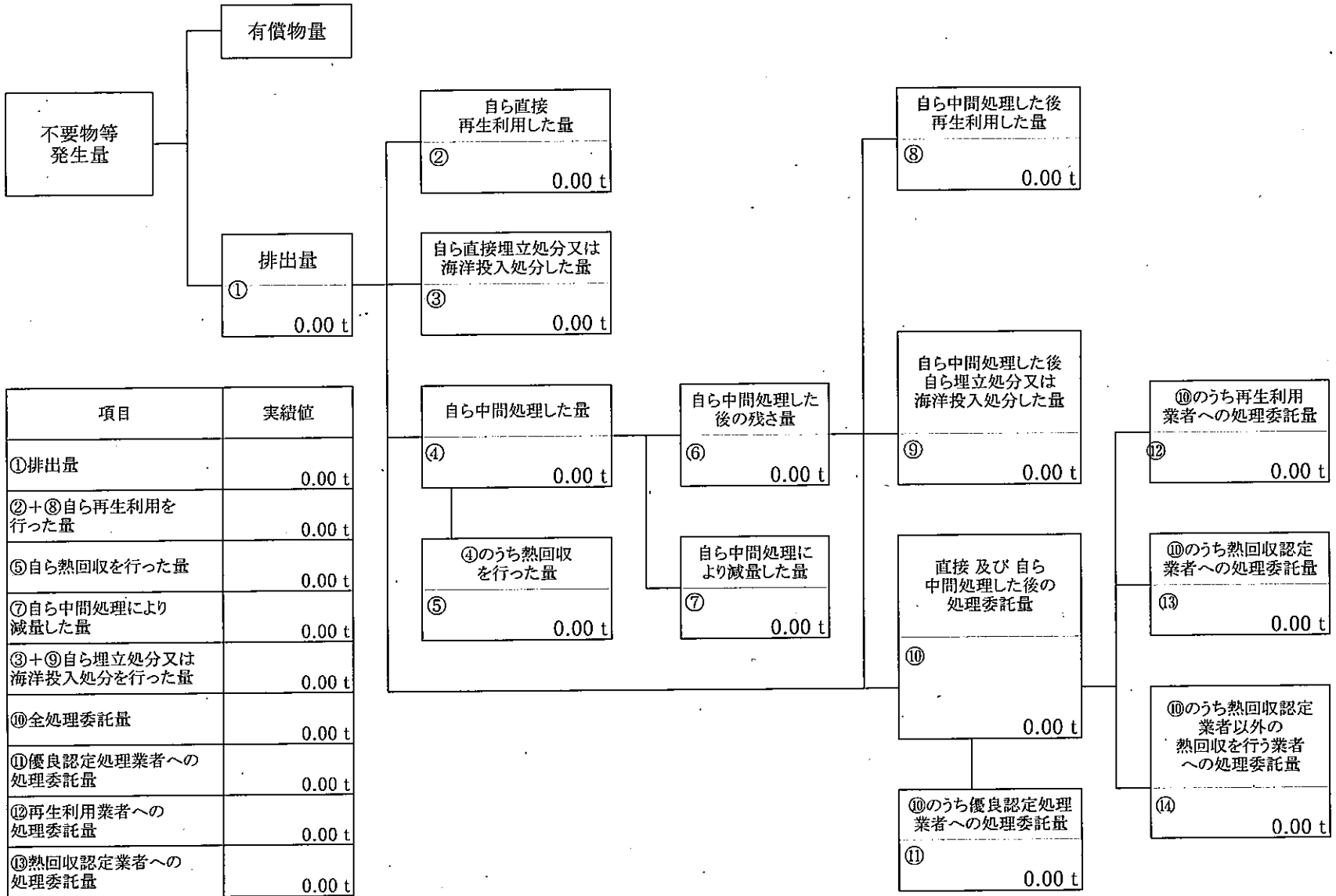


項目	実績値
①排出量	0.00 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　水銀使用製品　　）

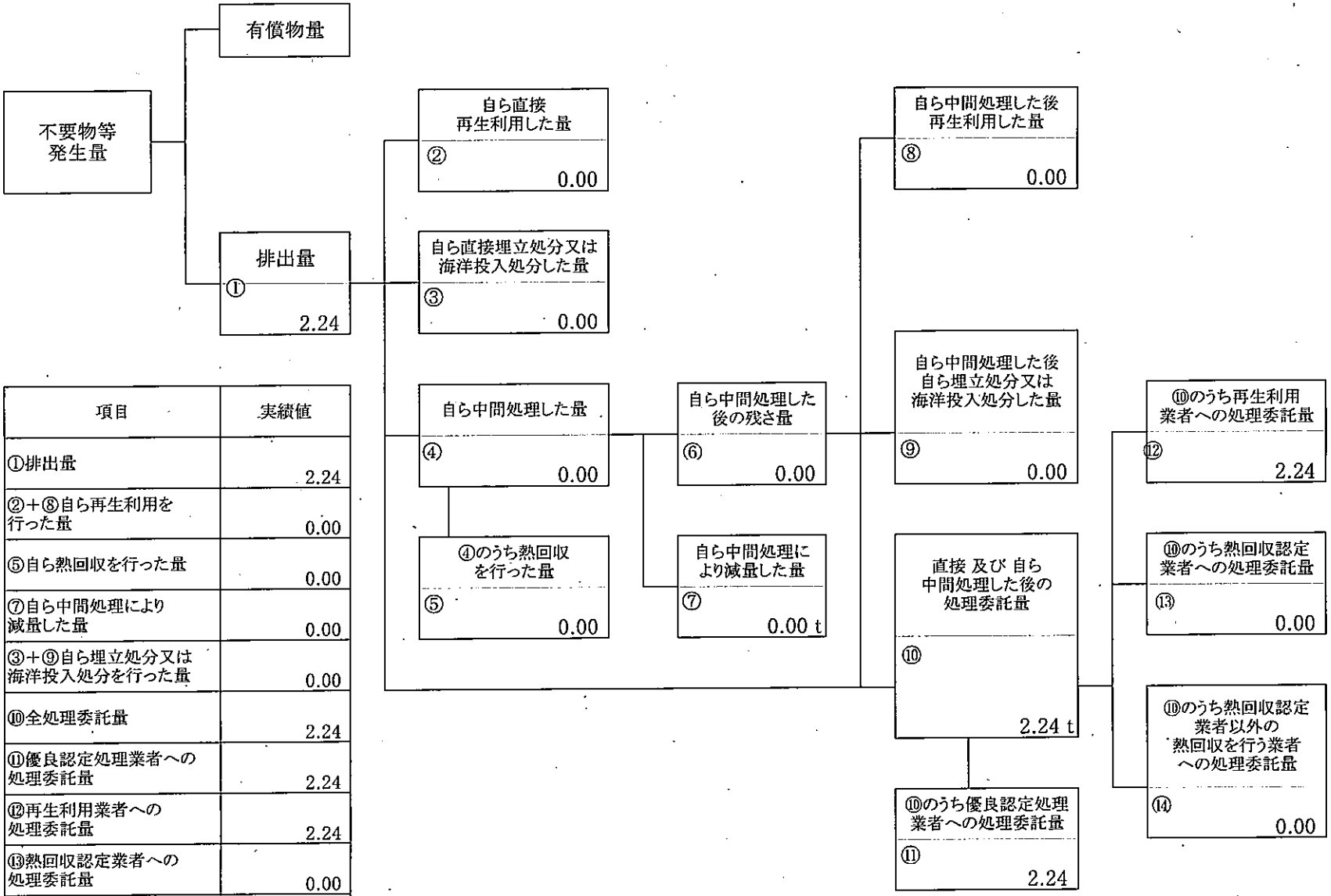


項目	実績値
①排出量	0.00 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　複合材　　）



項目	実績値
①排出量	2.24
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2.24
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.24
⑫再生利用業者への処理委託量	2.24
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和　6年　6月　26日

千葉県知事
熊谷　俊人　　殿

提出者　〒272-0012
住　所　千葉県市川市上妙典1603番地
氏　名　東洋合成工業株式会社　市川工場
工場長　木村　純
電話番号　047-327-2121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東洋合成工業株式会社　市川工場
事業場の所在地	千葉県市川市上妙典1603番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

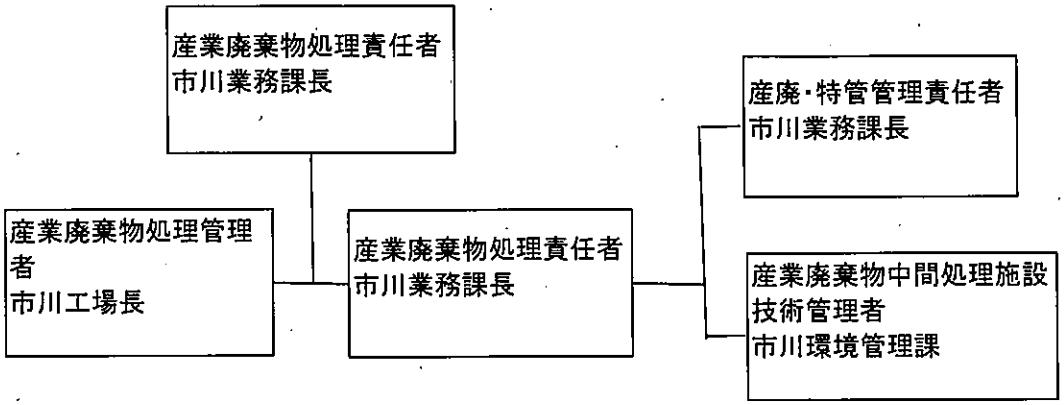
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：化学工業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額約51億円
③従業員数	145人（正社員124人、常勤関係社員21人）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	○廃油 ① 収集運搬 ⇒ 焼却 ⇒ 最終処分 ② 収集運搬 ⇒ 混合 / 混合・油水分離 ⇒ 再生燃料とし販売 ○廃酸 収集運搬 ⇒ 中和 / 混合・油水分離 ⇒ 再生燃料とし販売 ○特定有害産業廃棄物 ①収集運搬 ⇒ 埋立 ⇒ 最終処分 ②収集運搬 ⇒ 焼却 ⇒ 最終処分

（日本工業規格　A列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 5 年度）実績】 ※任意様式参照

特別管理産業廃棄物の種類		
排　出　量	l	t

（これまでに実施した取組）
生産工程の見直しにより廃液量を削減している。

②計画

【目標】 ※任意様式参照

特別管理産業廃棄物の種類		
排　出　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
生産工程の見直しにより廃液量を削減する。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 有価売却及び再利用の可能性のあるもについて分別を検討している。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 有価売却及び再利用の可能性のあるもについて分別を検討する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組 ） 該当なし。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
該当なし。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
該当なし。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】　※任意様式参照

特別管理産業廃棄物の種類		
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
可能な限り、優良認定を受けた処理会社への処分を委託した。

	②計画	【目標】　※任意様式参照		
		特別管理産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 今後も優良認定を受けた処理会社を中心に処分を依頼する。		
電子情報処理組織の使用に関する事項		【前年度（ 令和　5 年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	343.17 t	
		（今後実施する予定の取組等） 既に電子マニフェストを使用しており、今後も電子マニフェストの使用を継続する。		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

6　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

7　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

8　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

9　※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	特定有害産業廃棄物	廃酸					
	排　出　量	280.28 t	6.00 t	56.89 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	特定有害産業廃棄物	廃酸					
	排　出　量	274.67 t	5.88 t	55.75 t	0 t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	特定有害産業廃棄物	廃酸					
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	特定有害産業廃棄物	廃酸					
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	特定有害産業廃棄物	廃酸					
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	特定有害産業廃棄物	廃酸					
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和　5 年度）実績】）

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	特定有害産業廃棄物	廃酸					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	特定有害産業廃棄物	廃酸					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和　5 年度）実績】）

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	特定有害産業廃棄物	廃酸					
全処理委託量	280.28 t	6.00 t	56.89 t	0 t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	280.28 t	5.99 t	56.89 t	0 t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	61.47 t	0.00 t	56.89 t	0 t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	87.93 t	0.00 t	0.00 t	0 t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	130.88 t	5.99 t	0.00 t	0 t	t	t	t	t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	特定有害産業廃棄物	廃酸					
全処理委託量	274.67 t	5.88 t	55.75 t	0 t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	274.67 t	5.87 t	55.75 t	0 t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	60.24 t	0.00 t	55.75 t	0 t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	86.17 t	0.00 t	0.00 t	0 t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	128.26 t	5.87 t	0.00 t	0 t	t	t	t	t

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　6年　6月　26日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒272-0012
住　所　千葉県市川市上妙典1603番地
氏　名　東洋合成工業株式会社　市川工場
工場長　木村　純
電話番号 047-327-2121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東洋合成工業株式会社　市川工場
事業場の所在地	千葉県市川市上妙典1603番地
事業の種類	大分類:製造業　　中分類:化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月から令和6年3月

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	482.42t	全処理委託量	482.42t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.00t	優良認定処理業者への処理委託量	345.51t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.00t	再生利用業者への処理委託量	137.45t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.00t	認定熱回収業者への処理委託量	202.51t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.00t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	5.57t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度　492.27	t
	前年度　343.17	t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

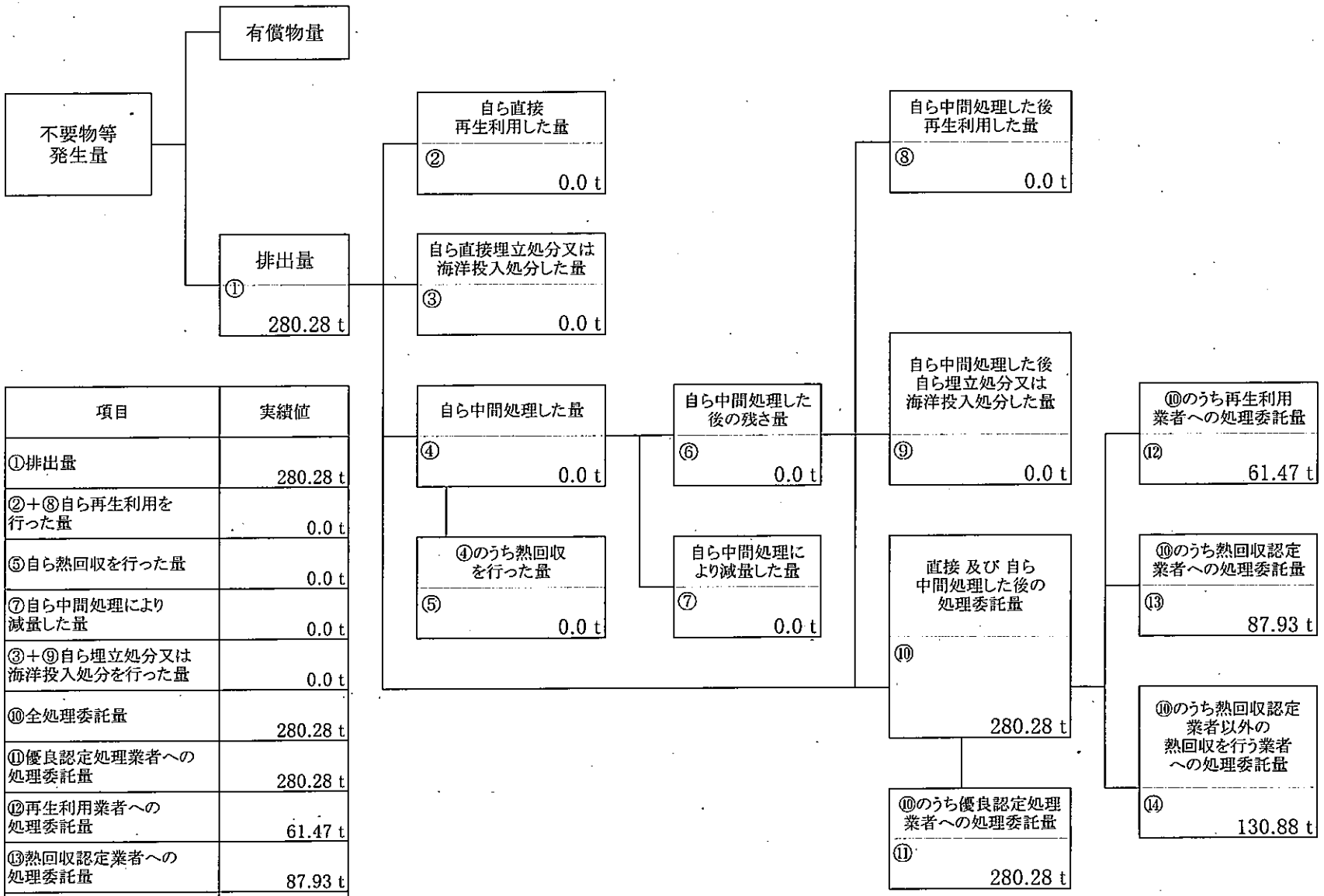
全ての廃棄物に関して、電子マニフェストを使用しています。

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　燃えやすい廃油　）

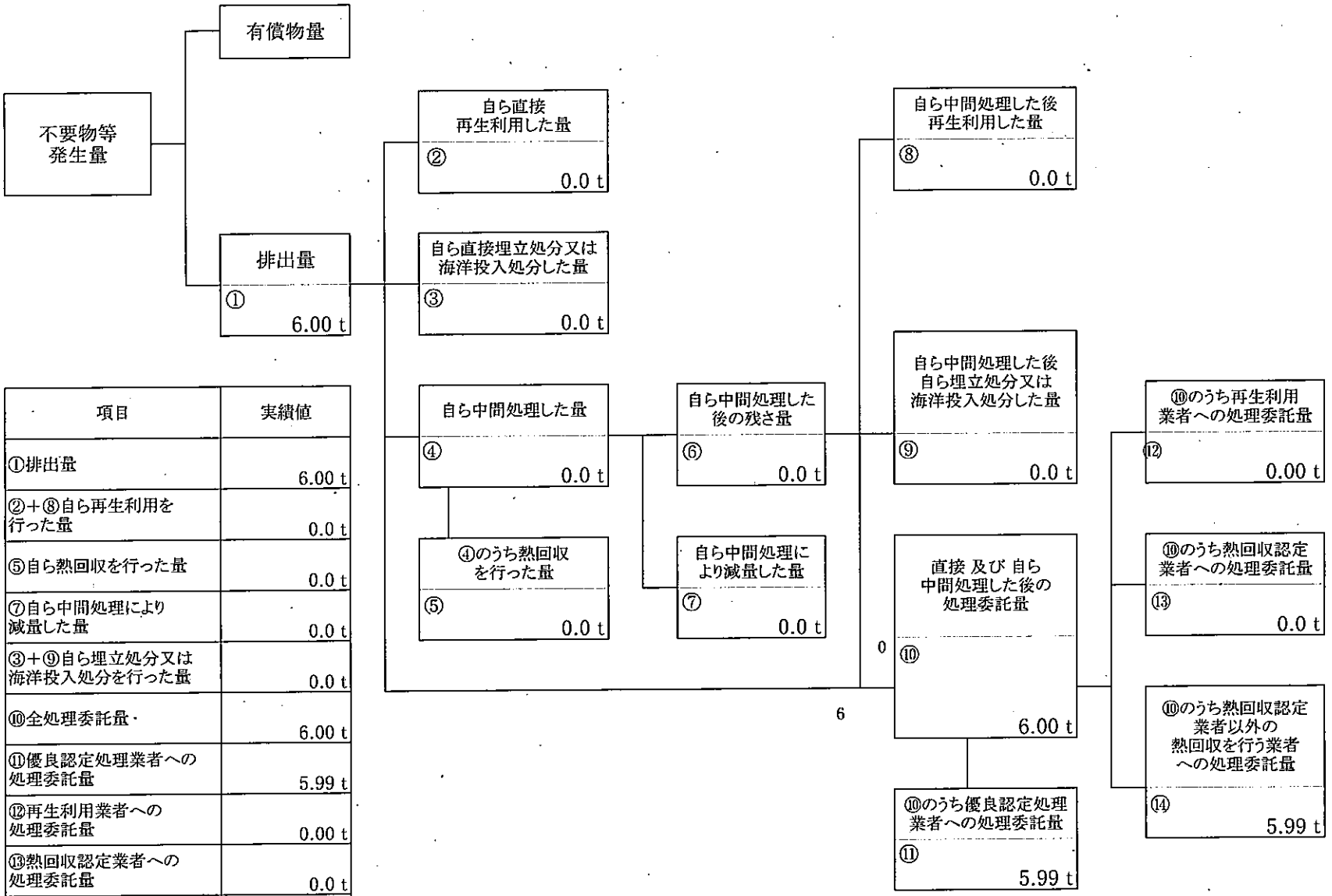


項目	実績値
①排出量	280.28 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	280.28 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	280.28 t
⑫再生利用業者への処理委託量	61.47 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	87.93 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	130.88 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　特定有害産業廃棄物　）

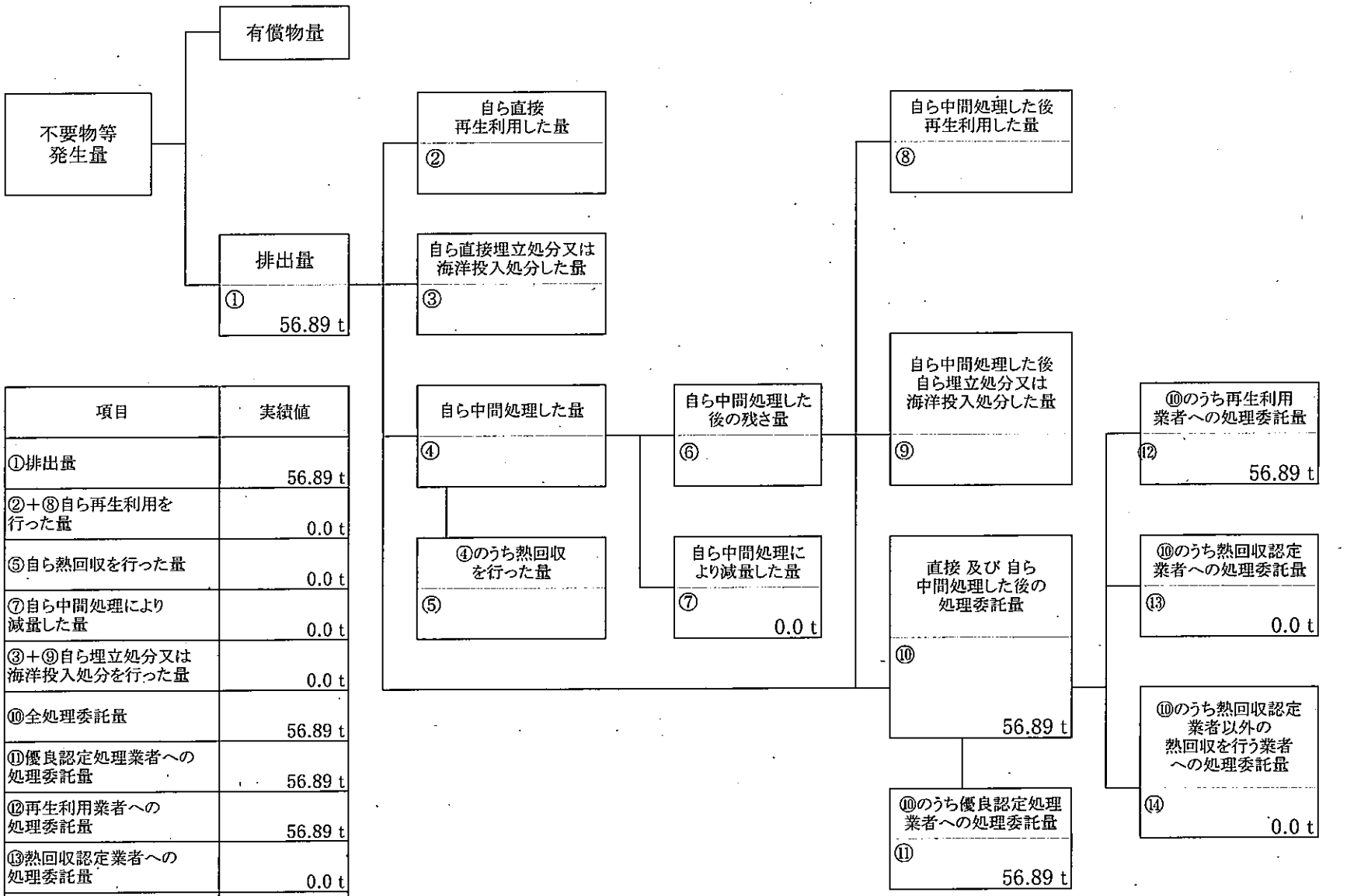


項目	実績値
①排出量	6.00 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.99 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	5.99 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃酸　）



項目	実績値
①排出量	56.89 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	56.89 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	56.89 t
⑫再生利用業者への処理委託量	56.89 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 17日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒289-0623

住　所　千葉県香取郡東庄町宮野台1-58

氏　名　東洋合成工業株式会社　香料工場

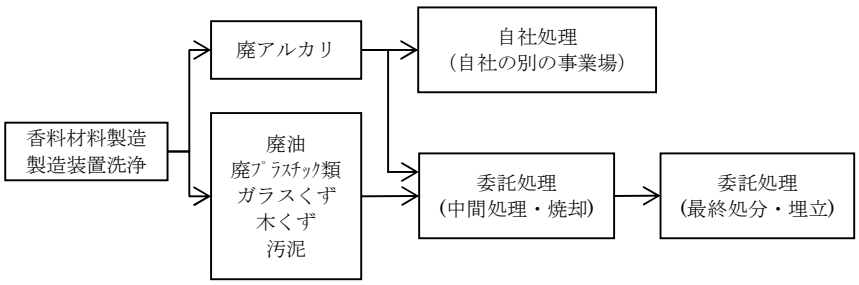
工場長　鈴木 歩

電話番号　0478-87-2830

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東洋合成工業株式会社　香料工場
事業場の所在地	千葉県香取郡東庄町宮野台1-58
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

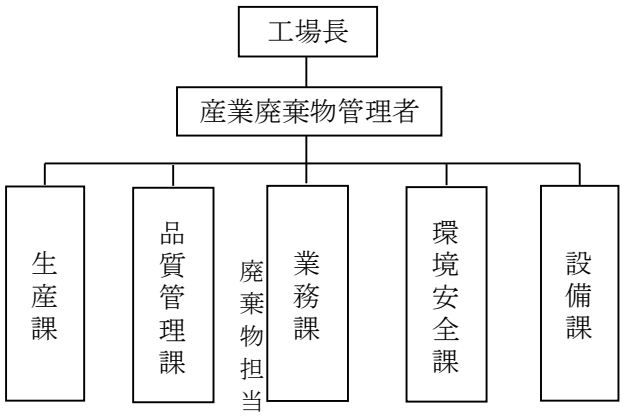
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E16－化学工業
② 事業の規模	前年の製造品出荷額　3,799,489千円
③ 従業員数	34人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
排出量	1631.3 t	9.9 t

（これまでに実施した取組）

排出量削減の為の取り組みとして製造工程の改善及び製造収率向上により排出量の抑制に取り組んだ。
また有価引取が可能な物については有価物とした。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
排出量	1600 t	8 t

（今後実施する予定の取組）

引き続き製造工程の改善及び製造収率の向上に努めると共に、有価引取の数量を増加させることで排出数量低減に取り組む。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

廃棄物は適切に分別し専用貯蔵タンク及びドラム缶等の容器で保管している。
保管場所には産業廃棄物の表示を行い、容器で保管する場合は容器自体に表示を行い廃棄物の種類を明確にしている。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

引き続き産業廃棄物の表示および保管場所の区分管理を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1050 t	0 t

（これまでに実施した取組）

廃アルカリについて自社の別の事業場にて処理を行うことで、産業廃棄物の減量に取り組んだ。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1070 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

引き続き廃アルカリについて自社処理に取り組んでいく。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
全処理委託量	581.3 t	9.9 t
優良認定処理業者への処理委託量	383.5 t	9.9 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

排出量削減の為の取り組みとして製造工程の改善及び製造収率向上により排出量の抑制に取り組んだ。
有価引取が可能な物は有価物とした。
自社処理が可能な物については自社処理を行った。

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ		廃油	
		全処理委託量	530	t	8	t
		優良認定処理業者への処理委託量	370	t	8	t
		再生利用業者への処理委託量	0	t	0	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0	t	0	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	0	t
		（今後実施する予定の取組） 引き続き製造工程の改善及び製造収率の向上に努めると共に、自社処理、有価引取の増加を推進して処理委託数量の減少に取り組む。				
※事務処理欄						

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	汚泥	廃酸	複合材	金属くず	
		排　出　量	2.7 t	1 t	0.6 t	2.7 t	22.8 t	0.6 t	0.3 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	汚泥	廃酸	複合材	金属くず	
		排　出　量	2.5 t	0.8 t	0.5 t	2.5 t	21 t	0.5 t	0.2 t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	汚泥	廃酸	複合材	金属くず	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	汚泥	廃酸	複合材	金属くず	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	汚泥	廃酸	複合材	金属くず	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	汚泥	廃酸	複合材	金属くず	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	汚泥	廃酸	複合材	金属くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
②計画	**【目標】**								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	汚泥	廃酸	複合材	金属くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	汚泥	廃酸	複合材	金属くず	
	全処理委託量	2.7 t	1 t	0.6 t	2.7 t	22.8 t	0.6 t	0.3 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	2.7 t	22.8 t	0 t	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	汚泥	廃酸	複合材	金属くず	
	全処理委託量	2.5 t	0.8 t	0.5 t	2.5 t	21 t	0.5 t	0.2 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	2.5 t	21 t	0 t	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 17日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒289-0623
住 所　千葉県香取郡東庄町宮野台1-58
氏 名　東洋合成工業株式会社 香料工場
工場長 鈴木 歩
電話番号 0478-87-2830

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東洋合成工業株式会社 香料工場
事業場の所在地	千葉県香取郡東庄町宮野台1-58
事業の種類	E16－化学工業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

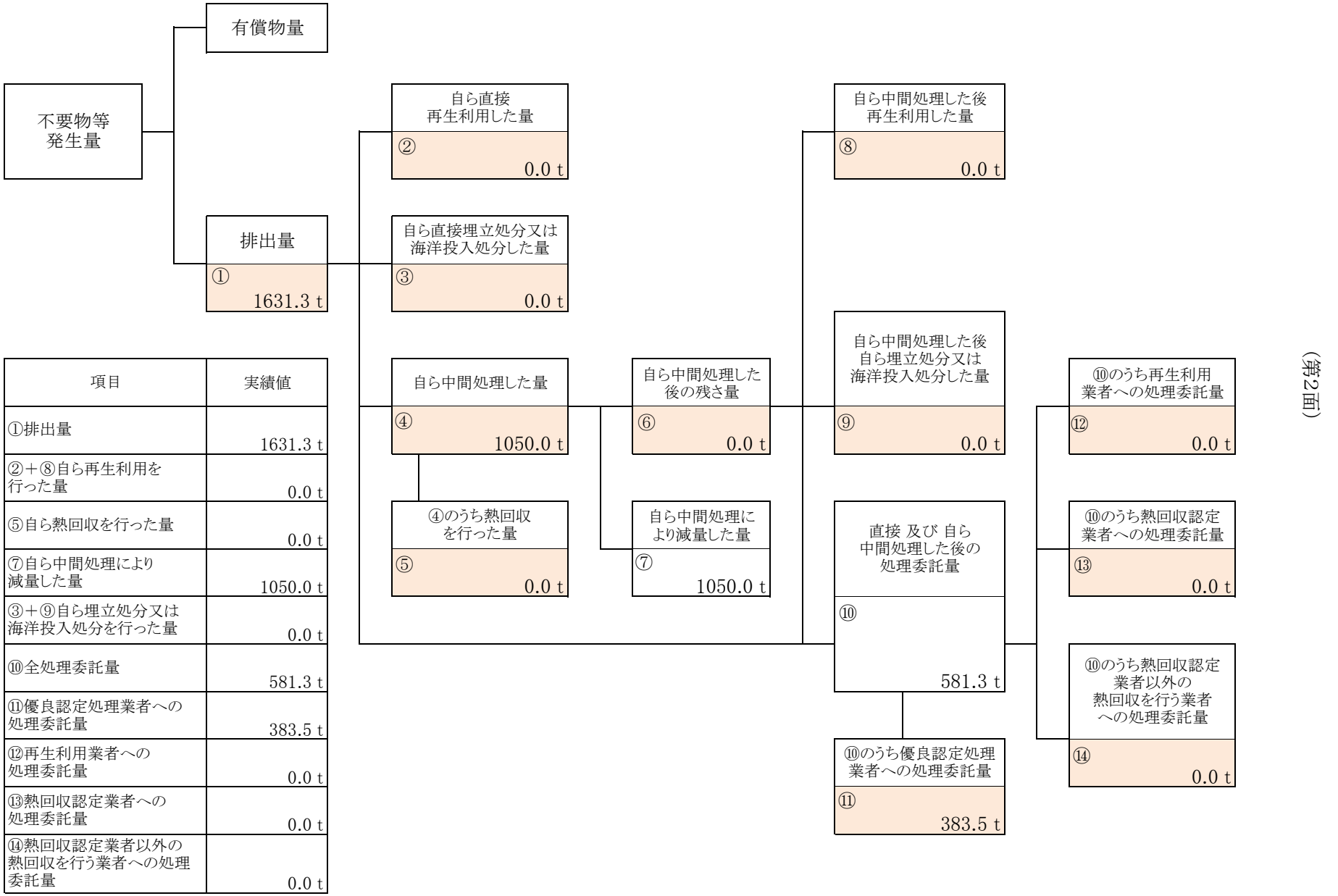
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1599.3 t	全処理委託量	549.3 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	369.3 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1050.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃アルカリ** ）

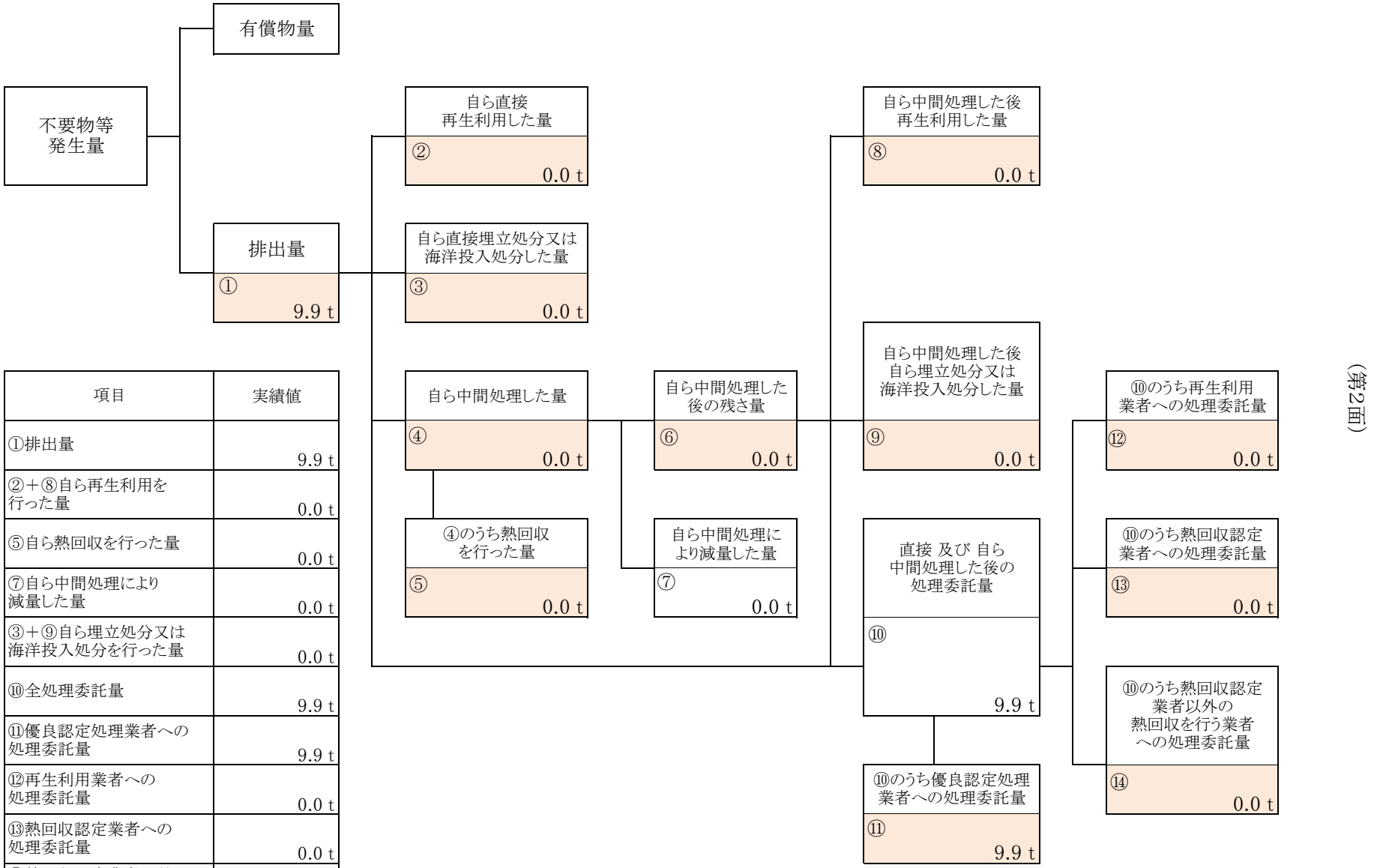


項目	実績値
①排出量	1631.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	1050.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	581.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	383.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃油**）

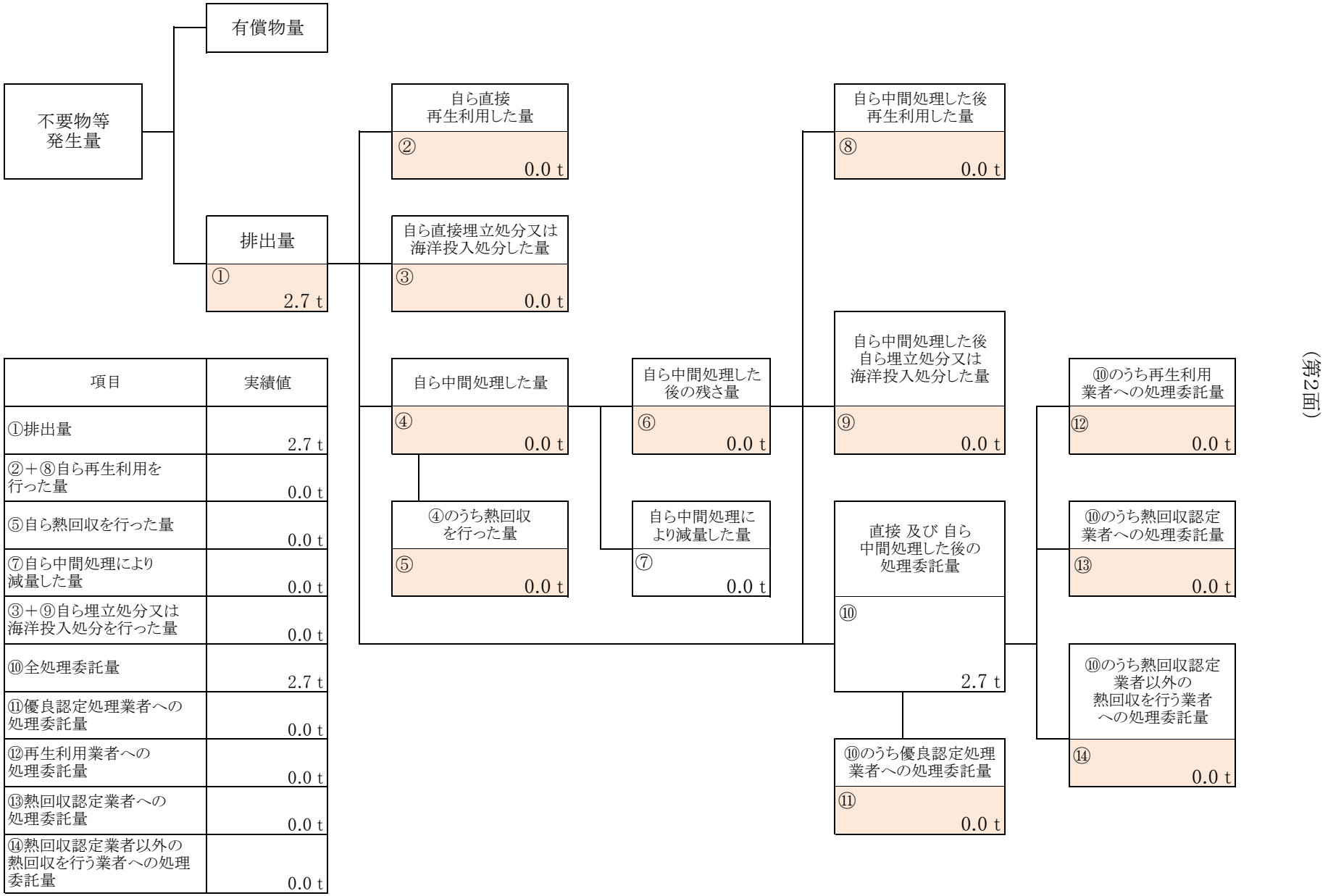


項目	実績値
①排出量	9.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

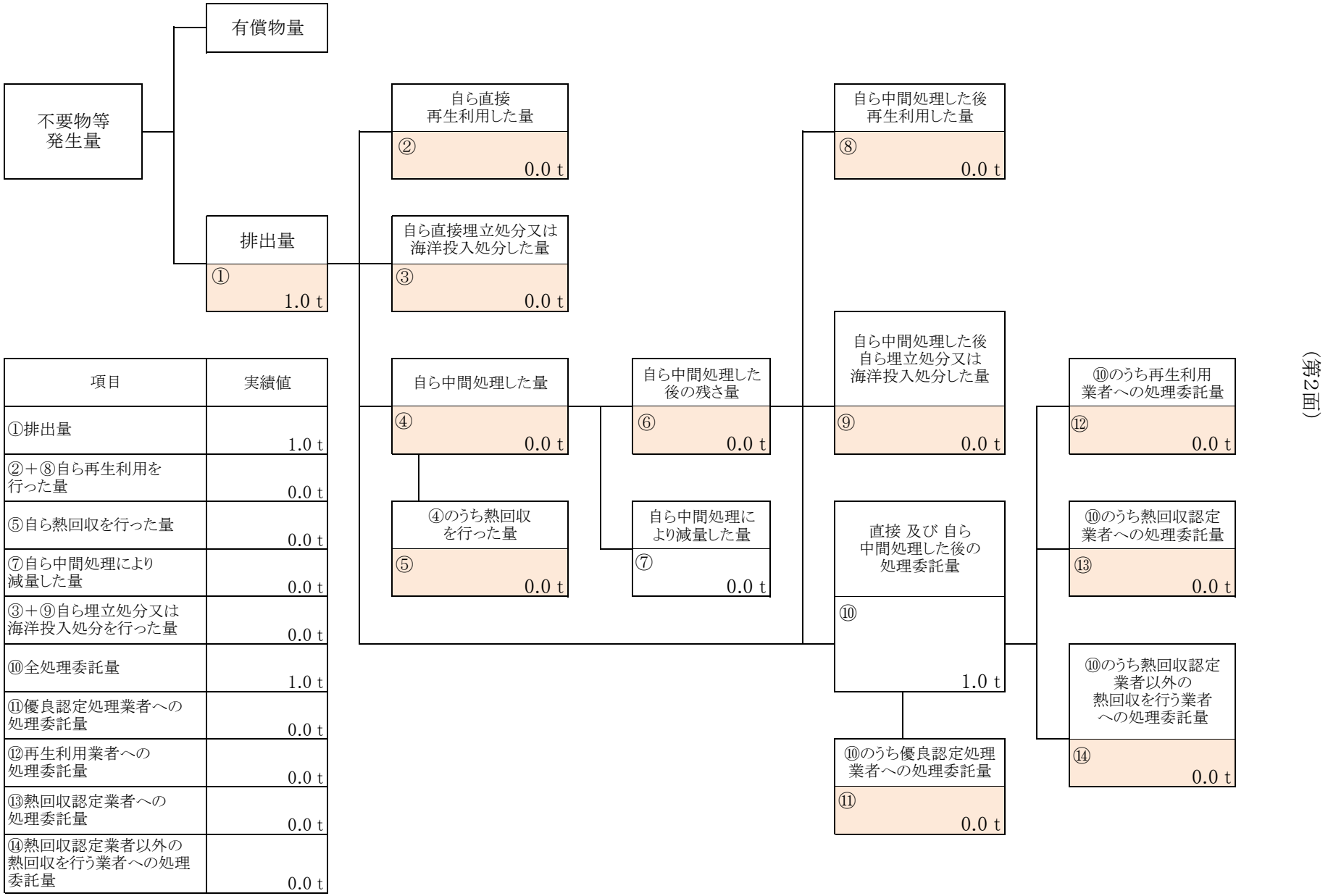


項目	実績値
①排出量	2.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**）

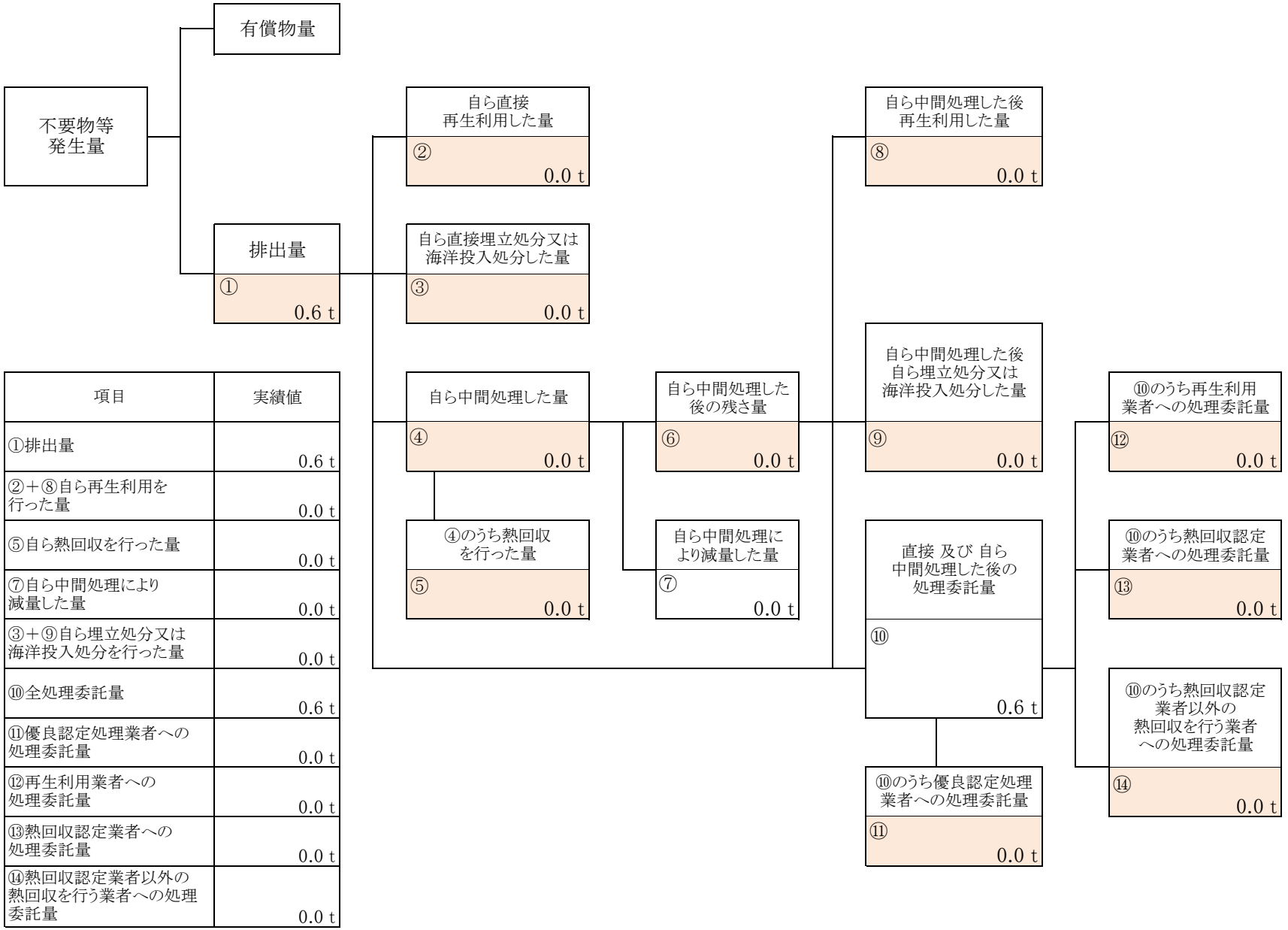


項目	実績値
①排出量	1.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

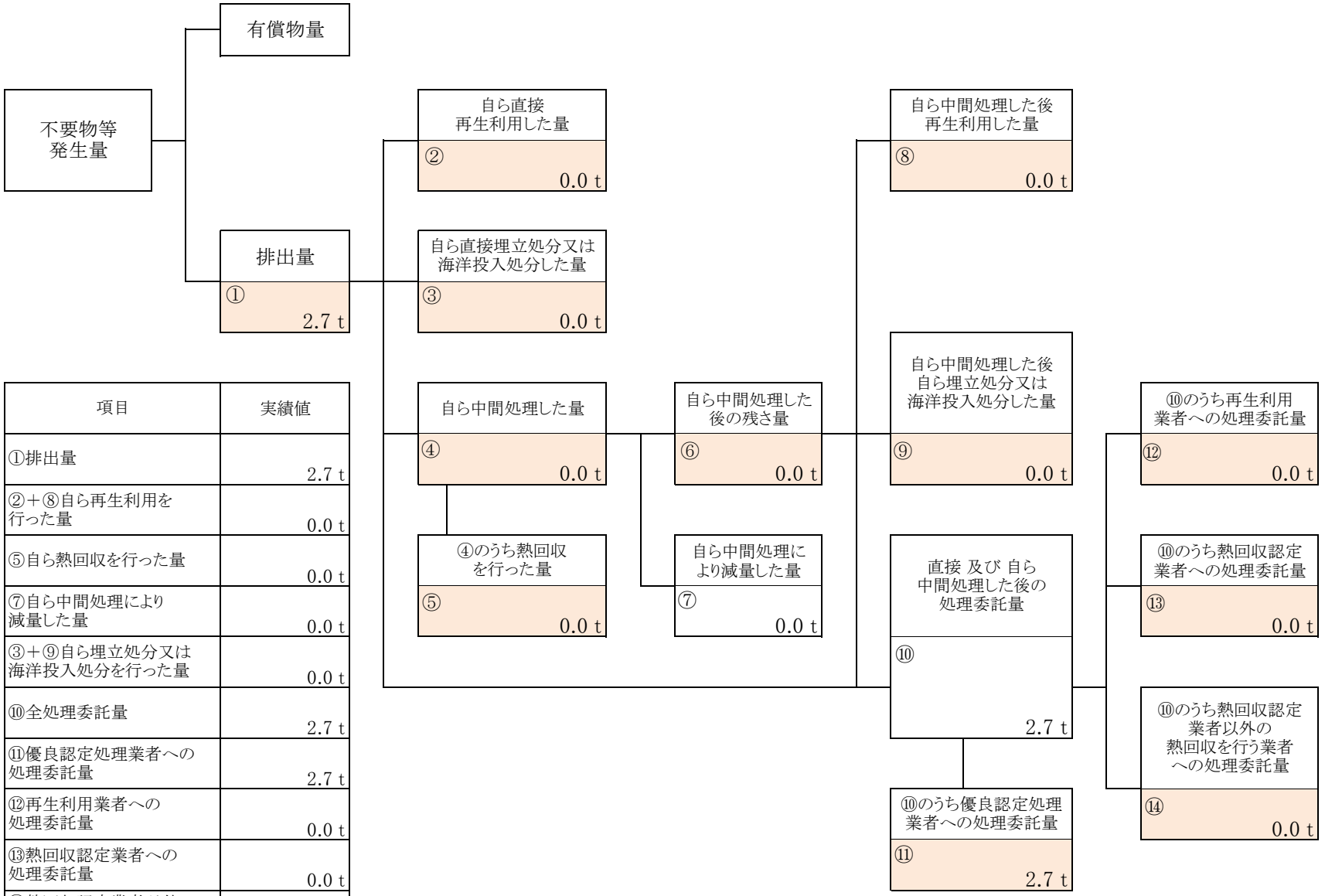


項目	実績値
①排出量	0.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **汚泥** ）

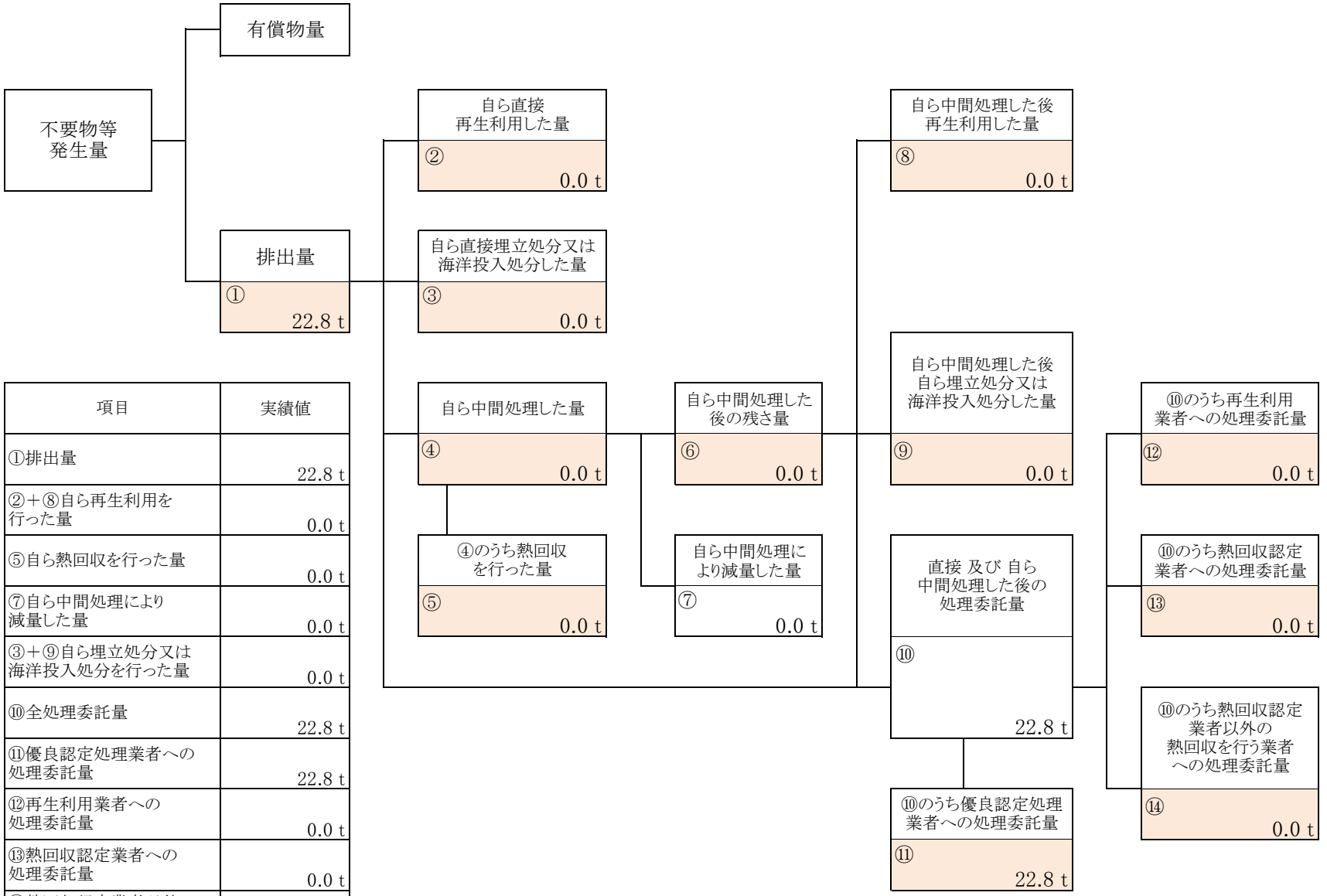


項目	実績値
①排出量	2.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃酸** ）

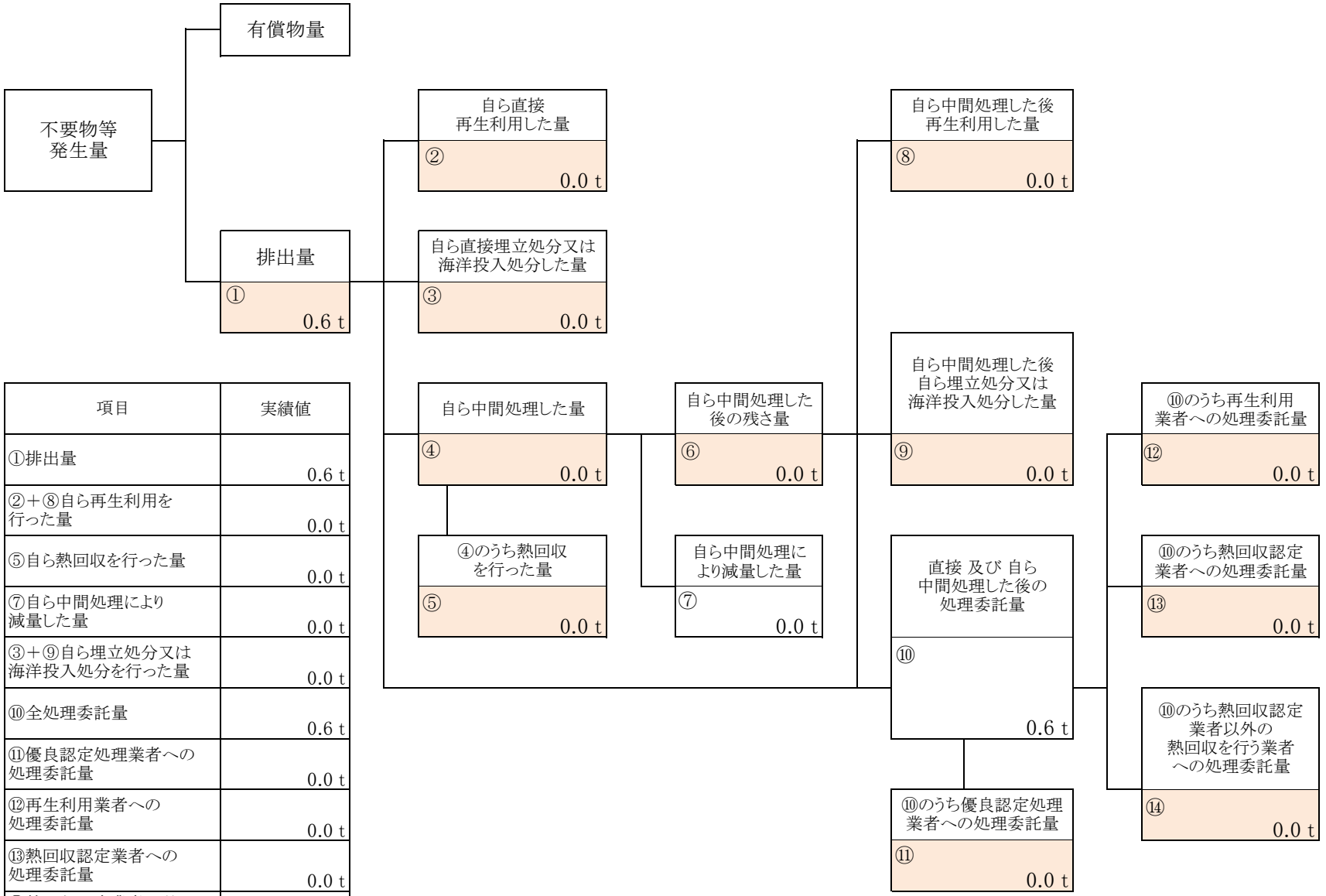


項目	実績値
①排出量	22.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**複合材**）

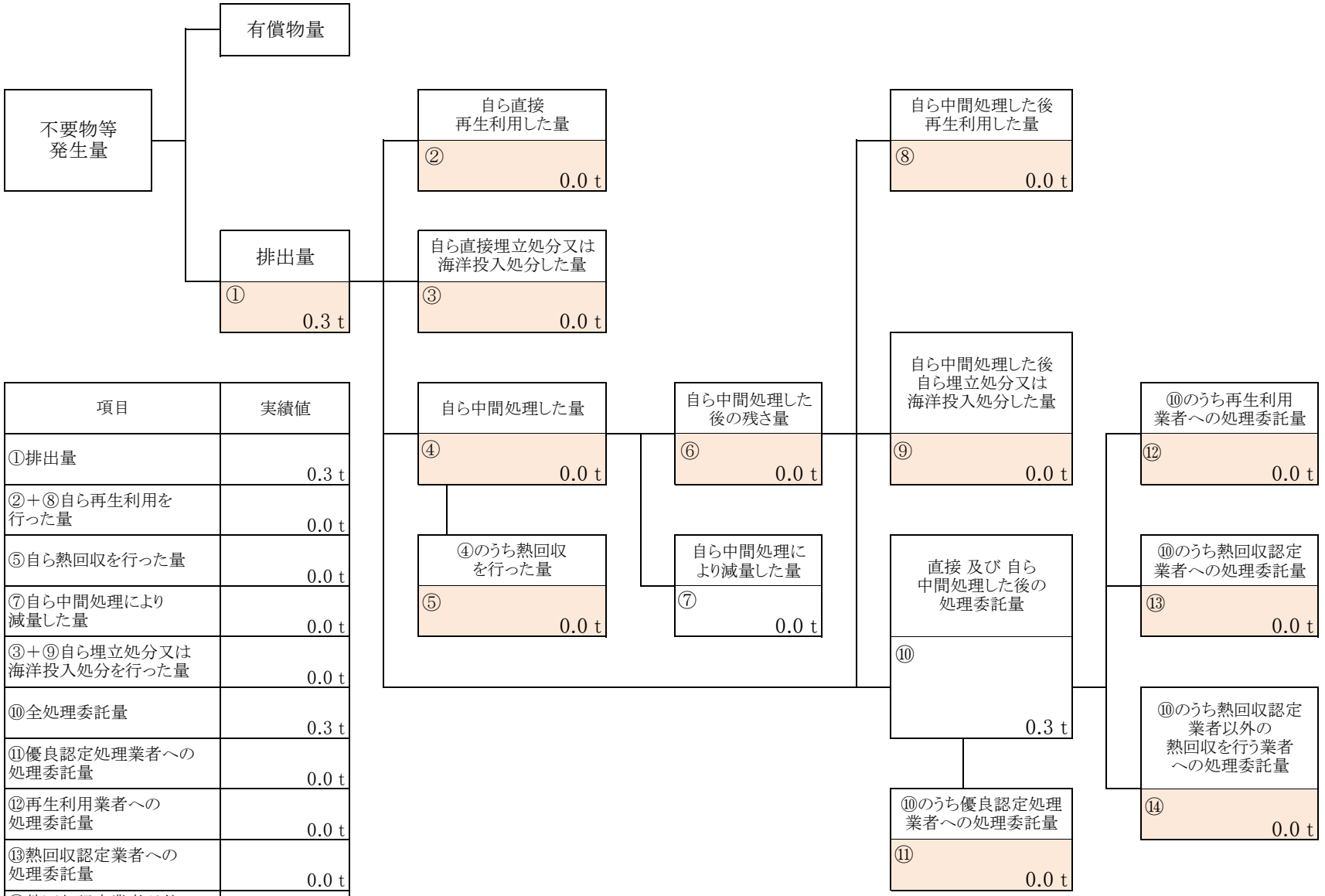


項目	実績値
①排出量	0.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）



項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第１面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 17日

千葉県知事
熊谷　俊人　　殿

提出者〒289-0623

住　所　千葉県香取郡東庄町宮野台1-58

氏　名　東洋合成工業株式会社　香料工場

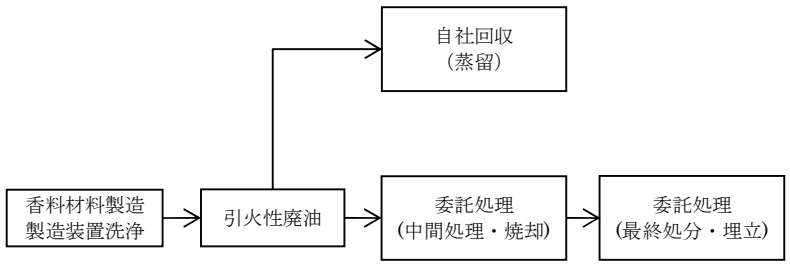
工場長　鈴木 歩

電話番号　0478-87-2830

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東洋合成工業株式会社　香料工場
事業場の所在地	千葉県香取郡東庄町宮野台1-58
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

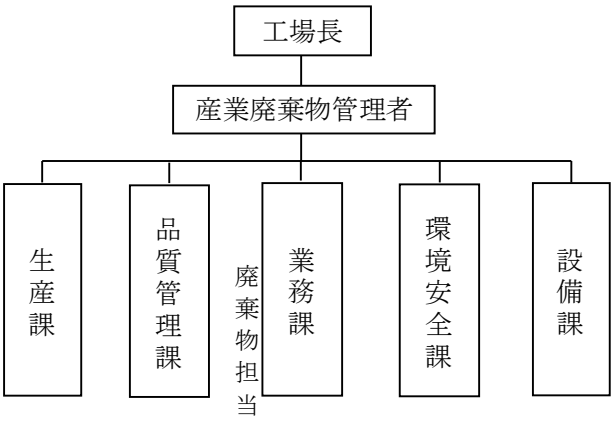
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E16－化学工業
②事業の規模	前年の製造品出荷額　3,799,489千円
③従業員数	34人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本産業規格　A列４番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
排　　出　　量	413.9　　t	t

（これまでに実施した取組）

排出量削減の為の取り組みとして製造工程の改善及び製造収率向上により廃棄物排出量の抑制に取り組んだ。
また回収可能な引火性廃油は自社で蒸留回収し再生利用を行った。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
排　　出　　量	390　　t	t

（今後実施する予定の取組）

引き続き製造工程の改善及び製造収率の向上に努めると共に、引火性廃油の再生利用数量を増加させることで、廃棄物の排出数量低減に取り組む。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

燃えやすい廃油は専用貯蔵タンク及びドラム缶で保管している。
保管場所には特別管理産業廃棄物の表示を行い、ドラム缶で保管する場合は保管場所をその他の廃棄物と区別することで管理をしている。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

引き続き特別管理産業廃棄物の表示および保管場所の区分管理を徹底する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	202.4 t	t

（これまでに実施した取組）
回収可能な引火性廃油の蒸留回収に努め、再生利用に取り組んだ。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	220 t	t

（今後実施する予定の取組）
蒸留回収による再生利用の数量の向上に取り組む。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組 ）

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
全処理委託量	211.4 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	211.4 t	t
再生利用業者への処理委託量	0 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

排出量削減の為の取り組みとして製造工程の改善及び製造収率向上により廃棄物排出量の抑制に取り組んだ。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>燃えやすい廃油</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">全処理委託量</td><td>170 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>170 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き製造工程の改善及び製造収率向上に努めると共に、設備洗浄工程の見直しを行い廃棄物排出量の抑制に取り組む。</td></tr>
<tr><td colspan="2">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】
特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。） 413.9 t
（今後実施する予定の取組等）
当事業場では排出した全ての特別管理産業廃棄物について電子マニフェストを使用している。
引き続き電子マニフェストの使用を実施していく。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 17日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒289-0623
住 所　千葉県香取郡東庄町宮野台1-58
氏 名　東洋合成工業株式会社 香料工場
工場長 鈴木 歩
電話番号 0478-87-2830

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東洋合成工業株式会社 香料工場
事業場の所在地	千葉県香取郡東庄町宮野台1-58
事業の種類	E16－化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	380.0 t	全処理委託量	210.0 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	170.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	210.0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	406.4 t
	前 年 度	413.9 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

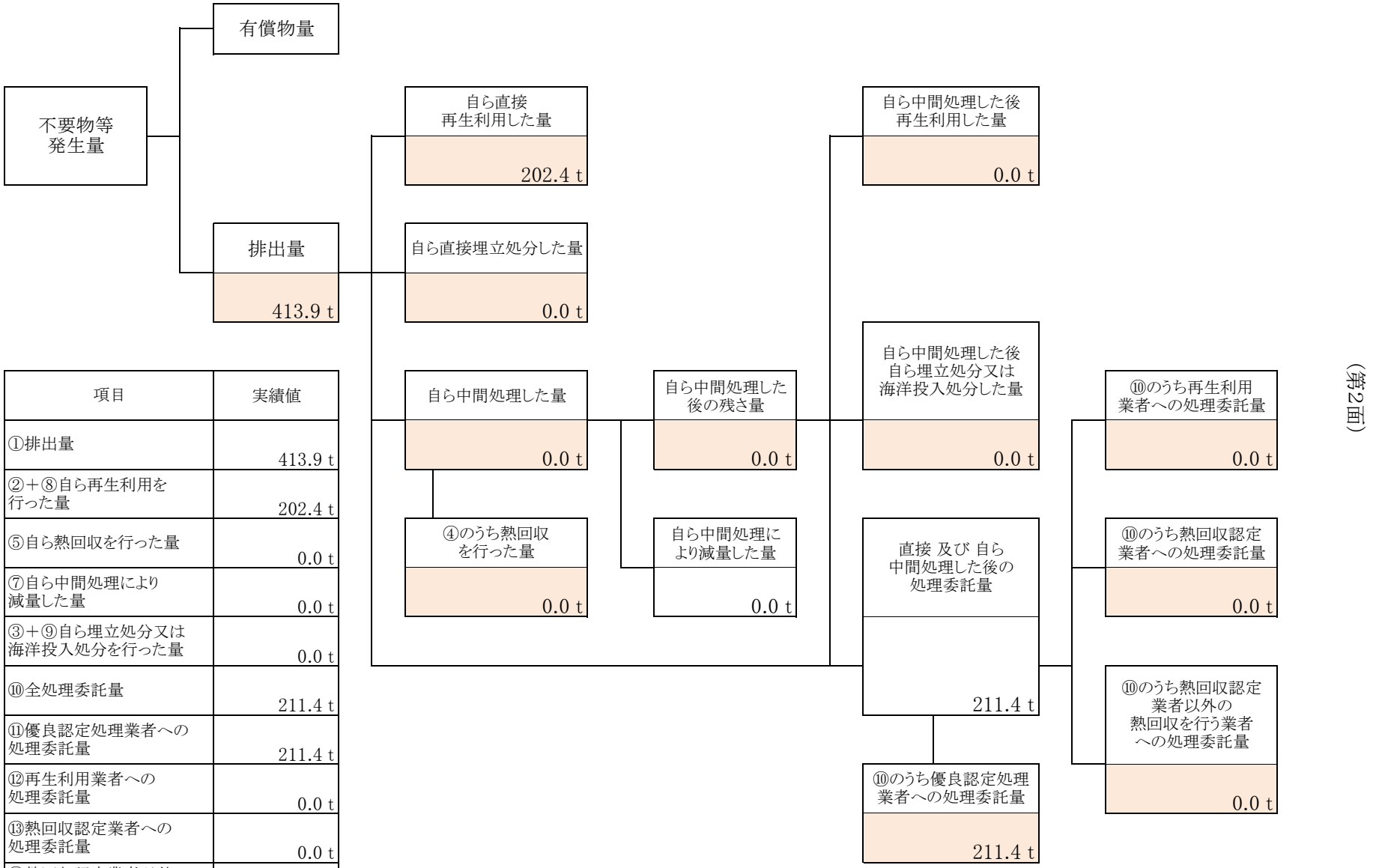
当事業所では排出した全ての特別管理産業廃棄物について電子マニフェストを使用している。
引き続き電子マニフェストの使用を実施していく。

※事務処理欄	

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類: **燃えやすい廃油** ）



項目	実績値
①排出量	413.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	202.4 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	211.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	211.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月25日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　289-0623

住　所　千葉県香取郡東庄町宮野台1-51

法人名　東洋合成工業株式会社　千葉工場

代表者　林 孝雄

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0478-87-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東洋合成工業株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県香取郡東庄町
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　製造業　中分類：　化学工業
②事業の規模	前年度の製品出荷額　194億円
③従業員数	538名（正社員）
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	別紙1参照

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙2参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	全体	
排出量	6289.94 t	t

（これまでに実施した取組）
別紙3

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	全体	
排出量	t	t

（今後実施する予定の取組）
別紙3参照

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃ﾌﾟﾗ、ｶﾞﾗｽくず、木くず、汚泥については、専用ｺﾝﾃﾅに分別し、
廃ｱﾙｶﾘは、専用ﾀﾝｸに分別し管理している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
上記、同様の分別を継続していく。
廃金属を細分化し、有償物として扱うことにより、産業廃棄物を削減する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>全体</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙4参照</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>全体</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙4参照</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>全体</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙5参照</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>全体</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙5参照</td></tr>
</table>

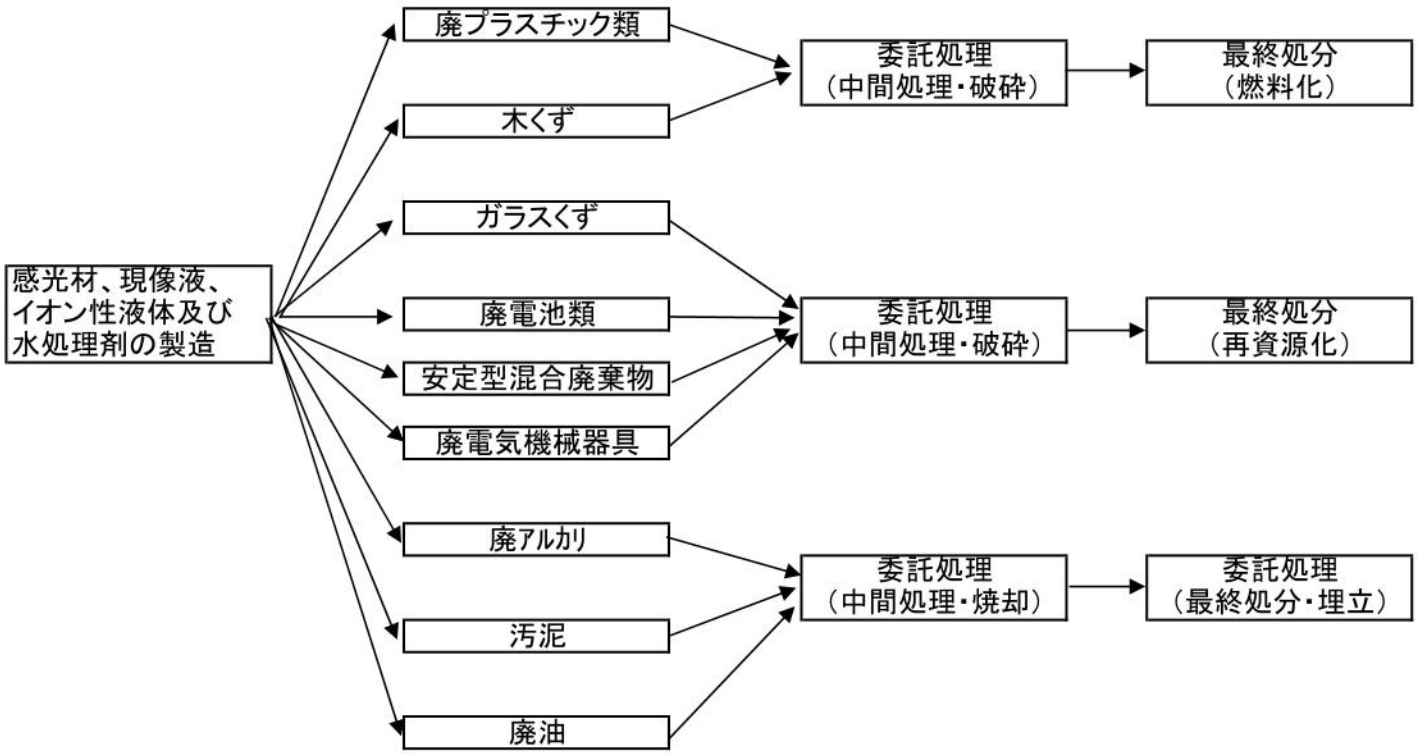
<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>全体</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙6参照</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>全体</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙6参照</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>全体</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙7参照</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>全体</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙7参照</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

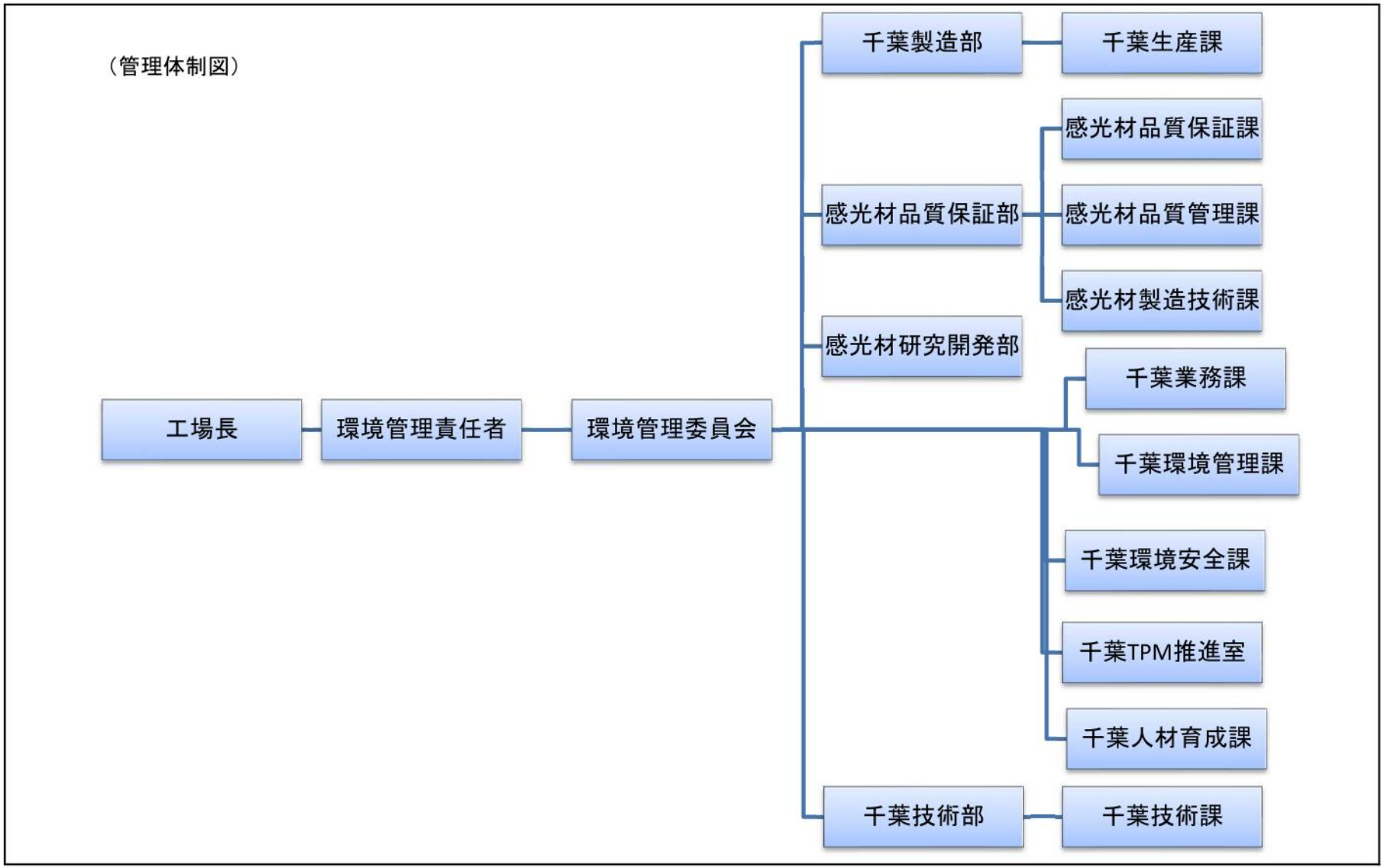
備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別紙　1

産業廃棄物処理工程図



別紙2


（管理体制図）
工場長
環境管理責任者
環境管理委員会
千葉製造部
千葉生産課
感光材品質保証部
感光材品質保証課
感光材品質管理課
感光材製造技術課
感光材研究開発部
千葉業務課
千葉環境管理課
千葉環境安全課
千葉TPM推進室
千葉人材育成課
千葉技術部
千葉技術課

別紙 3

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

単位 t

①現状

【前年度（令和5年）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず	廃電気機械器具	廃電池類	金属くず	安定型混合廃棄物
排出量	13.33000	4.6180	6,143.011	110.05000	4.89	5.46	0.140	0.29	2.68	5.47

（これまでに実施した取組）
使用原材料削減等、製造工程見直しを行い、製造量あたりの収率向上による排出量の抑制を行った。
金属くずについては、細分化することにより一部有償物化を達成。
廃プラスチック類(ドラム品・ポリ缶)についても、有償物化を達成。
廃油の一部と高カロリー品をブレンドし有償物化を達成。
生産数が減った事により全体の廃棄物発生量は減少している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず	廃電気機械器具	廃電池類	金属くず	安定型混合廃棄物
排出量	13.66	4.73	6,296.59	112.80	5.01	5.60	0.14	0.30	2.75	5.61

（今後実施する予定の取組）
前年より4.9%の増産を計画しています、使用原材料削減、製造工程見直しを継続し、収率向上及び廃棄物分別による廃棄物排出抑制に努め廃棄物排出量＋2.5%に抑えます。
金属くずについては分別の推進、大型金属を買取可能な新規業者の開拓を進め完全有償物化を目指す。
廃油の分別を進め有償化を目指す。

別紙 4

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

単位 t

①現状

【前年度（令和5年）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず	廃電気機械器具	廃電池類	安定型混合廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（これまでに実施した取組）
今年度、自ら再生利用を行った産業廃棄物はない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず	廃電気機械器具	廃電池類	安定型混合廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（今後実施する予定の取組）
今年度も自ら再生利用を行う予定の産業廃棄物はないが、廃棄物排出抑制に努める。

別紙 5

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

単位 t

①現状

【前年度（令和5年）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず	廃電気機械器具	廃電池類	安定型混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（これまでに実施した取組）
今年度、自ら熱回収や中間処理により減量した産業廃棄物はない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず	廃電気機械器具	廃電池類	安定型混合廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（今後実施する予定の取組）
今年度も、自ら熱回収や中間処理により減量する産業廃棄物はないが、廃棄物排出抑制に努める。

別紙 6

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

単位 t

①現状

【前年度（令和5年）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず	廃電気機械器具	廃電池類	安定型混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず	廃電気機械器具	廃電池類	安定型混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（今後実施する予定の取組）
引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。

別紙 7

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

単位 t

①現状

【前年度（令和5年）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず	廃電気機械器具	廃電池類	金属くず	安定型混合廃棄物
全処理委託量	13.33000	4.6180	6,143.011	110.05000	4.89	5.46	0.140	0.29	2.68	5.47
優良認定処理業者への処理委託量	13.33000	4.618	6,143.011	66.88712				0.29		
再生利用業者への処理委託量				43.160	4.89	5.46	0.140		2.68	5.47
認定熱回収業者への処理委託量										
認定熱回収業者以外の熱回収を行う処理委託量										

（これまでに実施した取組）
廃プラスチック類（ドラム品・ポリ缶）を有償物化し処理委託量を削減した。
金属くずの細分化による有償物化を達成。
既存業者の優良認定が承認された為割合増加。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず	廃電気機械器具	廃電池類	金属くず	安定型混合廃棄物
全処理委託量	13.66	4.73	6296.59	112.80	5.01	5.60	0.14	0.30	2.75	5.61
優良認定処理業者への処理委託量	13.66	4.73	6296.59	68.56				0.30		
再生利用業者への処理委託量				44.24	5.01	5.60	0.14		2.75	5.61
認定熱回収業者への処理委託量										
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量										

（今後実施する予定の取組）
前年より4.9%の増産を計画しています、使用原材料削減、製造工程見直しを継続し、収率向上及び廃棄物分別による廃棄物排出抑制に努め廃棄物排出量＋2.5%に抑えます。
金属くずについては分別の推進、大型金属を買取可能な新規業者の開拓を進め完全有償物化を目指す。
廃油の分別を進め有償化を目指す。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月25日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　289-0623

住所 千葉県香取郡東庄町宮野台1-51

法人名 東洋合成工業株式会社 千葉工場

代表者 林 孝雄

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0478-87-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東洋合成工業株式会社 千葉工場
事業場の所在地	千葉県香取郡東庄町宮野台1-51
事業の種類	大分類　製造業　中分類 化学工業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

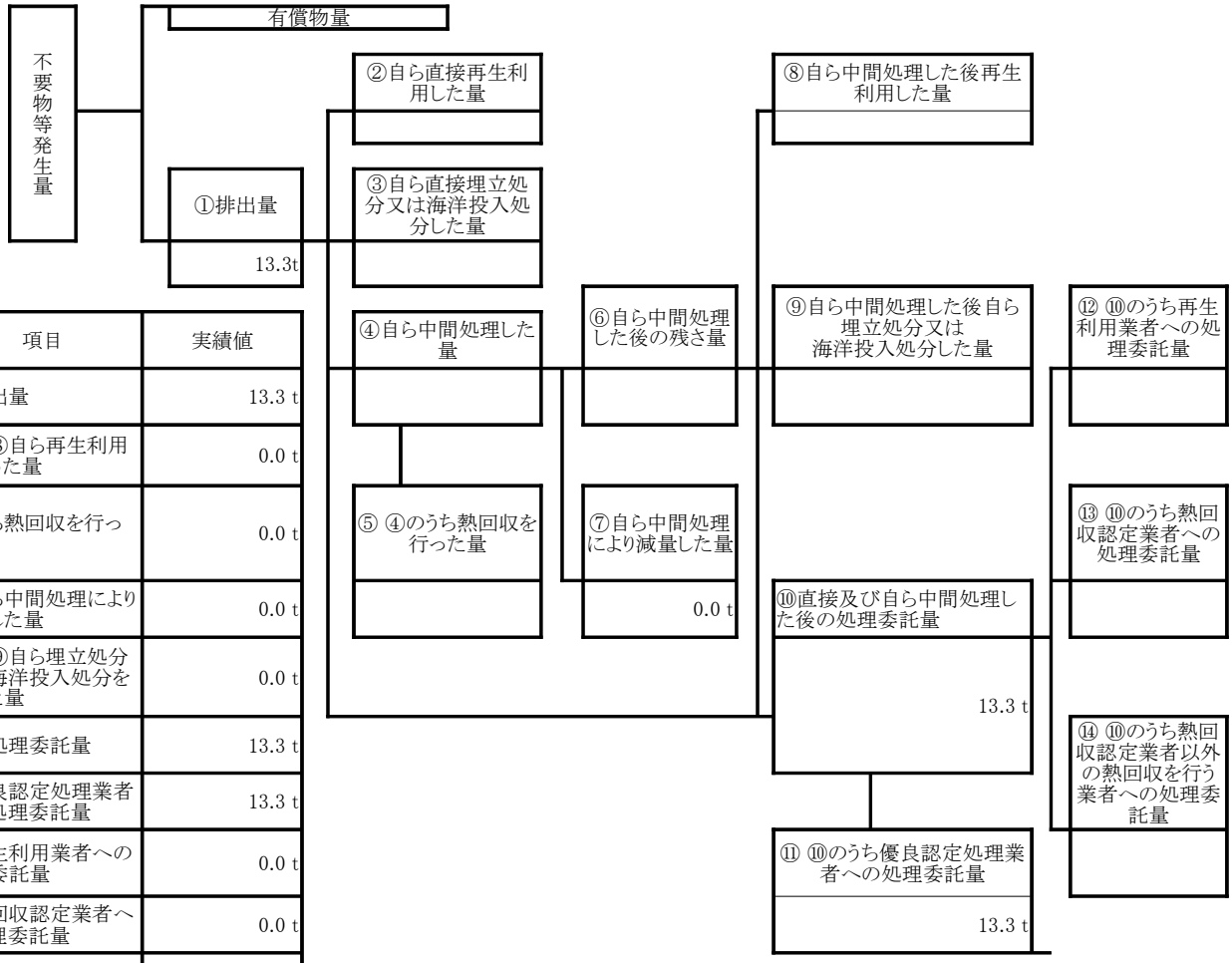
項目	目標値	項目	目標値
排出量	6943.18 t	全処理委託量	6943.18 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1983.79 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	86.02 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

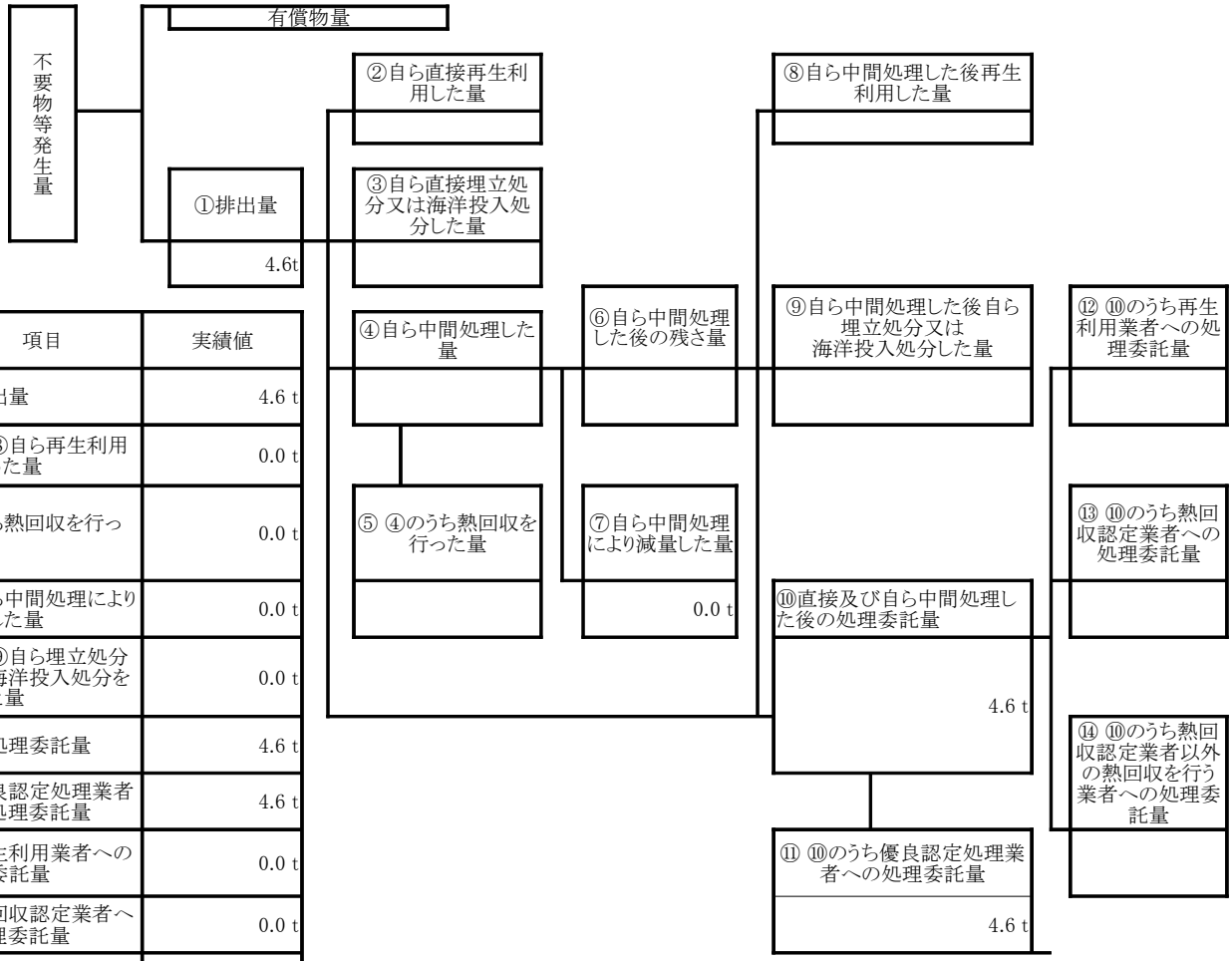


項目	実績値
①排出量	13.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**廃油**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

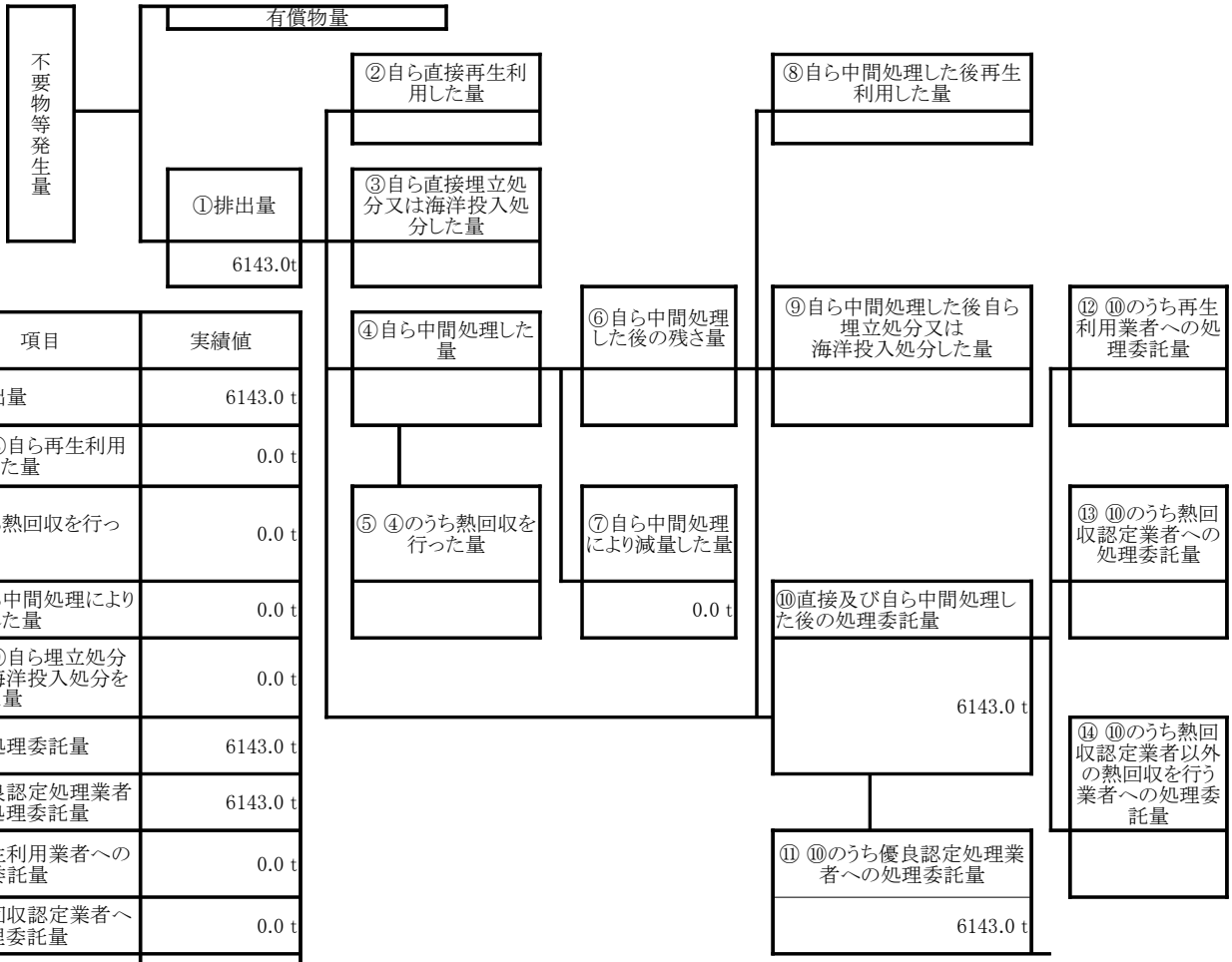


項目	実績値
①排出量	4.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　廃アルカリ　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

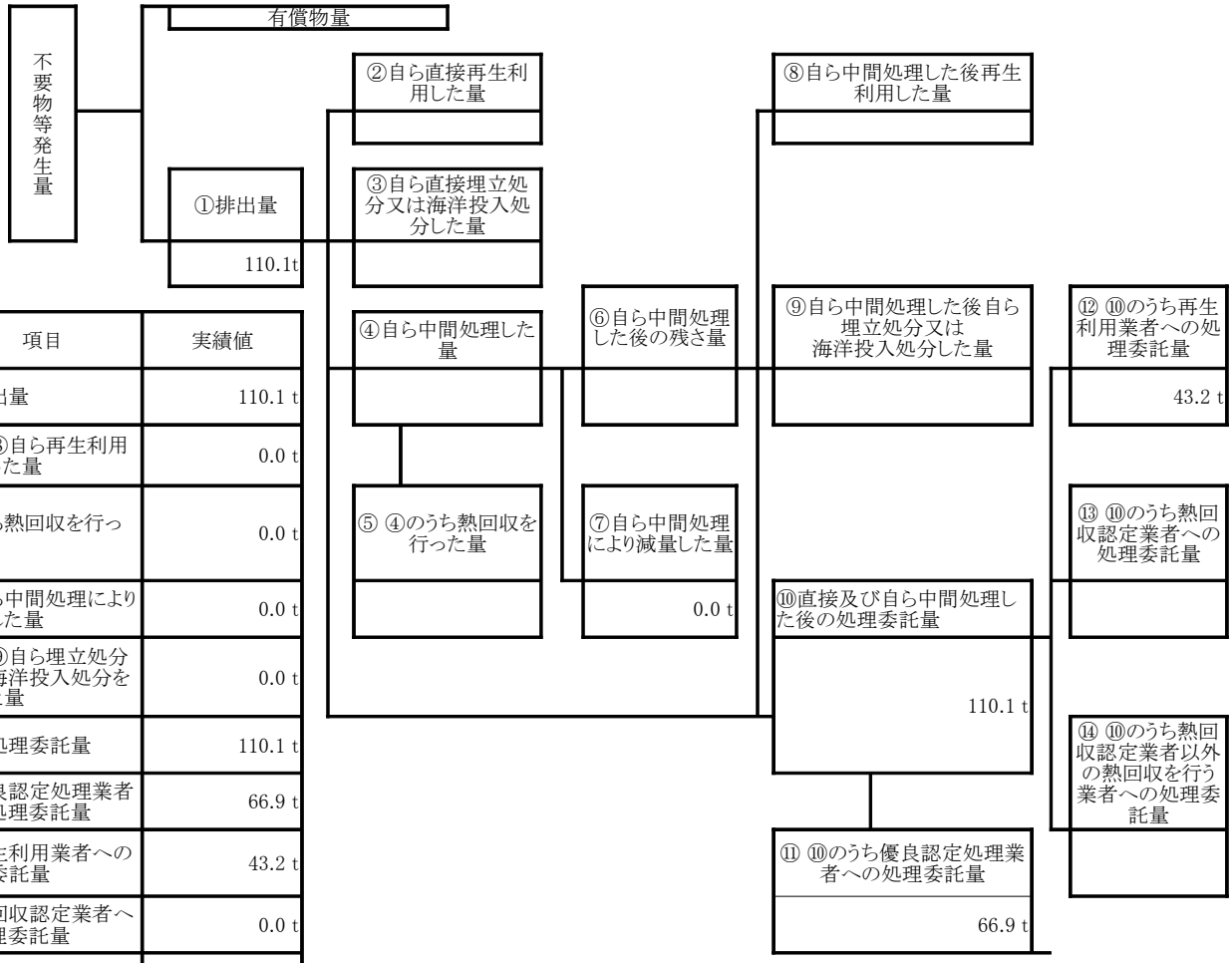


項目	実績値
①排出量	6143.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6143.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6143.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



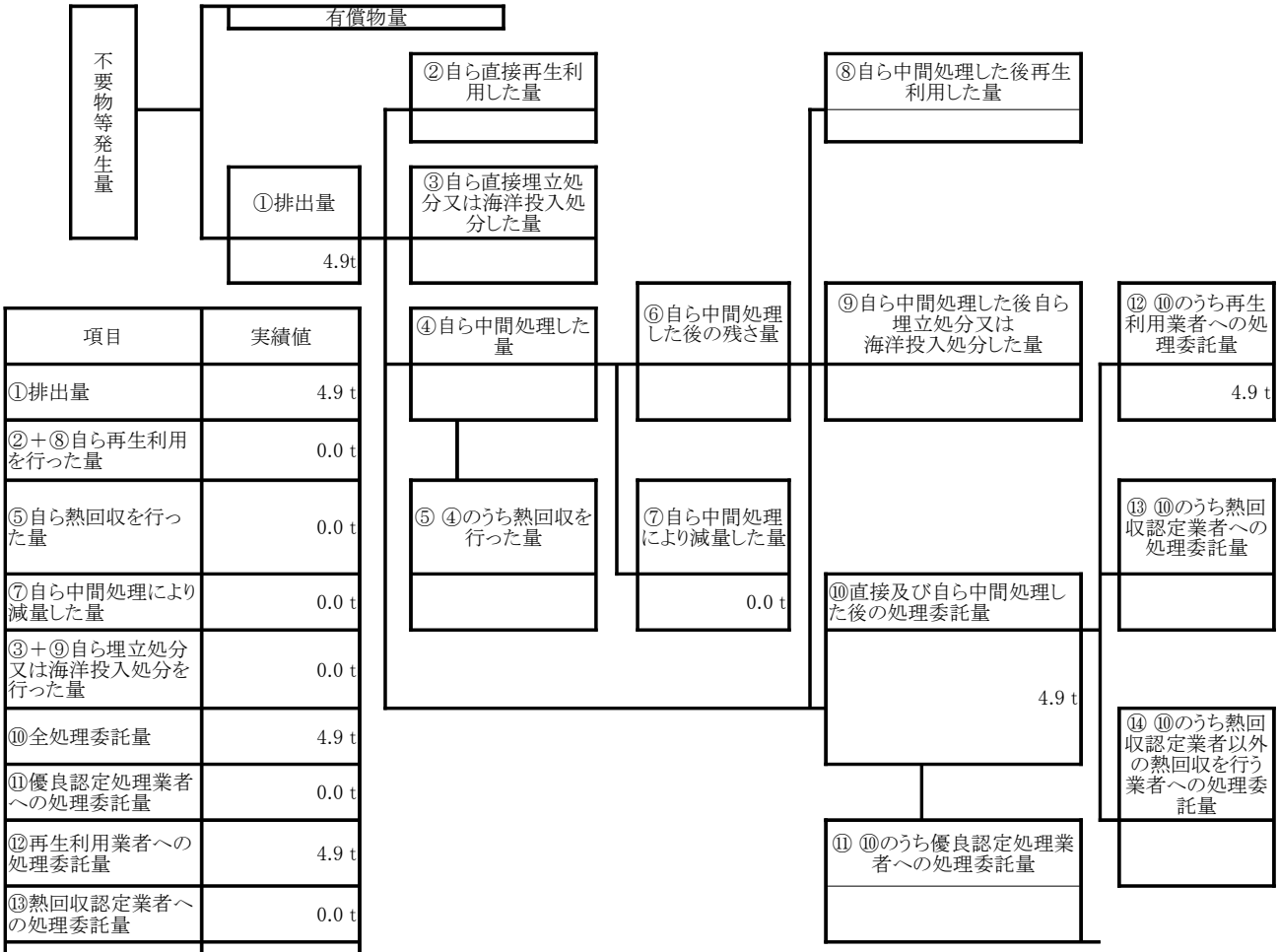
項目	実績値
①排出量	110.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	110.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	66.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	43.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

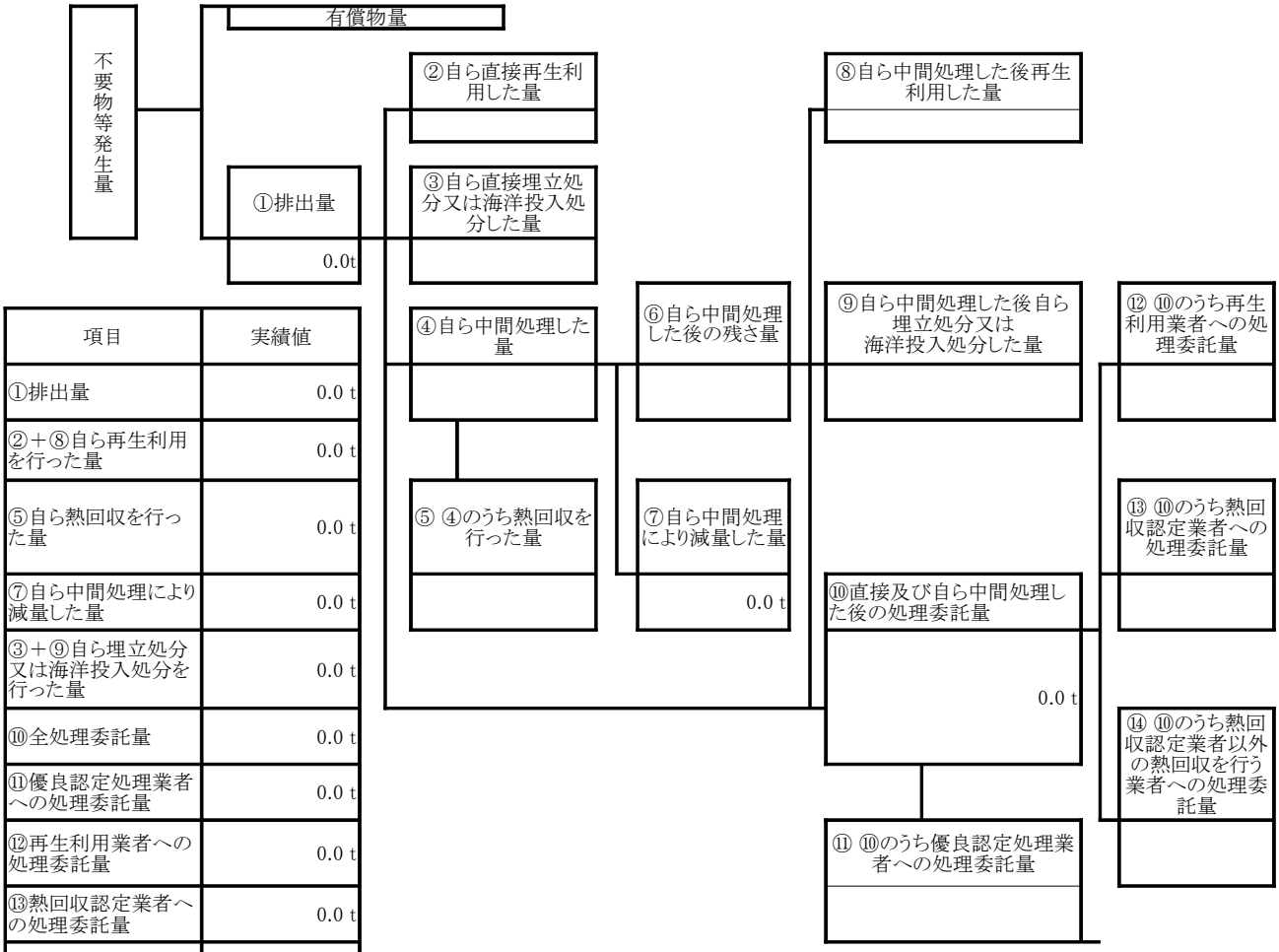


項目	実績値
①排出量	4.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　廃酸　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

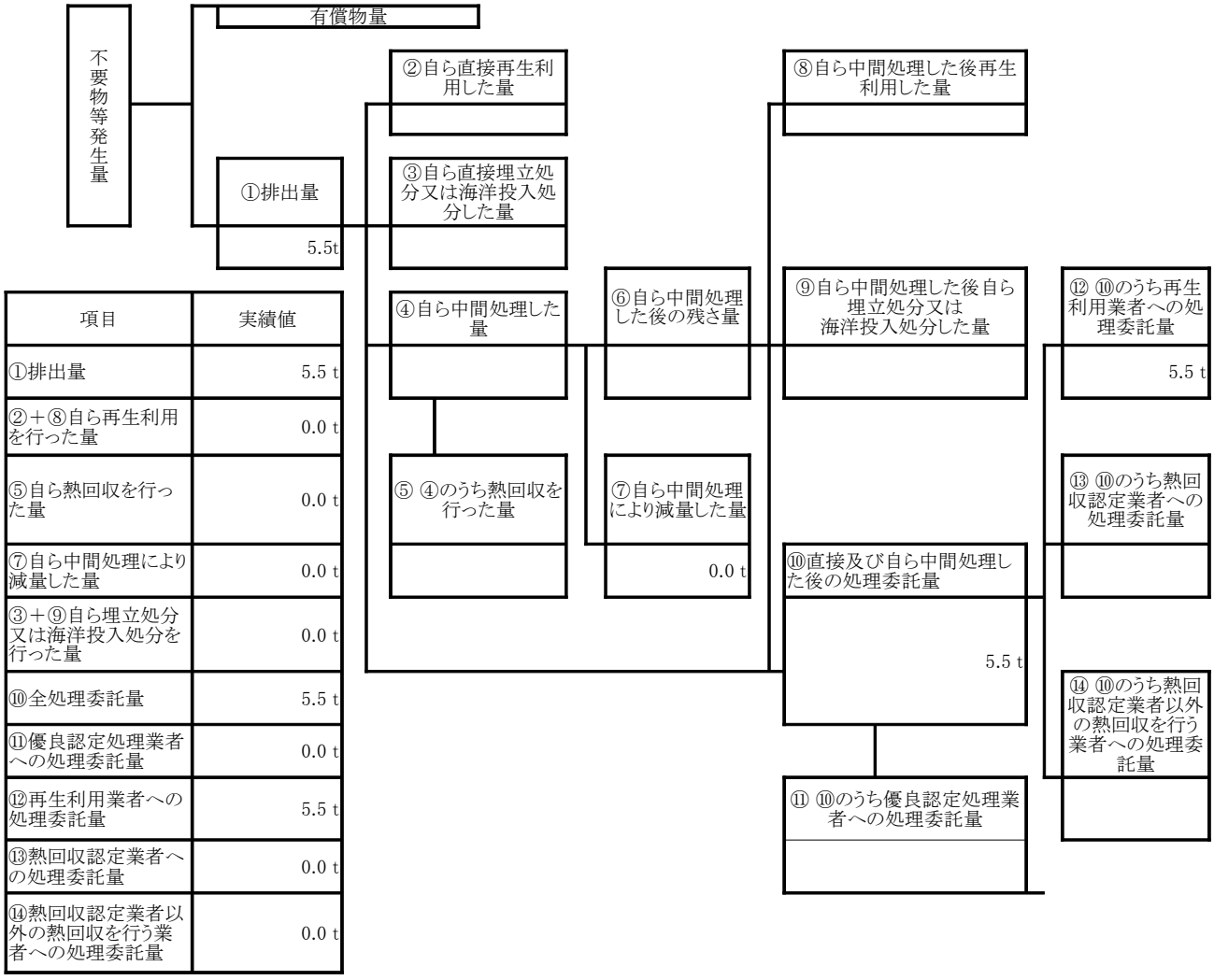


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

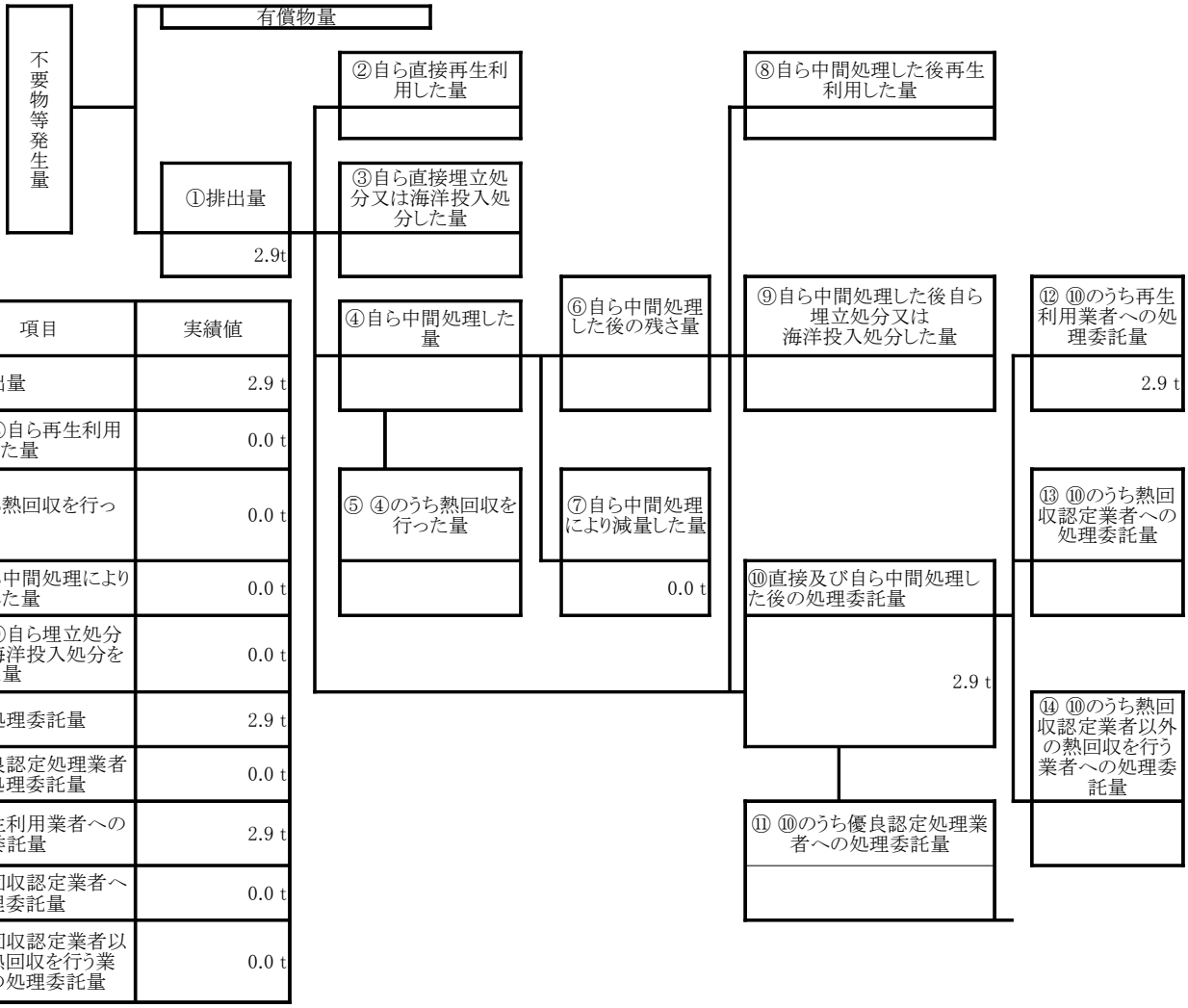


項目	実績値
①排出量	5.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

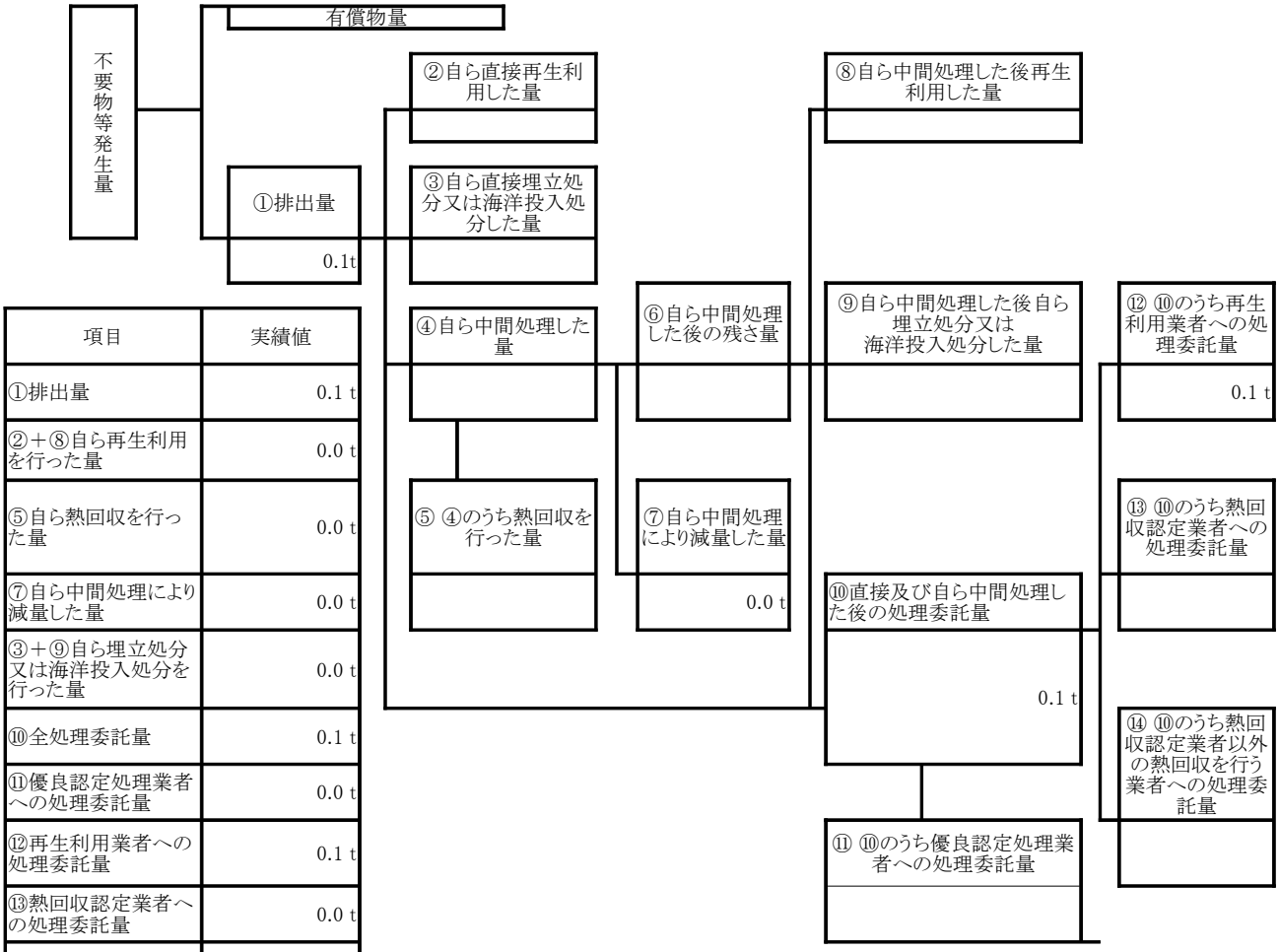


項目	実績値
①排出量	2.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃電気機械器具**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

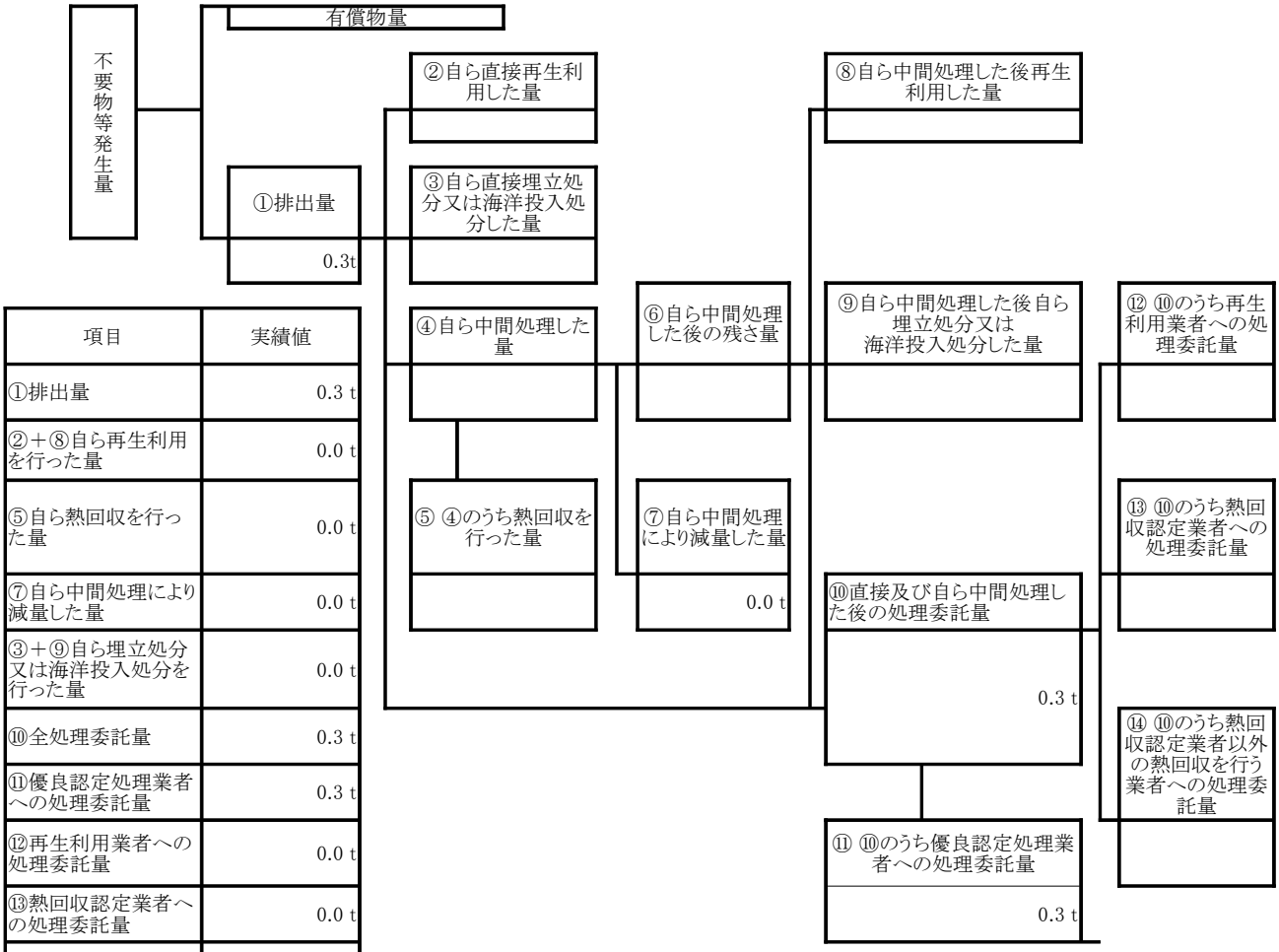


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**廃電池類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

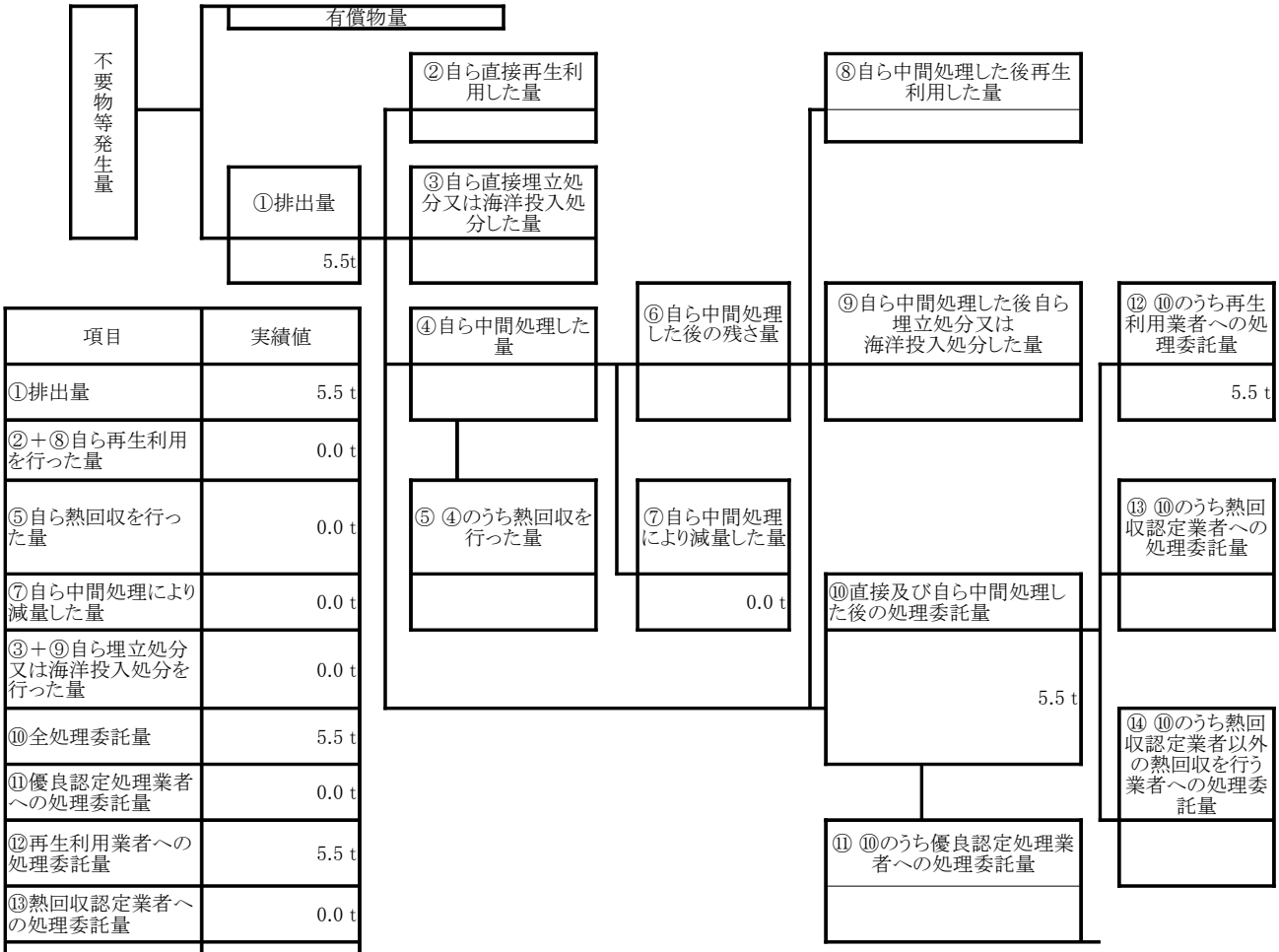


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**安定型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



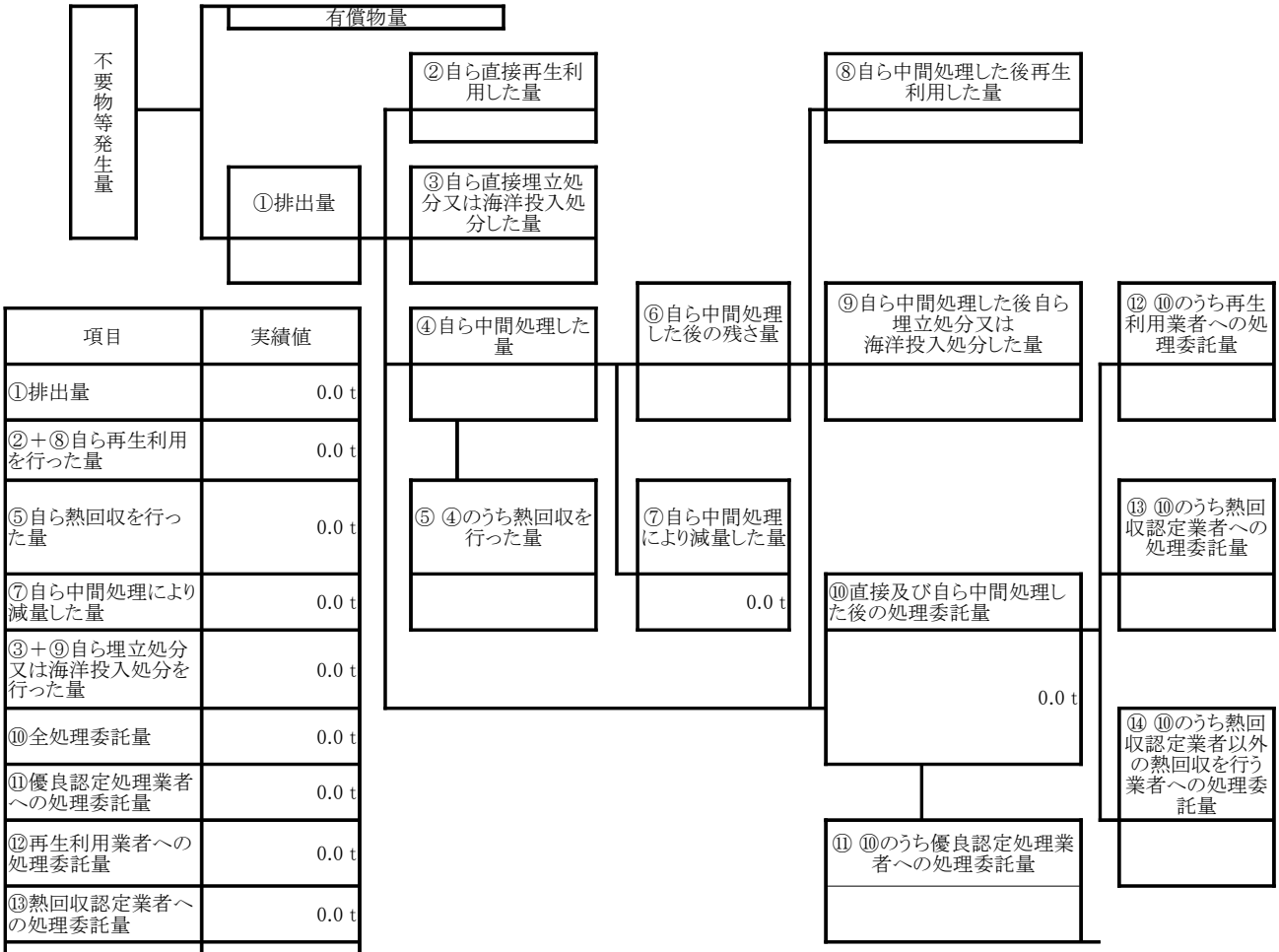
項目	実績値
①排出量	5.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



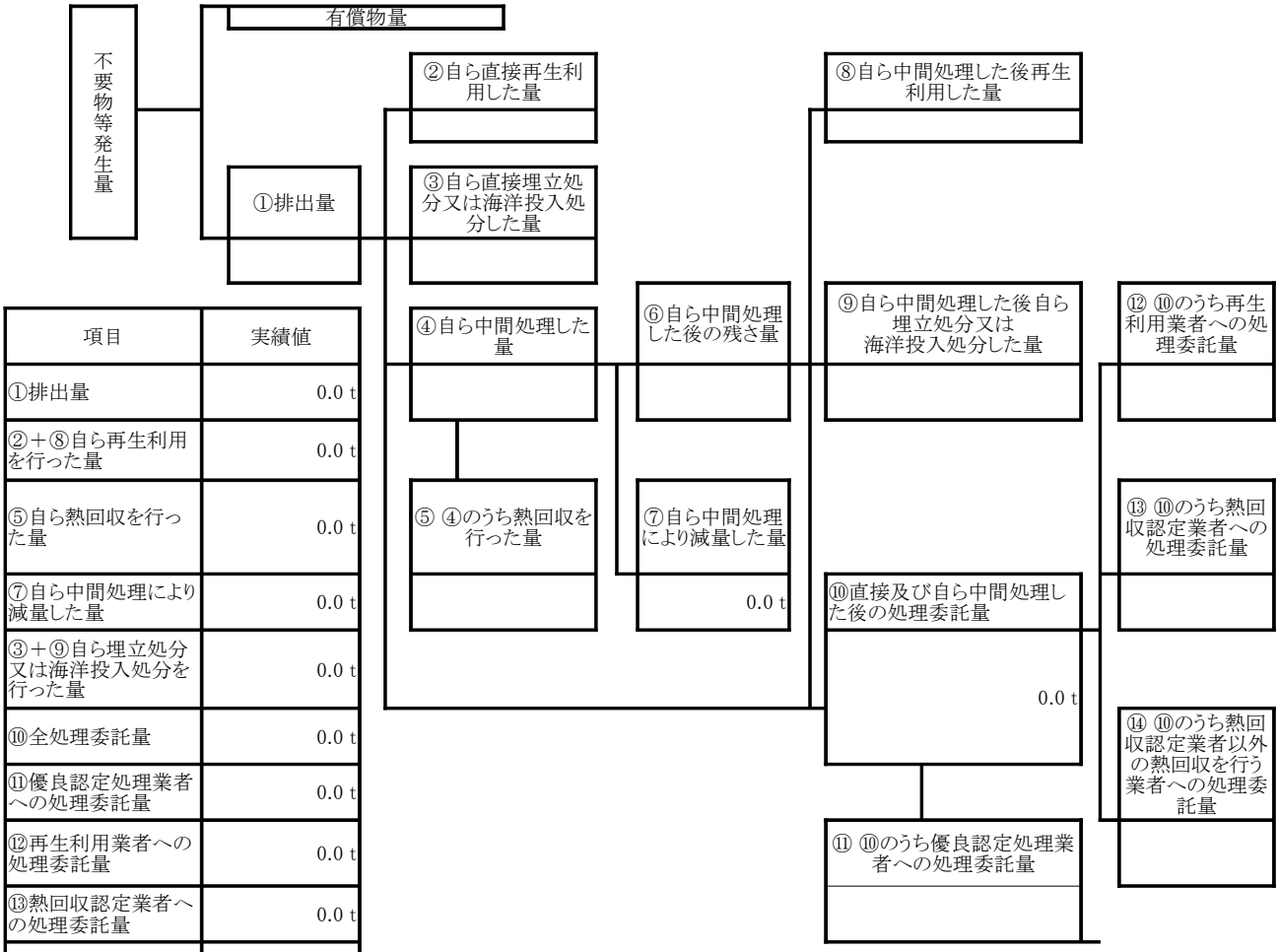
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

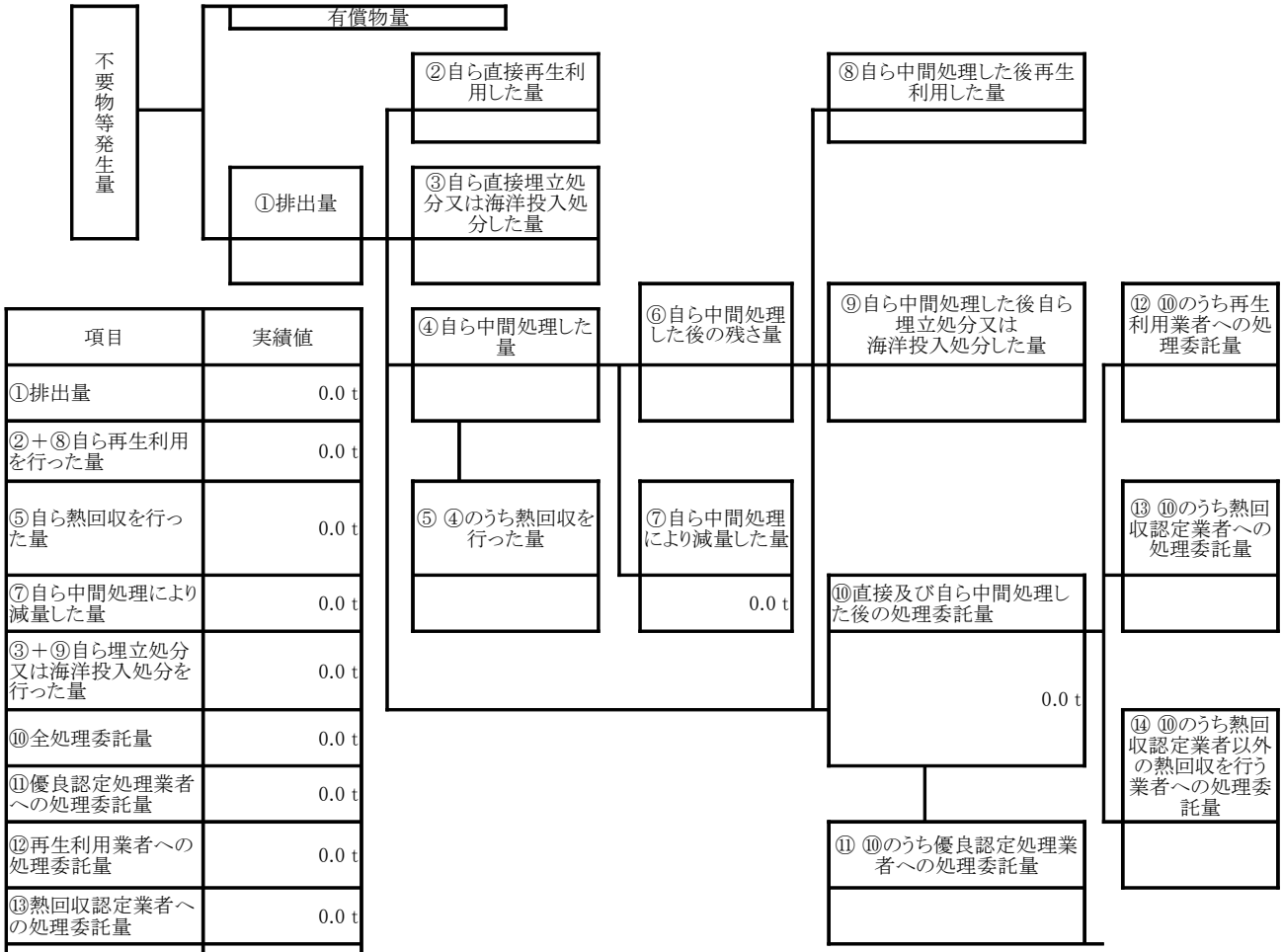


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



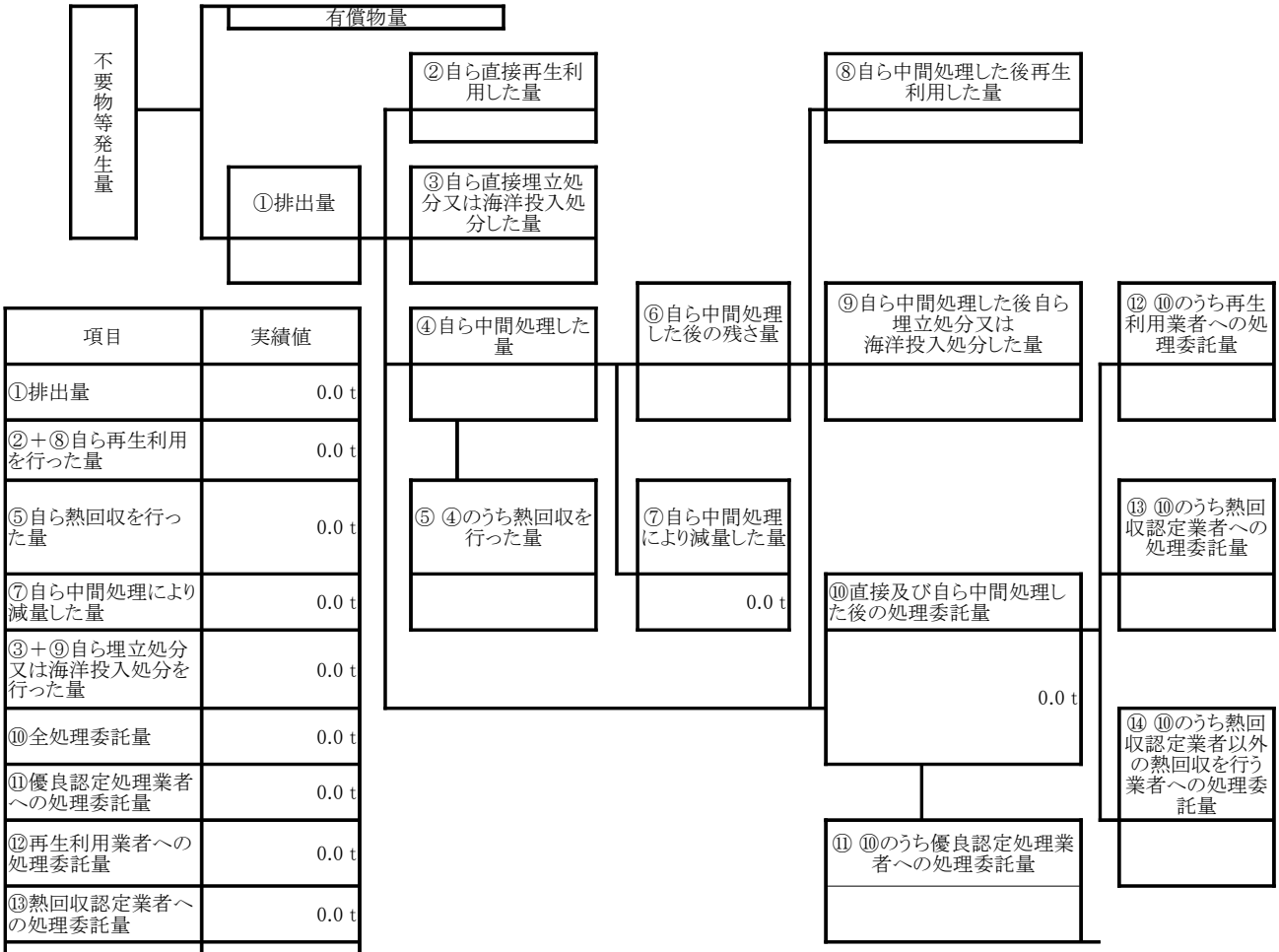
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

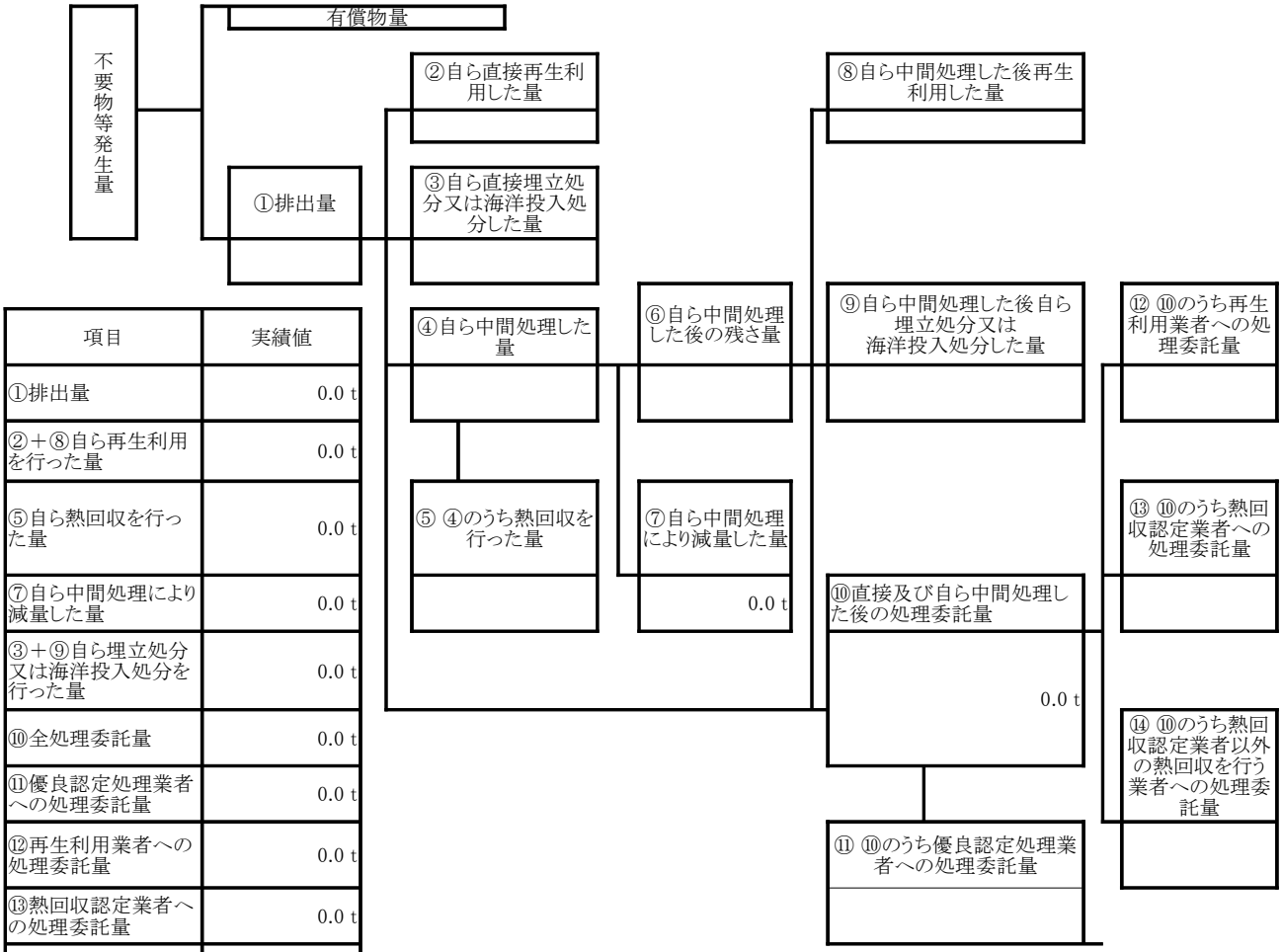


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

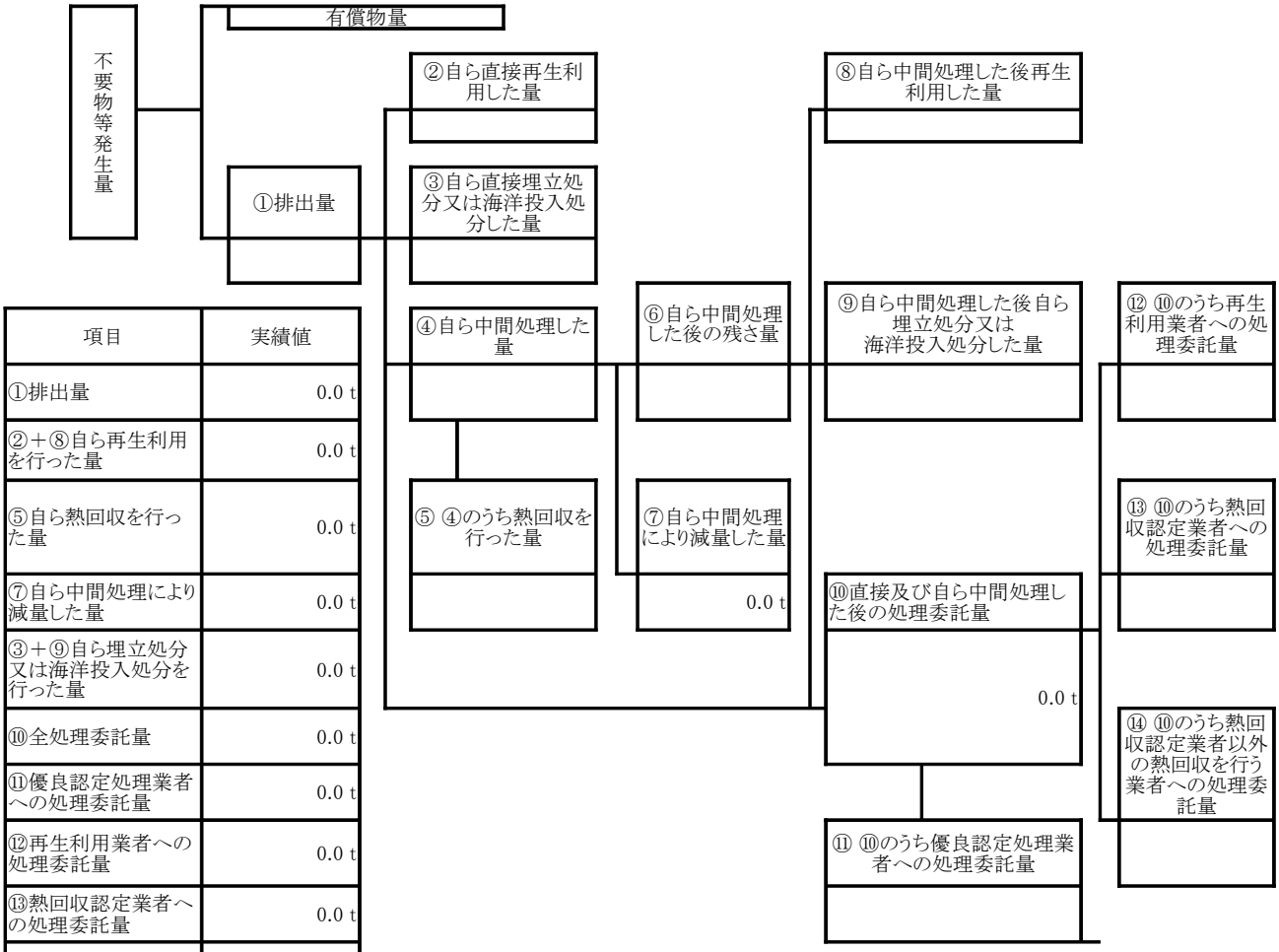


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



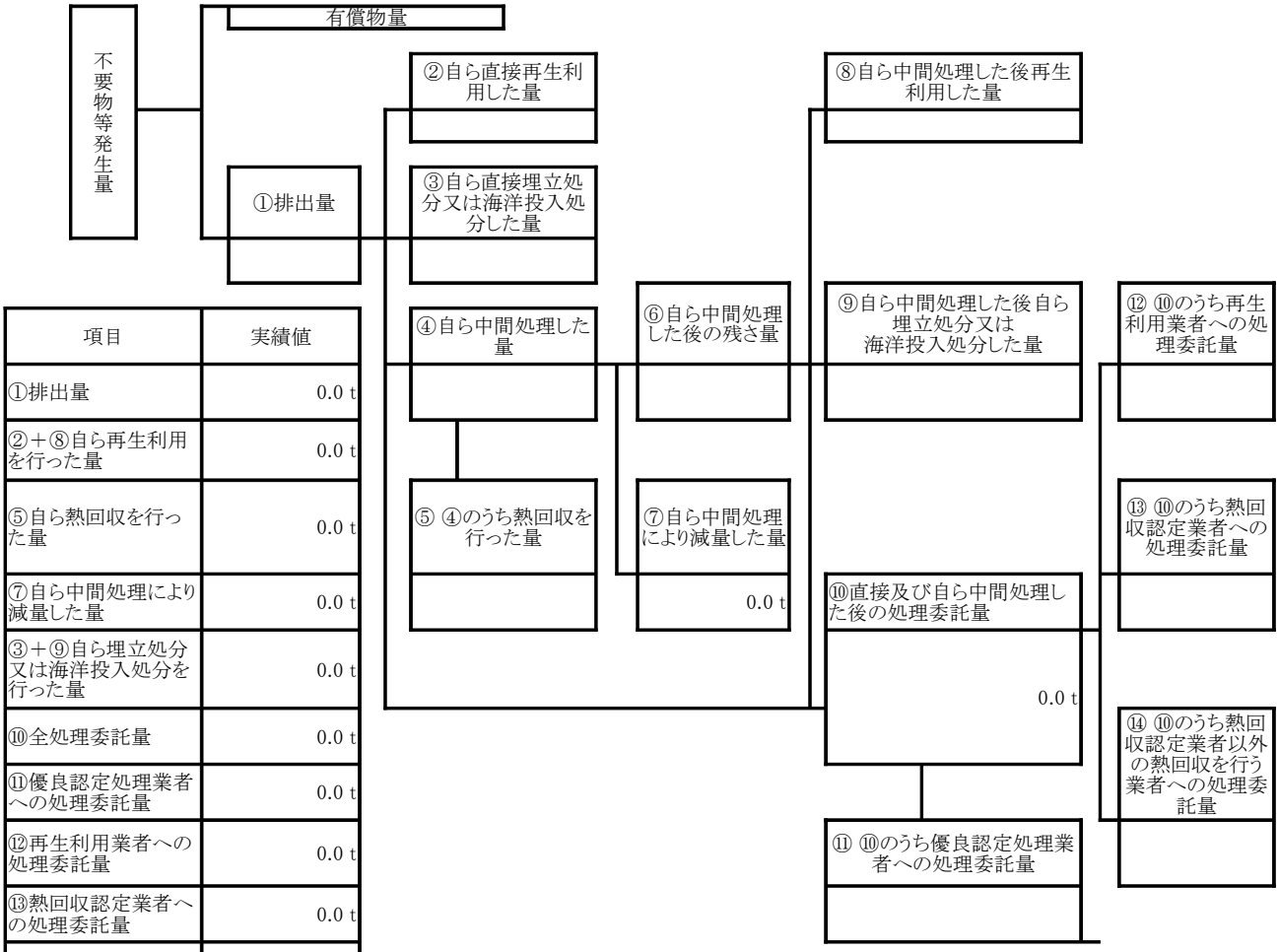
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

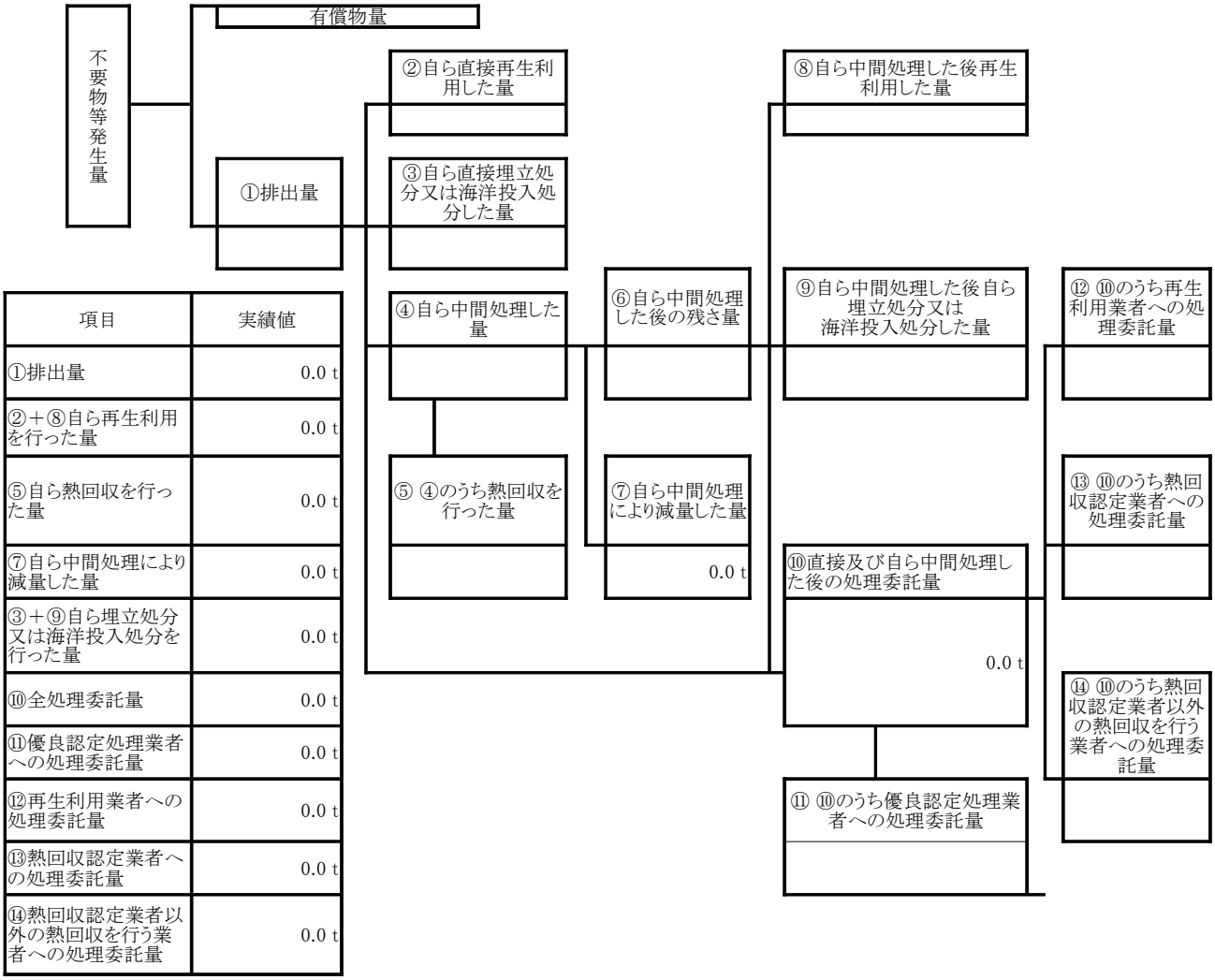


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

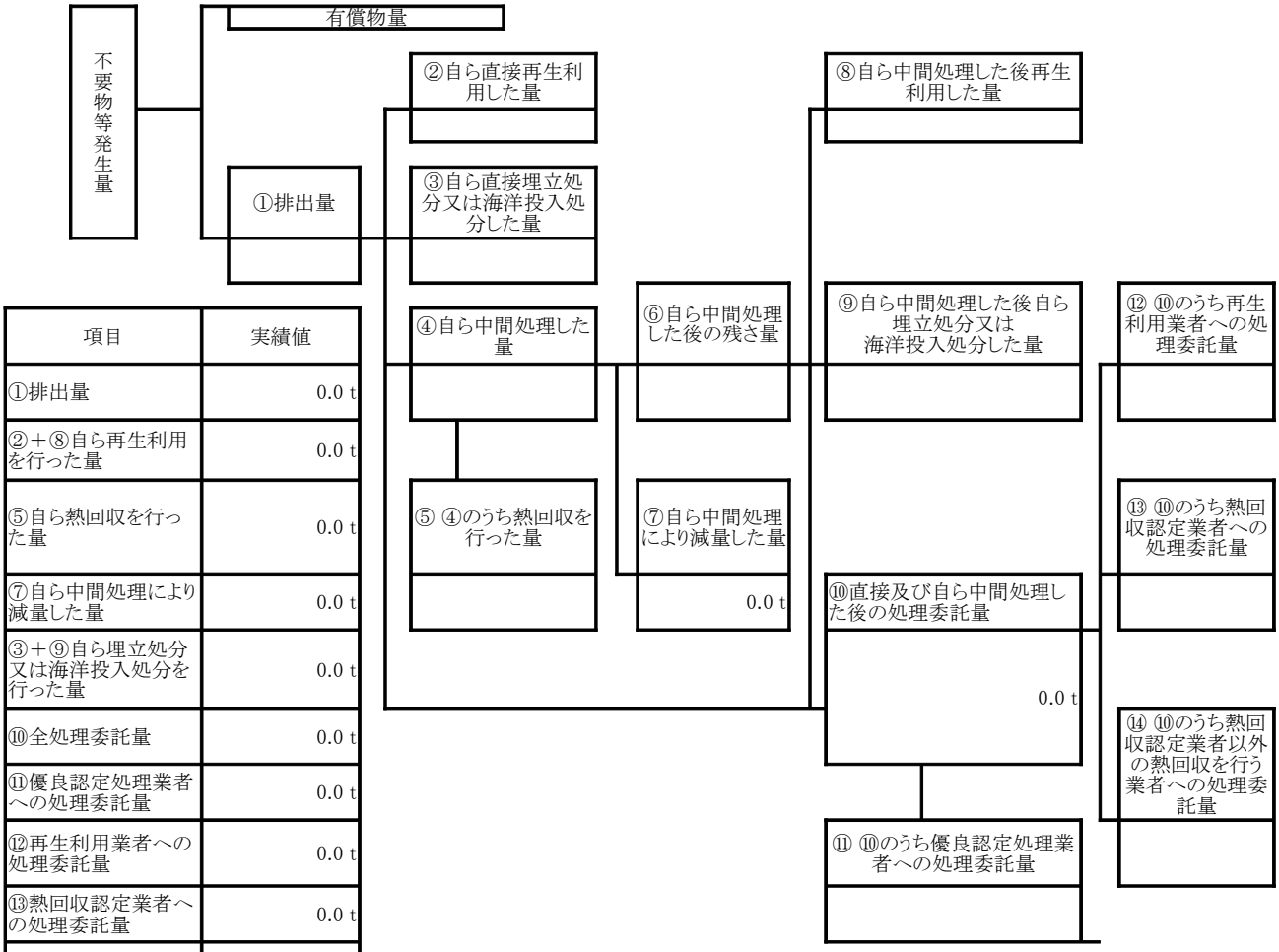


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月25日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　289-0623

住　所　千葉県香取郡東庄町宮野台1-51

法人名　東洋合成工業株式会社　千葉工場

代表者　林 孝雄

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0478-87-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東洋合成工業株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県香取郡東庄町宮野台1-51
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　化学工業
②事業の規模	前年度の製品出荷額　194億円
③従業員数	538名（正社員）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙2参照

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	全体	
	排出量	108392.96 t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙3参照		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	全体	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙3参照		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	全体	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙4参照		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	全体	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙4参照		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	全体	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙5参照		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	全体	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙5参照		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>全体</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙6参照</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>全体</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙6参照</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>全体</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>全体</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）　12435.52 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
令和5年度は、全ての産業廃棄物・特別管理産業廃棄物について、
電子マニフェスト対応致しました。
本年度も同様に、完全電子マニフェスト対応を継続致します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

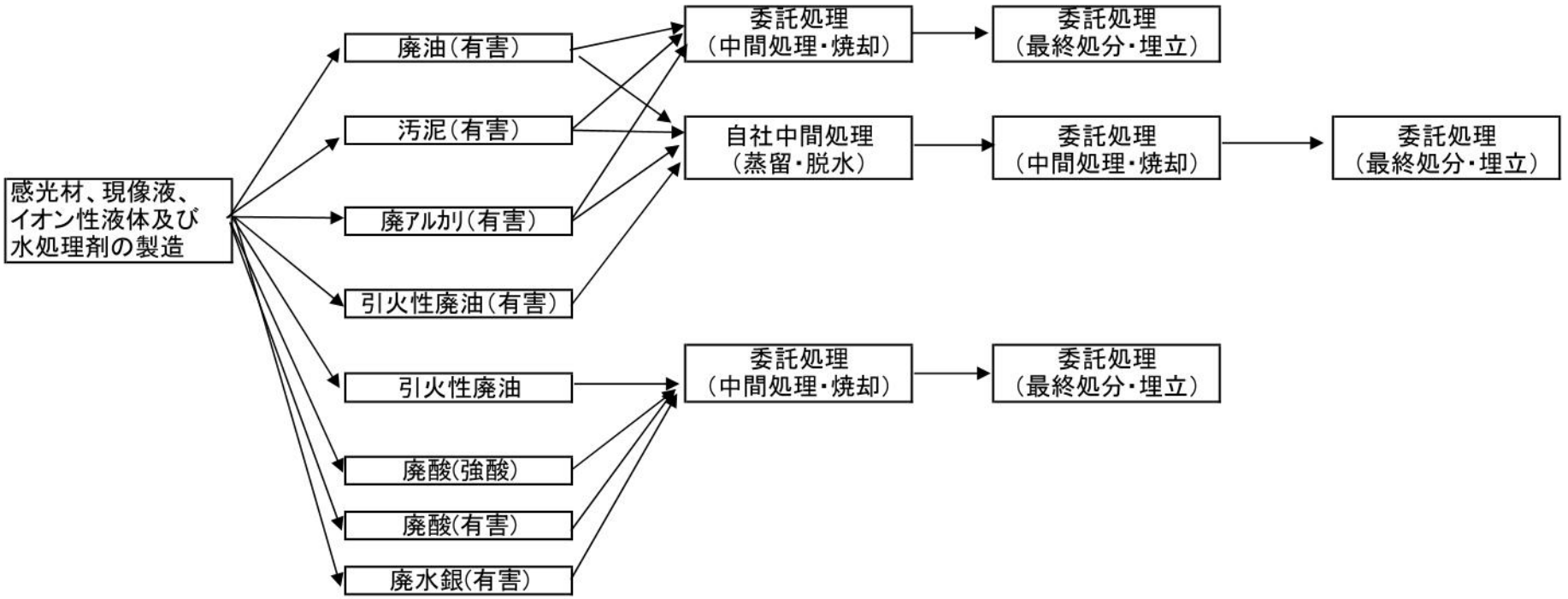
６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

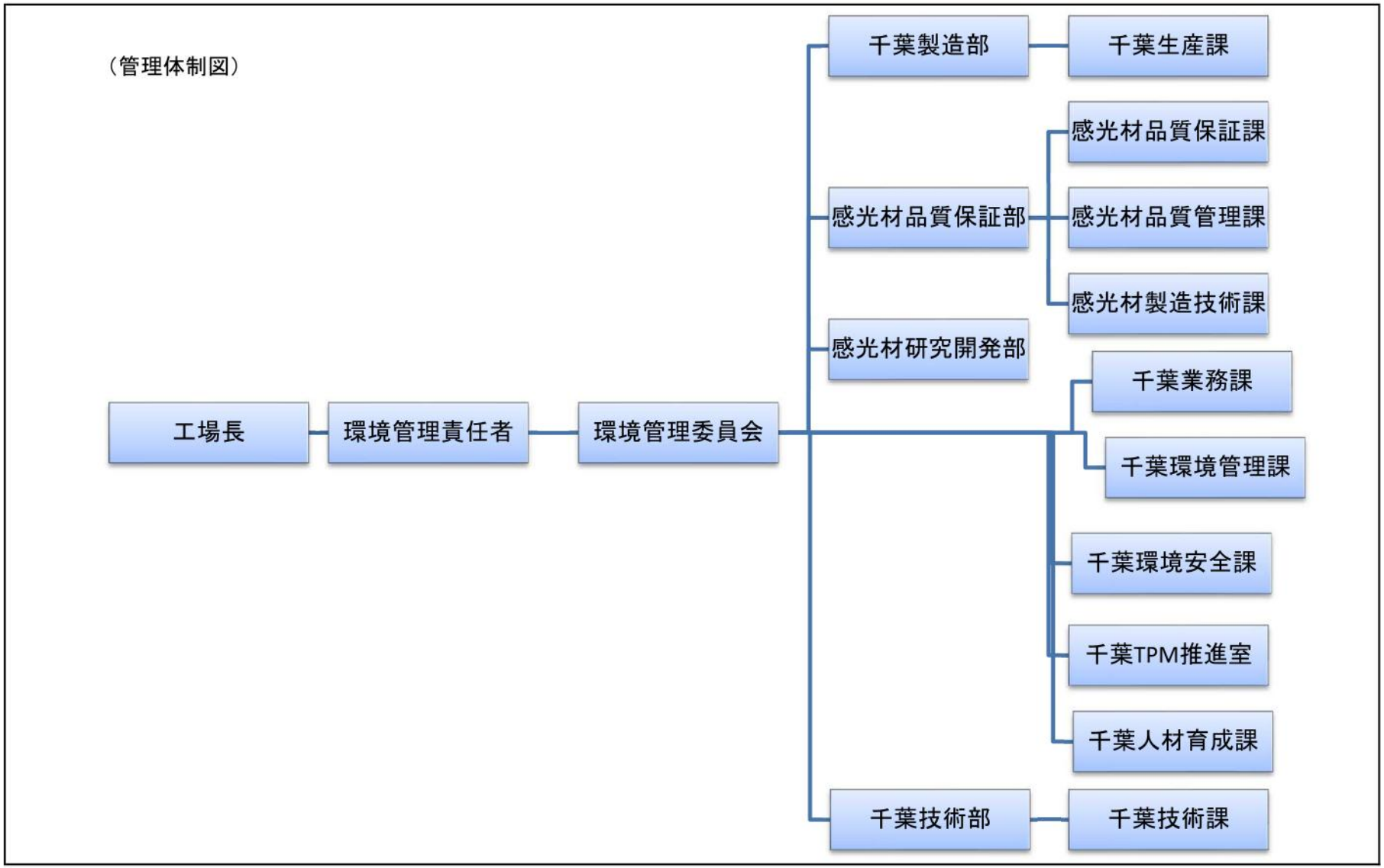
８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

別紙　1

特別管理産業廃棄物処理工程図



別紙2


（管理体制図）
工場長
環境管理責任者
環境管理委員会
千葉製造部
千葉生産課
感光材品質保証部
感光材品質保証課
感光材品質管理課
感光材製造技術課
感光材研究開発部
千葉業務課
千葉環境管理課
千葉環境安全課
千葉TPM推進室
千葉人材育成課
千葉技術部
千葉技術課

別紙3

特別産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

単位 t

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	引火性廃油（有害）	廃酸(強酸)	廃油(有害)	汚泥(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(PH12.5以上)
排出量	76.25390	722.75	1.357000	9,660.320	1,009.36	78,510.421	18,412.4980

（これまでに実施した取組）
使用原材料削減等、製造工程見直しを行い、製造量あたりの収率向上による排出量の抑制を行った。
引火性廃油の一部を有償化を行い廃棄物削減に繋がりました。

②計画

【目標】

特別産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	引火性廃油（有害）	廃酸(強酸)	廃油(有害)	汚泥(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(PH12.5以上)
排出量	78.160	740.819	1.391	9,901.828	1,034.594	80,473.182	18,872.810

（今後実施する予定の取組）
前年より4.9%増産を計画しています、使用原材料削減、製造工程見直しを継続し、収率向上及び廃棄物分別による廃棄物排出抑制に努め廃棄物排出量＋2.5%に抑えます。
廃油の分別を進め有償化を目指す。

別紙 4

自ら行う特別産業廃棄物の再生利用に関する事項

単位 t

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	引火性廃油（有害）	廃酸(強酸)	廃油(有害)	汚泥(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(PH12.5以上)
自ら再生利用を行った特別産業廃棄物の量	0	178.57	0	0.000	0	2853.208	669.271

（これまでに実施した取組）
蒸留による引火性廃油（有害）・廃油（有害）・廃ｱﾙｶﾘ（有害）の減量化を行った。
蒸溜により再生したものを、再利用及び有償物化することによる廃棄物削減を行った。

②計画

【目標】

特別産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	引火性廃油（有害）	廃酸(強酸)	廃油(有害)	汚泥(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(PH12.5以上)
自ら再生利用を行う特別産業廃棄物の量	0.000	180.356	0.000	0.000	0.000	2881.740	675.964

（今後実施する予定の取組）
蒸留による引火性廃油（有害）・廃ｱﾙｶﾘ（有害）の減量化を行う。
蒸留効率向上による再利用及び有償物化量増加に努める。

別紙 5

自ら行う特別産業廃棄物の中間処理に関する事項

単位 t

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	引火性廃油（有害）	廃酸(強酸)	廃油(有害)	汚泥(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(PH12.5以上)
自ら熱回収を行った特別産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量した特別産業廃棄物の量	0	0	0	0	762.12	74,236.913	17,413.597

（これまでに実施した取組）
蒸留による廃ｱﾙｶﾘ（有害）の減量化を行った。
脱水による汚泥（有害）の減量化を行った。
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物はない。

②計画

【目標】

特別産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	引火性廃油（有害）	廃酸(強酸)	廃油(有害)	汚泥(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(PH12.5以上)
自ら熱回収を行う特別産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量した特別産業廃棄物の量	0	0	0	0	769.74	74,979.28	17,587.73

（今後実施する予定の取組）
蒸留による廃ｱﾙｶﾘ（有害）の減量化に努める。
脱水による汚泥の減量化に努める。
今年度も、自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物はない。

別紙 6

自ら行う特別産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

単位 t

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	引火性廃油（有害）	廃酸(強酸)	廃油(有害)	汚泥(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(PH12.5以上)
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0

（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	引火性廃油（有害）	廃酸(強酸)	廃油(有害)	汚泥(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(PH12.5以上)
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0

（今後実施する予定の取組）
今後も自社で埋立処分または海洋投入処分を行う予定はない。

d

別紙 7

特別産業廃棄物の処理の委託に関する事項

単位 t

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	引火性廃油（有害）	廃酸(強酸)	廃油(有害)	汚泥(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(PH12.5以上)
全処理委託量	76.25390	554.18	1.3570	9,660.320	247.24	1,420.300	329.6300
優良認定処理業者への処理委託量	76.25390	554.18	1.3570	9,660.320	247.24	1,420.30	329.630
再生利用業者への処理委託量							
認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う処理委託量							

（これまでに実施した取組）
使用原材料削減等、製造工程見直しによる収率向上を図り、排出量削減を行った。
蒸留による引火性廃油（有害）・廃ｱﾙｶﾘ（有害）の処理委託量を削減した。
脱水による汚泥（有害）の処理委託量を削減した。
引火性廃油（有害）は一部有価引き取りを行い処理委託量は減少した。

②計画

【目標】

特別産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	引火性廃油（有害）	廃酸(強酸)	廃油(有害)	汚泥(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(有害)	廃ｱﾙｶﾘ(PH12.5以上)
全処理委託量	78.16	568.03	1.39	9,901.83	253.42	1,455.81	337.87
優良認定処理業者への処理委託量	78.16	568.03	1.39	9901.83	253.42	1455.81	337.87
再生利用業者への処理委託量							
認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							

（今後実施する予定の取組）
前年より4.9%増産を計画しています、使用原材料削減、製造工程見直しを継続し、収率向上及び廃棄物分別による廃棄物排出抑制に努め廃棄物排出量＋2.5%を目標とします。
蒸留による引火性廃油（有害）・廃ｱﾙｶﾘ（有害）の処理委託量削減に努める。
脱水による汚泥（有害）の処理委託量削減に努める。
蒸留効率向上による処理委託量削減に努める。
処理委託先については、今後も継続して優良認定処理業者を推進し、処理委託を進めていく。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月25日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　289-0623

住所 千葉県香取郡東庄町宮野台1-51

法人名 東洋合成工業株式会社 千葉工場

代表者 林 孝雄

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0478-87-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東洋合成工業株式会社 千葉工場
事業場の所在地	千葉県香取郡東庄町宮野台1-51
事業の種類	大分類　製造業　中分類 化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	161859.04 t	全処理委託量	154814.96 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	4672.74 t	優良認定処理業者への処理委託量	1302.95 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	145043 t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	全前年度（令和4年度）	157911.2 t
	前年度（令和5年度）	108392.96 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

令和5年度は、全ての産業廃棄物・特別管理産業廃棄物について、電子マニフェスト対応致しました。
本年度も同様に、完全電子マニフェスト対応を継続致します。

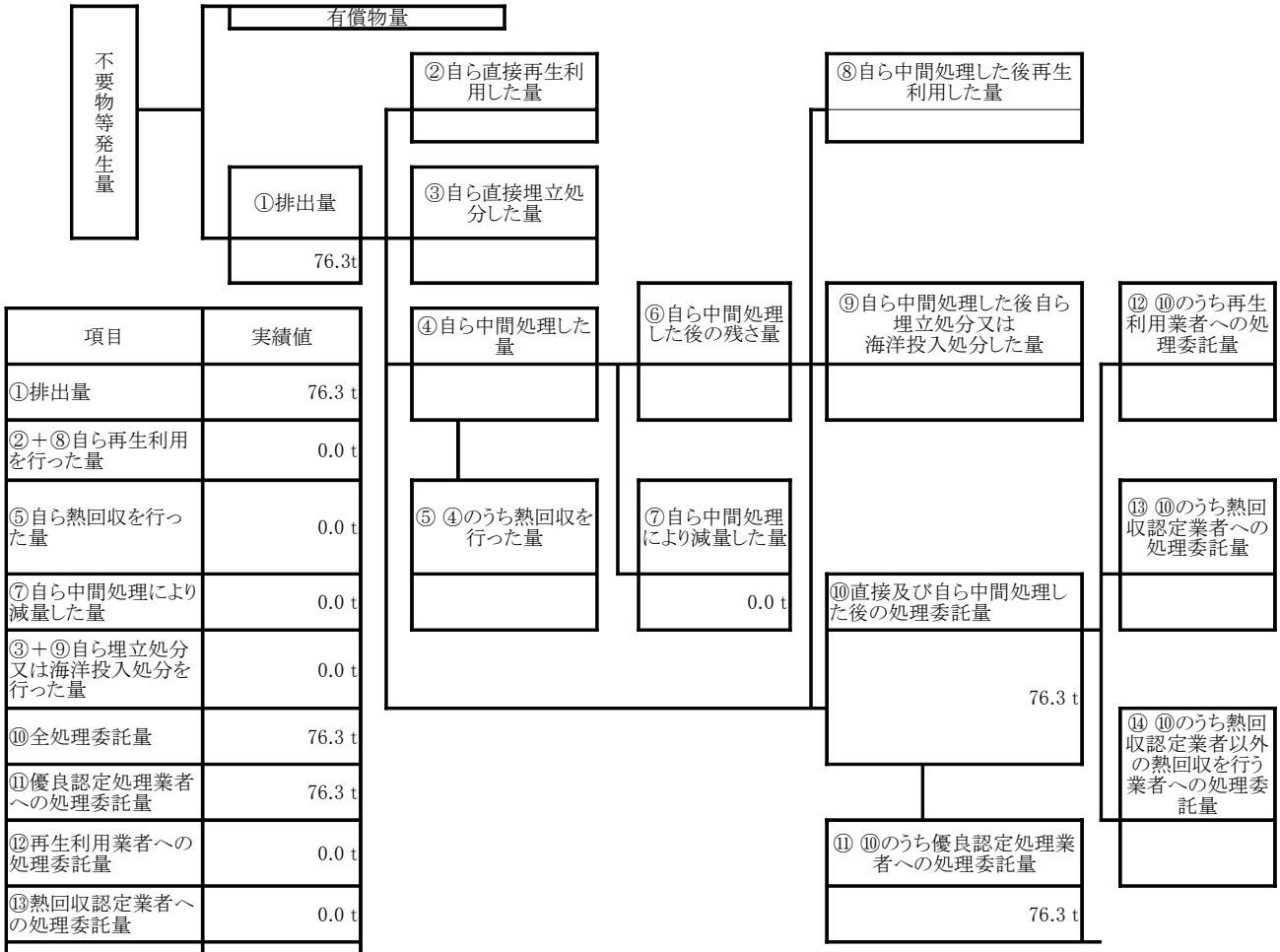
（日本産業規格　A列4番）

N0.1

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　廃油（引火性）　）



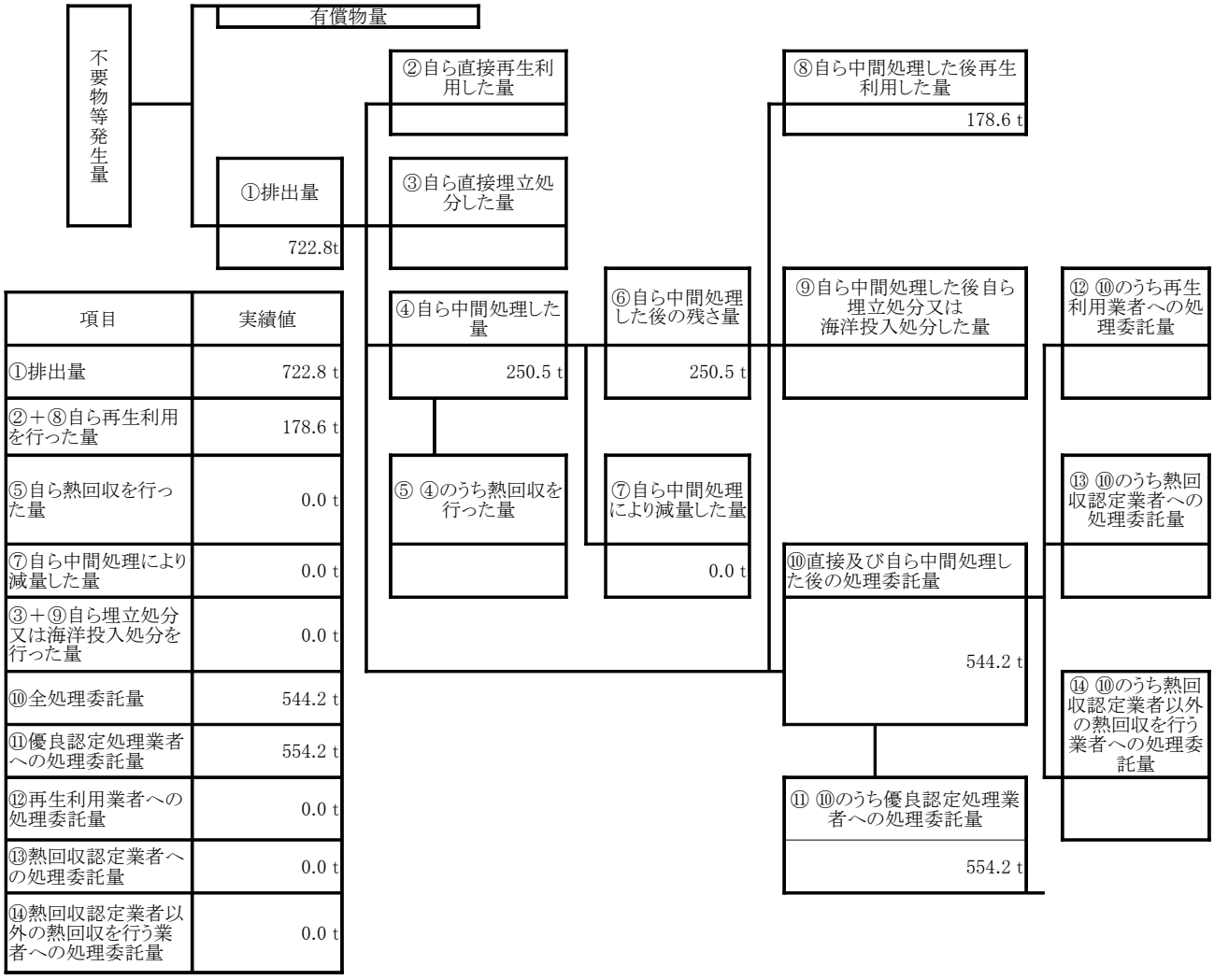
項目	実績値
①排出量	76.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	76.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	76.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況

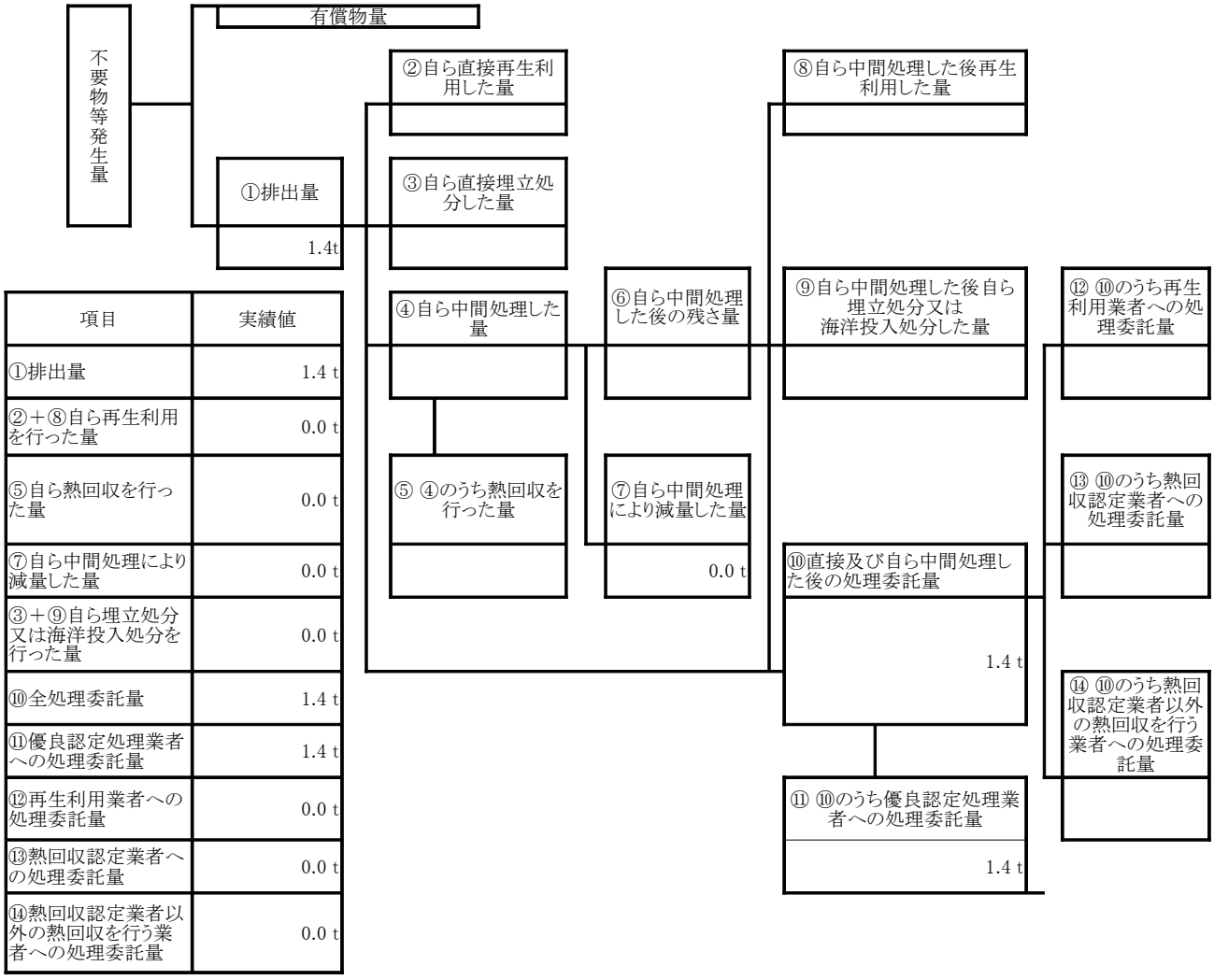
（特別管理産業廃棄物の種類:　引火性廃油（有害）　）



項目	実績値
①排出量	722.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	178.6 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	544.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	554.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　**廃酸(強酸)**　）



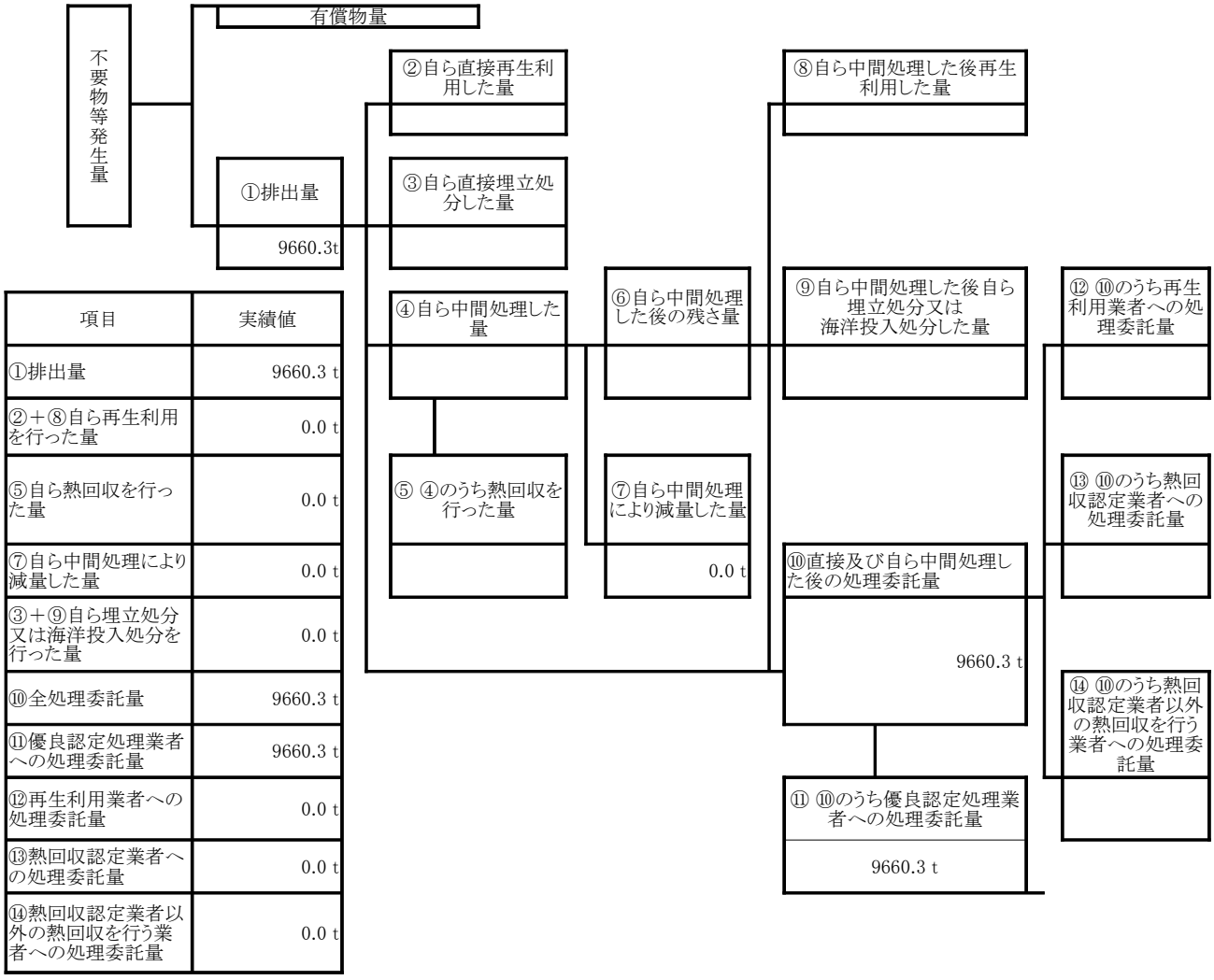
項目	実績値
①排出量	1.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　廃油（有害）　）



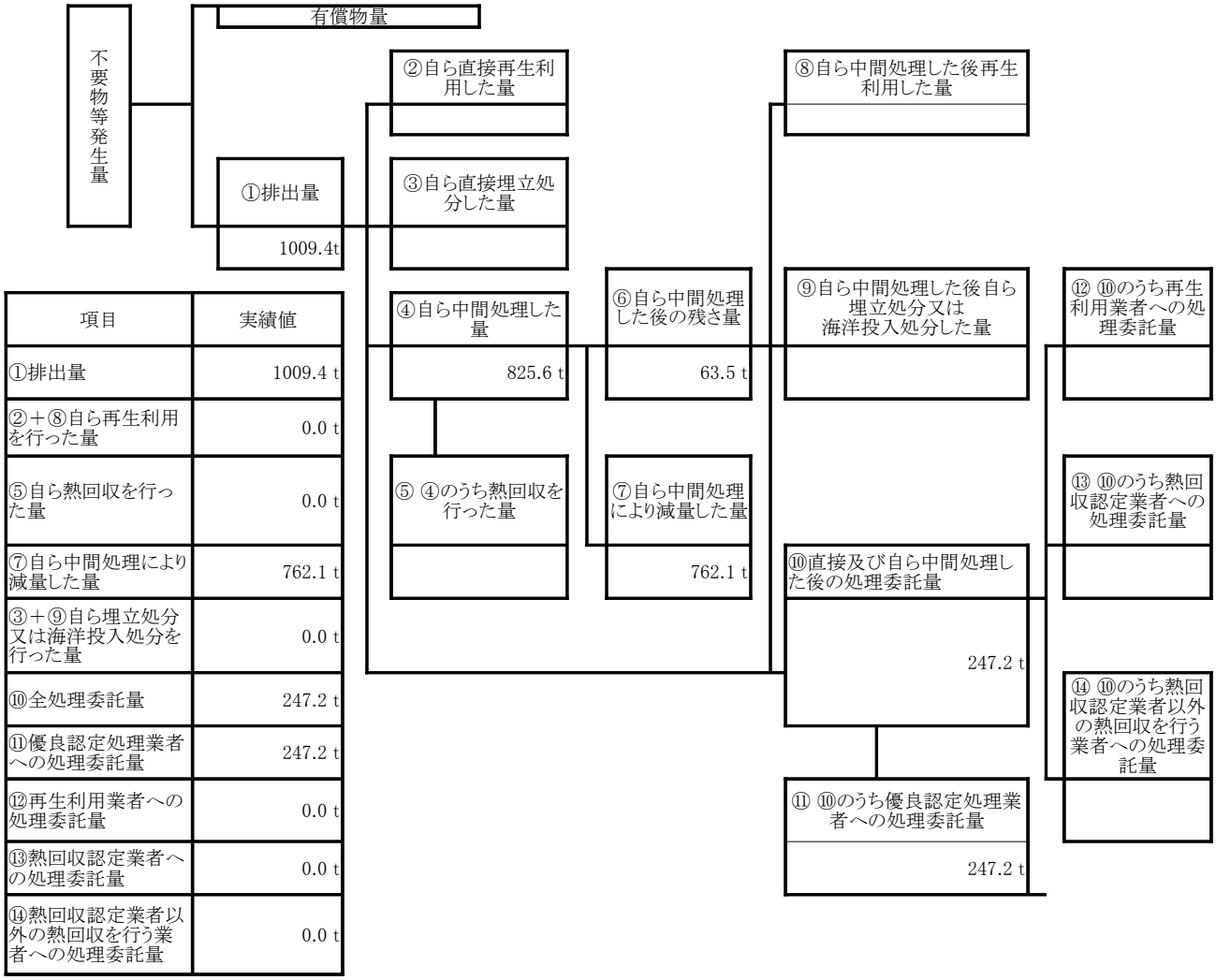
項目	実績値
①排出量	9660.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9660.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9660.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　汚泥(有害)　）



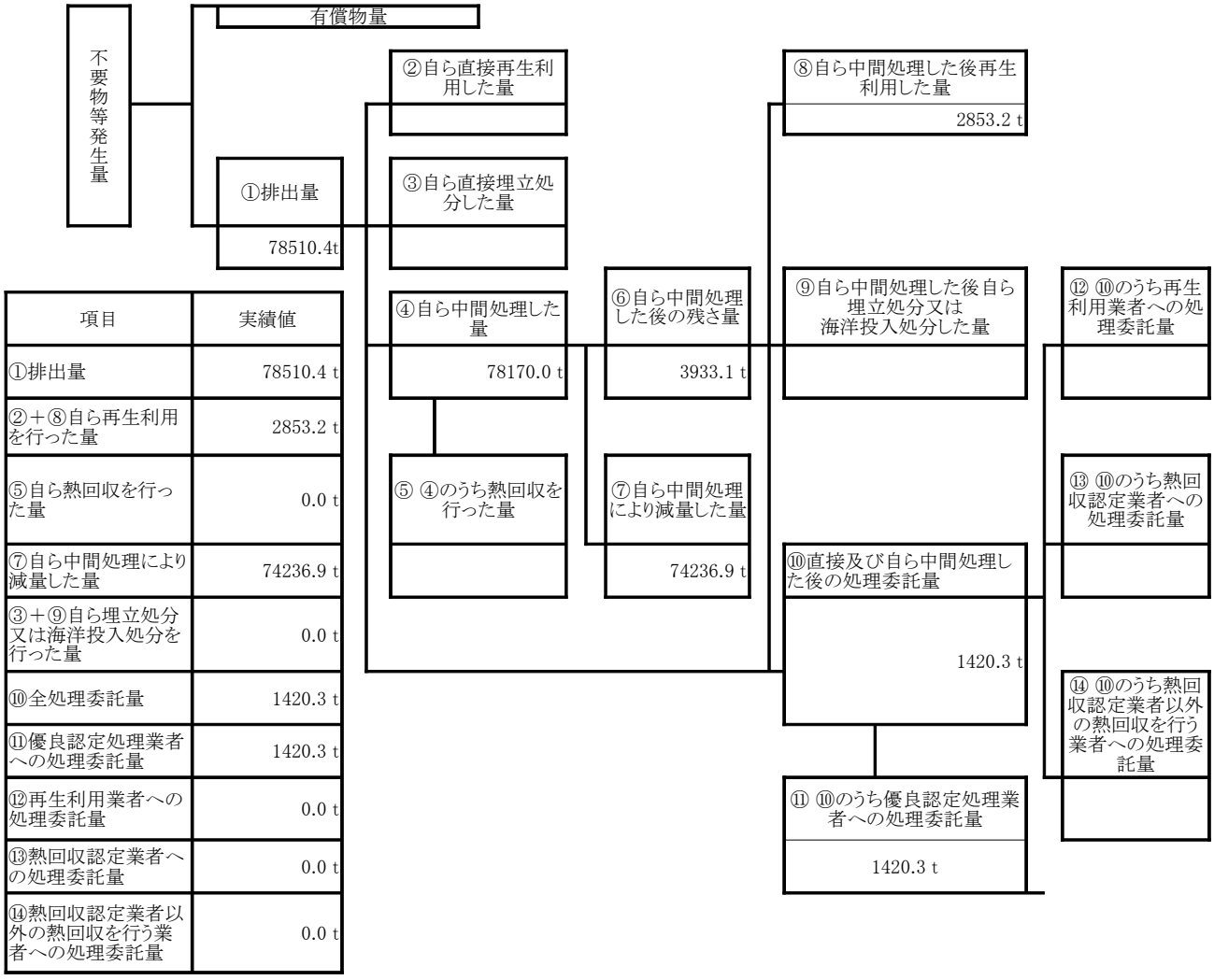
項目	実績値
①排出量	1009.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	762.1 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	247.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	247.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　廃アルカリ(有害)　）



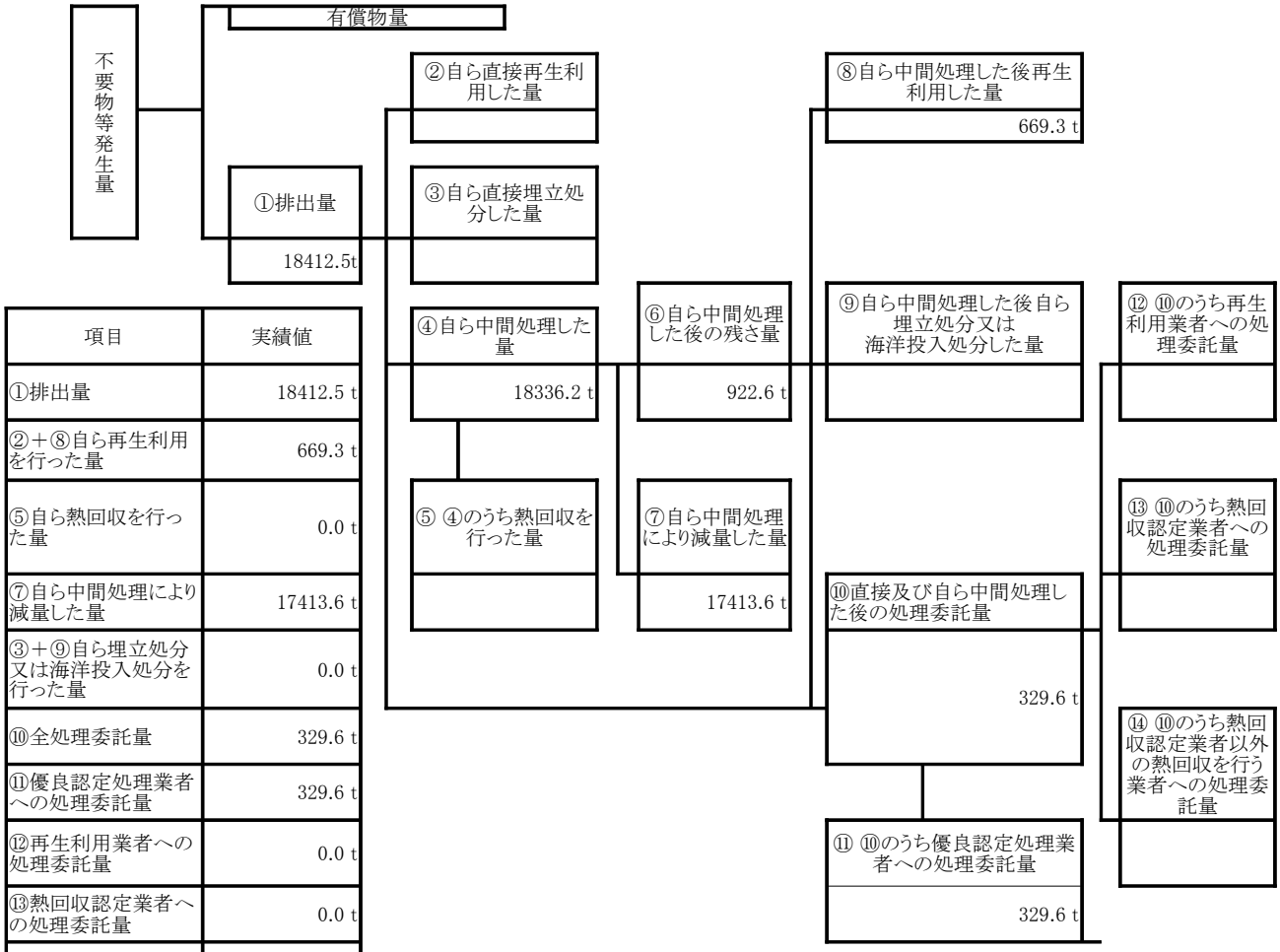
項目	実績値
①排出量	78510.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	2853.2 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	74236.9 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1420.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1420.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：アルカリ（PH12.5以上の強アルカ）

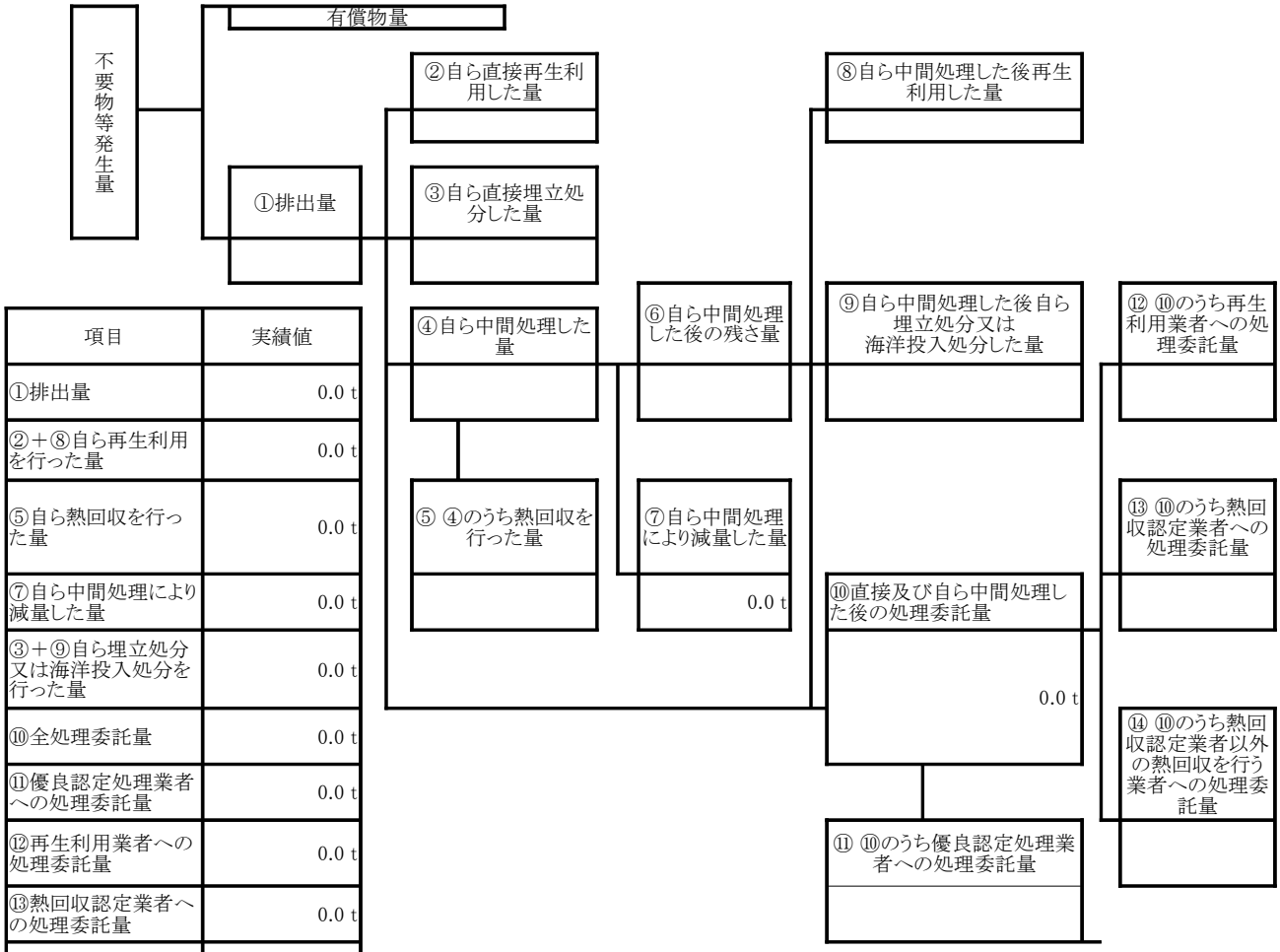


項目	実績値
①排出量	18412.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	669.3 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	17413.6 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	329.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	329.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

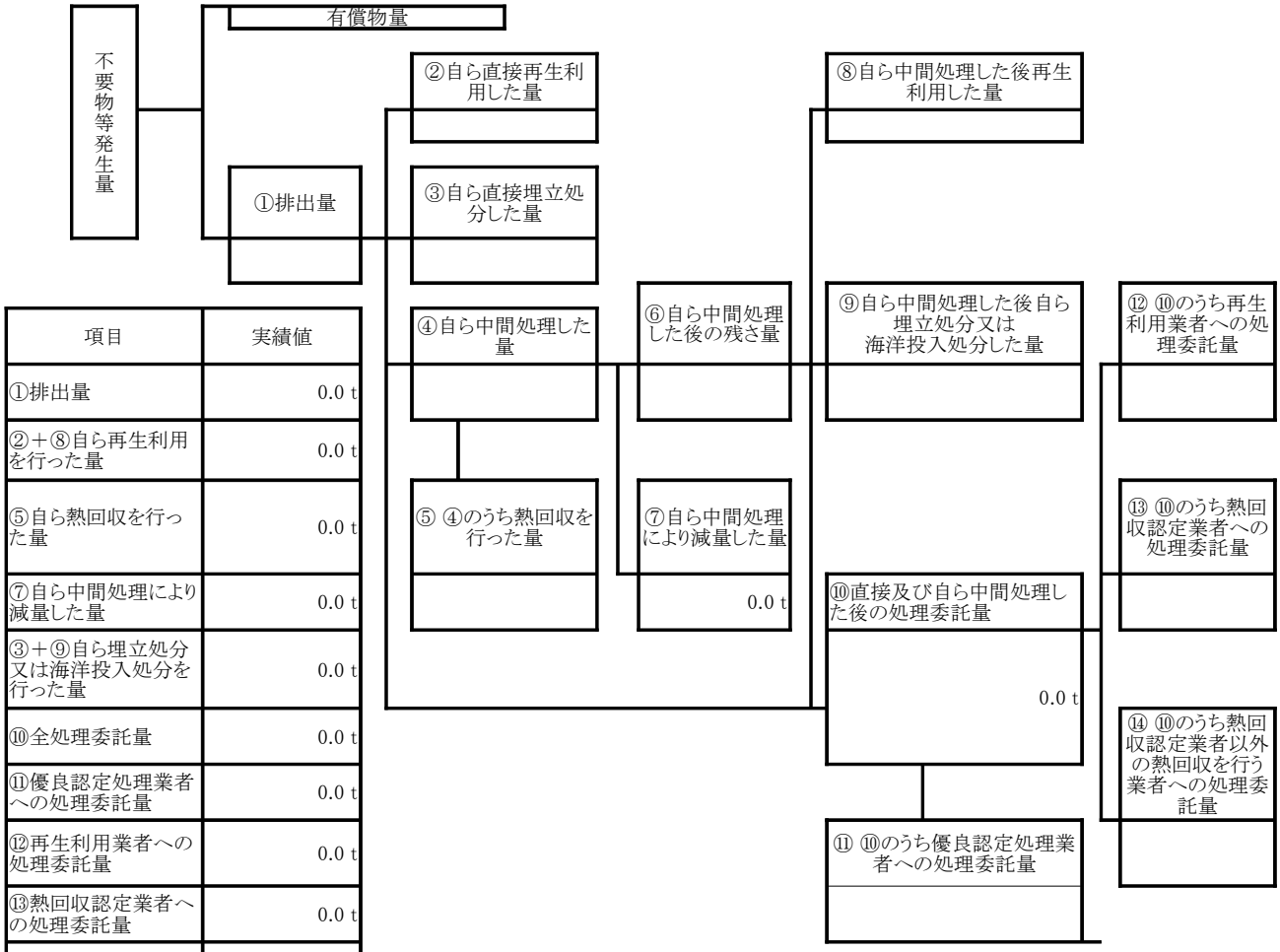


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

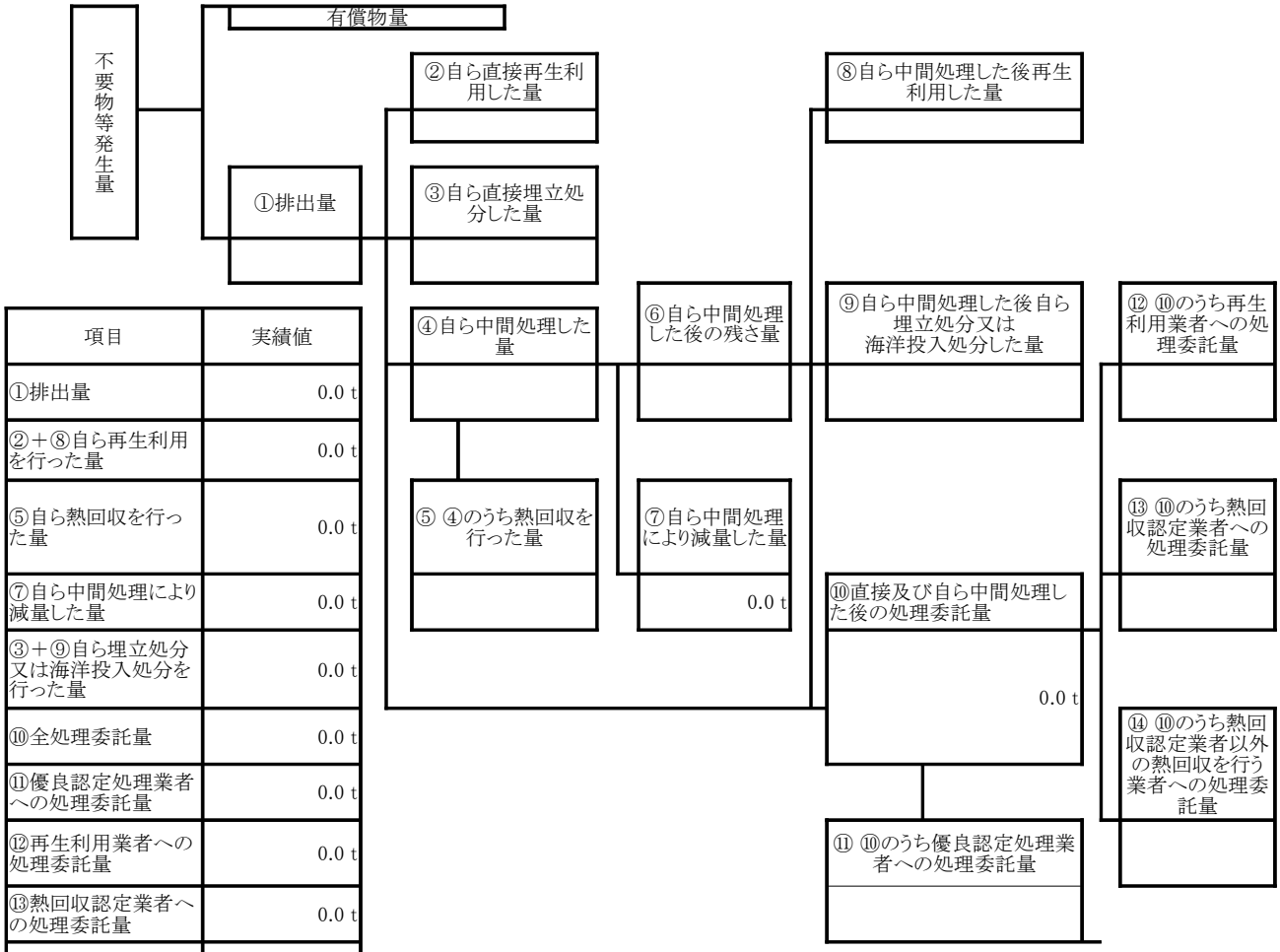


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



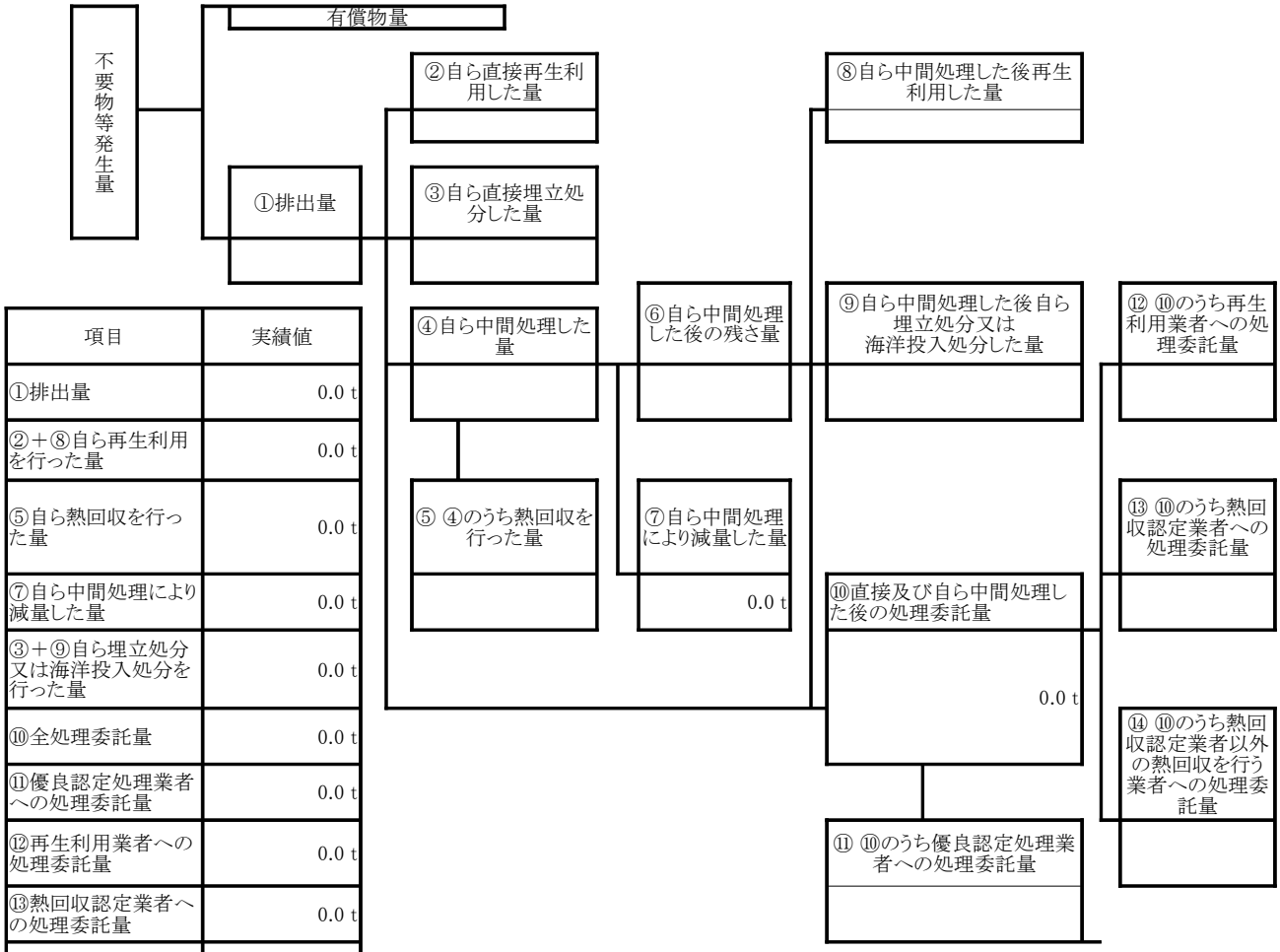
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

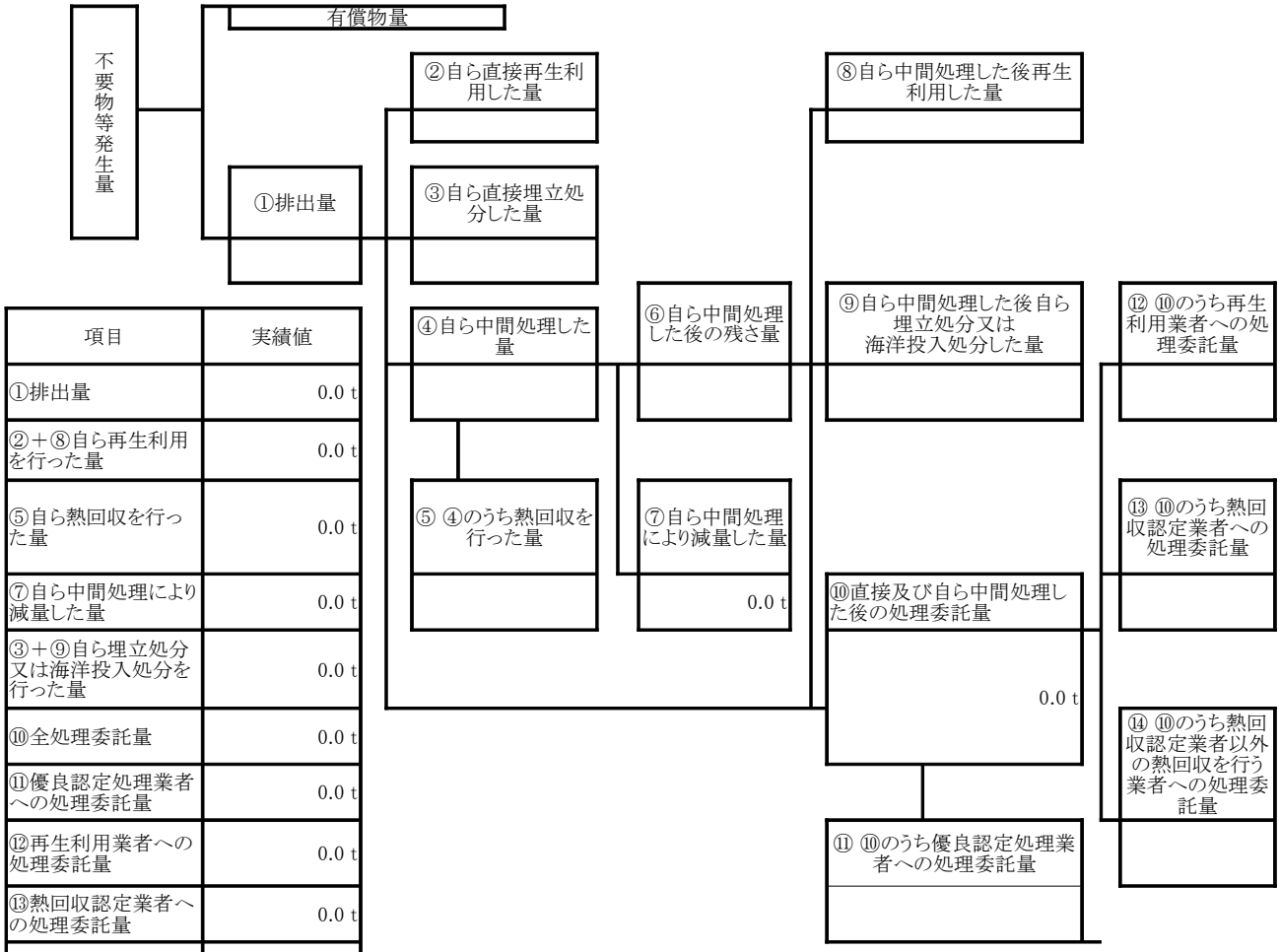


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

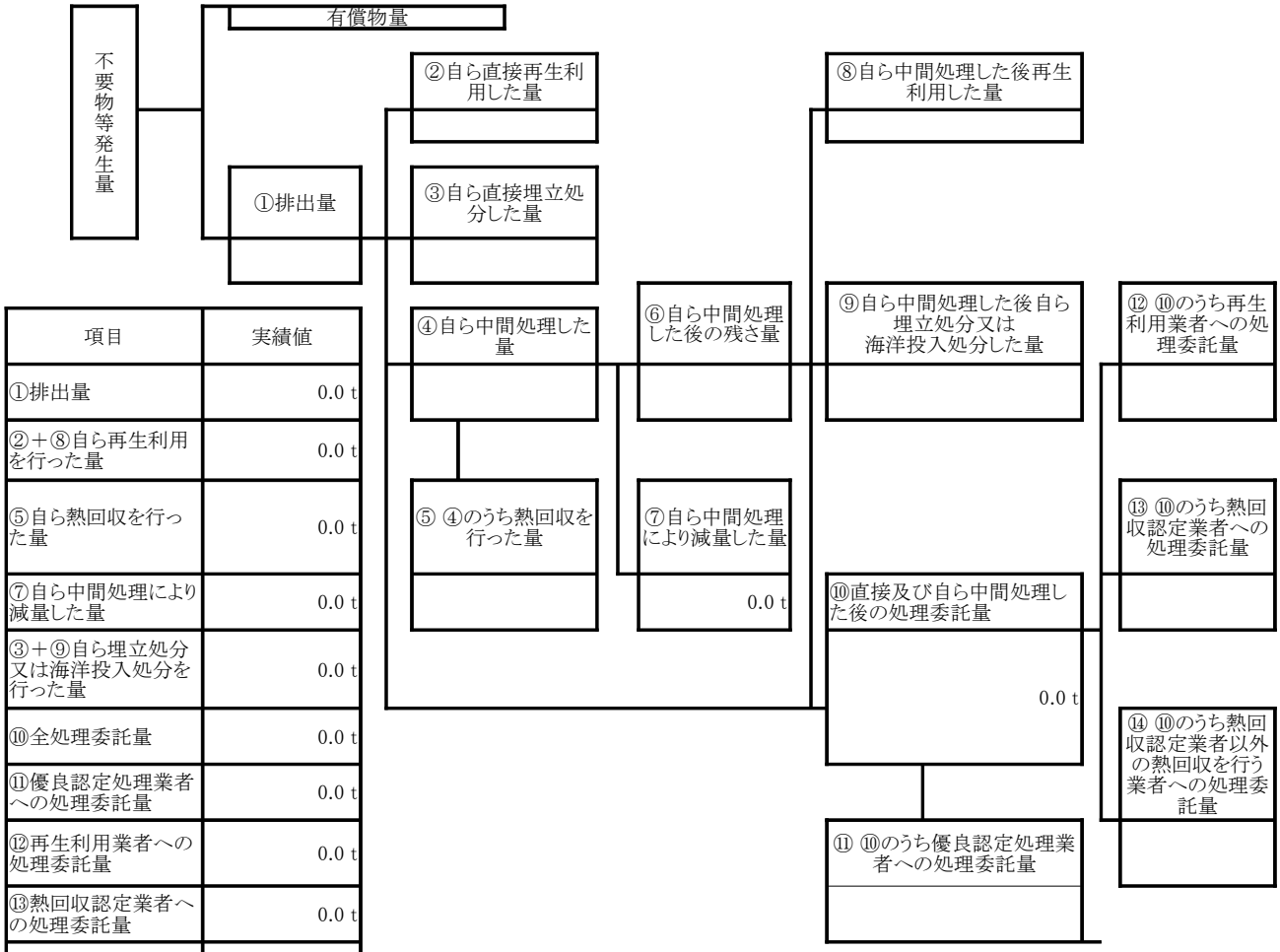


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

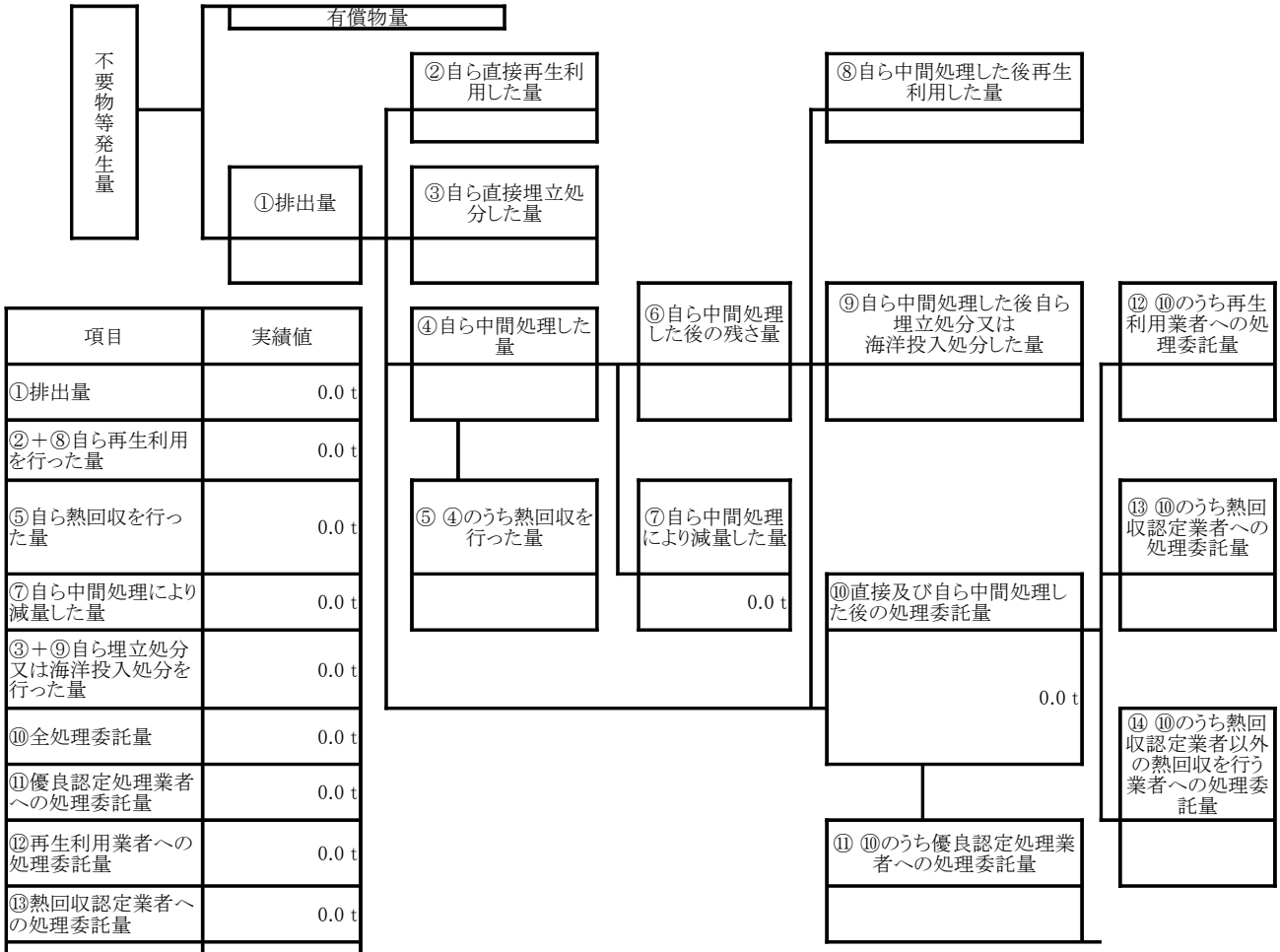


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



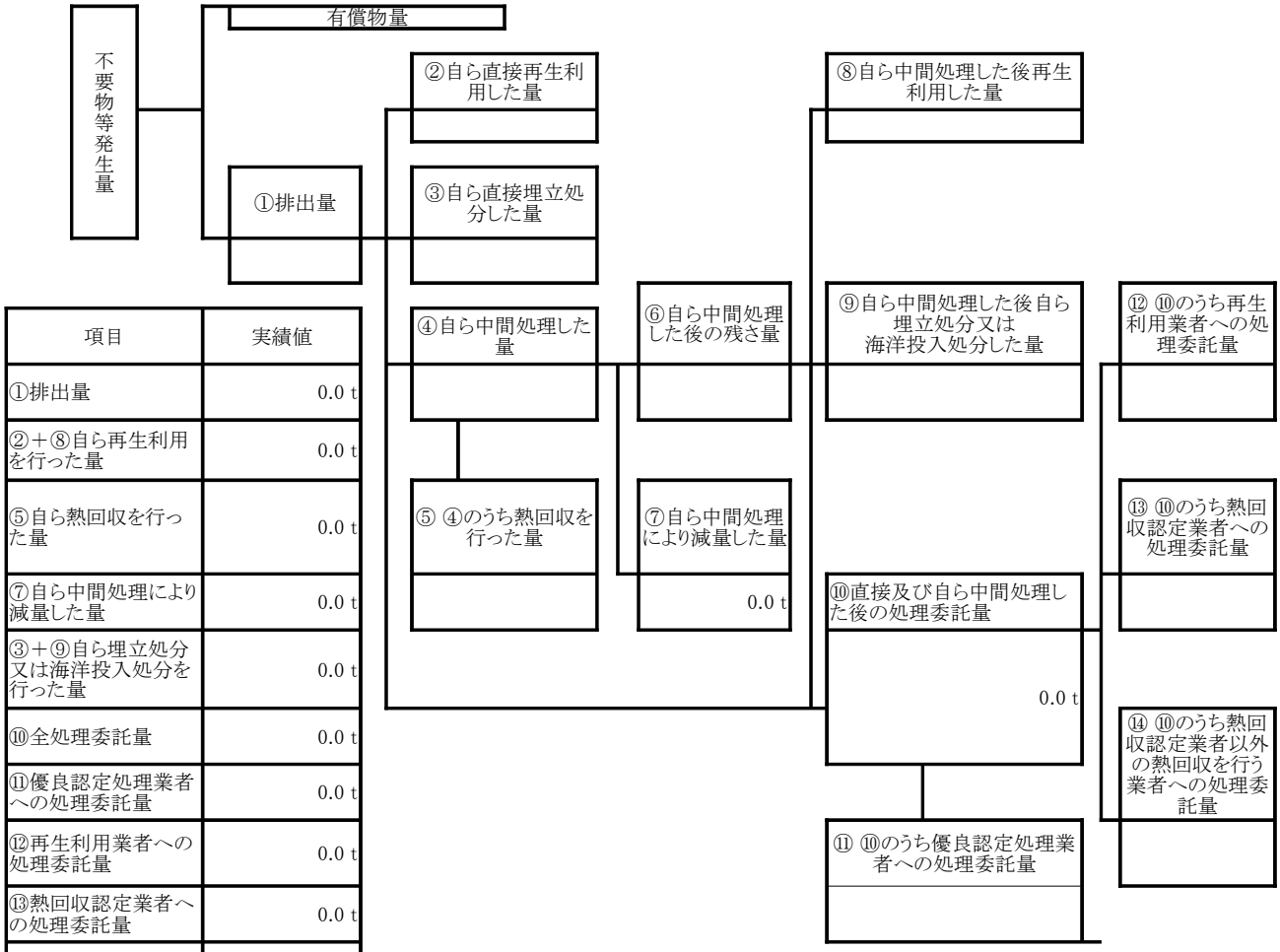
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



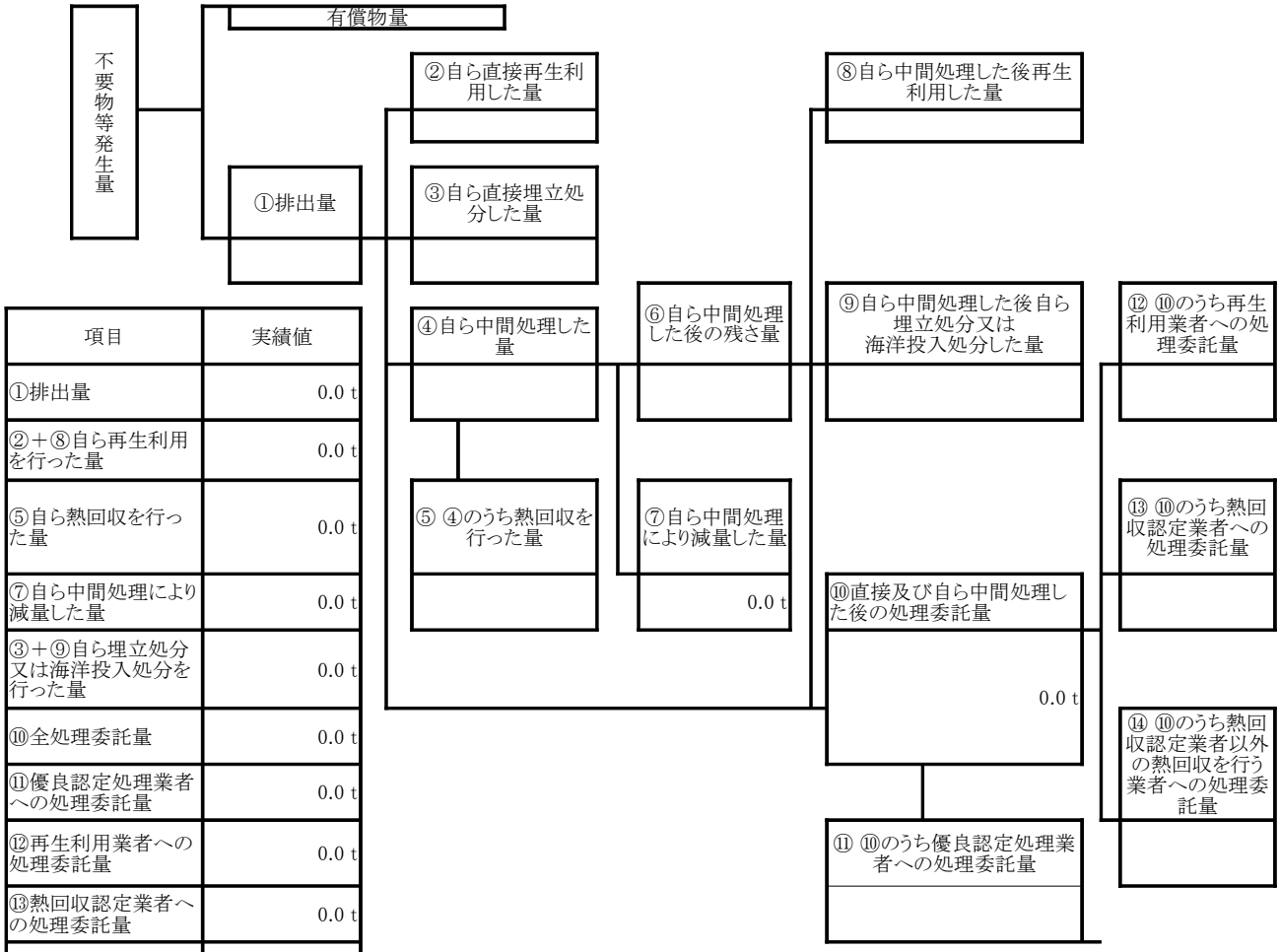
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

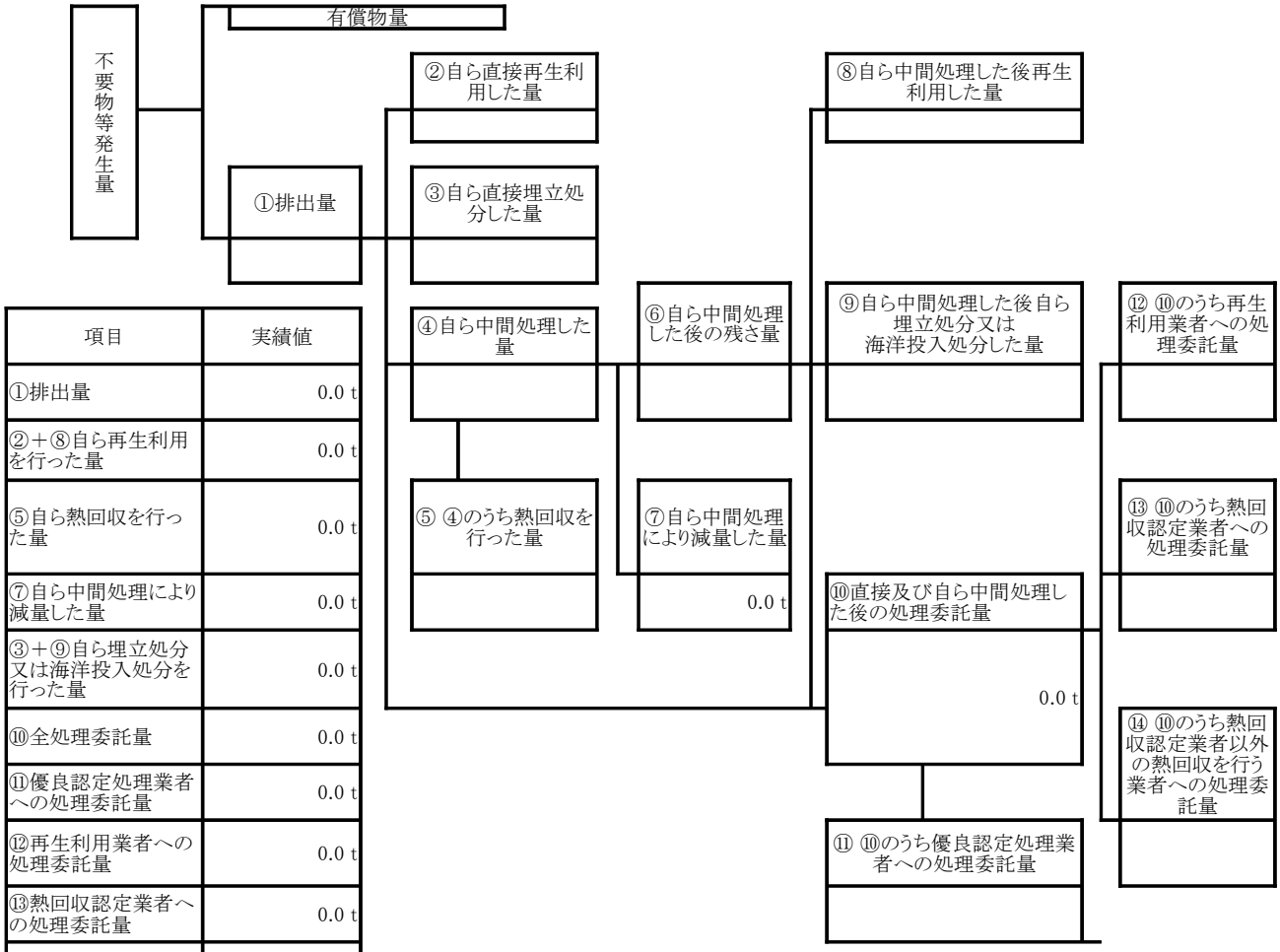


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

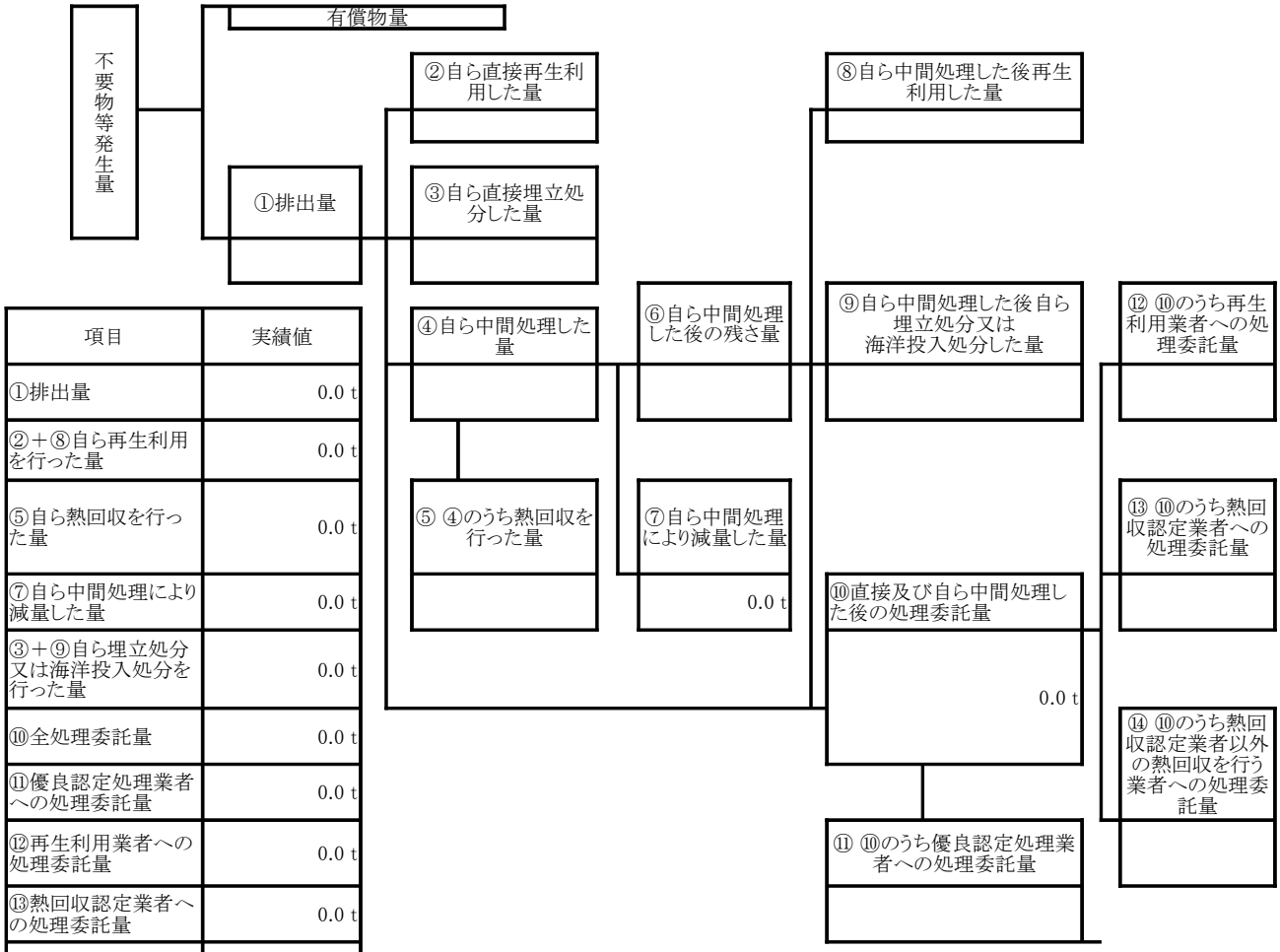


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

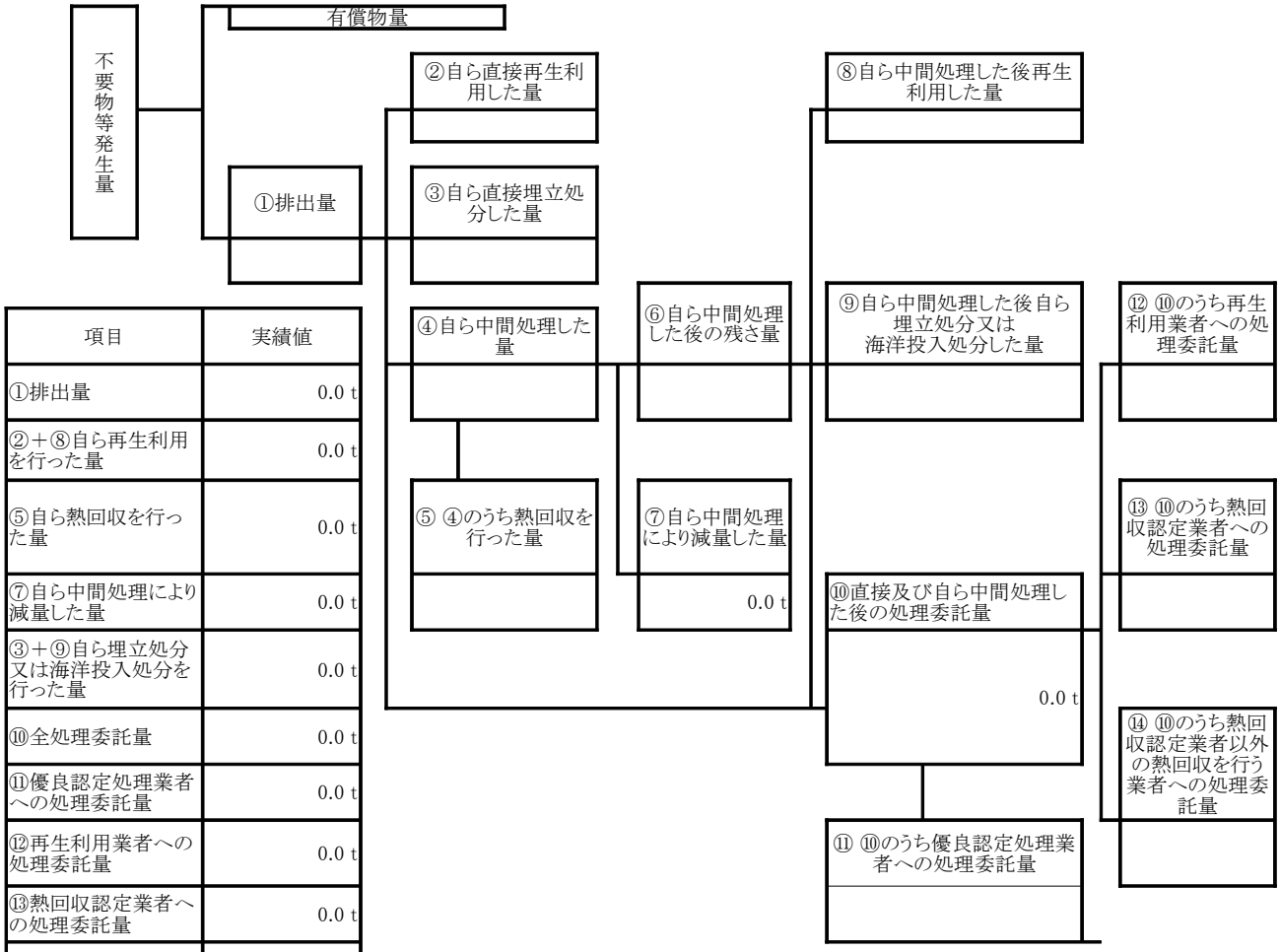


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

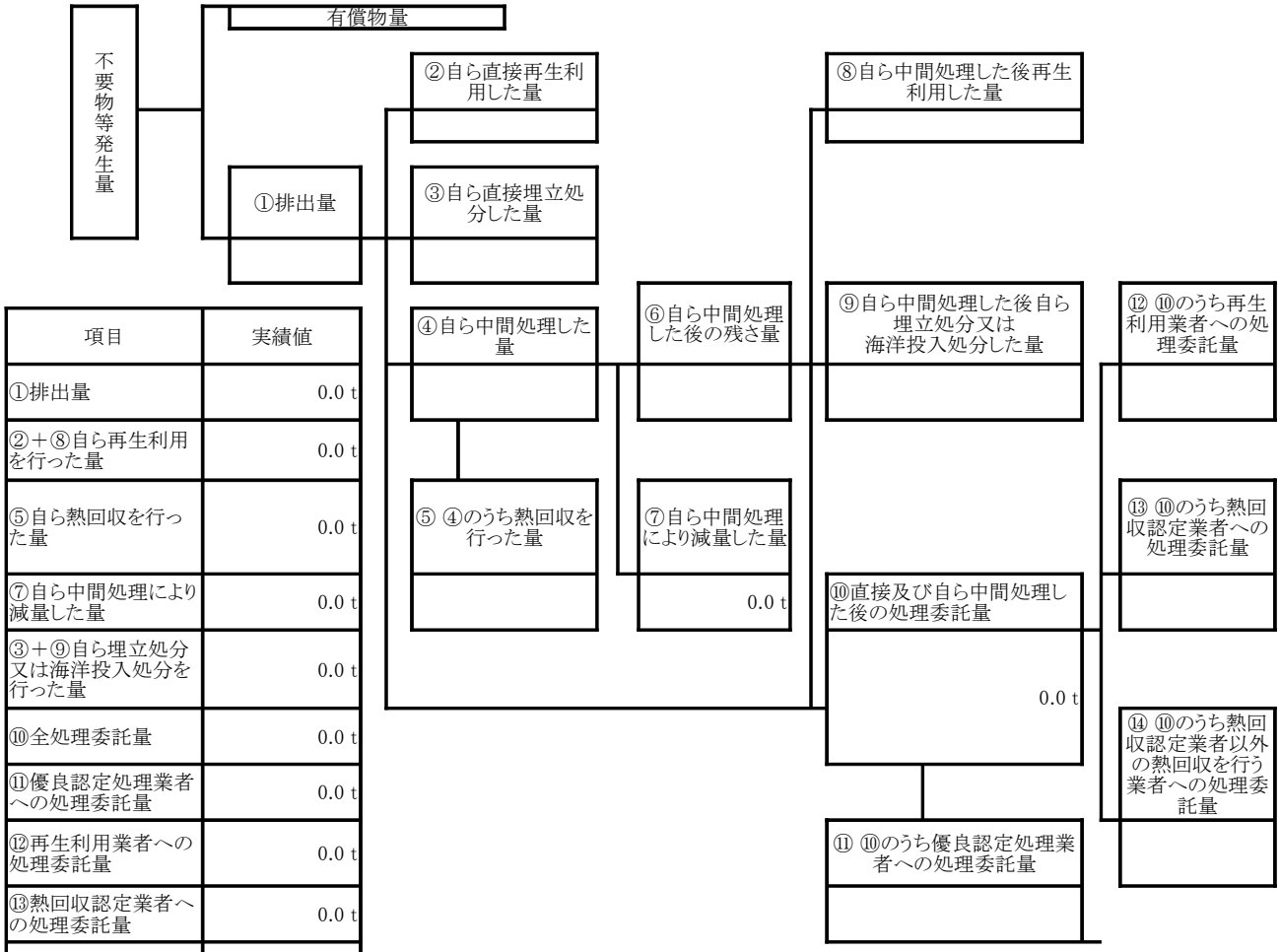


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　　6 年　 6 月　 18 日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒276-0046

住　所　千葉県八千代市大和田新田559

氏　名　東洋佐々木ガラス(株)千葉工場
工場長　鹿島　一敏

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　047-459-3101

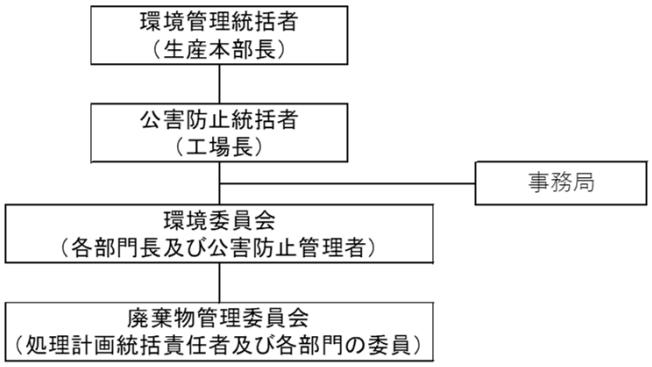
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東洋佐々木ガラス株式会社千葉工場
事業場の所在地	千葉県八千代市大和田新田５５９
計画期間	令和６年４月１日～令和７年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：窯業・土石製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　７９億円
③従業員数	３４０人　（正社員２３０人、常勤関係職員　１１０人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１および別紙２のとおり

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
排出量	1544.69 t	1293.52 t

（これまでに実施した取組）
別紙３－１のとおり

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
排出量	1467.5 t	1228.8 t

（今後実施する予定の取組）
別紙３－１のとおり

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
別紙３－１のとおり

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
別紙３－１のとおり

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	汚泥	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
無し。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	汚泥	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
無し。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	汚泥	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1396.75 t	0 t

（これまでに実施した取組）
別紙３－２のとおり

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	汚泥	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1326.9 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
別紙３－２のとおり

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	汚泥	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t

（これまでに実施した取組）
無し。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t

（今後実施する予定の取組）
無し。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	汚泥	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
全処理委託量_	147.94　t	1293.52　t
優良認定処理業者への処理委託量	5.13　t	101.48　t
再生利用業者への処理委託量	143.31　t	1203.28　t
認定熱回収業者への処理委託量	0　t	0　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	0　t

（これまでに実施した取組）
別紙３－２のとおり

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類_</td><td>汚泥</td><td>ガラス・コンクリート・陶磁器くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量_</td><td>140.5 t</td><td>1228.8 t</td></tr>
<tr><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>4.9 t</td><td>96.4 t</td></tr>
<tr><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>136.1 t</td><td>1143.1 t</td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
別紙３－２のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）									
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アルカリ	廃油	その他混合廃棄物	—	—	—
		排　出　量	33.44 t	11.308 t	0.088 t	0.958 t	27.905 t	0.526 t	— t	— t	— t
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アルカリ	廃油	その他混合廃棄物	—	—	—
		排　出　量	31.8 t	10.7 t	0.088 t	0.9 t	26.5 t	0.5 t	— t	— t	— t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項											
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）									
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アルカリ	廃油	その他混合廃棄物	—	—	—
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	— t	— t	— t
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アルカリ	廃油	その他混合廃棄物	—	—	—
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	— t	— t	— t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）									
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アルカリ	廃油	その他混合廃棄物	—	—	—
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	— t	— t	— t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	— t	— t	— t
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アルカリ	廃油	その他混合廃棄物	—	—	—
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	— t	— t	— t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	— t	— t	— t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項　　別紙

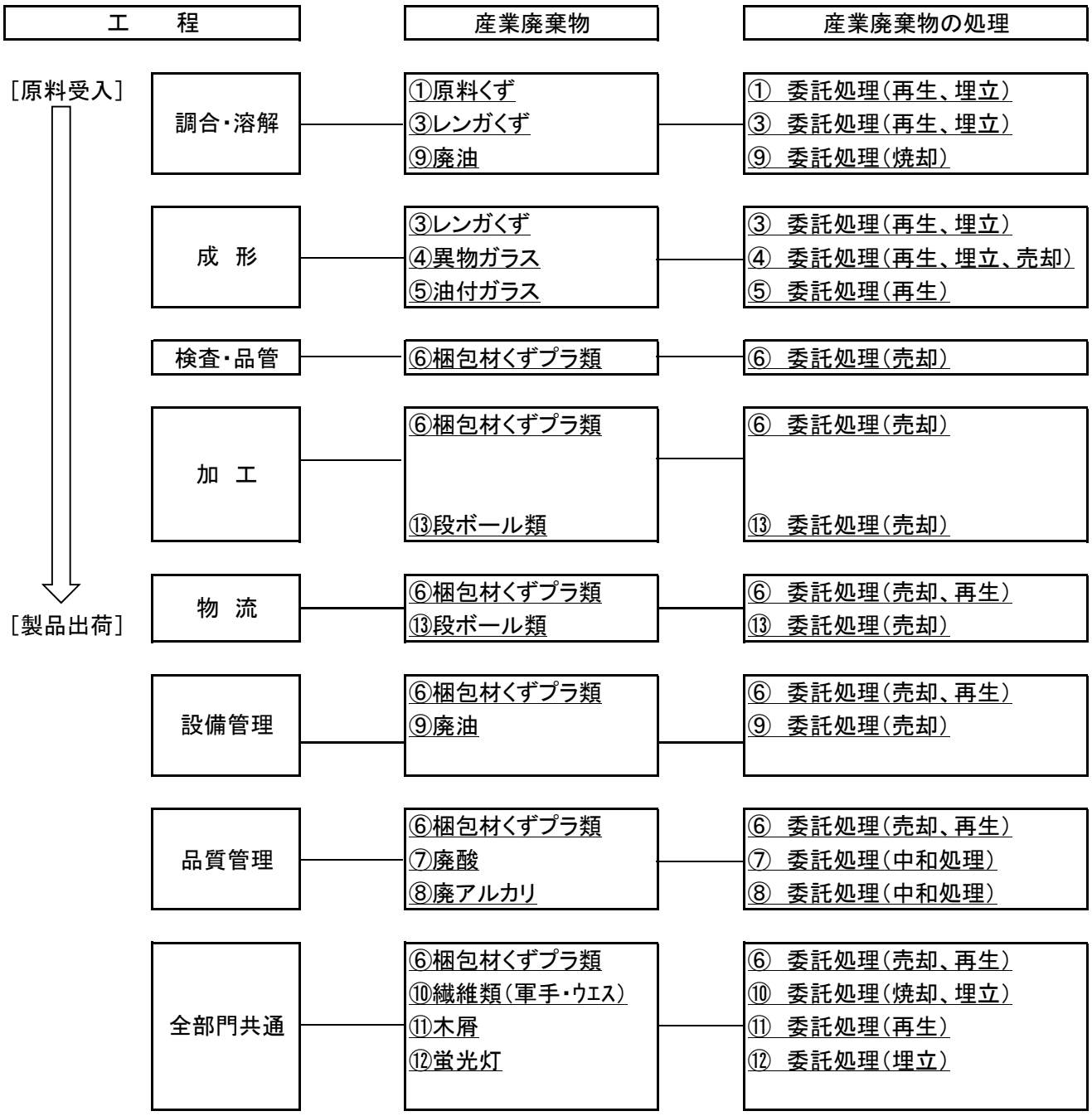
①現状	【前年度（令和　5年度）実績】）									
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アルカリ	廃油	その他混合廃棄物	—	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	— t	— t	— t
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アルカリ	廃油	その他混合廃棄物	—	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	— t	— t	— t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和　5年度）実績】）									
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アルカリ	廃油	その他混合廃棄物	—	—	—
	全処理委託量	33.44 t	11.308 t	0.088 t	0.958 t	27.905 t	0.526 t	— t	— t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	33.44 t	10.328 t	0.088 t	0.308 t	0.055 t	0.526 t	— t	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	33.44 t	4.628 t	0.088 t	0.958 t	27.85 t	0.526 t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	— t	— t	— t
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アルカリ	廃油	その他混合廃棄物	—	—	—
	全処理委託量	31.8 t	10.7 t	0.088 t	0.9 t	26.5 t	0.5 t	— t	— t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	31.8 t	9.8 t	0.088 t	0.3 t	0.05 t	0.5 t	— t	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	31.8 t	4.4 t	0.088 t	0.9 t	26.4 t	0.5 t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	— t	— t	— t

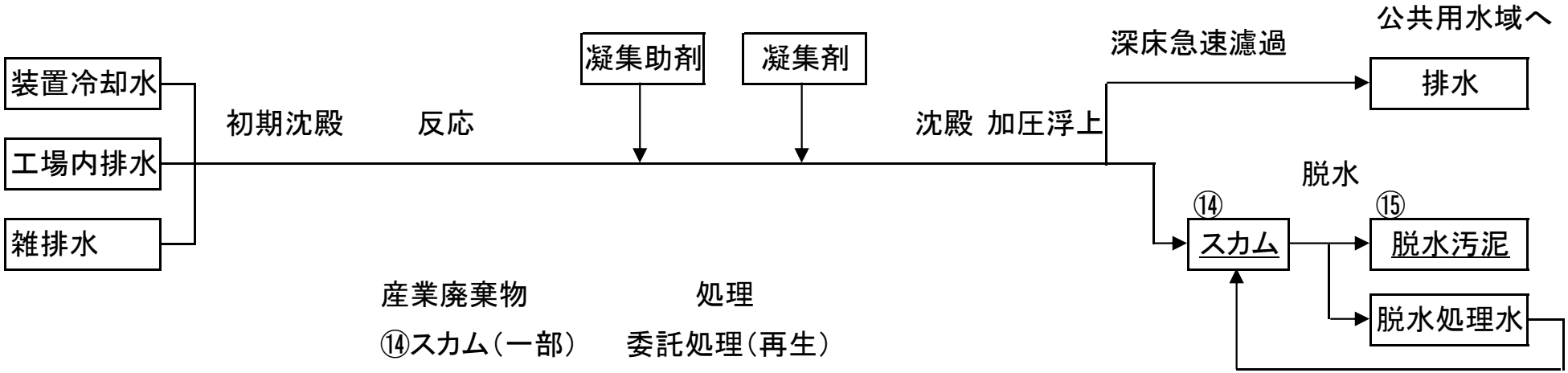
別紙1

（1）ガラス食器製造工程図



別紙 2

(2)排水処理工程図



産業廃棄物	処理
⑭スカム(一部)	委託処理(再生)
⑮脱水汚泥	委託処理(再生、埋立)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） ①汚泥 ・水配管の見直しで水使用量が減少し、それに伴い汚泥の発生量が減少。 ②ガラス・コンクリート・陶磁器くず ・異質ガラスの再利用化。 ③木くず ・平成19年より「木製パレット」でサイズの大きなものを売却化した。 ④廃プラスチック類 ・売却品と廃棄品の分別を強化した。 ⑤廃酸 ・機械の更新により、定着廃液として排出していた廃酸が0となった。 ⑥廃アルカリ ・平成25年度「廃アルカリ液（洗浄液での使用）」の日常管理方法を改善したことで、産業廃棄物としての処理量を減量することができた。 ・機械の更新により、現像廃液として排出していた廃アルカリが0となった。 ⑦廃油 ・平成21年より、「水処理設備で発生する浮上油」と「廃油（ﾏｼﾝ･ｵｲﾙ等）」を売却処理とした。 ⑧その他混合廃棄物 パーツごとに分解し、混合廃棄物の状態のままでの排出を抑制している。
②計画	（今後実施する予定の取組） ①ガラス・コンクリート・陶磁器くず ・分別を徹底し、排出量を抑制する。 ②木くず ・計画的な処分の実施。 ③廃プラスチック類 ・引き続き売却品と廃棄品の分別を強化する。 ④その他混合廃棄物 ・パーツごとの分解を継続し、混合廃棄物の状態のままでの排出を抑制する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①ガラス・コンクリート・陶磁器くず ・平成22年～従来、すべて埋立処理としていたが、レンガを再利用する処理業者との委託契約が実現し、以降、分別を実施している。 ②廃プラスチック類 ・平成19年～売却化の推進を実施し、売却可能となった項目の分別化を実施している。 ・プラスチック成型品の売却化を強化した。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①ガラス・コンクリート・陶磁器くず ・生産工程で発生する様々な種類のガラスくずを種類別に分別し、廃棄量を抑制する。 ②廃プラスチック類 ・引き続き売却品と廃棄品の分別を強化する。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） ①汚泥 ・ガラス製造過程で使用する水の使用量の見直し。 ・循環水の使用割合を増加し、排水処理量を減量。
②計画	（今後実施する予定の取組） ①汚泥 ・ガラス製造過程で使用する水の使用量の見直し。 ・循環水の使用割合を増加し、排水処理量を減量。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） ①汚泥 ・中間処理後、再利用ができる委託業者に委託している。 ・平成19年より、水処理工程における添加薬品（凝集剤）を変更することにより、脱水汚泥の発生量を減量。 ②ガラス・コンクリート・陶磁器くず ・平成22年から再利用ができる処理業者に委託している。 ・生産工程の見直しと生産量に合わせた製造ラインの効率的な運用を実施し廃棄物の抑制を行った。 ③廃プラスチック類 ・平成20年より発泡スチロール・シュリンクバンドの売却化を実施した。 ④廃酸 機械の更新により、定着廃液として排出していた廃酸処理委託がなくなった。 ⑤廃アルカリ 機械の更新により、現像廃液として排出していた廃酸処理委託がなくなった。 ⑥廃油 ・平成21年～「水処理設備で発生する浮上油」と「廃油（ﾏｼﾝ･ｵｲﾙ等）」を売却化した。
②計画	（今後実施する予定の取組） ①汚泥 ・工程使用水量の見直しと循環水使用割合を増加させる。 ②ガラス・コンクリート・陶磁器くず ・ガラスくずの分別を徹底し、廃棄処理委託する量を抑制する。 ③廃プラスチック類 ・再生処理業者を模索する。 ④廃油 ・引き続き売却化している「水処理設備で発生する浮上油」と「廃油（ﾏｼﾝ･ｵｲﾙ等）」の安定した管理を維持する。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 18日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒276-0046
住 所　千葉県八千代市大和田新田559
氏 名　東洋佐々木ガラス株式会社千葉工場
工場長 鹿島 一敏
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　047-459-3101

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東洋佐々木ガラス株式会社 千葉工場
事業場の所在地	千葉県八千代市大和田新田559
事業の種類	大分類:製造業　中分類:窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

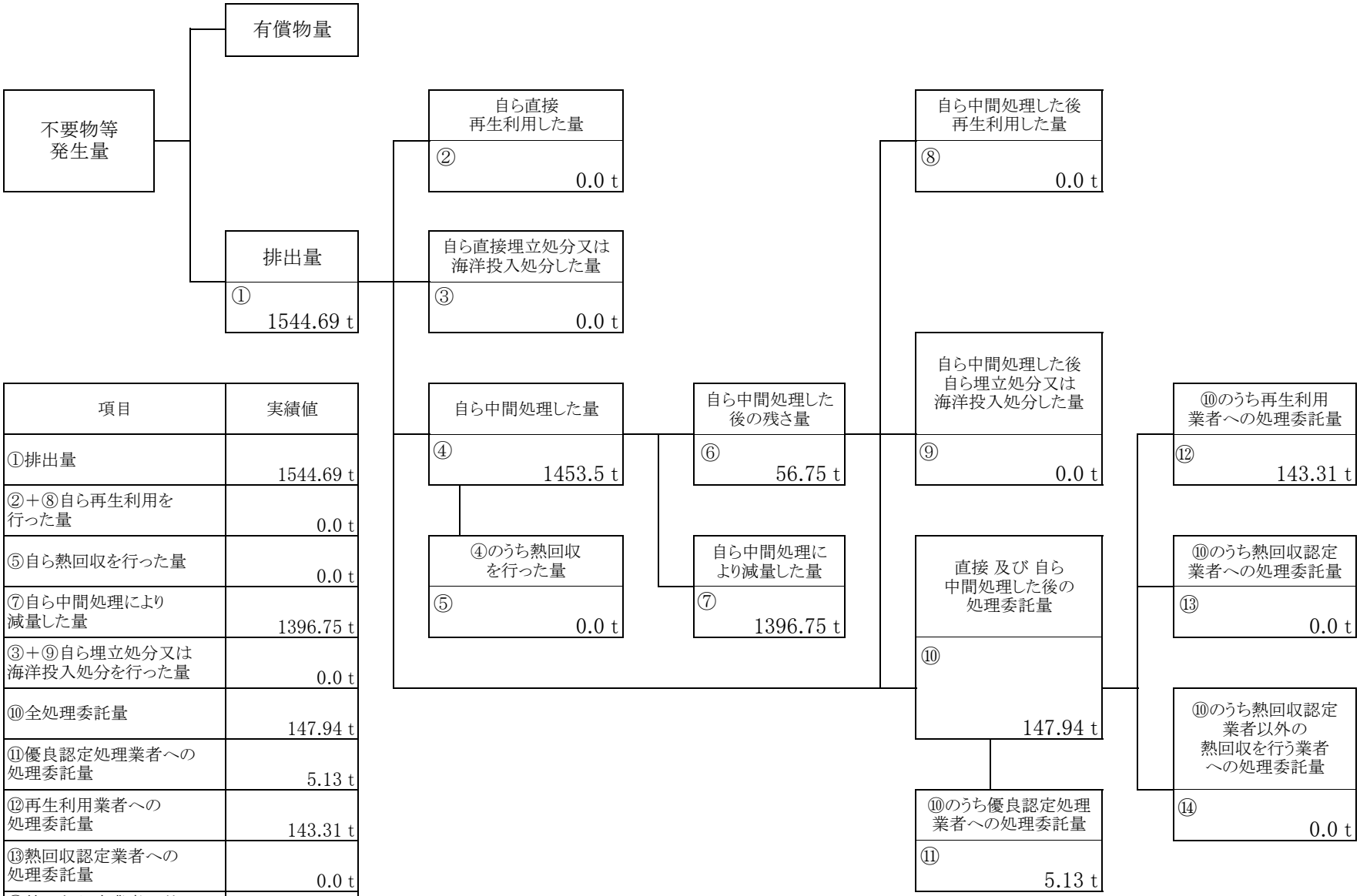
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2777.7 t	全処理委託量	1164.3 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	182.9 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1073.2 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1544.7 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **汚泥** ）

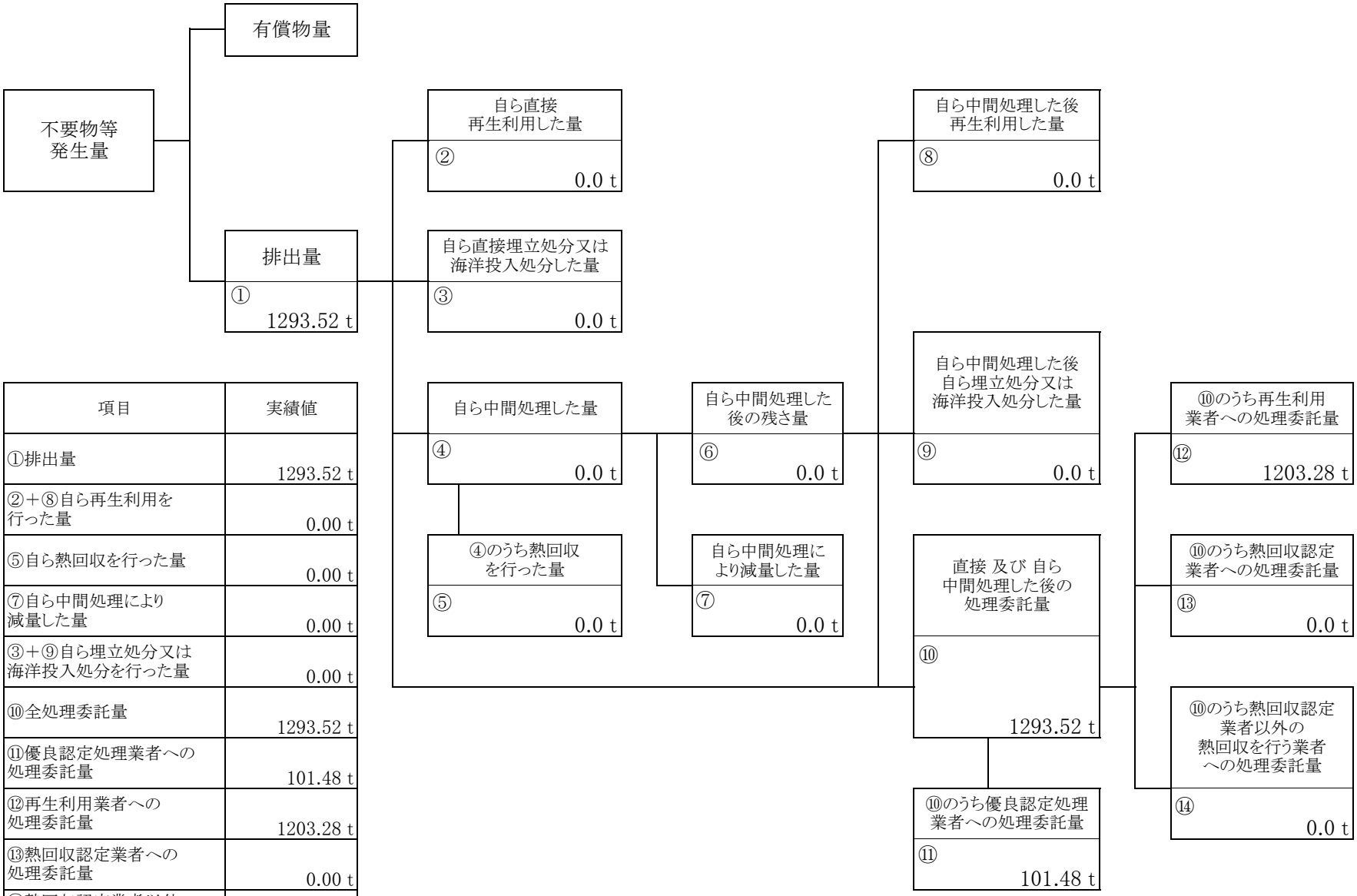


項目	実績値
①排出量	1544.69 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	1396.75 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	147.94 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.13 t
⑫再生利用業者への処理委託量	143.31 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**　）

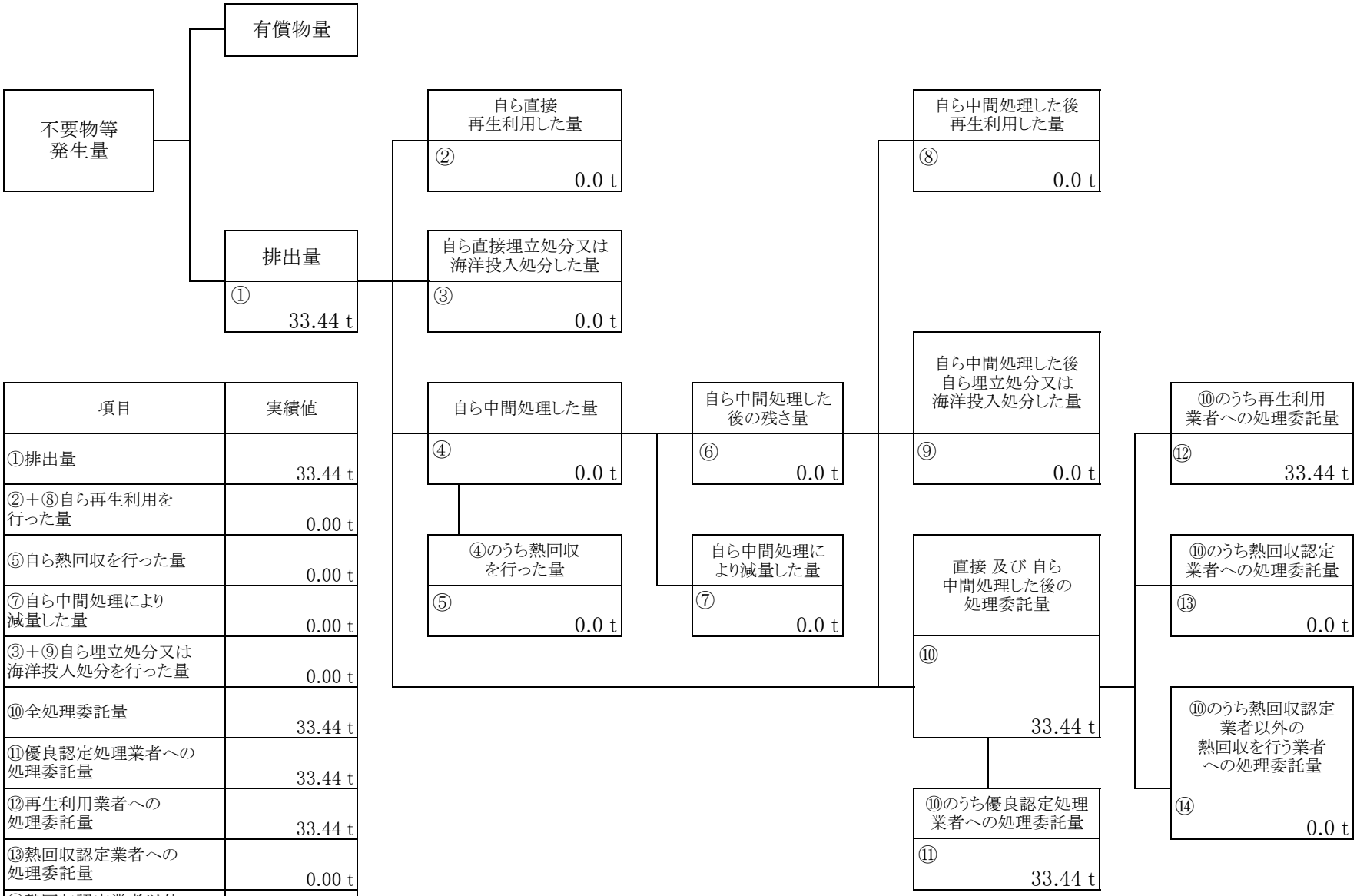


項目	実績値
①排出量	1293.52 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	1293.52 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	101.48 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1203.28 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　木くず　）

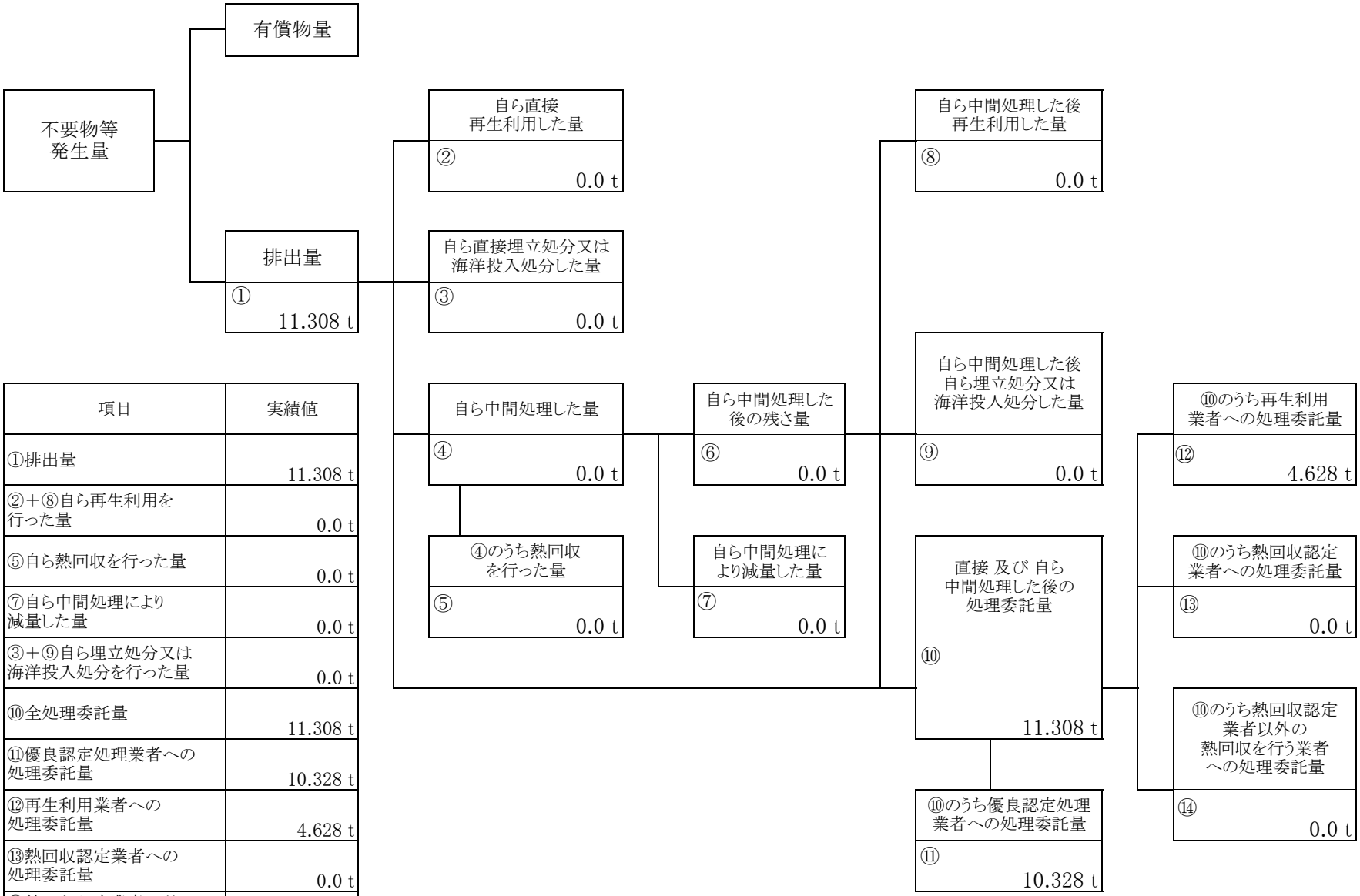


項目	実績値
①排出量	33.44 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	33.44 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	33.44 t
⑫再生利用業者への処理委託量	33.44 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**廃プラスチック類**　）

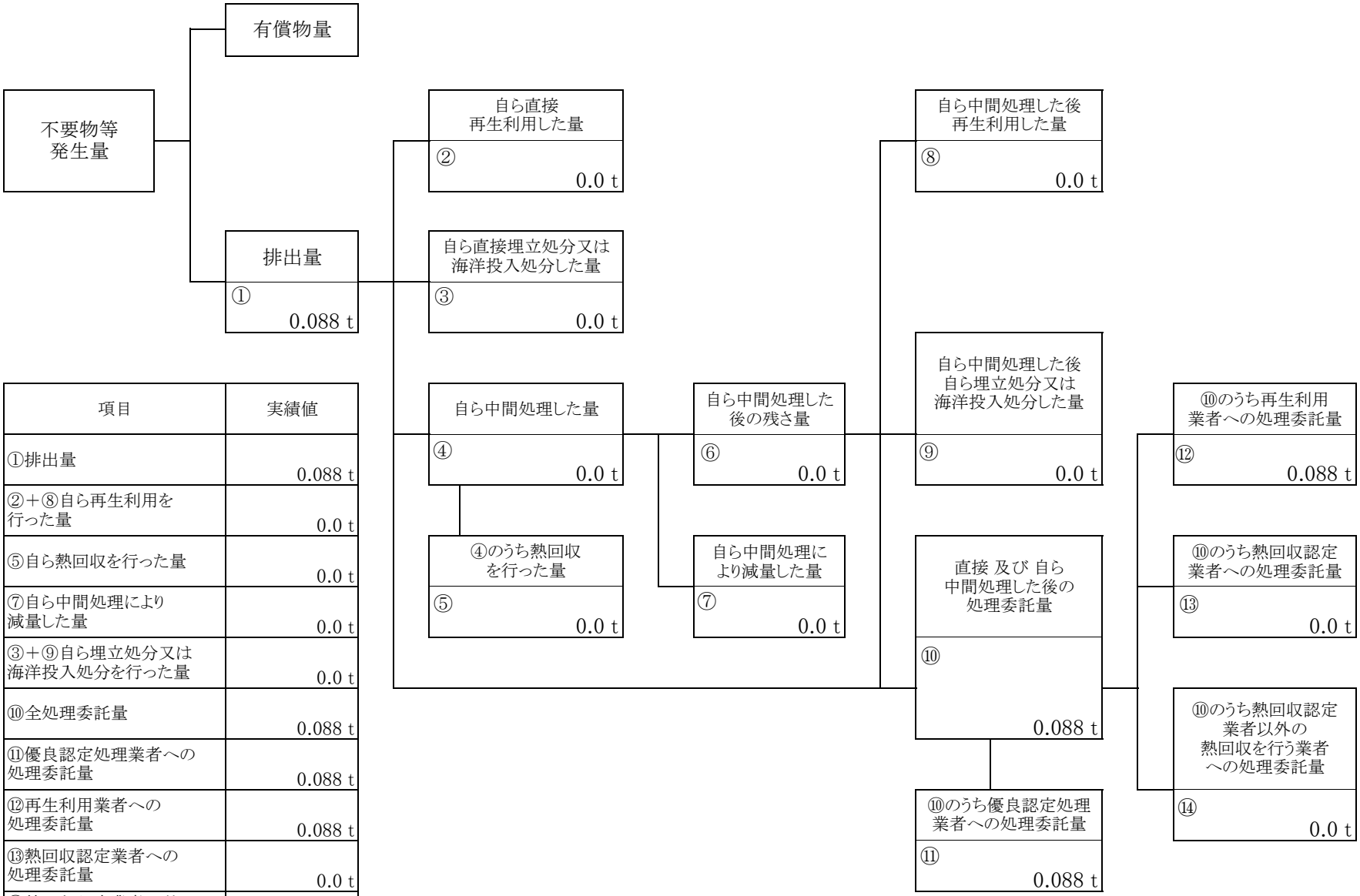


項目	実績値
①排出量	11.308 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.308 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.328 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.628 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃酸** ）

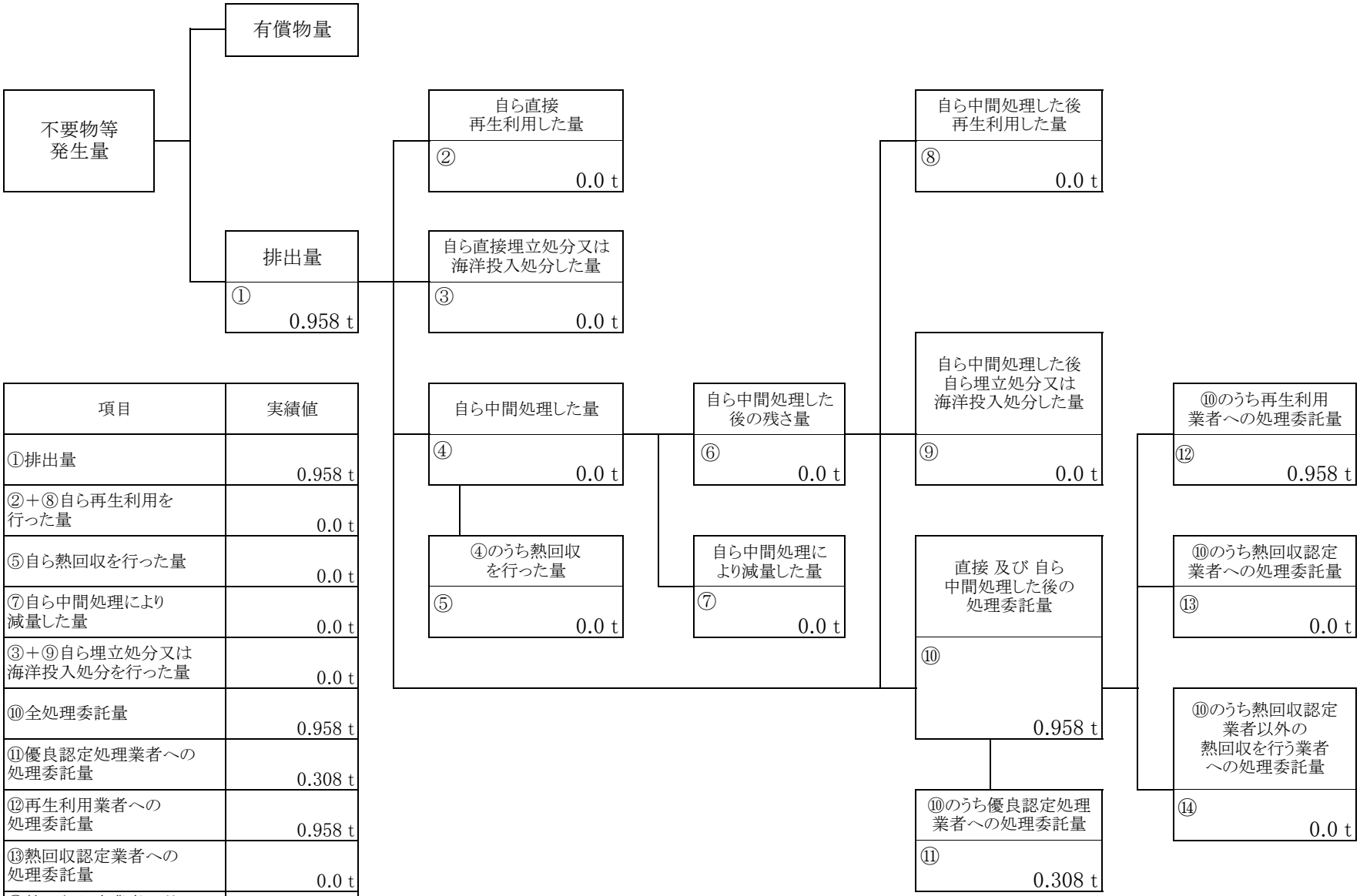


項目	実績値
①排出量	0.088 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.088 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.088 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.088 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**廃アルカリ**　）

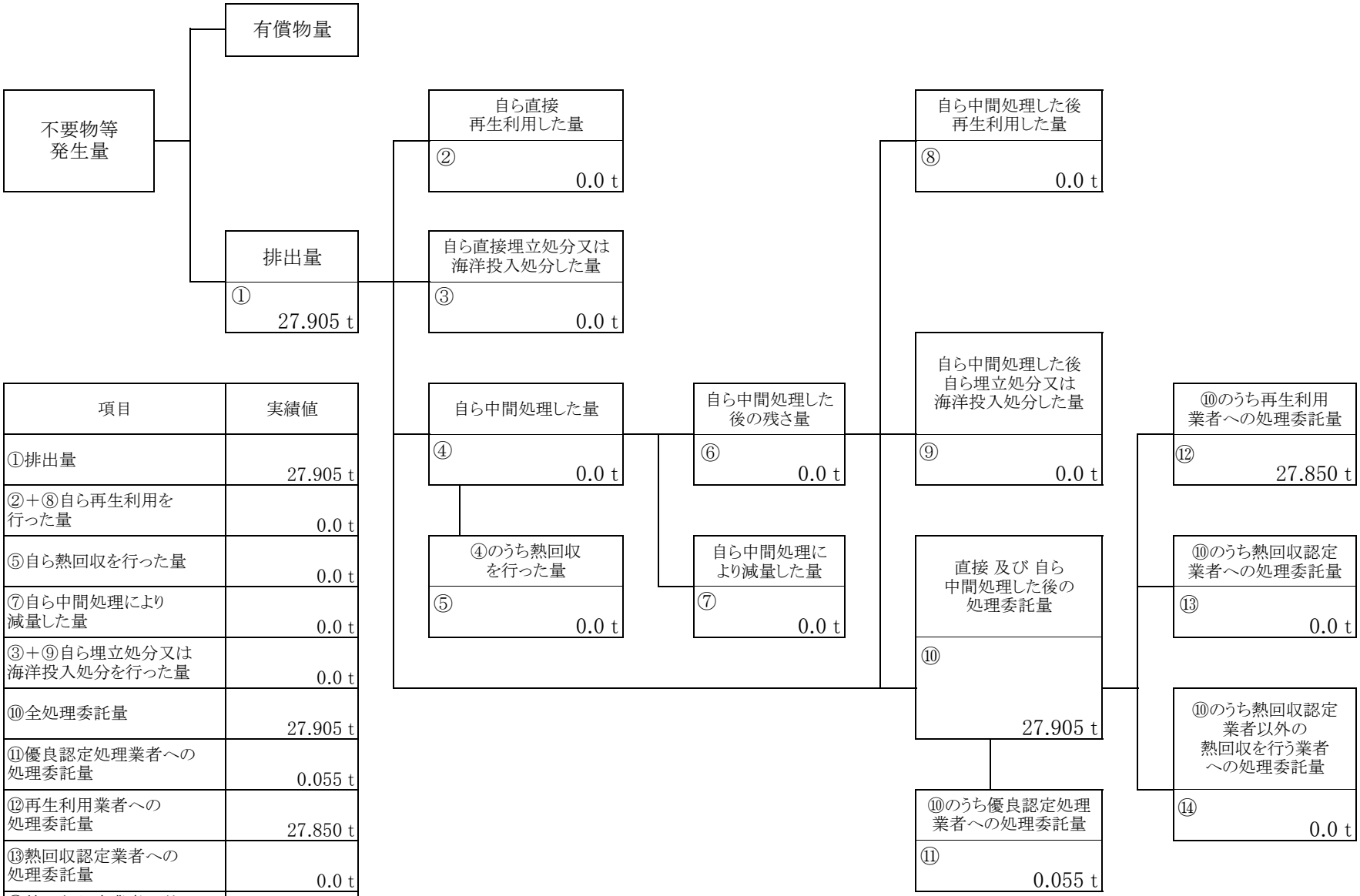


項目	実績値
①排出量	0.958 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.958 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.308 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.958 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**廃油**　）

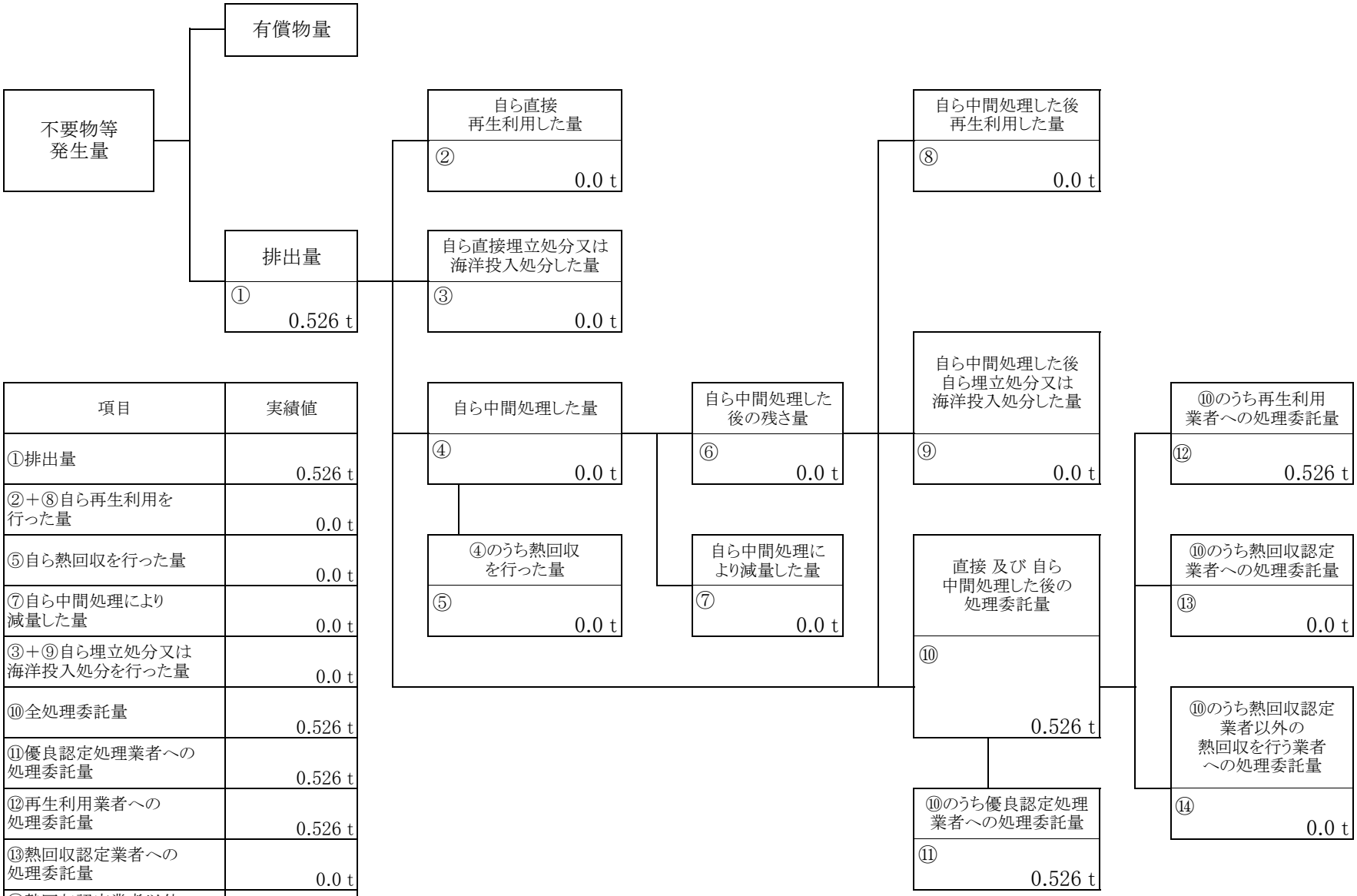


項目	実績値
①排出量	27.905 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	27.905 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.055 t
⑫再生利用業者への処理委託量	27.850 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**その他混合廃棄物**　）



項目	実績値
①排出量	0.526 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.526 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.526 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.526 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2024年6月24日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

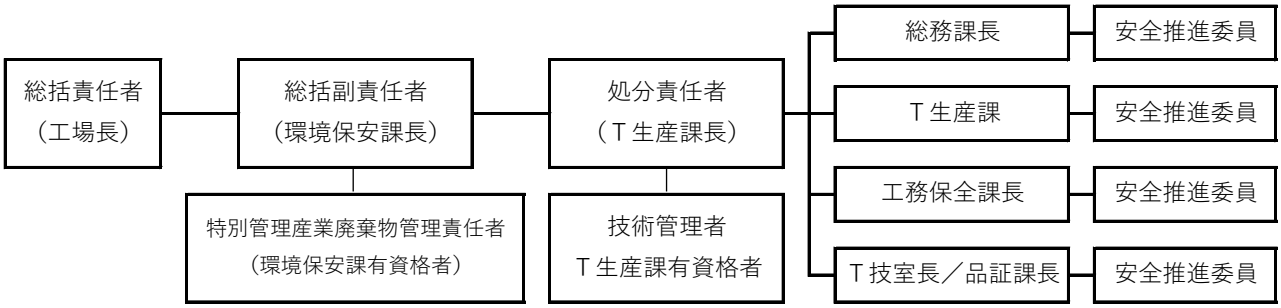
提出者　東レ株式会社　千葉工場
住　所　千葉県市原市千種海岸２番１
氏　名　兼田　庸弘
電話番号　０４３６－２１－５２１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１２条第９号の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東レ株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸２番１
計画期間	令和６年４月～令和７年３月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業　中分類：化学工業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額：１５８億円
③従業員数	９８名（関係会社　１５３名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙－１参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年／２０２３年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
排　出　量（ｔ）	19,771.5	53.0

（これまでに実施した取り組み）

汚　泥：１．凝集剤変更による含水率低減

廃プラ：１．分別強化による産廃扱いの廃プラスチックを有価物化

　　２．運転管理強化による不良品発生量の削減

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
排　出　量（ｔ）	20,167.0	54.1

（今後実施する予定の取り組み）

廃プラ：１．有価物になる可能性のある廃プラの探索。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取り組み）

１．廃プラ：産廃と有価物　２．廃木製パレット：産廃と有価物

②計画

今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取り組み）

１．産廃処分となっている廃プラ、木屑の有価物化を検討する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年／２０２３年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート・ガラス・陶磁器屑	木屑
排　出　量（ｔ）	0.0	11.3

（これまでに実施した取り組み）

１．産廃処理と有価物となる廃パレットの分別。

２．原料購入時に付帯するパレットは、原料メーカーへ返却。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート・ガラス・陶磁器屑	木屑
排　出　量（ｔ）	0.00	11.5

（今後実施する予定の取り組み）

１．産廃処理をしている木屑の有価物化

２．廃棄パレットの再利用

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年／２０２３年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	金属屑
排　出　量（ｔ）	61.3	0.7

（これまでに実施した取り組み）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	金属屑
排　出　量（ｔ）	62.6	0.71

（今後実施する予定の取り組み）

特になし

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年／２０２３年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
排　出　量（ｔ）	0.0	0.0

（これまでに実施した取り組み）

１．産廃処理と有価物となる廃パレットの分別。

２．原料購入時に付帯するパレットは、原料メーカーへ返却。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
排　出　量（ｔ）	0.0	0.0

（今後実施する予定の取り組み）

１．産廃処理をしている木屑の有価物化

２．廃棄パレットの再利用

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　　）実績】

産業廃棄物の種類	ー	ー
排　出　量（ｔ）	ー	ー

（これまでに実施した取り組み）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ー	ー
排　出　量（ｔ）	ー	ー

（今後実施する予定の取り組み）

特になし

自ら行う産業廃棄物の再利用に関する事項

①現状	【前年度（　　）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	―	―
	（これまでに実施した取り組み）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	―	―
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和５年／２０２３年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	―	―
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	18,186.6	―
	（これまでに実施した取り組み） １．凝集剤変更による含水率の低減。 ２．汚泥濃縮機設置		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	―	―
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	18,550.3	―
	（今後実施する予定の取り組み） １．含水率低減可能な凝集剤の模索		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　　）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	―	―
	（これまでに実施した取り組み）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	―	―
	（今後実施する予定の取り組み）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和５年／２０２３年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量（ｔ）	1,585.0	53.0
	優良認定処理業者への処理委託量	1,093.4	53.0
	再生利用業者への処理委託量	491.6	47.0
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0
	認定熱回収処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1,093.4	6.0
	（これまでに実施した取り組み） １．汚　泥：再資源化処理できる業者への委託 ２．廃プラ：全体の９割以上を再資源化できる業者への委託又は売却		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年／２０２３年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート・ガラス・陶磁器屑	木屑
全処理委託量（ｔ）	0.0	11.3
優良認定処理業者への処理委託量	0.0	10.5
再生利用業者への処理委託量	0.0	11.3
認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0
認定熱回収処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0

（これまでに実施した取り組み）

1．コンクリート・ガラス・陶磁器屑：再資源化処理できる業者への委託

2．木屑：再資源化できる業者へ委託

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年／２０２３年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	金属屑
全処理委託量（ｔ）	61.3	0.7
優良認定処理業者への処理委託量	41.3	0.7
再生利用業者への処理委託量	61.3	0.7
認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0
認定熱回収処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	61.3	0.0

（これまでに実施した取り組み）

1．廃油：再資源化処理（サーマルリサイクル）できる業者への委託

2．金属屑：再資源化できる業者へ委託

3．売却できる金属屑は、可能な限り有価物化

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年／２０２３年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
全処理委託量（ｔ）	0.0	0.0
優良認定処理業者への処理委託量	0.0	0.0
再生利用業者への処理委託量	0.0	0.0
認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0
認定熱回収処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0

（これまでに実施した取り組み）

特になし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	金属屑
全処理委託量（ｔ）	―	―
優良認定処理業者への処理委託量	―	―
再生利用業者への処理委託量	―	―
認定熱回収業者への処理委託量	―	―
認定熱回収処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	―	―

（これまでに実施した取り組み）

①現状

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
全処理委託量（ｔ）	1,616.7	54.1
優良認定処理業者への処理委託量	1,115.3	54.1
再生利用業者への処理委託量	501.4	48.0
認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0
認定熱回収処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1,115.3	6.1

（今後実施する予定の取り組み）

特になし

※事務処理欄

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート・ガラス・陶磁器屑	木屑
全処理委託量（ｔ）	0.0	11.5
優良認定処理業者への処理委託量	0.0	10.7
再生利用業者への処理委託量	0.0	11.5
認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0
認定熱回収処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0

（これまでに実施した取り組み）

①現状

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	金属屑
全処理委託量（ｔ）	62.6	0.71
優良認定処理業者への処理委託量	42.1	0.71
再生利用業者への処理委託量	62.6	0.71
認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0
認定熱回収処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	62.6	0.0

（今後実施する予定の取り組み）

特になし

※事務処理欄

【目標】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
全処理委託量（ｔ）	0	0
優良認定処理業者への処理委託量	0	0
再生利用業者への処理委託量	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0
認定熱回収処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0

（これまでに実施した取り組み）

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が１，０００トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月３０日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月24日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住　　所　千葉県市原市千種海岸2-1
氏　　名　東レ株式会社 千葉工場
工 場 長　兼田 庸弘
電話番号　0436-21-5211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東レ株式会社 千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸2番1
事業の種類	大分類:製造業　中分類:化学工業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月～令和6年3月

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	24164.8 t	全処理委託量	2019.31
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1126.8 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	808.61
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	22145.4 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1283.7 t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

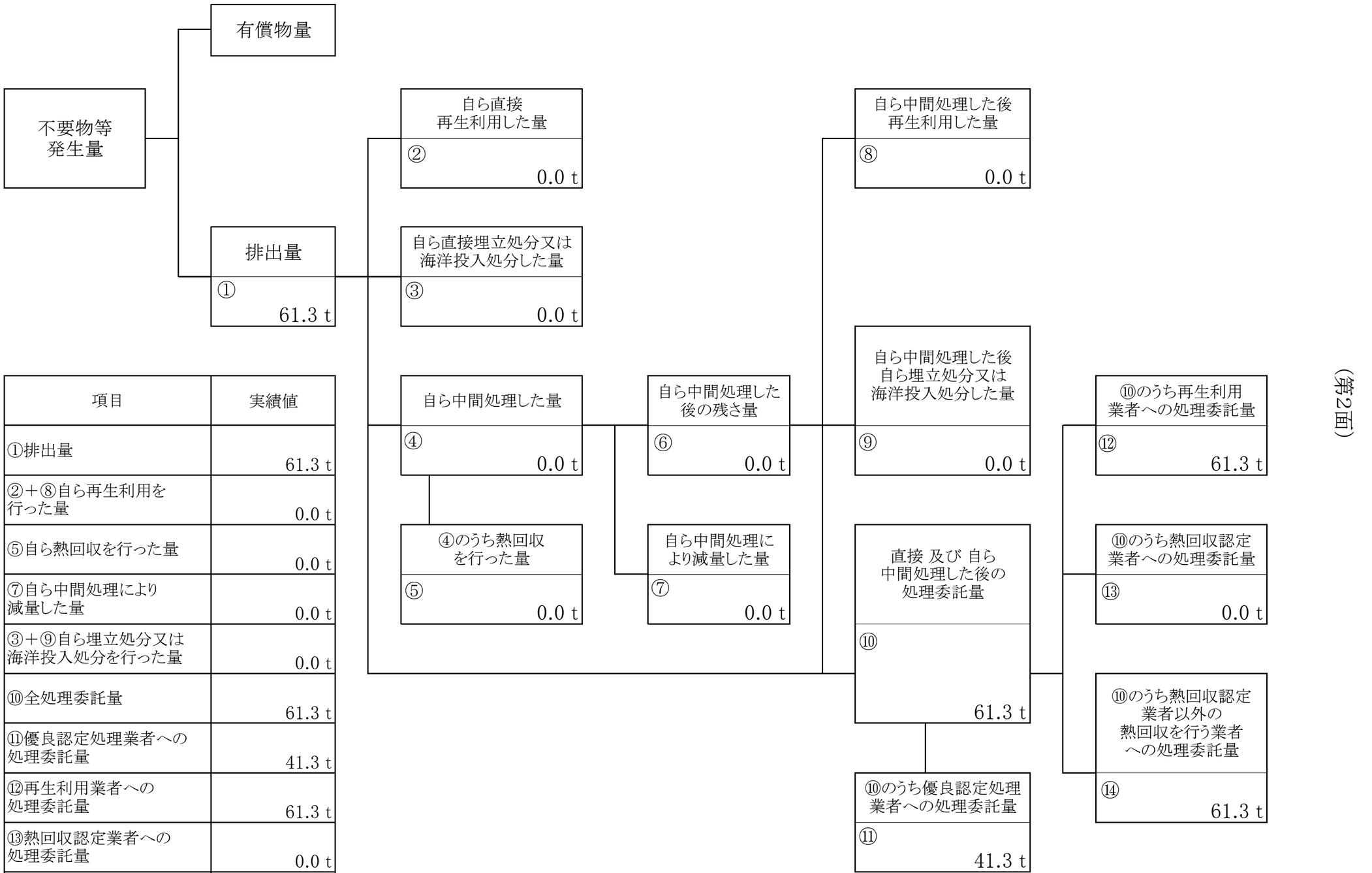
（産業廃棄物の種類：　**汚泥**　）

項目	実績値
①排出量	19771.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	18186.6 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1585.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1093.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	491.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1093.4 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃油**　）

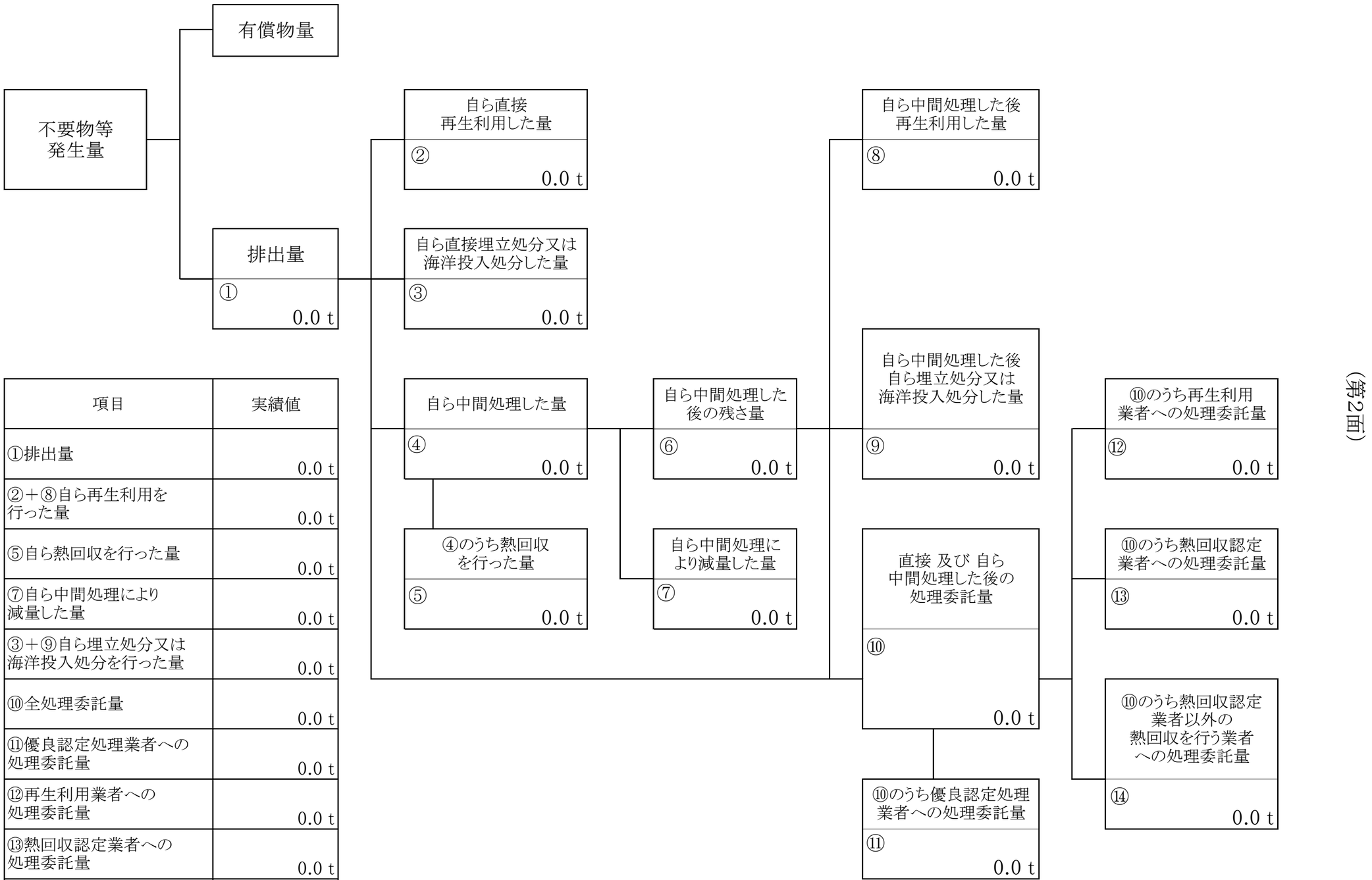


項目	実績値
①排出量	61.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	61.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	41.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	61.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	61.3 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　**廃酸**　　）

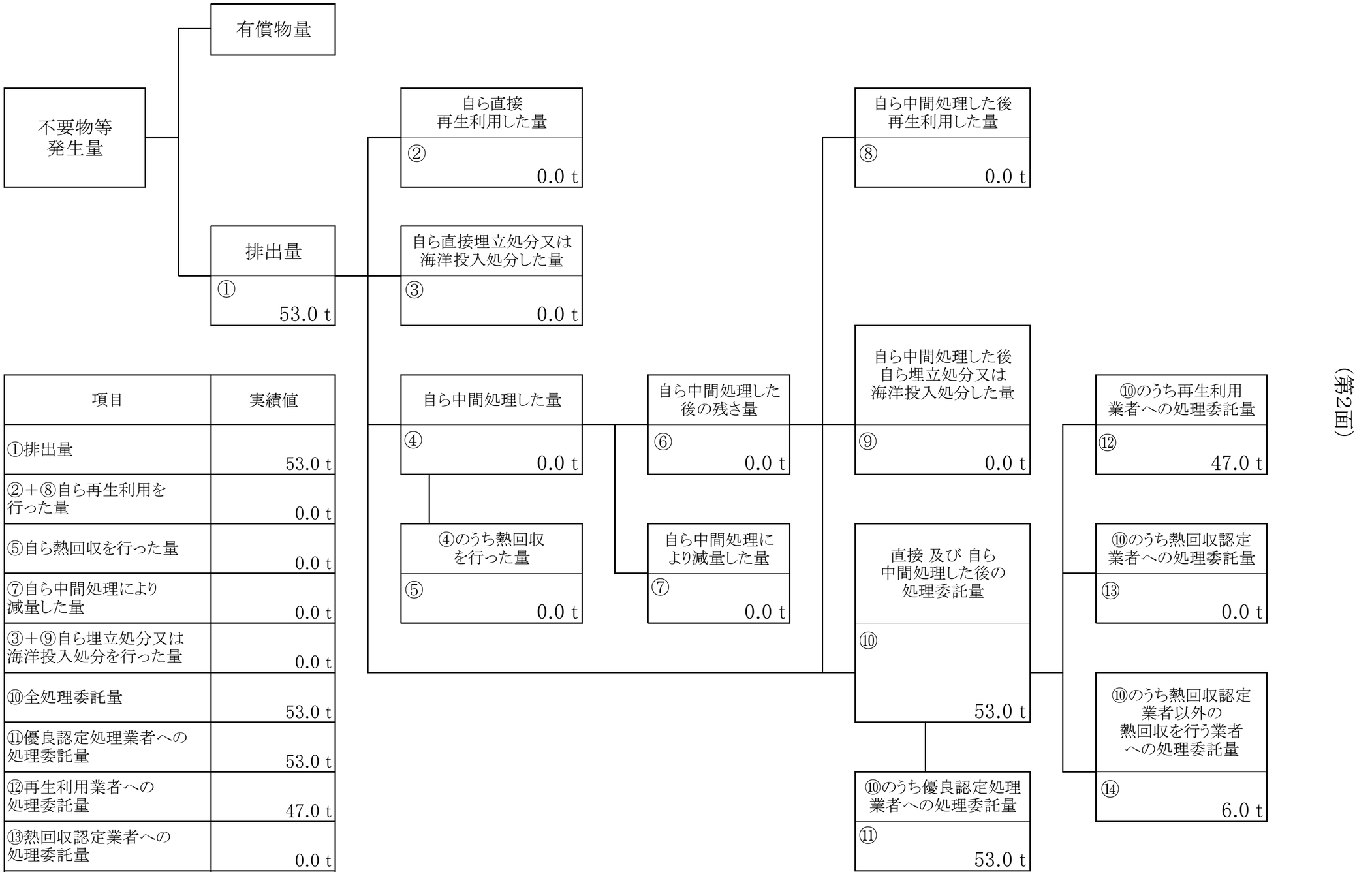


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃プラスチック類**　）

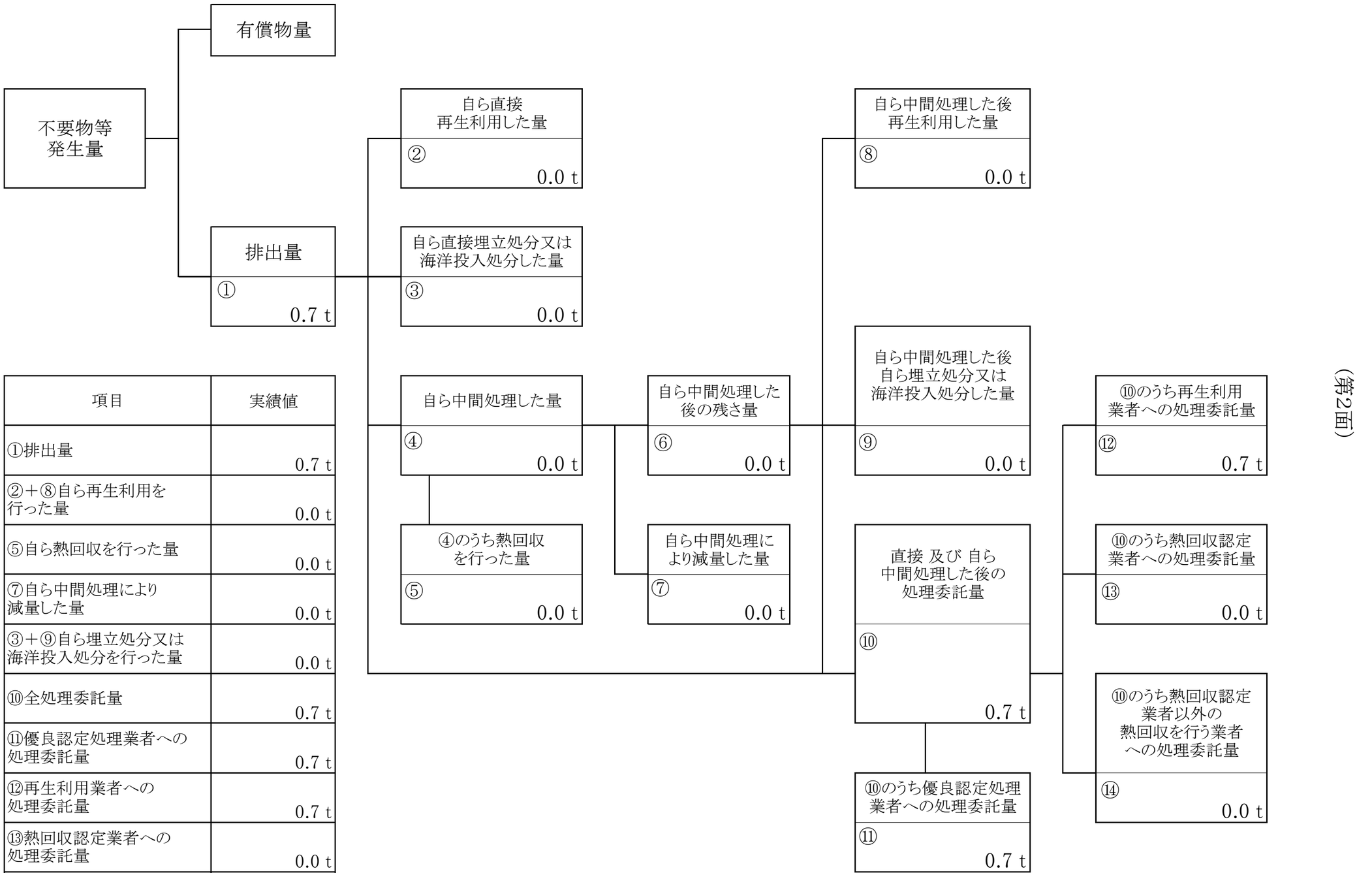


項目	実績値
①排出量	53.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	53.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	53.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	47.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	6.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**金属くず**　）

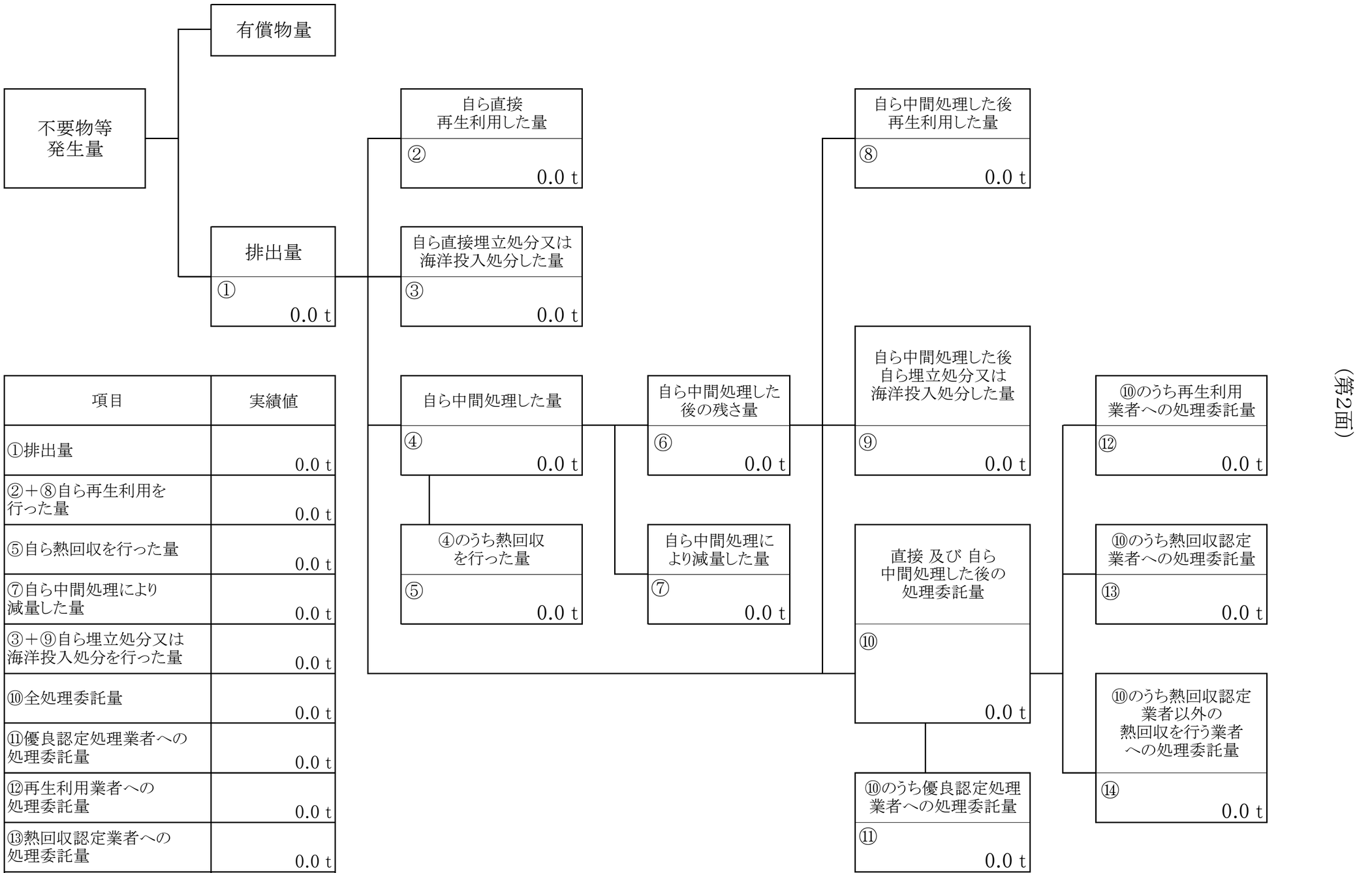


項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**　）

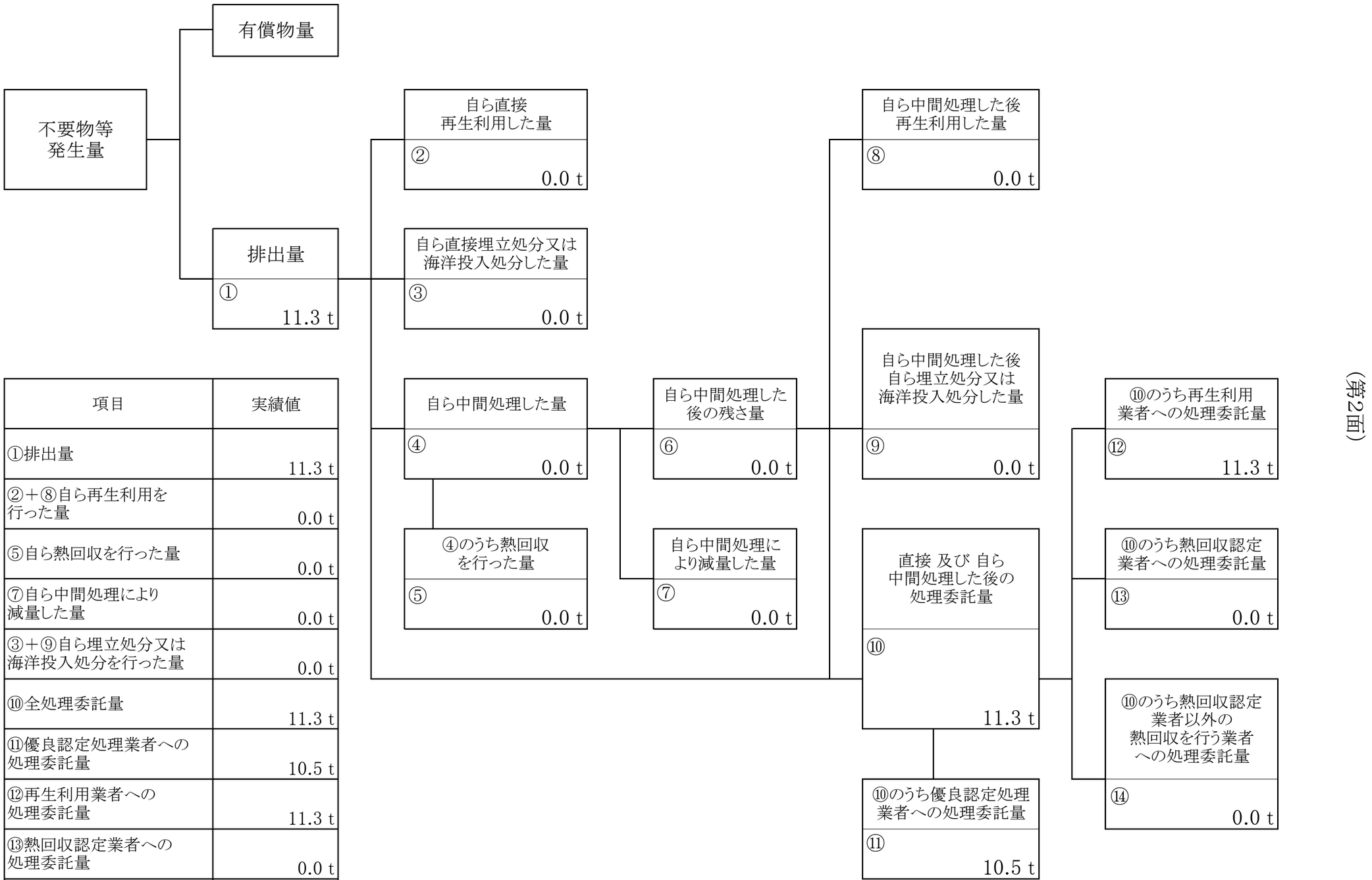


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

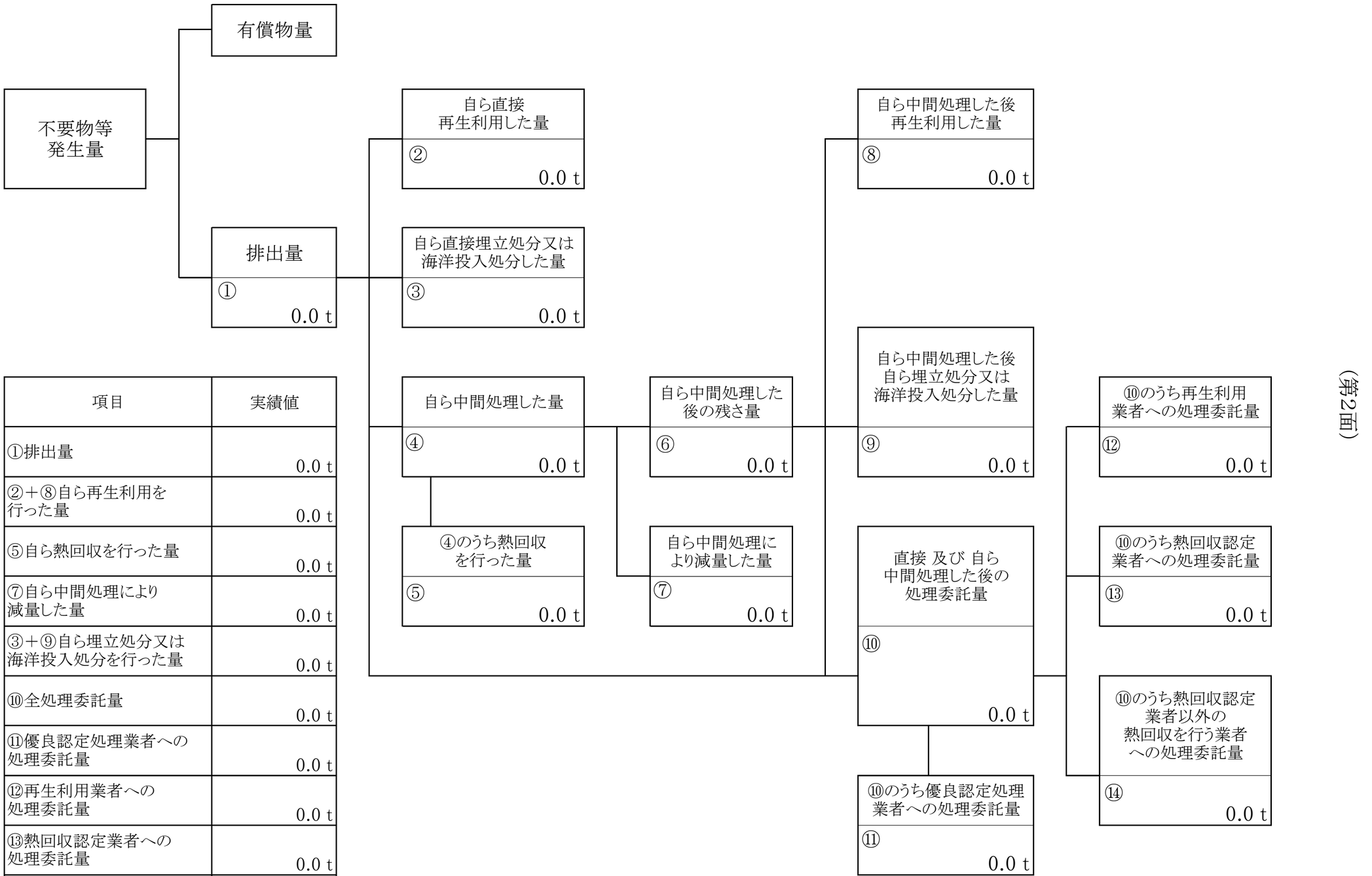


項目	実績値
①排出量	11.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃アルカリ**　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

正

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月19日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒299-0196
住 所　千葉県市原市千種海岸２番３
氏 名　東レ・ファインケミカル株式会社
千葉事業場　事業場長　市岡亮嗣
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0436(22)3716

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東レ・ファインケミカル株式会社 千葉事業場
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸2番3
事業の種類	E16－化学工業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

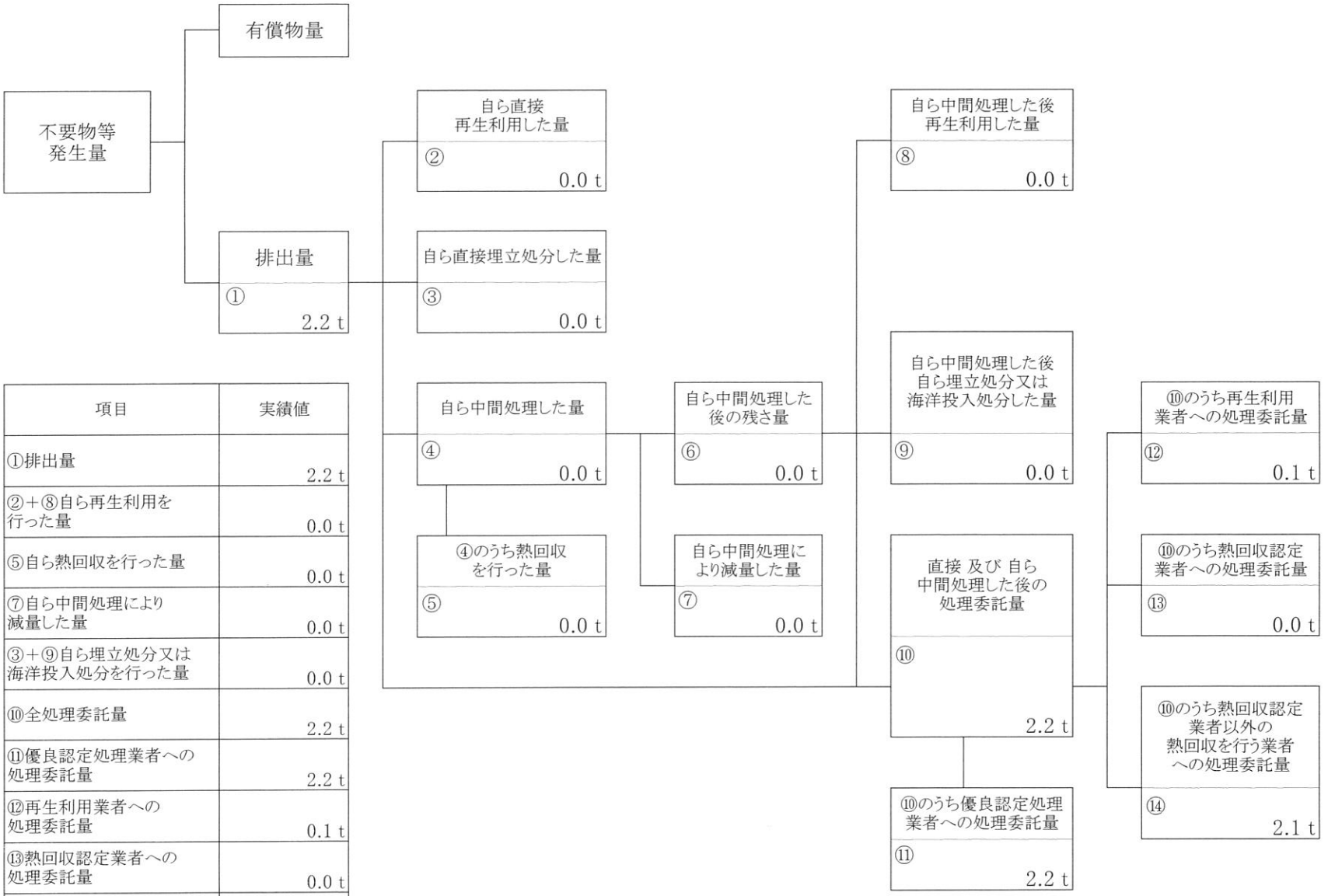
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1201.0 t	全処理委託量	1201.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	251.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	940.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	80.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	96.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず　）

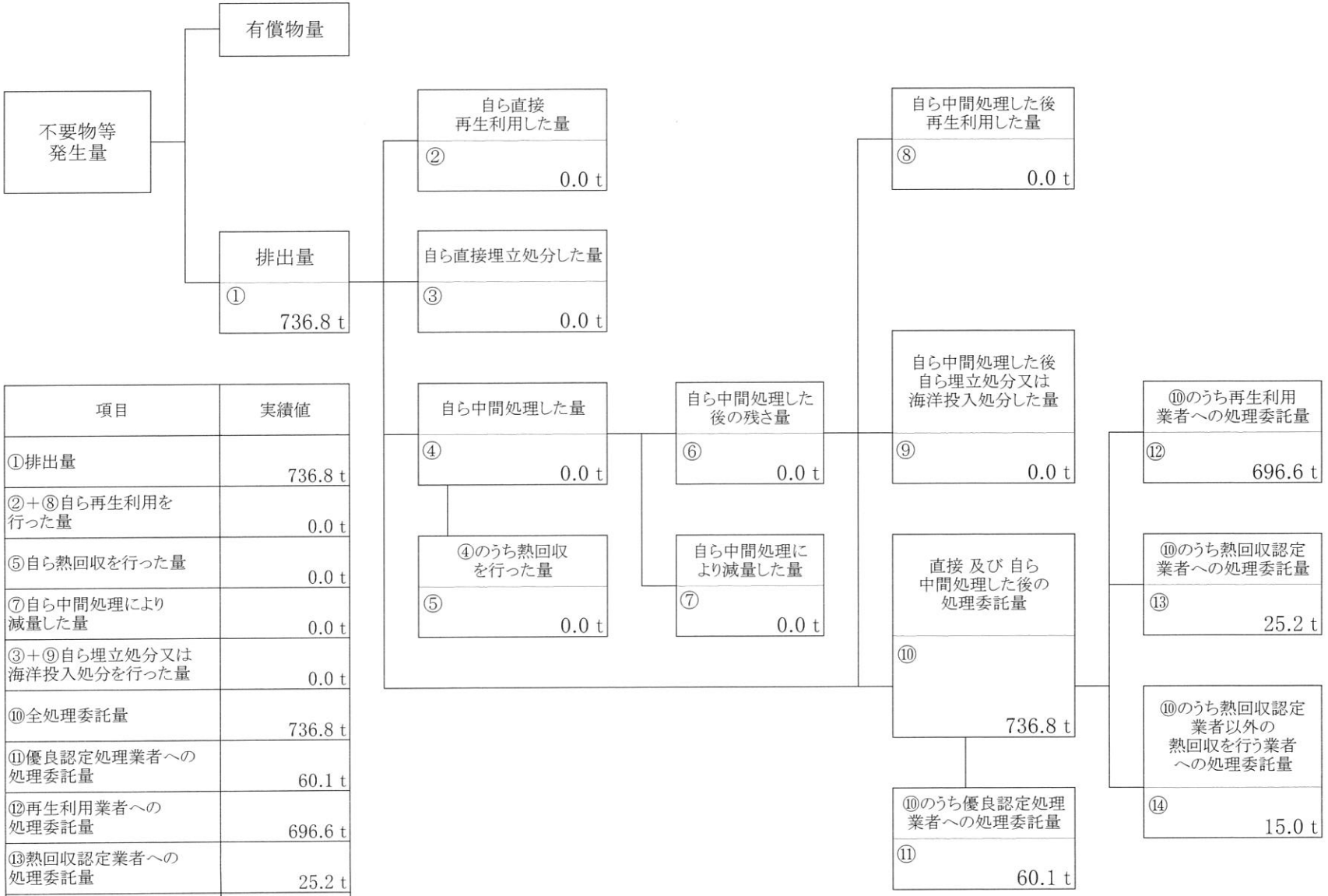


項目	実績値
①排出量	2.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.1 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥（泥上のもの）　）

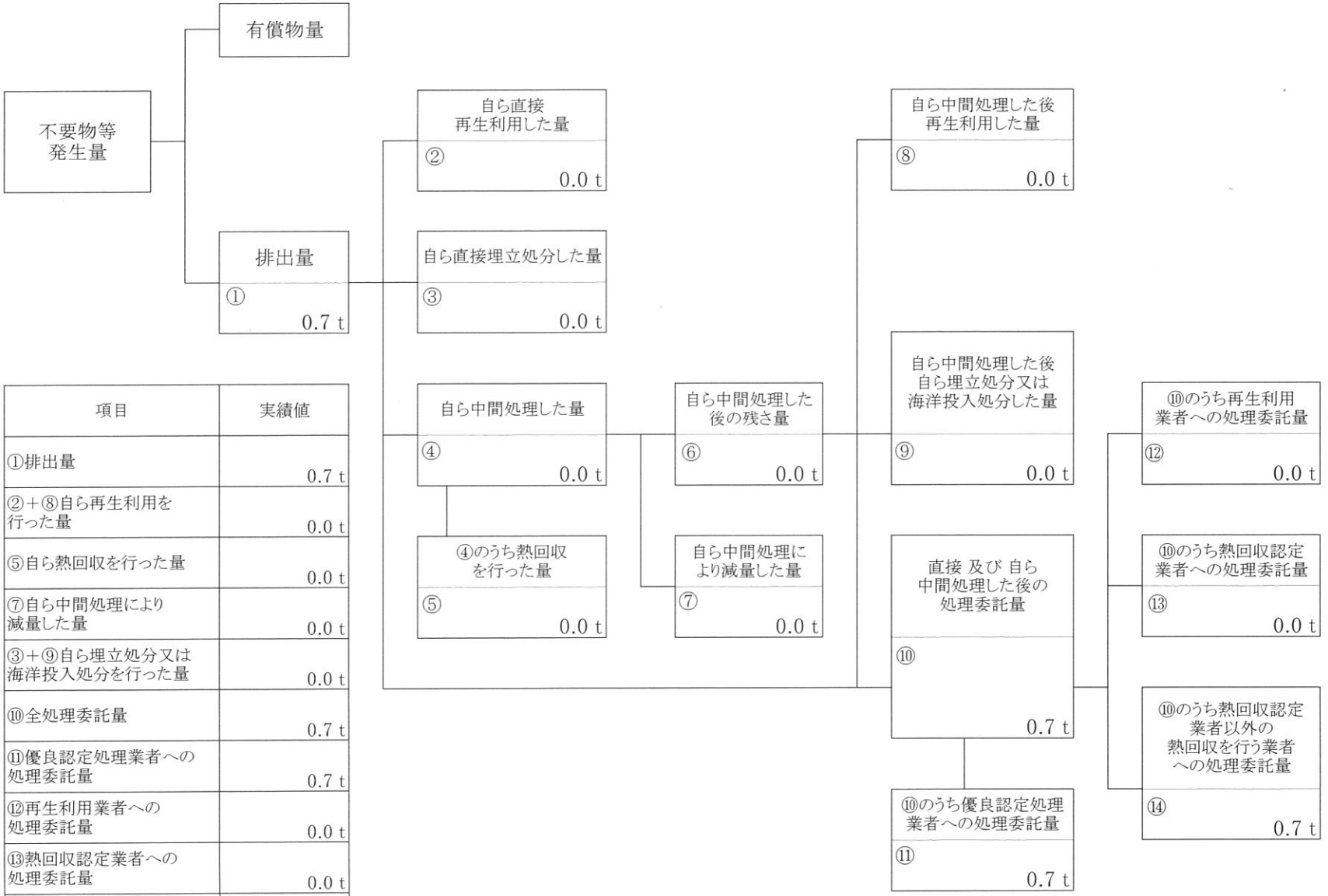


項目	実績値
①排出量	736.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	736.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	60.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	696.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	25.2 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	15.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属くず　）

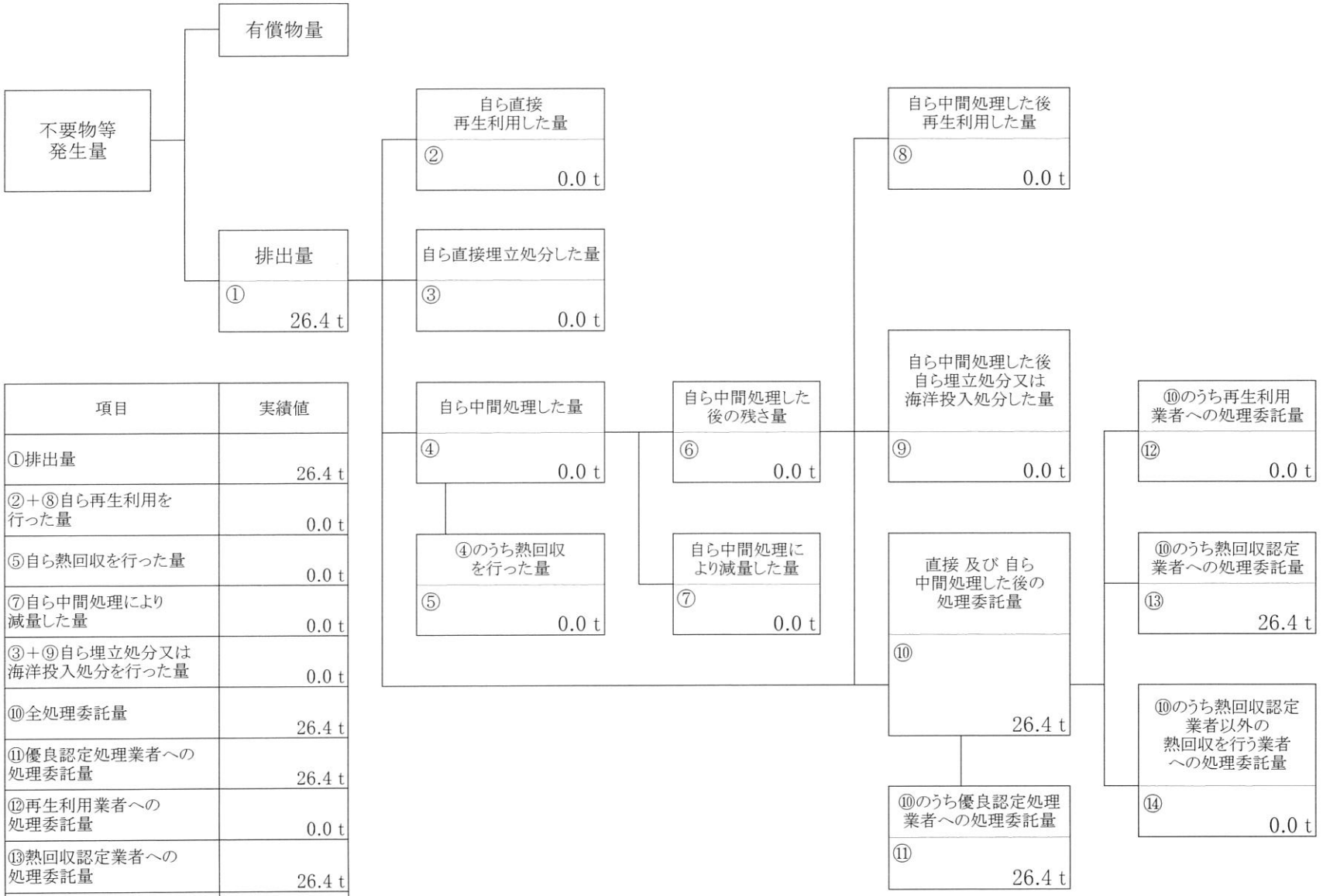


項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.7 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃アルカリ　）

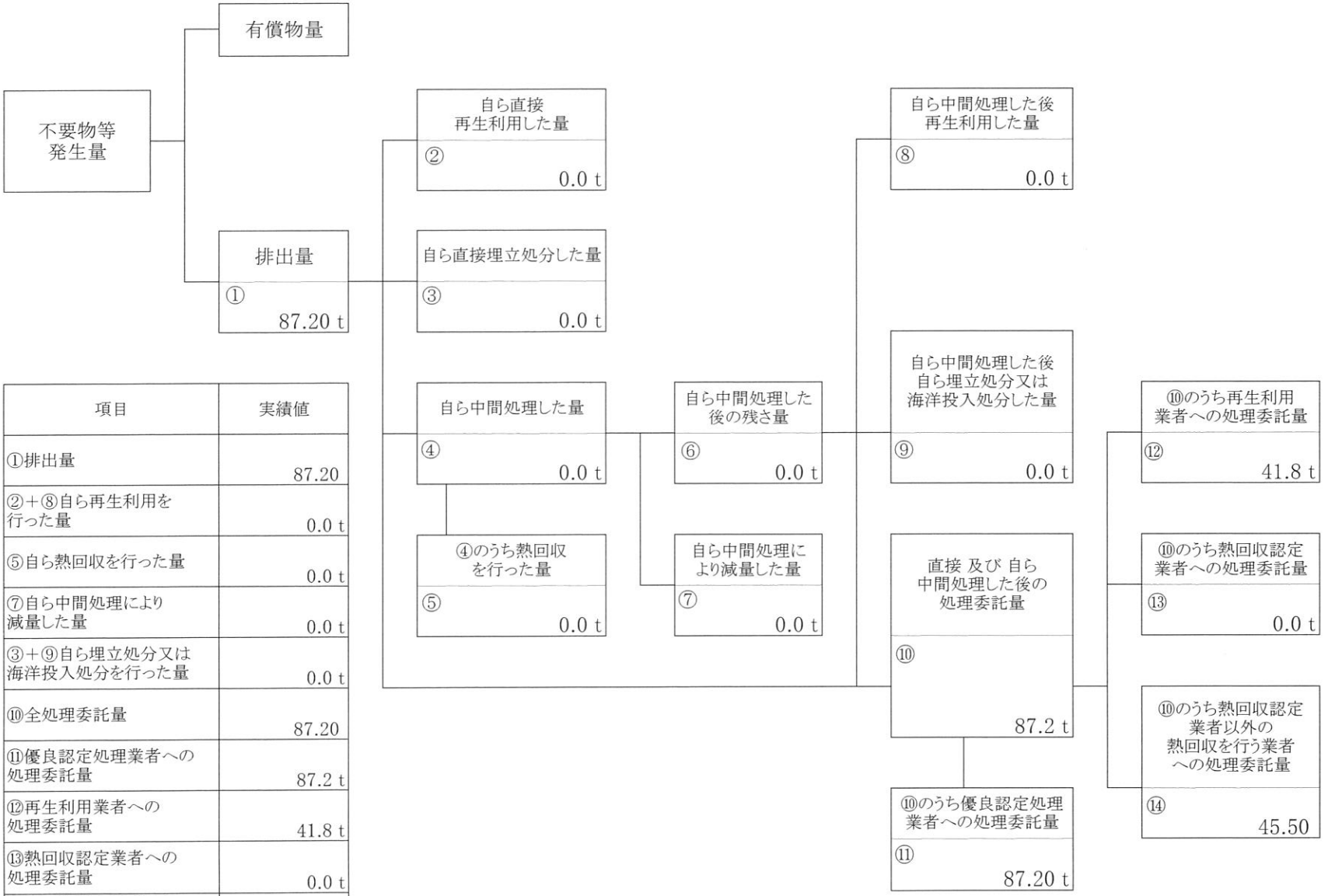


項目	実績値
①排出量	26.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	26.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	26.4 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃プラスチック類　）

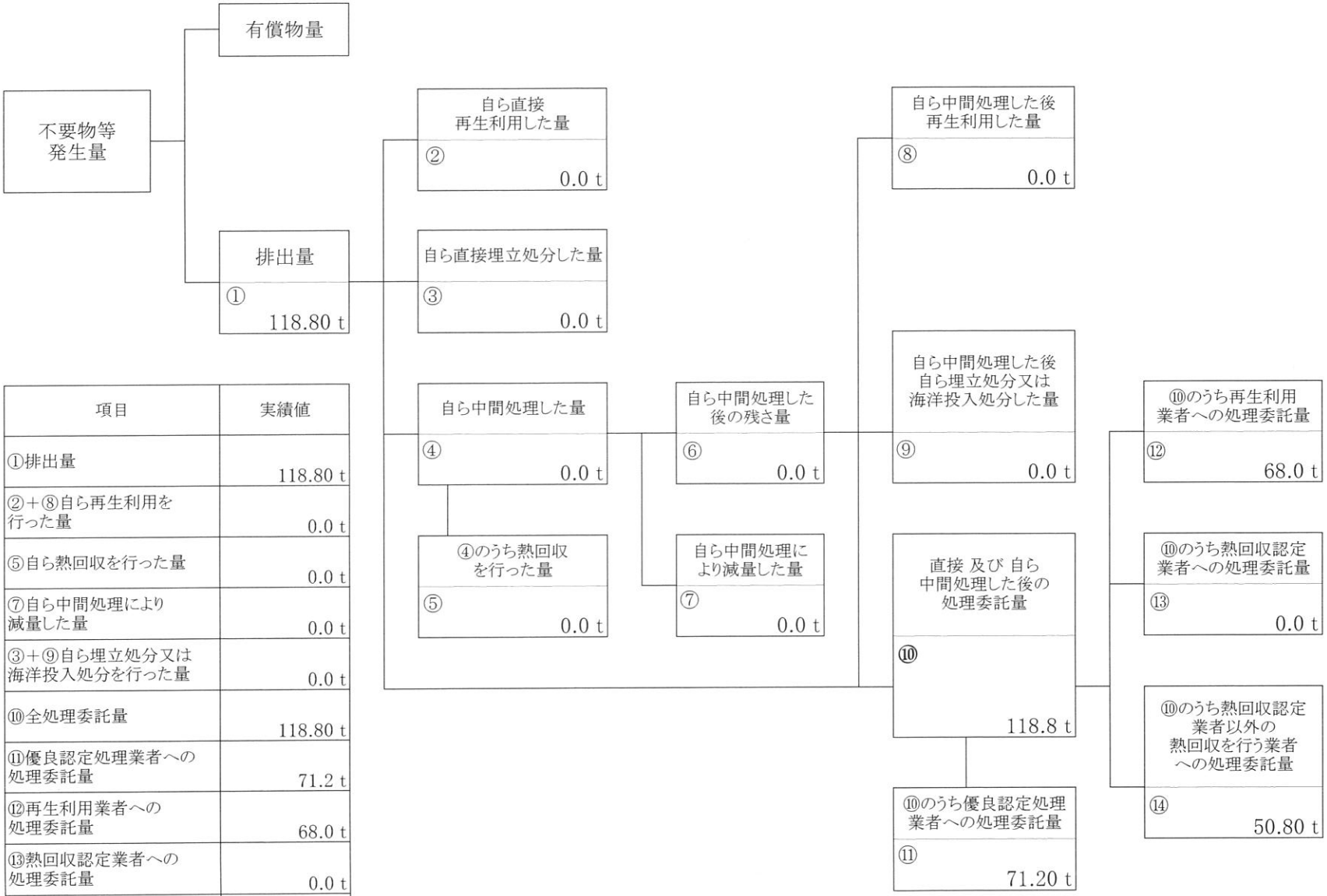


項目	実績値
①排出量	87.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	87.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	87.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	41.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	45.50

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃油　　）

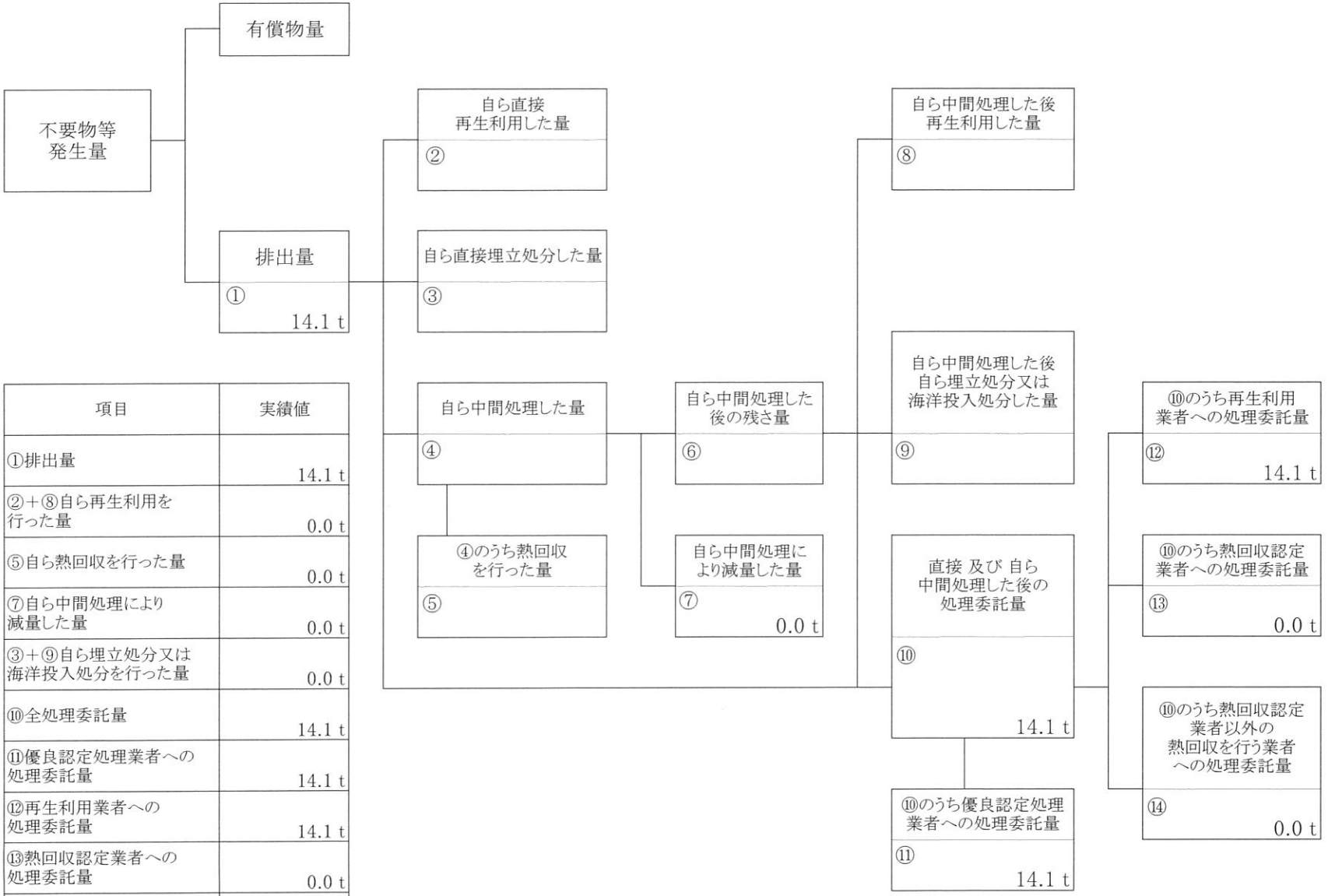


項目	実績値
①排出量	118.80 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	118.80 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	71.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	68.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	50.80 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）



項目	実績値
①排出量	14.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

正

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月14日

千葉県知事
熊谷俊人　　殿

提出者
住　所　千葉県市原市千種海岸２番３
氏　名　東レ・ファインケミカル株式会社　千葉事業場
事業場長　　市岡　亮嗣
電話番号　　０４３６（２２）３７１６

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東レ・ファインケミカル株式会社　千葉事業場
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸２番３
計画期間	令和６年４月１日　～　令和７年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：化学工業
②事業の規模	製造品出荷額（前年度実績）１５，９２１百万円
③従業員数	社員（嘱託含む）：７０名　出向者：３７名　派遣：１０名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１の通り

（日本工業規格　Ａ列４番）

様式第二号の十三（第1面－別紙1）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

統括責任者　：千葉事業場長

副統括責任者：環境保安課長

処分責任者　：製造１，２課長

特別管理産業廃棄物責任者：有資格者

処理計画者	実務担当者
製造１課生産１掛	廃棄物担当者
製造１課生産２掛	廃棄物担当者
製造２課	廃棄物担当者
技術開発室	廃棄物担当者

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃油（有害）
排　出　量	１４．１ｔ	２３５．３ｔ

（これまでに実施した取組）

廃油（引火性）から有価物を分別し廃油排出量の抑制を実施。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃油（有害）
排　出　量	１５．０ｔ	２８０．０ｔ

（今後実施する予定の取組）

廃油（引火性）と有価物の分別を強化。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

廃油（引火性）から有価物を分別し廃油排出量を抑制。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

廃油（引火性）と有価物の分別を強化

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性）</td><td>廃油（有害）</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性）</td><td>廃油（有害）</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性）</td><td>廃油（有害）</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性）</td><td>廃油（有害）</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="3">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性）</td><td>廃油（有害）</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="4">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性）</td><td>廃油（有害）</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性）</td><td>廃油（有害）</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>１４．１ｔ</td><td>２３５．３ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>６．５ｔ</td><td>２２２．２ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>９９．１ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>１４．１ｔ</td><td>１３６．２ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="4">（これまでに実施した取組）

優良認定処理業者へ処理を委託しています。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性）</td><td>廃油（有害）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>１５．０ｔ</td><td>２８０．０ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>１０ｔ</td><td>２５０．０ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>１００．０ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>１５ｔ</td><td>１８０．０ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

優良認定処理業者への処理委託を継続して取り組みます。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物
排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td colspan="2">１９９６．０３ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

電子マニフェスト導入実施済み。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	① 現状	【前年度（令和５年度）実績】				
		特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	強酸	水銀使用廃棄物
		排出量	１４１．７ｔ	１６０４．９ｔ	０．０２ｔ	０．０１ｔ
		（これまでに実施した取組）				
	②計画	【目標】				
		特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	強酸	水銀使用廃棄物
		排出量	２００ｔ	１７００ｔ	０．１ｔ	０．１ｔ

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和５年度）実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	強酸	水銀使用廃棄物
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）				
②計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	強酸	水銀使用廃棄物
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）				

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	強酸	水銀使用廃棄物
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	１５９５．１ｔ	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）
廃アルカリ発生工程の安定化

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	強酸	水銀使用廃棄物
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	１６００ｔ	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）
廃アルカリ発生工程の安定化

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項　該当なし

① 現状	【前年度（令和５年度）実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	強酸	水銀使用廃棄物
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）				
②計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	強酸	水銀使用廃棄物
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）				

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	強酸	水銀使用廃棄物
全処理委託量	１４１．７ｔ	９．８ｔ	０．０２ｔ	０．０１ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	１４１．７ｔ	９．８ｔ	０．０２ｔ	０．０１ｔ
再生利用業者への処理委託量	９．５ｔ	０ｔ	０。０２ｔ	０．０１ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	１２２．３ｔ	９．８ｔ	０ｔ	０ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	９．９ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

	②計画	【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	強酸	水銀使用廃棄物
全処理委託量	１５０ｔ	５０ｔ	０．１ｔ	０．１ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	１５０ｔ	５０ｔ	０．１ｔ	０．１ｔ
再生利用業者への処理委託量	１０ｔ	０ｔ	０．１ｔ	０．１ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	１５０ｔ	５０ｔ	０ｔ	０ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	１０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月14日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住 所　千葉県市原市千種海岸2番3
氏 名　東レ・ファインケミカル株式会社 千葉事業場
事業場長 市岡 亮嗣

電話番号 0436(22)3716

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東レ・ファインケミカル株式会社 千葉事業場
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸2番3
事業の種類	大分類:製造業　中分類:化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2045.2 t	全処理委託量	570.2 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	35.2 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	1475.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	460.0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	80.1 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	1963.6 t
	前年度	1996.03 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

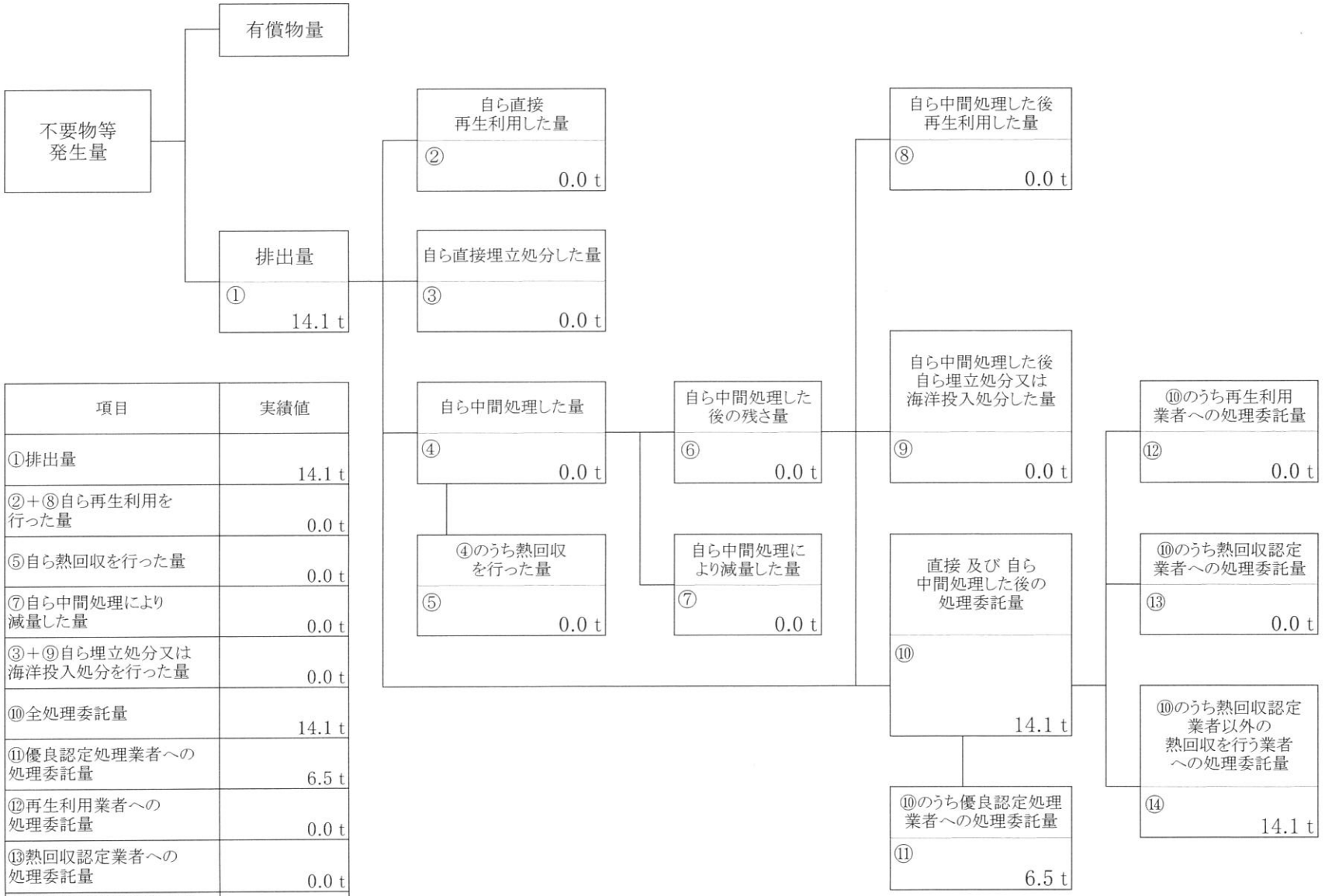
電子マニフェスト導入実施済み

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃油（引火性）　）

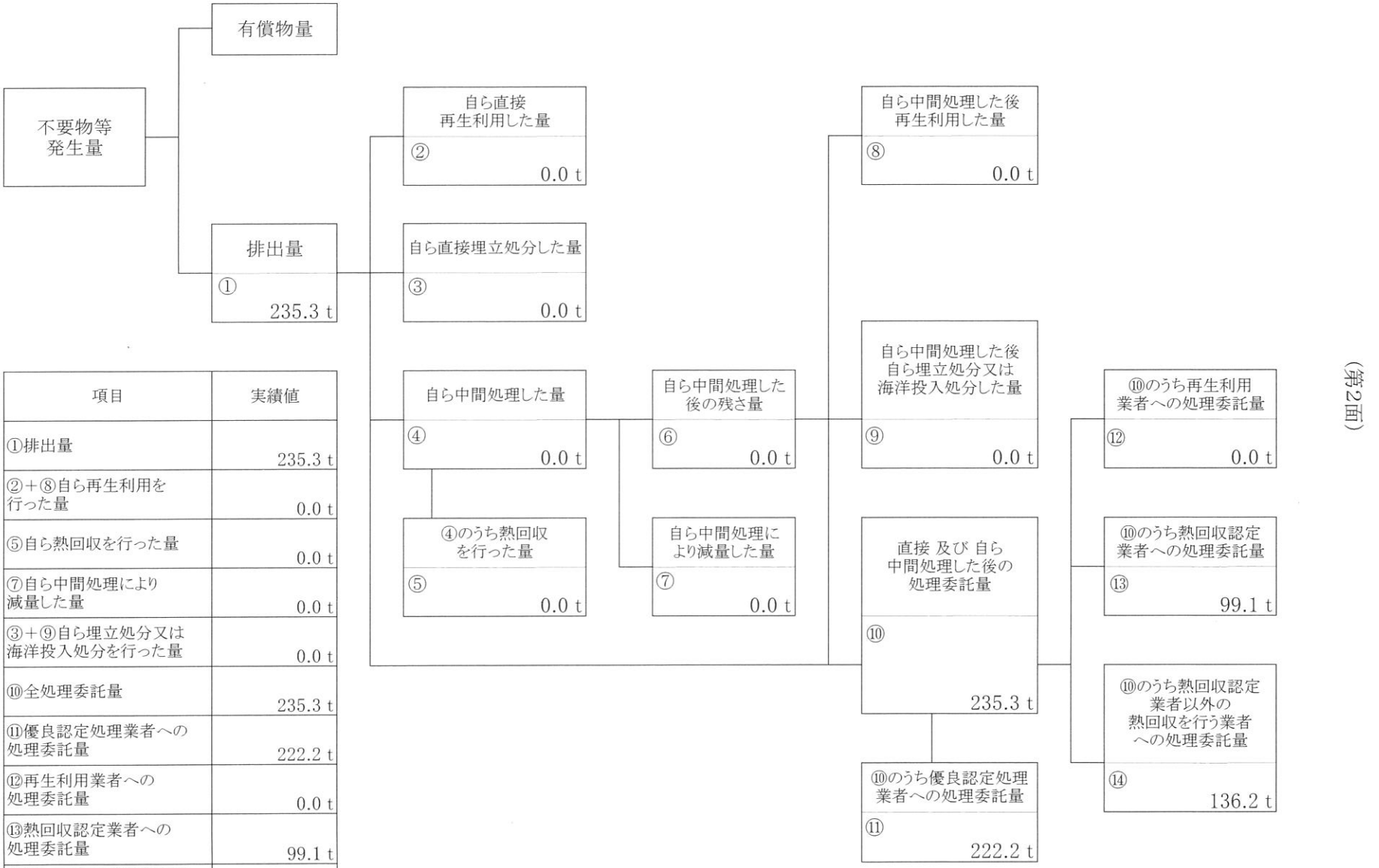


項目	実績値
①排出量	14.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	14.1 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃油（有害）　）

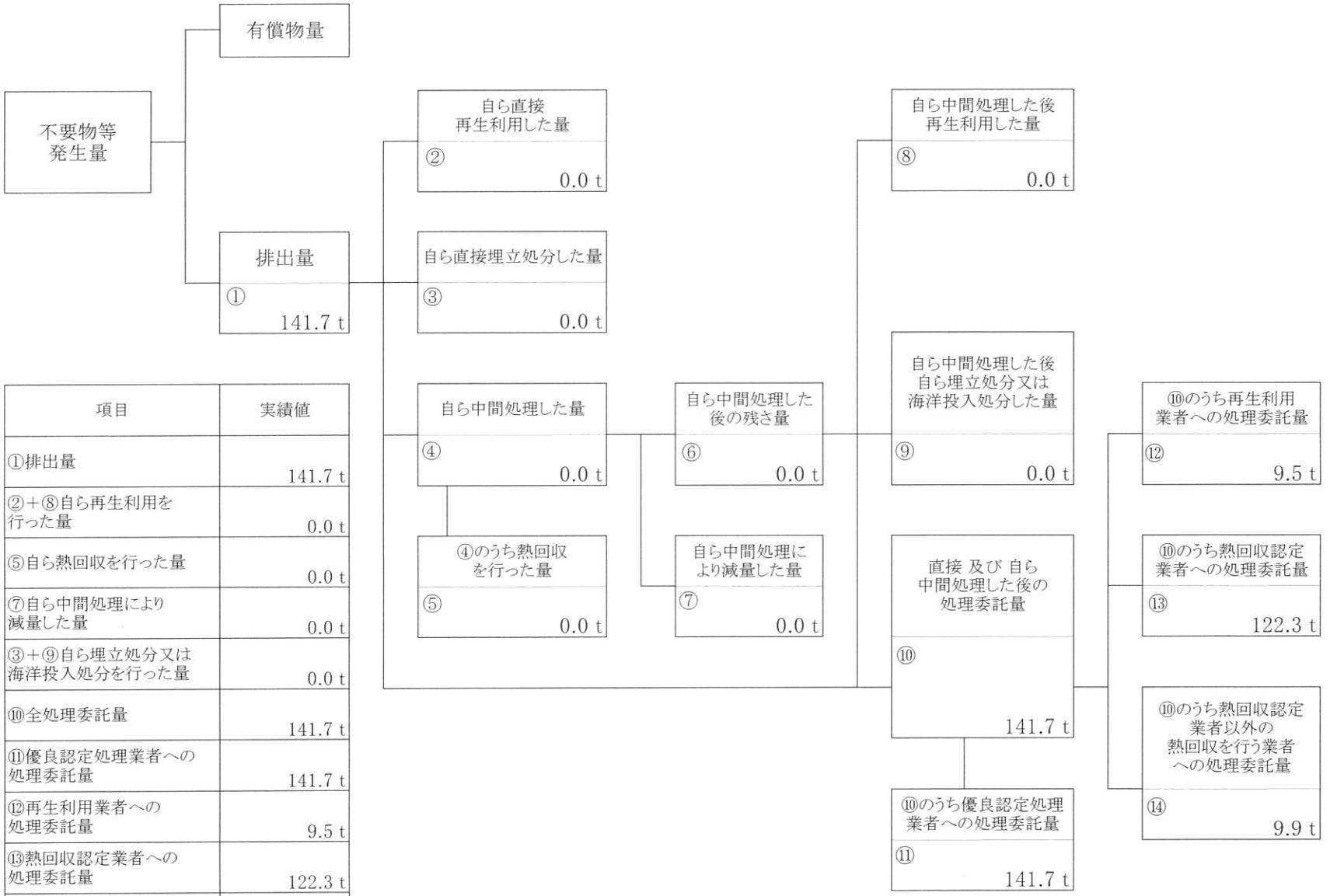


項目	実績値
①排出量	235.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	235.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	222.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	99.1 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	136.2 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃アルカリ（強アルカリ）　）

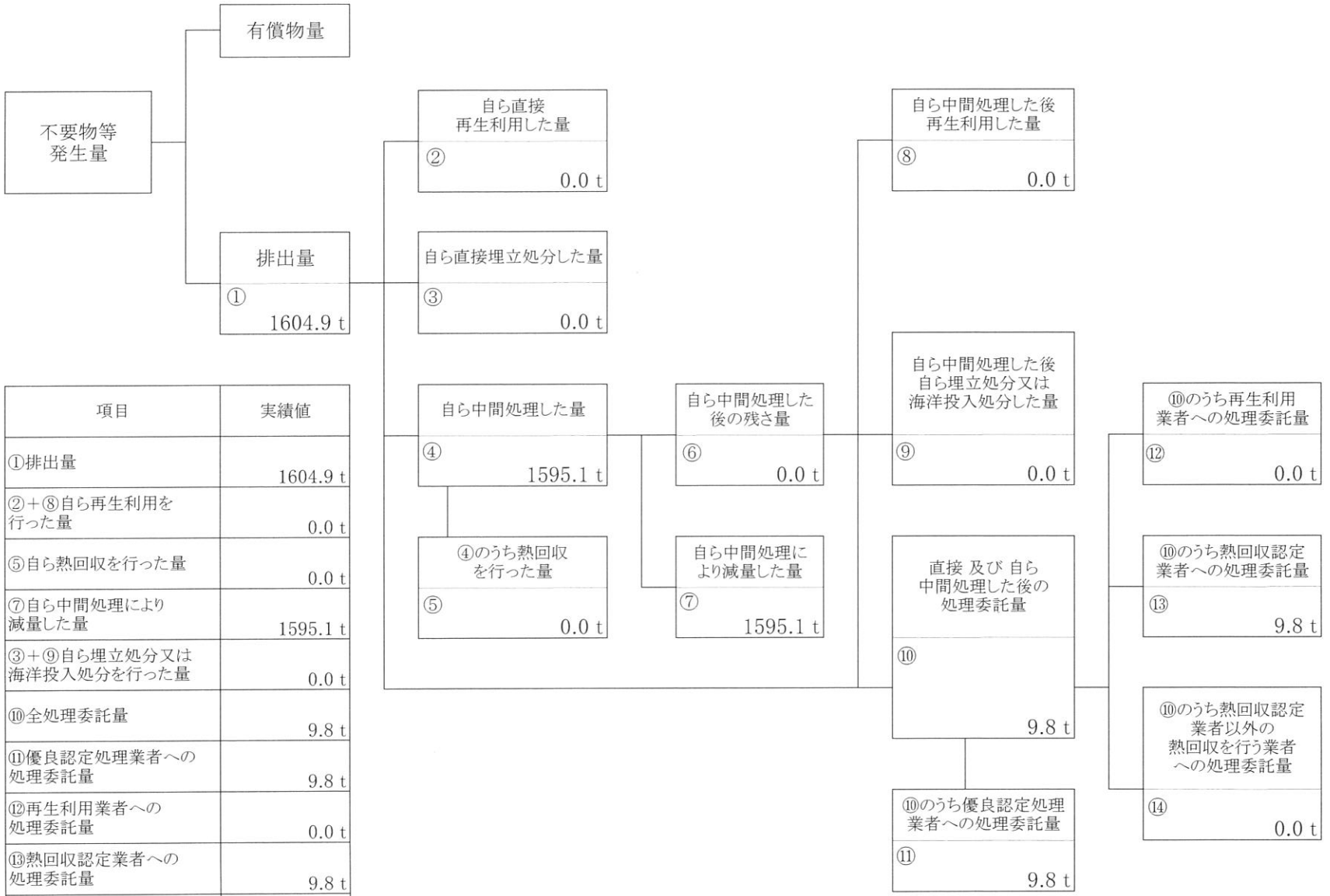


項目	実績値
①排出量	141.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	141.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	141.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	122.3 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	9.9 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃アルカリ（有害）　）

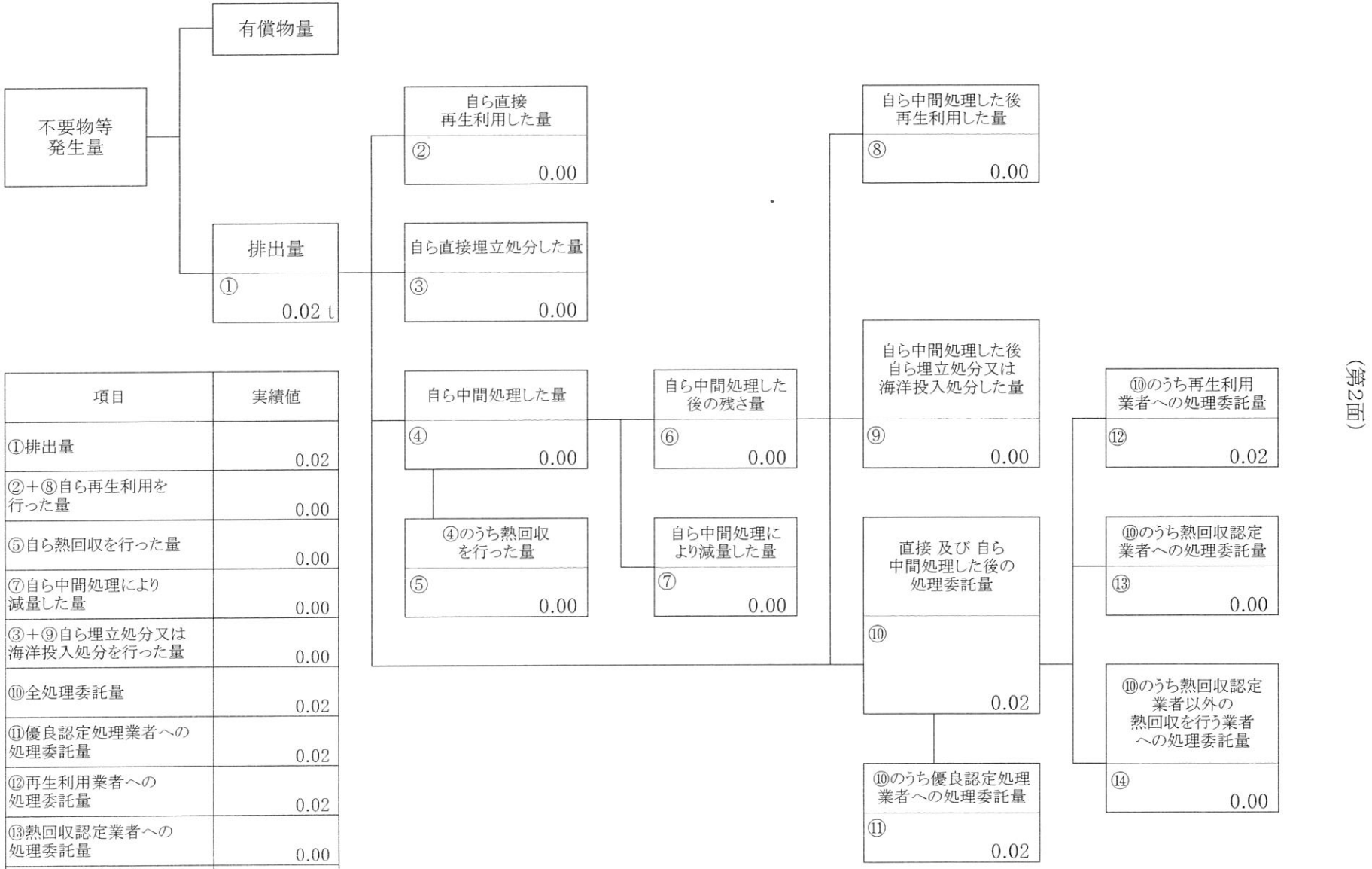


項目	実績値
①排出量	1604.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	1595.1 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	9.8 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　強酸　）

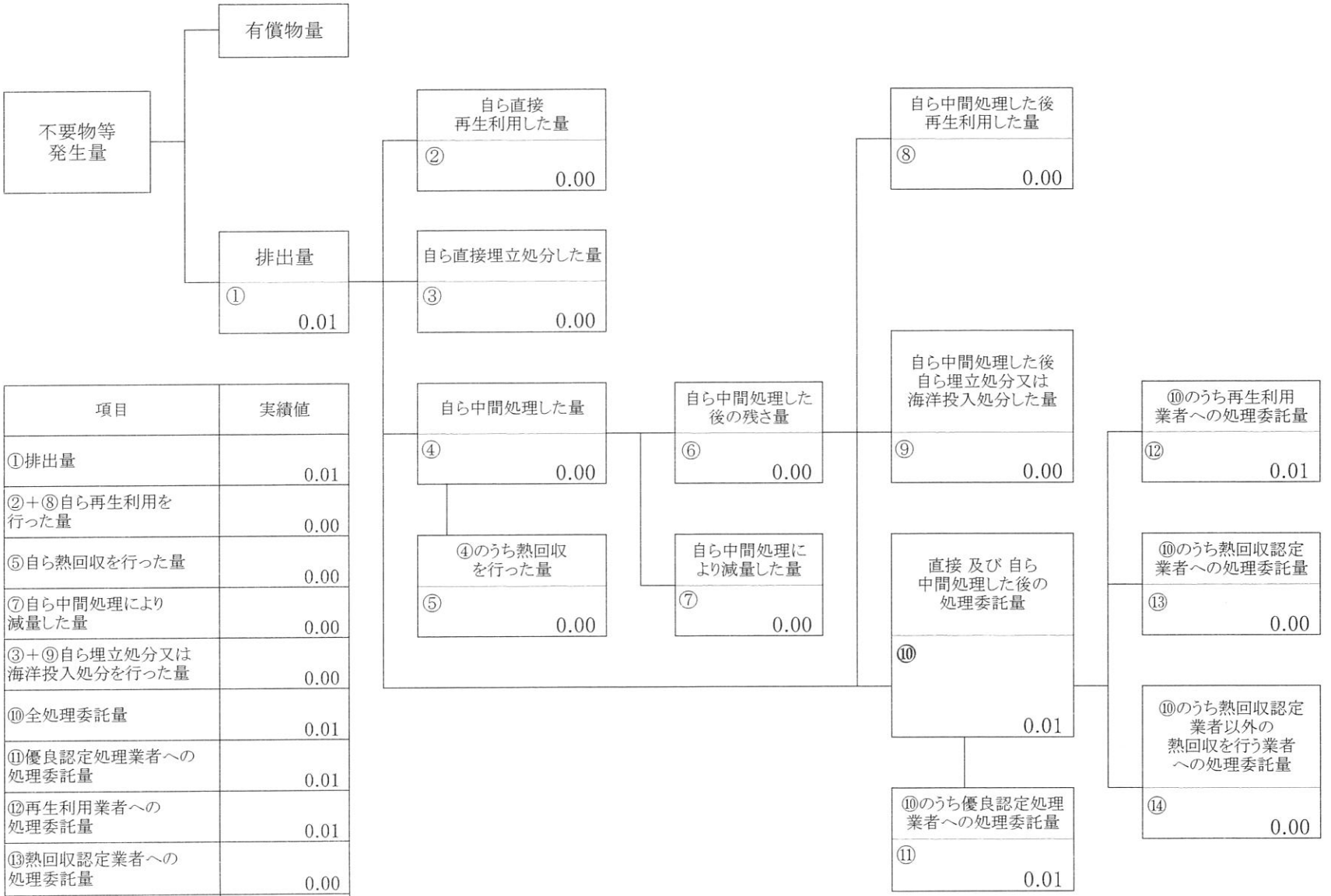


項目	実績値
①排出量	0.02
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.02
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.02
⑫再生利用業者への処理委託量	0.02
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　水銀使用廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	0.01
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.01
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.01
⑫再生利用業者への処理委託量	0.01
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　　６月　　２７日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒223-0061

住　所　神奈川県横浜市港北区日吉7－15－14

氏　名　トオカツフーズ株式会社

代表取締役　池田　晋一

電話番号　045-564-5813

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	トオカツフーズ株式会社　八千代工場
事業場の所在地	千葉県八千代市大和田新田７２７
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

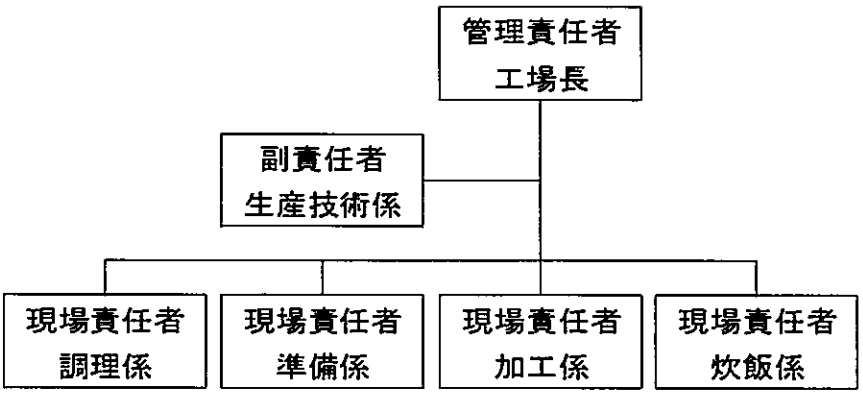
①　事業の種類	E09－食料品製造業
②　事業の規模	年商約７８億円（約３２００万食製造）
③　従業員数	362名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	○汚泥 ⇒ 脱水 ⇒ 埋立 ○廃プラ類 ⇒ 焼却 ⇒ 再資源化 ○動植物性残さ ⇒ 飼料 ○混合廃棄物その他 ⇒ 破砕 ⇒ 焼却 ⇒再資源化・埋立

（日本工業規格　A列4番）

千葉県 葛南地域振興事務所 -6.6.27 収受

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動植物性残さ
排出量	466.7 t	972.3 t

（これまでに実施した取組）
見込み精度向上に向けた社内情報を共有し、製品廃棄ロス削減を強化。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動植物性残さ
排出量	450 t	1200 t

（今後実施する予定の取組）
廃棄ロスの原因分析による発生抑制の促進。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃プラ、動植物性残渣、汚泥、金属くず、混合廃棄物、乾電池、蛍光灯

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
廃プラと動植物性残渣の分別強化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動植物性残さ
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動植物性残さ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動植物性残さ
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動植物性残さ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動植物性残さ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動植物性残さ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動植物性残さ
全処理委託量	466.7 t	972.3 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	178.1 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	466.7 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

以前は有価物買取であったパン耳について、収集運搬のみ産業廃棄物として扱う取引に変更したため、前年と比べて動植物性残さ排出量が増加した。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類		動植物性残さ	
全処理委託量	450	t	1200	t
優良認定処理業者への処理委託量	450	t	300	t
再生利用業者への処理委託量	0	t	0	t
認定熱回収業者への処理委託量	450	t	0	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	0	t

（今後実施する予定の取組）
排水処理施設の管理運用を適切に行い、発生する汚泥量の適正化を進める

※事務処理欄	

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物ほか					
		排　出　量	442.2 t	8.5 t	17.9 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物ほか					
		排　出　量	420 t	8 t	15 t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物ほか					
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物ほか					
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物ほか					
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物ほか					
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物ほか					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物ほか					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物ほか					
	全処理委託量	442.2 t	8.5 t	17.9 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	94.6 t	~~8.5~~ t	17.8 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	8.5 t	17.4 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物ほか					
	全処理委託量	420 t	8 t	15 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	90 t	8 t	15 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	8 t	15 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月　27日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒223-0061
住　所　神奈川県横浜市港北区日吉7－15－14
氏　名　トオカツフーズ株式会社
代表取締役　池田　晋一
電話番号 045-564-5813

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	トオカツフーズ株式会社 八千代工場
事業場の所在地	千葉県八千代市大和田新田727
事業の種類	E09－食料品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

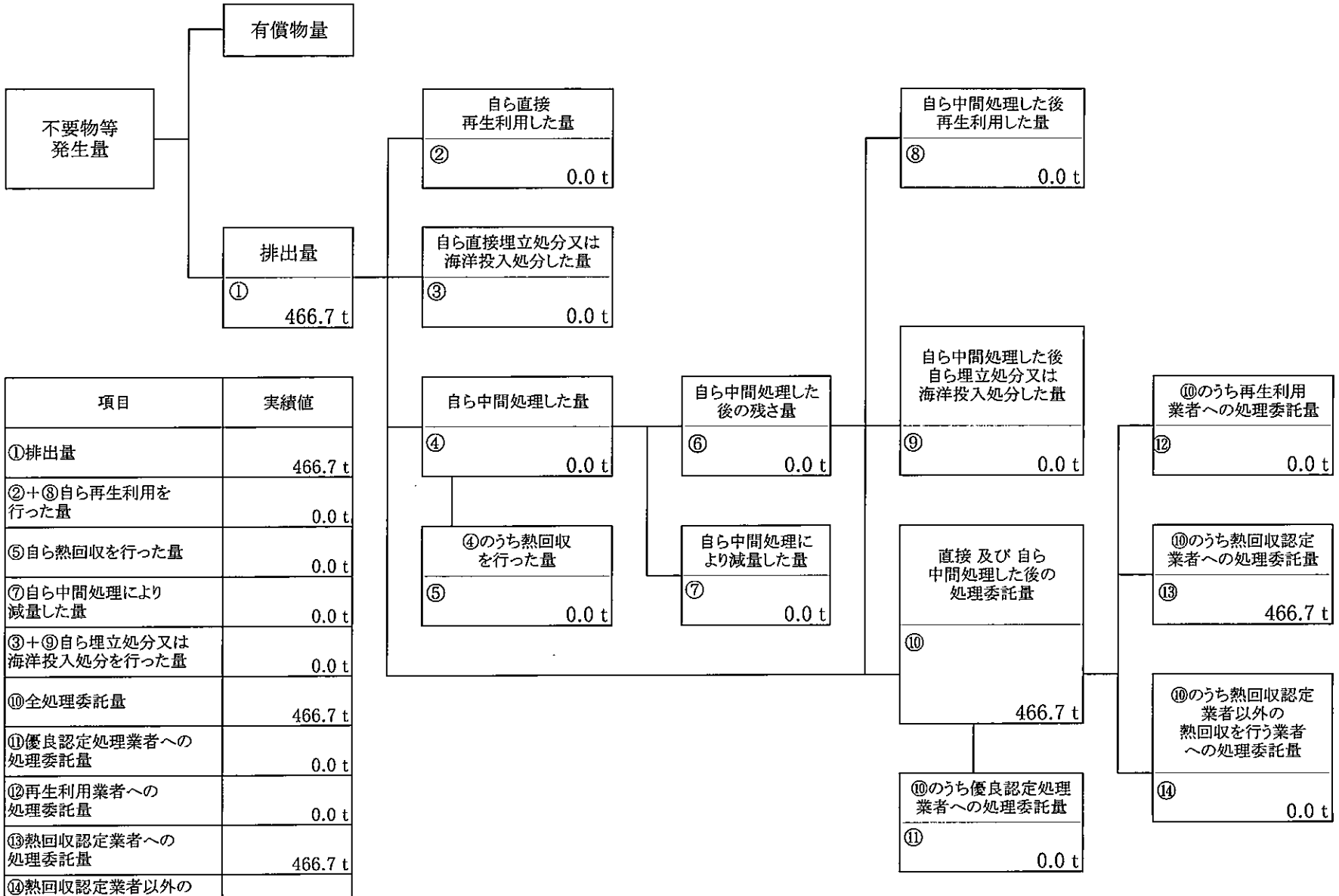
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1100.0 t	全処理委託量	1100.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	100.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	470.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	630.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

千葉県 葛南地域振興事務所 -6.6.27 収受

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　廃プラスチック類　　）

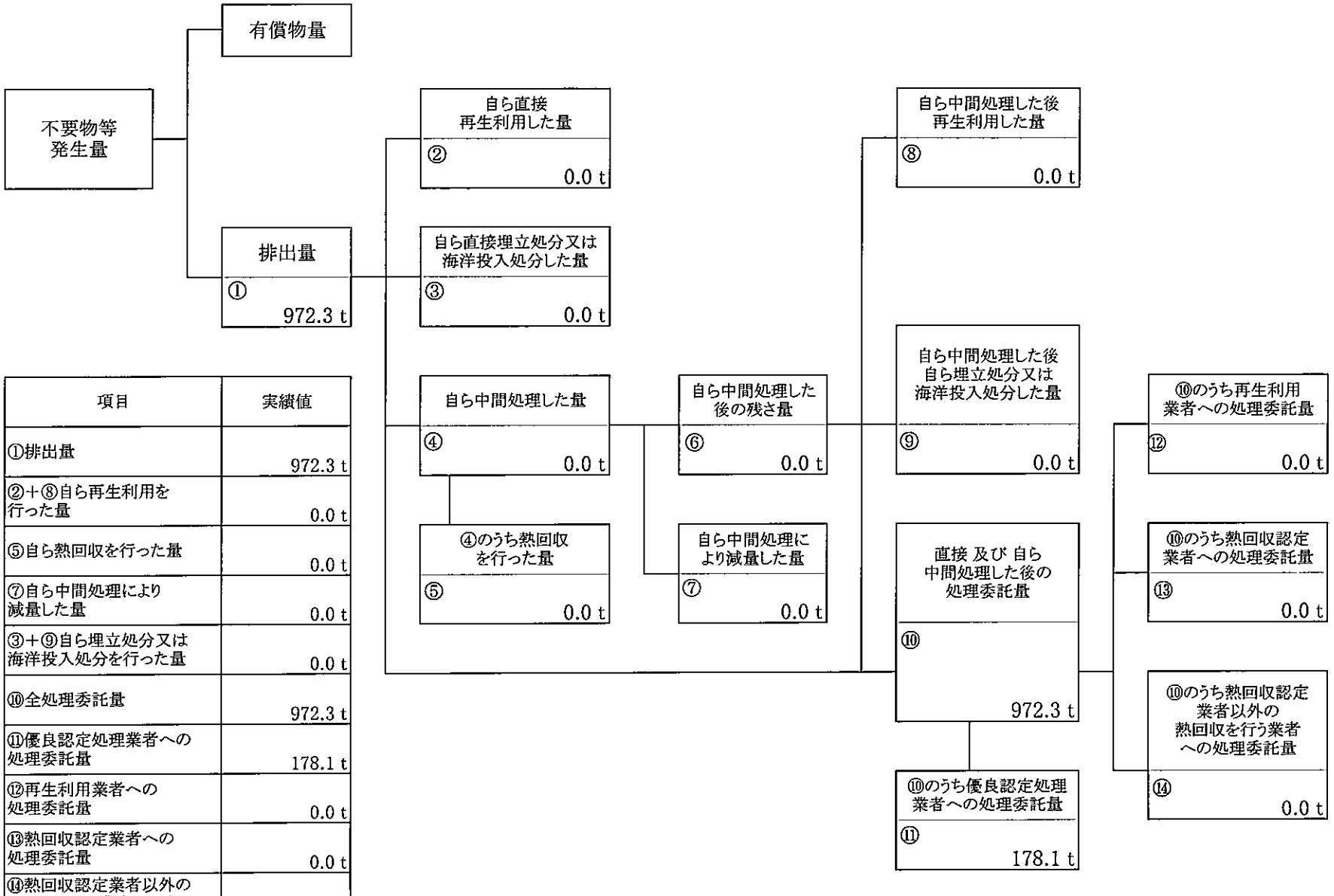


項目	実績値
①排出量	466.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	466.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	466.7 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　動植物性残さ　）

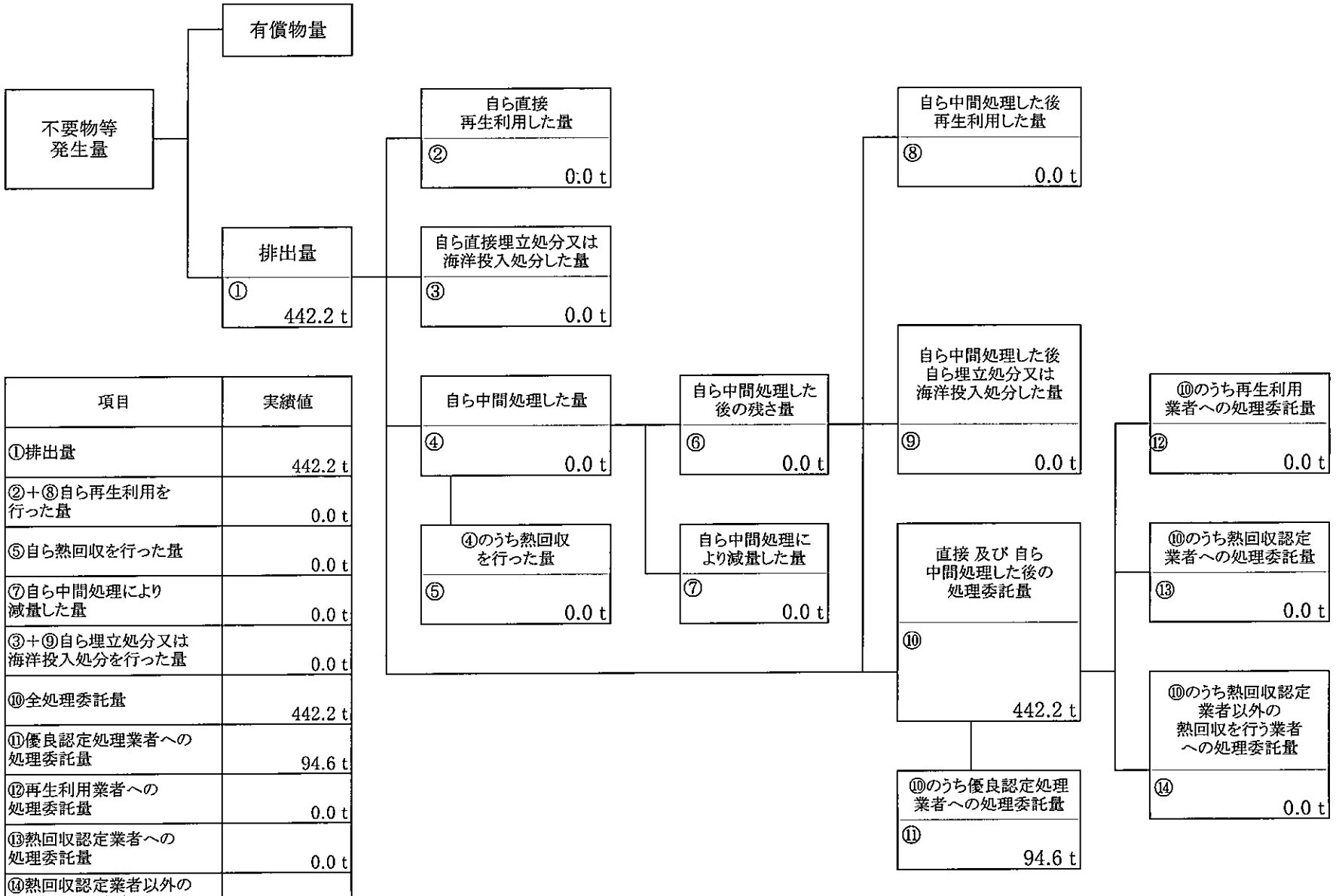


項目	実績値
①排出量	972.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	972.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	178.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

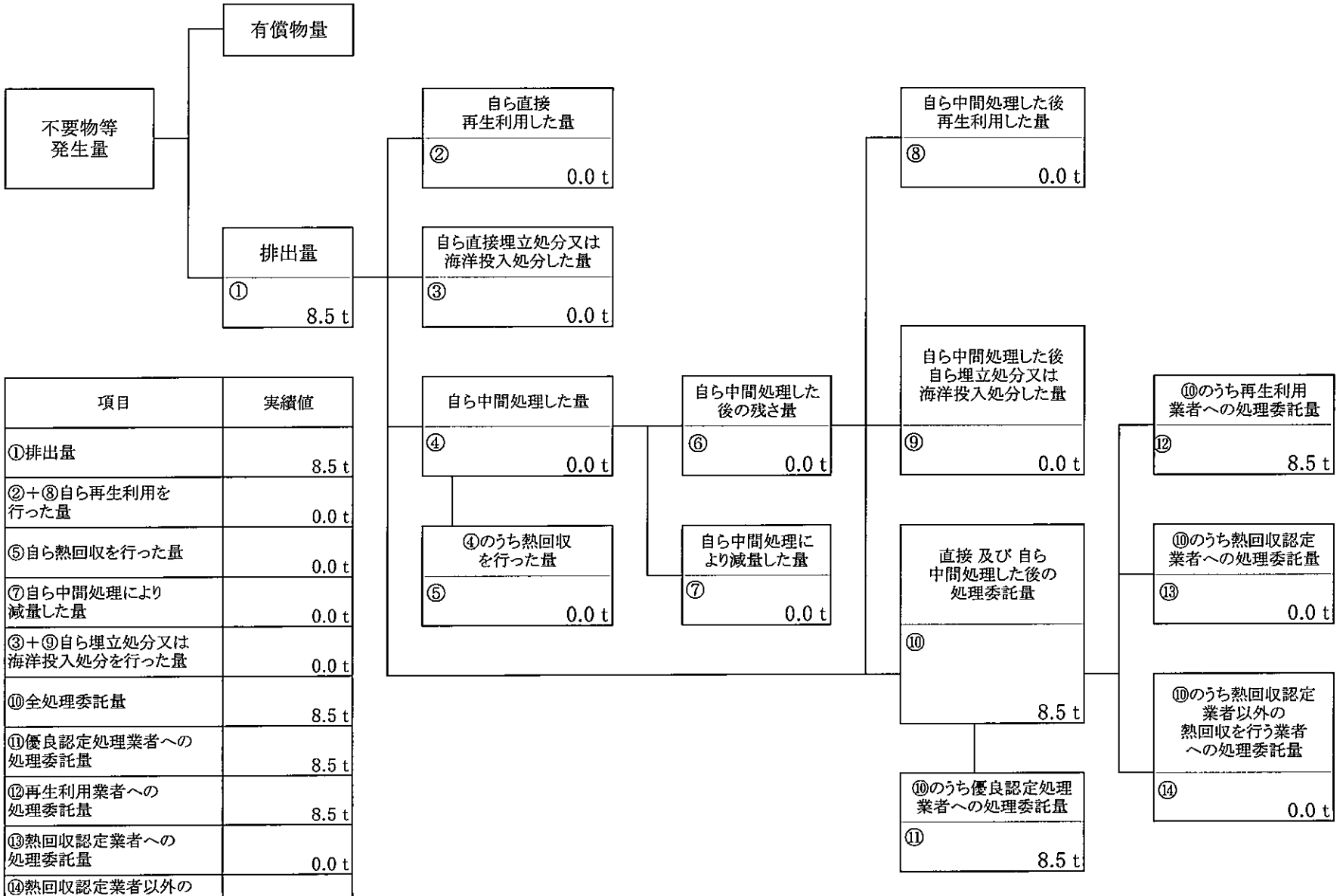


項目	実績値
①排出量	442.2 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	442.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	94.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属くず　）

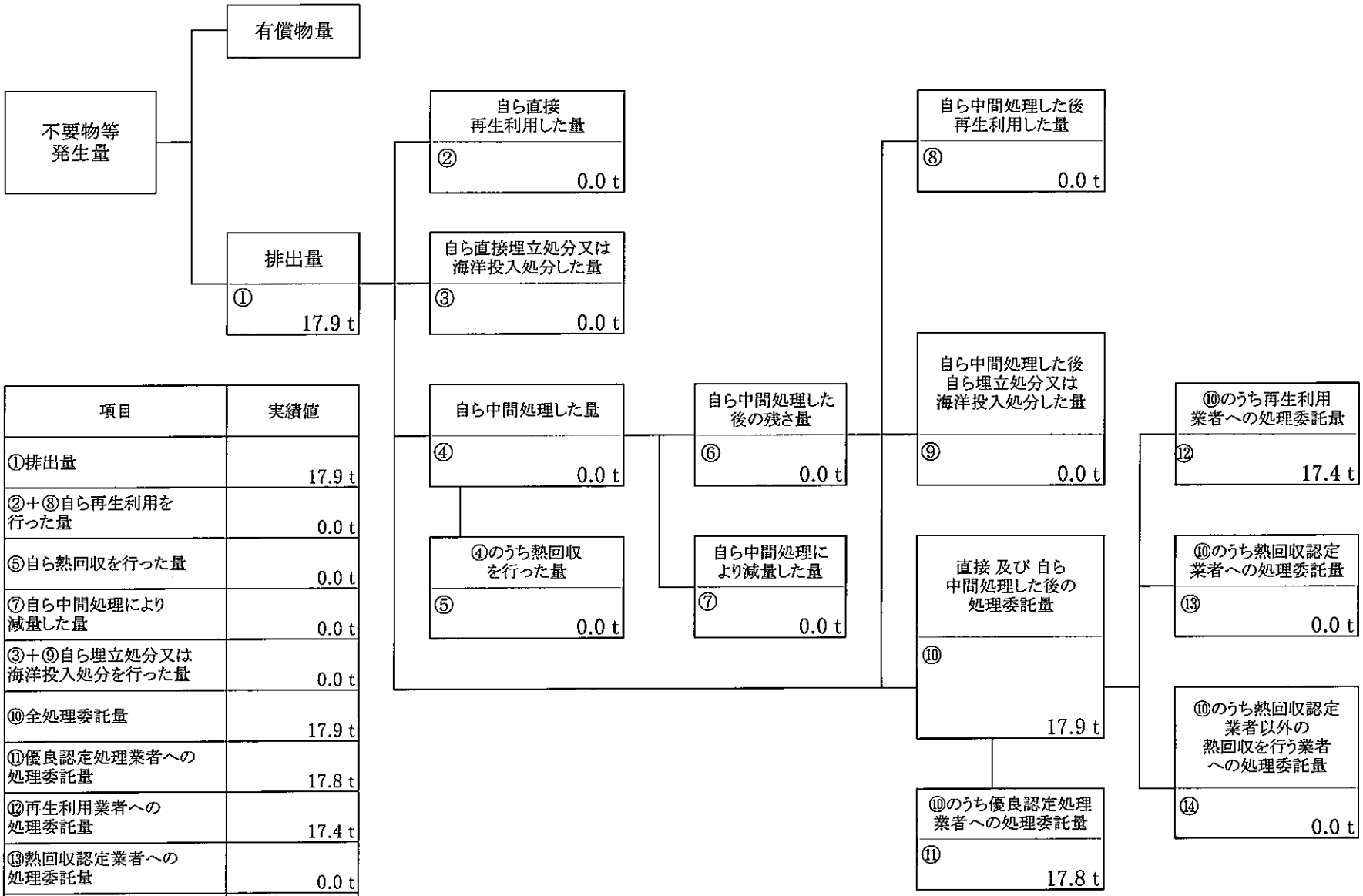


項目	実績値
①排出量	8.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　混合廃棄物ほか　）



項目	実績値
①排出量	17.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	17.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	17.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 7日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒299-0268
住 所　千葉県袖ケ浦市南袖10
氏 名　株式会社トクヤマ・チヨダジプサム 関東工場
工場長　尾﨑 耕三
電話番号 0438-62-3000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社トクヤマ・チヨダジプサム 関東工場
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市南袖10
事業の種類	大分類:製造業　中分類:窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

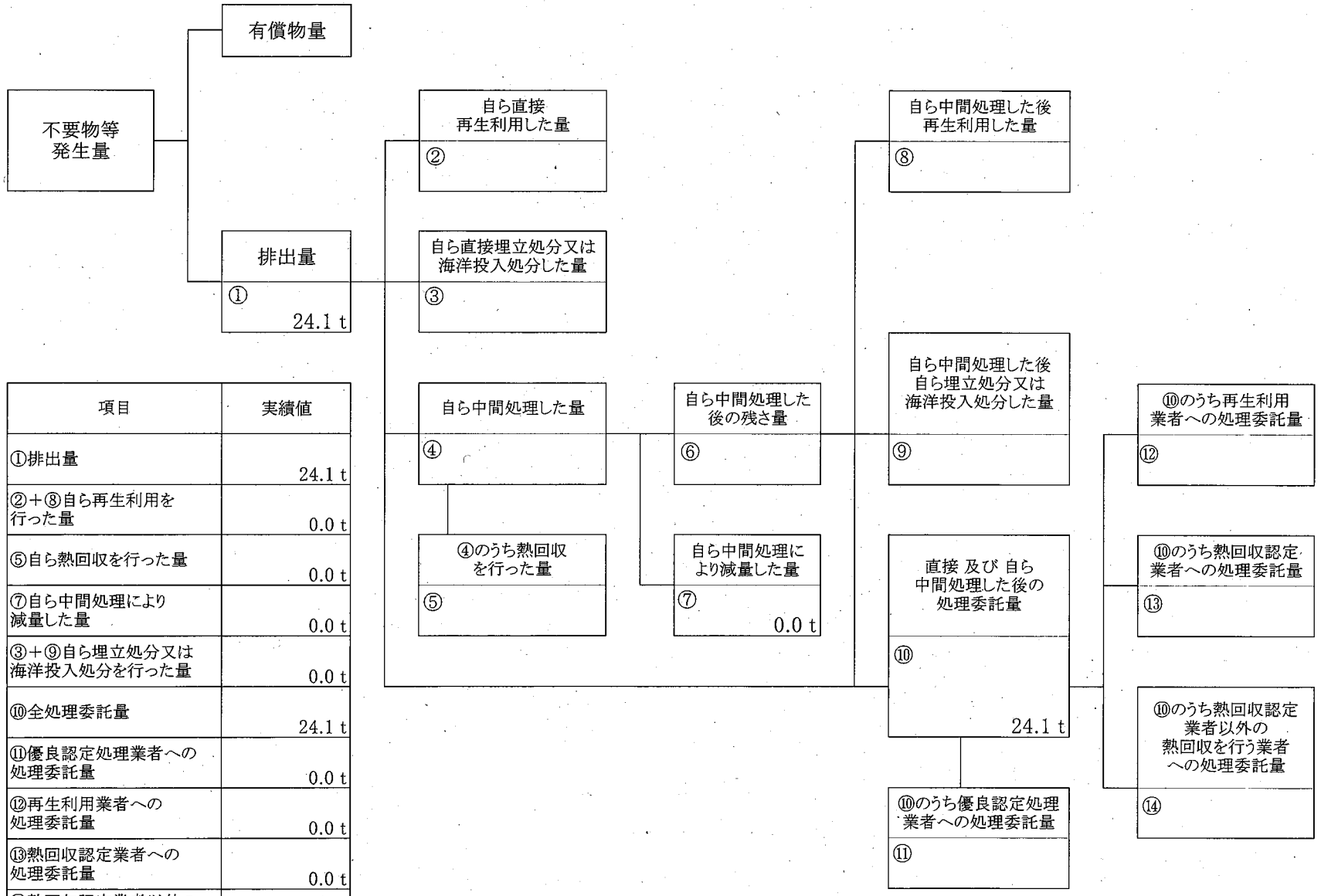
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1159.0 t	全処理委託量	1159.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

日本工業規格　A列4番）

君津地域振興事務所
-6.6.28
収受

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　廃プラスチック類　　）

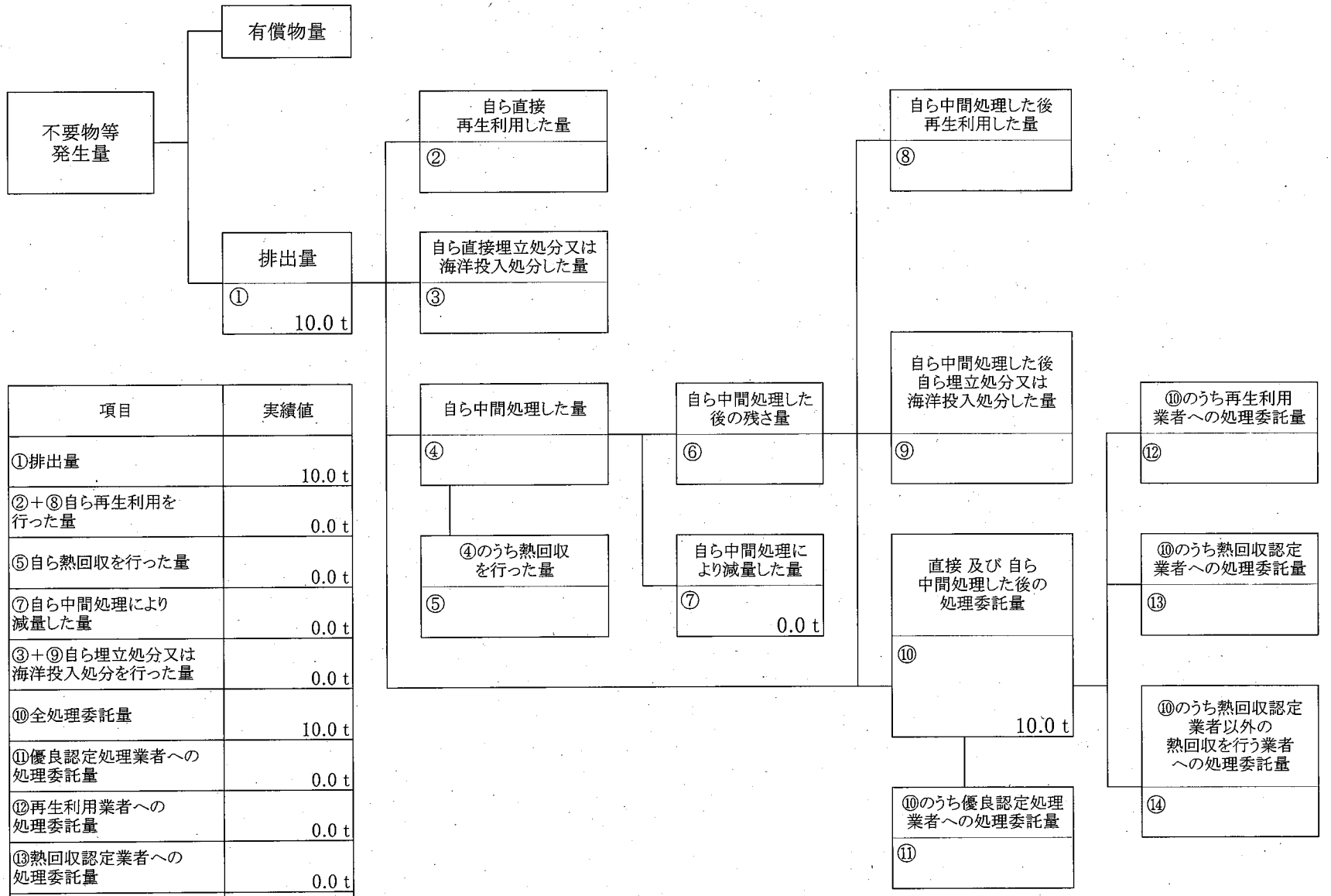


項目	実績値
①排出量	24.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	24.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　木くず　　）

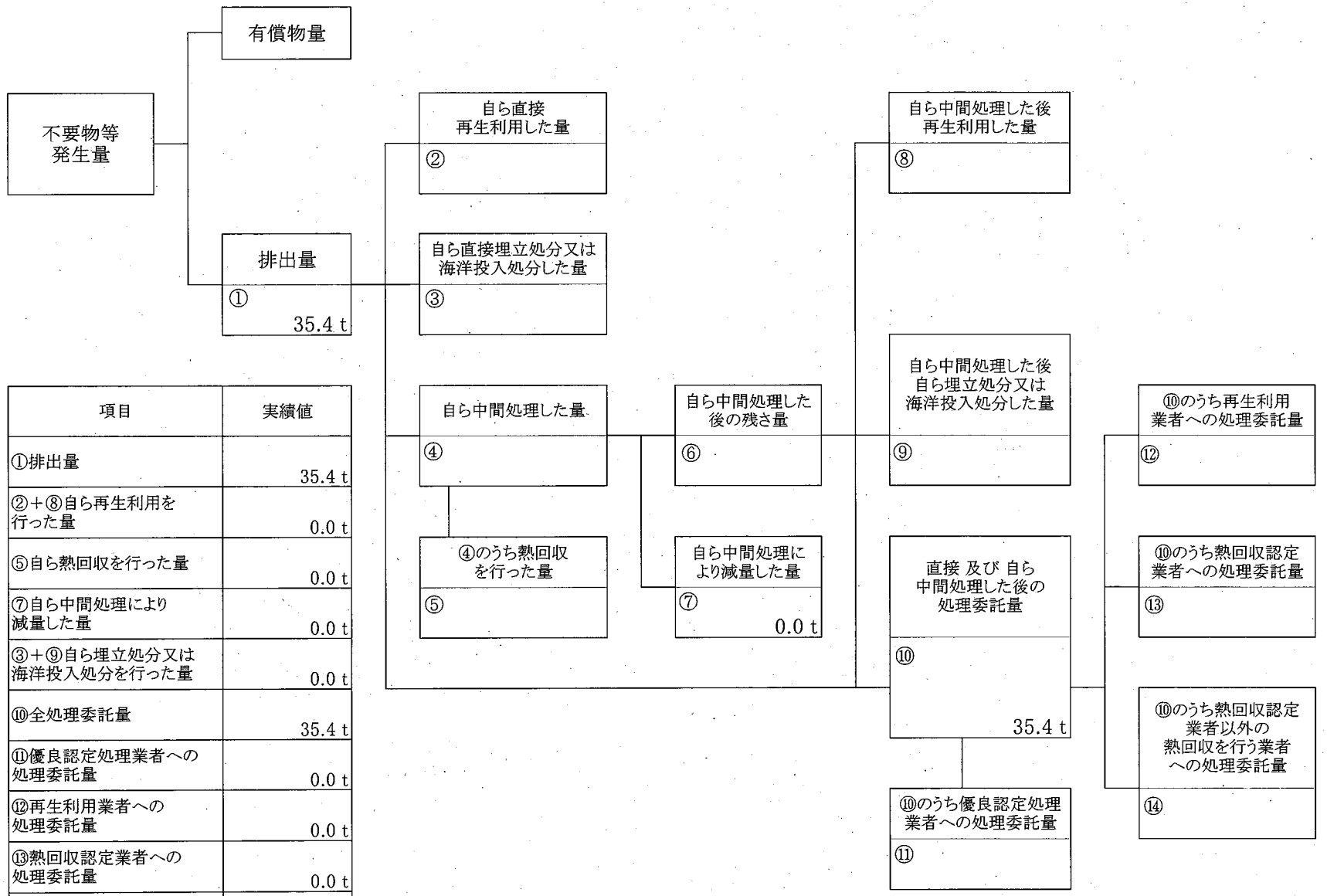


項目	実績値
①排出量	10.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	10.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　管理型混合廃棄物　　）

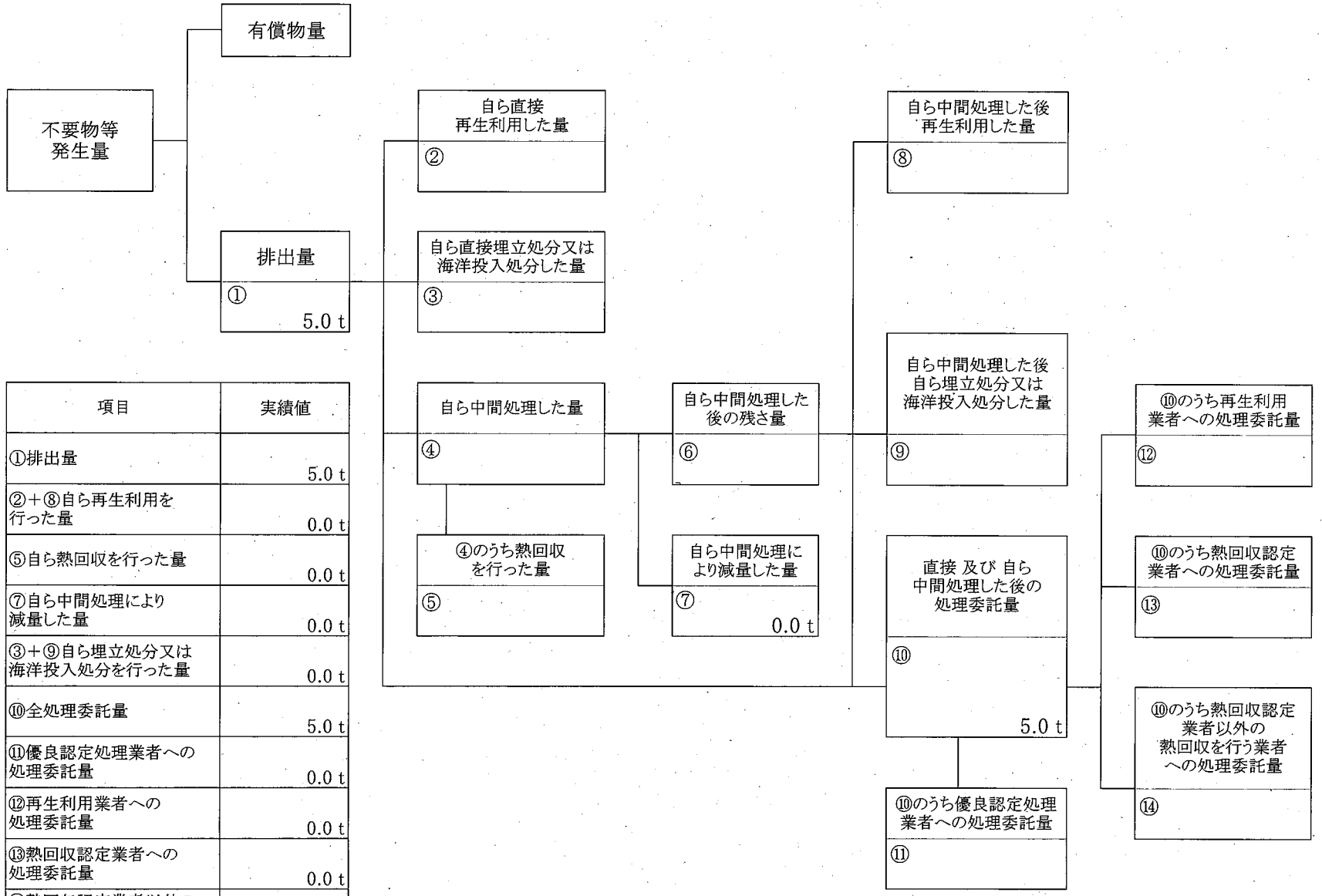


項目	実績値
①排出量	35.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	35.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　コンクリートがら　　）

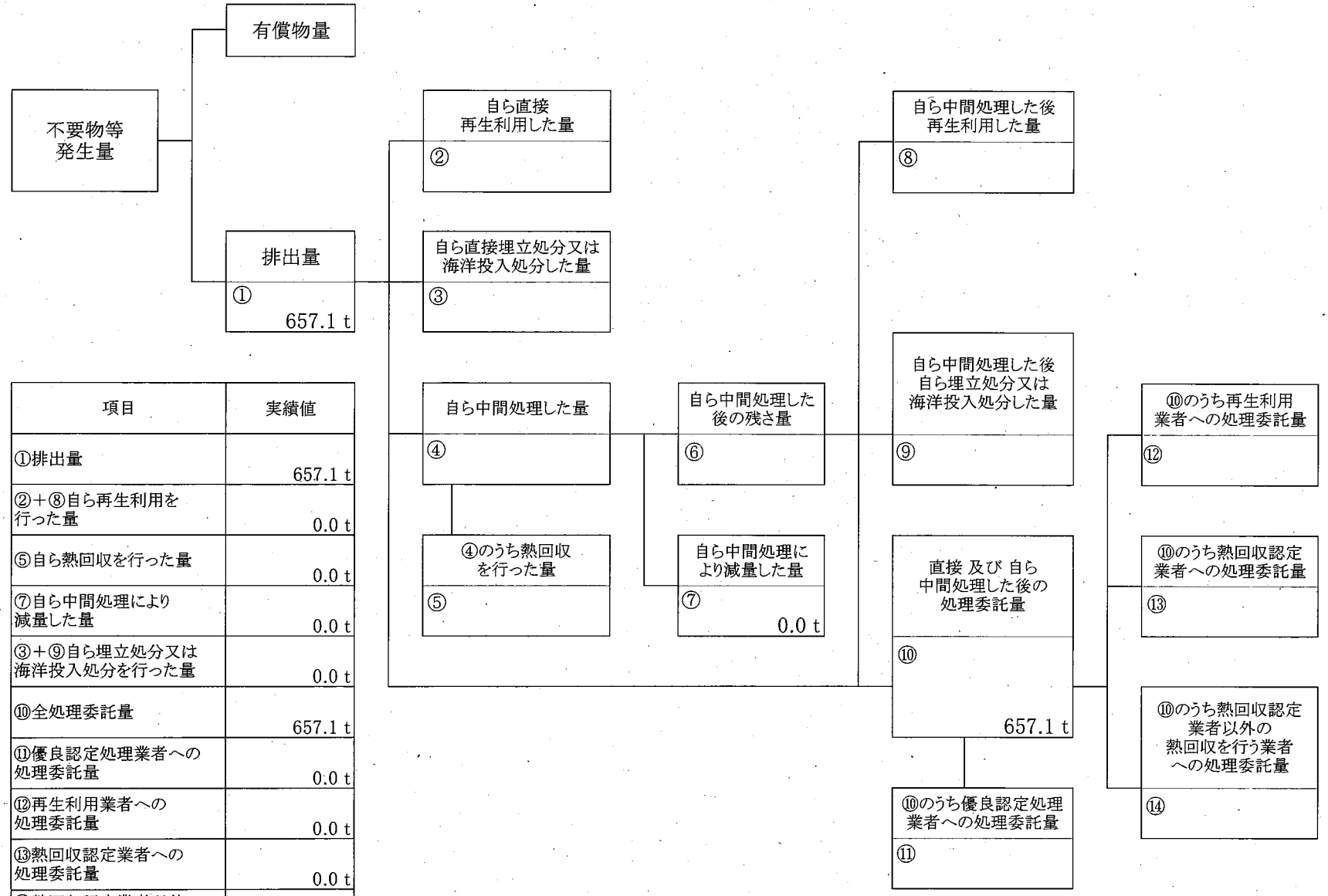


項目	実績値
①排出量	5.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）



項目	実績値
①排出量	657.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	657.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月28日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　299-4114

住　所　千葉県茂原市本納3210-1

法人名　TOTOハイリビング株式会社　代表取締役社長

代表者　三石 聡

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0475-34-3555

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	TOTOハイリビング株式会社　茂原工場
事業場の所在地	千葉県茂原市本納3210-1
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　製造業　　中分類：　　家具・装備品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　　10,058,387,268円
③従業員数	617人（社員：287人　グループ会社社員：22人　派遣社員：90人　請負
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

「別紙（管理体制）」

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラ
排出量	2489.6 t	75.7 t

（これまでに実施した取組）

・製造工程を見直し、製造量あたりの廃棄物排出量を削減している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラ
排出量	2557.7 t	78.8 t

（今後実施する予定の取組）

・製造工程の見直しを継続するとともに、製造量に併せて製造ラインの効率的な運用を図り、廃棄物の排出抑制を行う。
・再生事業者の開拓を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・木くず：廃材を「マテリアルリサイクル」と「サーマルリサイクル」向けに分別している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・木くず：廃材を継続して分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラ
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

・自社で再生利用した産業廃棄物はありません。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

・予定はありません。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラ
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

・H24年2月に焼却炉を廃止。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

・予定はありません。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

・これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

・引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		木くず	廃プラ
全処理委託量		2489.6 t	75.7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1177.3 t	42 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2489.6 t	75.7 t

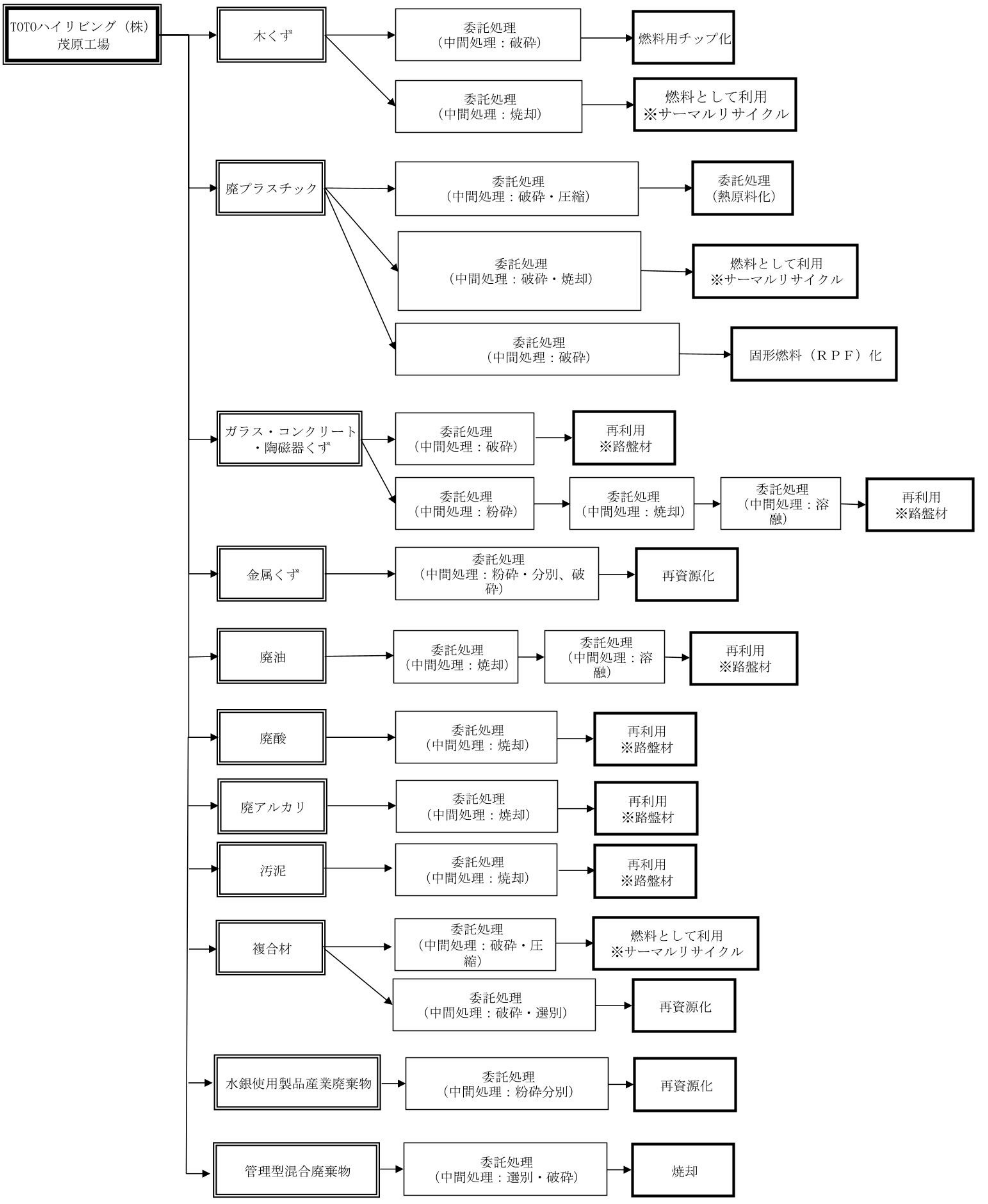
（これまでに実施した取組）

・ガラス・コンクリート・ガラス陶磁器くず、金属くずについては、再生利用業者へ処理を委託している。
・2015年度から優良認定処理業者へ処理委託をしている。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>廃プラ</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>2557.7 t</td><td>78.8 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>1992.9 t</td><td>43.7 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>2557.7 t</td><td>78.8 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・継続して再生利用業者へ処理委託をする。
・継続して優良認定処理業者へ処理委託をする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

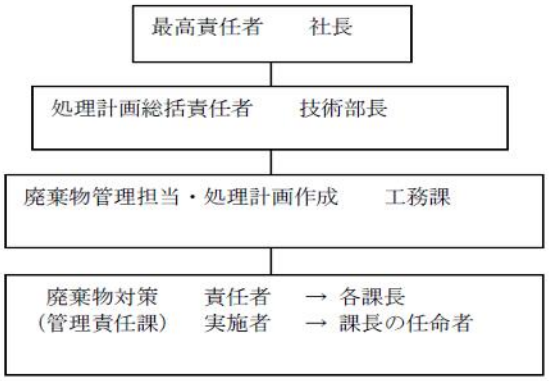
備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書　　別紙1



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物処理計画書　別紙2

作成：2024.6.28

産業廃棄物の種類			ガラス・コンクリート・陶磁器くず		金属くず		廃油		廃酸		廃アルカリ		汚泥		複合材		水銀使用製品産業廃棄物		管理型混合廃棄物		合計	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	①現状	排出量	17.3	t	0.1	t	0.5	t	0.1	t	0.2	t	2.7	t	101.4	t	0.2	t	1.0	t	2,688.7	t
	②計画	排出量	17.3	t	0.1	t	0.5	t	0.1	t	0.2	t	2.7	t	105.6	t	0.2	t	1.0	t	2,764.0	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t
	②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t
	②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t
	②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	①現状	全処理委託量	17.3	t	0.1	t	0.5	t	0.1	t	0.2	t	2.7	t	101.4	t	0.2	t	1.0	t	2,688.7	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0.0	t	0.1	t	0.5	t	0.1	t	0.2	t	2.7	t	40.6	t	0.2	t	1.0	t	1,285.4	t
		再生利用業者への処理委託量	6.2	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	6.2	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	11.1	t	0.1	t	0.5	t	0.1	t	0.2	t	2.7	t	101.4	t	0.2	t	1.0	t	2,682.5	t
	②計画	全処理委託量	17.3	t	0.1	t	0.5	t	0.1	t	0.2	t	2.7	t	105.6	t	0.2	t	1.0	t	2,764.0	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0.0	t	0.1	t	0.5	t	0.1	t	0.2	t	2.7	t	42.3	t	0.2	t	1.0	t	2,105.2	t
		再生利用業者への処理委託量	6.2	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	6.2	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t	0.0	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	11.1	t	0.1	t	0.5	t	0.1	t	0.2	t	2.7	t	105.6	t	0.2	t	1.0	t	2,757.8	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月28日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　299-4114

住所 千葉県茂原市本納3210-1

法人名 TOTOハイリビング株式会社 茂原工場 代表取締役社長

代表者 三石 聡

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0475-34-3555

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	TOTOハイリビング株式会社 茂原工場
事業場の所在地	千葉県茂原市本納3210-1
事業の種類	大分類　製造業　中分類 家具・装備品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

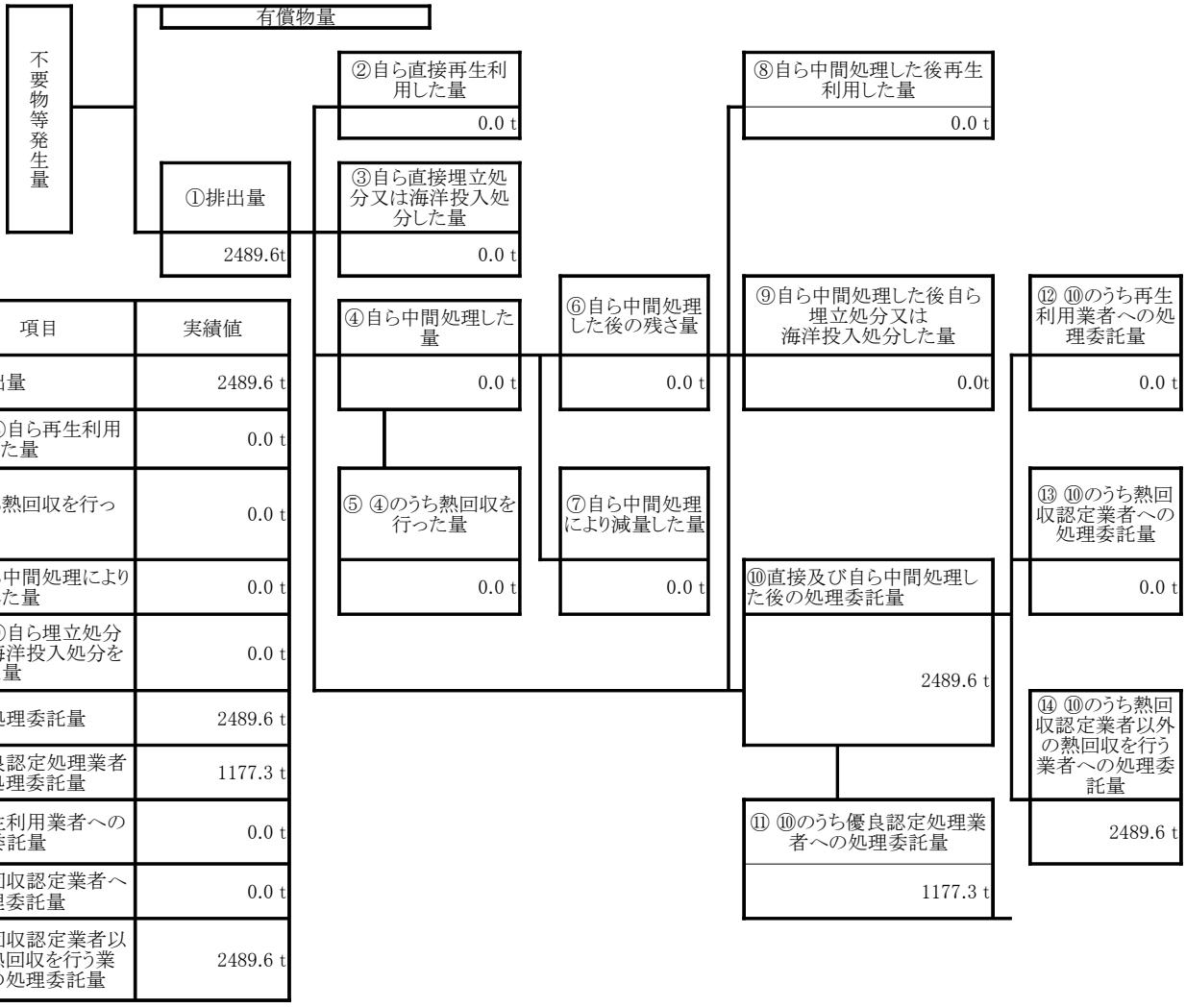
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2842 t	全処理委託量	2842 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	707.1 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2.2 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2839.8 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

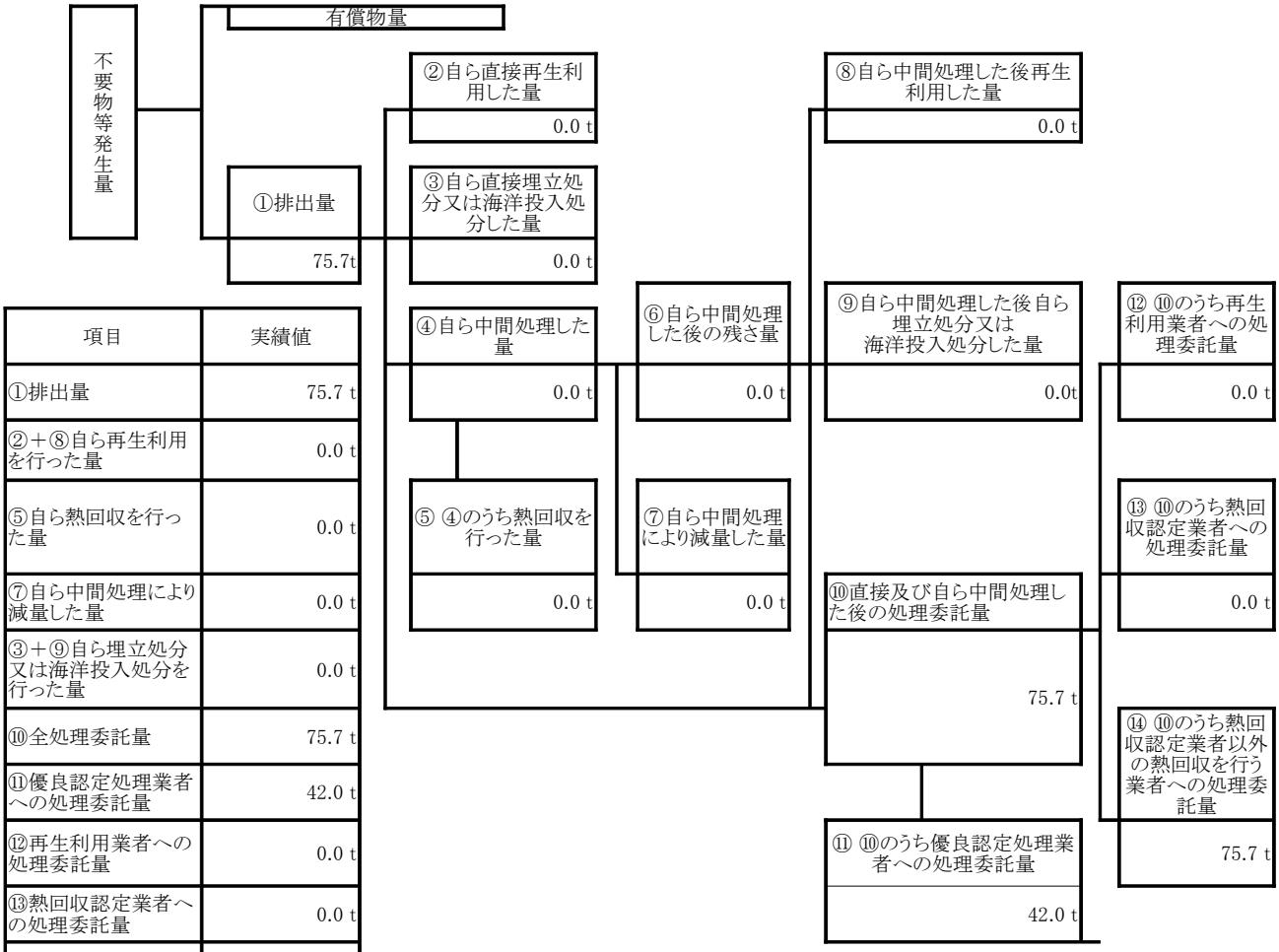


項目	実績値
①排出量	2489.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2489.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1177.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2489.6 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

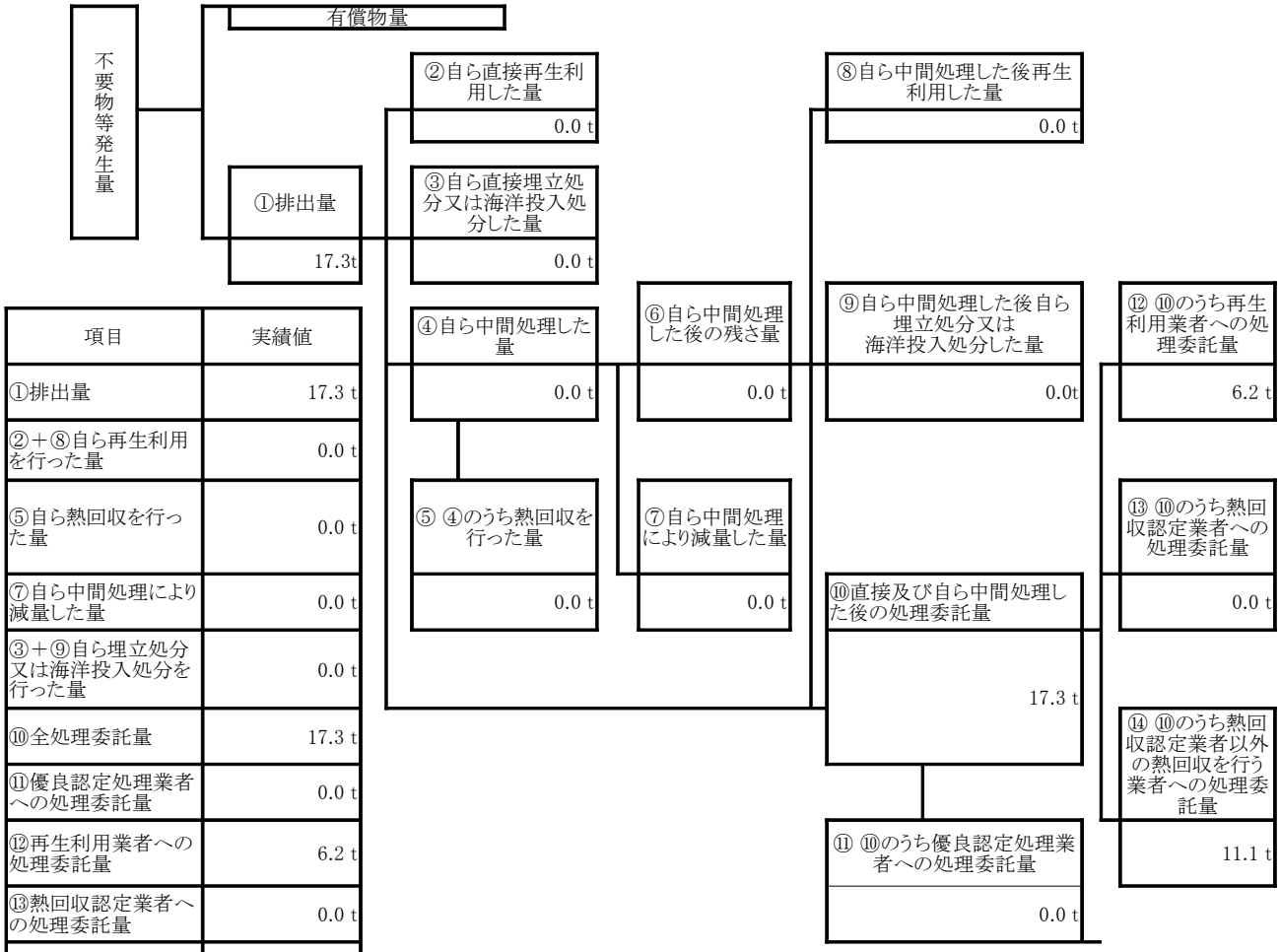


項目	実績値
①排出量	75.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	75.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	42.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	75.7 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

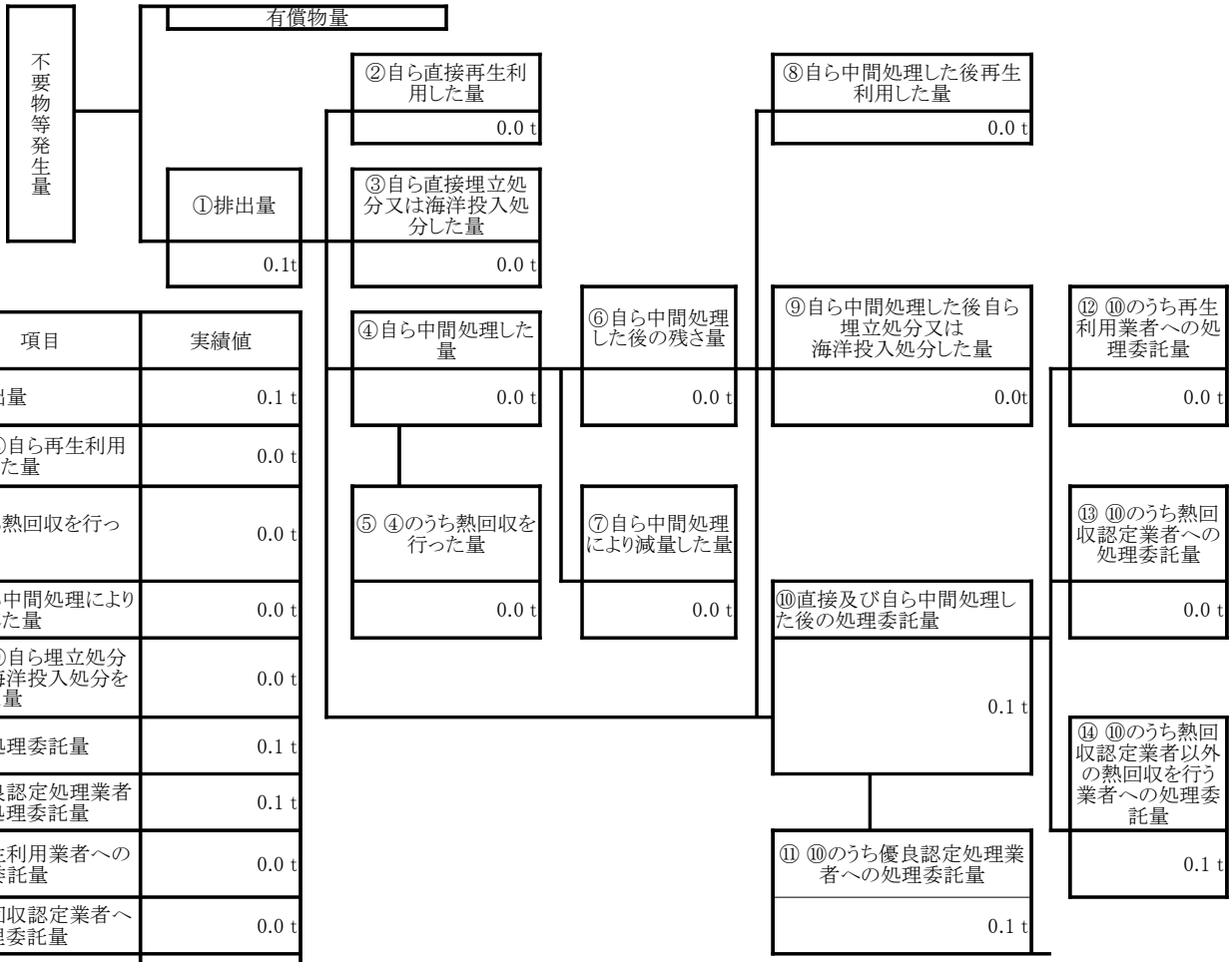


項目	実績値
①排出量	17.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	17.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	11.1 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



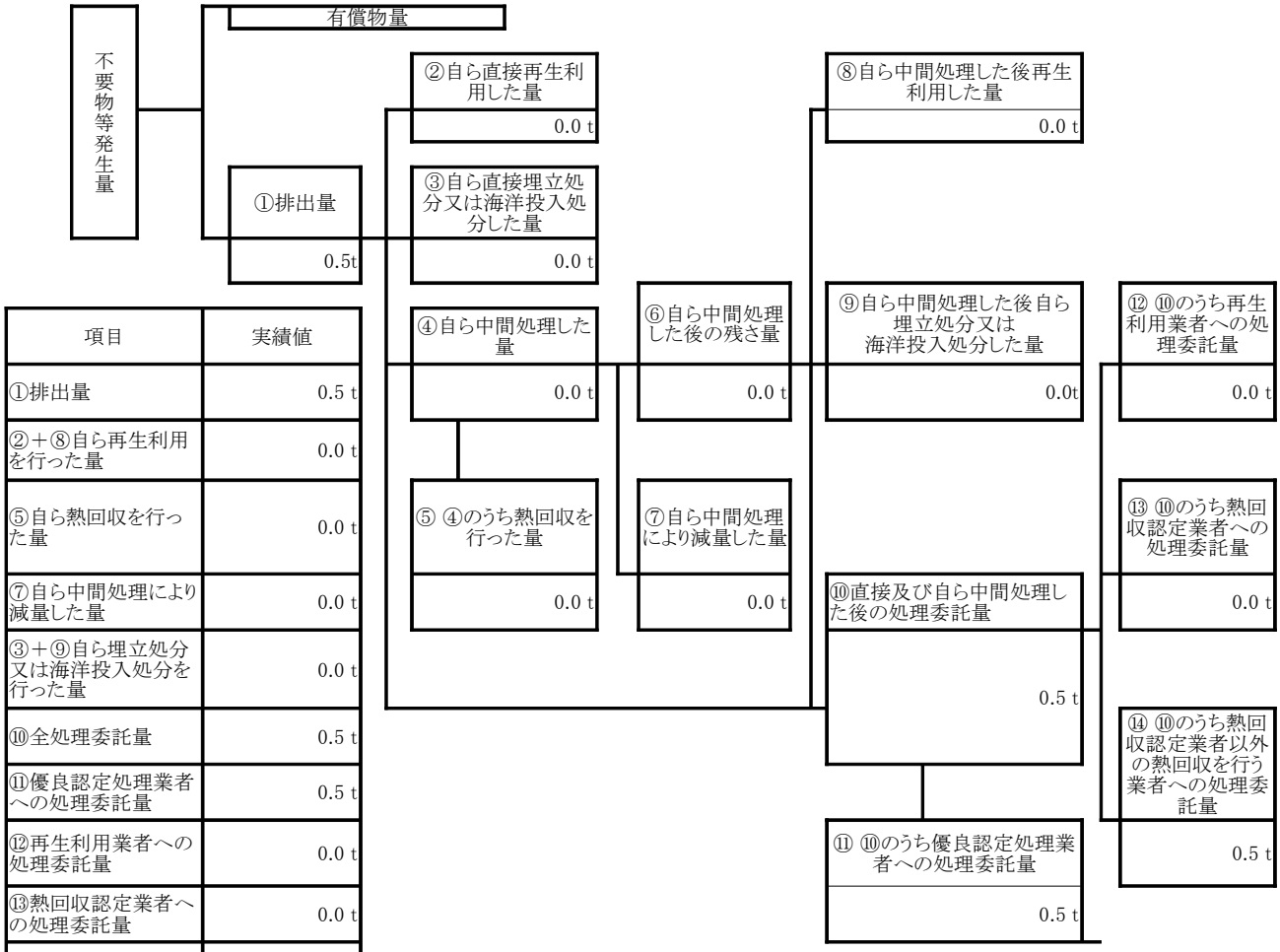
項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.1 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃油**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

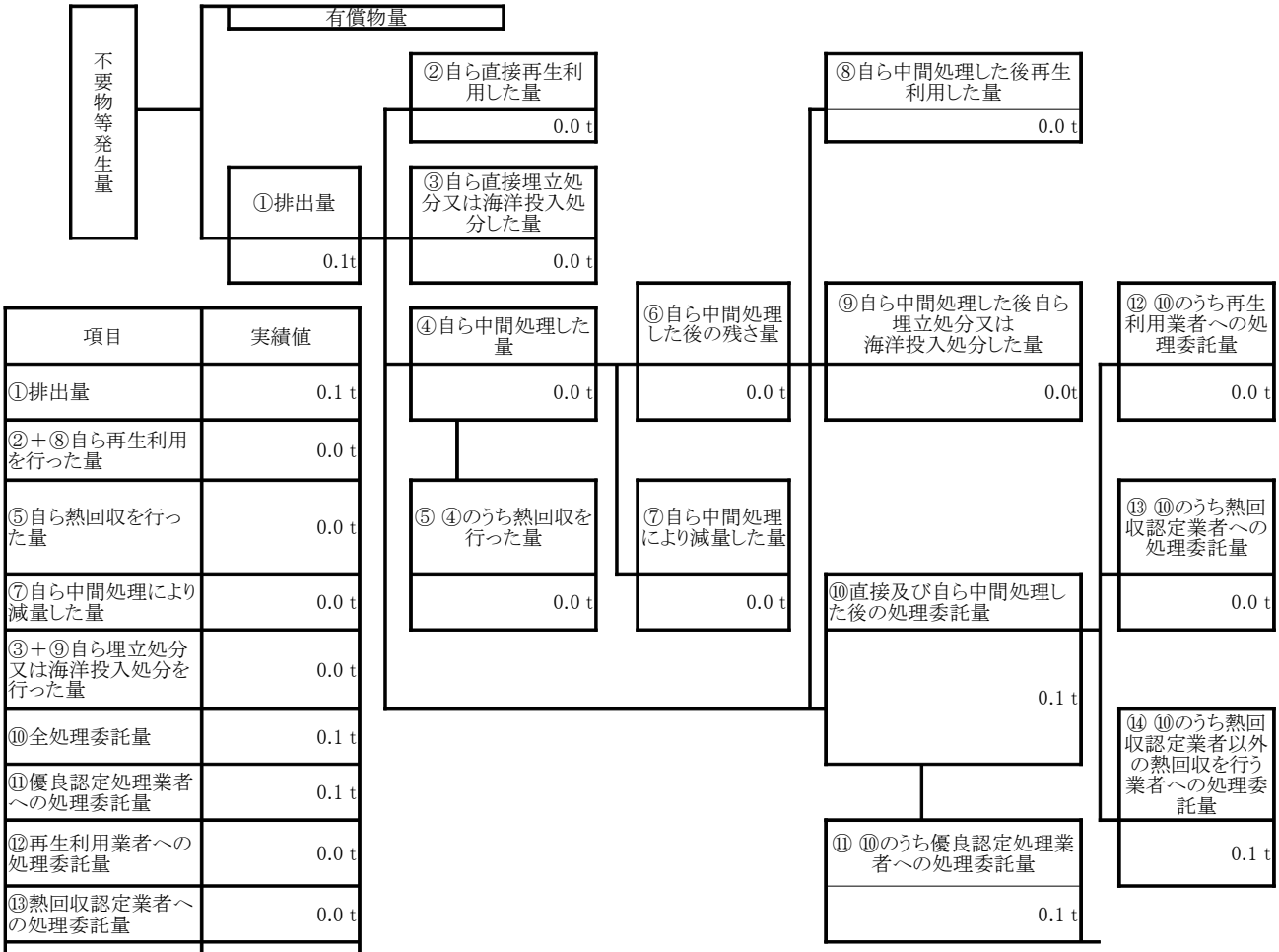


項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.5 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　廃酸　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

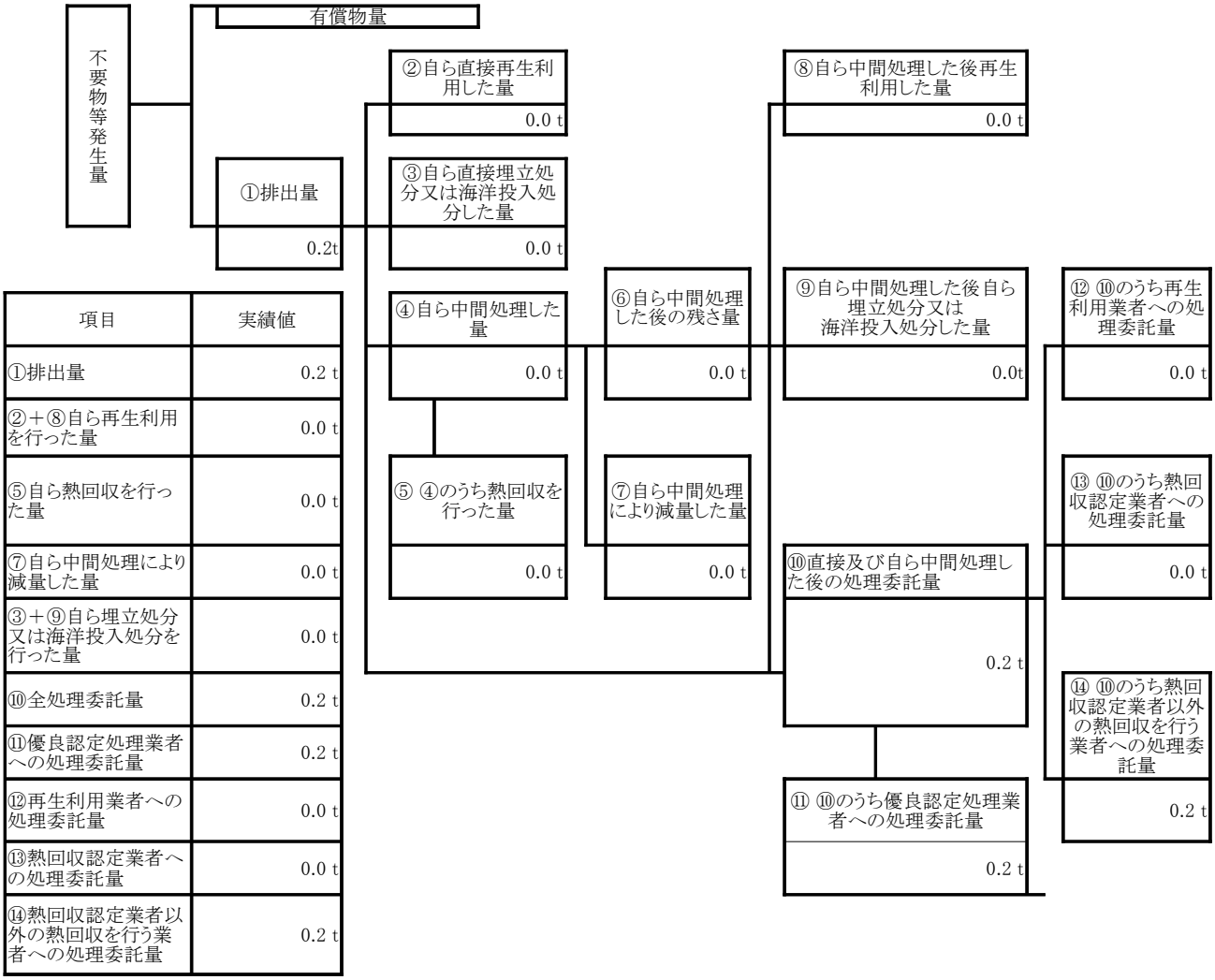


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.1 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃アルカリ**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

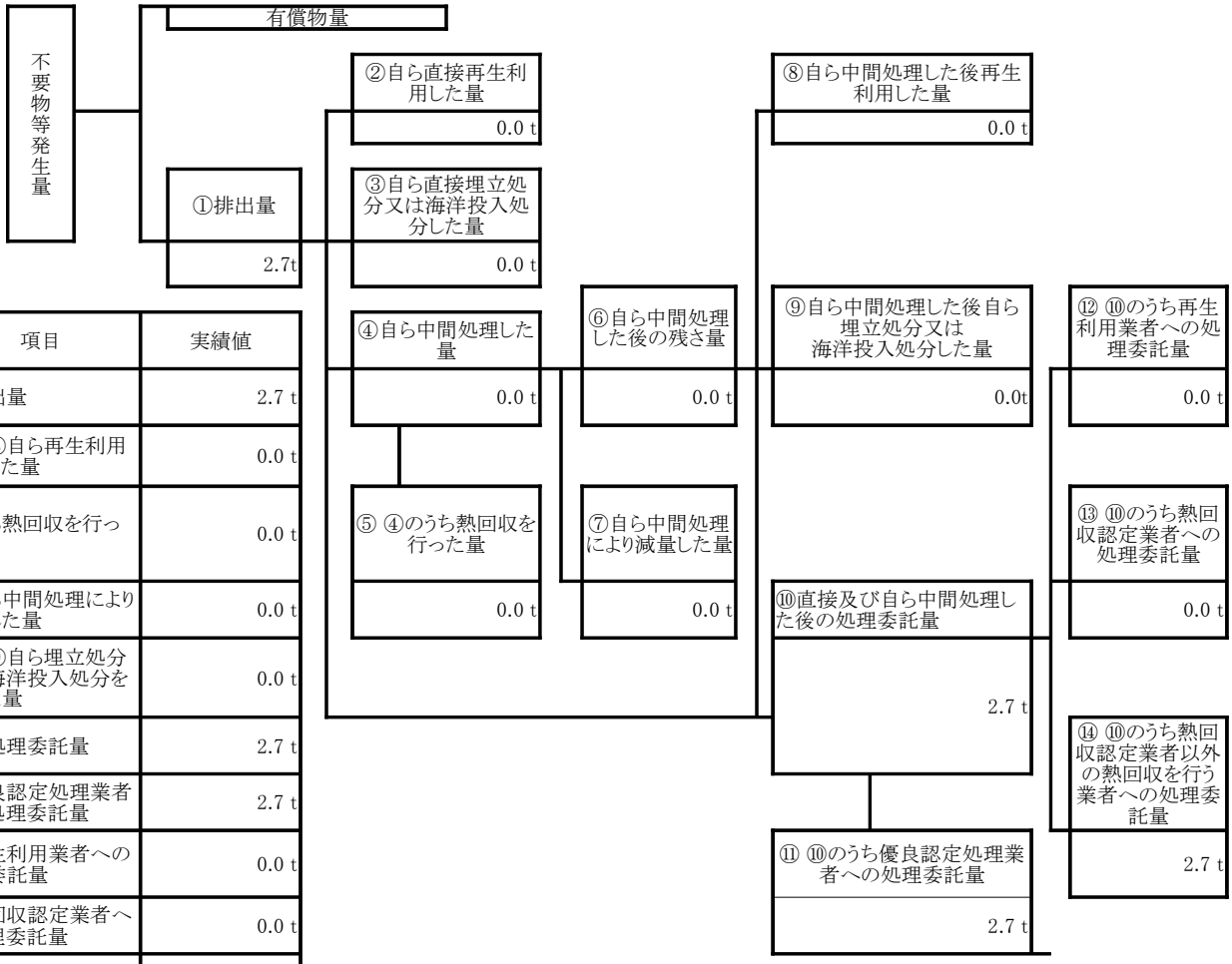


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.2 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

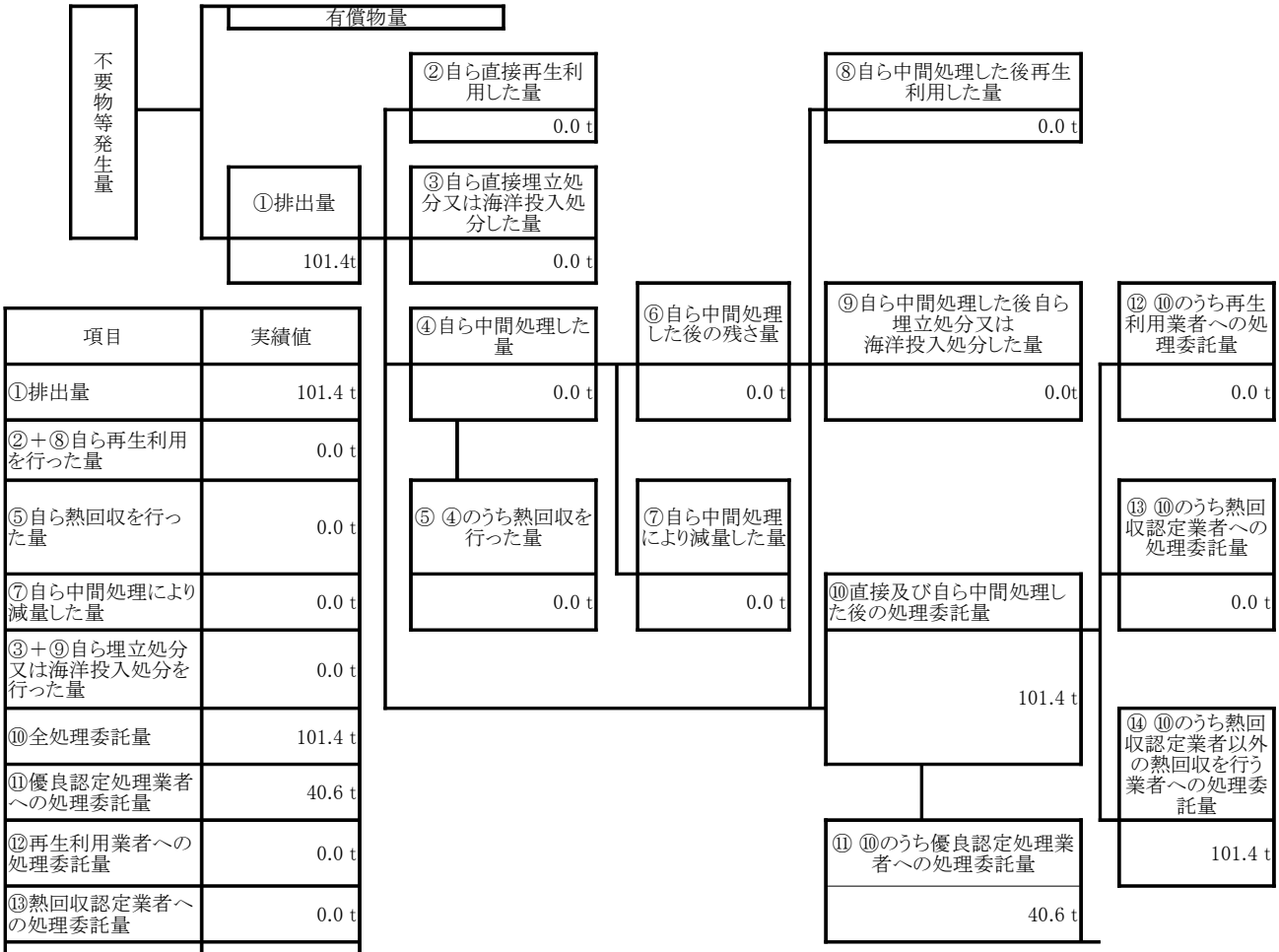


項目	実績値
①排出量	2.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.7 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**複合材**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

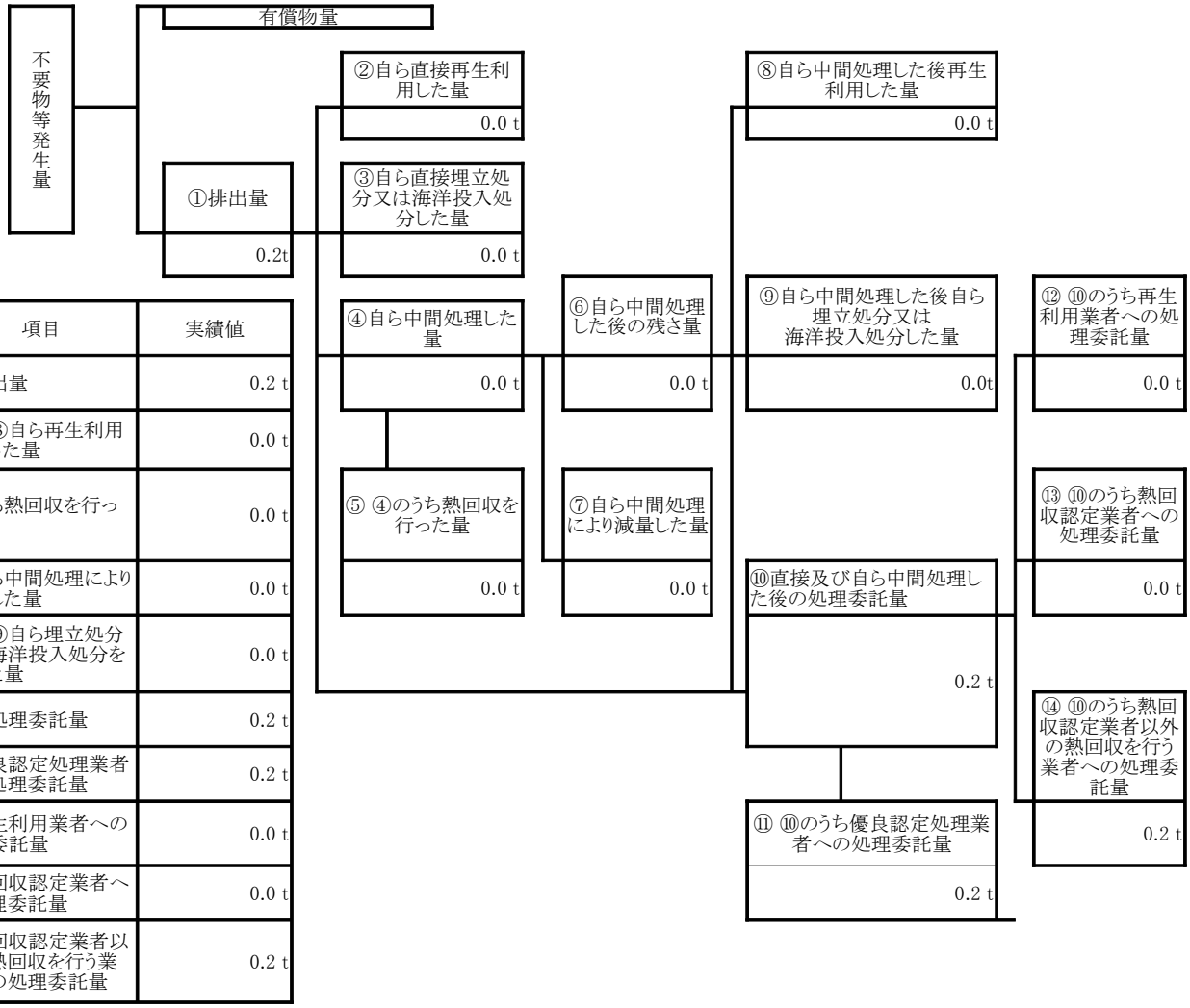


項目	実績値
①排出量	101.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	101.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	40.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	101.4 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**水銀使用製品産業廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

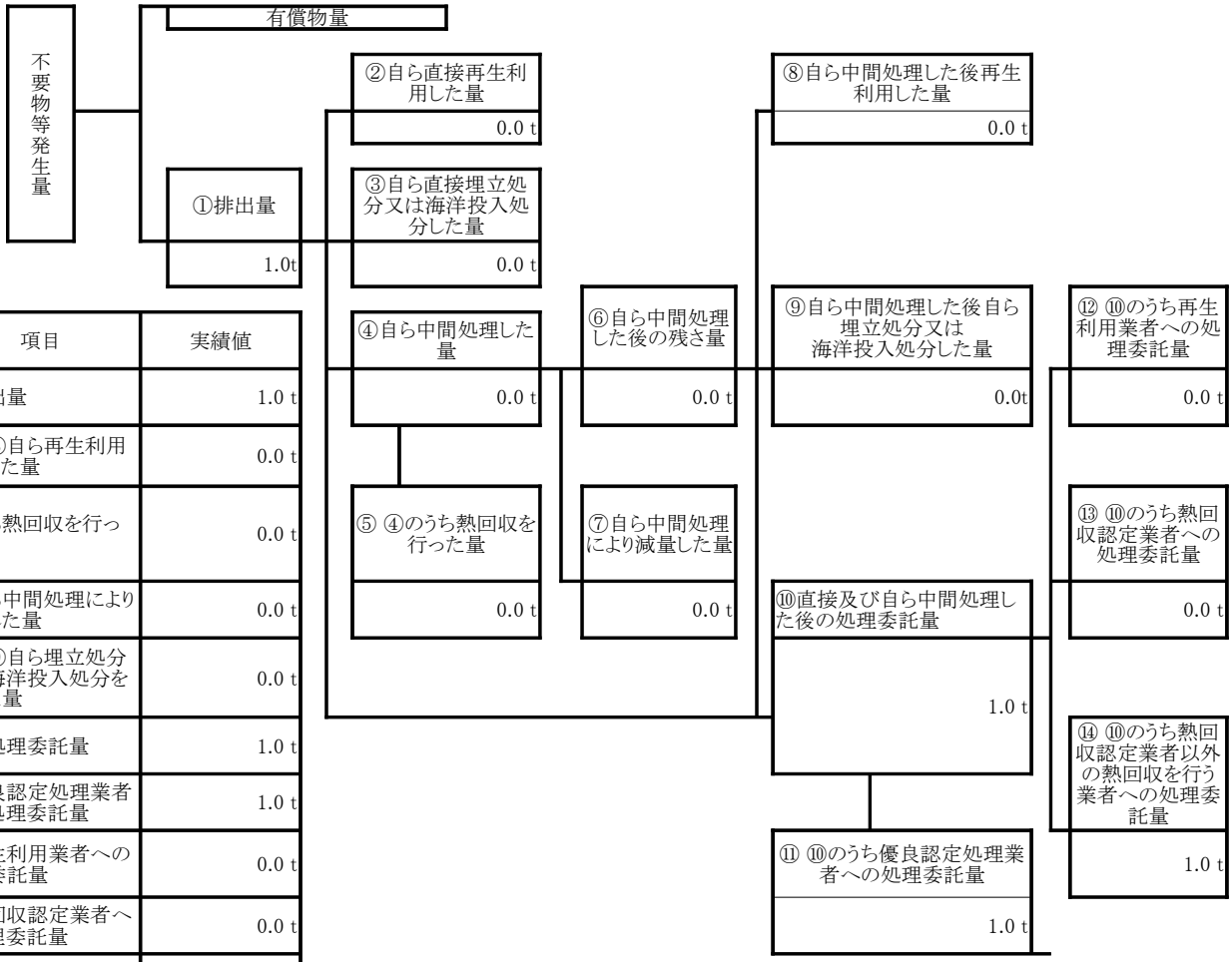


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.2 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**管理型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



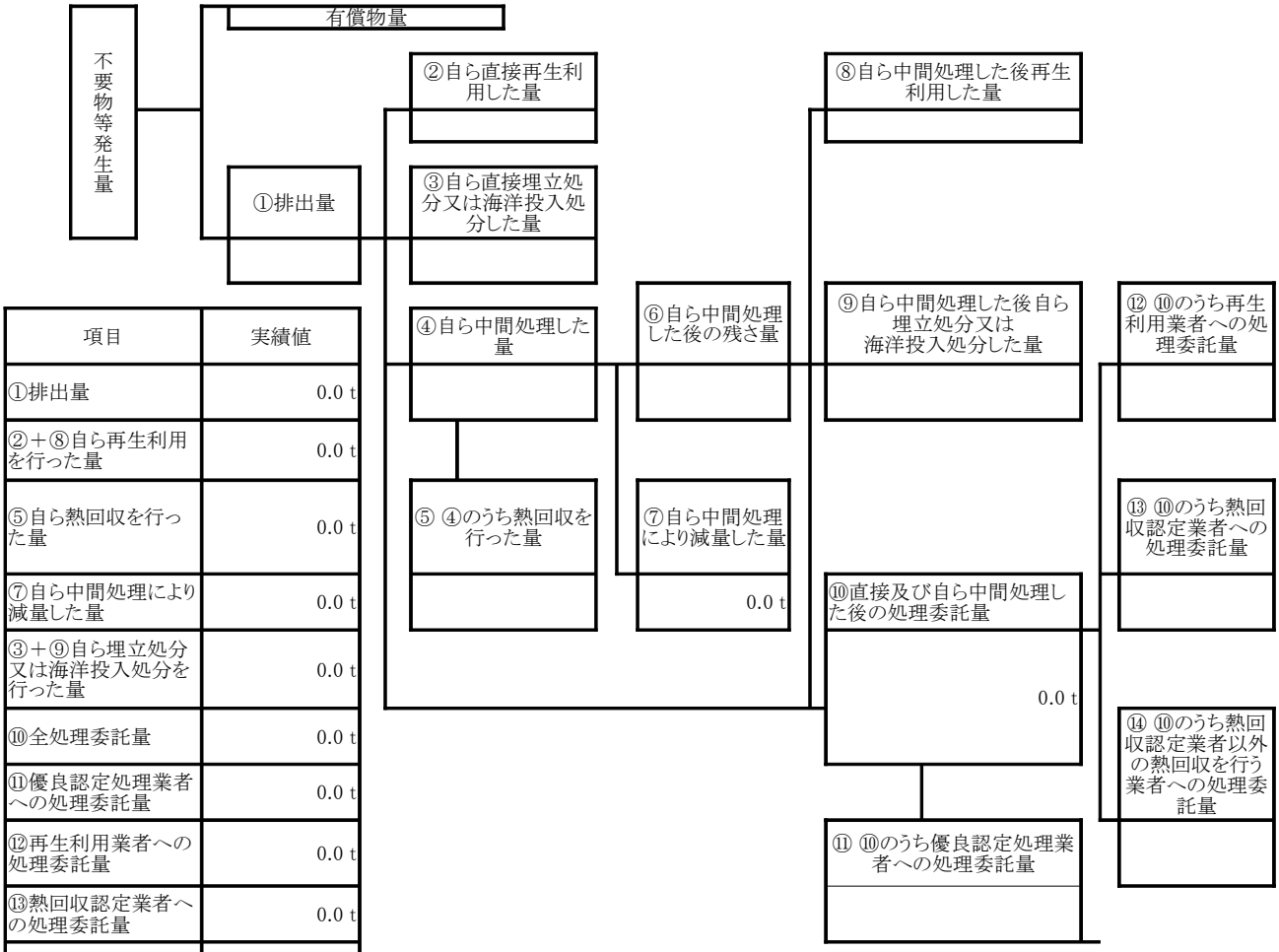
項目	実績値
①排出量	1.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



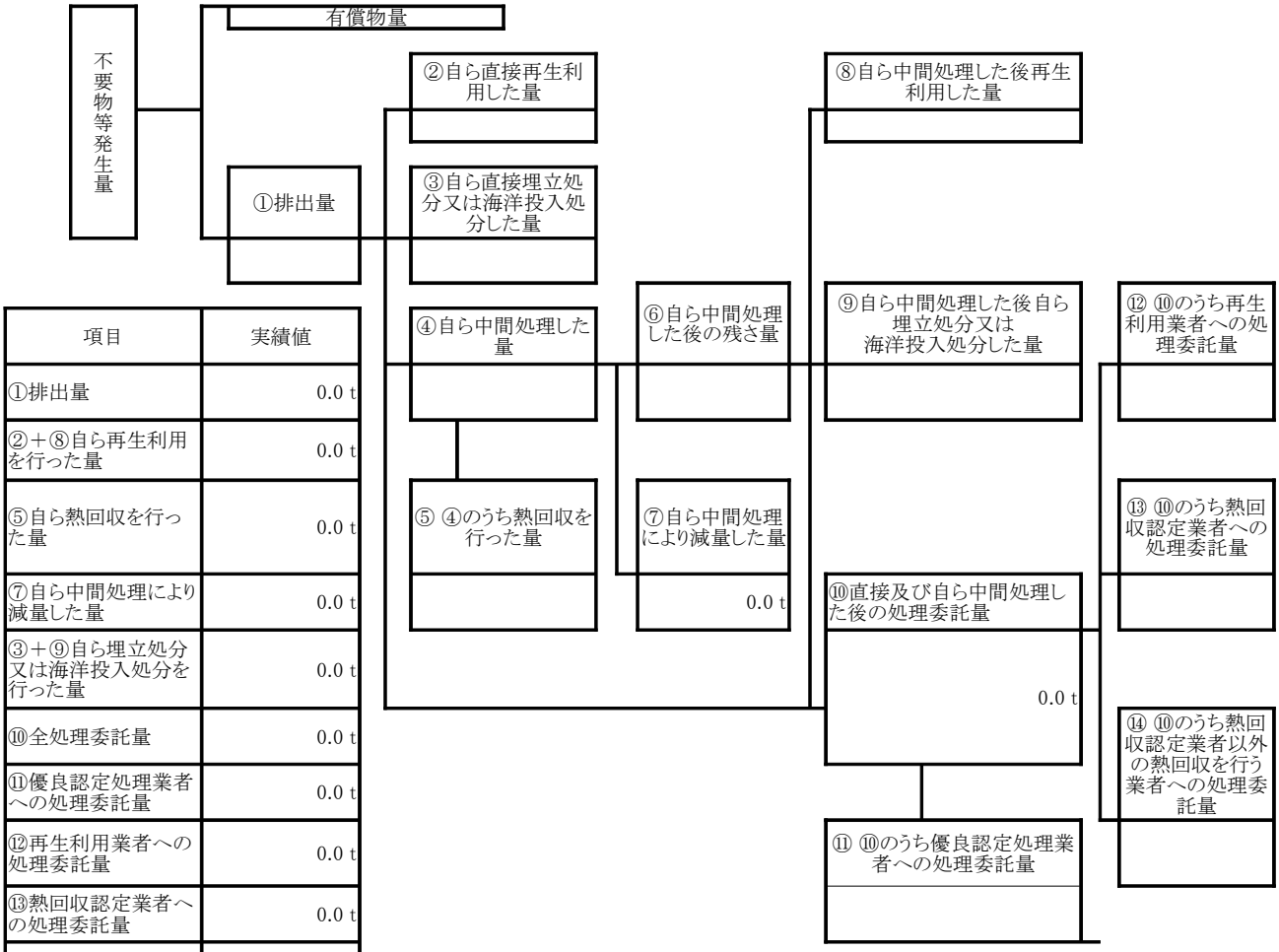
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

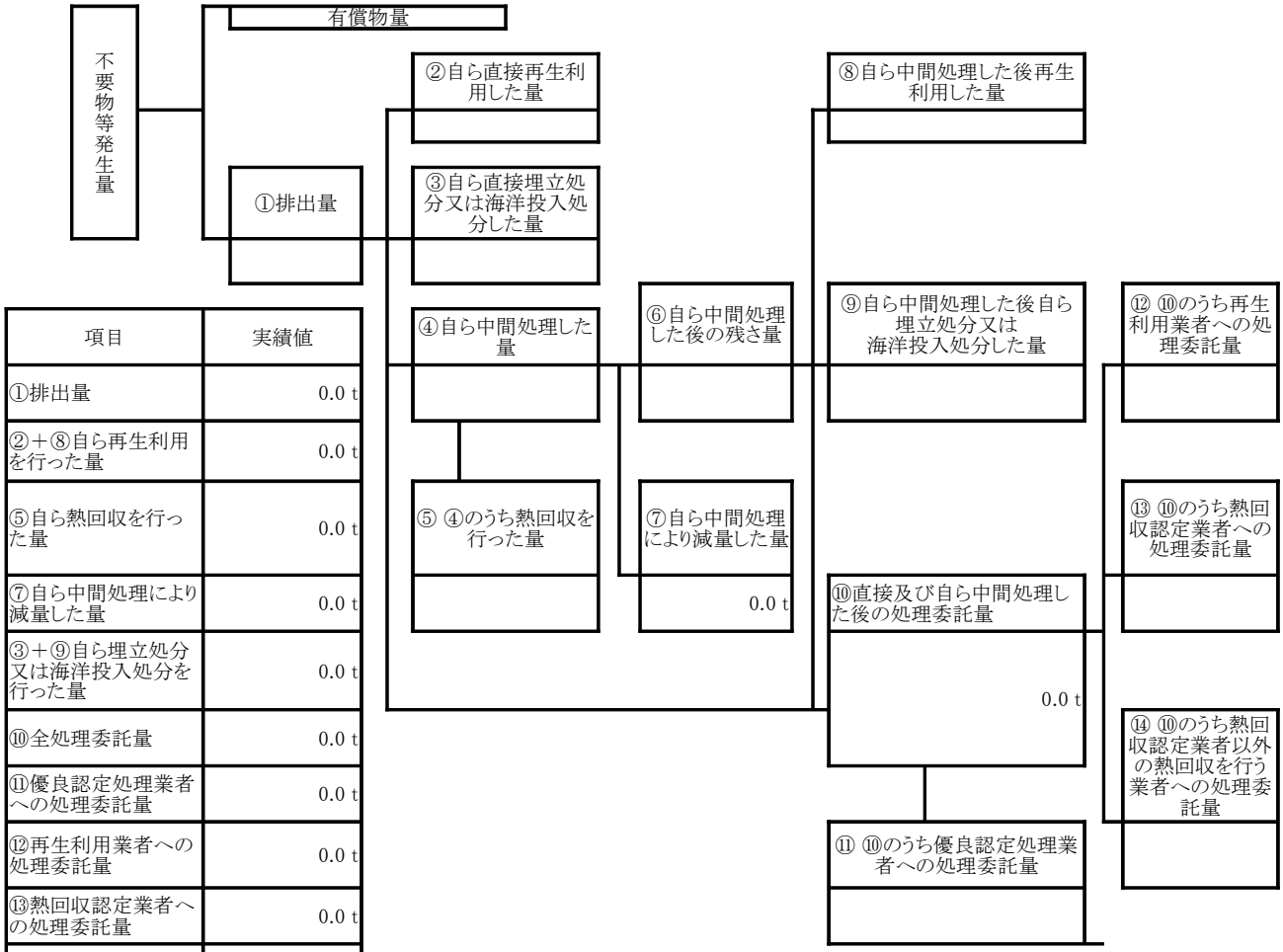


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



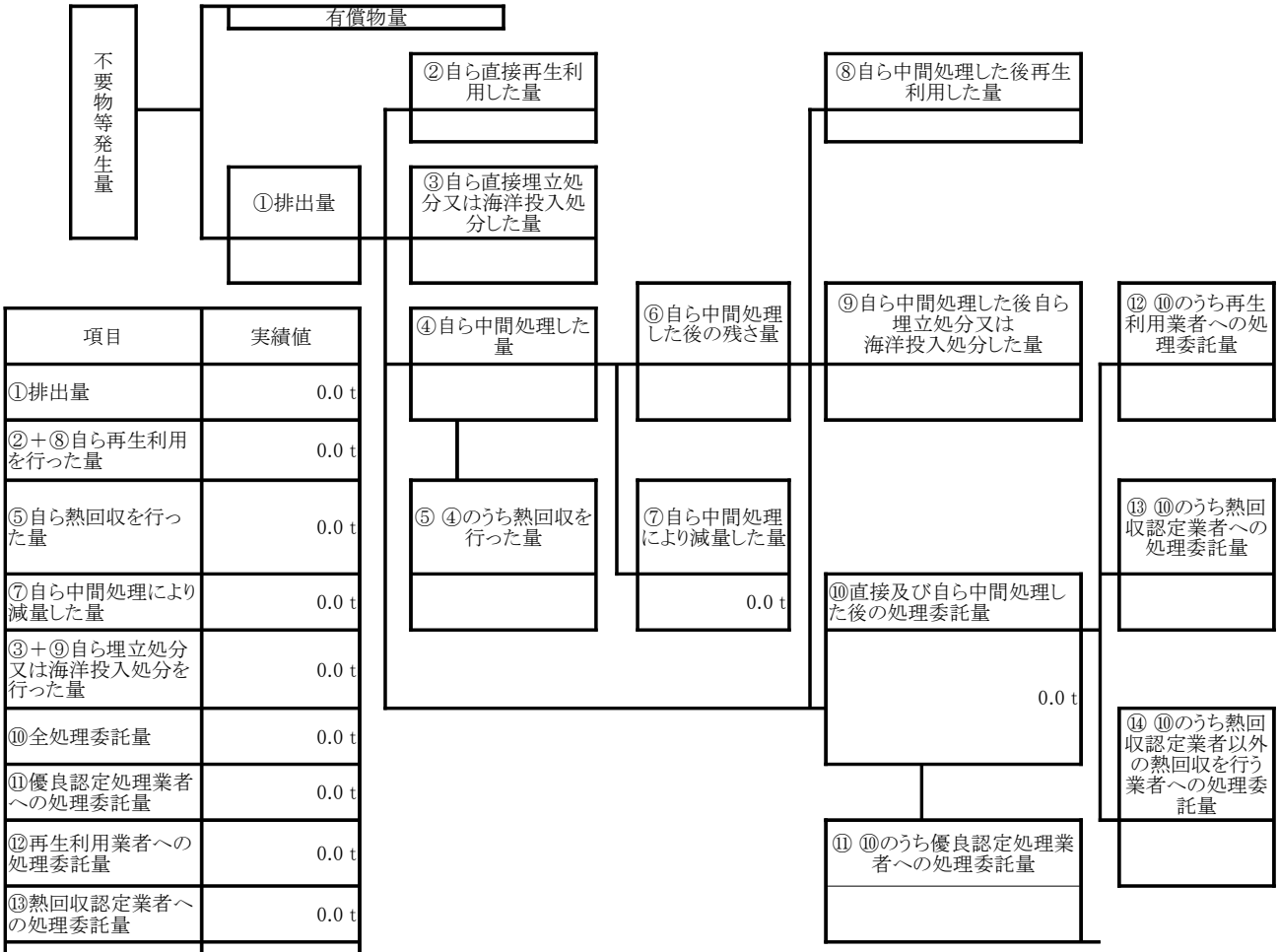
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

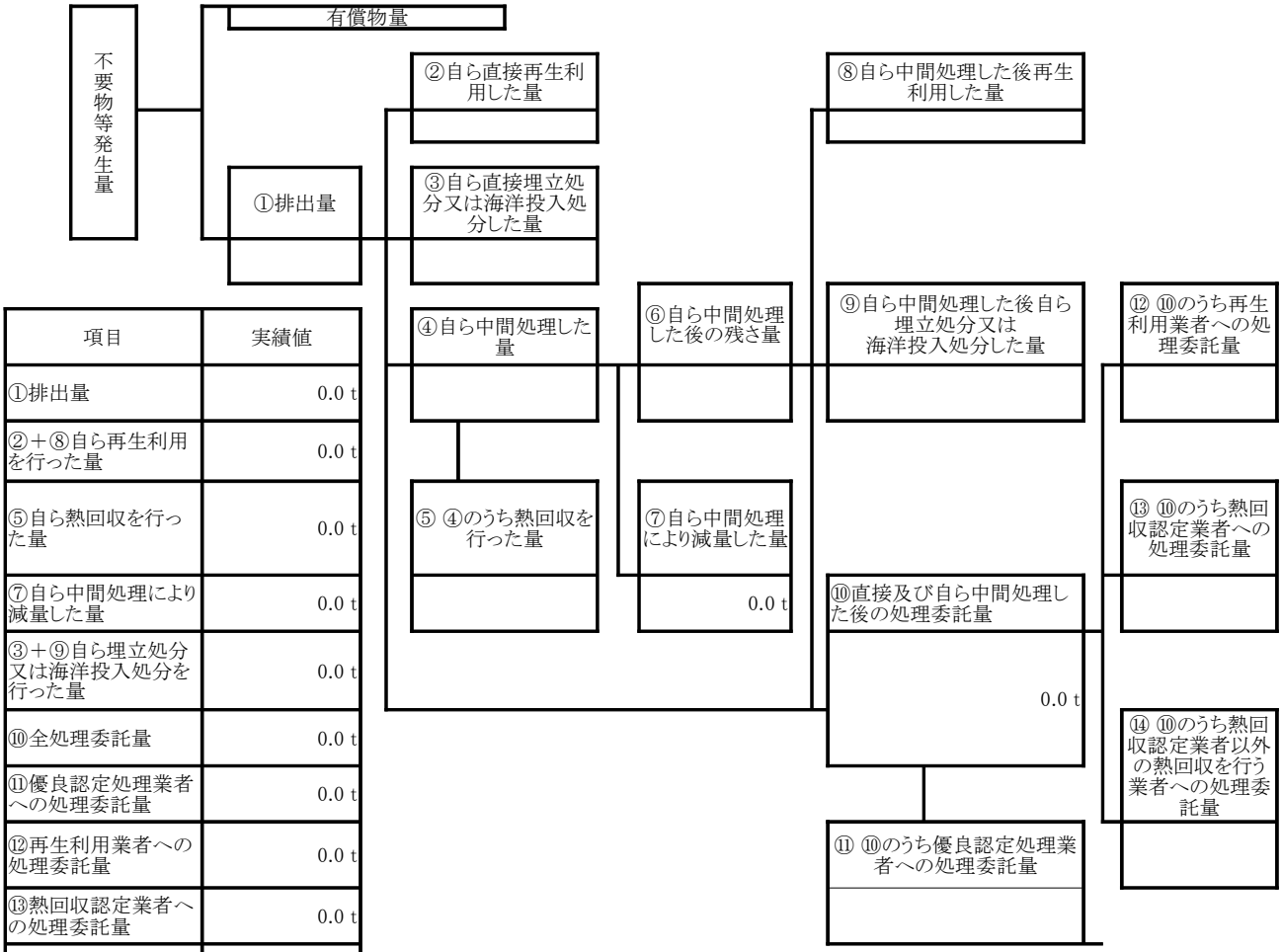


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

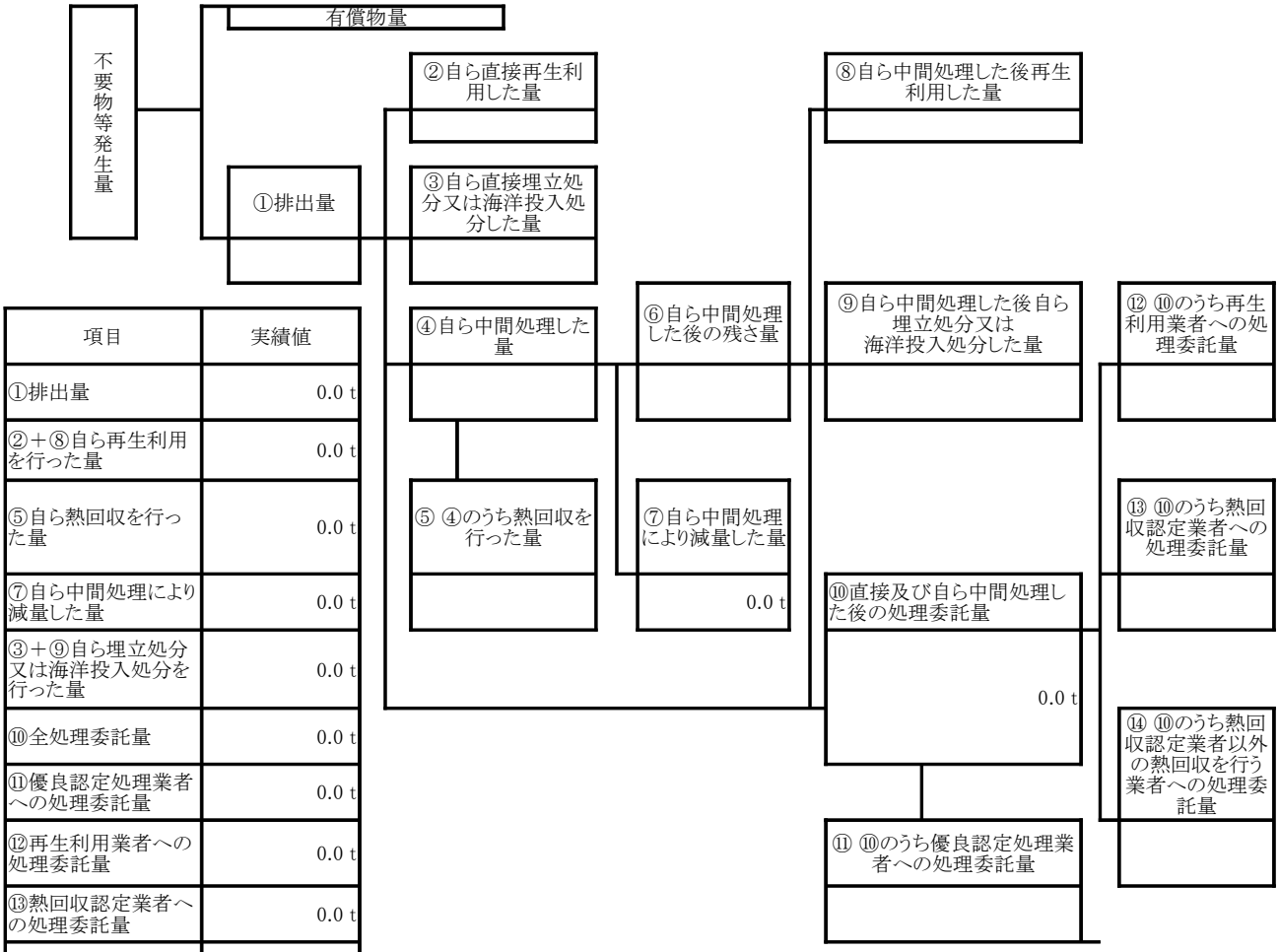


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



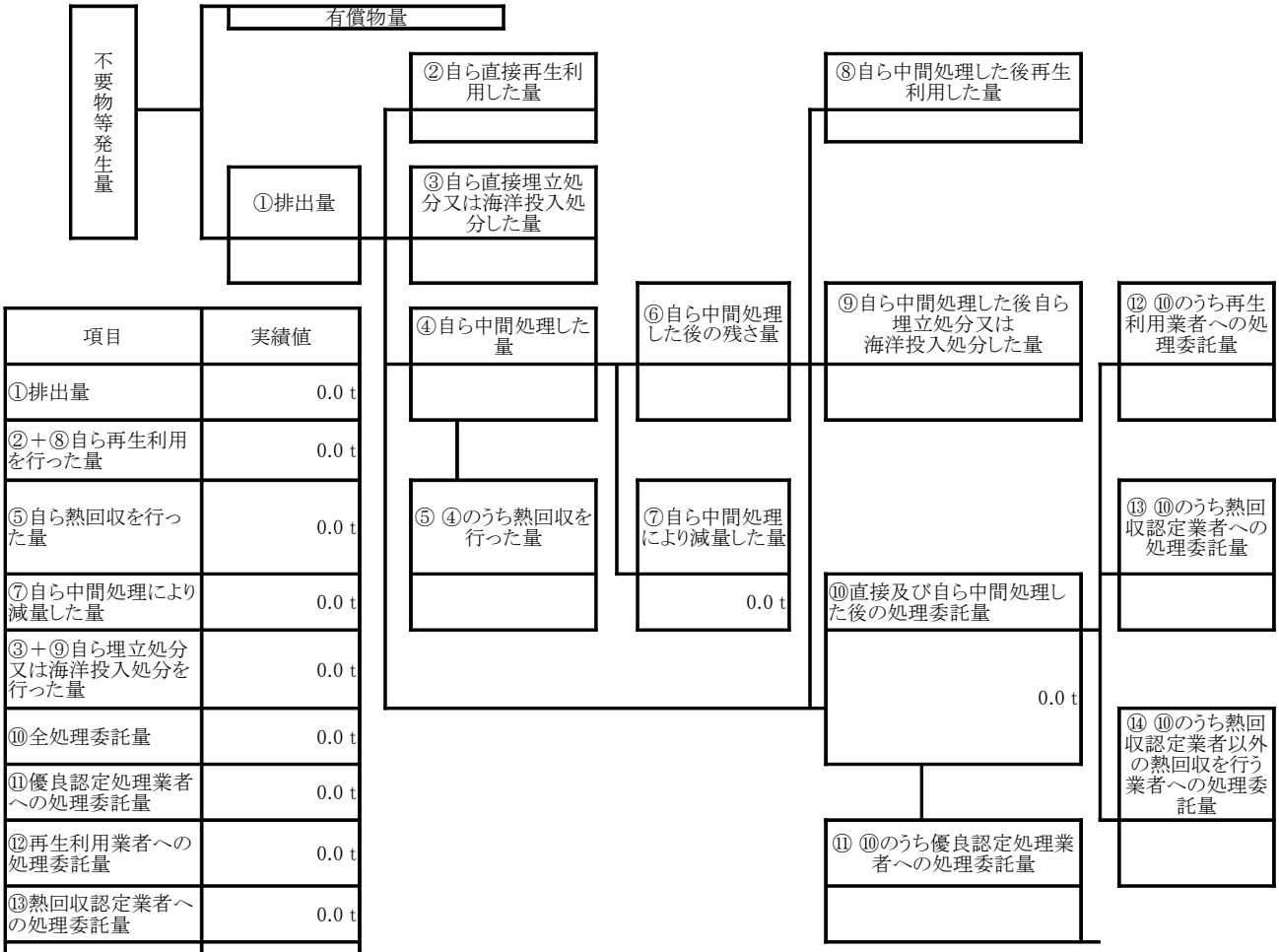
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

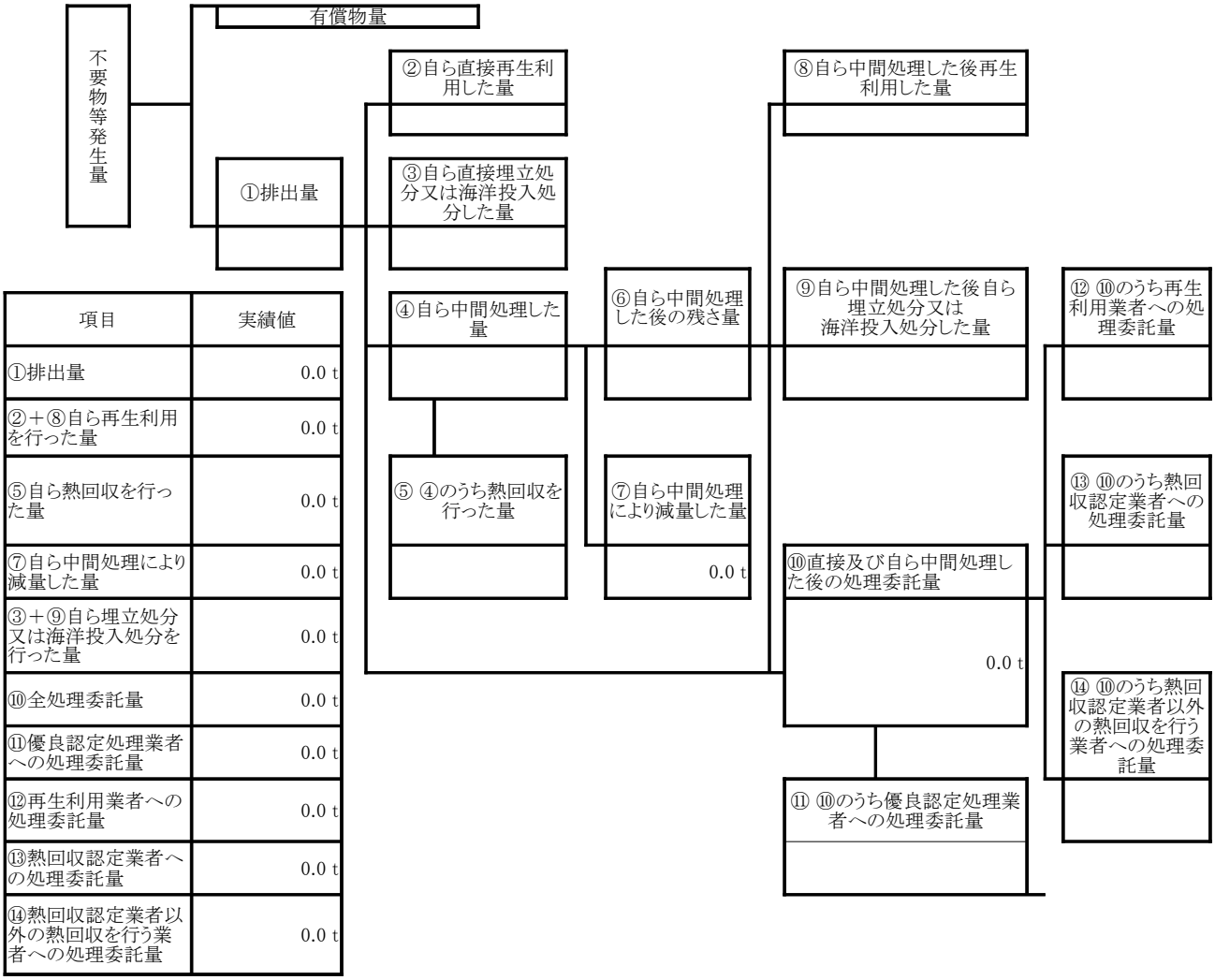


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

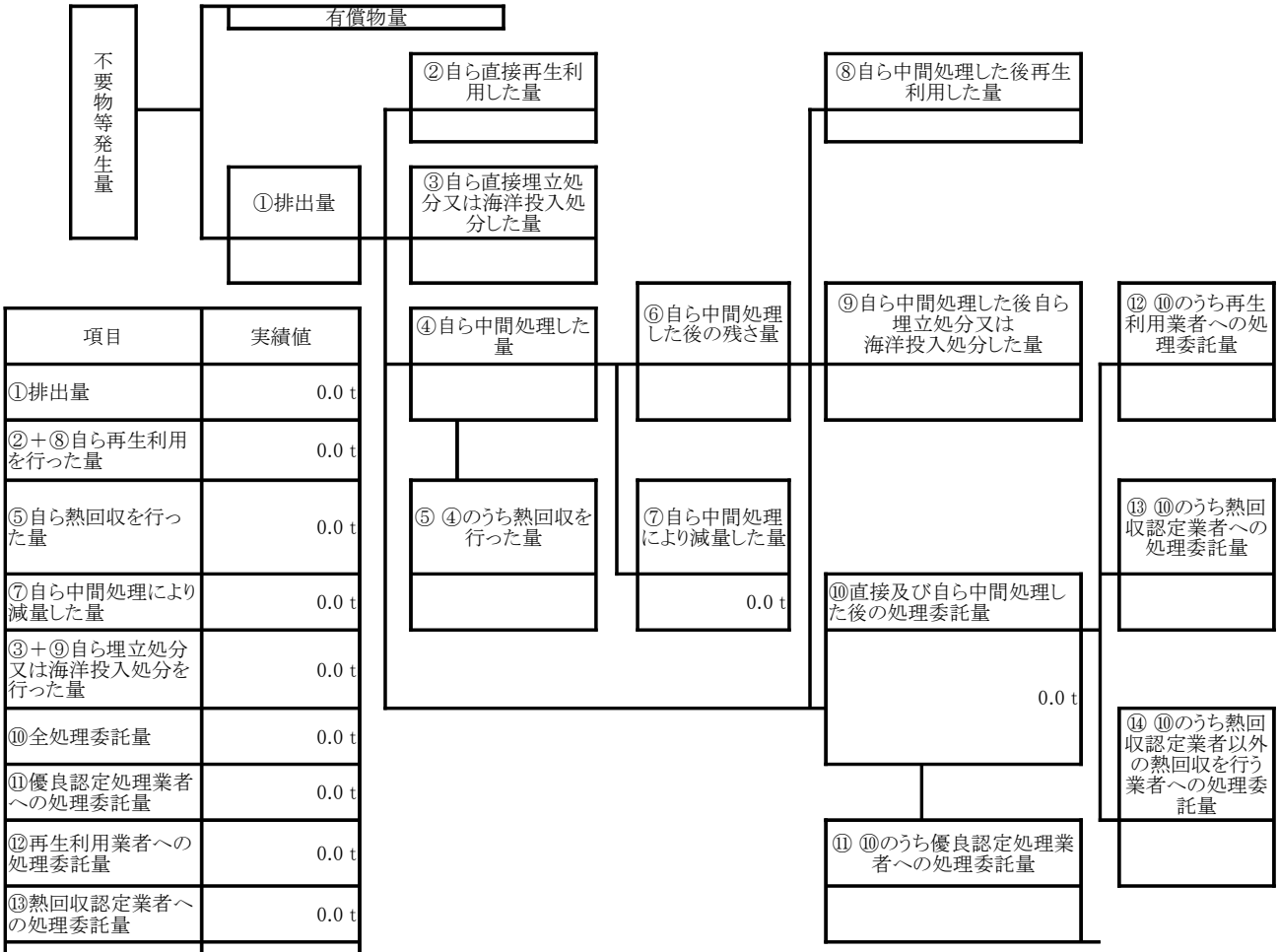


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月　７日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒285-8585

住　所　千葉県佐倉市大作２－５－１

氏　名　ＴＯＴＯバスクリエイト株式会社
代表取締役社長　橋口　裕昭

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　043-498-3237（工務課）

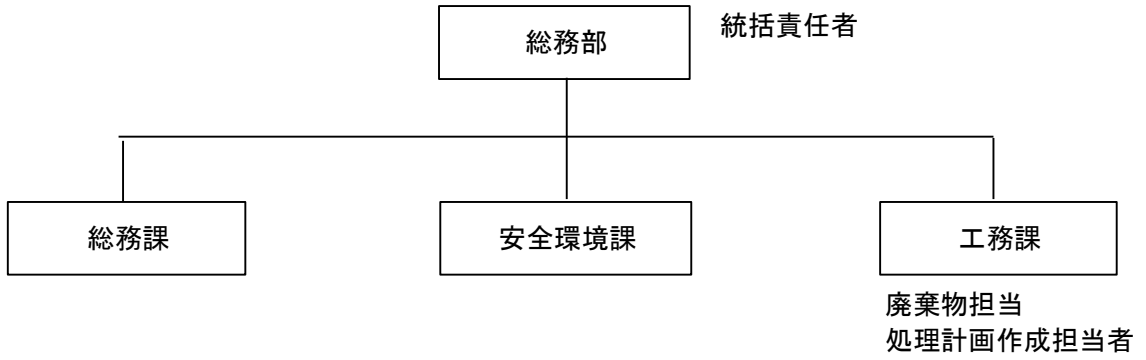
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ＴＯＴＯバスクリエイト株式会社
事業場の所在地	千葉県佐倉市大作２－５－１
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	E18－プラスチック製品製造業（別掲を除く）
②　事業の規模	前年度売上高：78,458百万円
③　従業員数	総計 1,554人（正社員：637、その他・協力企業：917）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙②のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙②のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 産業廃棄物に限らず工場からの排出物はそれぞれの区分に分別、 リユースを推進し産業廃棄物の減量化に努めている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 構内で分別を維持強化し、各品目のリユースを拡大し、産業廃 棄物の減量化を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類_		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類_		
全処理委託量_	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

別紙②のとおり

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_		
		全処理委託量_	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 別紙②のとおり		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

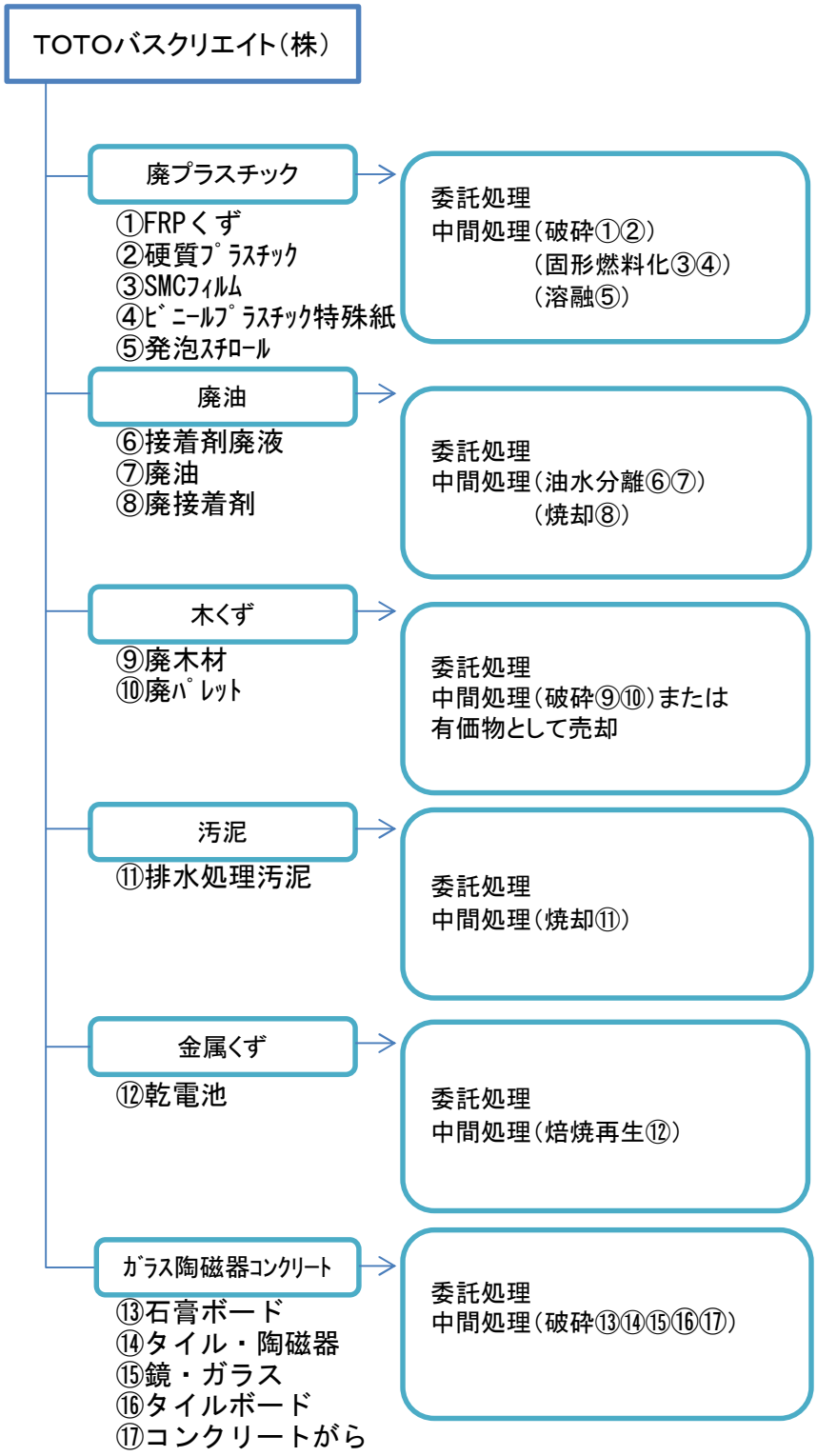
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙①
【産業廃棄物処理計画書　第１面　④産業廃棄物の一連の処理工程】



別紙②
【産業廃棄物処理計画書　産業廃棄物の排出の抑制に関する事項　第２面①現状　第２面②計画】
【産業廃棄物処理計画書　産業廃棄物処理の委託に関する事項　第４面①現状　第５面②計画】

①現状

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油	木くず	汚泥	金属くず	ガラス陶磁器コンクリート
全排出量・全処理委託量	1390.7t	117.9t	708.9t	11.6t	1.1t	1382.0t
優良認定処理業者への処理委託量	1005.0t	11.2t	417.7t	0.0t	1.1t	1346.4t
再生利用者への処理委託量	435.1t	117.9t	708.9t	11.6t	1.1t	1382.0t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	955.6t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

（これまでに実施した取組）
・鋼板付石膏ボードの構内鋼板分離による有価物化の拡大…ガラス陶磁器類
・梱包資材リユースの推進…廃プラスチック
・石膏ボードの減量化（転用・メーカー返却）…ガラス陶磁器類
・梱包材改善による減量化の推進…廃プラスチック類
・コンクリートブロックのリユース化…ガラス陶磁器類
・緩衝材リユースの拡大および有価物化…木くず
・浴槽の減量化（転用）…廃プラスチック
※減少要因
減量化施策および出荷減により排出量が減少
増加要因
木くずの一部が一時的に産廃となったため排出量が増加

②計画

【目標（2024年度）計画】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油	木くず	汚泥	金属くず	ガラス陶磁器コンクリート
全排出量・全処理委託量	1363.8t	117.1t	731.8t	11.5t	1.1t	1372.1t
優良認定処理業者への処理委託量	985.6t	11.0t	409.6t	0.0t	1.1t	1320.3t
再生利用者への処理委託量	426.7t	115.5t	695.2t	11.5t	1.1t	1355.3t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	937.1t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

（今後実施する予定の取組）
・鋼板付石膏ボードの構内鋼板分離による有価物化の拡大（効率化）…ガラス陶磁器類
・梱包資材リユースの推進…廃プラスチック
・石膏ボードの減量化（転用・メーカー返却）…ガラス陶磁器類
・梱包材改善による減量化の推進…廃プラスチック
・コンクリートブロックのリユース化…ガラス陶磁器類
・緩衝材リユースの拡大および有価物化…木くず
・廃棄浴槽の減量化（転用）…廃プラスチック
・廃油処理の減量化…廃油
・木くず売却の受入再開（10月頃）

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 7日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒285-8585
住 所　千葉県佐倉市大作2－5－1
氏 名　TOTOバスクリエイト株式会社
代表取締役社長 橋口 裕昭
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 043-498-3237(工務課)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	TOTOバスクリエイト株式会社
事業場の所在地	千葉県佐倉市大作2－5－1
事業の種類	E18－プラスチック製品製造業(別掲を除く)
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

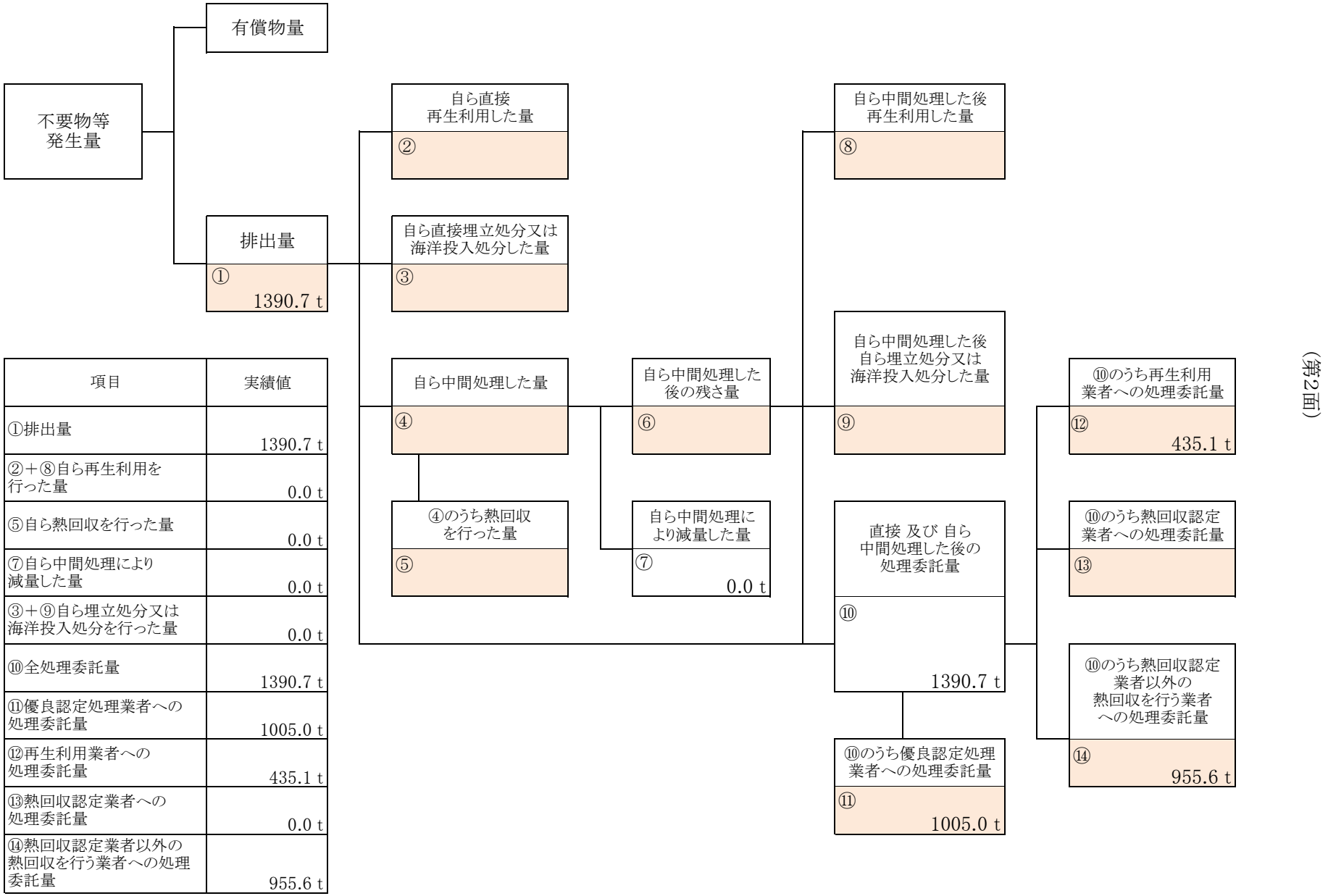
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3652.1 t	全処理委託量	3652.1 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	2569.4 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	3652.1 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック**）

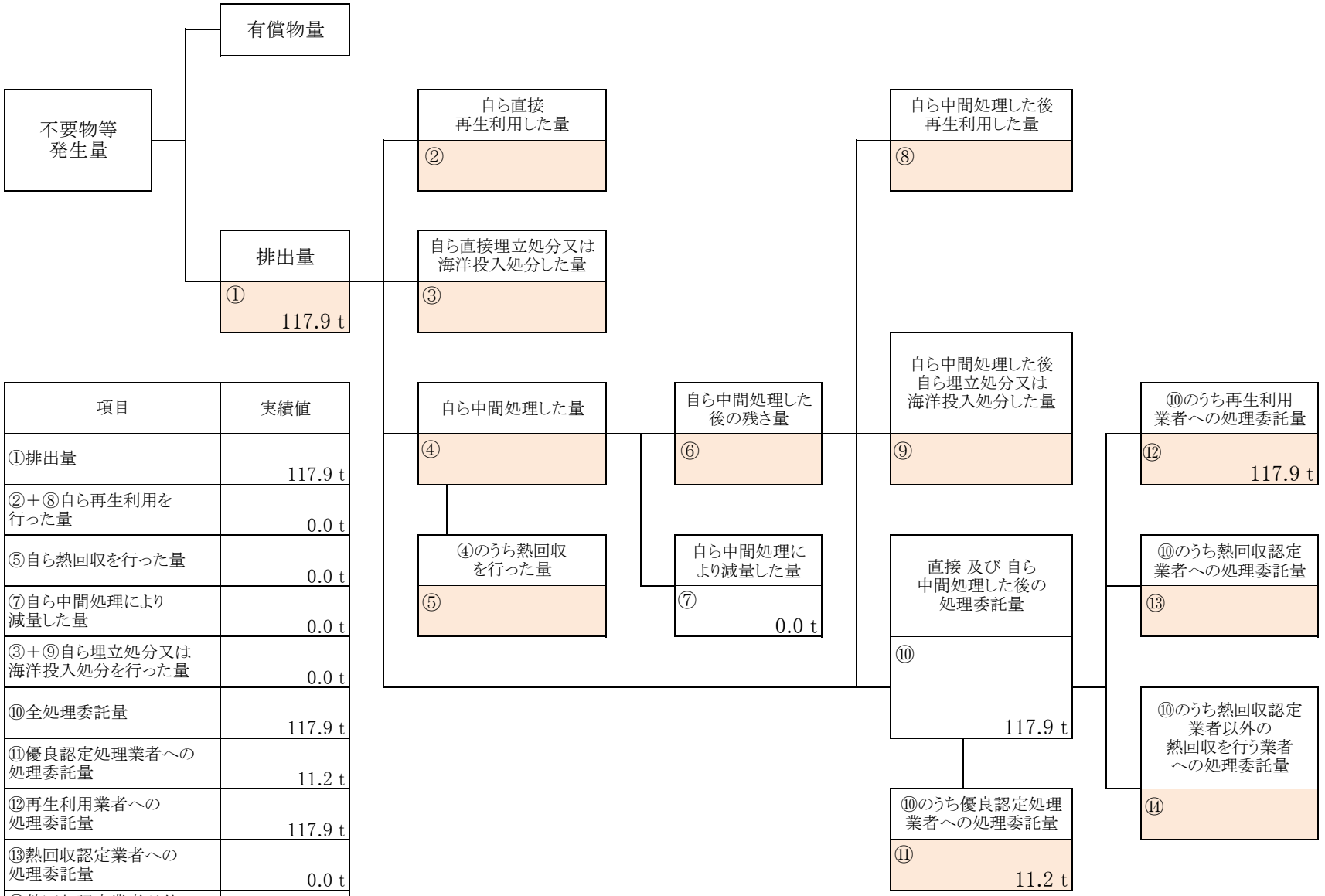


項目	実績値
①排出量	1390.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1390.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1005.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	435.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	955.6 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃油** ）

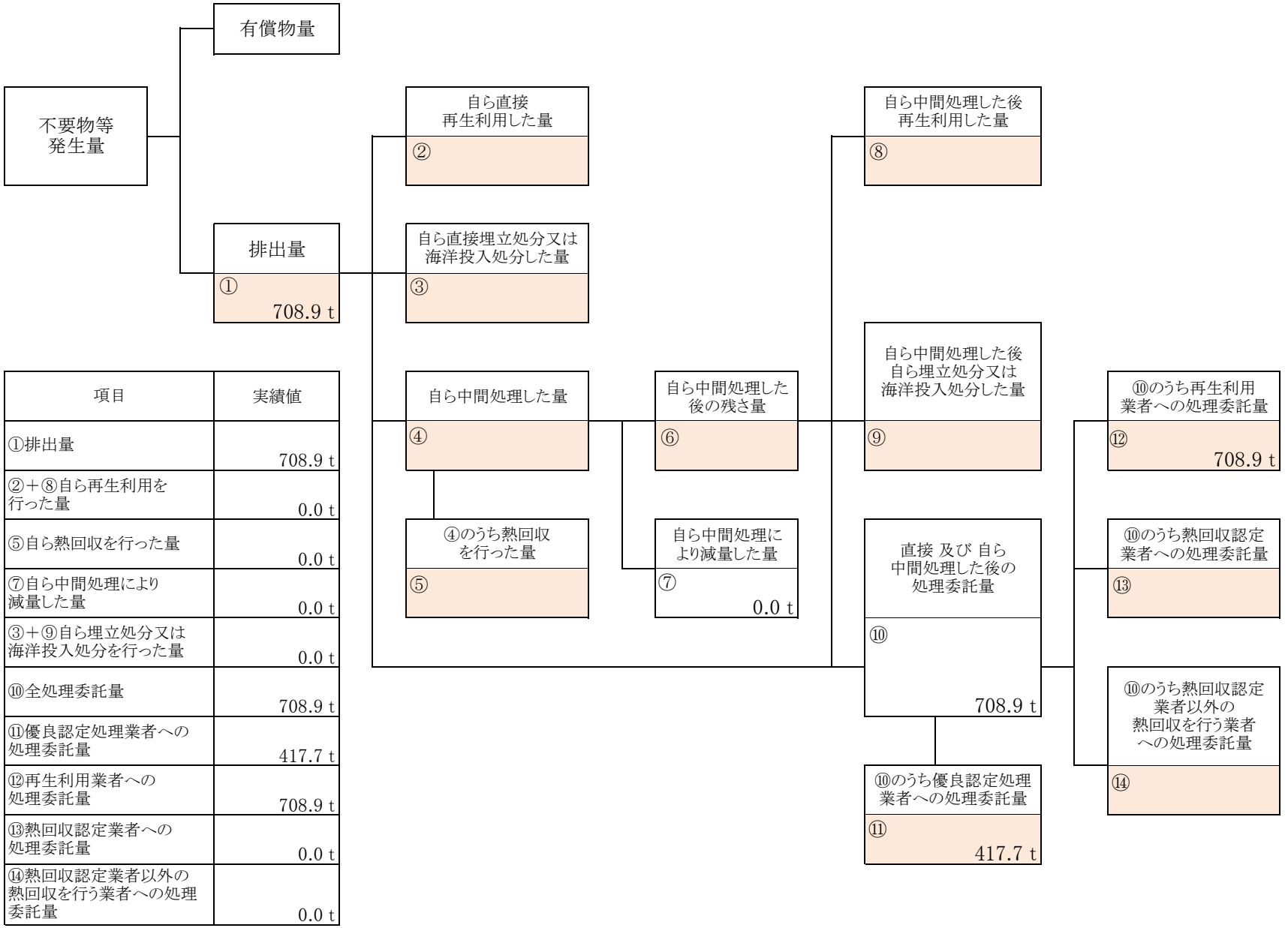


項目	実績値
①排出量	117.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	117.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	117.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 木くず ）

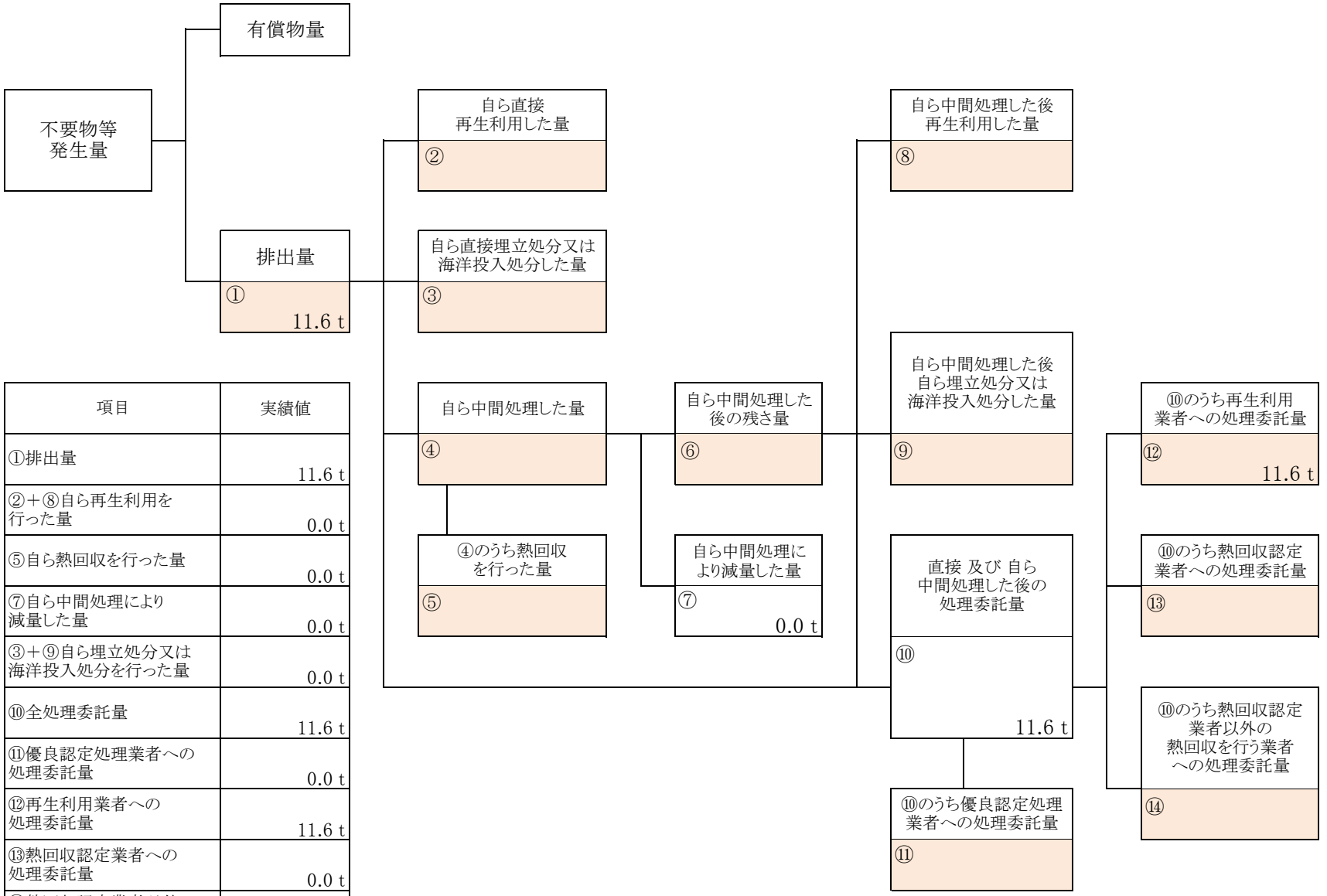


項目	実績値
①排出量	708.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	708.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	417.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	708.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

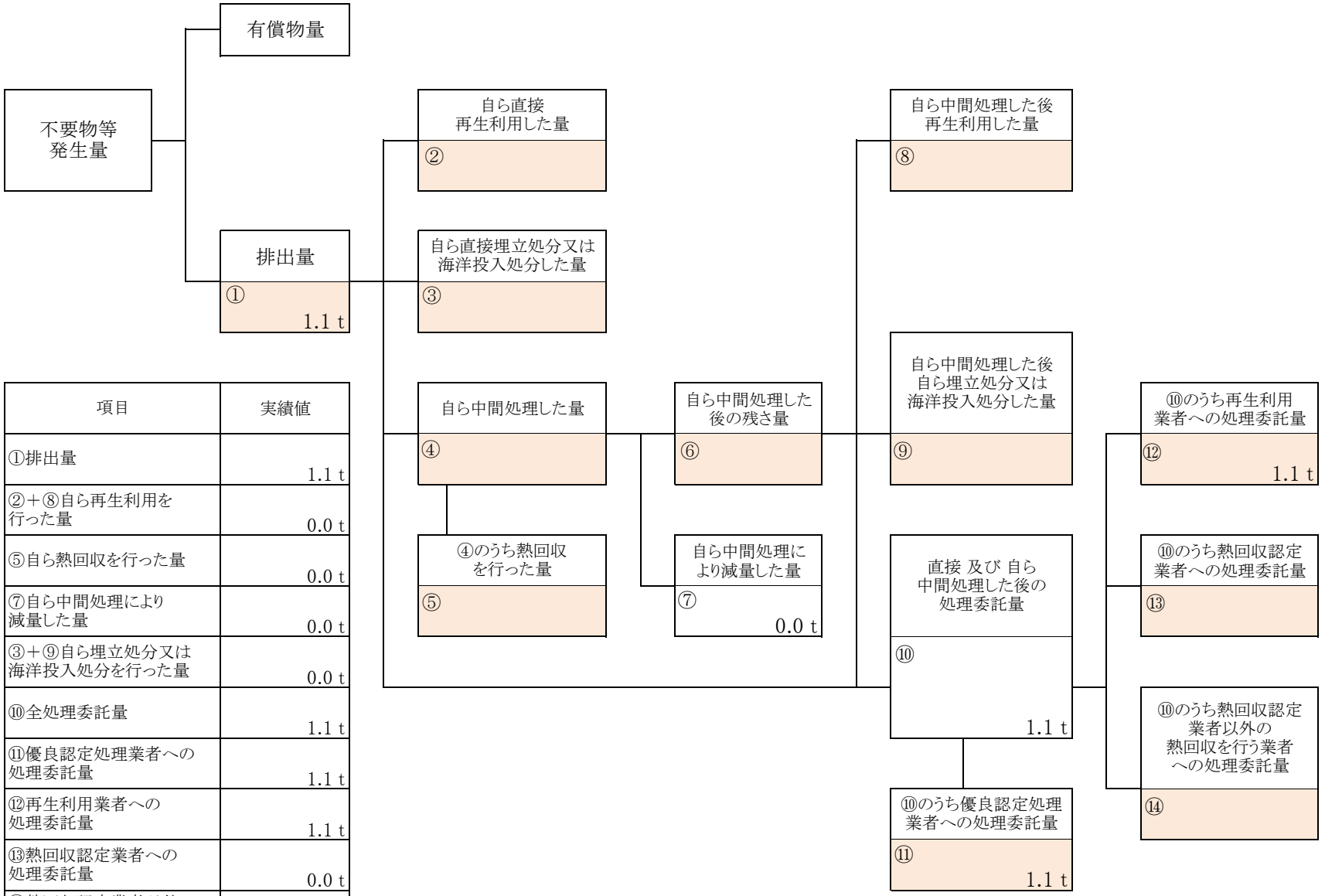


項目	実績値
①排出量	11.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

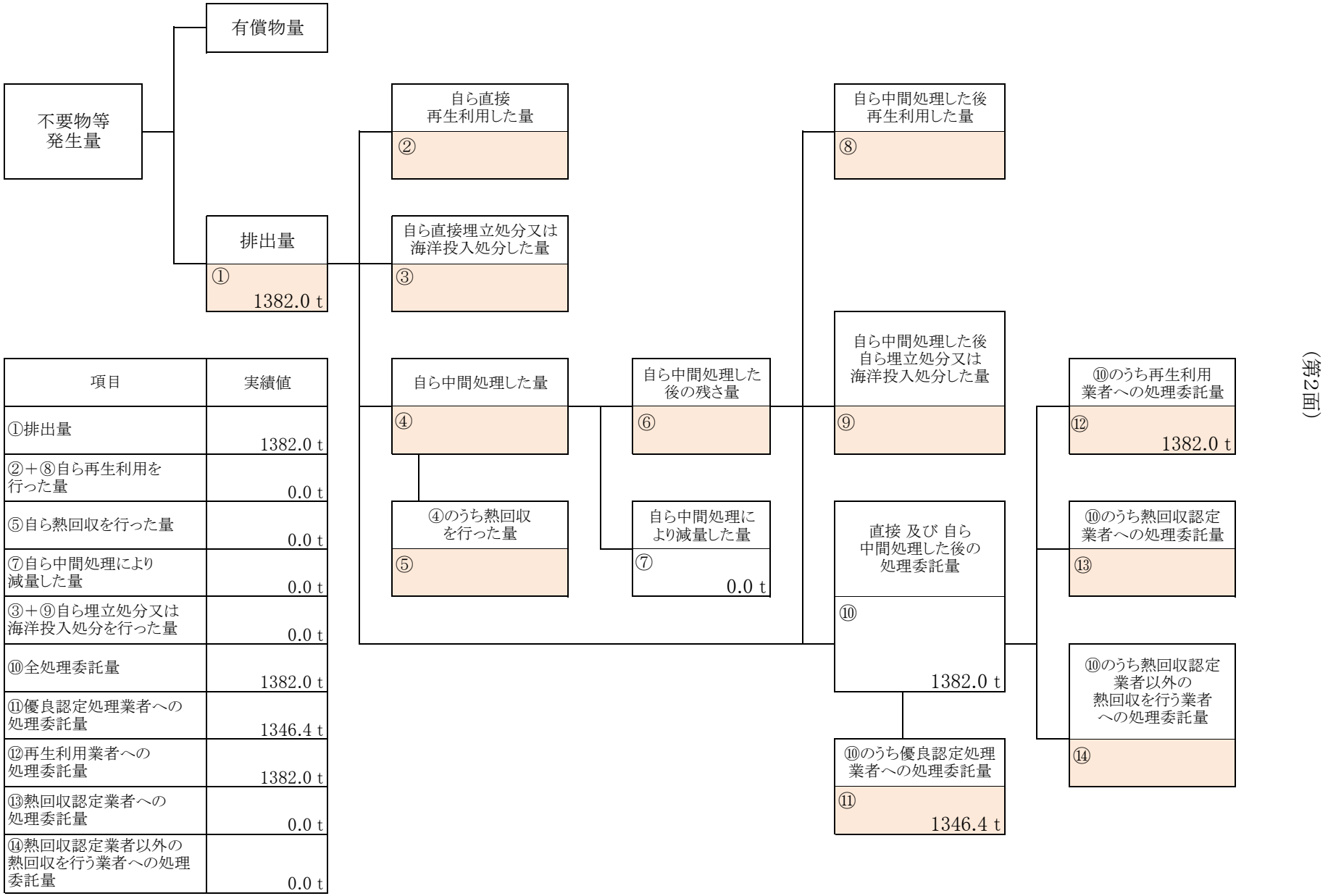


項目	実績値
①排出量	1.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス陶磁器コンクリート**）



項目	実績値
①排出量	1382.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1382.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1346.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1382.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。